

Nways



イベント・ログ・システム・メッセージの手引き

Nways



イベント・ログ・システム・メッセージの手引き

お願い

本書をご使用になる前に、ixページの『特記事項』をお読みください。

第 12 版 (1999 年 2 月)

原 典： SC30-3682-11
Nways
Event Logging System Messages Guide

発 行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 1999.4

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 1994, 1999. All rights reserved.

Translation: © Copyright IBM Japan 1999

目次

特記事項	ix
本書のオンライン・バージョンのご使用条件	xi
商標	xiii
本書について	xv
本書の対象読者	xv
本書の構成	xv
第1章 はじめに	1
メッセージの表示	1
事象の原因	1
メッセージの解釈	1
エラー・コードおよびバケット完了コード	5
第2章 AAA プロトコル (AAA)	7
第3章 アドレス解決プロトコル (ARP).	9
第4章 拡張ピアツー・ピア・ネットワーキング機能 (APPN).	27
第5章 AppleTalk フェーズ 2 (AP2)	31
第6章 AppleTalk フェーズ 2 ルーティング・テーブル保守プロトコル (R2MP)	37
第7章 AppleTalk フェーズ 2 ゾーン情報プロトコル (ZIP2)	41
第8章 非同期転送モード・ネットワーク・インターフェース (ATM).	47
第9章 ATM 一時ローカル管理インターフェース (ILMI)	69
第10章 ATM LLC (ALLC)	73
第11章 ATM シグナル (SVC)	79
第12章 ATM シグナル用 ATM アダプテーション・レイヤー (SAAL)	83
第13章 自動導入機能 (AI)	87
第14章 帯域幅予約システム (BRS)	89
第15章 Banyan VINES (VN)	91
第16章 Bisync リレー (BRLY)	103
第17章 BOOTP (BTP)	105
第18章 ボーダー・ゲートウェイ・プロトコル (BGP)	107
第19章 ブリッジ・ルーティング (BR).	117
第20章 ブリッジング・ブロードキャスト・マネージャー (BBCM)	123

第21章 コンポーネント非表示機能 (NOT)	125
第22章 接続管理ライブラリー (CML)	127
第23章 CPU 使用率モニター (PERF)	133
第24章 データ圧縮エンジン (COMP)	135
第25章 データ暗号化 (ENCR)	139
第26章 データ・リンク・スイッチ (DLSw)	141
第27章 デフォルト・ゲートウェイ (DGW)	199
第28章 ダイアルアウト (DOUT)	201
第29章 デジタル・ネットワーク・アーキテクチャー・フェーズ IV (DN)	205
第30章 デジタル・ネットワーク・アーキテクチャー・フェーズ V (DNAV)	229
第31章 距離ベクトル・マルチキャスト・ルーティング・プロトコル (DVM)	233
第32章 イージー・スタート機能 (EZ)	239
第33章 終端システム - 中間システム間プロトコル Protocol (ESIS)	241
第34章 環境機能 (ENV)	245
第35章 ESCON ネットワーク・インターフェース (ESC)	247
第36章 イーサネット・ネットワーク・インターフェース (ETH)	257
第37章 事象ログ (EVL)	267
第38章 ファイバー分散データ・インターフェース (FDDI)	269
第39章 フレーム・リレー境界アクセス・ノード (BAN)	273
第40章 フレーム・リレー・ネットワーク・インターフェース (FRL)	277
第41章 ゲートウェイ (GW)	295
第42章 汎用パケット・フィルター (FLT)	309
第43章 IBM LAN エミュレーション・クライアント機能 (ILEC)	311
第44章 サービス総合デジタル網 (ISDN)	315
第45章 中間システム間プロトコル (ISIS)	321
第46章 インターネット制御メッセージ・プロトコル (ICMP)	327
第47章 インターネット制御メッセージ・プロトコル IPv6 (ICM6)	331
第48章 インターネット・パケット交換 (IPX)	335
第49章 インターネット・プロトコル (IP)	353

第50章 次世代インターネット・プロトコル (IP V6).	367
第51章 IP プロトコル・ネットワーク (IPPN)	377
第52章 IP セキュリティー・プロトコル (IPsec)	379
第53章 ISO OSI コネクションレス・ネットワーク・レイヤー (ISO)	385
第54章 ISDN 調整および管理エンティティ (CEME).	391
第55章 ISDN レイヤー 2 リンク・アクセス手順 D チャンネル (LAPD).	393
第56章 LAN エミュレーション・クライアント機能 (LEC)	395
第57章 LAN エミュレーション構成サーバー (LECS)	417
第58章 LAN エミュレーション・サーバーおよび同報通信確認不能サーバー (LES/BUS)	437
第59章 LAN ネットワーク・マネージャー (LNM)	487
第60章 LAN スイッチ統合 (LSI).	495
第61章 レイヤー 2 トンネル伝送 (L2)	501
第62章 LCS バーチャル・ネットワーク・インターフェース (LCS)	509
第63章 論理リンク制御 (LLC) ELS.	513
第64章 LSA チャンネル・ネットワーク・インターフェース (LSA).	523
第65章 MAC フィルター (MCF).	531
第66章 MMC	533
第67章 MPC チャンネル・ネットワーク・インターフェース (MPC)	537
第68章 マルチキャスト・アドレス解決プロトコル (MARS).	543
第69章 マルチキャスト・フォワード・キャッシュ (MFC)	559
第70章 マルチキャスト・フォワード・キャッシュ v6 (MFC6).	563
第71章 マルチリンク PPP (MLP)	567
第72章 ATM 経由マルチプロトコル・クライアント (MPOA)	579
第73章 NetBIOS サポート・サブシステム (NBS)	613
第74章 ネットワーク・アドレス変換 (NAT).	621
第75章 ネットワーク・ディスパッチャー・ルーター (NDR).	629
第76章 IPv6 用の近隣発見プロトコル (NDP6).	635
第77章 ネクスト・ホップ・ルーティング・プロトコル (NHRP)	639
第78章 最短パス最優先オープン (OSPF).	665

第79章 ルーター IP への OS インターフェース (IPIF)	677
第80章 PCA ネットワーク・インターフェース (PCA).	679
第81章 ポイント・ポイント (2 地点間) プロトコル・ネットワーク・インター フェース (PPP)	687
第82章 Presence Manager (PM)	709
第83章 プロトコル独立マルチキャスト (PIM)	711
第84章 プロトコル独立マルチキャスト IPv6 (PIM6)	719
第85章 プロキシ DHCP (DHCP).	727
第86章 QLLC レイヤー (X25 上)	733
第87章 ISDN Q.931 シグナル・レイヤー 3 (Q931).	739
第88章 ルーティング情報プロトコル (RIP)	741
第89章 IPv6 用の RIP (RIP6).	745
第90章 RSVP	749
第91章 SDLC リレー (SRLY).	755
第92章 セキュリティー・プロトコル (SEC).	759
第93章 シリアル・ライン・ネットワーク・インターフェース (SL)	763
第94章 サーバー・キャッシュ同期プロトコル (SCSP).	767
第95章 シンプル・ネットワーク管理プロトコル (SNMP).	771
第96章 ソース・ルーティング透過型 (SRT) ブリッジ	777
第97章 スパニング・ツリー・プロトコル (STP)	795
第98章 SRT FDDL 関連 ELS メッセージ (SRTF)	801
第99章 SuperELAN (SE)	803
第100章 SuperELAN スパニング・ツリー・プロトコル (SEST)	817
第101章 同期データ・リンク制御 (SDLC)	825
第102章 シン・サーバー・ディスク・タスク (TSDK)	837
第103章 シン・サーバー NFS (TSNS)	843
第104章 シン・サーバー NFS クライアント (TSNC)	847
第105章 シン・サーバー RFS クライアント (TSRC)	853
第106章 シン・サーバー RFS サーバー (TSRS).	863
第107章 シン・サーバー TFTP および TFTP リレー・サーバー (TSTD)	869

第108章 トークンリング・ネットワーク・インターフェース (TKR)	873
第109章 伝送制御プロトコル (TCP)	881
第110章 トリビアル・ファイル転送プロトコル (TFTP)	891
第111章 ユーザー・データグラム・プロトコル (UDP)	895
第112章 IPv6 用ユーザー・データグラム・プロトコル (UDP6)	897
第113章 VCRM	899
第114章 バーチャル LAN (VLAN) ELS	901
第115章 バーチャル・ルーター冗長プロトコル (VRRP)	909
第116章 V.25bis ダイアル呼び出し (V25B)	911
第117章 V.34 ダイアル呼び出し (V34)	915
第118章 Web サーバー・キャッシュ - コア (WEBC)	923
第119章 Web サーバー・キャッシュ - HTTP プロキシ (WEBH)	927
第120章 WAN 復元システム (WRS)	931
第121章 Xerox ネットワーク・コア (XN)	935
第122章 X.25 ネットワーク・インターフェース (X25)	939
第123章 X.25 ネットワーク・インターフェース・フレーム・レイヤー (X252)	941
第124章 X.25 ネットワーク・インターフェース・パケット・レイヤー (X253)	945
第125章 X.25 ネットワーク・インターフェース物理レイヤー (X251)	949
第126章 TCP/IP を介する X.25 トランスポート (XTP)	951

特記事項

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのようなIBM製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBMライセンス・プログラムまたは他のIBM製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBMの知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品またはサービスを使用することができます。ただし、IBMによって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBMおよび他社は、本書で説明する主題に関する特許権（特許出願を含む）商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用権等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用権等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目2-31

AP事業所

IBM World Trade Asia Corporation

Intellectual Property Law & Licensing

本書において解説されているライセンス・プログラムおよびそのライセンス・プログラム資料は、「IBM プログラム使用契約書」の契約条件にもとづいて弊社が提供するものです。

本書は、プロダクション使用を目的としたものでなく、いかなる種類の保証も含まれていません。このため、商用および特定の目的への適合性の保証を含め、すべての保証に対し本書は関与しません。

本書のオンライン・バージョンのご使用条件

弊社は、お客様に対して以下のことを許諾します。

本媒体に収められた文書 (IBM プログラムを除く。以下、「資料」という) をお客様の社内使用のために複製し、改変し、印刷することができます。ただし、資料のすべての複製物上には、全文複製か部分複製かを問わず、著作権表示、すべての注意書きのほか必要な表示をそのまま複製するものとします。

上記の条件に違反があった場合は、本使用権は終了するものとします。この場合、お客様は、ただちに複製物のすべてを破棄し、本媒体を弊社に返却するものとします。

商標

“IBM” という用語は、米国またはその他の国において IBM 社が所有している商標です。

UNIX は、米国およびその他の国における商標であり、X/Open Company Limited を通じてのみライセンスが与えられます。

Microsoft、Windows、Windows NT、および Windows 95 のロゴは、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

上記以外の会社名、製品名、またはサービス名は、他社の商標またはサービス・マークである場合があります。

本書について

本書では、イベント・ログ・システム (ELS) を用いて記録されたメッセージの解釈方法について説明します。 ELS メッセージは、以下のソフトウェア・プロダクトによって提供されています。

- マルチプロトコル・ルーティング・サービス (MRS)
- マルチプロトコル・アクセス・サービス (MAS)
- アクセス・インテグレーター・サービス (AIS)
- マルチプロトコル・スイッチ・サービス (MSS)
- マルチプロトコル・スイッチ・サービス・クライアント (MSSC)
- 8371 ネットワーキング・マルチレイヤー・イーサネット・スイッチ 用のオペレーション・ソフトウェア

本書の対象読者

本書は、サービスの提供者およびネットワーク操作員を対象としています。

本書の構成

本書は、最初の章で概要を紹介し、その後にイベント（事象）の各カテゴリーごとに章を編成しています。 カテゴリーは、章の表題別にアルファベット順に並べてあります。

第1章 はじめに

この章では、イベント（事象）のログを記録する方法およびメッセージの解釈の仕方について説明します。また、サブシステムの概念、事象番号、およびログ・レベルについても説明します。ELS の機能の大部分は、サブシステム、事象番号、およびログ・レベルをパラメーターとして使用するコマンドが基本になっています。

メッセージの表示

本書におけるメッセージの説明の形式は、次のとおりです。

レベル:	エラー・メッセージのログ・レベルを記述します。
短構文:	ルーター・コンソールに表示されるメッセージを示します。これは、メッセージの省略された形です。
長構文:	メッセージの拡張テキストを示します。
説明:	エラー・メッセージの意味を説明します。
原因:	このメッセージが出るエラーの推定原因について説明します。
処置:	エラーを訂正するための可能な処置を示します。

事象の原因

イベント・ログ・システム (ELS) によってモニターされる事象は、ルーターが作動している間、継続的に発生しています。事象の発生の理由は、次のとおりです。

- システム活動
- 状況の変更
- サービスの要求
- データの送受信
- データ・エラーおよび内部エラー

事象が発生すると、ELS は事象の発信元と性質を識別するデータを、システムから受け取ります。ELS は、受け取ったデータをその一部として含めたメッセージを生成します。

メッセージの解釈

ここでは、ELS が生成するメッセージの解釈方法について説明します。2ページの図1にメッセージの基本要素を示し、2ページの『メッセージの説明』で各要素について説明します。

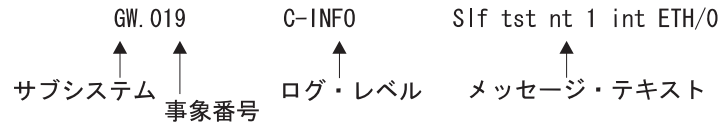


図1. メッセージの要素

メッセージの要素

サブシステム

意味

サブシステム は、プロトコル、パケット転送機能、またはインターフェースなどのようなルーターのコンポーネントを省略語で表します。図1 では、**GW** は、通過中にこの事象が発生したサブシステム (ゲートウェイ) を識別しています。

サブシステムの例としては、ARP、IP、TKR、および X.25 があります。ルーターの場合、サブシステムはルーターが構成されているハードウェアおよびソフトウェアによって異なります。

ELS の **list subsystem** コマンドを使用すれば、ルーター上で構成されているサブシステムをリストすることができます。

事象番号

事象番号 は、サブシステム内で各メッセージごとに割り当てられる番号です。図1 では、事象番号は **19** (GW サブシステム内の番号) です。

事象番号は、たとえば、**GW.019** のように、必ずサブシステムの省略語と一緒に表示されます。サブシステムと事象番号が一体となって個々の 事象を識別します。

ELS の **list subsystem** コマンドを使用すれば、サブシステム内の事象をリストすることができます。

ログ・レベル

ログ・レベル は、各メッセージを、それを生成した事象のタイプ別に分類するフィールドです。ログ・レベルは、次のとおりです。

ログ・レベル タイプ

UI - ERROR 異常な内部エラー

CI - ERROR 通常の内部エラー

UE - ERROR 異常な外部エラー

CE - ERROR 通常の外部エラー

ERROR 上記のすべてのエラー・レベルが含まれる

U-INFO 異常な情報コメント

C-INFO 通常の情報コメント

INFO 上記のすべてのコメント・レベルが含まれる

STANDARD	すべてのエラー・レベルおよびすべてのコメント・レベルが含まれる (デフォルト)
P-TRACE	パケット別のトレース
U-TRACE	異常操作パケット・トレース・メッセージ
C-TRACE	通常操作パケット・トレース・メッセージ
TRACE	上記のすべてのトレース・レベルが含まれる
ALL	すべてのログ・レベルが含まれる

メッセージ・テキスト

メッセージ・テキストは、コンソール画面には省略形式で表示されます。以下の各章に示されている *source_address* または *network* などのような変数は、メッセージがコンソールに表示されるときは、実際のデータで置き換えられます。メッセージ・テキストの中のこの種の変数はすべて置き換えられます。

メッセージ記述に含まれる変数 *error_code* (通常 “rsn” または “reason” が前に置かれている) は、検出されたパケット・エラーのタイプを示しています。エラー・コードおよびパケット完了コードについては、次節で説明します。

コード 意味

- 0** パケットは、正常に出力のために待ち行列化された
- 1** ランダム不特定エラー
- 2** フロー制御のために、パケットは出力用に待ち行列化されなかった
- 3** ネットワークがダウンしているために、パケットは待ち行列化されなかった
- 4** ループまたは不正な同報通信を回避するために、パケットは待ち行列化されなかった
- 5** あて先ホストがダウンしているために、パケットは待ち行列化されなかった (検出可能なネットワークの場合のみ)

SNMP 照会を送信した場合は、ルーターから受信する応答は、通常、1.3.6.1.4.1.1.1.3.4.85.31 のような 12 桁の数値です。この数値は、ELS 操作番号 (1.3.6.1.4.1.1.1.3)、オブジェクト (.4)、ELS サブシステム番号 (.85)、および事象番号 (.31) など、照会に関する各種の情報を表しています。たとえば、11 桁目の .85 は、サブシステム要素 X.25 の数値等価です。次のリストは、サブシステムの数値等価を示しています。

サブ システム	数値等価	サブ システム	数値等価	サブ システム	数値等価
AAA	189	AI	110	ALLC	141
AP2	53	APPN	117	ARP	5
ATM	115	BAN	111	BBCM	134
BGP	104	BR	74	BRLY	198
BRS	3	BTP	14	CEME	166
COMP	113	DGW	151	DHCP	146
DIAL	163	DLS	107	DN	25
DNAV	43	DOUT	144	DVM	22
EGP	16	ENCR	148	ENV	112
ESC	133	ESIS	41	ETH	81
EVL	126	EZ	109	FDDI	88
FLT	2	FR	92	FSD	170
GW	1	ICM6	191	ICMP	11
ILEC	130	ILMI	119	IP	10
IPIF	203	IPPN	100	IPSP	159
IPV6	190	IPX	35	ISDN	99
ISIS	42	ISO	40	L2	162
LAPD	165	LCS	135	LEC	116
LECS	124	LES	123	LLC	103
LNМ	102	LSA	136	LSI	155
MARS	128	MCF	105	MFC	18
MFC6	194	MLP	145	MMC	206
MPC	137	MPOA	156	NAT	167
NBS	114	NDP6	192	NDR	142
NHRP	131	NOT	127	PCA	161
PERF	200	PIM	196	PIM6	197
PM	149	PPP	95	QLLC	152
Q931	164	R2MP	56	RIP	15
RIP6	195	RSVP	138	SAAL	120
SCSP	140	SDLC	90	SE	157
SEC	147	SEST	158	SL	83
SNMP	21	SPF	17	SRLY	75
SRT	72	SRTF	205	STP	73
SVC	121	TCP	12	TFTP	19
TKR	84	TSDK	183	TSNC	180
TSNS	199	TSRC	181	TSRS	182
TSTD	178	UDP	13	UDP6	193
V25B	108	V34	143	VCRM	139
VLAN	150	VN	60	VRRP	177
WEBC	201	WEBH	202	WRS	101
XN	30	X25	85	X251	96
X252	97	X253	98	XTP	132
ZIP2	54				

エラー・コードおよびパケット完了コード

コンソールには、次のようなネットワーク情報が表示されます。 *nt 1 int Eth/0* または *network 1, interface Eth/0*、ただし、

- *1* はネットワーク番号 (ルーター上の各ネットワークには、ゼロから順に番号が付けられています)。
- *0* は装置番号 (各ハードウェア・タイプ上のインターフェースには、ゼロから順に番号が付けられています)。

イーサネットおよびトークンリング・ハードウェア・アドレスは、長い 16 進数 (たとえば、020701003e2c) で表示されます。

IP (インターネット・プロトコル) アドレスは、ピリオドで区切られた 4 つの 10 進数バイト (たとえば、8.123.0.16) で表示されます。

IP バージョン 6 (IPv6) のアドレスは 128 ビットから成り、コロンで区切られた 8 組の 4 桁の 16 進数 (たとえば、abcd:1234:0000:1234:5555:FFEE:7777:0123) として表示されます。

第2章 AAA プロトコル (AAA)

この章では、AAA プロトコル (AAA) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

AAA.001

レベル: C-INFO

短構文: AAA.001 AAAAuthen: *string*

長構文: AAA.001 AAA Authen Message: *string*

説明: 一般認証メッセージ

AAA.002

レベル: C-INFO

短構文: AAA.002 AAAAuthen ppp: *string*

長構文: AAA.002 AAA PPP Authen: *string*

説明: PPP 認証メッセージ

AAA.003

レベル: C-INFO

短構文: AAA.003 AAAAuthen login: *string*

長構文: AAA.003 AAA Login Authen: *string*

説明: ログイン認証メッセージ

AAA.004

レベル: C-INFO

短構文: AAA.004 AAAAuthen tunnel: *string*

長構文: AAA.004 AAA tunnel authen: *string*

説明: トンネル認証メッセージ

AAA.011

レベル: C-INFO

短構文: AAA.011 AAAAuthor: *string*

長構文: AAA.011 AAA Author: *string*

説明: AAA の一般許可メッセージ

AAA.012

レベル: C-INFO

短構文: AAA.012 AAAAuthor ppp: *string*

長構文: AAA.012 AAA PPP Author: *string*

説明: AAA の PPP 許可メッセージ

AAA.013

レベル: C-INFO

短構文: AAA.013 AAAAuthor login: *string*

長構文: AAA.013 AAA Login Author: *string*

説明: AAA のログイン許可メッセージ

AAA.014

レベル: C-INFO

短構文: AAA.014 AAAAuthor tunnel: *string*

長構文: AAA.014 AAA Tunnel Author: *string*

説明: AAA のトンネル許可メッセージ

AAA.021

レベル: C-INFO

説明: AAA の一般会計メッセージ

AAA.022

レベル: C-INFO

短構文: AAA.022 AAAacct ppp: *string*

長構文: AAA.022 AAA PPP Acct: *string*

説明: AAA の PPP 会計メッセージ

AAA.023

レベル: C-INFO

短構文: AAA.023 AAAacct login: *string*

長構文: AAA.023 AAA Login Acct: *string*

説明: AAA のログイン会計メッセージ

AAA.024

レベル: C-INFO

短構文: AAA.024 AAAacct tunnel: *string*

長構文: AAA.024 AAA Tunnel Acct: *string*

説明: AAA のトンネル会計メッセージ

AAA.031

レベル: C-INFO

短構文: AAA.031 AAA: *An AAA message*

長構文: AAA.031 AAA Message: *An AAA message*

説明: AAA の一般メッセージ

AAA.032

レベル: C-INFO

短構文: AAA.032 AAA ppp: *An AAA message*

長構文: AAA.032 AAA Message: *An AAA message*

説明: AAA の一般 PPP メッセージ

AAA.033

レベル: C-INFO

短構文: AAA.033 AAA login: *An AAA message*

長構文: AAA.033 AAA Message: *An AAA message*

説明: AAA の一般ログイン・メッセージ

AAA.034

レベル: C-INFO

短構文: AAA.034 AAA tunnel: *An AAA message*

長構文: AAA.034 AAA Message: *An AAA message*

説明: AAA の一般トンネル・メッセージ

AAA.039

レベル: C-INFO

短構文: AAA.039 AAA: *An AAA message*

長構文: AAA.039 AAA Message: *An AAA message*

説明: AAA の一般メッセージ

第3章 アドレス解決プロトコル (ARP)

この章では、アドレス解決プロトコル (ARP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

ARP.001

レベル: U-INFO

短構文: ARP.001 Q ovf nt *network*

長構文: ARP.001 Queue overflow net *network*

説明: 未処理の ARP パケットの待ち行列が長過ぎたために、ARP パケットが待ち行列に追加されずに廃棄されました。これは、ARP の到着が早過ぎて処理できなかったことを意味しています。この事象は、ELS ではカウントされずに、ARP コンソールでカウントされることに注意してください。ARP>STATISTICS コマンドを使用して、"input packet overflows" セクションのカウンター (入力ネットワーク別に保持) を読み取ることができます。

原因: これは、いわゆる "ARP ストーム" の徴候としてしばしば現れるものです。ホスト (通常は、普通のワークステーション) に到着するパケットによっては、ホストがそのあて先アドレスを認識できないもの (通常は、IP 同報通信パケット) があります。そこで、ホストでは、(ホスト仕様に違反して) パケットの転送を試みますが、そのためには ARP のマッピングが必要になります。すべてのホストが同時に同報通信を受信するので、すべてが同時にパケットの転送を試み、すべてが同時に ARP 要求を出します。

処置: 該当するホストの製造元に、ソフトウェアを仕様に適合させるよう依頼してください。短期的には、そのようなパケットの発信元を使用不可にするなり、パケットの発信元に対して、誤作動するホストが同報通信として認識できるアドレスを使用させるようにすることができ、場合もあります。

ARP.002

レベル: P-TRACE

短構文: ARP.002 Pkt in *operation_type* *hardware_address_space* *protocol_type* nt *network ID*

長構文: ARP.002 Packet received *operation_type* *hardware_address_space* *protocol_type* net *network ID*

説明: 示されているタイプの ARP パケットが、いま処理のために到着しました。

ARP.003

レベル: U-INFO

短構文: ARP.003 Unkwn hdw *hardware_address_space* nt *network ID*

長構文: ARP.003 Unknown hardware space *hardware_address_space* net *network ID*

説明: ネットワークで着信 ARP パケットを受信しましたが、そのネットワークでは、どのプロトコルもアドレス変換のために ARP を使用していません。

原因: ゲートウェイの構成が誤っています。

処置: 構成を訂正してください。

原因: ARP の使用を必要とするネットワーク上でプロトコルが使用されているが、そのプロトコルはルーターがサポートしていないものです。

処置: なし。

ARP.004

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.004 Bd hdw *hardware_address_space* *hardware_address_length* nt *network ID*

長構文: ARP.004 Bad hardware address space *hardware_address_space* *hardware_address_length* nt *network ID*

説明: 着信 ARP パケットを受信しましたが、ハードウェア・アドレス空間コードまたはハードウェア・アドレス長さが、そのネットワークで使用する必要のあるものと一致していません。

原因: これは、ネットワーク上の他の装置のエラー (おそらく、バイト・スワップの問題) に原因があるものと考えられます。

処置: ネットワーク管理ツールを使用して発信元ホストを検出し、その装置の製造元に連絡して、問題を報告してください。

ARP.005

レベル: P-TRACE

短構文: ARP.005 Unkwn prt *protocol_type* nt *network ID*

長構文: ARP.005 Unknown protocol type *protocol_type* net *network ID*

説明: あるプロトコルの着信 ARP パケットを受信しましたが、そのプロトコルには、ルーターはアドレス変換のために ARP を使用していません。

原因: ゲートウェイの構成が誤っています。

処置: 構成を訂正してください。

原因: ARP の使用を必要とするネットワーク上でプロトコルが使用されているが、そのプロトコルはルーターがサポートしていないものです。

処置: なし。

ARP.006

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.006 Bd prt *protocol_type* *protocol_address_length* nt *network ID*

長構文: ARP.006 Bad protocol address length *protocol_type* *protocol_address_length* net *network ID*

説明: 着信 ARP パケットを受信しましたが、プロトコル・アドレス長さが、そのネットワークで使用する必要のあるものと一致していません。

原因: これは、ネットワーク上の他の装置のエラー (おそらく、バイト・スワップの問題) に原因があるものと考えられます。

処置: ネットワーク管理ツールを使用して発信元ホストを検出し、その装置の製造元に連絡して、問題を報告してください。

ARP.007

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.007 Mk ent *hardware_address_space* *protocol_type* nt *network ID*

長構文: ARP.007 Make translation entry *hardware_address_space* *protocol_type* net *network ID*

説明: このホストにアドレス指定された着信 ARP パケットに、変換キャッシュに入っていないマッピングが含まれていました。パケット内の情報を使用して、新しいキャッシュ項目が記入されました。

ARP.008

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.008 Bd opc *operation_type* *hardware_address_space* *protocol_type* nt *network ID*

長構文: ARP.008 Bad operation code *operation_type*

hardware_address_space *protocol_type* net *network ID*

説明: 無効なオペレーショナル・コードをもつ着信 ARP パケットを受信しました。

原因: これは、ネットワーク上の他の装置のエラー (おそらく、バイト・スワップの問題) に原因があるものと考えられます。

処置: ネットワーク管理ツールを使用して発信元ホストを検出し、その装置の製造元に連絡して、問題を報告してください。

ARP.009

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.009 Rply *hardware_address_space* *protocol_type* nt *network ID*

長構文: ARP.009 Reply sent *hardware_address_space* *protocol_type* net *network ID*

説明: 別のホストからの変換要求のために、ARP 応答を送信中です。

ARP.010

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.010 Err on rply nt *network ID*

長構文: ARP.010 Transmission error on sending reply net *network ID*

説明: 発信 ARP または逆方向 ARP 応答パケットが、ルーター内に何らかの問題が発生したために除去されました。

原因: この問題の原因としては、出力待ち行列の過負荷やネットワークのダウンなど、さまざまなものが考えられます。

処置: 該当するネットワーク・サブシステムからのログ出力を調べて、さらに詳しい情報を入手してください。

ARP.011

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.011 Del ent *hardware_address_space* *protocol_type* nt *network ID*

長構文: ARP.011 Deleting translation entry *hardware_address_space* *protocol_type* net *network ID*

説明: タイムアウトになった (最近使用も更新もされなかった) 変換キャッシュ項目が削除されています。このプロセスの制御方法の詳細については、ARP の資料を参照してください。

ARP.012

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.012 No iorb fr rqst nt *network ID*

長構文: ARP.012 No buffer for outgoing request packet net *network ID*

説明: ルーター内のバッファ不足のために、出力応答パケットが除去されました。

原因: この問題については、一時的な過負荷など、多くの原因が考えられます。

処置: 残りのルーターからのログ出力を調べて、さらに詳しい情報を入手してください。問題が続く場合は、サービス技術員に連絡してください。

ARP.014

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.014 Rqst *hardware_address_space protocol_type* nt *network ID*

長構文: ARP.014 Translation request sent *hardware_address_space protocol_type* net *network ID*

説明: 別のホストのアドレス変換が必要なルーターからパケットが転送された結果として、ARP 変換要求を送信しています。

ARP.016

レベル: P-TRACE

短構文: ARP.016 unkn dst prot ad nt *network ID*

長構文: ARP.016 Unknown destination protocol address net *network ID*

説明: このメッセージは、ARP 要求が不明のプロトコル・アドレスを指定している場合 (すなわち、このルーターに対する要求でない場合) に生成されます。

原因: このネットワーク上の、このルーター以外のホストに対する ARP 要求

処置: 何も必要ありません。ARP プロトコルの場合は、要求はすべてが同報通信として送信されるので、これは正常です。

ARP.017

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.017 Rqst send failed rsn *reason_code* nt *network ID*

長構文: ARP.017 Transmission of request failed for reason *reason_code* net *network ID*

説明: ルーター内の何らかの問題が原因で、出力 ARP 要求パケットが除去されました。理由コード (*reason_code*) に原因が示されています。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、*network_name* を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたは不正な同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去されました (理由コード 4)

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

ARP.018

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.018 rcv: No mem for cache ent, prot *protocol_type* nt *network ID*

長構文: ARP.018 receive: No memory for cache entry, protocol *protocol_type* net *network ID*

説明: ARP パケットの入力処理時、ルーターは所定のプロトコルに対する ARP キャッシュ項目を作成する上で利用可能な記憶域がありませんでした。

原因: ルーターはヒープ記憶域が極端に少ない状態です。

処置: 記憶域の使用量を減らす方法を見つけてください。

ARP.019

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.019 xmt: No mem for cache ent, prot *protocol_type* nt *network ID*

長構文: ARP.019 transmit: No memory for cache entry, protocol *protocol_type* net *network ID*

説明: ARP パケットの出力処理時、ルーターは所定のプロトコルに対する ARP キャッシュ項目を作成する上で利用可能な記憶域がありませんでした。

原因: ルーターはヒープ記憶域が極端に少ない状態です。

処置: 記憶域の使用量を減らす方法を見つけてください。

ARP.020

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.020 Inverse Rply sent *hardware_address_space protocol_type nt network ID*

長構文: ARP.020 Inverse Reply sent *hardware_address_space protocol_type net network ID*

説明: 別のホストから変換要求があったために、逆方向 ARP 応答が送信されています。

ARP.021

レベル: P-TRACE

短構文: ARP.021 inv arp req drp, no prot addr for prot *protocol_type nt network ID*

長構文: ARP.021 inverse ARP request dropped, no protocol address *protocol_type nt network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、逆方向 ARP 要求は到着しても、ルーターには要求されたプロトコル用のプロトコル・アドレスがインターフェース上にないため、逆方向 ARP 要求に応答できず、それが廃棄された場合です。

原因: ルーターにはプロトコルがインターフェース上で構成されていないか、インターフェース上でのプロトコルの初期化が完了していないか、逆方向 ARP がこのプロトコルの場合に構成されていないか、逆方向 ARP がこのプロトコルではサポートされていないかいずれかです。

処置: 何も必要ありません。これは正常です。

原因: 要求されたプロトコルが AppleTalk の場合は、ルーターが相変わらずそのブローブ論理の処理過程にあって、AppleTalk プロトコル・アドレスがまだ有効になっていない可能性があります。

処置: 何も必要ありません。これは正常です。

ARP.022

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.022 Inv Rqst sent *hardware_address_space protocol_type to hardware_address nt network ID*

長構文: ARP.022 Inverse Request sent *hardware_address_space protocol_type to hardware_address net network ID*

説明: こちら側のプロトコル・アドレスを相手方へ通知しようとしているときに、逆方向 ARP 要求が送信されています。

ARP.030

レベル: U-INFO

短構文: ARP.030 ATM CIP NtDwn: Clnt prot/addr *protocol_number/ protocol_address nt network ID*

長構文: ARP.030 ATM CIP NetDown: Client protocol/proto addr *protocol_number/ protocol_address nt network ID*

説明: このクライアントは、ネット・ダウンのアップコールを受信しました。すべてのチャネルおよびコールがクリアされます。NetUp アップコールを受信すると、インターフェースはすべてのコールの再確立を試みます。

ARP.031

レベル: U-INFO

短構文: ARP.031 ATM CIP NtUp: Clnt prot/addr *protocol_number/ protocol_address nt network ID*

長構文: ARP.031 ATM CIP NetUp: Clnt prot/addr *protocol_number/ protocol_address net network ID*

説明: このクライアントは、ネット・アップを受信しました。すでに利用可能になっている場合、このクライアントは何もしません。ダウンしている場合、クライアントはアドレスを登録し、コールを送受信し、構成されている PVC があれば、それを再オープンします。

ARP.032

レベル: C-INFO

短構文: ARP.032 ATM CIP AddrStateChg (Active): Clnt prot/addr *protocol_number/ protocol_address nt network ID*

長構文: ARP.032 ATM CIP AddrStateChg (Active): Clnt prot/addr *protocol_number/ protocol_address nt network ID*

説明: このクライアントは、スイッチからアドレス状態の変更を受信しました。これは、アドレス ESI および SEL がスイッチに登録されたことを意味しています。クライアントは、セットアップし、コールを受信するための手順を進めることができます。

ARP.033

レベル: C-INFO

短構文: ARP.033 ATM CIP UNI Vers rcvcd: Clnt prot/addr *protocol_number/ protocol_address nt network ID*

長構文: ARP.033 ATM CIP UNI Vers rcvcd: Clnt prot/addr *protocol_number/ protocol_address nt network ID*

説明: このクライアントは、ネット・ダウンのアップコールを受信しました。すべてのチャネルおよびコールがクリアされます。 NetUp アップコールを受信すると、インターフェースはすべてのコールの再確立を試みます。

ARP.034

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.034 ATM CIP GetAddrByHandle rc=
return_code: Clnt prot/addr protocol_number/ protocol_address
nt network ID

長構文: ARP.034 ATM CIP GetAddrByHandle rc=
return_code: Clnt prot/addr protocol_number/ protocol_address
nt network ID

説明: スイッチからアドレスを入手しようとしているときに、エラーが検出されました。

ARP.035

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.035 ATM CIP LlcOpenCallSap rc=
return_code: Clnt prot/addr protocol_number/ protocol_address
nt network ID

長構文: ARP.035 ATM CIP LlcOpenCallSap rc=
return_code: Clnt prot/addr protocol_number/ protocol_address
nt network ID

説明: コール SAP をオープンしようとしているときに、エラーが検出されました。コール SAP は、リモートあて先に ATM のコールを発信または受信するために必要です。

ARP.036

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.036 ATM CIP Addr Deactivated!: Clnt
prot/addr protocol_number/ protocol_address nt network ID

長構文: ARP.036 ATM CIP Addr Deactivated!: Clnt
prot/addr protocol_number/ protocol_address nt network ID

説明: このクライアントの ATM アドレスが非活動化されました。すべてのコールが削除されています。このクライアントは、アドレスが再活動化されるのを待ちます。 PVC はまだ操作可能な状態のままです。

ARP.037

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.037 ATM CIP Addr Refused!: Clnt prot/addr
protocol_number/ protocol_address nt network ID

長構文: ARP.037 ATM CIP Addr Refused!: Clnt prot/addr

protocol_number/ protocol_address nt network ID

説明: 要求されたアドレスが、スイッチによって拒否されました。

原因: 考えられる原因は、重複する MAC アドレスがすでにスイッチに登録されていることです。

ARP.038

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.038 ATM CIP AddrStChg unknown: Clnt
prot/addr protocol_number/ protocol_address nt network ID

長構文: ARP.038 ATM CIP AddrStChg unknown: Clnt
prot/addr protocol_number/ protocol_address nt network ID

説明: アドレス状態変更機能が呼び出されましたが、要求された状態が不明です。

ARP.039

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.039 ATM CIP LecslstReport?:

長構文: ARP.039 ATM CIP LecslstReport?:

説明: 内部の障害です。指定された機能はクラシカル IP クライアントで呼び出されましたが、そのクライアントにはそのような機能は定義されていません。

ARP.040

レベル: U-INFO

短構文: ARP.040 ATM CIP ReceiveCall: Clnt prot/addr
protocol_number/ protocol_address nt network ID

長構文: ARP.040 ATM CIP ReceiveCall: Clnt prot/addr
protocol_number/ protocol_address nt network ID

説明: コールが、このクライアントによって受信されました。有効な Cdb がある場合は、ARP_40 の後に続けて、ARP_87 が表示されます (リモート・クライアント ATM アドレス)。

ARP.041

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.041 ATM CIP HangUpCall (invld PCR): Clnt
prot/addr protocol_number/ protocol_address nt network ID

長構文: ARP.041 ATM CIP HangUpCall (invld PCR): Clnt
prot/addr protocol_number/ protocol_address nt network ID

説明: このクライアントが受信したコールは、指定されたピーク・セル速度が最大許容値を超えています。このコールが解放された原因は、RJT_IE_PARM_VALUE, PRM_FWD_PEAKRATE_LP です。

ARP.042

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.042 ATM CIP OpenDataPath fail(*return_code*): Clnt prot/addr *protocol_number/ protocol_address* nt *network ID*

長構文: ARP.042 ATM CIP OpenDataPath fail(*return_code*): Clnt prot/addr *protocol_number/ protocol_address* nt *network ID*

説明: 指定のパラメーターを用いてデータ・パスのオープンを試みているとき、障害が発生しました。このコールは、該当する原因コードを出して停止します。

ARP.043

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.043 ATM CIP atmRcvCallAck fail(*return_code*): Clnt prot/addr *protocol_number/ protocol_address* nt *network ID*

長構文: ARP.043 ATM CIP atmRcvCallAck fail(*return_code*): Clnt prot/addr *protocol_number/ protocol_address* nt *network ID*

説明: 着信コールの受信確認をしようとしているときに、障害が発生しました。

原因: 原因は、内部の制御ブロックの問題です。

ARP.044

レベル: C-INFO

短構文: ARP.044 ATM CIP PlaceCallAck: Clnt prot/addr *protocol_number/ protocol_address* nt *network ID*

長構文: ARP.044 ATM CIP PlaceCallAck: Clnt prot/addr *protocol_number/ protocol_address* nt *network ID*

説明: 発信したコールが、リモート側先によって受信され、受信確認されました。リモート側へのデータ・パスをオープンし、VCC での送受信を開始します。ARP_44 の後に続けて、ARP_87 が表示されます (リモート・クライアント ATM アドレス)。

ARP.045

レベル: U-INFO

短構文: ARP.045 ATM CIP atmArpDisconnectCall: NULL CORRELATOR received

長構文: ARP.045 ATM CIP atmArpDisconnectCall: NULL CORRELATOR received

説明: コールが、受信する直前に解放されました。

ARP.046

レベル: U-INFO

短構文: ARP.046 ATM CIP atmArpDisconnectCall: Clnt prot/addr *protocol_number/ protocol_address* nt *network ID*

長構文: ARP.046 ATM CIP atmArpDisconnectCall: Clnt prot/addr *protocol_number/ protocol_address* nt *network ID*

説明: すでに活動状態になっているコール、または現在発信中のコールが解放されました。解放された理由が、追加 ELS メッセージに表示されています。これは、通常の状態です。チャンネルが必要な場合は、再初期化します。たとえば、制御チャンネルは、サーバーに接続されるまで 15 秒ごとに再試行されます。

原因: ネットワークまたはリモート・ユーザーのいずれかが、コールを解放しました。

ARP.047

レベル: U-INFO

短構文: ARP.047 ATM CIP atmArpDiscCall: rsn= *reason_code*, cause= *cause_code*, diagLen= *diag_len*, diagData[0]= *diag_data*

長構文: ARP.047 ATM CIP atmArpDiscCall: rsn= *reason_code*, cause= *cause_code*, diagLen= *diag_len*, diagData[0]= *diag_data*

説明: このメッセージに入っている情報は、コールが解放された理由です。

ARP.048

レベル: U-INFO

短構文: ARP.048 ATM CIP atmArpDiscCall: vpi= *vcc_vpi*, vci= *vcc_vci*, AtmAddr= *vcc_remote_atm_address*

長構文: ARP.048 ATM CIP atmArpDiscCall: vpi= *vcc_vpi*, vci= *vcc_vci*, AtmAddr= *vcc_remote_atm_address*

説明: このメッセージの中の情報は、チャンネル VPI/VCI と、切断中のチャンネルのリモート ATM アドレスです。

ARP.049

レベル: U-INFO

短構文: ARP.049 ATM CIP atmArpDiscCall WalkDwn PCR= *walk_down_PCR*, SCR= *walk_down_SCR*:Clnt prot/addr *protocol_num/ protocol_address* nt *network ID*

長構文: ARP.049 ATM CIP atmArpDiscCall WalkDwn PCR= *walk_down_PCR*, SCR= *walk_down_SCR*:Clnt prot/addr *protocol_num/ protocol_address* nt *network ID*

説明: 解放されたコールは、セル速度が原因で解放され

ました。ATMARP クライアントは、ARP_48 にリストされているターゲットとの接続を確立するために、一般に使用されるデータ速度まで下げようと試みます。

原因: セル速度が不一致であるために、ネットワークまたはリモート・ユーザーのいずれかが、コールを解放しました。

ARP.050

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.050 ATM CIP ArpDisconnectLeaf?:

長構文: ARP.050 ATM CIP ArpDisconnectLeaf?:

説明: 内部の障害です。指定された機能はクラシカル IP クライアントで呼び出されましたが、そのクライアントにはそのような機能は定義されていません。

ARP.051

レベル: C-TRACE

短構文: ARP.051 ATM CIP atmArpRcvFrame: (prot = protocol_number) nt network ID

長構文: ARP.051 ATM CIP atmArpRcvFrame: (prot = protocol_number) nt network ID

説明: メッセージに示されているインターフェースで、メッセージ内のプロトコル番号の 1483 カプセル化パケットを受信しました。このトレース・ポイントがオンになると、受信したすべてのパケットに対して、このメッセージが出されます。

ARP.052

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.052 ATM CIP atmArpRcvFrame: Unknown prot = protocol_number nt network ID

長構文: ARP.052 ATM CIP atmArpRcvFrame: Unknown prot = protocol_number nt network ID

説明: 指定されたネットワーク以外で、不明のプロトコル ID をもつパケットが受信されました。これは予想されたトラフィックである場合も、そうでない場合もあります。いずれの場合も、パケットは廃棄されます。転送はされません。

ARP.053

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.053 ATM CIP atmArpAddLeafAck?:

長構文: ARP.053 ATM CIP atmArpAddLeafAck?:

説明: 内部の障害です。指定された機能はクラシカル IP

クライアントで呼び出されましたが、そのクライアントにはそのような機能は定義されていません。

ARP.054

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.054 ATM CIP atmArpInit Registr failure (rc= return_code): Clnt prot/addr protocol_number/ protocol_address nt network ID

長構文: ARP.054 ATM CIP atmArpInit Registr failure (rc= return_code): Clnt prot/addr protocol_number/ protocol_address nt network ID

説明: このクライアントは、基礎にある装置ドライバーおよびネットワーク・ハンドラーに対して、ユーザーとして登録するのに失敗しました。このクライアントは、操作不能になります。

処置: ルーターをリブートし、担当のサービス技術員に連絡してください。

ARP.055

レベル: C-INFO

短構文: ARP.055 ATM CIP atmArpInit Registr successfull: Clnt prot/addr protocol_number/ protocol_address nt network ID

長構文: ARP.055 ATM CIP atmArpInit Registr successfull: Clnt prot/addr protocol_number/ protocol_address nt network ID

説明: このクライアントは、基礎にある装置ドライバーおよびネットワーク・ハンドラーに、正常に登録されました。これは通常の初期化です。

ARP.056

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.056 ATM CIP atmArpInit OpnBffFrmSap Failed (rc= return_code): Clnt prot/addr protocol_number/ protocol_address nt network ID

長構文: ARP.056 ATM CIP atmArpInit OpnBffFrmSap Failed (rc= return_code): Clnt prot/addr protocol_number/ protocol_address nt network ID

説明: このクライアントは、バッファー・フレーム SAP のオープンに失敗しました。これは、内部エラーが原因です。このクライアントは、操作不能になります。

処置: ルーターをリブートし、担当のサービス技術員に連絡してください。

ARP.057

レベル: C-INFO

短構文: ARP.057 ATM CIP atmArpInit Address Activation pending: Clnt prot/addr *protocol_number/ protocol_address* nt *network ID*

長構文: ARP.057 ATM CIP atmArpInit Address Activation pending: Client protocol/address *protocol_number/ protocol_address* net *network ID*

説明: このクライアントは、クライアント ATM アドレスをスイッチに登録するシーケンスを開始しています。登録が完了すると、クライアント ATM アドレスの状況を記述する、別のアドレス状態変更のメッセージのログが記録されます。

処置: 処置は必要ありません。これは正常の処理です。

ARP.058

レベル: C-INFO

短構文: ARP.058 ATM CIP atmArpInit Address Activation success: Clnt prot/addr *protocol_number/ protocol_address* nt *network ID*

長構文: ARP.058 ATM CIP atmArpInit Address Activation success: Clnt prot/addr *protocol_number/ protocol_address* nt *network ID*

説明: このクライアントは、正常にアドレスを活動化しました。

ARP.059

レベル: CE_ERROR

短構文: ARP.059 ATM CIP:AAL IE:Not prsnt, or Invld AAL type (x *AAL_type*)

長構文: ARP.059 ATM CIP:AAL IE:Not present, or Invalid AAL type (x *AAL_type*)

説明: 無効な AAL タイプ。AAL タイプは AAL5 でなければなりません。

ARP.060

レベル: CE_ERROR

短構文: ARP.060 ATM CIP:AAL IE:Invld fwd max SDU sz (*fwd_max_SDU_size*)

長構文: ARP.060 ATM CIP:AAL IE:Invalid forward maximum SDU size (*fwd_max_SDU_size*)

説明: 順方向の最大 SDU サイズが無効です。

ARP.061

レベル: CE_ERROR

短構文: ARP.061 ATM CIP:AAL IE:Invld bak max SDU sz for P2P call (*bak_max_SDU_size*)

長構文: ARP.061 ATM CIP:AAL IE:Invalid backward maximum SDU size for Point-to-Point Call (*bak_max_SDU_size*)

説明: ポイント・ポイント (2 地点) 間のコールの場合、逆方向の最大 SDU サイズが小さ過ぎます。このコールは受け入れられますが、データを受信するだけです。ARP はサポートされません。

ARP.062

レベル: CE_ERROR

短構文: ARP.062 ATM CIP:AAL IE:Invld bak max SDU sz for P2MP call (*bak_max_SDU_size*)

長構文: ARP.062 ATM CIP:AAL IE:Invalid backward maximum SDU size for Point-to-MultiPoint Call (*bak_max_SDU_size*)

説明: ポイント・マルチポイント間のコールの場合、逆方向の最大 SDU サイズが無効です。これは、ゼロまたは 1 でなければなりません。

ARP.066

レベル: CE_ERROR

短構文: ARP.066 ATM CIP:AAL IE:Invld SSCS type (x *SSCS_type*)

長構文: ARP.066 ATM CIP:AAL IE:Invalid SSCS type (x *SSCS_type*)

説明: 無効な SSCS タイプ。SSCS タイプはヌルでなければなりません。

ARP.067

レベル: CE_ERROR

短構文: ARP.067 ATM CIP:Cell Rate IE:Fwd SCR(CLP=0+1) excds max *fwd_sustainable_rate*

長構文: ARP.067 ATM CIP:Cell Rate IE:Forward Sustainable Cell Rate(CLP=0+1) exceeds maximum *fwd_sustainable_rate*

説明: 低優先順位データの順方向持続可能セル速度が、予約済みの最大セル速度を超えています。

ARP.068

レベル: CE_ERROR

短構文: ARP.068 ATM CIP:Cell Rate IE:Fwd SCR(CLP=0) excds max *fwd_sustainable_rate*

長構文: ARP.068 ATM CIP:Cell Rate IE:Forward Sustainable Cell Rate(CLP=0) exceeds maximum *fwd_sustainable_rate*

説明: 高優先順位データの順方向持続可能セル速度が、予約済みの最大セル速度を超えています。

ARP.069

レベル: CE_ERROR

短構文: ARP.069 ATM CIP:Cell Rate IE:Fwd PCR(CLP=0+1) excds max *fwd_peak_rate*

長構文: ARP.069 ATM CIP:Cell Rate IE:Forward Peak Cell Rate(CLP=0+1) exceeds maximum *fwd_peak_rate*

説明: 低優先順位データの順方向ピーク・セル速度が、予約済みの最大セル速度を超えています。

ARP.070

レベル: CE_ERROR

短構文: ARP.070 ATM CIP:Cell Rate IE:Bak SCR(CLP=0+1) excds max *bak_sustainable_rate*

長構文: ARP.070 ATM CIP:Cell Rate IE:Backward Sustainable Cell Rate(CLP=0+1) exceeds maximum *bak_sustainable_rate*

説明: 低優先順位データの逆方向持続可能セル速度が、予約済みの最大セル速度を超えています。

ARP.071

レベル: CE_ERROR

短構文: ARP.071 ATM CIP:Cell Rate IE:Bak SCR(CLP=0) excds max *bak_sustainable_rate*

長構文: ARP.071 ATM CIP:Cell Rate IE:Backward Sustainable Cell Rate(CLP=0) exceeds maximum *bak_sustainable_rate*

説明: 高優先順位データの逆方向持続可能セル速度が、予約済みの最大セル速度を超えています。

ARP.072

レベル: CE_ERROR

短構文: ARP.072 ATM CIP:Cell Rate IE:Bak PCR(CLP=0+1) excds max *bak_peak_rate*

長構文: ARP.072 ATM CIP:Cell Rate IE:Backward Peak Cell Rate(CLP=0+1) exceeds maximum *bak_peak_rate*

説明: 低優先順位データの逆方向ピーク・セル速度が、予約済みの最大セル速度を超えています。

ARP.073

レベル: CE_ERROR

短構文: ARP.073 ATM CIP:Bearer IE:Invld class (x *bearer_class*)

長構文: ARP.073 ATM CIP:Bearer IE:Invalid class (x *bearer_class*)

説明: 無効なベアラー・クラス。ベアラー・クラスは、クラス C またはクラス X でなければなりません。

ARP.074

レベル: CE_ERROR

短構文: ARP.074 ATM CIP:Bearer IE:Invld conn type (x *conn_type*)

長構文: ARP.074 ATM CIP:Bearer IE:Invalid connection type (x *conn_type*)

説明: 無効な接続タイプ。接続タイプは、ポイント・ポイントでなければなりません。

ARP.075

レベル: CE_ERROR

短構文: ARP.075 ATM CIP:QOS IE:Invld fwd QOS class (x *fwd_QOS*)

長構文: ARP.075 ATM CIP:QOS IE:Invalid forward QOS class (x *fwd_QOS*)

説明: 接続はベストエフォート・サービスであり、順方向のサービス品質は QOS クラス 0 でなければなりません。

ARP.076

レベル: CE_ERROR

短構文: ARP.076 ATM CIP:QOS IE:Invld bak QOS class (x *bak_QOS*)

長構文: ARP.076 ATM CIP:QOS IE:Invalid backward QOS class (x *bak_QOS*)

説明: 接続はベストエフォートであり、逆方向のサービス品質は QOS クラス 0 でなければなりません。

ARP.077

レベル: CE_ERROR

短構文: ARP.077 ATM CIP:Calling Party addr IE not prsnt

長構文: ARP.077 ATM CIP:Calling Party address IE not present

説明: コーリング側アドレス IE は、存在しません。

ARP.078

レベル: CE_ERROR

短構文: ARP.078 ATM CIP:Calling Party Addr IE:Invld ATM addr lngth (*remote_addr_length*)

長構文: ARP.078 ATM CIP:Calling Party Addr IE:Invalid ATM address length (*remote_addr_length*)

説明: コーリング側アドレス IE は、無効な ATM アドレス長です。

ARP.079

レベル: CE_ERROR

短構文: ARP.079 ATM CIP:Calling Party Addr IE:ATM addr fld scm

長構文: ARP.079 ATM CIP:Calling Party Addr IE:ATM address failed screening

説明: ATM アドレスが検査されましたが、スクリーニングを通過しませんでした。

ARP.080

レベル: CE_ERROR

短構文: ARP.080 ATM CIP:Calling Party Addr IE:Invld ATM addr

長構文: ARP.080 ATM CIP:Calling Party Address IE:Invalid ATM address

説明: ATM アドレスの形式が誤りです。私用 ATM アドレス形式しかサポートされません。

ARP.081

レベル: CE_ERROR

短構文: ARP.081 ATM CIP:BLLI IE:Invld L2 prtcl (x *l2prot*)

長構文: ARP.081 ATM CIP:BLLI IE:Invalid Layer 2 protocol (x *l2prot*)

説明: BLLI IE に無効なレイヤー 2 プロトコルが含まれ

ています。レイヤー 2 プロトコルは 12 (ISO 8802/2) である必要があります。

ARP.082

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.082 ATM CIP:ArpFix No Client Address match: Clnt prot *protocol_number* nt *network ID*

長構文: ARP.082 ATM CIP:ArpFix No Client Address match: Client protocol *protocol_number* net *network ID*

説明: 構成された PVC または SVC の設定を試みているときに、一致するクライアントが見つからなかったために PVC または SVC と関連づける正しいクライアントを決定できませんでした。

ARP.083

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.083 ATM CIP:ArpFix Invld user or frm sap hndl: Clnt prot/addr *protocol_number/ protocol_address* nt *network ID*

長構文: ARP.083 ATM CIP:ArpFix Invalid user or frame sap handle: Clnt prot/addr *protocol_number/ protocol_address* nt *network ID*

説明: 構成された PVC または SVC の設定を試みているときに、クライアントのユーザー・ハンドルまたはフレーム SAP ハンドルが NULL でした。

ARP.084

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.084 ATM CIP:ArpFix OpnDataPath Failure (rc= *return_code*): Clnt prot/addr *protocol_number/ protocol_address* nt *network ID*

長構文: ARP.084 ATM CIP:ArpFix OpnDataPath Failure (rc= *return_code*): Client protocol/addr *protocol_number/ protocol_address* network *network ID*

説明: 特定の PVC を設定するためにハードウェアの初期化を試みているときに、障害が検出されました。

ARP.085

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.085 ATM CIP:ArpFix Cll sap invld: Clnt prot/addr *protocol_number/ protocol_address* nt *network ID*

長構文: ARP.085 ATM CIP:ArpFix Call sap invalid: Client protocol/address *protocol_number/ protocol_address* network *network ID*

説明: 構成された SVC の設定を試みているときに、クライアント・ユーザーのコール SAP が無効でした。

ARP.086

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.086 ATM CIP: atmPlaceCall Failure (rc=*return_code*): Clnt prot/addr *protocol_number*/ *protocol_address* nt *network ID*

長構文: ARP.086 ATM CIP: atmPlaceCall Failure (rc=*return_code*): Client protocol/address *protocol_number*/ *protocol_address* net *network ID*

説明: 構成された SVC の設定を試みているときに、装置ドライバーのサービスが SUCCESS 以外の値を返しました。

ARP.087

レベル: U-INFO

短構文: ARP.087 ATM CIP: Remote station : AtmAddr=*vcc_remote_atm_address*

長構文: ARP.087 ATM CIP: Remote station : AtmAddr=*vcc_remote_atm_address*

説明: 構成された SVC の設定。これはリモート・クライアントの ATM アドレスです。このメッセージは、PlaceCall SUCCESS に関する ARP_88 の前に表示され、PlaceCall FAILURE に関する ARP_86 の後に続きます。また、このメッセージは、ARP_40 および ARP_44 の後にも表示されます。

ARP.088

レベル: C-INFO

短構文: ARP.088 ATM CIP: atmPlaceCall Success: Clnt prot/addr *protocol_number*/ *protocol_address* nt *network ID*

長構文: ARP.088 ATM CIP: atmPlaceCall Success: Clnt protocol/address *protocol_number*/ *protocol_address* net *network ID*

説明: コールは正常に実行されました。このチャンネルは新しいチャンネル・リストの上に現れるはずであり、まだ応答はされていません。応答されると、ログに PlaceCallAck メッセージが現れます。

ARP.089

レベル: U-INFO

短構文: ARP.089 ATM CIP: chan aged: vpi=*vcc_vpi*, vci=*vcc_vci*, AtmAddr=*vcc_remote_atm_address*

長構文: ARP.089 ATM CIP: channel aged out: vpi=

vcc_vpi, vci=*vcc_vci*, AtmAddr=*vcc_remote_atm_address*

説明: チャンネルが非活動状態であるために切断されました。このメッセージの中の情報は、チャンネル VPI/VCI と、切断中のチャンネルのリモート ATM アドレスです。

ARP.090

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.090 ATM CIP: Disconnect of cntrl vcc: Clnt prot/addr *protocol_number*/ *protocol_address* nt *network ID*

長構文: ARP.090 ATM CIP: Disconnect of control vcc: Client protocol/address *protocol_number*/ *protocol_address* net *network ID*

説明: 活動状態の制御チャンネルが切断されました。現在 ARP キャッシュにないアドレスの解決は、新しい制御チャンネルが活動状態になるまで中断されます。

ARP.092

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.092 ATM CIP: Mk ent *protocol_number*/ *protocol_address* nt *network ID*

長構文: ARP.092 ATM CIP: Make ATM Arp entry prot/addr *protocol_number*/ *protocol_address* nt *network ID*

説明: このホストにアドレス指定された着信 ATM ARP パケットに、変換キャッシュにないマッピングが含まれていました。パケット内の情報を使用して、新しいキャッシュ項目が記入されました。

ARP.093

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.093 ATM CIP: Mv ent *protocol_number*/ *protocol_address* nt *network ID*

長構文: ARP.093 ATM CIP: Move ATM Arp entry prot/addr *protocol_number*/ *protocol_address* nt *network ID*

説明: このホストにアドレス指定された着信 ATM ARP パケットが固定チャンネルに着信し、変換キャッシュの中にあるマッピングを含んでいましたが、非固定チャンネルを使用していました。ARP 項目は、固定チャンネルを使用するように更新されました。

ARP.094

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.094 ATM CIP: Rslv ent *protocol_number*/ *protocol_address* nt *network ID*

長構文: ARP.094 ATM CIP: Resolve ATM Arp entry

prot/addr protocol_number/ protocol_address nt network ID

説明: このホストにアドレス指定された着信 ATM ARP パケットまたは InARP パケットには、ARP キャッシュの中にあるプロトコル・アドレスをもつマッピングが含まれていましたが、接続されたチャネルがありませんでした。ARP 項目は、ARP パケットの中の ATM アドレスを使用するように更新されました。ARP 項目はこのチャネルに接続されました。

ARP.095

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.095 ATM CIP: InArp Req sent vpi/ vci protocol_type nt network ID

長構文: ARP.095 ATM CIP: Inverse Arp request sent vpi=vpi, vci= vci prot protocol_type net network ID

説明: あて先 ATM アドレスについてのプロトコル・アドレスを検出するための試みとして、InARP 変換要求が示された VPI および VCI と共にチャネル上に送信されています。

ARP.096

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.096 ATM CIP: Arp_send NULL channel detected, nt network ID

長構文: ARP.096 ATM CIP: Arp_send NULL channel detected, net network ID

説明: 発信 ARP パケットが送信されるはずでしたが、ARP サーバーへのチャネルが活動状態ではありませんでした。パケットは廃棄されます。

ARP.097

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.097 ATM CIP: Arp Req sent protocol_number/ protocol_address nt network ID

長構文: ARP.097 ATM CIP: ATM Arp request sent prot/addr protocol_number/ protocol_address net network ID

説明: ARP 変換要求が、与えられたプロトコル・アドレスについての ATM アドレスを検出するための試みとして、ATM ARP サーバーに送信されています。

ARP.098

レベル: CE_ERROR

短構文: ARP.098 ATM CIP: Dup ent protocol_number/ protocol_address nt network ID

長構文: ARP.098 ATM CIP: Dup ATM Arp entry prot/addr protocol_number/ protocol_address nt network ID

説明: このホストにアドレス指定された着信 ATM ARP パケットまたは InARP パケットには、ARP キャッシュの中にあるプロトコル・アドレスをもつマッピングが含まれており、関連づけられたチャネルがありましたが、関連づけられた ATM アドレスが異なっていました。ARP パケットは無視されます。

ARP.099

レベル: P-TRACE

短構文: ARP.099 Trace ARP/ATMARP frame

長構文: ARP.099 Trace ARP/ATMARP frame

説明: ATM ARP 構成要素に関するパケット・トレース

ARP.100

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.100 DROP: Bridging not enabled on VCC (vpi= vpi, vci= vci), nt network ID

長構文: ARP.100 DROP: Bridging not enabled on VCC (vpi= vpi, vci= vci), network network ID

説明: RFC 1483 に定義されているブリッジ・タイプ上で、フレームが受信されました。しかし、ブリッジングがこの回線で使用可能にされていなかったために、フレームは廃棄されます。

原因: ポイント・ポイント WAN 接続においては、このことはブリッジングが一方の終点ルーターでは使用可能になっており、もう一方では使用不可になっていることを示しています。この構成は誤っています。

処置: 回線の両端で適正なブリッジング動作を使用可能にするか、またはこの VCC に接続されたブリッジ・ポート上でのブリッジングを使用不可にします。言い換えれば、回線の両端でブリッジングを使用可能にするか使用不可にする必要があります。

ARP.101

レベル: C-INFO

短構文: ARP.101 DROP: Bridge port (portnum) not fwding on VCC (vpi= vpi, vci= vci), nt network ID

長構文: ARP.101 DROP: Bridge port (portnum) not forwarding on VCC (vpi= vpi, vci= vci), network network ID

説明: ブリッジ・フレームは、ブリッジ・ポートが転送状態でないために、廃棄されます。

原因: ポートがアップ状態になった直後で、ブロック

化、listen、確認、転送の各状態に進行中であるか、またはスパンニング・ツリー・プロトコルがこのポートをバックアップ・ポートとしてブロック状態に留まらせるように決定した可能性があります。

ARP.102

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.102 DROP: *source_mac-> dest_mac*, Frame to bdg port behav mismatch on VCC (vpi= *vpi*, vci= *vci*), nt *network ID*

長構文: ARP.102 DROP: *source_mac-> dest_mac*, Frame to bridge port behavior mismatch on VCC= (vpi= *vpi*, vci= *vci*), network *network ID*

説明: ブリッジされたフレームが受信されましたが、フレーム・タイプとブリッジ・ポートの動作とが合致しないために、廃棄されます。

原因: ソース・ルーティングされたフレームが、ソース・ルーティングが使用不可になっているブリッジ・ポートで受信されたか、または透過フレームが、透過ブリッジングが使用不可になっているブリッジ・ポートで受信されました。

処置: 回線の両端で適正なブリッジング動作を使用可能にするか、またはこの VCC に接続されたブリッジ・ポート上でのブリッジングを使用不可にします。

ARP.103

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.103 Unsupported bdg frame type = 0x *type*, VCC (vpi= *vpi*, vci= *vci*) on nt *network ID*

長構文: ARP.103 Unsupported bridge frame type = 0x *type* from VCC (vpi= *vpi*, vci= *vci*) on network *network ID*

説明: サポートされないブリッジ・フレーム・タイプが検出され、フレームは廃棄されました。

原因: 受信されたブリッジ・フレームが、802.4 ブリッジ・フレームか、802.6 ブリッジ・フレームか、ブリッジ・プロトコル ID が RFC 1483 でサポートされていないブリッジ・フレームのいずれかでした。

処置: 互換性のあるブリッジング動作が回線の両端で構成されていることを確認して、それでも問題が起こる場合はサービス技術員に連絡してください。

ARP.104

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.104 Unrecgnz outgoing bdg frame type = *type* on VCC (vpi= *vpi*, vci= *vci*) on nt *network ID*

長構文: ARP.104 Unrecognized outgoing bridge frame type = *type* on VCC (vpi= *vpi*, vci= *vci*) on network *network ID*

説明: 発信ブリッジ・フレーム・タイプが認識できません。ブリッジが ATM インターフェースに送信を依頼したフレームのタイプは、RFC 1483 に定義されているカプセル化に変換できません。

原因: ソフトウェアの問題

処置: サービス技術員に連絡してください。

ARP.105

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.105 Unsupported ethertype = 0x *etype* (OUI = 0x *oui*) on VCC (vpi= *vpi*, vci= *vci*) on nt *network ID*

長構文: ARP.105 Unsupported ethernet type = 0x *etype* (OUI = 0x *oui*) on VCC (vpi= *vpi*, vci= *vci*) on network *network ID*

説明: サポートされないイーサネット・タイプが検出されました。

原因: ソフトウェアが古いものであるか、適合していません。サービス技術員に連絡してください。

ARP.106

レベル: U-INFO

短構文: ARP.106 ATM CIP: Var *msgType* info: desc addr *atmAddr*.

長構文: ARP.106 ATM CIP: Variable *msgType* information: desc addr *atmAddr*.

説明: メッセージに関するアドレス情報が可変です。

ARP.107

レベル: U-INFO

短構文: ARP.107 ATM CIP: No MARS cntrl vcc in func *functionCall*.

長構文: ARP.107 ATM CIP: No MARS control vcc while in function call *functionCall*.

説明: MARS 要求メッセージが ATM MARS サーバーに送信中です。

ARP.108

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.108 ATM CIP: Client control blk is null in func *functionCall*.

長構文: ARP.108 ATM CIP: Client control block is null in function call *functionCall*.

説明: 内部機能コールには、ヌルである有効なクライアント制御ブロックを指すポインターが必要です。機能名を記録し、問題を報告してください。

ARP.109

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.109 ATM CIP: Event control blk is null in func *functionCall*.

長構文: ARP.109 ATM CIP: Event control block is null in function call *functionCall*.

説明: 内部機能コールには、ヌルである有効な事象制御ブロックを指すポインターが必要です。機能名を記録し、問題を報告してください。

ARP.110

レベル: U-INFO

短構文: ARP.110 Tx Q ovf in func *functionCall* nt network.

長構文: ARP.110 Transmit queue overflow in function *functionCall* net network.

説明: 送信する必要のある保留の ARP/MARS パケットの待ち行列が長過ぎたため、MARS パケットが待ち行列に追加されずに廃棄されました。これは、ARP/MARS パケットの送信が速過ぎて処理できなかったことを意味しています。

ARP.111

レベル: P-TRACE

短構文: ARP.111 ATM CIP: state MARS Client msg proc for *msgType* a action.

長構文: ARP.111 ATM CIP: state MARS Client message processing for *msgType* a action.

説明: これは、MARS クライアントが実行中のアクションです。

ARP.112

レベル: P-TRACE

短構文: ARP.112 ATM CIP: Msg is a response to an outstanding *msgType*.

長構文: ARP.112 ATM CIP: Message is a response to an outstanding *msgType*.

説明: このメッセージには、この MARS クライアント

で発信された要求に対する MARS サーバーからの応答が入っています。

ARP.113

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.113 ATM CIP: *msgType* msg rcv contains invalid value.

長構文: ARP.113 ATM CIP: *msgType* message received contains and invalid value value.

説明: MARS クライアントにメッセージが送信されましたが、無効値が含まれています。

原因: MARS サーバーに問題があります。

処置: システム管理者に連絡してください。

ARP.114

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.114 ATM CIP: *message*.

長構文: ARP.114 ATM CIP: *message*.

説明: これは、MARS クライアントが実行中のアクションです。

ARP.115

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.115 ATM CIP: *msgType* spec info [spln *srcPln* tpln *targPln* thtl *targHtl* tsstl *tarStl*].

長構文: ARP.115 ATM CIP: *msgType* specific information [spln *srcPln* tpln *targPln* thtl *targHtl* tsstl *tarStl*].

説明: これは、MARS クライアントが送信中または受信中の特定のメッセージ内容です。

ARP.116

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.116 ATM CIP: *msgType* spec info [spln *srcPln* thtl *targHtl* tsstl *targstl* tpln *targPln* tnum *tnumAddr* seqxy *msgPart* msn *marsSeq*].

長構文: ARP.116 ATM CIP: *msgType* specific information [spln *srcPln* thtl *targHtl* tsstl *targstl* tpln *targPln* tnum *tnumAddr* seqxy *msgPart* msn *marsSeq*].

説明: これは、MARS クライアントが送信中または受信中の特定のメッセージ内容です。

ARP.117

レベル: P-TRACE

短構文: ARP.117 ATM CIP: *msgType* spec info [*spln srcPln thtl targhtl tstl targstl flags msgFlags tnum tnumAddr seqxy msgPart msn marsSeq*].

長構文: ARP.117 ATM CIP: *msgType* specific information [*spln srcPln thtl targhtl tstl targstl flags msgFlags tnum tnumAddr seqxy msgPart msn marsSeq*].

説明: これは、MARS クライアントが送信中または受信中の特定のメッセージ内容です。

ARP.118

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.118 ATM CIP: *msgType* spec info [*spln srcPln thtl targhtl tstl targstl tpls targpln tnum tnumAddr msn marsSeq*].

長構文: ARP.118 ATM CIP: *msgType* specific information [*spln srcPln thtl targhtl tstl targstl tpls targpln tnum tnumAddr msn marsSeq*].

説明: これは、MARS クライアントが送信中または受信中の特定のメッセージ内容です。

ARP.119

レベル: U-INFO

短構文: ARP.119 ATM CIP: *action* MARS Client proc for an exp *timType* tim.

長構文: ARP.119 ATM CIP: *action* MARS Client proccessing for an expired *timType* timer.

説明: MARS クライアント・メッセージの処理中に、タイマー・アクションが生じています。

ARP.120

レベル: U-INFO

短構文: ARP.120 ATM CIP: MARS Client Response timer exp for mar\$optype: *opType* .

長構文: ARP.120 ATM CIP: MARS Client Response timer exp for mar\$optype: *opType* .

説明: このメッセージに示されているのは、タイマーが満了した場合の MARS の操作タイプです。

ARP.121

レベル: P-TRACE

短構文: ARP.121 ATM CIP: *action* MARS Client io proc for *reqType*.

長構文: ARP.121 ATM CIP: *action* MARS Client I/O proccessing for *reqType*.

説明: メッセージを受信した結果、MARS クライアントで行われているアクション

ARP.122

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.122 ATM CIP: Channel cntl blk is null in func *functionCall*.

長構文: ARP.122 ATM CIP: Channel control block is null in function call *functionCall*.

説明: 内部機能コールには、ヌルである有効なチャンネル制御ブロックを指すポインターが必要です。機能名を記録し、問題を報告してください。

ARP.123

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.123 ATM CIP: atmAddLeaf Failure (rc=*return_code*): Clnt prot/addr *protocol_number*/ *protocol_address* nt *network ID*

長構文: ARP.123 ATM CIP: atmAddLeaf Failure (rc=*return_code*): Client protocol/address *protocol_number*/ *protocol_address* net *network ID*

説明: 構成された SVC にリーフの追加を試みているときに、装置ドライバーのサービスが SUCCESS 以外の値を返しました。

ARP.124

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.124 ATM CIP: atmAddLeaf Failure destination: AtmAddr= *vcc_remote_atm_address*

長構文: ARP.124 ATM CIP: atmAddLeaf Failure destination: AtmAddr= *vcc_remote_atm_address*

説明: 構成された SVC にリーフの追加を試みているときに、装置ドライバーのサービスが SUCCESS 以外の値を返しました。これは、リーフの確立が試みられているリモート端末のアドレスです。

ARP.125

レベル: C-INFO

短構文: ARP.125 ATM CIP: atmAddLeaf Success: Clnt prot/addr *protocol_number/ protocol_address* nt *network ID*

長構文: ARP.125 ATM CIP: atmAddLeaf Success: Clnt protocol/address *protocol_number/ protocol_address* net *network ID*

説明: リーフが正常に追加されました。このリーフは、VC の 1 つに対するリーフとしてアクティブ・チャネル・リストに表示される必要があります。まだ応答はされていません。応答されると、AddLeafAck メッセージがログに表示されます。

ARP.126

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.126 ATM CIP: Problem processing Redirect list (rc= *return_code*).

長構文: ARP.126 ATM CIP: Problem processing Redirect list (rc= *return_code*).

説明: MARS_REDIRECT メッセージから入手したバックアップ MARS サーバーの確認済みリストの処理を試みている最中に、エラーが発生しました。

ARP.127

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.127 ATM CIP: Protocol control blk is null in func *functionCall*.

長構文: ARP.127 ATM CIP: Protocol control block is null in function call *functionCall*.

説明: 内部機能コールには、ヌルである有効なプロトコル制御ブロックを指すポインターが必要です。機能名を記録し、問題を報告してください。

ARP.129

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.129 Invalid TLV values *tlvRc*

長構文: ARP.129 Invalid TLV values *tlvRc*

説明: MARS クライアントにメッセージが送信されましたが、無効の TLV 値が含まれています。

原因: MARS サーバーに問題があります。

処置: システム管理者に連絡してください。

ARP.130

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.130 Invalid version *opVersion*

長構文: ARP.130 Invalid MARS operation version specified in message *opVersion*

説明: MARS クライアントにメッセージが送信されましたが、無効のバージョンが含まれています。

原因: MARS サーバーに問題があります。

処置: システム管理者に連絡してください。

ARP.131

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.131 Unsupported op value *opValue*

長構文: ARP.131 Invalid MARS operation value specified in message *opValue*

説明: MARS クライアントにメッセージが送信されましたが、無効の操作が含まれています。

原因: MARS サーバーに問題があります。

処置: システム管理者に連絡してください。

ARP.132

レベル: CE-ERROR

短構文: ARP.132 Out of sequence op type *opType*

長構文: ARP.132 Sequence error in MARS operation type specified in message *opType*

説明: MARS クライアントにメッセージが送信されましたが、無効の操作が含まれています。

原因: タイミング・エラー

処置: 問題が継続する場合は、システム管理者に連絡してください。

ARP.133

レベル: U-INFO

短構文: ARP.133 Registration with MARS server rc = *registerRc*

長構文: ARP.133 The client has attempted to register with the MARS server and has received a response of *registerRc*.

説明: MARS への登録要求に対する非ゼロ応答

原因: 正常

処置: 問題が継続する場合は、システム管理者に連絡してください。

ARP.134

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.134 ATM CIP: *msgType action: fixhdr[afn addrFamily pro proType snap pSnap0 pSnap1 pSnap2 pSnap3 pSnap4 chksum checksum ext extoff ver opVersion shtl addrTypeLen sstl subAddrTypeLen] on nt network ID.*

長構文: ARP.134 ATM CIP: A *msgType* message was *action* with a fixed header of [*afn addrFamily pro proType snap pSnap0 pSnap1 pSnap2 pSnap3 pSnap4 chksum checksum ext extoff ver opVersion shtl addrTypeLen sstl subAddrTypeLen*] on *net network ID*.

説明: これは、MARS クライアントが送信中または受信中のメッセージの固定ヘッダーです。

ARP.135

レベル: U-INFO

短構文: ARP.135 ATM CIP *ArpDisconnectLeaf: rsn= reason_code, cause= cause_code, diagLen= diag_len, diagData[0]= diag_data vpi= vcc_vpi, vci= vcc_vci, LeafAtmAddr= leaf_remote_atm_address*

長構文: ARP.135 ATM CIP *ArpDisconnectLeaf: rsn= reason_code, cause= cause_code, diagLen= diag_len, diagData[0]= diag_data vpi= vcc_vpi, vci= vcc_vci, LeafAtmAddr= leaf_remote_atm_address*

説明: このメッセージに含まれている情報は、リーフが解放された理由です。また、このリーフがメンバーになっていたチャンネル VPI/VCI、ならびにこのリーフの ATM アドレスを示す情報も含まれています。

ARP.136

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.136 ATM CIP *atmArpRcvFrame: Unknown prototype value= vauleNum nt network ID*

長構文: ARP.136 ATM CIP *atmArpRcvFrame: Unknown prototype value= vauleNum nt network ID*

説明: 指定されたネットワーク以外で、不明のプロトコル ID をもつパケットが受信されました。これは予想されたトラフィックである場合も、そうでない場合もあります。いずれの場合も、パケットは廃棄されます。転送はされません。

ARP.137

レベル: U-INFO

短構文: ARP.137 ATM CIP *atmArpAddLeafAck: vpi= vcc_vpi, vci= vcc_vci, LeafAtmAddr= leaf_remote_atm_address*

長構文: ARP.137 ATM CIP *atmArpAddLeafAck: vpi= vcc_vpi, vci= vcc_vci, LeafAtmAddr= leaf_remote_atm_address*

説明: ポイント・マルチポイント(1 地点多地点) 間のコールへの新規パーティの追加が正常に行われたことを確認します。

ARP.138

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.138 ATM CIP: *msgType spec info [spln srcPln tpls targPln pnum numPairs seq priSeq flags msgFlags cmi clusterId msn marsSeq].*

長構文: ARP.138 ATM CIP: *msgType* specific information [*spln srcPln tpls targPln pnum numPairs seq priSeq flags msgFlags cmi clusterId msn marsSeq*].

説明: これは、MARS クライアントが送信中または受信中の特定のメッセージ内容です。

ARP.139

レベル: U-INFO

短構文: ARP.139 ATM CIP: *atmaActivateServer Current Active Arp Server: AtmAddr= vcc_remote_atm_address*

長構文: ARP.139 ATM CIP: *atmaActivateServer Current Active Arp Server: AtmAddr= vcc_remote_atm_address*

説明: これは、現行の動作可能 ARP サーバーの ATM アドレスです。

ARP.140

レベル: U-INFO

短構文: ARP.140 ATM CIP: *start_SG failed: retcd= retcd, protid= protid, sgid= sgid, lsid= lsid, net= net#*

長構文: ARP.140 ATM CIP: *start_SG failed: retcd= retcd, protid= protid, sgid= sgid, lsid= lsid, net= net#*

説明: SCSP によるサーバー・グループの開始が正常に行われませんでした。このサーバー・グループはすでに開始されていた可能性があります。異なるサブネットに同じサーバー・グループ ID が構成されている可能性もあります。サーバー・グループ ID は、各サブネットごとにそれぞれ固有である必要があります。

ARP.141

レベル: U-INFO

短構文: ARP.141 ATM CIP:AAL IE:Negotiating SDU sizes, Remote Station fwd max SDU sz (*fwd_max_SDU_size*)

長構文: ARP.141 ATM CIP:AAL IE:Negotiating SDU sizes

with Remote Station, Remote Station forward maximum SDU size (*fwd_max_SDU_size*)

説明: リモート端末の順方向最大 SDU サイズが、ユーザーの逆方向最大 SDU サイズを上回っています。リモート端末との間で SDU サイズについて折衝します。

ARP.142

レベル: U-INFO

短構文: ARP.142 ATM CIP:AAL IE:Negotiating SDU sizes, Remote Station bak max SDU sz (*bak_max_SDU_size*)

長構文: ARP.142 ATM CIP:AAL IE:Negotiating SDU sizes with Remote Station, Remote Station backward maximum SDU size (*bak_max_SDU_size*)

説明: リモート端末の逆方向最大 SDU サイズが、ユーザーの順方向最大 SDU サイズを上回っています。リモート端末との間で SDU サイズについて折衝します。

ARP.143

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.143 ATM CIP: No Chan *protocol_number/protocol_address* nt *network ID*

長構文: ARP.143 ATM CIP: Entry rcvd on Down Channel, prot/addr *protocol_number/protocol_address* nt *network ID*

説明: 着信 ATM ARP パケットが到着したチャンネルがダウンしていて、パケットを処理できませんでした。パケットは廃棄されます。

ARP.144

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.144 xmt: No mem for csa ent, prot *protocol_type* nt *network ID*

長構文: ARP.144 transmit: No memory for csa record, protocol *protocol_type* net *network ID*

説明: ARP パケットの出力処理時に、ルーターは、指定の ARP 項目のクライアント状態公示 (csa) レコードを通して SCSP を通知するために使用できる記憶域がありませんでした。

原因: ルーターはヒープ記憶域が極端に少ない状態です。

処置: 記憶域の使用量を減らす方法を見つけてください。

ARP.145

レベル: P-TRACE

短構文: ARP.145 ATM CIP: InArp bad subnet *protocol_number/protocol_address* nt *network ID*

長構文: ARP.145 ATM CIP: InArp received from another subnet, prot/addr *protocol_number/protocol_address* nt *network ID*

説明: InArp パケットを受信しましたが、発信元プロトコル・アドレスがこのインターフェース上に定義されたサブネットの 1 つではありません。パケットは無視されます。

ARP.146

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.146 ATM CIP: bad red call rcvd: Clnt prot/addr *protocol_number/protocol_address* nt *network ID*

長構文: ARP.146 ATM CIP: bad red call received: Client protocol/address *protocol_number/protocol_address* net *network ID*

説明: CIP 冗長用に定義されたローカル ATM アドレスあてのコールを受信しましたが、次の理由の 1 つにより、応答されませんでした。 * コールされる側が発信用に構成されている * コールされる側がすでに冗長チャンネルを持っている * コーラー ATM アドレスが、構成されたコーラー ATM アドレスと一致していない。コーラー ATM アドレスは ARP_86 に従います。このボックスとそのパートナーの CIP 冗長構成を検査してください。

ARP.147

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.147 ATM CIP: ARP Pkt on rcv-only *protocol_number/protocol_address* nt *network ID*

長構文: ARP.147 ATM CIP: ARP Packet received on receive-only channel, prot/addr *protocol_number/protocol_address* nt *network ID*

説明: 着信 ATM ARP パケットが、データの受信専用のチャンネルに到着しました。パケットは廃棄されます。最も考えられる原因は、このチャンネルの逆方向 SDU サイズが、このインターフェースに構成されている SDU より小さかったことです。

第4章 拡張ピアツー・ピア・ネットワーキング機能 (APPN)

この章では、拡張ピアツー・ピア・ネットワーキング機能 (APPN) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

APPN.001

レベル: C-INFO

短構文: APPN.001 Rcvd netup for intf *n_net*

長構文: APPN.001 Received netup for interface *n_net*

説明: このメッセージは、インターフェースによって netup が受信されるごとに生成されます。

APPN.002

レベル: C-INFO

短構文: APPN.002 Rcvd netdn for intf *n_net*

長構文: APPN.002 Received netdown for interface *n_net*

説明: このメッセージは、インターフェースによって netdown が受信されるごとに生成されます。

APPN.003

レベル: C-INFO

短構文: APPN.003 Discarding APPN HPR pkt rcvd on dn intf.

長構文: APPN.003 Discarding APPN HPR packet received on down interface.

説明: このメッセージは、現在ダウンしているポートにパケットが送信された場合に生成されます。

APPN.004

レベル: C-INFO

短構文: APPN.004 Unkwn Dialog Msge rcvd

長構文: APPN.004 Unknown Dialog Message received

説明: EGPE から確認不能ダイアログ・メッセージを受信した場合に生成されます。

APPN.008

レベル: C-INFO

短構文: APPN.008 APPN dumped to file

長構文: APPN.008 APPN dumped to file

説明: このメッセージは、APPN が talk 5 によってダン

プを取ったときに生成されます。

APPN.009

レベル: C-INFO

短構文: APPN.009 Stop APPN node

長構文: APPN.009 Message has been sent to stop APPN node.

説明: このメッセージは、APPN が talk 5 によって停止を指示された場合に生成されます。

APPN.010

レベル: C-INFO

短構文: APPN.010 APPN node not running

長構文: APPN.010 APPN node is not running so cannot support talk 5 command.

説明: このメッセージは、talk 5 コマンドを実行しようとした際に APPN が実行されていない場合に生成されます。

APPN.011

レベル: UE-ERROR

短構文: APPN.011 APPN LOG: *logged_string*

長構文: APPN.011 APPN LOG: *logged_string*

説明: このメッセージは、APPN サブシステムがログ項目を生成する場合に生成されます。通常、ログ項目はエラー状態を報告します。詳細については、ログが記録されているテキストを参照してください。

原因: APPN サブシステム内でエラーが発生しました。

APPN.012

レベル: UE-ERROR

短構文: APPN.012 APPN LOG: Part: *segment_num* Text: *logged_string*

長構文: APPN.012 APPN LOG: Part: *segment_num* Text: *logged_string*

説明: このメッセージは、APPN サブシステムが長いログ項目を生成する場合に生成されます。通常、ログ項目

はエラー状態を報告します。詳細については、ログが記録されているテキストを参照してください。

原因: APPN サブシステム内でエラーが発生しました。

APPN.013

レベル: C-INFO

短構文: APPN.013 APPN Msg: Comp: *component_name* PrID: *Probe_ID* Op: *Operator_Name* Text: *message*

長構文: APPN.013 APPN Messaeg: Component: *component_name* Probe ID: *Probe_ID* Operator: *Operator_Name*TextL *message*

説明: このメッセージは、APPN 構成要素がユーザーにメッセージを表示するときに生成されます。

原因: ユーザーに知らせる必要のあるすべての状態。

APPN.014

レベル: P-TRACE

短構文: APPN.014 *trace_info*

長構文: APPN.014 *trace_info*

説明: APPN のデータ・リンク制御送受信トレースが使用可能になっているときに、このメッセージは XID および PIU を表示します。

原因: APPN が XID または PIU をトレースしています。

APPN.015

レベル: P-TRACE

短構文: APPN.015 *trace_info*

長構文: APPN.015 *trace_info*

説明: APPN ノード・レベル・トレースが使用可能になっているときに、このメッセージは APPN ノード・レベル・トレースを表示します。

原因: APPN ノード・レベル・トレースが生成されています。

APPN.016

レベル: P-TRACE

短構文: APPN.016 *trace_info*

長構文: APPN.016 *trace_info*

説明: APPN 構成要素レベル・トレースが使用可能になっているときに、このメッセージは APPN 構成要素レベル・トレースを表示します。

原因: APPN 構成要素レベル・トレースが生成されました。

APPN.017

レベル: ALWAYS

短構文: APPN.017 *msg*

長構文: APPN.017 *msg*

説明: aping 出力

原因: talk 5 から -b オプションの付いた aping が出されました。

APPN.018

レベル: UE-ERROR

短構文: APPN.018 *msg*

長構文: APPN.018 *msg*

説明: TN3270E サーバー NetDisp アドバイザー・ログ

原因: TN3270E サーバー NetDisp アドバイザーの設定時のエラー

APPN.023

レベル: C-INFO

短構文: APPN.023 DX *st1 st2 st3 st4*

長構文: APPN.023 DX *st1 st2 st3 st4*

説明: DLCX の活動化、非活動化、およびエラーの事例をトレースします。データのトレースではありません。

APPN.024

レベル: C-INFO

短構文: APPN.024 *** *msg****

長構文: APPN.024 *** *msg****

説明: このメッセージは、APPN CFG からの一般情報です。

APPN.025

レベル: UE-ERROR

短構文: APPN.025 *** *msg****

長構文: APPN.025 *** *msg****

説明: このメッセージは、APPN CFG からのエラー情報です。

APPN.026

レベル: UE-ERROR

短構文: APPN.026 *msg*

長構文: APPN.026 *msg*

説明: このメッセージは、EGPE から呼び出されたエラー・ログから生成されます。エラー・ログは、メッセージを 70 バイトのストリングに分解し、断片の状態で ELS に渡します。

APPN.027

レベル: C-INFO

短構文: APPN.027 APPN *msg*

長構文: APPN.027 EGPE/APPN node process was *msg* second.

説明: EGPE の MOS スケジューラーがノードを停止または再始動したことを、時刻と共に示します。

APPN.028

レベル: ALWAYS

短構文: APPN.028 APPN *msg*

長構文: APPN.028 APPN *msg*

説明: APPN 操作での重大な事象 (APPN 異常終了ダンプのような) を示します。

第5章 AppleTalk フェーズ 2 (AP2)

この章では、AppleTalk フェーズ 2 (AP2) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

AP2.003

レベル: P-TRACE

短構文: AP2.003 q ovf *src_net/ src_node -> dest_net/ dest_node* nt network

長構文: AP2.003 queue overflow *src_net/ src_node -> dest_net/ dest_node* net network

説明: 指定のパケットは、転送機能の入力待ち行列をオーバーフローさせたので、廃棄されました。

AP2.005

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.005 pkt trnc *length* pkt ln *received_length* *src_net/ src_node -> dst_net/ dst_node*

長構文: AP2.005 packet truncated *length* packet *length* *received_length* *src_net/ src_node -> dst_net/ dst_node*

説明: 受信したパケットの物理長さが不十分であったため、DDP ヘッダーで要求された長さのパケットを収めることができませんでした。両方の長さとも、含まれているのは DDP ヘッダーとデータだけで、データ・リンク・ヘッダーの LAP ヘッダーが含まれていません。

AP2.007

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.007 bd hdr cksum frm *src_net/ src_node*, rcv *rcvd_csum*, comp *comp_csum*

長構文: AP2.007 bad header checksum from *src_net/ src_node*, received *rcvd_csum*, computed *comp_csum*

説明: 指定のパケットを計算したチェックサム値が、DDP ヘッダー内のチェックサム値と一致しませんでした。

AP2.008

レベル: U-INFO

短構文: AP2.008 no rte *src_net/ src_node -> dest_net/ dest_node*

長構文: AP2.008 no route *src_net/ src_node -> dest_net/ dest_node*

説明: 指定されたパケットのルート指定を試みている間、あて先ネットのルーティング・テーブル・エントリが見付かりませんでした。

AP2.009

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.009 hp cnt ovf *src_net/ src_node -> dest_net/ dest_node*

長構文: AP2.009 hop count overflow *src_net/ src_node -> dest_net/ dest_node*

説明: 転送を試みているときにパケット・ホップ・カウントがオーバーフローしたために、指定のパケットは廃棄されました。

原因: パケットのホップ・カウントがオーバーフローするのは、一般的に、ルーティング・ループが原因です。通常、これは一時的な状態です。

処置: 問題が頻発したり継続したりする場合は、ネットワーク構成が不適切でないかどうか調べてください。

AP2.010

レベル: UI-ERROR

短構文: AP2.010 no iorb for copy

長構文: AP2.010 no i/o request block to copy packet

説明: システムは、パケットの内部処理のために、送信された同報通信パケットのコピーを作成しようとしていましたが、パケットをコピーするためのシステム・バッファを割り振ることができませんでした。パケットは引き続き転送しようとされますが、ローカル・コピーは受け取りません。

原因: ルーターにバッファ不足があります。これは一時的な状態である可能性があります。

AP2.011

レベル: UI-ERROR

短構文: AP2.011 No RTMP entry for FwdReq pkt to nt *dest_net*, rcvd nt network

長構文: AP2.011 No RTMP entry for FwdReq pkt to net *dest_net*, received net network

説明: Apple NBP 転送要求パケットを受信しましたが、RTMP にそのネットワークに関するエントリーがないか、ネットがすでに直接接続されていないか、いずれかです。

AP2.012

レベル: P-TRACE

短構文: AP2.012 *src_net/ src_node -> dest_net/ dest_node*

長構文: AP2.012 *src_net/ src_node -> dest_net/ dest_node*

説明: 指定の AppleTalk パケットが転送されました。

AP2.013

レベル: UI-ERROR

短構文: AP2.013 *pkt too lg pkt_len > max_len nt network src_net/ src_node -> dest_net/ dest_node*

長構文: AP2.013 *packet too large pkt_len > max_len net network src_net/ src_node -> dest_net/ dest_node*

説明: パケットが出力ネットワークのパケット最大長を超えたので、廃棄されました。

AP2.014

レベル: UI-ERROR

短構文: AP2.014 *pkt src_net/ src_node -> dest_net/ dest_node dsc, rsn code*

長構文: AP2.014 *packet src_net/ src_node -> dest_net/ dest_node discarded, reason code*

説明: エラー・コードで示されている理由により、出力パケットが正常に転送されませんでした。

AP2.017

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.017 *bad dst skt socket*

長構文: AP2.017 *bad destination socket socket*

説明: ローカルであて先指定されたパケットに入っているあて先ソケットには、受信者が存在しませんでした。

AP2.018

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.018 *unk prt tp type*

長構文: AP2.018 *unkown protocol type type*

説明: ローカルであて先指定されたパケットの Protokol・タイプ・フィールドに、認知されない値が入っていました。

AP2.019

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.019 *no uniq nd addr avial nt network*

長構文: AP2.019 *no unique node address available net network*

説明: ハンドラーが、このネットワークで利用可能な固有のノード・アドレスを見つけることができませんでした。

原因: ネットワークには、すでに最大数のノードが存在しています。すべての番号が使用されています。 ネット範囲を拡張する必要があります。

AP2.020

レベル: C-INFO

短構文: AP2.020 *nt/nd addr assgnd net_number/ node_number nt network*

長構文: AP2.020 *net/node address assigned net_number/ node_number net network*

説明: 示されているネット/ノード・アドレスが、指定のインターフェースに割り当てられています。

AP2.021

レベル: C-INFO

短構文: AP2.021 *intfc up net_num/ node_num nt network*

長構文: AP2.021 *interface up net_num/ node_num net network*

説明: 指定のインターフェースは、ネットとノード・アドレスの両方が確保されており、現在アップ状態で、ゾーン名を探しています。

AP2.022

レベル: C-INFO

短構文: AP2.022 *intfc up net_num/ node_num zn zone_name nt network*

長構文: AP2.022 *interface up net_num/ node_num zone zone_name net network*

説明: 指定のインターフェースは、ネット、ノード、およびゾーン名が確保されており、現在アップ状態です。

AP2.027

レベル: UI-ERROR

短構文: AP2.027 *no mem for NBP pkt*

長構文: AP2.027 no memory for NBP packet

説明: NBP パケットの送信に IORB が利用不能でした。

AP2.028

レベル: UI-ERROR

短構文: AP2.028 NBP *type* disc nt *network* rsn *error_code*

長構文: AP2.028 NBP *type* discarded net *network* reason *error_code*

説明: 示されている理由により、NBP パケットが送信されませんでした。

AP2.029

レベル: P-TRACE

短構文: AP2.029 NBP *type* snt to net *net_number*

長構文: AP2.029 NBP *type* sent to net *net_number*

説明: NBP パケットが、示されているネットに送信されました。

AP2.031

レベル: UI-ERROR

短構文: AP2.031 no mem for AARP Probe

長構文: AP2.031 no memory for AARP Probe

説明: AARP プローブ・パケット用のバッファが利用不能でした。

AP2.032

レベル: UI-ERROR

短構文: AP2.032 AARP Probe disc nt *network* rsn *error_code*

長構文: AP2.032 AARP Probe discarded net *network* reason *error_code*

説明: 示されている理由により、Apple ARP プローブが送信されませんでした。

AP2.033

レベル: P-TRACE

短構文: AP2.033 AARP Probe snt nt *network*

長構文: AP2.033 AARP Probe sent net *network*

説明: Apple ARP プローブが、示されているネット上で送信されました。

AP2.034

レベル: C-INFO

短構文: AP2.034 AARP Rsps match tentative addr, new addr selected nt *network*

長構文: AP2.034 AARP Response match tentative addr, new addr selected nt *network*

説明: 暫定アドレスを要求したプローブに対する Apple ARP 応答を受信しました。プローブを継続するために、新しいノード・アドレスが選択されました。

AP2.035

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.035 Unrec AARP pkt typ *arp_type* rcvd nt *network*

長構文: AP2.035 Unrecognized AARP packet type *arp_type* received net *network*

説明: 認知できないタイプの Apple ARP パケットを受信しました。

AP2.036

レベル: P-TRACE

短構文: AP2.036 AARP Probe rcvd *src_net/ src_node* nt *network*

長構文: AP2.036 AARP Probe received *src_net/ src_node* net *network*

説明: Apple ARP プローブ・パケットを受信しました。

AP2.037

レベル: UI-ERROR

短構文: AP2.037 AARP Response disc nt *network* rsn *error_code*

長構文: AP2.037 AARP Response discarded net *network* reason *error_code*

説明: 示されている理由により、Apple ARP 応答が送信されませんでした。

AP2.038

レベル: P-TRACE

短構文: AP2.038 AARP Response snt nt *network*

長構文: AP2.038 AARP Response sent net *network*

説明: プローブに対する Apple ARP 応答が、示されているネット上で送信されました。

AP2.039

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.039 Echo pkt short (*length*) frm *src_net/ src_node* nt *network*

長構文: AP2.039 Echo packet too short (*length* bytes) from *src_net/ src_node* net *network*

説明: エコー・パケットを受信しましたが、短過ぎてエコー・パケット・ヘッダーが入りませんでした。

AP2.040

レベル: U-TRACE

短構文: AP2.040 Echo pkt, func *function_code*, frm *src_net/ src_node* nt *network*

長構文: AP2.040 Echo packet, echo function *function_code*, received from *src_net/ src_node* net *network*

説明: 指定のノードからエコー・プロトコル・パケットを受信しましたが、エコー要求でもエコー応答でもありませんでした。これには応答されません。

AP2.041

レベル: P-TRACE

短構文: AP2.041 Echo Req frm *src_net/ src_node* nt *network*, rplyng

長構文: AP2.041 Echo Request from *src_net/ src_node* net *network*, replying

説明: 指定のホストから、エコー要求パケットを受信しました。応答が送信されます。

AP2.045

レベル: UI-ERROR

短構文: AP2.045 Echo Rply disc nt *network* rsn *error_code*

長構文: AP2.045 Echo Reply discarded net *network* reason *error_code*

説明: 示されている理由により、エコー応答が送信されませんでした。

AP2.047

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.047 pkt too short (*length*) net *network*

長構文: AP2.047 Long DDP packet too short for header (*length* bytes) net *network*

説明: 長形式 DDP パケットを受信しましたが、長形式

DDP ヘッダーの長さ (13 バイト) より短くなっています。

AP2.048

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.048 pkt too long (*length*) *src_net/ src_node* -> *dst_net/ dst_node*

長構文: AP2.048 Long DDP packet too long (*length* bytes) *src_net/ src_node* -> *dst_net/ dst_node*

説明: 長形式 DDP パケットを受信しましたが、DDP ヘッダーの後に 586 バイトの限界を超えるデータがあります。

AP2.049

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.049 DDP rsvd bits *src_net/ src_node* -> *dst_net/ dst_node*

長構文: AP2.049 Long DDP packet reserved bit(s) set *src_net/ src_node* -> *dst_net/ dst_node*

説明: 長形式 DDP パケットを受信しましたが、ホップ・カウント上で 2 つの予約ビットのうちの 1 つ（または複数）が設定されています。

AP2.056

レベル: P-TRACE

短構文: AP2.056 *source_net/ source_node* -> *destination_net/ destination_node* nt *network* ign

長構文: AP2.056 *source_net/ source_node* -> *destination_net/ destination_node* net *network* ignored

説明: AppleTalk パケットが認知されましたが、インターフェースで AppleTalk 転送機能が使用可能にされていないだったので無視されました。

AP2.059

レベル: UI-ERROR

短構文: AP2.059 Ilg zone *zone_name* seed w/o net seed nt *network*

長構文: AP2.059 Illegal zone *zone_name* seed without *network* seed net *network*

説明: ユーザーは、ネットワーク番号が構成されていないネットワークのゾーン名を構成しました。ゾーン名は無視されます。

AP2.060

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.060 NBP bd cnt *tuple_count* in type frm *src_net/ src_node* nt *network*

長構文: AP2.060 NBP bad count *tuple_count* in type from *src_net/ src_node* nt *network*

説明: 指定のホストからの NBP 要求パケットに入っていたタプル・カウントがイリーガルで、1 ではありませんでした。

AP2.061

レベル: P-TRACE

短構文: AP2.061 NBP type rcvd frm *src_net/ src_node* nt *network*

長構文: AP2.061 NBP type received from *src_net/ src_node* nt *network*

説明: 指定のホストから NBP 同報通信要求または転送要求を受信しました。

AP2.062

レベル: U-INFO

短構文: AP2.062 no known zn nm for nt *net_num* in NBP BrRq frm *src_net/ src_node*

長構文: AP2.062 no known zone name for net *net_num* in NBP BrRq from *src_net/ src_node*

説明: BrRq パケットで要求されたネットの関連ゾーン名が見付かりませんでした。

AP2.063

レベル: U-INFO

短構文: AP2.063 zn *zone_name* not fnd in ZIT, NBP BrRq frm *src_net/ src_node*

長構文: AP2.063 zone *zone_name* not found in ZIT, NBP BrRq from *src_net/ src_node*

説明: 指定のホストからの BrRq で要求されたゾーンが、ゾーン情報テーブル内で見つかりませんでした。

AP2.064

レベル: UI-ERROR

短構文: AP2.064 no mem for NBP stat block, BrRq frm *src_net/ src_node* ign

長構文: AP2.064 no memory for NBP status block, BrRq from *src_net/ src_node* ign

説明: 指定のホストからの NBP BrRq を処理するための、状況ブロック用の記憶域が利用不能でした。

AP2.065

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.065 NBP shrt (*length*) frm *src_net/ src_node* nt *network*

長構文: AP2.065 NBP short (*length* bytes) from *src_net/ src_node* nt *network*

説明: NBP パケットを受信しましたが、短過ぎて NBP ヘッダーが入りません。パケットは廃棄されます。

AP2.066

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.066 NBP bd func *function* frm *src_net/ src_node* nt *network*

長構文: AP2.066 NBP bad function *function* from *src_net/ src_node* nt *network*

説明: NBP パケットを受信しましたが、機能コードがサポートされないものでした。パケットは廃棄されます。

AP2.067

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.067 NBP trnc (*length*) frm *src_net/ src_node* nt *network*

長構文: AP2.067 NBP truncated (*length* bytes) from *src_net/ src_node* nt *network*

説明: NBP パケットを受信しましたが、短過ぎて NBP データが収まりません。パケットは廃棄されます。

AP2.068

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.068 NBP type ilg *field* len *length* frm *src_net/ src_node* nt *network*

長構文: AP2.068 NBP type ilg *field* len *length* from *src_net/ src_node* nt *network*

説明: NBP パケットを受信しましたが、エンティティ名の名の長さが 32 文字を超えています。パケットは廃棄されます。

AP2.069

レベル: P-TRACE

短構文: AP2.069 NBP *type* snt to net *net_number* node
node_number

長構文: AP2.069 NBP *type* sent to net *net_number* node
node_number

説明: NBP パケットが、示されているあて先に送信されました。

AP2.070

レベル: P-TRACE

短構文: AP2.070 NBP LkUp rcvd frm *src_net/ src_node*
nt network

長構文: AP2.070 NBP LookUp received from *src_net/*
src_node net *network*

説明: 指定のホストから NBP ルックアップ要求を受信しました。

第6章 AppleTalk フェーズ 2 ルーティング・テーブル保守プロトコル (R2MP)

この章では、AppleTalk フェーズ 2 ルーティング・テーブル保守プロトコル (R2MP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

R2MP.003

レベル: U-INFO

短構文: R2MP.003 nt num inferred *net_number* nt *network*

長構文: R2MP.003 net number inferred *net_number* net *network*

説明: RTMP データ・パケットからネットワーク番号が推論され、指定のインターフェースに割り当てられました。

R2MP.004

レベル: UE-ERROR

短構文: R2MP.004 nt nmbrs cnflct frm *net_num/ src_node* not in *net_num- net_num* on nt *network*

長構文: R2MP.004 net numbers conflict from *net_num/ src_node* not in *net_num- net_num* on nt *network*

説明: RTMP パケットの発信元ネットワーク番号が、指定のインターフェースの現在使用されているネットワーク範囲と競合しています。

原因: ネットワーク上のいずれかのホストの構成エラー。

処置: 同じネットワーク上の複数のルーターが、必ず 1 つだけのネットワーク範囲を送達するようにしてください。

R2MP.005

レベル: UE-ERROR

短構文: R2MP.005 bd net *net_range* in RTMP frm *src_net/ src_node*

長構文: R2MP.005 bad net *net_range* in RTMP from *src_net/ src_node*

説明: 指定のルーターからの RTMP データ・パケットで、無効なネットワーク範囲が検出されました。

R2MP.006

レベル: UI-ERROR

短構文: R2MP.006 nt rtng tbl ovrfl, dsc *net_range*

長構文: R2MP.006 network routing table overflow, discarding *net_range*

説明: ルーティング・テーブルへの指定されたネットの挿入が実行されませんでした。ヒープ記憶域の割り振りが失敗したためです。

処置: 問題が慢性化する場合は、(1) メモリーをアップグレードするか、(2) 不必要な機構をオフにすることによって、使用可能なヒープ記憶域を増やします。AppleTalk フィルターを使用して不必要なルーティング情報をフィルターに掛けて除去して、AppleTalk テーブルのサイズを小さくすることもできます。

R2MP.007

レベル: U-INFO

短構文: R2MP.007 rte to *net_range* via *gw_net/ gw_node* excds max hps, disc

長構文: R2MP.007 rte to *net_range* via *gw_net/ gw_node* exceeds max hops, discarded

説明: RTMP データ・パケットに、指定されたネットへの新しいルートが入っていましたが、ホップ・カウントが大き過ぎます。ルートは廃棄されました。

R2MP.008

レベル: U-INFO

短構文: R2MP.008 new rte to *net_range* via *gw_net/ gw_node*, hops *hops*

長構文: R2MP.008 new route to *net_range* via *gw_net/ gw_node*, hops *hops*

説明: 指定の最初のホップを介して、新しいルートがルーティング・テーブルに追加されました。

R2MP.009

レベル: U-INFO

短構文: R2MP.009 *rte to net_range via gw_net/ gw_node dltd, hopc excded*

長構文: R2MP.009 *rte to net_range via gw_net/gw_node deleted, hopcount exceeded*

説明: 指定のネットワークへのルートは、新しいルートのホップ・カウントが大き過ぎるので、ルーティング・テーブルから削除されました。

R2MP.010

レベル: U-INFO

短構文: R2MP.010 *rte to net_range aged away*

長構文: R2MP.010 *rte to net_range aged away*

説明: 指定のネットワークへのルートは、古くなったので、ルーティング・テーブルから削除されました。

R2MP.011

レベル: UI-ERROR

短構文: R2MP.011 *no mem RTMP brdcst nt network, packet_count pkts snt*

長構文: R2MP.011 *no memory for RTMP broadcast net network, packet_count packets sent*

説明: RTMP データ・パケットを送信するためのバッファ用の記憶域を入手できませんでした。報告されている数のパケットが、エラーの発生前に送信されました。

R2MP.012

レベル: UI-ERROR

短構文: R2MP.012 *Outgng disc nt network rsn error_code*

長構文: R2MP.012 *Outgoing discarded net network reason error_code*

説明: 指定の理由により、発信 RTMP パケットが正しく送信できませんでした。

R2MP.014

レベル: P-TRACE

短構文: R2MP.014 *rqst rcv frm src_net/ src_node nt network*

長構文: R2MP.014 *Request received from src_net/ src_node net network*

説明: 指定のホストから RTMP 要求を受信しました。

RTMP 応答が送信されます。

R2MP.017

レベル: P-TRACE

短構文: R2MP.017 *Snt nt network pkts packet_count*

長構文: R2MP.017 *Sent net network packets packet_count*

説明: 指定のインターフェースで、示されている数の RTMP データ・パケットが送信されました。

R2MP.019

レベル: U-INFO

短構文: R2MP.019 *del nt net_range rt via net_num/ node_num nt network*

長構文: R2MP.019 *del network net_range route via net_num/ node_num net network*

説明: 指定のネットワークへのルートが、ルーティング・テーブルから削除されました。

R2MP.023

レベル: UE-ERROR

短構文: R2MP.023 *Dta bd len (length) frm src_net/ src_node nt network*

長構文: R2MP.023 *Data bad length (length bytes) from src_net/ src_node net network*

説明: RTMP データ・パケットまたは応答パケットは、RTMP ルーティング・タブルの数が偶数 (または、ゼロ) でありませんでした。パケットは廃棄されます。

R2MP.024

レベル: UE-ERROR

短構文: R2MP.024 *Dta bd ID len (ID_length) frm src_net/ src_node nt network*

長構文: R2MP.024 *Data bad sender's node ID length (ID_length bits) from src_net/ src_node net network*

説明: RTMP データ・パケットまたは応答パケットを受信しましたが、送信側の ID の長さが 8 ビットではありませんでした。このインプリメンテーションでは、この長さは 8 ビットであることが必要です。パケットは廃棄されます。

R2MP.026

レベル: UE-ERROR

短構文: R2MP.026 Dta bd vers (version) frm *src_net/ src_node* nt network

長構文: R2MP.026 Data bad version (version) from *src_net/ src_node* net network

説明: RTMP データまたは応答パケットは、最初の RTMP ルーティング・タブルに正しいバージョン番号 (0x82) が入っていませんでした。パケットは廃棄されます。

R2MP.027

レベル: P-TRACE

短構文: R2MP.027 RDR rcv frm *src_net/ src_node* nt network

長構文: R2MP.027 Route Data Request received from *src_net/ src_node* net network

説明: 指定されたホストから RTMP ルート・データ要求または拡張ルート・データ要求を受信しました。RTMP データが送信されます。

R2MP.028

レベル: UE-ERROR

短構文: R2MP.028 bad netrange *net_first- net_last* nt network spans *net_first- net_last*

長構文: R2MP.028 Bad netrange *net_first- net_last* net network spans *net_first- net_last*

説明: ネット範囲がインターフェース・ネット範囲と既存のネットのどちらかにオーバーラップします。最初のネット範囲が廃棄されます。

原因: ネットワーク構成の誤り

R2MP.029

レベル: UI-ERROR

短構文: R2MP.029 filtered int netrange *net_first- net_last* nt network

長構文: R2MP.029 Filtered Interface netrange *net_first- net_last* net network

説明: インターフェース・ネット範囲がそれ自体のネット・フィルターによってフィルターされます。インターフェースは使用不可になります。ユーザーはフィルターとインターフェース・ネット範囲のどちらかを再構成する必要があります。

R2MP.030

レベル: UE-ERROR

短構文: R2MP.030 filtered net *net* on nt network

長構文: R2MP.030 Filtered net *net* on net network

説明: ネットがインターフェース・ネット・フィルターによってフィルターされました。

R2MP.031

レベル: UE-ERROR

短構文: R2MP.031 filtered netrange *net_first- net_last* frm *src_net/ src_node* on nt network

長構文: R2MP.031 Filtered netrange *net_first- net_last* from *src_net/ src_node* on net network

説明: 別のルーターからのネット範囲が、インターフェース・ネット・フィルターによってフィルターされました。

R2MP.032

レベル: CE-ERROR

短構文: R2MP.032 Req frm *src_net/ src_node* nt network, port ntwk num 0

長構文: R2MP.032 Request from *src_net/ src_node* net network, port's network number 0

説明: RTMP 要求パケットまたはルート・データ要求パケットをインターフェース上で受信しましたが、そのポートのネットワーク番号が相変わらずゼロでした。要求は無視されます。

原因: ポートではまだシード・ルーターからネットワーク番号を探りだしていません。

処置: ネットワークを探りだすまで待ちます。

原因: ネットワーク上にネットワーク番号のシード・ルーターが存在しません。

処置: シードされるルーターを再構成してください。

R2MP.033

レベル: P-TRACE

短構文: R2MP.033 data pkt frm *src_net/ src_node* nt network

長構文: R2MP.033 data packet from *src_net/ src_node* net network

説明: RTMP データ・パケットを受信しました。

R2MP.034

レベル: UE-ERROR

短構文: R2MP.034 rqst, bd src node *src_net/ src_node* nt *network*

長構文: R2MP.034 Request, bad source node *src_net/ src_node* net *network*

説明: RTMP 要求またはルート・データ要求を受信しましたが、発信元アドレスがイリーガル (0 または 255) です。

R2MP.035

レベル: UE-ERROR

短構文: R2MP.035 rqst, unk func *R2MP_function* frm *src_net/ src_node* nt *network*, disc

長構文: R2MP.035 Request, unkown function *R2MP_function* from *src_net/ src_node* net *network*

説明: RTMP 要求を受信しましたが、機能コードが確認不能です。 パケットは無視されます。

R2MP.036

レベル: UE-ERROR

短構文: R2MP.036 Rqst short (*length*) frm *src_net/ src_node* nt *network*

長構文: R2MP.036 Request too short (*length* bytes) from *src_net/ src_node* net *network*

説明: RTMP 要求パケットが短過ぎて、必要な RTMP ヘッダー・データが入りませんでした。 パケットは廃棄されます。

R2MP.037

レベル: UE-ERROR

短構文: R2MP.037 Dta short (*length*) frm *src_net/ src_node* nt *network*

長構文: R2MP.037 Data packet short (*length* bytes) from *src_net/ src_node* net *network*

説明: RTMP データまたは応答パケットが短すぎて、必要な RTMP ヘッダー・データが入りませんでした。 パケットは廃棄されます。

R2MP.038

レベル: UE-ERROR

短構文: R2MP.038 ilg rtmp net 0 from *src_net/ src_node* nt *network*

長構文: R2MP.038 illegal rtmp net number 0 from *src_net/ src_node* net *network*

説明: RTMP データ・パケットまたは応答パケットを受信しましたが、送信側のネットワーク番号が 0 です。パケットは廃棄されます。

原因: 送信ノードにソフトウェア・バグがあります。ネットワーク番号がゼロの場合は、送信ノードは RTMP データや応答を送信できないはずです。

第7章 AppleTalk フェーズ 2 ゾーン情報プロトコル (ZIP2)

この章では、AppleTalk フェーズ 2 ゾーン情報プロトコル (ZIP2) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

ZIP2.001

レベル: U-INFO

短構文: ZIP2.001 del zone *zone*

長構文: ZIP2.001 deleting zone *zone*

説明: 指定のゾーンが、ゾーン情報テーブルから削除されました。

ZIP2.002

レベル: UI-ERROR

短構文: ZIP2.002 no mem for new zone *zone*

長構文: ZIP2.002 no memory for new zone *zone*

説明: ルーター内の記憶域が不十分であったため、指定のゾーンをゾーン情報テーブルに挿入できませんでした。

ZIP2.003

レベル: UI-ERROR

短構文: ZIP2.003 no mem for ZIP query net *net_number*

長構文: ZIP2.003 no memory for ZIP query net *net_number*

説明: 発信パケット用に利用可能な記憶域がないために、ルーターは指定のネットワークに対するゾーン名照会を生成することができませんでした。

ZIP2.004

レベル: UI-ERROR

短構文: ZIP2.004 query disc nt *network* rsn *error_code*

長構文: ZIP2.004 query discarded net *network* reason *error_code*

説明: 示されている理由により、指示されているネット上で、ゾーン名照会が送信できませんでした。

ZIP2.006

レベル: C-INFO

短構文: ZIP2.006 query for *net_num* brdcst nt *network*

長構文: ZIP2.006 query for *net_num* broadcast on net *network*

説明: 指示されているネットに送信された ZIP 照会が、指定されたインターフェース上で同報通信されました。

ZIP2.008

レベル: P-TRACE

短構文: ZIP2.008 rply rcvd frm *src_net/ src_node* nt *network*

長構文: ZIP2.008 reply received from *src_net/ src_node* net *network*

説明: 指定のルーターから、ZIP 応答パケットを受信しました。

ZIP2.009

レベル: C-INFO

短構文: ZIP2.009 ZIT entry, zn nm *zone* assgnd to nt *net_number*

長構文: ZIP2.009 ZIT entry, zone name *zone* assigned to net *net_number*

説明: 指定のネットに関する指定されたゾーン名が、ゾーン情報テーブルに追加されました。

ZIP2.011

レベル: UI-ERROR

短構文: ZIP2.011 rply disc nt *network* rsn *error_code*

長構文: ZIP2.011 reply discarded net *network* reason *error_code*

説明: 指定の理由により、ZIP 応答は送信されませんでした。

ZIP2.013

レベル: P-TRACE

短構文: ZIP2.013 qry rcvd frm *src_net/ src_node* nt *network*

長構文: ZIP2.013 query received from *src_net/ src_node* net *network*

説明: 指定のノードから、ZIP 照会パケットを受信しました。

ZIP2.014

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.014 Bad GtNtInf rq frm *src_net/ src_node* nt *network*

長構文: ZIP2.014 Bad GetNetInfo request from *src_net/ src_node* net *network*

説明: パケットの長さが短いか、非ブランク・フィールドがあったため、ZIP GetNetInfo 要求が廃棄されました。

原因: リモート・ノードにプログラム・エラーがあります。

ZIP2.015

レベル: U-INFO

短構文: ZIP2.015 GtNtInf rqst frm *src_net/ src_node* nt *network*

長構文: ZIP2.015 GetNetInfo request from *src_net/ src_node* net *network*.

説明: 指定の発信元から、ZIP GetNetInfo 要求を受信しました。

ZIP2.016

レベル: UI-ERROR

短構文: ZIP2.016 no buf for ZIP GtNtInf rply to *src_net/ src_node*

長構文: ZIP2.016 no packet buffer for ZIP GetNetInfo reply to *src_net/ src_node*.

説明: 指定の発信元に ZIP GetNetInfo 応答を送信するために利用可能なパケット・バッファがありませんでした。

ZIP2.017

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.017 rply trunc frm *src_net/ src_node* nt *network*

長構文: ZIP2.017 reply truncated from *src_net/ src_node* net *network*

説明: ZIP 応答を受信しましたが、長さが不十分で、ZIP タブルのすべては収まりきれませんでした。DDP パケット終了より前のタブルは、すべて処理されます。

ZIP2.018

レベル: UI-ERROR

短構文: ZIP2.018 GtNtInf rply disc nt *network* rsn *error_code*

長構文: ZIP2.018 GetNetInfo reply discarded net *network* reason *error_code*

説明: 指定の理由により、ZIP GetNetInfo 応答が送信されませんでした。

ZIP2.019

レベル: U-INFO

短構文: ZIP2.019 GtNtInf rply for *net_range* frm *src_net/ src_node* nt *network*

長構文: ZIP2.019 GetNetInfo reply for net *net_range* from *src_net/ src_node* net *network*

説明: 特定のネット範囲に関して、指示されている発信元から、指示されているネットを通して、GetNetInfo 応答を受信しました。

ZIP2.020

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.020 GtNtInf rply trunc (*length*) frm *src_net/ src_node* nt *network*

長構文: ZIP2.020 GetNetInfo reply truncated (*length* bytes) from *src_net/ src_node* net *network*

説明: GetNetInfo 応答を受信しましたが、パケットが短過ぎて、情報がすべては収められていませんでした。

原因: リモート・ノードにプログラム・エラーがあります。

ZIP2.021

レベル: U-INFO

短構文: ZIP2.021 Ntfy frm *src_net/ src_node* nt *network*, ign

長構文: ZIP2.021 ZIP Notify from *src_net/ src_node* net *network*, ignored

説明: ZIP 通知を受信しました。これらは現在は無視されます。

ZIP2.023

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.023 ATP shrt (*length*) frm *src_net/ src_node* nt *network*

長構文: ZIP2.023 ATP short (*length* bytes) from *src_net/*
src_node net *network*

説明: ATP パケットを受信しましたが、短過ぎて ATP ヘッダーが入りません。パケットは廃棄されます。

ZIP2.024

レベル: P-TRACE

短構文: ZIP2.024 *type* rcvd frm *src_net/* *src_node* nt
network

長構文: ZIP2.024 *type* received from *src_net/* *src_node* net
network

説明: 指示されているホストから ZIP GetMyZone、
GetZoneList、または GetLocalZones ATP パケットを受信
しました。

ZIP2.025

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.025 ATP bd hdr frm *src_net/* *src_node* nt
network

長構文: ZIP2.025 ATP bad header from *src_net/* *src_node*
net *network*

説明: 指定のホストからの ATP ヘッダーが無効です。
TReq が XO でないか、ビットマップの下位ビットが設定
されていません。パケットは廃棄されます。

ZIP2.026

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.026 ATP bd func *function* frm *src_net/*
src_node nt *network*

長構文: ZIP2.026 ATP bd function *function* from *src_net/*
src_node net *network*

説明: ZIP ATP パケットを受信しましたが、ATP ユー
ザー・バイトに無効な機能コードが入っています。パケ
ットは廃棄されます。

ZIP2.027

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.027 *type* too long (*length*) frm *src_net/*
src_node nt *network*

長構文: ZIP2.027 *type* too long (*length* bytes) from
src_net/ *src_node* net *network*

説明: ZIP GetMyZone または GetZoneList ATP 要求パ
ケットが長過ぎました。

ZIP2.028

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.028 GetZoneList strt indx 0 frm *src_net/*
src_node nt *network*

長構文: ZIP2.028 GetZoneList start index 0 from *src_net/*
src_node net *network*

説明: 受信した ZIP GetZoneList または GetLocalZones
パケットの開始索引が 0 です。

ZIP2.029

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.029 GetMyZone strt indx not 0 frm *src_net/*
src_node nt *network*

長構文: ZIP2.029 GetMyZone start index not 0 from
src_net/ *src_node* net *network*

説明: GetMyZone ATP パケットを受信しましたが、開始
索引が 0 ではありませんでした。パケットは廃棄されま
す。

ZIP2.030

レベル: U-INFO

短構文: ZIP2.030 No zn nm assoc with nt *network*

長構文: ZIP2.030 No zone name associated with net
network

説明: 指定の直接接続ネットワークに関連するゾーン名
がありません。

原因: これは、ルーターがこのインターフェースのネッ
トワークのゾーン名を確認する前に ZIP GetMyZone パケ
ットを受信した場合に起きる、一時的な状態です。

ZIP2.031

レベル: UI-ERROR

短構文: ZIP2.031 *type*Reply disc nt *network* rsn *error_code*

長構文: ZIP2.031 *type*Reply discarded net *network* reason
error_code

説明: 指定の理由により、ZIP GetZoneList、GetMyZone、
または GetLocalZones 応答が送信されませんでした。

ZIP2.032

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.032 Ntfy trunc (*length*) frm *src_net/* *src_node*
nt *network*

長構文: ZIP2.032 Notify truncated (*length* bytes) from *src_net/ src_node* net network

説明: ZIP 通知パケットを受信しましたが、長さが不十分で、示されている長さのゾーン名が入っていません。

ZIP2.033

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.033 type usr byt 2 not 0 frm *src_net/ src_node* nt network

長構文: ZIP2.033 type user byte 2 not 0 from *src_net/ src_node* net network

説明: ZIP GetMyZone、GetZoneList、または GetLocalZones ATP パケットを受信しましたが、ATP ヘッダーのユーザー・バイト 2 が、指定のホストからの 0 ではありません。パケットは廃棄されます。

ZIP2.034

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.034 GetZoneList st indx *index*, high frm *src_net/ src_node* nt network

長構文: ZIP2.034 GetZoneList start index *index*, too high from *src_net/ src_node* net network

説明: 指定の索引より上の索引をもつゾーンを要求する ZIP GetZoneList または GetLocalZones パケットを受信しましたが、1 つも見付かりませんでした。

原因: 直前の GetZoneList 要求以後に、ゾーン削除など、ZIT に変更が加えられたことが原因で、索引の値が変更されています。

処置: 再度試みます。

原因: リモート・ノードにプログラム・エラーがあります。

ZIP2.035

レベル: CE-ERROR

短構文: ZIP2.035 query cnt 0 frm *src_net/ src_node* nt network

長構文: ZIP2.035 query count 0 from *src_net/ src_node* net network

説明: ネットワーク・カウントが 0 の ZIP 照会パケットを受信しました。

ZIP2.036

レベル: CE-ERROR

短構文: ZIP2.036 rply cnt 0 frm *src_net/ src_node* nt network

長構文: ZIP2.036 reply count 0 from *src_net/ src_node* net network

説明: ネットワーク・カウントが 0 の ZIP 応答パケットを受信しました。

ZIP2.038

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.038 cnt *network_count* & len (*length*) disag frm *src_net/ src_node* nt network

長構文: ZIP2.038 Network count *network_count* and DDP length (*length* bytes) disagree from *src_net/ src_node* net network

説明: ZIP 照会パケットを受信しましたが、ZIP ネットワーク・カウントを基にして予期されていた長さと、パケットの実際の DDP 長さが一致しません。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

ZIP2.039

レベル: C-INFO

短構文: ZIP2.039 unk nt *network_number* in qry frm *src_net/ src_node* nt network

長構文: ZIP2.039 Unknown *network number* *network_number* in Query from *src_net/ src_node* net network

説明: ZIP 照会パケットを受信し、ZIP データには指定されたネットワーク番号が入っていましたが、このネットワークが RTMP データベース内にないか、そのゾーン名が ZIP データベース内にありません。パケットの処理は続行されます。

ZIP2.040

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.040 unk nt *network_number* in rply frm *src_net/ src_node* nt network

長構文: ZIP2.040 Unknown *network number* *network_number* in Reply from *src_net/ src_node* net network

説明: ZIP 応答パケットを受信し、ZIP データには指定されたネットワーク番号が入っていましたが、このネットワークが RTMP データベース内にありません。パケットの処理は続行されます。

ZIP2.041

レベル: C-INFO

短構文: ZIP2.041 rq on unseed pt frm *src_net/ src_node nt network*

長構文: ZIP2.041 Request on unseeded port from *src_net/ src_node net network*

説明: ZIP 照会または要求を受信したのが、シード・ルーターからネット範囲を取得していない未シード・ポート上でした。パケットの処理は停止します。

ZIP2.042

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.042 rply bd tpl nm len *length nt network* frm *src_net/ src_node nt network*, ign

長構文: ZIP2.042 reply bad tuple name length *length network network* from *src_net/ src_node net network*, ignored

説明: ZIP 応答パケットを受信しましたが、ゾーン名の1つが正当な長さ (1 ~ 36 文字の範囲) ではありませんでした。応答の処理は、指定のネットワーク番号の ZIP タプルで終了します。

ZIP2.043

レベル: UI-ERROR

短構文: ZIP2.043 no mem for GtNtInf rq *nt network*

長構文: ZIP2.043 no memory for GetNetInfo request *net network*

説明: 発信パケットに利用可能な記憶域がないために、ルーターは指定のネットワークに対する GetNetInfo 要求を生成することができませんでした。

ZIP2.044

レベル: UI-ERROR

短構文: ZIP2.044 GtNtInf disc *nt network rsn error_code*

長構文: ZIP2.044 GetNetInfo discarded *net network reason error_code*

説明: 指定の理由により、指定のネットワークで GetNetInfo 要求が送信されませんでした。

ZIP2.045

レベル: C-INFO

短構文: ZIP2.045 GtNtInf brdcst *nt network*

長構文: ZIP2.045 GetNetInfo broadcast on *net network*

説明: 指示されているネットに対する GetNetInfo 要求が、指定されたインターフェース上で同報通信されました。

ZIP2.046

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.046 zone *zonename* filtered from *nt network*

長構文: ZIP2.046 *zonename zonename* filtered from *net network*

説明: ゾーン名情報がインターフェースで受信されましたが、入力フィルター・リストによって除去されました。

ZIP2.047

レベル: C-INFO

短構文: ZIP2.047 query for *net_num* snt to *net_num/ node_num nt network*

長構文: ZIP2.047 query for *net_num* sent to *net_num/ node_num net network*

説明: 指定のネットに関する ZIP 照会が、指定されたルーターに送信されました。

ZIP2.048

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.048 unrcgnzd ZIP typ *type fr src_net/ src_node nt network*

長構文: ZIP2.048 unrecognized ZIP type *type* from *src_net/ src_node net network*

説明: 認知できないコマンド・タイプをもつ ZIP パケットが検出されました。

ZIP2.049

レベル: UI-ERROR

短構文: ZIP2.049 no buf for ZIP rply to *net_num/ node*

長構文: ZIP2.049 no packet buffer for ZIP reply to *net_num/ node*

説明: 指定のルーターへの ZIP 応答を送信するために利用可能なバッファがありませんでした。

ZIP2.050

レベル: C-INFO

短構文: ZIP2.050 rply net *net_num* snt to *src_net/ src_node nt network*

長構文: ZIP2.050 reply net *net_num* sent to *src_net/*
src_node net *network*

説明: 指定のルーターに、ZIP 応答が送信されました。

ZIP2.051

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.051 short (*length*) frm *src_net/* *src_node* nt
network

長構文: ZIP2.051 packet short (*length* bytes) from *src_net/*
src_node net *network*

説明: ZIP パケットを受信しましたが、長さが不十分で、DDP ヘッダーの後に 2 バイトの ZIP ヘッダーが入っていません。パケットは廃棄されます。

第8章 非同期転送モード・ネットワーク・インターフェース (ATM)

この章では、非同期転送モード・ネットワーク・インターフェース (ATM) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

ATM.001

レベル: C-INFO

短構文: ATM.001 Create configuration support, nt *network ID*

長構文: ATM.001 Create configuration support, on network *network ID*

説明: config_support オブジェクトを作成しようとしています。

ATM.002

レベル: C-INFO

短構文: ATM.002 Create Timer_master, nt *network ID*

長構文: ATM.002 Create Timer_master, on network *network ID*

説明: Timer_master オブジェクトを作成しようとしています。

ATM.003

レベル: C-INFO

短構文: ATM.003 Create connection manager, nt *network ID*

長構文: ATM.003 Create connection manager, on network *network ID*

説明: conn_mgr オブジェクトを作成しようとしています。

ATM.004

レベル: C-INFO

短構文: ATM.004 Create ilmi_wrapper, nt *network ID*

長構文: ATM.004 Create ilmi_wrapper, on network *network ID*

説明: ilmi_wrapper オブジェクトを作成しようとしています。

ATM.005

レベル: C-INFO

短構文: ATM.005 Create ilmi, nt *network ID*

長構文: ATM.005 Create ilmi, on network *network ID*

説明: ilmi (ATM_address_table) オブジェクトを作成しようとしています。

ATM.006

レベル: C-INFO

短構文: ATM.006 Create ilmi_user, nt *network ID*

長構文: ATM.006 Create ilmi_user, on network *network ID*

説明: ilmi_user オブジェクトを作成しようとしています。

ATM.007

レベル: C-INFO

短構文: ATM.007 Create saal_wrapper, nt *network ID*

長構文: ATM.007 Create saal_wrapper, on network *network ID*

説明: saal_wrapper オブジェクトを作成しようとしています。

ATM.008

レベル: C-INFO

短構文: ATM.008 Create qsaal, nt *network ID*

長構文: ATM.008 Create qsaal, on network *network ID*

説明: qsaal オブジェクトを作成しようとしています。

ATM.009

レベル: C-INFO

短構文: ATM.009 Create signalling (Q93B_protocol), nt *network ID*

長構文: ATM.009 Create signalling (Q93B_protocol), on network *network ID*

説明: Q93B_protocol (シグナル) オブジェクトを作成しようとしています。

ATM.010

レベル: C-INFO

短構文: ATM.010 Calling object_addrs_avail, nt *network ID*

長構文: ATM.010 Calling object_addrs_avail, on network *network ID*

説明: すべての作成済みオブジェクトの object_addrs_avail を呼び出しています。

ATM.011

レベル: C-INFO

短構文: ATM.011 Starting ilmi_wrapper, nt *network ID*

長構文: ATM.011 Starting ilmi_wrapper, on network *network ID*

説明: ilmi_wrapper->start を呼び出しています。

ATM.012

レベル: C-INFO

短構文: ATM.012 Starting ilmi, nt *network ID*

長構文: ATM.012 Starting ilmi, on network *network ID*

説明: ilmi->start を呼び出しています。

ATM.013

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.013 Start of ilmi_wrapper failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.013 Start of ilmi_wrapper failed, on network *network ID*, return code = *retcode*

説明: ilmi_wrapper->start が失敗しました。

ATM.014

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.014 Start of ilmi failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.014 Start of ilmi failed, on network *network ID*, return code = *retcode*

説明: ilmi->start を失敗しました。

ATM.015

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.015 Creation of configuration support failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.015 Creation of configuration support failed, on network *network ID*, return code = *retcode*

説明: config_support の作成が失敗しました。

ATM.016

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.016 Creation of Timer_master failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.016 Creation of Timer_master failed, on network *network ID*, return code = *retcode*

説明: Timer_master の作成が失敗しました。

ATM.017

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.017 Creation of connection manager failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.017 Creation of connection manager failed, on network *network ID*, return code = *retcode*

説明: conn_mgr の作成が失敗しました。

ATM.018

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.018 Creation of ilmi_wrapper failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.018 Creation of ilmi_wrapper failed, on network *network ID*, return code = *retcode*

説明: ilmi_wrapper の作成が失敗しました。

ATM.019

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.019 Creation of ilmi failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.019 Creation of ilmi failed, on network *network ID*, return code = *retcode*

説明: ilmi の作成が失敗しました。

ATM.020

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.020 Creation of *ilmi_user* failed, nt *network ID*

長構文: ATM.020 Creation of *ilmi_user* failed, on network *network ID*

説明: *ilmi_user* の作成が失敗しました。

ATM.021

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.021 Creation of *saal_wrapper* failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.021 Creation of *saal_wrapper* failed, on network *network ID*, return code = *retcode*

説明: *saal_wrapper* の作成が失敗しました。

ATM.022

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.022 Creation of *qsaal* failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.022 Creation of *qsaal* failed, on network *network ID*, return code = *retcode*

説明: *qsaal* の作成が失敗しました。

ATM.023

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.023 Creation of signalling (Q93B_protocol) failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.023 Creation of signalling (Q93B_protocol) failed, on network *network ID*, return code = *retcode*

説明: Q93B_protocol の作成が失敗しました。

ATM.024

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.024 Bad inbound control frame discarded, handle = *conn_handle* nt *network ID*

長構文: ATM.024 Bad inbound control frame discarded, handle = *conn_handle*, on network *network ID*

説明: 無効なインバウンド制御フレーム

ATM.025

レベル: C-INFO

短構文: ATM.025 Frame xmit by *net_dsio*, handle = *conn_handle* nt *network ID*

長構文: ATM.025 Frame transmitted using *net_dsio*, handle = *conn_handle*, on network *network ID*

説明: *net_dsio* を使用して、ATM インターフェースでフレームが送信されました。

ATM.026

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.026 Inbound frame discarded, handle = *conn_handle* nt *network ID*, rc *stat*

長構文: ATM.026 Inbound frame discarded, handle = *conn_handle*, on network *network ID*, status = *stat*

説明: *iorb* の中の状況が無効です。

ATM.027

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.027 Outbound frame not sent, handle = *conn_handle* nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.027 Outbound frame not sent, handle = *conn_handle*, on network *network ID*, return code = *retcode*

説明: *netout* からの状況が無効です。

ATM.028

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.028 Device Driver User Registration Failed, handle = *conn_handle* nt *network ID*, rc *stat*

長構文: ATM.028 Device Driver User Registration Failed, handle = *conn_handle*, on network *network ID*, status = *stat*

説明: *atmcharm_init* ユーザー登録が失敗しました。

ATM.029

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.029 Device Driver Wrap User Registration Failed, handle = *conn_handle* nt *network ID*, rc *rc*

長構文: ATM.029 Device Driver Wrap User Registration Failed, handle = *conn_handle*, on network *network ID*, status = *rc*

説明: *atmcharm_init* ユーザー登録循環が失敗しました。

ATM.030

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.030 ERROR opening Frame SAP, handle = *conn_handle* nt *network ID*, rc *stat*

長構文: ATM.030 ERROR opening Frame SAP, handle = *conn_handle*, on network *network ID*, status = *stat*

説明: フレーム SAP をオープンできませんでした。

ATM.031

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.031 ERROR opening data path for ILMI, handle = *conn_handle* nt *network ID*, rc *stat*

長構文: ATM.031 ERROR opening data path for ILMI, handle = *conn_handle*, on network *network ID*, status = *stat*

説明: ILMI のデータ・パスをオープンできませんでした。

ATM.032

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.032 ERROR opening Wrap Frame SAP, handle = *conn_handle* nt *network ID*, rc *rc*

長構文: ATM.032 ERROR opening Wrap Frame SAP, handle = *conn_handle*, on network *network ID*, status = *rc*

説明: フレーム循環 SAP をオープンできませんでした。

ATM.033

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.033 ERROR creating objects, handle = *conn_handle* nt *network ID*, rc *rc*

長構文: ATM.033 ERROR creating objects, handle = *conn_handle*, on network *network ID*, status = *rc*

説明: オブジェクト (SVC、ILMI など) を作成できませんでした。

ATM.035

レベル: C-INFO

短構文: ATM.035 Function *function_name* called, nt *network ID*

長構文: ATM.035 Function *function_name* called, on network *network ID*

説明: ATM 機能が呼び出されました。

ATM.036

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.036 Could not stop objects, nt *network ID*, rc *rc*

長構文: ATM.036 Could not stop objects, on network *network ID*, return code = *rc*

説明: オブジェクトの停止時のエラー

ATM.037

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.037 Connection handle is NULL, nt *network ID*

長構文: ATM.037 Connection handle is NULL, on network *network ID*

説明: *conn_handle* が NULL です。

ATM.038

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.038 Unable to get buffers, nt *network ID*

長構文: ATM.038 Unable to get buffers on network *network ID*

説明: バッファを手に入れませんでした。

ATM.039

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.039 Connect ioctl failed , nt *network ID* vpi/vci *vpi/ vci*

長構文: ATM.039 Connect ioctl failed , nt *network ID* vpi/vci *vpi/ vci*

説明: ioctl の接続が失敗しました。

ATM.040

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.040 Could not start objects, nt *network ID*, rc *rc*

長構文: ATM.040 Could not start objects, on network *network ID*, return code = *rc*

説明: オブジェクトの開始時のエラー

ATM.041

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.041 Invalid max SDU size, nt *network ID*, SDU sz *rate*

長構文: ATM.041 Invalid max SDU size, on network *network ID*, max SDU size = *rate*

説明: ATM ネットワーク・ハンドラーが、この接続には無効な最大 SDU サイズを渡されました。

ATM.042

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.042 Invalid peak cell rate, nt *network ID*, pk rate *rate*

長構文: ATM.042 Invalid peak cell rate, on network *network ID*, peak cell rate = *rate*

説明: ATM ネットワーク・ハンドラーが、この接続には無効なピーク・セル速度を渡されました。

ATM.043

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.043 Invalid sustainable cell rate, nt *network ID*, sustn rate *rate*

長構文: ATM.043 Invalid sustainable cell rate, on network *network ID*, sustainable cell rate = *rate*

説明: ATM ネットワーク・ハンドラーが、この接続には無効な持続可能セル速度を渡されました。

ATM.044

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.044 Invalid max burst size, nt *network ID*, brst sz *rate*

長構文: ATM.044 Invalid max burst size, on network *network ID*, max burst size = *rate*

説明: ATM ネットワーク・ハンドラーが、この接続には無効な最大バースト・サイズを渡されました。

ATM.045

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.045 API, invalid net number, nt *network ID*, dev *devNum*

長構文: ATM.045 API called with invalid net number, on network *network ID*, devNum *devNum*

説明: 無効な devNum を指定した atmUserRegistration が呼び出されました。

ATM.046

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.046 API call failed, no memory, nt *network ID*

長構文: ATM.046 API call failed, no memory, on network *network ID*

説明: ATM API コールが失敗しました。利用可能な記憶域がありません。

ATM.048

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.048 API, invalid user handle, *userHandle*

長構文: ATM.048 API called with invalid user handle, *userHandle*

説明: 無効なユーザー・ハンドルを使用して atmUserRegistration が呼び出されました。

ATM.049

レベル: CI-ERROR

短構文: ATM.049 API call failed, net down, nt *network ID*

長構文: ATM.049 API call failed, network down, on network *network ID*

説明: ATM API コールが失敗しました。ネットワークはダウンしています。

ATM.050

レベル: C-INFO

短構文: ATM.050 Address activation ILMI successful, nt *network ID*, rc *rc*

長構文: ATM.050 ATM address activation ILMI successful, on network *network ID*, return code = *rc*

説明: atmAddrActivation ILMI が、正常な alloc_addr_wrap を戻しました。

ATM.051

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.051 Address activation ILMI failed, nt *network ID*, rc *rc*

長構文: ATM.051 ATM address activation ILMI failed, on

network *network ID*, return code = *rc*

説明: atmAddrActivation ILMI が alloc_addr_wrap の失敗を戻しました。

ATM.052

レベル: C-INFO

短構文: ATM.052 Sharing ESI/Selector, nt *network ID*, addr *addr*

長構文: ATM.052 Sharing ESI/Selector, on network *network ID*, addr *addr*

説明: atmAddrActivation が ATM アドレスの共用を提供しています。

ATM.053

レベル: C-INFO

短構文: ATM.053 conn_mgr dstrc ntrd, nt *network ID*

長構文: ATM.053 Connection Manager destructor entered, on network *network ID*

説明: 接続管理プログラムを破壊するような入力が行われました。

ATM.054

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.054 API, invalid address handle, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.054 API called with invalid address handle, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: 無効なアドレス・ハンドルを用いて atmAddrDeactivation が呼び出されました。

ATM.055

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.055 Address deactivation ILMI failed, nt *network ID*, hndl *handle* rc *rc*

長構文: ATM.055 ATM address deactivation ILMI failed, on network *network ID*, handle = *handle*, return code = *rc*

説明: atmAddrDeactivation ILMI が free_addr_handle_wrap の失敗を戻しました。

ATM.056

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.056 Get address by handle ILMI failed, nt *network ID*, hndl *handle* rc *rc*

長構文: ATM.056 Get ATM address by handle ILMI failed, on network *network ID*, handle = *handle*, return code = *rc*

説明: atmGetAddrByHandle ILMI が get_atm_addr_wrap の失敗を戻しました。

ATM.057

レベル: CE-ERROR

短構文: ATM.057 Get UNI version ILMI failed, nt *network ID*, rc *rc*

長構文: ATM.057 Get UNI Version ILMI failed, on network *network ID*, return code = *rc*

説明: atmGetUniVersion ILMI が get_uni_version_wrap の失敗を戻しました。

ATM.058

レベル: CE-ERROR

短構文: ATM.058 Get LECS address ILMI successful, nt *network ID*, rc *rc*

長構文: ATM.058 Get LECS address ILMI successful, on network *network ID*, return code = *rc*

説明: atmGetUniVersion ILMI が、正常な get_uni_version_wrap を戻しました。

ATM.059

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.059 Get LECS address ILMI failed, nt *network ID*, rc *rc*

長構文: ATM.059 Get LECS address ILMI failed, on network *network ID*, return code = *rc*

説明: atmGetUniVersion ILMI が get_uni_version_wrap の失敗を戻しました。

ATM.060

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.060 call SAP already open, nt *network ID* hndl *handle*

長構文: ATM.060 call SAP already open for this user, network *network ID*, SAP handle = *handle*

説明: このユーザーに対するコール SAP は、すでにオープンされています。

ATM.061

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.061 max call SAPs exceeded, nt *network ID*

長構文: ATM.061 max call SAPs exceeded, network *network ID*

説明: 最大数のコール SAP がすでにオープンされています。

ATM.062

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.062 bad PID count, nt *network ID* cnt *count*

長構文: ATM.062 bad PID count, network *network ID*, count = *count*

説明: PID リスト内の PID カウントが範囲外です。

ATM.063

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.063 bad PID, nt *network ID* PID *PID*

長構文: ATM.063 bad PID, network *network ID*, PID = *PID*

説明: PID リスト内の PID が無効です。

ATM.064

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.064 Conn mgr register caller failed, nt *network ID*, rc *rc*

長構文: ATM.064 Connection manager register caller failed, on network *network ID*, return code = *rc*

説明: 接続管理プログラムの *reg_caller_wrap* のコールが失敗しました。

ATM.065

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.065 API, invalid call SAP hndl, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.065 API received invalid call SAP handle, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: 無効なコール SAP ハンドルが API に渡されました。

ATM.066

レベル: C-INFO

短構文: ATM.066 API, placing call, nt *network ID*, addr *address*

長構文: ATM.066 API, placing call, on network *network ID*, ATM address = *address*

説明: 指定のアドレスへコールを発信中です。

ATM.067

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.067 API, place call failed, nt *network ID*, hndl *handle*, addr *address*, rc *rc*

長構文: ATM.067 API, place call failed, on network *network ID*, handle = *handle*, ATM address = *address*, return code = *rc*

説明: 指定のアドレスへのコールが失敗しました。

ATM.068

レベル: C-INFO

短構文: ATM.068 API, adding leaf, nt *network ID*, addr *address*, conn hndl = *handle*

長構文: ATM.068 API, adding leaf, on network *network ID*, ATM address = *address*, conn handle = *handle*,

説明: マルチポイント (多地点) コールにリーフを追加中です。

ATM.069

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.069 API, add leaf failed, nt *network ID*, hndl *handle*, addr *address*, rc *rc*

長構文: ATM.069 API, add leaf failed, on network *network ID*, handle = *handle*, ATM address = *address*, return code = *rc*

説明: マルチポイント (多地点) コールへのリーフの追加が失敗しました。

ATM.070

レベル: C-INFO

短構文: ATM.070 API, hangup leaf, nt *network ID*, conn hndl *connHandle*, leaf hndl *leafHandle*

長構文: ATM.070 API, hangup leaf, on network *network ID*, conn handle = *connHandle*, leaf handle = *leafHandle*

説明: リーフを停止中です。

ATM.071

レベル: C-INFO

短構文: ATM.071 API, recv call ack, nt *network ID*, conn hndl *connHandle*

長構文: ATM.071 API, receive call ack, on network *network ID*, conn handle = *connHandle*

説明: コールの受信確認を受け取りました。

ATM.072

レベル: C-INFO

短構文: ATM.072 API, hangup call, nt *network ID*, conn hndl *connHandle*

長構文: ATM.072 API, hangup call, on network *network ID*, conn handle = *connHandle*

説明: コールを停止中です。

ATM.073

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.073 API, invalid frame SAP type, nt *network ID*, type *type*

長構文: ATM.073 API called with invalid frame SAP type, on network *network ID*, type = *type*

説明: 無効なフレーム SAP タイプが API に渡されました。

ATM.074

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.074 API, invalid frame SAP hndl, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.074 API called with invalid frame SAP handle, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: 無効なフレーム SAP ハンドルが API に渡されました。

ATM.075

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.075 API, invalid VCC hndl, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.075 API called with invalid VCC handle, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: 無効な VCC ハンドルが API に渡されました。

ATM.076

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.076 API, invalid MAC offset, nt *network ID*, offset *offset*

長構文: ATM.076 API called with invalid MAC address offset, on network *network ID*, offset = *offset*

説明: 無効な MAC アドレス・オフセットが API に渡されました。

ATM.077

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.077 API, invalid VCC grp hndl, nt *network ID*, grp hndl *handle*

長構文: ATM.077 API called with invalid VCC group handle, on network *network ID*, group handle = *handle*

説明: 無効な VCC グループ・ハンドルが API に渡されました。

ATM.078

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.078 API, VCC already in grp, nt *network ID*, vcc hndl *vcchandle*, grp hndl *grphandle*

長構文: ATM.078 API, VCC already in group, on network *network ID*, vcc handle = *vcchandle*, group handle = *grphandle*

説明: VCC を、すでに所属しているグループに追加しようとしています。

ATM.079

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.079 API, VCC not in grp, nt *network ID*, vcc hndl *vcchandle*, grp hndl *grphandle*

長構文: ATM.079 API, VCC not in group, on network *network ID*, vcc handle = *vcchandle*, group handle = *grphandle*

説明: VCC は、このグループには所属していません。

ATM.080

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.080 API, MAC already mapped, nt *network ID*, vcc hndl *vcchandle*, grp hndl *grphandle*, MAC *MACaddr*

長構文: ATM.080 API, MAC already mapped, on network *network ID*, vcc handle = *vcchandle*, group handle =

grphandle, MAC address *MACaddr*

説明: MAC アドレスを、すでにマップされているグループにマップしようとしています。

ATM.081

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.081 API, MAC not mapped, nt *network ID*, vcc hndl *vcchandle*, grp hndl *grphandle*, MAC *MACaddr*

長構文: ATM.081 API, MAC not mapped, on network *network ID*, vcc handle = *vcchandle*, group handle = *grphandle*, MAC address *MACaddr*

説明: マップされていない MAC アドレスを、グループからマップ解除しようとしています。

ATM.082

レベル: C-INFO

短構文: ATM.082 addr state change, nt *network ID*, addr *address*, state = *state*

長構文: ATM.082 ATM address state change, on network *network ID*, ATM address = *address*, state= *state*,

説明: アドレス状態の変更

ATM.083

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.083 Connection manager start failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.083 Connection manager start failed, on network *network ID*, return code = *retcode*

説明: 接続管理プログラムの開始が失敗しました。

ATM.084

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.084 SAAL wrapper start failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.084 SAAL wrapper start failed, on network *network ID*, return code = *retcode*

説明: SAAL 循環機能の開始が失敗しました。

ATM.085

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.085 SAAL start failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.085 SAAL start failed, on network *network ID*, return code = *retcode*

説明: SAAL の開始が失敗しました。

ATM.086

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.086 SVC start failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.086 SVC start failed, on network *network ID*, return code = *retcode*

説明: SVC の開始が失敗しました。

ATM.087

レベル: C-INFO

短構文: ATM.087 Conn mgr stopped, nt *network ID*

長構文: ATM.087 Connection Manager stopped, on network *network ID*

説明: 接続管理プログラムの停止が入力されました。

ATM.088

レベル: P-TRACE

短構文: ATM.088 Trace ATM frame.

長構文: ATM.088 Trace ATM frame.

説明: ATM フレーム・パケットがトレース中

ATM.089

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.089 Conn mgr place call failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.089 Connection manager place call failed, on network *network ID*, rc = *retcode*

説明: 接続管理プログラムのコールが失敗しました。

ATM.090

レベル: U-INFO

短構文: ATM.090 Call setup failed, SAAL not up yet, nt *network ID*

長構文: ATM.090 Call setup failed, SAAL not up yet, on network *network ID*

説明: SAAL がまだ確立されていなかったため、コールのセットアップが失敗しました。

ATM.091

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.091 Conn handle in use, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.091 SVC thinks conn handle is in use, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: SVC が接続ハンドルが使用中であると判断したために、コールのセットアップが失敗しました。

ATM.092

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.092 Invalid conn handle, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.092 Invalid conn handle, no entry in connection table, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: 接続ハンドルが NULL 項目を指しているの、コールのセットアップが失敗しました。

ATM.093

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.093 Place call ack failed, nt *network ID*, rc *retcode*, hndl *handle*, vpi *vpi*, vci *vci*

長構文: ATM.093 Place call ack failed, on network *network ID*, rc = *retcode*, handle = *handle*, vpi = *vpi*, vci = *vci*

説明: コールの受信確認が失敗しました。

ATM.094

レベル: UE-ERROR

短構文: ATM.094 Receive call failed, no such caller, nt *network ID*, hndl *handle*, vpi *vpi*, vci *vci*

長構文: ATM.094 Receive call failed, no such caller, on network *network ID*, handle = *handle*, vpi = *vpi*, vci = *vci*

説明: コール・パラメーターに一致するコーラーが見つかりませんでした。

ATM.095

レベル: UE-ERROR

短構文: ATM.095 call rjct, nt *network ID*, rc *retcode*, hndl *handle*, vpi *vpi*, vci *vci*

長構文: ATM.095 Call rejected, on network *network ID*, rc = *retcode*, handle = *handle*, vpi = *vpi*, vci = *vci*

説明: コールされた側がコールを拒否しました。

ATM.096

レベル: C-INFO

短構文: ATM.096 Call accepted, nt *network ID*, rc *retcode*, hndl *handle*, vpi *vpi*, vci *vci*

長構文: ATM.096 Call accepted, on network *network ID*, rc = *retcode*, handle = *handle*, vpi = *vpi*, vci = *vci*

説明: コールされた側がコールを受け入れました。

ATM.097

レベル: C-INFO

短構文: ATM.097 Receive call ack, nt *network ID*, rc *retcode*, hndl *handle*

長構文: ATM.097 Receive call ack, on network *network ID*, rc = *retcode*, handle = *handle*

説明: コールされた側はコールを受け入れるか、または拒否します。

ATM.098

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.098 Bad cnfg prm, n_int *interface*, rc *retcode*, prm *parm*

長構文: ATM.098 Bad configuration parm, n_int = *interface*, rc = *retcode*, parm = *parm*

説明: 接続管理プログラムが、構成パラメーターを読み取ろうとしましたが、失敗しました。

ATM.099

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.099 Conn mgr, no memory, n_int *interface*, pnt *point*

長構文: ATM.099 Connection Manager, no memory, n_int = *interface*, trace point = *point*

説明: 接続管理プログラムが、初期化のための記憶域を入手できませんでした。

ATM.100

レベル: C-INFO

短構文: ATM.100 Conn mgr adding leaf, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.100 Connection Manager adding leaf, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: 接続管理プログラムのリーフ追加が入力されました。

ATM.101

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.101 Invlid conn hndl, not in connect tbl, nt *network ID*, hndl *handle*, func *function_name*

長構文: ATM.101 Invalid conn handle, no entry in connection table, on network *network ID*, handle = *handle*, function *function_name*

説明: 接続ハンドルが NULL 項目を指しています。

ATM.102

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.102 Invlid conn hndl, free connection, nt *network ID*, hndl *handle*, func *function_name*

長構文: ATM.102 Invalid conn handle, free connection, on network *network ID*, handle = *handle*, function = *function_name*

説明: 接続ハンドルが非活動項目を指しています。

ATM.103

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.103 No leaf handle available, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.103 No leaf handle available, on network *network ID*, conn handle = *handle*

説明: リーフ・ハンドルを入手できませんでした。

ATM.104

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.104 Add leaf handle failed, nt *network ID*, hndl *handle*, rc *retcode*

長構文: ATM.104 Add leaf handle failed, on network *network ID*, conn handle = *handle*, rc = *retcode*

説明: リーフ・ハンドルの追加が失敗しました。

ATM.105

レベル: C-INFO

短構文: ATM.105 Conn mgr add leaf ack, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.105 Connection Manager add leaf ack, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: 接続管理プログラムのリーフ追加の受信確認が入力されました。

ATM.106

レベル: C-INFO

短構文: ATM.106 Conn mgr registering caller, nt *network ID*

長構文: ATM.106 Connection Manager registering caller, on network *network ID*

説明: 接続管理プログラムの *register_caller* が入力されました。

ATM.107

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.107 Max callers exceeded, nt *network ID*

長構文: ATM.107 Max callers exceeded, on network *network ID*

説明: コーラーが登録しようとしたが、すでにコーラーの最大数に達しています。

ATM.108

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.108 dup cllr PID, nt *network ID*

長構文: ATM.108 Duplicate caller PID, on network *network ID*

説明: コーラーが、既存のコーラーと同じ PID およびアドレスで登録しようとした。

ATM.109

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.109 dup cllr addr, nt *network ID*

長構文: ATM.109 Duplicate caller address, on network *network ID*

説明: コーラーが、既存のコーラーと同じアドレスで登録しようとした。

ATM.110

レベル: C-INFO

短構文: ATM.110 Conn mgr deregistering caller, nt *network ID*

長構文: ATM.110 Connection Manager deregistering caller, on network *network ID*

説明: 接続管理プログラムの `deregister_caller` が入力されました。

ATM.111

レベル: C-INFO

短構文: ATM.111 Conn mgr disconnecting call, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.111 Connection Manager disconnecting call, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: 接続管理プログラムの `disconnect_call` が入力されました。

ATM.112

レベル: C-INFO

短構文: ATM.112 rmv cnxn, SVC err, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.112 Conn Mgr removing connection, SVC error, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: SVC が接続ハンドルを入手しましたが、エラーを検出したために、ハンドルを戻しているところです。

ATM.113

レベル: C-INFO

短構文: ATM.113 Conn mgr reporting failure, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.113 Connection Manager reporting failure to caller, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: 接続管理プログラムの `report_failure_to Caller` が入力されました。

ATM.114

レベル: C-INFO

短構文: ATM.114 Conn mgr removing connection, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.114 Connection Manager removing connection, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: 接続管理プログラムの接続除去が入力されました。

ATM.115

レベル: C-INFO

短構文: ATM.115 Conn mgr disconnecting leaf, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.115 Connection Manager disconnecting leaf, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: 接続管理プログラムの `disconnect_leaf` が入力されました。

ATM.116

レベル: C-INFO

短構文: ATM.116 Conn mgr getting conn hndl, nt *network ID*

長構文: ATM.116 Connection Manager getting conn handle, on network *network ID*

説明: 接続管理プログラムの `get_conn_handle` が入力されました。

ATM.117

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.117 no conn handles, nt *network ID*

長構文: ATM.117 All connection handles in use, on network *network ID*

説明: 空き接続ハンドルがありません。

ATM.118

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.118 no mem conn obj, nt *network ID*

長構文: ATM.118 No memory for connection object, on network *network ID*

説明: 接続オブジェクト用の記憶域がありません。

ATM.119

レベル: C-INFO

短構文: ATM.119 Conn mgr hanging up call, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.119 Connection Manager hanging up call, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: 接続管理プログラムの `hang_up_call` が入力されました。

ATM.120

レベル: C-INFO

短構文: ATM.120 conn_mgr hanging up leaf, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.120 Connection Manager hanging up leaf, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: 接続管理プログラムの hang_up_leaf が入力されました。

ATM.121

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.121 Hang up leaf failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.121 SVC hang up leaf failed, on network *network ID*, rc = *retcode*

説明: SVC hang_up_leaf が失敗しました。

ATM.122

レベル: C-INFO

短構文: ATM.122 Hang up leaf success, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.122 SVC hang up leaf success, on network *network ID*, rc = *retcode*

説明: SVC hang_up_leaf が正常に行われました。

ATM.123

レベル: C-INFO

短構文: ATM.123 Conn mgr placing call, nt *network ID*

長構文: ATM.123 Connection Manager placing call, on network *network ID*

説明: 接続管理プログラムの place_call が入力されました。

ATM.124

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.124 Max calls exceeded, nt *network ID*

長構文: ATM.124 Max calls exceeded, on network *network ID*

説明: コーラーがコールの発信を試みましたが、すでに最大数のコールが確立されています。

ATM.125

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.125 cllr not reg, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.125 Caller not registered, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: コーラーが未登録です。

ATM.126

レベル: C-INFO

短構文: ATM.126 Conn mgr place call ack, nt *network ID*

長構文: ATM.126 Connection Manager place call ack, on network *network ID*

説明: 接続管理プログラムの place_call が入力されました。

ATM.127

レベル: C-INFO

短構文: ATM.127 Conn mgr processing received call, nt *network ID*

長構文: ATM.127 Connection Manager processing received call, on network *network ID*

説明: 接続管理プログラムの process_receive_call が入力されました。

ATM.128

レベル: UE-ERROR

短構文: ATM.128 Clee not reg, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.128 Callee not registered, on network *network ID*, conn handle = *handle*

説明: コールされる側が未登録です。

ATM.129

レベル: C-INFO

短構文: ATM.129 Callee found, nt *network ID*, cllr *caller*, cnxn *handle*

長構文: ATM.129 Callee found, on network *network ID*, caller = *caller*, conn_handle = *handle*

説明: コールされる側が見付けられました。

ATM.130

レベル: C-INFO

短構文: ATM.130 Conn mgr finding caller id, nt *network ID*

長構文: ATM.130 Connection Manager finding caller id, on network *network ID*

説明: 接続管理プログラムの find_caller_id が入力されました。

ATM.131

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.131 Addr not found, nt *network ID*, addr *handle*

長構文: ATM.131 Address not found by ILMI, on network *network ID*, address handle = *handle*

説明: ILMI がアドレスを見付けることができませんでした。

ATM.132

レベル: C-INFO

短構文: ATM.132 Callee found, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.132 Callee found, on network *network ID*, caller handle = *handle*

説明: コールされる側が見付かりました。

ATM.133

レベル: UE-ERROR

短構文: ATM.133 cllee not reg, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.133 Callee not registered, on network *network ID*, address handle = *handle*

説明: コールされる側が未登録です。

ATM.134

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.134 Conn handle NULL, nt *network ID*

長構文: ATM.134 Connection handle NULL, on network *network ID*

説明: iorb 内の接続ハンドルが NULL です。

ATM.135

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.135 ILMI ptr NULL, nt *network ID*

長構文: ATM.135 ILMI wrapper function called, ILMI pointer is NULL, on network *network ID*

説明: ILMI 循環機能が呼び出されましたが、ILMI ポインターが NULL です。

ATM.136

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.136 ILMI wrap ptr NULL, nt *network ID*

長構文: ATM.136 ILMI wrapper function called, ILMI wrapper pointer is NULL, on network *network ID*

説明: ILMI 循環機能が呼び出されましたが、ILMI 循環ポインターが NULL です。

ATM.137

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.137 ERROR opening data path for SVC, handle = *user_handle* nt *network ID*, rc *stat*

長構文: ATM.137 ERROR opening data path for SVC, handle = *user_handle*, on network *network ID*, status = *stat*

説明: SVC のデータ・パスをオープンできませんでした。

ATM.138

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.138 Unknown adapter type, nt *network ID*, type *adapter_type*

長構文: ATM.138 Unknown adapter type, on network *network ID*, adapter type = *adapter_type*

説明: アダプターが不明のアダプター・タイプを戻しました。

ATM.139

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.139 Slftst called, nt *network ID* down

長構文: ATM.139 Selftest called, but network *network ID* is down

説明: 自己検査が呼び出されましたが、アダプターがダウンしています。

ATM.141

レベル: UE-ERROR

短構文: ATM.141 Cnfgd spd not adapter spd, nt *network ID*, cnfg *config*, adapter *adapter*

長構文: ATM.141 Configured speed different from adapter on network *network ID*, config speed = *config*, adapter speed = *adapter*

説明: アダプターの速度が構成された速度と異なっています。

ATM.142

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.142 Bad VCC handle, nt *network ID*, hndl=*handle*

長構文: ATM.142 Bad VCC handle, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: 装置ドライバーが、ネットワーク・ハンドラーに不正な VCC ハンドルを渡しました。

ATM.143

レベル: C-INFO

短構文: ATM.143 VCC hndl, nt *network ID*, hndl= *handle*, VPI= *vpi*, VCI= *vci*

長構文: ATM.143 VCC handle passed to device driver, on network *network ID*, handle = *handle*, VPI = *vpi*, VCI = *vci*

説明: ネットワーク・ハンドラーが、この VPI/VCI 用の装置ドライバーにハンドルを渡しました。

ATM.144

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.144 No bfr for disc, nt *network ID*, VPI= *vpi*, VCI= *vci*

長構文: ATM.144 No buffer for disconnect, on network *network ID*, VPI = *vpi*, VCI = *vci*

説明: VCC を切断するために使用可能なバッファがありませんでした。

ATM.145

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.145 Frame recvd while disconn pending, nt *network ID*, hndl= *handle*

長構文: ATM.145 Frame received while disconnect pending, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: VCC が切断保留状態であるときに、フレームが受信されました。

ATM.146

レベル: UE-ERROR

短構文: ATM.146 No prefix set, nt *network ID*

長構文: ATM.146 The switch never set its prefix on network *network ID*

説明: ATM スイッチが接頭部を設定していませんでした。

ATM.147

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.147 No mem to rd adptr addr, nt *network ID*

長構文: ATM.147 No memory at init to read adapter address, on network *network ID*

説明: アダプター・アドレスを読み取るための初期化で、記憶域が使用できませんでした。

ATM.148

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.148 No mem to rd adptr addr, nt *network ID*

長構文: ATM.148 No memory at init to read adapter address, on network *network ID*

説明: アダプター・アドレスを読み取るための初期化で、記憶域が使用できませんでした。

ATM.153

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.153 Timer re-entrancy err, nt *net_no*, flag = *flag*, log pt = *log_point*

長構文: ATM.153 Timer re-entrancy error on net *net_no*, flag = *flag*, logpoint = *log_point*

説明: タイマーの再入エラー

ATM.154

レベル: C-INFO

短構文: ATM.154 Timer set alarm, nt *net_no*, ndx = *index*, callback = *user_ptr*

長構文: ATM.154 Timer set alarm on net *net_no*, index = *index*, callback address = *user_ptr*

説明: タイマーが設定されました。

ATM.155

レベル: C-INFO

短構文: ATM.155 Timer set alarm, nt *net_no*, type = *type*, element = *element*

長構文: ATM.155 Timer set alarm on net *net_no*, type = *type*, element address = *element*

説明: タイマーが設定されました。

ATM.156

レベル: C-INFO

短構文: ATM.156 Timer trace, nt *net_no*, log pt = *logpoint*, rc = *rcode*

長構文: ATM.156 Timer trace on net *net_no*, logpoint = *logpoint*, return code = *rcode*

説明: タイマーのトレース

ATM.157

レベル: C-INFO

短構文: ATM.157 Timer trace, nt *net_no*, log pt = *logpoint*, ndx = *index*, element = *element*

長構文: ATM.157 Timer trace on net *net_no*, logpoint = *logpoint*, index = *index*, element = *element*

説明: タイマーのトレース

ATM.158

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.158 Timer already stopped, nt *net_no*, log pt = *logpoint*, ndx = *index*, element = *element*

長構文: ATM.158 Timer already stopped on net *net_no*, logpoint = *logpoint*, index = *index*, element = *element*

説明: タイマーはすでに停止しています。

ATM.159

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.159 User stopping unowned timer, nt *net_no*, stopper = *stopper*, owner = *owner*

長構文: ATM.159 User stopping unowned timer on net *net_no*, stopper = *stopper*, owner = *owner*

説明: ユーザーが別のユーザーのタイマーを停止しようとしています。

ATM.160

レベル: C-INFO

短構文: ATM.160 Timer cancel alarm, nt *net_no*, logpt = *logpoint*, callback = *callback*

長構文: ATM.160 Timer cancel alarm on net *net_no*, logpoint = *logpoint*, callback address = *callback*

説明: タイマーがキャンセルされました。

ATM.161

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.161 Timer SNO, nt *net_no*, logpt = *logpoint*

長構文: ATM.161 Timer should not occur on net *net_no*, logpoint = *logpoint*

説明: タイマー要素が最初、最後、または中間にありませんでした。

ATM.162

レベル: C-INFO

短構文: ATM.162 Timer tick, nt *net_no*, logpt = *logpoint*, tim = *time*, callback = *callback*

長構文: ATM.162 Timer tick on net *net_no*, logpoint = *logpoint*, time = *time*, callback address = *callback*

説明: タイマーのティック

ATM.163

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.163 Timer out of elements, nt *net_no*

長構文: ATM.163 Timer out of elements on net *net_no*

説明: タイマーの要素がなくなりました。

ATM.164

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.164 Timer tried to free twice, nt *net_no*

長構文: ATM.164 Timer tried to free twice on net *net_no*

説明: タイマーが解放を 2 回試みました。

ATM.165

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.165 Tmr elmnts set to max, nt *net_no*

長構文: ATM.165 Number of timer elements capped at maximum on net *net_no*

説明: タイマー要素の数が最大数を超えている可能性があり、最大数に制限されました。

ATM.166

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.166 VNET Registration Failed, nt *network id*, rc *stat*

長構文: ATM.166 VNET User Registration Failed, on network *network id*, status = *stat*

説明: atm_vnet_init ユーザー登録が正常に行われませんでした。

ATM.167

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.167 Addr state change, not in API, nt *network ID*, addr *address*, state = *state*

長構文: ATM.167 ATM address state change, not in API, on network *network ID*, ATM address = *address*, state= *state*,

説明: アドレス状態の変更であるが、API にそのレコードがありません。

ATM.168

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.168 Addr in use, but not in API, nt *network ID*, addr *address*

長構文: ATM.168 ATM address in use for ILMI, but not API, on network *network ID*, ATM address = *address*

説明: ILMI ではアドレスが登録されていると考えますが、API にそのレコードがありません。

ATM.169

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.169 No bfr to splice VCC, nt *network ID*, *vpi1- vci1* to *vpi2- vci2*

長構文: ATM.169 No buffer to splice VCC on network *network ID*, *vpi1- vci1* to VCC *vpi2- vci2*

説明: 2 つの VCC をスプライス (接続) するために使用可能なバッファがありませんでした。

ATM.170

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.170 nt *network ID*, VCC *vpi1- vci1* was spliced *vpi2- vci2*, now *vpi3- vci3*

長構文: ATM.170 on network *network ID*, VCC *vpi1- vci1* was spliced to *vpi2- vci2*, now spliced to *vpi3- vci3*

説明: ユーザーがスプライス (接続) した VCC は、すでに別の VCC にスプライス (接続) されているものでした。

ATM.171

レベル: UE-ERROR

短構文: ATM.171 nt *network ID*, no rsp to Restart

長構文: ATM.171 Switch never responded to Restart on net *network ID*

説明: ATM スイッチは、Restart に RestartAck で応答することがまったくありませんでした。

ATM.172

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.172 Transmit msg got VCC handle, nt *network ID*

長構文: ATM.172 Transmit message was passed NULL VCC handle on network *network ID*

説明: ユーザーは、NULL VCC ハンドルを渡して xmit_msg を呼び出しました。

ATM.173

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.173 nt *network ID*, cmd failed, unsupported protocol: *prt*

長構文: ATM.173 on network *network ID*, cmd failed, unsupported protocol: *prt*

説明: 内部ルーチンが、サポートされないプロトコルのマルチキャスト・アドレスの追加または削除を試みしました。

ATM.174

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.174 nt *network ID*, cmd failed, protocol *prt*, error code: *err*

長構文: ATM.174 on network *network ID*, cmd failed, protocol *prt*, error code: *err*

説明: マルチキャスト・アドレスの追加または除去が試みられている最中に、内部エラーが発生しました。

ATM.175

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.175 nt *network ID*, SVC msg drop, low bfrs: *D2 D3 D4 D5*

長構文: ATM.175 on network *network ID*, SVC message dropped, adapter low on buffers: *D2 D3 D4 D5*

説明: アダプターはバッファが不足しているため、信号メッセージが除去されました。

ATM.176

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.176 nt *network ID*, disc conn hndl *caller*, *caller handle* dereg

長構文: ATM.176 on network *network ID*, disconnect call for handle *caller*, *caller handle* already deregistered

説明: コールの切断を受信したが、コーラーがすでに登録解除されています。

ATM.177

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.177 Function *vccmgrHandle* called, bad vccmgr hndl *caller*

長構文: ATM.177 Function *vccmgrHandle* called with invalid vccmgr handle *caller*

説明: 無効の VCC マネージャー・ハンドルを用いて、VCC マネージャー機能が呼び出されました。

ATM.178

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.178 Function *mecHandle* called, bad MEC hndl *caller*

長構文: ATM.178 Function *mecHandle* called with invalid MEC handle *caller*

説明: VCC マネージャーが無効の MEC ハンドルを見付けました。

ATM.179

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.179 Function *caller* called, no mem

長構文: ATM.179 Function *caller* called, out of memory

説明: ATM API コールが失敗しました。利用可能な記憶域がありません。

ATM.181

レベル: C-INFO

短構文: ATM.181 VCCMGR, als new entry, vccmgr hndl *vccmgrHandle*

長構文: ATM.181 VCCMGR, new VCC entry created dynamically, vccmgr handle = *vccmgrHandle*

説明: *vccmgrGetVCCTableEntry* が呼び出されて、新規 VCC 項目がシステム・メモリーから動的に割り振られました。

ATM.182

レベル: C-INFO

短構文: ATM.182 VCCMGR, new VCC entry, vccmgr hndl *vccmgrHandle*

長構文: ATM.182 VCCMGR, new VCC entry created, vccmgr handle = *vccmgrHandle*

説明: *vccmgrGetVCCTableEntry* が呼び出されて、新規 VCC 項目が作成されました。

ATM.183

レベル: C-INFO

短構文: ATM.183 VCCMGR, fvs vcc entry, vccmgr hndl *vccmgrHandle*

長構文: ATM.183 VCCMGR, free VCC entry to system, vccmgr handle = *vccmgrHandle*

説明: *vccmgrFreeVCCTableEntry* が呼び出されて、VCC 項目をシステム・メモリーに解放しました。

ATM.184

レベル: C-INFO

短構文: ATM.184 VCCMGR, free VCC entry, vccmgr hndl *vccmgrHandle*

長構文: ATM.184 VCCMGR, free VCC entry to free list, vccmgr handle = *vccmgrHandle*

説明: *vccmgrFreeVCCTableEntry* が呼び出されて、VCC 項目をフリー・リストに解放しました。

ATM.185

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.185 VCCMGR, duplicate entry, pType *pType*, vccmgr hndl *vccmgrHandle*

長構文: ATM.185 VCCMGR, duplicated VCC entry in list, protocol type *pType*, vccmgr handle = *vccmgrHandle*

説明: `vccmgrAddVCCToVCCList` が呼び出されて、リスト内に VCC 項目が複写されました。

ATM.186

レベル: C-INFO

短構文: ATM.186 VCCMGR, add entry, *pType* *pType*, *vccmgr hndl vccmgrHandle*

長構文: ATM.186 VCCMGR, add VCC entry to VCC list, protocol type *pType*, *vccmgr handle = vccmgrHandle*

説明: `vccmgrAddVCCToVCCList` が呼び出されて、VCC リストに VCC 項目を追加しました。

ATM.187

レベル: C-INFO

短構文: ATM.187 VCCMGR, delete entry, *pType* *pType*, *vccmgr hndl vccmgrHandle*

長構文: ATM.187 VCCMGR, delete VCC entry from VCC list, protocol type *pType*, *vccmgr handle = vccmgrHandle*

説明: `vccmgrDeleteEntryFromVCCList` が呼び出されて、VCC 項目を削除しました。

ATM.188

レベル: C-INFO

短構文: ATM.188 VCCMGR, new MEC entry, *mec hndl mecHandle*

長構文: ATM.188 VCCMGR, new MEC entry created, *mec handle = mecHandle*

説明: `vccmgrGetMECTableEntry` が呼び出され、新規 MEC 項目が作成されました。

ATM.189

レベル: C-INFO

短構文: ATM.189 VCCMGR, free MEC entry, *mec hndl mecHandle*

長構文: ATM.189 VCCMGR, free MEC entry, *mec handle = mecHandle*

説明: `vccmgrFreeMECTableEntry` が呼び出されて、MEC 項目を解放しました。

ATM.190

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.190 VCCMGR, duplicate MEC entry, *mec hndl mecHandle*

長構文: ATM.190 VCCMGR, duplicated entries in MEC list, *mec handle = mecHandle*

説明: `vccmgrAddMECEntryToMECList` が呼び出されて、MEC 項目が複写されました。

ATM.191

レベル: C-INFO

短構文: ATM.191 VCCMGR, add MEC entry, *mec hndl mecHandle*

長構文: ATM.191 VCCMGR, add MEC entry to MEC list, *mec handle = mecHandle*

説明: `vccmgrAddMECEntryToMECList` が呼び出されて、MEC 項目が複写されました。

ATM.192

レベル: C-INFO

短構文: ATM.192 VCCMGR, delete MEC entry, *mec hndl mecHandle*

長構文: ATM.192 VCCMGR, delete MEC entry from MEC list, *mec handle = mecHandle*

説明: `vccmgrDeleteMECEntryFromMECList` が呼び出されて、MEC 項目を削除しました。

ATM.193

レベル: C-INFO

短構文: ATM.193 VCCMGR, VCC sharing, *nt network ID*, *conn hndl connHandle*

長構文: ATM.193 VCCMGR, place call VCC sharing, on network *network ID*, *conn Handle = connHandle*

説明: `vccmgrPlaceCall` が呼び出されて、VCC が共用されました。

ATM.194

レベル: C-INFO

短構文: ATM.194 VCCMGR, place call ack, *vccmgr hndl vccmgrHandle*, *conn hndl connHandle*

長構文: ATM.194 VCCMGR, place call ack, *vccmgr handle = vccmgrHandle*, *conn handle = connHandle*

説明: `vccmgrPlaceCallAck` が呼び出されました。

ATM.195

レベル: C-INFO

短構文: ATM.195 VCCMGR, place call ack for shared vcc, conn hndl *vccmgrHandle*

長構文: ATM.195 VCCMGR, place call ack for shared VCC, conn handle = *vccmgrHandle*

説明: *vccmgrPlaceCallAckSimulation* が呼び出されました。

ATM.196

レベル: C-INFO

短構文: ATM.196 VCCMGR, VCC sharing, conn hndl *connHandle*

長構文: ATM.196 VCCMGR, receive call VCC sharing, conn Handle = *connHandle*

説明: *vccmgrReceiveCallAck* が呼び出されて、VCC が共用されました。

ATM.197

レベル: C-INFO

短構文: ATM.197 VCCMGR, frame drop, id *dmuxID* conn hndl *connHandle*

長構文: ATM.197 VCCMGR, data frame dropped, dmux id = *dmuxID*, conn Handle = *connHandle*

説明: *vccmgrReceiveFrame* が呼び出されて、フレームを除去しました。

ATM.198

レベル: C-INFO

短構文: ATM.198 VCCMGR, ready indicate rcvd, conn hndl *connHandle*

長構文: ATM.198 VCCMGR, first LE ready indicate received, conn Handle = *connHandle*

説明: *vccmgrReceiveFrame* が呼び出されて、第 1 準備完了表示を受信しました。

ATM.199

レベル: C-INFO

短構文: ATM.199 VCCMGR, duplicate VCC found, MEC hndl *mecHandle*, conn hndl *connHandle*

長構文: ATM.199 VCCMGR, duplicate VCC found, MEC handle = *mecHandle*, conn handle = *connHandle*

説明: *vccmgrReceiveFrame* が呼び出されて、VCC が複写されました。

ATM.200

レベル: C-INFO

短構文: ATM.200 VCCMGR, data frame rcvd, marker *marker*

長構文: ATM.200 VCCMGR, LE data frame received, marker = *marker*

説明: *vccmgrReceiveFrame* が呼び出されて、データ・フレームを受信しました。

ATM.201

レベル: C-INFO

短構文: ATM.201 VCCMGR, control frame rcvd, opcode *opCode*

長構文: ATM.201 VCCMGR, LE control frame received, opCode = *opCode*

説明: *vccmgrReceiveFrame* が呼び出されて、制御フレームを受信しました。

ATM.202

レベル: C-INFO

短構文: ATM.202 VCCMGR, frame drop, dmuxID *opCode*

長構文: ATM.202 VCCMGR, frame dropped, user not found, dmuxID = *opCode*

説明: *vccmgrReceiveFrame* が呼び出されて、フレームを除去しました。

ATM.203

レベル: C-INFO

短構文: ATM.203 VCCMGR, simulating rcvd call, hndl *connHandle*

長構文: ATM.203 VCCMGR, simulating receive call, connHandle = *connHandle*

説明: *vccmgrSimulatingReceiveCall* が呼び出されました。

ATM.204

レベル: C-INFO

短構文: ATM.204 VCCMGR, call simulated, hndl *connHandle*

長構文: ATM.204 VCCMGR, receive call simulated, connHandle = *connHandle*

説明: `vccmgrSimulatingReceiveCall` が呼び出されました。

ATM.205

レベル: C-INFO

短構文: ATM.205 VCCMGR, share VCC data path, `vcc hndl vccHandle`

長構文: ATM.205 VCCMGR, share VCC data path, `vccHandle = vccHandle`

説明: `vccmgrOpenVccDataPath` が呼び出されました。

ATM.206

レベル: C-INFO

短構文: ATM.206 VCCMGR, close shared VCC data path, `vcc hndl vccHandle`

長構文: ATM.206 VCCMGR, close shared VCC data path, `vcc handle = vccHandle`

説明: `vccmgrOpenVccDataPath` が呼び出されました。

ATM.207

レベル: C-INFO

短構文: ATM.207 VCCMGR, hangup call by `vccmgr`, `conn hndl vccHandle`

長構文: ATM.207 VCCMGR, hangup call by `vccmgr`, `conn handle = vccHandle`

説明: `vccmgrReleaseVCC` が呼び出されて、コールを停止しました。

ATM.208

レベル: C-INFO

短構文: ATM.208 VCCMGR, nt *network ID*, hangup call, `conn hndl connHandle`

長構文: ATM.208 VCCMGR, network *network ID*, VCC hangup call, `connHandle = connHandle`

説明: `vccmgrHangupCall` が呼び出されました。

ATM.209

レベル: C-INFO

短構文: ATM.209 VCCMGR, nt *network ID*, hangup shared call, `conn hndl connHandle`

長構文: ATM.209 VCCMGR, network *network ID*, hangup shared VCC call, `connHandle = connHandle`

説明: `vccmgrHangupCall` が呼び出されました。

ATM.210

レベル: C-INFO

短構文: ATM.210 VCCMGR, new owner, `vccmgr hndl vccmgrHandle`, `conn hndl connHandle`

長構文: ATM.210 VCCMGR, new VCC owner found, `vccmgrHandle = vccmgrHandle`, `connHandle = connHandle`

説明: `vccmgrSetNewVccOwner` が呼び出されました。

ATM.211

レベル: C-INFO

短構文: ATM.211 VCCMGR, new owner, `vccmgr hndl vccmgrHandle`, `conn hndl connHandle`

長構文: ATM.211 VCCMGR, new VCC owner found, `vccmgrHandle = vccmgrHandle`, `connHandle = connHandle`

説明: `vccmgrDisconnectCallSharedUser` が呼び出されました。

ATM.212

レベル: C-INFO

短構文: ATM.212 VCCMGR, disconnect call, `vccmgr hndl vccmgrHandle`, `conn hndl connHandle`

長構文: ATM.212 VCCMGR, disconnect call, `vccmgr handle = vccmgrHandle`, `connHandle = connHandle`

説明: `vccmgrDisconnectCall` が呼び出されました。

ATM.213

レベル: C-INFO

短構文: ATM.213 VCCMGR, close call sap, `sap hndl vccmgrHandle`

長構文: ATM.213 VCCMGR, close call sap, `sap handle = vccmgrHandle`

説明: `vccmgrCloseCallSap` が呼び出されました。

ATM.214

レベル: C-INFO

短構文: ATM.214 VCCMGR, disconnect shared call, `conn hndl connHandle`

長構文: ATM.214 VCCMGR, disconnect call for shared users, `connHandle = connHandle`

説明: `vccmgrDisconnectCallSharedUser` が呼び出されました。

ATM.215

レベル: C-INFO

短構文: ATM.215 VCCMGR, simulating hangup call, conn hndl *connHandle*

長構文: ATM.215 VCCMGR, simulating hangup call for shared users, connHandle = *connHandle*

説明: vccmgrHangupCallSimulation が呼び出されました。

ATM.216

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.216 API, invalid bound VCC hndl, nt *network ID*, hndl *handle* bnd hndl *bound*

長構文: ATM.216 API called with invalid VCC handle, on network *network ID*, handle = *handle* bound handle = *bound*

説明: VCC ハンドル内の無効の結合 VCC ハンドルが API に渡されました。

ATM.217

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.217 C_caller, hangup leaf: dup caller on MP call, nt *network ID*, conn hndl *connHandle*

長構文: ATM.217 C_caller, hangup leaf: duplicate caller on multipoint call, on network *network ID*, conn handle = *connHandle*

説明: 同じコーラーのマルチポイント (多地点) コールに対して追加パーティーを受信しました。

ATM.218

レベル: U-INFO

短構文: ATM.218 Function *function_name*: Grp-snd cncl'd nt *network ID* group *groupHandle*

長構文: ATM.218 Function *function_name*: Group-send canceled on network *network ID* group *groupHandle*

説明: グループ送信時にグループ・リストが変更されました (取り消されました)。

ATM.219

レベル: CI-ERROR

短構文: ATM.219 Function *function_name*: Grp not in use nt *network ID* iorb *iorbp*

長構文: ATM.219 Function *function_name*: Group not in use on network *network ID* iorb *iorbp*

説明: グループ送信時に、グループ状態が正しく設定されていませんでした。

Panic atm mem

短構文: ATM interface initialization failed, no memory.

説明: ATM インターフェースが、初期化を完了できる十分な記憶域を割り振ることができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

第9章 ATM 一時ローカル管理インターフェース (ILMI)

この章では、ATM 一時ローカル管理インターフェース (ILMI) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

ILMI.001

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.001 nt *net_num* state chng *state*

長構文: ILMI.001 Network *net_num* state changed to: *state*

説明: ILMI の状態が変更されました。

ILMI.002

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.002 nt *net_num* ntrd func *function_name*

長構文: ILMI.002 Network *net_num*, entered function *function_name*

説明: ILMI 機能が開始されましたが、トレース引き数はありません。

ILMI.003

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.003 nt *net_num* ntrd func *function_name*, state= *state*

長構文: ILMI.003 Network *net_num*, entered, function *function_name*, state = *state*

説明: ILMI の状態を引き数として、ILMI 機能が開始されました。

ILMI.004

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.004 nt *net_num* ntrd func *function_name* *value*

長構文: ILMI.004 Network *net_num*, entered function *function_name* *value*

説明: 値 *x* を引き数として、ILMI 機能が開始されました。

ILMI.005

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.005 nt *net_num* ntrd func *function_name*, *val1*, *val2*

長構文: ILMI.005 Network *net_num*, entered function *function_name*, *val1*, *val2*

説明: 値 *x* および *y* を引き数として、ILMI 機能が開始されました。

ILMI.006

レベル: P-TRACE

短構文: ILMI.006 Trace ATM ILMI frame.

長構文: ILMI.006 Trace ATM ILMI frame.

説明: ATM ILMI フレーム・パケットのトレース

ILMI.007

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.007 nt *net_num* ntrd func *function_name*, state= *state*, hndl= *info*

長構文: ILMI.007 Network *net_num*, entered function *function_name*, state = *state*, handle = *info*

説明: ILMI の状態およびアドレス・ハンドルを引き数として、ILMI 機能が開始されました。

ILMI.008

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.008 nt *net_num* recv *cmd_type*

長構文: ILMI.008 Network *net_num*, received a *cmd_type*

説明: ILMI データがコマンド・タイプと共に受信されました。

ILMI.009

レベル: UE-ERROR

短構文: ILMI.009 nt *net_num* els_msg, state= *state*

長構文: ILMI.009 Network *net_num*, *els_msg*, state= *state*

説明: ILMI 状態を含む、外部エラーの ILMI ログ・ポイント

ILMI.010

レベル: UI-ERROR

短構文: ILMI.010 nt *net_num els_msg*, state= *state*

長構文: ILMI.010 Network *net_num*, *els_msg*, state= *state*

説明: ILMI 状態を含む、内部エラーの ILMI ログ・ポイント

ILMI.011

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.011 nt *net_num els_msg*, state= *state*

長構文: ILMI.011 Network *net_num*, *els_msg*, state= *state*

説明: ILMI 状態を含む、情報の ILMI ログ・ポイント

ILMI.012

レベル: UE-ERROR

短構文: ILMI.012 nt *net_num els_msg*, *info*

長構文: ILMI.012 Network *net_num*, *els_msg* *info*

説明: 追加データを含む、外部エラーの ILMI ログ・ポイント

ILMI.013

レベル: UE-ERROR

短構文: ILMI.013 nt *net_num els_msg*

長構文: ILMI.013 Network *net_num*, *els_msg*

説明: データのない、外部エラーの ILMI ログ・ポイント

ILMI.014

レベル: UI-ERROR

短構文: ILMI.014 nt *net_num els_msg*

長構文: ILMI.014 Network *net_num*, *els_msg*

説明: データのない、内部エラーの ILMI ログ・ポイント

ILMI.015

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.015 nt *net_num ntrd func function_name* state, state= *info*

長構文: ILMI.015 Network *net_num*, entered function *function_name* state, state = *info*

説明: ILMI 機能が、値 *y* および ILMI 状態を引き数として開始されました。

ILMI.016

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.016 nt *net_num els_msg* *value*

長構文: ILMI.016 Network *net_num*, *els_msg* *value*

説明: 値を含む、情報の ILMI ログ・ポイント

ILMI.017

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.017 nt *net_num els_msg*

長構文: ILMI.017 Network *net_num*, *els_msg*

説明: データのない、情報の ILMI ログ・ポイント

ILMI.018

レベル: UI-ERROR

短構文: ILMI.018 nt *net_num els_msg*, *value*

長構文: ILMI.018 Network *net_num*, *els_msg* *value*

説明: 追加データを含む、内部エラーの ILMI ログ・ポイント

ILMI.019

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.019 nt *net_num els_msg*, *val1*, *val2*

長構文: ILMI.019 Network *net_num*, *els_msg*, *val1*, *val2*

説明: 値を 2 つ含む、情報の ILMI ログ・ポイント

ILMI.020

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.020 nt *net_num snt cmd_type*

長構文: ILMI.020 Network *net_num*, sent a *cmd_type*

説明: ILMI データがコマンド・タイプと共に送信されました。

ILMI.021

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.021 nt *net_num* net pref= *addr1 addr2 addr3 addr4*

長構文: ILMI.021 Network *net_num*, network prefix= *addr1 addr2 addr3 addr4*

説明: ILMI はスイッチからネットワーク接頭部を受信しました。

ILMI.022

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.022 nt *net_num* ntrd func *function_name*,
version

長構文: ILMI.022 Network *net_num*, entered, function
function_name, UNI version = *version*

説明: ILMI が UNI のバージョンを返しました。

ILMI.023

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.023 Reg ESI, nt *net_num*, func *function_name*,
addr= *addr1 addr2*,sel= *sel*

長構文: ILMI.023 Registering ESI on Network *net_num*,
function *function_name*, ESI= *addr1 addr2*, Selector = *sel*

説明: ILMI がセレクトアに ESI を登録しています。

第10章 ATM LLC (ALLC)

この章では ATM LLC (ALLC) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

ALLC.001

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.001 Fn *function_name* called, nt *network id*

長構文: ALLC.001 Function *function_name* called, on network *network id*

説明: ATM 1483 機能が呼び出されました。

ALLC.002

レベル: CI-ERROR

短構文: ALLC.002 error rtn, fn *function_name* rc *return_code* (*descriptor_string*) nt *network ID*

長構文: ALLC.002 error rtn, fn *function_name* rc *return_code* (*descriptor_string*) nt *network ID*

説明: ATM LLC レイヤーに対する下位呼び出しがエラーを戻しました。

原因: 入力パラメーターが不良であるか、またはエラーを記述する短ストリングと共に戻りコードが印刷される条件が誤っている可能性があります。エラーを戻す機能名も印刷されます。表示される可能性があるエラー・ストリングとしては、以下のものがあります。 ”Invalid net num”: 無効のネット番号が API に渡されました。 ”NULL clientFunctions”: NULL clientFunctions ptr が渡されました。 ”NULL clientHandlePtr”: NULL clientHandlePtr が渡されました。 ”Inv hdr length”: 無効のパケット・ヘッダー長さが渡されました。 ”Invalid addr scheme”: 無効の ATM アドレス指定機構が要求されました。 ”net down (reg)”: ネットはダウンしているが、クライアントは登録されました (エラーなし)。 ”net down (no reg)”: ネットがダウンしていて、クライアント登録は実行されませんでした (エラーなし)。 ”dup non-shared EPs”: 2 つの共用不能エンドポイントが構成され、同じ ATM アドレスの登録が試行されました。(これは、構成エラーの可能性を示しています。) ”addr actvn procdng”: ATM アドレス活性化が進行中です (エラーなし)。 ”bad client handle”: 無効のクライアント・ハンドルが ATM LLC API に渡されました。 ”bad input parms”: 無効の入力パラメーターが ATM LLC API に渡されました。 ”ep not up”: まだアップになっていないエンドポイントに対して、コーラーがチャンネルのオープンを試行しました。 ”bad channel handle”: 無効のチャンネル・

ハンドルが ATM LLC API に渡されました。 ”not chnl user”: ATM LLC API に対するコーラーが、チャンネルのユーザーにならないままで、そのチャンネルの使用を試行しました。

ALLC.003

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.003 clnt (*atm1483ClientStruct_ptr*) added to exstng EP (*atm1483EpBlkStruct_ptr*) (total *num_clnts*), nt *network id*

長構文: ALLC.003 client (*atm1483ClientStruct_ptr*) added to existing EP (*atm1483EpBlkStruct_ptr*) (total *num_clnts*), nt *network id*

説明: クライアントが既存のエンドポイントに正常に登録され、このエンドポイントにおける新しいクライアント数が印刷されます。

ALLC.004

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.004 Clnt (*atm1483ClientStruct_ptr*) added to new EP (*atm1483EpBlkStruct_ptr*), nt *network id*

長構文: ALLC.004 Client (*atm1483ClientStruct_ptr*) added to newly created endpoint (*atm1483EpBlkStruct_ptr*), nt *network id*

説明: 新規エンドポイントが作成され、ここにクライアントが正常に登録されました。

ALLC.005

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.005 Fn *function_name* rtng SUCCESS, nt *network id*

長構文: ALLC.005 Function *function_name* returning SUCCESS, on network *network id*

説明: ATM 1483 機能が SUCCESS を戻しています。

ALLC.006

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.006 Fn *function_name* called

長構文: ALLC.006 Function *function_name* called

説明: ATM 1483 機能が呼び出されました。

ALLC.007

レベル: CI-ERROR

短構文: ALLC.007 Error rtn, fn *function_name* rc *return_code* (*descriptor_string*)

長構文: ALLC.007 Error rtn, fn *function_name* rc *return_code* (*descriptor_string*)

説明: ATM LLC レイヤーに対するダウンコールがエラーを戻しました。

原因: 入力パラメーターが不良であるか、またはエラーを記述する短ストリングと共に戻りコードが印刷される条件が誤っている可能性があります。表示される可能性のある *descriptor_string* が、ALLC_2 の場合と同じです。

ALLC.008

レベル: UI-ERROR

短構文: ALLC.008 Failed mem allocn, fn *function_name* (*descriptor_string*)

長構文: ALLC.008 Failed memory allocation in function *function_name* (*descriptor_string*)

説明: 動的記憶域を割り振る試みが失敗しました。

原因: これは、ルーターの動的記憶域が不足していることを示しています。この障害には、他の記憶域割り振り障害に対処する場合と同じようにして対処する必要があります。

ALLC.009

レベル: UI-ERROR

短構文: ALLC.009 Matching PVC (vpi= *vpi* vci= *vci*) unusable (*descriptor_string*), nt *network id*

長構文: ALLC.009 matching PVC (vpi= *vpi* vci= *vci*) unusable (*descriptor_string*), nt *network id*

説明: クライアントが既存の PVC のオープンを試行したが、共用フラグのためにこれができないか、または SDU のミスマッチがあります (これは記述子ストリングに示されています)。

原因: これらの PVC に関する構成エラーを示している場合があります。

ALLC.010

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.010 new user on chnl (vpi *vpi*/ vci *vci*) (total *new_total*) nt *network id*

長構文: ALLC.010 Added new user to chnl (vpi *vpi*/ vci *vci*) (total *new_total*) nt *network id*

説明: 新規ユーザーが VCC に追加されています。この VCC の新しいユーザー数が印刷されます。

ALLC.011

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.011 PVC up (vpi= *vpi* vci= *vci*), nt *network id*

長構文: ALLC.011 New PVC activated (vpi= *vpi* vci= *vci*), nt *network id*

説明: 新規 PVC が起動されています。

ALLC.012

レベル: UI-ERROR

短構文: ALLC.012 Failed PVC bring up (vpi= *vpi* vci= *vci*, redial= *redial_flag*), nt *network id*

長構文: ALLC.012 Failed PVC bring up (vpi= *vpi* vci= *vci*, redial= *redial_flag*), nt *network id*

説明: PVC の起動が正常に行われなかったことを示しています。後続の起動が再試行されることが、ゼロ以外によって示されている場合は、リダイヤルします。

ALLC.013

レベル: CE-ERROR

短構文: ALLC.013 Failed SVC bring up (dstn *atm_address*, redial= *redial_flag*), nt *network id*

長構文: ALLC.013 Failed SVC bring up (dstn *ATM addr atm_address*, redial= *redial_flag*), nt *network id*

説明: 指定のあて先 ATM アドレスへの SVC の起動が正常に行われなかったことを示しています。 ”redial” がゼロ以外では、後続の起動が再試行されることを示しています。

ALLC.014

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.014 SVC call placed (dstn *atm_address*), nt *network id*

長構文: ALLC.014 SVC call placed (dstn ATM addr atm_address), nt network id

説明: 指定のあて先 ATM アドレスへの SVC に関して、コールが正常に発信されたことを示しています。

ALLC.016

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.016 SVC hung up (vpi vpi/ vci vci, dstn atm_address) nt network id

長構文: ALLC.016 SVC hung up (vpi vpi/ vci vci, dstn atm_address) nt network id

説明: SVC がハングアップされたのが、この SVC の最後のユーザーがこのチャンネルをクローズした後であったことを示しています。

ALLC.017

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.017 atm1483SendData success(vpi vpi/ vci vci), nt network id

長構文: ALLC.017 atm1483SendData success(vpi vpi/ vci vci), nt network id

説明: この VCC 上の "slow path" データ伝送機能は正常に行われました。

ALLC.018

レベル: UI-ERROR

短構文: ALLC.018 atm1483SendData failed (vpi vpi/ vci vci), nt network id

長構文: ALLC.018 atm1483SendData failed (vpi vpi/ vci vci), nt network id

説明: この VCC 上の "slow path" データ伝送機能は正常に行われませんでした。

ALLC.019

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.019 EP actvn attempt (ESI esi Sel selector), nt network id

長構文: ALLC.019 EP activation attempt (ESI esi Sel selector), nt network id

説明: エンドポイントを起動する試みが行われています。エンドポイントは、その ESI (実際の、または "出荷時設定" のいずれかとセクター・バイト) によって記述されています。

ALLC.020

レベル: CI-ERROR

短構文: ALLC.020 ATM downcall fail (function_name rc return_code)

長構文: ALLC.020 ATM downcall from 1483 failed (function_name rc return_code)

説明: 1483 レイヤーから ATM ドライバーへのダウンコールが戻したものが、SUCCESS 以外であり、機能名および戻りコードが印刷されます。

ALLC.021

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.021 EP up (atm_address), nt network id

長構文: ALLC.021 Local endpoint activated (atm_address), nt network id

説明: ローカル ATM 1483 エンドポイントが起動されています。

ALLC.022

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.022 ATM addr state chg (ESI esi Sel selector, state newstate), nt network id

長構文: ALLC.022 ATM addr state chg upcall (ESI esi Sel selector, state newstate), nt network id

説明: ATM アドレスの状態の変更を示すアップコールを受信しました。変更後の新しい状態は "state" の値によって示されます。 state = 0 => アドレス非活性化 state = 1 => アドレス活性化 state = 2 => アドレス拒否 state = 3 => アドレス循環

ALLC.023

レベル: UE-ERROR

短構文: ALLC.023 Hanging up incoming call (caller remote_atm_address, hangup_descriptor_string), nt network id

長構文: ALLC.023 Hanging up incoming call (caller remote_atm_address, hangup_descriptor_string), nt network id

説明: 着信コールがハングアップされています。コーラーの ATM アドレス、および理由を記述するストリングが印刷されます。

ALLC.024

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.024 Valid call recvd (caller *remote_atm_address*, vpi *vpi*/ vci *vci*, total *num_chnls*, sdu chg *sdu_chg*)

長構文: ALLC.024 Valid call recvd (caller *remote_atm_address*, vpi *vpi*/ vci *vci*, total *num_chnls*, sdu chg *sdu_chg*)

説明: 有効な着信コールを受信し、確認応答しました。コーラーの ATM アドレス、VPI および VCI に加えて、このインターフェース (ALLC を使用) 上の動作可能 SVC の新しい合計数が印刷され、SDU 折衝が実行されたかどうか ("sdu chg" がゼロ以外の場合) が示されています。

ALLC.025

レベル: UE-ERROR

短構文: ALLC.025 Hanging up acked call (destn *remote_atm_address*, *hangup_descriptor_string*, redial *redial_flag*), nt *network id*

長構文: ALLC.025 Hanging up acked call (destn *remote_atm_address*, *hangup_descriptor_string*, redial *redial_flag*), nt *network id*

説明: ACK を受信した発信コールがハングアップされています。あて先 ATM アドレス、および理由を記述するストリングが印刷されます。"リダイヤル" フラグがゼロ以外の場合は、チャンネルがリダイヤルされることを示しています。

ALLC.026

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.026 VCC setup complete (destn *remote_atm_address*, vpi *vpi*/ vci *vci*, total *num_chnls*), nt *network id*

長構文: ALLC.026 VCC setup complete (destn *remote_atm_address*, vpi *vpi*/ vci *vci*, total *num_chnls*), nt *network id*

説明: ローカル・エンド・ステーションによって開始された VCC が正常に設定されています。あて先 ATM アドレス、VPI、VCI が、このインターフェース (ALLC を使用) 上の動作可能 SVC の新しい合計数と共に印刷されます。

ALLC.027

レベル: CE-ERROR

短構文: ALLC.027 Recvd remote discon (from *remote_atm_address*, vpi *vpi*/vci *vci*), nt *network id*

長構文: ALLC.027 Recvd remote discon (from *remote_atm_address*, vpi *vpi*/vci *vci*), nt *network id*

説明: リモート ATM ステーションが VCC を切断しました。VCC のリモート ATM アドレスおよび VPI/VCI が印刷されます。

ALLC.028

レベル: CE-ERROR

短構文: ALLC.028 Remote VCC Disconn (rsn *reason_code*, cause *cause_code*, diagLen *diag_len*, diagData[0] *diag_data*)

長構文: ALLC.028 Remote VCC Disconn (rsn *reason_code*, cause *cause_code*, diagLen *diag_len*, diagData[0] *diag_data*)

説明: これが使用されるのは、ALLC_27 によって示された VCC 切断に関して、理由コードおよび原因コードを示す場合です。

ALLC.029

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.029 EP cleaned up (ESI *esi* Sel *selector*), nt *network id*

長構文: ALLC.029 EP cleaned up (ESI *esi* Sel *selector*), nt *network id*

説明: 必要がなくなったエンドポイントの終結処理中です。このエンドポイントを定義する ESI およびセクター・バイトが表示されます。

ALLC.030

レベル: UI_ERROR

短構文: ALLC.030 Internal ATM downcall fail (*function_name* rc *return_code*)

長構文: ALLC.030 ATM downcall for a local function from 1483 failed (*function_name* rc *return_code*)

説明: ローカル機能にのみ関与し、通常は常に正常に行われるはずの、ATM API に対するダウンコールが、正常に行われませんでした。ATMLLC または ATM ドライバー・コード、あるいはその両方にエラーがある可能性を示しています。

ALLC.031

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.031 Packet recvd (0-3 *first_4_bytes* 4-7 *next_4_bytes* 8-9 *next_2_bytes*), nt *network id*

長構文: ALLC.031 Packet received by ATMLLC (0-3 *first_4_bytes* 4-7 *next_4_bytes* 8-9 *next_2_bytes*), nt *network id*

説明: このネット上で ATMLLC モジュールがパケットを受信しました。このパケットの先頭の 10 バイト (LLC SNAP 情報が入っている) が印刷されます。

ALLC.032

レベル: UI-ERROR

短構文: ALLC.032 invalid clnt (*atm1483ClientStruct_ptr*) on chnl (vpi *vpi/vci* vci), nt *network id*

長構文: ALLC.032 invalid client (*atm1483ClientStruct_ptr*) still on chnl (vpi *vpi/vci* vci), nt *network id*

説明: 無効のクライアントがチャネルのユーザーとしてリストされています。すでに削除されたか、またはこのチャネルを以前終了している、古いクライアントであった可能性があります。内部コーディング・エラーであることを示しています。

ALLC.033

レベル: U-INFO

短構文: ALLC.033 chnl disconn recvd with null correlator

長構文: ALLC.033 chnl disconn recvd with null correlator

説明: ATMLLC モジュールが、あるチャネルに関して切断を受信しましたが、その設定自体をまだ受信していませんでした。

ALLC.034

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.034 netup recvd by ep *atm1483EpBlkStruct_ptr* (*num_clients* clnts), nt *network id*

長構文: ALLC.034 netup recvd by endpoint *atm1483EpBlkStruct_ptr* (*num_clients* clients), nt *network id*

説明: 指定されたエンドポイントがネットアップを受信しました。このエンドポイントに現在登録されているクライアントの数が印刷されます。

ALLC.035

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.035 netdown recvd by ep *atm1483EpBlkStruct_ptr* (*num_clients* clnts), nt *network id*

長構文: ALLC.035 netdown recvd by endpoint *atm1483EpBlkStruct_ptr* (*num_clients* clients), nt *network id*

説明: 指定されたエンドポイントがネットダウンを受信しました。このエンドポイントに現在登録されているクライアントの数が印刷されます。

ALLC.036

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.036 clnt (*atm1483ClientStruct_ptr*) deleted from ep (*atm1483EpBlkStruct_ptr*), *n_clients* remain, nt *network id*

長構文: ALLC.036 client (*atm1483ClientStruct_ptr*) deleted from endpt (*atm1483EpBlkStruct_ptr*), *n_clients* remain, nt *network id*

説明: エンドポイントからクライアントが登録解除されるつど、必ずこのメッセージが印刷されます。該当のクライアントおよびエンドポイントの ID が、エンドポイント上に残っているクライアントの数と共に印刷されます。

第11章 ATM シグナル (SVC)

この章では、ATM シグナル (SVC) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

SVC.001

レベル: C-INFO

短構文: SVC.001 LOGATM_STRING

長構文: SVC.001 LOGATM_STRING

説明: 一般情報ログ

SVC.002

レベル: C-INFO

短構文: SVC.002 LOGATM_STRING D2

長構文: SVC.002 LOGATM_STRING D2

説明: 引き数が 1 つの一般情報ログ

SVC.003

レベル: C-INFO

短構文: SVC.003 LOGATM_STRING, D2, D3

長構文: SVC.003 LOGATM_STRING, D2, D3

説明: 引き数が 2 つの一般情報ログ

SVC.004

レベル: C-INFO

短構文: SVC.004 LOGATM_STRING, D2, D3, D4

長構文: SVC.004 LOGATM_STRING, D2, D3, D4

説明: 引き数が 3 つの一般情報ログ

SVC.005

レベル: UI-ERROR

短構文: SVC.005 LOGATM_STRING

長構文: SVC.005 LOGATM_STRING

説明: 総称内部エラー・ログ

SVC.006

レベル: UI-ERROR

短構文: SVC.006 LOGATM_STRING D2

長構文: SVC.006 LOGATM_STRING D2

説明: 引き数が 1 つの総称内部エラー・ログ

SVC.007

レベル: UI-ERROR

短構文: SVC.007 LOGATM_STRING D2 D3

長構文: SVC.007 LOGATM_STRING D2 D3

説明: 引き数が 2 つの総称内部エラー・ログ

SVC.008

レベル: UI-ERROR

短構文: SVC.008 LOGATM_STRING D2 D3 D4

長構文: SVC.008 LOGATM_STRING D2 D3 D4

説明: 引き数が 3 つの総称内部エラー・ログ

SVC.009

レベル: UE-ERROR

短構文: SVC.009 LOGATM_STRING

長構文: SVC.009 LOGATM_STRING

説明: 総称外部エラー・ログ

SVC.010

レベル: UE-ERROR

短構文: SVC.010 LOGATM_STRING D2

長構文: SVC.010 LOGATM_STRING D2

説明: 引き数が 1 つの総称外部エラー・ログ

SVC.011

レベル: UE-ERROR

短構文: SVC.011 LOGATM_STRING, D2, D3

長構文: SVC.011 LOGATM_STRING, D2, D3

説明: 引き数が 2 つの総称外部エラー・ログ

SVC.012

レベル: C-INFO

短構文: SVC.012 Enter *LOGATM_STRING*

長構文: SVC.012 Entered function *LOGATM_STRING*

説明: SVC 機能を開始しました。

SVC.013

レベル: C-INFO

短構文: SVC.013 Enter function *LOGATM_STRING D2*

長構文: SVC.013 Entered function *LOGATM_STRING D2*

説明: 引き数を 1 つ指定して、SVC 機能を開始しました。

SVC.014

レベル: C-INFO

短構文: SVC.014 Enter function *LOGATM_STRING, D2, D3*

長構文: SVC.014 Entered function *LOGATM_STRING, D2, D3*

説明: 引き数を 2 つ指定して、SVC 機能を開始しました。

SVC.015

レベル: C-INFO

短構文: SVC.015 Enter function *LOGATM_STRING, D2, D3, D4*

長構文: SVC.015 Entered function *LOGATM_STRING, D2, D3, D4*

説明: 引き数を 3 つ指定して、SVC 機能を開始しました。

SVC.016

レベル: C-INFO

短構文: SVC.016 Exit *LOGATM_STRING*

長構文: SVC.016 Exited Function *LOGATM_STRING*

説明: SVC 機能を終了しました。

SVC.017

レベル: C-INFO

短構文: SVC.017 Exit *LOGATM_STRING D2*

長構文: SVC.017 Exited Function *LOGATM_STRING D2*

説明: 引き数を 1 つ指定して、SVC 機能を終了しました。

SVC.018

レベル: C-INFO

短構文: SVC.018 Exit *LOGATM_STRING, D2, D3*

長構文: SVC.018 Exited Function *LOGATM_STRING D2 D3*

説明: 引き数を 2 つ指定して、SVC 機能を終了しました。

SVC.019

レベル: C-INFO

短構文: SVC.019 Exit *LOGATM_STRING, D2, D3, D4*

長構文: SVC.019 Exited Function *LOGATM_STRING D2 D3 D4*

説明: 引き数を 3 つ指定して、SVC 機能を終了しました。

SVC.020

レベル: C-INFO

短構文: SVC.020 Received signalling message *LOGATM_STRING,conn hndl= D2,ID= D3,state= D4*

長構文: SVC.020 Received signalling message *LOGATM_STRING, conn handle = D2, Call Ref ID = D3, call state = D4*

説明: シグナル・メッセージを受信しました。

SVC.021

レベル: UE-ERROR

短構文: SVC.021 Timer *LOGATM_STRING* expired, conn hndl= *D2*,leaf hndl= *D3*

長構文: SVC.021 Timer *LOGATM_STRING* expired, conn handle = *D2*, leaf handle = *D3*

説明: タイマーが満了しました。

SVC.022

レベル: P_TRACE

短構文: SVC.022 Trace ATM SVC frame.

長構文: SVC.022 Trace ATM SVC frame.

説明: ATM SVC フレーム・パケットのトレース

SVC.023

レベル: UE-ERROR

短構文: SVC.023 Timer *LOGATM_STRING* expired

長構文: SVC.023 Timer *LOGATM_STRING* expired

説明: タイマーが満了しました。

SVC.024

レベル: C-INFO

短構文: SVC.024 Received signalling message,
LOGATM_STRING type= *D2*

長構文: SVC.024 Received signalling message,
LOGATM_STRING type = *D2*

説明: シグナル・メッセージを受信しました。

SVC.025

レベル: C-INFO

短構文: SVC.025 *LOGATM_STRING D2 D3 D4 D5*

長構文: SVC.025 *LOGATM_STRING D2 D3 D4 D5*

説明: ストリング引き数を含む汎用情報ログ

SVC.026

レベル: UE-ERROR

短構文: SVC.026 *LOGATM_STRING, D2, D3, D4*

長構文: SVC.026 *LOGATM_STRING, D2, D3, D4*

説明: 引き数が 3 つの総称外部エラー・ログ

SVC.027

レベル: UI-ERROR

短構文: SVC.027 *LOGATM_STRING*

長構文: SVC.027 *LOGATM_STRING*

説明: 呼切断エラー

第12章 ATM シグナル用 ATM アダプテーション・レイヤー (SAAL)

この章では、ATM シグナル用 ATM アダプテーション・レイヤー (SAAL) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

SAAL.001

レベル: C-INFO

短構文: SAAL.001 nt *n_net* Function *LOGATM_STRING* entered

長構文: SAAL.001 Net *n_net* Function *LOGATM_STRING* entered

説明: SAAL 機能を開始しました。

SAAL.002

レベル: C-INFO

短構文: SAAL.002 nt *n_net* Function *LOGATM_STRING* extd

長構文: SAAL.002 Net *n_net* Function *LOGATM_STRING* exited

説明: SAAL 機能を終了しました。

SAAL.003

レベル: UI-ERROR

短構文: SAAL.003 nt *n_net* *LOGATM_STRING*

長構文: SAAL.003 Net *n_net* *LOGATM_STRING*

説明: SAAL の内部エラー

SAAL.004

レベル: C-INFO

短構文: SAAL.004 nt *n_net* SSCF state change, *LOGATM_STRING* D2

長構文: SAAL.004 Net *n_net* SSCF state change, *LOGATM_STRING* D2

説明: SSCF の状態変更

SAAL.005

レベル: C-INFO

短構文: SAAL.005 nt *n_net* SSCF *LOGATM_STRING* D2

長構文: SAAL.005 Net *n_net* SSCF *LOGATM_STRING* D2

説明: 引き数が 1 つの SSCF の状態変更

SAAL.006

レベル: C-INFO

短構文: SAAL.006 nt *n_net* *LOGATM_STRING*

長構文: SAAL.006 Net *n_net* *LOGATM_STRING*

説明: SSCF によるパケットの送信

SAAL.007

レベル: C-INFO

短構文: SAAL.007 nt *n_net* *LOGATM_STRING*

長構文: SAAL.007 Net *n_net* *LOGATM_STRING*

説明: SSCF によるパケットの受信

SAAL.008

レベル: UI-ERROR

短構文: SAAL.008 nt *n_net* *LOGATM_STRING*

長構文: SAAL.008 Net *n_net* *LOGATM_STRING*

説明: SSCF の内部エラー

SAAL.009

レベル: UI-ERROR

短構文: SAAL.009 nt *n_net* SSCF state change *LOGATM_STRING* D2

長構文: SAAL.009 Net *n_net* SSCF state change *LOGATM_STRING* D2

説明: SSCF の異常な状態変更

SAAL.010

レベル: C-INFO

短構文: SAAL.010 nt *n_net* SSCOP state change, *LOGATM_STRING* D2

長構文: SAAL.010 Net *n_net* SSCOP state change, *LOGATM_STRING* D2

説明: SSCOP の状態変更

SAAL.011

レベル: UE-ERROR

短構文: SAAL.011 nt *n_net LOGATM_STRING*

長構文: SAAL.011 Net *n_net LOGATM_STRING*

説明: SSCF の外部エラー・ログ

SAAL.012

レベル: UE-ERROR

短構文: SAAL.012 nt *n_net LOGATM_STRING D2*

長構文: SAAL.012 Net *n_net LOGATM_STRING D2*

説明: 引き数が 1 つの SSCF の外部エラー・ログ

SAAL.013

レベル: UI-ERROR

短構文: SAAL.013 nt *n_net SSCOP state change LOGATM_STRING D2*

長構文: SAAL.013 Net *n_net SSCOP state change LOGATM_STRING D2*

説明: 引き数が 1 つの SSCOP の異常な状態変更

SAAL.014

レベル: UI-ERROR

短構文: SAAL.014 nt *n_net LOGATM_STRING*

長構文: SAAL.014 Net *n_net LOGATM_STRING*

説明: SSCOP の内部エラー

SAAL.015

レベル: UI-ERROR

短構文: SAAL.015 nt *n_net SSCOP state change LOGATM_STRING*

長構文: SAAL.015 Net *n_net SSCOP state change LOGATM_STRING*

説明: SSCOP の異常な状態変更

SAAL.016

レベル: C-INFO

短構文: SAAL.016 nt *n_net recv LOGATM_STRING, seq= seq, len= len*

長構文: SAAL.016 Net *n_net receive LOGATM_STRING,*

sequence number = seq, length= len

説明: SSCOP による順序保存データの受信

SAAL.017

レベル: UE-ERROR

短構文: SAAL.017 nt *n_net LOGATM_STRING*

長構文: SAAL.017 Net *n_net LOGATM_STRING*

説明: SSCOP の外部エラー

SAAL.018

レベル: UE-ERROR

短構文: SAAL.018 nt *n_net LOGATM_STRING D2*

長構文: SAAL.018 Net *n_net LOGATM_STRING D2*

説明: 引き数が 1 つの SSCOP 外部エラー

SAAL.019

レベル: C-INFO

短構文: SAAL.019 nt *n_net LOGATM_STRING, sequence, size*

長構文: SAAL.019 Net *n_net LOGATM_STRING, sequence, size*

説明: SSCOP によるシーケンス番号およびサイズを指定したバケットの送信

SAAL.020

レベル: C-INFO

短構文: SAAL.020 nt *n_net SSCOP LOGATM_STRING timeout*

長構文: SAAL.020 Net *n_net SSCOP LOGATM_STRING timeout*

説明: SSCOP のタイムアウト

SAAL.021

レベル: UE-ERROR

短構文: SAAL.021 nt *n_net SSCOP rcv err, LOGATM_STRING*

長構文: SAAL.021 Net *n_net SSCOP rcv err, LOGATM_STRING*

説明: SSCOP によるエラーの受信

SAAL.022

レベル: U-INFO

短構文: SAAL.022 nt *n_net* xmit LOGATM_STRING: D2
D3 D4 D5, len= *len*

長構文: SAAL.022 Net *n_net* transmit LOGATM_STRING:
D2 D3 D4 D5, length= *len*

説明: SSCOP によるデータの送信

SAAL.023

レベル: U-INFO

短構文: SAAL.023 nt *n_net* recv LOGATM_STRING: D2
D3 D4 D5, len= *len*

長構文: SAAL.023 Net *n_net* receive LOGATM_STRING:
D2 D3 D4 D5, length= *len*

説明: SSCOP によるデータの受信

SAAL.024

レベル: P_TRACE

短構文: SAAL.024 Trace SAAL packet

長構文: SAAL.024 Trace SAAL packet

説明: トレース SAAL パケット

SAAL.025

レベル: C-INFO

短構文: SAAL.025 nt *n_net* xmit LOGATM_STRING: D2
D3 D4 D5, len= *len*

長構文: SAAL.025 Net *n_net* transmit LOGATM_STRING:
D2 D3 D4 D5, length= *len*

説明: SSCOP によるポーリングまたは状況の送信

SAAL.026

レベル: C-INFO

短構文: SAAL.026 nt *n_net* recv LOGATM_STRING: D2
D3 D4 D5, len= *len*

長構文: SAAL.026 Net *n_net* receive LOGATM_STRING:
D2 D3 D4 D5, length= *len*

説明: SSCOP によるポーリングまたは状況の受信

第13章 自動導入機能 (AI)

この章では、自動導入機能 (AI) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

AI.001

レベル: ALWAYS

短構文: AI.001 Changed params on ifc *ifNum*
(*subsystemName*), from *oldParams* to *newParams*.

長構文: AI.001 Changed parameters on interface *ifNum*
(*subsystemName*) from *oldParams* to *newParams*

説明: EasyStart 構成のダウンロードの試み中に、サブシステム・パラメーターが変更されました。

第14章 帯域幅予約システム (BRS)

この章では、帯域幅予約システム (BRS) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

BRS.001

レベル: C_INFO

短構文: BRS.001 pkt iob prot/filt msg prot/filt type queued in class class name prio priority nt interface number int network ID

長構文: BRS.001 packet with Id iob for protocol/filter msg prot/filt type is placed in class class name at priority priority network interface number int network ID

説明: パケットは、プロトコル/フィルターに基づいて優先順位クラスに置かれます。

BRS.002

レベル: C_INFO

短構文: BRS.002 pkt of prot msg prot type is disc'ed by overflow nt interface number int network ID

長構文: BRS.002 a packet of protocol msg prot type is discarded because of queue overflow network interface number int network ID

説明: すべてのパケットのオーバーフローを通知します。

BRS.003

レベル: C_INFO

短構文: BRS.003 zero length pkt of prot msg prot type is disc'ed nt interface number int network ID

長構文: BRS.003 a zero length packet of protocol msg prot type is discarded network interface number int network ID

説明: 長さがゼロのパケットがダンプされときのメッセージ

BRS.004

レベル: C_INFO

短構文: BRS.004 pkt iob prot/filt protocol or filter name xmit from class class name nt interface number int network ID

長構文: BRS.004 packet with Id iob for protocol or filter protocol or filter name is transmitted from class class name

network interface number int network ID

説明: パケットは、転送のためにハンドラー構造からドライバ待ち行列に入れられます。

BRS.005

レベル: C_INFO

短構文: BRS.005 Lost prior other items affected mappings of prot or filt for nt interface number int network ID

長構文: BRS.005 Lost priority other items affected mappings of prot or filt for network interface number int network ID

説明: プロトコルまたはフィルターのマッピング用の構成レコードが、SRAM 内にありません。デフォルトのマッピングが想定されました。

原因: プロトコルまたはフィルターのマッピング用の元の構成レコードが、このレベルのソフトウェアではサポートされていないか、構成記憶域が破壊されているかのいずれかです。

処置: マッピングを再構成するか、あるいは元の構成レコードがソフトウェアの現在のレベルではサポートされていない場合には、構成ツールのアップグレード機能を使用します。構成記憶域が破壊されている場合は、サービス技術員に連絡してください。

BRS.006

レベル: C_INFO

短構文: BRS.006 No memory to create BRS structure. BRS not enabled on nt other items affected int interface number

長構文: BRS.006 No memory to create BRS structure. BRS not enabled on network other items affected int interface number

説明: BRS は、BRS 操作に必要な記憶域の割り振りを試みているときに、記憶域割り振りエラーを検出しました。

原因: 記憶域の不足

処置: サービス技術員に連絡してください。

第15章 Banyan VINES (VN)

この章では、Banyan VINES (VN) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

VN.001

レベル: P-TRACE

短構文: VN.001 *source_vines_network: source_vines_subnet -> destination_vines_network: destination_vines_subnet*

長構文: VN.001 Accepting packet from *source_vines_network: source_vines_subnet* for *destination_vines_network: destination_vines_subnet*

説明: このメッセージは、転送側を正常に通る各 VINES パケットについて生成されます。

VN.002

レベル: CI-ERROR

短構文: VN.002 *drp pkt source_vines_network: source_vines_subnet -> destination_vines_network: destination_vines_subnet* *rsn reason_code, nt Network ID*

長構文: VN.002 Dropping packet from *source_vines_network: source_vines_subnet* to *destination_vines_network: destination_vines_subnet* for reason *reason_code*, net *Network ID*

説明: このメッセージは、パケットがネットワークでの伝送を受け入れられない場合に生成されます。理由コードに、パケットが廃棄された理由が示されます。

VN.003

レベル: C-TRACE

短構文: VN.003 no rte for *pkt source_vines_network: source_vines_subnet -> destination_vines_network: destination_vines_subnet*

長構文: VN.003 No route for packet from *source_vines_network: source_vines_subnet* to *destination_vines_network: destination_vines_subnet*

説明: このメッセージは、データ・パケットについてどのルートも見付からない場合に生成されます。

VN.004

レベル: U-TRACE

短構文: VN.004 cant alloc for bcast frm *source_vines_network: source_vines_subnet*

長構文: VN.004 Cannot allocate buffer to broadcast packet from *source_vines_network: source_vines_subnet*

説明: このメッセージが生成されるのは、ルーターが同報通信パケットを受信したが、バッファ不足のため、そのすべてのインターフェース外にそのパケットを同報通信することができない場合です。

VN.005

レベル: UE-ERROR

短構文: VN.005 *pkt ln packet_length too small source_vines_network: source_vines_subnet -> destination_vines_network: destination_vines_subnet* nt *Network ID*

長構文: VN.005 Packet length (*packet_length*) under minimum VINES packet size from *source_vines_network: source_vines_subnet* to *destination_vines_network: destination_vines_subnet* net *Network ID*

説明: 最小 VINES 長よりも短い長さのパケットを受信しました。

原因: 発信元ノードに問題があります。

処置: 問題が引き続き発生する場合は、発信元ノードを検査してください。

VN.006

レベル: UE-ERROR

短構文: VN.006 *pkt ln packet_length too large source_vines_network: source_vines_subnet -> destination_vines_network: destination_vines_subnet* nt *Network ID*

長構文: VN.006 Packet length (*packet_length*) over maximum VINES packet size from *source_vines_network: source_vines_subnet* to *destination_vines_network: destination_vines_subnet* net *Network ID*

説明: 最大 VINES 長よりも長いパケットを受信しました。

原因: 発信元ノードに問題があります。

処置: 問題が引き続き発生する場合は、発信元ノードを検査してください。

VN.007

レベル: UE-ERROR

短構文: VN.007 pkt trunc *specified_length* pkt ln *true_length*
source_vines_network: *source_vines_subnet* ->
destination_vines_network: *destination_vines_subnet* nt *Network ID*

長構文: VN.007 Packet truncated from *specified_length* to
true_length bytes from *source_vines_network*:
source_vines_subnet for *destination_vines_network*:
destination_vines_subnet net *Network ID*

説明: このメッセージは、ヘッダーに指定されているパ
ケット長が、パケット・バッファ長より大きい場合に
生成されます。

原因: 転送時のパケットの破壊

処置: 問題が引き続き起こる場合は、ネットワークおよ
びルーターを検査してください。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

VN.008

レベル: CE-ERROR

短構文: VN.008 hop cnt zero *source_vines_network*:
source_vines_subnet -> *destination_vines_network*:
destination_vines_subnet

長構文: VN.008 Hop count expired on packet from
source_vines_network: *source_vines_subnet* for
destination_vines_network: *destination_vines_subnet*

説明: このメッセージが生成されるのは、ホップ・カウ
ントが限度に達したため、パケットが廃棄された場合で
す。

VN.009

レベル: C-TRACE

短構文: VN.009 snd ICP pkt for unrch dest
source_vines_network: *source_vines_subnet* ->
destination_vines_network: *destination_vines_subnet*

長構文: VN.009 Sending ICP unreachable packet to source
source_vines_network: *source_vines_subnet* for destination
destination_vines_network: *destination_vines_subnet*

説明: このメッセージが生成されるのは、ICP パケット
があて先到達不能でパケットの発信元に戻された場合で
す。

VN.010

レベル: UE-ERROR

短構文: VN.010 bd hdr cks frm *source_vines_network*:
source_vines_subnet, expct *expected_checksum*, gt
actual_checksum, nt *Network ID*

長構文: VN.010 Bad header checksum in packet from
source_vines_network: *source_vines_subnet*, expected
expected_checksum, got *actual_checksum*, nt *Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、ローカル・ル
ーターをあて先とするパケットで、チェックサムが無効
の場合です。

原因: おそらく、パケットが損傷しています。別のノー
ドが、正しくないヘッダーを作成している可能性があります。

処置: 問題が引き続き起こる場合は、回線トレースを調
べて、パケットが損傷する箇所を判別してください。

VN.011

レベル: U-INFO

短構文: VN.011 q ovrf *source_vines_network*:
source_vines_subnet -> *destination_vines_network*:
destination_vines_subnet net *network ID*

長構文: VN.011 Queue overflow on packet from
source_vines_network: *source_vines_subnet* for
destination_vines_network: *destination_vines_subnet* from net
network ID

説明: このメッセージが生成されるのは、待ち行列のオー
バーフローのため、転送機能がパケットを廃棄する必
要がある場合です。

VN.012

レベル: UI-ERROR

短構文: VN.012 cant alloc for ICP to
destination_vines_network: *destination_vines_subnet*

長構文: VN.012 Cannot allocate a buffer for an ICP
message to node *destination_vines_network*:
destination_vines_subnet

説明: このメッセージが生成されるのは、バッファがあ
いたため、ルーターが ICP メッセージを送信できない場
合です。

VN.013

レベル: C-INFO

短構文: VN.013 rcv echo frm *neighbor_hardware_address* nt *network ID*

長構文: VN.013 Received echo packet from *neighbor_hardware_address* net *network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、ルーターが VINES IP エコー・パケットを受信した場合です。

VN.014

レベル: CI-ERROR

短構文: VN.014 cant snd echo rpl to *neighbor_hardware_address* rsn *reason_code* nt *network ID*

長構文: VN.014 Cannot send echo packet to *neighbor_hardware_address* for reason *reason_code* net *network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、ルーターが VINES IP エコー・パケットを受信したが、それに応答できない場合です。理由コードは、ルーターが応答を送信できなかった理由を指定します。

VN.015

レベル: P-TRACE

短構文: VN.015 dsc pkt *source_vines_network*: *source_vines_subnet* -> *destination_vines_network*: *destination_vines_subnet* nt *Network ID* no VINES

長構文: VN.015 Discarded packet from *source_vines_network*: *source_vines_subnet* for *destination_vines_network*: *destination_vines_subnet* net *Network ID*, no VINES forwarder

説明: VINES に関しては使用可能にされていないインターフェース上で、パケットが受信されるたびに、偽 VINES 転送機能によってこのメッセージが生成されます。

VN.016

レベル: UE-ERROR

短構文: VN.016 bd brdc hdr cks frm *source_vines_network*: *source_vines_subnet*, expct *expected_checksum*, gt *actual_checksum*, nt *Network ID*

長構文: VN.016 Bad broadcast header checksum in packet from *source_vines_network*: *source_vines_subnet*, expected *expected_checksum*, got *actual_checksum*, net *Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、VINES リン

ク・レベル同報通信の一部をなすパケットがルーターに到着したが、チェックサムが無効の場合です。

原因: おそらく、パケットが損傷しています。別のノードが、正しくないヘッダーを作成している可能性があります。

処置: 問題が引き続き起こる場合は、回線トレースを調べて、パケットが損傷する箇所を判別してください。

VN.017

レベル: U-INFO

短構文: VN.017 rcv pkt frm *source_vines_network*: *source_vines_subnet* prot *protocol* no srvr nt *Network ID*

長構文: VN.017 Packet from *source_vines_network*: *source_vines_subnet*, protocol *protocol*; no server net *Network ID*

説明: このメッセージは、不明のプロトコルのパケットが到着した場合に生成されます。パケットのあて先はローカル・ルーターになっています。

VN.018

レベル: C-TRACE

短構文: VN.018 brd pkt *source_vines_network*: *source_vines_subnet* prot *protocol* no srvr nt *Network ID*

長構文: VN.018 Broadcast packet from *source_vines_network*: *source_vines_subnet*, protocol *protocol*; no server net *Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、VINES IP 同報通信パケットが到着したが、プロトコルが確認不能の場合です。

VN.019

レベル: CE-ERROR

短構文: VN.019 rcv unk nonbrd pkt typ *packet_type* trprt ctrl *transport_control* info *information* for lcl rtr frm *source_vines_network*: *source_vines_subnet* nt *Network ID*

長構文: VN.019 Received unknown non-broadcast packet of type *packet_type* transport control *transport_control* with info *information* for the local router from node *source_vines_network*: *source_vines_subnet* net *Network ID*

説明: このメッセージは、ローカル・ルーターをあて先とするデータ・パケットを受信した場合に生成されます。これは発生するはずのないことです。ローカル・ルーターでは、レベル 3 より高い VINES プロトコルは、いずれもサポートしないからです。転送制御フィールドは VINES IP ヘッダーからのものです。パケット・タイ

プが IPC (タイプ 1) である場合、情報フィールドはあて先ポート番号を含み、IPC エラー・メッセージが発信元ノードに戻されます。それ以外の場合、情報フィールドは無意味です。

VN.020

レベル: C-INFO

短構文: VN.020 rcv unk brd pkt typ *packet_type* trprt ctrl *transport_control* info *information* frm *source_vines_network*: *source_vines_subnet* nt *Network ID*

長構文: VN.020 Received unknown broadcast data packet type *packet_type* transport control *transport_control* with info *information* from node *source_vines_network*: *source_vines_subnet* net *Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、VINES IP 同報通信データ・パケットをローカル・ルーターが受信した場合です。パケットは廃棄されます。転送制御フィールドは VINES IP ヘッダーからのものです。パケット・タイプが IPC (タイプ 1) である場合、情報フィールドはあて先ポート番号を含み、IPC エラー・メッセージが発信元ノードに戻されます。それ以外の場合、情報フィールドは無意味です。

VN.021

レベル: C-INFO

短構文: VN.021 rcv netrpc call msg frm *source_vines_network*: *source_vines_subnet* nt *Network ID*, no such nbr

長構文: VN.021 Received netrpc call message from node *source_vines_network*: *source_vines_subnet* net *Network ID*, no such neighbor

説明: このメッセージが生成されるのは、呼び出しメッセージが含まれている VINES NetRPC パケットを、ローカル・ルーターが受信したが、発信元ノードが情報を要求している近隣のレコードが、ローカル・ルーターにない場合です。NetRPC 打ち切りメッセージは発信元ノードに戻されます。

VN.022

レベル: C-INFO

短構文: VN.022 rcv netrpc call msg frm *source_vines_network*: *source_vines_subnet* port *port* nt *Network ID*, nbr exists

長構文: VN.022 Received netrpc call message from node *source_vines_network*: *source_vines_subnet* port *port* net *Network ID*, neighbor exists

説明: このメッセージが生成されるのは、呼び出しメッセージが含まれている VINES NetRPC パケットを、ローカル・ルーターが示されているポート上で受信した場合です。NetRPC 戻りメッセージは発信元ノードに戻されます。

VN.023

レベル: U-INFO

短構文: VN.023 rcv rte pkt with hop cnt grt than zero frm *source_vines_network*: *source_vines_subnet* nt *Network ID*

長構文: VN.023 Received a routing packet with a hop count greater than zero from *source_vines_network*: *source_vines_subnet* net *Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、ルーティング更新パケットまたはルーティング応答パケットを受信したが、ホップ・カウントがゼロより大きい場合です。パケットは廃棄されます。

VN.024

レベル: C-TRACE

短構文: VN.024 snd rte rsp to *destination_vines_network*: *destination_vines_subnet*

長構文: VN.024 Sending routing response packet to node *destination_vines_network*: *destination_vines_subnet*

説明: このメッセージが生成されるのは、このルーターがルーティング応答パケットの送信に取りかかった場合です。

VN.025

レベル: UI-ERROR

短構文: VN.025 cant alloc for rte rsp to nt *destination_vines_network*

長構文: VN.025 Cannot allocate a buffer to send a routing response to network *destination_vines_network*

説明: このメッセージが生成されるのは、ルーターがルーティング応答パケットの送信を試みたが、使用可能なバッファがないため、その送信ができない場合です。

VN.026

レベル: CE-ERROR

短構文: VN.026 rcv rte pkt on uncng int frm *source_vines_network*: *source_vines_subnet* nt *Network ID*

長構文: VN.026 Received a routing packet on interface not configured for VINES from *source_vines_network*: *source_vines_subnet* net *Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、VINES が稼働できるように構成されていないインターフェース上で、ルーティング更新またはルーティング応答を受信した場合です。

VN.027

レベル: P-TRACE

短構文: VN.027 snd rte pkt typ *routing_packet_type*

長構文: VN.027 Sending a routing packet of type *routing_packet_type*

説明: このメッセージが生成されるのは、ルーターがルーティング・パケットを送信中の場合です。タイプ 0 は、更新に含まれるのが、最近変更されたルーティング・エントリーだけであることを意味します。タイプ 1 は、全ルーティング更新であることを意味します。タイプ 2 は、ルーティング要求パケット (X.25 回線でしか送信されない) であることを意味します。タイプ 3 は、更新に含まれるのが、X.25 回線のみを対象とする変更であることを意味します。

VN.028

レベル: U-TRACE

短構文: VN.028 rcv rte rsp frm *destination_vines_network*: *destination_vines_subnet*

長構文: VN.028 Received routing response packet from *destination_vines_network*: *destination_vines_subnet*

説明: このメッセージが生成されるのは、ルーティング応答パケットを受信した場合です。パケットは受け入れられ、処理されます。

VN.029

レベル: P-TRACE

短構文: VN.029 rcv rte upd frm *destination_vines_network*: *destination_vines_subnet* nt *Network ID*

長構文: VN.029 Received routing update packet from *destination_vines_network*: *destination_vines_subnet* net *Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、ルーティング更新パケットを受信した場合です。

VN.030

レベル: U-INFO

短構文: VN.030 cant alloc nbr tbl ent for *neighbor_vines_network*: *neighbor_vines_subnet*

長構文: VN.030 Cannot allocate a neighbor table entry for

neighbor_vines_network: *neighbor_vines_subnet*

説明: このメッセージが生成されるのは、フリー・リスト上に近隣テーブル・エントリーがなくて、受信したばかりのルーティング更新に関する情報を保持できない場合です。その情報が含まれているルーティング更新は廃棄されます。

VN.031

レベル: U-INFO

短構文: VN.031 cant alloc nbr cache ent for *neighbor_vines_network*: *neighbor_vines_subnet*

長構文: VN.031 Cannot allocate a neighbor cache entry for *neighbor_vines_network*: *neighbor_vines_subnet*

説明: このメッセージが生成されるのは、フリー・リスト上に近隣キャッシュ・エントリーがなくて、ルーティング更新を生成したサービスの隣接クライアント・ノードに関する情報を保持できない場合です。その情報が含まれているルーティング更新は廃棄されます。

VN.032

レベル: U-INFO

短構文: VN.032 add eql cst rte to nbr *neighbor_vines_network*: *neighbor_vines_subnet* nt *Network ID*

長構文: VN.032 Adding an equal cost route to neighbor *neighbor_vines_network*: *neighbor_vines_subnet* net *Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、同じ近隣ノードへの追加の等コスト・ルートが追加された場合です。この時点で、同じ近隣への等コスト・ルートが少なくとも 2 つあることになります。

VN.033

レベル: U-INFO

短構文: VN.033 cant alloc net tbl ent for *destination_vines_network*

長構文: VN.033 Cannot allocate a network table entry *destination_vines_network*

説明: このメッセージが生成されるのは、フリー・リスト上にネットワーク・テーブル・エントリーがなくて、受信したばかりのルーティング更新に関する情報を保持できない場合です。その情報が含まれているルーティング更新は廃棄されます。

VN.034

レベル: U-INFO

短構文: VN.034 add eql cst rte for node *vines_network* nt *Network ID*

長構文: VN.034 Adding an equal cost route for node *vines_network* net *Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、同じネットワーク・ノードへの追加の等コスト・ルートが追加された場合です。この時点で、同じネットワークへの等コスト・ルートが少なくとも 2 つあることになります。

VN.035

レベル: U-INFO

短構文: VN.035 updt nt *destination_vines_network* mtrc *metric* via same *next_hop_vines_network*:
next_hop_vines_subnet

長構文: VN.035 update route to net *destination_vines_network* at metric *metric* via same neighbor *next_hop_vines_network*: *next_hop_vines_subnet*

説明: このメッセージが生成されるのは、示されているあて先への新しい (より良い) ルートがルーティング更新を介して確認され、インストールされた場合です。

VN.036

レベル: U-INFO

短構文: VN.036 nt *destination_vines_network* unrch inc met

長構文: VN.036 Marking network *destination_vines_network* unreachable due to increased metric

説明: このメッセージが生成されるのは、あて先ネットワークへのメトリックの増加を知らせる RTP パケットを受信した場合です。あて先ネットワークは到達不能としてマークされます。

VN.037

レベル: C-TRACE

短構文: VN.037 rcv rte req frm *destination_vines_network*:
destination_vines_subnet

長構文: VN.037 Received routing request packet from *destination_vines_network*: *destination_vines_subnet*

説明: このメッセージが生成されるのは、ルーティング要求パケットを受信した場合です。

VN.038

レベル: UE-ERROR

短構文: VN.038 rcv rte red frm *destination_vines_network*:
destination_vines_subnet

長構文: VN.038 Received routing redirect packet from *destination_vines_network*: *destination_vines_subnet*

説明: このメッセージが生成されるのは、ルーティング転送パケットを受信した場合です。パケットは無視されます。

VN.039

レベル: UE-ERROR

短構文: VN.039 rcv unkn rte pkt frm
destination_vines_network: *destination_vines_subnet* nt *Network ID*

長構文: VN.039 Received unknown sub-type of routing packet from *destination_vines_network*: *destination_vines_subnet* net *Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、ルーティング・パケットを受信したが、サブタイプが確認不能の場合です。

原因: リモート・ノードが混同されています。

処置: この問題が続く場合は、リモート・ノードをデバッグしてください。

VN.040

レベル: C-INFO

短構文: VN.040 rmv nbr entry node
neighbor_vines_network: *neighbor_vines_subnet*

長構文: VN.040 Removing neighbor entry for node *neighbor_vines_network*: *neighbor_vines_subnet*

説明: このメッセージが生成されるのは、ローカル・ルーターが近隣ノードからルーティング・パケットを受信しないまま、6 分間が経過した場合です。

VN.041

レベル: C-INFO

短構文: VN.041 rmv rtng entry node
destination_vines_network: *destination_vines_subnet*

長構文: VN.041 Removing routing entry for node *destination_vines_network*: *destination_vines_subnet*

説明: このメッセージが生成されるのは、ローカル・ルーターがサービス・ノードに関するルーティング・パケ

ットを受信しないまま、6 分間が経過した場合です。

VN.042

レベル: UI-ERROR

短構文: VN.042 cant alloc for rte upd

長構文: VN.042 Cannot allocate a buffer to send a routing update.

説明: このメッセージが生成されるのは、ルーターがルーティング更新パケットの送信を試みたが、使用可能なバッファがないため、その送信ができない場合です。

VN.043

レベル: UI-ERROR

短構文: VN.043 cant alloc for redir *source_vines_network: source_vines_subnet -> destination_vines_network: destination_vines_subnet* nt *Network ID*

長構文: VN.043 Cannot allocate buffer for redirect packet for packet from *source_vines_network: source_vines_subnet* for *destination_vines_network: destination_vines_subnet* nt *Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、ルーターが転送パケットの送信を試行したが、使用可能なバッファがないため、その送信ができない場合です。

VN.044

レベル: C-INFO

短構文: VN.044 snd redir *source_vines_network: source_vines_subnet -> destination_vines_network: destination_vines_subnet* nt *Network ID*

長構文: VN.044 Sending redirect packet for packet from *source_vines_network: source_vines_subnet* for *destination_vines_network: destination_vines_subnet* nt *Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、このルーターが転送パケットを送信する場合です。

原因: 近隣ノードは、あて先に直接パケットを送信できた場合に、このルーターにパケットを送信しました。

処置: これが繰り返し発生する場合は、近隣ノードを修正する必要があります。

VN.045

レベル: U-INFO

短構文: VN.045 rcv rte upd frm orphn *source_vines_network: source_vines_subnet* nt *Network ID*

長構文: VN.045 Received a routing update packet from orphan client node *source_vines_network: source_vines_subnet* nt *Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、対応するサービス・ノードが作動可能でない隣接クライアント・ノードから、ルーターがルーティング更新を受信した場合です。これが発生する可能性があるのは、対応するサービス・ノードが最近ダウンしたことがある場合です。

VN.046

レベル: U-TRACE

短構文: VN.046 cant alloc mem fr hdr fr rte upd frm clnt *source_vines_network: source_vines_subnet*

長構文: VN.046 Cannot allocate memory for link level header for routing update from Client *source_vines_network: source_vines_subnet*

説明: このメッセージが生成されるのは、ルーターが隣接クライアント・ノードからルーティング更新を受信したが、記憶域を割り振ることができなくて、そのルーティング・テーブル・エントリ用として、クライアント・ノードのリンク・レベル・ヘッダーを保持することができない場合です。

VN.047

レベル: U-TRACE

短構文: VN.047 cant alloc mem fr hdr fr rte upd frm srvr *source_vines_network: source_vines_subnet*

長構文: VN.047 Cannot allocate memory for link level header for routing update from Server *source_vines_network: source_vines_subnet*

説明: このメッセージが生成されるのは、ルーターが隣接サーバー・ノードからルーティング更新を受信したが、記憶域を割り振ることができなくて、そのルーティング・テーブル・エントリ用として、サーバー・ノードのリンク・レベル・ヘッダーを保持することができない場合です。

VN.048

レベル: U-TRACE

短構文: VN.048 cant alloc mem fr hdr fr rte upd nw int frm srvr *source_vines_network: source_vines_subnet*

長構文: VN.048 Cannot allocate memory for link level header for routing update on a new interface from Server *source_vines_network: source_vines_subnet*

説明: このメッセージが生成されるのは、ルーターがすでにレコードをもっている隣接サーバー・ノードから、

ルーティング更新を受信したが、新しいインターフェース上であり、記憶域を割り振ることができなくて、そのルーティング・テーブル・エントリ用として、サーバー・ノードのリンク・レベル・ヘッダーを保持できない場合です。

VN.049

レベル: C-TRACE

短構文: VN.049 no rte for redr pkt *source_vines_network: source_vines_subnet -> destination_vines_network: destination_vines_subnet*

長構文: VN.049 No route for redirect packet from *source_vines_network: source_vines_subnet* to *destination_vines_network: destination_vines_subnet*

説明: このメッセージが生成されるのは、ルーターが、RTP 転送パケットはパケットの発信元に送信される必要があると確認したが、パケットのあて先に関するルーティング・エントリが見付からない場合です。

VN.050

レベル: C-INFO

短構文: VN.050 rmv int rec for nbr node *neighbor_vines_network: neighbor_vines_subnet nt Network ID*

長構文: VN.050 Removing interface record for neighbor node *neighbor_vines_network: neighbor_vines_subnet net Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、ルーターが近隣ノードからのルーティング・パケットを特定のインターフェース上で受信しないまま、6 分間が経過した場合です。それでもなお、近隣ノードには、別のインターフェースを経由して直接到達可能な場合があります。

VN.051

レベル: C-INFO

短構文: VN.051 rmv int rec for dest node *vines_network nt Network ID*

長構文: VN.051 Removing interface record for destination node *vines_network net Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、ローカル・ルーターが受信したルーティング・パケットに示されているリモート・ノードへのコストが、ルーターがそのリモート・ノードに関してデータベース内にもっているコストよりも大きい場合です。ただし、リモート・ノードへの追加ルートが少なくとも 1 つは残っています。

VN.052

レベル: UE-ERROR

短構文: VN.052 rcv rte pkt with unk X.25 addr *dte_address* frm *source_vines_network: source_vines_subnet nt Network ID*

長構文: VN.052 Received a routing packet with an unknown X.25 address *dte_address* from *source_vines_network: source_vines_subnet net Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、ルーティング更新を X.25 ノードから受信したが、そのノードのアドレスがローカル・ルーター内に構成されていなかった場合です。パケットは廃棄されます。

VN.053

レベル: P-TRACE

短構文: VN.053 rcv ARP qr pkt frm *neighbor_hardware_address nt Network ID*

長構文: VN.053 Received an ARP query request packet from neighbor *neighbor_hardware_address net Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、ARP 照会要求パケットを受信した場合です。

VN.054

レベル: UE-ERROR

短構文: VN.054 rcv ARP qr with IP addr frm *neighbor_hardware_address nt Network ID*

長構文: VN.054 Received an ARP query request packet with a non-null IP address from *neighbor_hardware_address net Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、ARP 照会要求パケットを受信したが、非空 IP アドレスが含まれている場合です。それでもなお、パケットは正常として処理されます。

原因: 近隣ノードが混同されています。

処置: この問題が続く場合は、近隣ノードをデバッグしてください。

VN.055

レベル: UI-ERROR

短構文: VN.055 no free nbr tbl entries for *neighbor_hardware_address*

長構文: VN.055 No free neighbor table entries for neighbor *neighbor_hardware_address*

説明: このメッセージが生成されるのは、ARP 照会要求を受信したが、近隣テーブル・エントリが使用不可で、近隣の VINES IP アドレスを解決できない場合です。

VN.056

レベル: UI-ERROR

短構文: VN.056 no free mem for hw addr for *neighbor_hardware_address*

長構文: VN.056 No free memory to hold hardware address for ARP packet from *neighbor_hardware_address*

説明: このメッセージが生成されるのは、ARP 照会要求パケットを受信したが、記憶域を割り振ることができなくて、照会要求を送信したノードのハードウェア・アドレスを保管できない場合です。

VN.057

レベル: UI-ERROR

短構文: VN.057 no free mem for RIF for *neighbor_hardware_address*

長構文: VN.057 No free memory to hold routing information field for ARP packet from *neighbor_hardware_address*

説明: このメッセージが生成されるのは、ARP 照会要求パケットを受信したが、記憶域を割り振ることができなくて、照会要求を送信したノードのルーティング情報フィールドを保管できない場合です。

VN.058

レベル: C-TRACE

短構文: VN.058 rcv ARP qr frm *neighbor_hardware_address* while rslving addr nt *Network ID*

長構文: VN.058 Received an ARP query request packet from *neighbor_hardware_address* while resolving address for another node net *Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、ARP 照会要求パケットを 1 つのノードから受信し、ルーターが別のノードからの VINES IP アドレスを解決している最中である場合です。

VN.059

レベル: P-TRACE

短構文: VN.059 rcv ARP ar pkt frm *neighbor_hardware_adrrss* nt *Network ID*

長構文: VN.059 Received an ARP assignment request

packet from neighbor *neighbor_hardware_adrrss* net *Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、ARP 割り当て要求パケットを受信した場合です。

VN.060

レベル: UE-ERROR

短構文: VN.060 rcv ARP ar with IP addr frm *neighbor_hardware_address* nt *Network ID*

長構文: VN.060 Received an ARP assignment request packet with a non-null IP address from *neighbor_hardware_address* net *Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、ARP 割り当て要求パケットを受信したが、非空 IP アドレスが含まれている場合です。それでもなお、パケットは正常として処理されます。

原因: 近隣ノードが混同されています。

処置: この問題が続く場合は、近隣ノードをデバッグしてください。

VN.061

レベル: UI-ERROR

短構文: VN.061 cant instl ARP entry frm *neighbor_hardware_address*

長構文: VN.061 Cannot install an ARP entry for address resolution from *neighbor_hardware_address*

説明: このメッセージが生成されるのは、ARP 割り当て要求パケットを受信したが、ルーターにメモリ資源がなくて、VINES IP アドレスを割り振ることができない場合です。

VN.064

レベル: UE-ERROR

短構文: VN.064 rcv bad ARP subtyp pkt frm *neighbor_hardware_address* nt *Network ID*

長構文: VN.064 Received an ARP packet with a bad sub-type field from *neighbor_hardware_address* net *Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、ARP パケットを受信したが、サブタイプ・フィールドがイリーガルな場合です。

原因: 近隣ノードが混同されています。

処置: この問題が続く場合は、近隣ノードをデバッグしてください。

VN.066

レベル: P-TRACE

短構文: VN.066 snd ARP sr pkt to
neighbor_hardware_addrss nt Network ID

長構文: VN.066 Sending an ARP service response packet
to neighbor *neighbor_hardware_addrss* net *Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、ARP 照会要求
パケットに対する応答として、ARP サービス応答パケッ
トが生成された場合です。

VN.067

レベル: P-TRACE

短構文: VN.067 snd ARP ar pkt to
neighbor_hardware_addrss nt Network ID

長構文: VN.067 Sending an ARP assignment response
packet to neighbor *neighbor_hardware_addrss* net *Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、ARP 割り当て
要求パケットに対する応答として、ARP 割り当て応答パ
ケットが生成された場合です。

VN.068

レベル: C-INFO

短構文: VN.068 rcv ICP exc not frm *source_vines_network*;
source_vines_subnet

長構文: VN.068 Received ICP exception notification packet
from node *source_vines_network*: *source_vines_subnet*

説明: このメッセージが生成されるのは、ルーターが
ICP 例外通知パケットを受信した場合です。

VN.069

レベル: CE-ERROR

短構文: VN.069 rcv ICP metr not frm
source_vines_network: *source_vines_subnet*

長構文: VN.069 Received ICP metric notification packet
from node *source_vines_network*: *source_vines_subnet*

説明: このメッセージが生成されるのは、ICP メトリッ
ク通知パケットを受信した場合です。ルーターがメトリ
ック要求パケットを生成することは決していないため、こ
れは決して起こるはずがないことです。

原因: 近隣ノードが混同されています。

処置: この問題が続く場合は、あて先ノードをデバッグ
してください。

VN.070

レベル: UE-ERROR

短構文: VN.070 rcv ICP illeg subtyp frm
source_vines_network: *source_vines_subnet*

長構文: VN.070 Received ICP packet with illegal sub-type
from node *source_vines_network*: *source_vines_subnet*

説明: このメッセージが生成されるのは、ICP パケット
を受信したが、サブタイプ・フィールドがイリーガルな
場合です。

原因: あて先ノードが混同されています。

処置: この問題が続く場合は、あて先ノードをデバッグ
してください。

VN.071

レベル: C-TRACE

短構文: VN.071 snd rte cost icp pkt to
destination_vines_network: *destination_vines_subnet*

長構文: VN.071 Sending routing cost ICP packet to node
destination_vines_network: *destination_vines_subnet*

説明: このメッセージが生成されるのは、このルーター
から近隣の 1 つへのルーティング・コストを要求したノ
ードに、ICP パケットが送信された場合です。

VN.072

レベル: C-TRACE

短構文: VN.072 snd no rte icp pkt to
destination_vines_network: *destination_vines_subnet*

長構文: VN.072 Sending No Route ICP packet to node
destination_vines_network: *destination_vines_subnet*

説明: このメッセージが生成されるのは、ノードが到着
不能あて先にパケットを送信したため、そのノードに ICP
パケットが送信された場合です。

VN.073

レベル: C-TRACE

短構文: VN.073 rcv icp echo pkt frm *source_vines_network*;
source_vines_subnet

長構文: VN.073 Received ICP Echo packet from
source_vines_network: *source_vines_subnet*

説明: このメッセージが生成されるのは、ICP エコー要
求パケットを受信した場合です。ルーターは ICP エコー
応答パケットを返します。

VN.074

レベル: C-INFO

短構文: VN.074 VINES init nt *network_number*, rtl tbl sz *routing_table_entries*, max svc nbrs *max_service_neighbors*, max clt nbrs *max_client_neighbors*

長構文: VN.074 The VINES protocol is initializing with network number *network_number*, max routing table entries *routing_table_entries*, max service node neighbors *max_service_neighbors*, max client node neighbors *max_client_neighbors*

説明: このメッセージが生成されるのは、VINES プロトコルがその初期化コードを実行した場合です。

VN.075

レベル: U-INFO

短構文: VN.075 No VINES IP addr

長構文: VN.075 No VINES IP address is configured for this router

説明: このメッセージが生成されるのは、VINES はルーター上で使用可能にされているが、ユーザーがルーターに VINES IP アドレスを割り当てていなかった場合です。VINES プロトコルは初期化されません。

VN.076

レベル: U-INFO

短構文: VN.076 int dlt but not VINES nt *network ID* dlt

長構文: VN.076 Interface record deleted, but VINES interface record net *network ID* not deleted

説明: このメッセージが生成されるのは、ユーザーがインターフェースに関する VINES レコードを削除しないまま、ルーター・インターフェース・レコードを削除してしまった場合です。

VN.077

レベル: U-INFO

短構文: VN.077 int max pkt sz too sml nt *network ID*

長構文: VN.077 The maximum packet size of net *network ID* is smaller than the maximum VINES packet size

説明: このメッセージが生成されるのは、インターフェースの最大パケット・サイズが最大 VINES パケット・サイズより小さい場合です。これが起こる可能性があるのは、ユーザーが構成したインターフェースの最大パケット・サイズがそのデフォルトより小さい場合です。インターフェースは VINES では使用可能になりません。

VN.079

レベル: U-INFO

短構文: VN.079 No Int cfg

長構文: VN.079 No Interfaces have been configured, so Vines will not be started.

説明: VINES には、ルーターに関してインターフェースが (たとえ、VINES 用として使用されない場合でも) 定義されていることを検出する必要があり、また、対話先としてインターフェースまたは X.25 アドレスが少なくとも 1 つは必要です。そうでないと、プロトコルが始動しません。

第16章 Bisync リレー (BRLY)

この章では Bisync リレー (BRLY) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

BRLY.001

レベル: C-INFO

短構文: BRLY.001 BRLY interface initialization starting network *networkID*

長構文: BRLY.001 BRLY initialization started on network *networkID*

説明: BRLY 転送機能が、リレー・インターフェースで初期化を開始しました。

BRLY.002

レベル: C-INFO

短構文: BRLY.002 BRLY interface initialization complete network *networkID*

長構文: BRLY.002 BRLY initialization completed on network *networkID*

説明: BRLY 転送機能が、リレー・インターフェースでの初期化を完了しました。

BRLY.003

レベル: C-TRACE

短構文: BRLY.003 BRLY frame received on network *networkID*

長構文: BRLY.003 BRLY frame received on network *networkID*

説明: BSC リレー・フレームを受信しました。

BRLY.004

レベル: C-INFO

短構文: BRLY.004 BRLY frame sent on network *networkID*

長構文: BRLY.004 BRLY frame sent on network *networkID*

説明: BSC リレー・フレームを送信しました。

BRLY.005

レベル: UI-ERROR

短構文: BRLY.005 BRLY frame discarded for group *group_number* on network *networkID* - *discard_reason*

長構文: BRLY.005 BRLY frame discarded for group *group_number* on network *networkID* - *discard_reason*

説明: BRLY フレームが廃棄されました。

BRLY.006

レベル: CI-ERROR

短構文: BRLY.006 BRLY memory allocation failed

長構文: BRLY.006 A BRLY memory allocation request failed

説明: 資源に対する BRLY 記憶域割り振り要求が失敗しました。

BRLY.007

レベル: CI-ERROR

短構文: BRLY.007 BRLY port defined for non-BSC net or invalid hdw - net *networkID*

長構文: BRLY.007 BRLY port defined for non-BSC net or invalid hdw - network *networkID*

説明: BSC 以外のネット上に、または無効な (使用不可の) ハードウェアを使用して、BRLY ポートが定義されました。

BRLY.008

レベル: CI-ERROR

短構文: BRLY.008 Configuration error for group *group_number* - *configuration_error* - group internally disabled

長構文: BRLY.008 Configuration error for group *group_number* - *configuration_error* - group internally disabled

説明: グループ構成エラー

BRLY.009

レベル: CI-ERROR

短構文: BRLY.009 BRLY frame discarded on network *networkID* - *discard_reason*

長構文: BRLY.009 BRLY frame discarded on network *networkID* - *discard_reason*

説明: BRLY フレームが廃棄されました。

BRLY.010

レベル: CI-ERROR

短構文: BRLY.010 BRLY frame discarded - *discard_reason*

長構文: BRLY.010 BRLY frame discarded - *discard_reason*

説明: BRLY フレームが廃棄されました。

Panic brlyudperr

短構文: BSC Relay UDP port not available\r\n

説明: BSC リレーの UDP ポートには、以前に別のアプリケーションが登録されています。

処置: サービス技術員に連絡してください。

第17章 BOOTP (BTP)

この章では、BOOTP (BTP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

BTP.001

レベル: U-TRACE

短構文: BTP.001 rcvd rqst frm (*client_IP_address*, nt *Network ID*)

長構文: BTP.001 received request from (*client_IP_address*, net *Network ID*)

説明: BOOTP 要求が、特定のインターフェースで受信されました。クライアント IP アドレスがメッセージに含まれますが、この時点では不明のこともあります。その場合には、0.0.0.0 として表示されます。

BTP.002

レベル: UE-ERROR

短構文: BTP.002 bd rqst frm (*client_IP_address*, nt *Network ID*): *reason*

長構文: BTP.002 bad request from (*client_IP_address*, net *Network ID*): *reason*

説明: BOOTP 要求が、特定のインターフェースで受信されました。クライアント IP アドレスがメッセージに含まれますが、この時点では不明のこともあります。その場合には、0.0.0.0 として表示されます。示されている理由により、要求は無効です。したがって、廃棄されます。

BTP.003

レベル: U-TRACE

短構文: BTP.003 fwd rqst to *server_IP_address*

長構文: BTP.003 Forwarding request to *server_IP_address*

説明: BOOTP 要求が、特定のサーバーに転送されています。

BTP.004

レベル: U-TRACE

短構文: BTP.004 fwd rply *server_IP_address* -> *client_IP_address*

長構文: BTP.004 Forwarding reply from *server_IP_address* to *client_IP_address*

説明: ルーターを中継エージェントとして使用して、

BOOTP 応答が特定のサーバーからクライアントに戻されています。

BTP.005

レベル: UE-ERROR

短構文: BTP.005 bad reply *server_IP_address* -> *client_IP_address*: *reason*

長構文: BTP.005 bad reply from *server_IP_address* to *client_IP_address*: *reason*

説明: BOOTP 応答を受信しました。示されているエラーにより、この応答をクライアントに中継することはできません。BOOTP 応答は廃棄されました。

BTP.006

レベル: ALWAYS

短構文: BTP.006 net *Network ID*, gw *source_IP_address*: Client reply packet in error; *error*

長構文: BTP.006 net *Network ID*, gw *source_IP_address*: Client reply packet in error; *error*

説明: BOOTP サーバーから、間違ったパケット・タイプの応答または短過ぎる応答を受け取りました。ゲートウェイ・アドレスは、サーバーからこのクライアントに最終中継を行ったルーターです。これはサーバー・アドレスの場合もあります。

BTP.007

レベル: ALWAYS

短構文: BTP.007 net *Network ID*, Valid Resp, Server: *serverName*(*serverIp*), Bootfile: *bootfile* VendOpts config file: *cfgFile* IpAddr *ourIp*, gwAddr *gwAddr*

長構文: BTP.007 net *Network ID*, Valid Resp, server: *serverName*/ *serverIp*, bootfile: *bootfile*, vendor options config File: *cfgFile*, ipAddr *ourIp*, gwAddr *gwAddr*

説明: 有効な BOOTP 応答パケットをサーバーから受信しました。

BTP.008

レベル: ALWAYS

短構文: BTP.008 net *Network ID* No cfg file name (srv: *serverName/ serverIp*)

長構文: BTP.008 net *Network ID* No config file name in packet (srv: *serverName/ serverIp*)

説明: サーバーから、ベンダー拡張フィールド内またはブート・ファイル名フィールド内に構成ファイル名のない応答を受け取りました。

BTP.009

レベル: ALWAYS

短構文: BTP.009 net *Network ID*, Failed to snd client req (htype: *htype*)

長構文: BTP.009 net *Network ID*, Failed to send client request (htype: *htype*)

説明: BOOTP 要求を送信しようとしたことが失敗しました。

BTP.010

レベル: ALWAYS

短構文: BTP.010 net *Network ID*, Sent client request (htype: *htype*)

長構文: BTP.010 net *Network ID*, Sent client request (htype: *htype*)

説明: BOOTP クライアント要求の送信が正常に行われました。

BTP.011

レベル: ALWAYS

短構文: BTP.011 net *Network ID*, Could not snd client req because: *error*

長構文: BTP.011 net *Network ID*, Could not send client request because: *error*

説明: 出力装置が BOOTP をサポートしていない、その装置が起動していない、バッファを割り振ることができなかった、のいずれかの理由で、BOOTP 要求を送信しようとして失敗しました。

BTP.012

レベル: ALWAYS

短構文: BTP.012 net *Network ID* No cfile in vendOptions, using bootfile fld instead

長構文: BTP.012 net *Network ID* No cfile in vendOptions, using bootfile fld instead

説明: 構成ファイル名のベンダー拡張が、応答の中にあいりませんでした。 ルーターは、その代わりにブートファイル名フィールドを使用します。

BTP.013

レベル: ALWAYS

短構文: BTP.013 net *Network ID* Unsupported vend tag: *vendTag*, len: *vendLen*

長構文: BTP.013 net *Network ID* Reply received with unsupported vendor tag field: *vendTag*, len *vendLen*

説明: サーバーが、ベンダー・フィールドにサポートされていないベンダー特定オプションを含む BOOTP 応答パケットを送信しました。 これはクリティカルではありません。単に、その BOOTP サーバーが、この BOOTP クライアント用に正しく構成されていない、ということを示します。

BTP.014

レベル: U-TRACE

短構文: BTP.014 cached rqst frm *client_hardware_address*

長構文: BTP.014 cached request from *client_hardware_address*

説明: BOOTP クライアント要求がキャッシュされました。

BTP.015

レベル: U-TRACE

短構文: BTP.015 rmvd cached rqst frm *client_hardware_address: reason*

長構文: BTP.015 removed cached request from *client_hardware_address: reason*

説明: BOOTP クライアント要求がキャッシュから除去されました。

Panic btpudperr

短構文: bootp udp port not avail

説明: 別のアプリケーションが、BOOTP の UDP ポートに以前から登録しています。

処置: サービス技術員に連絡してください。

第18章 ボーダー・ゲートウェイ・プロトコル (BGP)

この章では、ボーダー・ゲートウェイ・プロトコル (BGP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

BGP.001

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.001 Bad sec code in OPEN, from *neighbor*

長構文: BGP.001 BGP security code in OPEN message is incorrect from neighbor *neighbor*

説明: BGP RFC は、使用可能安全保護コード 0 だけを指定しています。このメッセージは、別のコードを受け取った場合に印刷されます。

原因: 近隣が、ヌルではない安全保護コードを OPEN メッセージの中に入れて送信しました。

処置: BGP の指定に、より忠実に従っているルーターを使用してください。

BGP.002

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.002 Bad msg hdr len, from *neighbor*

長構文: BGP.002 BGP message header length is incorrect from neighbor *neighbor*

説明: スピーカーが、間違ったヘッダー長を含むメッセージを受け取りました。

原因: 近隣が、間違った長さの OPEN メッセージを送信しました。

処置: BGP の指定に従っているルーターを使用してください。

BGP.003

レベル: U-INFO

短構文: BGP.003 Unsupported BGP version, from *neighbor*

長構文: BGP.003 Unsupported BGP version request from neighbor *neighbor*

説明: 現在 BGP によってサポートされているバージョンはバージョン 4 です。それ以外のバージョン・サポートはありません。このメッセージは、このバージョンより以前の BGP のバージョンが近隣によって要求された場合に印刷されます。

原因: 近隣が、サポートされていない BGP のバージョンを要求しています。

処置: 近隣のルーターを、正しいバージョン用に構成する必要があります。

BGP.004

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.004 Bad marker fld, from *neighbor*

長構文: BGP.004 Marker field is incorrect from neighbor *neighbor*

説明: サポートされている唯一のマーカー・フィールドは、すべて 1 の 16 オクテットです。このメッセージは、他の値を受け取った場合に印刷されます。

原因: 近隣が、間違ったマーカー・フィールドを使用しています。

処置: BGP の指定に従っているルーターを使用してください。

BGP.005

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.005 Bad AS num, from *neighbor*

長構文: BGP.005 Bad AS number from neighbor *neighbor*

説明: このメッセージは、OPEN メッセージの中の近隣の AS 番号が、その近隣用に構成された値と一致していない場合に印刷されます。

原因: 近隣が、構成された値と一致しない AS を使用しています。

処置: 近隣とこのルーターに、正しく構成された AS 番号を確実に使用させるようにします。

BGP.006

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.006 Bad BGP ID, from *neighbor*

長構文: BGP.006 Bad BGP identifier from neighbor *neighbor*

説明: このメッセージは、近隣とこのスピーカーが同じ BGP 識別子を持っている場合に印刷されます。この識別子は、TCP 接続の衝突を解決するために使用されるので、許可されない構成です。

原因: 近隣が、これと同じ BGP 識別子を使用しています。

処置: 近隣とこのルーターに、正しく構成された BGP 識別子を持たせるようにします。

BGP.007

レベル: U-INFO

短構文: BGP.007 Conn err to *neighbor*; clsg with notify

長構文: BGP.007 Closing connection to neighbor *neighbor* with notification

説明: 接続の有限状態機械の中に何らかのエラーが発生し、そのためにこのメッセージが出されました。

原因: 接続の有限状態機械の中にエラーが発生し、そのために接続が打ち切られました。

処置: この事象と同時に発生した接続エラーが他にないか確かめます。

BGP.008

レベル: U-INFO

短構文: BGP.008 Conn err to *neighbor*; clsg with no notify

長構文: BGP.008 Closing connection to neighbor *neighbor* without notification

説明: 接続の有限状態機械の中に何らかのエラーが発生し、そのためにこのメッセージが出されました。通常、これは、このスピーカーが NOTIFICATION メッセージを受け取って、そのメッセージを送信した近隣に別のメッセージを送り返す理由がないことに起因します。

原因: 接続の有限状態機械の中にエラーが発生し、そのために接続が打ち切られました。

処置: この事象と同時に発生した接続エラーが他にないか確かめます。

BGP.009

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.009 Foreign close from *neighbor* sprt *sourceport* dprt *destinationport*

長構文: BGP.009 Foreign close from neighbor *neighbor* source port *sourceport* destination port *destinationport*

説明: スピーカーが、外部クローズを受け取ったところです。

原因: 近隣がクローズを出しています。

処置: 近隣は、通知後、または BGP ID 折衝後にクローズを出しているはずですが、この状態が当てはまる場合、処置は不要です。これらの理由以外で接続がクローズし

た場合、その近隣がエラーになっています。

BGP.010

レベル: U-INFO

短構文: BGP.010 Reinit BGP conn to *neighbor*

長構文: BGP.010 Reinitialize the BGP connection to neighbor *neighbor*

説明: この近隣への前の接続が打ち切られた場合、スピーカーがその接続を再開します。このメッセージは、この状態が起こった場合に印刷されます。

原因: スピーカーが、最初の障害が起きた後に、この近隣への接続を再初期化しています。

処置: なし。ただし、これが近隣への接続がない場合に多く発生する場合は除きます。

BGP.011

レベル: U-INFO

短構文: BGP.011 Conn to *neighbor* clsg with no notify

長構文: BGP.011 Connection to neighbor *neighbor* closing with no notification

説明: おそらく、相手方から受け取った NOTIFICATION メッセージへの応答として、ルーターが、通知を送信せずに、近隣への BGP 接続をクローズしています。

BGP.012

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.012 No conn listen can be done

長構文: BGP.012 No connection listen can be done

説明: 何らかの理由で、スピーカーが listen を出すことができません。

原因: おそらく、TCP サブシステム内に内部エラーがあります。また、ルーターの記憶域が不足している可能性もあります。

処置: 記憶域不足になっているかチェックします。記憶域が不足している場合は、記憶域の使用率について、BGP 構成統計をチェックします。近隣接続の数が多い場合、記憶域の使用量が著しく増加します。

BGP.013

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.013 TCP open fail to *neighbor*

長構文: BGP.013 TCP open failure to BGP neighbor *neighbor*

説明: BGP スピーカーが、近隣からの接続要求を受け取るために、tcp_listen 要求を開始しています。このメッセージは、この機能の呼び出しが失敗であった場合に印刷されます。

原因: TCP サブシステムへのオープンが失敗しました。

処置: 重大な問題です。 ルーターが使用できるヒープ記憶域の量をチェックしてください。

BGP.014

レベル: U-INFO

短構文: BGP.014 Conn timer fired for *neighbor*

長構文: BGP.014 Connection timer fired for neighbor *neighbor*

説明: このスピーカーからこの近隣への接続を活動化する試みを続行するために、接続タイマーが使用されています。このタイマーのファイヤーが原因で、スピーカーが、前の tcp_open を取り止め、別の tcp_open を出しています。

原因: 接続タイマーは、指定時間内に完了した近隣接続がなかったためにファイヤーしました。

処置: なし。 接続処理は、近隣への接続が完了するまで続行します。

BGP.015

レベル: U-INFO

短構文: BGP.015 conn to *neighbor* open on sprt *sourceport* dprt *destinationport*

長構文: BGP.015 connection to neighbor *neighbor* open on soure port *sourceport* destination port *destinationport*

説明: この近隣のこの接続に関する OPEN メッセージを受け取りました。

原因: その近隣への接続が正常に完了しました。

処置: なし。 これは、通知メッセージです。

BGP.016

レベル: U-INFO

短構文: BGP.016 OPEN sent to *neighbor*

長構文: BGP.016 OPEN message sent to neighbor *neighbor*

説明: 接続がオープンされたときに、スピーカーは近隣に OPEN メッセージを送信します。このメッセージはこれが行われたときに印刷されます。

原因: これは、接続処理の一部です。

処置: なし。 これは、通知メッセージです。

BGP.017

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.017 Bad msg len from *neighbor* sprt *sourceport* dprt *destinationport*

長構文: BGP.017 Bad message length received from neighbor *neighbor* source port *sourceport* destination port *destinationport*

説明: メッセージを受け取ったときに、そのメッセージの長さがチェックされています。このメッセージは、受信されたメッセージの長さが予期されていたメッセージ・ヘッダー・サイズより短い場合に印刷されます。

原因: おそらく、この原因は、スピーカー側または近隣側のソフトウェアに、何らかの装置ドライバー・エラーまたは損傷があることだと思われます。

処置: これが、他の近隣の場合にも起こるか確認します。起こる場合は、このルーターに何らかの問題がある疑いがあります。そうでない場合、該当の近隣に問題があると思われます。これは重大なエラーです。多くのソースからの情報が必要になる可能性があります。

BGP.019

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.019 Bad msg type from *neighbor* sprt *sourceport* dprt *destinationport*

長構文: BGP.019 Bad message type from neighbor *neighbor* source port *sourceport* destination port *destinationport*

説明: BGP メッセージには、OPEN、UPDATE、NOTIFICATION、KEEPALIVE の 4 つのタイプしかありません。このメッセージは、メッセージのタイプが予期していたものとは異なる場合に印刷されます。

原因: メッセージ・タイプは、BGP 情報のもっとも基本的な部分の 1 つであるので、メッセージの誤りに起因するものと思われます。

処置: これが、他の近隣の場合にも起こるか確認します。起こる場合は、このルーターに何らかの問題がある疑いがあります。そうでない場合、該当の近隣に問題があると思われます。これは重大なエラーです。多くのソースからの情報が必要になる可能性があります。

BGP.020

レベル: U-INFO

短構文: BGP.020 BGP init

長構文: BGP.020 BGP initialization

説明: このメッセージは、BGP が使用可能になったときに印刷されます。

BGP.023

レベル: U-INFO

短構文: BGP.023 Nbr *neighbor* disabled or deleted

長構文: BGP.023 Neighbor *neighbor* is disabled or deleted

説明: 近隣レコードは見付かりましたが、近隣が使用不可であるか、削除されています。

原因: ユーザーが近隣ノードを使用不可にしたか、または削除しました。

処置: なし。

BGP.024

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.024 Attr len too long from *neighbor*, len *length*

長構文: BGP.024 Attribute length too long from neighbor *neighbor*, length *length*

説明: パス属性の長さが、ヘッダー内の長さより長くなっています。

原因: スピーカーまたは近隣が、そのメッセージをわい曲してしまいました。

処置: ユーザーは、スピーカーまたは近隣でデータ汚損があることを疑う必要があります。リンクの品質を検査してください。

BGP.025

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.025 mand attr without trans bit set from *neighbor*, attr *attribute_type*

長構文: BGP.025 mandatory attribute without transitive bit set from neighbor *neighbor*, attribute type *attribute_type*

説明: 近隣が、非移行ビット・セットを含む必須属性を送信しました。これは、仕様に違反しています。

原因: これは、プロトコルについて非常に基本的な部分であるために、ユーザーは、近隣またはスピーカーにデータ汚損があることを疑う必要があります。

処置: ユーザーは、スピーカーまたは近隣でデータ汚損があることを疑う必要があります。リンクの品質を検査してください。

BGP.026

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.026 Mand attr with partial bit set from *neighbor*, attr *attribute_type*

長構文: BGP.026 Mandatory attribute with partial bit set from neighbor *neighbor*, attribute type *attribute_type*

説明: 近隣が、部分的ビット・セットを含む必須属性を送信しました。これは、仕様に違反しています。

原因: これは、プロトコルについて非常に基本的な部分であるために、ユーザーは、近隣またはスピーカーにデータ汚損があることを疑う必要があります。

処置: ユーザーは、スピーカーまたは近隣でデータ汚損があることを疑う必要があります。リンクの品質を検査してください。

BGP.027

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.027 Opt non-trans attr with partial bit set from *neighbor*, attr *attribute_type*

長構文: BGP.027 Optional non-transitive attribute with partial bit set from neighbor *neighbor*, attribute *attribute_type*

説明: 近隣が、部分的ビット・セットを含む任意選択属性を送信しました。これは、仕様に違反しています。

原因: これは、基本的なプロトコル違反であり、ユーザーは、近隣またはスピーカー内にデータ汚損があることを疑う必要があります。

処置: ユーザーは、スピーカーまたは近隣でデータ汚損があることを疑う必要があります。リンクの品質を検査してください。

BGP.028

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.028 Origin path attr with bad len from *neighbor*, len *length*

長構文: BGP.028 Origin path attribute has bad length from neighbor *neighbor*, length *length*

説明: 起点属性の長さは 1 バイトでなければなりません。この属性の長さは 1 バイトではありません。

原因: これは、基本的なプロトコル違反であり、ユーザーは、近隣またはスピーカー内にデータ汚損があることを疑う必要があります。

処置: ユーザーは、スピーカーまたは近隣でデータ汚損があることを疑う必要があります。リンクの品質を検査してください。

BGP.029

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.029 Origin path attr with bad type from *neighbor*, origin *origin_type*

長構文: BGP.029 Origin path attribute with bad type from neighbor *neighbor*, origin *origin_type*

説明: 起点属性に、識別されない起点タイプがあります。

原因: これは、基本的なプロトコル違反です。

処置: BGP の指定に従っているルーターを使用してください。

BGP.030

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.030 Dupl AS in path attr from *neighbor*, pathlen *AS_path_length*

長構文: BGP.030 Duplicate AS in path attribute from neighbor *neighbor*, path length *AS_path_length*

説明: 近隣が AS パス属性を送信しましたが、それが重複しています。

原因: AS パス属性にループがあり、そのことは、AS が重複していることにより判明されています。スピーカーは、重複した AS を持つパスを公示してはなりません。

処置: データ汚損によって重複が生じた可能性はほとんどありません。近隣に問題がある可能性があります。これは、BGP の中心的な機能であるため、近隣が欠陥のあるプロトコルによって作動している可能性があります、訂正が必要です。

BGP.031

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.031 Bad next hop attr len from *neighbor*, len *length*

長構文: BGP.031 Next hop attribute with bad length from neighbor *neighbor*, length *length*

説明: ネクスト・ホップは、IP アドレスの長さでなければなりません、この属性の長さが間違っています。

原因: 近隣がネクスト・ホップ属性を送信しましたが、その長さが間違っています。この原因はデータ汚損である可能性があります。

処置: 長さフィールドが完全にわい曲されている場合、スピーカーまたは近隣にデータ汚損がある疑いがあります。長さフィールドが 1 バイトだけオフになっている場合、近隣によるプロトコル違反の疑いがあります。

BGP.032

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.032 Bad next hop attr from *neighbor*, next hop *next_hop_attribute*

長構文: BGP.032 Bad next hop attribute from neighbor *neighbor*, next hop *next_hop_attribute*

説明: ネクスト・ホップ属性の長さは正しいのですが、間違ったものであることが判明しました。

原因: 近隣がネクスト・ホップ・アドレスを送信しましたが、それは、こちら側のアドレスまたはサブネット・アドレスです。

処置: そのアドレスがこちら側のアドレスである場合、近隣は、完全にプロトコル違反を犯しています。そのアドレスがサブネット・アドレスである場合、近隣が違反を犯している可能性があります。

BGP.033

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.033 Bad mult exit disc attr len from *neighbor*, len *length*

長構文: BGP.033 Bad mult exit disc attribute length from neighbor *neighbor*, length *length*

説明: mult exit disc 属性の長さが間違っています。

原因: 近隣が mult exit disc 属性を送信しましたが、その長さが間違っています。

処置: 予期していた長さと実際に受け取った長さとの間の差が大きい場合、スピーカーまたは近隣にデータ汚損の疑いがあります。長さの差が 1 だけである場合、近隣がプロトコル違反を犯している可能性があります。

BGP.034

レベル: UI_ERROR

短構文: BGP.034 Bad local pref attr len from *neighbor*, len *length*

長構文: BGP.034 Local preference attribute has bad length from neighbor *neighbor*, length *length*

説明: ローカル優先属性の長さが間違っています。

原因: 近隣がローカル優先を送信しましたが、その長さが間違っています。

処置: 予期していた長さと実際に受け取った長さとの間の差が大きい場合、スピーカーまたは近隣にデータ汚損の疑いがあります。長さの差が 1 だけである場合、近隣がプロトコル違反を犯している可能性があります。

BGP.035

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.035 Bad atom aggr attr len from *neighbor*, len *length*

長構文: BGP.035 Atomic aggregate attribute has bad length from neighbor *neighbor*, length *length*

説明: 原子集合属性の長さは 0 でなければなりませんが、0 以外の長さになっていました。

原因: 近隣が、間違ってフォーマットされた原子集合属性を送信しました。

処置: 予期していた長さと実際に受け取った長さとの間の差が大きい場合、スピーカーまたは近隣にデータ汚損の疑いがあります。長さの差が 1 だけである場合、近隣がプロトコル違反を犯している可能性があります。

BGP.036

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.036 Bad aggr attr len from *neighbor*, len *length*

長構文: BGP.036 Aggregator attribute has bad length from neighbor *neighbor* length *length*

説明: 集合属性の長さが間違っています。

原因: 近隣が集合属性を送信しましたが、その長さが間違っています。

処置: 予期していた長さと実際に受け取った長さとの間の差が大きい場合、スピーカーまたは近隣にデータ汚損の疑いがあります。長さの差が 1 だけである場合、近隣がプロトコル違反を犯している可能性があります。

BGP.039

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.039 Unrecog well knwn attr from *neighbor*, attr *attribute_type*

長構文: BGP.039 Unrecognized well-known attribute from neighbor *neighbor*, attribute *attribute_type*

説明: 定式属性が認識不能なものです。

原因: 近隣が、認識不能な定式属性を送信しました。

処置: これは基本的なプロトコル違反となるので、ユーザーは、スピーカーまたは近隣にデータ汚損があることを疑う必要があります。

BGP.040

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.040 Dupl attr from *neighbor*, attr *attribute_type*

長構文: BGP.040 Multiple attributes from neighbor *neighbor*, attribute *attribute_type*

説明: UPDATE メッセージ内に重複したパス属性が見つかりました。

原因: 近隣が、重複したパス属性を含む UPDATE メッセージを送信しました。

処置: これはプロトコル違反なので、その近隣をチェックする必要があります。

BGP.042

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.042 No NLRI in UPDATE from *neighbor*

長構文: BGP.042 No Network Layer Routing Information in UPDATE from neighbor *neighbor*

説明: UPDATE メッセージに、ネットワーク・レイヤー・ルーティング情報がありませんでした。

原因: 近隣が、パス属性は含んでいるが、ルーティング情報は含んでいない UPDATE メッセージを送信しました。

処置: 近隣に、プロトコル違反があるかどうかをチェックする必要があります。

BGP.043

レベル: U-INFO

短構文: BGP.043 NLRI *NLRI* rej by ext policy from *neighbor*

長構文: BGP.043 Network Layer Routing Information *NLRI* rejected by external policy from neighbor *neighbor*

説明: パス属性によって記述されているネットワーク・レイヤー・ルーティング情報が、ポリシーの適用後に拒否されました。

原因: ポリシー構成コマンドが原因で、パス属性によって記述されたこの NLRI が拒否されました。

処置: なし。ただし、この NLRI が組み込まれている場合を除きます。

BGP.044

レベル: U-INFO

短構文: BGP.044 New or updt'd RIB entry *NLRI* from *neighbor*

長構文: BGP.044 New or updated RIB entry *NLRI* from neighbor *neighbor*

説明: NLRI はすでにフィルターを通過して、ルーティング情報ベースに入れられています。

原因: 近隣が、外部ポリシー規則の定義によって受け入れられている NLRI およびパスを含む UPDATE メッセージを送信しました。

処置: なし。ただし、この NLRI が除外されていなければならぬ場合を除きます。

BGP.046

レベル: U-INFO

短構文: BGP.046 Notify rcvd from *neighbor*, err *error_code*: *sub_code*

長構文: BGP.046 Notify received from *neighbor*, error code *error_code*, subcode *sub_code*

説明: 近隣から NOTIFICATION メッセージを受け取りました。これによって、BGP 接続は打ち切れ、通常、何らかのエラーが示されます。エラー・コードおよびサブコードは、BGP 仕様の中で見付けることができます。それにより、この通知の正確な理由が分かります。

BGP.047

レベル: U-INFO

短構文: BGP.047 Accept dest *destination* from IP fw tbl

長構文: BGP.047 Destination *destination* from IP forwarding table included

説明: スピーカーが、内部ポリシーの指示に従い、このあて先を組み込んだところです。

原因: 内部ポリシーは、あて先を特定して組み込むことができます。

処置: なし。ただし、内部ポリシーがこのあて先を除外していなければならぬ場合は除きます。

BGP.048

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.048 BGP spkr unable to get mem

長構文: BGP.048 BGP speaker unable to get memory

説明: BGP が、必要な記憶域を割り振ることができませんでした。BGP は、このために実行できません。

原因: ヒープ記憶域が不足しています。これは、おそらく、記憶域を大量に必要とする転送機能/プロトコルの実行中の数が多過ぎるためです。

処置: 不必要な転送機能/プロトコルを使用不可にする

か、または記憶域を大きくしてください。

BGP.049

レベル: U-INFO

短構文: BGP.049 Closing conn to *neighbor* sprt *sourceport* dprt *destinationport*; conn collision

長構文: BGP.049 closing connection to neighbor *neighbor* source port *sourceport* destination port *destinationport* because of connection collision

説明: BGP が、接続衝突のために、この近隣への重複接続を除去しています。

原因: 最初の近隣接続の確立時には、複数の TCP 接続を形成することができます。

処置: なし。衝突は発生する可能性があり、BGP RFC が、どの接続が勝つかを判別するための手順を記述します。

BGP.050

レベル: U-INFO

短構文: BGP.050 UPDATE(s) sent to *neighbor*, len *message_length*

長構文: BGP.050 UPDATE(s) sent to neighbor *neighbor*, length *message_length*

説明: 1 つまたは複数の BGP UPDATE メッセージが、示されている近隣に対し待ち行列化されています。これは、トポロジー変更時にのみ起こります。UPDATE メッセージの全部を合わせた長さは表示されます。

BGP.052

レベル: U-INFO

短構文: BGP.052 UPDATE rcvd from *neighbor*, len *message_length*

長構文: BGP.052 UPDATE received from neighbor *neighbor*, length *message_length*

説明: 示されている長さの BGP UPDATE メッセージを、示されている近隣から受け取りました。これは、何らかのトポロジー変更を示します。

BGP.053

レベル: U-INFO

短構文: BGP.053 Del BGP route to *network*

長構文: BGP.053 Deleted BGP route to network *network*

説明: 示されているネットワークへの BGP ルートがも

はや無効であり、IP ルーティング・テーブルから削除されています。

BGP.055

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.055 Ext nbr *neighbor* not on cmn net

長構文: BGP.055 External neighbor *neighbor* is not on common network

説明: 外部近隣は、ルーターと共通ネットワークを共用しなければなりません。そうしなければ、その近隣は無視されます。共通ネットワーク上の近隣のアドレスは、"BGP Config> add neighbor" コマンドで構成する必要があります。

原因: おそらく、近隣の共通ネットワーク・アドレスが構成されていません。

処置: 近隣のアドレスの構成を检查してください。

BGP.056

レベル: U-INFO

短構文: BGP.056 OPEN rcvd from *neighbor*

長構文: BGP.056 OPEN received from neighbor *neighbor*

説明: 示されている近隣から、BGP OPEN メッセージを受け取りました。これは、その近隣が、会話を開始することを希望していることを示します。

BGP.057

レベル: P-TRACE

短構文: BGP.057 KEEPALIVE rcvd from *neighbor*

長構文: BGP.057 KEEPALIVE received from neighbor *neighbor*

説明: 示されている近隣から、BGP KEEPALIVE メッセージを受け取りました。これらのメッセージは、BGP 接続がいまだ有効であることを確認するために、定期的に送受信されます。

BGP.058

レベル: U-INFO

短構文: BGP.058 Notify sent to *neighbor*

長構文: BGP.058 Notify sent to *neighbor*

説明: NOTIFICATION メッセージが近隣に送信されました。これによって、BGP 接続は打ち切れ、回復不能エラー (おそらく、近隣から受け取ったデータが間違っていた) が検出されたことが示されます。前に表示された ELS メッセージが、そのエラーの正確な内容を示します。

114 ELS メッセージの手引き

BGP.059

レベル: P-TRACE

短構文: BGP.059 KEEPALIVE sent to *neighbor*

長構文: BGP.059 KEEPALIVE sent to neighbor *neighbor*

説明: BGP KEEPALIVE メッセージが、示されている近隣に送信されました。これらのメッセージは、BGP 接続がいまだ有効であることを確認するために、定期的に送受信されます。

BGP.060

レベル: U-INFO

短構文: BGP.060 Couldn't add net *network* mask *mask*

長構文: BGP.060 Couldn't add network *network* mask *mask* to routing table

説明: ルーターが、そのルーティング・テーブルへの BGP UPDATE メッセージの中で受け取ったネットワークを追加することができません。これは、ルーティング・テーブルの桁あふれのため、あるいはネットワーク番号の形式が間違っているための、いずれかによるものです。

BGP.061

レベル: U-INFO

短構文: BGP.061 No mem for UPDATE to *neighbor*

長構文: BGP.061 No memory for UPDATE to neighbor *neighbor*

説明: ピアへ UPDATE メッセージを送信するための記憶域を獲得できません。ルーターは再試行を続けます。メッセージが続けて出される場合、ルーターの使用可能記憶域が不足している可能性があります。

BGP.062

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.062 Rej nbr *neighbor*, not in nbr tbl

長構文: BGP.062 External neighbor *neighbor* is not in the neighbor table

説明: 外部近隣が、このスピーカーと BGP 接続を確立しようと試みていますが、そのスピーカーは、構成内にその近隣を含んでいません。

原因: 近隣のパラメーターが、両方のスピーカー内で構成されていません。

処置: 両方のスピーカー内の近隣構成をチェックします。

BGP.063

レベル: U-INFO

短構文: BGP.063 Pasv conn exists for *neighbor*; new pasv conn closed

長構文: BGP.063 Passive connection already exists for neighbor *neighbor*; new passive connection is closed

説明: この近隣の受動 TCP 接続がすでに存在していますが、その近隣が別の受動接続の確立を試みました。新しい接続はクローズされます。

BGP.067

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.067 Hold tmr exp for *neighbor* clng conn

長構文: BGP.067 Hold timer expired for neighbor *neighbor*; closing connection

説明: この近隣から KEEPALIVE メッセージを受け取りませんでした。そのため、KEEPALIVE タイマーが満了となり、接続はクローズされます。

原因: 説明を参照

処置: 近隣がアップしており、BGP を実行していることを確認します。

BGP.069

レベル: U-INFO

短構文: BGP.069 BGP state change; nbr *neighbor* ev event oldst *oldstate* newst *newstate*

長構文: BGP.069 BGP state change; neighbor *neighbor* event *event* old state *oldstate* new state *newstate*

説明: この近隣への接続の状態が、変更されたところでず。

BGP.070

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.070 Unexp event; nbr *neighbor* ev event st state

長構文: BGP.070 Unexpected event; neighbor *neighbor* event *event* state *state*

説明: この BGP の実施で処理されない事象が発生しました。これは、ソフトウェア・エラーを示し、サービス技術員に報告する必要があります。

原因: 説明を参照

処置: 説明を参照

BGP.071

レベル: UE-ERROR

短構文: BGP.071 Bad aggregate net *aggregate_net* mask *aggregate_mask*

長構文: BGP.071 Bad aggregate net *aggregate_net* mask *aggregate_mask*

説明: ルーターが使用できない集合体が構成されました。これは、おそらく構成の間違いです。この集合体は無視されます。

BGP.072

レベル: P-TRACE

短構文: BGP.072 Add NLRI *destination_net* len *destination_mask_len* updt for nbr *neighbor*

長構文: BGP.072 Add NLRI *destination_net* len *destination_mask_len* UPDATE for neighbor *neighbor*

説明: 新しいネットワーク・レイヤー到達可能性情報が、新しい UPDATE メッセージ内で、この近隣用に構築されている、特定の属性リストに関連した NLRI のリストに追加されました。

BGP.073

レベル: P-TRACE

短構文: BGP.073 Wdra NLRI *destination_net* len *destination_mask_len* updt for nbr *neighbor*

長構文: BGP.073 Withdraw NLRI *destination_net* len *destination_mask_len* UPDATE for neighbor *neighbor*

説明: ネットワーク・レイヤー到達可能性情報が、新しい UPDATE メッセージ内で、この近隣用に構築されている実行不可能ルートの一覧に追加されました。

BGP.074

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.074 Bad hold tim val *timer_value* from *neighbor*

長構文: BGP.074 Received bad hold timer value *timer_value* from neighbor *neighbor*

説明: スピーカーが受信した OPEN メッセージが、受諾不能な保留タイマー値を持っています。

原因: 近隣が送信した OPEN メッセージが、誤った保留タイマー値を持っています。

処置: BGP の指定に従っているルーターを使用してください。

BGP.075

レベル: U-INFO

短構文: BGP.075 Conn Cls to *neighbor*; clsg with notify
cease

長構文: BGP.075 Closing connection to neighbor *neighbor*
with notification cease

説明: ユーザーが近隣ノードを使用不可にしたので、このメッセージが出ました。

原因: ユーザーが近隣ノードを使用不可にしたので、このメッセージが出ました。

処置: なし。

第19章 ブリッジ・ルーティング (BR)

この章では、ブリッジ・ルーティング (BR) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

BR.001

レベル: C-INFO

短構文: BR.001 *source_mac-> dest_mac* drp, port block/list, nt *network*

長構文: BR.001 Frame from *source_mac* to *dest_mac* dropped, received on blocked or listening port, *network network*

説明: MAC フレームがハードウェアによって受信されましたが、廃棄されている最中です。受信が行われたポートが "閉そく" 状態または "listen" 状態のためです。フレームが処理されるのは、ポートが "確認" 状態または "転送" 状態のときだけです。

原因: ポートの立ち上げ時には正常

処置: ポートが "確認" 状態および "転送" 状態に遷移するのを待ちます。

BR.002

レベル: P-TRACE

短構文: BR.002 *source_mac-> dest_mac* drp, dst same LAN, nt *network*

長構文: BR.002 Frame from *source_mac* to *dest_mac* dropped, destination on same LAN, *network network*

説明: MAC フレームを受信しましたが、そのあて先アドレスが、ブリッジのパケットが来た側と同じ側にあります。ブリッジする必要がないので、フレームはフィルター論理によって廃棄されます。パフォーマンス上の理由から、この事象は ELS によってカウントされません。カウンタが ASRT に保持されており、ASRT>LIST SOURCE-ROUTE COUNTERS および ASRT>LIST TRANSPARENT COUNTERS コマンドの "Dropped, dest addr filtering" 項目です。

原因: ネットワーク上の通常のローカル・トラフィック

BR.003

レベル: UE-ERROR

短構文: BR.003 *source_mac-> dest_mac*, brdg encap for rout prot IPX (802.3), drp, nt *network*

長構文: BR.003 Frame from *source_mac* to *dest_mac*, WAN

bridge encapsulation for routed protocol IPX (802.3), dropped, *network network*

説明: WAN インターフェースを介してイーサネット・ブリッジ・カプセルに入ったフレームを受信しましたが、このノードでは、IPX プロトコル (802.3 カプセル内の) はルートされます。

原因: ローカル・ノードまたはリモート・ノードにおける、WAN リンクを介して特定プロトコルをブリッジするか、ルートするかに関しての構成エラー

処置: 特定のプロトコルをブリッジするか、ルートするかについては、WAN リンク上のすべてのホストで一致していなければなりません。適切に再構成してください。

BR.004

レベル: P-TRACE

短構文: BR.004 *source_mac-> dest_mac* prt IPX (802.3) filt, drp, nt *network*

長構文: BR.004 Frame from *source_mac* to *dest_mac*, protocol IPX (802.3) filtered, dropped, *network network*

説明: IPX プロトコル (802.3 カプセル内) のフレームを受信しましたが、IPX プロトコルは、ブリッジによって管理されてフィルター処理されています。フレームは廃棄されます。

原因: フィルター処理されるプロトコルのフレームを受信

BR.005

レベル: P-TRACE

短構文: BR.005 *source_mac-> dest_mac* SNAP *protocol_identifier* filt, drp, nt *network*

長構文: BR.005 Frame from *source_mac* to *dest_mac*, IEEE 802 SNAP Protocol Identifier *protocol_identifier* filtered, dropped, *network network*

説明: 指定の IEEE 802 サブネットワーク・アクセス・プロトコル (SNAP) プロトコル識別子 (PID) のフレームを受信しましたが、この PID はブリッジによって管理されてフィルター処理されます。フレームは廃棄されず。

原因: フィルター処理されるプロトコルのフレームを受信

BR.006

レベル: U-TRACE

短構文: BR.006 Unreg dst *source_mac*-> *dest_mac* SNAP *protocol_identifier*, drp, nt *network*

長構文: BR.006 Frame from *source_mac* to unregistered destination MAC address *dest_mac*, IEEE 802 SNAP Protocol Identifier *protocol_identifier*, dropped, network *network*

説明: 使用可能であるプロトコルに一致する、IEEE 802 サブネットワーク・アクセス・プロトコル (SNAP) プロトコル識別子 (PID) のフレームを受信しましたが、あて先 MAC アドレスがブリッジに登録されていません。フレームは廃棄されます。

原因: *dest_mac* がユニキャスト・アドレスの場合、LAN 上のステーションがこのプロトコル用のフレームを、間違ったネクスト・ホップ MAC アドレスに送信しています。

処置: リモート・ステーションの処置を訂正してください。

原因: *dest_mac* がマルチキャスト・アドレスの場合、LAN 上のステーションが、フレームを間違ったマルチキャスト・アドレスにか、あるいは、おそらくこのルーターが使用可能にしていないあて先アドレスだけに送信しています。プロトコルによって、これはエラーである場合と、エラーでない場合があります。

処置: 必要な場合には、リモート・ステーションの処置を訂正してください。

BR.007

レベル: P-TRACE

短構文: BR.007 *source_mac*-> *dest_mac* SNAP *protocol_identifier*, endnode, nt *network*

長構文: BR.007 Frame from *source_mac* to *dest_mac*, IEEE 802 SNAP Protocol Identifier *protocol_identifier* for endnode *protocol*, network *network*

説明: エンド・ノード・プロトコルに一致する、IEEE 802 サブネットワーク・アクセス・プロトコル (SNAP) プロトコル識別子 (PID) 用のマルチキャスト・フレームを受信しました。フレームは、エンド・ノード・プロトコルによってブリッジされ、ローカル処理されます。

BR.008

レベル: UE-ERROR

短構文: BR.008 *source_mac*-> *dest_mac*, brdg encap for rout SNAP *protocol_identifier*, drp, nt *network*

長構文: BR.008 Frame from *source_mac* to *dest_mac*, WAN bridge encapsulation for routed IEEE 802 SNAP Protocol Identifier *protocol_identifier*, dropped, network *network*

説明: WAN インターフェースを介して、ブリッジ・カプセル化された IEEE 802.2 フレームを受信しましたが、その IEEE 802 サブネットワーク・アクセス・プロトコル (SNAP) プロトコル識別子 (PID) は、このノードではルートされています。フレームは廃棄されます。

原因: ローカル・ノードまたはリモート・ノードにおける、WAN リンクを介して特定プロトコルをブリッジするか、ルートするかについての構成エラー

処置: 特定のプロトコルをブリッジするか、ルートするかについては、WAN リンク上のすべてのホストで一致していなければなりません。適切に再構成してください。

BR.009

レベル: UE-ERROR

短構文: BR.009 BPDU *source_mac*-> *dest_mac*, wrng dst, drp, nt *network*

長構文: BR.009 IEEE 802.1D BPDU *source_mac* to *dest_mac*, wrong destination, dropped, network *network*

説明: IEEE 802.1D ブリッジ・プロトコル・データ単位 (BPDU) を、間違ったあて先アドレスで受信しました。これは、特定のマルチキャスト・アドレスあてに送られるものと思われます。BPDU は廃棄されます。

原因: 遠隔ノードでのプログラム・エラー

処置: 遠隔ノードのソフトウェアを訂正してください。

原因: ノードは、IBM トークンリング専用のソース・ルーティング・スパンニング・ツリー・プロトコルを示していますが、これが BPDU に非標準のあて先アドレスを使用している。

処置: メッセージを無視するか、ソース・ルーティング・ノードを再構成します。

BR.010

レベル: P-TRACE

短構文: BR.010 *source_mac*-> *dest_mac* DSAP *destination_service_access_point* filt, drp, nt *network*

長構文: BR.010 Frame from *source_mac* to *dest_mac*, IEEE

802.2 DSAP *destination_service_access_point* filtered, dropped, network network

説明: 指定の IEEE 802.2 あて先サービス・アクセス点 (DSAP) 用のフレームを受信しましたが、この DSAP はブリッジによって管理されてフィルター処理されます。フレームは廃棄されます。

原因: フィルター処理されるプロトコルのフレームを受信

BR.011

レベル: U-TRACE

短構文: BR.011 Unreg dst *source_mac*-> *dest_mac* DSAP *destination_service_access_point*, drp, nt network

長構文: BR.011 Frame from *source_mac* to unregistered destination MAC address *dest_mac*, IEEE 802.2 DSAP *destination_service_access_point*, dropped, network network

説明: 使用可能プロトコルに一致する、IEEE 802.2 あて先サービス・アクセス点 (DSAP) 用のフレームを受信しましたが、あて先 MAC アドレスがブリッジに登録されていません。フレームは廃棄されます。

原因: *dest_mac* がユニキャスト・アドレスの場合、LAN 上のステーションがこのプロトコル用のフレームを、間違ったネクスト・ホップ MAC アドレスに送信しています。

処置: リモート・ステーションの処置を訂正してください。

原因: *dest_mac* がマルチキャスト・アドレスの場合、LAN 上のステーションが、フレームを間違ったマルチキャスト・アドレスにか、あるいは、おそらくこのルーターが使用可能にしていないあて先アドレスだけに送信しています。プロトコルによって、これはエラーである場合と、エラーでない場合があります。

処置: 必要な場合には、リモート・ステーションの処置を訂正してください。

BR.012

レベル: P-TRACE

短構文: BR.012 *source_mac*-> *dest_mac* DSAP *destination_service_access_point*, endnode, nt network

長構文: BR.012 Frame from *source_mac* to *dest_mac*, IEEE 802.2 DSAP *destination_service_access_point* for endnode protocol, network network

説明: エンド・ノード・プロトコルに一致する、IEEE 802.2 あて先サービス・アクセス点 (DSAP) 用のマルチキャスト・フレームを受信しました。フレームは、エン

ド・ノード・プロトコルによってブリッジされ、ローカル処理されます。

BR.013

レベル: UE-ERROR

短構文: BR.013 *source_mac*-> *dest_mac*, brdg encap for rout DSAP *destination_service_access_point*, drp, nt network

長構文: BR.013 Frame from *source_mac* to *dest_mac*, WAN bridge encapsulation for routed IEEE 802.2 DSAP *destination_service_access_point*, dropped, network network

説明: WAN インターフェースを介して、ブリッジ・カプセル化された IEEE 802.2 フレームを受信しましたが、その IEEE 802.2 あて先サービス・アクセス点 (DSAP) は、このノードではルートされています。フレームは廃棄されます。

原因: ローカル・ノードまたはリモート・ノードにおける、WAN リンクを介して特定プロトコルをブリッジするか、ルートするかに関しての構成エラー

処置: 特定のプロトコルをブリッジするか、ルートするかについては、WAN リンク上のすべてのホストで一致していなければなりません。適切に再構成してください。

BR.014

レベル: P-TRACE

短構文: BR.014 *source_mac*-> *dest_mac* Etype *Ethernet_type* filt, drp, nt network

長構文: BR.014 Frame from *source_mac* to *dest_mac*, Ethernet type *Ethernet_type* filtered, dropped, network network

説明: 指定のイーサネット・タイプのフレームを受信しましたが、このタイプは、ブリッジによって管理されてフィルター処理されます。フレームは廃棄されます。

原因: フィルター処理されるプロトコルのフレームを受信

BR.015

レベル: U-TRACE

短構文: BR.015 Unreg dst *source_mac*-> *dest_mac* Etype *Ethernet_type*, drp, nt network

長構文: BR.015 Frame from *source_mac* to unregistered destination MAC address *dest_mac*, Ethernet type *Ethernet_type*, dropped, network network

説明: 使用可能プロトコルに一致する、イーサネット・タイプのフレームを受信しましたが、あて先 MAC アドレスがブリッジに登録されていません。フレームは廃棄されます。

原因: `dest_mac` がユニキャスト・アドレスの場合、LAN 上のステーションがこのプロトコル用のフレームを、間違ったネクスト・ホップ MAC アドレスに送信しています。

処置: リモート・ステーションの処置を訂正してください。

原因: `dest_mac` がマルチキャスト・アドレスの場合、LAN 上のステーションが、フレームを間違ったマルチキャスト・アドレスにか、あるいは、おそらくこのルーターが使用可能にしていないあて先アドレスだけに送信しています。プロトコルによって、これはエラーである場合と、エラーでない場合があります。

処置: 必要な場合には、リモート・ステーションの処置を訂正してください。

BR.016

レベル: P-TRACE

短構文: BR.016 `source_mac-> dest_mac` Etype Ethernet_type, endnode, nt network

長構文: BR.016 Frame from `source_mac` to `dest_mac`, Ethernet type `Ethernet_type` for endnode protocol, network network

説明: エンド・ノード・プロトコルに一致する、イーサネット・タイプのマルチキャスト・フレームを受信しました。フレームは、エンド・ノード・プロトコルによってブリッジされ、ローカル処理されます。

BR.017

レベル: UE-ERROR

短構文: BR.017 `source_mac-> dest_mac`, brdg encap for rout Etype `Ethernet_type`, drp, nt network

長構文: BR.017 Frame from `source_mac` to `dest_mac`, WAN bridge encapsulation for routed Ethernet type `Ethernet_type`, dropped, network network

説明: WAN インターフェースを介して、イーサネット・ブリッジ・カプセル化されたイーサネット・フレームを受信しましたが、そのイーサネット・タイプは、このノードではルートされています。フレームは廃棄されます。

原因: ローカル・ノードまたはリモート・ノードにおける、WAN リンクを介して特定プロトコルをブリッジするか、ルートするかに関しての構成エラー。

処置: 特定のプロトコルをブリッジするか、ルートするかについては、WAN リンク上のすべてのホストで一致していなければなりません。適切に再構成してください。

BR.018

レベル: P-TRACE

短構文: BR.018 SR `source_mac-> dest_mac` DSAP `destination_service_access_point` filt, drp, nt network

長構文: BR.018 Source-routed frame from `source_mac` to `dest_mac`, IEEE 802.2 DSAP `destination_service_access_point` filtered, dropped, network network

説明: 指定の IEEE 802.2 あて先サービス・アクセス点 (DSAP) 用の、ソース・ルーティング・フレームを受信しましたが、この DSAP はブリッジによって管理されてフィルター処理されます。フレームは廃棄されます。

原因: フィルター処理されるプロトコルのフレームを受信

BR.019

レベル: U-TRACE

短構文: BR.019 SR unreg dst `source_mac-> dest_mac` DSAP `destination_service_access_point`, drp, nt network

長構文: BR.019 Source-routed frame from `source_mac` to unregistered destination MAC address `dest_mac`, IEEE 802.2 DSAP `destination_service_access_point`, dropped, network network

説明: ソース・ルーティングされたフレームが、使用可能プロトコルに対応する IEEE 802.2 あて先サービス・アクセス・ポイント (DSAP) 用として受信されましたが、あて先 MAC アドレスがブリッジ内で登録されていません。フレームは廃棄されます。

原因: `dest_mac` がユニキャスト・アドレスの場合、LAN 上のステーションがこのプロトコル用のフレームを、間違ったネクスト・ホップ MAC アドレスに送信しています。

処置: リモート・ステーションの処置を訂正してください。

原因: `dest_mac` がマルチキャスト・アドレスの場合、LAN 上のステーションが、フレームを間違ったマルチキャスト・アドレスにか、あるいは、おそらくこのルーターが使用可能にしていないあて先アドレスだけに送信しています。プロトコルによって、これはエラーである場合と、エラーでない場合があります。

処置: 必要な場合には、リモート・ステーションの処置を訂正してください。

BR.020

レベル: P-TRACE

短構文: BR.020 SR *source_mac*-> *dest_mac* DSAP *destination_service_access_point*, endnode, nt *network*

長構文: BR.020 Source-routed frame from *source_mac* to *dest_mac*, IEEE 802.2 DSAP *destination_service_access_point* for endnode protocol, network *network*

説明: エンド・ノード・プロトコルと一致している、IEEE 802.2 あて先サービス・アクセス点 (DSAP) 用の、ソース・ルーティング・マルチキャスト・フレームを受信しました。フレームは、エンド・ノード・プロトコルによってブリッジされ、ローカル処理されます。

BR.021

レベル: P-TRACE

短構文: BR.021 SR *source_mac*-> *dest_mac* SNAP *protocol_identifier* filt, drp, nt *network*

長構文: BR.021 Source-routed frame from *source_mac* to *dest_mac*, IEEE 802 SNAP Protocol Identifier *protocol_identifier* filtered, dropped, network *network*

説明: 指定の IEEE 802 サブネットワーク・アクセス・プロトコル (SNAP) プロトコル識別子 (PID) 用のソース・ルーティング・フレームを受信しましたが、この PID は、ブリッジによって管理されてフィルター処理されます。フレームは廃棄されます。

原因: フィルター処理されるプロトコルのフレームを受信

BR.022

レベル: U-TRACE

短構文: BR.022 SR unreg dst *source_mac*-> *dest_mac* SNAP *protocol_identifier*, drp, nt *network*

長構文: BR.022 Source-routed frame from *source_mac* to unregistered destination MAC address *dest_mac*, IEEE 802 SNAP Protocol Identifier *protocol_identifier*, dropped, network *network*

説明: ソース・ルーティングされたフレームが、使用可能プロトコルに対応する IEEE 802 サブネットワーク・アクセス・プロトコル (SNAP) プロトコル識別子 (PID) 用として受信されましたが、あて先 MAC アドレスがブリッジ内で登録されていません。フレームは廃棄されます。

原因: *dest_mac* がユニキャスト・アドレスの場合、LAN 上のステーションがこのプロトコル用のフレームを、間

違ったネクスト・ホップ MAC アドレスに送信しています。

処置: リモート・ステーションの処置を訂正してください。

原因: *dest_mac* がマルチキャスト・アドレスの場合、LAN 上のステーションが、フレームを間違ったマルチキャスト・アドレスにか、あるいは、おそらくこのルーターが使用可能にしていないあて先アドレスだけに送信しています。プロトコルによって、これはエラーである場合と、エラーでない場合があります。

処置: 必要な場合には、リモート・ステーションの処置を訂正してください。

BR.023

レベル: P-TRACE

短構文: BR.023 SR *source_mac*-> *dest_mac* SNAP *protocol_identifier*, endnode, nt *network*

長構文: BR.023 Source-routed frame from *source_mac* to *dest_mac*, IEEE 802 SNAP Protocol Identifier *protocol_identifier* for endnode protocol, network *network*

説明: エンド・ノード・プロトコルに一致する、IEEE 802 サブネットワーク・アクセス・プロトコル (SNAP) プロトコル識別子 (PID) 用の、ソース・ルーティング・マルチキャスト・フレームを受信しました。フレームは、エンド・ノード・プロトコルによってブリッジされ、ローカル処理されます。

BR.025

レベル: P-TRACE

短構文: BR.025 *source_mac*-> *dest_mac* drp, src add flt, nt *network*

長構文: BR.025 Frame from *source_mac* to *dest_mac* dropped, source address filtered, network *network*

説明: ハードウェアが MAC フレームを受信しましたが、ソース MAC アドレスがブリッジによって管理されてフィルター処理されます。フレームは廃棄されます。

原因: ソース MAC アドレスがあて先フィルターと一致しているフレームを受信

BR.026

レベル: P-TRACE

短構文: BR.026 SR *source_mac*-> *dest_mac* drp, dst add flt, nt *network*

長構文: BR.026 Frame from *source_mac* to *dest_mac* dropped, destination address filtered, network *network*

説明: ハードウェアが、ソース・ルーティング MAC フレームを受信しましたが、あて先 MAC がブリッジによって管理されてフィルタ処理されます。フレームは廃棄されます。

原因: あて先 MAC アドレスがあて先フィルタと一致しているフレームを受信

BR.027

レベル: P-TRACE

短構文: BR.027 SR *source_mac-> dest_mac* drp, src add flt, nt *network*

長構文: BR.027 Frame from *source_mac* to *dest_mac* dropped, source address filtered, network *network*

説明: ハードウェアが、ソース・ルーティング MAC フレームを受信しましたが、ソース MAC がブリッジによって管理されてフィルタ処理されます。フレームは廃棄されます。

原因: ソース MAC アドレスがあて先フィルタと一致しているフレームを受信

BR.028

レベル: UI-ERROR

短構文: BR.028 No buf for endnode bridge, *source_mac-> dest_mac*, nt *network*, not bridged

長構文: BR.028 No buffer to copy packet for endnode bridge and process, from *source_mac* to *dest_mac*, network *network*, not bridged

説明: マルチキャスト・フレームが、ブリッジとローカル処理の両方の対象となるエンド・ノード・プロトコル用として受信されました。バッファが不足していて、フレームのコピーを 2 つ作成して両方のタイプの処理を行うことができなかったため、フレームはブリッジされず、ローカル処理だけが行われます。

原因: 重大なパケット・バッファの不足

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。可能な場合は、ルーティング・テーブルまたはブリッジ・テーブルを小さくしてください。テーブルを小さくできない場合は、記憶域サイズを増やしてください。

原因: トラフィック・ピークで、利用可能なバッファがすべて使われています。

処置: このメッセージが非常にまれに出る場合は問題です。

BR.029

レベル: C-TRACE

短構文: BR.029 NB inp pkt fltd - *source_mac-> dest_mac*, prt *port*, nt *network*

長構文: BR.029 NETBIOS Input Packet Filtered - *source_mac-> dest_mac*, port *port*, network *network*

説明: NETBIOS パケットが、NETBIOS フィルタ構成レコードに指定されている基準に一致しています。パケットは廃棄されます。

BR.030

レベル: U-TRACE

短構文: BR.030 Rcvd tkr brg pkt but no tkr hnd

長構文: BR.030 Received tkr bridge packet over WAN, but router has no handler to process it.

説明: リモート・ルーターがローカル・ルーターに向けて WAN ブリッジ・ポートを通じてパケットを送信して、フレームはトークンリング形式でしたが、ローカル・ルーターにトークンリング・フレーム用のハンドラが含まれていません。パケットは廃棄されました。

第20章 ブリッジング・ブロードキャスト・マネージャー (BBCM)

この章では、ブリッジング・ブロードキャスト・マネージャー (BBCM) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

BBCM.001

レベル: U_INFO

短構文: BBCM.001 *instance_str*initlzd

長構文: BBCM.001 *instance_str*initialized

説明: ブリッジング・ブロードキャスト・マネージャーが初期化されました。

BBCM.002

レベル: U_INFO

短構文: BBCM.002 *instance_str*HALTED

長構文: BBCM.002 *instance_str*HALTED

説明: ブリッジング・ブロードキャスト・マネージャーが停止されました。活動状態になっているプロトコルがありません。

BBCM.003

レベル: U_INFO

短構文: BBCM.003 *instance_str*STARTED/RESTARTED
prtl protocol_name, age out= *age_out* min

長構文: BBCM.003 *instance_str*STARTED/RESTARTED
protocol protocol_name, age out= *age_out* min

説明: 特定のプロトコルに関して、BBCM が開始 (または再始動) されました。

BBCM.004

レベル: U_INFO

短構文: BBCM.004 *instance_str*STOPPED *prtl protocol_name*

長構文: BBCM.004 *instance_str*STOPPED *protocol protocol_name*

説明: 特定のプロトコルに関して、BBCM が停止されました。このプロトコルに関する BBCM では、フレームは処理されず、既存のプロトコル項目は、時間を経て経過時間切れとなります。

BBCM.005

レベル: U_INFO

短構文: BBCM.005 *instance_str*SHUT DOWN BBCM for
prtl protocol_name

長構文: BBCM.005 *instance_str*SHUT DOWN BBCM for
protocol protocol_name

説明: 特定のプロトコルに関して、BBCM がシャットダウンされました。このプロトコルに関する BBCM では、フレームは処理されず、既存のプロトコル項目はすべて削除されました。これは、BBCM の記憶域不足で、追加のプロトコル項目が追加できなかった結果である可能性があります。BBCM の記憶域はこれで解放されたので、他の機能で 사용할 ことができます。

BBCM.006

レベル: U_INFO

短構文: BBCM.006 *instance_str*deleted all *protocol_name*
prtl entries

長構文: BBCM.006 *instance_str*deleted all entries for
protocol protocol_name

説明: 特定のプロトコルのすべてのプロトコル項目が削除されました。

BBCM.007

レベル: UI_ERROR

短構文: BBCM.007 *instance_str*add to *protocol_name* cache
failed. *prtl* CB alloc err

長構文: BBCM.007 *instance_str*add to *protocol_name* cache
failed. protocol control block allocation error

説明: プロトコル制御ブロック用として記憶域の割り振りを試みている最中に、エラーが発生したため、BBCM は新しいプロトコル・アドレスを追加できませんでした。使用可能な記憶域に不足があると、BBCM はシャットダウンします。

処置: サービス技術員に連絡してください。

BBCM.008

レベル: C_INFO

短構文: BBCM.008 *instance_stradded protocol_type_string protocol_address* on MAC addr x *MAC_address* to cache

長構文: BBCM.008 *instance_stradded protocol_type_string protocol_address* on MAC address x *MAC_address* to cache

説明: BBCM は、プロトコル・アドレスを特定の MAC アドレスと共に、そのキャッシュに追加しました。

BBCM.009

レベル: C_INFO

短構文: BBCM.009 *instance_straged protocol_type_string protocol_address* on MAC addr x *MAC_address* from cache

長構文: BBCM.009 *instance_straged protocol_type_string protocol_address* on MAC address x *MAC_address* from cache

説明: BBCM は、特定の MAC アドレス上の特定のプロトコル・アドレスを、経過時間切れによってそのキャッシュから除去しました。

BBCM.010

レベル: C_INFO

短構文: BBCM.010 *instance_strset protocol_type_string protocol_address* age to *age*

長構文: BBCM.010 *instance_strset protocol_type_string protocol_address* age to *age*

説明: 指定のプロトコル・アドレスの経過時間が、示されている経過時間に設定されました。

BBCM.011

レベル: U_INFO

短構文: BBCM.011 *instance_strWarning*: MAC addr x *MAC_address* replaced MAC addr x *MAC_address* for *protocol_type_string protocol_address*

長構文: BBCM.011 *instance_strWarning*: MAC address x *MAC_address* replaced MAC address x *MAC_address* for *protocol_type_string protocol_address*

説明: BBCM は、2 つの MAC アドレスで同一のプロトコル・アドレスを使用中であることを検知しました。最初に表示されている MAC アドレスが新しく検出されたもので、これからはこれがそのプロトコル・アドレスに対応付けられます。

処置: これは、装置の 1 つの構成の誤りである可能性があります。

BBCM.012

レベル: U_INFO

短構文: BBCM.012 *instance_strWarning*: MAC addr x *MAC_address* conflicts w/ Permanent Entry MAC addr x *MAC_address*, *protocol_type_string protocol_address*

長構文: BBCM.012 *instance_strWarning*: MAC address x *MAC_address* conflicts with Permanent Entry MAC address x *MAC_address*, *protocol_type_string protocol_address*

説明: BBCM は、最初の MAC アドレスが永続項目と同じプロトコル・アドレスを使用していることを検知しました。永続項目は、そのままにしておきます。

処置: これは、装置または永続項目の構成の誤りである可能性があります。

BBCM.013

レベル: UI_ERROR

短構文: BBCM.013 *instance_strINIT* FAILED

長構文: BBCM.013 *instance_strINITIALIZATION* FAILED

説明: ブリッジング・ブロードキャスト・マネージャーの初期化が正常に行われませんでした。BBCM の初期化用として記憶域の割り振りを試みている最中に、エラーが発生しました。

BBCM.014

レベル: UI_ERROR

短構文: BBCM.014 *instance_strERROR* STARTING PROTOCOL *protocol_name*

長構文: BBCM.014 *instance_strERROR* STARTING PROTOCOL *protocol_name*

説明: 特定のプロトコルに関するブリッジング・ブロードキャスト・マネージャーが正常に開始できませんでした。

BBCM.015

レベル: UI_ERROR

短構文: BBCM.015 *instance_strNo* assoc. Super ELAN

長構文: BBCM.015 *instance_strNo* associated Super ELAN exists

説明: ブリッジング・ブロードキャスト・マネージャー要求が行われましたが、対応する Super ELAN が見つかりませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

第21章 コンポーネント非表示機能 (NOT)

この章では、コンポーネント非表示機能 (NOT) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

NOT.001

レベル: UINFO

短構文: NOT.001 *source_net/ source_node -> destination_net/ destination_node nt network ign*

長構文: NOT.001 *source_net/ source_node -> destination_net/ destination_node net network ignored*

説明: AppleTalk パケットが認知されましたが、AppleTalk 転送機能がロードされていないので無視されました。

NOT.004

レベル: UINFO

短構文: NOT.004 DECnet pkt ign

長構文: NOT.004 DECnet packet ignored, no DECnet forwarder

説明: DECnet パケットを受信しましたが、ゲートウェイに DECnet 転送機能が導入されていません。

NOT.005

レベル: UINFO

短構文: NOT.005 dsc pkt *source_ip_address -> destination_ip_address nt Network ID no IP*

長構文: NOT.005 Discarded packet from *source_ip_address* for *destination_ip_address* net *Network ID*, no IP forwarder

説明: このメッセージは、各パケットを受信するたびに、偽 IP 転送機能によって生成されます。

原因: IP パケットを受信しましたが、IP 転送機能が存在しません。

NOT.007

レベル: UINFO

短構文: NOT.007 dsc pkt *source_vines_network: source_vines_subnet -> destination_vines_network: destination_vines_subnet nt Network ID no IP*

長構文: NOT.007 Discarded packet from *source_vines_network: source_vines_subnet* for *destination_vines_network: destination_vines_subnet* net *Network ID*, no VINES forwarder

説明: このメッセージは、VINES が使用可能にされていないルーターでパケットが受信されるたびに偽 VINES 転送機能によって生成されます。

NOT.008

レベル: UINFO

短構文: NOT.008 FAKE: pkt dscrd frm hst *source_address*

長構文: NOT.008 FAKE: packet discarded from host *source_address*

説明: このメッセージは、SNMP 偽ルーチンによって生成されます。

原因: SNMP パケットが到着しましたが、ルーターは SNMP をサポートしていません。

NOT.009

レベル: UINFO

短構文: NOT.009 FAKE: EGP neighbor *IP_address* lost

長構文: NOT.009 FAKE: EGP neighbor *IP_address* lost

説明: このメッセージは、SNMP の EGP 近隣損失偽ルーチンによって生成されます。

原因: EGP 近隣損失事象を生成しようとしたのですが、ルーターに SNMP が導入されていません。

NOT.011

レベル: UINFO

短構文: NOT.011 Bridge *source_mac-> dest_mac*, no fwd, nt network

長構文: NOT.011 Bridge frame from *source_mac* to *dest_mac*, no forwarder, network *network*

説明: ブリッジ・フレームを受信しましたが、この構成ではブリッジ機能は利用不能です。フレームは無視されます。

原因: 802.2 あて先 SAP 42 へのフレームを受信

NOT.014

レベル: UINFO

短構文: NOT.014 *source_net/ source_node -> dest_net/ dest_node ign*

長構文: NOT.014 Packet from *source_net/ source_node* for *dest_net/ dest_node* ignored

説明: IPX パケットがネットワークに到着しましたが、IPX 転送機能が導入されていません。

NOT.015

レベル: UINFO

短構文: NOT.015 *disc frm src_SRLY_addrH -> dst_SRLY_addrH nt networkID*

長構文: NOT.015 discarded frame with source addr *src_SRLY_addrH* and destination addr *dst_SRLY_addrH* on network *networkID*

説明: 示されているインターフェースで SDLC リレーが構成されていないために、フレームが廃棄されました。

原因: インターフェースに、空白または偽の転送機能が構成されています。受信した SDLC リレー・フレームはすべて廃棄されます。

NOT.016

レベル: UINFO

短構文: NOT.016 *dsc pkt source_ip_address -> destination_ip_address nt Network ID no IPSec*

長構文: NOT.016 Discarded packet from *source_ip_address* for *destination_ip_address* net *Network ID*, no IP Security

説明: このメッセージは、IP セキュリティー用の各パケットを受信するたびに、IPSec スタブによって生成されます。

原因: IPSec 用の IP パケットを受信しましたが、IP セキュリティーが存在しません。

NOT.017

レベル: UINFO

短構文: NOT.017 no NAT to trans pkt *source_ip_address -> destination_ip_address* Dir= *direction*

長構文: NOT.017 Did not translate packet from *source_ip_address* to *destination_ip_address* direction *direction*, no NAT

説明: このメッセージは、NAT 用の各パケットを受信するたびに、NAT スタブによって生成されます。

原因: NAT 用の IP パケットを受信しましたが、NAT が存在しません。

NOT.018

レベル: UINFO

短構文: NOT.018 *dsc pkt source_ip_address -> destination_ip_address nt Network ID no IPSec*

長構文: NOT.018 Discarded packet from *source_ip_address* for *destination_ip_address* net *Network ID*, no IP Security for IPv6

説明: このメッセージは、IP セキュリティー用の各 IPv6 パケットを受信するたびに、IPSec スタブによって生成されます。

原因: IPSec 用の IPv6 パケットを受信しましたが、IP セキュリティーが存在しません。

第22章 接続管理ライブラリー (CML)

この章では、接続管理ライブラリー (CML) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

DIAL.001

レベル: C-TRACE

短構文: DIAL.001 CML X31 DSIO: pkt xmted nt *network ID*

長構文: DIAL.001 CML X31 DSIO transmitted a packet on network *network ID*

説明: ISDN D チャネルを介するダイヤル回線の発信 X.25 パケットのメッセージをトレースします。

DIAL.002

レベル: C-TRACE

短構文: DIAL.002 CML X31 RCV: pkt rcved nt *network ID*

長構文: DIAL.002 CML X31 RCV received a packet on network *network ID*

説明: ISDN D チャネルを介するダイヤル回線の着信 X.25 パケットのメッセージをトレースします。

DIAL.003

レベル: UI-ERROR

短構文: DIAL.003 No cnfg nt *network ID*

長構文: DIAL.003 No configuration found for net *network ID*

説明: SR_VRTBLK レコードが SR_VNET ブロック内で見付かりませんでした。

原因: 不完全な構成

処置: このネットワークの構成を再検討してください。

DIAL.004

レベル: UI-ERROR

短構文: DIAL.004 bd dl net on nt *network ID*

長構文: DIAL.004 Bad dial network specified in config, net *network ID*

説明: 構成された基本ネットが存在しないか、ISDN BRI ネットではないかのどちらかです。

原因: 構成エラー

処置: 有効な基本ネットを構成してください。

DIAL.005

レベル: U-INFO

短構文: DIAL.005 Caller id *clid* match found in Authentication list, but no ANY_INBOUND found

長構文: DIAL.005 Caller Id *clid* match found on Authentication list but no net with ANY_INBOUND configured

説明: コールバック・テーブルのエントリーでコーラー ID を検査しています。

原因: Q931 設定を受信し、コーラー ID を認証リストのエントリーと突き合わせましたが、使用可能なインバウンドはありませんでした。

処置: なし。

DIAL.009

レベル: UI-ERROR

説明: ソフトウェアに問題があります。

原因: ソフトウェア・エラー

処置: サポートに連絡してください。

DIAL.010

レベル: UI-ERROR

短構文: DIAL.010 X.31 TEI mismatch: rcv=*rcvTEI*,cfg/negot=*cfg_ngotTEI* on nt int /

長構文: DIAL.010 X.31 TEI mismatch: received *tei=rcvTEI*,configured or negotiated *tei=cfg_ngotTEI* on net interface /

説明: ダイヤル回線の構成の誤りです。

原因: 構成エラー

処置: このダイヤル回線の構成を再検討してください。

DIAL.011

レベル: C-TRACE

短構文: DIAL.011 CML state *state_string*,, event *event_string*, nt *network ID*

長構文: DIAL.011 CML state *state_string*,, event *event_string*,, net *network ID*

説明: FSM トレース事象

DIAL.012

レベル: UI-ERROR

短構文: DIAL.012 X.31 bad TEI state: *tei= rcvTEI* on nt int /

長構文: DIAL.012 X.31 TEI state is not multi frame for *tei= rcvTEI*, on net interface /

説明: ダイヤル回線の自己テストが正常に行われていません。

原因: ネットワーク/構成エラー

処置: このダイヤル回線の構成を再検討してください。

DIAL.013

レベル: U-INFO

短構文: DIAL.013 Query Caller id table for *clid* from ISDN/ *interface*

長構文: DIAL.013 A setup was recived with Calling Party number *clid* on interface *interface*

説明: コールバック・テーブルのエントリーでコーラー ID を検査しています。

原因: Q931 設定を受信

処置: なし。

DIAL.014

レベル: U-INFO

短構文: DIAL.014 Found Caller id match for *clid* for callback on net *interface*

長構文: DIAL.014 Caller Id matched in the table *clid* for dial circuit interface *interface*

説明: コーラー ID がそのあて先のコールバック ID と一致しました。

原因: Q931 設定を受信

処置: なし。

DIAL.016

レベル: U-INFO

短構文: DIAL.016 No match found Caller id *clid* for callback on specific net

長構文: DIAL.016 Caller Id not matched in the table *clid* for dial circuit interface

説明: コーラー ID がそのあて先のコールバック ID に一致しません。

原因: Q931 設定を受信

処置: なし。

DIAL.017

レベル: U-INFO

短構文: DIAL.017 Caller id *clid* no match found in Authentication list,

長構文: DIAL.017 Caller Id *clid* no match found on Authentication list to callback

説明: コールバック・テーブルのエントリーでコーラー ID を検査しています。

原因: Q931 設定を受信

処置: なし。

DIAL.018

レベル: U-INFO

短構文: DIAL.018 Caller id callback on net *interface*

長構文: DIAL.018 Caller Id callback on interface *interface*

説明: あて先にコールバックします。

原因: コールバック・タイマーが満了

処置: なし。

DIAL.019

レベル: U-INFO

短構文: DIAL.019 Caller id callback on any_inbound net *interface*

長構文: DIAL.019 Caller Id callback on any inbound interface *interface*

説明: あて先にコールバックします。

原因: コールバック・タイマーが満了

処置: なし。

DIAL.020

レベル: U-INFO

短構文: DIAL.020 Caller id *clid* - Call blocked on net ISDN/ *net*

長構文: DIAL.020 Caller Id *clid* match found on call block table for net *net*

説明: コールバック・テーブルのエントリでコーラー ID を検査しています。

原因: Q931 設定を受信

処置: なし。

DIAL.021

レベル: C-TRACE

短構文: DIAL.021 CML state *state_string*,, event *event_string*, nt *network ID*

長構文: DIAL.021 CML state *state_string*,, event *event_string*,, net *network ID*

説明: FSM トレース事象

DIAL.022

レベル: UI_ERROR

短構文: DIAL.022 LID no bf, *message_type*, not snt nt *network ID*

長構文: DIAL.022 LID no buffer, *message_type*, msg not sent on net *network ID*

説明: ライン ID コードが、メッセージを送信するためのバッファを割り振ることができませんでした。

DIAL.023

レベル: UE_ERROR

短構文: DIAL.023 LID NAK rcv nt *network ID*

長構文: DIAL.023 LID NAK received net *network ID*

説明: 交換回線の相手側は、こちら側が送信した LINE ID を受け入れず、NAK を戻してきました。

処置: 両側の構成を検査してください。相手側はこちら側からコールする必要があると考えていません。

DIAL.024

レベル: C-INFO

短構文: DIAL.024 LID ACK rcv nt *network ID*

長構文: DIAL.024 LID ACK received net *network ID*

説明: 交換回線の相手側が、こちら側のライン ID を受け入れました。

DIAL.025

レベル: UE_ERROR

短構文: DIAL.025 LID tmo on mdm sgs nt *network ID*

長構文: DIAL.025 LID timeout waiting for modem signals to come up on net *network ID*

説明: インバウンド・コールまたはアウトバウンド・コールのいずれかで、接続完了後に V.25bis モデム信号がアップになりませんでした。

処置: 伝送路とモデムを検査してください。伝送路の品質が不十分である可能性があります。

DIAL.026

レベル: UE_ERROR

短構文: DIAL.026 LID tmo on id nt *network ID*

長構文: DIAL.026 LID timeout waiting for line ID from other side, net *network ID*

説明: 相手側からのライン ID を待っているときにタイムアウトになりました。

処置: このルーターへのコーラーの構成を調べてください。コーラーはライン ID メッセージを送信していません。非互換ルーターである可能性があります。

DIAL.027

レベル: UE_ERROR

短構文: DIAL.027 LID unkn id [*bad_lineid_string*,]; nk snt, nt *network ID*

長構文: DIAL.027 LID unknown line ID [*bad_lineid_string*,] received; NAK sent, net *network ID*

説明: コールを受け付けたくない電話番号 (すなわち、存在しない電話番号、または存在するがインバウンド・コール用に構成されていない番号) に対応する ID メッセージを受信しました。

処置: 両側のルーターの構成を検査してください。

DIAL.028

レベル: UE_ERROR

短構文: DIAL.028 LID no dflt circrt; data ign nt *network ID*

長構文: DIAL.028 LID no default circuit; received data was ignored, net *network ID*

説明: 相手側からデータ (ライン ID ではなく) を受信しましたが、このデータを割り当てるデフォルト回線がありませんでした。

処置: このルーターへのコーラーの構成を調べてください。コーラーはライン ID メッセージを送信していません。非互換ルーターである可能性があります。

DIAL.029

レベル: C-INFO

短構文: DIAL.029 No dl crct inc call on nt *switched network ID*

長構文: DIAL.029 No dial circuit configured for inbound calls on switched network *switched network ID*

説明: 交換網を介してインバウンド・コールを受信しましたが、これを受け入れるように構成されたダイヤル回線がありません。

原因: 構成の誤り

処置: インバウンド・コールを受け入れるためのダイヤル回線を構成する必要があります。

原因: 番号違い

処置: これが引き続き発生する場合は、セキュリティ侵害を識別する手段を講じてみる可以尝试。

DIAL.030

レベル: C-TRACE

短構文: DIAL.030 nt *dial network ID* st *cml_state*; cnt acpt call on nt *switched network ID*

長構文: DIAL.030 net *dial network ID* is in state *cml_state*; can't acpt call on network *switched network ID*

説明: インバウンド・コールを受け入れようとしているダイヤル回線が見付かりましたが、このダイヤル回線はそれを行える状態にありません。

DIAL.031

レベル: C-TRACE

短構文: DIAL.031 Inbnd dsbl nt *dial network ID*; cnt acpt call on nt *switched network ID*

長構文: DIAL.031 Inbound calls disabled on net *dial network ID*; can't acpt call on network *switched network ID*

説明: ネットワークは、指定されたコーラーからのコールを受け入れようとしています、インバウンド・コールを受け入れる構成になっていません。

DIAL.032

レベル: C-TRACE

短構文: DIAL.032 LID st *old_state*,-> *new_state*, nt *network ID*

長構文: DIAL.032 Line ID state *old_state*, changed to *new_state*,, net *network ID*

説明: FSM トレース事象

DIAL.033

レベル: C-TRACE

短構文: DIAL.033 LID ID rcv: *line_id_string* nt *network ID*

長構文: DIAL.033 Line ID received: *line_id_string*, net *network ID*

説明: 指定されたアドレスが含まれているライン ID メッセージを受信しました。注：有効なのは数字 0 ～ 9 だけなので、印刷されるのはこれらの数字だけです。

DIAL.034

レベル: C-TRACE

短構文: DIAL.034 nt *dial network ID* acptd call on nt *switched network ID*

長構文: DIAL.034 net *dial network ID* accepted call on network *switched network ID*

説明: 指定のネットワークがインバウンド・コールを受け入れました。

DIAL.035

レベル: C-TRACE

短構文: DIAL.035 No avl net for inbound call on nt *switched network ID*

長構文: DIAL.035 No available net for call on network *switched network ID*

説明: インバウンド・コールを受け入れることができるネットワークがありません。

DIAL.036

レベル: C-TRACE

短構文: DIAL.036 ISDN inb Caller Id addr [*address*] nt *switched network ID*

長構文: DIAL.036 ISDN inbound address [*address*] network *switched network ID*

説明: ルーターは ISDN 設定メッセージで、指定のコラー・アドレスとサブアドレスを渡しました。

DIAL.037

レベル: C-TRACE

短構文: DIAL.037 LID ID snt: *line_id_string* nt *network ID*

長構文: DIAL.037 Line ID sent: *line_id_string*, net *network ID*

説明: 指定のライン ID メッセージをあて先に送信しました。

DIAL.038

レベル: C-INFO

短構文: DIAL.038 Too many circuits nt *base network ID*

長構文: DIAL.038 Too many circuits on net *base network ID*

説明: アクティブのバーチャル・サーキット数が、そのインターフェース・タイプがサポートする数を超えています。

DIAL.039

レベル: C-INFO

短構文: DIAL.039 Higher pri conn nt *preempted network ID* preempts nt *higher-priority network ID*

長構文: DIAL.039 Higher priority connection request for net *preempted network ID* preempts net *higher-priority network ID*

説明: 高優先順位のダイヤル回線の接続要求のために、指定の低優先順位の回線が打ち切られました。

DIAL.040

レベル: C-INFO

短構文: DIAL.040 Disc ind on pri conn nt *network ID*; retry

長構文: DIAL.040 Disconnect indication received for priority connection network *network ID*; retry

説明: ルーターは指定のネットワークの切断指示を受信しましたが、実際に基本ネットワークは接続を試みていませんでした。基本ネットワークの準備ができていなかったの、ルーターは接続を拒否しました。ルーターはしばらくして接続を再試行します。

DIAL.041

レベル: C-INFO

短構文: DIAL.041 outbound call denied, configed inbound nt *network ID*

長構文: DIAL.041 Outbound calls denied network *network ID*

説明: ルーターはアウトバウンド・コールを発信しようとしていますが、発信できないように構成されています。

DIAL.042

レベル: C-INFO

短構文: DIAL.042 idle exp nt *network ID*

長構文: DIAL.042 idle timer expired and call cleared, net *network ID*

説明: 要求時ベースのネットのアイドル・タイマーが満了し、コールが切断されました。

DIAL.043

レベル: C-TRACE

短構文: DIAL.043 Match dial addr [*dial_address*] to nt *switched network ID*

長構文: DIAL.043 Matched inbound destination dial address [*dial_address*] to network *switched network ID*

説明: インバウンド・コールが到着し、指定のネットワークはそれに一致するように構成されています。16 進数の *dial_address* アドレス・ストリングと一致しています。空ストリングはワイルドカードで、*any_inbound* に設定されたネットワークに一致します。

DIAL.044

レベル: C-TRACE

短構文: DIAL.044 No usbl match dial addr [*dial_address*]

長構文: DIAL.044 No useable match dial addr [*dial_address*]

説明: インバウンド・アドレスに一致するダイヤル回線は、それ以上ありません。

DIAL.045

レベル: C-TRACE

短構文: DIAL.045 Dialing dest < *dest_name*>, DTE number [*dte_addr*], nt *network ID*

長構文: DIAL.045 Dialing destination < *dest_name*>, DTE

number [*dte_addr*], net *network ID*

説明: 接続管理ライブラリー (CML) は、指定の DTE 番号を使用して、指定のあて先エンドポイントをダイヤル呼び出ししています。CML が実際にダイヤルする各 DTE 番号ごとに、このメッセージが出ます。

DIAL.046

レベル: C-TRACE

短構文: DIAL.046 CMLB net # *net_num*, dest < *dest*>, indest < *in_dest*>, net *network ID*

長構文: DIAL.046 CMLB dump: net # *net_num*, dest < *dest*>, indest < *in_dest*>, net *network ID*

説明: 接続管理ライブラリー制御ブロック (CMLB) チェーンの内容を、インバウンド接続ベクトルとして、正しい CMLB までトレースします。

DIAL.047

レベル: C-TRACE

短構文: DIAL.047 Source DTE addr # *index*: [*addr_str*]

長構文: DIAL.047 Source DTE address # *index*: [*addr_str*]

説明: ルーターは、CMLB の *src_addrs* で見付かった各 DTE アドレス・ストリングを 1 回ずつ呼び出しました。

DIAL.048

レベル: UI-ERROR

短構文: DIAL.048 Bad MP config nt *network ID*

長構文: DIAL.048 Bad MP config for net *network ID*

説明: 構成されている MP ネットは無効であるか、リンク上に BRS が存在します。

原因: 構成エラー

処置: 有効な MP ネットを構成するか、リンク上の BRS をオフにします。

DIAL.049

レベル: UI-ERROR

短構文: DIAL.049 Invalid destination addr on nt *network ID*

長構文: DIAL.049 Bad dialer destination name specified in config, net *network ID*

説明: "add address" コマンドを用いて指定のあて先名が追加されていませんでした。

原因: 構成エラー

処置: "add address" コマンドを使用して、あて先名を構成してください。

DIAL.050

レベル: UI-ERROR

短構文: DIAL.050 Swcthd net (*switched network ID*) rjctd rgstrtn for nt *network ID*

長構文: DIAL.050 The switched network (*network switched network ID*) rejected the registration request for this dial circuit: net *network ID*

説明: ダイヤル回線の構成の誤りです。

原因: 構成エラー

処置: このダイヤル回線の構成を再検討してください。

第23章 CPU 使用率モニター (PERF)

この章では、CPU 使用率モニター (PERF) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

PERF.001

レベル: ALWAYS

短構文: PERF.001 CPU Loading *iob= packet load factor*
Max CPU Loading %%= %3u

長構文: PERF.001 CPU Loading *iob= packet load factor*
Max CPU Loading %%= %3u

説明: CPU ロード中 (CPU パケット処理能力の %)

PERF.002

レベル: ALWAYS

短構文: PERF.002 CPU Util *iob= utilization* Max CPU Util
%%= %3u

長構文: PERF.002 Processor *iob* Utilization= *utilization* Max
Processor %% Utilization= %3u

説明: CPU 使用率 (パケット・ロードに対して非線形)

PERF.003

レベル: ALWAYS

短構文: PERF.003 RX Packets Dropped= *iob* TX Packets
Dropped= *Inboud packets dropped by router*

長構文: PERF.003 Inbound Packets Dropped= *iob* Outbound
Packets Dropped= *Inboud packets dropped by router*

説明: パケット統計モニターの出力

第24章 データ圧縮エンジン (COMP)

この章では、データ圧縮エンジン (COMP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

COMP.005

レベル: UE-ERROR

短構文: COMP.005 *algo*, bad FCS nt *network ID*

長構文: COMP.005 *algo*, bad FCS, net *network ID*.

説明: 圧縮解除で、パケットが入力時に壊れているか、CRC が正しくないか、または同種の検査値が無効であることが検出されました。

COMP.008

レベル: UE-ERROR

短構文: COMP.008 LZS-Decomp returned *got*.

長構文: COMP.008 LZS-Decomp returned *got*.

説明: スタッカー圧縮解除によって、何かエラーが返されました。

COMP.009

レベル: UE-ERROR

短構文: COMP.009 *alg*,/compress err *rc*, doing *doing*., nt *network ID*

長構文: COMP.009 *alg*,/compress error *rc*, doing *doing*, on *network network ID*

説明: 圧縮によって、エラー・コードが返されました。
"doing" パラメーターは、圧縮が作用していた対象を示しています。

COMP.010

レベル: UE-ERROR

短構文: COMP.010 *alg*,/decompress err *rc*, doing *doing*., nt *network ID*

長構文: COMP.010 *alg*,/decompress error *rc*, doing *doing*, on *network network ID*

説明: 圧縮解除によって、エラー・コードが返されました。
"doing" パラメーターは、圧縮解除が作用していた対象を示しています。

COMP.011

レベル: UE-ERROR

短構文: COMP.011 *alg*, err nobuf net *network ID*

長構文: COMP.011 *alg*, error, can't get buffer on *network network ID*

説明: 圧縮ルーチンが、作業バッファを獲得できませんでした。

COMP.012

レベル: P-TRACE

短構文: COMP.012 *alg*, nocomp cc *cc*, pktlen *pktlen*, cmplen *cmplen*, net *network ID*

長構文: COMP.012 *alg*, nocompress cond code *cc*., pkt-len *pktlen*, -> cmp-len *cmplen*., on *network network ID*

説明: パケットが圧縮できませんでした。

COMP.013

レベル: P-TRACE

短構文: COMP.013 *alg*, cmp: pkt len *pktlen*, -> send len *cmplen*., net *network ID*

長構文: COMP.013 *alg alg*, compress: original pkt len *pktlen*., compressed pkt len *cmplen*., on *network network ID*

説明: パケット別のトレース圧縮結果

COMP.014

レベル: P-TRACE

短構文: COMP.014 *alg*, exp: pkt.len *pktlen*, <- rcv len *cmplen*., net *network ID*

長構文: COMP.014 *alg alg*, expand: result pkt len *pktlen*., received pkt len *cmplen*., on *network network ID*

説明: パケット別のトレース展開結果

COMP.019

レベル: UI-ERROR

レベル: OOM

短構文: COMP.019 Init fail: no mem for contexts; CMP disabled.

長構文: COMP.019 Unable to allocate memory for compression contexts.

説明: 圧縮システムは、構成された数の圧縮 "コンテキスト" に見合う記憶域を割り振ることができませんでした。圧縮サブシステムは操作不能です。

原因: システムに十分な RAM がないか、または構成されたコンテキストの数が多過ぎます。

処置: 割り振りに備えて構成されるコンテキストの数を減らすか、またはシステムの他の部分が使用する記憶域の所要量を減らしてください。そうしない場合は、ルーター内の RAM の量をアップグレードする必要があります。

COMP.020

レベル: C-INFO

短構文: COMP.020 CMP Init: max contexts = 0, CMP disabled.

長構文: COMP.020 No compression contexts were configured. Compression is disabled.

説明: 圧縮がまったく構成されていないか、または割り振りの対象となるコンテキストの数がゼロに設定されています。割り振られたコンテキストはなく、圧縮は使用不可です。

COMP.021

レベル: C_INFO

短構文: COMP.021 CMP Init: allocated *num_ctx* contexts.

長構文: COMP.021 Compression subsystem allocated *num_ctx* contexts.

説明: 示されている数のコンテキストに見合うスペースが割り振られました。

COMP.022

レベル: CI_ERROR

短構文: COMP.022 No ctx available for net *network ID* channel *channel*

長構文: COMP.022 No context available for network *network ID* channel *channel*.

説明: ネットが圧縮コンテキストの割り振りを試行したが、使用可能なものがありませんでした。これは通常、構成されたコンテキストが最大数に達していることを意味します。

COMP.023

レベル: C-TRACE

短構文: COMP.023 Autofreeing context # *context* owned by nt *network ID*.

長構文: COMP.023 Autofreeing context # *context* owned by network *network ID*.

説明: ネットが圧縮コンテキストを割り振ったものの、後でネットがダウンした時点で、そのコンテキストを解放しませんでした。圧縮ユーティリティー・ライブラリーがこれを検出し、自らそのコンテキストを解放しました。

COMP.024

レベル: C-TRACE

短構文: COMP.024 Allocated context # *context_id* nt *network ID* channel *channel*.

長構文: COMP.024 Allocated context # *context_id* for network *network ID* channel *channel*.

説明: インターフェースが圧縮コンテキストを割り振りました。

COMP.025

レベル: C-TRACE

短構文: COMP.025 Freed context # *context_id* nt *network ID* channel *channel*.

長構文: COMP.025 Freed context # *context_id* for network *network ID* channel *channel*.

説明: インターフェースが圧縮コンテキストを解放しました。

COMP.026

レベル: C-TRACE

短構文: COMP.026 Cmp net dn nt *network ID*.

長構文: COMP.026 Compression observed netdown on monitored network *network ID*.

説明: 圧縮システムは、自らが積極的に監視しているネットに関して、ネットのダウンを検出しました。圧縮システムでは、そのネットが未解放コンテキストを保持していないかどうか検査し、保持していればそれをすべて解放します。

Panic CMP_NO_MEMORY

短構文: Compression subsystem couldn't allocate required memory.

説明: 圧縮サブシステムは、その正常な動作に必要な記憶域を割り振ることができませんでした。これは、メッセージ COMP_19 で示される場合よりも重大な問題です。サイズが構成可能パラメーターで変更できない上、非常に小さいので割り振り障害など起こりようがないような、内部テーブルの割り振りにかかわるものだからです。

Panic CMP_INVALID_NET

短構文: An invalid NET identifier was detected in an internal call.

説明: 機能に渡された NET パラメーターが無効でした (NULL と考えられます)。

Panic CMP_INVALID_CTX

短構文: An invalid CmpContext identifier was detected in an internal call.

説明: 機能に渡された CmpContext パラメーターが無効でした。

第25章 データ暗号化 (ENCR)

この章では、データ暗号化 (ENCR) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

ENCR.001

レベル: P-TRACE

短構文: ENCR.001 ENCR *alg*, , pkt len *pktlen*, -> send len *cmplen*,, net *network ID*

長構文: ENCR.001 ENCR *alg*, encrypt: original pkt len *pktlen*,, encrypt pkt len *cmplen*,, on network *network ID*

説明: パケット別トレース暗号化の結果

ENCR.002

レベル: UE-ERROR

短構文: ENCR.002 ENCR *alg*,/encryption err *rc*, doing *doing*,, nt *network ID*

長構文: ENCR.002 ENCR *alg*,/encryption error *rc*, doing *doing*, on network *network ID*

説明: 暗号化機能によってエラー・コードが返されました。"doing" パラメーターは、暗号化機能が作用していた対象を示しています。

ENCR.003

レベル: UE-ERROR

短構文: ENCR.003 ENCR *alg*,/decrypt err *rc*, doing *doing*,, nt *network ID*

長構文: ENCR.003 ENCR *alg*,/decrypt error *rc*, doing *doing*, on network *network ID*

説明: 復号機能によってエラー・コードが返されました。"doing" パラメーターは、復号機能が作用していた対象を示しています。

ENCR.004

レベル: UE-ERROR

短構文: ENCR.004 ENCR *alg*, err nobuf net *network ID*

長構文: ENCR.004 ENCR *alg*, error, can't get buffer on network *network ID*

説明: 暗号化ルーチンが作業バッファを獲得できませんでした。

第26章 データ・リンク・スイッチ (DLSw)

この章では、データ・リンク・スイッチ (DLSw) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

DLS.003

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.003 DLSw, Dynamic Neighbors DISABLED, *ip_address* connection rejected

長構文: DLS.003 DLSw, Dynamic Neighbors DISABLED, entry through read port from IP address *ip_address* has been rejected

説明: 読み取り TCP 接続が、未知の近隣を介してオープンされたため、動的近隣が DISABLED になりました。その結果、接続は拒否され、クローズされます。

DLS.005

レベル: C-INFO

短構文: DLS.005 Opening TCP connection to Neighbor *ip_address* (ports *tcb_spirt* -> *tcb_dpirt*)

長構文: DLS.005 Opening a new TCP connection to the Neighbor at IP address *ip_address* (Local Port *tcb_spirt* to Remote Port *tcb_dpirt*)

説明: DLS が、IP アドレスによって指定されている特定のあて先への OPEN を要求した結果として、TCPIM が指定されたポートを使用して、そのあて先への接続をオープンします。

DLS.008

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.008 DLSw disabled no SRB seg defined config

長構文: DLS.008 DLSw forwarder disabled no SRB segment defined

説明: 構成が不適切なために、データ・リンク・スイッチの転送機能が使用不可にされています。LLC-2 SAP が定義されているのに、SRB セグメント番号が定義されていません。

DLS.014

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.014 no mem to join group

長構文: DLS.014 no memory to join group

説明: グループを結合するために必要なデータ構造に割り振る空き記憶域が十分にありません。

DLS.015

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.015 no iorb to send group packet

長構文: DLS.015 no iorb to send group packet

説明: グループ結合または結合応答を送信するために利用可能な IORB バッファがありません。

DLS.016

レベル: P-TRACE

短構文: DLS.016 Sent group pkt type *type* group *group* role *role* dest *destination*

長構文: DLS.016 Sent group packet type *type* group *group* role *role* dest *destination*

説明: DLSw グループ・パケットを送信しました。

DLS.018

レベル: P-TRACE

短構文: DLS.018 Rcvd group pkt type *type* group *group* role *role* src *source*

長構文: DLS.018 Received group packet type *type* group *group* role *role* source *source*

説明: DLSw グループ・パケットを受信しました。

DLS.019

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.019 Rcvd bad group pkt vers *version* type *type* priority *priority* domain *domain*

長構文: DLS.019 Received bad group packet version *version* type *type* priority *priority* domain *domain*

説明: DLSw グループ・パケットを受信しましたが、バージョン番号、タイプ、優先順位、またはドメイン ID のいずれかが無効です。

DLS.021

レベル: C-INFO

短構文: DLS.021 Rcvd group pkt mismatched roles group
group role role

長構文: DLS.021 Received group packet but mismatched
roles group group role role

説明: グループ・パケットを受信しましたが、役割が一致していません。有効な役割の一致は、クライアント／サーバーおよびピア／ピアだけです。

DLS.022

レベル: C-INFO

短構文: DLS.022 Contacted by Neighbor address from
group group

長構文: DLS.022 Contacted by a Neighbor at IP Address
address from Multicast group group

説明: グループ一致が見つかり、接続をオープンしています。

DLS.025

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.025 No mem to queue group packet to tasker

長構文: DLS.025 No memory to queue group packet to
tasker

説明: グループ・パケットを送信するタスクを追加するために、待ち行列ヘッダーを入手するための十分な記憶域がありませんでした。

DLS.026

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.026 group packet not sent, tasker queue full

長構文: DLS.026 group packet not sent, tasker queue full

説明: タスク管理プログラムの待ち行列が満杯だったので、グループ・パケットを送信できませんでした。

DLS.028

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.028 no mem to init SDLC link nt network
ID

長構文: DLS.028 no memory to initialize SDLC link net
network ID

説明: SDLC リンクを初期化するために十分な利用可能

記憶域がありませんでした。

DLS.029

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.029 unexp rtn code from sdhc open station
= rtn_code nt network ID

長構文: DLS.029 unexpected return code from sdhc open
station = rtn_code net network ID

説明: SDLC ステーション・オープン機能が、予期しない戻りコードを返しました。

DLS.030

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.030 sdhc lnk ctl blk not fnd during del lnk
nt network ID

長構文: DLS.030 sdhc link control block not found during
delete link net network ID

説明: 削除される SDLC リンクの、SDLC リンク制御ブロックが見付かりませんでした。

DLS.031

レベル: C-INFO

短構文: DLS.031 sdhc station closed nt network ID

長構文: DLS.031 sdhc station closed net network ID

説明: ネットワーク・インターフェースの SDLC ステーションが、正常にクローズされました。

DLS.032

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.032 unexp rtn code from sdhc cls station =
rtn_code nt network ID

長構文: DLS.032 unexpected return code from sdhc close
station = rtn_code net network ID

説明: SDLC ステーション・クローズ機能が、予期しない戻りコードを返しました。

DLS.033

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.033 sdhc lnk ctl blk not fnd during init lnk
sta nt network ID

長構文: DLS.033 sdhc link control block not found during
init link station net network ID

説明: 初期化される SDLC ステーションの、SDLC リン

ク制御ブロックが見付かりませんでした。

DLS.034

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.034 no mem to init SDLC link station *network ID*

長構文: DLS.034 no memory to initialize SDLC link station *net network ID*

説明: SDLC リンク・ステーションを初期化するために十分な利用可能記憶域がありませんでした。

DLS.035

レベル: C-INFO

短構文: DLS.035 sdcl link station open address *link_address network ID*

長構文: DLS.035 sdcl link station opened address *link_address net network ID*

説明: ネットワーク・インターフェースで、このリンク・アドレスの SDLC リンク・ステーションが正常にオープンされました。

DLS.036

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.036 dupl sdcl link station address *link_address network ID*

長構文: DLS.036 duplicate sdcl link station address *link_address net network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションは、すでにオープンされているリンク・ステーションと重複しているので、オープンできませんでした。

DLS.037

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.037 unexp rtn code from sdcl open link station = *rtn_code network ID*

長構文: DLS.037 unexpected return code from sdcl open link station = *rtn_code net network ID*

説明: SDLC リンク・ステーション・オープン機能が、予期しない戻りコードを返しました。

DLS.038

レベル: C-INFO

短構文: DLS.038 sdcl link station closed address *link_address network ID*

長構文: DLS.038 sdcl station closed address *link_address net network ID*

説明: 指定されたアドレスとネットワーク・インターフェースの SDLC リンク・ステーションが、正常にクローズされました。

DLS.039

レベル: C-INFO

短構文: DLS.039 processing sdcl net up for address *link_address network ID*

長構文: DLS.039 processing sdcl net up for address *link_address net network ID*

説明: SDLC リンク・ステーションについて、ネットワークがアップ状態にあるという通知を受信しました。

DLS.040

レベル: C-INFO

短構文: DLS.040 processing sdcl net down for address *link_address network ID*

長構文: DLS.040 processing sdcl net down for address *link_address net network ID*

説明: SDLC リンク・ステーションについて、ネットワークがダウンしているという通知を受信しました。

DLS.041

レベル: C-INFO

短構文: DLS.041 rcvd sdcl net up while not in down state for address *link_address network ID*

長構文: DLS.041 received sdcl net up while not in down state for address *link_address net network ID*

説明: ダウンしていないインターフェース上の SDLC リンク・ステーションについて、ネットワークがアップ状態にあるという通知を受信しました。

DLS.042

レベル: C-INFO

短構文: DLS.042 sdcl trans to resolve pending state for address *link_address network ID*

長構文: DLS.042 sdcl transition to resolve pending state

for address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションは、解決保留状態に変換中です。

DLS.043

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.043 unexp sdlc test rsp for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.043 unexpected sdlc test response for address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションから、予期しないテスト応答を受信しました。

DLS.044

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.044 unexp sdlc non xid0 from pu 2 dev for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.044 unexpected sdlc non xid0 from pu 2 device for address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションから、PU タイプ 2 装置について予期しない XID タイプを受信しました。

DLS.045

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.045 invalid sdlc xid0 len from addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.045 invalid sdlc xid0 length from address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションから、無効な長さ XID-0 を受信しました。

DLS.046

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.046 conn ind rcvd from sec sdlc station from addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.046 connection indication received from secondary sdlc station from address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションから、2 次 SDLC リンク・ステーションが SNRM を送信したという通知を受信しました。

DLS.047

レベル: C-INFO

短構文: DLS.047 sdlc trans to contacted st for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.047 sdlc transition to contacted state for address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションは、接続状態に変換中です。

DLS.048

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.048 unexp sdlc conn cfm for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.048 unexpected sdlc connect confirm for address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションから、予期しない接続確認を受信しました。

DLS.049

レベル: C-INFO

短構文: DLS.049 sdlc disc ind rcvd addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.049 sdlc disconnect indication received address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションから、切断の通知を受信しました。

DLS.050

レベル: C-INFO

短構文: DLS.050 sdlc disc compl addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.050 sdlc disconnect complete address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションの切断手順が完了しました。

DLS.051

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.051 unexp sdlc disc ind in st *state* for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.051 unexpected sdlc disconnect indication in state *state* for address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションから、予期しない切断の通知を受信しました。

DLS.052

レベル: C-INFO

短構文: DLS.052 sdhc disc conf addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.052 sdhc disconnect confirm address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションから、切断確認を受信しました。

DLS.053

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.053 unexp sdhc disc cfm in state *state* for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.053 unexpected sdhc disconnect confirm in state *state* for address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションから、予期しない切断確認を受信しました。

DLS.054

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.054 unexp sdhc resolve_r in state *state* for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.054 unexpected sdhc resolve_r in state *state* for address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションについて、予期しない resolve_r 事象を受信しました。

DLS.055

レベル: C-INFO

短構文: DLS.055 sdhc trans to connected st for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.055 sdhc transition to connected state for address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションは、接続状態に変換中です。

DLS.056

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.056 unexp rtn code from sdhc conn req = *rtn_code* for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.056 unexpected return code from sdhc connect request = *rtn_code* for address *link_address* net *network ID*

説明: SDLC 接続要求機能が、予期しない戻りコードを返しました。

DLS.057

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.057 unexp sdhc xid from dls in state *state* for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.057 unexpected sdhc xid from dls in state *state* for address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションについて、予期しない XID 事象を受信しました。

DLS.058

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.058 unexp sdhc xid3 from dls for pu 2 dev for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.058 unexpected sdhc xid3 from dls for pu 2 device for address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションの PU タイプ 2 装置について、DLS から予期しない XID-3 を受信しました。

DLS.059

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.059 unexp sdhc dlc_contact from dls in state *state* for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.059 unexpected sdhc dlc_contact from dls in state *state* for address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションについて、DLS から予期しない DLC_CONTACT 事象を受信しました。

DLS.060

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.060 unexp sdhc dlc_info from dls in state *state* for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.060 unexpected sdhc dlc_info from dls in state *state* for address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションについて、DLS から予期しない DLC_INFO 事象を受信しました。

DLS.061

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.061 unexp sdhc dlc_dgrm from dls in state *state* for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.061 unexpected sdhc dlc_dgrm from dls in state *state* for address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションについて、DLS から予期しない DLC_DGRM 事象を受信しました。

DLS.062

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.062 unexp I-frame from sdhc in state *state* for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.062 unexpected I-frame from sdhc in state *state* for address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションについて、SDLC から予期しない I フレームを受信しました。

DLS.063

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.063 unexp UI-frame from sdhc in state *state* for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.063 unexpected UI-frame from sdhc in state *state* for address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションについて、SDLC から予期しない UI フレームを受信しました。

DLS.064

レベル: C-INFO

短構文: DLS.064 rcvd halt_dl from dls for sdhc addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.064 received halt_dl for sdhc address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションについて、DLS から HALT_DL 事象が送信されました。

DLS.065

レベル: C-INFO

短構文: DLS.065 sdhc trans to disc pend st for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.065 sdhc transition to disconnect pending state for address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションは、切断保留状態に変換中です。

DLS.066

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.066 unexp rtn code from sdhc disc req = *rtn_code* addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.066 unexpected return code from sdhc disconnect request = *rtn_code* addr *link_address* net *network ID*

説明: SDLC 切断要求機能が、予期しない戻りコードを返しました。

DLS.067

レベル: C-INFO

短構文: DLS.067 sdhc trans to disc st for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.067 sdhc transition to disconnect state for address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションは、切断保留状態に変換中です。

DLS.068

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.068 unexp sdhc dlc_halt_dl from dls in state *state* for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.068 unexpected sdhc dlc_halt_dl from dls in state *state* for address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションについて、DLS から予期しない DLC_HALT_DL 事象を受信しました。

DLS.069

レベル: C-INFO

短構文: DLS.069 cleanup timer expired for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.069 cleanup timer expired for address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションの終結処置タイマーが満了しました。

DLS.070

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.070 unexp sdhc cleanup timer exp in state state for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.070 unexpected sdhc cleanup timer expiration in state *state* for address *link_address* net *network ID*

説明: SDLC 終結処置タイマーが満了しましたが、SDLC リンク・ステーションは予期しない状態になっています。

DLS.071

レベル: C-INFO

短構文: DLS.071 sdhc buf retry timer expired for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.071 sdhc buffer retry timer expired for address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションのバッファ再試行タイマーが満了しました。

DLS.072

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.072 unexp sdhc buf retry timer exp in state state for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.072 unexpected sdhc buffer retry timer expiration in state *state* for address *link_address* net *network ID*

説明: SDLC バッファ再試行タイマーが満了しましたが、SDLC リンク・ステーションは予期しない状態になっています。

DLS.073

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.073 unknown sdhc fsm input = *event* for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.073 unknown sdhc fsm input = *event* for address *link_address* net *network ID*

説明: SDLC インターフェース有限状態管理機構が、未知の事象を渡されました。

DLS.077

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.077 no buf for sdhc test for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.077 no buffer for sdhc test for address *link_address* net *network ID*

説明: SDLC リンク・ステーションにテスト・フレームを送信するためのバッファを入手できませんでした。後で、操作が再試行されます。

DLS.078

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.078 unexp rtn code from sdhc test req = *rtn_code* addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.078 unexpected return code from sdhc test request = *rtn_code* addr *link_address* net *network ID*

説明: SDLC テスト要求機能が、予期しない戻りコードを返しました。

DLS.079

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.079 no buf for sdhc xid0 for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.079 no buffer for sdhc xid0 for address *link_address* net *network ID*

説明: SDLC リンク・ステーションに XID0 フレームを送信するためのバッファを入手できませんでした。後で、操作が再試行されます。

DLS.080

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.080 no buf for sdhc null xid for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.080 no buffer for sdhc null xid for address *link_address* net *network ID*

説明: SDLC リンク・ステーションに空の XID フレームを送信するためのバッファを入手できませんでした。後で、操作が再試行されます。

DLS.081

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.081 unexp rtn code from sdhc I frm req = *rtn_code* addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.081 unexpected return code from sdhc I frame request = *rtn_code* address *link_address* net *network ID*

説明: SDLC I フレーム要求機能が、予期しない戻りコードを返しました。

DLS.082

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.082 unexp rtn code from sdlc UI frm req = *rtn_code addr link_address nt network ID*

長構文: DLS.082 unexpected return code from sdlc UI frame request = *rtn_code addr link_address net network ID*

説明: SDLC UI フレーム要求機能が、予期しない戻りコードを返しました。

DLS.083

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.083 unexp rtn code from sdlc force rnr req = *rtn_code addr link_address nt network ID*

長構文: DLS.083 unexpected return code from sdlc force rnr request = *rtn_code addr link_address net network ID*

説明: SDLC 強制 RNR 要求機能が、予期しない戻りコードを返しました。

DLS.086

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.086 sdlc disc rcvd rsn *reason* for addr *link_address nt network ID*

長構文: DLS.086 sdlc disconnect received reason *reason* for address *link_address net network ID*

説明: SDLC プロトコルによってエラーが検出されたために、指定の SDLC 接続が切断されました。

DLS.087

レベル: C-INFO

短構文: DLS.087 sdlc trans to null_xid_pend st for addr *link_address nt network ID*

長構文: DLS.087 sdlc transition to null_xid_pend state for address *link_address net network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションは、NULL_XID_PENDING 状態に変換中です。これは、送信された NULL_XID への応答を待っていることを意味します。

DLS.088

レベル: C-INFO

短構文: DLS.088 sdlc trans to xid_0_pend st for addr *link_address nt network ID*

長構文: DLS.088 sdlc transition to xid_0_pend state for

address *link_address net network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションは、XID_0_PENDING 状態に変換中です。これは、送信された XID-0 への応答を待っていることを意味します。

DLS.089

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.089 DLS, TCP conn brk to *address*, DLS sess closed *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.089 DLS forwarder experience a session loss due to TCP connection to *address* break, origin MAC *source_mac_address->Target MAC dest_mac_address*, origin SAP *source_sap->Target SAP dest_sap*

説明: DLS 近隣への TCP 接続がダウンしました。TCP 接続上の活動状態のすべての DLS セッションが、個別に停止にされます。

DLS.096

レベル: U-INFO

短構文: DLS.096 DLS, DL_STARTED event in cir-est or cir-restart state, ignore

長構文: DLS.096 DLS DLC_DL_STARTED event from underlying DLCST in circuit established or circuit restart state

説明: 回線がすでに確立されているときに、DLS 状態管理機構が、下位リンク (LLC または SDLC) から DLC_DL_STARTED 事象の通知を受信しました。これは、ブリッジの複数のパスから間欠的に TEST 応答が入ってきたものと考えられます。無視してください。

DLS.097

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.097 DLS, No memory available to create DLS session.

長構文: DLS.097 DLS, No memory available to create DLS session.

説明: DLS セッションの作成に必要な資源を割り振るために使用できる記憶域がありません。

DLS.102

レベル: C-INFO

短構文: DLS.102 DLS, Broadcast CANUREACH_ex sent for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap* lfsiz largest_frame_size

長構文: DLS.102 DLS, Broadcast CANUREACH_ex sent for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap* lfsiz largest_frame_size

説明: 特定のあて先に関する TEST(c) の処理中に、DLS がマルチキャスト UDP を介して同報通信 CANUREACH_ex を送り出しました。

DLS.104

レベル: C-INFO

短構文: DLS.104 DLS, SAPs resolved for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.104 DLS, SAPs resolved for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 接続は、たとえば SAP 0 を DSAP または SSAP として使用するなど、特定の SAP を使用しなくても確立することができますが、特定の SAP を使用すると、同じ接続の SAP が更新されます。

DLS.106

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.106 DLS, rcvd CANUREACH not proc by any DLCs for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.106 DLS, received CANUREACH could not be processed by any DLC for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS ピアから、TCP を介して CANUREACH SSP メッセージを受信しましたが、下位のデータ・リンク・レイヤー (SDLC または LLC) が、これを TEST(c) フレームに変換することができませんでした。

DLS.107

レベル: C-INFO

短構文: DLS.107 CANUREACH-ex rcvd *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap* lfsiz largest_frame_size

長構文: DLS.107 CANUREACH-ex received for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap* lfsiz largest_frame_size

説明: DLS が指定の回線について CANUREACH-ex を受信しました。

DLS.113

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.113 LLC, Initialization FAILED for SAP *Sap*

長構文: DLS.113 LLC, Initialization FAILED for SAP *Sap*

説明: 何らかの問題で、LLC による SAP 初期化が失敗しました。

DLS.114

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.114 LLC, parameter validation FAILED for SAP *Sap*, rsn = *reason*

長構文: DLS.114 LLC, parameter validation FAILED for SAP *Sap*, rsn = *reason*

説明: LLC の調整可能パラメーターが範囲外です。

DLS.115

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.115 *intfmod*, No Memory for SAP control block for SAP *Sap*

長構文: DLS.115 *intfmod*, No Memory for SAP control block for SAP *Sap*

説明: SAP 制御ブロックに利用可能な記憶域がありません。

DLS.116

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.116 *intfmod*, Opening of SAP *Sap* FAILED, rsn = *reason*

長構文: DLS.116 *intfmod*, Opening of SAP *Sap* FAILED, rsn = *reason*

説明: LLC またはローカル APPN の問題で、SAP のオープンが失敗しました。理由コードに、具体的な問題が示されています。

DLS.117

レベル: C-INFO

短構文: DLS.117 LLC, Closing SAP *Sap*

長構文: DLS.117 LLC, Closing SAP *Sap*

説明: LLC による SAP のクローズ

DLS.118

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.118 *intfmod*, FAILED open stn, invalid sapcb,
dst= Destination,src= Source,dsap= Dsap,ssap= Ssap

長構文: DLS.118 *intfmod*, FAILED open stn, invalid sapcb,
dst= Destination,src= Source,dsap= Dsap,ssap= Ssap

説明: オープンすべきステーションが所属する SAP が無効であるために、LLC データ・リンク・サービスまたは APPN データ・リンク・サービス用のステーションのオープンが失敗しました。

DLS.119

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.119 *intfmod*, FAILED open stn, No memory,
dst= Destination,src= Source,dsap= Dsap,ssap= Ssap

長構文: DLS.119 *intfmod*, FAILED open stn, No memory,
dst= Destination,src= Source,dsap= Dsap,ssap= Ssap

説明: 接続を管理する制御ブロックを作成するために利用可能な記憶域がないために、LLC データ・リンク・サービスまたは APPN データ・リンク・サービス用のステーションのオープンに失敗しました。

DLS.120

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.120 LLC, FAILED open stn, rs= Reason,
dst= Destination,src= Source,dsap= Dsap,ssap= Ssap

長構文: DLS.120 LLC, FAILED open stn, rs= Reason,
dst= Destination,src= Source,dsap= Dsap,ssap= Ssap

説明: LLC 内部の何らかの問題のために、LLC データ・リンク・サービス用のステーションのオープンに失敗しました。理由コードに、具体的な問題が示されています。

DLS.121

レベル: C-INFO

短構文: DLS.121 *intfmod*, opened stn, dst= Destination,src= Source,dsap= Dsap,ssap= Ssap

長構文: DLS.121 *intfmod*, opened stn, dst= Destination,src= Source,dsap= Dsap,ssap= Ssap

説明: LLC データ・リンク・サービス用のステーションのオープンに成功しました。

DLS.124

レベル: C-INFO

短構文: DLS.124 LLC, closed stn by force
source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap

長構文: DLS.124 LLC, closed stn by force
source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap

説明: LLC データ・リンク・サービス用のステーションが強制的にクローズされました。

DLS.125

レベル: C-INFO

短構文: DLS.125 *intfmod*, closed stn quietly
source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap

長構文: DLS.125 *intfmod*, closed stn quietly
source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap

説明: LLC データ・リンク・サービス、またはローカル APPN データ・リンク・サービス用のステーションが、正常にクローズされました。

DLS.126

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.126 LLC, action Send failed, rs= reason,
source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap

長構文: DLS.126 LLC, action Send failed rs= reason,
source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap

説明: LLC が、フレームの送信に失敗しました。理由コードに、具体的な問題が示されています。

DLS.127

レベル: U-INFO

短構文: DLS.127 *intfmod*, action became busy after sending,
source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap

長構文: DLS.127 *intfmod*, action became busy after sending,
source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap

説明: LLC または APPN は、フレームを送信した後、使用中になりました。この使用中状態は一種の受諾表示

で、LLC に発信されたフレームは送信のために受け入れられます。ただし、DLS はこの状態を記録し、それ以上のフレームの送信を抑制します。

DLS.128

レベル: U-INFO

短構文: DLS.128 *intfmod* BUSY, enq frm to tx pendQ, *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.128 *intfmod* BUSY, enqueue frame to pend queue, *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: LLC または APPN は使用中なので、TCP から受信したフレームは、その LLC セッションまたは APPN セッション用の保留待ち行列に入れられています。LLC または APPN が使用中状態を出ると、保留待ち行列からすべてのフレームがフラッシュされます。

DLS.130

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.130 *intfmod*, frame refused, *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.130 *intfmod*, frame not proc, *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: SAP およびステーションが、LLC データ・リンク・サービスまたはローカル APPN データ・リンク・サービス用にオープンされていなかったため、フレームは DLS によって処理されませんでした。

DLS.131

レベル: C-INFO

短構文: DLS.131 LLC, frame refused, NOT switching for network *network*, *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.131 LLC, frame refused, NOT switching for network *network*, *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: フレームの DSAP が、そのフレームが受信されたインターフェースで交換されるように構成されていないため、フレームは DLS によって処理されませんでした。

DLS.134

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.134 LLC, *llcevent* event not proc, handle is bad

長構文: DLS.134 LLC, *llcevent* event not proc, handle is bad

説明: LLC から DLS への受け渡しが無効であったため、LLC 事象は DLS によって処理されませんでした。

DLS.135

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.135 LLC, *llcevent* unknown event, not proc for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.135 LLC, *llcevent* unknown event, not proc for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: 認識不能の LLC 事象が発生しました。この事象は処理されません。

DLS.136

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.136 *intfmod*, *llcevent* req not proc, inv handle, for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.136 *intfmod*, *llcevent* req not proc, inv handle, for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS から渡されたハンドルが無効であったため、DLS からの LLC 要求または APPN 要求が、LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールによって処理されませんでした。

DLS.137

レベル: U-INFO

短構文: DLS.137 LLC, not enabled, start_dl not honored, for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.137 LLC, not enabled, start_dl not honored, for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC 部分が使用可能にされていないため、DLS から LLC インターフェース・モジュールへの DL 開始要求が承諾されませんでした。これはエラーで

はありません。CANUREACHを受信すると、DLSはデータ・リンク・サービス・インターフェース・モジュールに対して、START_DL要求を出します。SAPへの切り替えが構成されていないか、構成がまったく行われていない場合、このような要求は破棄されるのが通常です。

DLS.138

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.138 *intfmod*, START_DL discard as err open stn, for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.138 *intfmod*, START_DL discard as error happened during open station operation, for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: LLC または APPN によってデータ・リンク・ステーションをオープンできなかったため、DLS から LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールへの DL 開始要求が受諾されませんでした。

DLS.142

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.142 *intfmod*, event *eventname* received in bad state *statename*, *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.142 *intfmod* event *eventname* received in bad state *statename*, *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: LLC または APPN への DLS インターフェースが、不正な状態の事象を受信しました。

DLS.144

レベル: C-INFO

短構文: DLS.144 LLC, Secondary TEST_R ign, for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.144 LLC Secondary TEST_R is ignored, for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: マルチパス・ブリッジ環境では、以前に送信した TEST コマンドに対して複数の応答を受信することがあります。LLC インターフェース・モジュールは、そのような TEST 応答を廃棄します。

DLS.154

レベル: C-INFO

短構文: DLS.154 *intfmod*, *frame_type* frame drpped, *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap* prt nt up

長構文: DLS.154 *intfmod*, *frame_type* frame drpped, *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap* prt nt up

説明: ブリッジ・ポートがアップ状態になっていないか、またはローカル APPN が利用不能であるため、DLS から受信したフレームを正常に送信できませんでした。

DLS.156

レベル: C-INFO

短構文: DLS.156 DLS session pool of *count* bytes created for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.156 DLS session pool of *count* bytes created for origin MAC *source_mac_address->Target MAC dest_mac_address*, origin SAP *source_sap->Target SAP dest_sap*

説明: 新しい DLS 接続のためにセッション・プールが作成されました。このプールは、データ転送用としてこのセッション専用に使われます。

DLS.157

レベル: C-INFO

短構文: DLS.157 Global DLS *type* pool of *count* bytes created

長構文: DLS.157 Global DLS *type* pool of *count* bytes created

説明: 大域 DLS 記憶域プールが作成されました。これは、SSP 制御メッセージおよび非データ転送関連項目のために使用されます。

DLS.158

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.158 Cannot create DLS session pool of *count* bytes for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.158 Cannot create DLS session pool of *count* bytes for origin MAC *source_mac_address->Target MAC dest_mac_address*, origin SAP *source_sap->Target SAP dest_sap*

説明: 現在、新しい DLS セッションをサポートするために十分な利用可能記憶域がありません。

DLS.159

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.159 Cannot alloc global DLS type pool of count bytes

長構文: DLS.159 Cannot alloc global DLS type pool of count bytes

説明: DLS をサポートするために十分な利用可能記憶域がありません。DLS は使用不能にされました。

DLS.160

レベル: C-INFO

短構文: DLS.160 Entering flow_ctrl_type congestion for source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap

長構文: DLS.160 Entering flow_ctrl_type congestion for origin MAC source_mac_address->Target MAC dest_mac_address, origin SAP source_sap->Target SAP dest_sap

説明: TCP バックアップのため、または DLS_ENTER_BUSY SSP メッセージを受信したために、DLS セッションが輻輳 (ふくそう) しています。この状態が頻繁に起こる場合は、各 DLS セッションに割り振られる記憶域の量を増やすことを考慮してください。

DLS.161

レベル: C-INFO

短構文: DLS.161 Entering GLOBAL congestion on global DLS pool_type pool state= pool_state mem= memavail

長構文: DLS.161 Entering GLOBAL congestion on global DLS pool_type pool state= pool_state mem= memavail

説明: 現在活動中のすべての DLS セッションによって割り振られた記憶域の合計容量が、ユーザーが DLS 用に事前割り振りした容量を超過しました。その結果、一部の記憶域が解放されるまで、データ・リンクが一時的に休止状態に置かれています。この状態が頻発する場合は、DLSw に割り振られている記憶域の容量を増やすことを考慮してください。

DLS.162

レベル: C-INFO

短構文: DLS.162 Exiting flow_ctrl_type congestion for

source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap

長構文: DLS.162 Exiting flow_ctrl_type congestion for origin MAC source_mac_address->Target MAC dest_mac_address, origin SAP source_sap->Target SAP dest_sap

説明: 前回に DLS が輻輳 (ふくそう) した時点以降に、十分な記憶域が解放されたので、データ・リンクは再びデータを受信できるようになりました。

DLS.163

レベル: C-INFO

短構文: DLS.163 Exiting GLOBAL congestion on global DLS pool_type pool state= pool_state mem= memavail

長構文: DLS.163 Exiting GLOBAL congestion on global DLS pool_type pool state= pool_state mem= memavail

説明: 前回に DLS が輻輳 (ふくそう) した時点以降に、十分な記憶域が解放されたので、データ・リンクは再びデータを受信できるようになりました。

DLS.164

レベル: U-INFO

短構文: DLS.164 no slow buf for copy while queueing data to ip_address mode mode

長構文: DLS.164 no slow buffer for copy while queueing data to neighbor ip_address mode mode

説明: トランスポート/回線が輻輳 (ふくそう) している間待ち行列に入れておくためのデータ・バッファをコピーするためのバッファが入手できませんでした。既存の装置バッファは、待ち行列に入っています。モード: "0" は通常、"1" は使用中、"2" は緊急、"3" は歩調合せです。

DLS.165

レベル: C-INFO

短構文: DLS.165 DLS session pool deleted for source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap

長構文: DLS.165 DLS session pool deleted for origin MAC source_mac_address->Target MAC dest_mac_address, origin SAP source_sap->Target SAP dest_sap

説明: DLSw セッションがクローズされた後、すべてのバッファが DLSw セッション・プールに戻されました。プールはこれで現在取り外しできます。

DLS.166

レベル: C-INFO

短構文: DLS.166 DLS, SSP msg CANUREACH received from *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.166 DLS forwarder received a SSP CANUREACH message over TCP connection to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの CANUREACH メッセージを受信しました。

DLS.167

レベル: C-INFO

短構文: DLS.167 DLS, SSP msg ICANREACH received from *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.167 DLS forwarder received a SSP ICANREACH message over TCP connection to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの ICANREACH メッセージを受信しました。

DLS.168

レベル: C-INFO

短構文: DLS.168 DLS, SSP msg REACHACK received from *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.168 DLS forwarder received a SSP REACHACK message over TCP connection to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの REACHACK メッセージを受信しました。

DLS.169

レベル: C-INFO

短構文: DLS.169 DLS, SSP msg XIDFRAME received from *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.169 DLS forwarder received a SSP XIDFRAME message over TCP connection to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの XIDFRAME メッセージを受信しました。

DLS.170

レベル: C-INFO

短構文: DLS.170 DLS, SSP msg DGRMFRAME received from *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.170 DLS forwarder received a SSP DGRMFRAME message over TCP connection to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの DGRMFRAME メッセージを受信しました。

DLS.171

レベル: C-INFO

短構文: DLS.171 DLS, SSP msg CONTACT received from *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.171 DLS forwarder received a SSP CONTACT message over TCP connection to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの CONTACT メッセージを受信しました。

DLS.172

レベル: C-INFO

短構文: DLS.172 DLS, SSP msg CONTACTED received from *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.172 DLS forwarder received a SSP CONTACTED message over TCP connection to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの CONTACTED メッセージを受信しました。

DLS.173

レベル: C-INFO

短構文: DLS.173 DLS, SSP msg DATAFRAME received from *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.173 DLS forwarder received a SSP DATAFRAME message over TCP connection to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの DATAFRAME メッセージを受信しました。

DLS.174

レベル: C-INFO

短構文: DLS.174 DLS, SSP msg RESTART_DL received from *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.174 DLS forwarder received a SSP RESTART_DL message over TCP connection to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの RESTART_DL メッセージを受信しました。

DLS.175

レベル: C-INFO

短構文: DLS.175 DLS, SSP msg RESTARTED received from *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.175 DLS forwarder received a SSP RESTARTED message over TCP connection to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの RESTARTED メッセージを受信しました。

DLS.176

レベル: C-INFO

短構文: DLS.176 DLS, SSP msg HALT_DL received from *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.176 DLS forwarder received a SSP HALT_DL message over TCP connection to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの HALT_DL メッセージを受信しました。

DLS.177

レベル: C-INFO

短構文: DLS.177 DLS, SSP msg DL_HALTED received from *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.177 DLS forwarder received a SSP DL_HALTED message over TCP connection to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの DL_HALTED メッセージを受信しました。

DLS.178

レベル: C-INFO

短構文: DLS.178 DLS, SSP msg INFOFRAME received from *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.178 DLS forwarder received a SSP INFOFRAME message over TCP connection to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの INFOFRAME メッセージを受信しました。

DLS.179

レベル: C-INFO

短構文: DLS.179 DLS, SSP msg ENTER_BUSY received from *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.179 DLS forwarder received a SSP ENTER_BUSY message over TCP connection to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの ENTER_BUSY メッセージを受信しました。

DLS.180

レベル: C-INFO

短構文: DLS.180 DLS, SSP msg EXIT_BUSY received from *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.180 DLS forwarder received a SSP EXIT_BUSY message over TCP connection to *ip_address* for

source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの EXIT_BUSY メッセージを受信しました。

DLS.181

レベル: C-INFO

短構文: DLS.181 DLS, SSP msg HALT_DL_NOACK received from *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.181 DLS forwarder received a SSP HALT_DL_NOACK message over TCP connection to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの HALT_DL_NOACK メッセージを受信しました。

DLS.182

レベル: C-INFO

短構文: DLS.182 DLS, SSP msg IAMOKAY received from *ip_address*

長構文: DLS.182 DLS forwarder received a SSP IAMOKAY message over TCP connection to *ip_address*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの IAMOKAY メッセージを受信しました。

DLS.183

レベル: C-INFO

短構文: DLS.183 DLS, UNRECOGNIZED_SSP received from *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.183 DLS forwarder received an UNRECOGNIZED_SSP message over TCP connection to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介して、認知不能のスイッチ切り替えプロトコル・メッセージを受信しました。

DLS.184

レベル: C-INFO

短構文: DLS.184 DLS, DLC event DLC_CONTACTED received for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.184 DLS forwarder received a DLC event of type DLC_CONTACTED for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、下位レイヤーのデータ・リンク (LLC または SDLC) から、DLC_CONTACTED 事象を受信しました。

DLS.185

レベル: C-INFO

短構文: DLS.185 DLS, DLC event DLC_ERROR received for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.185 DLS forwarder received a DLC event of type DLC_ERROR for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、下位レイヤーのデータ・リンク (LLC または SDLC) から、DLC_ERROR 事象を受信しました。

DLS.186

レベル: C-INFO

短構文: DLS.186 DLS, DLC event DLC_RESET received for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.186 DLS forwarder received a DLC event of type DLC_RESET for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、下位レイヤーのデータ・リンク (LLC または SDLC) から、DLC_RESET 事象を受信しました。

DLS.187

レベル: C-INFO

短構文: DLS.187 DLS, DLC event DLC_DL_HALTED received for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.187 DLS forwarder received a DLC event of type DLC_DL_HALTED for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、下位レイヤーのデータ・リンク (LLC または SDLC) から、DLC_DL_HALTED 事象を受信しました。

DLS.188

レベル: C-INFO

短構文: DLS.188 DLS, DLC event

DLC_DL_ENTER_BUSY received for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.188 DLS forwarder received a DLC event of type DLC_DL_ENTER_BUSY for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、下位レイヤーのデータ・リンク (LLC または SDLC) から、DLC_DL_ENTER_BUSY 事象を受信しました。

DLS.189

レベル: C-INFO

短構文: DLS.189 DLS, DLC event DLC_DL_EXIT_BUSY received for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.189 DLS forwarder received a DLC event of type DLC_DL_EXIT_BUSY for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、下位レイヤーのデータ・リンク (LLC または SDLC) から、DLC_DL_EXIT_BUSY 事象を受信しました。

DLS.190

レベル: C-INFO

短構文: DLS.190 DLS, DLC event DLC_DL_STARTED received for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.190 DLS forwarder received a DLC event of type DLC_DL_STARTED for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、下位レイヤーのデータ・リンク (LLC または SDLC) から、DLC_DL_STARTED 事象を受信しました。

DLS.192

レベル: C-INFO

短構文: DLS.192 DLS, DLC event DLC_INFO received for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.192 DLS forwarder received a DLC event of type DLC_INFO for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、下位レイヤーのデータ・リンク (LLC または SDLC) から、DLC_INFO 事象を受信しました。

DLS.193

レベル: C-INFO

短構文: DLS.193 DLS, DLC event DLC_DGRM received for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.193 DLS forwarder received a DLC event of type DLC_DGRM for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、下位レイヤーのデータ・リンク (LLC または SDLC) から、DLC_DGRM 事象を受信しました。

DLS.194

レベル: C-INFO

短構文: DLS.194 DLS, DLC event DLC_XID received for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.194 DLS forwarder received a DLC event of type DLC_XID for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、下位レイヤーのデータ・リンク (LLC または SDLC) から、DLC_XID 事象を受信しました。

DLS.195

レベル: C-INFO

短構文: DLS.195 DLS, DLC event DLC_DATAFRAME received for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.195 DLS forwarder received a DLC event of type DLC_DATAFRAME for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、下位レイヤーのデータ・リンク (LLC または SDLC) から、DLC_DATAFRAME 事象を受信しました。

DLS.196

レベル: C-INFO

短構文: DLS.196 DLS, Transition to DISCONNECTED state for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.196 DLS forwarder is transitioning to DISCONNECTED state for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: TCP を介して受信した SSP メッセージ、または下位レイヤーの DLC から提示された事象のいずれかの処理時に、関連 DLS セッションが DISCONNECTED 状態に変換中です。

DLS.197

レベル: C-INFO

短構文: DLS.197 DLS, Transition to CONNECT_PENDING state for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.197 DLS forwarder is transitioning to CONNECT_PENDING state for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: TCP を介して受信した SSP メッセージ、または下位レイヤーの DLC から提示された事象のいずれかの処理時に、関連 DLS セッションが CONNECT_PENDING 状態に変換中です。

DLS.198

レベル: C-INFO

短構文: DLS.198 DLS, Transition to CONNECTED state for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.198 DLS forwarder is transitioning to CONNECTED state for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: TCP を介して受信した SSP メッセージ、または下位レイヤーの DLC から提示された事象のいずれかの処理時に、関連 DLS セッションが CONNECTED 状態に変換中です。

DLS.199

レベル: C-INFO

短構文: DLS.199 DLS, Transition to DISCONNECT_PENDING state for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.199 DLS forwarder is transitioning to DISCONNECT_PENDING state for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: TCP を介して受信した SSP メッセージ、または下位レイヤーの DLC から提示された事象のいずれかの処理時に、関連 DLS セッションが DISCONNECT_PENDING 状態に変換中です。

DLS.200

レベル: C-INFO

短構文: DLS.200 DLS, Transition to CIRCUIT_ESTABLISHED state for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.200 DLS forwarder is transitioning to CIRCUIT_ESTABLISHED state for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: TCP を介して受信した SSP メッセージ、または下位レイヤーの DLC から提示された事象のいずれかの処理時に、関連 DLS セッションが CIRCUIT_ESTABLISHED 状態に変換中です。

DLS.201

レベル: C-INFO

短構文: DLS.201 DLS, Transition to CIRCUIT_PENDING state for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.201 DLS forwarder is transitioning to CIRCUIT_PENDING state for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: TCP を介して受信した SSP メッセージ、または下位レイヤーの DLC から提示された事象のいずれかの処理時に、関連 DLS セッションが CIRCUIT_PENDING 状態に変換中です。

DLS.202

レベル: C-INFO

短構文: DLS.202 DLS, Transition to CIRCUIT_RESTART state for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.202 DLS forwarder is transitioning to CIRCUIT_RESTART state for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: TCP を介して受信した SSP メッセージ、または下位レイヤーの DLC から提示された事象のいずれかの処理時に、関連 DLS セッションが CIRCUIT_RESTART 状態に変換中です。

DLS.203

レベル: C-INFO

短構文: DLS.203 DLS, Transition to RESOLVE_PENDING state for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.203 DLS forwarder is transitioning to RESOLVE_PENDING state for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: TCP を介して受信した SSP メッセージ、または下位レイヤーの DLC から提示された事象のいずれかの処理時に、関連 DLS セッションが RESOLVE_PENDING 状態に変換中です。

DLS.204

レベル: C-INFO

短構文: DLS.204 DLS, Transition to CONTACT_PENDING state for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.204 DLS forwarder is transitioning to CONTACT_PENDING state for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: TCP を介して受信した SSP メッセージ、または下位レイヤーの DLC から提示された事象のいずれかの処理時に、関連 DLS セッションが CONTACT_PENDING 状態に変換中です。

DLS.205

レベル: C-INFO

短構文: DLS.205 DLS, Transition to RESTART_PENDING state for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.205 DLS forwarder is transitioning to RESTART_PENDING state for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: TCP を介して受信した SSP メッセージ、または下位レイヤーの DLC から提示された事象のいずれかの処理時に、関連 DLS セッションが RESTART_PENDING 状態に変換中です。

DLS.206

レベル: C-INFO

短構文: DLS.206 DLS, Transition to HALT_PENDING state for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.206 DLS forwarder is transitioning to HALT_PENDING state for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: TCP を介して受信した SSP メッセージ、または下位レイヤーの DLC から提示された事象のいずれかの処理時に、関連 DLS セッションが HALT_PENDING 状態に変換中です。

DLS.207

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.207 DLS, DLC_CONTACTED rcvd in bad state *state* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.207 DLS forwarder received a DLC_CONTACTED event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLC_CONTACTED 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

DLS.208

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.208 DLS, DLC_DGRM rcvd in bad state *state* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.208 DLS forwarder received a DLC_DGRM event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLC_DGRM 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

DLS.209

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.209 DLS, DLC_ERROR rcvd in bad state *state* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.209 DLS forwarder received a DLC_ERROR event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLC_ERROR 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

DLS.210

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.210 DLS, DLC_INFO rcvd in bad state *state* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.210 DLS forwarder received a DLC_INFO event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLC_INFO 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

DLS.211

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.211 DLS, DLC_DL_HALTED rcvd in bad state *state* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.211 DLS forwarder received a DLC_DL_HALTED event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLC_DL_HALTED 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

DLS.212

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.212 DLS, DLC_DL_STARTED rcvd in bad state *state* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.212 DLS forwarder received a DLC_DL_STARTED event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLC_DL_STARTED 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

DLS.213

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.213 DLS, DLC_RESET rcvd in bad state *state* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.213 DLS forwarder received a DLC_RESET event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLC_RESET 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

DLS.214

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.214 DLS, DLC_RESOLVE_C rcvd in bad state *state* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.214 DLS forwarder received a DLC_RESOLVE_C event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLC_RESOLVE_C 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

DLS.215

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.215 DLS, DLC_XID rcvd in bad state *state* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.215 DLS forwarder received a DLC_XID event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLC_XID 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

DLS.216

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.216 DLS, CANUREACH rcvd in bad state *state* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.216 DLS forwarder received a CANUREACH

event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: CANUREACH 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

DLS.217

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.217 DLS, DGRMFRAME rcvd in bad state *state* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.217 DLS forwarder received a DGRMFRAME event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DGRMFRAME 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

DLS.218

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.218 DLS, XIDFRAME rcvd in bad state *state* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.218 DLS forwarder received a XIDFRAME event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: XIDFRAME 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

DLS.220

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.220 DLS, CONTACT rcvd in bad state *state* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.220 DLS forwarder received a CONTACT event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: CONTACT 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

DLS.221

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.221 DLS, CONTACTED rcvd in bad state *state* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.221 DLS forwarder received a CONTACTED event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: CONTACTED 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

DLS.222

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.222 DLS, RESTART_DL rcvd in bad state *state* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.222 DLS forwarder received a RESTART_DL event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: RESTART_DL 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

DLS.223

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.223 DLS, DL_RESTARTED rcvd in bad state *state* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.223 DLS forwarder received a DL_RESTARTED event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DL_RESTARTED 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

DLS.224

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.224 DLS, INFOFRAME rcvd in bad state *state* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.224 DLS forwarder received a INFOFRAME

event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: INFOFRAME 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

DLS.225

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.225 DLS, HALT_DL rcvd in bad state *state* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.225 DLS forwarder received a HALT_DL event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: HALT_DL 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

DLS.226

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.226 DLS, HALT_DL_NOACK rcvd in bad state *state* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.226 DLS forwarder received a HALT_DL_NOACK event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: HALT_DL_NOACK 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

DLS.227

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.227 DLS, DL_HALTED rcvd in bad state *state* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.227 DLS forwarder received a DL_HALTED event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DL_HALTED 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

DLS.228

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.228 DLS, ENTER_BUSY rcvd in bad state *state* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.228 DLS forwarder received a ENTER_BUSY event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: ENTER_BUSY 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

DLS.229

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.229 DLS, EXIT_BUSY rcvd in bad state *state* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.229 DLS forwarder received a EXIT_BUSY event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: EXIT_BUSY 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

DLS.230

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.230 DLS, REACHACK rcvd in bad state *state* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.230 DLS forwarder received a REACHACK event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: REACHACK 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

DLS.231

レベル: C-INFO

短構文: DLS.231 DLS, CANUREACH to *ip_address* sent for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.231 DLS, CANUREACH to *ip_address* sent

for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

説明: DLS は CANUREACH SSP メッセージを、TCP を介して DLS ピアに正常に送信しました。

DLS.232

レベル: C-INFO

短構文: DLS.232 DLS, ICANREACH to *ip_address* sent for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

長構文: DLS.232 DLS, ICANREACH to *ip_address* sent for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

説明: DLS は ICANREACH SSP メッセージを、TCP を介して DLS ピアに正常に送信しました。

DLS.233

レベル: C-INFO

短構文: DLS.233 DLS, REACH_ACK to *ip_address* sent for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

長構文: DLS.233 DLS, REACH_ACK to *ip_address* sent for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

説明: DLS は REACH_ACK SSP メッセージを、TCP を介して DLS ピアに正常に送信しました。

DLS.234

レベル: C-INFO

短構文: DLS.234 DLS, CONTACT to *ip_address* sent for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

長構文: DLS.234 DLS, CONTACT to *ip_address* sent for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

説明: DLS は CONTACT SSP メッセージを、TCP を介して DLS ピアに正常に送信しました。

DLS.235

レベル: C-INFO

短構文: DLS.235 DLS, CONTACTED to *ip_address* sent for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

長構文: DLS.235 DLS, CONTACTED to *ip_address* sent

for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

説明: DLS は CONTACTED SSP メッセージを、TCP を介して DLS ピアに正常に送信しました。

DLS.236

レベル: C-INFO

短構文: DLS.236 DLS, RESTART_DL to *ip_address* sent for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

長構文: DLS.236 DLS, RESTART_DL to *ip_address* sent for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

説明: DLS は RESTART_DL SSP メッセージを、TCP を介して DLS ピアに正常に送信しました。

DLS.237

レベル: C-INFO

短構文: DLS.237 DLS, DL_RESTARTED to *ip_address* sent for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

長構文: DLS.237 DLS, DL_RESTARTED to *ip_address* sent for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

説明: DLS は DL_RESTARTED SSP メッセージを、TCP を介して DLS ピアに正常に送信しました。

DLS.238

レベル: C-INFO

短構文: DLS.238 DLS, ENTER_BUSY to *ip_address* sent for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

長構文: DLS.238 DLS, ENTER_BUSY to *ip_address* sent for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

説明: DLS は ENTER_BUSY SSP メッセージを、TCP を介して DLS ピアに正常に送信しました。

DLS.239

レベル: C-INFO

短構文: DLS.239 DLS, EXIT_BUSY to *ip_address* sent for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

長構文: DLS.239 DLS, EXIT_BUSY to *ip_address* sent for

source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap

説明: DLS は EXIT_BUSY SSP メッセージを、TCP を介して DLS ピアに正常に送信しました。

DLS.240

レベル: C-INFO

短構文: DLS.240 DLS, HALT_DL to *ip_address* sent for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.240 DLS, HALT_DL to *ip_address* sent for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS は HALT_DL SSP メッセージを、TCP を介して DLS ピアに正常に送信しました。

DLS.241

レベル: C-INFO

短構文: DLS.241 DLS, DL_HALTED to *ip_address* sent for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.241 DLS, DL_HALTED to *ip_address* sent for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS は DL_HALTED SSP メッセージを、TCP を介して DLS ピアに正常に送信しました。

DLS.242

レベル: C-INFO

短構文: DLS.242 DLS, HALT_DL_NOACK to *ip_address* sent for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.242 DLS, HALT_DL_NOACK to *ip_address* sent for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS は HALT_DL_NOACK SSP メッセージを、TCP を介して DLS ピアに正常に送信しました。

DLS.243

レベル: C-INFO

短構文: DLS.243 DLS, TEST_CIRCUIT_RSP to *ip_address* sent for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.243 DLS, TEST_CIRCUIT_RSP to *ip_address*

sent for source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap

説明: DLS は TEST_CIRCUIT_RSP SSP メッセージを、TCP を介して DLS ピアに正常に送信しました。

DLS.244

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.244 DLS, FAILED to send CANUREACH to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.244 DLS, FAILED to send CANUREACH to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: バッファ不足か、DLSw が DLSw 機能交換 SAP リスト内の発信元 SAP をサポートしないか、いずれかの原因で、CANUREACH SSP 制御メッセージを送信できませんでした。

DLS.245

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.245 DLS, FAILED to send ICANREACH to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.245 DLS, FAILED to send ICANREACH to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: バッファがないか、DLSw が DLSw 機能交換 SAP リスト内の発信元 SAP をサポートしないために、ICANREACH SSP 制御メッセージが送信されませんでした。

DLS.246

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.246 DLS, FAILED to send REACH_ACK to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.246 DLS, FAILED to send REACH_ACK to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: バッファ不足が原因で、REACH_ACK SSP 制御メッセージを送り出すことができませんでした。

DLS.247

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.247 DLS, FAILED to send CONTACT to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.247 DLS, FAILED to send CONTACT to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: バッファ不足が原因で、CONTACT SSP 制御メッセージを送り出すことができませんでした。

DLS.248

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.248 DLS, FAILED to send CONTACTED to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.248 DLS, FAILED to send CONTACTED to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: バッファ不足が原因で、CONTACTED SSP 制御メッセージを送り出すことができませんでした。

DLS.249

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.249 DLS, FAILED to send RESTART_DL to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.249 DLS, FAILED to send RESTART_DL to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: バッファ不足が原因で、RESTART_DL SSP 制御メッセージを送り出すことができませんでした。

DLS.250

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.250 DLS, FAILED to send DL_RESTARTED to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.250 DLS, FAILED to send DL_RESTARTED to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: バッファ不足が原因で、DL_RESTARTED SSP 制御メッセージを送り出すことができませんでした。

DLS.251

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.251 DLS, FAILED to send ENTER_BUSY to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.251 DLS, FAILED to send ENTER_BUSY to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: バッファ不足が原因で、ENTER_BUSY SSP 制御メッセージを送り出すことができませんでした。

DLS.252

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.252 DLS, FAILED to send EXIT_BUSY to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.252 DLS, FAILED to send EXIT_BUSY to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: バッファ不足が原因で、EXIT_BUSY SSP 制御メッセージを送り出すことができませんでした。

DLS.253

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.253 DLS, FAILED to send HALT_DL to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.253 DLS, FAILED to send HALT_DL to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: バッファ不足が原因で、HALT_DL SSP 制御メッセージを送り出すことができませんでした。

DLS.254

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.254 DLS, FAILED to send DL_HALTED to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.254 DLS, FAILED to send DL_HALTED to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: バッファ不足が原因で、DL_HALTED SSP 制御メッセージを送り出すことができませんでした。

DLS.255

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.255 DLS, FAILED to send
HALT_DL_NOACK to *ip_address* for *source_mac_address->*
dest_mac_address, sap *source_sap->* *dest_sap*

長構文: DLS.255 DLS, FAILED to send
HALT_DL_NOACK to *ip_address* for *source_mac_address->*
dest_mac_address, sap *source_sap->* *dest_sap*

説明: バッファ不足が原因で、HALT_DL_NOACK SSP
制御メッセージを送り出すことができませんでした。

DLS.256

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.256 DLS, FAILED to send
TEST_CIRCUIT_RSP to *ip_address* for *source_mac_address->*
dest_mac_address, sap *source_sap->* *dest_sap*

長構文: DLS.256 DLS, FAILED to send
TEST_CIRCUIT_RSP to *ip_address* for *source_mac_address->*
dest_mac_address, sap *source_sap->* *dest_sap*

説明: バッファ不足が原因で、TEST_CIRCUIT_RSP
SSP 制御メッセージを送り出すことができませんでした。

DLS.258

レベル: C-INFO

短構文: DLS.258 DLS, XIDFRAME to *ip_address* sent for
source_mac_address-> *dest_mac_address*, sap *source_sap->*
dest_sap

長構文: DLS.258 DLS, XIDFRAME to *ip_address* sent for
source_mac_address-> *dest_mac_address*, sap *source_sap->*
dest_sap

説明: DLS は XIDFRAME SSP メッセージを、TCP を
介して DLS ピアに正常に送信しました。

DLS.259

レベル: C-INFO

短構文: DLS.259 DLS, DGRMFRAME to *ip_address* sent
for *source_mac_address->* *dest_mac_address*, sap *source_sap->*
dest_sap

長構文: DLS.259 DLS, DGRMFRAME to *ip_address* sent
for *source_mac_address->* *dest_mac_address*, sap *source_sap->*
dest_sap

説明: DLS は DGRMFRAME SSP メッセージを、TCP
を介して DLS ピアに正常に送信しました。

DLS.260

レベル: C-INFO

短構文: DLS.260 DLS, DATAFRAME to *ip_address* sent
for *source_mac_address->* *dest_mac_address*, sap *source_sap->*
dest_sap

長構文: DLS.260 DLS, DATAFRAME to *ip_address* sent
for *source_mac_address->* *dest_mac_address*, sap *source_sap->*
dest_sap

説明: DLS は、TCP または UDP を介して、その DLSw
ピアに、DATAFRAME SSP メッセージを正常に送り出
しました。

DLS.261

レベル: C-INFO

短構文: DLS.261 DLS, INFOFRAME to *ip_address* sent
for *source_mac_address->* *dest_mac_address*, sap *source_sap->*
dest_sap

長構文: DLS.261 DLS, INFOFRAME to *ip_address* sent
for *source_mac_address->* *dest_mac_address*, sap *source_sap->*
dest_sap

説明: DLS は INFOFRAME SSP メッセージを、TCP を
介して DLS ピアに正常に送信しました。

DLS.262

レベル: C-INFO

短構文: DLS.262 DLS, SSP msg TEST_CIRCUIT_REQ
received from *ip_address* for *source_mac_address->*
dest_mac_address, sap *source_sap->* *dest_sap*

長構文: DLS.262 DLS forwarder received a SSP
TEST_CIRCUIT_REQ message over TCP connection to
ip_address for *source_mac_address->* *dest_mac_address*, sap
source_sap-> *dest_sap*

説明: DLS 転送機能が TCP を介して、スイッチ切り替
えプロトコルの TEST_CIRCUIT_REQ メッセージを受信
しました。

DLS.263

レベル: C-INFO

短構文: DLS.263 DLS, SSP msg TEST_CIRCUIT_RSP
received from *ip_address* for *source_mac_address->*
dest_mac_address, sap *source_sap->* *dest_sap*

長構文: DLS.263 DLS forwarder received a SSP
TEST_CIRCUIT_RSP message over TCP connection to
ip_address for *source_mac_address->* *dest_mac_address*, sap
source_sap-> *dest_sap*

説明: DLS 転送機能が TCP を介して、スイッチ切り替えプロトコルの TEST_CIRCUIT_RSP メッセージを受信しました。

DLS.264

レベル: C-INFO

短構文: DLS.264 *intfmod*, Flushed Info frame sent, *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.264 *intfmod*, Flushed info frame sent, *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS から受信した情報フレームが、LLC エンド・ステーション、またはローカル APPN に正常にフラッシュされました。

DLS.265

レベル: C-INFO

短構文: DLS.265 *intfmod*, TEST_C frame sent, *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.265 *intfmod*, TEST_C frame sent, *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLSw ピア・ルーターから CANUREACH を受信した結果として、TEST コマンド・フレームが LLC エンド・ステーション、またはローカル APPN に正常に送信されました。

DLS.266

レベル: C-INFO

短構文: DLS.266 *intfmod*, TEST_R frame sent, *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.266 *intfmod*, TEST_R frame sent, *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLSw ピア・ルーターから ICANREACH を受信した結果として、TEST 応答フレームが LLC エンド・ステーション、またはローカル APPN に正常に送信されました。

DLS.268

レベル: C-INFO

短構文: DLS.268 LLC, UI frame sent, *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.268 LLC, UI frame sent, *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: UI フレームが LLC エンド・ステーションに正常に送信されました。

DLS.269

レベル: U-INFO

短構文: DLS.269 *intfmod*, TEST_C frame refused by st mch, *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.269 *intfmod*, TEST_C frame refused by st mch, *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: TEST コマンド・フレームは、DLS を介して正常に中継できなかったため、LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールの状態管理機構によって処理されませんでした。TEST コマンド・フレームの場合、DLS はフレームをブリッジ・パスを介しても送信できるように、フレームをコピーし、そのフレームを拒否するので、この状況は正常です。

DLS.270

レベル: U-INFO

短構文: DLS.270 *intfmod*, TEST_R frame refused by st mch, *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.270 *intfmod*, TEST_R frame refused by st mch, *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: TEST 応答フレームは、DLS を介して正常に中継できなかったため、LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールの状態管理機構によって処理されませんでした。

DLS.271

レベル: U-INFO

短構文: DLS.271 *intfmod*, XID_C frame refused by st mch,

source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap

長構文: DLS.271 *intfmod*, XID_C frame refused by st mch, *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: XID コマンド・フレームは、DLS を介して正常に中継できなかったの、 LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールの状態管理機構によって処理されませんでした。

DLS.272

レベル: U-INFO

短構文: DLS.272 *intfmod*, XID_R frame refused by st mch, *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.272 *intfmod*, XID_R frame refused by st mch, *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: XID 応答フレームは、DLS を介して正常に中継できなかったの、 LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールの状態管理機構によって処理されませんでした。

DLS.273

レベル: U-INFO

短構文: DLS.273 LLC, UI frame refused by st mch, *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.273 LLC, UI frame refused by st mch, *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: UI フレームは、DLS を介して正常に中継できなかったの、 DLS-LLC インターフェース・モジュールの状態管理機構によって処理されませんでした。

DLS.274

レベル: U-INFO

短構文: DLS.274 LLC, INFO frame refused by st mch, *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.274 LLC, INFO frame refused by st mch, *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: INFO フレームは、DLS を介して正常に中継できなかったの、 DLS-LLC インターフェース・モジュール

の状態管理機構によって処理されませんでした。

DLS.276

レベル: C-INFO

短構文: DLS.276 *intfmod*, event *eventname* received for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.276 *intfmod*, event *eventname* received for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、 NETUP 事象を受信しました。

DLS.277

レベル: C-INFO

短構文: DLS.277 *intfmod*, event *eventname* received for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.277 *intfmod*, event *eventname* received for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、 NETDOWN 事象を受信しました。

DLS.278

レベル: C-INFO

短構文: DLS.278 *intfmod*, event *eventname* received for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.278 *intfmod*, event *eventname* received for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、 CONNECT_IND 事象を受信しました。

DLS.279

レベル: C-INFO

短構文: DLS.279 *intfmod*, event *eventname* received for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.279 *intfmod*, event *eventname* received for

source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、CONNECT_CONF 事象を受信しました。

DLS.280

レベル: C-INFO

短構文: DLS.280 *intfmod, event eventname received for source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.280 *intfmod, event eventname received for source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、ENTER_BUSY 事象を受信しました。

DLS.281

レベル: C-INFO

短構文: DLS.281 *intfmod, event eventname received for source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.281 *intfmod, event eventname received for source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、EXIT_BUSY 事象を受信しました。

DLS.282

レベル: C-INFO

短構文: DLS.282 *intfmod, event eventname received for source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.282 *intfmod, event eventname received for source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、DISC_IND 事象を受信しました。

DLS.283

レベル: C-INFO

短構文: DLS.283 *intfmod, event eventname received for source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.283 *intfmod, event eventname received for source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、DISC_CONF 事象を受信しました。

DLS.284

レベル: C-INFO

短構文: DLS.284 *intfmod, event eventname received for source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.284 *intfmod, event eventname received for source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、RESET_IND 事象を受信しました。

DLS.285

レベル: C-INFO

短構文: DLS.285 *intfmod, event eventname received for source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.285 *intfmod, event eventname received for source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、TEST_C 事象を受信しました。

DLS.286

レベル: C-INFO

短構文: DLS.286 *intfmod, event eventname received for source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.286 *intfmod, event eventname received for source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、TEST_R 事象を受信しました。

DLS.287

レベル: C-INFO

短構文: DLS.287 *intfmod*, event *eventname* received for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.287 *intfmod*, event *eventname* received for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、XID_C 事象を受信しました。

DLS.288

レベル: C-INFO

短構文: DLS.288 *intfmod*, event *eventname* received for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.288 *intfmod*, event *eventname* received for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、XID_R 事象を受信しました。

DLS.289

レベル: C-INFO

短構文: DLS.289 LLC, event LLCIM_LLC_UI received for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.289 LLC, event LLCIM_LLC_UI received for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュールが、LLC から LLCIM_LLC_UI 事象を受信しました。

DLS.290

レベル: C-INFO

短構文: DLS.290 *intfmod*, event *eventname* received for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.290 *intfmod*, event *eventname* received for

source_mac_address-> dest_mac_address, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、DLS から DLC_START_DL 事象を受信しました。

DLS.291

レベル: C-INFO

短構文: DLS.291 *intfmod*, event *eventname* received for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.291 *intfmod*, event *eventname* received for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、DLS から DLC_RESOLVE_R 事象を受信しました。

DLS.292

レベル: C-INFO

短構文: DLS.292 *intfmod*, event *eventname* received for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.292 *intfmod*, event *eventname* received for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、DLS から DLC_CONTACT 事象を受信しました。

DLS.293

レベル: C-INFO

短構文: DLS.293 LLC, event LLCIM_DLC_DGRM received for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.293 LLC, event LLCIM_DLC_DGRM received for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュールが、DLS から LLCIM_LLC_DGRM 事象を受信しました。

DLS.294

レベル: C-INFO

短構文: DLS.294 *intfmod*, event *eventname* received for

source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap

長構文: DLS.294 *intfmod, event eventname* received for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、DLS から DLC_XID 事象を受信しました。

DLS.295

レベル: C-INFO

短構文: DLS.295 *intfmod, event eventname* received for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.295 *intfmod, event eventname* received for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、DLS から DLC_HALT_DL 事象を受信しました。

DLS.296

レベル: C-INFO

短構文: DLS.296 *intfmod, event eventname* received for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.296 *intfmod, event eventname* received for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、DLS から DLC_ENTER_BUSY 事象を受信しました。

DLS.297

レベル: C-INFO

短構文: DLS.297 *intfmod, event eventname* received for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.297 *intfmod, event eventname* received for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、DLS から DLC_EXIT_BUSY 事象を受信しました。

DLS.298

レベル: C-INFO

短構文: DLS.298 *intfmod, event eventname* received for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.298 *intfmod, event eventname* received for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、INFOFRAME 事象を受信しました。

DLS.299

レベル: C-INFO

短構文: DLS.299 *intfmod, event eventname* received for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.299 *intfmod, event eventname* received for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、DLS から DLC_INFO 事象を受信しました。

DLS.300

レベル: C-INFO

短構文: DLS.300 *intfmod, Transition to statename* state for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.300 *intfmod, Transition to statename* state for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、CONTACTED 状態に変換中です。

DLS.301

レベル: C-INFO

短構文: DLS.301 *intfmod, Transition to statename* state for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.301 *intfmod* Transition to *statename* state for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、RESOLVE_PEND 状態に変換中です。

DLS.302

レベル: C-INFO

短構文: DLS.302 *intfmod*, Transition to *statename* state for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.302 *intfmod*, Transition to *statename* state for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、CONNECTED 状態に変換中です。

DLS.303

レベル: C-INFO

短構文: DLS.303 *intfmod*, Transition to *statename* state for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.303 *intfmod* Transition to *statename* state for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、CONNECT_PEND 状態に変換中です。

DLS.304

レベル: C-INFO

短構文: DLS.304 *intfmod*, Transition to *statename* state for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.304 *intfmod* Transition to *statename* state for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、CONTACT_PEND 状態に変換中です。

DLS.305

レベル: C-INFO

短構文: DLS.305 *intfmod*, Transition to *statename* state for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.305 *intfmod* Transition to *statename* state for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、DISCONNECTED 状態に変換中です。

DLS.306

レベル: C-INFO

短構文: DLS.306 *intfmod*, Transition to *statename* state for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.306 *intfmod* Transition to *statename* state for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、DISC_PEND 状態に変換中です。

DLS.307

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.307 DLSw disabled no mem for buffers

長構文: DLS.307 DLSw forwarder disabled no memory for buffers

説明: DLS 私用バッファ・プールを作成するための記憶域が十分になかったため、データ・リンク・スイッチ転送機能が使用不可にされました。

DLS.308

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.308 DLSw disabled no mem for llcim struct

長構文: DLS.308 DLSw forwarder disabled no memory for llcim structures

説明: 必要な LLCIM データ構造を作成するための記憶域が十分になかったため、データ・リンク・スイッチ転送機能が使用不可にされました。

DLS.309

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.309 DLSw disabled no mem for tcpim struct

長構文: DLS.309 DLSw forwarder disabled no memory for tcpim structures

説明: 必要な TCPIM データ構造を作成するための記憶域が十分になかったため、データ・リンク・スイッチ転

送機能が使用不可にされました。

DLS.310

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.310 DLSw disabled no mem for sdlcim struct

長構文: DLS.310 DLSw forwarder disabled no memory for sdlcim structures

説明: 必要な SDLCIM データ構造を作成するための記憶域が十分になかったため、データ・リンク・スイッチ転送機能が使用不可にされました。

DLS.311

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.311 DLSw disabled no mem for group struct

長構文: DLS.311 DLSw forwarder disabled no memory for group protocol structures

説明: 必要なグループ・プロトコル・データ構造を作成するための記憶域が十分になかったため、データ・リンク・スイッチ転送機能が使用不可にされました。

DLS.312

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.312 DLSw disabled no mem for dl corr array

長構文: DLS.312 DLSw forwarder disabled no memory for dl correlator array

説明: 必要な dl 相関配列を作成するための記憶域が十分になかったため、データ・リンク・スイッチ転送機能が使用不可にされました。

原因: dl 相関配列に必要な記憶域を割り振ることができません。

処置: DLSw セッションの最大数を減らしてください。

DLS.313

レベル: C-INFO

短構文: DLS.313 *intfmod*, INFO frame sent, *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.313 *intfmod*, INFO frame sent, *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS から受信した INFO フレームが、LLC エンド・ステーションまたはローカル APPN に正常に送信されました。

DLS.314

レベル: C-INFO

短構文: DLS.314 TCP, *cfg xmit buf too large for group group*, clipped to *transmit_buffer_size*

長構文: DLS.314 TCP, configured transmit buffer size too large for group *group*, clipped to *transmit_buffer_size*

説明: ユーザーは、グループ構成中に TCP 転送バッファ・サイズを構成しましたが、それはルーターが処理できません。このサイズは自動的に、ルーターが割り振ることができるより低い値に設定されていました。

DLS.315

レベル: C-INFO

短構文: DLS.315 TCP, *cfg xmit buf too large for neighbour_address*, clipped to *transmit_buffer_size*

長構文: DLS.315 TCP, configured transmit buffer size too large for *neighbour_address*, clipped to *transmit_buffer_size*

説明: ユーザーが構成した TCP 転送バッファ・サイズは、ルーターが処理することができません。このサイズは、ルーターが割り振ることができるように自動的により低い値に設定されました。

DLS.316

レベル: C-INFO

短構文: DLS.316 DLS, CANUREACH frame coll, frame ign, *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.316 DLS, CANUREACH frame collision, frame ignored, *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: CANUREACH フレームが DLS から受信されましたが、処理できませんでした。その理由は、CANUREACH で指定されている MAC アドレスおよび SAP について CANUREACH がこのルーターで現在すでに処理中であり、既存の回線の起点 MAC アドレスが、この CANUREACH で指定された起点 MAC アドレスよりも大きいからです。

DLS.317

レベル: C-INFO

短構文: DLS.317 *intfmod*, XID_C frame sent, len=*xid_data_len*, *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.317 *intfmod*, XID_C frame sent, len=

xid_data_len, source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap

説明: XID_C フレームが LLC エンド・ステーションまたはローカル APPN に正常に送信されました。

DLS.318

レベル: C-INFO

短構文: DLS.318 *intfmod, XID_R frame sent, len= xid_data_len, source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.318 *intfmod, XID_R frame sent, len= xid_data_len, source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: XID_R フレームが LLC エンド・ステーションまたはローカル APPN に正常に送信されました。

DLS.319

レベル: C-INFO

短構文: DLS.319 *intfmod, XID_C dropped, len= xid_data_len, source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.319 *intfmod, XID_C dropped, len= xid_data_len, source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: 受信された XID_C フレームが、直前に受信された XID_C が DLSw により処理されているため、廃棄されました。この XID_C は重複と見なされます。これは、エンド・ステーションが XID_C を再試行するため頻繁に生じます。

DLS.320

レベル: C-INFO

短構文: DLS.320 LLC, XID_R dropped, len= *xid_data_len, source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.320 LLC, XID_R dropped, len= *xid_data_len, source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: 受信された XID_R フレームが、処理中の XID コマンドがないために廃棄されました。これは、DLSw が XID_C を再試行したとき多数の XID_R が戻る可能性があるために、通常でも生じます。

DLS.321

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.321 LLC, XIDFRAME dropped-bad XID state, len= *xid_data_len, source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.321 LLC, XIDFRAME dropped-bad XID state, len= *xid_data_len, source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: 予期しない XIDFRAME が受信され、破棄されました。LLC は通常、この状態では XID の受信を予期しません。

処置: なし。ただし、メッセージで記述されたエンド・ステーション間の接続を確立する上で問題がない限り。

DLS.322

レベル: C-INFO

短構文: DLS.322 *intfmod, unexpected null XID, source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.322 *intfmod, unexpected null XID, source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: 空白 XID が SABME/UA 交換の後で受信されました。このことは、この状態では通常起こらず、エンド・ステーションが新規のセッションを開始しようとしていることを示しています。現行 DLSw セッションは終了します。

DLS.323

レベル: C-INFO

短構文: DLS.323 DLS, activ XIDFRAME dropped-bad state, len= *xid_data_len, source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.323 DLS, activ XIDFRAME dropped-bad state, len= *xid_data_len, source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: 受信された活動化 XIDFRAME は、DLSw DLS_CONNECTED または DLS_CONNECT_PENDING 状態で許可されません。このフレームは廃棄されます。

DLS.324

レベル: C-INFO

短構文: DLS.324 DLS, activ XID dropped-bad state, len= *xid_data_len, source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.324 DLS, activ XID dropped-bad state, len=*xid_data_len*, *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

説明: 受信された活動化 XID は、DLSw DLS_CONNECTED または DLS_CONNECT_PENDING 状態で許可されません。このフレームは廃棄されます。

DLS.325

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.325 DLS, Session not created-Maximum Number of DLS Sessions exceeded.

長構文: DLS.325 DLS, Session not created-Maximum Number of DLS Sessions exceeded.

説明: DLSw セッションは、構成された DLSw セッションの最大数を超過するため作成されません。

DLS.326

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.326 close transport conn to *ip_address*, unrecoverable SSP sync error

長構文: DLS.326 closing transport connection to *ip_address*, unrecoverable SSP synchronization error

説明: 受信した DLSw SSP メッセージにエラーがあったため、回復の試みとして、TCP セッションをクローズする必要があります。原因は、直前の SSP メッセージのメッセージ長が無効であったためか、現在のメッセージの DLSw SSP バージョンがサポートされていないためか、いずれかです。

DLS.327

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.327 DL_HALTED timer expired, closing session *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

長構文: DLS.327 DL_HALTED timer expired, closing session *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

説明: 予期された DL_HALTED SSP メッセージが先に送信された HALT_DL メッセージに応答して受信されませんでした。その結果、接続は現在切断状態にあると考えられます。

DLS.328

レベル: C-INFO

短構文: DLS.328 DLSw, Reconnect TCP connection to Neighbor *ip_address*

長構文: DLS.328 TCP, Automatically reconnecting to neighbor at *ip_address*

説明: 前にダウンした TCP 接続が、再接続中です。これは、ユーザーが TCP 接続を「能動」と定義しているためです。自動再接続を禁止するには、この接続を「受動」と定義します。

DLS.330

レベル: C-INFO

短構文: DLS.330 sdlc link sta reopen addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.330 SDLC link station reopened address *link_address* net *network ID*

説明: リンク・アドレスの SDLC リンク・ステーションは、SDLC リンク・ステーションが SDLC コンソールで再追加されたため、ネットワーク・インターフェースで正常に再オープンされました。

DLS.331

レベル: C-INFO

短構文: DLS.331 TCP, no mem for conn to nbr at *ip_address*

長構文: DLS.331 TCP, cannot create a new connection to neighbor at *ip_address* due to a memory shortage

説明: 新規の TCP 接続を確立するための記憶域が、ルーター内で不足しています。

DLS.332

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.332 Ptr to SCB is NULL. Event: *event*; DLC: *dlc_name*; CCB State: *ccb_state*; MAC: *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, SAP: *source_sap*-> *dest_sap*

長構文: DLS.332 Ptr to SCB is NULL. Event: *event*; DLC: *dlc_name*; CCB State: *ccb_state*; MAC: *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, SAP: *source_sap*-> *dest_sap*

説明: 有効な DLS SCB を予期し、必要とする DLC 事象を処理しているときに、DLS 状態管理機構は渡された SCB へのポインターが NULL であることを発見しました。

DLS.333

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.333 Ptr to SCB is NULL and ptr to CCB is also NULL. Event: *event*

長構文: DLS.333 Ptr to SCB is NULL and ptr to CCB is also NULL. Event: *event*

説明: 有効な DLS SCB および DLC CCB を予期し、必要とする DLC 事象を処理しているときに、DLS 状態管理機構は渡された両方へのポインタが NULL であることを発見しました。

DLS.334

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.334 Ptr to SCB is NULL and CCB identifier is invalid. Event: *event*

長構文: DLS.334 Ptr to SCB is NULL and CCB identifier is invalid. Event: *event*

説明: 有効な DLS SCB および DLC CCB を予期し、必要とする DLC 事象を処理しているときに、渡された SCB へのポインタが NULL であり、DLC CCB 識別子が無効であることを DLS 状態管理機構が発見しました。

DLS.335

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.335 SSP msg received. Ptr to SCB is NULL. Xport state: *transport_state*; IP: *remote_ip_addr*

長構文: DLS.335 SSP msg received. Ptr to SCB is NULL. Xport state: *transport_state*; IP: *remote_ip_addr*

説明: 有効な DLS SCB を予期し、必要とする SSP 事象を処理しているときに、DLS 状態管理機構は渡された SCB へのポインタが NULL であることを発見しました。

DLS.338

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.338 Could not send ctrl msg, closing session *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.338 Could not send control message, closing session *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: ルーターは、メッセージを入れるバッファが不足しているために、応答制御メッセージを送信できませ

んでした。HALT_DL_NOACK を送信して DLSw セッションを終了します。

DLS.339

レベル: C-INFO

短構文: DLS.339 DLS, Cleanup HALT_DL_NOACK to *ip_address* sent for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.339 DLS, Cleanup HALT_DL_NOACK to *ip_address* sent for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: HALT_DL_NOACK SSP メッセージを、DLS が DLS ピアに TCP を通じて正常に送信しました。これが行われたのは、制御メッセージを送信しようとしたときにバッファ不足状態が起こったためです。

DLS.340

レベル: C-INFO

短構文: DLS.340 Sent Capex Request to *ip_address*.

長構文: DLS.340 A Capabilities Exchange Request has been sent to the DLSw neighbor at *ip_address*.

説明: DLSw TCP インターフェース・モジュールは、TCP トランスポートが機能交換を行う能力があると判断しました。DLSw TCP インターフェース・モジュールは、DLSw 近隣への機能交換要求を送信しました。

DLS.341

レベル: C-INFO

短構文: DLS.341 Received Capex Request from *ip_address*.

長構文: DLS.341 A Capabilities Exchange Request has been received from the DLSw neighbor at *ip_address*.

説明: DLSw TCP インターフェースが、DLSw 近隣から機能交換メッセージを受信しました。構文解析モジュールは、メッセージ・タイプが要求であると判断しました。

DLS.342

レベル: C-INFO

短構文: DLS.342 Sent Capex Pos. Response to *ip_address*.

長構文: DLS.342 A Capabilities Exchange Positive Response has been sent to the DLSw neighbor at *ip_address*.

説明: DLSw 機能交換構文解析モジュールが、DLSw 近隣からの機能交換要求を正常に処理しました。

DLS.343

レベル: C-INFO

短構文: DLS.343 Received Capex Pos. Response from *ip_address*.

長構文: DLS.343 A Capabilities Exchange Positive Response has been received from the DLSw neighbor at *ip_address*.

説明: DLSw TCP インターフェースが、DLSw 近隣から機能交換メッセージを受信しました。構文解析モジュールは、メッセージ・タイプが肯定応答であると判断しました。

DLS.344

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.344 Sent Capex Neg. Response to *ip_address* reason *reason_code* offset *offset_value*.

長構文: DLS.344 A Capabilities Exchange Negative Response has been sent to the DLSw neighbor at *ip_address* Reason *reason_code* Offset *offset_value*.

説明: DLSw 機能交換構文解析モジュールが、DLSw 近隣からの機能交換要求を処理しましたが、その要求に、エラーまたは無効な制御ベクトルが含まれていることが判明しました。

DLS.345

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.345 Received Capex Neg. Response from *ip_address* reason *reason_code* offset *offset_value*.

長構文: DLS.345 A Capabilities Exchange Negative Response has been received from the DLSw neighbor at *ip_address*. The Negative Response contained a Reason of *reason_code* at Offset *offset_value*.

説明: DLSw TCP インターフェースが、DLSw 近隣から機能交換メッセージを受信しました。構文解析モジュールは、メッセージ・タイプが否定応答であると判断しました。

DLS.346

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.346 Capex Aborted!, *ip_address* is assumed to be DLSw RFC 1434+ compliant.

長構文: DLS.346 Capabilities Exchange has been aborted with the neighbor at *ip_address*. DLSw processing will continue by assuming that his neighbor is DLSw RFC 1434+ compliant.

説明: DLSw 機能交換管理プログラムは、近隣が DLSw AIW_V1 をサポートする能力がないと判断しました。その近隣には DLSw RFC 1434+ をサポートする能力があると想定します。

DLS.347

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.347 Received unknown Capex message from *ip_address*.

長構文: DLS.347 Received Unknown Capabilities Exchange Message from the neighbor at *ip_address*.

説明: DLSw 近隣が、未知の機能交換メッセージを送信しました。機能交換は、これが要求または応答を意味する場合には失敗となる可能性があります。

DLS.348

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.348 No memory available to create DLS Capex message for *ip_address*.

長構文: DLS.348 An attempt to allocate the memory required to build a Capabilities Exchange message has failed. The message can not be sent to the neighbor at *ip_address*.

説明: ルーターが機能交換メッセージを作成するために必要とする資源を割り振るために使用できる記憶域がありません。機能交換は、この近隣については失敗になります。

DLS.349

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.349 Capex Failed! *ip_address* is not DLSw AIW_V1 compliant.

長構文: DLS.349 Capabilities Exchange has failed with the neighbor at *ip_address*. DLSw processing can not continue. This neighbor is non compliant to DLSw AIW_V1.

説明: DLSw 機能交換管理プログラムは、近隣が DLSw AIW_V1 をサポートする能力がないと判断しました。この近隣の TCP トランスポート接続は打ち切られます。

DLS.350

レベル: C-INFO

短構文: DLS.350 Capex Successful! *ip_address* is DLSw AIW compliant.

長構文: DLS.350 Capabilities Exchange has completed successfully with the neighbor at *ip_address*. DLSw processing can now continue in a DLSw AIW compliant mode.

説明: DLSw 機能交換管理プログラムは、近隣が DLSw AIW をサポートする能力があると判断しました。

DLS.351

レベル: C-INFO

短構文: DLS.351 DLS, SSP msg IFCM *indmsg ackmsg* received from *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.351 DLS, DLS forwarder received a SSP IFCM *indmsg ackmsg* message over TCP connection to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、スイッチ切り替えプロトコル (SSP) メッセージの分離フロー制御メッセージ (IFCM) を受信しました。

DLS.352

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.352 DLS, SSP msg received carrying flow control data. Ptr to SCB is NULL. Xport state: *transport_state*; IP: *remote_ip_addr*

長構文: DLS.352 DLS, SSP msg received carrying flow control data. Ptr to SCB is NULL. Xport state: *transport_state*; IP: *remote_ip_addr*

説明: DLS 状態管理機構は、有効な DLS SCB を予期し、それを必要とするフロー制御データを含む SSP 事象の処理中に、渡された SCB へのポインターが NULL であったことを発見しました。

DLS.353

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.353 DLS, Sender granted units for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap* is less than zero

長構文: DLS.353 DLS, Sender granted units for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap* is less than zero

説明: 送信側が認可している、この回線のサービス・アクセス・ポイント (SAP) の単位が、ゼロより小さい値に減少しました。これはプロトコル違反であり、ルーターがその回線をダウンにしました。

DLS.354

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.354 DLS, Received increment window for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap* when window equal maximum size

長構文: DLS.354 DLS, Received increment window for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap* when window equal maximum size

説明: ウィンドウのサイズが最大サイズであるときに、DLSw が増分ウィンドウ・オペレーターを受信しました。

DLS.355

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.355 DLS, Received decrement window for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap* when window size equal 1

長構文: DLS.355 DLS, Received decrement window for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap* when window size equal 1

説明: ウィンドウのサイズが 1 であるときに、DLSw が減分ウィンドウ・オペレーターを受信しました。

DLS.356

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.356 DLS, Received unrecognized flow control operator for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.356 DLS, Received unrecognized flow control operator for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: 認知されていないフロー制御オペレーターを受信しました。

DLS.357

レベル: C-INFO

短構文: DLS.357 DLS, FCIND *operator* recv'd for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap* tx_grant= *txgrant* tx_window= *txwindow*

長構文: DLS.357 DLS, FCIND *operator* recv'd for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap* tx_grant= *txgrant* tx_window= *txwindow*

説明: ルーターが、分離フロー制御メッセージ (IFCM) または付加フロー制御指示のスイッチ切り替えプロトコル (SSP) メッセージを受信しました。

DLS.358

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.358 DLS, Unexpected flow control acknowledgement rcv'd for *source_mac_address->dest_mac_address*, sap *source_sap->dest_sap*

長構文: DLS.358 DLS, Unexpected flow control acknowledgement rcv'd for *source_mac_address->dest_mac_address*, sap *source_sap->dest_sap*

説明: ルーターが、無効な状態で IFCM または付加フロー制御確認応答を受信しました。

DLS.359

レベル: C-INFO

短構文: DLS.359 DLS, SSP msg IFCM *operator* sent over TCP connection to *ip_address* for *source_mac_address->dest_mac_address*, sap *source_sap->dest_sap*

長構文: DLS.359 DLS, DLS forwarder sent an IFCM SSP message *operator* over TCP connection to *ip_address* for *source_mac_address->dest_mac_address*, sap *source_sap->dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、スイッチ切り替えプロトコル (SSP) メッセージの IFCM を送信しました。

DLS.360

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.360 DLS, Receiver detected granted units exceeded for *source_mac_address->dest_mac_address*, sap *source_sap->dest_sap*

長構文: DLS.360 DLS, Receiver detected granted units exceeded for *source_mac_address->dest_mac_address*, sap *source_sap->dest_sap*

説明: ルーターが SSP_INFOFRAME または SSP_DGRMFRAME を受信しましたが、これが原因で、認可されている単位が超過しています。

DLS.361

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.361 DLS, FCACK expected before end of current window for *source_mac_address->dest_mac_address*, sap *source_sap->dest_sap*

長構文: DLS.361 DLS, Receiver expected flow control ack before end of current window for *source_mac_address->dest_mac_address*, sap *source_sap->dest_sap*

説明: 受信側が、現行ウィンドウの終了前に、フロー制

御確認応答を受け取りませんでした。

DLS.362

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.362 DLS, Receiver attempted to increment window greater than maximum window size for *source_mac_address->dest_mac_address*, sap *source_sap->dest_sap*

長構文: DLS.362 DLS, Receiver attempted to increment window greater than maximum window size for *source_mac_address->dest_mac_address*, sap *source_sap->dest_sap*

説明: 受信側が、ウィンドウを、最大ウィンドウ・サイズより大きくしようとした。

DLS.363

レベル: C-INFO

短構文: DLS.363 DLS, Receiver attempted to decrement window less than minimum window size for *source_mac_address->dest_mac_address*, sap *source_sap->dest_sap*

長構文: DLS.363 DLS, Receiver attempted to decrement window less than minimum window size for *source_mac_address->dest_mac_address*, sap *source_sap->dest_sap*

説明: 受信側が、ウィンドウを、最小ウィンドウ・サイズより小さくしようとした。

DLS.364

レベル: C-INFO

短構文: DLS.364 DLS, MAC cache hit, selecting *ip_address* for *source_mac_address->dest_mac_address*, sap *source_sap->dest_sap*

長構文: DLS.364 DLS, MAC cache hit, selecting *ip_address* for *source_mac_address->dest_mac_address*, sap *source_sap->dest_sap*

説明: MAC キャッシュ内で、この回線の着信先 MAC アドレスに対するエントリを DLSw が見付けました。ルーターは、この回線で、示された IP アドレスを持つパートナーを選択しました。

DLS.365

レベル: C-INFO

短構文: DLS.365 DLS, MAC expl already outstd, queue

exp req for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.365 DLS, MAC explorer already outstanding, queueing the explorer request for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: MAC キャッシュ内で、すでに探索が 1 つ未処理になっているこの回線の着信先 MAC アドレスに対するエントリーを、DLSw が見付けました。ルーターは、この MAC 探索要求を待ち行列に入れ、未処理の探索が完了した時点でそれを処理します。

DLS.366

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.366 DLS, No mem to create exp CB for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.366 DLS, No memory to create explorer control block for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: 記憶域不足状態のために、DLSw が、指定された回線で探索制御ブロックを作成できませんでした。探索は失敗し、ルーターは回線を開始しません。

DLS.367

レベル: C-INFO

短構文: DLS.367 DLS, Creating new MAC cache entry for *target_mac_address*

長構文: DLS.367 DLS, Creating new MAC cache entry for *target_mac_address*

説明: ルーターは、指定された着信先 MAC アドレスに新しいキャッシュ・エントリーを作成します。

DLS.368

レベル: C-INFO

短構文: DLS.368 DLS, Explorer priority wait timer expired for *target_mac_address*

長構文: DLS.368 DLS, Explorer priority wait timer expired for *target_mac_address*

説明: 指定された着信先 MAC アドレスの優先待機タイマーが満了しました。ルーターは、現在、この MAC アドレスで接続できる既知の DLSw パートナーで探索要求に応えようとしています。

DLS.369

レベル: C-INFO

短構文: DLS.369 DLS, MAC explorer satisfied for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.369 DLS, MAC explorer satisfied for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS は、この回線での探索に応じる、パートナー DLSw ルーターを見付けました。

DLS.370

レベル: C-INFO

短構文: DLS.370 DLS, ICANREACH-ex timer expired for *target_mac_address*

長構文: DLS.370 DLS, ICANREACH-ex timer expired for *target_mac_address*

説明: 指定された着信先 MAC アドレスの ICANREACH-ex タイマーが満了しました。ルーターは、現在、この MAC アドレスで接続できる既知の DLSw パートナーで探索要求に応えようとしています。

DLS.371

レベル: C-INFO

短構文: DLS.371 DLS, MAC explorer failed for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.371 DLS, MAC explorer failed for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS は、この回線での MAC 探索に応じるパートナー DLSw ルーターを見付けられませんでした。

DLS.372

レベル: C-INFO

短構文: DLS.372 DLS, Reslvd tmr exp, tgt MAC expl failed for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.372 DLS, Resolved timer expired, target MAC explorer failed for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: 着信先 MAC 探索が、指定された回線で、いずれの DLC からでも DLC_RESOLVED を受信せずに、確立タ

イマーを満了しました。着信先 MAC アドレス探索は失敗でした。

DLS.373

レベル: C-INFO

短構文: DLS.373 DLS, CANUREACH-ex rcvd while exploring for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.373 DLS, CANUREACH-ex received while exploring for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: ルーターが CANUREACH-ex を受信したときは、すでに直前の CANUREACH-ex を処理している最中でした。ルーターはこの新しい CANUREACH-ex 要求を無視しました。

DLS.374

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.374 DLS, No mem to create tgt exp CB for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.374 DLS, No memory to create target explorer control block for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS が、記憶域不足状態があったために、指定された回線で、着信先探索制御ブロックを作成できませんでした。探索は失敗し、ルーターは回線を開始しません。

DLS.375

レベル: C-INFO

短構文: DLS.375 DLS, DLC_RESOLVED not processed, CB not found *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.375 DLS, DLC_RESOLVED not processed, CB not found *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLC が DLC_RESOLVED を送信しました。ルーターは、対応する制御ブロックが見付からなかったために、DLC_RESOLVED を処理できませんでした。この状態は、確立タイマーがすでに満了している場合、または別の DLC からの DLC_RESOLVED がすでに着信先 MAC アドレス探索に応じている場合に起こります。

DLS.376

レベル: C-INFO

短構文: DLS.376 DLS, ICANREACH-ex to *ip_address* sent for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap* lfsiz largest_frame_size

長構文: DLS.376 DLS, ICANREACH-ex to *ip_address* sent for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap* lfsiz largest_frame_size

説明: DLSw は、TCP または UDP を介して、その DLSw ピア (相手) に、ICANREACH_ex SSP メッセージを正常に送り出しました。

DLS.377

レベル: C-INFO

短構文: DLS.377 DLS, Deleting MAC cache entry for *target_mac_address*

長構文: DLS.377 DLS, Deleting MAC cache entry for *target_mac_address*

説明: ルーターが、指定されたアドレスの MAC キャッシュ・エントリーを削除しました。

DLS.378

レベル: C-INFO

短構文: DLS.378 *intfmod*, event *eventname* received for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.378 *intfmod*, event *eventname* received for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS の LLC または APPN インターフェース・モジュールが、DLS から DLC_RESOLVE 事象を受信しました。

DLS.379

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.379 LLC, FAILED pas opn stn, invld sapcb, dst= *Destination*,src= *Source*,dsap= *Dsap*,ssap= *Ssap*

長構文: DLS.379 LLC, FAILED passive open station, invalid sapcb, dst= *Destination*,src= *Source*,dsap= *Dsap*,ssap= *Ssap*

説明: LLC データ・リンク・サービスのステーションの受動オープンが、そのステーションをオープンするための SAP が無効であるために失敗しました。

DLS.380

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.380 LLC, FAILED pass open stn, No memory, dst= *Destination*,src= *Source*,dsap= *Dsap*,ssap= *Ssap*

長構文: DLS.380 LLC, FAILED passive open stn, No memory, dst= *Destination*,src= *Source*,dsap= *Dsap*,ssap= *Ssap*

説明: LLC データ・リンク・サービスのステーションの受動オープンが、接続を管理するための制御ブロックを作成するために使用可能な記憶域がないために失敗しました。

DLS.381

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.381 LLC, FAILED pass open stn, rs= *Reason*, dst= *Destination*,src= *Source*,dsap= *Dsap*,ssap= *Ssap*

長構文: DLS.381 LLC, FAILED passive open stn, rs= *Reason*, dst= *Destination*,src= *Source*,dsap= *Dsap*,ssap= *Ssap*

説明: LLC データ・リンク・サービスのステーションの受動オープンが、LLC 内に何らかの問題があるために失敗しました。理由コードに、具体的な問題が示されています。

DLS.382

レベル: C-INFO

短構文: DLS.382 *intfmod*, event *eventname* received for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

長構文: DLS.382 *intfmod*, event *eventname* received for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

説明: DLS の LLC または APPN インターフェース・モジュールが、DLS から DLC_CS_CONFIRM 事象を受信しました。

DLS.383

レベル: C-INFO

短構文: DLS.383 *intfmod*, event *eventname* rcvd drng exp for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

長構文: DLS.383 *intfmod*, event *eventname* received during exploration for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

説明: DLS の LLC または APPN インターフェース・モジュールが、探索中に、DLS から

DLC_HALT_NOACK 事象を受信しました。

DLS.384

レベル: C-INFO

短構文: DLS.384 *intfmod*, event *eventname* rcvd drg tgt exp for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

長構文: DLS.384 *intfmod*, event *eventname* received during target exploration for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

説明: DLS の LLC または APPN インターフェース・モジュールが、着信側の探索中に、DLS から DLC_HALT_NOACK 事象を受信しました。

DLS.385

レベル: C-INFO

短構文: DLS.385 *intfmod*, event *eventname* received for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

長構文: DLS.385 *intfmod*, event *eventname* received for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

説明: DLS の LLC または APPN インターフェース・モジュールが、DLS から DLC_HALT_NOACK 事象を受信しました。

DLS.386

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.386 *intfmod*, No mem to create LLC/APPN exp CB for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

長構文: DLS.386 *intfmod*, No memory to create LLC/APPN explorer control block for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

説明: 記憶域不足状態のため、LLCIM または APPNIM は、指定された回線に関してエクスプローラー制御ブロックを作成することができませんでした。探索は失敗し、ルーターは回線を開始しません。

DLS.387

レベル: C-INFO

短構文: DLS.387 LLC, Receivd passive open SABME for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

長構文: DLS.387 LLC, Receivd passive open SABME for

source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュールが、ルーターがオープンしなかったステーションの SABME を受信しました。これによって、LLC ステーションが受動オープンしました。

DLS.388

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.388 *intfmod*, No mem to allocate LLC/APPN exp buffer for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.388 *intfmod*, No memory to allocate LLC/APPN explorer buffer for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: 記憶域不足状態のため、LLC または APPN インターフェース・モジュールは、指定された回線に関して検索バッファを割り振ることができませんでした。探索は失敗し、ルーターは回線を開始しません。

DLS.389

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.389 *intfmod*, No mem to create LLC/APPN tgt exp CB for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.389 *intfmod*, No memory to create LLC/APPN target explorer control block for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: 記憶域不足状態のため、LLCIM または APPNIM は、指定された回線に関して着信先検索制御ブロックを作成することができませんでした。探索は失敗し、ルーターは回線を開始しません。

DLS.390

レベル: C-INFO

短構文: DLS.390 LLC, opened stn passive, dst= *Destination*,src= *Source*,dsap= *Dsap*,ssap= *Ssap*

長構文: DLS.390 LLC, opened stn passive, dst= *Destination*,src= *Source*,dsap= *Dsap*,ssap= *Ssap*

説明: LLC データ・リンクのステーションの受動オープンが正常に行われました。

DLS.391

レベル: C-INFO

短構文: DLS.391 LLC, chgd tx wdw frm *old_tx_window* to *new_tx_window* for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.391 LLC, Changed transmit window from *old_tx_window* to *new_tx_window* for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: LLCIM が、PU 2.1 LLC エンド・ステーションから受信した XID-3 の中で要求された受信ウィンドウと一致するように、送信ウィンドウを変更しました。

DLS.392

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.392 LLC, cld nt chg tx wdw frm *old_tx_window* to *new_tx_window* ret= *return_code* for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.392 LLC, Could not change transmit window from *old_tx_window* to *new_tx_window*, return = *return_code* for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: LLCIM は、PU 2.1 LLC エンド・ステーションから受信した XID-3 の中で要求された受信ウィンドウと一致するように、送信ウィンドウを変更することができませんでした。dl_open_station 機能コールが失敗し、指定された戻りコードが出されました。

DLS.393

レベル: C-INFO

短構文: DLS.393 Sent runtime Capex Request to *ip_address*.

長構文: DLS.393 A Runtime Capabilities Exchange Request has been sent to the DLSw neighbor at *ip_address*.

説明: ルーターが、実行時機能交換要求メッセージを DLSw 近隣に送信しました。これは、最初に交換された情報に変更があったために行われました。

DLS.394

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.394 Invalid interface number *interface* in Intf/SAP record with SAP *sap*

長構文: DLS.394 Invalid interface number *interface* in Intf/SAP record with SAP *sap*

説明: DLSw は、始動時に無効な構成パラメーターを検

出しました。DLSw が LLC SAP をオープンするインターフェースが、ルーター上にありません。構成を変更してルーターを再始動してください。

DLS.395

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.395 Invalid intf number *interface* for SDLC station record with link addr *link_address*

長構文: DLS.395 Invalid intf number *interface* for SDLC station record with link addr *link_address*

説明: DLSw は、始動時に無効な構成パラメーターを検出しました。DLSw SDLC リンク・ステーションに指定されたインターフェースが、存在しないか、あるいは SDLC のタイプではありません。構成を変更してルーターを再始動してください。

DLS.396

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.396 Invalid SAP number *sap* in Intf/SAP record for interface *interface*

長構文: DLS.396 Invalid SAP number *sap* in Intf/SAP record for interface *interface*

説明: DLSw は、始動時に無効な構成パラメーターを検出しました。指定されたインターフェース上で DLSw がオープンしようとしている SAP 値が、奇数であるか、許容範囲外の値です。構成を変更して、ルーターを再始動してください。

DLS.397

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.397 Invalid source SAP *sap* in SDLC record for intfc *interface*, addr *link_address*

長構文: DLS.397 Invalid source SAP *sap* in SDLC record for intfc *interface*, addr *link_address*

説明: DLSw が、始動時に、無効な構成パラメーターを検出しました。SDLC リンク・ステーションの発信元 SAP が許容範囲外です。DLSw はこの SDLC リンク・ステーションを追加していません。構成を変更してルーターを再始動してください。

DLS.398

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.398 Invalid TCP receive buffer size *buf_size* for a neighbor or group

長構文: DLS.398 Invalid TCP receive buffer size *buf_size* for a neighbor or group

説明: DLSw は、始動時に無効な構成パラメーターを検出しました。近隣またはグループの受信バッファ・サイズが許容範囲外になっていましたが、DLSw がそれを範囲の限界に最も近い値に調整し、構成レコードをなんとか処理することができました。いずれかの時点で、コンソール情報と比較することによって構成を修正して問題を判別し、ルーターを再始動してください。

DLS.399

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.399 Invalid neighbor priority *priority_value* for neighbor or group record

長構文: DLS.399 Invalid neighbor priority *priority_value* for neighbor or group record

説明: DLSw は、始動時に無効な構成パラメーターを検出しました。近隣の優先度値が許容範囲外の値でしたが、DLSw がそれを範囲の限界に最も近い値に調整し、構成レコードをなんとか処理することができました。コンソール情報と比較することによって構成を修正して問題を判別し、ルーターを再始動してください。

DLS.400

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.400 Invalid priority wait timer *timer_value* (in tenth seconds)

長構文: DLS.400 Invalid priority wait timer *timer_value* (in tenth seconds)

説明: DLSw は、始動時に無効な構成パラメーターを検出しました。優先待機タイマーの値が許容範囲外の値でしたが、DLSw は、それを範囲の限界に最も近い値に調整したので、その調整済みの値を使用します。構成を修正し、ルーターを再始動してください。

DLS.401

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.401 Invalid DLSw session priority *priority_value* for protocol DLSw sessions

長構文: DLS.401 Invalid DLSw session priority *priority_value* for protocol DLSw sessions

説明: DLSw は、始動時に無効な構成パラメーターを検出しました。SNA または NetBIOS のセッション優先順位が許容範囲外ですが、DLSw は、それを範囲の限界に最も近い値に変更したので、その調整済みの値を使用します。構成を修正し、ルーターを再始動してください。

DLS.402

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.402 Invalid session priority frame allocation value *frame_alloc_value*

長構文: DLS.402 Invalid session priority frame allocation value *frame_alloc_value*

説明: DLSw は、始動時に無効な構成パラメーターを検出しました。4つのセッション優先順位の1つで送信されるフレームの数が許容範囲外ですが、DLSw は、それを範囲の限界に最も近い値に変更したので、その調整済みの値を使用します。コンソール情報と比較することによって構成を修正して問題を判別し、ルーターを再始動してください。

DLS.403

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.403 Invalid NetBIOS MTU size *mtu_size*

長構文: DLS.403 Invalid NetBIOS maximum transmission unit size *mtu_size*

説明: DLSw が、始動時に、無効な構成パラメーターを検出しました。NetBIOS MTU サイズが許容範囲外ですが、DLSw は、それを範囲の限界に最も近い値に変更したので、その調整済みの値を使用します。構成を修正し、ルーターを再始動してください。

DLS.404

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.404 SNA SAP configured on interface *interface*, but not SAP 00

長構文: DLS.404 SNA SAP configured on interface *interface*, but not SAP 00

説明: DLSw が、始動時に、無効な構成状態を検出しました。標準の SNA SAP (04、08、または 0C) の1つがインターフェース上でオープンされていますが、SAP 00 が同じインターフェース上でオープンされていません。SAP 00 がオープンになっていないと、SNA データ・リンク・スイッチが作動しません。ルーターは回線確立することができません。DLSw のインターフェースを一時的に使用不可にする予定ではなかった場合には、必要に応じて、SAP 00 をオープンすることによって構成を修正し、ルーターを再始動します。

DLS.405

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.405 Duplicate SDLC source MAC address *interface* detected

長構文: DLS.405 Duplicate SDLC source MAC address *interface* detected

説明: DLSw が、始動時に、無効な構成状態を検出しました。DLSw SDLC 発信元 MAC アドレスが、同一 SDLC インターフェース上あるいは別の SDLC インターフェース上の、ルーター内で重複していました。ルーターでは、発信元 MAC アドレスは1つしか使用が許されておらず、DLSw は最初に出てきたアドレスだけを使用します。構成を修正し、ルーターを再始動してください。

DLS.408

レベル: C-INFO

短構文: DLS.408 DLS, FCACK rcv'd for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap* rx_grant= *rxgrant* rx_window= *rxwindow*

長構文: DLS.408 DLS, FCACK rcv'd for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap* rx_grant= *rxgrant* rx_window= *rxwindow*

説明: ルーターが、IFCM ACK または付加フロー制御確認応答 SSP メッセージを受信しました。

DLS.409

レベル: C-INFO

短構文: DLS.409 DLS, (PacingQ) DGRMFRAME to *ip_address* sent for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.409 DLS, (PacingQ) DGRMFRAME to *ip_address* sent for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS は、DGRMFRAME SSP メッセージを、TCP を介してその DLS ピアに正常に送信しました。

DLS.410

レベル: C-INFO

短構文: DLS.410 DLS, (PacingQ) INFOFRAME to *ip_address* sent for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.410 DLS, (PacingQ) INFOFRAME to *ip_address* sent for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS は、INFOFRAME SSP メッセージを、TCP を介してその DLS ピアに正常に送信しました。

DLS.411

レベル: C-INFO

短構文: DLS.411 DLS, Pool status for *pool* pool is *pstatus*

長構文: DLS.411 DLS, Pool status for *pool* pool is *pstatus*

説明: ルーターは、DLSw バッファ・プールの状況を報告しました。

DLS.412

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.412 DLS, Received invalid window operator for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap* after receiving RESET operator

長構文: DLS.412 DLS, Received invalid window operator for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap* after receiving RESET operator

説明: ルーターは、RESET オペレーターの受信後に、無効なウィンドウ・オペレーターを受信しました。

DLS.413

レベル: C-INFO

短構文: DLS.413 DLS, Pacing task called to process operator for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.413 DLS, Pacing task called to process operator for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: ルーターは、スケジュールされている歩調合せ処置の処理を行うために、歩調合せオペレーター・スケジューラーを呼び出しました。

DLS.414

レベル: C-INFO

短構文: DLS.414 DLS, Receiver *source_mac_address* FCIND for *dest_mac_address-> source_sap*, sap *dest_sap->*

長構文: DLS.414 DLS, Receiver *source_mac_address* FCIND for *dest_mac_address-> source_sap*, sap *dest_sap->*

説明: 歩調合せ回線の受信側は、フロー制御指示の撤回または許可の要求を処理しました。

DLS.415

レベル: C-INFO

短構文: DLS.415 DLS, SSP msg NETBIOS_NQ received from *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.415 DLS forwarder received a SSP NETBIOS_NQ message over TCP connection to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの NETBIOS_NQ メッセージを受信しました。

DLS.416

レベル: C-INFO

短構文: DLS.416 DLS, SSP msg NETBIOS_NR received from *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.416 DLS forwarder received a SSP NETBIOS_NR message over TCP connection to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの NETBIOS_NR メッセージを受信しました。

DLS.417

レベル: C-INFO

短構文: DLS.417 DLS, SSP msg NETBIOS_ANQ received from *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.417 DLS forwarder received a SSP NETBIOS_ANQ message over TCP connection to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの NETBIOS_ANQ メッセージを受信しました。

DLS.418

レベル: C-INFO

短構文: DLS.418 DLS, SSP msg NETBIOS_ANR received from *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.418 DLS forwarder received a SSP NETBIOS_ANR message over TCP connection to *ip_address*

for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*->
dest_sap

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替え
プロトコルの NETBIOS_ANR メッセージを受信しまし
た。

DLS.419

レベル: C-INFO

短構文: DLS.419 DLS, NETBIOS_NQ to *ip_address* sent
for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*->
dest_sap lfsiz largest_frame_size

長構文: DLS.419 DLS, NETBIOS_NQ to *ip_address* sent
for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*->
dest_sap lfsiz largest_frame_size

説明: DLS は、NETBIOS_NQ SSP メッセージを、TCP
を介してその DLS ピアへ正常に送信しました。

DLS.420

レベル: C-INFO

短構文: DLS.420 DLS, NETBIOS_NR to *ip_address* sent
for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*->
dest_sap lfsiz largest_frame_size

長構文: DLS.420 DLS, NETBIOS_NR to *ip_address* sent
for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*->
dest_sap lfsiz largest_frame_size

説明: DLS は、NETBIOS_NR SSP メッセージを、TCP
を介してその DLS ピアへ正常に送信しました。

DLS.421

レベル: C-INFO

短構文: DLS.421 DLS, NETBIOS_ANQ to *ip_address* sent
for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*->
dest_sap

長構文: DLS.421 DLS, NETBIOS_ANQ to *ip_address* sent
for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*->
dest_sap

説明: DLS は、NETBIOS_ANQ SSP メッセージを、TCP
を介してその DLS ピアへ正常に送信しました。

DLS.422

レベル: C-INFO

短構文: DLS.422 DLS, NETBIOS_ANR to *ip_address* sent
for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*->
dest_sap

長構文: DLS.422 DLS, NETBIOS_ANR to *ip_address* sent
for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*->
dest_sap

説明: DLS は、NETBIOS_ANR SSP メッセージを、TCP
を介してその DLS ピアへ正常に送信しました。

DLS.423

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.423 no mem to init NetBIOS DLSw function

長構文: DLS.423 no memory to initialize NetBIOS DLSw
function

説明: NetBIOS DLSw 機能を初期化するために使用可能
な記憶域が不足していました。 ルーターは、セッション
制御ブロックと UI トラフィック・バッファ・プール用
の記憶域を必要としています。

DLS.425

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.425 NetBIOS SSP message received without
reqd DLC header

長構文: DLS.425 NetBIOS SSP message received without
the required DLC header

説明: すべての NetBIOS SSP メッセージには DLC ヘ
ッダーが付いていなければなりません。この SSP メッセ
ージには DLS ヘッダーは付いていませんでしたが、ルー
ターはフレームの処理を続けます。 これは、RFC1795 互
換性の問題を示します。

DLS.426

レベル: C-INFO

短構文: DLS.426 DLS, Learning new NBName-IP assoc
from *IPaddr* for *NBName*

長構文: DLS.426 DLS, Learning new NBName-IP
association from *IPaddr* for *NBName*

説明: DLS は、ピア DLS から受信した SSP メッセ
ージから、新しい NetBIOS 名と IP 関連を確認中です。 こ
れは、一般的に、 NETBIOS_NR メッセージを受信したと
きに発生します。

DLS.427

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.427 LLC, FAILED open NB stn, dst=
Destination,src= *Source*,dsap= *Dsap*,ssap= *Ssap*

長構文: DLS.427 LLC, FAILED open NetBIOS stn, dst=

Destination,src= Source,dsap= Dsap,ssap= Ssap

説明: LLC データ・リンク・サービスの NetBIOS ステーションのオープンが、LLC 内に何らかの問題があったために失敗しました。

DLS.428

レベル: U-INFO

短構文: DLS.428 LLC, NetBIOS UI frame disc (pool cong) for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.428 LLC, NetBIOS UI frame discarded (pool congested) for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: LLC インターフェース・モジュールが、LLC から受け取った NetBIOS UI フレームを廃棄しています。NetBIOS UI フレーム・バッファ・プールが過密状態です。

DLS.429

レベル: C-INFO

短構文: DLS.429 DLS, NetBIOS function is enabled

長構文: DLS.429 DLS, NetBIOS function is enabled

説明: DLSw NetBIOS 機能が使用可能になりました。NetBIOS SAP (0xf0) が少なくとも 1 つのポートで使用可能になると必ずこの状態になります。

DLS.430

レベル: C-INFO

短構文: DLS.430 DLS, NetBIOS function is disabled

長構文: DLS.430 DLS, NetBIOS function is disabled

説明: DLSw NetBIOS 機能が使用不可になりました。NetBIOS SAP (0xf0) がすべてのポートで使用不可になると必ずこの状態になります。

DLS.431

レベル: C-INFO

短構文: DLS.431 DLS, Broadcast CANUREACH-ex unsuccessful for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.431 DLS, Broadcast CANUREACH-ex unsuccessful for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: ルーターが、いずれの DLSw パートナーにも CANUREACH-ex を送信することができませんでした。

適切な状態のトランスポート接続を持つ DLSw パートナーがない、要求された SAP 用の回線をサポートする DLSw パートナーがない、あるいはルーターが CANUREACH-ex を送信するためのバッファを割り振ることができなかった、のいずれかです。

DLS.432

レベル: C-INFO

短構文: DLS.432 *intfmod*, Src SAP not open, DLC_START_DL not proc for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.432 *intfmod*, Source SAP not open, DLS_START_DL not processed for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap*

説明: ルーターは、指定された発信元 SAP がどのネットワーク・インターフェースでもオープンされなかったために、DLC_START_DL 要求を処理できませんでした。

DLS.433

レベル: C-INFO

短構文: DLS.433 DLS, CANUREACH_ex to *ip_address* sent for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap* *lfsize largest_frame_size*

長構文: DLS.433 DLS, CANUREACH_ex to *ip_address* sent for *source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap* *lfsize largest_frame_size*

説明: DLSw は、TCP または UDP を介して、その DLSw ピアに、CANUREACH_ex SSP メッセージを正常に送り出しました。

DLS.434

レベル: C-INFO

短構文: DLS.434 TCP, lsn cplt from *ip_address*, closing existing *cnn*

長構文: DLS.434 TCP, new connect request from neighbor *ip_address*, closing existing connection

説明: リモート DLSw 近隣が、接続しようとしています。この近隣との TCP 接続は、すでに存在しています。この古い TCP 接続は切断されます。この状態が起こるのは、リモート DLSw が再始動するか、リモート通信問題が原因でリモート DLSw が接続をクローズしたのに、ローカル DLSw TCP 接続がまだそれを検出していない場合です。

DLS.435

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.435 TCP, no mem for TCP listen

長構文: DLS.435 TCP, no memory to post a new TCP listen - will retry later

説明: 記憶域が不十分であるために、新規の TCP をlisten 状態に入れることができません。ルーターは、別の TCP を listen 状態に入れる試みを 10 秒間続けます。この間、十分な記憶域が利用可能になるまで、ルーターは新規の TCP 接続を受け付けません。

DLS.436

レベル: C-INFO

短構文: DLS.436 DLS, CANUREACH_cs to *ip_address* sent for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap* lfsiz largest_frame_size

長構文: DLS.436 DLS, CANUREACH_cs to *ip_address* sent for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap* lfsiz largest_frame_size

説明: DLSw は、CANUREACH_cs SSP メッセージを、TCP を介してその DLSw ピアへ正常に送信しました。

DLS.437

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.437 DLS, ICANREACH-cs rcvd with lfsiz frame_size, less than req for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.437 DLS, ICANREACH-cs received with lfsiz frame_size, less than requested for *source_mac_address-> dest_mac_address*, sap *source_sap-> dest_sap*

説明: DLSw 近隣から ICANREACH-cs SSP メッセージを受信しましたが、その中に入っている lfsiz 値が、ルーターが CANUREACH-cs に入れて送ったものより小さい値になっています。これは、近隣 DLSw による DLSw プロトコル違反です。lfsiz 制御フラグが CANUREACH-cs にセットされており、このことは、ルーターが CANUREACH-cs で要求した lfsiz をもつ回線を確立できなければ、近隣は回線のセットアップに失敗することを示しているからです。

DLS.438

レベル: C-INFO

短構文: DLS.438 sdlic trans to sec/nego idle st for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.438 sdlic transition to secondary or negotiable

idle state for address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションは、2 次状態 (つまり、折衝可能なアイドル状態) へ変換中です。

DLS.439

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.439 unexp sdlic test cmd for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.439 unexpected sdlic test cmd for address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションから、予期しない test cmd フレームを受信しました。

DLS.440

レベル: C-INFO

短構文: DLS.440 nego sdlic pu 2 sta; lcl role set prim for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.440 negotiable pu 2 link being set primary for address *link_address* net *network ID*

説明: PU 2 に構成された折衝可能リンクが、1 次リンクに指定変更されている最中です。

DLS.441

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.441 unexp sdlic non-nxid rcv for pu 2 sec dev addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.441 unexpected sdlic non-null xid rcv from primary for addr *link_address* net *network ID*

説明: 指定の 1 次 SDLC リンク・ステーションから、2 次 PU タイプ 2 装置に対して、予期しない XID タイプを受信しました。

DLS.442

レベル: C-INFO

短構文: DLS.442 conn ind rcvd from prim sdlic station addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.442 connection indication received from primary sdlic station address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションから、1 次 SDLC リンク・ステーションが SNRM を送信したという通知を受信しました。

DLS.443

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.443 conn ind rcvd in invld state from sdlc sta to addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.443 connection indication received in invalid state from sdlc station to address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションから、SDLC リンク・ステーションが無効な状態で SNRM を送信したという通知を受信しました。

DLS.444

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.444 unexp sdlc cs_confirm in state *state* for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.444 unexpected sdlc cs_confirm in state *state* for address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションに対する予期しない cs_confirm 事象を受信しました。

DLS.445

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.445 unexp xid rcv from DLS for sdlc pu 2 sec addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.445 unexpected sdlc xid rcv from DLS for sdlc addr *link_address* net *network ID*

説明: DLS レイヤーから、2 次 PU タイプ 2 装置に対する予期しない XID タイプを受信しました。

DLS.446

レベル: C-INFO

短構文: DLS.446 sdlc trans to sec null_xid_pend st for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.446 sdlc transition to secondary null_xid_pend state for address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の 2 次 SDLC リンク・ステーションは、SEC_NULL_XID_PENDING 状態に変換中です。これは、そのステーションが、送信した NULL XID への応答を待っていることを意味しています。

DLS.447

レベル: C-INFO

短構文: DLS.447 sdlc trans to sec contact pnd st for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.447 sdlc transition to secondary contact pending state for address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の 2 次 SDLC リンク・ステーションは、2 次接続保留状態に変換中です。

DLS.448

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.448 unexp rtn code from sdlc dl conn rsp = *rtn_code* for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.448 unexpected return code from sdlc dl connect response = *rtn_code* for address *link_address* net *network ID*

説明: SDLC 接続応答を送信しようとしたときに、DL から予期しない戻りコードが戻されました。

DLS.449

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.449 unexp sdlc contacted_rcv in state *state* for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.449 unexpected sdlc contacted_rcv in state *state* for address *link_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションに対して、予期しない contacted_rcv 事象を受信しました。

DLS.450

レベル: U-INFO

短構文: DLS.450 SDLC, link role secondary, start_dl not honored, for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

長構文: DLS.450 SDLC, link role secondary, start_dl not honored, for *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

説明: SDLC ステーションのリンク役割が 2 次であるために、DLS から SDLC インターフェース・モジュールへの DL 開始要求が受諾されませんでした。これはエラーではありません。これは、SDLC が不平衡プロトコルで、2 次ステーションが 1 次ステーションにポーリングされなければ、アクションへの応答またはアクションの開始ができないために起こります。

DLS.452

レベル: C-INFO

短構文: DLS.452 nego sdlc pu 5 sta; lcl role set prim for addr *link_address* nt *network ID*

長構文: DLS.452 negotiable pu 5 link being set secondary for address *link_address* net *network ID*

説明: PU 5 に構成された折衝可能リンクが、2 次リンクに指定変更中です。

DLS.454

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.454 DLSw disabled no mem for appnim struct

長構文: DLS.454 DLSw forwarder disabled no memory for appnim structures

説明: 必要な APPNIM データ構造を作成するための記憶域が十分になかったため、データ・リンク交換転送機能が使用不可にされました。

DLS.455

レベル: C-INFO

短構文: DLS.455 DLSw, Created a new transport record for neighbor *ip_address*

長構文: DLS.455 DLSw, A new Transport record was created successfully for a previously unknown Neighbor at IP address *ip_address*

説明: 以前は確認不能であった近隣に対して、DLSw が新規制御ブロックを割り振りました。この近隣は、グループ探索またはコンソール定義のいずれかによって確認されました。

DLS.457

レベル: C-INFO

短構文: DLS.457 DLSw, Deleted transport record for Neighbor *ip_address*

長構文: DLS.457 DLSw, A Transport record was deleted successfully for a Neighbor at IP address *ip_address*

説明: 既知の近隣に対する tran_man エントリーを、DLSw が削除しました。このエントリーが削除されたのは、動的近隣の TCP 接続が失われたか、またはコンソールで明示的に削除されたためです。

DLS.458

レベル: C-INFO

短構文: DLS.458 TCP connection to Neighbor *ip_address* has closed!

長構文: DLS.458 The TCP connection to the Neighbor at IP address *ip_address* has closed

説明: DLSw が、近隣への TCP 接続をクローズされました。これは、外部ホストが接続を終了したか、接続が失われたことが原因です。また、TCP 接続がアイドル状態になったときに、非活動近隣終了タイマーが満了したことが原因である場合もあります。

DLS.459

レベル: C-INFO

短構文: DLS.459 DLSw, Adding a Dynamic transport record for Neighbor *ip_address*

長構文: DLS.459 DLSw, A new Dynamic Transport record was added successfully for a previously unknown Neighbor at IP address *ip_address*

説明: 未知の近隣に対して、DLSw が動的トランスポート・エントリーを新規に割り振りました。この近隣は、動的近隣が使用可能になったときに TCP 接続が開始されることによって確認されます。この近隣は、動的近隣 TCP パラメーターを使用して構成されます。

DLS.460

レベル: C-INFO

短構文: DLS.460 Sent Unicast Capex Request to *ip_address*

長構文: DLS.460 A Unicast Capabilities Exchange Request has been sent to the DLSw neighbor at *ip_address*

説明: DLSw UDP インターフェース・モジュールは、DLSw 近隣にユニキャスト機能交換要求メッセージを送信しました。これは、TCP 接続を確立せずに、近隣との情報交換を実現する目的で行われます。受動近隣および受動グループ・メンバーが、このメッセージを送信します。

DLS.461

レベル: C-INFO

短構文: DLS.461 Received Unicast Capex Request from *ip_address*

長構文: DLS.461 A Unicast Capabilities Exchange Request has been received from the DLSw neighbor at *ip_address*

説明: DLSw UDP インターフェース・モジュールが、

DLSw 近隣からユニキャスト機能交換メッセージを受信しました。 構文解析モジュールは、メッセージ・タイプが要求であると判断しました。

DLS.462

レベル: C-INFO

短構文: DLS.462 Sent Unicast Capex Response to *ip_address*

長構文: DLS.462 A Unicast Capabilities Exchange Response has been sent to the DLSw neighbor at *ip_address*

説明: DLSw UDP インターフェース・モジュールは、DLSw 近隣にユニキャスト機能交換応答メッセージを送信しました。 これは、ユニキャスト機能交換要求に対する応答として行われます。

DLS.463

レベル: C-INFO

短構文: DLS.463 Received Unicast Capex Response from *ip_address*

長構文: DLS.463 A Unicast Capabilities Exchange Response has been received from the DLSw neighbor at *ip_address*

説明: DLSw UDP インターフェース・モジュールが、DLSw 近隣からユニキャスト機能交換メッセージを受信しました。 構文解析モジュールは、メッセージ・タイプが応答であると判断しました。

DLS.464

レベル: C-INFO

短構文: DLS.464 ICANREACH-ex rcvd
source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap lfsize largest_frame_size

長構文: DLS.464 ICANREACH-ex received for
source_mac_address-> dest_mac_address, sap source_sap-> dest_sap lfsize largest_frame_size

説明: DLS が指定の回線について ICANREACH-ex を受信しました。

DLS.465

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.465 DLSw disabled no mem for group struct

長構文: DLS.465 DLSw forwarder disabled no memory for group protocol structures

説明: 必要なグループ・プロトコル・データ構造を作成するための記憶域が十分になかったため、データ・リン

ク・スイッチ転送機能が使用不可にされました。

DLS.466

レベル: C-INFO

短構文: DLS.466 DLS, udpim did not create transport control block for *ip_address*

長構文: DLS.466 DLS, udpim did not create transport control block for *ip_address*

説明: DLS UDPIM モジュールが、着信 IP アドレスに関して、トランスポート制御ブロックを作成しませんでした。記憶域の不足、または動的近隣が使用不可であったことが原因である可能性があります。

DLS.467

レベル: C-INFO

短構文: DLS.467 DLS, udpim received an invalid unicast/multicast packet from *ip_address*

長構文: DLS.467 DLS, udpim received an invalid unicast/multicast packet from *ip_address*

説明: DLS UDPIM モジュールが、着信 IP アドレスから、無効なユニキャスト・パケットまたはマルチキャスト・パケットを受信しました。パケットは廃棄されました。

DLS.468

レベル: C-INFO

短構文: DLS.468 DLS, udpim attempted to send an invalid unicast/multicast packet

長構文: DLS.468 DLS, udpim attempted to send an invalid unicast/multicast packet

説明: DLS UDPIM モジュールが、無効なユニキャスト・パケットまたはマルチキャスト・パケットを送信しようとした。パケットは廃棄されました。

DLS.469

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.469 QLLC config error: *error_msg*

長構文: DLS.469 QLLC configuration error: *error_msg*

説明: DLSw QLLC 構成情報に、表示のとおりエラーがあります。DLSw は、無効な情報をスキップして実行を継続します。ユーザーはこの構成を訂正して、ルーターを再始動すれば、この問題を解決できます。

DLS.470

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.470 QLLC init error: *error_msg*

長構文: DLS.470 QLLC initialization error: *error_msg*

説明: DLSw QLLC サポートの初期化の際に、表示のとおりエラーが生じました。これらのエラーは重大で、通常はソフトウェア・サービスを使用して訂正する必要があります。

DLS.471

レベル: C-INFO

短構文: DLS.471 QLLC, *event_id* for intf *interface result_msg*

長構文: DLS.471 QLLC, *event_id* for interface *interface result_msg*

説明: 指定のインターフェースに対して、インターフェース・レベルの事象が発生しました。一般には、これらは DLSw を下位の QLLC プロトコル・レイヤーおよび X.25 プロトコル・レイヤーへリンクし、リンク解除する、通常の事象です。

DLS.472

レベル: C-INFO

短構文: DLS.472 QLLC, *event_id* for *station_id* in state *state more_info*

長構文: DLS.472 QLLC, *event_id* for *station_id* in state *state more_info*

説明: DLS が、DLS の QLLC インターフェース・モジュールに指定の要求を渡しました。これは、通常は DLSw パートナーから受信した SSP メッセージへの応答、または DLS タイマー事象への応答として行われます。

DLS.473

レベル: C-INFO

短構文: DLS.473 QLLC, *event_id* for *station_id* in state *state more_info*

長構文: DLS.473 QLLC, *event_id* for *station_id* in state *state more_info*

説明: QLLC が、DLSw に指定の指示または確認を渡しました。指示とは、非同期事象 (通常、QLLC へのパケットの到着) の通知で、確認とは、DLSw が前に QLLC に出した要求が遅れて成功または失敗したことを報告するものです。

DLS.474

レベル: C-INFO

短構文: DLS.474 QLLC, *event_id* for *station_id* in state *state more_info*

長構文: DLS.474 QLLC, *event_id* for *station_id* in state *state more_info*

説明: DLSw が、指定の要求または応答を QLLC に渡しました。要求とは、QLLC からのサービスを求めるコマンドで、応答とは、QLLC が前に DLSw に与えた指示に対する DLSw の答えです。通常、コマンドの発行後に DLSw に制御が戻ると、続いて要求が記録されるため、QLLC からの戻りコードが ELS メッセージに含まれる場合があることに注意してください。

DLS.475

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.475 QLLC, *event_id* for *station_id* in unexp state *state more_info*

長構文: DLS.475 QLLC, *event_id* for *station_id* in unexpected state *state more_info*

説明: DLSw QLLC インターフェース・モジュールが、予期しない状態において DLS または QLLC から事象の通知を受信しました。このことが正常な動作を妨害しない場合もありますが、妨害した場合はサービスに連絡してください。

DLS.476

レベル: C-INFO

短構文: DLS.476 QLLC, Call Ind from net interface *dte addr dte_address*

長構文: DLS.476 QLLC, Call Indicate from net interface *dte address dte_address*

説明: QLLC が呼び出し要求パケットをネットワークから受信し、DLSw にコールを受け入れる機会を与えています。このメッセージに続いて、DLSw の応答を示す別のメッセージが出るはずです。

DLS.477

レベル: C-INFO

短構文: DLS.477 QLLC, Call from net interface *dte dte_address* refused: *reason*

長構文: DLS.477 QLLC, Call from net interface *dte dte_address* refused: *reason*

説明: QLLC は、表示された理由により着信コールを拒

否しています。DLSw がコールの受信側となっていた場合、これはユーザー構成のエラーを示している場合があります。QLLC を使用する他のもの (例: APPN) がコールの受信側となっていた場合、DLSw がコールを拒否するのは正常です。

DLS.478

レベル: C-INFO

短構文: DLS.478 QLLC, Call accept pend for net *interface* *dte_address*, *call_type*

長構文: DLS.478 QLLC, Call accept pending for net *interface* *dte_address*, *call_type*

説明: QLLC が着信コールの所有権を獲得中で、関連したあて先資源を検索するためにリモート DLSw パートナーに接触を始めています。この検索が正常に行われた場合は、DLSw はその後このコールを完全に受け入れます。*call_type* パラメーターは、このコールが構成済み QLLC 装置から DLSw へのものか、または動的なものかを示します。

DLS.479

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.479 QLLC, role conflict for *station_id*: *reason*

長構文: DLS.479 QLLC, role conflict for *station_id*: *reason*

説明: QLLC リンク・ステーションの役割 (1 次または 2 次) を示す事象が発生し、構成された、または事前に分かっていた情報と矛盾しています。このメッセージの "理由" の部分に、矛盾について正確に記述されています。

DLS.480

レベル: C-INFO

短構文: DLS.480 QLLC, *event_id* for *station_id* in state *state more_info*

長構文: DLS.480 QLLC, *event_id* for *station_id* in state *state more_info*

説明: 他のステーション・レベルのメッセージでは記述できない内部事象が発生しました。これは通常の事象であり、このメッセージの "*event_id*" の部分に記述されています。

DLS.481

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.481 QLLC, *event_id* for *station_id* in state *state more_info*

長構文: DLS.481 QLLC, *event_id* for *station_id* in state *state more_info*

説明: 他のステーション・レベルのメッセージでは記述できないエラー事象が発生しました。これらは、回線の確立に障害を引き起こす可能性のある異常な事象で、サービスに報告する必要があります。

DLS.482

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.482 QLLC, no dest MAC/SAP defined for *station_id*, search aborted

長構文: DLS.482 QLLC, no destination MAC/SAP defined for *station_id*, search aborted

説明: 通常、QLLC ステーション用に定義されたあて先 MAC/SAP への接続を DLSw に探索させ、開始させる事象が発生しました。あて先 MAC/SAP の組みをユーザーが構成していなかったため、このあて先を探索することは不可能です。この事象は無視されます。

DLS.483

レベル: C-INFO

短構文: DLS.483 QLLC, *event_id* rcvd for *source_mac_addr*-> *dest_mac_addr*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

長構文: DLS.483 QLLC, *event_id* received for *source_mac_addr*-> *dest_mac_addr*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

説明: DLS が、DLS の QLLC インターフェース・モジュールに指定の事象を渡しました。

DLS.484

レベル: C-INFO

短構文: DLS.484 DLC, *station_id* mtu reduced *old_mtu* to *new_mtu* per rcvd *XID_xid_format*

長構文: DLS.484 DLC, *station_id* mtu reduced from *old_mtu* to *new_mtu* per received *XID_xid_format*

説明: 指定のステーションから、構成された MTU サイズのフレームの受信をそのステーションが処理できないことを示す SNA XID を、DLSw が受信しました。したがって、DLSw はこのステーションについての有効 MTU サイズを減らします。このメッセージは、DLSw がサポートしている DLC に共通のもので、ステーション ID は関係している DLC のタイプを示しています。

DLS.485

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.485 QLLC, *station_id* automatically disabled by Register Req failure

長構文: DLS.485 QLLC, *station_id* automatically disabled by Register Req failure

説明: DLSw が、構成された PVC を X.25 スタックに登録しようと試みましたが、X.25 はこの要求を拒否しました。この障害がいつまでも繰り返されないように、DLSw はその PVC 定義を自動的に使用不可にします。この問題の原因としては、PVC が X.25 内で構成されていなかったか、構成されていても DLS 以外のプロトコル用の構成であったことが考えられます。X.25 構成を修正して、ルーターを再始動してください。再始動すれば、DLSw 内で PVC を使用不可にしたことは無効になります。

DLS.486

レベル: C-INFO

短構文: DLS.486 QLLC, XID FSM for *station_id: event_id* in xid state *old_state*, role *role*; action= *action*, new state= *new_state*

長構文: DLS.486 QLLC, XID FSM for *station_id: event_id* in xid state *old_state*, role *role*; action= *action*, new state= *new_state*

説明: DLSw QLLC インターフェースは、DLS および QLLC 装置への XID の流れを制御するために XID 状態管理機構を管理しています。このメッセージは、FSM が呼び出されたことを示し、FSM の入出力を表示します。

DLS.487

レベル: C-INFO

短構文: DLS.487 LLC, *frame_type* frame sent, *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

長構文: DLS.487 LLC, *frame_type* frame sent, *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

説明: TEST または XID フレームがチャンネルに正常に送信されました。

DLS.488

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.488 No mem to create LLC address map for Channel mac address *dest_mac_address*

長構文: DLS.488 No mem to create LLC address map for Channel mac address *dest_mac_address*

説明: 記憶域不足状態が原因で、LLCIM は、指定された MAC アドレスに関してアドレス・マップ・エントリーを作成することができませんでした。DLSw は、この MAC アドレスを割り当てられたチャンネルにトラフィックを転送することができません。

DLS.489

レベル: C-INFO

短構文: DLS.489 LLC, *frame_type* frame send failed, *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

長構文: DLS.489 LLC, *frame_type* frame send failed, *source_mac_address*-> *dest_mac_address*, sap *source_sap*-> *dest_sap*

説明: LLC はチャンネルへの TEST フレームまたは XID フレームの送信を正常に行うことができませんでした。この状態が生じるのは、DLSw 構成またはチャンネル構成、あるいはその両方に誤りがある結果である可能性があります。

DLS.490

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.490 DLS Dropping an unsupported SSP version packet received from *ip_addr*!

長構文: DLS.490 DLS Dropping an unsupported SSP version packet received from *ip_addr*!

説明: DLSw 近隣から SSP バージョンのパケットを受信しましたが、サポートされないものであったので、廃棄されました。

DLS.491

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.491 DLSw disabled no mem for MAC list struct

長構文: DLS.491 DLSw forwarder disabled no memory for MAC list structures

説明: 記憶域が不足していて必要な MAC リスト・データ構造が作成できなかったため、データ・リンク・スイ

ッチ転送機能が使用不可にされていました。

DLS.492

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.492 DLS, FAILED to send DATAFRAME to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.492 DLS, FAILED to send DATAFRAME to *ip_address* for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

説明: バッファ不足か、DLSw が DLSw 機能交換 SAP リスト内の発信元 SAP をサポートしないかのいずれかの原因で、DATAFRAME SSP 制御メッセージを送信できませんでした。

DLS.493

レベル: C-INFO

短構文: DLS.493 DLS, Broadcast DATAFRAME sent for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.493 DLS, Broadcast DATAFRAME sent for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

説明: 特定のあて先に関する UI フレームの処理中に、DLS がマルチキャスト UDP を介して同報通信 DATAFRAME を送り出しました。

DLS.494

レベル: C-INFO

短構文: DLS.494 DLS, Broadcast DATAFRAME unsuccessful for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.494 DLS, Broadcast DATAFRAME unsuccessful for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

説明: ルーターはどの DLSw パートナーにも DATAFRAME を送信することができませんでした。トランスポート接続が適正な状態の DLSw パートナー、要求された SAP に関して回線をサポートする DLSw パートナーがなかったか、ルーターが DATAFRAME を送信するためのバッファを割り振ることができなかったか、どちらかです。

DLS.495

レベル: C-INFO

短構文: DLS.495 DLS, Broadcast NETBIOS_NQ_ex sent for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap lfsize largest_frame_size*

長構文: DLS.495 DLS, Broadcast NETBIOS_NQ_ex sent for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap lfsize largest_frame_size*

説明: 特定のあて先に関する UI フレームの処理中に、DLS がマルチキャスト UDP を介して同報通信 NETBIOS_NQ_ex を送り出しました。

DLS.496

レベル: C-INFO

短構文: DLS.496 DLS, Broadcast NETBIOS_ANQ sent for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

長構文: DLS.496 DLS, Broadcast NETBIOS_ANQ sent for *source_mac_address-> dest_mac_address*, *sap source_sap-> dest_sap*

説明: 特定のあて先に関する UI フレームの処理中に、DLS がマルチキャスト UDP を介して同報通信 NETBIOS_ANQ を送り出しました。

DLS.497

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.497 DLSw disabled no mem for circuit priority overrides

長構文: DLS.497 DLSw forwarder disabled no memory for circuit priority overrides

説明: 記憶域が不足していて必要な回線優先順位指定変更構造が作成できなかったため、データ・リンク・スイッチ転送機能が使用不可にされていました。

DLS.498

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.498 DLS, SSP msg rcvd from *ip_address*, *msg_length* too large, frame dropped

長構文: DLS.498 DLS, SSP message received from *ip_address* has a *msg_length* greater than the largest packet size which can be processed. It has been dropped.

説明: DLS 転送機能は、TCP を介してスイッチ間プロトコル・メッセージを受け取りましたが、メッセージの長さが、処理できる最大パケット・サイズを超えていま

す。フレームは廃棄されました。指定の近隣ノードの PACKET-SIZE のシステム設定を検討することが必要です。

DLS.499

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.499 DLSw SDLC link non-switched, SDLC link nt *network ID* switched

長構文: DLS.499 DLSw SDLC link is configured at non-switched, but SDLC link net *network ID* is configured as switched

説明: DLSw が、無効な構成状態を検出しました。DLSw SDLC リンク・ステーションは非交換として構成されています。同じインターフェースで、SDLC が交換として構成されていました。構成を修正し、ルーターを再始動してください。

DLS.500

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.500 DLSw SDLC link switched, SDLC link nt *network ID* non-switched

長構文: DLS.500 DLSw SDLC link is configured at switched, but SDLC link net *network ID* is configured as non-switched

説明: DLSw が、無効な構成状態を検出しました。DLSw SDLC リンク・ステーションは非交換として構成されています。同じインターフェースで、SDLC が交換として構成されていました。構成を修正し、ルーターを再始動してください。

DLS.501

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.501 Invalid interface number *interface* in Interface/SAP List record

長構文: DLS.501 Invalid interface number *interface* in Interface/SAP List record

説明: DLSw は、始動時に無効な構成パラメーターを検出しました。DLSw が LLC SAP リストをオープンするインターフェースが、ルーター上に存在しません。構成を変更して、ルーターを再始動してください。

第27章 デフォルト・ゲートウェイ (DGW)

この章では、デフォルト・ゲートウェイ (DGW) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

DGW.001

レベル: C-INFO

短構文: DGW.001 cfg ent fnd on nt *net_no*

長構文: DGW.001 found a configuration entry for a gateway on net *net_no*

説明: このメッセージが生成されるのは、インターフェースがアップになり、ゲートウェイがインターフェース上に構成されたときです。

DGW.002

レベル: C-INFO

短構文: DGW.002 dgw *gw_ip_address* crtd on nt *net_no*

長構文: DGW.002 created gateway *gw_ip_address* on net *net_no*

説明: このメッセージが生成されるのは、インターフェースがアップになり、デフォルト・ゲートウェイが正常に作成されたときです。

DGW.003

レベル: C-INFO

短構文: DGW.003 sent arp rply on nt *net_no* for *gw_ip_address*

長構文: DGW.003 sent an automatic arp reply for a gateway on net *net_no* for *gw_ip_address*

説明: このメッセージが生成されるのは、ゲートウェイ・コードによって ARP 応答が自動的に送信されたときです。この応答が送信されることで、ブリッジ・ポートはゲートウェイの発信元を確認することができます。

DGW.004

レベル: C-INFO

短構文: DGW.004 activated gw *gw_ip_address* on nt *net_no*

長構文: DGW.004 activated gateway *gw_ip_address* on net *net_no*

説明: このメッセージが生成されるのは、ゲートウェイがインターフェース上で起動されたときです。これで、インターフェースは、ゲートウェイの MAC アドレスお

よび IP アドレスをあて先とするパケットを受信することができますようになります。

DGW.005

レベル: C-INFO

短構文: DGW.005 de-activated gw *net_no* on nt

長構文: DGW.005 de-activated gateway *net_no* on net

説明: このメッセージが生成されるのは、ゲートウェイがインターフェース上で停止されたときです。これで、インターフェースは、ゲートウェイの MAC アドレスおよび IP アドレスをあて先とするパケットを受信することができなくなります。

DGW.006

レベル: C-INFO

短構文: DGW.006 de-activated all gw on nt *net_no*

長構文: DGW.006 de-activated all gateway on net *net_no*

説明: このメッセージが生成されるのは、ゲートウェイがインターフェース上ですべて停止されたときです。これで、インターフェースは、インターフェース上のどのゲートウェイの MAC アドレスおよび IP アドレスをあて先とするパケットも受信することができなくなります。

DGW.007

レベル: C-INFO

短構文: DGW.007 prm gw MAC query on nt *net_no*

長構文: DGW.007 a mac address was found to be a primary gateway on net *net_no*

説明: このメッセージが生成されるのは、別のサブシステムが、MAC アドレスが 1 次ゲートウェイのものであるかどうか判別するために、ゲートウェイに照会したときです。

DGW.008

レベル: C-INFO

短構文: DGW.008 bk gw MAC query on nt *net_no*

長構文: DGW.008 a mac address was found to be a backup gateway on net *net_no*

説明: このメッセージが生成されるのは、別のサブシステムが、MAC アドレスがバックアップ・ゲートウェイのものであるかどうか判別するために、ゲートウェイに照会したときです。

DGW.009

レベル: C-INFO

短構文: DGW.009 gw IP *gw_ip_address* query on nt *net_no*

長構文: DGW.009 an IP address *gw_ip_address* was found to be a gateway on net *net_no*

説明: このメッセージが生成されるのは、別のサブシステムが、IP アドレスがゲートウェイのものであるかどうか判別するために、ゲートウェイに照会したときです。

DGW.010

レベル: C-INFO

短構文: DGW.010 max gws on nt *net_no* reached

長構文: DGW.010 greater than maximum number of gateways configured on net *net_no*

説明: 指定された LEC インターフェース上で、冗長デフォルト・ゲートウェイの最大数を超えるゲートウェイが構成されています。

第28章 ダイアルアウト (DOUT)

この章では、ダイアルアウト (DOUT) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

DOUT.001

レベル: U-INFO

短構文: DOUT.001 Schedule a Listen for TCP open on tcp port *portnum*

長構文: DOUT.001 Schedule a Listen for TCP open on tcp port *portnum*

説明: DIALOUT: 表示されている各ダイアルアウト回線ごとに、Telnet が TCP に登録して、TCP ポート 1000 上でオープン要求を listen します。

DOUT.002

レベル: U-INFO

短構文: DOUT.002 A TCP connection to the telnet modem server has been opened

長構文: DOUT.002 A TCP connection to the telnet modem server has been opened

説明: DIALOUT: Telnet モデム・サーバーへの TCP 接続がオープンされています。次のステップでは、使用可能なバーチャル・ネットがあれば、バーチャル・ネットに登録します。

DOUT.003

レベル: UE-ERROR

短構文: DOUT.003 Initializing telnet queues failed, can't open telnet modem connection

長構文: DOUT.003 Initializing telnet queues failed, can't open telnet modem connection

説明: DIALOUT: tel_qinit() が失敗しました。Telnet モデム・サーバーは、このセッションに対応する待ち行列の初期化を試みました。待ち行列を割り振ることができなかった結果、この試みは失敗しました。

処置: 記憶域不足を生じている場合があるので、記憶域統計をチェックします。このエラーをサービス技術員に報告してください。

DOUT.004

レベル: UE-ERROR

短構文: DOUT.004 Telnet read buffer allocation failed, can't open telnet modem conn

長構文: DOUT.004 Telnet read buffer allocation failed, can't open telnet modem conn

説明: DIALOUT: 読み取りバッファの割り振りができなかった結果、tel_start_init が失敗しました。

処置: 記憶域不足を生じている場合があるので、記憶域統計をチェックします。このエラーをサービス技術員に報告してください。

DOUT.005

レベル: UE-ERROR

短構文: DOUT.005 Telnet couldn't register with a virtual net

長構文: DOUT.005 Telnet couldn't register with a virtual net

説明: Telnet モデム・サーバーは、バーチャル・ネットに登録できませんでした。この理由となる可能性が非常に高いのは、ダイアルアウト回線が構成されている基本ネットがすべて使用中である場合です。

処置: ダイアルアウト回線およびそれに対応する基本ネットが共に使用可能であることを確認した上で、再度試行します。

DOUT.006

レベル: C-INFO

短構文: DOUT.006 Dialout server registered new session with net number *netnum*

長構文: DOUT.006 Dialout server registered new session with net number *netnum*

説明: 新規 Telnet セッションは、バーチャル・ネットに正常に登録されました。この Telnet セッションに到着するデータはすべて、リストされたバーチャル・ネットに送信されます。

DOUT.010

レベル: UE-ERROR

短構文: DOUT.010 Dialout server session closing

長構文: DOUT.010 Dialout server session closing

説明: ダイアルアウト・サーバー・セッションがクローズされました。バーチャル・ネットに登録できなかった結果である可能性が非常に高いと思われます。

処置: ダイアルアウト回線およびそれに対応する基本ネットが共に使用可能であることを確認した上で、再度試行します。

DOUT.011

レベル: C-INFO

短構文: DOUT.011 Dialout server session on net *netnum* closing

長構文: DOUT.011 Dialout server session on net *netnum* closing

説明: ダイアルアウト・サーバー・セッションがクローズされました。クライアントがセッションを終了した結果である可能性が非常に高いと思われます。

DOUT.012

レベル: C-INFO

短構文: DOUT.012 Dialout server rcvd *count* byte(s) from modem on net *netnum*

長構文: DOUT.012 Dialout server rcvd *count* byte(s) from modem on net *netnum*

説明: ダイアルアウト・サーバーが、データ転送状態で、モデムからバイトを受信しました。

DOUT.013

レベル: UE-ERROR

短構文: DOUT.013 Dialout server rcvd packet from modem with errors on net *netnum*

長構文: DOUT.013 Dialout server rcvd packet from modem with errors on net *netnum*

説明: ダイアルアウト・サーバーがモデムからバイトを受信し、パケットにエラーがありました。

処置: このエラーが生じたのは、ネット・ハンドラーまたはドライバーの中の何らかの事象のせいです。監視コンソールで、このネットに関するエラー統計を調べます。問題が続く場合は、この問題をサービス技術員に報告してください。

DOUT.014

レベル: UE-ERROR

短構文: DOUT.014 Dialout server could not xmit packet, net *netnum* was down

長構文: DOUT.014 Dialout server could not xmit packet, net *netnum* was down

説明: ダイアルアウト・サーバーが Telnet からのバイトの送信を試みたが、V34 ハンドラーからの報告により、ネットがダウンしていて、バイトを送信しなかったことが分かりました。

処置: このエラーが生じたのは、ネット・ハンドラーまたはドライバーの中の何らかの事象のせいです。監視コンソールで、このネットに関するエラー統計を調べます。問題が続く場合は、この問題をサービス技術員に報告してください。

DOUT.015

レベル: C-INFO

短構文: DOUT.015 Dialout server received *bytes* data bytes via the *name* interface

長構文: DOUT.015 Dialout server received *bytes* data bytes via the *name* interface

説明: ダイアルアウト・サーバーが、Telnet と DIAL アプリケーションのいずれかを介して、x 個のバイトを受信しました。

処置: 処置は必要なく、通知だけです。

DOUT.016

レベル: UE-ERROR

短構文: DOUT.016 Dialout server could not xmit packet, problem with net *netnum*

長構文: DOUT.016 Dialout server could not xmit packet, problem with net *netnum*

説明: ダイアルアウト・サーバーがパケットの送信を試みたが、ドライバーに何らかのエラーがあったため、送信できませんでした。

処置: このエラーが生じたのは、ネット・ハンドラーまたはドライバーの中の何らかの事象のせいです。監視コンソールで、このネットに関するエラー統計を調べます。問題が続く場合は、この問題をサービス技術員に報告してください。

DOUT.017

レベル: C-INFO

短構文: DOUT.017 Dialout server received a telnet option for *command option* packet

長構文: DOUT.017 Dialout server received a telnet option for *command option* packet

説明: ダイアルアウト・サーバーが Telnet コマンド・オプションを受信しました。

処置: 処置は必要なく、通知だけです。

DOUT.018

レベル: UE-ERROR

短構文: DOUT.018 Dialout server did not receive an end of Suboption

長構文: DOUT.018 Dialout server did not receive an end of Suboption

説明: ダイアルアウト・サーバーが Telnet サブオプション・コマンドを受信したが、サブオプション終了バイトをまったく受信しませんでした。

処置: これは、ダイアルアウト・サーバーの同期が外れる原因になる場合があるエラーです。動作は継続しますが、予期しない結果を伴います。問題が続く場合は、サービス技術員に連絡してください。

DOUT.019

レベル: UE-ERROR

短構文: DOUT.019 Dialout server, net *netnum*, failure during CML init

長構文: DOUT.019 Dialout server, net *netnum*, failure during CML init

説明: *cml_init* 中のエラーのため、ダイアルアウト・サーバーが正しくインストールされませんでした。これは構成の問題である可能性が非常に高いと思われます。

処置: 構成が正しいかどうか確認検査してください。すべてが正しく構成されているという感触を得た場合は、サービス技術員に連絡してください。

DOUT.020

レベル: UE-ERROR

短構文: DOUT.020 Dialout server *timer_type* timer expired, net *netnum* going down

長構文: DOUT.020 Dialout server *timer_type* timer expired, net *netnum* going down

説明: ダイアルアウト・サーバー上のキープアライブ・タイマーと非活動タイマーのいずれかが満了しました。満了したのが非活動タイマーの場合は、構成された時間内に、データが送信または受信されなかったことを意味しています。満了したのがキープアライブ・タイマーの場合は、4 分間というタイムアウト期間中に、ダイアルアウト・クライアントがキープアライブ・パケットを送信しなかったことを意味しています。2 分ごとに送信されるはずのものです。Shiva クライアントが正しく作動しているかどうか確認検査してください。

処置: これがクライアントにとって問題を生じている場合は、非活動タイマーを増やします。キープアライブ・タイマーの満了の場合は、クライアントが正しく動作していることを確認してください。問題が続く場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

DOUT.021

レベル: C-INFO

短構文: DOUT.021 Dialout server received keepalive pkt on net *netnum*

長構文: DOUT.021 Dialout server received keepalive pkt on net *netnum*

説明: 通知 - ネットワーク・インターフェース上でキープアライブ・パケットを受信しました。

処置: 処置は必要なく、通知だけです。

DOUT.022

レベル: C_INFO

短構文: DOUT.022 *buffer*

長構文: DOUT.022 *buffer*

説明: 通知 - 問題が生じる場合は、このメッセージを IBM サービス技術員に報告してください。

処置: 問題に関して、このメッセージをサービス技術員に報告してください。

DOUT.023

レベル: CE_ERROR

短構文: DOUT.023 Dialout server could not xmt *numbytes* bytes from modem to TCP on net *netnum*

長構文: DOUT.023 Dialout server could not xmt *numbytes* bytes from modem to TCP on net *netnum*

説明: エラー - ダイアルアウト・サーバーがモデムから受信したバイトを TCP に送信できませんでした。この理由は、TCP バッファがいっぱいになっており、その結果、ダイアルアウト・サーバーがこのバッファにさら

にデータを書き込むことができないことにあります。ダイヤルアウト・クライアントが遅いか、ネットワークが輻輳 (ふくそう) しているか、またはルーターが重負荷にある結果である可能性が非常に高いと思われます。サービス技術員に連絡して、さらに援助を依頼してください。

処置: 問題に関して、このメッセージをサービス技術員に報告してください。

DOUT.024

レベル: UE_ERROR

短構文: DOUT.024 Could not add modem pool tcp session, maximum number of *num* exceeded

長構文: DOUT.024 Could not add modem pool tcp session, maximum number of *num* exceeded

説明: エラー - 許可されている数より多くのダイヤルアウト・ネットを追加しました。このエラーは、なにも障害を起こしませんが、利用できる数は MAXTNMDMS だけです。この数は、装置内の物理モデムの個数までに制限されています。VL3 プラットフォームの場合、この数は 12 で、VL プラットフォームの場合は、この数は 2 です。

処置: 余分なダイヤルアウト・ネットを削除してください。

第29章 デジタル・ネットワーク・アーキテクチャー・フェーズ IV (DN)

この章では、デジタル・ネットワーク・アーキテクチャー・フェーズ IV (DN) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

DN.001

レベル: UE-ERROR

短構文: DN.001 event 4.0: Aged pkt loss; *source_area*, *source_node* -> *destination_area*, *destination_node*

長構文: DN.001 event 4.0: Aged packet loss; packet from *source_area*, *source_node* to *destination_area*, *destination_node*

説明: 指定されたノード間にわたるルーターを通じて、1つのパケットが行った VISIT の回数が多すぎます。送信側への戻りが要求された場合、パケットは発信元に戻されます。それ以外の場合、そのパケットは除去されます。

原因: ルーターの EXECUTOR MAXIMUM VISITS が小さ過ぎます。

処置: EXECUTOR MAXIMUM VISITS を増やして、ネットワーク内で最も距離の離れた2つのノード間のホップの数が増えるようにします。

原因: 到達不能なノードがあるために、一時的なルーティング・ループがあります。

処置: 問題が継続する場合を除き、訂正処置は必要ありません。ルーティング・ループは、通常、ノードがダウンすると1分以内に解消されます。

DN.002

レベル: CE-ERROR

短構文: DN.002 event 4.1: Node unreach pkt loss; *source_area*, *source_node* -> *destination_area*, *destination_node*, *cir number* *net network_name*

長構文: DN.002 event 4.1: Node unreachable packet loss; packet from *source_area*, *source_node* to *destination_area*, *destination_node*, *circuit number* *network network_name*

説明: 指定されたネットワーク上で、到達不能なあて先へ向けられたパケットが受信されました。送信側への戻りが要求された場合、パケットは発信元に戻されます。それ以外の場合、そのパケットは除去されます。

原因: 発信元が、存在しないノードとのコンタクトを試みています。

処置: 発信元がホスト・アドレスを提供している場合

は、そのアドレスを訂正する必要があります。発信元がホスト名を提供している場合は、アドレス変換へのノード名が古くなっています。発信元(起点)ノードに対して DEFINE NODE "name" ADDRESS コマンドを使用して、永続データベースを訂正します。

原因: ルーティング・データベース内にあて先ノードへのルートがありません。

処置: SHOW ACTIVE NODES を行って、そのあて先ノードが到達可能であるかどうかを確認します。このノードへ到達するために使用できる回線をチェックします。

原因: ルーティング・データベース内にあて先区域へのルートがありません。

処置: SHOW ACTIVE AREA を行って、あて先ノードの区域が到達可能であるかどうかを確認します。このノードへ到達するために使用できる回線をチェックします。

DN.003

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.003 event 4.2: Node out-of-range pkt loss; *source_area*, *source_node* -> *destination_area*, *destination_node*, *cir number* *net network_name*

長構文: DN.003 event 4.2: Node out-of-range packet loss; packet from *source_area*, *source_node* to *destination_area*, *destination_node*, *circuit number* *network network_name*

説明: 指定されたネットワーク上で、ノード・アドレスが EXECUTOR MAXIMUM ADDRESS を超えているパケットが受信されました。送信側への戻りが要求された場合、パケットは発信元に戻されます。それ以外の場合、そのパケットは除去されます。

原因: EXECUTOR MAXIMUM ADDRESS の設定が低過ぎます。

処置: EXECUTOR MAXIMUM ADDRESS の設定を高くします。

原因: あて先ノードの EXECUTOR NODE ADDRESS の設定が高過ぎます。

処置: あて先ノードの EXECUTOR NODE ADDRESS を低くします。

原因: 発信元が、存在せず、なおかつそのアドレスが高過ぎるノードとのコンタクトを試みています。

処置: 発信元がホスト・アドレスを提供している場合は、そのアドレスを訂正する必要があります。発信元がホスト名を提供している場合は、アドレス変換へのノード名が古くなっています。発信元 (起点) ノードに対して `DEFINE NODE "name" ADDRESS` コマンドを使用して、永続データベースを訂正します。

DN.004

レベル: UE-ERROR

短構文: DN.004 event 4.3: Ovsized pkt loss; *source_area*. *source_node* -> *destination_area*. *destination_node*, *cir number* net *network_name*

長構文: DN.004 event 4.3: Oversized packet loss; packet from *source_area*. *source_node* to *destination_area*. *destination_node*, circuit number network *network_name*

説明: そのあて先に対して選択された出力回線のブロック・サイズより大きいパケットが受信されました。パケットは除去されます。

原因: 発信元のホストが、受信側ホストが受け入れられるサイズより大きい EXECUTOR BUFFER SIZE をもっています。

処置: 発信元ホスト上の EXECUTOR BUFFER SIZE を訂正します。

原因: 介入回線に、サイズの小さ過ぎるパケットがあります。

処置: 発信元ホストの EXECUTOR BUFFER SIZE が、最もサイズの小さいパケットを含む回線より小さくなっていることを確認してください。(イーサネットの場合はブロック・サイズが最も小さいため、これは該当しません。)

DN.005

レベル: UE-ERROR

短構文: DN.005 event 4.4: Pkt format err; data packet *source_area*. *source_node* -> *destination_area*. *destination_node*, *cir number* net *network_name*

長構文: DN.005 event 4.4: Packet format error; long data packet from *source_area*. *source_node* to *destination_area*. *destination_node*, circuit number network *network_name*

説明: 指定された回線上で、無効なヘッダー・データを含む長データ・パケットが受信されました。パケットは除去されます。

原因: 発信元またはあて先 ID の最初の 4 バイトが HIORD ではありません。

処置: 送信側ノード内のプログラミング・エラーを訂正するか、データ汚損の原因を突き止めます。

原因: 長データ・パケットの予約済み D-AREA または S-AREA フィールドがゼロではありません。

処置: 送信側ノード内のプログラミング・エラーを訂正するか、データ汚損の原因を突き止めます。

DN.006

レベル: UE-ERROR

短構文: DN.006 event 4.4: Pkt format err; endnode hello from *source_area*. *source_node*, *cir number* net *network_name*

長構文: DN.006 event 4.4: Packet format error; endnode hello message from *source_area*. *source_node*, circuit number network *network_name*

説明: 指定された回線上で、無効なヘッダー・データを含むエンド・ノード・ハロー・メッセージが受信されました。パケットは除去されます。

原因: IINFO フィールド内のノード・タイプがエンド・ノードでないか、ID フィールドの最初の 4 バイトが HIORD ではありません。

処置: 送信側ノード内のプログラミング・エラーを訂正するか、データ汚損の原因を突き止めます。

DN.007

レベル: UE-ERROR

短構文: DN.007 event 4.4: Pkt format err; lvl *router_level* route from *source_area*. *source_node*, *cir number* net *network_name*

長構文: DN.007 event 4.4: Packet format error; level *router_level* routing message from *source_area*. *source_node* circuit number network *network_name*

説明: ルーティング・データ内にフォーマット・エラーがある、レベル 1 または 2 のルーティング・メッセージが受信されました。パケットは除去されます。ルーティング・データ内にエラーがある場合は、そのエラーまでのデータが処理されます。

原因: パケットが、COUNT クレームの数と異なる数の RTGINFO 項目を含んでいる SEGMENT によって終了しました。

処置: 送信側ノード内のプログラミング・エラーを訂正するか、データ汚損の原因を突き止めます。

DN.008

レベル: UE-ERROR

短構文: DN.008 event 4.4: Pkt format err; short pkt from *source_area*. *source_node*, *cir number* net *network_name*

長構文: DN.008 event 4.4: Packet format error; packet too short from *source_area*. *source_node*, *circuit number* network *network_name*

説明: そのヘッダーを含むには短過ぎるパケットが受信されました。パケットは除去されます。

原因: 長データ・パケットが 21 バイトより短い (埋め込みは除く)。

原因: エンド・ノード・ハロー・メッセージが 31 バイトより短い。

原因: エンド・ノード・ハロー・メッセージの長さが、テスト・データ内のバイト・カウントによって示されている量のテスト・データを含むには不十分です。

原因: ルーター・ハロー・メッセージが 27 バイトより短い。

原因: ルーティング・メッセージが 6 バイトより短い。

処置: 送信側ノード内のプログラミング・エラーを訂正するか、データ汚損の原因を突き止めます。

DN.009

レベル: UE-ERROR

短構文: DN.009 event 4.4: Pkt format err; router hello from *source_area*. *source_node* *cir number* net *network_name*

長構文: DN.009 event 4.4: Packet format error; router hello message from *source_area*. *source_node* *circuit number* network *network_name*

説明: 無効なヘッダー・データを含むルーター・ハロー・メッセージが受信されました。パケットは除去されます。

原因: INFO フィールド内のノード・タイプがレベル 1 または 2 のルーターではないか、あるいは ID フィールドの最初の 4 バイトが HIORO ではありません。

処置: 送信側ノード内のプログラミング・エラーを訂正するか、データ汚損の原因を突き止めます。

DN.010

レベル: UE-ERROR

短構文: DN.010 event 4.4: Pkt format err; unkn typ, *cir number* net *network_name*, *hdr first 21 bytes*

長構文: DN.010 event 4.4: Packet format error; unknown

type, *circuit number* network *network_name*, *header first 21 bytes*

説明: 無効なフラグ・フィールドまたはサポートされていないフラグ・フィールドを含むパケットが受信されました。ヘッダーの最初の 21 バイトがダンプされています。

原因: メッセージの最初のバイトが、長データ・パケット、エンド・ノード・ハロー、ルーター・ハロー、レベル 1 ルーティング、またはレベル 2 ルーティングのいずれでもありません。

処置: 送信側ノード内のプログラミング・エラーを訂正するか、データ汚損の原因を突き止めます。

DN.012

レベル: UE-ERROR

短構文: DN.012 event 4.4: Pkt format err; vers skew, flags *FLAGS*, *cir number* net *network_name*

長構文: DN.012 event 4.4: Packet format error; version skew in long data packet, flags *FLAGS*, *circuit number* network *network_name*

説明: フラグ・フィールド内にバージョン・ビットが設定されている長形式データ・パケットが受信されました。パケットは除去されます。

原因: 送信側ノード内のプログラミング・エラーまたはデータ汚損。

DN.013

レベル: CI-ERROR

短構文: DN.013 event 4.5: Part rting upd loss; area *area_number* from *source_area*. *source_node*, *cir number* net *network_name*

長構文: DN.013 event 4.5: Partial routing update loss; area *area_number* in level 2 routing message from *source_area*. *source_node*, *circuit number* network *network_name*

説明: レベル 2 ルーティング・メッセージに、このルーターの EXECUTOR MAXIMUM AREA より高い区域への到達可能ルートが含まれていました。最も高い到達可能区域だけがログに記録されます。到達不能 (無限コスト) 区域へのルートについては、問題にされていません。

原因: このルーターの EXECUTOR MAXIMUM AREA が、ネットワーク内で最も高い到達可能区域より低い。

処置: EXECUTOR MAXIMUM AREA を訂正するか、誤りのある区域の区域番号を変更します。

DN.014

レベル: CI-ERROR

短構文: DN.014 event 4.5: Part rting upd loss; node *node_number* from *source_area*. *source_node*, *cir number* net *network_name*

長構文: DN.014 event 4.5: Partial routing update loss; node *node_number* in level 1 routing message from *source_area*. *source_node*, *circuit number* network *network_name*

説明: レベル 1 ルーティング・メッセージに、このルーターの EXECUTOR MAXIMUM ADDRESS より高いノードへの到達可能ルートが含まれていました。最も高い到達可能ノードだけがログに記録されます。到達不能 (無限コスト) ノードへのルートについては、問題にされていません。

原因: このルーターの EXECUTOR MAXIMUM ADDRESS が、ネットワーク内で最も高い到達可能ノードより低い。

処置: EXECUTOR MAXIMUM ADDRESS を訂正するか、誤りのあるノードのノード番号を変更します。

DN.015

レベル: UE-ERROR

短構文: DN.015 event 4.11: Init fail; inval data from *source_area*. *source_node* *cir number* net *network_name*

長構文: DN.015 event 4.11: Initialization failure, line fault; adjacent node listener received invalid data from node *source_area*. *source_node* *circuit number* network *network_name*

説明: エンド・ノード・ハロー・メッセージ内の (任意選択) テスト・データが、予期されていたテスト・パターンの 252 (8 進数) と異なっており、有効ではありませんでした。隣接は受け入れられません。

原因: ネットワーク上のデータ汚損

DN.016

レベル: UE-ERROR

短構文: DN.016 event 4.13: Init fail; endnode *source_area*. *source_node* out of range, *cir number* net *network_name*

長構文: DN.016 event 4.13: Initialization failure, operator initiated; adjacent endnode *source_area*. *source_node* out of range, *circuit number* network *network_name*

説明: 指定されたノードからエンド・ノード・ハロー・メッセージが受信されましたが、そのノードのアドレスが、EXECUTOR MAXIMUM ADDRESS を超えています。隣接は行われません。

原因: エンド・ノードのノード・アドレスが高過ぎます。

処置: エンド・ノード・ノード・アドレスを訂正します。

原因: ルーターの EXECUTOR MAXIMUM ADDRESS が低過ぎます。

処置: ルーターの EXECUTOR MAXIMUM ADDRESS を高くします。

DN.017

レベル: UE-ERROR

短構文: DN.017 event 4.13: Init fail; router *area*. *node* out of range, *cir number* net *network_name*

長構文: DN.017 event 4.13: Initialization failure, operator initiated; adjacent router *area*. *node* out of range, *circuit number* network *network_name*

説明: 指定されたノードからルーター・ハロー・メッセージが受信されましたが、そのノードのアドレスに問題があります。そのノード・アドレスが EXECUTOR MAXIMUM ADDRESS を超えている、区域アドレスが EXECUTOR MAXIMUM AREA を超えている、あるいはそのノードまたは区域の番号がゼロです。隣接は行われません。

原因: 発信元ルーターのノード・アドレスが高過ぎます。

処置: 発信元ルーターのノード・アドレスを訂正します。

原因: このルーターの EXECUTOR MAXIMUM ADDRESS が低過ぎます。

処置: このルーターの EXECUTOR MAXIMUM ADDRESS を高くします。

原因: 発信元ルーターの区域アドレスが高過ぎます。

処置: 発信元ルーターの区域アドレスを訂正します。

原因: このルーターの EXECUTOR MAXIMUM AREA が低過ぎます。

処置: このルーターの EXECUTOR MAXIMUM AREA を高くします。

原因: リモート・ルーターがノードまたは区域 0 を使用しています。

処置: リモート・ノード上のプログラミング・エラーを訂正します。

DN.018

レベル: UE-ERROR

短構文: DN.018 event 4.13: Init fail; blk sz size too sm
frm *area. node*, cir number net *network_name*

長構文: DN.018 event 4.13: Initialization failure, operator
initiated; adjacent node block size size too small from router
area. node, circuit number network *network_name*

説明: ルーター・ハローが提供しているブロック・サイ
ズが、区域のルーティングをサポートするには小さ過ぎ
ます。ブロック・サイズは、63 個の区域をすべて含むレ
ベル 2 ルーティング・メッセージを受信することができ
る大きさでなければなりません。隣接は拒否されます。

原因: 隣接ルーターに 80 より小さいブロック・サイ
ズがあります。

処置: 隣接ルーター上のブロック・サイズを訂正し
ます。

原因: 隣接ルーター内のソフトウェア・エラー

処置: ソフトウェア・エラーを訂正します。

原因: 回線エラーがデータ汚損の原因となっています。

処置: ネットワーク・エラー・カウンターを調べます。

DN.019

レベル: UE-ERROR

短構文: DN.019 event 4.13: Init fail; vers skew
(*Version_number. ECO_number. user_ECO_number*) node
area. node, cir number net *network_name*

長構文: DN.019 event 4.13: Initialization failure; version
skew (*Version_number. ECO_number. user_ECO_number*)
node *area. node*, cir number net *network_name*

説明: バージョン番号が 2.0.0 より低いルーティング・
レイヤーを含むルーター・ハロー・メッセージが受信さ
れました。隣接は行われません。(2.0.0 より以降のバー
ジョン番号を含むメッセージは、DECnet の指定により、
通知なしに除去されています。)

原因: フェーズ III ルーターとの隣接を行う試みが行わ
れました。

処置: フェーズ III ルーターとの隣接はサポートされて
いません。ネットワークを再構成します。

DN.020

レベル: U-INFO

短構文: DN.020 event 4.14: Node reach change; node *area*.
node reachable

長構文: DN.020 event 4.14: Node reachability change; node
area. node reachable

説明: 指定されたノードが、そのノードとのエンド・ノ
ード隣接により、あるいは、レベル 1 ルーティング・メ
ッセージに組み込まれていることによって、現在到達可
能となっています。

DN.021

レベル: U-INFO

短構文: DN.021 event 4.14: Node reach change; node *area*.
node unreachable

長構文: DN.021 event 4.14: Node reachability change; node
area. node unreachable

説明: 指定されたノードが現在到達不能です。

原因: ダウンになっているノードへの回線があります。

処置: 以前のメッセージが回線ダウン (事象 5.0) であ
ったかどうかを確認します。

原因: エンド・ノード隣接がダウンになっています。

処置: 以前のメッセージが隣接ダウン (事象 4.18) であ
ったかどうかを確認します。ノードのダウン、またはそ
の機械上のネットワーク接続の障害が原因の可能性があ
ります。

原因: 介入ノードがダウンになっています。

処置: 必要なルーターが到達可能であるかどうかを確認
します。

原因: ノードがダウンになっています。

処置: ノードがアップになっているかどうかを確認す
る。

原因: ノードへのコストが EXECUTOR MAXIMUM
COST を超えている。

処置: ネットワークをスパンするために、EXECUTOR
MAXIMUM COST の大きさが十分であるかどうかを調べ
ます。

原因: ノードへのコストが EXECUTOR MAXIMUM
HOPS を超えています。

処置: ネットワークをスパンするために、EXECUTOR
MAXIMUM HOPS の大きさが十分であるかどうかを調べ
ます。

DN.022

レベル: C-INFO

短構文: DN.022 event 4.15: Adj up; new endnode *area*.
node cir number net *network_name*

長構文: DN.022 event 4.15: Adjacency up; new endnode *area. node circuit number network network_name*

説明: 指定されたネットワーク上で、現在、指定されたエンド・ノードとの隣接が行われています。

原因: 有効なエンド・ノード・ハロー・メッセージが受信されました。

DN.023

レベル: C-INFO

短構文: DN.023 event 4.15: Adj up; new router *area. node cir number net network_name*

長構文: DN.023 event 4.15: Adjacency up; new router *area. node circuit number network network_name*

説明: 直接接続ネットワークの 1 つで、現在、指定されたルーターとの隣接が行われています。 レベル 1 (および 2) ルーティング・メッセージが、このノードから受け入れられるようになります。

原因: R/S-LIST 内にこのルーターのノード ID を含む、有効なルーター・ハロー・メッセージが受信されました。

DN.024

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.024 event 4.16: Adj rej; table full for endnode *area. node, cir number net network_name*

長構文: DN.024 event 4.16: Adjacency rejected; table too full for endnode *area. node, circuit number network network_name*

説明: エンド・ノード・ハロー・メッセージが新しいエンド・ノードから受信されましたが、エンド・ノード隣接の数が多過ぎて、テーブルがいっぱいになっています。 別のエンド・ノード隣接がタイムアウトになるまでは隣接は行われません。

原因: このルーターへの隣接を持つエンド・ノードが、EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST NONROUTERS より多い。

処置: EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST NONROUTERS の値を大きくします。

DN.025

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.025 event 4.16: Adj rej; table full for rtr *source, cir number net network_name*

長構文: DN.025 event 4.16: Adjacency rejected; table too full for router *source, circuit number network network_name*

説明: ルーター・ハロー・メッセージが新しいルーターから受信されましたが、ルーター隣接の数が多過ぎて、テーブルがいっぱいになっています。 別のルーター隣接がタイムアウトになるまでは隣接は行われません。隣接がないために、このルーターからのルートは受け入れられません。

原因: このルーターへの隣接を持つエンド・ノードが、EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST ROUTERS より多い。

処置: EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST ROUTERS の値を大きくします。

DN.026

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.026 event 4.16: Adj rej; too many rtrs for node *source, cir number net network_name*

長構文: DN.026 event 4.16: Adjacency rejected; too many routers for node *source, circuit number network network_name*

説明: 指定された回線上で、ルーター・ハロー・メッセージが新しいルーターから受信されましたが、この回線上のルーター隣接の数が多過ぎて、テーブルがいっぱいになっています。 この回線上の別のルーター隣接がタイムアウトになるまでは隣接は行われません。隣接がないために、このルーターからのルートは受け入れられません。

原因: このルーターへの隣接を持つエンド・ノードが、CIRCUIT MAXIMUM ROUTERS より多い。

処置: CIRCUIT MAXIMUM ROUTERS の値を大きくします。

DN.027

レベル: U-INFO

短構文: DN.027 event 4.17: Area reach change; area *area* reachable

長構文: DN.027 event 4.17: Area reachability change; area *area* reachable

説明: 指定された区域が、レベル 2 ルーティング・メッセージに組み込まれているために、現在到達可能となっています。

DN.028

レベル: U-INFO

短構文: DN.028 event 4.17: Area reach change; area *area* unreachable

長構文: DN.028 event 4.17: Area reachability change; area *area* unreachable

説明: 回線がダウン状態になっている、ルーター隣接がタイムアウトとなっている、エンド・ノード隣接がタイムアウトとなっている、そのノードへのコストが EXECUTOR MAXIMUM COST を超えている、のいずれかの原因で、指定された区域が現在到達不能となっています。現在到達不能となっています。直前のメッセージがその原因を示しているはずです。

原因: その区域への回線がダウンしています。

処置: 以前のメッセージが回線ダウン (事象 5.0) であったかどうかを確認します。

原因: 隣接ルーターがダウンになっています。

処置: その区域へのルーターに関し、前のメッセージが隣接ダウン (事象 4.18) であったかどうかを確認します。

原因: 介入ルーターがダウンになっています。

処置: 必要なルーターが到達可能であるかどうかを確認します。

原因: その区域へのコストが EXECUTOR AREA MAXIMUM COST を超えています。

処置: ネットワークをスパンするために、EXECUTOR AREA MAXIMUM COST の大きさが十分であるかどうかを調べます。

原因: 区域へのホップが、EXECUTOR AREA MAXIMUM HOPS を超えています。

処置: ネットワークをスパンするために、EXECUTOR AREA MAXIMUM HOPS の大きさが十分であるかどうかを調べます。

DN.029

レベル: UE-ERROR

短構文: DN.029 event 4.18: Adj dwn; invalid data from *area. node* *cir number net network_name*

長構文: DN.029 event 4.18: Adjacency down, line fault; adjacent node listener received invalid data from node *area. node* *circuit number network network_name*

説明: エンド・ノード・ハロー・メッセージ内の (任意選択) テスト・データが、予期されていたテスト・パターンの 252 (8 進数) と異なっており、有効ではありませんでした。隣接は、ダウンとなります。

原因: ネットワーク上のデータ汚損、またはリモート・ノード内のソフトウェア・エラー

DN.030

レベル: UE-ERROR

短構文: DN.030 event 4.18: Adj dwn: node *area. node* *chng to endnode, cir number net network_name*

長構文: DN.030 event 4.18: Adjacency down: node *area. node* *changed to endnode, circuit number network network_name*

説明: エンド・ノード・ハロー・メッセージが、前にルーター隣接であったノードから受信されました。現在あるルーター隣接はダウンとなり、エンド・ノード隣接が行われます。

原因: これは、隣接ノードのタイプの変更が早過ぎる場合に起こります。

処置: ノード・タイプは、最初にそれをダウンしてからでなければ変更してはなりません。

原因: タイプの異なる 2 台のノードが同じアドレスを持っています。

処置: ノードの ID が固有であることを確認します。

DN.031

レベル: UE-ERROR

短構文: DN.031 event 4.18: Adj dwn: router *area. node* *chng type, cir number net network_name*

長構文: DN.031 event 4.18: Adjacency down: router *area. node* *changed type, cir number net network_name*

説明: あるノードからルーター・ハロー・メッセージが受信されましたが、そのノードの既存の隣接が他のタイプのルーター (レベル 1 または レベル 2) 用のものです。現在あるルーター隣接はダウンとなり、新しいルーター隣接が行われます。

原因: 隣接ノードのタイプが即時に変更されました。

処置: ノード・タイプは、最初にそれをダウンしてからでなければ変更してはなりません。

原因: タイプの異なる 2 台のノードが同じアドレスを持っています。

処置: ノードの ID が固有であることを確認します。

DN.032

レベル: C-INFO

短構文: DN.032 event 4.18: Adj dwn; *cir number net network_name* down to node *area. node*

長構文: DN.032 event 4.18: Adjacency down; circuit *number network network_name* down to node *area. node*

説明: 指定された隣接がダウンとなっています。この隣接を通るすべてのルートは削除されます。

原因: 関連の回線がダウンとなっています。

処置: 以前のメッセージが回線ダウン (事象 5.0) であったかどうかを確認します。

原因: 優先順位の高いルーターからルーター・ハロー・メッセージが受信されました。

処置: 以前のメッセージが隣接拒否 (事象 4.16) であったかどうかを確認します。

DN.033

レベル: C-INFO

短構文: DN.033 event 4.18: Adj dwn; node *area. node*, *cir number net network_name* timed out

長構文: DN.033 event 4.18: Adjacency down; node *area. node*, circuit *number network network_name* timed out

説明: 隣接内のルーター・ハロー・メッセージ内に示されているハロー・タイム (隣接の CIRCUIT HELLO TIMER) の 3 倍の時間、隣接からルーター・ハロー・メッセージが来なかったために、指定された隣接がダウンしました。この隣接を通るすべてのルートは削除されます。

原因: ノードがダウンになっています。

処置: ノードの状況をチェックします。

原因: ノードがネットワークから切断されています。

処置: ノード上の回線および伝送路の状況をチェックします。

DN.034

レベル: UE-ERROR

短構文: DN.034 event 4.18: Adj dwn; lvl 1 route from *area. node*, *cir number net network_name*, *cksum received_checksum*, *expct correct_checksum*

長構文: DN.034 event 4.18: Adjacency down; lvl 1 route from *area. node*, circuit *number network network_name*, checksum *received_checksum*, expected *correct_checksum*

説明: 無効なチェックサムを含むレベル 1 ルーティング・メッセージが受信されました。そのパケットは除去され、ルーターとの隣接はダウンになります。

原因: データ汚損エラー

処置: ネットワーク・エラー・カウンターをチェックします。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

処置: エラーが特定のノードからの場合に決まって起こるのかを調べます。

DN.035

レベル: UE-ERROR

短構文: DN.035 event 4.18: Adj dwn; lvl 2 route from *area. node*, *cir number net network_name*, *cksum received_checksum*, *expct correct_checksum*

長構文: DN.035 event 4.18: Adjacency down; lvl 2 route from *area. node*, circuit *number network network_name*, checksum *received_checksum*, expected *correct_checksum*

説明: 無効なチェックサムを含むレベル 2 ルーティング・メッセージが受信されました。そのパケットは除去され、ルーターとの隣接はダウンになります。

原因: データ汚損エラー

処置: ネットワーク・エラー・カウンターをチェックします。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

処置: エラーが特定のノードからの場合に決まって起こるのかを調べます。

DN.036

レベル: C-INFO

短構文: DN.036 event 4.19: Adj dwn; dropped by rtr *area. node*, *cir number net network_name*

長構文: DN.036 event 4.19: Adjacency down, operator initiated: dropped by router *area. node*, circuit *number network network_name*

説明: こちらと隣接を持っているルーターからルーター・ハロー・メッセージが受信されましたが、そのメッセージのルーター状態リスト内にこちら側のアドレスが含まれていません。隣接はダウンとなり、こちら側のアドレスがそのルーター状態リストに入れられるまでアップしません。

原因: 隣接ルーターが再始動しました。

原因: 単方向通信。すなわち、このルーターは隣接ルーターからのパケットを受信できるが、隣接ルーターはこのルーターからパケットを受信できません。

処置: 回線上に両方向通信があることを確認します。

DN.037

レベル: U-INFO

短構文: DN.037 event 5.0: Circ dwn; *cir number net network_name*

長構文: DN.037 event 5.0: Circuit down; cir *number* net *network_name*

説明: 回線がダウンしました。この回線を経由するすべての隣接はダウンとなります。

原因: 自己検査の失敗

処置: 自己検査エラー・メッセージを探し、インターフェースの状況をチェックします。

原因: CGWCON を通じて、SET CIRCUIT STATE OFF コマンドによって、あるいは SET EXECUTOR STATE OFF コマンドによって、回線が使用不可にされました。

DN.038

レベル: U-INFO

短構文: DN.038 event 5.0: Circ up; cir *number* net *network_name*

長構文: DN.038 event 5.0: Circuit up; cir *number* net *network_name*

説明: CGWCON を通じて回線が使用可能にされた、自己検査が成功した、NCP SET CIRCUIT STATE ON コマンドまたは NCP SET EXECUTOR STATE ON コマンドが使用された、のいずれかによって回線がアップ状態となりました。ルーターは、その回線上でルーター・ハローを送信して始動します。

DN.039

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.039 event 5.14: Send fail; rsn *reason_code*, *source* -> *destination* cir *number* net *network_name*

長構文: DN.039 event 5.14: Send failure on line; reason *reason_code*, packet from *source* to *destination* cir *number* net *network_name*

説明: 転送するパケットの送信が失敗しました。*reason_code* は、障害の内部エラー・コードです。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、*network_name* を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたは不正な同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去されました (理由コード 4)

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

DN.040

レベル: P-TRACE

短構文: DN.040 *source* -> *destination*

長構文: DN.040 Forwarding packet from *source* to *destination*

説明: あるノードから別のノードにパケットを転送中です。

DN.041

レベル: P-TRACE

短構文: DN.041 MOP Req ID pkt rcvd frm *MAC_address* cir *number* net *network_name*

長構文: DN.041 MOP Request ID packet received from node *MAC_address* circuit *number* network *network_name*

説明: DECnet 保守操作プロトコル MOP 要求システム ID パケットが、指定されたノードから受信されました。MOP システム ID パケットは、リクエスターのアドレスに送信されます。

DN.042

レベル: P-TRACE

短構文: DN.042 MOP Sys ID pkt rcvd frm *MAC_address* cir *number* net *network_name*

長構文: DN.042 MOP System ID packet received from node *MAC_address* circuit *number* network *network_name*

説明: DECnet MOP システム ID パケットが、指定されたノードから受信されました。

DN.043

レベル: UE-ERROR

短構文: DN.043 MOP pkt rcvd unk opc *opcode* frm *MAC_address* cir *number* net *network_name*

長構文: DN.043 MOP packet received unknown opcode *opcode* from node *MAC_address* cir *number* net *network_name*

説明: サポートされていない *opcode* を含む DECnet MOP (保守操作プロトコル) パケットが、指定されたノードから受信されました。パケットは無視されます。

原因: リモート・ノード上のプログラミング・エラー

原因: データ汚損

DN.045

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.045 acc cnt bad rec, cir *number* net *network_name*, purge

長構文: DN.045 Access control bad SRAM record, circuit *number* network *network_name*, purge

説明: この回線の永続データベース内に、障害のあるアクセス制御レコードがあります。

処置: PURGE MODULE ACCESS CONTROL CIRCUIT を実行します。

DN.046

レベル: C-INFO

短構文: DN.046 acc cont fail *source* -> *destination* cir *number* net *network_name*

長構文: DN.046 Access control failed, packet from *source* to *destination* circuit *number* network *network_name*

説明: アクセス制御の制限のために、2 つのホスト間でパケットが転送されませんでした。ヘッダー内に「送信側への戻り要求」が設定されている場合、パケットは送信側に戻りますが、そうでなければそのパケットは除去されます。

原因: ユーザーのホストへのコンタクトの試みがアクセス制御によって制限されています。

DN.047

レベル: C-INFO

短構文: DN.047 desig router chng frm *old_router* to *new_router*, cir *number* net *network_name*

長構文: DN.047 Designated router changed from *old_router* to *new_router*, circuit *number* network *network_name*

説明: この回線の指定ルーターが変更されました。

原因: 回線上で優先順位の高いルーターとの新しいルーター隣接、または同じルーター優先順位で、高いノード・アドレス

DN.048

レベル: C-INFO

短構文: DN.048 desig router *address* select, cir *number* net *network_name*

長構文: DN.048 Designated router *address* selected, circuit *number* network *network_name*

説明: 以前には指定ルーターがなかった回線に、現在指定ルーターがあります。

DN.049

レベル: P-TRACE

短構文: DN.049 endnode hello len *packet_length* from *node*, cir *number* net *network_name*

長構文: DN.049 endnode hello length *packet_length* from *node*, circuit *number* network *network_name*

説明: 指定されたエンド・ノードからエンド・ノード・ハロー・メッセージが受信されました。

DN.050

レベル: ALWAYS

短構文: DN.050 executor node address *area*. *node* exceeds MAX ADDRESS *max_address*

長構文: DN.050 executor node address *area*. *node* exceeds EXECUTOR MAX ADDRESS *max_address*

説明: 永続データベース内に格納されている EXECUTOR ADDRESS が、その永続データベース内に格納されている EXECUTOR MAXIMUM ADDRESS を超えています。DECnet は停止されますが、データベースは割り振られます。

処置: EXECUTOR ADDRESS または EXECUTOR MAX ADDRESS のいずれかを訂正します。

DN.051

レベル: ALWAYS

短構文: DN.051 executor node address *area*. *node* exceeds MAX AREA *max_node*

長構文: DN.051 executor node address *area*. *node* exceeds EXECUTOR MAX AREA *max_node*

説明: 永続データベース内に格納されている EXECUTOR ADDRESS の区域が、その永続データベース内に格納されている EXECUTOR MAXIMUM AREA を超えています。DECnet は停止されますが、データベースは割り振られます。

処置: EXECUTOR ADDRESS または EXECUTOR MAX AREA のいずれかを訂正します。

DN.053

レベル: CI-ERROR

短構文: DN.053 inp que overflow data *source* -> *destination*
cir *number* net *network_name*

長構文: DN.053 Input queue overflow data packet from
source to *destination* circuit *number* network *network_name*

説明: 着信長形式データ・パケットの DECnet 入力待ち
行列がオーバーフローしました。パケットは除去されま
す。

原因: トラフィックが多すぎて、転送機能が転送できま
せん。

処置: パスとパスの間のトラフィックのバランスをとる
ように、回線コストを調整します。ネットワークを再構
成してください。ルーターの速度を上げてください。

原因: バッファ資源が不十分です。

処置: GWCON 内の記憶域統計を調べてください。
DECnet 構成に余分な隣接記憶域が割り振られないよう
にすれば、利用可能なバッファの量を多くすることがで
きます。

処置: 記憶域の量を増やしてください。

DN.054

レベル: CI-ERROR

短構文: DN.054 inp que overflow multicast from *source* cir
number net *network_name*

長構文: DN.054 Input queue overflow multicast from *source*
circuit *number* network *network_name*

説明: 着信ルーティングまたはハロー・マルチキャス
ト・パケットの DECnet 入力待ち行列がオーバーフローし
ました。パケットは除去されます。

原因: トラフィックが多すぎて、転送機能が転送できま
せん。

処置: パスとパスの間のトラフィックのバランスをとる
ように、回線コストを調整します。ネットワークを再構
成してください。ルーターの速度を上げてください。

原因: バッファ資源が不十分です。

処置: GWCON 内の記憶域統計を調べてください。
DECnet 構成に余分な隣接記憶域が割り振られないよう
にすれば、利用可能なバッファの量を多くすることがで
きます。

処置: 記憶域の量を増やしてください。

DN.055

レベル: U-TRACE

短構文: DN.055 lvl 1 rte pkt from *source* ign, cir *number*
net *network_name*, no adjacency

長構文: DN.055 Level 1 routing message from *source*
ignored, circuit *number* network *network_name*, no adjacency
with router

説明: このルーターとの活動隣接を持っていないルー
ターから、レベル 1 ルーティング・メッセージが受信され
ました。ルーティング・パケットは処理されません。

原因: これは、このルーターが隣接を確立する前に、他
のルーターがこのルーターとの隣接を確立する場合に、
時折発生します。

処置: このメッセージが続いて出される場合を除き、処
置は必要ありません。

DN.056

レベル: P-TRACE

短構文: DN.056 lvl 1 rte pkt len *received_length* from
source, cir *number* net *network_name*

長構文: DN.056 Level 1 routing packet length
received_length from *source*, circuit *number* network
network_name

説明: レベル 1 ルーティング・メッセージが指定された
ルーターから受信されました。

DN.057

レベル: U-TRACE

短構文: DN.057 lvl 2 rte pkt from *source* ign, cir *number*
net *network_name*, no adjacency

長構文: DN.057 Level 2 routing message from *source*
ignored, circuit *number* network *network_name*, no adjacency
with router

説明: このルーターとの活動隣接を持っていないルー
ターから、レベル 2 ルーティング・ルーティング・パケッ
トは処理されません。

原因: これが時として発生するのは、このルーターが隣
接を確立する前に、他のルーターがこのルーターとの隣
接を確立した場合です。

処置: このメッセージが続いて出される場合を除き、処
置は必要ありません。

原因: レベル 2 ルーティング・メッセージが、レベル 1
ルーターによって送信されました。

処置: 送信側ルーターのソフトウェア・エラーを訂正します。

DN.058

レベル: P-TRACE

短構文: DN.058 lvl 2 rte pkt len *received_length* from *source*, cir *number* net *network_name*

長構文: DN.058 Level 2 routing packet length *received_length* from *source*, circuit *number* network *network_name*

説明: レベル 2 ルーティング・メッセージが指定されたルーターから受信されました。

DN.059

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.059 no buffer for hello on cir *number* net *network_name*

長構文: DN.059 No buffer to build hello packet to send on circuit *number* network *network_name*

説明: ルーター・ハロー・メッセージを構築、送信するために使用できるパケット・バッファがありません。

原因: 重大なパケット・バッファの不足

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。可能なら、ルーティング・テーブルを小さくします。DECnet においては、これは、許容隣接数を最小限に抑えることによって実行できます。（該当の値を最小にするように、EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST ROUTERS と EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST NONROUTERS を構成します。）ルーティング・テーブルを小さくできない場合は、記憶域サイズを大きくします。

原因: トラフィック・ピークで、利用可能なバッファがすべて使われています。

処置: このメッセージが非常にまれに出る場合は問題です。

DN.060

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.060 no buffer for lvl 1 rte on cir *number* net *network_name*

長構文: DN.060 No buffer to build level 1 routing message to send on circuit *number* network *network_name*

説明: レベル 1 ルーティング・メッセージを構築、送信するために使用できるパケット・バッファがありません。

原因: 重大なパケット・バッファの不足

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。可能なら、ルーティング・テーブルを小さくします。DECnet においては、これは、許容隣接数を最小限に抑えることによって実行できます。（該当の値を最小にするように、EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST ROUTERS と EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST NONROUTERS を構成します。）ルーティング・テーブルを小さくできない場合は、記憶域サイズを大きくします。

原因: トラフィック・ピークで、利用可能なバッファがすべて使われています。

処置: このメッセージが非常にまれに出る場合は問題です。

DN.061

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.061 no buffer for lvl 2 rte on cir *number* net *network_name*

長構文: DN.061 No buffer to build level 2 routing message to send on circuit *number* network *network_name*

説明: レベル 2 ルーティング・メッセージを構築、送信するために使用できるパケット・バッファがありません。

原因: 重大なパケット・バッファの不足

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。可能なら、ルーティング・テーブルを小さくします。DECnet においては、これは、許容隣接数を最小限に抑えることによって実行できます。（該当の値を最小にするように、EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST ROUTERS と EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST NONROUTERS を構成します。）ルーティング・テーブルを小さくできない場合は、記憶域サイズを大きくします。

原因: トラフィック・ピークで、利用可能なバッファがすべて使われています。

処置: このメッセージが非常にまれに出る場合は問題です。

DN.062

レベル: ALWAYS

短構文: DN.062 no memory for NCP circuit name table

長構文: DN.062 No memory for building NCP circuit name table

説明: 始動時に、NCP の回線名テーブルを作成するため

に使用可能な記憶域がありませんでした。

原因: 何らかの構成エラーがあって、そのために重大な記憶域不足が生じています。

処置: ルーティング・テーブルを小さくして必要な記憶域量を減らすか、もっと多くの記憶域を獲得します。

DN.063

レベル: ALWAYS

短構文: DN.063 no memory for routing tables (*number* bytes req), DECnet disabled

長構文: DN.063 No Memory for building routing tables (*number* bytes required), DECnet disabled

説明: ルーティング・テーブルが、使用可能な量より多くの記憶域を必要としています。 DECnet が使用不可となっています。

原因: ルーティング・データベースのサイズを決定するパラメーターが、実際のネットワーク構成には大き過ぎます。

処置: DEFINE コマンドを使用して、次のパラメーターを適宜小さい値に変更すると、ゲートウェイが再始動します。 EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST ROUTERS、EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST NONROUTERS、CIRCUIT MAXIMUM ROUTERS、EXECUTOR MAXIMUM ADDRESS、EXECUTOR MAXIMUM AREA

原因: 記憶域サイズが不十分です。

処置: 記憶域の量を増やすようにアップグレードします。

DN.064

レベル: CI-ERROR

短構文: DN.064 packet received on down cir *number* net *network_name*, dropped

長構文: DN.064 Packet received on down circuit *number* network *network_name*, packet dropped

説明: DECnet が使用可能になっていない回線またはルーター上で、データ・パケットを受信しました。パケットは除去されます。

DN.066

レベル: U-TRACE

短構文: DN.066 returning packet to sender *sender* <- *original_destination*

長構文: DN.066 returning packet to sender *sender* from *original_destination*

説明: データ・パケットがあて先に到達することができず、ヘッダー内に「送信側への戻り要求」ビットが設定されていました。そのパケットは送信側に戻されています。

原因: 前のメッセージによって説明されているはずです (事象 4.1、4.2、および 4.3 など)。

処置: 原因を示すメッセージの中の処置を参照してください。

DN.067

レベル: P-TRACE

短構文: DN.067 router hello len *received_length* from *source*, cir *number* net *network_name*

長構文: DN.067 Router hello length *received_length* received from *source*, circuit *number* network *network_name*

説明: 指定されたルーターからルーター・ハロー・メッセージが受信されました。

DN.068

レベル: P-TRACE

短構文: DN.068 sending desig rtr hello on cir *number* net *network_name*

長構文: DN.068 Sending designated router hello on circuit *number* network *network_name*

説明: このルーターは指定された回線上の指定ルーターであるため、ALLENDNODES アドレスにルーター・ハロー・メッセージが送信されています。

DN.069

レベル: P-TRACE

短構文: DN.069 sending hello on cir *number* net *network_name*

長構文: DN.069 Sending router hello on circuit *number* network *network_name*

説明: 指定された回線上で ALLROUTERS アドレスにルーター・ハロー・メッセージが送信されています。

DN.070

レベル: P-TRACE

短構文: DN.070 sending lvl 1 rte on cir *number* net *network_name*

長構文: DN.070 Sending level 1 routing message on circuit

number network network_name

説明: 指定された回線上で、ALLROUTERS アドレスに、レベル 1 ルーティング・メッセージが送信されています。

DN.071

レベル: P-TRACE

短構文: DN.071 sending lvl 2 rte on cir *number* net *network_name*

長構文: DN.071 Sending level 2 routing message on circuit *number network network_name*

説明: 指定された回線上で、ALLROUTERS アドレスに、レベル 2 ルーティング・メッセージが送信されています。

DN.072

レベル: ALWAYS

短構文: DN.072 too many router adjacencies *total_adjacencies*, NBRA = *maximum_adjacencies*

長構文: DN.072 Too many router adjacencies configured, sum = *total_adjacencies*, NBRA = *maximum_adjacencies*

説明: 永続データベースが、すべての回線の CIRCUIT MAXIMUM ROUTERS の合計が EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST ROUTERS を超えるように構成されました。このエラーは致命的ではありませんが、新しい値を定義する必要があります。それによりゲートウェイは再始動します。

原因: CIRCUIT MAXIMUM ROUTERS が大き過ぎます。

処置: これは、特に、ルーター隣接が 1 つしかないシリアル・ライン・インターフェースでは一般的な問題です。

原因: EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST ROUTERS が小さ過ぎます。

処置: 省略時値が 32 で、かなり大きな値であるため、これは通常は問題になりません。

DN.073

レベル: C-INFO

短構文: DN.073 new 1-way adj *sender* cir *number* net *network_name*

長構文: DN.073 new 1-way adjacency with node *sender* on circuit *number network network_name*

説明: 指定されたルーターからルーター・ハロー・メッ

セージを受信したところですが、こちらのアドレスがそのハロー・メッセージのルーター/状態リスト内にありません。このルーターとの単一方向隣接はありますが、この隣接は、こちらのアドレスがルーター/状態リストに入れられるまでは両方向とはなりません。

原因: 新しいノードがアップ状態になりました。

処置: 隣接が両方向とならない場合を除いて処置は必要ありません。間もなく、両方向となるはずです。両方向とならない場合、こちらのアドレスが他のルーターの EXECUTOR MAXIMUM ADDRESS を超えています。

DN.074

レベル: C-INFO

短構文: DN.074 1-way adj *sender* timed out cir *number* net *network_name*

長構文: DN.074 1-way adjacency with node *sender* timed out on circuit *number network network_name*

説明: こちらのノード・アドレスをルーター/状態リストに含んでいない、指定されたルーターからのルーター・ハローの受信を停止しました。タイムアウトは、このルーターからの最後のルーター・ハローに指定されたハロー・タイマーの 3 倍です。このルーターとの部分隣接は除去されます。

原因: 新しいノードが、完全にアップ状態になりません。

DN.075

レベル: P-TRACE

短構文: DN.075 Pkt for me frm *sender*

長構文: DN.075 Packet for me from node *sender*

説明: こちらにアドレス指定されたパケットが受信されました。このパケットは、どのトランスポート・プロトコル用のものであるかをチェックされます。

DN.076

レベル: U-TRACE

短構文: DN.076 NSP unsupp msg type *msgflg* frm *sender*

長構文: DN.076 NSP unsupported message type *msgflg* from node *sender*

説明: こちらでは処理されないメッセージ・タイプの NSP パケットを受信しました。接続開始メッセージのみが処理されます。

DN.077

レベル: CE-ERROR

短構文: DN.077 Unk trans type *msgflg* from *sender*

長構文: DN.077 Unknown transport protocol type *msgflg* from *ndoe sender*

説明: NSP トランスポート・プロトコル用ではないデータ・パケットを受信しました。

DN.078

レベル: C-INFO

短構文: DN.078 NSP conn init from *sender*, reject

長構文: DN.078 NSP Connect Initiate Message received from node *sender*, rejecting

説明: 指定されたノードから、NSP 接続開始メッセージまたは接続開始再送信メッセージが受信されました。それに対し、切断開始メッセージが、セッション拒否エラー・コード 4 (あて先エンド・ユーザーが存在しない) と一緒に送信されます。

原因: リモート機械上のユーザーが、NSP 接続の開始を試みたが、ルーター内にサポートされているセッション・クライアントがありません。

DN.079

レベル: UE-ERROR

短構文: DN.079 endnode hello from *sender* cir *number* net *network_name* dup addr w/self, ign

長構文: DN.079 endnode hello from node *sender* circuit *number* network *network_name*, duplicate address with self, ignoring

説明: このルーターと同じ DECnet アドレスを持つノードから、エンド・ノード・ハロー・メッセージが受信されました。重複ノード・アドレスは許容されておらず、このルーターの方がより重要であるために、そのハロー・メッセージは無視されます。

原因: ユーザーの構成の誤り

処置: DECnet ノード・アドレスを変更します。

DN.080

レベル: P-TRACE

短構文: DN.080 MOP Req Cnt pkt rcvd frm *MAC_address* cir *number* net *network_name*

長構文: DN.080 MOP Request Counters packet received

from node *MAC_address* circuit *number* network *network_name*

説明: 指定されたノードから、DECnet 保守操作プロトコル (MOP) 要求カウンター・パケットが受信されました。MOP カウンター・パケットは、リクエスターのアドレスに送信されます。

DN.081

レベル: P-TRACE

短構文: DN.081 MOP Cnt pkt snt to *MAC_address* cir *number* net *network_name*

長構文: DN.081 MOP Counters packet sent to node *MAC_address* circuit *number* network *network_name*

説明: DECnet 保守操作プロトコル (MOP) カウンター・パケットが、指定されたアドレスに送信されています。

DN.082

レベル: P-TRACE

短構文: DN.082 MOP Sys ID pkt snt to *MAC_address* cir *number* net *network_name*

長構文: DN.082 MOP System ID packet sent to node *MAC_address* circuit *number* network *network_name*

説明: DECnet 保守操作システム ID パケットが、指定されたアドレスに送信されています。

DN.083

レベル: P-TRACE

短構文: DN.083 MOP Sys ID pkt snt to MOP cir *number* net *network_name*

長構文: DN.083 MOP System ID packet sent to MOP circuit *number* network *network_name*

説明: DECnet 保守操作プロトコル・システム ID パケットが、MOP マルチキャスト・アドレス AB-00-00-02-00-00 に送信されています。

DN.084

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.084 MOP Cnt Req frm *MAC_address* not supp on cir *number* net *network_name*

長構文: DN.084 MOP Cnt Req from node *MAC_address* not supported on circuit *number* network *network_name*

説明: DECnet 保守操作プロトコル (MOP) 要求カウンターが指定されたホストから受信されましたが、この回線

上では、MOP カウンターに関するサポートはありません。

DN.085

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.085 Ph IV rtr hlo wo bilingual rtr frm *node_number* on cir *number* net *network_name*

長構文: DN.085 Ph IV router hello without bilingual router from *node_number* on circuit *number* network *network_name*

説明: フェーズ IV' 専用に構成された回線上で、DECnet フェーズ IV 同報通信ルーター・ハローが受信されました。

原因: ルーターが、フェーズ IV' パケットだけを受け入れることができるネットワーク上で、フェーズ IV 同報通信ルーター・ハロー・パケットを受信しています。

処置: フェーズ IV ルーターから同報通信ルーター・ハロー・パケットを受信するには、フェーズ IV とフェーズ IV' の両方にルーターを構成しなければなりません。

DN.086

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.086 Ph IV ennd hlo wo bilingual rtr frm *node_number* on cir *circuit_number* net *node_name*

長構文: DN.086 Ph IV endnode hello without bilingual router from *node_number* on circuit *circuit_number* network *node_name*

説明: フェーズ IV' 専用に構成された回線上で、DECnet フェーズ IV 同報通信エンド・ノード・ハローが受信されました。

原因: ルーターが、フェーズ IV' パケットだけを受け入れることができるネットワーク上で、フェーズ IV 同報通信エンド・ノード・ハロー・パケットを受信している。

処置: フェーズ IV エンド・ノードから同報通信エンド・ノード・ハロー・パケットを受信するには、フェーズ IV とフェーズ IV' の両方にルーターを構成しなければなりません。

DN.087

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.087 Ph IV' rtr hlo wo bilingual or ama rtr frm *node_number* on cir *circuit_number* net *node_name*

長構文: DN.087 Ph IV' router hello without bilingual or ama router from *node_number* on circuit *circuit_number* network *node_name*

説明: フェーズ IV 専用に構成された回線上で、DECnet

フェーズ IV' 同報通信ルーター・ハローが受信されました。

原因: ルーターが、フェーズ IV パケットだけを受け入れることができるネットワーク上で、フェーズ IV' 同報通信ルーター・ハロー・パケットを受信しています。

処置: フェーズ IV' エンド・ノードから同報通信エンド・ノード・ハロー・パケットを受信するには、ルーターをフェーズ IV' 要求に構成しなければなりません。

DN.088

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.088 Ph IV' ennd hlo wo bilingual or ama rtr frm *node_number* on cir *circuit_number* net *node_name*

長構文: DN.088 Ph IV' endnode hello without bilingual or ama router from *node_number* on circuit *circuit_number* network *node_name*

説明: フェーズ IV 専用に構成された回線上で、DECnet フェーズ IV' 同報通信エンド・ノード・ハローが受信されました。

原因: ルーターが、フェーズ IV パケットだけを受け入れることができるネットワーク上で、フェーズ IV' 同報通信エンド・ノード・ハロー・パケットを受信しています。

処置: フェーズ IV' エンド・ノードから同報通信エンド・ノード・ハロー・パケットを受信するには、ルーターをフェーズ IV' 要求に構成しなければなりません。

DN.089

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.089 Unkn ennd hlo format frm *node_number* on cir *circuit_number* net *node_name*

長構文: DN.089 Unknown endnode hello message format from *node_number* on circuit *circuit_number* network *node_name*

説明: ルーターが、未知の形式のエンド・ノード・ハロー・メッセージを受信しました。

原因: あるステーションが、この形式のメッセージを送信しています。

処置: このメッセージから誤りのあるノードを判別し、メーカーに、このノードが未知の形式のハロー・メッセージを送信していることを知らせます。

DN.090

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.090 Cannot bld lvl 1 rte on cir *number* net *network_name*, blk sz too small - *block_size*

長構文: DN.090 Cannot build level 1 routing message on circuit *number*, network *network_name*, block size too small - *block_size*

説明: 回線の最小ブロック・サイズが小さ過ぎるために、レベル 1 ルーティング・メッセージを作成できません。

DN.091

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.091 Send fail for hello, rsn *reason_code*, cir *number* net *network_name*

長構文: DN.091 Send failed for router hello packet, reason *reason_code*, on circuit *number* network *network_name*

説明: ルーター・ハロー・パケットの伝送が、指定された回線上でエラーとなりました。理由番号は *reason_code* に示されています。このエラーが時折発生する場合はプロトコルが破壊されることはありませんが、継続的に発生する場合には、プロトコルが破壊されます。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、*network_name* を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたは不正な同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去されました (理由コード 4)

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

DN.092

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.092 Send fail for lvl 1 rte, rsn *reason_code*, cir *number* net *network_name*

長構文: DN.092 Send failed for level 1 routing message,

reason *reason_code*, on circuit *number* network *network_name*

説明: レベル 1 ルーティング・メッセージの伝送が、指定された回線上でエラーとなりました。この理由番号は *reason_code* に示されています。このエラーが時折発生する場合はプロトコルが破壊されることはありませんが、継続的に発生する場合には、プロトコルが破壊されます。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、*network_name* を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたは不正な同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去されました (理由コード 4)

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

DN.093

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.093 Send fail for lvl 2 rte, rsn *reason_code*, cir *number* net *network_name*

長構文: DN.093 Send failed for level 2 routing message, reason *reason_code*, on circuit *number* network *network_name*

説明: レベル 2 ルーティング・メッセージの伝送が、指定された回線上でエラーとなりました。この理由番号は *reason_code* に示されています。このエラーが時折発生する場合はプロトコルが破壊されることはありませんが、継続的に発生する場合には、プロトコルが破壊されます。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、*network_name* を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判

断した理由を調べてください。

原因: ループまたは不正な同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去されました (理由コード 4)

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

DN.094

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.094 Send fail for MOP *message_type*, *rsn reason_code*, *cir number* *net network_name*

長構文: DN.094 Send failed for MOP *message_type* message, reason *reason_code*, on circuit *number* network *network_name*

説明: MOP メッセージの伝送が、指定された回線上でエラーとなりました。この理由番号は *reason_code* 内に示されています。 *message_type* は、“システム ID” または “カウンタ” の 1 つです。このエラーが時折発生する場合はプロトコルが破壊されることはありませんが、継続的に発生する場合には、プロトコルが破壊されます。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、*network_name* を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたは不正な同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去されました (理由コード 4)

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

Check dnrroutype

短構文: Unknown circuit router type.

説明: 回線ルーター・タイプが未知のものです。

原因: データ汚損。おそらくコーディング・エラーによる。

222 ELS メッセージの手引き

Check dnrfgtl

短構文: DN routes() called with first > last

説明: 無効なノード・アドレス範囲を持つ dnroute ルーチンが呼び出されました。

原因: 内部整合性エラー

処置: サービス技術員に連絡してください。できればメモリー・ダンプを一緒に知らせてください。

Check dnrbear

短構文: DN routes() BEA optimization failed

説明: dnroute ルーチンが、ルーターまたはエンド・ノードではなく、同報通信回線を介したルートを計算しました。

原因: 内部整合性エラー

処置: サービス技術員に連絡してください。できればメモリー・ダンプを一緒に知らせてください。

Check dnarfgtl

短構文: DN Aroutes() called with first > last

説明: 無効な区域範囲を持つ dnAroute ルーチンが呼び出されました。

原因: 内部整合性エラー

処置: サービス技術員に連絡してください。できればメモリー・ダンプを一緒に知らせてください。

Check dnmembug

短構文: DN no memory for table

説明: ルーティング・テーブルの記憶域割り振りに失敗しましたが、空き記憶域のチェックが、十分な記憶域量があることを示していました。

原因: 内部整合性チェック

処置: サービス技術員に連絡してください。できればメモリー・ダンプを一緒に知らせてください。

Fatal dnadbadarg

短構文: DN bad arg to dnadjdown()

説明: dnadjdown ルーチンが、ルーターまたはエンド・ノードではない隣接を除去するように依頼されました。

原因: 内部整合性エラー

処置: サービス技術員に連絡してください。できればメモリー・ダンプを一緒に知らせてください。

Fatal dnacnmr

短構文: DN no mem to read acc cntl

説明: 永続データベースからアクセス制御リストを読み取るために使用可能な記憶域がありません。

原因: 重大な記憶域不足

処置: ルーティング・テーブルのサイズを小さくしてより少ない量の記憶域を使用するようにするか、記憶域を追加します。

Fatal dnacnmsac

短構文: DN no mem to store acc cntl

説明: 使用目的でアクセス制御リストを格納しておくために使用可能な記憶域がありません。

原因: 重大な記憶域不足

処置: ルーティング・テーブルのサイズを小さくしてより少ない量の記憶域を使用するようにするか、記憶域を追加します。

Fatal dnacnmcac

短構文: DN no mem for acc cntl

説明: アクセス制御リストを作成するために使用可能な記憶域がありません。

原因: 重大な記憶域不足

処置: ルーティング・テーブルのサイズを小さくしてより少ない量の記憶域を使用するようにするか、記憶域を追加します。

Fatal dncnmrfi

短構文: DN no mem for dnrfn

説明: 回線入力ルーティング・フィルター・テーブルを作成するために使用可能な記憶域がありません。

原因: 重大な記憶域不足

処置: ルーティング・テーブルのサイズを小さくしてより少ない量の記憶域を使用するようにするか、記憶域を追加します。

Fatal dncnmrfo

短構文: DN no mem for dnrfout

説明: 回線出力ルーティング・フィルター・テーブルを作成するために使用可能な記憶域がありません。

原因: 重大な記憶域不足

処置: ルーティング・テーブルのサイズを小さくしてより少ない量の記憶域を使用するようにするか、記憶域を追加します。

Fatal dncnmci

短構文: DN no mem for dnccti init

説明: 回線揮発性データベースを作成するために使用可能な記憶域がありません。

原因: 重大な記憶域不足

処置: ルーティング・テーブルのサイズを小さくしてより少ない量の記憶域を使用するようにするか、記憶域を追加します。

Panic dnrtcrtos

短構文: DN routing table corrupt: routes to self

説明: ルーティング・データベース整合性チェッカーが、ルーティング・テーブル内に不整合を検出しました。 ルーターは再始動します。

原因: 記憶域破壊

処置: メモリー・ダンプを構成し、サービス技術員に報告します。

原因: 内部ソフトウェア・エラー

処置: メモリー・ダンプを構成し、サービス技術員に報告します。

Panic dnrtcart

短構文: DN routing table corrupt: area routes to self

説明: ルーティング・データベース整合性チェッカーが、ルーティング・テーブル内に不整合を検出しました。 ルーターは再始動します。

原因: 記憶域破壊

処置: メモリー・ダンプを構成し、サービス技術員に報告します。

原因: 内部ソフトウェア・エラー

処置: メモリー・ダンプを構成し、サービス技術員に報告します。

Panic dnrtcrths

短構文: DN routing table corrupt: routes through self

説明: ルーティング・データベース整合性チェッカーが、ルーティング・テーブル内に不整合を検出しました。ルーターは再始動します。

原因: 記憶域破壊

処置: メモリー・ダンプを構成し、サービス技術員に報告します。

原因: 内部ソフトウェア・エラー

処置: メモリー・ダンプを構成し、サービス技術員に報告します。

Panic dnrtcrtas

短構文: DN routing table corrupt: route to area self

説明: ルーティング・データベース整合性チェッカーが、ルーティング・テーブル内に不整合を検出しました。ルーターは再始動します。

原因: 記憶域破壊

処置: メモリー・ダンプを構成し、サービス技術員に報告します。

原因: 内部ソフトウェア・エラー

処置: メモリー・ダンプを構成し、サービス技術員に報告します。

Panic dnrtcartas

短構文: DN routing table corrupt: area route to area self

説明: ルーティング・データベース整合性チェッカーが、ルーティング・テーブル内に不整合を検出しました。ルーターは再始動します。

原因: 記憶域破壊

処置: メモリー・ダンプを構成し、サービス技術員に報告します。

原因: 内部ソフトウェア・エラー

処置: メモリー・ダンプを構成し、サービス技術員に報告します。

DN.095

レベル: CI-ERROR

短構文: DN.095 inp que overflow data source -> destination
cir number net network_name

長構文: DN.095 Input queue overflow data packet from
source to destination circuit number network network_name

説明: 着信短形式データ・パケットの DECnet 入力待ち行列がオーバーフローしました。転送機能は、このパケットを除去します。

原因: トラフィックが過剰で、転送機能が追い付きません。

処置: パスとパスの間のトラフィックのバランスをとるように、回線コストを調整します。ネットワークを再構成してください。ルーターの速度を上げてください。

原因: バッファ資源が不十分です。

処置: GWCON 内の記憶域統計を調べてください。利用可能なバッファを増やすために、DECnet 構成で過剰な隣接記憶域を割り振っていないことを確認してください。

処置: 記憶域の量を増やしてください。

DN.096

レベル: CI-ERROR

短構文: DN.096 inp que overflow Init Msg source cir number
net network_name

長構文: DN.096 Input queue overflow Initialization Message
from source circuit number network network_name

説明: 着信初期化メッセージの DECnet 入力待ち行列がオーバーフローしました。転送機能は、このパケットを除去します。

原因: トラフィックが過剰で、転送機能が追い付きません。

処置: パスとパスの間のトラフィックのバランスをとるように、回線コストを調整します。ネットワークを再構成してください。ルーターの速度を上げてください。

原因: バッファ資源が不十分です。

処置: GWCON 内の記憶域統計を調べてください。利用可能なバッファを増やすために、DECnet 構成で過剰な隣接記憶域を割り振っていないことを確認してください。

処置: 記憶域の量を増やしてください。

DN.097

レベル: CI-ERROR

短構文: DN.097 inp que overflow Verif Msg *source* cir *number* net *network_name*

長構文: DN.097 Input queue overflow Verification Message from *source* circuit *number* network *network_name*

説明: 着信検証メッセージの DECnet 入力待ち行列がオーバーフローしました。転送機能は、このパケットを除去します。

原因: トラフィックが過剰で、転送機能が追いつけません。

処置: パスとパスの間のトラフィックのバランスをとるように、回線コストを調整します。ネットワークを再構成してください。ルーターの速度を上げてください。

原因: バッファ資源が不十分です。

処置: GWCON 内の記憶域統計を調べてください。利用可能なバッファを増やすために、DECnet 構成で過剰な隣接記憶域を割り振っていないことを確認してください。

処置: 記憶域の量を増やしてください。

DN.098

レベル: CI-ERROR

短構文: DN.098 inp que overflow Hlo/Tst Msg *source* cir *number* net *network_name*

長構文: DN.098 Input queue overflow Hello/Test Message from *source* circuit *number* network *network_name*

説明: 着信ハロー/テスト・メッセージの DECnet 入力待ち行列がオーバーフローしました。転送機能は、このパケットを除去します。

原因: トラフィックが多すぎて、転送機能が転送できません。

処置: パスとパスの間のトラフィックのバランスをとるように、回線コストを調整します。ネットワークを再構成してください。ルーターの速度を上げてください。

原因: バッファ資源が不十分です。

処置: GWCON 内の記憶域統計を調べてください。利用可能なバッファを増やすために、DECnet 構成で過剰な隣接記憶域を割り振っていないことを確認してください。

処置: 記憶域の量を増やしてください。

DN.099

レベル: ALWAYS

短構文: DN.099 max rcalls rchd cir *number* net *network_name*

長構文: DN.099 Maximum recalls attempts reached on circuit *number* network *network_name*

説明: 発信回線が、リモート・ノードへの X.25 パーチャル・サーキットを設定するための最大許容再試行回数に達しました。ユーザーが必要な処置を講じるまでは、この回線がさらにコールを発信することはありません。

処置: X.25 スイッチへの接続を検査してください。その後で、いったん回線を使用不可にしてから使用可能にし、呼び出しを再度試みてください。

DN.100

レベル: UE-ERROR

短構文: DN.100 Init Msg err; cir *number* net *network_name*

長構文: DN.100 Initialization Message format error; circuit *number* network *network_name*

説明: ルーターが、無効なヘッダー情報をもつ初期化メッセージを受け取りました。転送機能は、このパケットを除去します。

DN.101

レベル: UE-ERROR

短構文: DN.101 Init Msg err - wrq ver; *source_node*, cir *number* net *network_name*

長構文: DN.101 Received Initialization Message specifying unsupported version; from *source_node*, circuit *number* network *network_name*

説明: ルーターが受信した初期化メッセージは、サポートされていないバージョン番号を指定するものでした。転送機能は、このパケットを除去します。

DN.102

レベル: ALWAYS

短構文: DN.102 Init Msg rcvd; *source_node*, cir *number* net *network_name*

長構文: DN.102 Received Initialization Message; from *source_node*, circuit *number* network *network_name*

説明: ルーターが初期化メッセージを受け取りました。

DN.103

レベル: ALWAYS

短構文: DN.103 Verif Msg rcvd; *source_node*, *cir number* *net network_name*

長構文: DN.103 Received Verification Message; from *source_node*, circuit *number* network *network_name*

説明: ルーターが検証メッセージを受け取りました。

DN.104

レベル: UE-ERROR

短構文: DN.104 Verif fail; *source_node*, *cir number* *net network_name*

長構文: DN.104 Verification failure; from *source_node*, circuit *number* network *network_name*

説明: 検証の障害。ルーターが、検証メッセージにエラーを検出しました。

DN.105

レベル: UE-ERROR

短構文: DN.105 Hlo/tst fail; *source_node*, *cir number* *net network_name*

長構文: DN.105 Error detected in processing Hello/Test Message; from *source_node*, circuit *number* network *network_name*

説明: ルーターは、ハロー/テスト・メッセージの処理にエラーを検出しました。転送機能は、このパケットを除去します。

DN.106

レベル: ALWAYS

短構文: DN.106 Hlo/Tst Msg rcvd; *source_node*, *cir number* *net network_name*

長構文: DN.106 Received Hello/Test Message; from *source_node*, circuit *number* network *network_name*

説明: ルーターは、近隣からハロー/テスト・メッセージを受信しました。

DN.107

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.107 no buffer for Init Msg on *cir number* *net network_name*

長構文: DN.107 No buffer to build Initialization Message to send on circuit *number* network *network_name*

説明: 初期化メッセージを構築、送信するために使用できるパケット・バッファがありません。

原因: 重大なパケット・バッファの不足

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。可能なら、ルーティング・テーブルを小さくします。DECnet でこれを行うには、許容隣接数を最小限に抑えます。(該当の値を最小にするように、EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST ROUTERS と EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST NONROUTERS を構成します。) ルーターがルーティング・テーブルを小さくできない場合は、記憶域のサイズを大きくしてください。

原因: トラフィック・ピークで、利用可能なバッファがすべて使われています。

処置: このメッセージが時折出る場合、問題はこれです。

DN.108

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.108 Snd fail for Init Msg; *cir number* *net network_name*

長構文: DN.108 Send failed for Initialization Message on circuit *number* network *network_name*

説明: 指定された回線上で、ルーター初期化メッセージの伝送が正常に行われませんでした。このエラーが時折発生する場合はプロトコルが破壊されることはありませんが、継続的に発生する場合には、プロトコルが破壊されます。

DN.109

レベル: ALWAYS

短構文: DN.109 snd Init Msg; *cir number* *net network_name*

長構文: DN.109 Sending Initialization Message on circuit *number* network *network_name*

説明: ルーターは、メッセージに示されている回線上で初期化メッセージを送信中です。

DN.110

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.110 Snd fail for Verif Msg; *cir number* *net network_name*

長構文: DN.110 Send failed for Verification Message on circuit *number* network *network_name*

説明: 指定の回線で、ルーター検証メッセージの伝送が失敗しました。

説明: X.25 サービスに対する転送機能のコール・リクエストは、示されているネットワーク上で失敗しました。

DN.111

レベル: ALWAYS

短構文: DN.111 snd Verif Msg; cir *number* net *network_name*

長構文: DN.111 Sending Verification Message on circuit *number* network *network_name*

説明: ルーターは、メッセージに示されている回線上で検証メッセージを送信中です。

DN.112

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.112 Snd fail for Hlo/TstMsg; cir *number* net *network_name*

長構文: DN.112 Send failed for Hello/Test Message on circuit *number* network *network_name*

説明: 指定の回線で、ルーターのハロー/テスト・メッセージの伝送が失敗しました。

DN.113

レベル: ALWAYS

短構文: DN.113 snd Hlo/Tst Msg; cir *number* net *network_name*

長構文: DN.113 Sending Hello/Test Message on circuit *number* network *network_name*

説明: ルーターは、メッセージに示されている回線上でハロー/テスト・メッセージを送信中です。

DN.114

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.114 x25 reg fail

長構文: DN.114 Registration with X25 service failed

説明: インターフェースで、転送機能が X.25 サービスを登録できませんでした。

DN.115

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.115 call req to x25 fail; intf *number* net *network_name*

長構文: DN.115 Call request to X25 service failed on interface *number* network *network_name*

第30章 デジタル・ネットワーク・アーキテクチャー・フェーズ V (DNAV)

この章では、デジタル・ネットワーク・アーキテクチャー・フェーズ V (DNAV) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

DNAV.001

レベル: P-TRACE

短構文: DNAV.001 DNA pkt forwarded via OSI at level *rtg_lvl*

長構文: DNAV.001 DNA packet forwarded via OSI at level *rtg_lvl*

説明: DNA パケットが受信され、それを転送するために OSI に渡されました。

DNAV.002

レベル: P-TRACE

短構文: DNAV.002 DNA pkt translated to OSI pkt *source_NSAP -> destination_NSAP*

長構文: DNAV.002 DNA pkt translated to OSI pkt: *source_NSAP -> destination_NSAP*

説明: DNA データ・パケットが、OSI データ・パケットに正しく変換されました。

DNAV.003

レベル: P-TRACE

短構文: DNAV.003 Translation of DNA pkt to OSI pkt failed

長構文: DNAV.003 Translation of DNA pkt to OSI pkt failed

説明: DNA データ・パケットの OSI データ・パケットへの変換の試みに失敗しました。

DNAV.004

レベル: P-TRACE

短構文: DNAV.004 OSI pkt translated to DNA pkt *src -> dst*

長構文: DNAV.004 OSI pkt translated to DNA pkt: *src -> dst*

説明: OSI データ・パケットが、DNA データ・パケットに正しく変換されました。

DNAV.005

レベル: P-TRACE

短構文: DNAV.005 Translation of OSI pkt to DNA pkt failed

長構文: DNAV.005 Translation of OSI pkt to DNA pkt failed

説明: OSI データ・パケットの DNA データ・パケットへの変換の試みに失敗しました。

DNAV.006

レベル: P-TRACE

短構文: DNAV.006 OSI pkt forwarded via DNA at level *rtg_lvl*

長構文: DNAV.006 OSI packet forwarded via DNA at level *rtg_lvl*

説明: OSI パケットを受信し、それを転送するために DNA に渡しました。

DNAV.007

レベル: UE-ERROR

短構文: DNAV.007 timed out route to DNA IV ES reactivated *src_area, src_node*

長構文: DNAV.007 timed out route to DNA IV ES reactivated *src_area, src_node*

説明: OSI データベース内で以前にタイムアウトになっているルートを含む DNA エンド・ノード・ハロー・パケットが受信されました。

DNAV.008

レベル: P-TRACE

短構文: DNAV.008 ISIS hello from distance vector router funnelled to DNA

長構文: DNAV.008 ISIS hello from distance vector router funnelled to DNA

説明: 距離ベクトルを実行しているルーターから ISIS ハ

ローが受信されました - このハローはルーター隣接を確立するために DNA IV に渡されました。

DNAV.009

レベル: C-INFO

短構文: DNAV.009 new 1-way adj w/ phase V dist vect router *sender* cir *number* net *network_name*

長構文: DNAV.009 new 1-way adjacency with phase V distance vector router *sender* on circuit *number* network *network_name*

説明: 指定されたルーターから ISIS ハロー・メッセージを受信したところですが、こちらのアドレスがそのハロー・メッセージの IS 近隣リスト内にありません。このルーターとの単方向隣接はありますが、この隣接は、こちらのアドレスが IS 近隣リストに入れられるまでは両方向とはなりません。

DNAV.010

レベル: C-INFO

短構文: DNAV.010 Adj up; new phase V dist vect rtr *area*. *node* cir *number* net *network_name*

長構文: DNAV.010 Adjacency up; new phase V distance vector router *area*. *node* circuit *number* network *network_name*

説明: 直接接続ネットワークの 1 つで、現在、指定されたルーターとの隣接が行われています。レベル 1 (および 2) ルーティング・メッセージが、このノードから受け入れられるようになります。

DNAV.011

レベル: C-INFO

短構文: DNAV.011 Adj dwn: dropped by phase V dist vect rtr *area*. *node*, cir *number* net *network_name*

長構文: DNAV.011 Adjacency down, operator initiated: dropped by phase V distance vector router *area*. *node*, circuit *number* network *network_name*

説明: こちらとの隣接があるルーターから ISIS ハロー・メッセージを受信したが、その IS 近隣リストにこちらのアドレスが含まれていません。隣接はダウンとなり、こちら側のアドレスがその IS 近隣リストに入れられるまでアップしません。

原因: 隣接ルーターが再始動しました。

原因: 単方向通信。すなわち、このルーターは隣接ルーターからのパケットを受信できるが、隣接ルーターはこのルーターからパケットを受信できません。

処置: 回線上に両方向通信があることを確認します。

DNAV.012

レベル: UE-ERROR

短構文: DNAV.012 pkt trans V to IV err - segmentation needed but not permitted

長構文: DNAV.012 packet translation V to IV error - segmentation needed but not permitted

説明: OSI データ・パケットが、セグメント化を必要としているために DNA IV データ・パケットに変換できませんでした。そのセグメント化は許可されていません。

DNAV.013

レベル: UE-ERROR

短構文: DNAV.013 pkt trans V to IV err - src or dst addr not translatable

長構文: DNAV.013 packet translation V to IV error - source or destination address not translatable

説明: OSI データ・パケットが、発信元または宛先アドレスがフェーズ IV 変換可能ではないために、DNA IV データ・パケットに変換できませんでした。

DNAV.014

レベル: UE-ERROR

短構文: DNAV.014 Validation of phase IV info in ISIS hello PDU failed

長構文: DNAV.014 Validation of phase IV info in ISIS hello PDU failed

説明: 無効なフェーズ IV 情報オプションを含む ISIS ハロー PDU が受信されました。

DNAV.015

レベル: UE-ERROR

短構文: DNAV.015 Phase IV hello from Phase V system dropped

長構文: DNAV.015 Phase IV hello from Phase V system dropped

説明: フェーズ IV ハロー PDU が、フェーズ V システムによって送信されたために除去されました - フェーズ V システムとの隣接は、フェーズ V ハローを使用して確立されます。

DNAV.016

レベル: UE-ERROR

短構文: DNAV.016 L1 LSP from DNA system dropped
- running dist vect at level 1

長構文: DNAV.016 L1 LSP from DNA system dropped
- running dist vect at level 1

説明: DNA システムから受信されたレベル 1 リンク状態パケットが、このルーターがレベル 1 で距離ベクトルを実行しているために除去されました。

DNAV.017

レベル: UE-ERROR

短構文: DNAV.017 L2 LSP from DNA system dropped
- running dist vect at level 2

長構文: DNAV.017 L2 LSP from DNA system dropped
- running dist vect at level 2

説明: DNA システムから受信されたレベル 2 リンク状態パケットが、このルーターがレベル 2 で距離ベクトルを実行しているために除去されました。

DNAV.018

レベル: UE-ERROR

短構文: DNAV.018 ISIS hello dropped - nonmatching Phase IV areas

長構文: DNAV.018 ISIS hello dropped - nonmatching Phase IV areas

説明: ISIS ハロー PDU が、区域アドレス・オプション内のフェーズ IV 区域アドレスがこのルーターのフェーズ IV 区域アドレスと一致しないために除去されました。

DNAV.019

レベル: C-INFO

短構文: DNAV.019 Adj up; new DNA V endnode *area. node cir number net network_name*

長構文: DNAV.019 Adjacency up; new DNA V endnode *area. node circuit number network network_name*

説明: 現在、指定されたネットワーク上で、指定された DNA フェーズ V エンド・ノードとの隣接があります。

原因: 有効な ISO ISIS ハロー・メッセージが受信されました。

DNAV.020

レベル: UE-ERROR

短構文: DNAV.020 Trans DNIV pkt not forwarded - mapping of out adj ID *area. node* to SNPA add failed

長構文: DNAV.020 Translated DECnet IV packet not forwarded - mapping of output adjacency's Phase IV ID *area. node* to an OSI SNPA address failed.

説明: DECnet IV パケットの DECnet V パケットへの変換が、出力隣接の DECnet IV ID と OSI SNPA アドレスとの間にマッピングが見付からなかったために失敗しました。

原因: エンド・システム隣接が、ネクスト・ホップ・システムの OSI データベース内に存在しません。

DNAV.021

レベル: UE-ERROR

短構文: DNAV.021 verify fail on cir (*routing-circuit*)

長構文: DNAV.021 verification failure on circuit (*routing-circuit*)

説明: 回線上のリンクの初期化中に、検証エラーがありました。

DNAV.022

レベル: UE-ERROR

短構文: DNAV.022 link init timeout on cir (*routing-circuit*)

長構文: DNAV.022 link initialization timeout on circuit (*routing-circuit*)

説明: ルーターがリンクの初期化を正常に完了する前に、リンク初期化タイマーが満了となりました。

DNAV.023

レベル: UE-ERROR

短構文: DNAV.023 init min timeout on cir(*routing-circuit*)

長構文: DNAV.023 Initial Minimum Timer expired on circuit (*routing-circuit*)

説明: ルーターがリンクの初期化を正常に完了する前に、初期最小タイマーが満了となりました。

DNAV.024

レベル: UE-ERROR

短構文: DNAV.024 link init fail on cir (*routing-circuit*)

長構文: DNAV.024 link initialization failure on circuit
(routing-circuit)

説明: 回線上のリンク初期化が失敗しました。

DNAV.025

レベル: C-INFO

短構文: DNAV.025 Adj up; new DNA IV VAXcluster alias
area. node cir number net network_name

長構文: DNAV.025 Adjacency up; new DNA IV
VAXcluster alias *area. node circuit number network
network_name*

説明: 現在、指定されたネットワーク上で VAXcluster 別
名アドレスを表している DNA フェーズ IV エンド・ノ
ード隣接があります。

原因: ルーターは有効な DNA IV レベル 1 ルーティン
グ・メッセージを受信しましたが、これが VAXcluster 別
名アドレスを公示しています。

DNAV.026

レベル: C-INFO

短構文: DNAV.026 Adj dwn; DNA IV VAXcluster alias
area. node cir number net network_name

長構文: DNAV.026 Adjacency down; DNA IV VAXcluster
alias *area. node circuit number network network_name*

説明: VAXcluster 別名アドレスを表している DNA フェ
ーズ IV エンド・ノード隣接がダウンしました。

原因: 別名アドレスがタイムアウトになったことを公示
している DNA IV ルーターへの隣接。

原因: ルーターが有効な DNA IV レベル 1 ルーティン
グ・メッセージを受信したルーターは、別名アドレスを
公示していました。隣接は現在別の別名アドレスを公示
しているか、または別名アドレスをまったく公示してい
ません。

第31章 距離ベクトル・マルチキャスト・ルーティング・プロトコル (DVM)

この章では、距離ベクトル・マルチキャスト・ルーティング・プロトコル (DVM) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

DVM.001

レベル: UE-ERROR

短構文: DVM.001 Unknown DVMRP code from *IP_source*, code= *message_code*

長構文: DVM.001 Received unknown DVMRP code from *IP_source*, code= *message_code*

説明: 指定の発信元から DVMRP メッセージを受信しましたが、認識できない IGMP コード値が入っています。パケットは廃棄されます。

DVM.002

レベル: UE-ERROR

短構文: DVM.002 No matching VIF for pkt from *IP_source*, code = *message_code*

長構文: DVM.002 No matching DVMRP interface for packet from *IP_source*, code= *message_code*

説明: 指定の発信元から DVMRP メッセージを受信しましたが、一致する DVMRP インターフェースが見付かりませんでした。これは、(発信元とログ・ルーターのどちらかに) 構成エラーがあることを示していると考えられます。パケットは廃棄されます。

DVM.003

レベル: P-TRACE

短構文: DVM.003 Rcvd DVMRP Report from *IP_source*

長構文: DVM.003 Received DVMRP Report from *IP_source*

説明: 指定の発信元から DVMRP レポート (ルーティング更新) を受信しました。これは正常な定期的事象であり、これによって DVMRP ルーティング・テーブルへの追加が行われる可能性があります。

DVM.004

レベル: U-TRACE

短構文: DVM.004 Rcvd DVMRP probe from *IP_source*

長構文: DVM.004 Received DVMRP probe from *IP_source*

説明: 指定の発信元から DVMRP プローブを受信しました。これは幾分異常であり、これが発生するのは、インターフェース上での DVMRP 会話が開始されたばかりのときだけに限られるはずです。

DVM.005

レベル: UE-ERROR

短構文: DVM.005 Rcvd bad DVMRP update from *IP_source*

長構文: DVM.005 Received bad DVMRP update from *IP_source*

説明: 指定の発信元から DVMRP 更新を受信しました。この更新はフォーマットが不適正であり、その内容の少なくとも一部が廃棄されました。

DVM.006

レベル: U-TRACE

短構文: DVM.006 Add phyint *IP_interface_address* cost cost thresh *threshold*

長構文: DVM.006 Add physical interface *IP_interface_address* cost cost thresh *threshold*

説明: 示されているコストおよび限界値パラメーターで、指定の物理インターフェースにおいて DVMRP が使用可能にされています。

DVM.007

レベル: U-TRACE

短構文: DVM.007 Add tunnel *tunnel_source->tunnel_destination* cost cost thresh *threshold*

長構文: DVM.007 Add tunnel *tunnel_source->tunnel_destination* cost cost thresh *threshold*

説明: 示されているコストおよび限界値パラメーターで、指定の発信元とあて先の間に、DVMRP トンネルが構成されています。

DVM.008

レベル: U-TRACE

短構文: DVM.008 Add MOSPF cost *cost* thresh *threshold*

長構文: DVM.008 Add MOSPF cost *cost* thresh *threshold*

説明: 示されているコストおよび限界値パラメーターで、MOSPF ネットワークを通る DVMRP のトンネル伝送が使用可能にされています。

DVM.009

レベル: U-TRACE

短構文: DVM.009 Add/update route to *source_network* via *neighbor_IP_address*

長構文: DVM.009 Add route to source *source_network* via *neighbor neighbor_IP_address*

説明: DVMRP 更新を処理中であるか、インターフェースがアップになったという事実によって、特定の発信元に関するルーティング・テーブル項目の作成または改訂を行うことになりました。

DVM.010

レベル: U-TRACE

短構文: DVM.010 Delete route to *source_network*

長構文: DVM.010 Delete route to source *source_network*

説明: 発信元が到達不能であることを、近隣が通知してきました。

DVM.011

レベル: U-TRACE

短構文: DVM.011 Add neighbor *neighbor_IP_address*

長構文: DVM.011 Add neighbor *neighbor_IP_address*

説明: プローブまたは更新メッセージの受信によって、新規 DVMRP 近隣が発見されました。

DVM.012

レベル: U-TRACE

短構文: DVM.012 Delete neighbor *neighbor_IP_address*

長構文: DVM.012 Delete neighbor *neighbor_IP_address*

説明: 近隣は到達不能になっています。 タイムアウトになったか、関連インターフェースがダウンしたかのいずれかです。

DVM.013

レベル: C-TRACE

短構文: DVM.013 Sending DVMRP probe to *neighbor_IP_address*, VIF: *VIF_index*

長構文: DVM.013 Sending probe to *neighbor_IP_address*, VIF *VIF_index*

説明: DVMRP 近隣プローブを、指定のアドレスに送信しました。

DVM.014

レベル: C-TRACE

短構文: DVM.014 Sending DVMRP update to *neighbor_IP_address*, VIF: *VIF_index*

長構文: DVM.014 Sending probe to *neighbor_IP_address*, VIF: *VIF_index*

説明: DVMRP ルーティング更新を、指定のアドレスに送信しました。

DVM.015

レベル: U-TRACE

短構文: DVM.015 Route to *source_network* timed out

長構文: DVM.015 Route to source *source_network* timed out

説明: 特定の発信元へのルートがタイムアウトになりました。

DVM.016

レベル: U-TRACE

短構文: DVM.016 Neighbor *neighbor_IP_address* timed out

長構文: DVM.016 Neighbor *neighbor_IP_address* has timed out

説明: 近隣がタイムアウトになっています。最近ここから更新を入手していませんでした。

DVM.017

レベル: UI-ERROR

短構文: DVM.017 No mem for source *source_network*

長構文: DVM.017 No memory for source network *source_network*

説明: a) ヒープ記憶域が不足していて、DVMRP ルーティング・テーブルを割り振ることができないか、b) IP ルーティング・テーブルがオーバーフローしているか、い

ずれかです。いずれにしても、新規の発信元が認識できません。この発信元が直接接続サブネットの場合は、サブネット上で IGMP を実行することもできません。

DVM.018

レベル: U-TRACE

短構文: DVM.018 Added MOSPF route *source_network*

長構文: DVM.018 Added MOSPF route *source_network*

説明: DVMRP を介した MOSPF ルートの公示が開始されました。

DVM.019

レベル: U-TRACE

短構文: DVM.019 Deleted MOSPF route *source_network*

長構文: DVM.019 Deleted MOSPF route *source_network*

説明: DVMRP を介した MOSPF ルートの公示が停止しました。

DVM.020

レベル: UI-ERROR

短構文: DVM.020 No room for neighbor
neighbor_IP_address

長構文: DVM.020 No room for neighbor
neighbor_IP_address

説明: 新しい近隣用のデータ構造を割り振る余地がありませんでした。近隣からの DVMRP ルートは無視されます。

DVM.021

レベル: P-TRACE

短構文: DVM.021 Packet rcvd from mis/unconfigured tunnel
source_IP_address

長構文: DVM.021 Packet received from mis/unconfigured
tunnel *source_IP_address*

説明: プロトコル 4 (IP カプセル化) を介してパケットを受信しました。このパケットは、トンネルの他端によってソース・ルーティングされるはずですが、トンネルが未構成であるか、あるいは、トンネルがカプセル化ではなくソース・ルーティング用に構成されているかのいずれかです。

DVM.022

レベル: C-INFO

短構文: DVM.022 Snt PRUNE (src= *source_net* grp=*group_address* life= *prune_lifetime*) to *neighbor_IP_address*, VIF= *VIF_index*

長構文: DVM.022 Sent PRUNE (source= *source_net* group=*group_address*, lifetime= *prune_lifetime*) to *neighbor_IP_address*, VIF= *VIF_index*

説明: 指定のバーチャル・インターフェース上の指定されたアドレスに DVMRP PRUNE メッセージを送信しました。パケットには、示されている発信元ネットワーク、グループ・アドレス、および PRUNE 存続時間 (秒) が入っていました。PRUNE が送信されている理由は、ルーターはこのトラフィックを受信しても廃棄するだけなので無駄であると判断したためです。PRUNE は、このグループ・アドレスあてにこの発信元ネットワークから送信されたマルチキャスト・トラフィックは次の *prune_lifetime* 秒数の間このルーターに転送してはならないことを、インターフェース上の近隣に通知します。マルチキャスト DVMRP インターネットを形成するルーター間で PRUNE 情報が交換することにより、大量の無駄なマルチキャスト・トラフィックを防止することができます。

DVM.023

レベル: U-INFO

短構文: DVM.023 Snt GRAFT (src= *source_net* grp=*group_address*) to *neighbor_IP_address*, VIF= *VIF_index*

長構文: DVM.023 Sent GRAFT (source= *source_net* group=*group_address*) to *neighbor_IP_address*, VIF= *VIF_index*

説明: 指定のバーチャル・インターフェース上の指定されたアドレスに DVMRP GRAFT メッセージを送信しました。パケットには、示されている発信元ネットワークとグループ・アドレスが入っていました。GRAFT が送信されている理由は、以前に無駄と判断されたこのマルチキャスト・トラフィックはもう無駄ではなくなったと、このルーターが判断したからです。GRAFT は、このルーターから指定されたグループ・アドレスと発信元ネットワークに対して近隣ノードが有効にしている以前の PRUNE (もしあれば) を取り消すように、インターフェース上の近隣ノードに通知します。

DVM.024

レベル: C-TRACE

短構文: DVM.024 Snt GRAFT ACK (src= *source_net* grp=*group_address*) to *neighbor_IP_address*, VIF= *VIF_index*

長構文: DVM.024 Sent GRAFT ACK (source= *source_net* group= *group_address*) to *neighbor_IP_address*, VIF= *VIF_index*

説明: 指定のバーチャル・インターフェース上の指定されたアドレスに DVMRP GRAFT ACK メッセージを送信しました。パケットには、指定の発信元ネットワークとグループ・アドレスが入っていました。GRAFT ACK メッセージは、GRAFT メッセージを確認するために使用されます。

DVM.025

レベル: C-INFO

短構文: DVM.025 Rec PRUNE (src= *source_net* grp= *group_address* life= *prune_lifetime*) frm *neighbor_IP_address*, VIF= *VIF_index*, act= *action_taken*

長構文: DVM.025 Rec PRUNE (source= *source_net* group= *group_address* lifetime= *prune_lifetime*) frm *neighbor_IP_address*, VIF= *VIF_index* action= *action_taken*

説明: バーチャル・インターフェース上の IP 近隣から、表示されている発信元、グループ、および存続時間の値が入っている PRUNE を受信しました。この PRUNE は受け入れられました。取られるアクションの唯一の可能な値は (1) "accepted" で、これは PRUNE が受け入れられたことを意味します。

DVM.026

レベル: UI-ERROR

短構文: DVM.026 Rec PRUNE (src= *source_net* grp= *group_address* life= *prune_lifetime*) frm *neighbor_IP_address*, VIF= *VIF_index*, rej= *action_taken*

長構文: DVM.026 Rec PRUNE (source= *source_net* group= *group_address* lifetime= *prune_lifetime*) frm *neighbor_IP_address*, VIF= *VIF_index* reject= *action_taken*

説明: バーチャル・インターフェース上の IP 近隣から、表示されている発信元、グループ、および存続時間の値が入っている PRUNE を受信しました。この PRUNE は、表示されている理由で、受け入れられませんでした。取られるアクションの可能な値は、次のとおりです。(1) "pkt trunc" - PRUNE パケットが短すぎた。(2) "unknown nbr" - 送信側が既知の DVMRP 近隣でなかった。(3) "unreach src net" - ルーターは *source_net* に転送できない。(4) "no mem for Mfcache" - ルーターにマルチキャスト転送エントリーを作成するための記憶域がなかった。(5) "no DVMRP rte" - ルーターはこの *source_net* への DVMRP ルートを持っていない。(6) "not from dependent nbr" - *source_net* はルーターの転送先のダウンストリームの近隣でなかった。(7) "no mem for group" - ルーターにグループ・エントリーを作成するため

の記憶域がなかった。(8) "no mem for prune" - ルーターに prune エントリーを作成するための記憶域がなかった。

DVM.027

レベル: UI-ERROR

短構文: DVM.027 No mem for prune mgnt, grp *neighbor_IP_address*

長構文: DVM.027 No memory for prune management, group *neighbor_IP_address*

説明: 指定されたグループの PRUNE および GRAFT を管理するためのグループまたは PRUNE データ構造を割り振るための余地がありませんでした。記憶域を割り振ることができるようになるまで、PRUNE および GRAFT 論理の一部の機能が失われます。このメッセージが続かない場合は、状態は回復しています。そうでない場合は、DVMRP 機能が失われます。

DVM.028

レベル: UI-ERROR

短構文: DVM.028 No buf for msg *message_code*, frm *src_IP*

長構文: DVM.028 No buffer for message *message_code*, frm *src_IP*

説明: DVMRP メッセージを送信するために利用可能なバッファが得られませんでした。これは、送信する必要があった DVMRP メッセージが送信されていないことを意味しています。このメッセージが続かない場合は、状態は回復しています。そうでない場合は、DVMRP の機能が失われます。

DVM.029

レベル: C-INFO

短構文: DVM.029 Rec GRAFT (src= *source_net* grp= *group_address*) frm *neighbor_IP_address*, VIF= *VIF_index*, act= *action_taken*

長構文: DVM.029 Rec GRAFT (source= *source_net* group= *group_address*) frm *neighbor_IP_address*, VIF= *VIF_index* action= *action_taken*

説明: バーチャル・インターフェース上の IP 近隣から、表示されている発信元とグループの値が入っている PRUNE を受信しました。取られるアクションの可能な値は、次のとおりです。(1) "accepted" - GRAFT がルーターの prune データベース内の PRUNE と一致した。(2) "pkt trunc" - PRUNE パケットが短すぎた。(3) "unknown nbr" - 送信側が既知の DVMRP 近隣でない。(4) "unreach

src net" - ルーターは source_net に転送できない。(5) "no mem for Mfcache" - ルーターにマルチキャスト転送エントリーを作成するための記憶域がなかった。the router had no memory to build a (6) "no DVMRP rte" - ルーターはこの source_net への DVMRP ルートを持っていない。(7) "not from dependent nbr" - source_net はルーターの転送先のダウンストリーム近隣でなかった。(8) "no group found" - ルーターはこのグループのグループ・エントリーを見付けることができなかった。(9) "no prune found" - ルーターは prune エントリー内に一致する prune を見付けることができなかった。これらの多くは正常でないように思えますが、"pkt trunc" と "unknown nbr" を除くすべてに対して GRAFT ACK が送信されます。

DVM.030

レベル: C-INFO

短構文: DVM.030 Rec GRAFT ACK (src= source_net grp= group_address) frm neighbor_IP_address, VIF= VIF_index, act= action_taken

長構文: DVM.030 Rec GRAFT ACK (source= source_net group= group_address) frm neighbor_IP_address, VIF= VIF_index action= action_taken

説明: バーチャル・インターフェース上の IP 近隣から、表示されている発信元と値が入っている GRAFT ACK を受信しました。取られるアクションの可能な値は、次のとおりです。(1) "accepted" - GRAFT ACK は確認を必要としているルーター上の GRAFT と一致した。(2) "pkt trunc" - GRAFT ACK が短すぎた。(3) "unknown nbr" - 送信側が既知の DVMRP 近隣でなかった。(4) "unreach src net" - ルーターは source_net へのルートを持っていない。(5) "no mem for Mfcache" - ルーターにマルチキャスト転送エントリーを作成するための記憶域がなかった。(6) "no DVMRP rte" - ルーターはこの source_net への DVMRP ルートを持っていない。(7) "no group found" - ルーターはこのグループのグループ・エントリーを見付けることができなかった。(8) "not upstream nbr" - GRAFT ACK はアップストリーム近隣からのものでなかった。正常な場合は受け入れられますが、テーブルは動的に変更されるので、他の値が出されるのが通常です。このメッセージのアクションが受け入れられない状態が続く場合は、プロトコルに問題がある可能性があります。おそらく GRAFT ACK を送信するルーターに問題があるものと思われます。

DVM.031

レベル: C-TRACE

短構文: DVM.031 Unsupported Default Route from neighbor_IP_address, VIF= VIF_index

長構文: DVM.031 Received a default route entry, which is not supported, from neighbor_IP_address, VIF= VIF_index

説明: ルーターは指定されたバーチャル・インターフェース上でデフォルト・ルート公示を受信しました。この DVMRP では、マルチキャストに対してはデフォルト・ルートをサポートしていません。

第32章 イージー・スタート機能 (EZ)

この章では、イージー・スタート機能 (EZ) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

EZ.001

レベル: ALWAYS

短構文: EZ.001 Starting.

長構文: EZ.001 Starting.

説明: EasyStart 処理が始まりました。

EZ.002

レベル: ALWAYS

短構文: EZ.002 Changed one or more cfg params.

長構文: EZ.002 Changed one or more configuration parameters.

説明: EasyStart がデータ・リンクを (たとえば、PPP から FR へ) 変更したか、永続構成内のデータ・リンク・パラメーターを変更しました。 EasyStart を再始動しないと、変更は有効になりません。

EZ.003

レベル: ALWAYS

短構文: EZ.003 Bootp failed.

長構文: EZ.003 Called bootp client and it failed

説明: EasyStart が BOOTP を呼び出して、エラーとなりました。理由は、BOOTP サーバーが接続 (作動中) セグメント上にないか、あるいは BOOTP サーバーが正しく構成されていなかったことです。

EZ.004

レベル: ALWAYS

短構文: EZ.004 Rcvd boot info: *ipAddr ipAddr*, *ipMask ipMask* on intf *interfaceNumber*

長構文: EZ.004 Received boot info: *IPaddr: ipAddr*, mask: *ipMask* on interface: *interfaceNumber*

説明: EasyStart が BOOTP を呼び出して、必須構成パラメーターの TFTP ダウンロードを行うために必要な情報を受け取りました。 EasyStart は、IP アドレスおよびマスクで IP 構成を更新します。その上で、EasyStart は、変更が有効になるようにするために、システムをリブートします。

EZ.005

レベル: ALWAYS

短構文: EZ.005 TFTP failed. Backing up to device configuration step.

長構文: EZ.005 TFTP failed. Backing up to device configuration step.

説明: EasyStart TFTP 転送が正常に行われませんでした。 EasyStart は入出力装置構成ステップに戻って、再度試行します。

EZ.006

レベル: ALWAYS

短構文: EZ.006 All dlinks/parameters tried but failed; resetting to def values.

長構文: EZ.006 All datalinks and parameters tried but failed; resetting; restarting.

説明: ルーターはすべてのデータ・リンクおよびパラメーターを試行したが、正常に行われませんでした。 EasyStart が構成をリセットして、最初から開始します。

EZ.007

レベル: ALWAYS

短構文: EZ.007 Waiting up to *seconds* seconds for devices to pass self-test.

長構文: EZ.007 Waiting up to *seconds* seconds for devices to pass self-test.

説明: EasyStart は装置の自己検査合格待ちの状態です。その結果で、その装置をアップまたはダウン状態にします。装置によっては、即時にアップするものがあるので、待たなくて済むようにするための可変タイマーがあります。

EZ.008

レベル: ALWAYS

短構文: EZ.008 TFTP transfer completed successfully. *** EasyStart Completed Successfully ***

長構文: EZ.008 TFTP transfer completed successfully.

説明: EasyStart が正しく行われました。 ルーターは、ダウンロードされた作動可能構成に合わせて再始動中です。

EZ.009

レベル: ALWAYS

短構文: EZ.009 *** Restarting Router ***

長構文: EZ.009 Restarting router

説明: パラメーターが変更されました。これらを有効なものとするために、EasyStart が再始動中です。

第33章 終端システム - 中間システム間プロトコル Protocol (ESIS)

この章では、終端システム - 中間システム間プロトコル (ESIS) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

ESIS.001

レベル: UE-ERROR

短構文: ESIS.001 ESIS input que ovflw

長構文: ESIS.001 ESIS input queue overflow

説明: ESIS タスク入力待ち行列がオーバーフローしているので、パケットは除去されます。

ESIS.002

レベル: UE-ERROR

短構文: ESIS.002 rcvd incmplt pkt

長構文: ESIS.002 received incomplete packet

説明: ESIS パケットとして認識されるパケット・フラグメントを受信しました。

ESIS.003

レベル: UE-ERROR

短構文: ESIS.003 rcvd pkt bad chksm= *pkt_chksum*

長構文: ESIS.003 received packet with a bad checksum = *pkt_chksum*

説明: 不適正なチェックサムを含む ESIS パケットを受信しました。

ESIS.004

レベル: UE-ERROR

短構文: ESIS.004 rcvd pkt bad vers # = *version_number*

長構文: ESIS.004 received packet with a bad version number (vers = *version_number*)

説明: ESIS パケットを受信しましたが、そのバージョン番号が不適正またはサポートされていないものでした。

ESIS.005

レベル: UE-ERROR

短構文: ESIS.005 rcvd pkt bad typ # = *type_field*

長構文: ESIS.005 received packet with a bad type field (vers = *type_field*)

説明: ESIS パケットを受信しましたが、そのタイプ・フィールドが不適正またはサポートされていないものでした。

ESIS.006

レベル: UE-ERROR

短構文: ESIS.006 no iob avail to snd hello

長構文: ESIS.006 no i/o buffer available to send hello

説明: システム入出力バッファの不足のため、ESIS ハローの送信の試みが失敗しました。

ESIS.007

レベル: UE-ERROR

短構文: ESIS.007 cnnt snt hello pkt hndlr err

長構文: ESIS.007 cannot send a hello packet, handler error

説明: ハンドラー・エラーのため、ESIS ハロー・パケットが送信できませんでした。

ESIS.008

レベル: P-TRACE

短構文: ESIS.008 sent hello *source_NSAP* on int *interface_#*

長構文: ESIS.008 sent hello packet with source nsap *source_NSAP* on int *interface_#*

説明: インターフェース上で、ESIS ハロー・パケットを送信しました。

ESIS.009

レベル: UE-ERROR

短構文: ESIS.009 rcvd hello packet with a bad header

長構文: ESIS.009 rcvd hello packet with a bad header

説明: 保留時間フィールドまたは予約フィールドがあるハロー・パケットを受信しました。

ESIS.010

レベル: UE-ERROR

短構文: ESIS.010 rcvd hello bad nsap *source_NSAP*

長構文: ESIS.010 received hello with bad nsap *source_NSAP*

説明: ESIS ハロー・パケットを受信しましたが、NSAP が不適正であったか、パケットをオーバーランさせるものでした。

ESIS.011

レベル: UE-ERROR

短構文: ESIS.011 rcvd hello pkt bad opt

長構文: ESIS.011 received packet with a bad optional parameter

説明: 不適正なオプション・パラメーターを含む ESIS CLNP データ・パケットを受信しました。

ESIS.012

レベル: P-TRACE

短構文: ESIS.012 rcvd hello from *source_NSAP* int *interface* net *network_name*

長構文: ESIS.012 rcvd hello packet with source nsap *source_NSAP* on int *interface*, net *network_name*

説明: 指定されたインターフェース上で、ESIS ハロー・パケットを受信しました。

ESIS.013

レベル: UE-ERROR

短構文: ESIS.013 rcvd hello unsp dom src *source_NSAP*

長構文: ESIS.013 rcvd hello packet unsupported domain *source_NSAP*

説明: 認識不能な IDI を含む ESIS ハロー・パケットを受信しました。

ESIS.016

レベル: UE-ERROR

短構文: ESIS.016 tmd out rte reac *source_NSAP*

長構文: ESIS.016 timed out route reactivated *source_NSAP*

説明: 以前にタイムアウトになったルートを含む ESIS ハロー・パケットを受信しました。

ESIS.017

レベル: UE-ERROR

短構文: ESIS.017 no rsrc to snd rdrct

長構文: ESIS.017 no resources to send redirect

説明: 資源不足のために、ESIS 転送パケットを送信できませんでした。

ESIS.018

レベル: UE-ERROR

短構文: ESIS.018 rdrct nt snt hndlr err

長構文: ESIS.018 redirect not sent, handler error

説明: ハンドラー・エラーのために、ESIS 転送パケットを送信できませんでした。

ESIS.019

レベル: P-TRACE

短構文: ESIS.019 sent rdrct to: *dest_NSAP*

長構文: ESIS.019 sent redirect packet to: *dest_NSAP*

説明: インターフェース上で ESIS 転送パケットを送信しました。

ESIS.020

レベル: UE-ERROR

短構文: ESIS.020 tmd out rte *source_NSAP*

長構文: ESIS.020 timed out route *source_NSAP*

説明: ESIS ハロー・ルートがタイムアウトになりました。

ESIS.021

レベル: UI_ERROR

短構文: ESIS.021 Unable to allocate resources for a new ES adjacency

長構文: ESIS.021 Unable to allocate resources for a new ES adjacency

説明: 新しい終端システム隣接のための隣接構造を取得することができませんでした。

ESIS.022

レベル: UE_ERROR

短構文: ESIS.022 hello PDU dropped, rcvd over p-to-p cir *cct_num*

長構文: ISIS.022 hello PDU dropped, received over point-to-point circ *cct_num*

説明: ISIS ハロー PDU をポイント・ポイント回線を通して受信しましたが、ISIS はポイント・ポイント回線上では稼働しないため、そのパケットは除去されました。

ISIS.023

レベル: UE_ERROR

短構文: ISIS.023 hello PDU dropped, no matching area address

長構文: ISIS.023 ISIS hello PDU dropped, no matching area address

説明: ISIS ハロー PDU が、その発信元 NSAP の区域アドレス部分がルーターの手動区域アドレスの 1 つと一致しなかったために、除去されました。

ISIS.024

レベル: P-TRACE

短構文: ISIS.024 dropped hello from *source_NSAP* int *interface* net *network_name* manual ES adjacency exists

長構文: ISIS.024 dropped hello packet with source nsap *source_NSAP* on int *interface*, net *network_name* - manual ES adjacency exists

説明: ES 用の手動隣接が存在しているために、ISIS ハロー・パケットが指定されたインターフェース上で除去されました。

第34章 環境機能 (ENV)

この章では、環境機能 (ENV) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

ENV.001

レベル: C-TRACE

短構文: ENV.001 current temp *temperature_celsiusC* (*temperature_fahrenheitF*)

長構文: ENV.001 Current ambient temperature: *temperature_celsiusC* (*temperature_fahrenheitF*)

説明: ルーターは、現行周辺温度の再計算を行うと必ず、このメッセージを生成します。

ENV.002

レベル: U-TRACE

短構文: ENV.002 hi temp thresh active: *threshold_temperature_celsiusC* (*threshold_temperature_fahrenheitF*)

長構文: ENV.002 High temperature threshold is active. Threshold: *threshold_temperature_celsiusC* (*threshold_temperature_fahrenheitF*)

説明: ルーターが高温度しきい値を超えたこと、およびその高温度しきい値が活動状態であることを示しているトレース・メッセージ。ルーターは、現行周辺温度の再計算を行い、その現行周辺温度が高温度しきい値を超えた場合には必ずこのメッセージを生成します。

ENV.003

レベル: U-TRACE

短構文: ENV.003 low temp thresh active: *threshold_temperature_celsiusC* (*threshold_temperature_fahrenheitF*)

長構文: ENV.003 Low temperature threshold is active. Threshold: *threshold_temperature_celsiusC* (*threshold_temperature_fahrenheitF*)

説明: ルーターが低温度しきい値を超えたこと、およびその低温度しきい値が活動状態であることを示しているトレース・メッセージ。ルーターは、現行周辺温度を再計算し、現行周辺温度が低温度しきい値より低くなると、そのつどこのメッセージを生成します。

ENV.004

レベル: UE-ERROR

短構文: ENV.004 hi temp thresh exceeded: *threshold_temperature_celsiusC* (*threshold_temperature_fahrenheitF*)

長構文: ENV.004 High temperature threshold has been exceeded. Threshold: *threshold_temperature_celsiusC* (*threshold_temperature_fahrenheitF*)

説明: ルーターが高温度しきい値を超えたこと、およびその高温度しきい値が活動状態であることを示しているトレース・メッセージ。ルーターは、高温度状態が活動状態であることを最初に検出したときにこのメッセージを生成します。ルーターの周辺温度がその指定稼働時最大値 (構成された高温度しきい値に関係なく、製造時に設定されている) を超えた場合は、周辺温度がその指定稼働時 (温度) 範囲に戻るまで、ルーターは自動的にシャットダウンします。これによって、ルーターおよびデータ・フローへの損傷が防止されます。

原因: 高温度しきい値の値の設定が、設置場所の平均稼働時周辺温度に対して低過ぎる構成になっています。

処置: 高温度しきい値が、特定の設置場所の通常の周辺温度範囲を考慮して、希望する正しい温度に設定されているかどうか確認します。

原因: ルーターの内蔵ファンに障害がある可能性があります。

処置: ルーターの内蔵ファンの作動を確認します。内蔵ファンが作動可能でなければ、サービス技術員に連絡します。

原因: ルーターが設置されている場所の環境制御システムに障害があると考えられます。

処置: その設置場所の環境制御システムの作動を確認します。

ENV.005

レベル: UE-ERROR

短構文: ENV.005 low temp thresh exceeded: *threshold_temperature_celsiusC* (*threshold_temperature_fahrenheitF*)

長構文: ENV.005 Low temperature threshold has been

exceeded. Threshold: *threshold_temperature_celsiusC*
(*threshold_temperature_fahrenheitF*)

説明: ルーターが低温度しきい値を超えたこと、およびその低温度しきい値が活動状態であることを示しているトレース・メッセージ。ルーターは、低温度状態が活動状態であることを最初に検出したときにこのメッセージを生成します。

原因: 低温度しきい値の値が、その設置場所の平均稼働時周辺温度に対して高過ぎる構成になっています。

処置: 低温度しきい値が、その設置場所の通常の周辺温度範囲を考慮した、希望どおりの正しい値に設定されていることを確認します。

原因: ルーターが設置されている場所の環境制御システムに障害があると考えられます。

処置: その設置場所の環境制御システムの作動を確認します。

第35章 ESCON ネットワーク・インターフェース (ESC)

この章では、ESCON ネットワーク・インターフェース (ESC) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

ESC.001

レベル: ALWAYS

短構文: ESC.001 bd frm LANtype *lan_type* LANnum *lan_num* on nt *network*

長構文: ESC.001 frame received for unknown LAN type *lan_type*, LAN number *lan_num* on network *network*

説明: チャンネルからフレームを受信しましたが、そのあと先が確認不能の LAN タイプまたは LAN 番号になっています。

ESC.002

レベル: ALWAYS

短構文: ESC.002 bd not *not_id* on nt *network*

長構文: ESC.002 unknown notification *not_id* received from device driver on network *network*

説明: 装置ドライバーから通知を受信しましたが、確認不能でした。

ESC.003

レベル: UE-ERROR

短構文: ESC.003 bd 8232 cmd *cmd* on nt *network*

長構文: ESC.003 unknown 8232 command *cmd* received on network *network*

説明: 8232 コマンドを受信しましたが、確認不能でした。

ESC.004

レベル: ALWAYS

短構文: ESC.004 bd cmd *cmd* on nt *network*

長構文: ESC.004 unknown IORB command *cmd* received on network *network*

説明: IORB を受信しましたが、確認不能のコマンドが含まれていました。

ESC.005

レベル: ALWAYS

短構文: ESC.005 no subch on nt *network*

長構文: ESC.005 no subchannels are defined on network *network*, cannot pass self-test

説明: ESCON 基本ネットに関してサブチャンネルが定義されていないので、ネットワークは起動する (自己試験に合格する) ことができません。

原因: この基本ネット・ハンドラーのバーチャル・ネット・ハンドラーが正しく定義されていませんでした。

処置: この ESCON アダプター上でバーチャル・ネット・ハンドラーに関するサブチャンネルを定義します。

ESC.006

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.006 STOP: no IORB on nt *network*

長構文: ESC.006 network *network* was unable to send a STOP command to the device driver because an IORB was not available

説明: ネットワークは停止を完了することができませんでした。装置ドライバーに STOP コマンドを送信する場合に使用する IORB が使用可能でなかったためです。

ESC.007

レベル: P-TRACE

短構文: ESC.007 frm sent to lt *lantype* ln *lannumber* on nt *network*

長構文: ESC.007 A frame was sent to LAN type *lantype*, LAN number *lannumber* on network *network*

説明: チャンネル上でフレームを受信し、バーチャル・ネット・ハンドラーに送信しました。

ESC.008

レベル: P-TRACE

短構文: ESC.008 data frm rcvd from nt *network*

長構文: ESC.008 A data frame was received from network *network*

説明: チャネルに送信するデータ・フレームをバーチャル・ネット・ハンドラーから受信しました。

ESC.009

レベル: P-TRACE

短構文: ESC.009 cmd *cmd_code* in frm rcvd from nt *network*

長構文: ESC.009 command *cmd_code* in frame received from network *network*

説明: チャネルに送信するコマンド・フレームをバーチャル・ネット・ハンドラーから受信しました。

ESC.010

レベル: P-TRACE

短構文: ESC.010 notif *notif_code* rcvd on nt *network*

長構文: ESC.010 notification *notif_code* received from device driver on network *network*

説明: 装置ドライバーから通知を受信しました。

ESC.011

レベル: P-TRACE

短構文: ESC.011 8232 cmd *cmd_code* rcvd on nt *network*

長構文: ESC.011 8232 command *cmd_code* received on network *network*

説明: 基本ネット・ハンドラーが 8232 コマンドを受信しました。

ESC.012

レベル: C-TRACE

短構文: ESC.012 nt *virtual_net_number* reg on nt *network*

長構文: ESC.012 Network number *virtual_net_number* registering on base network *network*

説明: バーチャル・ネット・ハンドラーが ESCON 基本ネット・ハンドラーに登録中です。

ESC.013

レベル: P-TRACE

短構文: ESC.013 Cmd *cmd_code* fail stat *cmd_status* on nt *network*

長構文: ESC.013 Command *cmd_code* to device driver failed with status *cmd_status* on network *network*

説明: 基本ネット・ハンドラーから装置ドライバーにコマンドが送信されましたが、これが失敗でした。

ESC.014

レベル: P-TRACE

短構文: ESC.014 Cmd *cmd_code* sent to DD on nt *network* (sub *locaddr locaddr devaddr devaddr logpath logpath*)

長構文: ESC.014 Commands *cmd_code* was sent to the device driver on network *network* (subchannel local address *locaddr*, device address *devaddr*, logical path *logpath*)

説明: 装置ドライバーにコマンドが送信されました。

ESC.015

レベル: P-TRACE

短構文: ESC.015 Snd 8232 resp *cmd_code* (rc *retcode*) on nt *network* (sub *locaddr locaddr devaddr devaddr logpath logpath*)

長構文: ESC.015 Sending 8232 response for command *cmd_code* with return code *retcode* on network *network* (subchannel local address *locaddr*, device address *devaddr*, logical path *logpath*)

説明: 8232 応答がホストに送信されました。

ESC.016

レベル: P-TRACE

短構文: ESC.016 Snd not *notification_id* to net *virt_net_number* on nt *network*

長構文: ESC.016 Sending notification *notification_id* to net *virt_net_number* on network *network*

説明: 基本ネット・ハンドラーからバーチャル・ネット・ハンドラーに通知が送信されました。

ESC.017

レベル: U-TRACE

短構文: ESC.017 circdn for nt *net_num* on nt *network*

長構文: ESC.017 circdown for net *net_num* called on network *network*

説明: ネットワークに関する回線ダウン・ルーチンが呼び出されました。

ESC.018

レベル: U-TRACE

短構文: ESC.018 circup for nt *net_num* on nt *network*

長構文: ESC.018 circup for net *net_num* called on network *network*

説明: ネットワークに関する回線アップ・ルーチンが呼び出されました。

ESC.019

レベル: U-TRACE

短構文: ESC.019 net up for nt *net_num* on nt *network*

長構文: ESC.019 net up for net *net_num* called on network *network*

説明: バーチャル・ネットワークに関するネットアップ・ルーチンが呼び出されました。

ESC.020

レベル: U-TRACE

短構文: ESC.020 net dn for nt *net_num* on nt *network*

長構文: ESC.020 net down for net *net_num* called on network *network*

説明: バーチャル・ネットワークに関するネットダウン・ルーチンが呼び出されました。

ESC.021

レベル: UE_ERROR

短構文: ESC.021 *file(line)*: input *fsminput* curr stte *curr_state* new stte *new_state* actn *action* subchan *network/*

長構文: ESC.021 *file(line)*: input *fsminput* current state *curr_state* new state *new_state* action *action* subchannel *network/*

説明: メッセージに示されている FSM に入力を示します。

ESC.029

レベル: UI_ERROR

短構文: ESC.029 Unable to create dump file for ESCON adapter in slot *slot*. RC=0x *rc*

長構文: ESC.029 Unable to create dump file for ESCON adapter in slot *slot*. RC=0x *rc*

説明: 致命的エラーを ESCON アダプターが検出しましたが、装置ドライバーはダンプ・ファイルを作成できま

せんでした。このエラーが、ファイバーを除去したために発生したのではない場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

ESC.030

レベル: UI_ERROR

短構文: ESC.030 Dump file '*filename*' created for the ESCON adapter in slot *slot*.

長構文: ESC.030 Dump file '*filename*' created for the ESCON adapter in slot *slot*.

説明: 致命的エラーを、ESCON アダプター・マイクロコードが検出し、障害情報を含むダンプ・ファイルが作成されました。このエラーが、ファイバーを除去したために発生したのではない場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

ESC.031

レベル: C-INFO

短構文: ESC.031 ESCON DD rcvd Logical Path Removed notif from slot *slot*,link addr=0x *link*, LPAR=0x *lpar*,cu-num=0x *cu_num*.

長構文: ESC.031 ESCON DD received a Logical Path Removed notification from slot *slot* ESCON adapter, link addr=0x *link*, LPAR=0x *lpar*, cu-num=0x *cu_num*.

説明: ESCON アダプターは、構成されたサブチャネル・パスの 1 つを介して、ホストへの接続を除去しました。

ESC.032

レベル: UE-ERROR

短構文: ESC.032 Unknown ESCON adapter CCA error, nt *network*, subchan= *subchan*, cca0=0x *cca0*, cca1=0x *cca1*, rc=0x *rc*.

長構文: ESC.032 Unknown ESCON adapter CCA error, network *network*, subchan= *subchan*, cca0=0x *cca0*, cca1=0x *cca1*, rc=0x *rc*.

説明: これは、ESCON アダプターが報告中の確認不能の CCA エラー・メッセージです。

処置: 一般的には、処置は必要ありません。問題が続く場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。詳細については、資料を参照してください。

ESC.033

レベル: UE-ERROR

短構文: ESC.033 ESCON adapter CCA error, nt *network*,

ccams, *subchan*= *subchan*, *cca0*=0x *cca0*, *cca1*=0x *cca1*, *rc*=0x *rc*.

長構文: ESC.033 ESCON adapter CCA error, network *network*, *ccams*, *subchan*= *subchan*, *cca0*=0x *cca0*, *cca1*=0x *cca1*, *rc*=0x *rc*.

説明: ESCON アダプターは ESCON 装置ドライバーに CCA エラーを報告中です。

処置: 一般的には、処置は必要ありません。問題が続く場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。詳細については、資料を参照してください。

ESC.034

レベル: ALWAYS

短構文: ESC.034 ESCON in slot *slot*. AIB FLASH mismatch: code at 0x *codelev*, adapter at 0x *adaplev*

長構文: ESC.034 ESCON adapter in slot *slot*. AIB FLASH mismatch: code at 0x *codelev*, adapter at 0x *adaplev*

説明: ESCON アダプターは、現行のロード・イメージで使用可能なレベルとは異なる FLASH コードを持っています。

処置: ソフトウェア・サポートに連絡して、アダプターの FLASH コードを更新する必要があるかどうかを調べてください。

ESC.035

レベル: C-INFO

短構文: ESC.035 ESCON adapter in slot *slot* is operational.

長構文: ESC.035 ESCON adapter in slot *slot* is operational.

説明: ESCON アダプターは作動可能です。アダプターはホストへの接続をまだ行っていません。

ESC.036

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.036 ESCON adapter error, slot= *slot*, subchan= *subchan*, rc= *rc*, origcmd= *origcmd*, sev= *sev*, correl=0x *correl*.

長構文: ESC.036 ESCON DD received an Error notif from slot *slot* ESCON adapter; subchan= *subchan*, rc = *rc*, origcmd= *origcmd*, severity= *sev*, correl=0x *correl*.

説明: ESCON アダプターは ESCON 装置ドライバーにエラーを報告中です。

処置: 一般的には、処置は必要ありません。問題が続く場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。詳細については、資料を参照してください。

ESC.037

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.037 ESCON adapter in slot= *slot* is offline to the host.

長構文: ESC.037 ESCON adapter in slot= *slot* is offline to the host.

説明: ESCON アダプターは、ホストに対してオフラインにあることを報告中です。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが再始動に失敗した場合は、診断が起動します。

処置: アダプターが診断には合格しても、やはり始動しない場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

ESC.038

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.038 ESCON DD received i960 Processor Fault notif from slot= *slot* ESCON adapter, Fault Type=0x *ft*.

長構文: ESC.038 ESCON DD received an i960 Processor Fault notif from slot *slot* ESCON adapter with Fault Type=0x *ft*.

説明: ESCON アダプターは、i960 プロセッサに障害があったことを報告中です。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが始動に失敗した場合は、診断が起動します。

処置: ソフトウェア・サポートに連絡してください。

ESC.039

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.039 ESCON DD received SLC2 NMI Detected notif from slot= *slot* ESCON adapter.

長構文: ESC.039 ESCON DD received an SLC2 NMI Detected notif from slot *slot* ESCON adapter.

説明: ESCON アダプターは、SLC2 NMI エラーを検出したことを報告中です。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが再始動に失敗した場合は、診断が起動します。

原因: これは、ESCON ファイバーを ESCON アダプターから切断し、後で再接続した結果である場合があります。

処置: ソフトウェア・サポートに連絡してください。

ESC.040

レベル: U-INFO

短構文: ESC.040 ESCON adapter in slot *slot* had an unexpected interrupt.

長構文: ESC.040 ESCON DD received an Unexpected Interrupt notification from slot *slot* ESCON adapter.

説明: ESCON アダプターに予期しない割り込みがありました。問題が続く場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

ESC.041

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.041 ESCON adapter in slot *slot* had a serial engine failure, dump is *log_stat*.

長構文: ESC.041 ESCON DD received a Serial Engine Failure notification from slot *slot* ESCON adapter, dump is *log_stat*.

説明: ESCON アダプターは、シリアル・エンジン障害があったことを報告中です。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが再始動に失敗した場合は、診断が起動します。

原因: これは、ESCON ファイバーを ESCON アダプターから切断し、後で再接続した結果である場合があります。

処置: アダプターが再始動に失敗した場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

ESC.042

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.042 Slot *slot* ESCON adapter microcode aborted with rc=0x *rc*.

長構文: ESC.042 ESCON DD received a Microcode Aborted notification from slot *slot* ESCON adapter, rc=0x *rc*.

説明: ESCON は、マイクロコードが強制終了したことを報告中です。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが再始動に失敗した場合は、診断が起動します。

原因: これは、ESCON ファイバーを ESCON アダプターから切断し、後で再接続した結果である場合があります。

処置: アダプターが再始動に失敗した場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

ESC.043

レベル: C-INFO

短構文: ESC.043 ESCON DD rcvd Logical Path Estbl notif from slot *slot*, link addr=0x *link*, LPAR=0x *lpar*, cu-num=0x *cu_num*.

長構文: ESC.043 ESCON DD received a Logical Path Established notification from slot *slot* ESCON adapter, link addr=0x *link*, LPAR=0x *lpar*, cu-num=0x *cu_num*.

説明: ESCON アダプターは、構成されたサブチャネル・パスの 1 つを介して、ホストへの接続を行いました。

ESC.044

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.044 ESCON adapter in slot *slot* had a POST error, error = 0x *error*.

長構文: ESC.044 ESCON adapter in slot *slot* has a POST error, error = 0x *error*.

説明: ESCON に POST エラーがありました。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが再始動に失敗した場合は、診断が起動します。

処置: アダプターが再始動に失敗した場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

ESC.045

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.045 ESCON adapter in slot *slot* had a POST error, CBSP value=0x *error*.

長構文: ESC.045 ESCON adapter in slot *slot* had a POST error, CBSP value=0x *error*.

説明: ESCON に POST エラーがありました。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが再始動に失敗した場合は、診断が起動します。

処置: アダプターが再始動に失敗した場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

ESC.046

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.046 ESCON adapter in slot *slot* did not complete POST.

長構文: ESC.046 ESCON adapter in slot *slot* did not complete POST.

説明: ESCON は POST を完了しませんでした。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが再始動に失

敗した場合は、診断が起動します。

処置: アダプターが診断には合格しても、やはり再始動しない場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

ESC.047

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.047 ESCON adapter in slot *slot* had a PrePOST error = 0x *error*.

長構文: ESC.047 ESCON adapter in slot *slot* had a PrePOST error = 0x *error*.

説明: ESCON アダプターに PrePOST エラーがありました。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが再始動に失敗した場合は、診断が起動します。

処置: アダプターが再始動しない場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

ESC.048

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.048 Slot *slot* does not contain an ESCON card, identifier = *id*.

長構文: ESC.048 Slot *slot* does not contain an ESCON card, identifier = *id*.

説明: スロットに ESCON カードが収まっていませんが、ソフトウェアは、このスロットに ESCON アダプターが入っている場合用として構成されています。

処置: 構成を訂正してください。再構成後も問題が生じる場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

ESC.049

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.049 Slot *slot* ESCON Adapter timed-out during initialization, cmd=0x *cmd*.

長構文: ESC.049 Slot *slot* ESCON Adapter timed-out during initialization, cmd=0x *cmd*.

説明: アダプターは自動的に再始動します。

処置: アダプターが再始動しない場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

ESC.050

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.050 Slot *slot* ESCON Control Unit table did not load correctly, rc=0x *rc*, tbl=0x *tbl_num*.

長構文: ESC.050 Slot *slot* ESCON Control Unit table did not load correctly, rc=0x *rc*, tbl=0x *tbl_num*.

説明: これらのテーブルなしでは、ESCON アダプターは始動できません。アダプターは自動的に再始動します。

処置: アダプターが再始動しない場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

ESC.051

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.051 ESCON DD could not obtain a Control Buffer from slot *slot* adapter.

長構文: ESC.051 ESCON DD could not obtain a Control Buffer from adapter in slot *slot*.

説明: 装置ドライバはアダプターからのバッファを必要とします。このバッファを提供できない場合、アダプターは適正に機能していないことになります。アダプターは自動的に再始動します。

処置: 問題が続く場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

ESC.052

レベル: U-INFO

短構文: ESC.052 ESCON DD encountered an internal error for slot *slot*. Identifier = *id*.

長構文: ESC.052 ESCON DD encountered an internal error for slot *slot*. Identifier = *id*.

説明: ESCON 装置ドライバは、適正に処理することができない状態を検出しました。

処置: 問題が続く場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

ESC.053

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.053 ESCON DD detected a CRC error in CU Table *tbl_num* for slot *slot*.

長構文: ESC.053 ESCON DD detected a CRC error in CU Table *tbl_num* for slot *slot*.

説明: アダプターは自動的に再始動します。

処置: 問題が続く場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

ESC.054

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.054 ESCON DD could not obtain system memory; slot=0x *slot*, identifier= *id*.

長構文: ESC.054 ESCON DD could not obtain system memory; slot=0x *slot*, identifier= *id*.

説明: このエラーが初期化中に発生した場合は、アダプターは再始動します。

処置: 問題が続く場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

ESC.055

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.055 ESCON DD could not open dump files on harddrive. Dumps not available for slot *slot* adapter.

長構文: ESC.055 ESCON DD could not open the dump files on the harddrive. The dumps are not available for slot *slot* adapter

説明: 装置ドライバーはハード・ディスクのファイルのオープンを試みましたが、これが正常に行われませんでした。ESCON アダプターのダンプが利用不能です。

処置: アダプターの問題が続く場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

ESC.056

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.056 ESCON DD could not dump all slot *slot* ESCON adapter *data_type* data to the dump file.

長構文: ESC.056 ESCON DD could not dump all of the slot *slot* ESCON adapter *data_type* data to the dump file on the harddrive.

説明: 装置ドライバーは、ハード・ディスク上のファイルへの ESCON アダプター・データのダンプを試みました。IRAM ダンプは、c:\ESCONIx.DMP (ただし、x はスロット番号) で部分的に使用可能な場合があります。DRAM ダンプは、c:\ESCONDx.DMP (ただし、x はスロット番号) で部分的に使用可能な場合があります。

処置: ソフトウェア・サポートに連絡してください。

ESC.057

レベル: C-INFO

短構文: ESC.057 ESCON DD received a reset subchannel notif for subchannel 0x *sc*, slot= *slot*.

長構文: ESC.057 ESCON DD received a reset subchannel notification for subchannel 0x *sc*, slot= *slot*.

説明: 装置ドライバーはサブチャネル・リセット通知を受信しました。

ESC.058

レベル: C-INFO

短構文: ESC.058 Incorrect subchannel configuration detected for slot *slot* ESCON adapter.

長構文: ESC.058 Incorrect subchannel configuration detected for slot *slot* ESCON adapter.

説明: 装置ドライバーは、サブチャネル構成に誤りがあることを検出しました。構成が正しいサブチャネルであれば、この問題による影響を受けるはずがありません。

処置: 構成を訂正してください。

ESC.059

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.059 ESCON DD could not obtain a Command FIFO entry from slot *slot* adapter.

長構文: ESC.059 ESCON DD could not obtain a Command FIFO entry from adapter in slot *slot*.

説明: アダプターとの通信のために、装置ドライバーにはコマンド FIFO 項目が必要です。初期化中に項目を獲得することができない場合は、アダプターは再始動します。それ以外の時点でも、アダプターが項目を獲得できない場合は、内部ソフトウェアが回復を試みます。

処置: 問題が続く場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

ESC.060

レベル: P-TRACE

短構文: ESC.060 ESCON DD sending frame from slot= *slot*,, subchan= *subchan*,, LT= *lantype*,, LN= *lanum*, to base net.

長構文: ESC.060 ESCON DD rcvd frame from slot *slot*, ESCON, subchan= *subchan*,, LanType= *lantype*,, and LanNum= *lanum*; sending it to base net.

説明: フレームがチャネルによって受信され、ESCON 基本ネット・ハンドラーに送信されました。

ESC.061

レベル: P-TRACE

短構文: ESC.061 ESCON DD rcvd frame from net handler for slot= *slot*,, subchan= *subchan*,, LT= *lantype*,, LN= *lanum*,,PDU-hdr= *pdu_len*

長構文: ESC.061 ESCON DD received a frame from a net handler destined for slot *slot*, ESCON adapter, subchan= *subchan*,, LanType= *lantype*,, and LanNum= *lanum*,, PDU-header len= *pdu_len*.

説明: ESCON 関連ネット・ハンドラーが、伝送するためのフレームを ESCON DD に送信しました。

ESC.062

レベル: P-TRACE

短構文: ESC.062 ESCON DD rcvd *cmd*, cmd from net handler for slot *slot* ESCON.

長構文: ESC.062 ESCON DD received *cmd*, command from net handler for slot *slot* ESCON adapter.

説明: ESCON 関連ネット・ハンドラーが ESCON DD にコマンドを送信しました。

ESC.063

レベル: P-TRACE

短構文: ESC.063 ESCON DD rcvd *cmd*, cmd from nethandler for slot *slot*, ESCON, subchan= *subchan*.

長構文: ESC.063 ESCON DD received *cmd*, command from a nethandler for slot *slot*, ESCON adapter, subchan= *subchan*.

説明: ESCON 関連ネット・ハンドラーが ESCON DD にコマンドを送信しました。

ESC.064

レベル: P-TRACE

短構文: ESC.064 ESCON DD sent *notif*, notif for slot *slot*, ESCON, subchan= *subchan*,, LT= *lantype*,, LN= *lanum*, to nethandler.

長構文: ESC.064 ESCON DD sent *notif*, notif for slot *slot*, ESCON adapter, subchan= *subchan*,, LT= *lantype*,, LN= *lanum*, to nethandler.

説明: ESCON 装置ドライバーが ESCON 関連ネット・ハンドラーに通知を送信しました。

ESC.065

レベル: U-INFO

短構文: ESC.065 ESCON adapter ran out of rcv buffers, LCS frame discarded, slot= *slot*, local sc= *subchan*

長構文: ESC.065 ESCON adapter ran out of receive buffers and discarded an LCS frame; slot= *slot* local subchan= *subchan*.

説明: ESCON アダプターは、受信バッファを獲得できなかったため、LCS フレームを廃棄したことを報告中です。

処置: 一般的には、処置は必要ありません。問題が続く場合は、この ESCON アダプター用の受信バッファの数を増やしてください。

ESC.066

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.066 ESCON adapter ran out of rcv buffers, LSA frame discarded, slot= *slot*, local sc= *subchan*

長構文: ESC.066 ESCON adapter ran out of receive buffers and discarded an LSA frame; slot= *slot* local subchan= *subchan*.

説明: ESCON アダプターは、受信バッファを獲得できなかったため、LSA フレームを廃棄したことを報告中です。

処置: この ESCON アダプター用の受信バッファの数を増やしてください。

ESC.067

レベル: U-INFO

短構文: ESC.067 ESCON adapter ran out of rcv buffers, MPC+ frame discarded, slot= *slot*, local sc= *subchan*

長構文: ESC.067 ESCON adapter ran out of receive buffers and discarded an MPC+ frame; slot= *slot* local subchan= *subchan*.

説明: ESCON アダプターは、受信バッファを獲得できなかったため、MPC+ フレームを廃棄したことを報告中です。

処置: 一般的には、処置は必要ありません。問題が続く場合は、この ESCON アダプター用の受信バッファの数を増やしてください。

Panic escnomem

短構文: escnomem: ESCON handler no memory

説明: ESCON ハンドラーが、制御ブロック (複数の場合もある) 用として記憶域を割り振ることができません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic escnsram

短構文: escnsram: ESCON SRAM not found

説明: ESCON ハンドラーに関する SRAM レコードが見つかりませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic escbprt

短構文: escbprt: bad prot init

説明: サポートされないネットワーク・レイヤー・プロトコルが ESCON ハンドラーの初期化を試行しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic escdreg

短構文: escdreg: virt net already reg

説明: ESCON パーチャル・ネット・ハンドラーが基本ネット・ハンドラーにすでに登録しています。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic escbreq

短構文: escbreq: bad xmit rqst

説明: 伝送のために ESCON ハンドラーに渡されたプロトコル・パケットが、サポートされないものでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic escnosub

短構文: escnosub: subch not found

説明: 要求された論理経路および装置アドレスが、ESCON 基本ハンドラー・サブチャネル・テーブル内に見つかりませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic escbcall

短構文: escbcall: bad call to routine.

説明: ルーチンに対して無効の呼び出しが行われました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic escbprd

短構文: escbprt: bad prot down

説明: サポートされないネットワーク・レイヤー・プロトコルが ESCON ハンドラーを消去しようとしてしました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

第36章 イーサネット・ネットワーク・インターフェース (ETH)

この章では、イーサネット・ネットワーク・インターフェース (ETH) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

ETH.001

レベル: P-TRACE

短構文: ETH.001 brd rcv unkwn typ *packet_type* *source_Ethernet_address* -> *destination_Ethernet_address* nt *network*

長構文: ETH.001 broadcast packet received with unknown Ethernet type *packet_type* from host *source_Ethernet_address* to *destination_Ethernet_address* network *network*

説明: 同報通信パケットを受信しましたが、イーサネット・タイプ・フィールドが不明であるか、サポートされていません。

ETH.002

レベル: UE-ERROR

短構文: ETH.002 rcv unkwn typ *packet_type* *source_Ethernet_address* -> *destination_Ethernet_address* nt *network*

長構文: ETH.002 packet received with unknown Ethernet type field *packet_type* from *source_Ethernet_address* to *destination_Ethernet_address* network *network*

説明: 非同報通信パケットを受信しましたが、イーサネット・タイプ・フィールドが不明であるか、サポートされていません。

ETH.003

レベル: P-TRACE

短構文: ETH.003 brd 802.3 bd ln *actual_length* *claimed_length* *source_Ethernet_address* -> *destination_Ethernet_address* nt *network*

長構文: ETH.003 broadcast packet received with a bad 802.3 length field actual *actual_length* claimed *claimed_length* from *source_Ethernet_address* to *destination_Ethernet_address* network *network*

説明: タイプ・フィールド 802.3 を示す同報通信パケットを受信しましたが、802.3 ヘッダーに示されているデータ長より短くなっていました。

ETH.004

レベル: UE-ERROR

短構文: ETH.004 802.3 bd ln *actual_length* *claimed_length* *source_Ethernet_address* -> *destination_Ethernet_address* nt *network*

長構文: ETH.004 packet received with a bad 802.3 length field actual *actual_length* claimed *claimed_length* from *source_Ethernet_address* to *destination_Ethernet_address* network *network*

説明: タイプ・フィールド 802.3 を示す非同報通信パケットを受信しましたが、802.3 ヘッダーに示されているデータ長より短くなっていました。

ETH.005

レベル: UE-ERROR

短構文: ETH.005 DN bd ln *actual_length* *claimed_length* *source_Ethernet_address* -> *destination_Ethernet_address* nt *network*

長構文: ETH.005 DECnet packet received with a bad length actual *actual_length* claimed *claimed_length* from *source_Ethernet_address* to *destination_Ethernet_address* network *network*

説明: DECnet パケットを受信しましたが、長さフィールドが実際のパケット長より長くなっていました。

ETH.006

レベル: ALWAYS

短構文: ETH.006 Eth *adaptererror_condition* *adapdiag_code* nt *network*

長構文: ETH.006 Ethernet adapter: *adaptererror_condition*, *diag adapdiag_code* network *network*

説明: 高速イーサネット・ポートでエラーが検出されました。原因は、"CAUTION: DUPLEX MAY BE DIFFERENT ON SWITCH PORT" です。

ETH.010

レベル: C-INFO

短構文: ETH.010 LLC unk SAP *DSAP*

source_Ethernet_address -> destination_Ethernet_address nt network

長構文: ETH.010 802.2 LLC packet received with unknown DSAP *DSAP* from host *source_Ethernet_address* to *destination_Ethernet_address* network network

説明: ネットワークから 802.2 LLC パケットを受信しましたが、非活動状態の（認識できない）DSAP をもっています。

ETH.011

レベル: C-INFO

短構文: ETH.011 LLC nt typ 1 *LLC_control_type* nt network

長構文: ETH.011 802.2 LLC packet received, not Type 1 *LLC_control_type* network network

説明: ネットワークから受信したパケットには、LLC がありますが、タイプ 1 LLC ではありません。

ETH.012

レベル: C-INFO

短構文: ETH.012 LLC RSP *LLC_SSAP* nt network

長構文: ETH.012 LLC RESPONSE packet received *LLC_SSAP* network network

説明: ネットワークから LLC 応答を受信しました。

ETH.013

レベル: C-INFO

短構文: ETH.013 LLC XID *LLC_SSAP* nt network

長構文: ETH.013 LLC XID packet received *LLC_SSAP* network network

説明: ネットワークから LLC XID パケットを受信しました。

ETH.014

レベル: C-INFO

短構文: ETH.014 LLC TEST *LLC_SSAP* nt network

長構文: ETH.014 LLC TEST packet received *LLC_SSAP* network network

説明: ネットワークから LLC TEST パケットを受信しました。

ETH.015

レベル: U-INFO

短構文: ETH.015 unrec ctl *LLC_control_field* nt network

長構文: ETH.015 packet received with unrecognized control field *LLC_control_field* network network

説明: ネットワークからパケットを受信しましたが、無効な制御フィールドまたは UI が含まれています。

ETH.017

レベル: P-TRACE

短構文: ETH.017 LOOP rcv *source_Ethernet_address -> destination_Ethernet_address*, nt network

長構文: ETH.017 Loopback Protocol frame received from *source_Ethernet_address* to *destination_Ethernet_address*, network network

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットを受信しました。

ETH.018

レベル: UE-ERROR

短構文: ETH.018 LOOP odd skip count, *source_Ethernet_address -> destination_Ethernet_address*, nt network

長構文: ETH.018 Loopback Protocol, odd skipCount count from *source_Ethernet_address* to *destination_Ethernet_address*, network network

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケット内に、奇数の skipCount が含まれていました。パケットは廃棄されます。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

ETH.019

レベル: UE-ERROR

短構文: ETH.019 LOOP func *function* not forw, *source_Ethernet_address -> destination_Ethernet_address*, nt network

長構文: ETH.019 Loopback Protocol, function *function* not Forward Data from *source_Ethernet_address* to *destination_Ethernet_address*, network network

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットに、転送 (2) の機能コードが入っていませんでした。パケットは廃棄されます。

原因: ここは、このパケットの最終あて先なので、機能コードは応答 (1) でした。

処置: なし。

原因: リモート・ノードのプログラム・エラーによる未定義機能コード

ETH.020

レベル: UE-ERROR

短構文: ETH.020 LOOP mc fwd dst
forward_Ethernet_address, source_Ethernet_address -> destination_Ethernet_address, nt network

長構文: ETH.020 Loopback Protocol, multicast forward address *forward_Ethernet_address* from *source_Ethernet_address* to *destination_Ethernet_address*, network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットに、マルチキャストの転送アドレスが入っています。パケットは廃棄されます。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

ETH.021

レベル: P-TRACE

短構文: ETH.021 LOOP fwd *source_Ethernet_address -> forward_Ethernet_address, nt network*

長構文: ETH.021 Loopback Protocol, forwarding from *source_Ethernet_address* to *forward_Ethernet_address*, network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットを、指定のネクスト・ホップに転送中です。

ETH.022

レベル: UI-ERROR

短構文: ETH.022 LOOP fwd to *forward_Ethernet_address* dsc, rsn *code*, nt *network*

長構文: ETH.022 Loopback protocol, forward to *forward_Ethernet_address* discarded, for reason *code*, network *network*

説明: コードで示されている理由により、イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットが指定のアドレスに転送できませんでした。

ETH.023

レベル: UI-ERROR

短構文: ETH.023 LLC RSP to *destination_Ethernet_address* dsc, rsn *code*, nt *network*

長構文: ETH.023 LLC response to *destination_Ethernet_address* discarded, for reason *code*, network *network*

説明: コードで示されている理由により、LLC 応答 (XID または TEST) が指定のアドレスに送信できませんでした。

ETH.024

レベル: UE-ERROR

短構文: ETH.024 MOP bd ln *actual_length claimed_length source_Ethernet_address -> destination_Ethernet_address nt network*

長構文: ETH.024 DECnet MOP packet received with a bad length actual *actual_length* claimed *claimed_length* from *source_Ethernet_address* to *destination_Ethernet_address* network *network*

説明: DECnet MOP パケットを受信しましたが、長さフィールドが実際のパケットの長さより大きくなっています。

ETH.025

レベル: UE-ERROR

短構文: ETH.025 LOOP bd skp *count, source_Ethernet_address -> destination_Ethernet_address, nt network*

長構文: ETH.025 Loopback Protocol, bad skipCount *count* from *source_Ethernet_address* to *destination_Ethernet_address*, network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットに、パケットの終わりより先を指す skipCount が入っていました。パケットは廃棄されます。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

ETH.042

レベル: UI-ERROR

短構文: ETH.042 Unable to get buf for ethernet packet.

長構文: ETH.042 Unable to get buffer for ethernet packet.

説明: バッファ不足のため、イーサネット・アドレスを設定するための、またはイーサネット・パケットをコ

ピーするためのバッファが取得できませんでした。

ETH.043

レベル: ALWAYS

短構文: ETH.043 CMD596 Command Timeout. Interface network being restarted.

長構文: ETH.043 CMD596 Command Timeout. Interface network being restarted.

説明: インターフェース・カード上の 82596 チップは、このインターフェースに関するコマンド・フィールドのクリアに失敗しました。インターフェースは再初期化されます。

ETH.044

レベル: ALWAYS

短構文: ETH.044 I5IOCTL Bad Command network being restarted.

長構文: ETH.044 I5IOCTL Bad Command network being restarted.

説明: 正しくないコマンド・フィールドが、ドライバに送信されました。インターフェースは再初期化されます。

ETH.045

レベル: UI-ERROR

短構文: ETH.045 Eth self-test selftest_phase fld error_condition nt network

長構文: ETH.045 Ethernet self-test phase selftest_phase failed: error_condition, network network

説明: イーサネット・カードの自己検査によって、自己検査中のエラーが報告されました。フェーズには、"ボードのリセット"、"遅延のリセット"、"リセット検査の実行"、"リセット検査の遅延"、"SCB の初期化"、"SCB の初期化遅延"、"SCB の初期化完了"、"ハードウェア・アドレスの読み取り"、"バス・スロットル・タイマーの設定"、"内部ループバック"、"ハードウェア・アドレスの設定"、"受信の使用可能化"、"内部ループバック (出力)"、"内部ループバック・データの検査"、"外部ループバック"、"外部ループバックの遅延"、"外部ループバック (出力)"、"外部ループバック・データの検査"、"ネットワーク・ループバック"、"ネットワーク・ループバックの遅延"、"ネットワーク・ループバック (出力)"、"ネットワーク・ループバック・データの検査"、"ループバックのクリア"、および "操作テスト" があります。

原因: "ボードのリセット" フェーズでは、エラー "Packetsize of < 1500 bytes" は、インターフェースにバッ

ファが提供されているが、それが小さ過ぎることを示します。

処置: パケット・サイズを 1500 バイトというイーサネット要件未満に人為的に落としているシステムの構成を訂正します。

原因: すべてのフェーズで、エラー "No buffers" は、ルーターにパケット・バッファの重大な不足があることを示します。

処置: バッファ記憶域サイズを増やすか、構成可能ネットワーク上のバッファ・サイズを減らします。

原因: "SCB の初期化完了" フェーズでは、エラー "ISCP busy not 0" は、CA 信号の送信後、82596 中間システム構成ポインター (ISCP) の BUSY バイトがクリアしなかったことを示します。

処置: これは、インターフェースまたはルーターにハードウェア障害がある可能性を示します。診断プログラムを実行します。

原因: エラー "Unexpected receive pkt" は、インターフェースがパケットを受信したのが自己検査状態であったが、この状態では、パケットの受信が予期されていなかったことを示します。

処置: これは、インターフェースのハードウェア障害の可能性を示します。診断プログラムを実行します。

原因: エラー "Loop back count error" は、受信したループバック・パケットの長さが送信されたものと同じでなかったことを示します。

処置: これは、インターフェースのハードウェア障害の可能性を示します。診断プログラムを実行します。

原因: エラー "Loop back stat error" は、ループバック・パケットの受信に、正常に行われないエラー状況があったことを示します。

処置: これは、インターフェースのハードウェア障害の可能性を示します。診断プログラムを実行します。

原因: エラー "Loop back data error" は、ループバック・パケットにデータ・ミスマッチがあったことを示します。

処置: これは、インターフェースのハードウェア障害の可能性を示します。診断プログラムを実行します。

原因: "操作テスト"フェーズでは、エラー "maintenance failure" は、インターフェースが保守テストを正常に実行できなかったことを示します。(保守テストは 1 パケットを送信し、キャリア・センスについて検査します。)

処置: トランシーバーのケーブル配線およびハードウェアを検査します。

原因: すべてのフェーズで、エラー "timeout" は、自己

検査全体が 8 分の 1 秒以内に完了しなかったことを示します。

ETH.046

レベル: UE-ERROR

短構文: ETH.046 IPX pkt in *received_encapsulation* encaps, nt *network*

長構文: ETH.046 IPX pkt in *encapsulation* *received_encapsulation* ignored, using *encapsulation* *configured_encapsulation* on *network* *network*

説明: このメッセージは、インターフェースの IPX 用に構成されたフレーム以外のデータ・リンク・カプセル (フレーム) に入った IPX パケットを受信すると生成されます。パケットは無視されます。received_encapsulation および configured_encapsulation は、"ETHERNET_802.3"、"ETHERNET_II"、"ETHERNET_802.2"、または "ETHERNET_SNAP" のうちのいずれか 1 つです。ETHERNET_802.3 は、"Novell" という名前でも知られ、ETHERNET_II は、"Ethernet" という名前でも知られています。

原因: このネットワークで 1 つだけのカプセル化が使用されている場合、このノードのカプセルは、ネットワーク上の他のすべての IPX ノードと同じではありません。

処置: ネットワーク上のすべてのノードが同一のカプセルを使用するように構成してください。

原因: このネットワークで複数のカプセルが使用されている場合、パケットは、このノードとは異なるカプセルを使用しているノードから受信されています。

ETH.047

レベル: UI-ERROR

短構文: ETH.047 Eth self-test *selftest_phase* fld *error_condition* nt *network*

長構文: ETH.047 Ethernet port self-test phase *selftest_phase* failed: *error_condition*, *network* *network*

説明: SCC イーサネット・ポートの自己検査は、自己検査時にエラーを報告しました。フェーズとしては、"ポートのリセット"、"媒体選択の設定"、"ハードウェア・アドレスの設定"、"ネットワーク・ループバック"、"受信の使用可能化"、"ネットワーク・ループバック (出力)"、"ネットワーク・ループバック・データの検査"、"ループバックのクリア"、"マルチキャスト・アドレスの設定"、および "操作テスト" があります。

原因: "ポートのリセット" フェーズでは、エラー "Packetsize of < 1500 bytes" は、インターフェースにバッファが提供されているが、それが小さ過ぎることを示します。

処置: パケット・サイズを 1500 バイトというイーサネット要件未満に人為的に落としているシステムの構成を訂正します。

原因: すべてのフェーズで、エラー "No buffers" は、ルーターにパケット・バッファの重大な不足があることを示します。

処置: 記憶域サイズを増やすか、ルーティング・テーブルのサイズを減らすか、ネットワークへのバッファ割り振りを減らすか、構成可能ネットワークでのバッファ・サイズを減らします。

原因: エラー "Loop back data error" は、ループバック・パケットにデータ・ミスマッチがあったことを示します。

処置: これは、インターフェースのハードウェア障害の可能性を示します。診断プログラムを実行します。

原因: エラー "Loop back count error" は、受信したループバック・パケットの長さが送信されたものと同じでなかったことを示します。

処置: これは、インターフェースのハードウェア障害の可能性を示します。診断プログラムを実行します。

原因: エラー "Loop back status error" は、ループバック・パケットの受信に、正常に行われないエラー状況があったことを示します。

処置: これは、インターフェースのハードウェア障害の可能性を示します。診断プログラムを実行します。

原因: すべてのフェーズで、エラー "Timeout" は、自己検査全体が 8 分の 1 秒以内に完了しなかったことを示します。

処置: これは、インターフェースのハードウェア障害の可能性を示します。診断プログラムを実行します。

原因: "操作テスト"フェーズでは、エラー "maintenance failure" は、インターフェースが保守テストを正常に実行できなかったことを示しています。(保守テストは 1 パケットを送信し、キャリア・センスについて検査します。)

処置: トランシーバーのケーブル配線およびハードウェアを検査します。おそらくルーターがイーサネットに正しく接続されていないか、ハードウェア障害があります。

ETH.048

レベル: UI-ERROR

短構文: ETH.048 Eth Error *adapterror_condition* *adapdiag_code* nt *network*

長構文: ETH.048 Ethernet adapter error: *adapterror_condition*, *diag adapdiag_code* *network* *network*

説明: 高速イーサネット・ポートでエラーが検出されました。原因は、"Error status from TB"、"Invalid counter from TB"、"Timeout waiting for valid link status"、"Timeout waiting for auto negotiation"、"Link partner does not support auto negotiation"、"Address parity error detected on bus"、"Unable to set multicast address. State = "、"Burnt-in UAA is used due to illegitimate LAA"、および"Lost connection to link partner. phy reg01 = " です。

原因: "Error status from TB" は、インターフェース上の透過ブリッジ論理が初期化時にエラー状態を通知したことを示しています。

処置: インターフェースに対してテスト・コマンドを出してください。再びメッセージが表示される場合は、システムの電源をいったん切ってから、電源を入れてください。それでもメッセージが表示される場合は、インターフェース上で診断を実行してください。診断で同様の問題が示された場合は、インターフェース・カードの交換が必要と考えられます。

原因: "Invalid counter from TB" は、透過ブリッジ論理の初期化時に 'frames filtered' カウンター・テストが失敗したことを示しています。

処置: インターフェースに対してテスト・コマンドを出してください。再びメッセージが表示される場合は、システムの電源をいったん切ってから、電源を入れてください。それでもメッセージが表示される場合は、インターフェース上で診断を実行してください。診断で同様の問題が示された場合は、インターフェース・カードの交換が必要と考えられます。

原因: "Timeout waiting for valid link status" は、インターフェースがリンクの相手側から有効なリンク・シグナルを受信していないことを示しています。インターフェースはそれ以上、リンク・シグナルを待ちません。代わりに、インターフェースをリセットして、有効なリンク・シグナルの listen を再開します。この状態は、以下の原因で起きる可能性があります。 1) インターフェースからリンク相手側へのケーブルが不良、または長さが正しくない。 2) リンク相手側のポートが使用不可にされているか、誤動作している。 3) ケーブルのコネクターが不良、またはポートに正しく差し込まれていない。 4) インターフェースに構成されている速度または二重モードが、リンク相手側によってサポートされない。

処置: 1) の場合、ケーブルに不連続がないか検査してください。 2) の場合、リンク相手側で別のポートを試してください。また、使用不可にされていないことも確認してください。 3) の場合、ケーブルの両端が双方のポートに完全に差し込まれていることを確認してください。また、ケーブルが交差ケーブルでないことも確認してください。 4) の場合、リンク相手側の機能をチェックし、それに応じてインターフェースを構成してください。

原因: "Timeout waiting for auto negotiation" は、インターフェースはリンク相手側から有効なリンク・シグナルを受信していますが、自動折衝機能に障害があることを示しています。

処置: リンク相手側の機能をチェックし、それに応じてインターフェースを構成してください。それでも自動折衝が正常に行なわれない場合は、ケーブルの長さが 35~40 m であることを確認してください。

原因: "Link partner does not support auto negotiation" は、インターフェースはリンク相手側が自動折衝を実行する機能を備えていないことを検出したことを示しています。

処置: リンク相手側の機能をチェックし、それに応じてインターフェースを構成してください。

原因: "Address parity error detected on bus" は、インターフェースがパリティ・エラーを検出したことを示しています。

処置: このメッセージが 2 度以上出る場合は、インターフェースに対してテスト・コマンドを出してください。再びメッセージが表示される場合は、システムの電源をいったん切ってから、電源を入れてください。それでもメッセージが表示される場合は、インターフェース上で診断を実行してください。診断で同様の問題が示された場合は、インターフェース・カードの交換が必要と考えられます。

原因: "Unable to set multicast address" は、インターフェースが、特定のマルチキャスト・アドレスあてのフレームの受信を許可するフィルターを設定できなかったことを示しています。この状態は、インターフェースが操作を実行するためにハードウェアを中断させることができないときに起こる可能性があります。

処置: このインターフェースに対して "Test" コマンドを出すか、インターフェースをいったん使用不可にした後、再び使用可能にしてください。これにより、このインターフェースのハードウェアがリセットされ、マルチキャスト・フィルター・マスクを保管できるようになります。

原因: "Burnt-in UAA is used due to illegitimate LAA" は、ユーザーが指定したローカル管理 MAC アドレスが無効であることを示しています。代わりに、インターフェースに割り当てられた汎用アドレスが使用されます。

処置: このインターフェースでローカル管理アドレスを使用する必要がある場合は、構成を変更して正しいローカル管理 MAC アドレスを提供し、システムを再始動してください。

原因: "Lost connection to link partner" は、インターフェースがリンク相手側から有効なリンク・シグナルが得られないことを検出したことを示しています。これは、

次の状態のときに起きる可能性があります。 1) ケーブル・コネクタが取り外されている、または両側に正しく挿入されていない。 2) ケーブルが損傷している。 3) リンク相手側が有効なリンク・シグナルを送信していない。(これは、リンク相手側の一時的な状態の場合もあります。)

処置: 1) の場合、両方のコネクタが正しく差し込まれていることを確認してください。 2) ケーブルが損傷していないことを確認してください。 3) リンク相手側が正常に機能していることを確認してください。

ETH.049

レベル: C-INFO

短構文: ETH.049 Eth Info. *adaptinfo_condition adaptinfo_data nt network*

長構文: ETH.049 Ethernet adapter info: *adaptinfo_condition, Data: adaptinfo_data network network*

説明: 高速イーサネット・インターフェースの情報通知。理由は、"Performing Unicast frame filtering in software. State = ", "TB has been enabled. State = ", "Auto Negotiation is complete. RC = ", "Interface operating at speed (Mbps) = ", "Interface operating at half duplex. RC = ", "Interface operating at full duplex. RC = ", "Configured speed does not match neg speed. RC = ", "Configured duplex does not match neg duplex. RC = ", "Resetting the interface. State = ", "Issued -purge all entries-command to TB. State = ", "Issued -age- command to TB. Current Age = ", "Interface close command received. State = ", "Add multicast address command received. State = ", "Set LAA MAC address command received. State = ", "Setting new age for TB. New age = ", および "CAM is full. State = " です。

原因: "Performing Unicast frame filtering in software" は、アダプターが透過ブリッジングを実行するのに加えて、デバイス・ドライバもローカル MAC アドレスに一致するあて先 MAC アドレスを持っていないすべての受信ユニキャスト・フレームを廃棄することを示しています。システムのブリッジング機能がこのインターフェースをブロック・モードに置いたので、フィルター処理はデバイス・ドライバによって行なわれています。

処置: なし。

原因: "TB has been enabled" は、インターフェース上の透過ブリッジング・サポートが使用可能にされたことを示しています。これで、インターフェースは着信パケットをフィルターに掛けるようになります。

処置: なし。

原因: "Auto Negotiation is complete" は、インターフェ

ースがリンク相手側との自動折衝を正常に完了したことを示しています。

処置: なし。

原因: "Interface operating at speed (Mbps) " は、インターフェースがリンク相手側と動作している速度を示しています。

処置: なし。

原因: "Interface operating at half duplex" は、インターフェースがリンク相手側と半二重モードで動作していることを示しています。

処置: なし。

原因: "Interface operating at full duplex" は、インターフェースがリンク相手側と全二重モードで動作していることを示しています。

処置: なし。

原因: "Configured speed does not match hub speed" は、インターフェースが、システムに構成された速度とは異なる速度で動作していることを示しています。

処置: 動作速度が望ましくない場合は、構成で指定した速度の値を変更してください。

原因: "Configured duplex does not match hub duplex" は、インターフェースがシステムに構成されたモードとは異なるモードで動作していることを示しています。

処置: 動作モードが望ましくない場合は、構成で指定したモードの値を変更してください。

原因: "Resetting the interface" は、インターフェースがリセット操作を実行中であることを示しています。これは、インターフェースが使用可能にされたとき、または自動的に使用可能になろうとしているときに必ず行なわれます。インターフェースが自動的に使用可能になろうとするのは、リンクの接続の損失を検出した場合、または入出力障害のためにシステムがリンクに自己テストを実行するように要求した場合です。

処置: なし。

原因: "Issued -purge all entries- command to TB" は、インターフェースのテーブル内の確認されたアドレスはすべて削除されることを示しています。インターフェースは、フレームを受信すると再びMAC アドレスの確認を開始します。ブリッジはトポロジーを確認して、経過時間値を更新するので、これは正常な動作です。

処置: なし。

原因: "Issued -age- command to TB. Current Age = " は、インターフェースは前回の経過時間切れ処理以降に確認されなかったすべての MAC アドレスをテーブルから削除することを示しています。経過時間値は、ブリッジ

グ・プロトコルに対して構成された値に一致していません。

処置: なし。

原因: "Interface close command received" は、インターフェースがすべての操作を終了するように要求されたことを示しています。送受信機能は、インターフェースが再起動されるまで中断されます。

処置: なし。

原因: "Add multicast address command received" は、フレームをフィルタするのに使用するマルチキャスト・アドレスがインターフェースに与えられたことを示しています。指定されたマルチキャスト・アドレスに等しいあて先アドレスをもつすべてのフレームがフィルタに掛けられて、廃棄されます。

処置: なし。

原因: "Set LAA MAC address command received" は、インターフェースが、割り当てられた汎用 MAC アドレスを、構成から入手したローカル管理アドレスでオーバーライドすることを示しています。

処置: なし。

原因: "Setting new age for TB. New age = " は、テーブルの古い MAC アドレスを経過時間切れ処理して除去するための新しい値がインターフェースに提供されたことを示しています。示されている新しい経過時間値は 16 進値です。

処置: なし。

原因: "CAM is full" は、インターフェースのアドレス・テーブルがいっぱいで、新しい発信元アドレスを確認する余地がないことを示しています。この状態になると、インターフェースは自動的に古い項目を経過時間切れ処理して除去し、新しいアドレスを追加するための余地を作ります。

処置: なし。

原因: "Burnt-in UAA is used due to illegitimate LAA" は、ユーザーが指定したローカル管理 MAC アドレスが無効であることを示しています。代わりに、インターフェースに割り当てられた汎用アドレスが使用されます。

処置: このインターフェースでローカル管理アドレスを使用する必要がある場合は、構成を変更して正しいローカル管理 MAC アドレスを提供し、システムを再始動してください。

ETH.050

レベル: UI-ERROR

短構文: ETH.050 Eth Diag. *related_msg_index diag1_desc*

diag1_val diag2_desc diag2_val diag3_desc diag3_val nt network

長構文: ETH.050 Ethernet adapter diagnostics:
related_msg_index diag1_desc diag1_val diag2_desc diag2_val diag3_desc diag3_val network network

説明: 直前のイーサネット・ポート・メッセージの診断情報。

処置: なし。

Panic ethbdtbl

短構文: ethbdtbl: eth_llc tbl out of date

説明: イーサネット LLC テーブルが古くなっています。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic ethintm

短構文: ethintm: net intf mismtch

説明: イーサネット・データ構造 "ネット" がイーサネットに関連していません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic ethbprt

短構文: ethbprt: bad prot init

説明: サポートされないネットワーク・レイヤー・プロトコルがイーサネット・ハンドラーの初期化を試行しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic ethbipx

短構文: ethbipx: bad IPX rqst shd be 8137

説明: 伝送のためにイーサネット・ハンドラーに渡された IPX パケットが、サポートされないものでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic ethbreq

短構文: ethbreq: bad xmit rqst

説明: 伝送のためにイーサネット・ハンドラーに渡されたプロトコル・パケットが、サポートされないものでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic ethtbig

短構文: ethtbig: bad xmit rqst pkt too lg

説明: 伝送のためにイーサネット・ハンドラーに渡されたパケットが、大き過ぎました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic ethnbuf

短構文: ethnbuf: no buf to set addr

説明: イーサネット・アドレスを設定するためのバッファを割り振ることができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic ethsrtmcr

短構文: ethsrtmcr: multicast address previously reserved

説明: このインターフェースで使用可能にされているマルチキャスト・アドレスの 1 つは、01-80-C2-00-00- 00 ～ 01-80-C2-00-00-0F の範囲のマルチキャスト・アドレスの 1 つです。

原因: ユーザーがマルチキャスト・アドレスを選択できるプロトコル (ISO の ES-IS および IS-IS プロトコルなど) によって、これらのアドレスの 1 つが使用されている可能性があります。

処置: 予約済みのアドレスは、使用しないでください。

Panic ethsrtnm

短構文: ethsrtnm: no memory to register own MAC addr

説明: 確認データベースが小さ過ぎて、このインターフェースのアドレスを確認するための十分な空き項目がありません。

処置: 確認データベースのサイズを大きくしてください。

Panic ethsrtnmm

短構文: ethsrtnmm: no memory to register mutlicast address

説明: 確認データベースが小さ過ぎて、このインターフェースのマルチキャスト・アドレスの 1 つを入れるだけの十分な空き項目がありません。

処置: 確認データベースのサイズを大きくしてください。

Fatal ethsrtun

短構文: ethsrtun: unsupported command

説明: サポートされないコマンドが SRT によって与えられました。

第37章 事象ログ (EVL)

この章では、事象ログ (EVL) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

EVL.001

レベル: ALWAYS

短構文: EVL.001 EventLog() software error: type= *event type*, action= *action needed*, id= *event id*, sev= *severity*, rc= *return code*, filename= *file name*, lineno= *line number*, msg= *message*

長構文: EVL.001 EventLog() software error: type= *event type*, action= *action needed*, id= *event id*, sev= *severity*, rc= *return code*, filename= *file name*, lineno= *line number*, msg= *message*

説明: ソフトウェアが EventLog() を用いてエラーをログに記録しました。

第38章 ファイバー分散データ・インターフェース (FDDI)

この章では、ファイバー分散データ・インターフェース (FDDI) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

FDDI.001

レベル: UI-ERROR

短構文: FDDI.001 *setup_phase fld - bff unav nt network*

長構文: FDDI.001 *setup_phase failed, no buffer available net network*

説明: 自己検査の開始または統計の更新などのような IOCTL タイプの機能で使用可能な IORB がありませんでした。ネットはダウンとマークされる場合があります。

FDDI.002

レベル: UI-ERROR

短構文: FDDI.002 *PLL error nt network*

長構文: FDDI.002 *Elasticity buffer error detected net network*

説明: 弾性バッファのオーバーランまたはアンダーランが検出され、回復手順が開始されました。

FDDI.003

レベル: CI-ERROR

短構文: FDDI.003 *tx fld nt network*

長構文: FDDI.003 *Transmit failed on network network*

説明: このメッセージが生成されるのは、FDDI パケットが送信待ち行列に追加され、伝送が正常に行われなかった場合です。

原因: ネットワーク接続がない場合は、正常です。

処置: ネットワーク接続を検査してください。

FDDI.004

レベル: CI-ERROR

短構文: FDDI.004 *rx fld nt network*

長構文: FDDI.004 *Receive failed on network network*

説明: このメッセージが生成されるのは、FDDI パケットが受信され、それが受信待ち行列に追加できなかった場合です。

FDDI.005

レベル: C-INFO

短構文: FDDI.005 *setup_phase, nt network*

長構文: FDDI.005 *setup_phase, network network*

説明: FDDI アダプターの初期化が進行中です。実行フェーズ以前です。

FDDI.008

レベル: P-TRACE

短構文: FDDI.008 *Trace FDDI frame*

長構文: FDDI.008 *Trace FDDI frame*

説明: FDDI パケット・トレース

FDDI.009

レベル: P-TRACE

短構文: FDDI.009 *Rcvd pkt source_MAC -> destination_MAC nt network wi RIF ln RIF_length*

長構文: FDDI.009 *Received packet from source_MAC to destination_MAC network network with RIF length RIF_length*

説明: このメッセージが生成されるのは、ソース・ルーティング情報が入っている FDDI パケットを受信した場合です。

FDDI.010

レベル: P-TRACE

短構文: FDDI.010 *Txd pkt source_MAC -> destination_MAC nt network ln*

長構文: FDDI.010 *Transmitted packet from source_MAC to destination_MAC network network length*

説明: このメッセージが生成されるのは、FDDI パケットが送信された場合です。

FDDI.011

レベル: P-TRACE

短構文: FDDI.011 *Rxd pkt source_MAC -> destination_MAC nt network ln*

長構文: FDDI.011 Received packet from *source_MAC* to *destination_MAC* network *network* length

説明: このメッセージが生成されるのは、FDDI パケットが受信された場合です。

FDDI.012

レベル: U-TRACE

短構文: FDDI.012 unkn SNAP type *type_code* *source_MAC* -> *destination_MAC* nt *network*

長構文: FDDI.012 Unknown SNAP type *type_code* from *source_MAC* to *destination_MAC* net *network*

説明: このメッセージは、不明の SNAP タイプ (編成コード 000000 内の) をもつフレームを受信したときに生成されます。

原因: ホストが、SNAP を使用して、確認不能のイーサネット・タイプに関するパケットを送信しています。

FDDI.013

レベル: U-TRACE

短構文: FDDI.013 unkn SNAP mfr cd *number* *source_MAC* -> *destination_MAC* nt *network*

長構文: FDDI.013 Unknown SNAP manufacturer code *number* from *source_MAC* to *destination_MAC* net *network*

説明: このメッセージが生成されるのは、SNAP ヘッダー内の編成コードが確認不能のフレームを受信した場合です。

原因: ホストが、SNAP を使用して、確認不能の固有プロトコルに関するパケットを送信しています。

FDDI.014

レベル: U-TRACE

短構文: FDDI.014 unexp type frm *LLC_control* ssap *source_SAP* dsap *dest_SAP* *source_MAC* -> *destination_MAC* nt *network*

長構文: FDDI.014 Unexpected type frame *LLC_control*, ssap *source_SAP*, dsap *dest_SAP*, from *source_MAC* to *destination_MAC* net *network*

説明: このメッセージは、予期しない 802.2 LLC フレーム・タイプを受信したときに生成されます。タイプは、I (情報転送) または S (監視) です。

原因: ホストが、ルーターへの 802.2 タイプ 2 接続を試みています。

FDDI.015

レベル: U-TRACE

短構文: FDDI.015 unexp U frm *LLC_control* ssap *source_SAP* dsap *dest_SAP* *source_MAC* -> *destination_MAC* nt *network*

長構文: FDDI.015 Unexpected U frame *LLC_control*, ssap *source_SAP*, dsap *dest_SAP*, from *source_MAC* to *destination_MAC* net *network*

説明: このメッセージは、予期しない 802.2 LLC U (非番号制) フレーム・タイプを受信したときに生成されます。(UI、XID、および TEST のみがサポートされません。)

FDDI.016

レベル: U-TRACE

短構文: FDDI.016 unkn SAP *sap_number* *source_MAC* -> *destination_MAC* nt *network*

長構文: FDDI.016 Unknown SAP *sap_number* from *source_MAC* to *destination_MAC* net *network*

説明: このメッセージは、不明のあて先 SAP をもつパケットを受信したときに生成されます。

原因: ホストが認識不能のプロトコル識別子 (SAP) に関するパケットを送信しています。

FDDI.017

レベル: U-TRACE

短構文: FDDI.017 xid pkt *source_MAC* src sap *source_sap* nt *network*

長構文: FDDI.017 XID packet received from *source_MAC* source sap *source_sap* net *network*

説明: ハンドラーが xid メッセージを受信しました。

FDDI.018

レベル: U_ERROR

短構文: FDDI.018 FC typ *frame_control* unex *source_MAC* -> *destination_MAC* nt *network*

長構文: FDDI.018 Frame Control type *frame_control* unexpected from *source_MAC* to *destination_MAC* network *network*

説明: このメッセージが生成されるのは、予期しない FDDI FC (フレーム制御) を受信した場合です。(LLC のみがネット・ハンドラーによってサポートされます。)

FDDI.019

レベル: U-TRACE

短構文: FDDI.019 odd RIF len *source_MAC* -> *destination_MAC*; pkt drpd nt *network*

長構文: FDDI.019 odd RIF length from *source_MAC* to *destination_MAC*; packet dropped on net *network*

説明: RIF ヘッダー内の長さバイトが奇数でした。これは無効です。パケットは除去されました。

FDDI.020

レベル: U-TRACE

短構文: FDDI.020 drop IPX pkt w/ *encap_seen* encaps - using *encap_used* encaps on int *intnum*

長構文: FDDI.020 dropped IPX pkt with encaps *encap_seen* using *encap_used* on interface *intnum*

説明: このメッセージが生成されるのは、カプセル化がこのインターフェースの場合に選択されているもの以外の IPX パケットを受信した場合です。

原因: 単一回線で複数のカプセル化を使用しているネットワークの場合、これは正常です。

処置: 何も必要ありません。

FDDI.021

レベル: U-TRACE

短構文: FDDI.021 DN bd ln *actual_length* *claimed_length* *source_MAC* -> *destination_MAC* nt *network*

長構文: FDDI.021 DECnet packet received with a bad length actual *actual_length* claimed *claimed_length* from *source_MAC* to *destination_MAC* network *network*

説明: DECnet パケットを受信しましたが、長さフィールドが実際のパケット長より長くなっていました。

FDDI.022

レベル: C-TRACE

短構文: FDDI.022 test pkt *source_MAC* src sap *source_sap* nt *network*

長構文: FDDI.022 Test packet from *source_MAC* source sap *source_sap* net *network*

説明: ハンドラーがテスト・メッセージを受信しました。

FDDI.023

レベル: C-TRACE

短構文: FDDI.023 Rsp pkt *source_MAC* src sap *source_sap* nt *network*

長構文: FDDI.023 RESPONSE packet received from *source_MAC* source sap *source_sap* net *network*

説明: ハンドラーが応答メッセージを受信しました。

Panic fddialp

短構文: fddialp: Can't allocate fddi pernet structure

説明: ネットワーク固有の FDDI 構造を割り振ることができません。

Panic fddibprt

短構文: fddibprt: bad prot init

説明: サポートされないネットワーク・レイヤー・プロトコルが FDDI ハンドラーの初期化を試行しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic fddibreq

短構文: fddibreq: bad xmit rqst

説明: サポートされないプロトコル・パケットが、転送のために FDDI ハンドラーに渡されました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

第39章 フレーム・リレー境界アクセス・ノード (BAN)

この章では、フレーム・リレー境界アクセス・ノード (BAN) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

BAN.001

レベル: C-INFO

短構文: BAN.001 T direction:I-FRM port= bridge_port len= len src_mac-> dest_mac src_sap-> dest_sap rif data

長構文: BAN.001 T direction:I-FRAME port= bridge_port len= len src_mac-> dest_mac src_sap-> dest_sap rif data

説明: I フレーム・パケット。方向は、ルーターに対して "イン" または "アウト" です。ブリッジ・ポート番号を表示します。パケットの RIF (ルーティング情報フィールド) を全部表示します。パケットの SSAP フィールドの後に続く最高 20 バイトまでを表示します。パケットの SSAP フィールドの後に続くパケット内データの量が長さです。

BAN.002

レベル: P-TRACE

短構文: BAN.002 T direction:RR port= bridge_port len= len src_mac-> dest_mac src_sap-> dest_sap rif data

長構文: BAN.002 T direction:RR port= bridge_port len= len src_mac-> dest_mac src_sap-> dest_sap rif data

説明: RR パケット

BAN.003

レベル: UI-ERROR

短構文: BAN.003 prt bridge_port not a bdg prt

長構文: BAN.003 port bridge_port is not a bridge port

説明: 構成された BAN ブリッジ・ポートはブリッジ・ポートではありません。

原因: これは構成の矛盾です。

処置: 構成を訂正してください。

BAN.004

レベル: CI-ERROR

短構文: BAN.004 prt bridge_port initialized

長構文: BAN.004 port bridge_port initialized

説明: 構成された BAN ブリッジ・ポートは、BAN の

見地で初期化されています。

BAN.005

レベル: UI-ERROR

短構文: BAN.005 frm drp source_mac-> dest_mac, not BNI src addr bni_mac, prt bridge_port

長構文: BAN.005 frame dropped source_mac-> dest_mac, not BNI source address bni_mac, port bridge_port

説明: NCP によって送信された各フレームは、いずれも構成された境界ノード識別子 (BNI) の MAC アドレスに一致する必要があります。

原因: これは、NCP とルーター間の NCP アドレス構成の矛盾です。

処置: NCP とルーターのいずれかで構成を訂正します。

原因: この BAN ブリッジ・ポートは NCP に接続されていません。

処置: ブリッジ構成を検査します。フレーム・リレー DLCI の接続および構成を検査します。ケーブル接続を検査します。

原因: BAN はこのポートで誤って構成されています。

処置: BAN 構成からこのポートを除去します。

BAN.006

レベル: UI-ERROR

短構文: BAN.006 prt bridge_port not a FR bdg prt

長構文: BAN.006 port bridge_port is not a Frame Relay bridge port

説明: 構成された BAN ブリッジ・ポートはフレーム・リレー DLCI ブリッジ・ポートではありません。

原因: これは構成の矛盾です。BAN ポートは、フレーム・リレー DLCI ブリッジ・ポートだけにおくことができます。

処置: 構成を訂正してください。

BAN.008

レベル: U-INFO

短構文: BAN.008 frm flt, prt *bridge_port* ,OUI br type *oui_type*

長構文: BAN.008 frm flt, prt *bridge_port* ,OUI br type *oui_type*

説明: 発信フレームは、BAN によってフィルターされました。OUI タイプ 9 で、保持された FCS のない、RFC 1490 のブリッジされたトークンリング・フレームではなかったためです。これは NCP により期待される唯一のフレーム・タイプです。別のブリッジ・タイプが送信中です。1 および 7 はイーサネット、2 および 8 は 802.4、3 はトークンリング (FCS 付き)、4 および 10 は FDDI、11 は 802.6、14 は 802.1d Hello BPDU、15 は SRB Hello BPDU です。

原因: これは発生が予期されていません。透過的振る舞いおよびスパンニング・ツリーは、BAN ポートでは常に強制的にオフにされるためです。

処置: なし。これは無害です。

BAN.009

レベル: C-TRACE

短構文: BAN.009 frm flt *src_addr-> dest_addr*, prt *bridge_port*, da not BAN DCLI addr *ban_dlc_addr*

長構文: BAN.009 frm flt *src_addr-> dest_addr*, prt *bridge_port*, da not BAN DCLI addr *ban_dlc_addr*

説明: 発信フレームは BAN によってフィルターされました。フレームのあて先アドレスが BAN DLCI アドレスに等しくなかったためです。これは、NCP を保護するために行われます。

原因: 通常のブリッジ論理は、すべてのポートに対する送信を試行します。

処置: なし。これは無害です。

BAN.010

レベル: C-INFO

短構文: BAN.010 prt *bridge_port* forcing: TB,STP off

長構文: BAN.010 port *bridge_port* forcing: TB,STP off

説明: BAN ブリッジ・ポートの振る舞いは、透過型ブリッジングをオフにし、スパンニング・ツリーをオフにするよう、動的に強制されています。これは BAN にとり必須です。

原因: これは構成の利便として動的に行われます。

BAN.011

レベル: UI-ERROR

短構文: BAN.011 prt *bridge_port* DLSw term but DLSw is not in the build

長構文: BAN.011 port *bridge_port* DLSw term but DLSw is not in the build

説明: BAN ブリッジ・ポートの構成が、DLSw 終了になっています。ただし、DLSw はこのビルドに入っていない。

原因: これは構成の矛盾です。

処置: 構成を訂正して BAN ポートでの DLSw スイッチの代わりにブリッジングを行なうか、DLSw を含むビルドを入手するかいずれかです。

BAN.013

レベル: C-TRACE

短構文: BAN.013 frm flt *src_addr-> dest_addr*, prt *bridge_port*, DLSw snbn *dls_snb* not in RIF *rif*

長構文: BAN.013 frm flt *src_addr-> dest_addr*, prt *bridge_port*, DLSw snbn *dls_snb* not in RIF *rif*

説明: 発信フレームは BAN によってフィルターされました。BAN ポートの設定が、DLSw スイッチであるためです。ただし、フレームは DLSw フレームではありませんでした。DLSw ソース・ルーティング・セグメントおよびブリッジ番号がフレームの RIF (ルーティング情報フィールド) になかったからです。これは、NCP を保護するために行われます。

原因: これが時々発生するのは、標準 DLSw 論理は、SNA フレームの一部について、DLSw スイッチおよびブリッジを試行するからです。たとえば、TEST コマンド・フレームの場合は、これが発生します。

処置: なし。これは無害です。

BAN.014

レベル: P-TRACE

短構文: BAN.014 T direction:RNR port= *bridge_port* len= *len* *src_mac-> dest_mac* *src_sap-> dest_sap* rif *data*

長構文: BAN.014 T direction:RNR port= *bridge_port* len= *len* *src_mac-> dest_mac* *src_sap-> dest_sap* rif *data*

説明: RNR パケット

BAN.015

レベル: P-TRACE

短構文: BAN.015 T direction:REJ port= bridge_port len= len_src_mac-> dest_mac src_sap-> dest_sap rif data

長構文: BAN.015 T direction:REJ port= bridge_port len= len_src_mac-> dest_mac src_sap-> dest_sap rif data

説明: REJ パケット

BAN.016

レベル: CI-ERROR

短構文: BAN.016 T direction:TST_C port= bridge_port len= len_src_mac-> dest_mac src_sap-> dest_sap rif data

長構文: BAN.016 T direction:TST_C port= bridge_port len= len_src_mac-> dest_mac src_sap-> dest_sap rif data

説明: TEST_C (テスト・コマンド) パケット

BAN.017

レベル: CI-ERROR

短構文: BAN.017 T direction:TST_R port= bridge_port len= len_src_mac-> dest_mac src_sap-> dest_sap rif data

長構文: BAN.017 T direction:TST_R port= bridge_port len= len_src_mac-> dest_mac src_sap-> dest_sap rif data

説明: TEST_R (テスト応答) パケット

BAN.018

レベル: CI-ERROR

短構文: BAN.018 T direction:XID_C port= bridge_port len= len_src_mac-> dest_mac src_sap-> dest_sap rif data

長構文: BAN.018 T direction:XID_C port= bridge_port len= len_src_mac-> dest_mac src_sap-> dest_sap rif data

説明: XID_C (XID コマンド) パケット

BAN.019

レベル: CI-ERROR

短構文: BAN.019 T direction:XID_R port= bridge_port len= len_src_mac-> dest_mac src_sap-> dest_sap rif data

長構文: BAN.019 T direction:XID_R port= bridge_port len= len_src_mac-> dest_mac src_sap-> dest_sap rif data

説明: XID_R (XID 応答) パケット

BAN.020

レベル: CI-ERROR

短構文: BAN.020 T direction:SABME port= bridge_port len= len_src_mac-> dest_mac src_sap-> dest_sap rif data

長構文: BAN.020 T direction:SABME port= bridge_port len= len_src_mac-> dest_mac src_sap-> dest_sap rif data

説明: SABME パケット

BAN.021

レベル: CI-ERROR

短構文: BAN.021 T direction:UA port= bridge_port len= len_src_mac-> dest_mac src_sap-> dest_sap rif data

長構文: BAN.021 T direction:UA port= bridge_port len= len_src_mac-> dest_mac src_sap-> dest_sap rif data

説明: UA パケット

BAN.022

レベル: CI-ERROR

短構文: BAN.022 T direction:DM port= bridge_port len= len_src_mac-> dest_mac src_sap-> dest_sap rif data

長構文: BAN.022 T direction:DM port= bridge_port len= len_src_mac-> dest_mac src_sap-> dest_sap rif data

説明: DM パケット

BAN.023

レベル: CI-ERROR

短構文: BAN.023 T direction:DISC port= bridge_port len= len_src_mac-> dest_mac src_sap-> dest_sap rif data

長構文: BAN.023 T direction:DISC port= bridge_port len= len_src_mac-> dest_mac src_sap-> dest_sap rif data

説明: DISC パケット

BAN.024

レベル: CI-ERROR

短構文: BAN.024 T direction:FRMR port= bridge_port len= len_src_mac-> dest_mac src_sap-> dest_sap rif data

長構文: BAN.024 T direction:FRMR port= bridge_port len= len_src_mac-> dest_mac src_sap-> dest_sap rif data

説明: FRMR パケット

BAN.025

レベル: CI-ERROR

短構文: BAN.025 T direction:OTHER port= *bridge_port*
len= *len src_mac-> dest_mac src_sap-> dest_sap* rif data

長構文: BAN.025 T direction:OTHER port= *bridge_port*
len= *len src_mac-> dest_mac src_sap-> dest_sap* rif data

説明: 以上に具体的に明示されているもの以外のパケット。表示されているデータを見て、フレームのタイプを正確に判別します。

BAN.026

レベル: UI-ERROR

短構文: BAN.026 frm drp, prt *bridge_port*, port is DLSw term, but DLSw not intialized

長構文: BAN.026 frame dropped, port *bridge_port*, port is DLSw terminated, but DLSw not intialized

説明: 全フレームが除去されます。ポートは DLSw 終了用に構成されていますが、DLSw は実行されていません。

原因: DLSw は構成されなかったか、部分的にしか構成されていませんでした。

処置: DLSw を構成します。

原因: DLSw がソフトウェア・ロードにありません。

処置: DLSw を伴うソフトウェア・ロードを新たに入手してください。

BAN.027

レベル: UI-ERROR

短構文: BAN.027 prt *bridge_port* not a source routing bdg prt

長構文: BAN.027 port *bridge_port* is not a source routing bridge port

説明: 構成された BAN ブリッジ・ポートはソース・ルーティング・ブリッジ・ポートではありません。

原因: これは構成の矛盾です。BAN ポートが構成できるのは、ソース・ルーティング・フレーム・リレー DLCI ブリッジ・ポート上だけです。

処置: 構成を訂正してください。

BAN.028

レベル: UI-ERROR

短構文: BAN.028 frm drp, prt *bridge_port*, port is not intialized

長構文: BAN.028 frame dropped, port *bridge_port*, port is not intialized

説明: ブリッジされたフレームは、インもアウトもすべて除去されています。BAN ポートは初期化されませんでした。

原因: ある種の構成の矛盾です。

処置: BAN ELS メッセージをオンにして、ルーターを再始動し、このポートで BAN が初期化されなかった理由を探しだします。

BAN.029

レベル: UI-ERROR

短構文: BAN.029 prt *bridge_port*, BAN DLCI addr *ban_dlc_i_addr* is a duplicate with SR-TB enabled.

長構文: BAN.029 port *bridge_port*, BAN DLCI address *ban_dlc_i_addr* is a duplicate with SR-TB enabled.

説明: SR-TB 変換がブリッジ上で使用可能のときは、ブリッジング DLCI の BAN DLCI MAC アドレスは固有である必要があります。SR-TB が使用不可の場合は、この制限は該当しません。

原因: この BAN ブリッジング DLCI の BAN DLCI MAC アドレスは、別の BAN DLCI 上で使用されるものと同じであり、SR-TB が使用可能です。

処置: 代替解決策としては、以下に挙げるものが考えられます。(1) 必要なければ、SR-TB をオフにする。(2) ブリッジング・モードではなく、DLCI 上での DLSw 終了モードを使用する。(3) 必要なければ、複数の DLCI は使用しない。(4) DLCI 上で固有の BAN DLCI MAC アドレスを使用する。

第40章 フレーム・リレー・ネットワーク・インターフェース (FRL)

この章では、フレーム・リレー・ネットワーク・インターフェース (FRL) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

FR.001

レベル: C-INFO

短構文: FR.001 Frame rcvd, circuit *name* DLCI *circuit* prtcl *protocol* nt *network ID*

長構文: FR.001 Frame received, circuit *name* DLCI = *circuit* protocol type = *protocol*, on network *network ID*

説明: FR インターフェースで、LAPD フレームが受信されました。

FR.002

レベル: C-INFO

短構文: FR.002 Frame xmitted circuit *name* DLCI *circuit* prtcl *protocol* nt *network ID*

長構文: FR.002 Frame transmitted circuit *name* DLCI = *circuit* protocol type = *protocol*, on network *network ID*

説明: FR インターフェースで、LAPD フレームが送信されました。

FR.004

レベル: C-INFO

短構文: FR.004 Circuit outbound congest circuit *name* DLCI *circuit* nt *network ID*

長構文: FR.004 Circuit outbound congestion circuit *name* DLCI = *circuit*, on network *network ID*

説明: 回線は現在、アウトバウンド方向が輻輳 (ふくそう) しています。

FR.005

レベル: C-INFO

短構文: FR.005 Circuit outbound uncongest circuit *name* DLCI *circuit* nt *network ID*

長構文: FR.005 Circuit outbound uncongested circuit *name* DLCI = *circuit* on network *network ID*

説明: 回線のアウトバウンド方向の輻輳 (ふくそう) は、現在は解消しています。

FR.006

レベル: C-INFO

短構文: FR.006 Circuit active circuit *name* DLCI *circuit* nt *network ID*

長構文: FR.006 Circuit enters active state circuit *name* DLCI = *circuit*, on network *network ID*

説明: 回線は活動状態に入ります。

FR.007

レベル: C-INFO

短構文: FR.007 Orphan circuit joins net DLCI *circuit* nt *network ID*

長構文: FR.007 An orphan circuit not statically configured has joined the network DLCI = *circuit*, on network *network ID*

説明: このインターフェースに孤立回線が作成されました。

FR.008

レベル: C-INFO

短構文: FR.008 Circuit becomes inactive circuit *name* DLCI *circuit* nt *network ID*

長構文: FR.008 Circuit enters inactive state circuit *name* DLCI = *circuit*, on network *network ID*

説明: 回線は非活動状態に入ります。

原因: 回線のリモート側がダウンしているか、使用不可であるかのいずれかです。

FR.009

レベル: C-INFO

短構文: FR.009 Circuit becomes unavailable circuit *name* DLCI *circuit* nt *network ID*

長構文: FR.009 Circuit is unavailable circuit *name* DLCI = *circuit*, on network *network ID*

説明: 回線はもうネットワーク上で利用不能になっています。

原因: LMI メッセージでは、フレーム・リレー・スイッチによって、回線が現在はまだネットワーク上に構成されていないことが示されます。

FR.010

レベル: C-INFO

短構文: FR.010 Circuit becomes available circuit *name* DLCI *circuit nt network ID*

長構文: FR.010 Circuit is available circuit *name* DLCI = *circuit*, on network *network ID*

説明: 回線は現在、ネットワーク上で利用可能です。

FR.011

レベル: C-INFO

短構文: FR.011 LMI seq exchange requested rcv seq = *rcvseq* xmt seq = *xmtseq nt network ID*

長構文: FR.011 LMI sequence number exchange requested, last received sequence = *rcvseq* current transmit sequence = *xmtseq*, on network *network ID*

説明: LMI 順序番号交換が要求されました。

FR.012

レベル: C-INFO

短構文: FR.012 LMI Status Enquiry requested rcv seq = *rcvseq* xmt seq = *xmtseq nt network ID*

長構文: FR.012 LMI Status Enquiry requested, last received sequence = *rcvseq* current transmit sequence = *xmtseq*, on network *network ID*

説明: LMI 全状況照会が要求されました。

FR.013

レベル: C-INFO

短構文: FR.013 LMI solicited Status Enquiry response received nt *network ID*

長構文: FR.013 LMI solicited Status Enquiry response had been received on network *network ID*

説明: 送信請求 LMI 状況照会応答を受信しました。

FR.015

レベル: C-INFO

短構文: FR.015 Modem status change, DCD = *dcd* CTS = *cts nt network ID*

長構文: FR.015 Modem status changed DCD = *dcd* CTS = *cts on network network ID*

説明: モデム状況の変更が発生しました。現在の状態が記述されています。

FR.016

レベル: C-INFO

短構文: FR.016 Multicast frm xmitted circuit *name* DLCI *circuit prtcl = protocol nt network ID*

長構文: FR.016 Multicast frame transmitted circuit *name* DLCI = *circuit* protocol type = *protocol*, on network *network ID*

説明: FR インターフェースで、LAPD フレームが送信されました。

FR.017

レベル: C-INFO

短構文: FR.017 Circuit remains outbound congest circuit *name* DLCI *circuit nt network ID*

長構文: FR.017 Circuit remains congested in the outbound direction circuit *name* DLCI = *circuit*, on network *network ID*

説明: 回線は、ネットワークに向かうアウトバウンド方向が輻輳（ふくそう）状態のままです。

FR.019

レベル: C-INFO

短構文: FR.019 Orphan circuit ignored DLCI *circuit nt network ID*

長構文: FR.019 An disallowed orphan circuit not statically configured has been ignored DLCI = *circuit*, on network *network ID*

説明: LMI が、静的に構成されていないか、許されていない回線が活動状態で存在していることを知らせました。

FR.020

レベル: C-INFO

短構文: FR.020 Circuits exceeded, orphan circuit discarded
DLCI *circuit* nt *network ID*

長構文: FR.020 The total circuits allowed has been exceeded, an orphan circuit has been ignored
DLCI = *circuit*, on network *network ID*

説明: LMI が、インターフェースに結合できない回線が活動状態で存在していることを知らせました。最大の回線数を超過しています。

FR.021

レベル: C-INFO

短構文: FR.021 No memory for orphan, circuit discarded
DLCI *circuit* nt *network ID*

長構文: FR.021 No available memory for orphan circuit, the circuit has been ignored
DLCI = *circuit*, on network *network ID*

説明: LMI メッセージにおいては、フレーム・リレー・スイッチが、回線が存在し、使用可能であることを知らせています。しかし、その回線をサポートするには記憶域が足りないために、回線はインターフェースに結合できません。

FR.022

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.022 Unsupported LMI IE, type = 0x *type* on nt *network ID*

長構文: FR.022 Unsupported LMI information element, type = 0x *type* on network *network ID*

説明: サポートされない管理情報要素が検出されました。

原因: ソフトウェアが古いものです。サービス技術員に連絡してください。

FR.023

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.023 Unsupported LMI *msg_type* type = 0x *type_val* nt *network ID*

長構文: FR.023 Unsupported LMI *msg_type* type encountered = 0x *type_val*, on network *network ID*

説明: サポートされない管理 LMI メッセージ・タイプまたはレポート・タイプが検出されました。

原因: ソフトウェアが古いものです。サービス技術員に連絡してください。

FR.024

レベル: C-INFO

短構文: FR.024 Multicast circuit joins net
DLCI = *circuit*, group = *group* nt *network ID*

長構文: FR.024 An multicast circuit has joined the network
DLCI = *circuit*, in mulitcast group = *group* on network *network ID*

説明: LMI が、マルチキャスト回線が活動状態で存在していることを知らせました。

FR.026

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.026 Unsupported NLPID, type = 0x *type*, circuit name
DLCI = *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.026 Unsupported Network Layer Protocol ID, type = 0x *type* from circuit name
DLCI = *circuit* on network *network ID*

説明: サポートされないネットワーク・レイヤー・プロトコル NLPID が検出されました。

原因: ソフトウェアが古いものであるか、適合していません。サービス技術員に連絡してください。

FR.027

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.027 Unsupported ethertype = 0x *etype* for NLPID = 0x *nlpid*, circuit name
DLCI = *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.027 Unsupported ethernet type = 0x *etype* for NLPID = 0x *nlpid* from circuit name
DLCI = *circuit* on network *network ID*

説明: サポートされないイーサネット・タイプが検出されました。

原因: ソフトウェアが古いものであるか、適合していません。サービス技術員に連絡してください。

FR.028

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.028 Unsupported OUI = 0x *oui* with NLPID = 0x80, circuit name
DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.028 Unsupported organization unique identifier (OUI) = 0x *oui* with NLPID = 0x80 from circuit name
DLCI

= *circuit on network network ID*

説明: サポートされない編成固有識別子 (OUI) が、SNAP NLPID (すなわち 0x80) を使用してカプセル化されたフレーム内に検出されました。

原因: ソフトウェアが古いものであるか、適合していません。サービス技術員に連絡してください。

FR.029

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.029 Received data on invalid circuit, DLCI *circuit on nt network ID*

長構文: FR.029 Data received on invalid or nonconfigured circuit, DLCI = *circuit on network network ID*

説明: 未構成の回線、または動的に確認されたがネットワーク上でまだ活動状態になっていない回線で、データが受信されました。

原因: ネットワークの構成の誤り、またはタイミングの誤り。

FR.030

レベル: C-INFO

短構文: FR.030 LMI seq exchange received rcv seq = *rcvseq xmt seq = xmtseq nt network ID*

長構文: FR.030 LMI sequence number exchange received, last received sequence = *rcvseq* current transmit sequence = *xmtseq*, on network *network ID*

説明: LMI 順序番号交換が受信されました。

FR.031

レベル: C-INFO

短構文: FR.031 LMI unsolicited PVC Status Update received nt *network ID*

長構文: FR.031 LMI unsolicited single Status Update had been received on network *network ID*

説明: LMI 非送信請求単一状況更新メッセージを受信しました。

FR.032

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.032 Circuit address length too short nt *network ID*

長構文: FR.032 Circuit address length less than the 2 octet minimum received on network *network ID*

説明: ルーターが、フレーム・リレー・インターフェースで、2 オクテットより短いアドレス・フィールドを持つフレームを検出しました。ルーターがフレーム・リレー・インターフェースでサポートしているアドレス・フィールドは、2 オクテットのもののみです。

FR.033

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.033 Circuit address length too large nt *network ID*

長構文: FR.033 Circuit address length greater than the 2 octet maximum received on network *network ID*

説明: ルーターが、フレーム・リレー・インターフェースで、2 オクテットより長いアドレス・フィールドを持つフレームを検出しました。ルーターがフレーム・リレー・インターフェースでサポートしているアドレス・フィールドは、2 オクテットのもののみです。

FR.034

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.034 Circuit status message using reserved address, DLCI *circuit nt network ID*

長構文: FR.034 Circuit status update message contained a reserved management channel address, DLCI = *circuit*, on network *network ID*

説明: LMI 状況メッセージに、予約済みの管理チャネル・アドレスが含まれていました。

FR.035

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.035 Unsupported control frame, type = 0x *type*, circuit *name* DLCI *circuit on nt network ID*

長構文: FR.035 Unsupported Link Layer control frame encountered, type = 0x *type* from circuit *name* DLCI = *circuit* on network *network ID*

説明: サポートされないリンク・レイヤー制御フレームが検出されました。

原因: ソフトウェアが古いものであるか、適合していません。サービス技術員に連絡してください。

FR.036

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.036 Unsupported management protocol descriptor, type = 0x *type* on nt *network ID*

長構文: FR.036 Unsupported layer management protocol descriptor encountered, type = 0x *type* on network *network ID*

説明: サポートされないネットワーク・レイヤー・プロトコル記述子が検出されました。

原因: ソフトウェアが古いものであるか、適合していません。サービス技術員に連絡してください。

FR.037

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.037 Unsupported management call reference encountered on nt *network ID*

長構文: FR.037 Unsupported layer management call reference encountered on network *network ID*

説明: サポートされないネットワーク・レイヤー・コール参照フィールドが検出されました。

原因: ソフトウェアが古いものであるか、適合していません。サービス技術員に連絡してください。

FR.038

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.038 No lock shift encountered in ANSI LMI message on nt *network ID*

長構文: FR.038 No lock shift encountered in received ANSI LMI message on network *network ID*

説明: 受信した ANSI 管理フレームに、必要なロック・シフト情報要素が含まれていませんでした。

原因: ネットワーク交換管理フレームのエラー。現場管理責任者に連絡してください。

FR.039

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.039 Incorrect formatted information element encountered on nt *network ID*

長構文: FR.039 Incorrectly formatted information element encountered on network *network ID*

説明: 受信した管理フレーム情報要素が、正しく形式設定されていませんでした。

原因: ネットワーク交換管理フレームのエラー。現場管理責任者に連絡してください。

FR.040

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.040 LMI rcv seq number in error seq = *rcvseq* expected seq = *xmtseq* nt *network ID*

長構文: FR.040 LMI receive sequence number in error, receive sequence = *rcvseq* expected sequence = *xmtseq*, on network *network ID*

説明: 正しくない LMI 受信順序番号を受信しました。

FR.041

レベル: C-INFO

短構文: FR.041 Circuit leaves net circuit *name* DLCI *circuit* nt *network ID*

長構文: FR.041 A circuit has been removed from the network circuit *name* DLCI = *circuit*, on network *network ID*

説明: 前回出された LMI 全状況メッセージにあった回線が、フレーム・リレー・スイッチに含まれていません。この回線は、ネットワークから取り外されたものと想定されます。

FR.042

レベル: C-INFO

短構文: FR.042 Circuit inbound congest circuit *name* DLCI *circuit* nt *network ID*

長構文: FR.042 Circuit experiencing inbound congestion circuit *name* DLCI = *circuit*, on network *network ID*

説明: 回線は現在、インバウンド方向が輻輳（ふくそう）しています。

FR.043

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.043 Incorrect formatted addr hdr for LMI packet encountered on nt *network ID*

長構文: FR.043 Incorrect formatted address header for LMI packet encountered on network *network ID*

説明: 受信した管理フレームのアドレス・ヘッダーには、BECN、FECN、DE、または CR ビットがセットされていました。

原因: ネットワーク交換管理フレームのエラー。現場管理責任者に連絡してください。

FR.044

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.044 Unsolicited LMI LIV received rcv seq = xseq xmt seq = rseq nt network ID

長構文: FR.044 Unsolicited LMI Link Integrity Verification received receive seq number = xseq transmit seq number = rseq on network network ID

説明: ルーターによるポーリングなしに、ネットワークから LMI リンク保水性検査メッセージを受信しました。

原因: 重複パケットが送信された可能性があります。LMI リンクを監視して、現場管理責任者に連絡してください。

FR.045

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.045 Unsolicited LMI FULL STATUS received rcv seq = xseq xmt seq = rseq nt network ID

長構文: FR.045 Unsolicited LMI FULL STATUS response received receive seq number = xseq transmit seq number = rseq on network network ID

説明: ルーターによるポーリングなしに、ネットワークから LMI 全状況メッセージを受信しました。

原因: 重複パケットが送信された可能性があります。LMI リンクを監視して、現場管理責任者に連絡してください。

FR.046

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.046 DROP: Bridging not enabled on circuit name DLCI circuit, nt network ID

長構文: FR.046 DROP: Bridging not enabled on circuit name DLCI = circuit, network network ID

説明: RFC 1490 で定義されているブリッジ・タイプのフレームが受信されました。しかし、ブリッジングがこの回線で使用可能にされていなかったために、フレームは廃棄されます。

原因: ポイント・ポイント WAN 接続では、これはブリッジングが一方のエンドポイント・ルーターでは使用可能にされ、他方では使用不可にされていることを示しています。この構成は無効です。

処置: 回線の両端で適切なブリッジング動作を使用可能にするか、またはこの回線に接続されたブリッジ・ポート上のブリッジングを使用不可にします。言い換え

ば、回線の両端でブリッジングを使用可能または使用不可にする必要があります。

FR.047

レベル: C-INFO

短構文: FR.047 DROP: Bridge port not fwding on circuit name DLCI circuit, nt network ID

長構文: FR.047 DROP: Bridge port not forwarding on circuit name DLCI = circuit, network network ID

説明: ブリッジ・フレームは、ブリッジ・ポートが転送状態でないために、廃棄されます。

原因: ポートがアップ状態になった直後で、ブロック化、listen、確認、転送の各状態に進行中であるか、またはスパン・ツリー・プロトコルがこのポートをバックアップ・ポートとしてブロック状態に留まらせるように決定した可能性があります。

FR.048

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.048 DROP: source_mac to dest_mac, Frame to bdg port behav mismatch on circuit name DLCI circuit, nt network ID

長構文: FR.048 DROP: source_mac to dest_mac, Frame to bridge port behavior mismatch on circuit name DLCI = circuitu, network network ID

説明: ブリッジされたフレームが受信されましたが、フレーム・タイプとブリッジ・ポートの動作とが合致しないために、廃棄されます。

原因: ソース・ルーティングされたフレームが、ソース・ルーティングが使用不可になっているブリッジ・ポートで受信されたか、または透過フレームが、透過ブリッジングが使用不可になっているブリッジ・ポートで受信されました。

処置: 回線の両端で適切なブリッジング動作を使用可能にするか、またはこの回線に接続されたブリッジ・ポート上のブリッジングを使用不可にします。

FR.049

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.049 Unsupported bdg frame type = 0x type, circuit name DLCI circuit on nt network ID

長構文: FR.049 Unsupported bridge frame type = 0x type from circuit name DLCI = circuit on network network ID

説明: サポートされないブリッジ・フレーム・タイプが検出され、フレームは廃棄されました。

原因: 802.4 ブリッジ・フレーム、802.6 ブリッジ・フレーム、または RFC 1490 でサポートされないブリッジ・プロトコル ID を持つブリッジ・フレームのいずれかが受信されました。

処置: 互換性のあるブリッジング動作が回線の両端で構成されていることを確認して、それでも問題が起こる場合はサービス技術員に連絡してください。

FR.050

レベル: UI-ERROR

短構文: FR.050 Unrecgnz outgoing bdg frame type = *type* on circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.050 Unrecognized outgoing bridge frame type = *type* on circuit *name* DLCI = *circuit* on network *network ID*

説明: 発信ブリッジ・フレーム・タイプが認識できません。ブリッジがフレーム・リレー・インターフェースに送信を要求したフレームのタイプは、RFC 1490 で定義されているカプセル化に変換できないタイプです。

原因: ソフトウェアの問題

処置: サービス技術員に連絡してください。

FR.051

レベル: C-INFO

短構文: FR.051 Xmit frame rej: rsn = *reason*, circuit *name* DLCI *circuit*, prtcl = *protocol*, nt *network ID*

長構文: FR.051 Transmit frame rejected with reason = *reason* for circuit *name* DLCI = *circuit* protocol type = *protocol* on network *network ID*

説明: プロトコル・フレームが廃棄されました。伝送に備えて待ち行列に入れることができなかったためです。

原因: バッファ不足があるか、帯域幅予約待ち行列が最大長に達しているか、またはインターフェースがダウンしています。

FR.052

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.052 LMI rcv seq = 0, prev rcv = *prevrcv_seq*, xmt seq = *xmt_seq* nt *network ID*

長構文: FR.052 LMI receive sequence number = 0, previous receive sequence number = *prevrcv_seq*, current transmit sequence number = *xmt_seq* on network *network ID*

説明: LMI 送信順序番号 0 を受信しました。

FR.053

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.053 DN bd ln *actual_length* *claimed_length*, circuit *name* DLCI *circuit* nt *network id*

長構文: FR.053 DECnet packet received with a bad length *actual* *actual_length* *claimed* *claimed_length* on circuit *name* DLCI = *circuit*, network *network id*

説明: DECnet パケットを受信しましたが、長さフィールドが実際のパケット長より長くなっていました。

FR.054

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.054 Rqd PVC *required_pvc* unavail nt *network id*; continue testing

長構文: FR.054 Required PVC *required_pvc* unavailable on network *network id*; continue testing interface

説明: ルーターとフレーム・リレー・スイッチとの間で、LMI メッセージの交換が正常に行われました。しかし、必須 PVC が活動状態であることをスイッチがルーターに通知していなかったために、ルーターは必須 PVC がすべて活動状態になるまでインターフェースのテストを続けます。

原因: 少なくとも 1 つの必須 PVC が活動状態ではありません。

FR.055

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.055 Rqd PVC *required_pvc* removed nt *network id*; start testing

長構文: FR.055 Required PVC *required_pvc* removed from network *network id*; start testing interface

説明: 必須 PVC が現在は活動状態でないことを示す LMI メッセージを、ルーターがフレーム・リレー・スイッチから受信しました。ルーターは、必須 PVC が再び活動状態になるまでインターフェースをダウンにしました。

原因: 必須 PVC が非活動状態になりました。

FR.056

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.056 No PVCs present nt *network id*; testing

長構文: FR.056 No PVCs present on network *network id*; testing interface

説明: ルーターは、LMI メッセージを FR スイッチと正常に交換しましたが、活動状態にある回線がないことを LMI メッセージが示しています。NO-PVC 構成オプションがインターフェースで使用可能になっているため、ルーターは 1 つまたは複数の回線が活動状態になるまでインターフェースをテストします。

原因: インターフェース上のどの回線も活動状態ではありません。

FR.057

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.057 No rpt type in LMI msg nt *network ID*

長構文: FR.057 No report type encountered in received LMI message on network *network ID*

説明: 受信された LMI が、必須のレポート・タイプの情報要素を含んでいませんでした。

原因: FR ネットワーク・スイッチ管理フレームのエラー。現場管理責任者に連絡してください。

FR.059

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.059 Frame dropped: APPN or DLSw not enabled on circuit *name* DLCI *circuit*, nt *network ID*

長構文: FR.059 Frame dropped: APPN or DLSw not enabled on circuit *name* DLCI = *circuit*, network *network ID*

説明: RFC 1490 で定義されている APPN カプセル化または SNA カプセル化を使用したフレームを受信しましたが、APPN または DLSw のどちらもこの回線で使用可能になっていないため、フレームは廃棄されます。

原因: このことは、APPN および SNA のトラフィックが回線の一方で使用可能になっており、もう一方で使用不可能になっていることを示しています。この構成は無効です。

処置: APPN トラフィックまたは SNA トラフィックを、回線の両端で使用可能にするか、使用不可にしてください。

FR.060

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.060 Unsupported L2/L3 PIDs = 0x *l2pid*/0x *l3pid*, circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.060 Unsupported L2 and/or L3 protocol ids = 0x *l2pid*/0x *l3pid* when NLPID = 0x08, circuit *name* DLCI = *circuit* on network *network ID*

説明: NLPID 値が 0x08 のフレームを受信しましたが、レイヤー 2 またはレイヤー 3 (またはその両方) のプロトコル ID が APPN および SNA のトラフィックではサポートされていません。

原因: ソフトウェアが古いものであるか、適合していません。サービス技術員に連絡してください。

FR.061

レベル: C-TRACE

短構文: FR.061 Info rate changed from *cur_vir* to *new_vir*, circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.061 Information rate changed from *cur_vir* to *new_vir* for circuit *name* DLCI = *circuit* on network *network ID*

説明: 輻輳 (ふくそう) が発生している (BECN セットを持つフレームが受信された) か、輻輳 (ふくそう) が終了している (BECN セットを持たないフレームが受信されたか、フレームがしばらくの間受信されていない) ために、情報速度が変更されています。

FR.062

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.062 Frame len of *length* too short for circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.062 Frame length of *length* is too short for frame received on circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID*

説明: アドレス・フィールド、制御フィールド、および RFC 1490 カプセル化ヘッダーの合計の長さより短い長さのフレームを受信しました。

原因: ソフトウェアが古いものであるか、適合していません。サービス技術員に連絡してください。

FR.064

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.064 Config info missing for required group *groupname* on nt *network ID*

長構文: FR.064 Configuration information missing for required PVC group *groupname* on network *network ID*

説明: 必須 PVC が、必須 PVC グループに属するものと定義されていますが、SRAM グループ情報レコードが見付かりません。

原因: ソフトウェア (レコードが書かれていない) またはハードウェア。サービス技術員に連絡してください。

FR.065

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.065 All PVCs in rqd group *groupname* unavailable on *network id*; continue testing

長構文: FR.065 All PVCs in required PVC group *groupname* unavailable on network *network id*; continue testing interface

説明: ルーターとフレーム・リレー・スイッチとの間で、LMI メッセージの交換が正常に行われました。しかし、必須 PVC グループの中の PVC のいずれかが活動状態であることをスイッチがルーターに通知していなかったために、ルーターは必須 PVC が少なくとも 1 つ活動状態になるまでインターフェースのテストを続けます。

原因: 必須 PVC グループ内のすべての回線が非活動状態です。

FR.066

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.066 All PVCs in rqd group *groupname* removed on *network id*; start testing

長構文: FR.066 All PVCs in required PVC group *groupname* removed from network *network id*; start testing interface

説明: 必須 PVC グループの中の最後の必須 PVC が現在は活動状態でないことを示す LMI メッセージを、ルーターがフレーム・リレー・スイッチから受信しました。ルーターは、グループの中の PVC が少なくとも 1 つ再び活動状態になるまでインターフェースをダウンにします。

原因: 必須 PVC グループ内のすべての回線が非活動状態になりました。

FR.067

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.067 Net down due to *n2evnc* of *N2* LMI errors on *network id*; start testing

長構文: FR.067 Frame relay LMI detected *n2evnc* errors out of *N2* consecutive events on network *network id*; start testing interface

説明: フレーム・リレー LMI エラーが過剰のため、インターフェースはダウンとマークされました。

原因: 過剰フレーム・リレー LMI エラー

FR.068

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.068 Asynchronous status message with LIV IE received on *nt network ID*

長構文: FR.068 Asynchronous status message with LIV IE received on network *network ID*

説明: LIV IE 付き非同期状況メッセージをネットワークから受信しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

FR.069

レベル: C-INFO

短構文: FR.069 CLLM cause *cv* rcvd for PVCs *elsstring* on *nt network ID*

長構文: FR.069 A CLLM message was received with cause value *cv* for PVCs *elsstring* on network *network ID*

説明: 有効な CLLM メッセージを受信して処理しました。

FR.070

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.070 Compress frame disc (bad header) circuit *name* DLCI circuit on *nt network ID*

長構文: FR.070 Circuit *name* DLCI circuit discarded a compression frame (bad header) on network *network ID*

説明: FR 圧縮フレームが、ヘッダーの不良を理由に、受信側で廃棄されました。

FR.071

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.071 Compress frame disc (not oper) circuit *name* DLCI circuit on *nt network ID*

長構文: FR.071 Circuit *name* DLCI circuit discarded a compression frame (not oper) - network *network ID*

説明: FR 圧縮フレームが受信側で廃棄されました。作動不能です。

FR.072

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.072 Frame discarded (decompress err) circuit *name* DLCI circuit rc= *returncode* on *nt network ID*

長構文: FR.072 Circuit *name* DLCI circuit had a

decompression error (rc = *returncode*) on network *network ID*

説明: FR 圧縮フレームが、圧縮解除エラーのため廃棄されました。

原因: 圧縮解除エラー

FR.073

レベル: C-INFO

短構文: FR.073 DCP retry limit exhausted for circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.073 DCP retries exhausted for circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID*

説明: FR 圧縮折衝再試行限界に達しています。

FR.074

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.074 Circuit *name* DLCI *circuit* rcvd DCP control PDU out of seq on nt *network ID*

長構文: FR.074 Circuit *name* DLCI *circuit* received DCP ctl PDU out of sequence on network *network ID*

説明: FR 圧縮制御フレームの受信順序が誤っています。

FR.075

レベル: C-INFO

短構文: FR.075 DCP R-R mode started for circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.075 DCP R-R mode started for circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID*

説明: FR 圧縮リセット要求 (R-R) モードが開始されています。

FR.076

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.076 Compress not done (no resources) for circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.076 Compression not done (no resources) for circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID*

説明: 圧縮が実行されませんでした。資源が利用不能です。

原因: 圧縮機能を使用するためのバッファが利用不能です。

FR.077

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.077 Compress frame disc by non-comp circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.077 Compression frame discarded by non-comp circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID*

説明: 圧縮フレームが非圧縮回線によって廃棄されました。

FR.078

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.078 Compress failed for circuit *name* DLCI *circuit* (rc = *returncode*) on nt *network ID*

長構文: FR.078 Compression failed for circuit *name* DLCI *circuit* with rc = *returncode* on network *network ID*

説明: 圧縮が失敗しました。

原因: データ圧縮アルゴリズムが負の戻りコードを戻しました。

FR.079

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.079 Compress frame disc (R-R mode) circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.079 Circuit *name* DLCI *circuit* discarded a compression frame (in R-R mode) on network *network ID*

説明: FR 圧縮フレームが受信側によって廃棄されました (R-R モード)。

原因: 圧縮再同期 (R-R) モードのときに、データ・フレームを受信しました。

FR.080

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.080 Compress frame disc (seq err) circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.080 Compression frame discarded (seq num err) by circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID*

説明: 圧縮フレームが、順序番号エラーのため廃棄されました。

原因: 正しくない順序番号を持つ圧縮データ・フレームを受信しました。

FR.081

レベル: C-INFO

短構文: FR.081 Compress frame disc (LCB err) by circuit *circuit* DLCI *network ID*/

長構文: FR.081 Compression frame discarded (LCB err) by circuit *circuit* DLCI *network ID*/

説明: 圧縮フレームが、LCB エラーのため廃棄されました。

FR.082

レベル: C-INFO

短構文: FR.082 DCP R-R mode ended for circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.082 DCP R-R mode ended for circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID*

説明: FR 圧縮リセット要求 (R-R) モードが終了しています。

FR.083

レベル: C-INFO

短構文: FR.083 Data compress oper circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.083 Data compression operational for circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID*

説明: FR データ圧縮が作動可能です。

FR.084

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.084 Data compress stop circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.084 Data compression stopped for circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID*

説明: FR データ圧縮が停止しています。

原因: ネットワークがダウンしているか、圧縮折衝が中断しました。

FR.085

レベル: CE-ERROR

短構文: FR.085 Circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID* wait for a compress context

長構文: FR.085 Circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID* is waiting for a compression context

説明: 回線がデータ圧縮コンテキストを待機中です。

原因: 圧縮コンテキストが利用不能です。

FR.086

レベル: CE-ERROR

短構文: FR.086 Circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID* wait for compress limit to reduce

長構文: FR.086 Circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID* waiting for circuit compression limit to reduce

説明: 回線は回線圧縮限界が下がるのを待っています。

原因: インターフェース圧縮 PVC 限界に達しました。

FR.087

レベル: C-INFO

短構文: FR.087 Compress neg suspended circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.087 Compression negotiation suspended for circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID*

説明: データ圧縮折衝が中断しています。

FR.088

レベル: CE-ERROR

短構文: FR.088 Compression internally disabled for dynamic actv'ed nt *network ID*

長構文: FR.088 Compression internally disabled for dynamically activated network *network ID*

説明: データ圧縮が、動的に起動したインターフェースでは内部的に使用不可になっています。

原因: バッファー・ヘッダーまたはトレーラー・サイズが圧縮には不十分です。

FR.089

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.089 CLLM msg *elsstring* fmt error offset = *erroffset* on nt *network ID*

長構文: FR.089 A format error in the header of CLLM message *elsstring* was detected at offset *erroffset* (starting from 1) on network *network ID*

説明: 無効の CLLM メッセージを受信して廃棄しました。

原因: ソフトウェアが古いものであるか、適合していません。サービス技術員に連絡してください。

FR.090

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.090 Xmit frame rej: prtcl *protocol* rsn *reason*
data *data* nt *network ID*

長構文: FR.090 Transmit frame rejected for protocol
protocol, reason code = *reason*, associated data = *data*
network *network ID*

説明: 内部エラーまたはルーティング・エラーのため、
フレームが転送できませんでした。

原因: 無効な制御ブロックまたは DLCI ポインター

FR.091

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.091 Xmit frame rej: inactive or removed circuit
DLCI *pvc* prtcl *protocol* nt *network ID*

長構文: FR.091 Transmit frame rejected for inactive or
removed circuit DLCI *pvc* for protocol *protocol* network
network ID

説明: 関連した回線が非活性であったか、除去されてい
たか、いずれかであったので、フレームが送信できま
せんでした。これがマルチキャスト・パケットであった場
合は、回線番号はゼロになります。

原因: 非活性または除去された回線で伝送が試行されま
した。

FR.092

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.092 Encrypt frame disc circ *name* DLCI *circuit*
on nt *network ID* - multi-encryption not allowed

長構文: FR.092 Encrypt frame disc circ *name* DLCI *circuit*
on nt *network ID* - multi-encryption not allowed

説明: 暗号化フレームが、暗号化が複数回試みられたた
め廃棄されました。

原因: 暗号化が 2 回試みられました。

処置: 暗号化が複数回試みられることがないよう、ユー
ザーは IP/SEC または PPP/FR を再構成する必要があります。

FR.093

レベル: C-INFO

短構文: FR.093 DCP frm sent circuit *name* DLCI *circuit*
(len *length*, seq *seqnum*, lcb *lcb*) - nt *network ID*

長構文: FR.093 DCP frame sent for circuit *name* DLCI

circuit (len = *length*, seq = *seqnum*, lcb = *lcb*) - network
network ID

説明: データが圧縮されている DCP フレームが送信さ
れています。

FR.094

レベル: C-INFO

短構文: FR.094 DCP frm w/uncomp data sent circuit *name*
DLCI *circuit* (len *length*, seq *seqnum*) - nt *network ID*

長構文: FR.094 DCP frame with uncompressed data sent
for circuit *name* DLCI *circuit* (len = *length*, seq = *seqnum*)
- network *network ID*

説明: データが圧縮されていない DCP フレームが送信
されています。

FR.095

レベル: C-INFO

短構文: FR.095 DCP frm rcv'd circuit *name* DLCI *circuit*
(len *length*, seq *seqnum*, lcb *lcb*) - nt *network ID*

長構文: FR.095 DCP frame received for circuit *name* DLCI
circuit (len = *length*, seq = *seqnum*, lcb = *lcb*) - network
network ID

説明: データが圧縮されている DCP フレームが受信さ
れています。

FR.096

レベル: C-INFO

短構文: FR.096 DCP frm w/uncomp data rcv'd circuit *name*
DLCI *circuit* (len *length*, seq *seqnum*) - nt *network ID*

長構文: FR.096 DCP frame with uncompressed data
received for circuit *name* DLCI *circuit* (len = *length*, seq
= *seqnum*) - network *network ID*

説明: データが圧縮されていない DCP フレームが受信
されています。

FR.097

レベル: CE-ERROR

短構文: FR.097 MTU = *mtu* too small for P1 = *p1*, MTU
= *b* req on nt *network ID*

長構文: FR.097 The MTU defined for the interface of *mtu*
is too small to hold a LMI full status message containing
P1 *p1* PVCs - MTU of *b* bytes required - network *network ID*

説明: LMI エラーが発生するのは、P1 PVC が LMI フ

フレームに組み込まれている場合であり、受信できないからです。

原因: MTU サイズが、P1 PVC を含む LMI 状態メッセージ全体を入れるのには小さ過ぎます。

処置: MTU を増やすか、P1 パラメーターを減らします。

FR.098

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.098 Encrypt frame disc circuit *name* DLCI circuit on nt network *ID* - discard_reason

長構文: FR.098 Encryption frame discarded by circuit *name* DLCI circuit on network network *ID* - discard_reason

説明: 暗号化フレームが廃棄されました。

FR.099

レベル: C-INFO

短構文: FR.099 DEP retry limit exhausted circuit *name* DLCI circuit on nt network *ID*

長構文: FR.099 DEP retries exhausted for circuit *name* DLCI circuit on network network *ID*

説明: FR 暗号化折衝再試行限界に達しました。

FR.100

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.100 Data encrypt stop circuit *name* DLCI circuit on nt network *ID*

長構文: FR.100 Data encryption stopped for circuit *name* DLCI circuit on network network *ID*

説明: FR データ暗号化が停止しました。

原因: ネットワークがダウンしているか、暗号化折衝が中断しています。

FR.101

レベル: C-INFO

短構文: FR.101 Encrypt neg suspended circuit *name* DLCI circuit on nt network *ID*

長構文: FR.101 Encryption negotiation suspended for circuit *name* DLCI circuit on network network *ID*

説明: データ暗号化折衝が中断しました。

FR.102

レベル: C-INFO

短構文: FR.102 Data encrypt oper circuit *name* DLCI circuit on nt network *ID*

長構文: FR.102 Data encryption operational for circuit *name* DLCI circuit on network network *ID*

説明: FR データ暗号化が運用可能です。

FR.103

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.103 Circuit *name* DLCI circuit rcvd DEP control PDU out of seq nt network *ID*

長構文: FR.103 Circuit *name* DLCI circuit received DEP control PDU out of sequence on network network *ID*

説明: FR 暗号化制御フレームの受信順序が誤っています。

FR.104

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.104 Frame discarded, reason, circuit *name* DLCI circuit on nt network *ID*

長構文: FR.104 Frame discarded, reason, by circuit *name* DLCI circuit on network network *ID*

説明: 非暗号化フレームが暗号化回路によって廃棄されました。

FR.105

レベル: C-INFO

短構文: FR.105 DEP frm rcvd circuit *name* DLCI circuit (len length, seq seqnum, lcb lcb) - nt network *ID*

長構文: FR.105 DEP frame received for circuit *name* DLCI circuit (len = length, seq = seqnum, lcb = lcb) - network network *ID*

説明: DEP フレームを受信しました。

FR.106

レベル: C-INFO

短構文: FR.106 DEP R-R mode started circuit *name* DLCI circuit on nt network *ID*

長構文: FR.106 DEP R-R mode started for circuit *name* DLCI circuit on network network *ID*

説明: FR 暗号化リセット要求 (R-R) モードが開始しました。

FR.107

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.107 Encrypt not done (no resources) circuit *name* DLCI circuit on nt *network ID*

長構文: FR.107 Encryption not done (no resources) for circuit *name* DLCI circuit on network *network ID*

説明: 暗号化は実行されませんでした。資源が利用不能です。

原因: 暗号化機能を使用するためのバッファが利用不能です。

FR.108

レベル: C-INFO

短構文: FR.108 DEP frm sent circuit *name* DLCI circuit (len *length*, seq *seqnum*, lcb *lcb*) - nt *network ID*

長構文: FR.108 DEP frame sent for circuit *name* DLCI circuit (len = *length*, seq = *seqnum*, lcb = *lcb*) - network *network ID*

説明: DEP フレームが送信されました。

FR.109

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.109 Xmit frame rej: encrypt not oper circuit *name* DLCI circuit prtcl *protocol* nt *network ID*

長構文: FR.109 Protocol xmit request rejected: secure connection not operational yet - circuit *name* DLCI circuit *protocol protocol* network *network ID*

説明: プロトコル伝送要求が拒否されました。保護接続がまだ運用可能ではありません。

原因: 暗号化が運用可能になる前に、保護回線で伝送が試行されました。

FR.110

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.110 No memory for circuit during reset int, disc circuit *circuit* nt *network ID*

長構文: FR.110 No available memory for a circuit during a DR reset interface, the circuit has been ignored circuit *circuit*, on network *network ID*

説明: 動的再構成のリセット・インターフェース操作時に、制御ブロックの記憶域割り振りに失敗しました。回

線は作成されませんでした。

原因: DR のリセット・インターフェース操作時に、制御ブロックのメモリー割り振りに失敗しました。

FR.111

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.111 Buffer not available on nt *network ID* for *transmission_reason*

長構文: FR.111 Buffer not available on network *network ID* for *transmission_reason*

説明: バッファが利用不能のために、伝送が失敗するか、遅れました。

FR.112

レベル: C-INFO

短構文: FR.112 SVC call-in ignored, *reason* nt *network ID*

長構文: FR.112 An incoming call for a switched virtual circuit was ignored, *reason* on network *network ID*

説明: 着信コールは受け入れられませんでした。

FR.113

レベル: C-INFO

短構文: FR.113 SVC call-in accept, SVC *name*, DLCI *num* nt *network ID*

長構文: FR.113 An incoming call for a switched virtual circuit was accepted, SVC = *name*, DLCI = *num* on network *network ID*

説明: 着信コールが受け入れられました。

FR.114

レベル: C-INFO

短構文: FR.114 SVC call-out ignored, *reason* nt *network ID*

長構文: FR.114 An outgoing call for a switched virtual circuit was ignored, *reason* on network *network ID*

説明: 発信コールは行われませんでした。

FR.115

レベル: C-INFO

短構文: FR.115 SVC call-out accept, SVC *name* call state = *state* nt *network ID*

長構文: FR.115 An outgoing call for a switched virtual

circuit was accepted, SVC = *name* call state = *state* on network *network ID*

説明: 発信コールが受け入れられました。

FR.116

レベル: C-INFO

短構文: FR.116 SVC call-out complete, SVC *name*, DLCI *num* nt *network ID*

長構文: FR.116 An outgoing call for a switched virtual circuit was completed, SVC = *name*, DLCI = *num* on network *network ID*

説明: 発信コールが完了しました。

FR.117

レベル: C-INFO

短構文: FR.117 SVC disconnect, *reason*, SVC *name* nt *network ID*

長構文: FR.117 A switched virtual circuit was disconnected, *reason*, SVC = *name* on network *network ID*

説明: コールは切断されます。

FR.118

レベル: C-INFO

短構文: FR.118 Establish sent to q922 layer, nt *network ID*

長構文: FR.118 Establish sent to q922 layer, network *network ID*

説明: コールは切断されます。

FR.119

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.119 SVC call-out failed, *reason*, SVC *name* nt *network ID*

長構文: FR.119 A switched virtual circuit call-out attempt failed, *reason*, SVC = *name* on network *network ID*

説明: コールは切断されます。

FR.120

レベル: C-INFO

短構文: FR.120 SVC *name* connected number *num*, connected subaddress *sub*, nt *network ID*

長構文: FR.120 An outgoing call for a switched virtual circuit was completed, SVC = *name*, with a different

connected number *num* and/or subaddress *sub* than was called on network *network ID*

説明: 発信コールが受け入れられました。

FR.121

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.121 Net down due to failure of Q.922 on nt *network id*; start testing

長構文: FR.121 Frame relay detected a failure of the Q.922 data link layer on network *network id*; start testing interface

説明: Q.922 障害のため、インターフェースはダウンとしてマークされました。

FR.122

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.122 Invalid Q.922 message. Unknown data received on nt *network id*

長構文: FR.122 An invalid Q.922 message was received and could not be processes on network *network id*

説明: このメッセージは無視されます。

FR.123

レベル: C-INFO

短構文: FR.123 Establish confirm received on nt *network id*

長構文: FR.123 Establish confirm received byt the q933 layer for network *network id*

説明: Q922 レイヤーがアップになりました。

FR.124

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.124 Out of sequence numbers Vr Vr,, Vs Vs,, Nr Nr,, Ns Ns,Va,, Va *network id*/

長構文: FR.124 Out of sequence numbers Vr Vr,,Vs Vs,,Nr Nr,,Ns Ns,Va,,Va *network id*/

説明: データ・フレーム内のシーケンス番号の誤り。Q922 セッションはリセットされます。

FR.125

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.125 Invalid Q.933 message, *reason*, nt *network ID*

長構文: FR.125 An invalid Q.933 message was received

and ignored, *reason*, on network *network ID*

説明: このメッセージは無視されます。

FR.126

レベル: CI-ERROR

短構文: FR.126 Frame rcvd, circuit *name* DLCI *circuit* not ready for prtcl *protocol* nt *network ID*

長構文: FR.126 Frame received, circuit *name* DLCI = *circuit* not ready for protocol type = *protocol*, on network *network ID*

説明: IPX フレームを受信していますが、対応する回線が、受信の準備が整っていないというマークが付いているか、存在しないかのいずれかです。

原因: フレームを受信しているが、IPX 回線が使用不可にされている。

処置: IPX 回線を使用可能にしてください。

原因: フレームを受信しているが、インターフェース上に IPX が構成されていない。

処置: インターフェース上に IPX 回線を構成してください。

FR.127

レベル: P_TRACE

短構文: FR.127 LMI frame transmitted, nt *network ID*

長構文: FR.127 LMI frame transmitted on network *network ID*

説明: LMI パケット・トレース情報

FR.128

レベル: P_TRACE

短構文: FR.128 LMI frame received, nt *network ID*

長構文: FR.128 LMI frame received on network *network ID*

説明: LMI パケット・トレース情報

FR.129

レベル: P_TRACE

短構文: FR.129 Q.922 frame transmitted, nt *network ID*

長構文: FR.129 Q.922 frame transmitted on network *network ID*

説明: Q.922 パケット・トレース情報

FR.130

レベル: P_TRACE

短構文: FR.130 Q.922 frame received, nt *network ID*

長構文: FR.130 Q.922 frame received on network *network ID*

説明: Q.922 パケット・トレース情報

FR.131

レベル: P_TRACE

短構文: FR.131 Q.933 frame forwarded, nt *network ID*

長構文: FR.131 Q.933 frame forwarded on network *network ID*

説明: Q.933 パケット・トレース情報

FR.132

レベル: P_TRACE

短構文: FR.132 Q.933 frame received, nt *network ID*

長構文: FR.132 Q.933 frame received on network *network ID*

説明: Q.933 パケット・トレース情報

FR.133

レベル: P_TRACE

短構文: FR.133 DATA frame received, nt *network ID*

長構文: FR.133 DATA frame received on network *network ID*

説明: DATA パケット・トレース情報

FR.134

レベル: P_TRACE

短構文: FR.134 CLLM frame received, nt *network ID*

長構文: FR.134 CLLM frame received on network *network ID*

説明: CLLM パケット・トレース情報

FR.135

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.135 SVC call collision, *reason*, SVC *name* nt *network ID*

長構文: FR.135 A switched virtual circuit setup was received for an SVC that had a call setup in progress, *reason*,

SVC = *name* on network *network ID*

説明: ローカル側番号の低い方の SVC は、発信コールを取り消して着信コールを受け入れます。

Panic frimem

短構文: Frame Relay interface initialization failed - no memory

説明: フレーム・リレー・インターフェースは、初期化を完了できる十分な記憶域を割り振ることができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic friprt

短構文: FR: unsupported protocol during initialization

説明: フレーム・リレー・ネットワーク・ハンドラーは、初期化時にサポートされないプロトコルを検出しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic frfppt

短構文: FR: unsupported protocol during frame forward

説明: フレーム・リレー・ネットワーク・ハンドラーは、プロトコル・フレーム転送フェーズで、サポートされないプロトコルを検出しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic frcompmem

短構文: Frame Relay interface compression initialization failed, no memory.

説明: フレーム・リレー・インターフェースは、圧縮の初期化を完了できる十分な記憶域を割り振ることができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic frencmem

短構文: Frame Relay interface encryption initialization failed, no memory.

説明: フレーム・リレー・インターフェースは、暗号化の初期化を完了できる十分な記憶域を割り振ることができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

第41章 ゲートウェイ (GW)

この章では、ゲートウェイ (GW) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

GW.001

レベル: ALWAYS

短構文: GW.001 Copyright 1984 Massachusetts Institute of Technology, Copyright 1989 The Regents of the University of California

長構文: GW.001 Copyright 1984 Massachusetts Institute of Technology, Copyright 1989 The Regents of the University of California

説明: このシステムの基礎になっているオリジナルのコードの部分には、次のような著作権表示があります。任意の目的で無償により本プログラムを使用、複製、修正、および配布することが許可される。ただし、すべての複製およびサポート文書にこの著作権表示および許可通告を明記すること、事前に特別に許可を得ることなくプログラムの配布に関する宣伝広告に M.I.T. の名前を使用しないこと、および複製および配布は M.I.T. の許可に基づいて行われていることをサポート文書に明記するものとする。M.I.T. は、いかなる用途に対しても本ソフトウェアの適合性を明示するものではない。本プログラムは、“現状のまま” 提供され、明示・黙示のいかなる保証も伴わない。著作権 (c) 1989 年、カリフォルニア大学評議委員会。すべての権限を保有する。ソース形式およびバイナリー形式での再配布および使用 (修正の有無にかかわらず) が許可される。ただし、以下の条件に適合しなければならない。1. ソース・コードの再配布には、上記の著作権表示、本項の条件のリスト、および下記の免責表示を保持しなければならない。2. バイナリー形式での再配布では、配布時に提供される文書または資料、あるいは、その両方に、上記の著作権表示、本項の条件のリスト、および下記の免責表示を転載しなければならない。3. 本ソフトウェアの機能または使用に言及するすべての宣伝材料には、「本製品には、カリフォルニア大学バークレー校およびその寄稿者によって開発されたソフトウェアが含まれている」旨の謝辞を明記しなければならない。4. 事前に文書による特別許可を得ることなく、本ソフトウェアから派生した製品の保証または販売促進のために、上記の大学の名前やその寄稿者の名前を使用してはならない。本ソフトウェアは、評議委員会および寄稿者によって、「現状のまま」提供されるものであり、市場可能性および特定の目的への適合性に対する暗黙の保証を含めて (ただし、これだけには限らない)、明示・黙示を問わず一切の保証を行わない。いかな

る場合も、本ソフトウェアの使用によって発生した直接的、間接的、特殊、典型的、または結果的な損傷 (代替の商品またはサービスの調達、使用、データ、または利益の損失、あるいは事業への障害が含まれるが、これだけに限らない) に対して、たとえそのような損傷の可能性を忠告していたとしても、評議委員会または寄稿者は、その発生の原因や契約、無過失責任、または不法行為 (過失、その他による) などの責任原理に関係なく、一切の責任を負わない。

GW.002

レベル: ALWAYS

短構文: GW.002 Portable CGW router name Rel release level strtd

長構文: GW.002 Portable C Gateway router name Release release level started

説明: ルーターの名前 (ルーター内に示されている)、およびルーターで開始された搭載ソフトウェアのリリース・レベルを印刷します。

GW.003

レベル: ALWAYS

短構文: GW.003 Unus pkt len unused_length nt network ID

長構文: GW.003 Unused packet length unused_length net network ID

説明: ルーターは、最大サイズのパケットの最後の [unused length] バイトを送信または受信することはできません。

原因: ルーターの構成では、ソフトウェアが処理する最大パケット・サイズが指定されていますが、その値が、ネットワークの最大伝送単位 (MTU) より小さくなっています。

処置: ルーター上のバッファ・サイズ設定値が手動で設定されている場合は、ルーターのバッファ・サイズ設定値を変更または除去してください。メッセージが引き続き出る場合は、サービス技術員に連絡してください。

GW.004

レベル: ALWAYS

短構文: GW.004 Sys queue type q adv alloc advisable queue length excd actual queue length

長構文: GW.004 System queue type queue advisory allocation of advisable queue length exceeded actual queue length

説明: バッファの数が不十分と考えられるので、最適動作ができないことを、システムが検出しました。始動時に、永久装置入力待ち行列または一時装置出力待ち行列に割り振られたバッファの最大数が、全バッファ・プールの推奨割り振りを超過しました。

原因: ルーターの構成で、一部のプロトコル用のルーティング・テーブルが過度に大きくなっています。

処置: 各プロトコルのルーティング・テーブルが、ネットワーク構成にとって妥当なサイズになるようにしてください。ルーティング・テーブルに割り振られた記憶域は、パケット・バッファには使用できません。

原因: 問題のルーターは、利用可能なバッファ記憶域の容量に対して、ネットワーク・インターフェースの数が多過ぎます。

処置: ルーター上のネットワーク・インターフェースの数を減らしてください。ルーター上には妥当な数のインターフェースしかない場合、または (バッファ) 記憶域のアップグレードが使用可能な場合は、ルーター上の記憶域の量の拡張を考慮してください。メッセージが引き続き出の場合は、サービス技術員に連絡してください。

原因: バッファ数が手動で低い値に設定されています。

処置: ルーターに設定されているバッファの数を変更または除去してください。メッセージが引き続き出の場合は、サービス技術員に連絡してください。

GW.005

レベル: ALWAYS

短構文: GW.005 Bffrs: total created avail initially free idle fair fair share amount low high water mark

長構文: GW.005 Buffers: total created available initially free idle fair share fair share amount low water high water mark

説明: メッセージは、初期化手順によって作成されたバッファ数に関する情報、およびバッファ割り振りシステムによって使用されるパラメーターに関する情報を提供します。ルーター内で現在空いているバッファの数が最低水準点より上である限り、ユーザーは誰もがバッファを割り振って構いません。最低水準点より下で

あれば、数が '公平シェア' 未満である限り、ユーザーは誰もバッファを割り振ることができます。

GW.006

レベル: C-INFO

短構文: GW.006 Pkt frm nt network ID for uninit prt, disc

長構文: GW.006 Packet from net network ID for uninitialized protocol discarded

説明: 着信パケットが使用しているプロトコルは、認知されましたが、ハンドラーがロードされて使用可能にされていませんでした。

GW.007

レベル: C-INFO

短構文: GW.007 Ip err error_code nt network ID

長構文: GW.007 Input error error_code net network ID

説明: 装置入力操作によって、装置固有のエラー・コードと共に、エラーが戻されました。そのネットワークに関する入力エラー・カウンターの増分が行われ、そのエラーに関連したパケットがあれば、廃棄されたと思われます。

処置: 該当するインターフェースのもののルーター・ハードウェア資料を参照して、このタイプのインターフェースに関する固有のエラー・コードの意味を確認してください。

GW.009

レベル: UI-ERROR

レベル: METER

短構文: GW.009 Nt dwn ip rsttr nt network ID

長構文: GW.009 Net down for input restart net network ID

説明: ルーターがネットワークの追加の入力操作を待ち行列に入れようとしたときに、ネットワークは入力を使用不可になっていました。

原因: これは、ルーターの内部操作におけるタイミング・ウィンドウが原因です。入力再始動操作が要求されましたが、それを実行するときに、インターフェース上の入力が内部で使用不可になっていました。この状態が検出されても、無害です。

処置: メッセージが引き続き出の場合は、サービス技術員に連絡してください。

GW.010

レベル: UI-ERROR

レベル: METER

短構文: GW.010 Ip q len *queue_length* no ip buf nt *network ID*

長構文: GW.010 Input queue length *queue_length* no input buffer net *network ID*

説明: ルーターがネットワークの追加入力操作を待ち行列に入れようとしたときに、入力待ち行列を希望のレベルまで補充するために利用可能な十分な空きバッファがありませんでした。補充できた実際のレベルがリストされます。

原因: このメッセージがときどき出る場合は、トラフィック・ピークが原因で、ルーターのバッファが不足しています。

処置: 処置は必要ありません。

原因: ルーターが、何らかの理由でバッファ不足になっています。ルーターの記憶域が不十分であるために、十分なバッファを提供できない可能性があります。

処置: バッファ用の記憶域が不足している場合は、ルーターの記憶域を追加するか、ルーター上のネットワーク・インターフェースの数を減らしてください。メッセージが引き続き出る場合は、サービス技術員に連絡してください。

原因: バッファの数が手動で低く設定されている可能性があります。

処置: ルーターに設定されているバッファの数を変更または除去してください。メッセージが引き続き出る場合は、サービス技術員に連絡してください。

GW.014

レベル: UI-ERROR

レベル: METER

短構文: GW.014 Nt dwn op rsttr nt *network ID*

長構文: GW.014 Net down for output restart net *network ID*

説明: ルーターがネットワークの追加の出力操作を待ち行列に入れようとしたときに、ネットワークは出力が使用不可になっていました。

原因: これはルーターの内部操作のタイミング・ウィンドウが原因です。出力再始動操作が要求されましたが、それを実行するときに、インターフェースの出力が内部で使用不可になっていました。この状態が検出されても、無害です。

処置: メッセージが引き続き出る場合は、サービス技術員に連絡してください。

GW.017

レベル: UE-ERROR

短構文: GW.017 Intfc hdw mssng nt *network ID*

長構文: GW.017 Interface hardware missing net *network ID*

説明: ルーター・ソフトウェアがネットワーク・インターフェースの初期化を初めて試みたとき、インターフェースのアダプターのプラグが差し込まれていないことを発見しました。

原因: アダプターのプラグが差し込まれていません。

処置: 手順に従って該当するアダプターを挿入してください。

原因: インターフェースのアダプターが壊れています。

処置: サービス技術員に連絡してください。

GW.018

レベル: U-TRACE

短構文: GW.018 Strt nt slf tst nt *network ID*

長構文: GW.018 Start network self test network *network ID*

説明: ネットワーク自己検査 (自己検査の詳細については、ソフトウェア操作員資料を参照してください) が要求されていました。

GW.019

レベル: C-INFO

短構文: GW.019 Slf tst nt *network ID*

長構文: GW.019 Self test network *network ID*

説明: ネットワーク自己検査 (自己検査の詳細については、ソフトウェア操作員資料を参照してください) が開始されていました。

GW.020

レベル: U-TRACE

短構文: GW.020 Nt pss slf tst nt *network ID*

長構文: GW.020 Network passed self test network *network ID*

説明: 自己検査の対象となっているネットワーク (自己検査の詳細については、ソフトウェア操作員資料を参照してください) は自己検査に合格していました。

GW.021

レベル: C-INFO

短構文: GW.021 Nt up nt *network ID*

長構文: GW.021 Network up network *network ID*

説明: 自己検査 (自己検査の詳細については、ソフトウェア操作員資料を参照してください) に合格後、以前ダウンしていたネットワークがアップになっています。

GW.022

レベル: U-TRACE

短構文: GW.022 Nt fld slf tst nt *network ID*

長構文: GW.022 Network failed self test network *network ID*

説明: 自己検査の対象となっているネットワーク (自己検査の詳細については、ソフトウェア操作員資料を参照してください) は自己検査に不合格になっていました。

原因: 正確な原因はネットワークに応じて異なります。ネットワーク・ハンドラーによって印刷されたトラップ・メッセージがあれば、CGWCON インターフェース・コマンドによって明らかにされているネットワーク固有の情報と共に使用して、問題を分離してください。

GW.023

レベル: UE-ERROR

短構文: GW.023 Nt dwn nt *network ID*

長構文: GW.023 Network down network *network ID*

説明: 自己検査 (自己検査の詳細については、ソフトウェア操作員資料を参照してください) に不合格後、以前アップであったネットワークがダウンしています。

GW.024

レベル: U-TRACE

短構文: GW.024 Processing pending disable for nt *network ID*

長構文: GW.024 Processing pending disable for network *network ID*

説明: ユーザーは、ネットワークの使用不可を要求した (たとえば、GWCON disable コマンドを用いて) が、ネットワークが自己検査の最中でした。自己検査がやっと完了したので、保留となっていた disable コマンドがここで実行されます。

GW.025

レベル: UE-ERROR

短構文: GW.025 Nt fld mnt nt *network ID*

長構文: GW.025 Network failed maintenance network *network ID*

説明: 特定の時間間隔で正常に行われなかった保守検査 (保守の詳細については、ソフトウェア操作員資料を参照してください) の回数が許容限界を超えています (それぞれのインターフェースごとの正確な回数の詳細については、該当するルーター・ハードウェア資料を参照してください)。該当するインターフェースで自己検査 (保守の詳細については、ソフトウェア操作員資料を参照してください) が開始されます。自己検査に不合格の場合は、そのインターフェースにダウンのマークが付けられます。

原因: 正確な原因はネットワークに応じて異なります。ネットワーク・ハンドラーによって印刷されたトラップ・メッセージがあれば、CGWCON インターフェース・コマンドによって明らかにされているネットワーク固有の情報と共に使用して、問題を分離してください。ネットワークの自己検査から追加情報が得られることもあります。

GW.026

レベル: C-TRACE

短構文: GW.026 Mnt nt *network ID*

長構文: GW.026 Maintenance network *network ID*

説明: 示されているインターフェースに関して、保守検査 (保守の詳細については、ソフトウェア操作員資料を参照してください) が開始されています。

GW.027

レベル: CI-ERROR

短構文: GW.027 No pkt fr mnt nt *network ID*

長構文: GW.027 No packet for maintenance network *network ID*

説明: ネットワーク保守で必要とされた時点で、バッファを割り振ることができませんでした。

原因: 一時的なトラフィックの負荷が原因であることがあります。その他にも多くの原因が考えられます。

処置: メッセージが引き続き出る場合は、サービス技術員に連絡してください。

GW.028

レベル: U-INFO

短構文: GW.028 Snk dsc pkt prt *protocol to next_hop_host*

長構文: GW.028 Sink network discarding packet protocol *protocol to host next_hop_host*

説明: 受信側ネットワークにバッファを送信しましたが、転送機能にエラーを示さずにバッファを廃棄しました。

GW.029

レベル: U-INFO

短構文: GW.029 Int dis nt *network ID*

長構文: GW.029 Interface disabled in configuration net *network ID*

説明: 問題のインターフェースは構成上使用不可にされていて、アップになりません。テストすることによって、いつでも始動することができます。

GW.030

レベル: U-INFO

短構文: GW.030 *heap_bytes* bytes reserved by *subsystem*

長構文: GW.030 *heap_bytes* bytes of heap reserved by *subsystem subsystem*

説明: 始動時に、ルーターのサブシステムの 1 つによって、ヒープ記憶域の非常に多くのバイト数が予約されています。これをルーターの空き記憶域から差し引いた上で、残りがパケット・バッファとして配分されます。

GW.031

レベル: ALWAYS

短構文: GW.031 IP q alloc fl nt *network ID* avl *number of buffers*

長構文: GW.031 Input queue allocation failed net *network ID* available *number of buffers*

説明: バッファの数が不十分と考えられるので、最適動作ができないことを、システムが検出しました。始動時に、高速装置のそれぞれに一定数のバッファが割り振られます。これらのバッファが利用可能でない場合、特定インターフェースは正常に作動できない場合があります。

GW.033

レベル: U-INFO

短構文: GW.033 Slf tst req rejected for nt *network ID*

長構文: GW.033 Self-test request rejected for net *network ID*

説明: インターフェースに関して、自己検査が開始されたが、そのインターフェースが使用できない状態であり、自己検査は実行できません。GWCON configuration コマンドを使用して、自己検査の実行を妨げているインターフェースの状態を判別します。

原因: インターフェースの状態が "Not Present" の場合は、アダプターのプラグが差し込まれていません。

処置: 手順に従って該当するアダプターを挿入してください。

原因: インターフェースの状態が "HW Mismatch" の場合は、ハードウェアのミスマッチがあります。ハードウェアのミスマッチが生じるのは、構成されたアダプター・タイプが、実際にスロットに収まっているアダプター・タイプに一致しない場合です。

処置: 手順に従って、該当するアダプターを挿入するか、インターフェースを構成し直してください。

原因: インターフェースの状態が "HW Failure" の場合は、インターフェースのアダプターが壊れています。

処置: サービス技術員に連絡してください。

原因: インターフェースの状態が "Diagnostics" の場合は、インターフェースのアダプターの診断中です。

処置: 診断の完了を待ってから、別の自己検査を開始してください。

GW.034

レベル: U-TRACE

短構文: GW.034 Nt disabled: nt *network ID*

長構文: GW.034 Network disabled: net *network ID*

説明: ネットワークが使用不可になっています。

GW.035

レベル: UI-ERROR

レベル: METER

短構文: GW.035 Nt dwn to hst *next_hop_host* nt *network ID*

長構文: GW.035 Net down transmitting to host *next_hop_host* net *network ID*

説明: ルーターが特定のホストへのパケットの送信を行

おうとしたとき、パケットの送信先として指示されていたネットワーク・インターフェースがアップになっていませんでした。そのネットワークの出力廃棄カウンターが増分され、パケットはプロトコル転送機能のアテンション用に戻されました。通常、`next_hop_host` は、このパケットの送信先のネクスト・ホップ・ルーターまたはホストの MAC レイヤー・アドレスです。この MAC アドレスの形式は、ネットワーク・タイプによって異なります。 `next_hop_host` が @ (単価記号) で始まっている場合、そのネットワークの MAC アドレスは定様式表示ではなく、後続の数字はネクスト・ホップ・ホスト・アドレスが保管されているルーター記憶域内の 16 進数アドレスです。

原因: これは、ルーターの内部操作におけるタイミング・ウィンドウが原因です。パケットは出力用の待ち行列に入れられましたが、それを送信するときに、インターフェースがダウンしていました。この状態が検出されても、無害です。

処置: メッセージが引き続き出る場合は、サービス技術員に連絡してください。

GW.036

レベル: U-INFO

短構文: GW.036 Op ovfl to hst *next_hop_host* nt *network ID*

長構文: GW.036 Output overflow when transmitting to host *next_hop_host* net *network ID*

説明: ルーターが特定のホストへのパケットの送信を行おうとしたとき、ネットワークの出力待ち行列がいっぱいになり過ぎていて、そのパケットは廃棄せざるを得ませんでした。そのネットワークの出力オーバーフロー・カウンターが増分され、パケットはプロトコル転送機能のアテンション用に戻されました。通常、`next_hop_host` は、このパケットの送信先のネクスト・ホップ・ルーターまたはホストの MAC レイヤー・アドレスです。この MAC アドレスの形式は、ネットワーク・タイプによって異なります。 `next_hop_host` が @ (単価記号) で始まっている場合、そのネットワークの MAC アドレスは定様式表示ではなく、後続の数字はネクスト・ホップ・ホスト・アドレスが保管されているルーター記憶域内の 16 進数アドレスです。

原因: これは、ネットワークに加わる負荷が、出力ネットワークで利用可能な帯域幅を超えていることが原因です。ルーター自体はトラフィックに対応していますが、ルーターにできる処置はほとんどありません。単に、トラフィックを生成しているホストが、出力ネットワークの収容能力を超えるデータ量を送信しているだけです。

処置: 問題のネットワークの速度を上げる (特に、低速専

用線の場合) か、ネットワークに対する負荷を制限する措置を講じてください。

GW.037

レベル: C-INFO

短構文: GW.037 Nt dwn, disc pkt to hst *next_hop_host* nt *network ID*

長構文: GW.037 Network down, discarding packet to host *next_hop_host* network *network ID*

説明: 問題のネットワーク上で伝送を待っていたパケットは、ネットワークがダウンしたときに廃棄されました。問題のネットワークの廃棄カウンターが増分されます。通常、`next_hop_host` は、このパケットの送信先のネクスト・ホップ・ルーターまたはホストの MAC レイヤー・アドレスです。この MAC アドレスの形式は、ネットワーク・タイプによって異なります。 `next_hop_host` が @ (単価記号) で始まっている場合、そのネットワークの MAC アドレスは定様式表示ではなく、後続の数字はネクスト・ホップ・ホスト・アドレスが保管されているルーター記憶域内の 16 進数アドレスです。

GW.038

レベル: C-INFO

短構文: GW.038 User *default name* has logged on

長構文: GW.038 User *default name* has logged on

説明: 新しいユーザーが、システムにログオンしました。

GW.039

レベル: CE-ERROR

短構文: GW.039 Failed logon: ID = *default name*

長構文: GW.039 A logon attempt has failed: user ID = *default name*

説明: 誰かがシステムにログオンしようとしたましたが、正しいユーザー名とパスワードを入力しませんでした。

GW.048

レベル: U-INFO

短構文: GW.048 Int rsvd for rst nt *network ID*

長構文: GW.048 Interface reserved for WAN restoral in configuration net *network ID*

説明: 問題のインターフェースは、構成内で WAN 回復用に予約されており、WAN 回復処理で必要になるまでは操作可能になりません。

GW.049

レベル: U-INFO

短構文: GW.049 Patched *variable_name* to *new_value*

長構文: GW.049 Variable *variable_name* has been patched to value *new_value*

説明: ユーザーは、指示どおりにルーターのデータ項目の 1 つの値をパッチしました。

GW.050

レベル: U-INFO

短構文: GW.050 Patch to *variable_name* failed

長構文: GW.050 Attempt to patch variable *variable_name* has failed

説明: ユーザーは、ルーターのデータ項目の 1 つの値をパッチしようと試みましたが、パッチは失敗しました。

GW.051

レベル: UI_ERROR

短構文: GW.051 Wrt SRAM failed blk *block_num*, typ *rec_type_num*

長構文: GW.051 Attempt to write block *block_num*, record type *rec_type_num* to SRAM has failed

説明: コンソール・メッセージを出すことができないコード (通常は、始動時) が、SRAM の書き出しを試みて失敗しました。

GW.052

レベル: UI_ERROR

短構文: GW.052 No UDP port avail to sync time

長構文: GW.052 No UDP port available to send time sync request

説明: *udp_notify* が 0 を戻しました。おそらく、IP が未構成です。

GW.053

レベル: UI_ERROR

短構文: GW.053 No UDP port avail to srv time req

長構文: GW.053 No UDP port available to receive time sync requests

説明: *udp_notify* が 0 を戻しました。IP が構成されていないか、そうでなければ、ソフトウェア・エラーであると考えられます。

GW.054

レベル: U-INFO

短構文: GW.054 Ip ovfl nt *network ID*, count pkts disc

長構文: GW.054 Input overflow net *network ID*, count packets discarded

説明: 示されているインターフェースにパケットが速く到着し過ぎて、ルーターの転送機能が処理しきれません。過負荷のために、ルーターのソフトウェアによって検査される前に、パケットは廃棄されます。パケットのカウントは、前回このメッセージのログが試みられた時点以降に、この事象が生じたパケットの数です。このネットワーク ID の入力オーバーフロー・カウンターが増分されています。

原因: これは、“同報通信ストーム” が原因になっていることがあります。同報通信ストームとは、ネットワーク・ホスト上でバグのある、または古くなった、あるいはその両方のソフトウェアの組み合わせが実行されていることが原因で生じ、連鎖反応で広がって、一般的には、数秒間、または時折は 1 ～ 2 分間、バックツーバック・パケット (しばしば、同報通信) によってネットワークが占拠される原因となる、ネットワーク事象です。

処置: 同報通信ストームが起きている場合は、問題のホストを修正するか、使用不可にしてください。

原因: 単に負荷が非常に大きいことが原因で生じる場合もあります。

処置: 負荷が大きいことが原因であり、このメッセージが頻繁に出る場合は、製品ラインで相対的に低速のルーターを使用している可能性があります。使用しているルーターに利用可能なより高速の CPU オプションがある場合は、アップグレードを考慮してください。

GW.055

レベル: UI_ERROR

短構文: GW.055 Nt dwn trans on nt *network ID*

長構文: GW.055 Net down transmitting on net *network ID*

説明: ルーターがパケットの送信を行おうとしたとき、パケットの送信先として指示されていたネットワーク・インターフェースがアップになっていませんでした。そのネットワークの出力廃棄カウンターが増分され、パケットはプロトコル転送機能のアテンション用に戻されました。

原因: これは、ルーターの内部操作におけるタイミング・ウィンドウが原因です。パケットは出力用の待ち行列に入れられましたが、それを送信するときに、インターフェースがダウンしていました。この状態が検出されても、無害です。

処置: メッセージが引き続き出る場合は、サービス技術員に連絡してください。

GW.056

レベル: UI-ERROR

短構文: GW.056 Nt out dis trans on nt network ID

長構文: GW.056 Net output disabled, transmitting on net network ID

説明: ルーターがパケットの送信を行おうとしたとき、パケットの送信先として指示されていたネットワーク・インターフェースが、パケット伝送使用不可になっていました。このネットワークの出力廃棄カウンタが増分されました。

原因: これは、ルーターの内部操作におけるタイミング・ウィンドウが原因です。パケットは出力用の待ち行列に入れられましたが、それを送信するときに、インターフェースの出力が使用不可になっていました。この状態が検出されても、無害です。

処置: メッセージが引き続き出る場合は、サービス技術員に連絡してください。

GW.057

レベル: U-INFO

短構文: GW.057 Op ovfl nt network ID

長構文: GW.057 Output overflow when transmitting on net network ID

説明: ルーターがパケットの送信を行おうとしたとき、出力待ち行列がいっぱいになり過ぎていて、そのパケットは廃棄せざるを得ませんでした。そのネットワークの出力オーバーフロー・カウンタが増分され、パケットはプロトコル転送機能のアテンション用に戻されました。

原因: これは、ネットワークに加わる負荷が、出力ネットワークで利用可能な帯域幅を超えていることが原因です。ルーター自体はトラフィックに対応していますが、ルーターにできる処置はほとんどありません。単に、トラフィックを生成しているホストが、出力ネットワークの収容能力を超えるデータ量を送信しているだけです。

処置: 問題のネットワークの速度を上げる (特に、低速専用線の場合) か、ネットワークに対する負荷を制限する措置を講じてください。

GW.058

レベル: U-INFO

短構文: GW.058 Op err hst next_hop_host nt network ID

長構文: GW.058 Output error transmitting to host next_hop_host net network ID

説明: パケットが正常に再送されませんでした。そのネットワークの出力エラー・カウンタが増分され、パケットは廃棄されます。通常、next_hop_host は、このパケットの送信先のネクスト・ホップ・ルーターまたはホストの MAC レイヤー・アドレスです。この MAC アドレスの形式は、ネットワーク・タイプによって異なります。next_hop_host が @ (単価記号) で始まっている場合は、そのネットワークの MAC アドレスは定様式表示ではなく、その後に続く数は、ネクスト・ホップ・ホスト・アドレスが格納されているルーター記憶域内の 16 進アドレスです。

原因: このメッセージがまれに出るのでない場合、おそらく該当のネットワークにハードウェア伝送問題があることを示しています。

処置: Tokenview (リングの場合) または Time Domain Reflectometer (イーサネットの場合) など、適切なレベル 2 ネットワーク管理ツールを使用して、問題を分離および修正してください。

GW.059

レベル: C-INFO

短構文: GW.059 Alloc buff with min global_buffers global, private_buffers per net

長構文: GW.059 Allocating buffers with minimum of global_buffers global buffers, and private_buffers buffers per fast input network

説明: ルーターは、指定された制約付きのバッファ割り振りを行おうとしています。

原因: ルーターの始動時には、これは正常です。

GW.060

レベル: C-INFO

短構文: GW.060 Buffs alloc with reduction reduction

長構文: GW.060 Buffers allocated with reduction by reduction of private buffers

説明: ルーターがバッファの割り振りを完了しました。入力ネットワークが、要求したバッファを完全には得られなかった場合、reduction は非ゼロの値です。

原因: このメッセージは、常に、ルーターの始動時に出

されます。ただし、削減値が非ゼロの場合は、ルーターがバッファ記憶域不足になりやすい状態にあることを示しています。削減値が大きくなるほど、バッファ記憶域の不足が重大になります。ただし、この不足はそれほど重大ではないので、ルーターが作動しなくなることはありませんが、パフォーマンスは阻害される場合があります。

処置: バッファ記憶域のサイズを拡張してください。構成可能な場合は、次の装置 (トークンリング、シリアル・ライン) で、より小さいバッファ・サイズを選択してください。

GW.061

レベル: UI-ERROR

短構文: GW.061 Priv buff alloc failed, nt network ID

長構文: GW.061 Private buffer allocation failed, network network ID

説明: 指定のネットワークの私用バッファのバッファ割り振りが失敗しました。このネットワークは、予定より 1 つ少ないバッファ数になります。このメッセージが重大なのは、何回も出る場合だけです。

原因: バッファ記憶域の不足 (特に、この前に ELS メッセージ GW.064 が出ている場合)

処置: バッファ記憶域のサイズを拡張してください。

処置: 構成可能な場合は、次の装置 (トークンリング、シリアル・ライン) で、より小さいバッファ・サイズを選択してください。

原因: ヒープ記憶域の不足 (特に、この前に ELS メッセージ GW.063 が出ている場合)

処置: ルーティング・テーブル・サイズを小さくしてください。データ記憶域のサイズを大きくしてください。

原因: バッファ割り振りルーチンが、割り振り可能なバッファ数を正確に予測しませんでした。

処置: 構成によっては、バッファ記憶域の幾つかの部分を使用することができません。事前割り振りプログラムがこれを考慮しないと、幾つかのバッファ割り振りが失敗する可能性があります。

GW.062

レベル: UI-ERROR

短構文: GW.062 Global buff alloc failed after count

長構文: GW.062 Global buffer allocation failed after count allocated

説明: 大域バッファのバッファ割り振りが失敗しました。ルーターは、予定より 1 つ少ない大域バッファ

をもつことになります。このメッセージが重大なのは、低いカウント値から始まって何回も出る場合だけです。

原因: バッファ記憶域の不足 (特に、この前に ELS メッセージ GW.064 が出ている場合)

処置: バッファ記憶域のサイズを拡張してください。

処置: 構成可能な場合は、次の装置 (トークンリング、シリアル・ライン) で、より小さいバッファ・サイズを選択してください。

原因: ヒープ記憶域の不足 (特に、この前に ELS メッセージ GW.063 が出ている場合)

処置: ルーティング・テーブル・サイズを小さくしてください。データ記憶域のサイズを大きくしてください。

原因: バッファ割り振りルーチンが、割り振り可能なバッファ数を正確に予測しませんでした。

処置: 構成によっては、バッファ記憶域の幾つかの部分を使用することができません。事前割り振りプログラムがこれを考慮しないと、幾つかのバッファ割り振りが失敗する可能性があります。

GW.063

レベル: UI-ERROR

短構文: GW.063 Alloc of iorb failed

長構文: GW.063 Allocation of I/O request block failed

説明: ルーター内のコードが、入出力要求ブロックおよびバッファを割り振っていましたが、入出力要求ブロックの割り振りが失敗しました。

原因: ヒープ記憶域の不足

処置: ルーティング・テーブル・サイズを小さくしてください。データ記憶域のサイズを大きくしてください。

GW.064

レベル: UI-ERROR

短構文: GW.064 Alloc of buffer failed

長構文: GW.064 Allocation of buffer failed

説明: ルーター内のコードが、入出力要求ブロックおよびバッファを割り振っていましたが、バッファの割り振りが失敗しました。

原因: バッファ記憶域の不足

処置: バッファ記憶域のサイズを拡張してください。

処置: 構成可能な場合は、次の装置 (トークンリング、シリアル・ライン) で、より小さいバッファ・サイズを選択してください。

GW.065

レベル: U-INFO

短構文: GW.065 *heap_bytes* bytes buff reserved by *subsystem*

長構文: GW.065 *heap_bytes* bytes of buffer memory reserved by subsystem *subsystem*

説明: 始動時に、ルーターのサブシステムの 1 つによって、バッファ記憶域の非常に多くのバイト数が予約されています。これをルーターの空きバッファ記憶域から差し引いた上で、残りがパケット・バッファとして配分されます。

GW.073

レベル: UI_ERROR

短構文: GW.073 Rcv buffs increased to *configured_buffers*, exceeds max of *maximum_buffers*, nt *network ID*

長構文: GW.073 Receive buffers increased to *configured_buffers*, exceeds maximum of *maximum_buffers*, net *network ID*

説明: ユーザーが構成した受信バッファ数が、このインターフェース・タイプに許される最大数を超過しています。バッファ数の数が、最大数まで削減されます。

原因: Config>SET RECEIVE-BUFFERS コマンドに指定したバッファ数が超過しています。

処置: 受け入れ可能なバッファ数になるように構成してください。

GW.074

レベル: C-INFO

短構文: GW.074 Rcv buffs increased from *configured_buffers* to *default_buffers*, nt *network ID*

長構文: GW.074 Receive buffers increased from *configured_buffers* to *default_buffers*, net *network ID*

説明: ユーザーの構成は、このインターフェースの受信バッファ数を、省略時値から構成された値に増やしています。

GW.075

レベル: U-INFO

短構文: GW.075 Rcv buffs decreased from *default_buffers* to *configured_buffers*, nt *network ID*

長構文: GW.075 Receive buffers decreased from *default_buffers* to *configured_buffers*, net *network ID*

説明: ユーザーの構成は、このインターフェースの受信バッファ数を、省略時値から構成された値に減らしています。これは、このインターフェースのパフォーマンスの低下を招くことがあります。

GW.078

レベル: U-INFO

短構文: GW.078 Rcv low water changed from *default_low_water* to *configured_low_water*, nt *network ID*

長構文: GW.078 Receive low water level changed from *default_low_water* to *configured_low_water*, net *network ID*

説明: ユーザー構成によって、このインターフェース上での受信最低水準をデフォルトから構成済みの値に変更中です。こうすることによって、このインターフェース上で受信されたパケットのフロー制御の振る舞いに変更されます。

GW.079

レベル: UI_ERROR

短構文: GW.079 Int hw err nt *network ID*

長構文: GW.079 Hardware failure detected for net *network ID*

説明: ルーターが、問題になっているインターフェースのハードウェア障害を検出しました。インターフェースは動作しません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

GW.080

レベル: C-INFO

短構文: GW.080 Ext Slot: *String supplied by external device*

長構文: GW.080 External Slot device is: *String supplied by external device*

説明: これは、外部スロットの状況の識別に役立ちます。

GW.083

レベル: C-TRACE

短構文: GW.083 LID st *old_state*,-> *new_state*, nt *network ID*

長構文: GW.083 Line ID state *old_state*, changed to *new_state*,, net *network ID*

説明: FSM トレース事象です。

GW.089

レベル: C-TRACE

短構文: GW.089 Match dial addr [*dial_address*] to nt *switched network ID*

長構文: GW.089 Matched inbound destination dial address [*dial_address*] to network *switched network ID*

説明: インバウンド・コールが到着し、指定のネットワークはそれに一致するように構成されています。16 進数の *dial_address* アドレス・ストリングと一致しています。空ストリングはワイルドカードで、*any_inbound* に設定されたネットワークに一致します。

GW.096

レベル: CI-ERROR

短構文: GW.096 DialRec: bad addr rec: smaller than hdr (name= *parent_name*)

長構文: GW.096 DialRec: bad address record: smaller than header (name= *parent_name*)

説明: ルーターは、アドレス・レコード・ヘッダーより短い *SR_DCADDR* (ダイヤル回線アドレス) を、表示されているあて先名のもとの *SRAM* から読み取りました。このエラーをサービス技術員に報告してください。

GW.099

レベル: C-TRACE

短構文: GW.099 Dropped lnk due to encap sltst errs nt *switched network ID*

長構文: GW.099 Dropped link due to encapsulator self-test errors network *switched network ID*

説明: カプセル化機能の自己検査エラーが連続して発生した時間が、ユーザーが設定した SET IDLE *nnn* インターバルを超えたので、*CML* がリンクを除去しました。

GW.100

レベル: UI-ERROR

短構文: GW.100 Bad MP config nt *network ID*

長構文: GW.100 Bad MP config for net *network ID*

説明: 構成されている MP ネットが無効か、または *BRS* がリンク上にあります。

原因: 構成エラー

処置: 有効な MP ネットを構成するか、リンク上の *BRS* をオフにします。

GW.101

レベル: UE-ERROR

短構文: GW.101 Intfc hdw mismtch nt *network ID*

長構文: GW.101 Interface hardware mismatch net *network ID*

説明: ルーター・ソフトウェアが最初にネットワーク・インターフェースを初期化しようとしたとき、ハードウェア・ミスマッチを発見しました。ハードウェアのミスマッチが生じるのは、インターフェースの構成されたアダプター・タイプが、実際にスロット内にあるアダプター・タイプに一致しない場合です。

原因: ハードウェア・ミスマッチがあります。

処置: 手順に従って構成済みアダプター・タイプを挿入するか、該当する資料を参照して、インターフェースの構成の検査および訂正を行うか、いずれかです。

原因: インターフェースのアダプターが壊れています。

処置: サービス技術員に連絡してください。

GW.102

レベル: DEBUG

短構文: GW.102 bufget() failed. No more global buffers.

長構文: GW.102 bufget() failed. No more global buffers.

説明: ルーターのグローバル・バッファの空きがなくなりました。このメッセージが使用可能の場合、バッファが使いきると、このボックスが表示されます。

Panic gwbaddhd

短構文: GW: Bd cnf inf nt hdr lngths

説明: 無効な構成情報がロードされているのが検出されました。

原因: 手動で構成された最大ヘッダー・サイズおよびトレイラー・サイズが、ルーター内の少なくとも 1 つのネットワークの実際の長さより短くなっています。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic gwbdntv

短構文: GW: incompatible net table vers

説明: 2 進モジュールの非互換バージョンがロードされているのが検出されました。

原因: ネットワーク構成テーブルのバージョン番号が、

コンパイル済みコードのバージョン番号と一致しません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic gwbdpm

短構文: GW: incompatible P_MAX

説明: 2 進モジュールの非互換バージョンがロードされているのが検出されました。

原因: 構成情報内のプロトコルの最大数が、コードのコンパイル時に使用された最大数と一致していません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic gwbdtm

短構文: GW: incompatible T_MAX

説明: 2 進モジュールの非互換バージョンがロードされているのが検出されました。

原因: 構成情報内のネットワーク・タイプの最大数が、コンパイラ・コード内のネットワーク・タイプの最大数と一致しません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic gwbdim

短構文: GW: incompatible I_MAX

説明: 2 進モジュールの非互換バージョンがロードされているのが検出されました。

原因: 構成情報内のインターフェース・タイプの最大数が、コンパイル済みコード内のインターフェース・タイプの最大数と一致しません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic gwnmp

短構文: GW: no mem for prot tbl

説明: クリティカル・システム・テーブル用に利用可能な記憶域がありません。

原因: 初期化時に、導入済みまたは完全なプロトコル・テーブル、あるいはネットワーク・プロトコル別の上位呼のいずれかを割り振るための十分な記憶域がありませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic gwfrfr

短構文: GW: freeing free buffer

説明: バッファ解放ルーチンは、システム内のソフトウェアがすでに解放されているバッファを解放しようとしているのを検出しました。

原因: 同じバッファを 2 度解放するというソフトウェア問題。これは重大なエラーです。

処置: この障害のダンプを取って、サービス技術員に送ってください。

Panic gwtgt

短構文: GW: alloc busy buffer

説明: バッファ解放ルーチンは、システム内のソフトウェアが、すでに使用中のバッファを割り振ろうとしているのを検出しました。

原因: ソフトウェアの問題

処置: この障害のダンプを取って、サービス技術員に送ってください。

Panic gwifdrv

短構文: GW: net with multiple i_fdrv requests

説明: バッファ割り振りルーチンは、1 つのバッファに対して複数のタイプの記憶域を必要とするネットワークを検出しました。

原因: ソフトウェアの問題

処置: この障害のダンプを取って、サービス技術員に送ってください。

Panic gwlgwc

短構文: GW: leading buffer guard word corrupted

説明: パケット・バッファを監視するコードは、バッファの前の保護ワードが破壊されているのを検出しました。

原因: ソフトウェアの問題

原因: ハードウェア障害

処置: この障害のダンプを取って、サービス技術員に送ってください。

Panic gwtgwc

短構文: GW: trailing buffer guard word corrupted

説明: パケット・バッファを監視するコードは、バッファの終わりの後の保護ワードが破壊されているのを検出しました。

原因: ソフトウェアの問題

原因: ハードウェア障害

処置: この障害のダンプを取って、サービス技術員に送ってください。

原因: 利用可能なバッファ記憶域の量に対して、装置の数が多過ぎるか、バッファ・サイズが大き過ぎます。

処置: 一部の装置を構成解除 (または、除去) してください。バッファ記憶域のサイズを拡張してください。より小さいバッファ・サイズが構成可能な装置 (トークンリング、シリアル・ライン) では、より小さいバッファ・サイズを選択してください。

Panic gwnhifdrv

短構文: GW: no heap mem for i_fdrv

説明: バッファ・キャッシュ・データ・ブロック用に利用可能なヒープ記憶域がありません。

原因: ヒープ記憶域の不足

処置: ルーティング・テーブル・サイズを小さくしてください。データ記憶域のサイズを大きくしてください。

処置: この障害のダンプを取って、サービス技術員に送ってください。

Panic gwnbifdrv

短構文: GW: no buff mem for i_fdrv

説明: バッファ・キャッシュ・データ・ブロック用に利用可能なバッファ記憶域がありません。

原因: バッファ記憶域の不足

処置: バッファ記憶域のサイズを拡張してください。

処置: より小さいバッファ・サイズが構成可能な装置 (トークンリング、シリアル・ライン) では、より小さいバッファ・サイズを選択してください。

処置: この障害のダンプを取って、サービス技術員に送ってください。

Fatal gwtfb

短構文: GW: too little buffer memory

説明: バッファ割り振りコードは、単に各ネットワークに対して十分な入力バッファを割り振ることができないだけであり、ルーティング・プロトコル用としてはまだかなりの数の空きバッファが残されています。(これらの制約は、ELS メッセージ GW.059 によって示されます。)

第42章 汎用パケット・フィルター (FLT)

この章では、汎用パケット・フィルター (FLT) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

FLT.001

レベル: UI-ERROR

短構文: FLT.001 no free mem to create *structure_type*

長構文: FLT.001 No free memory to create a *structure_type*

説明: このメッセージが生成されるのは、フィルター・サブシステムが、フィルター情報を保持するためのデータ構造を収める記憶域を割り振ることができない場合です。その結果、フィルターは作成されません。

FLT.002

レベル: U-TRACE

短構文: FLT.002 cant apply fltr (offset *filter_offset*), pkt too shrt (ln *packet_offset*)

長構文: FLT.002 Cannot apply filter (offset *filter_offset*), to packet of length *packet_offset*

説明: このメッセージは、フィルター内の最大オフセットがパケット長を超えている場合に生成されます。フィルターはパケットに適用されません。

FLT.003

レベル: U-TRACE

短構文: FLT.003 no mem to cache pkt (max *cache_entries_allocated*)

長構文: FLT.003 No memory to cache packet (maximum *cache_entries_allocated*)

説明: このメッセージは、フィルターがキャッシュ項目を作成しようとしたが、ヒープ上に利用可能な記憶域がないために作成できない場合に生成されます。代わりに、フィルターから既存の項目が再利用されます。

FLT.004

レベル: C-INFO

短構文: FLT.004 crtng flt, sys *system_name*

長構文: FLT.004 Creating filter for system *system_name*

説明: *system_name* によって識別されているルーター・システム用として、フィルターが作成されている最中です。

FLT.005

レベル: C-INFO

短構文: FLT.005 flt che hit, sys *system_name*

長構文: FLT.005 Filter cache hit, system *system_name*

説明: フィルターがキャッシュ・ヒットを作成しました。 *system_name* は、以前に作成されたフィルターのシステム名です。

FLT.006

レベル: C-INFO

短構文: FLT.006 flt match, sys *system_name*

長構文: FLT.006 Filter match, system *system_name*

説明: フィルターが合致しましたが、キャッシュ・ヒットはありません。 *system_name* は、以前に作成されたフィルターのシステム名です。

FLT.007

レベル: C-INFO

短構文: FLT.007 flt miss, sys *system_name*

長構文: FLT.007 Filter miss, system *system_name*

説明: フィルターがデータ・ブロックに適用されましたが、一致は見付かりませんでした。 *system_name* は、以前に作成されたフィルターのシステム名です。

第43章 IBM LAN エミュレーション・クライアント機能 (ILEC)

この章では、IBM LAN エミュレーション・クライアント機能 (ILEC) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

ILEC.001

レベル: C-INFO

短構文: ILEC.001 ILEC function entry/exit tracing

長構文: ILEC.001 ILEC function entry/exit tracing

説明: ユーザーは、このメッセージの表示をオン/オフにするだけで、ILEC の機能の開始および終了のトレースを使用可能/使用不可にすることができます。

ILEC.002

レベル: C-INFO

短構文: ILEC.002 nt *network entry_exit log_point*

長構文: ILEC.002 network *network*: ilec trace log: *entry_exit log_point*

説明: ILEC 汎用機能の開始/終了

ILEC.007

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.007 Inbound call rejected, on nt *network ID*, rsn= *reason*, hndl= *conn_handle*, d1= *debug1*, d2= *debug2*

長構文: ILEC.007 Inbound call rejected, on network *network ID*, reason = *reason*, conn handle = *conn_handle*, debug1 = *debug1*, debug2 = *debug2*

説明: インバウンド・コールが拒否されました。

ILEC.011

レベル: P_TRACE

短構文: ILEC.011 Trace ILEC data packet

長構文: ILEC.011 Trace ILEC data packet

説明: ILEC データ・パケットのトレース

ILEC.012

レベル: P_TRACE

短構文: ILEC.012 Trace ILEC control packet

長構文: ILEC.012 Trace ILEC control packet

説明: ILEC 制御パケットのトレース

ILEC.020

レベル: UE-ERROR

短構文: ILEC.020 nt *network error_lvl log_point*

長構文: ILEC.020 network *network*: ilec error log: *error_lvl log_point*

説明: ILEC 総称エラー

ILEC.024

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.024 open frame SAP failed on nt *n_net*, rc= *retcd*

長構文: ILEC.024 open frame SAP failed on network *n_net*, rc = *retcd*

説明: フレーム SAP のオープンに失敗しました。

ILEC.025

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.025 open call SAP failed on nt *n_net*, rc= *retcd*

長構文: ILEC.025 open call SAP failed on network *n_net*, rc = *retcd*

説明: コール SAP のオープンに失敗しました。

ILEC.026

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.026 open data path failed for outgoing call, on nt *n_net*, rc= *retcd*

長構文: ILEC.026 open data path failed for outgoing call, on network *n_net*, rc = *retcd*

説明: 発信コールに対するデータ・パスのオープンに失敗しました。

ILEC.027

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.027 open data path failed for incoming call, on nt *n_net*, rc= *retcd*

長構文: ILEC.027 open data path failed for incoming call, on network *n_net*, rc = *retcd*

説明: 着信コールに対するデータ・パスのオープンに失敗しました。

ILEC.028

レベル: C-INFO

短構文: ILEC.028 Function *function_name* called, nt *network ID*

長構文: ILEC.028 Function *function_name* called, on network *network ID*

説明: ATM ILEC 機能が呼び出されました。

ILEC.029

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.029 Start failed, on nt *network ID*, rc= *retcd*

長構文: ILEC.029 Start failed, on network *network ID*, rc = *retcd*

説明: ILEC オブジェクトに関して、開始に失敗しました。

ILEC.030

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.030 create ILEC object failed, on nt *network ID*, rc= *retcd*

長構文: ILEC.030 create ILEC object failed, on network *network ID*, rc = *retcd*

説明: ILEC オブジェクトを作成できませんでした。

ILEC.031

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.031 usr reg failed, on nt *network ID*, rc= *retcd*

長構文: ILEC.031 user registration failed, on network *network ID*, rc = *retcd*

説明: ILEC が登録できませんでした。

ILEC.032

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.032 nt *network ID*, ATM nt *network ID* nt nbld

長構文: ILEC.032 on network *network ID*, ATM network *network ID* not enabled

説明: ATM インターフェースが使用可能になっていません。

ILEC.033

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.033 ILEC activate failed, on nt *network ID*, rc= *retcd*

長構文: ILEC.033 ILEC activate failed, on network *network ID*, rc = *retcd*

説明: ILEC の起動に失敗しました。

ILEC.034

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.034 ILEC activate complete, on nt *network ID*, rc= *retcd*

長構文: ILEC.034 ILEC activate complete, on network *network ID*, rc = *retcd*

説明: ILEC の起動に失敗しました。

ILEC.035

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.035 Outbound frame freed, on nt *network ID*

長構文: ILEC.035 Outbound frame freed, on network *network ID*

説明: アウトバウンド・フレームが開放されました。

ILEC.036

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.036 Outbound frame queued, on nt *network ID*

長構文: ILEC.036 Outbound frame queued, on network *network ID*

説明: アウトバウンド・フレームが待ち行列に入れられました。

ILEC.037

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.037 Transmit failed, on nt *network ID*, rc= *retcd*

長構文: ILEC.037 Transmit failed, on network *network ID*, rc = *retcd*

説明: 送信に失敗しました。

ILEC.042

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.042 SRAM nt fnd on dsbl, on nt *network ID*

長構文: ILEC.042 SRAM not found after disable, on *network network ID*

説明: ユーザーが ILEC インターフェースを使用不可にした後、一致する SRAM ブロックが見付かりませんでした。

ILEC.044

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.044 Outbnd frm dscrd, on nt *net_no*,frm sz (*frame_size*) xcds cnfgd frm sz (*config_frame_size*)

長構文: ILEC.044 Outbound frame discarded, on *network net_no*, frame size (*frame_size*) exceeds configured frame size (*config_frame_size*)

説明: アウトバウンド・フレームが廃棄されました。フレームのサイズが、構成されたフレーム・サイズより大きかったためです。

ILEC.045

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.045 Inbnd frm dscrd, on nt *net_no*,frm sz (*frame_size*) xcds cnfgd frm sz (*config_frame_size*)

長構文: ILEC.045 Inbound frame discarded, on *network net_no*, frame size (*frame_size*) exceeds configured frame size (*config_frame_size*)

説明: インバウンド・フレームが廃棄されました。フレームのサイズが、構成されたフレーム・サイズより大きかったためです。

ILEC.046

レベル: UE-ERROR

短構文: ILEC.046 ILEC inbnd fr dscrd, bad FC, on nt *network ID*, *word1 word2 word3 word4 word5*

長構文: ILEC.046 ILEC inbnd fr dscrd, bad FC, on *network network ID*, *word1 word2 word3 word4x word5*

説明: ILEC インバウンド・データ・フレームが廃棄されました。FC アドレスの誤りです。

ILEC.047

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.047 nt *network ID*:ILEC inbnd fr dscrd, bad frame type (*frame_type*)

長構文: ILEC.047 nt *network ID*:ILEC inbnd fr dscrd, bad frame type (*frame_type*)

説明: ILEC インバウンド・データ・フレームが廃棄されました。フレーム・タイプの誤りです。

ILEC.048

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.048 nt *network ID*:ILEC inbnd fr dscrd, bad frame type (*frame_type*)

長構文: ILEC.048 nt *network ID*:ILEC inbnd fr dscrd, bad frame type (*frame_type*)

説明: ILEC インバウンド・データ・フレームが廃棄されました。フレーム・タイプの誤りです。

ILEC.049

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.049 nt *network ID*:ILEC Inbnd frm dscrd, dst = *dest_addr* src = *src_addr*, rsn = *reason*

長構文: ILEC.049 nt *network ID*:ILEC Inbound frame discarded, dest = *dest_addr* source = *src_addr*, reason = *reason*

説明: インバウンド・フレームが廃棄されました。

第44章 サービス総合デジタル網 (ISDN)

この章では、サービス総合デジタル網 (ISDN) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

ISDN.001

レベル: CE-ERROR

短構文: ISDN.001 I_ERR (0x status) len(msglen) on rcv nt network ID

長構文: ISDN.001 Packet received with I_ERR set (status = 0x status) or bad length(msglen), on network network ID

説明: YDC ISDN: isdny_rx() が、ドライバからエラー・フラグがセットされた、または長さが最小値より短いバッファを受信しました。

処置: この事象をサービス技術員に報告してください。

ISDN.002

レベル: UE-ERROR

短構文: ISDN.002 RX bad type (0x type) on nt network ID

長構文: ISDN.002 Received an unrecognized packet type (0x type), on network network ID

説明: YDC ISDN: isdny_rx() がパケットを受信しましたが、そのタイプが認識できないものでした。

処置: この事象をサービス技術員に報告してください。

ISDN.003

レベル: C-INFO

短構文: ISDN.003 ConnID 0x ConnID Status msg cause (0x cause0:0x cause1) message on nt network ID

長構文: ISDN.003 ConnID (0x ConnID) Received a status message from the ISDNcard: Cause field 0x cause0:0x cause1 (message) on network network ID

説明: isdny_rx() が ISDN カードから状況メッセージを受信しました。

ISDN.004

レベル: C-INFO

短構文: ISDN.004 ConnID 0x ConnID message displaystring (cause 0x cause0:0x cause1) on nt network ID

長構文: ISDN.004 ConnID (0x ConnID) received a message

(displaystring) from the ISDNcard: Cause field 0x cause0:0x cause1 on network network ID

説明: isdny_rx() が ISDN カードから NLS 表示情報の状況メッセージを受信しました。これは、ネットワーク・インターフェースでのエラー状態を示す場合があります。

処置: ネットワーク・インターフェースがアップにならない場合は、サービス技術員、または最寄りのサービス提供者、あるいはその両方に連絡してください。

ISDN.005

レベル: UE-ERROR

短構文: ISDN.005 ConnID 0x ConnID Bad msg (0x message) in stt state, sts 0x status, len length, cse(0x cause1:0x cause2) nt network ID

長構文: ISDN.005 ConnID 0x ConnID received an unexpected message (0x message) in state state, status 0x status, length length, cause (0x cause1:0x cause2) on network network ID

説明: isdny_rx() がパケットを受信しましたが、現在の状態では予期しないものでした。

処置: この事象をサービス技術員に報告してください。

ISDN.006

レベル: UE-ERROR

短構文: ISDN.006 Bad Config nt network ID

長構文: ISDN.006 The ISDN network interface configuration for network network ID is bad.

説明: このポートに対する ISDN ネットワークの構成は、不完全であるか、脱落、または矛盾があります。

処置: このインターフェースの ISDN 構成が少なくともローカル・アドレスを含んでいるか確認してください。

ISDN.007

レベル: UE-ERROR

短構文: ISDN.007 Download failed (0x dlstat), PUD status(0x pudstat) nt network ID

長構文: ISDN.007 Download of the ISDN network interface

card failed with status 0x *dlstat*, Power-Up Diagnostics code 0x *pudstat* for network *network ID*.

説明: パワーアップ診断の結果がダウンロード禁止か、ダウンロード・イメージ自体が破壊されたか、いずれかです。

処置: この事象をサービス技術員に報告してください。

ISDN.008

レベル: C-INFO

短構文: ISDN.008 Download OK, PUD status (0x *pudstat*) nt *network ID*

長構文: ISDN.008 Download of the ISDN network interface card succeeded, Power-Up Diagnostics returned 0x *pudstat* for network *network ID*.

説明: ISDN スマート・カードのダウンロードが正常に完了しました。

ISDN.009

レベル: UE-ERROR

短構文: ISDN.009 Config bad st (0x *cfgstat*) nt *network ID*

長構文: ISDN.009 The ISDN network interface card rejected configuration with the status 0x *cfgstat* for network *network ID*.

説明: ISDN スマート・カードの構成の一部が矛盾または脱落しています。

処置: この事象をサービス技術員に報告してください。

ISDN.010

レベル: C-INFO

短構文: ISDN.010 Config ok nt *network ID*

長構文: ISDN.010 Configuration of the ISDN network interface card succeeded for network *network ID*.

説明: ISDN スマート・カードの構成が正常に完了しました。

ISDN.011

レベル: UE-ERROR

短構文: ISDN.011 Board Down DCT flags in (0x *idctst*) out (0x *odctst*) nt *network ID*

長構文: ISDN.011 INIDEV of the ISDN network interface card failed, DCT flags for input and output are 0x *idctst* and 0x *odctst* respectively for network *network ID*.

説明: ISDN カードがドライバー初期化の試みに応答していません。

処置: ネットワーク・インターフェースをテストします。これで問題が修正されない場合は、ルーターを再始動します。このエラーをサービス技術員に報告してください。

ISDN.012

レベル: UE-ERROR

短構文: ISDN.012 Dead Board nt *network ID*

長構文: ISDN.012 The ISDN network interface card for network *network ID* is dead.

説明: ISDN インターフェース・カードがまったく応答しません。ルーターの再始動が (最小限) 必須です。

処置: 装置の構成で正しいスロットが指定されていることを確認し、カードを再始動します。それでもカードが正常に働かない場合は、カードをルーターに入れ直します。最後は、サービス技術員に連絡し、ハードウェア障害を報告します。

ISDN.013

レベル: U-INFO

短構文: ISDN.013 Board reset complete nt *network ID*

長構文: ISDN.013 The ISDN network interface card for network *network ID* has been reset. Attempting download.

説明: ボードが破損しています。回復のための最初のステップとして、ボードをリセットします。

処置: この事象をサービス技術員に報告してください。

ISDN.014

レベル: UE-ERROR

短構文: ISDN.014 Unexpected state (*state1*) instead of *state2* nt *network ID*

長構文: ISDN.014 ISDN handler state (*state1*) is different from that expected (*state2*) for internal event on network *network ID*.

説明: 事象が発生した状態が、FSM の設計に矛盾しています。

処置: この事象をサービス技術員に報告してください。

ISDN.015

レベル: C-INFO

短構文: ISDN.015 Chn *channel* FSM st *state1* ev *event* -> *state2* nt *network ID*

長構文: ISDN.015 Channel *channel* FSM transition occurred: old state *state1*, event *event*, new state *state2* on network *network ID*.

説明: FSM 遷移が生じました。

ISDN.016

レベル: U-INFO

短構文: ISDN.016 Chn *channel* ConnID 0x *ConnID* FSM odd stt *state1* ev *event* -> *state2* nt *network ID*

長構文: ISDN.016 Channel *channel* ConnID 0x *ConnID* unusual FSM state transition occurred: old state *state1*, event *event*, new state *state2* on network *network ID*.

説明: 資源不足、またはインターフェース・カードとルーターの間の同期上の問題のため、正常なパスに反して、ISDN ハンドラーのチャンネル FSMに遷移が生じました。

処置: この事象をサービス技術員に報告してください。

ISDN.017

レベル: UE-ERROR

短構文: ISDN.017 Chn *channel* N-CONN-RQ bad iostat 0x *status* nt *network ID*

長構文: ISDN.017 An N-CONN-RQ I/O request for channel *channel* completed with status 0x *status* network *network ID*.

説明: ISDN ハンドラーが N-CONN-RQ をインターフェース・カードに送信しましたが、転送は正常に完了しませんでした。

処置: この事象をサービス技術員に報告してください。

ISDN.018

レベル: UE-ERROR

短構文: ISDN.018 No Hchn *channel* A-DISC-RQ nt *network ID*

長構文: ISDN.018 A client issued a disconnect request for a connection (*channel*) unrecognized by the handler on network *network ID*.

説明: ISDN ハンドラーのクライアントが、ハンドラーの知らない接続について切断要求 (isdny_client_DR) を出しました。ハンドラーとそのクライアントの間に重大な同期上の問題があることを示しています。

処置: この事象をサービス技術員に報告してください。

ISDN.019

レベル: UE-ERROR

短構文: ISDN.019 Bd stats cmp sts 0x *status* nt *network ID*

長構文: ISDN.019 A statistics request to the interface card was returned with a bad status (0x *status*) for network *network ID*.

説明: CNX YDC ISDN カードのハンドラーは、ISDN カードに対して、定期的に統計要求を出していますが、この要求上での状況が不良でした。これは、ルーターとカードの間に制御待ち行列に関して幾分幅輻 (ふくそう)の問題があることを示している可能性があり、また、この問題が続く場合は、カードに問題があることを示している可能性があります。

処置: 問題が続く場合は、ネットワーク・インターフェースをテストしてください。問題がさらに引き続き起こる場合は、事象をサービス技術員に連絡してください。

ISDN.020

レベル: U-TRACE

短構文: ISDN.020 Chn *channel* ConnID 0x *ConnID* RxD Dt Pkt ln *msglen* bd stt *state* nt *network ID*

長構文: ISDN.020 Channel *channel* ConnID 0x *ConnID* : received a Data Packet of length (*msglen*) in wrong state (*state*) from network *network ID*.

説明: CNX YDC ISDN カードのハンドラーは指示されたチャンネルについてデータ・パケットを受信しましたが、チャンネルはデータ転送状態にありませんでした。これは、接続でのシリアル・リンクの確立を数秒間遅らせる場合があります。通常は、ネットワーク・インターフェースからの信号パケットおよびデータ・パケットの受信順序に誤りがあることを示しています。

処置: この事象をサービス技術員に報告してください。

ISDN.021

レベル: P-TRACE

短構文: ISDN.021 Chn *channel* ConnID 0x *ConnID* RxD Pkt ln *msglen* nt *network ID*

長構文: ISDN.021 Channel *channel* ConnID 0x *ConnID* received a Data Packet of length (*msglen*) from network *network ID*.

説明: CNX YDC ISDN カードのハンドラーはデータ転送状態にある、指示されたチャンネルのデータ・パケットを受信しました。

ISDN.022

レベル: U-TRACE

短構文: ISDN.022 ConnID 0x *ConnID* Rxd *msgtype* Pkt
ln *msglen* bd stt *state* nt *network ID*

長構文: ISDN.022 ConnID 0x *ConnID* received a *msgtype*
Packet of length (*msglen*) in wrong state (*state*) from
network *network ID*.

説明: CNX YDC ISDN カードのハンドラーは指示され
たチャネルについて制御パケットを受信しましたが、チ
ャネルは適切な状態にありませんでした。

処置: この事象をサービス技術員に報告してください。

ISDN.023

レベル: C-TRACE

短構文: ISDN.023 ConnID 0x *ConnID* Rxd N_STAT_IN
ln *msglen* cause 0x *cause1:0x cause2* nt *network ID*

長構文: ISDN.023 ConnID 0x *ConnID* received a
N_STAT_IN message of length (*msglen*) cause 0x *cause1:0x*
cause2 from network *network ID*.

説明: CNX YDC ISDN カードのハンドラーは指示され
た接続についての状態表示を受信しました。

ISDN.024

レベル: UE-ERROR

短構文: ISDN.024 Start Rq bd st (0x *startstatus*) nt *network*
ID

長構文: ISDN.024 The ISDN network interface card rejected
a N_START_RQ with the status 0x *startstatus* for network
network ID.

説明: ISDN インターフェース・カードの状態がハンドラ
ーに整合していません。

処置: この事象をサービス技術員に報告してください。

ISDN.025

レベル: C-INFO

短構文: ISDN.025 Start ok nt *network ID*

長構文: ISDN.025 Start of the ISDN network interface card
succeeded for network *network ID*.

説明: ISDN スマート・カードの開始が正常に完了しまし
た。

ISDN.026

レベル: C-INFO

短構文: ISDN.026 Hndlr inidev() st *state* nt *network ID*

長構文: ISDN.026 Handler inidev() from *state state* for
network *network ID*.

説明: 装置ハンドラーによる装置接続機構の初期化

ISDN.027

レベル: C-INFO

短構文: ISDN.027 Hndlr N_START_RQ nt *network ID*

長構文: ISDN.027 Handler sent N_START_RQ for network
network ID.

説明: N_START_RQ が装置接続機構に送信されました。

ISDN.028

レベル: C-INFO

短構文: ISDN.028 Can't N_START_RQ DCT i/o flg (0x
istatus:0x ostatus) nt *network ID*

長構文: ISDN.028 Either the device status (0x *istatus:0x*
ostatus) or the lack of a buffer prevented an N_START_RQ
to the ISDN CNX YDC port for network *network ID*.

説明: ハンドラーは N_START_RQ を送信して、転送を
開始する必要があるのに、これができません。

ISDN.029

レベル: UE-ERROR

短構文: ISDN.029 Brd Crsh -- *rstrng*: nt *network ID*

長構文: ISDN.029 Interface software crash, attempting restart
nt *network ID*

説明: ISDN CNX YDC ボード・ソフトウェアが破損し
ています。

処置: この事象をサービス技術員に報告してください。

ISDN.030

レベル: UE-ERROR

短構文: ISDN.030 Tx Frm too long (*frame* > *configsize*)
nt *network ID*

長構文: ISDN.030 The size of the frame (*frame*) passed
to the ISDN handler for transmission exceeded the maximum
size configured (*configsize* -- less one) net *network ID*

説明: ISDN CNX YDC カードは、送信サイズを構成さ
れた最大値よりも小さいサイズに制限し、この長さを超

えるフレームをいずれも廃棄します。カプセル化パケット・サイズを検査します。これは、ISDN フレーム・サイズから 1 を引き、カプセル化ヘッダーがあれば、それも引いた数よりも小さいことが必要です。

ISDN.031

レベル: U-INFO

短構文: ISDN.031 Cll rfsd frm *FromAddress: FromSubAddress* to *ToAddress: ToSubAddress* on nt *network ID*

長構文: ISDN.031 Incoming Call Refused from *FromAddress: FromSubAddress* to *ToAddress: ToSubAddress* on net *network ID*

説明: N_CONN_IND が ISDN ネットワークから受信されましたが、どの登録済みクライアントもそれを受け入れませんでした。

処置: これらの構成済みのものについて報告されたアドレスを検査します。これは、リモート・ルーターの構成のエラーか、ISDN ネットワーク上の装置が誤番号を呼び出している可能性があります。

ISDN.032

レベル: C-INFO

短構文: ISDN.032 Chn *Channel* ConnID 0x *ConnID* Cll Txcmp on nt *network ID*

長構文: ISDN.032 Channel *Channel* ConnID 0x *ConnID*: transfer of N_CONN_RQ to ISDN smart card completed on net *network ID*

説明: 接続が正常に開始されました。

ISDN.033

レベル: C-INFO

短構文: ISDN.033 Chn *Channel* ConnID 0x *ConnID* FSM st *state1* ev *event* -> *state2* nt *network ID*

長構文: ISDN.033 Channel *Channel* ConnID 0x *ConnID* FSM transition: old state *state1*, event *event*, new state *state2* on *network network ID*.

説明: FSM 遷移が生じました。

ISDN.034

レベル: U-INFO

短構文: ISDN.034 Chn UN ConnID UNAS callout rfsd (no chnl/destrsp) nt *network ID*

長構文: ISDN.034 Channel (unassigned) ConnID

(unassigned) call out refused (no channel available, or destination not responding) on *network network ID*.

説明: 接続設定が正常に行われませんでした。予備チャネルが使用可能でなかったためか、あて先がタイムアウト期間内に前のコールを拒否した (再試行カウント) ためか、いずれかです。後者の場合は、タイムアウトが満了すると、後続の試みが行われます。

処置: ダイヤル回線用に構成されたアドレスが正しいか、また、2 チャネル (ローカルに、およびあて先で) のうち少なくとも 1 チャネルが現在未割り当てであることを確認します。

ISDN.035

レベル: U-INFO

短構文: ISDN.035 Inv Chn (0x *Channel*) ConnID 0x *ConnID* ev *message* nt *network ID*

長構文: ISDN.035 Invalid Channel (0x *Channel*) ConnID 0x *ConnID* in *message message* on *network network ID*.

説明: インターフェース・カードから受信されたメッセージ内のチャネル・タイプは無効です。メッセージは無視またはリジェクトされました。

処置: これは、インターフェース・カードが接続されている ISDN スイッチが、ソフトウェアが認識できないチャネルで接続を初期化しようとしていることを示す場合があります。注意したいのは、未割り当て値 (0xFF) として報告されているが、実際は 0x0) の場合で、この値が続くと、接続はいずれも妨げられます。サービス技術員に連絡してください。

ISDN.036

レベル: ALWAYS

短構文: ISDN.036 Bad drct Tx prot *Protocol*, remap to dial circuit on nt *network ID*

長構文: ISDN.036 Some forwarder (*Protocol*) has attempted to transmit directly over the ISDN network *network ID*

説明: ISDN ネットワークでの送信は、関連ダイヤル回線を介して行なわれるよう想定されています。これは適切なカプセル化を実行します。この事象は、送信元の構成の間違いが原因でした。送信元が ISDN ネットワークを使用するよう構成するべきではありません。これらメッセージの多数をまとめて、実際の事象の一部だけがログに記録されます。

原因: 送信元 (IP、IPX、など) アドレスが ISDN インターフェースに割り当てられていました。

処置: アドレスを削除し、それをダイヤル回線 (それ自体

は ISDN ネットワークにマップされる) に (おそらく) 再割り当てします。

原因: ブリッジまたは他の転送元が ISDN インターフェースを使用するよう構成されています。

処置: ブリッジまたは転送元によりポートとして使用される ISDN インターフェースを取り外します。

ISDN.037

レベル: UE-ERROR

短構文: ISDN.037 Stat Rq bd st (0x *startstatus*) nt *network ID*

長構文: ISDN.037 The ISDN network interface card rejected a N_STAT_RQ (parameter download) with the status 0x *startstatus* for network *network ID*.

説明: ISDN インターフェース・カードは、ルーターから送られてきた構成パラメーターを受け入れ、適正に初期化することができませんでした。

処置: この事象をサービス技術員に報告してください。

ISDN.038

レベル: C-INFO

短構文: ISDN.038 Parameter download ok nt *network ID*

長構文: ISDN.038 Parameter download for the ISDN network interface card succeeded for network *network ID*.

説明: ISDN カードは、ルーターから渡された構成パラメーターを受けて正しく、初期化されました。

ISDN.039

レベル: C-INFO

短構文: ISDN.039 Hndlr N_STAT_RQ nt *network ID*

長構文: ISDN.039 Handler sent N_STAT_RQ for network *network ID*.

説明: N_STAT_RQ が装置接続機構に送信されました。

ISDN.040

レベル: C-INFO

短構文: ISDN.040 Can't N_STAT_RQ DCT i/o flg (0x *istatus*:0x *ostatus*) nt *network ID*

長構文: ISDN.040 Either the device status (0x *istatus*:0x *ostatus*) or the lack of a buffer prevented an N_STAT_RQ to the ISDN CNX port for network *network ID*.

説明: ハンドラーは、構成パラメーターのダウンロード

のために、N_STAT_RQ を送信する必要があるのに、それができません。

ISDN.041

レベル: U-INFO

短構文: ISDN.041 Too many non-resp, will try later nt *network ID*

長構文: ISDN.041 Too many non-responses, will try later on network *network ID*.

説明: あて先が、タイムアウト期間内に前のコールを (再試行カウントを) 拒否しました。これ以降の試みは、タイムアウトが満了した段階で実行されます。

処置: ダイアル回線用に構成されたアドレスが正しいか、また、2 チャネル (ローカルに、および着信先で) のうち少なくとも 1 チャネルが現在未割り当てであることを確認します。

ISDN.042

レベル: C-TRACE

短構文: ISDN.042 *event* nt *network ID*

長構文: ISDN.042 *event* on network *network ID*.

説明: 物理レイヤー事象のトレース

ISDN.043

レベル: C-TRACE

短構文: ISDN.043 *packet*

長構文: ISDN.043 *packet*.

説明: ISDN パケット・トレース

Panic isdnym

短構文: YDC ISDN: mem alloc fld

説明: YDC ISDN ネットワーク・ハンドラーが、初期化フェーズで、十分な記憶域を割り振ることができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

第45章 中間システム間プロトコル (ISIS)

この章では、中間システム間プロトコル (ISIS) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

ISIS.001

レベル: UE-ERROR

短構文: ISIS.001 OSI protocol does not run over *nettype/n_int*

長構文: ISIS.001 OSI protocol does not run over *nettype/n_int*

説明: OSI が、現在 OSI をサポートしていないネットワーク・タイプで稼働するように構成されました。

ISIS.002

レベル: UE-ERROR

短構文: ISIS.002 received incomplete isis pdu

長構文: ISIS.002 received incomplete isis packet

説明: ISIS パケットとして認識されるパケット・フラグメントを受信しました。

ISIS.003

レベル: UE-ERROR

短構文: ISIS.003 received isis pdu with a bad version # = *version_number*

長構文: ISIS.003 received packet with a bad version number, vers = *version_number*

説明: ISIS パケットを受信しましたが、そのバージョン番号が不適正またはサポートされていないものでした。

ISIS.004

レベル: UE-ERROR

短構文: ISIS.004 received isis pdu with a bad id length = *id_length*

長構文: ISIS.004 received packet with a bad ID length = *id_length*

説明: ISIS パケットに不適正な長さの ID があったために、そのパケットが除去されました。

ISIS.005

レベル: P_TRACE

短構文: ISIS.005 *pdu_type* rcvd on int *interface* source id *source_id*

長構文: ISIS.005 *pdu_type* received on interface *interface* source id *source_id*

説明: ISIS パケットを受信しました。

ISIS.006

レベル: UE-ERROR

短構文: ISIS.006 received isis pdu *pdu_type* with bad header length = *hdr_length*

長構文: ISIS.006 received packet, type= *pdu_type*, with a bad header length = *hdr_length* bytes

説明: 不適正な長さのヘッダーを含む ISIS パケットが除去されました。

ISIS.007

レベル: UE-ERROR

短構文: ISIS.007 received pdu *pdu_type* with out of range area address, length = *add_length*

長構文: ISIS.007 received packet, type= *pdu_type*, with an out of range area address length = *add_length*

説明: 範囲外の区域アドレスを含む IS-IS パケットが除去されました。

ISIS.008

レベル: UE-ERROR

短構文: ISIS.008 isis pdu *pdu_type* received with a bad option *opt_code* length = *opt_length*

長構文: ISIS.008 received packet, type= *pdu_type*, with a bad option, code= *opt_code*, length = *opt_length*

説明: 不明の PDU タイプを含む ISIS パケットが除去されました。

ISIS.009

レベル: UE-ERROR

短構文: ISIS.009 received isis pdu *pdu_type* with invalid option *opt_code*

長構文: ISIS.009 received packet *pdu_type* with an invalid option = *opt_code*

説明: 無効なオプションを含む ISIS パケットが除去されました。

ISIS.010

レベル: UE-ERROR

短構文: ISIS.010 received isis pdu *pdu_type* with multiple authentication fields

長構文: ISIS.010 received packet, type= *pdu_type*, with multiple authentication fields

説明: 複数の認証フィールドを含む ISIS パケットが除去されました。

ISIS.011

レベル: UE-ERROR

短構文: ISIS.011 isis pdu *pdu_type* dropped - unsupported password type = *pwd_type*

長構文: ISIS.011 received packet, type= *pdu_type*, with unsupported password type = *pwd_type*

説明: サポートされていないパスワード・タイプを含む ISIS パケットが除去されました。

ISIS.012

レベル: UE-ERROR

短構文: ISIS.012 isis pdu *pdu_type* dropped - authentication failure

長構文: ISIS.012 received packet, type= *pdu_type* - authentication failure

説明: ISIS パケットが認証に失敗し、パケットは除去されました。

ISIS.013

レベル: UE-ERROR

短構文: ISIS.013 isis pdu *pdu_type* dropped - bad pdu length = *pdu_length*

長構文: ISIS.013 received packet, type= *pdu_type*, with a bad pdu length = *pdu_length* bytes

説明: 不適正な長さのヘッダーを含む ISIS パケットが除去されました。

ISIS.014

レベル: UE-ERROR

短構文: ISIS.014 isis pdu *pdu_type* dropped - out of order options

長構文: ISIS.014 received packet, type= *pdu_type*, has out of order options

説明: オプションの順番が間違っている ISIS パケットが除去されました。

ISIS.015

レベル: UE-ERROR

短構文: ISIS.015 isis pdu *pdu_type* dropped - out of range prefix address, length = *add_length*

長構文: ISIS.015 received packet, type= *pdu_type*, with an out of range prefix address length = *add_length*

説明: プレフィックスが範囲外の IS-IS パケットが除去されました。

ISIS.016

レベル: UE_ERROR

短構文: ISIS.016 mismatch between subnet type and net type on *nettype/ n_int*

長構文: ISIS.016 mismatch between subnet type and net type on *nettype/ n_int*

説明: ネットワークの起動中に、ISIS サブネット・タイプとネットワーク・タイプとの間に矛盾があることが判明しました。

ISIS.017

レベル: UE_ERROR

短構文: ISIS.017 invalid subnet type on *nettype/ n_net*

長構文: ISIS.017 invalid subnet type on *nettype/ n_net*

説明: ISIS サブネットが無効なサブネット・タイプであったために、それを起動できませんでした。

ISIS.018

レベル: UE_ERROR

短構文: ISIS.018 isis turned off on lan - not started on *nettype/ n_int*

長構文: ISIS.018 ISIS turned off on lan, ISIS not started on *nettype/ n_int*

説明: ISIS がオフになるように構成されているため、LAN 上で ISIS を始動できませんでした。

ISIS.019

レベル: UE_ERROR

短構文: ISIS.019 adjacency not established - no common area

長構文: ISIS.019 Adjacency rejected because it doesn't have a matching area address

説明: 隣接に、ルーターの区域アドレス・セット内の区域アドレスと一致するアドレスがないために、その隣接が拒否されました。

ISIS.020

レベル: UE_ERROR

短構文: ISIS.020 no free IS adjacencies

長構文: ISIS.020 No free IS adjacency structures

説明: フリー・リストから、IS 隣接構造を獲得できません。

ISIS.021

レベル: UE_ERROR

短構文: ISIS.021 adjacency not established - system type mismatch

長構文: ISIS.021 Adjacency rejected due to a system type mismatch

説明: リモート・システムとルーター IS タイプの間のミスマッチのため、隣接がリジェクトされました。

ISIS.022

レベル: UE_ERROR

短構文: ISIS.022 send of isis pkt failed on *nettype/ n_int*

長構文: ISIS.022 Send of an ISIS packet on *nettype/ n_int* failed

説明: 指定されたインターフェース上での ISIS パケットの送信の試みに失敗しました。

ISIS.024

レベル: P_TRACE

短構文: ISIS.024 iipph pdu sent on *nettype/ n_int*

長構文: ISIS.024 ISIS point-to-point hello packet sent on *nettype/ n_int*

説明: 指定されたインターフェース上で、ISIS ポイント・ポイント (2 地点) 間パケットが正しく送信されました。

ISIS.025

レベル: UE_ERROR

短構文: ISIS.025 no memory for lsu

長構文: ISIS.025 No memory available for the link state update

説明: リンク状態の更新に使用可能な記憶域がなく、待ち状態に入っています。

ISIS.026

レベル: UE_ERROR

短構文: ISIS.026 isis pdu not prcssd - sbnt not cnfg'd on *nettype/ n_int*

長構文: ISIS.026 ISIS pkt not processed - subnet not configured on *nettype/ n_int*

説明: ISIS パケットが、サブネットがインターフェース上に存在しない、または非活動状態であるために、処理されませんでした。

ISIS.027

レベル: UE_ERROR

短構文: ISIS.027 isis pdu not processed - pvc not configured

長構文: ISIS.027 ISIS pkt not processed over X25 interface - PVC not configured

説明: ISIS パケットが指定の X25 インターフェースを通して処理されませんでした。PVC が見付かりませんでした。

ISIS.028

レベル: UE_ERROR

短構文: ISIS.028 isis pdu not processed - isis turned off on *nettype/ n_int*

長構文: ISIS.028 ISIS packet not processed - ISIS turned off on *nettype/ n_int*

説明: ISIS が指定されたインターフェース上でオフになるように構成されたために、ISIS パケットが処理されませんでした。

ISIS.029

レベル: UE_ERROR

短構文: ISIS.029 isis pdu not processed - external domain on *nettype/ n_int*

長構文: ISIS.029 ISIS packet not processed - external domain defined on *nettype/ n_int*

説明: ISIS が外部ドメインになるように構成されたために、ISIS パケットが処理されませんでした。

ISIS.030

レベル: UE_ERROR

短構文: ISIS.030 L2 PDU dropped (type = *pdu_type*) - IS type is L1 only

長構文: ISIS.030 Level 2 PDU dropped (type = *pdu_type*), IS type is level 1 only

説明: このルーターはレベル 1 の IS タイプだけで構成されているために、レベル 2 の ISIS PDU が除去されました。

ISIS.032

レベル: P_TRACE

短構文: ISIS.032 *pdu_type* sent on int *interface* source id *source_id*

長構文: ISIS.032 *pdu_type* sent on interface *interface* source id *source_id*

説明: ISIS パケットが送信されました。

ISIS.033

レベル: UE-ERROR

短構文: ISIS.033 no iob avail to send ISIS packet

長構文: ISIS.033 no i/o buffer available to send isis packet

説明: システム入出力バッファの不足のため、ISIS パケットの送信の試みが失敗しました。

ISIS.034

レベル: P_TRACE

短構文: ISIS.034 LSU queued on circuit *circuit type type*

長構文: ISIS.034 A link state update was queued on LAN circuit *circuit type type*

説明: 伝送制約が最大数に達したため、リンク状態更新が LAN 回線上で待ち行列入りとなりました。

ISIS.035

レベル: UE_ERROR

短構文: ISIS.035 Transmission failed

長構文: ISIS.035 Transmission failed

説明: 伝送を試みたのに対して、ハンドラーがエラーを戻しました。

ISIS.036

レベル: UE_ERROR

短構文: ISIS.036 Link State database type entering wait state

長構文: ISIS.036 Link State database type entering wait state

説明: リンク状態データベースの 1 つが待ち状態に入りました。

ISIS.037

レベル: P_TRACE

短構文: ISIS.037 Link State database type leaving wait state

長構文: ISIS.037 Link State database type leaving wait state

説明: リンク状態データベースの 1 つが待ち状態のままになっています。

ISIS.038

レベル: P_TRACE

短構文: ISIS.038 Dijkstra run on level *type*

長構文: ISIS.038 The decision process (Dijkstra) is being run on level *type*

説明: 決定処理 (Dijkstra) が、レベルの 1 つで実行されています。

ISIS.040

レベル: UE_ERROR

短構文: ISIS.040 Verification of LSP checksum failed, checksum should be *checksum*

長構文: ISIS.040 Verification of LSP checksum failed, checksum should be *checksum*

説明: 受信したチェックサムの検証に失敗し、しかるべきチェックサムのありようがユーザーに示されます。

ISIS.043

レベル: U_INFO

短構文: ISIS.043 Level *level* adj with IS *sysid* is now 2-way

長構文: ISIS.043 Level *level* adj with IS *sysid* is now 2-way.

説明: IS 隣接が単一方向から両方向に移行し、現在は UP 状態にあります。

ISIS.044

レベル: U_INFO

短構文: ISIS.044 Level *level* adj with IS *sysid* gone from two-way to one-way

長構文: ISIS.044 Level *level* adj with IS *sysid* has gone from being two-way to one-way.

説明: IS 隣接が両方向から単一方向に移行しました。ルーターは、指定ルーター選択処理を再実行し、それが指定ルーターである場合は、疑似ノード LSU を再作成します。

ISIS.045

レベル: U_INFO

短構文: ISIS.045 A new level *level* adj with IS *sysid* has been created

長構文: ISIS.045 A new level *level* adj with IS *sysid* has been created.

説明: 新しい IS 隣接が確立され、初期化状態に置かれました。

ISIS.046

レベル: U_INFO

短構文: ISIS.046 This router has been elected as the level *level* DR on circuit *cct*

長構文: ISIS.046 This router has been elected as the level *level* DR on circuit *cct*

説明: このルーターは、指定された回線で指定ルーターとして選ばれました。

ISIS.047

レベル: U_INFO

短構文: ISIS.047 This router has resigned as the level *level* DR on circuit *cct*

長構文: ISIS.047 This router has resigned as the level *level* DR on circuit *cct*

説明: このルーターは、指定された回線上で指定ルーターではなくなりました。

ISIS.048

レベル: U_INFO

短構文: ISIS.048 System *lanid* has been elected as the level *level* DR on circuit *cct*

長構文: ISIS.048 System *lanid* has been elected as the level *level* DR on circuit *cct*.

説明: 指定されたシステムが、指定された回線上で指定ルーターとして選ばれました。

ISIS.050

レベル: UE_ERROR

短構文: ISIS.050 L1 IS-IS Hello dropped - circuit *cct_id* is L2 only

長構文: ISIS.050 Level 1 IS-IS Hello dropped, circuit *cct_id* is level 2 only

説明: その回線はレベル 2 専用として構成されているために、レベル 1 の ISIS ハロー・パケットが除去されました。

ISIS.051

レベル: UE_ERROR

短構文: ISIS.051 LSP dropped - received from non-adjacent system

長構文: ISIS.051 LSP dropped, received from non-adjacent system

説明: リンク状態パケットが除去されました。"アップ"状態の隣接が現在存在していないシステムから受信されたためか、隣接は存在していても、レベルが間違っているためか、いずれかです。

ISIS.052

レベル: UE_ERROR

短構文: ISIS.052 SNP dropped - received from non-adjacent system

長構文: ISIS.052 SNP dropped, received from non-adjacent system

説明: シーケンス番号パケットが除去されました。"アップ"状態の隣接が現在存在していないシステムから受信されたためか、隣接は存在していても、レベルが間違っているためか、いずれかです。

いるためか、いずれかです。

ISIS.053

レベル: UE_ERROR

短構文: ISIS.053 LSP buffer size (*lspbufsz*) > datalink block size (*datalinkblksz*) on int *interface* net *nettype/* *netinstance*

長構文: ISIS.053 LSP buffer size (*lspbufsz*) is greater than the datalink block size (*datalinkblksz*) on cir *interface* net *nettype/* *netinstance*

説明: 回線のデータ・リンク・ブロック・サイズが、ISIS LSP の送信を受け入れるには不十分な大きさです。

ISIS.054

レベル: C_INFO

短構文: ISIS.054 Level *level* PSNP rcvd on ifc *network* dropped - not DR

長構文: ISIS.054 Level *level* Partial Sequence Number PDU received on interface *network* was dropped because this IS is not the designated router.

説明: 部分シーケンス番号 PDU が、この中間システムが指定ルーターではないために除去されました。指定ルーターだけが、部分シーケンス番号 PDU を処理します。

ISIS.055

レベル: UE-ERROR

短構文: ISIS.055 ISIS input que ovflw

長構文: ISIS.055 ISIS input queue overflow

説明: ISO ISIS 入力パケット待ち行列がオーバーフローしました。パケットは除去されます。

ISIS.057

レベル: UE_ERROR

短構文: ISIS.057 Dropped LAN ISIS Hello pkt rcvd on a PTPT link (*n_int*)

長構文: ISIS.057 Dropped LAN ISIS Hello packet received on point-point link (*n_int*)

説明: ポイント・ポイント・リンク上で受信された LAN ISIS ハロー・パケットを、ルーターは処理することができないので、転送機能がこのパケットを除去しました。

ISIS.058

レベル: UE_ERROR

短構文: ISIS.058 Dropped PTPT ISIS Hello pkt rcvd on a LAN link (*n_int*)

長構文: ISIS.058 Dropped PTPT ISIS Hello packet received on a LAN link (*n_int*)

説明: LAN リンク上で受信された、ポイント・ポイント ISIS ハロー・パケットをルーターが処理できず、転送機能はこのパケットを除去しました。

第46章 インターネット制御メッセージ・プロトコル (ICMP)

この章では、インターネット制御メッセージ・プロトコル (ICMP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

ICMP.001

レベル: UE-ERROR

短構文: ICMP.001 bd cks 0x *received_checksum* (exp 0x *good_checksum*) *source_IP_address* -> *destination_IP_address*

長構文: ICMP.001 bad ICMP checksum 0x *received_checksum* received (expected 0x *good_checksum*) in packet from *source_IP_address* to *destination_IP_address*

説明: 着信 ICMP メッセージで、正しくない ICMP チェックサムが検出されました。受信したチェックサムが表示され、チェックサムの本来あるべき値も一緒に表示されます。受信したパケットは廃棄されます。

原因: これはおそらく、発信元ホストのエラーが原因です。

処置: 発信元ホストの製造元に連絡して、問題を報告してください。

ICMP.002

レベル: C-INFO

短構文: ICMP.002 ech *source_IP_address* -> *destination_IP_address*

長構文: ICMP.002 echo request packet received from *source_IP_address* to *destination_IP_address*

説明: ルーターが発信元ホストから ICMP エコー要求を受信しました。

ICMP.003

レベル: U-INFO

短構文: ICMP.003 ech rp *source_IP_address* -> *destination_IP_address*

長構文: ICMP.003 echo reply packet received from *source_IP_address* to *destination_IP_address*

説明: ルーターが発信元ホストからの ICMP エコー応答を受信しました。ルーターは通常 ICMP エコー要求を送信しないので、これはいくぶん疑わしい事象です。

ICMP.004

レベル: CI-ERROR

短構文: ICMP.004 unhnd typ *ICMP_type* *ICMP_code* *source_IP_address* -> *destination_IP_address*

長構文: ICMP.004 unhandled message type *ICMP_type* *ICMP_code* from *source_IP_address* to *destination_IP_address*

説明: ICMP メッセージが着信しましたが、そのタイプはルーター・ソフトウェアでは処理されません。

ICMP.005

レベル: U-TRACE

短構文: ICMP.005 unhnd brd typ *ICMP_type* *ICMP_code* *source_IP_address* -> *destination_IP_address*

長構文: ICMP.005 unhandled broadcast message type *ICMP_type* *ICMP_code* from *source_IP_address* to *destination_IP_address*

説明: 同報通信 ICMP メッセージが着信しましたが、そのタイプはルーター・ソフトウェアでは処理されません。

ICMP.006

レベル: UE-ERROR

短構文: ICMP.006 bd typ *ICMP_type* *ICMP_code* *source_IP_address* -> *destination_IP_address*

長構文: ICMP.006 bad message type *ICMP_type* *ICMP_code* from *source_IP_address* to *destination_IP_address*

説明: ICMP メッセージが着信しましたが、タイプが無効です。

ICMP.007

レベル: C-INFO

短構文: ICMP.007 addr msk *source_IP_address* -> *destination_IP_address*

長構文: ICMP.007 address mask request received from *source_IP_address* to *destination_IP_address*

説明: ルーターは発信元ホストから ICMP アドレス・マスク要求を受信しました。

ICMP.008

レベル: C-TRACE

短構文: ICMP.008 *addr msk rep source_IP_address -> destination_IP_address*

長構文: ICMP.008 *addres mask reply received from source_IP_address to destination_IP_address*

説明: ルーターは発信元ホストから ICMP アドレス・マスク応答を受信しました。

ICMP.009

レベル: UI-ERROR

短構文: ICMP.009 *no pkt or mem*

長構文: ICMP.009 *heap memory or packet buffer not available*

説明: ルーターが着信メッセージに応答するために必要な内部資源が利用不能でした。

原因: 一時的にトラフィックが増大したか、構成された記憶域が不十分です。

処置: このメッセージが引き続き出て、ルーターの記憶域またはバッファの不足を示す他のメッセージを伴っている場合は、この構成をサポートするにはルーターの記憶域が不十分である可能性があります。ゲートウェイ・コンソールで記憶域の統計値を表示して、ヒープ記憶域および大域バッファの状態を検査してください。記憶域を増やすか、または不要な転送機能、プロトコルおよびネットワークを使用不可にして記憶域の必要量を減らすようにしてください。

ICMP.010

レベル: UE-ERROR

短構文: ICMP.010 *amb addr msk source_IP_address -> destination_IP_address*

長構文: ICMP.010 *ambiguous address mask request received from source_IP_address to destination_IP_address*

説明: インターフェースに複数の IP 送信元アドレスをもつアドレス・マスク要求が着信しましたが、そのあて先アドレスが、アドレスのうちの 1 つに特定できないために、応答を生成できませんでした。

ICMP.011

レベル: UI-ERROR

短構文: ICMP.011 *err code sndng pkt to nt network ID*

長構文: ICMP.011 *error code sending packet to net network ID*

説明: ルーターに何らかの問題があるために、出力応答パケットが廃棄されました。

原因: この問題の原因としては、出力待ち行列の過負荷やネットワークのダウンなど、さまざまなものが考えられます。

処置: 該当するネットワーク・サブシステムからのログ出力を調べて、さらに詳しい情報を入手してください。

ICMP.012

レベル: C-INFO

短構文: ICMP.012 *rdx source_IP_address -> destination_IP_address to new_next_hop_IP_address*

長構文: ICMP.012 *sending redirect for packet from source_IP_address to destination_IP_address to use router new_next_hop_IP_address*

説明: ルーターは ICMP 転送メッセージを送信して、このトラフィックにはより良い最初のホップ・ルーターがあることを、直接接続されているネットワーク上の発信元ホストに知らせています。

ICMP.013

レベル: U-INFO

短構文: ICMP.013 *bd prm off problem_offset source_IP_address -> destination_IP_address*

長構文: ICMP.013 *sending parameter problem message problem offset problem_offset for packet from source_IP_address to destination_IP_address*

説明: ルーターは、指定のオフセットにある問題（示されていません）のために、ICMP Parameter Problem (パラメーター問題) メッセージを送信しています。

ICMP.014

レベル: U-TRACE

短構文: ICMP.014 *snd ICMP_type ICMP_code pkt source_IP_address -> destination_IP_address*

長構文: ICMP.014 *sending packet type ICMP_type code ICMP_code for packet from source_IP_address to destination_IP_address*

説明: 発信元ホストからあて先へのパケットについて、ルーターは指定のタイプの ICMP パケットを送信しています。

ICMP.015

レベル: UE-ERROR

短構文: ICMP.015 shrt ICMP hdr *header_length* src *source_ip_address*

長構文: ICMP.015 short ICMP packet *header_length* received in packet from *source_ip_address*

説明: このメッセージは、ICMP パケットの指摘されているヘッダー長が、ICMP パケットに許される最小長より短い場合に生成されます。

原因: おそらく、パケットが損傷しています。別のノードが、正しくないヘッダーを作成している可能性があります。

処置: 問題が引き続き起こる場合は、回線トレースを調べて、パケットが損傷する箇所を判別してください。

ICMP.016

レベル: U-TRACE

短構文: ICMP.016 *current_next_hop* rdr dest *IP_destination* to *better_next_hop*

長構文: ICMP.016 *current_next_hop* has redirected traffic for *IP_destination* to *better_next_hop*

説明: 指定のあて先のネクスト・ホップを変更する、転送パケットを受信しました。転送は、ホスト・モードで動作している場合にのみ処理されます。

ICMP.017

レベル: UE-ERROR

短構文: ICMP.017 Bad rdr from *gateway_address*, rsn: *reason*

長構文: ICMP.017 Redirect received from *gateway_address* was bad for the reason: *reason*

説明: ルーターから転送を受信しましたが、指定の理由で拒否されました。

ICMP.018

レベル: U-TRACE

短構文: ICMP.018 Router advertisement received from *router_address*

長構文: ICMP.018 Router advertisement received from *router_address*

説明: 指定のルーターから ICMP ルーター公示 (ゲートウェイ探索) メッセージを受信しました。

ICMP.019

レベル: UE-ERROR

短構文: ICMP.019 Bad router adv from *gateway_address*, rsn: *reason*

長構文: ICMP.019 Router advertisement received from *gateway_address* was bad for the reason: *reason*

説明: 指定のルーターから ICMP ルーター公示 (ゲートウェイ探索) メッセージを受信しましたが、指定の理由により拒否されました。

ICMP.020

レベル: U-INFO

短構文: ICMP.020 rcvd typ *ICMP_type* *ICMP_code* *source_IP_address* -> *destination_IP_address*

長構文: ICMP.020 received message type *ICMP_type* *ICMP_code* from *source_IP_address* to *destination_IP_address*

説明: ルーターが発信元ホストから指定されたタイプの ICMP メッセージを受信しました。

ICMP.021

レベル: C-INFO

短構文: ICMP.021 Dropping ech *source_IP_address* -> *destination_IP_address*

長構文: ICMP.021 Dropping echo request packet received from *source_IP_address* to *destination_IP_address*

説明: ルーターが発信元ホストから ICMP エコー要求を受信しました。ルーターはこの要求に応答せずに廃棄するように構成されています。

第47章 インターネット制御メッセージ・プロトコル IPv6 (ICM6)

この章では、インターネット制御メッセージ・プロトコル IPv6 (ICM6) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

ICM6.001

レベル: UE-ERROR

短構文: ICM6.001 Bad checksum 0x *received_checksum* (expected 0x *good_checksum*) *source_IP_address* -> *destination_IP_address*

長構文: ICM6.001 Bad ICMP6 checksum 0x *received_checksum* received (expected 0x *good_checksum*) in packet from *source_IP_address* to *destination_IP_address*

説明: 着信 ICMP6 メッセージで、正しくない ICMP6 チェックサムが検出されました。受信したチェックサムが表示され、チェックサムの本来あるべき値も一緒に表示されます。受信したパケットは廃棄されます。

原因: これはおそらく、発信元ホストのエラーが原因です。

処置: 発信元ホストの製造元に連絡して、問題を報告してください。

ICM6.002

レベル: C-INFO

短構文: ICM6.002 Echo request received *source_IP_address* -> *destination_IP_address*

長構文: ICM6.002 Echo request packet received from *source_IP_address* to *destination_IP_address*

説明: ルーターが発信元ホストから ICMP6 エコー要求を受信しました。

ICM6.003

レベル: C-INFO

短構文: ICM6.003 Echo reply received *source_IP_address* -> *destination_IP_address*

長構文: ICM6.003 Echo reply packet received from *source_IP_address* to *destination_IP_address*

説明: ルーターが発信元ホストから ICMP6 エコー応答を受信しました。

ICM6.004

レベル: CI-ERROR

短構文: ICM6.004 Msg type not handled *ICMP6_type* *ICMP6_code* *source_IP_address* -> *destination_IP_address*

長構文: ICM6.004 Message type not handled *ICMP6_type* *ICMP6_code* from *source_IP_address* to *destination_IP_address*

説明: ICMP6 メッセージが着信しましたが、そのタイプはルーター・ソフトウェアでは処理されません。

ICM6.005

レベル: U-TRACE

短構文: ICM6.005 Multicast type not handled *ICMP6_type* *ICMP6_code* *source_IP_address* -> *destination_IP_address*

長構文: ICM6.005 Multicast message type not handled *ICMP6_type* *ICMP6_code* from *source_IP_address* to *destination_IP_address*

説明: マルチキャスト ICMP6 メッセージが着信しましたが、そのタイプはルーター・ソフトウェアでは処理されません。

ICM6.006

レベル: UE-ERROR

短構文: ICM6.006 Bad type *ICMP6_type* *ICMP6_code* *source_IP_address* -> *destination_IP_address*

長構文: ICM6.006 Bad message type *ICMP6_type* *ICMP6_code* from *source_IP_address* to *destination_IP_address*

説明: ICMP6 メッセージが着信しましたが、そのタイプは無効です。

ICM6.007

レベル: U-INFO

短構文: ICM6.007 Received msg type *ICMP6_type* *ICMP6_code* *source_IP_address* -> *destination_IP_address*

長構文: ICM6.007 Received message type *ICMP6_type*

ICMP6_code from source_IP_address to destination_IP_address

説明: ルーターが発信元ホストから指定のタイプの ICMP6 メッセージを受信しました。

ICM6.008

レベル: C-INFO

短構文: ICM6.008 Dropping echo *source_IP_address -> destination_IP_address*

長構文: ICM6.008 Dropping echo request packet received from *source_IP_address* to *destination_IP_address*

説明: ルーターが発信元ホストから ICMP6 エコー要求を受信しました。ルーターはこの要求に応答せずに廃棄するように構成されています。

ICM6.009

レベル: UI-ERROR

短構文: ICM6.009 No mem available

長構文: ICM6.009 Heap memory or packet buffer not available

説明: ルーターが着信メッセージに応答するために必要な内部資源が利用不能でした。

原因: 一時的にトラフィックが増大したか、構成された記憶域が不十分です。

処置: このメッセージが引き続き出て、ルーターの記憶域またはバッファの不足を示す他のメッセージを伴っている場合は、この構成をサポートするにはルーターの記憶域が不十分である可能性があります。ゲートウェイ・コンソールで記憶域の統計値を表示して、ヒープ記憶域および大域バッファの状態を検査してください。記憶域を増やすか、または不要な転送機能、プロトコルおよびネットワークを使用不可にして記憶域の必要量を減らすようにしてください。

ICM6.010

レベル: UI-ERROR

短構文: ICM6.010 ICMP packet (*sourceaddress*) send *destaddress -> network ID* with rc *reasoncode*

長構文: ICM6.010 Sending an ICMP packet (*sourceaddress*) via direct *n_send* from *destaddress* to *network ID* failed for reason *reasoncode*

説明: あて先アドレスがリンク・ローカル・アドレスである ICMP パケットの送信が、ルーター内の何らかの問題が原因で失敗しました。理由コード (*reason_code*) に原因が示されています。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、*network_name* を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたは不正な同報通信を回避するためにハンドラーによって廃棄された (理由コード 4)

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

ICM6.011

レベル: U-TRACE

短構文: ICM6.011 Received packet too big for *destination_address*, *pmtu mtu*

長構文: ICM6.011 Packet Too Big ICMP message received for *destination_address*, path MTU is *mtu*

説明: このルーターが発信したパケットに対して、パケットが大き過ぎるというメッセージを受信しました。このあて先アドレスのパス MTU ディスカバリーが開始されます。

ICM6.012

レベル: U-INFO

短構文: ICM6.012 Sending Pkt Too Big, next hop *mtu next_hop_mtu source_IP_address -> destination_IP_address*

長構文: ICM6.012 Sending Packet Too Big message, *next_hop_mtu next_hop_mtu* for packet from *source_IP_address* to *destination_IP_address*

説明: ネクスト・ホップ MTU がパケット・サイズより小さいので、ルーターは ICMP6 Packet Too Big (パケットが大き過ぎる) メッセージを送信しています。

ICM6.013

レベル: U-INFO

短構文: ICM6.013 Sending bad parm msg, offset *problem_offset source_IP_address -> destination_IP_address*

長構文: ICM6.013 Sending parameter problem message -

offset *problem_offset* for packet from *source_IP_address* to *destination_IP_address*

説明: ルーターは、指定のオフセットにある問題（示されていません）のために、ICMP6 Parameter Problem（パラメーター問題）メッセージを送信しています。

ICM6.014

レベル: U-TRACE

短構文: ICM6.014 Sending *ICMP6_pkt_type ICMP6_type ICMP6_code* pkt *source_IP_address* -> *destination_IP_address*

長構文: ICM6.014 Sending (*ICMP6_pkt_type*) packet type *ICMP6_type* code *ICMP6_code* for packet from *source_IP_address* to *destination_IP_address*

説明: 発信元ホストからあて先へのパケットについて、ルーターは指定のタイプの ICMP6 パケットを送信しています。

ICM6.015

レベル: UE-ERROR

短構文: ICM6.015 Short ICMP6 hdr *header_length* src *source_ip_address*

長構文: ICM6.015 Short ICMP6 header *header_length* received in packet from *source_ip_address*

説明: このメッセージは、ICMP6 パケットの指摘されているヘッダー長が、ICMP6 パケットの可能な最小長より短い場合に生成されます。

原因: おそらく、パケットが損傷しています。別のノードが、正しくないヘッダーを作成している可能性があります。

処置: 問題が引き続き起こる場合は、回線トレースを調べて、パケットが損傷する箇所を判別してください。

ICM6.016

レベル: U-TRACE

短構文: ICM6.016 Path *destination_address* aged, pmtu *mtu*

長構文: ICM6.016 Path *destination_address* aged out of table, path MTU *mtu*

説明: 指定のあて先アドレスのパス MTU 経時タイマーが満了しました。パス MTU は出力ネット MTU にリセットされ、そのあて先アドレスへの次のパケットでパス MTU ディスカバリーが開始されます。

ICM6.017

レベル: UE-ERROR

短構文: ICM6.017 Rcvd pkt too big from *destination_address* pmtu *mtu*, pmtu disc disabled

長構文: ICM6.017 Received packet too big message from *destination_address* pmtu *mtu*, path MTU discovery is disabled

説明: パス MTU ディスカバリーは使用不可にされているのに、Packet Too Big（パケットが大き過ぎる）ICMP メッセージを受信しました。パス MTU ディスカバリーが使用不可にされたのが最近であれば、これは問題ではありません。しかし、パス MTU ディスカバリーがしばらく前から使用不可にされていた場合は、この ICMP メッセージは受け取らないはずです。パス MTU ディスカバリーが使用不可にされている場合、生成される最大サイズのパケットは 1280 バイトになるからです。すべての IPv6 ルーターは、このパケット・サイズをサポートできなければなりません。

ICM6.018

レベル: UI-ERROR

短構文: ICM6.018 No mem for pmtu disc for *destination_address*

長構文: ICM6.018 There is no memory available to perform Path MTU Discovery for *destination_address*

説明: ルーターは、指定のアドレスへのパケットのパス MTU ディスカバリーに必要な制御ブロックを割り振るための十分な記憶域がありません。

第48章 インターネット・パケット交換 (IPX)

この章では、インターネット・パケット交換 (IPX) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

IPX.002

レベル: UI-ERROR

短構文: *IPX.002 q ovf source_net/ source_node -> dest_net/ dest_node, cir IPX_circuit nt network ID*

長構文: *IPX.002 Queue overflow, source_net/ source_node -> dest_net/ dest_node, circ IPX_circuit net network ID*

説明: IPX 転送機能の入力待ち行列がオーバーフローしました。

原因: 転送機能の伝送能力を超える数のパケットを受信しています。

IPX.003

レベル: UE-ERROR

短構文: *IPX.003 bad hst chksum frm source_net/ source_node*

長構文: *IPX.003 Bad host checksum from source_net/ source_node*

説明: このメッセージは、このホストに到着したパケットが無効なチェックサムをもっている場合に生成されます。

IPX.004

レベル: U-INFO

短構文: *IPX.004 err pkt error_type frm source_net/ source_node*

長構文: *IPX.004 Error packet, errno error_type, received from source_net/ source_node*

説明: このメッセージは、エラー・パケットを受信した場合に生成されます。

IPX.005

レベル: U-TRACE

短構文: *IPX.005 no hndlr for skt destination_socket typ packet_type frm source_net/ source_node*

長構文: *IPX.005 No handler for socket destination_socket type packet_type from source_net/ source_node*

説明: 不明またはサポートされないソケットまたはタイプをもつパケットが到着しました。パケットは同報通信パケットでした。

IPX.006

レベル: UE-ERROR

短構文: *IPX.006 no hndlr for skt destination_socket typ packet_type frm source_net/ source_node*

長構文: *IPX.006 No handler for socket destination_socket type packet_type from source_net/ source_node*

説明: 不明またはサポートされないソケットまたはタイプをもつパケットが到着しました。パケットは、ルーターに送信されました。

IPX.007

レベル: UI-ERROR

短構文: *IPX.007 no hst addr set for cir IPX_circuit nt network ID, not enabled*

長構文: *IPX.007 no host address set for circ IPX_circuit net network ID, not enabled*

説明: 転送機能は指定の IPX 回線を起動していましたが、ホスト・アドレスが設定されていなかったため、IPX 回線を使用可能にすることができませんでした。

原因: IPX 回線が、ホスト・アドレスを設定せずに使用可能にされています。

処置: IPX ホスト・アドレスを設定してください。

IPX.008

レベル: UE-ERROR

短構文: *IPX.008 SAP bad typ packet_type frm source_net/ source_node*

長構文: *IPX.008 SAP bad type packet_type from source_net/ source_node*

説明: このメッセージは、無効な SAP タイプをもつパケットを受信した場合に生成されます。

IPX.009

レベル: C-TRACE

短構文: IPX.009 SAP gen rply frm *source_net/ source_node*

長構文: IPX.009 SAP general reply from *source_net/ source_node*

説明: SAP は、指定のホストから一般応答パケットを受信しました。パケット内のデータは、SAP データベースの更新に使用されます。

IPX.010

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.010 SAP tbl ovrlf, dsc type *service_type* nm [*service_name*]

長構文: IPX.010 SAP table overflow, discarded type *service_type* name [*service_name*]

説明: SAP テーブルがいっぱいなので、新しいエントリーをテーブルに追加することができません。新しいエントリーは廃棄されます。

原因: SAP テーブルが、IPX インターネット上のサービスの数より小さくなっています。

処置: SAP テーブルのサイズを大きくしてください。

IPX.011

レベル: UE-ERROR

短構文: IPX.011 SAP srvc typ *service_type* nm [*service_name*] mvd to *new_net/ new_node*

長構文: IPX.011 SAP service type *service_type* name [*service_name*] moved to *new_net/ new_node*

説明: 現在 SAP データベース内に存在するのとは異なるネットワーク/アドレスの組み合わせをもつ一般応答を受信しました。

原因: サービスに重複する名前が割り当てられています。

処置: 重複する名前を除去してください。

原因: サービスが物理的に SAP タイムアウトより高速で移動しています。

処置: サービスの移動速度を下げてください。

IPX.012

レベル: U-INFO

短構文: IPX.012 SAP del typ *service_type* nm [*service_name*]

長構文: IPX.012 SAP deleted type *service_type* name [*service_name*]

説明: SAP テーブル・エントリーが、非活動状態になったことが宣言されました。これから 60 秒間、到達不能であるとして公示された後、SAP テーブルから除去されます。

原因: このサービスのタイプ/名前のペアに関するデータが入っている SAP 一般応答が、240 秒間、まったく受信されていません。

処置: サービスを操作可能にする必要がない場合は、処置をとる必要はありません。

IPX.013

レベル: UE-ERROR

短構文: IPX.013 SAP bd nearest qry frm *source_net/ source_node* ln *length*

長構文: IPX.013 SAP bad length Nearest Service Query from *source_net/ source_node*, len *length*

説明: 無効な長さをもつ SAP 最近隣サービス照会を受信しました。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

IPX.014

レベル: C-TRACE

短構文: IPX.014 SAP nearest qry frm *source_net/ source_node*

長構文: IPX.014 SAP nearest query from *source_net/ source_node*

説明: 指定のノードから SAP 最近隣サービス照会を受信しました。状況に応じて応答されます。

IPX.015

レベル: C-TRACE

短構文: IPX.015 SAP gen qry frm *source_net/ source_node*

長構文: IPX.015 SAP general query from *source_net/ source_node*

説明: 指定のノードから SAP 一般サービス照会を受信しました。状況に応じて応答されます。

IPX.016

レベル: U-TRACE

短構文: IPX.016 SAP qry sent, cir *IPX_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.016 SAP General Service Query sent, circ *IPX_circuit* net *network ID*

説明: 指定の IPX 回線で SAP 一般サービス照会が送信されました。アップになると、IPX 回線上で送信されます。

IPX.017

レベル: UI-ERROR

レベル: OOM

短構文: IPX.017 No mem fr SAP bcst, cir *IPX_circuit* nt *network ID*, count pkts snt

長構文: IPX.017 No memory for SAP General Service Query or Reply, circ *IPX_circuit* net *network ID*, count packets sent

説明: このメッセージは、SAP 一般サービス照会または応答パケットを送信するために利用可能なバッファがない場合に生成されます。一般サービス応答は複数のパケットを必要とする場合があるので、メッセージは、バッファが使い尽くされる前に送信されたパケット数を示しています。

IPX.018

レベル: C-TRACE

短構文: IPX.018 SAP gen rply sent, cir *IPX_circuit* nt *network ID*, count pkts

長構文: IPX.018 SAP General Service Reply sent, circ *IPX_circuit* net *network ID*, count packets

説明: 指定の IPX 回線で SAP 一般サービス応答が送信されたところです。全 SAP データベースを送信するために、指定されているパケット数を使用しました。

IPX.019

レベル: P-TRACE

短構文: IPX.019 NB brd *source_net/ source_node -> dest_net/ dest_node*, cir *IPX_circuit* nt *network ID*, hop_count hops

長構文: IPX.019 NETBIOS broadcast *source_net/ source_node -> dest_net/ dest_node*, circ *IPX_circuit* net *network ID*, hop_count hops

説明: 他の IPX 回線に転送するために、NETBIOS エミュレーション・マルチネットワーク同報通信パケットを受信しました。IPX ホップ・カウントに、経由したルーターの数が示されています。

IPX.020

レベル: U-TRACE

短構文: IPX.020 NB too many hops frm *source_net/ source_node*, cir *IPX_circuit* nt *network ID*, ign

長構文: IPX.020 NETBIOS too many hops from *source_net/ source_node* circ *IPX_circuit* net *network ID*, ignored

説明: NETBIOS エミュレーション同報通信パケットが経由したルーターが 8 つを超えています。パケットは除去されます。

原因: 同報通信パケットの発信元からの複数ルートによる通常のループ

処置: なし。これは、使用プロトコルの正常な結果です。

原因: IPX NETBIOS トラフィックが発信元とあて先の間で経路を試みているホップ (ネットワーク) が、8 つを超えています。

処置: ネットワークを再構成してください。

IPX.021

レベル: C-TRACE

短構文: IPX.021 NB frm *source_net/ source_node*, cir *IPX_circuit* nt *network ID*, already on *connected_network*, ign

長構文: IPX.021 NETBIOS from *source_net/ source_node* circ *IPX_circuit* net *network ID*, already on *connected_network*, ignored

説明: この IPX NETBIOS エミュレーション同報通信パケットは、直接接続された IPX 回線の 1 つにすでにあったものです。転送すると重複を生じるので、転送されることはありません。

原因: プロトコルの使用による正常な副次作用です。

IPX.022

レベル: UI-ERROR

レベル: OOM

短構文: IPX.022 NB frm *source_net/ source_node*, no mem to cpy

長構文: IPX.022 NETBIOS from *source_net/ source_node*, no memory to copy

説明: 使用可能な記憶域がなくて、この NETBIOS エミュレーション・パケットの作業用コピーを作って、それを複数の IPX 回線の外に送信することができません。

IPX.023

レベル: CI-ERROR

短構文: IPX.023 NB frm *source_net/ source_node*, non-brd
cir *IPX_circuit* nt *network ID* unsupp

長構文: IPX.023 NETBIOS from *source_net/ source_node*,
non-broadcast circ *IPX_circuit* net *network ID* unsupported

説明: 同報通信をサポートしない IPX 回線上で、NETBIOS エミュレーション・パケットの送信を試みます。パケットは、そのネットワークでは送信されません。

IPX.024

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.024 NB frm *source_net/ source_node*,
un-numbrd cir *IPX_circuit* nt *network ID* unsupp

長構文: IPX.024 NETBIOS from *source_net/ source_node*,
un-numbered circ *IPX_circuit* net *network ID* unsupported

説明: ネットワーク番号のない IPX 回線上で、NETBIOS エミュレーション・パケットの送信を試みます。パケットは、その IPX 回線では送信されません。

原因: ネットワーク番号なしでシリアル・ライン・ネットワークを動作。

処置: シリアル・ライン・ネットワークを通して NETBIOS エミュレーションを実行したい場合は、ネットワーク番号が必要です。

IPX.025

レベル: UI-ERROR

レベル: OOM

短構文: IPX.025 NB frm *source_net/ source_node*, no buf
to cpy

長構文: IPX.025 NETBIOS from *source_net/ source_node*,
no buffer to copy

説明: 使用可能なパケット・バッファがなくて、この NETBIOS エミュレーション同報通信をコピーして、IPX 回線上で送信することができません。

IPX.026

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.026 NB snd dsc, cir *IPX_circuit* nt *network ID*,
rsn *reason_code*

長構文: IPX.026 NETBIOS send discarded, circ *IPX_circuit*
net *network ID*, reason *reason_code*

説明: エラー・コードによって示されている理由により、出力 NETBIOS エミュレーション同報通信パケットを正常に送信できませんでした。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、ネットワーク ID を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたは不正な同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去された (理由コード 4)

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

IPX.027

レベル: UE-ERROR

短構文: IPX.027 bad RIP typ *RIP_opcode* frm *source_net/ source_node*

長構文: IPX.027 Bad RIP type *RIP_opcode* from
source_net/ source_node

説明: RIP パケットを受信しましたが、要求でも応答でもありませんでした。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

IPX.028

レベル: C-TRACE

短構文: IPX.028 RIP resp frm *source_net/ source_node*

長構文: IPX.028 RIP response from *source_net/ source_node*

説明: このメッセージは、RIP 応答パケットを受信した場合に生成されます。パケットが解析され、データがルーティング・テーブルに組み込まれます。

IPX.029

レベル: UE-ERROR

短構文: IPX.029 bad net *network* in RIP frm *source_net/ source_node*

長構文: IPX.029 Bad network *network* in RIP from *source_net/ source_node*

説明: RIP 応答を受信しましたが、ネットワーク番号が 00000000 または FFFFFFFF のエントリーが含まれています。そのエントリーは無視されます。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

IPX.030

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.030 net route table ovrl, dscrld *network*

長構文: IPX.030 Network routing table overflow, discarding *network*

説明: このメッセージは、ルーティング・テーブルがいっぱいのために、新しいネットワークをルーティング・テーブルに追加できない場合に生成されます。エントリーは廃棄されます。

原因: ルーティング・テーブルが小さ過ぎます。

処置: IPX プロトコルを再構成して、ルーティング・テーブルを大きくしてください。

IPX.031

レベル: C-INFO

短構文: IPX.031 type route to *network* now via *router_net/ router_node*, *hop_count* hops

長構文: IPX.031 type route to *network network* now via *router_net/ router_node*, *hop_count* hops

説明: このメッセージは、ネットワークへのルートが変更された場合に生成されます。指定の *router_net/router_node* は、現在のこのネットワークへの最良のルートであり、示されている数のホップがあります。新規ルートのタイプも報告されます (RIP または STATIC)。

原因: 新規に到達可能になったネットワーク (このメッセージの前にメッセージ IPX.055 が出ている場合)

原因: ネットワーク・トポロジーの変更によって、ネットワークへの最良のルートが変更されました。これは、ネットワークがアップ状態になったり、ダウンしたりした場合に起こります。

処置: ネットワーク・トポロジーにどのような変更が起こったのかを調べてください。

IPX.032

レベル: U-INFO

短構文: IPX.032 RIP route to *network* aged away

長構文: IPX.032 RIP route to *network* aged away

説明: このメッセージが生成されるのは、ルーティング更新が 240 秒間受信されなかったため、ネットワークが到達不能と宣言された場合です。さらに 60 秒間、到達不能として公示された後、ルーティング・テーブルから削除されます。

原因: このネットワークを公示していた公示ルーターが破損しました。

IPX.033

レベル: C-TRACE

短構文: IPX.033 Rspnd to RIP rqst frm *source_net/ source_node*

長構文: IPX.033 Responding to RIP Request from *source_net/ source_node*

説明: このメッセージは、応答のために RIP 要求パケットが解析されている場合に生成されます。

IPX.034

レベル: UE-ERROR

短構文: IPX.034 RIP rqst frm *source_net/ source_node* shrt, ln *packet_length*

長構文: IPX.034 RIP Request from *source_net/ source_node* too short, len *packet_length*

説明: RIP 要求パケットを受信しましたが、短過ぎて 1 つの RIP エントリーが入りません。パケットは廃棄されます。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

IPX.035

レベル: U-TRACE

短構文: IPX.035 RIP qry sent, cir *IPX_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.035 RIP Query sent, circ *IPX_circuit* net *network ID*

説明: 指定の IPX 回線で RIP 照会が送信されました。照会は、アップになった各 IPX 回線上で送信されます。

IPX.036

レベル: UI-ERROR

レベル: OOM

短構文: IPX.036 No mem for RIP pkt, cir *IPX_circuit* nt *network ID*, *packet_count* pkts snt

長構文: IPX.036 No memory for RIP packet, circ *IPX_circuit* net *network ID*, *packet_count* packets sent

説明: このメッセージは、RIP 照会または応答パケットを送信するために利用可能なバッファがない場合に生成されます。

IPX.037

レベル: C-TRACE

短構文: IPX.037 RIP resp sent, cir *IPX_circuit* nt *network ID*, *packet_count* pkts

長構文: IPX.037 RIP Response sent circ *IPX_circuit* net *network ID*, *packet_count* packets

説明: このメッセージは、RIP 応答が送信されると生成されます。応答は、指定の数のパケットに入れて送信されました。

IPX.038

レベル: U-TRACE

短構文: IPX.038 *source_net/ source_node -> dest_net/ dest_node* ign

長構文: IPX.038 Packet from *source_net/ source_node* for *dest_net/ dest_node* ignored

説明: このメッセージは、IPX パケットがネットワークに到着したが、そのネットワーク上の IPX 転送機能がアクティブになっていない場合に生成されます。

IPX.039

レベル: C-TRACE

短構文: IPX.039 RIP delta resp sent, cir *IPX_circuit* nt *network ID*, *packet_count* pkts

長構文: IPX.039 RIP delta Response sent circ *IPX_circuit* net *network ID*, *packet_count* packets

説明: このメッセージは、RIP デルタ応答が送信されると生成されます。この応答には、最後の更新期間中にデータが変更されたネットワークだけが入れられます。応答は、指定の数のパケットに入れて送信されました。

IPX.040

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.040 RIP resp snd dsc, cir *IPX_circuit* nt *network ID*, *rsn reason_code*

長構文: IPX.040 RIP Response send discarded, circ *IPX_circuit* net *network ID*, *reason reason_code*

説明: エラー・コードで示されている理由により、出力 RIP 応答パケットを正常に送信できませんでした。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、ネットワーク ID を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたは不正な同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去された (理由コード 4)

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

IPX.041

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.041 RIP query snd dsc, cir *IPX_circuit* nt *network ID*, *rsn reason_code*

長構文: IPX.041 RIP Query send discarded, circ *IPX_circuit* net *network ID*, *reason reason_code*

説明: エラー・コードによって示されている理由により、出力 RIP 照会パケットを正常に送信できませんでした。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、ネットワーク ID を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたは不正な同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去された (理由コード 4)

処置: 構成をチェックしてください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

IPX.042

レベル: C-TRACE

短構文: IPX.042 SAP GNS reply typ *service_type* nm [*service_name*] to *source_net/ source_node*, cir *IPX_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.042 SAP giving Nearest Server Reply of type *service_type* name [*service_name*] to *source_net/ source_node*, circ *IPX_circuit* net *network ID*

説明: SAP 最近隣サービス応答が、指定のノードに送信されます。 *service_type* がサービスのタイプであり、*service_name* がサービスの名前です。

原因: ノードが最近隣サーバー要求を送信し、そのタイプの最近隣サーバーが、このルーターを通して到達可能です。

IPX.043

レベル: C-TRACE

短構文: IPX.043 SAP nearest qry for typ *service_type* frm *source_net/ source_node*, cir *IPX_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.043 SAP Nearest Query for service type *service_type* from *source_net/ source_node*, circ *IPX_circuit* net *network ID*

説明: 指定の IPX 回線を介して、指定のノードから SAP 最近隣サービス照会を受信しました。このルーターが、指定された *service_type* の最近隣サーバーへの最良のルートである場合は、このルーターは応答します。

原因: 新規の IPX ノードが接続 LAN 上でブートし、最初のファイル・サーバー (*service_type* が 4) を探しています。

原因: ノードが、通信サーバーやデータベース・サーバーのようなサービス・タイプによって、特定サーバーを見付けようとしています。

IPX.044

レベル: C-TRACE

短構文: IPX.044 SAP delta gen rply, cir *IPX_circuit* nt *network ID*, count pkts

長構文: IPX.044 SAP delta General Service Reply sent, circ *IPX_circuit* net *network ID*, count packets

説明: 指定の IPX 回線で SAP デルタ一般サービス応答が送信されたところです。この応答には、最後の更新期間中にデータが変更されたサービスのみが入れられています。SAP データベース内の変更を送信するのに、指定された数のパケットを要しました。

IPX.045

レベル: U-INFO

短構文: IPX.045 type new serv typ *service_type* nm [*service_name*] via *via_net/ via_node*, hop_count hops, cir *IPX_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.045 type new service route to service type *service_type* name [*service_name*] via *via_net/ via_node*, hop_count hops, circ *IPX_circuit* net *network ID*

説明: このメッセージは、新しいサービスが SAP テーブルに追加された場合に生成されます。指定の *via_net/via_node* は、このサービスへのルートであり、示されている数のホップがあります。

原因: IPX インターネットワークで、新しいサービスが開始されました。

原因: ネットワーク接続が変更されたために、既存のサービスが到達可能になりました。

IPX.046

レベル: U-TRACE

短構文: IPX.046 SAP nearest qry frm *source_net/ source_node* ignored, cir *IPX_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.046 SAP Nearest Query from *source_net/ source_node* ignored, circ *IPX_circuit* net *network ID*

説明: 指定の IPX 回線を介して、指定のノードから SAP 最近隣サービス照会を受信しましたが、このネットワークでは、これらのパケットの処理が管理上使用不可にされています。照会は無視されます。

原因: ユーザーが IPX Config コマンド DISABLE REPLY-TO-GET-NEAREST-SERVER を使用しました。

処置: この処置を希望している場合は、何も必要ありません。応答を使用可能 (デフォルト) にする場合は、IPX Config コマンドの ENABLE REPLY-TO-GET-NEAREST-SERVER を使用してください。

IPX.047

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.047 SAP query snd dsc, cir *IPX_circuit* nt *network ID*, rsn *reason_code*

長構文: IPX.047 SAP Query send discarded, circ *IPX_circuit* net *network ID*, reason *reason_code*

説明: エラー・コードによって示されている理由により、出力 SAP 照会パケットを正常に送信できませんでした。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、ネットワーク ID を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたは不正な同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去された (理由コード 4)

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

IPX.048

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.048 SAP resp snd dsc, cir *IPX_circuit* nt *network ID*, rsn *reason_code*

長構文: IPX.048 SAP Response send discarded, circ *IPX_circuit* net *network ID*, reason *reason_code*

説明: エラー・コードで示されている理由により、出力 SAP 応答パケットを正常に送信できませんでした。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、ネットワーク ID を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたは不正な同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去された (理由コード 4)

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

IPX.049

レベル: U-TRACE

短構文: IPX.049 SAP no serv typ *service_type* for *source_net/ source_node*, cir *IPX_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.049 SAP no server of type *service_type* for Query from *source_net/ source_node*, circ *IPX_circuit* net *network ID*

説明: SAP 最近隣サービス照会を *source_net/source_node* から受信しましたが、SAP データベースには、必要な *service_type* のサービスが何も登録されていません。応答は送信されません。

原因: 必要な *service_type* のサービスがダウンしているか、到達不能になっています。

処置: サービスがダウンまたは到達不能になっている理由を調べてください。

原因: ワークステーションが、存在しない *service_type* を探しています。

処置: ワークステーション上の照会を訂正してください。

IPX.050

レベル: U-INFO

短構文: IPX.050 SAP dead serv typ *service_type* nm [*service_name*] from *via_net/ via_node*, cir *IPX_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.050 SAP dead service route to service type *service_type* name [*service_name*] reported by *via_net/ via_node* has become unreachable, circ *IPX_circuit* net *network ID*

説明: このメッセージは、以前に到達可能であったサービスが到達不能になり、SAP テーブルに非活動状態としてのマークが付けられる場合に生成されます。指定の *via_net/via_node* は、サービスが到達不能であることを公示したサーバーまたはルーターです。

原因: :DOWN コマンドが出された場合のように、サービスが管理上使用不可にされている。

処置: なし。

原因: サーバーが破損した。

処置: サーバーが破損した理由を調べてください。

原因: サービスを提供するネットワークが到達不能になっている。

処置: IPX コンソール DUMP コマンドを使用して、ネットワークが到達可能かどうかを調べてください。

IPX.051

レベル: U-INFO

短構文: IPX.051 RIP route died to *network* from *router_net/ router_node*

長構文: IPX.051 RIP route died to network *network* from router *router_net/ router_node*

説明: このメッセージは、以前に到達可能であったサービスが到達不能になり、RIP テーブルに非活動状態としてのマークが付けられている場合に生成されます。指定の *router_net/router_node* は、ネットワークが到達不能であることを公示したルーターです。

原因: リモート・ネットワーク、または介在するネットワークがダウンした。

処置: リモート・ネットワークがダウンした理由を調べてください。

原因: ネットワークが、ダウンしたルーター上にある。

処置: リモート・ルーターがダウンした理由を調べてください。

原因: ネットワークが、管理上ダウンになったファイル・サーバーを介して接続されている。

IPX.052

レベル: UE-ERROR

短構文: IPX.052 RIP resp frm wrong net *source_net/ source_node* not *local_net*, cir *IPX_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.052 RIP response from wrong network *source_net/ source_node* not local network *local_net*, circ *IPX_circuit* net *network ID*

説明: このメッセージは、RIP 応答パケットを受信したが、その発信元ネットワーク番号がこの IPX 回線のネットワーク番号と同じでない場合に生成されます。パケットは無視されます。

原因: このネットワーク上のルーターの構成の誤り

処置: 構成を修正してください。

IPX.053

レベル: UE-ERROR

短構文: IPX.053 SAP resp frm wrong net *source_net/ source_node* not *local_net*, cir *IPX_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.053 SAP response from wrong network *source_net/ source_node* not local network *local_net*, circ *IPX_circuit* net *network ID*

説明: このメッセージは、SAP 応答パケットを受信したが、その発信元ネットワーク番号がこの IPX 回線のネットワーク番号と同じでない場合に生成されます。パケットは無視されます。

原因: このネットワーク上のルーターの構成の誤り

処置: 構成を修正してください。

IPX.054

レベル: C-INFO

短構文: IPX.054 type serv typ *service_type* nm [*service_name*] now via *via_net/ via_node*, *hop_count* hops, cir *IPX_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.054 type service route to service type *service_type* name [*service_name*] is now via *via_net/ via_node*, *hop_count* hops, circ *IPX_circuit* net *network ID*

説明: このメッセージは、SAP テーブル内のサービスへのルートが変更される場合に生成されます。指定の *via_net/via_node* は、このサービスへの新しいルートであり、示されている数のホップがあります。ルートのタイプ (RIP または STATIC) も報告されます。

原因: 新たに到達可能になったサービス (メッセージ IPX.045 が先行している場合)

原因: ネットワーク・トポロジの変更によって、ネットワークへの最良のルートが変更された。これは、ネットワークがアップ状態になったり、ダウンしたりした場合に起こります。

処置: ネットワーク・トポロジにどのような変更が起こったのかを調べてください。

IPX.055

レベル: U-INFO

短構文: IPX.055 new *network* net *router_net* via *router_node/ hop_count*, hops

長構文: IPX.055 New *network* network number *router_net* via *router_node/ hop_count*, hops

説明: このメッセージは、新しいネットワークが RIP ルーティング・テーブルに追加された場合に生成されま

す。新しいネットワークは `router_net/router_node` によって公示されます。これが現在、このネットワークへの新しいルートになっており、示されている数のホップがあります。

IPX.056

レベル: U-TRACE

短構文: IPX.056 RIP route to *network* garbage coll

長構文: IPX.056 RIP route to *network* garbage collected

説明: このメッセージが生成されるのは、ルーティング更新が 300 秒間受信されなかったため、ネットワークが RIP ルーティング・テーブルから除去された場合です。これは通常、同じサービスについての IPX.012 メッセージが出されてから 60 秒後に出されます。

原因: このネットワークを公示していた介在ルーターがダウンした。

IPX.057

レベル: U-INFO

短構文: IPX.057 SAP del typ *service_type* nm [*service_name*], cir *IPX_circuit* nt *network ID* down

長構文: IPX.057 SAP deleted type *service_type* name [*service_name*], circ *IPX_circuit* net *network ID* down

説明: 指定の IPX 回線がダウンし、その IPX 回線上に最初のホップを置くこの SAP サービスは、非活動状態に入れます。これから 60 秒間、到達不能であるとして公示された後、SAP テーブルから除去されます。ただし、同じサービスへの代替ルートが存在する場合は、60 秒以内に通知されます。

原因: このサービスに到達するために経由しているネットワークがダウンした。

処置: ネットワークをアップ状態にしてください。

IPX.058

レベル: U-TRACE

短構文: IPX.058 SAP typ *service_type* nm [*service_name*] garbage coll

長構文: IPX.058 SAP type *service_type* name [*service_name*] garbage collected

説明: このメッセージは、この 300 秒間に SAP 応答が受信されなかったため、ネットワークが SAP ルーティング・テーブルから除去された場合に生成されます。

原因: このネットワークを公示していた介在ルーターがダウンした。

IPX.059

レベル: CE-ERROR

短構文: IPX.059 SAP unreach serv typ *service_type* nm [*service_name*] at *service_net/ service_node* from *via_net/ via_node*, cir *IPX_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.059 SAP unreachable service type *service_type* name [*service_name*] at *service_net/ service_node* from *via_net/ via_node*, circ *IPX_circuit* net *network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、サービスに関する公示を受信したが、そのサービスがある IPX ネットワーク (*service_net*) へのルートが、このルーターからない場合です。この公示は無視されます。

原因: ノード *service_net/service_node* での構成エラー

処置: 構成を訂正してください。

原因: 何らかの新規サービスに関するサービス情報が、関連するルーティング情報よりも速く伝達された。

処置: *service_net* が間もなく到達可能になり、このメッセージが繰り返されなければ、何も必要ありません。

IPX.065

レベル: U-INFO

短構文: IPX.065 routing cache cleared

長構文: IPX.065 routing cache cleared

説明: おそらくルーティング・テーブルの変更が原因で、IPX ルーティング・キャッシュが消去されました。

IPX.066

レベル: U-INFO

短構文: IPX.066 routing cache garbage collecting...

長構文: IPX.066 routing cache garbage collecting...

説明: IPX ルーティング・キャッシュが無意味なデータを収集しています。これには数回のパスを要し、これが行われるのは、キャッシュがオーバーフローし始めた場合だけです。

IPX.068

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.068 no memory left for IPX local network/node cache entries

長構文: IPX.068 no memory left for IPX local network/node cache entries

説明: IPX ルーティング・ローカル・ネットワーク/ノード・キャッシュは、記憶域を入手してからでないと、新

しいローカル・ネットワークおよびそのテーブルを IPX キャッシュに追加することができません。

IPX.070

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.070 rte ovrfl, dst *destination_net*

長構文: IPX.070 route overflow, destination *destination_net*

説明: このメッセージが生成されるのは、特定のルート用の代替エントリー・スペースがすでにいっぱいのため、ルーティング・テーブルに新規の代替エントリーが記入できない場合です。

原因: あて先ネットワーク当りの最大ルート数が少な過ぎます。

処置: このプロトコルのあて先ネットワーク当りの最大ルーティング・エントリー数を増やしてください。

IPX.072

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.072 Error building IPXWAN *iw_pkttype* on cir *IPX_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.072 Error building IPXWAN *iw_pkttype* on circ *IPX_circuit* net *network ID*

説明: 要求から IPXWAN 応答が作成されました。要求がないのに応答を作成しようとしてしました。

IPX.073

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.073 Name and Node ID must be config'd before IPXWAN can operate

長構文: IPX.073 Router name and Node ID must be configured before IPXWAN can operate

説明: IPX 構成パラメーターの Name および Node ID が構成されていない場合、どの IPX 回線でも IPXWAN を操作することはできません。

IPX.076

レベル: UE-ERROR

短構文: IPX.076 IPXWAN *iw_pkttype* pkt dropped, rcv'd on cir *IPX_circuit* nt *network ID*, unsupported int type

長構文: IPX.076 IPXWAN *iw_pkttype* packet dropeed because it was received on an unsupported interface type, circ *IPX_circuit* net *network ID*

説明: IPXWAN パケットが、サポートされないインターフェース・タイプで受信されたので、廃棄されました。

IPX.077

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.077 IPXWAN *iw_pkttype* pkt dropped, rcv'd on disabled cir *IPX_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.077 IPXWAN *iw_pkttype* packet dropped - it was received on circ *IPX_circuit* net *network ID* which is disabled for IPXWAN traffic

説明: IPXWAN が使用不可に構成されている IPX 回線上で IPXWAN パケットが受信されたので、廃棄されました。

IPX.078

レベル: UE-ERROR

短構文: IPX.078 IPXWAN *iw_pkttype* pkt rejected on cir *IPX_circuit* nt *network ID*, confid id chk failed

長構文: IPX.078 IPXWAN *iw_pkttype* packet received on circ *IPX_circuit* net *network ID* was rejected due to the confidence ID check failing

説明: 信頼 ID 検査が失敗したので、IPXWAN パケットが拒否されました。

IPX.079

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.079 IPXWAN *iw_pkttype* pkt rejected on cir *IPX_circuit* nt *network ID*, non-unique node id

長構文: IPX.079 IPXWAN *iw_pkttype* packet received on circ *IPX_circuit* net *network ID* was rejected because its node id is identical to the local node id

説明: IPXWAN パケットがリジェクトされました。その中で報告されているノード ID がローカル・ノード ID と同一であったためです。

処置: 固有の値を用いて、ローカル IPX ノード ID を再構成してください。

IPX.080

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.080 No memory to build IPXWAN packet

長構文: IPX.080 Not able to get a buffer to build an IPXWAN packet

説明: IPXWAN パケットを作成するためのバッファーを入手する試みが、失敗しました。

IPX.081

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.081 Failed to send an IPXWAN *iw_pkttype* pkt on cir *IPX_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.081 An attempt to send an IPXWAN *iw_pkttype* packet on circ *IPX_circuit* net *network ID* failed

説明: IPXWAN パケットを送信する試みが失敗しました。

IPX.082

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.082 IPXWAN *iw_pkttype*, pkt rejected on cir *IPX_circuit* nt *network ID*, seq num mismatch

長構文: IPX.082 IPXWAN *iw_pkttype*, packet received on circ *IPX_circuit* net *network ID* was rejected due to a sequence number mismatch

説明: シーケンス番号が不一致のために、IPXWAN パケットが廃棄されました。

IPX.083

レベル: UE-ERROR

短構文: IPX.083 IPXWAN *iw_pkttype* rejected on cir *IPX_circuit* nt *network ID* - *opt_type* opt not accepted

長構文: IPX.083 IPXWAN *iw_pkttype* rejected on circ *IPX_circuit* net *network ID* - *opt_type* option not accepted

説明: オプションがリンクの反対側で受け入れられなかったため、IPXWAN パケットがリジェクトされました。

IPX.084

レベル: U-INFO

短構文: IPX.084 IPXWAN connection to be retried on cir *IPX_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.084 IPXWAN connection to be retried on circ *IPX_circuit* net *network ID*

説明: 以前にタイムアウトになった IPXWAN 接続を再試行します。

IPX.085

レベル: U-INFO

短構文: IPX.085 IPXWAN connection on cir *IPX_circuit* nt *network ID* timed-out

長構文: IPX.085 IPXWAN connection on circ *IPX_circuit* net *network ID* timed-out

説明: IPXWAN 接続の試行がタイムアウトになりました。

IPX.086

レベル: C-INFO

短構文: IPX.086 IPXWAN *iw_pkttype* pkt rcvd on cir *IPX_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.086 IPXWAN *iw_pkttype* packet received on circ *IPX_circuit* net *network ID*

説明: IPXWAN パケットが正常に受信され、受け入れられ、処理されました。

IPX.087

レベル: C-INFO

短構文: IPX.087 IPXWAN *iw_pkttype* pkt sent on cir *IPX_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.087 IPXWAN *iw_pkttype* packet sent on circ *IPX_circuit* net *network ID*

説明: 指定の IPX 回線で、IPXWAN パケットが正常に送信されました。

IPX.088

レベル: C-INFO

短構文: IPX.088 IPXWAN connection up on cir *IPX_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.088 IPXWAN connection has come up on circ *IPX_circuit* net *network ID*

説明: 指定の IPX 回線で、IPXWAN 接続がアップ状態になっています。

IPX.089

レベル: U-INFO

短構文: IPX.089 IPXWAN connection down on cir *IPX_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.089 IPXWAN connection has gone down on circ *IPX_circuit* net *network ID*

説明: 指定の IPX 回線で、IPXWAN 接続がダウンしています。これが起こる可能性があるのは、リンクがダウンした場合、プロトコルがリンク上でダウンした (IPXCP がダウンした) 場合、またはタイマー要求パケットを受信した場合です。

IPX.090

レベル: U-TRACE

短構文: IPX.090 SAP no server reply required for typ service_type for source_net/ source_node, cir IPX_circuit nt network ID

長構文: IPX.090 SAP no server reply required for type service_type for Query from source_net/ source_node, circ IPX_circuit net network ID

説明: ルーターが、source_net/source_node から SAP 最近隣サービス照会を受信しました。SAP データベースは、サーバーが、クライアントと同一ネットワーク上にあることを示しています。サーバーは、自分自身のために応答することが許可されています。

原因: 自分自身のために応答することができる、という資格を有するサーバーが、クライアントのネットワーク上にあります。

処置: 処置は必要ありません。

IPX.091

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.091 short NB frm source_net/ source_node, cir IPX_circuit nt network ID, ign

長構文: IPX.091 short NETBIOS frame from source_net/ source_node circ IPX_circuit net network ID, ignored

説明: NETBIOS タイプ 20 パケットは、少なくとも 62 バイトの長さでなければなりません。転送機能は、このパケットを廃棄します。

原因: 不明。

処置: なし。パケットを送信している Novell アプリケーションを修正してください。

IPX.092

レベル: U-INFO

短構文: IPX.092 Add kpalv proxy source_net/ source_node. source_socket <-> dest_net/ dest_node. dest_socket

長構文: IPX.092 Add KeepAlive proxy connection source_net/ source_node. source_socket <-> dest_net/ dest_node. dest_socket

説明: 新しい 1 対のステーションがプロキシー・キープアライブ・テーブルに追加されました。

IPX.093

レベル: U-INFO

短構文: IPX.093 Del kpalv proxy source_net/ source_node. source_socket <-> dest_net/ dest_node. dest_socket

長構文: IPX.093 Delete KeepAlive proxy connection source_net/ source_node. source_socket <-> dest_net/ dest_node. dest_socket

説明: 1 対のステーションがプロキシー・キープアライブ・テーブルから除去されました。

IPX.094

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.094 no memory for IPX kpalv proxy tbl

長構文: IPX.094 no memory for IPX KeepAlive Proxy connection table

説明: IPX キープアライブ・プロキシー初期化ルーチンが、その接続テーブルに記憶域を割り振ることができませんでした (IPX キープアライブ・プロキシー・フィーチャーは使用可能になりません)。

IPX.095

レベル: U-INFO

短構文: IPX.095 Serial pkt dropped source_net/ source_node -> dest_net/ dest_node, filt cir IPX_circuit nt network ID

長構文: IPX.095 Serial packet dropped source_net/ source_node -> dest_net/ dest_node, filtered circ IPX_circuit net network ID

説明: 出力 IPX 回線で IPX キープアライブ・フィルターが使用可能にされているので、逐次化パケットが除去されました。

IPX.096

レベル: UI-ERROR

レベル: OOM

短構文: IPX.096 No mem fr prxy kpalv req/rsp

長構文: IPX.096 No memory for proxy keepalive request or response

説明: このメッセージが生成されるのは、使用可能なバッファがなくて、IPX キープアライブ・メッセージを送信できない場合です。

IPX.097

レベル: U-INFO

短構文: IPX.097 Proxy kpalv type source_net/ source_node.
source_socket -> dest_net/ dest_node. dest_socket

長構文: IPX.097 Sent proxy keepalive type source_net/
source_node. source_socket -> dest_net/ dest_node. dest_socket

説明: このメッセージは、プロキシー・キープアライ
ブ・パケットが送信されたときに生成されます。

IPX.098

レベル: P-TRACE

短構文: IPX.098 RIP RTR flt PASS pkt frm source_net/
source_node, cir IPX_circuit nt network ID

長構文: IPX.098 RIP Router filter PASS packet from
source_net/ source_node, circ IPX_circuit net network ID

説明: RIP パケットが、指定の IPX 回線上の RIP ルー
ター・フィルタを正常に通過 (PASS) しました。 RIP
ルーター・フィルタは、メッセージに表示されてい
る、IPX パケット・ヘッダー内の source_node に基づいて
います。

IPX.099

レベル: P-TRACE

短構文: IPX.099 RIP RTR flt DROP pkt frm source_net/
source_node, cir IPX_circuit nt network ID

長構文: IPX.099 RIP Router filter DROP packet from
source_net/ source_node, circ IPX_circuit net network ID

説明: RIP パケットが、指定の IPX 回線上の RIP ルー
ター・フィルタによって除去されました。 RIP ルー
ター・フィルタは、メッセージに表示されている、IPX パ
ケット・ヘッダー内の source_node に基づいています。

IPX.100

レベル: P-TRACE

短構文: IPX.100 RIP iodir flt PASS IPX net ipx_network
, cir IPX_circuit nt network ID

長構文: IPX.100 RIP iodir filter PASS IPX network number
ipx_network, circ IPX_circuit net network ID

説明: 指定の IPX ネットワーク番号の RIP ルーティン
グ情報エントリーが、示されたフィルタ処理方向 (イン
バウンドまたはアウトバウンド) で、指定の IPX 回線上
の RIP フィルタを正常に通過 (PASS) しました。

IPX.101

レベル: P-TRACE

短構文: IPX.101 RIP iodir flt DROP net ipx_network , cir
IPX_circuit nt network ID

長構文: IPX.101 RIP iodir filter DROP network
ipx_network, circ IPX_circuit net network ID

説明: 指定の IPX ネットワーク番号の RIP ルーティン
グ情報エントリーが、示されたフィルタ処理方向 (イン
バウンドまたはアウトバウンド) で、指定の IPX 回線上
の RIP フィルタによって除去されました。

IPX.102

レベル: P-TRACE

短構文: IPX.102 SAP iodir flt PASS typ service_type nm
[service_name], service_hops hops, cir IPX_circuit nt network
ID

長構文: IPX.102 SAP iodir filter PASS type service_type
name [service_name], hops service_hops, circ IPX_circuit
net network ID

説明: 指定の IPX ネットワーク番号の SAP ルーティン
グ情報エントリーが、示されたフィルタ処理方向 (イン
バウンドまたはアウトバウンド) で、指定の IPX 回線上
の SAP フィルタを正常に通過 (PASS) しました。

IPX.103

レベル: P-TRACE

短構文: IPX.103 SAP iodir flt DROP typ service_type nm
[service_name], service_hops hops, cir IPX_circuit nt network
ID

長構文: IPX.103 SAP iodir filter DROP type service_type
name [service_name], hops service_hops, circ IPX_circuit
net network ID

説明: 指定の IPX ネットワーク番号の SAP ルーティン
グ情報エントリーが、示されたフィルタ処理方向 (イン
バウンドまたはアウトバウンド) で、指定の IPX 回線上
の SAP フィルタによって除去されました。

IPX.104

レベル: P-TRACE

短構文: IPX.104 IPX iodir flt PASS typ packet_type
source_net/ source_node. source_socket -> dest_net/ dest_node.
dest_socket, service_hops hops, cir IPX_circuit nt network ID

長構文: IPX.104 IPX iodir filter PASS type packet_type,
source_net/ source_node. source_socket -> dest_net/ dest_node.

dest_socket, service_hops hops, circ IPX_circuit net network ID

説明: IPX パケットが、示されたフィルター処理方向 (インバウンドまたはアウトバウンド) で、指定の IPX 回線上の IPX フィルターを通過 (PASS) しました。

IPX.105

レベル: P-TRACE

短構文: IPX.105 IPX *iodir* flt DROP typ *packet_type* *source_net/ source_node. source_socket -> dest_net/ dest_node. dest_socket, service_hops hops, cir IPX_circuit nt network ID*

長構文: IPX.105 IPX *iodir* filter DROP type *packet_type*, *source_net/ source_node. source_socket -> dest_net/ dest_node. dest_socket, service_hops hops, circ IPX_circuit net network ID*

説明: IPX パケットが、示されたフィルター処理方向 (インバウンドまたはアウトバウンド) で、指定の IPX 回線上の IPX フィルターによって除去されました。

IPX.106

レベル: U-INFO

短構文: IPX.106 rcvd ping *packet_type* pkt *source_net/ source_node -> destination_net/ destination_node*

長構文: IPX.106 received IPXPING *packet_type* packet from *source_net/ source_node* to *destination_net/ destination_node*

説明: このメッセージは、IPXPING パケットを受信したときに生成されます。

IPX.107

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.107 IPXWAN *iw_pkttype* pkt rcvd on cir *IPX_circuit* nt *network ID* has common net zero

長構文: IPX.107 IPXWAN *iw_pkttype* packet received on circ *IPX_circuit* net *network ID* has a common network number of zero

説明: リンク・マスターによって割り当てられた共通のネットワーク番号がゼロであることを、受信した IPXWAN パケットが示しています。このリンクで使用するよう交渉で決められたルーティング・タイプは番号制 RIP なので、ネットワーク番号は非ゼロであることが必要です。これは、リンク・マスターが非番号制 RIP を選択しており、番号制 RIP を受け入れることはできません。共通のネットワーク番号の割り当て方法がリンク・マスターに分かっていない場合に発生する可能性があります。

処置: このルーターがリンク・マスターであり、共通のネットワーク番号を割り当てることを保証するために、リモート IPX ノード ID より大きい値にローカル IPX ノード ID を再構成してください。

IPX.108

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.108 IPXWAN circ *IPX_circuit* configd on ifc *IPX_interface_number*, invalid IPX network number

長構文: IPX.108 IPXWAN circuit *IPX_circuit* attempting to be configured on interface *IPX_interface_number*, invalid IPX network number

説明: IPX が指定の IPX 回線上で使用可能になりませんでした。IPX ネットワーク番号に無効値があったためです。

原因: 無効な IPX ネットワーク番号が構成された。

処置: IPX 回線に有効な IPX ネットワーク番号を構成してください。

IPX.109

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.109 IPXWAN stat rte for cir *IPX_circuit* nt *network ID*, but stat rte glob disabled

長構文: IPX.109 IPXWAN static routing enabled on circ *IPX_circuit* net *network ID*, but static routes and services are globally disabled

説明: 静的ルートおよび静的サービスがグローバルに使用不可にされているのに、IPXWAN ルーティング・タイプが指定の IPX 回線上で静的に設定されています。

原因: 構成エラー

処置: 静的ルートおよび静的サービスをグローバルに使用可能にするか、静的以外のルーティング・タイプを使用するように IPXWAN を構成するか、いずれかです。

IPX.110

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.110 stat rte invalid on cir *IPX_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.110 Static route cannot be configured on circ *IPX_circuit* net *network ID*

説明: このタイプのインターフェースには、静的ルートは構成できません。

原因: 構成エラー

処置: このタイプのインターフェース上で静的ルートを構成しないようにします。

IPX.111

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.111 no memory left for *ipx_structure*

長構文: IPX.111 no memory left for *ipx_structure*

説明: 指示された IPX 構造を割り振るために利用可能な記憶域が不十分でした。この構造を必要とする IPX コンポーネントは使用可能にされません。

IPX.112

レベル: C_INFO

短構文: IPX.112 use IPX reset cmd to activate or reset *ipx_component*

長構文: IPX.112 use IPX reset cmd to activate or reset *ipx_component*

説明: 構成変更をアクティブにするためには、指示された IPX コンポーネントを IPX リセット・コマンドを使用してリセットする必要があります。

原因: 指示された IPX コンポーネントが、起動またはリセットされた IPX 回線上に構成された。

処置: IPX リセット・コマンドを使用して、指示された IPX コンポーネントに対して行なわれた構成変更を起動またはリセットしてください。

IPX.113

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.113 IPX cir *IPX_circuit* configd on ifc *IPX_interface_number*, ifc > nnets

長構文: IPX.113 IPX circ *IPX_circuit* configured on interface *IPX_interface_number*, interface is greater than the maximum number of interfaces

説明: 回線が構成されていると思われるインターフェースが無効です。最大インターフェース番号より大きくなっています。

原因: この原因は分かりません。

処置: 有効なインターフェース番号を使用して回線を再構成してください。

IPX.114

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.114 IPX cir *IPX_circuit* configd on ifc *IPX_interface_number*, ifc type not supported

長構文: IPX.114 IPX circ *IPX_circuit* configured on interface *IPX_interface_number*, interface type is not supported

説明: 回線が構成されていると思われるインターフェースが、IPX をサポートしないタイプのものです。

原因: インターフェース上に回線を構成した後でインターフェースのタイプが変更されて、IPX をサポートしないものになっています。

処置: 回線を、IPX をサポートするインターフェース上に構成し直すか、インターフェース・タイプを、IPX をサポートするものに構成し直すかしてください。

IPX.115

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.115 IPX cir *IPX_circuit* configd on ifc *IPX_interface_number*, too many bcast circs on ifc

長構文: IPX.115 IPX circ *IPX_circuit* configured on interface *IPX_interface_number*, too many broadcast circs on interface.

説明: 1 つのインターフェースにつき 1 つの同報通信回線しか構成できません。このインターフェースにはすでに 1 つ構成されています。

原因: この原因は分かりません。

処置: 回線を別のインターフェース上に構成し直すか、元の同報通信回線を削除するかしてください。

IPX.116

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.116 IPXWAN cir *IPX_circuit* configd on ifc *IPX_interface_number*, too many IPX circs on PPP ifc

長構文: IPX.116 IPXWAN circ *IPX_circuit* configured on interface *IPX_interface_number*, too many IPX circs on PPP interface

説明: PPP インターフェース上には、同報通信または IPXWAN 回線のどちらかが存在できます。この場合は、すでに IPXWAN 回線が定義されています。

原因: この原因は分かりません。

処置: IPXWAN 回線を別のインターフェース上に構成し直すか、元の IPXWAN 回線を削除するかしてください。

IPX.117

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.117 IPXWAN cir *IPX_circuit* configd on ifc *IPX_interface_number*, not allowed on RLAN ifc

長構文: IPX.117 IPXWAN circ *IPX_circuit* configured on

interface *IPX_interface_number*, IPXWAN not allowed on RLAN interface

説明: IPXWAN 回線が RLAN インターフェース上に構成されました。IPXWAN は、RLAN インターフェース上ではサポートされません。

原因: この原因は分かりません。

処置: 回線を非 RLAN インターフェース上に構成し直すか、回線を同報通信回線として構成してください。

IPX.118

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.118 non-PPP IPXWAN cir *IPX_circuit* configd on PPP ifc *IPX_interface_number*

長構文: IPX.118 non-PPP IPXAWN circ *IPX_circuit* configured on a PPP interface *IPX_interface_number*

説明: 回線タイプが PPP として構成された IPXWAN 回線が、非 PPP タイプのインターフェース上に構成されています。

原因: PPP タイプの IPXWAN 回線を構成した後で、基本インターフェースのデータ・タイプが非 PPP 値に変更されました。

処置: インターフェースを PPP インターフェースとして再定義するか、IPXWAN 回線タイプをインターフェースに合致するように定義し直してください。

IPX.119

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.119 non-FR IPXWAN cir *IPX_circuit* configd on FR ifc *IPX_interface_number*

長構文: IPX.119 non-FR IPXAWN circ *IPX_circuit* configured on a FR interface *IPX_interface_number*

説明: 回線タイプが FR として構成された IPXWAN 回線が、非 FR タイプのインターフェース上に構成されています。

原因: FR タイプの IPXWAN 回線を構成した後で、基本インターフェースのデータ・タイプが非 FR 値に変更されました。

処置: インターフェースを FR インターフェースとして再定義するか、IPXWAN 回線タイプをインターフェースに合致するように定義し直してください。

IPX.120

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.120 IPXWAN cir *IPX_circuit* configd on ifc *IPX_interface_number*, invalid circuit type

長構文: IPX.120 IPXWAN circ *IPX_circuit* configured on interface *IPX_interface_number*, invalid circuit type

説明: IPXWAN 回線が、無効な回線タイプ値を使用して構成されました。

原因: この原因は分かりません。

処置: 有効な回線タイプを使用して回線を再構成してください。

IPX.121

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.121 IPXWAN cir *IPX_circuit* nt *network ID*, n_cirreg failed rc: *reason_code*

長構文: IPX.121 IPXWAN circ *IPX_circuit* net *network ID*, n_cirreg failed reason code: *reason_code*

説明: IPXWAN 回線が FR 回線への登録を試みていましたが、指摘されている理由で登録に失敗しました。

原因: 記憶域がない。

処置: ルーターのダンプを取り、サービス技術員に連絡してください。

原因: 不明の回線

処置: 有効な FR 回線番号を使用して、IPXWAN 回線を再構成してください。

IPX.122

レベル: P-TRACE

短構文: IPX.122 NB brd pkt drop, cir *IPX_circuit* nt *network ID*, NB brd not enabled

長構文: IPX.122 NETBIOS broadcast packet dropped, circ *IPX_circuit* net *network ID*, NETBIOS broadcast not enabled

説明: この回線では NETBIOS 同報通信は使用不可にされているので、すべての NETBIOS 同報通信パケット (着信または発信) が廃棄されます。

第49章 インターネット・プロトコル (IP)

この章では、インターネット・プロトコル (IP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

IP.001

レベル: U-INFO

短構文: IP.001 q ovrf *source_ip_address* ->
destination_ip_address nt *network ID*

長構文: IP.001 Queue overflow on packet from
source_ip_address for *destination_ip_address* from net *network ID*

説明: このメッセージは、入力待ち行列オーバーフローのために、転送機能が IP キャッシュを介して転送されなかったパケットを廃棄しなければならない場合に生成されます。この事象は ELS ではカウントされず、IP コンソールでカウントされます。IP>COUNTERS コマンドを使用して、カウンター（各入力ネットワーク別に維持されている）を読み取ることができます。

原因: 入力待ち行列オーバーフローは、バッファが不足しているインターフェースからパケットを受信し、着信先が IP キャッシュではなく、しかも IP 待ち行列の長さが公平シェアより大きい場合に発生します。原因は、バースト状態または定常状態で、IP 転送機能の伝送能力より速くトラフィックが到着していることが考えられます。

処置: トラフィックのバーストを減らしてください。より高速なルーターにアップグレードしてください。

原因: 過度の IP ルーティング・キャッシュ・ミスにより、ほとんどの IP パケットがキャッシュ・ミス転送機能を通じています。

処置: IP キャッシュのサイズを大きくしてください。

IP.002

レベル: UE-ERROR

短構文: IP.002 not V4 hdr *version_number* nt *network ID*

長構文: IP.002 Not version 4 header (*version_number*) in packet from net *network ID*

説明: このメッセージは、パケットが間違ったバージョン番号を持っているときに生成されます。

原因: 別のバージョンの IP は実行されていないはずなので、おそらくパケットが損傷しています。

処置: 問題が引き続き起こる場合は、回線トレースを調

べて、パケットが損傷する箇所を判別してください。

IP.003

レベル: UE-ERROR

短構文: IP.003 shrt hdr *header_length* pkt ln *packet_length*
nt *network ID*

長構文: IP.003 Header too short (*header_length* bytes) in *packet_length* byte packet from net *network ID*

説明: このメッセージは、パケットの指摘されているヘッダー長が、可能な最小長より短い場合に生成されます。

原因: おそらく、パケットが損傷しています。別のノードが、正しくないヘッダーを作成している可能性があります。

処置: 問題が引き続き起こる場合は、回線トレースを調べて、パケットが損傷する箇所を判別してください。

IP.004

レベル: UE-ERROR

短構文: IP.004 bd hdr cks 0x *checksum* (exp 0x
expected_checksum) *source_ip_address* ->
destination_ip_address

長構文: IP.004 Bad header checksum 0x *checksum* (expected 0x *expected_checksum*) in packet from *source_ip_address* for *destination_ip_address*

説明: このメッセージは、パケットが無効なチェックサムを持っているときに生成されます。受信したチェックサムが、正しいチェックサムと共に表示されます。

原因: おそらく、パケットが損傷しています。別のノードが、正しくないヘッダーを作成している可能性があります。

処置: 問題が引き続き起こる場合は、回線トレースを調べて、パケットが損傷する箇所を判別してください。

IP.005

レベル: UE-ERROR

短構文: IP.005 pkt trunc *specified_length* pkt ln *true_length*
source_ip_address -> *destination_ip_address*

長構文: IP.005 Packet truncated from *specified_length* to *true_length* bytes from *source_ip_address* for *destination_ip_address*

説明: このメッセージは、ヘッダーに指定されているパケット長が、パケット・バッファ長より大きい場合に生成されます。

原因: 転送時のパケットの破壊

処置: 問題が引き続き起こる場合は、ネットワークおよびルーターを検査してください。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

IP.006

レベル: CI-ERROR

短構文: IP.006 pkt *source_ip_address* -> *destination_ip_address* dsc rsn *reason_code*, nt *Network ID*

長構文: IP.006 Packet from *source_ip_address* for *destination_ip_address* discarded for reason *reason_code*, network *Network ID*

説明: 指定のネットワークでパケットを送信しようとしたが、そのネットワークでの転送は受け入れられませんでした。 *reason_code* に、パケットが受け入れられなかった理由が示されています。理由がフロー制御の場合、ICMP 発信元抑制が送信側に送られます。それ以外の場合は、ICMP あて先到達不能が送られます。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、*network_name* を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたは不正な同報通信を回避するために、ハンドラーによって廃棄されました (理由コード 4)

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

IP.007

レベル: P-TRACE

短構文: IP.007 *source_ip_address* -> *destination_ip_address*

長構文: IP.007 Accepting packet from *source_ip_address* for *destination_ip_address*

説明: このメッセージは、第1レベル合理性検査に合格した各パケットに対して生成されます。

IP.008

レベル: U-INFO

短構文: IP.008 no rte *source_ip_address* -> *destination_ip_address* dsc

長構文: IP.008 No route for packet from *source_ip_address* for *destination_ip_address*; packet discarded

説明: このメッセージは、あて先へのルートが存在しないために、パケットが廃棄された場合に生成されます。

IP.009

レベル: CE-ERROR

短構文: IP.009 TTL zero *source_ip_address* -> *destination_ip_address*

長構文: IP.009 Time-to-live expired on packet from *source_ip_address* for *destination_ip_address*

説明: このメッセージは、活動時間が満了したためにパケットが廃棄された場合に生成されます。

原因: パケットは、発信元が IP ヘッダーの活動時間フィールドに入れた初期値よりも多くのルーターを経由しました。旧型システムの多くは 15 または 30 の値を使用していますが、これは標準に適合しておらず、現行ネットワークには小さ過ぎることがしばしばあります。

処置: 活動時間の初期値を大きくしてください。

原因: パケットはルーティング・ループに入ってしまった、活動時間が満了するまで、一連のルーターを何回も巡回しています。

処置: パケットの発信元からあて先までのルーティングを検査して、ループがないかどうかを調べてください。ただし、一部のルーティング・プロトコルでは、ルートのタイマー満了により、一時的なループは避けられません。

IP.011

レベル: C-INFO

レベル: PARAM

短構文: IP.011 *unsup mcst source_ip_address -> destination_ip_address*

長構文: IP.011 *Unsupported multicast from source_ip_address for destination_ip_address*

説明: このメッセージは、サポートされないマルチキャスト・パケットを受信した場合に生成されます。

IP.012

レベル: UE-ERROR

レベル: PARAM

短構文: IP.012 *bd nt cl source_ip_address -> destination_ip_address*

長構文: IP.012 *Bad network class from source_ip_address for destination_ip_address*

説明: このメッセージは、パケットがクラス A、B、C、または D ではないネットワークをあて先に行っている場合に生成されます。

原因: 示されている発信元ノードが、ネットワーク・クラスがサポートされないためにルーターが転送できないパケットを送信しました。

IP.013

レベル: C-INFO

レベル: PARAM

短構文: IP.013 *unsup bcst source_ip_address -> destination_ip_address*

長構文: IP.013 *Unsupported broadcast from source_ip_address for destination_ip_address*

説明: このメッセージは、サポートされない同報通信パケットを受信した場合に生成されます。

IP.017

レベル: UI-ERROR

レベル: PARAM

短構文: IP.017 *nt network_address add fail, tbl ovrf*

長構文: IP.017 *Add failed for net network_address; routing table overflow*

説明: このメッセージは、テーブルがいっぱいであるために、ネットワークをルーティング・テーブルに追加で

きない場合に生成されます。

原因: IP ルーティング・テーブルのもつ項目数が最大になっています。

処置: サブネットワーキングによって、システム管理者がテーブルのサイズを減らします。

IP.018

レベル: UI-ERROR

レベル: PARAM

短構文: IP.018 *nt network_address add fail, bd nt*

長構文: IP.018 *Add failed for net network_address; bad network number*

説明: このメッセージは、ネットワーク番号が無効であるために、ネットワークをルーティング・テーブルに追加できない場合に生成されます。

原因: ソフトウェアは、上記のネットワークを無効であるものと見なします。

処置: ネットワークが有効である場合は、サービス技術員に連絡してください。

IP.019

レベル: U-INFO

短構文: IP.019 *re-add stat rt to network*

長構文: IP.019 *Re-adding static route to net network*

説明: このメッセージは、ネットワークへの静的ルートが再び使用されるようになった場合に生成されます。

IP.020

レベル: UI-ERROR

レベル: PARAM

短構文: IP.020 *int for network add fail, dup addr*

長構文: IP.020 *Add of interface for net network failed; duplicate address*

説明: このメッセージは、アクセスが否定されたために、ネットワークをルーティング・テーブルに追加できない場合に生成されます。

原因: 同一のネットワークにアクセスするように構成されたインターフェース・アドレスが複数あります。ソフトウェアは 1 つしか認めていません。

処置: インターフェース・アドレスおよびマスクを、それぞれ唯一のネットワークを定義するように再構成してください。

IP.022

レベル: U-INFO

短構文: IP.022 add nt *net_ip_address* int *int_ip_address* nt *network ID*

長構文: IP.022 Added network *net_ip_address* to interface *int_ip_address* on net *network ID*

説明: このメッセージは、新しい直接接続ネットワークがルーティング・テーブルに追加された場合に生成されます。

IP.024

レベル: CE-ERROR

短構文: IP.024 ign stat rt to *network*, mask *mask*

長構文: IP.024 Ignoring bad static route/filter to *network*, mask *mask*

説明: このメッセージは、無効な静的ルートまたは IP フィルターが検出された場合に生成されます。

IP.025

レベル: U-INFO

短構文: IP.025 add nt *network* rt via *network* nt *network ID*

長構文: IP.025 Added network *network* with route via *network* on net *network ID*

説明: このメッセージは、新しい間接接続ネットワークがルーティング・テーブルに追加された場合に生成されます。

IP.031

レベル: ALWAYS

短構文: IP.031 Unnum addr rej, nt *network ID*

長構文: IP.031 Unnumbered address rejected, net *network ID*

説明: インターフェースを非番号制として構成しようとしたのですが、インターフェースがシリアル・ラインでないか、インターフェースにすでに IP アドレスが割り当てられているかのいずれかです。非番号制の構成要求は無視されます。

IP.032

レベル: CI-ERROR

短構文: IP.032 fq ovf *source_ip_address* -> *destination_ip_address* nt *network ID*

長構文: IP.032 Fragment queue overflow from *source_ip_address* for *destination_ip_address* on net *network ID*

説明: このメッセージは、断片待ち行列のオーバーフローのために、着信断片が廃棄された場合に生成されます。

IP.033

レベル: CE-ERROR

短構文: IP.033 cant frg *source_ip_address* -> *destination_ip_address* nt *network ID*

長構文: IP.033 Cannot fragment packet from *source_ip_address* for *destination_ip_address* net *network ID*

説明: このメッセージは、発信パケットを断片化する必要があるのに、“don't fragment” ビットがセットされている場合に生成されます。

IP.034

レベル: CE-ERROR

短構文: IP.034 bd frg *source_ip_address* -> *destination_ip_address* foff *offset*

長構文: IP.034 Bad fragment from *source_ip_address* for *destination_ip_address* with fragment offset *offset*

説明: このメッセージは、発信パケットの断片オフセットの長さが無効である場合に生成されます。

IP.035

レベル: CI-ERROR

短構文: IP.035 cant alloc for frg nt *network ID*

長構文: IP.035 Cannot allocate buffer for fragment for net *network ID*

説明: このメッセージは、パケットを断片化するために利用可能なバッファがない場合に生成されます。

IP.036

レベル: P-TRACE

短構文: IP.036 rcv pkt prt *protocol* frm *source_ip_address*

長構文: IP.036 Received packet for protocol *protocol* from *source_ip_address*

説明: このメッセージは、ルーターあてに各パケットが送信されるたびに生成されます。

IP.037

レベル: C-TRACE

短構文: IP.037 brd pkt *source_ip_address* ->
destination_ip_address prot *protocol* no srvr

長構文: IP.037 Broadcast packet from *source_ip_address*,
for *destination_ip_address*, protocol *protocol*; no server

説明: このメッセージは、不明のプロトコルの同報通信
パケットが到着した場合に生成されます。

IP.038

レベル: U-INFO

短構文: IP.038 pkt *source_ip_address* ->
destination_ip_address prt *protocol* no srvr

長構文: IP.038 Packet from *source_ip_address*, for
destination_ip_address, protocol *protocol*; no server

説明: このメッセージは、不明のプロトコルのパケット
が到着した場合に生成されます。パケットはルーターに
送信されました。

IP.042

レベル: CE-ERROR

短構文: IP.042 illgl ARP sbnt req *source_ip_address* ->
destination_ip_address

長構文: IP.042 Illegal ARP subnet request in packet from
source_ip_address for *destination_ip_address*

説明: このメッセージは、ARP パケットの発信元または
あて先 IP アドレスが無効であるために、ARP サブネッ
ト要求が受け入れられなかった場合に生成されます。

原因: 要求されたサブネットへのルートがありません。

処置: サブネットが到達不能である理由を調べてくださ
い。

原因: 要求のあて先が、発信元アドレスと異なる IP ネ
ットワークになっています。

処置: ARP サブネット・ルーティングは、ホストのネッ
トワークのサブネットに対してのみ行われます。ホスト
のルーティング・コードを訂正してください。

原因: IP ネットワークがサブネット化されていません。

処置: ARP サブネット・ルーティングは、サブネットで
のみサポートされます。

IP.043

レベル: P-TRACE

短構文: IP.043 rcvd ARP sbnt rqst *source_ip_address* ->
destination_ip_address

長構文: IP.043 Received ARP subnet route request from
source_ip_address for *destination_ip_address*

説明: このメッセージは、ARP サブネット要求を受信し
た場合に生成されます。

IP.044

レベル: C-TRACE

短構文: IP.044 ARP sbnt rqst ign *source_ip_address* ->
destination_ip_address

長構文: IP.044 ARP subnet request ignored from
source_ip_address for *destination_ip_address*

説明: このメッセージは、あて先サブネットへのルート
が発信元と同じ物理ネットワーク上の別のルーターを経
由しているために、ARP サブネット要求が応答されない
場合に生成されます。

原因: ARP サブネット・ルーティング・コードは、この
ルーターがあて先サブネットへの最良のルートである場
合にのみ応答します。

処置: 最良ルーターが ARP サブネット要求に応答する
ようにしなければなりません。

IP.045

レベル: C-INFO

短構文: IP.045 snt ARP rte *source_ip_address* ->
destination_ip_address

長構文: IP.045 Sent ARP route from *source_ip_address* for
destination_ip_address

説明: このメッセージは、ARP サブネット要求が応答さ
れる場合に生成されます。

IP.046

レベル: C-INFO

短構文: IP.046 unkn opt *option* frm *source_ip_address*

長構文: IP.046 Unknown option *option* from
source_ip_address

説明: このメッセージは、パケットの IP ヘッダーに不
明のオプションが指定されている場合に生成されます。

IP.047

レベル: UE-ERROR

短構文: IP.047 opt option bd fmt frm source_ip_address

長構文: IP.047 Bad format for option option from source_ip_address

説明: このメッセージは、IP ヘッダー内のオプションが正しく形式設定されていない場合に生成されます。

IP.048

レベル: UE-ERROR

短構文: IP.048 strict src rt bd nxt hop source_ip_address -> destination_ip_address

長構文: IP.048 Bad next hop in strict source route from source_ip_address for destination_ip_address

説明: このメッセージは、厳密ソース・ルートに指定されているネクスト・ホップが無効である場合に生成されます。

IP.049

レベル: UE-ERROR

短構文: IP.049 bd tmstmp fmt timestamp frm source_ip_address

長構文: IP.049 Bad timestamp format timestamp from source_ip_address

説明: このメッセージは、時刻スタンプ・オプションの形式が無効である場合に生成されます。

IP.050

レベル: CE-ERROR

短構文: IP.050 tmstmp ovrf, source_ip_address -> destination_ip_address

長構文: IP.050 Timestamp list overflow in packet from source_ip_address for destination_ip_address

説明: このメッセージは、時刻スタンプ・リストがいっぱいであるために、新しい時刻スタンプを追加できない場合に生成されます。

IP.051

レベル: UI-ERROR

短構文: IP.051 rs ovfl, port port_number frm source_ip_address

長構文: IP.051 Too many re-assembly buffers active; port port_number from source_ip_address

説明: このメッセージは、新しいパケットの再組み立てが必要であるが、最大数の再組み立てバッファがすでに割り当てられている場合に生成されます。

原因: 断片化されたデータグラムの再組み立てを、ソフトウェアが同時に処理可能な数を超えて処理しようとしています。これは、時折発生する場合は許されます。

処置: これが頻繁に発生する場合は、MSS を発信元で変更して断片化を軽減することを試みるか、サービス技術員に連絡してください。

IP.052

レベル: UI-ERROR

レベル: OOM

短構文: IP.052 no stor for rs, port port_number frm source_ip_address

長構文: IP.052 Insufficient storage for packet re-assembly; port port_number from source_ip_address

説明: このメッセージは、新しいパケットの再組み立てが必要であるが、再組み立てバッファを割り振るための十分な記憶域がない場合に生成されます。

原因: この構成およびトラフィックをサポートできる十分な記憶域がありません。

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。メモリーをアップグレードして増やすか、不要な転送機能/プロトコルを使用不可にして、記憶域を獲得してください。

IP.053

レベル: UE-ERROR

短構文: IP.053 reas pkt too big (packet_size byt), port port_number frm source_ip_address

長構文: IP.053 Re-assembled packet too large (packet_size bytes); port port_number from source_ip_address

説明: このメッセージは、新しいパケットの再組み立てが必要であるが、再組み立てバッファの最大サイズを超えている場合に生成されます。 packet_size は、この断片を追加した後のパケットの大きさであり、この後さらに断片が続く場合もあります。

IP.054

レベル: U-INFO

短構文: IP.054 rs TTL exp, port port_number frm source_ip_address

長構文: IP.054 Re-assembly TTL expired; port port_number from source_ip_address

説明: このメッセージは、再組み立てされているパケットの活動時間が満了したときに生成されます。

IP.055

レベル: P-TRACE

短構文: IP.055 rs free, port *port_number* frm *source_ip_address*

長構文: IP.055 Re-assembly buffer free; port *port_number* from *source_ip_address*

説明: このメッセージは、再組み立てバッファが割り振り解除された場合に生成されます。

IP.056

レベル: U-INFO

短構文: IP.056 add dflt nt gw *ip_address* nt *network ID*

長構文: IP.056 Added default gateway *ip_address* net *network ID*

説明: このメッセージは、省略時ゲートウェイを使用するインターフェースがアップ状態になった場合に生成されます。

IP.057

レベル: U-INFO

短構文: IP.057 del dflt nt gw *ip_address*

長構文: IP.057 Deleted default gateway *ip_address*

説明: このメッセージは、省略時ゲートウェイが削除された場合に生成されます。

IP.058

レベル: U-INFO

短構文: IP.058 del nt *network* rt via *gateway* nt *network ID*

長構文: IP.058 Deleted net *network* route via *gateway* net *network ID*

説明: このメッセージは、ネットワークがダウンした場合に生成されます。

IP.059

レベル: U-INFO

短構文: IP.059 sbnt *network* dfnd

長構文: IP.059 Subnet *network* defined

説明: このメッセージは、新しいサブネット化ネットワークが定義された場合に生成されます。

IP.060

レベル: U-INFO

短構文: IP.060 del sbntd nt *network*

長構文: IP.060 Deleting subnetted *network network*

説明: このメッセージは、サブネット化ネットワークが削除された場合に生成されます。削除されるのは、そのネットワークへのインターフェースがなくなったときです。

IP.061

レベル: C-TRACE

短構文: IP.061 add lcl pkt to ip op q

長構文: IP.061 Added locally generated packet to IP output queue

説明: このメッセージは、ローカル生成パケットが IP 出力待ち行列に入れられるたびに生成されます。

IP.062

レベル: C-TRACE

短構文: IP.062 rcvd ip frg frm *source_ip_address*

長構文: IP.062 Received IP fragment from *source_ip_address*

説明: このメッセージは、再組み立てが必要な IP 断片を受信した場合に生成されます。

IP.063

レベル: C-TRACE

短構文: IP.063 rasmd pkt frm *source_ip_address*

長構文: IP.063 Successfully re-assembled packet from *source_ip_address*

説明: このメッセージは、IP パケットが正常に再組み立てされた場合に生成されます。

IP.064

レベル: C-TRACE

短構文: IP.064 frg pkt *source_ip_address* -> *destination_ip_address*

長構文: IP.064 Packet from *source_ip_address* for *destination_ip_address* requires fragmentation

説明: このメッセージは、伝送するために IP パケットを断片化する必要がある場合に生成されます。

IP.065

レベル: C-TRACE

短構文: IP.065 add frg to op frg q *source_ip_address* -> *destination_ip_address*

長構文: IP.065 Added fragment to output fragment queue from *source_ip_address* for *destination_ip_address*

説明: このメッセージは、IP パケットの断片が出力断片待ち行列に入れられた場合に生成されます。

IP.066

レベル: P-TRACE

短構文: IP.066 dsc pkt *source_ip_address* -> *destination_ip_address* nt *Network ID* no IP on int

長構文: IP.066 Discarded packet from *source_ip_address* for *destination_ip_address* net *Network ID*, no IP on interface

説明: このメッセージは、IP が使用可能にされていないインターフェースでパケットが受信されるたびに、スタブ IP 転送機能によって生成されます。

IP.067

レベル: UE-ERROR

短構文: IP.067 RIPv1 subnet mismatch *interface_ip_address/ interface_ip_mask* vs *interface_ip_address/ interface_ip_mask*

長構文: IP.067 RIP version 1 subnets with different masks for interface *interface_ip_address/ interface_ip_mask* and *interface_ip_address/ interface_ip_mask*

説明: 同一のネットワーク上に可変長サブネット・マスクを指定して、ルーターが構成されています。RIP バージョン 1 では、この構成を用いてこれらのサブネットを公示しません。

IP.068

レベル: U-INFO

短構文: IP.068 routing cache cleared

長構文: IP.068 routing cache cleared

説明: IP ルーティング・キャッシュがクリアされています。ルーティング・テーブルの変更の結果であろうと思われます。

IP.069

レベル: U-INFO

短構文: IP.069 routing cache garbage collecting...

長構文: IP.069 routing cache garbage collecting...

説明: IP ルーティング・キャッシュが無意味なデータを収集しています。これには数回のバスを要し、これが行われるのは、キャッシュがオーバーフローし始めた場合だけです。

IP.070

レベル: U-INFO

短構文: IP.070 cache entry *ip_destination* cleared

長構文: IP.070 routing cache entry for destination *ip_destination* cleared

説明: リストされているあて先に関する IP ルーティング・キャッシュ項目がクリアされました。

IP.072

レベル: UE-ERROR

短構文: IP.072 LL broadcast *source_ip_address* -> *destination_ip_address*, discarded

長構文: IP.072 Received link level broadcast from *source_ip_address* for *destination_ip_address*, discarded

説明: このメッセージが生成されるのは、リンク・レベルの同報通信/マルチキャストとして受信した IP パケットの送信を試みた場合です。そのようなパケットは送信されることなく、ICMP メッセージを発信元に送り返すことさえしないで、廃棄されます。

IP.073

レベル: UI-ERROR

短構文: IP.073 can't copy *source_ip_address* -> *destination_ip_address*, discarded

長構文: IP.073 Can't copy packet from *source_ip_address* for *destination_ip_address*, discarded

説明: このメッセージは、ルーターの内部アプリケーションの 1 つへのパケットをコピーしようとしたが(たとえば、マルチキャスト転送時)、ルーターがバッファを入手できない場合に生成されます。要求されたサービスは失敗します。

原因: この構成およびトラフィックをサポートできる十分な記憶域がありません。

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。メモリーをアップグレードして増やすか、不要な転送機能/プロトコルを使用不可にして、記憶域を獲得してください。

IP.078

レベル: C-TRACE

短構文: IP.078 AcCtl miss drop: *source_ip_address* -> *destination_ip_address*, *tos tos_byte*, *prot protocol*, *net networkID*: *direction*

長構文: IP.078 Access control miss dropped, packet from *source_ip_address* to *destination_ip_address*, *tos tos_byte*, *protocol number protocol*, *net networkID*, *direction direction*

説明: このメッセージは、IP パケットがアクセス制御レコードのどれとも合致しない場合に生成されます。パケットは廃棄されます。

IP.079

レベル: C-TRACE

短構文: IP.079 AcCtl miss drop: *source_ip_address* -> *destination_ip_address*, *tos tos_byte*, *protocol port source_port* -> *destination_port*, *net networkID*: *direction*

長構文: IP.079 Access control miss dropped, packet from *source_ip_address* to *destination_ip_address*, *tos tos_byte*, *protocol port number source_port* to *destination_port*, *net networkID*, *direction direction*

説明: このメッセージは、IP パケットがアクセス制御レコードのどれとも合致しない場合に生成されます。パケットは廃棄されます。

IP.080

レベル: U-TRACE

短構文: IP.080 new router *router_address*

長構文: IP.080 new router *router_address* has been discovered

説明: 静的構成、ICMP 着信転送、RIP または ICMP のルーター探索のいずれかにより、新しいルーターが発見されました。このメッセージは、IP ホストとして作動している場合 (すなわち、IP ルーティングが使用不可にされている場合) にのみ生成されます。

IP.081

レベル: UE-ERROR

短構文: IP.081 IP ds nt rn on *nettype/ n_net*

長構文: IP.081 IP protocol does not run over *nettype/ n_net*

説明: IP アドレスが、現在 IP をサポートしていないネットワーク・タイプに対して構成されました。

IP.082

レベル: UE-ERROR

短構文: IP.082 shrt pkt ln *packet_length*, *source_ip_address* -> *destination_ip_address*

長構文: IP.082 IP length of *packet_length* in packet from *source_ip_address* -> *destination_ip_address* is too short

説明: このメッセージは、パケットの指摘されている長さが、可能な最小長より短い場合に生成されます。パケットは廃棄されます。

原因: 最も考えられる原因は、発信元によってこのパケットが正しく形式設定されていないことです。

IP.083

レベル: C-TRACE

短構文: IP.083 AcCtl # *record_number* drop: *cache_status*, *source_ip_address* -> *destination_ip_address*, *tos tos_byte*, *prot protocol_number*, *net networkID*: *direction*

長構文: IP.083 Access control number *record_number* dropped, *cache_status*, packet from *source_ip_address* to *destination_ip_address*, *tos tos_byte*, IP protocol number *protocol_number*, *net networkID*, *direction direction*

説明: このメッセージは、IP パケットが排他的アクセス制御項目の 1 つに合致している場合に生成されます。パケットは廃棄されます。 *record_number* は、合致したアクセス制御レコードの番号、またはレコードがない場合 (リストの終わり) はゼロです。 *cache_status* は、"cache-hit" または "cache-miss" です。

IP.084

レベル: C-TRACE

短構文: IP.084 AcCtl # *record_number* pass: *cache_status*, *source_ip_address* -> *destination_ip_address*, *tos tos_byte*, *prot protocol_number*, *net networkID*: *direction*

長構文: IP.084 Access control number *record_number* passed, *cache_status*, packet from *source_ip_address* to *destination_ip_address*, *tos tos_byte*, IP protocol number *protocol_number*, *net networkID*, *direction direction*

説明: このメッセージは、IP パケットが包括的アクセス制御項目の 1 つに合致している場合に生成されます。パケットはおそらく転送されます。 *record_number* は、合致したアクセス制御レコードの番号です。 *cache_status* は、"cache-hit" または "cache-miss" です。

IP.085

レベル: C-TRACE

短構文: IP.085 AcCtl # *record_number* drop: *cache_status*, *source_ip_address* -> *destination_ip_address*, *tos tos_byte*, *protocol* port *source_port* -> *destination_port*, net *networkID*: *direction*

長構文: IP.085 Access control number *record_number* dropped, *cache_status*, packet from *source_ip_address* to *destination_ip_address*, *tos tos_byte*, *protocol* port number *source_port* to *destination_port*, net *networkID*, *direction direction*

説明: このメッセージは、IP パケットが TCP または UDP 排他的アクセス制御項目の 1 つに合致している場合に生成されます。パケットは廃棄されます。*record_number* は、合致したアクセス制御レコードの番号、またはレコードがない場合 (リストの終わり) はゼロです。*cache_status* は、"cache-hit" または "cache-miss" です。

IP.086

レベル: C-TRACE

短構文: IP.086 AcCtl # *record_number* pass: *cache_status*, *source_ip_address* -> *destination_ip_address*, *tos tos_byte*, *protocol* port *source_port* -> *destination_port*, net *networkID*: *direction*

長構文: IP.086 Access control number *record_number* passed, *cache_status*, packet from *source_ip_address* to *destination_ip_address*, *tos tos_byte*, *protocol* port number *source_port* to *destination_port*, net *networkID*, *direction direction*

説明: このメッセージは、IP パケットが TCP または UDP 包括的アクセス制御項目の 1 つに合致している場合に生成されます。パケットはおそらく転送されます。*record_number* は、合致したアクセス制御レコードの番号です。*cache_status* は、"cache-hit" または "cache-miss" です。

IP.087

レベル: U-INFO

短構文: IP.087 Host svcs not instld; no IP addr

長構文: IP.087 Host services is not installed as there is no IP address

説明: このメッセージは、ホスト・サービスが使用可能になっているときに生成されますが、IP アドレスが構成されていないか、あるいはゼロです。

IP.088

レベル: INFO

短構文: IP.088 Autocnfg IP addr for host svcs

長構文: IP.088 IP host address, and default gateway are being autoconfigured

説明: このメッセージは、ホスト・サービスが使用可能になっているときに生成されますが、IP アドレスが構成されていないか、あるいはゼロです。IP アドレスと省略時解釈ゲートウェイ (構成済みでない場合) は、以前のブート情報があれば、その情報から自動構成されます。

IP.089

レベル: C-TRACE

短構文: IP.089 AcCtl # *rule_number rule_type*: *source_ip_address* -> *destination_ip_address*, *tos tos_byte*, *protocol_name* port *source_port_number* -> *destination_port_number*, frg *fragment_offset* *more_fragments*, net *networkID*: *direction* (SYSLOG *syslog_level*)

長構文: IP.089 Access control number *rule_number* type *rule_type*, matched packet from *source_ip_address* to *destination_ip_address*, *tos tos_byte*, *protocol_name* port number *source_port_number* to *destination_port_number*, fragment *fragment_offset* *more_fragments*, net *networkID*, *direction direction* (SYSLOG *level syslog_level*)

説明: IP パケット (プロトコル TCP または UDP) は、SYSLOG 長形式ログが使用可能にされているアクセス制御規則に合致しました。規則のタイプに応じて、パケットは転送または廃棄されます。

IP.090

レベル: C-TRACE

短構文: IP.090 AcCtl # *rule_number rule_type*: *source_ip_address* -> *destination_ip_address*, *tos tos_byte*, *prot protocol_number*, frg *fragment_offset* *more_fragments*, net *networkID*: *direction* (SYSLOG *syslog_level*)

長構文: IP.090 Access control number *rule_number* type *rule_type*, matched packet from *source_ip_address* to *destination_ip_address*, *tos tos_byte*, *protocol* number *protocol_number*, fragment *fragment_offset* *more_fragments*, net *networkID*, *direction direction* (SYSLOG *level syslog_level*)

説明: IP パケット (プロトコル TCP または UDP でない) は、SYSLOG 長形式ログが使用可能にされているアクセス制御規則に合致しました。規則のタイプに応じて、パケットは転送または廃棄されます。

IP.091

レベル: C-TRACE

短構文: IP.091 AcCtl # *rule_number rule_type*: *source_ip_address* -> *destination_ip_address*, tos *tos_byte*, prot *protocol_number* (SYSLOG *syslog_level*)

長構文: IP.091 Access control number *rule_number* type *rule_type*, matched packet from *source_ip_address* to *destination_ip_address*, tos *tos_byte*, protocol number *protocol_number* (SYSLOG level *syslog_level*)

説明: IP パケットは、SYSLOG 短形式ログが使用可能にされているアクセス制御規則に合致しました。規則のタイプに応じて、パケットは転送または廃棄されます。

IP.092

レベル: C-TRACE

短構文: IP.092 AcCtl # *rule_number* pass: *source_ip_address* -> *destination_ip_address*, tos *tos_byte*, prot *protocol_number* *protocol_name*, frg *fragment_offset* *more_fragments*, net *networkID*: *direction*

長構文: IP.092 Access control number *rule_number* action pass, matched packet from *source_ip_address* to *destination_ip_address*, tos *tos_byte*, protocol number *protocol_number* *protocol_name*, fragment offset *fragment_offset* *more_fragments*, net *networkID*, direction *direction*

説明: IP パケットは、SNMP ログが使用可能にされている包括的アクセス制御規則に合致しました。パケットは転送されます。

IP.093

レベル: C-TRACE

短構文: IP.093 AcCtl # *rule_number* drop: *source_ip_address* -> *destination_ip_address*, tos *tos_byte*, prot *protocol_number* *protocol_name*, frg *fragment_offset* *more_fragments*, net *networkID*: *direction*

長構文: IP.093 Access control number *rule_number* action drop, matched packet from *source_ip_address* to *destination_ip_address*, tos *tos_byte*, protocol number *protocol_number* *protocol_name*, fragment offset *fragment_offset* *more_fragments*, net *networkID*, direction *direction*

説明: IP パケットが、SNMP ログが使用可能にされている排他的アクセス制御規則に合致しました。パケットは廃棄されます。

IP.094

レベル: UI-ERROR

短構文: IP.094 Add appl prot *protocol_number* port *local_port* adr *local_ip_address* adp *adapter_number* conflicts adp *adapter_number*

長構文: IP.094 Add application protocol *protocol_number* local port *local_port* local IP address *local_ip_address* on adapter *adapter_number* conflicts with application on adapter *adapter_number*

説明: 最初に指定されたアダプターに指定の IP プロトコル番号、ローカル TCP または UDP ポート番号、およびローカル IP アドレスを使用するアプリケーションを追加しようという試みが、2 番目に指定されたアダプター上の同じパラメーターを使用するアプリケーションと競合しています。アプリケーションは、2 番目に指定されたアダプター上に残ります。

原因: ソフトウェア・エラー

処置: サービス技術員に連絡してください。

IP.095

レベル: UI-ERROR

短構文: IP.095 Add appl prot *protocol_number* port *local_port* adr *local_ip_address* adp *adapter_number* replaces adp *adapter_number*

長構文: IP.095 Add application protocol *protocol_number* local port *local_port* local IP address *local_ip_address* on adapter *adapter_number* replaces application on adapter *adapter_number*

説明: 最初に指定されたアダプターに指定の IP プロトコル番号、ローカル TCP または UDP ポート番号、およびローカル IP アドレスを使用するアプリケーションを追加しようという試みが、2 番目に指定されたアダプター上の同じパラメーターを使用するアプリケーションと競合しています。最初に指定されたアダプター上のアプリケーションが取って代わっています。

原因: ソフトウェア・エラー

処置: サービス技術員に連絡してください。

IP.096

レベル: UI-ERROR

短構文: IP.096 Del appl prot *protocol_number* port *local_port* adr *local_ip_address* adp *adapter_number* conflicts adp *adapter_number*

長構文: IP.096 Delete application protocol *protocol_number* local port *local_port* local IP address *local_ip_address* from

adapter *adapter_number* conflicts with application on adapter *adapter_number*

説明: 最初に指定されたアダプターから指定の IP プロトコル番号、ローカル TCP または UDP ポート番号、およびローカル IP アドレスを使用するアプリケーションを削除しようという試みが、2 番目に指定されたアダプター上の同じパラメーターを使用するアプリケーションと競合しています。アプリケーションは、2 番目に指定されたアダプター上に残ります。

原因: ソフトウェア・エラー

処置: サービス技術員に連絡してください。

IP.097

レベル: U-TRACE

短構文: IP.097 Route *destination_ip_address/ mask status*

長構文: IP.097 Route for *destination_ip_address* with mask *mask status*

説明: ルートは、IP ルート・テーブルからフィルターされたか、またはルート・テーブル・フィルター・ポリシーのせいで、隠れたルートとしてインストールされました。

IP.098

レベル: ALWAYS

短構文: IP.098 Route filter *destination_ip_address/ mask/ mask_definition/ exclude_include* not added due to *problem*

長構文: IP.098 The route filter for Dest: *destination_ip_address* mask: *mask* Designation: *mask_definition* and policy: *exclude_include* not added due to *problem*.

説明: ルート・テーブル・フィルターは追加できませんでした。

原因: 重複ルート・テーブル・フィルターであるか、ルート・テーブル・フィルター用として記憶域を割り振ることができなかったか、いずれかです。

処置: 十分な記憶域を確保して、ルート・フィルター・ポリシーをインストールできるようにします。

IP.099

レベル: U-TRACE

短構文: IP.099 Dropped src rt pkt *source_ip_address -> destination_ip_address*

長構文: IP.099 Dropped source routed packet from *source_ip_address* to *destination_ip_address*

説明: パケットがソース・ルート IP オプションを持つ

ていますが、ユーザーが IP ソース・ルーティングを使用不可にしているため、転送機能がパケットを廃棄しました。

IP.101

レベル: C-TRACE

短構文: IP.101 Frg offset chk drop, *source_ip_address -> destination_ip_address*, net *networkID*

長構文: IP.101 Fragment offset check dropped packet from *source_ip_address* to *destination_ip_address*, received from net *networkID*

説明: IP パケット (プロトコル TCP) は、断片オフセットが 1 であるために廃棄されました。

IP.102

レベル: C-TRACE

短構文: IP.102 Src adr chk drop, *source_ip_address -> destination_ip_address*, prot *protocol_number*, net *networkID*

長構文: IP.102 Source address check dropped packet from *source_ip_address* to *destination_ip_address*, protocol number *protocol_number*, received from net *networkID*

説明: ルーターは、受信したパケットの発信元 IP アドレスに達するためにパケットを送信するのに使用しないネットワーク・インターフェースから受信したために、IP パケットを廃棄しました。

IP.103

レベル: C-TRACE

短構文: IP.103 Rcrd Rt opt drop, *source_ip_address -> destination_ip_address*

長構文: IP.103 Packet with record route option dropped, from *source_ip_address* to *destination_ip_address*

説明: レコード・ルート・オプションを含んでいるパケットの転送が使用不可にされているために、レコード・ルート・オプションを含んでいる IP パケットが廃棄されました。

IP.104

レベル: C-TRACE

短構文: IP.104 Tmstmp opt drop, *source_ip_address -> destination_ip_address*

長構文: IP.104 Packet with timestamp option dropped, from *source_ip_address* to *destination_ip_address*

説明: タイム・スタンプ・オプションを含んでいるパケ

ットの転送が使用不可にされているために、タイム・スタンプ・オプションを含んでいる IP パケットが廃棄されました。

IP.105

レベル: C-TRACE

短構文: IP.105 AcCtl # *rule_number rule_type:*
source_ip_address -> destination_ip_address, tos tos_byte,
protocol_name port source_port_number ->
destination_port_number, frg fragment_offset more_fragments,
net networkID: direction

長構文: IP.105 Access control number *rule_number type*
rule_type, matched packet from source_ip_address to
destination_ip_address, tos tos_byte, protocol_name port
number source_port_number to destination_port_number,
fragment fragment_offset more_fragments, net networkID,
direction direction

説明: IP パケット (プロトコル TCP または UDP) は、ELS 長形式ログが使用可能にされているアクセス制御規則に合致しました。規則のタイプに応じて、パケットは転送または廃棄されます。

IP.106

レベル: C-TRACE

短構文: IP.106 AcCtl # *rule_number rule_type:*
source_ip_address -> destination_ip_address, tos tos_byte, prot
protocol_number, frg fragment_offset more_fragments, net
networkID: direction

長構文: IP.106 Access control number *rule_number type*
rule_type, matched packet from source_ip_address to
destination_ip_address, tos tos_byte, protocol number
protocol_number, fragment fragment_offset more_fragments,
net networkID, direction direction

説明: IP パケット (プロトコル TCP または UDP でない) は、ELS 長形式ログが使用可能にされているアクセス制御規則に合致しました。規則のタイプに応じて、パケットは転送または廃棄されます。

IP.107

レベル: C-TRACE

短構文: IP.107 AcCtl # *rule_number rule_type:*
source_ip_address -> destination_ip_address, tos tos_byte, prot
protocol_number

長構文: IP.107 Access control number *rule_number type*
rule_type, matched packet from source_ip_address to
destination_ip_address, tos tos_byte, protocol number
protocol_number

説明: IP パケットは、ELS 短形式ログが使用可能にされているアクセス制御規則に合致しました。規則のタイプに応じて、パケットは転送または廃棄されます。

IP.108

レベル: C-TRACE

短構文: IP.108 AcCtl miss frg *action: source_ip_address*
-> destination_ip_address, tos tos_byte, prot protocol, frg
fragment_offset more_fragments, net networkID: direction

長構文: IP.108 Access control miss fragment *action, from*
source_ip_address to destination_ip_address, tos tos_byte,
protocol number protocol, fragment fragment_offset
more_fragments, net networkID, direction direction

説明: IP 断片は、どのアクセス制御規則にも合致しませんでした。パケットは廃棄されるか、後で処理するために保管されます。

IP.109

レベル: P-TRACE

短構文: IP.109 Pkt drop/held by *function, source_ip_address*
-> destination_ip_address, dir direction

長構文: IP.109 Packet dropped or held by *function, packet*
from source_ip_address to destination_ip_address, direction
direction

説明: このメッセージは、アクセス制御がパケットを変換する必要があることを示しており、変換機能の NAT がそのパケットを廃棄または保持する場合に生成されます。

IP.110

レベル: U-INFO

短構文: IP.110 *packet_filter_name* AcCtl # *rule_number*
changed: change_description

長構文: IP.110 *packet_filter_name* access control number
rule_number changed at installation: change_description

説明: アクセス制御規則の導入時に、規則に矛盾が検出され、その矛盾を解決するために規則の一部が変更されました。

処置: アクセス制御規則を再構成して、矛盾を訂正してください。

IP.111

レベル: C-INFO

短構文: IP.111 *common_event: id=x ip_id src=*
source_ip_address

長構文: IP.111 *common_event*: id=x *ip_id* src=
source_ip_address

説明: このメッセージは、正常な事象が発生したときに、断片キャッシュ処理によって生成されます。

IP.112

レベル: C-INFO

短構文: IP.112 *common_event* for frg *fragment_offset*
more_fragments: id=x *ip_id* src= *source_ip_address*

長構文: IP.112 *common_event* for frg *fragment_offset*
more_fragments: id=x *ip_id* src= *source_ip_address*

説明: このメッセージは、正常な事象が発生したときに、断片キャッシュ処理によって生成されます。

IP.113

レベル: U-INFO

短構文: IP.113 *unusual_event*: id=x *ip_id* src=
source_ip_address

長構文: IP.113 *unusual_event*: id=x *ip_id* src=
source_ip_address

説明: このメッセージは、異常な事象が発生したときに、断片キャッシュ処理によって生成されます。

IP.114

レベル: UI-ERROR

短構文: IP.114 *error_event*: id=x *ip_id* src=
source_ip_address

長構文: IP.114 *error_event*: id=x *ip_id* src=
source_ip_address

説明: このメッセージは、エラー事象が発生したときに、断片キャッシュ処理によって生成されます。

IP.115

レベル: U-INFO

短構文: IP.115 nt *network* int *change/unchanged/* *old-mtu*
mtu new-mtu from to

長構文: IP.115 Network *network* interface *change/unchanged/*
old-mtu MTU new-mtu from to

説明: このメッセージは、ネットワークのアップ処理時に IP *mtu* が変更されたときに出されます。レイヤー 2 MTU が構成された IP より小さい場合は、変更されません。

Panic *ininitnomem*

短構文: IP: no mem for init

説明: ルーターが IP 初期化中に記憶域不足になりました。

処置: 記憶域を追加するか、あるいは再構成して記憶域の使用量を減らしてください (たとえば、IP ルーティング・テーブルのサイズを小さくしたり、IP アドレスの数を減らします)。

第50章 次世代インターネット・プロトコル (IP V6)

この章では、次世代インターネット・プロトコル (IP V6) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

IPv6.001

レベル: U-INFO

短構文: `IPv6.001 q ovrf source_ipv6_address -> destination_ipv6_address nt network ID`

長構文: `IPv6.001 Queue overflow on packet from source_ipv6_address for destination_ipv6_address from net network ID`

説明: このメッセージは、入力待ち行列オーバーフローのために、転送機能が IPv6 キャッシュを介して転送されなかったパケットを廃棄しなければならない場合に生成されます。この事象は ELS ではカウントされず、IPv6 コンソールでカウントされます。IPv6>COUNTERS コマンドを使用して、カウンター（各入力ネットワーク別に維持されている）を読み取ることができます。

原因: 入力待ち行列オーバーフローは、バッファが不足しているインターフェースからパケットを受信し、着信先が IPv6 キャッシュではなく、しかも IP 待ち行列の長さが公平シェアより大きい場合に発生します。原因は、バースト状態または定常状態で、IPv6 転送機能の伝送能力より速くトラフィックが到着していることが考えられます。

処置: トラフィックのバーストを減らしてください。より高速のルーターにアップグレードしてください。

原因: 過度の IPv6 ルーティング・キャッシュ・ミスにより、ほとんどの IPv6 パケットがキャッシュ・ミス転送機能を通しています。

処置: IPv6 キャッシュのサイズを大きくしてください。

IPv6.002

レベル: UE-ERROR

短構文: `IPv6.002 not V6 hdr version_number nt network ID`

長構文: `IPv6.002 Not version 6 header ( version_number) in packet from net network ID`

説明: このメッセージは、パケットが間違ったバージョン番号を持っているときに生成されます。

原因: IPv6 転送機能では他のバージョンの IP パケットを受信するはずはないので、おそらくこのパケットが損傷しています。

処置: 問題が引き続き起こる場合は、回線トレースを調べて、パケットが損傷する箇所を判別してください。

IPv6.003

レベル: UE-ERROR

短構文: `IPv6.003 shrt hdr packet_length_just_header pkt ln packet_length nt network ID`

長構文: `IPv6.003 Packet too short ( packet_length_just_header bytes) in packet_length byte packet from net network ID`

説明: このメッセージは、パケットの指摘されているヘッダー長が、可能な最小長より短い (IPv6 ヘッダーのサイズより短い) 場合に生成されます。

原因: おそらく、パケットが損傷しています。別のノードが、正しくないヘッダーを作成している可能性があります。

処置: 問題が引き続き起こる場合は、回線トレースを調べて、パケットが損傷する箇所を判別してください。

IPv6.004

レベル: U-INFO

短構文: `IPv6.004 pkt source_ipv6_address -> destination_ipv6_address dsc, mcst src addr`

長構文: `IPv6.004 Invalid source IP6 address (multicast or anycast) source_ipv6_address for destination_ipv6_address; packet discarded`

説明: このメッセージは、無効な発信元 IPv6 アドレスのために、パケットが廃棄された場合に生成されます。

IPv6.005

レベル: UE-ERROR

短構文: `IPv6.005 pkt trunc specified_length pkt ln true_length source_ipv6_address -> destination_ipv6_address`

長構文: `IPv6.005 Packet len too short: IP len specified_length bytes Buffer len true_length bytes, from source_ipv6_address for destination_ipv6_address; packet discard`

説明: このメッセージは、ヘッダーに指定されているパ

ケット長が、パケット・バッファ長より大きい場合に生成されます。

原因: 転送時のパケットの破壊

処置: 問題が引き続き起こる場合は、ネットワークおよびルーターを検査してください。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

IPV6.006

レベル: CI-ERROR

短構文: IPV6.006 pkt source_ipv6_address -> destination_ipv6_address dsc rsn reason_code, nt Network ID

長構文: IPV6.006 Packet from source_ipv6_address for destination_ipv6_address discarded for reason reason_code, network Network ID

説明: 指定のネットワークでパケットを送信しようとしたが、そのネットワークでの転送は受け入れられませんでした。reason_code に、パケットが受け入れられなかった理由が示されています。理由がオーバーフローの場合、パケットは廃棄されます。その他の理由コードの場合には、ICMP 着信先到達不能メッセージが送信されず。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、network_name を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたは不正な同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去された (理由コード 4)

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

IPV6.007

レベル: P-TRACE

短構文: IPV6.007 source_ipv6_address -> destination_ipv6_address next_header location

長構文: IPV6.007 Accepting packet from

source_ipv6_address for destination_ipv6_address next header next_header at location

説明: このメッセージは、第 1 レベル合理性検査に合格した各パケットに対して生成されます。

IPV6.008

レベル: U-INFO

短構文: IPV6.008 no rte source_ipv6_address -> destination_ipv6_address dsc

長構文: IPV6.008 No route for packet from source_ipv6_address for destination_ipv6_address; packet discarded

説明: このメッセージは、あて先へのルートが存在しないために、パケットが廃棄された場合に生成されます。

IPV6.009

レベル: CE-ERROR

短構文: IPV6.009 hop limit zero source_ipv6_address -> destination_ipv6_address

長構文: IPV6.009 Hop limit reaches zero from source_ipv6_address for destination_ipv6_address

説明: このメッセージは、ホップ限界がゼロに達したために、パケットが廃棄された場合に生成されます。

原因: パケットは、発信元が IPV6 ヘッダーのホップ限界フィールドに入れた初期値よりも多くのルーターを経由しました。旧型システムの多くは 15 または 30 の値を使用していますが、これは標準に適合しておらず、現行ネットワークには小さ過ぎることがしばしばあります。

処置: 初期ホップ限界値を増やしてください。

原因: パケットはルーティング・ループに入っており、ホップ限界がゼロに達するまで、一連のルーターを何回も巡回しています。

処置: パケットの発信元からあて先までのルーティングを検査して、ループがないかどうかを調べてください。ただし、一部のルーティング・プロトコルでは、ルートのタイムアウトの結果としての一時的なループは避けられません。

IPV6.010

レベル: U-INFO

短構文: IPV6.010 dsc pkt source_IPV6_address -> destination_IPV6_address, dst lnk-lcl addr not ours, nt Network ID

長構文: IPV6.010 Discarded packet from

source_IPV6_address for *destination_IPV6_address* net
Network ID

説明: このメッセージは、受信したパケットのあて先アドレスが、このインターフェースのリンク・ローカル・アドレスと一致しないリンク・ローカル・アドレスである場合に生成されます。

原因: このパケットの送信元の問題

処置: このパケットの送信元を検査してください。

IPV6.011

レベル: C-INFO

レベル: PARAM

短構文: IPV6.011 *unsup mcst source_ipv6_address -> destination_ipv6_address*

長構文: IPV6.011 Unsupported multicast from *source_ipv6_address* for *destination_ipv6_address*

説明: このメッセージは、サポートされないマルチキャスト・パケットを受信した場合に生成されます。

IPV6.012

レベル: U-INFO

短構文: IPV6.012 *Disc. pkt source_ipv6_address -> destination_ipv6_address nhd nexthead*

長構文: IPV6.012 Packet from *source_ipv6_address* for *destination_ipv6_address* discarded for protocol *nexthead*

説明: 受信したパケットは、ゼロの発信元アドレスを持っています。パケットは廃棄されます。

原因: 上位プロトコルが、ゼロの発信元アドレスをもつパケットを送信しています。

処置: プロトコル・ヘッダーを見て、このプロトコルを追跡し、パケットの発信元の識別してください。

IPV6.013

レベル: C-INFO

レベル: PARAM

短構文: IPV6.013 *unsup bcst/link local address source_ipv6_address -> destination_ipv6_address*

長構文: IPV6.013 Unsupported broadcast or link local address from *source_ipv6_address* for *destination_ipv6_address*

説明: このメッセージは、サポートされない同報通信パケットまたはリンク・ローカル・パケットを受信した場合に生成されます。

IPV6.015

レベル: UI_ERROR

短構文: IPV6.015 *rtg hdr ind but not fnd, source_address -> destination_address*

長構文: IPV6.015 A packet was received that indicates a routing header is present, but was not found from *source_address* to *destination_address*

説明: このメッセージは、パケットの処理時に、ルーティング・ヘッダーが存在することが示されているのに見付からなかった場合に生成されます。

処置: サービス技術員に連絡してください。

IPV6.016

レベル: UI_ERROR

短構文: IPV6.016 *can't get memory for frag, source_address -> destination_address*

長構文: IPV6.016 Can't get memory for fragmenting a packet from *source_address* to *destination_address*, packet discarded

説明: このメッセージは、断片化のためのパケットの処理時に、処理を完了させるための十分な記憶域が得られない場合に生成されます。

原因: この構成およびトラフィックをサポートできる十分な記憶域がない。

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケットの記憶域の量を確認してください。アップグレードして記憶域を増やすか、不要な転送機能/プロトコルを使用不可にして記憶域を入手するかしてください。

IPV6.017

レベル: UI-ERROR

レベル: PARAM

短構文: IPV6.017 *nt network_address add fail, tbl ovrf*

長構文: IPV6.017 Add failed for net *network_address*; routing table overflow

説明: このメッセージは、テーブルが満ぱいであるために、ネットワークをルーティング・テーブルに追加できない場合に生成されます。

原因: IPV6 ルーティング・テーブルに最大数のエントリが含まれている。

処置: サブネットワーク化することによってテーブルのサイズを減らすことができるかどうか、システム管理者と相談してください。

IPV6.018

レベル: UI-ERROR

レベル: PARAM

短構文: IPV6.018 nt *network_address* add fail, bd nt

長構文: IPV6.018 Add failed for net *network_address*; bad network number

説明: このメッセージは、ネットワーク番号が無効であるために、ネットワークをルーティング・テーブルに追加できない場合に生成されます。

原因: ソフトウェアが上記のネットワークを無効と見なしている。

処置: ネットワークが有効である場合は、サービス技術員に連絡してください。

IPV6.019

レベル: U-INFO

短構文: IPV6.019 re-add stat rt to *network*

長構文: IPV6.019 Re-adding static route to net *network*

説明: このメッセージは、ネットワークへの静的ルートが再び使用されるようになった場合に生成されます。

IPV6.020

レベル: UI-ERROR

レベル: PARAM

短構文: IPV6.020 int for *network* add fail, dup addr

長構文: IPV6.020 Add of interface for net *network* failed; duplicate address

説明: このメッセージは、アクセスが拒否されたために、ネットワークをルーティング・テーブルに追加できない場合に生成されます。

原因: 同一のネットワークにアクセスするように構成されたインターフェース・アドレスが複数ある。ソフトウェアは 1 つしか認めません。

処置: 構成を変更して、インターフェース・アドレスとプレフィックス長が固有のネットワークを定義するようにしてください。

IPV6.021

レベル: C_INFO

短構文: IPV6.021 pkt rcvd with no nxt hdr *source_address* -> *destination_address*

長構文: IPV6.021 A packet was received that contains a

No Next Header from *source_address* -> *destination_address*

説明: このメッセージは、受信したパケット内で No Next Header が検出された場合に生成されます。パケットは廃棄されます。

IPV6.022

レベル: U-INFO

短構文: IPV6.022 add nt *net_ipv6_address* int *int_ipv6_address* nt *network ID*

長構文: IPV6.022 Added network *net_ipv6_address* to interface *int_ipv6_address* on net *network ID*

説明: このメッセージは、新しい直接接続ネットワークがルーティング・テーブルに追加された場合に生成されます。

IPV6.023

レベル: UE_ERROR

短構文: IPV6.023 mltcst addr fnd in rtng hdr info from *source_address* to *destination_address*, *next_hop*

長構文: IPV6.023 A multi-cast address was found in the routing header information from *source_address* to *destination_address*, next hop is *next_hop*

説明: このメッセージは、ルーティング・ヘッダー・ネクスト・ホップ情報内で、またはルーティング・ヘッダーを持つパケットのあて先アドレス・フィールド内で、マルチキャスト・アドレスが見付かった場合に生成されます。このパケットは廃棄され、ICMP エラー・メッセージが生成されます。

処置: パケットの発信元のマシンのサポート技術員に連絡してください。

IPV6.024

レベル: CE-ERROR

短構文: IPV6.024 ign stat rt to *network*, masksize *mask*

長構文: IPV6.024 Ignoring bad static route/filter to *network*, masksize *mask*

説明: このメッセージは、無効な静的ルートまたは IPV6 フィルターが検出された場合に生成されます。

IPV6.025

レベル: U-INFO

短構文: IPV6.025 add nt *network* rt via *network* nt *network ID*

長構文: IPV6.025 Added network *network* with route via *network* on net *network ID*

説明: このメッセージは、新しい間接接続ネットワークがルーティング・テーブルに追加された場合に生成されます。

IPV6.026

レベル: UE_ERROR

短構文: IPV6.026 hop-by-hop options fnd not imm after IPV6 hdr *source_address* -> *destination_address*

長構文: IPV6.026 A Hop-by-Hop Options header was found not immediately following the IPV6 header from *source_address* to *destination_address*

説明: このメッセージは、IPV6 ヘッダーの直後でない位置に Hop-by-Hop Options ヘッダーが見付かった場合に生成されます。これは IPV6 アーキテクチャーに違反しています。このパケットは廃棄され、ICMP エラー・メッセージが生成されます。

処置: パケットの発信元のマシンのサポート技術員に連絡してください。

IPV6.027

レベル: C-INFO

短構文: IPV6.027 pkt type *type* code *code* *source_ipv4_address* -> *destination_ipv4_address* unable to gen icmpv6 pkt

長構文: IPV6.027 Insufficient data in the ICMPV4 packet received from the IPV6 over IPV4 tunnel (type *type* code *code* from *source_ipv4_address* to *destination_ipv4_address*) to build an ICMPV6 packet back to the original source.

説明: このメッセージは、ICMPV4 メッセージをトンネルから受信し、このメッセージを生成したルーターがエラーのあるパケットに、元の IPV6 発信元アドレスを検索できるだけの十分な情報を組み込んでいなかった場合に生成されます。この ICMPV4 パケットは廃棄されます。

処置: IPV4 ICMP メッセージをオンにして、IPV4 ネットワークで生成されたエラーを調べてください。

IPV6.028

レベル: UE-ERROR

短構文: IPV6.028 unhdld icmpv4 pkt rcv'd type *type* code *code* *source_ipv4_address* -> *destination_ipv4_address*

長構文: IPV6.028 An ICMPV4 packet has been received from the IPV6 over IPV4 tunnel that is not understood/handled by the router, type *type*, code *code*, from

source_ipv4_address to *destination_ipv4_address*

説明: このメッセージは、ソフトウェアが IPV4 ネットワークから、理解できない ICMP メッセージを受信した場合に生成されます。

処置: サービス技術員に連絡してください。

IPV6.029

レベル: P-TRACE

短構文: IPV6.029 pkt *ip4src* -> *ip4dest*, *ip6src* -> *ip6dest* rcvd on *tuntype* tun(*tunint*)

長構文: IPV6.029 Packet from IPv4 *ip4src* to *ip4dest*, IPv6 *ip6src* to *ip6dest* was received on *tuntype* tunnel(interface *tunint*)

説明: 指定のトンネル・インターフェース上で、IPv4 ヘッダー内にカプセル化された IPv6 パケットを受信しました。

IPV6.030

レベル: P-TRACE

短構文: IPV6.030 *source_ipv6_address* -> *destination_ipv6_address* tnled over *source_ipv4_address* -> *destination_ipv4_address*

長構文: IPV6.030 Forwarding packet from *source_ipv6_address* for *destination_ipv6_address* over tunnel *source_ipv4_address* to *destination_ipv4_address*

説明: このメッセージは、各パケットが IPV4 トンネルを介して IPV6 に転送するための準備が整うたびに生成されます。

IPV6.031

レベル: ALWAYS

短構文: IPV6.031 Unnum addr rej, nt *network ID*

長構文: IPV6.031 Unnumbered address rejected, net *network ID*

説明: インターフェースを非番号制として構成しようとしたが、インターフェースがシリアル・ラインでないか、インターフェースにすでに IPV6 アドレスが割り当てられているかのいずれかです。非番号制の構成要求は無視されます。

IPV6.032

レベル: CI-ERROR

短構文: IPV6.032 fq ovf *source_ipv6_address* -> *destination_ipv6_address* nt *network ID*

長構文: IPV6.032 Fragment queue overflow from *source_ipv6_address* for *destination_ipv6_address* on net *network ID*

説明: このメッセージは、断片待ち行列のオーバーフローのために、着信断片が廃棄された場合に生成されます。

IPV6.033

レベル: UE-ERROR

短構文: IPV6.033 reas pkt too big (*packet_size* byte), frm *source_ipv6_address*

長構文: IPV6.033 Re-assembled packet too large (*packet_size* bytes); from *source_ipv6_address*

説明: このメッセージは、再組み立て中の新しいパケットが、断片化に許容される最大サイズ (65535 バイト) を超えてしまう場合に生成されます。 *packet_size* は、この断片を追加した後のパケットの大きさであり、この後さらに断片が続く場合もあります。

IPV6.034

レベル: CE-ERROR

短構文: IPV6.034 bd frg *source_ipv6_address* -> *destination_ipv6_address* foff *offset*

長構文: IPV6.034 Bad fragment from *source_ipv6_address* for *destination_ipv6_address* with fragment offset *offset*

説明: このメッセージは、着信パケット断片の長さが 8 の倍数ではなく、断片ヘッダー内の More ビットが 1 にセットされている場合に生成されます。

IPV6.035

レベル: CI-ERROR

短構文: IPV6.035 cant alloc for frg nt *network ID*

長構文: IPV6.035 Cannot allocate buffer for fragment for net *network ID*

説明: このメッセージは、パケットを断片化するために利用可能なバッファがない場合に生成されます。

IPV6.036

レベル: P-TRACE

短構文: IPV6.036 rcv pkt nxt hdr *next_header* frm *source_ipv6_address*

長構文: IPV6.036 Received packet with next header *next_header* from *source_ipv6_address*

説明: このメッセージは、ルーターあてに各パケットが

送信されるたびに生成されます。

IPV6.037

レベル: C-TRACE

短構文: IPV6.037 brd pkt *source_ipv6_address* -> *destination_ipv6_address* prot *protocol* no *svr*

長構文: IPV6.037 Broadcast packet from *source_ipv6_address*, for *destination_ipv6_address*, protocol *protocol*; no server

説明: このメッセージは、不明のプロトコルの同報通信パケットが到着した場合に生成されます。

IPV6.038

レベル: U-INFO

短構文: IPV6.038 pkt *source_ipv6_address* -> *destination_ipv6_address* prt *protocol* no *svr*

長構文: IPV6.038 Packet from *source_ipv6_address*, for *destination_ipv6_address*, protocol *protocol*; no server

説明: このメッセージは、不明のプロトコルのパケットが到着した場合に生成されます。パケットはルーターあてに送信されたものです。

IPV6.039

レベル: C-INFO

短構文: IPV6.039 pkt size = *packet_size* needs frag, tnl *tunnel_addr*, frag *frag_state*

長構文: IPV6.039 A *packet_size* byte IPV6 packet will be fragmented over an IPV4 tunnel *tunnel_addr* with a configured fragmentation of *frag_state*

説明: このメッセージは、断片化が必要な IPV6 パケットをトンネル伝送するときに生成されます。断片化が使用可能にされているか、トンネル MTU が 1300 バイト以下の場合、DNF ビットはセットされず、トンネル内で断片化が行われる可能性があります。断片化が許されず、トンネル MTU が 1300 バイトを超えている場合、Packet Too Big (パケットが大き過ぎる) というメッセージが IPV6 発信元に戻され、パケットは廃棄されます。

IPV6.040

レベル: UI-ERROR

短構文: IPV6.040 Tnl endpnts not found for *ipsrc*-> *ipdest*

長構文: IPV6.040 Tunnel endpoints were not found in table for IPv4 source address *ipsrc* and dest address *ipdest*

説明: このメッセージは、IPV4 経由 IPV6 トンネル伝送

コードがカプセル化 IPv6 パケットを受信しましたが、構成済みのどのトンネルを経由してパケットが到着したのかを判別できない場合に生成されます。

処置: ネットワークのトンネル構成パラメーターを検査して、IPv4 発信元アドレスとあて先アドレスが、それぞれのエンドポイントで矛盾がないことを確認してください。

IPV6.041

レベル: UI-ERROR

短構文: IPV6.041 rs ovfl, frm *source_ipv6_address*

長構文: IPV6.041 Too many re-assembly buffers active; from *source_ipv6_address*

説明: このメッセージは、新しいパケットの再組み立てが必要であるが、最大数の再組み立てバッファがすでに割り当てられてしまっている場合に生成されます。

原因: ソフトウェアが、同時に処理できる数を超える断片化データグラムを再組み立てしようとしている。これは、時折発生する場合は許されます。

処置: 頻繁に発生する場合は、発信元で MSS を変更して断片化を減らすようにするか、あるいはサービス技術員に連絡してください。

IPV6.042

レベル: UI-ERROR

短構文: IPV6.042 no stor for rs, frm *source_ipv6_address*

長構文: IPV6.042 Insufficient storage for packet re-assembly; from *source_ipv6_address*

説明: このメッセージは、新しいパケットの再組み立てが必要であるが、再組み立てバッファを割り振るための十分な記憶域がない場合に生成されます。

原因: この構成およびトラフィックをサポートできる十分な記憶域がない。

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。記憶域をアップグレードして増やすか、不要な転送機能/プロトコルを使用不可にして、記憶域を獲得してください。

IPV6.043

レベル: UE-ERROR

短構文: IPV6.043 reas pkt too big (*packet_size* byt), frm *source_ipv6_address*

長構文: IPV6.043 Re-assembled packet too large (*packet_size* bytes); from *source_ipv6_address*

説明: このメッセージは、新しいパケットの再組み立てが必要であるが、再組み立てバッファの最大サイズを超えている場合に生成されます。 *packet_size* は、この断片を追加した後のパケットの大きさであり、この後さらに断片が続く場合もあります。

IPV6.044

レベル: U-INFO

短構文: IPV6.044 rs TTL exp, frm *source_ipv6_address*

長構文: IPV6.044 Re-assembly TTL expired; from *source_ipv6_address*

説明: このメッセージは、再組み立てされているパケットの活動時間が満了したときに生成されます。

IPV6.045

レベル: P-TRACE

短構文: IPV6.045 rs free, frm *source_ipv6_address*

長構文: IPV6.045 Re-assembly buffer free; from *source_ipv6_address*

説明: このメッセージは、再組み立てバッファが割り振り解除された場合に生成されます。

IPV6.046

レベル: U-INFO

短構文: IPV6.046 del nt *network* rt via *gateway* nt *network ID*

長構文: IPV6.046 Deleted net *network* route via *gateway* net *network ID*

説明: このメッセージは、ネットワークがダウンした場合に生成されます。

IPV6.047

レベル: U-INFO

短構文: IPV6.047 sbnt *network* dfnd

長構文: IPV6.047 Subnet *network* defined

説明: このメッセージは、新しいサブネット化ネットワークが定義された場合に生成されます。

IPV6.048

レベル: U-INFO

短構文: IPV6.048 del sbntd nt *network*

長構文: IPV6.048 Deleting subnetted network *network*

説明: このメッセージは、サブネット化ネットワークが

削除された場合に生成されます。削除されるのは、そのネットワークへのインターフェースがなくなったときです。

IPV6.049

レベル: C-TRACE

短構文: IPV6.049 add lcl pkt to ipv6 op q

長構文: IPV6.049 Added locally generated packet to IPV6 output queue

説明: このメッセージは、ローカル生成パケットが IPV6 出力待ち行列に入れられるたびに生成されます。

IPV6.050

レベル: C-TRACE

短構文: IPV6.050 rcvd IPV6 frg frm *source_IPV6_address*, frg id *frag_id*, frg off *frag_off*

長構文: IPV6.050 Received IPV6 fragment from *source_IPV6_address*, fragment id *frag_id*, fragment offset *frag_off*

説明: このメッセージは、再組み立てが必要な IPV6 断片を受信した場合に生成されます。

IPV6.051

レベル: C-TRACE

短構文: IPV6.051 rasmd pkt frm *source_IPV6_address*

長構文: IPV6.051 Successfully re-assembled packet from *source_IPV6_address*

説明: このメッセージは、IPV6 パケットが正常に再組み立てされた場合に生成されます。

IPV6.052

レベル: C-TRACE

短構文: IPV6.052 frg pkt *source_IPV6_address* -> *destination_IPV6_address*

長構文: IPV6.052 Packet from *source_IPV6_address* for *destination_IPV6_address* requires fragmentation

説明: このメッセージは、伝送するために IPV6 パケットを断片化する必要がある場合に生成されます。

IPV6.053

レベル: C-TRACE

短構文: IPV6.053 add frg to op frg q *source_IPV6_address* -> *destination_IPV6_address*

長構文: IPV6.053 Added fragment to output fragment queue from *source_IPV6_address* for *destination_IPV6_address*

説明: このメッセージは、IPV6 パケット断片が出力断片待ち行列に入れられた場合に生成されます。

IPV6.054

レベル: P-TRACE

短構文: IPV6.054 dsc pkt *source_IPV6_address* -> *destination_IPV6_address* nt *Network ID* no IPV6 on int

長構文: IPV6.054 Discarded packet from *source_IPV6_address* for *destination_IPV6_address* nt *Network ID*, no IPV6 on interface

説明: このメッセージは、IPV6 が使用可能にされていないインターフェースでパケットが受信されるたびに、スタブ IPV6 転送機能によって生成されます。

IPV6.055

レベル: UE-ERROR

短構文: IPV6.055 RIP6 disabld on int *interface_IPV6_address* var len sbnt msk

長構文: IPV6.055 RIP6 disabled on *interface_IPV6_address* variable length subnet masks

説明: 同一のネットワーク上に可変長サブネット・マスクを指定してルーターが構成されています。これは、RIP は処理できません。そのため、インターフェース上の RIP6 は使用不可にされます。

IPV6.056

レベル: U-INFO

短構文: IPV6.056 routing cache cleared for IPV6

長構文: IPV6.056 routing cache cleared for IPV6

説明: おそらくルーティング・テーブルの変更が原因で、IPV6 ルーティング・キャッシュが消去されました。

IPV6.057

レベル: U-INFO

短構文: IPV6.057 routing cache garbage collecting for IPV6

長構文: IPV6.057 Routing cache garbage collecting for IPV6.

説明: IPV6 ルーティング・キャッシュが無意味なデータを収集しています。これには数回のパスを要し、これが行われるのは、キャッシュがオーバーフローし始めた場合だけです。

IPV6.058

レベル: U-INFO

短構文: IPV6.058 cache entry *IPV6_destination* cleared

長構文: IPV6.058 routing cache entry for destination *IPV6_destination* cleared

説明: リストされているあて先の IPV6 ルーティング・キャッシュ・エントリーが消去されました。

IPV6.059

レベル: UE-ERROR

短構文: IPV6.059 LL broadcast *source_ipv6_address* -> *destination_ipv6_address*, discarded

長構文: IPV6.059 Received link level broadcast from *source_ipv6_address* for *destination_ipv6_address*, discarded

説明: このメッセージは、リンク・レベルの同報通信/マルチキャストとして受信した IPV6 パケットを転送しようとした場合に生成されます。そのようなパケットは転送されず、ICMP メッセージを送信元に送り返すこともせずに、廃棄されます。

IPV6.060

レベル: UI-ERROR

短構文: IPV6.060 can't copy *source_ipv6_address* -> *destination_ipv6_address*, discarded

長構文: IPV6.060 Can't copy packet from *source_ipv6_address* for *destination_ipv6_address*, discarded

説明: このメッセージは、ルーターの内部アプリケーションの 1 つへのパケットをコピーしようとしたが (たとえば、マルチキャスト転送時)、ルーターがバッファを手に入れない場合に生成されます。要求されたサービスは失敗します。

原因: この構成およびトラフィックをサポートできる十分な記憶域がない。

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。記憶域をアップグレードして増やすか、不要な転送機能/プロトコルを使用不可にして、記憶域を獲得してください。

IPV6.061

レベル: C-TRACE

短構文: IPV6.061 Acc cont miss dropped, *source_ipv6_address* -> *destination_ipv6_address*, dir *direction*, net *networkID*

長構文: IPV6.061 Access control miss dropped, packet from

source_ipv6_address to *destination_ipv6_address*, direction *direction*, net *networkID*

説明: このメッセージは、IPV6 パケットがアクセス制御レコードのどれとも合致しない場合に生成されます。パケットは廃棄されます。

IPV6.062

レベル: UE-ERROR

短構文: IPV6.062 IPV6 ds nt rn on *nettype/ n_net*

長構文: IPV6.062 IPV6 protocol does not run over *nettype/ n_net*

説明: IPV6 アドレスが、現在 IPV6 をサポートしていないネットワーク・タイプに対して構成されました。

IPV6.063

レベル: UE-ERROR

短構文: IPV6.063 shrt pkt ln *packet_length*, *source_ipv6_address* -> *destination_ipv6_address*

長構文: IPV6.063 IPV6 length of *packet_length* in packet from *source_ipv6_address* -> *destination_ipv6_address* is too short

説明: このメッセージは、IPV6 ヘッダー内のパケットの長さが、受信したパケットに示されている長さより短い場合に生成されます。パケットは廃棄されます。

原因: 最も考えられる原因は、発信元によってこのパケットが正しくフォーマットされていないことです。

IPV6.064

レベル: C-TRACE

短構文: IPV6.064 Acc cont # *record_number* dropped, *cache_status*, *source_ipv6_address* -> *destination_ipv6_address*, dir *direction*, net *networkID*

長構文: IPV6.064 Access control number *record_number* dropped, *cache_status*, packet from *source_ipv6_address* to *destination_ipv6_address*, direction *direction*, net *networkID*

説明: このメッセージは、IPV6 パケットが排他的アクセス制御エントリーの 1 つに合致している場合に生成されます。パケットは廃棄されます。 *record_number* は、合致したアクセス制御レコードの番号、またはレコードがない場合 (リストの終わり) はゼロです。 *cache_status* は、"cache-hit" または "cache-miss" です。

IPV6.065

レベル: C-TRACE

短構文: IPV6.065 Acc cont # *record_number* passed, *cache_status*, *source_ipv6_address* -> *destination_ipv6_address*, dir *direction*, net *networkID*

長構文: IPV6.065 Access control number *record_number* passed, *cache_status*, packet from *source_ipv6_address* to *destination_ipv6_address*, direction *direction*, net *networkID*

説明: このメッセージは、IPV6 パケットが排他的アクセス制御エントリーの 1 つに合致している場合に生成されます。パケットはおそらく転送されます。record_number は、合致したアクセス制御レコードの番号です。cache_status は、"cache-hit" または "cache-miss" です。

IPV6.066

レベル: UE-ERROR

短構文: IPV6.066 LinkAddr *source_ipv6_address* -> *destination_ipv6_address*, discarded

長構文: IPV6.066 Received link local address from *source_ipv6_address* for *destination_ipv6_address*, discarded

説明: ルーターは、リンク・ローカル発信元またはあて先アドレスを持つ IPV6 を中継することは決してありません。

IPV6.067

レベル: U-INFO

短構文: IPV6.067 Route *destination_ip_address/ mask status*

長構文: IPV6.067 Route for *destination_ip_address* with mask *mask status*

説明: このルートは、IP ルート・テーブルからフィルターされたか、あるいはルート・テーブル・フィルター・ポリシーにより隠れたルートとしてインストールされています。

IPV6.068

レベル: UE-ERROR

短構文: IPV6.068 mtu < 1280 for nt *network ID*

長構文: IPV6.068 The MTU is less than 1280 bytes for net *network ID*

説明: このネットの MTU は、IPV6 を実行するために必要な最小サイズ (1280 バイト) を下回っています。

処置: ネットの構成を訂正して MTU を最小 1280 バイトにするか、このネットには IPV6 を構成しないようにしてください。

IPV6.069

レベル: UI-ERROR

短構文: IPV6.069 tnl *tunnel_id*, int *interface* is not IP64

長構文: IPV6.069 Tunnel *tunnel_id* has a virtual interface *interface* which is not an IP64 tunnel

説明: 構成されたトンネルが指しているインターフェースは、IP64 トンネルではありません。これは、IP64 トンネル・インターフェースが定義されているボックスに、以前のリリースをロードしたのが原因です。このトンネルはインストールされません。

処置: トンネル定義をいったん削除した上で、トンネルを再構成してください。

IPV6.070

レベル: P-TRACE

短構文: IPV6.070 Trace IPV6 datagram.

長構文: IPV6.070 Trace IPV6 datagram.

説明: IPV6 データグラムをトレースしています。

IPV6.071

レベル: P-TRACE

短構文: IPV6.071 Trace in IPV6 datagram at DLC.

長構文: IPV6.071 Trace incoming IPV6 datagram at DLC.

説明: 着信 IPV6 データグラム DLC をトレースしています。

Panic in6initnomem

短構文: IPV6: no mem for init

説明: ルーターが IPV6 初期化中に記憶域不足になりました。

処置: 記憶域を追加するか、あるいは再構成して記憶域の使用量を減らしてください (たとえば、IPV6 ルーティング・テーブルのサイズを小さくしたり、IPV6 アドレスの数を減らします)。

第51章 IP プロトコル・ネットワーク (IPPN)

この章では、IP プロトコル・ネットワーク (IPPN) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

IPPN.002

レベル: U-INFO

短構文: IPPN.002 SRT *src_IP*-> *dst_IP* (UDP *src_port*-> *dst_port*) ign, no bdg on tunnel

長構文: IPPN.002 SRT packet from *src_IP* to *dst_IP* (from UDP socket *src_port* to *dst_port*) ignored, no bridging on tunnel

説明: SRT トンネルの UDP ポートの 1 つに向けられた IP パケットを受信しましたが、このトンネルではブリッジングが使用可能になっていません。パケットは廃棄されます。

原因: 別のブリッジで、このブリッジを SRT ブリッジ・トンネルに含めるように構成していますが、このブリッジはそうように構成されていません。

処置: 構成に矛盾がないようにしてください。

原因: IP ネットワーク上の他のアプリケーションが、このルーター上の SRT トンネル UDP ポートの 1 つにパケットを送信しています。

処置: アプリケーションを変更するか、このメッセージを無視するか、いずれかにします。

IPPN.003

レベル: P-TRACE

短構文: IPPN.003 SRT *src_IP*-> *dst_IP* (UDP *src_port*-> *dst_port*) ign, port blocked

長構文: IPPN.003 SRT packet from *src_IP* to *dst_IP* (from UDP socket *src_port* to *dst_port*) ignored, port blocked

説明: SRT トンネルの UDP ポートの 1 つに向けられた IP パケット (BPDU ではなかった) を受信しましたが、そのポートは "閉そく" または "listen" 状態です。パケットは廃棄されます。

原因: トンネルへのポートの 1 つが閉そくの場合は、まったく正常な状態です。ただし、トンネルへのポートは、トンネルに平行する代替ブリッジ・パスがない限り、通常は閉そくしません。

IPPN.004

レベル: P-TRACE

短構文: IPPN.004 Old SRB *src_IP*-> *dst_IP* (UDP *src_port*-> *dst_port*), compat mode

長構文: IPPN.004 Old SRB packet from *src_IP* to *dst_IP* (from UDP socket *src_port* to *dst_port*), in compatability mode

説明: リリース 12.0 より前に使用されていた SRB トンネルのカプセル化を使用している IP トンネルに参加しているノードから、パケットを受信しました。このパケットは正常に処理されますが、トンネルは以後も古いカプセル化と互換性のあるモードのままになります。これは、そのトンネルにおいて 802.5 フレーム用に FCS が維持されない、ということを示します。

原因: ノードでリリース 12.0 より前からの SRB トンネル・ソフトウェアが稼働しています。

処置: トンネルに参加しているすべてをリリース 12.0 に更新すれば、このメッセージが出ることはなくなり、トンネル全体にわたって 802.5 FCS を維持することができます。

Panic ippnudpregfail

短構文: IPPN UDP socket registration failure

説明: IPPN プロトコル・ネットは、必要な UDP ソケットの 1 つを UDP プロトコルに登録することができませんでした。

原因: ソフトウェアのバグです。

処置: サービス技術員に連絡してください。

第52章 IP セキュリティー・プロトコル (IPsec)

この章では、IP セキュリティー・プロトコル (IPsec) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

IPSP.001

レベル: U-INFO

短構文: IPSP.001 IPsec init

長構文: IPSP.001 IPsec initialization

説明: このメッセージは、IPsec が初期化中に印刷されます。

IPSP.002

レベル: UI-ERROR

短構文: IPSP.002 IPsec unable to get mem

長構文: IPSP.002 IPsec unable to get memory

説明: IPsec は、必要な記憶域を割り振ることができませんでした。そのため、IPsec を実行することができません。

原因: ヒープ記憶域が不足しています。おそらく稼働中の記憶域を大量に必要とする転送機能/プロトコルの数が多過ぎるためです。

処置: 不必要な転送機能/プロトコルを使用不可にするか、記憶域を増やしてください。

IPSP.003

レベル: U-INFO

短構文: IPSP.003 q ovrf *source_ip_address* -> *destination_ip_address* nt *network ID*

長構文: IPSP.003 Queue overflow on packet from *source_ip_address* for *destination_ip_address* from net *network ID*

説明: このメッセージは、IPsec 入力待ち行列オーバーフローのために、IP 転送機能が保護する必要のあるパケットを廃棄しなければならなかった場合に生成されます。

原因: IPsec 入力待ち行列オーバーフローは、バッファが不足しているインターフェースからパケットを受信した場合に発生します。IPsec 待ち行列が、適正な長さを超えています。この原因は、バースト状態または定常状態で、IP 転送機能のカプセル化 (保護) 能力より速くトラフィックが到着していることが考えられます。

処置: トラフィックのバーストを減らしてください。よ

り高速のルーターにアップグレードしてください。

IPSP.004

レベル: P-TRACE

短構文: IPSP.004 rcv pkt for encap *source_ip_address* -> *destination_ip_address* with tid *tunnel_id*

長構文: IPSP.004 Accepting packet for encapsulation from *source_ip_address* to *destination_ip_address* with *tunnel_id* *tunnel_id*

説明: このメッセージは、IPsec カプセル化モジュールを通過する各 IP パケットに対して生成されます。

IPSP.005

レベル: P-TRACE

短構文: IPSP.005 rcv pkt for decap *source_ip_address* -> *destination_ip_address*

長構文: IPSP.005 Accepting packet for decapsulation from *source_ip_address* to *destination_ip_address*

説明: このメッセージは、IPsec カプセル化解除モジュールを通過する各 IP パケットに対して生成されます。

IPSP.006

レベル: U-INFO

短構文: IPSP.006 dsc IPsec pkt *source_ip_address* -> *destination_ip_address* nt *Network ID* no IPsec

長構文: IPSP.006 Discarded IPsec packet from *source_ip_address* for *destination_ip_address* net *Network ID*, IPsec not enabled.

説明: このメッセージは、IPsec プロトコル・ヘッダーが入っている IP パケットを受信したが、IPsec が使用可能にされていない場合に生成されます。IPsec パケットの内容をカプセル化解除するのに利用可能な活動状態の IPsec トンネルがないために、パケットは廃棄されます。

原因: IPsec プロトコル・パケットを受信しましたが、IPsec が使用可能にされていません。

IPSP.007

レベル: UI-ERROR

短構文: IPSP.007 IPsec *function_name*: tunl *tunnel_id* not active

長構文: IPSP.007 IPsec *function_name*: tunnel *tunnel_id* is not active.

説明: 指定されたトンネルが活動状態でないために、IP パケットを保護できませんでした。パケットは廃棄されました。

IPSP.008

レベル: UE-ERROR

短構文: IPSP.008 addr msmtch IP src *pkt_src_addr* tunl src *tunl_src_addr* IP dst *pkt_dst_addr* tunl dst *tunl_dst_addr* tunl *tunnel_id*

長構文: IPSP.008 address mismatch for transport mode tunnel - IP packet source address *pkt_src_addr*, tunnel source address *tunl_src_addr*, IP packet destination address *pkt_dst_addr*, tunnel destination address *tunl_dst_addr*, tunnel *tunnel_id*

説明: トランスポート・モードで、IP パケット・アドレスと保護トンネル IP アドレスが合致していません。

IPSP.009

レベル: CI-ERROR

短構文: IPSP.009 *error_message* tunnl *tunnel_id*

長構文: IPSP.009 Error: *error_message* tunnel *tunnel_id*

説明: エラー・メッセージで指摘されているエラーがあります。

IPSP.010

レベル: UE-ERROR

短構文: IPSP.010 pkt too short: pkt len *length* hdr len *header_len*

長構文: IPSP.010 Packet too short: packet len *length* header len *header_len*

説明: 長さが 8 バイト未満のペイロードを持つ IPsec パケットを受信しました。

IPSP.011

レベル: P-TRACE

短構文: IPSP.011 esp encap in *mode* mode alg *algorithm* tunl *tunnel_id*

長構文: IPSP.011 esp encapsulation in *mode* mode algorithm *algorithm* tunnel *tunnel_id*

説明: IPsec カプセル化セキュリティー・ペイロード (ESP) を使用して、IP パケットをカプセル化中です。

IPSP.012

レベル: P-TRACE

短構文: IPSP.012 esp encap with pad len *pad_length* spi *SPI* iv *IV_1* *IV_2* tunl *tunnel_id*

長構文: IPSP.012 esp encapsulation with pad length *pad_length* security parameter index *SPI* initialization vector *IV_1* *IV_2* tunnel *tunnel_id*

説明: IPsec ESP パケットが構成されました。

IPSP.013

レベル: P-TRACE

短構文: IPSP.013 Module *trc_msg*

長構文: IPSP.013 Module *trc_msg*

説明: このメッセージは内部情報用です。

IPSP.014

レベル: P-TRACE

短構文: IPSP.014 esp decap with alg *algorithm* tunl *tunnel_id*

長構文: IPSP.014 esp decapsulation with algorithm *algorithm* tunnel *tunnel_id*

説明: IPsec カプセル化セキュリティー・ペイロード (ESP) が入っている IP パケットを受信しました。

IPSP.015

レベル: UE-ERROR

短構文: IPSP.015 ESP decap: bad payload len *payload_length* tunl *tunnel_id*

長構文: IPSP.015 ESP decapsulation: bad payload length *payload_length* tunnel *tunnel_id*

説明: 無効なペイロード長を持つ (正しいペイロード埋め込みが欠落している) IPsec ESP パケットを受信しました。

IPSP.016

レベル: UE-ERROR

短構文: IPSP.016 ESP decap: bad payload len *payload_len* - pad len *padding_length* tunl *tunnel_id*

長構文: IPSP.016 ESP decapsulation: bad payload length *payload_len* for padding length *padding_length* tunnel *tunnel_id*

説明: IPsec ESP パケットのペイロード長が、埋め込み長さ以下であるので正しくありません。

IPSP.017

レベル: P-TRACE

短構文: IPSP.017 ah encap in *mode* mode alg *algorithm* tunl *tunnel_id*

長構文: IPSP.017 ah encapsulation in *mode* mode algorithm *algorithm* tunnel *tunnel_id*

説明: IPsec 認証ヘッダー (AH) を使用して、IP パケットをカプセル化中です。

IPSP.018

レベル: P-TRACE

短構文: IPSP.018 ah decap with alg *algorithm* tunl *tunnel_id*

長構文: IPSP.018 ah decapsulation with algorithm *algorithm* tunnel *tunnel_id*

説明: IPsec 認証ヘッダー (AH) が入っている IP パケットを受信しました。

IPSP.019

レベル: UE-ERROR

短構文: IPSP.019 AH decap: bad packet len *payload_len* tunl *tunnel_id*

長構文: IPSP.019 AH decapsulation: bad packet length *payload_len* tunnel *tunnel_id*

説明: 無効なペイロード長を持つ IPsec AH パケットを受信しました。

IPSP.020

レベル: UI-ERROR

短構文: IPSP.020 Module Decap: no tunl for src *src_addr* dst *dst_addr* spi *spi*

長構文: IPSP.020 Module Decap: no active tunnel list entry for source address *src_addr*, destination address *dst_addr*, and security parameter index *spi*

説明: 受信した IPsec パケットのアクティブ・トンネル・リスト・エントリーがありませんでした。

IPSP.021

レベル: UI-ERROR

短構文: IPSP.021 Init: init error for tunn ID *tunnel_id*, errcode= *error_code*

長構文: IPSP.021 IPsec initialization: initialization error for tunnel ID *tunnel_id*, error code = *error_code*.

説明: IPsec 初期化エラーが発生しました。構成ファイルを保管し、エラー・コードを記録して、サービス技術員に連絡してください。

IPSP.022

レベル: U-INFO

短構文: IPSP.022 tunl list add tunl *tunnel_id* - *reason*

長構文: IPSP.022 An active tunnel list entry was added for tunnel ID *tunnel_id* - reason is *reason*.

説明: アクティブ・トンネル・リストにエントリーが追加されました。

IPSP.023

レベル: U-INFO

短構文: IPSP.023 tunl list del tunl *tunnel_id* - *reason*

長構文: IPSP.023 An active tunnel list entry was deleted for tunnel ID *tunnel_id* - reason is *reason*.

説明: アクティブ・トンネル・リストのエントリーが削除されました。

IPSP.024

レベル: U-INFO

短構文: IPSP.024 IPsec enabled from console

長構文: IPSP.024 The IPsec feature was enabled from the console.

説明: コンソールからの ENABLE IPSEC コマンドによって、IPsec 機能が使用可能にされました。

IPSP.025

レベル: U-INFO

短構文: IPSP.025 IPsec disabled from console - *disable_mode* mode

長構文: IPSP.025 The IPsec feature was disabled from the console. Disable mode is *disable_mode*.

説明: コンソールからの DISABLE IPSEC コマンドによって、IPsec 機能が使用不可にされました。

IPSP.026

レベル: UI-ERROR

短構文: IPSP.026 IPsec Encryption Algorithm *which_esp* is not allowed on this tun id *tun_id*.

長構文: IPSP.026 IPsec Encryption Algorithm *which_esp* is not allowed on this tunnel id *tun_id*.

説明: 構成された ESP アルゴリズムは、このルーター・ライブラリーでは利用不能です。

IPSP.027

レベル: P-TRACE

短構文: IPSP.027 rcv pkt for encap *source_ip_address* -> *destination_ip_address* with tid *tunnel_id*

長構文: IPSP.027 Accepting packet for encapsulation from *source_ip_address* to *destination_ip_address* with *tunnel_id* *tunnel_id*

説明: このメッセージは、IPsec カプセル化モジュールを通過する各 IPv6 パケットごとに生成されます。

IPSP.028

レベル: UE-ERROR

短構文: IPSP.028 addr mismatch IP src *pkt_src_addr* tunl src *tunl_src_addr* IP dst *pkt_dst_addr* tunl dst *tunl_dst_addr* tunl *tunnel_id*

長構文: IPSP.028 address mismatch for transport mode tunnel - IP packet source address *pkt_src_addr*, tunnel source address *tunl_src_addr*, IP packet destination address *pkt_dst_addr*, tunnel destination address *tunl_dst_addr*, tunnel *tunnel_id*

説明: トランスポート・モードで、IPv6 パケット・アドレスと保護トンネル IP アドレスが一致していません。

IPSP.029

レベル: UI-ERROR

短構文: IPSP.029 Module Decap: no tunl for src *src_addr* dst *dst_addr* spi *spi*

長構文: IPSP.029 Module Decap: no active tunnel list entry for source address *src_addr*, destination address *dst_addr*, and security parameter index *spi*

説明: 受信した IPsec パケットのアクティブ・トンネル・リスト・エントリーがありませんでした。

IPSP.030

レベル: U-INFO

短構文: IPSP.030 q ovrf *source_ip_address* -> *destination_ip_address* nt *network ID*

長構文: IPSP.030 Queue overflow on packet from *source_ip_address* for *destination_ip_address* from net *network ID*

説明: このメッセージは、IPsec 入力待ち行列オーバーフローのために、IP 転送機能が、保護する必要のあるパケットを廃棄しなければならなかった場合に生成されます。

原因: IPsec 入力待ち行列オーバーフローは、バッファが不足しているインターフェースからパケットを受信した場合に発生します。IPsec 待ち行列の長さが、適正な長さを超えています。この原因は、バースト状態または定常状態で、IP 転送機能のカプセル化 (保護) 能力より速くトラフィックが到着していることが考えられます。

処置: トラフィックのバーストを減らしてください。より高速のルーターにアップグレードしてください。

IPSP.031

レベル: U-INFO

短構文: IPSP.031 dsc IPsec pkt *source_ip_address* -> *destination_ip_address* nt *Network ID* no IPsec

長構文: IPSP.031 Discarded IPsec packet from *source_ip_address* for *destination_ip_address* net *Network ID*, IPsec not enabled.

説明: このメッセージは、IPsec プロトコル・ヘッダーが含まれている IPsec パケットを受信したが、IPsec が使用可能にされていない場合に生成されます。IPsec パケットの内容をカプセル化解除するのに使用できるアクティブの IPsec トンネルがないために、パケットは廃棄されます。

原因: IPsec プロトコル・パケットを受信したが、IPsec が使用可能にされていない。

IPSP.032

レベル: P-TRACE

短構文: IPSP.032 rcv pkt for decap *source_ip_address* -> *destination_ip_address*

長構文: IPSP.032 Accepting packet for decapsulation from *source_ip_address* to *destination_ip_address*

説明: このメッセージは、IPsec カプセル化解除モジュールを通過する各 IPv6 パケットごとに生成されます。

IPSP.033

レベル: U-INFO

短構文: IPSP.033 pkt bigger than PMTU *source_ip_address* -> *destination_ip_address*, pmtu *pmtu*, pkt size *pktsize*

長構文: IPSP.033 Packet bigger than PMTU from *source_ip_address* to *destination_ip_address*, pmtu is *pmtu*, packet size is *pktsize*

説明: このメッセージは、保護トンネル・モードのトンネルを介して送信される IPv6 パケットが、そのトンネルの MTU より大きい場合に生成されます。ICMP "packet too big" メッセージが生成され、ホストに戻されます。

IPSP.034

レベル: U-TRACE

短構文: IPSP.034 tunnel *tunnel_id* aged, pmtu *mtu*

長構文: IPSP.034 Tunnel *tunnel_id* aged out of table, path MTU *mtu*

説明: 指定されたトンネルのパス MTU 経時タイマーが満了しました。パス MTU は最大 MTU 値にリセットされ、次のパケットがこのトンネルを通過するときにパス MTU ディスカバリーが開始されます。

IPSP.035

レベル: U-TRACE

短構文: IPSP.035 pkt too big for tunnel *tunnel_id*, pmtu *mtu*

長構文: IPSP.035 Packet Too Big ICMP message received for tunnel *tunnel_id*, path MTU is *mtu*

説明: 指定のトンネルでこのルーターによって発信されたパケットに対して、パケットが大き過ぎるというメッセージを受信しました。このトンネルに対するパス MTU ディスカバリーが開始されます。

IPSP.036

レベル: UI-ERROR

短構文: IPSP.036 Path MTU: no tunl for src *src_addr* dst *dst_addr* spi *spi*

長構文: IPSP.036 Path MTU: no active tunnel list entry for source address *src_addr*, destination address *dst_addr*, and security parameter index *spi*

説明: 受信した ICMP "Packet Too Big" (パケットが大き過ぎる) パケットのアクティブ・トンネル・リスト・エントリーがありませんでした。

IPSP.037

レベル: UI-ERROR

短構文: IPSP.037 no mem for pmtu disc for *tunnel_id*

長構文: IPSP.037 There is no memory available to perform Path MTU Discovery for *tunnel_id*

説明: ルーターには、指定のトンネル上のパケットのパス MTU ディスカバリーのために必要な制御ブロックを割り振るための十分な記憶域がありません。

IPSP.038

レベル: UI-ERROR

短構文: IPSP.038 Path MTU: no tunl for src *src_addr* dst *dst_addr* spi *spi*

長構文: IPSP.038 Path MTU: no active tunnel list entry for source address *src_addr*, destination address *dst_addr*, and security parameter index *spi*

説明: 受信した ICMP "Packet Too Big" パケットのアクティブ・トンネル・リスト・エントリーがありませんでした。

IPSP.039

レベル: U-INFO

短構文: IPSP.039 pkt bigger than PMTU *source_ip_address* -> *destination_ip_address*, pmtu *pmtu*, pkt size *pktsize*

長構文: IPSP.039 Packet bigger than PMTU from *source_ip_address* to *destination_ip_address*, pmtu is *pmtu*, packet size is *pktsize*

説明: このメッセージは、保護トンネル・モードのトンネルを介して送信される IPv4 パケットが、そのトンネルのパス MTU より大きく、外部ヘッダーに DF ビットがセットされている場合に生成されます。ICMP "packet too big" メッセージが生成され、ホストに戻されます。

IPSP.040

レベル: U-INFO

短構文: IPSP.040 df bit not copied/set, sec pkt bigger than minimum, *source_ip_address* -> *destination_ip_address*, tnl *tunnel*

長構文: IPSP.040 df bit in the outer header cannot be copied/set, the secured packet is greater than the minimum MTU, *source_ip_address* to *destination_ip_address*, tunnel *tunnel*

説明: このメッセージは、保護トンネル・モードのトンネルを介して送信される IPv4 パケットに対して生成され

ます。パケットを保護した後は、そのトンネルのパス MTU を超えてしまいますが、着信パケットは MTU の最小値である 576 以下であったので、ICMP エラー・メッセージが出て、着信パケットのサイズは小さくされません。このトンネルの構成では、外部ヘッダーの DF ビットが内部ヘッダーからコピーされるか、セットされることになっていますが、パケットを断片化する必要があるため、これは行われません。外部ヘッダーの DF ビットはセットされません。

IPSP.041

レベル: P-TRACE

短構文: IPSP.041 *str_message* alg *algorithm* tunl *tunnel_id*

長構文: IPSP.041 *str_message* with algorithm *algorithm*
tunnel *tunnel_id*

説明: パケットに対する ESP 認証を行っています。

第53章 ISO OSI コネクションレス・ネットワーク・レイヤー (ISO)

この章では、ISO OSI コネクションレス・ネットワーク・レイヤー (ISO) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

ISO.001

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.001 rcvd incmplt pkt

長構文: ISO.001 received incomplete packet

説明: ISO CLNP データ・パケットとして認識されるパケット・フラグメントを受信しました。

ISO.002

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.002 rcvd pkt bad NSAP len (= *length*)

長構文: ISO.002 received packet with a bad NSAP length (= *length*)

説明: 不正な NSAP 長を含む ISO CLNP データ・パケットを受信しました。

ISO.003

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.003 rcvd pkt bad chksum = *pkt_chksum*

長構文: ISO.003 received packet with a bad checksum = *pkt_chksum*

説明: ISO CLNP データ・パケットを受信しましたが、無効なチェックサムを含んでいました。

ISO.004

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.004 rcvd pkt bad vers # = *version_number*

長構文: ISO.004 received packet with a bad version number (vers = *version_number*)

説明: ISO CLNP データ・パケットを受信しましたが、無効な、あるいはサポートされていないバージョン番号を含んでいました。

ISO.005

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.005 rcvd pkt bad typ # = *type_field*

長構文: ISO.005 received packet with a bad type field (vers = *type_field*)

説明: ISO CLNP データ・パケットを受信しましたが、無効な、あるいはサポートされていないタイプ・フィールドを含んでいました。

ISO.006

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.006 rcvd pkt life exp *source_NSAP* -> *destination_NSAP*

長構文: ISO.006 received packet with an expired lifetime *source_NSAP* -> *destination_NSAP*

説明: ISO CLNP データ・パケットを受信しましたが、無効なチェックサムを含んでいました。

ISO.007

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.007 rcvd pkt bad opt *source_NSAP* -> *destination_NSAP*

長構文: ISO.007 received packet with a bad optional parameter *source_NSAP* -> *destination_NSAP*

説明: 無効な任意選択パラメーターを含む ISO CLNP データ・パケットを受信しました。

ISO.008

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.008 rcvd pkt dest unkwn *source_NSAP* -> *destination_NSAP*

長構文: ISO.008 received packet - destination unknown *source_NSAP* -> *destination_NSAP*

説明: ISO CLNP データ・パケットを受信しましたが、あて先に関するルーティング・テーブル・エントリが

ないために、そのパケットをルート指定できません。

ISO.009

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.009 rcvd pkt no seg prmit *source_NSAP -> destination_NSAP*

長構文: ISO.009 received packet-no segmentation permitted *source_NSAP -> destination_NSAP*

説明: セグメント化の必要な ISO CLNP データ・パケットを受信しましたが、セグメント化許可フラグが設定されていませんでした。

ISO.010

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.010 rcvd pkt cnnt fwd *source_NSAP -> destination_NSAP* hndlr err (= *error_code*)

長構文: ISO.010 received packet cannot forward, handler error *source_NSAP -> destination_NSAP* (err= *error_code*)

説明: ISO CLNP データ・パケットを受信し、ルートしましたが、ハンドラー・エラーのために転送できませんでした。

ISO.011

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.011 CLNP input que ovflw *source_NSAP -> destination_NSAP*

長構文: ISO.011 CLNP input queue overflow *source_NSAP -> destination_NSAP*

説明: ISO CLNP 入力パケット待ち行列がオーバーフローしました。パケットは除去されます。

ISO.012

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.012 no iob avail to snd err pkt

長構文: ISO.012 no i/o buffer available to send error packet

説明: ISO CLNP エラー・パケットを送信しようとしたが、システム入出力バッファがないために失敗しました。

ISO.014

レベル: P-TRACE

短構文: ISO.014 rcvd pkt *source_NSAP -> destination_NSAP*

長構文: ISO.014 received packet *source_NSAP -> destination_NSAP*

説明: ISO CLNP データ・パケットが受信され、エラー検査に合格しました。

ISO.015

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.015 cnnt fwd err pkt hndlr err (= *error_code*) *source_NSAP -> destination_NSAP*

長構文: ISO.015 cannot forward an error packet, handler error (err= *error_code*) *source_NSAP -> destination_NSAP*

説明: ハンドラー・エラーのために、ISO CLNP エラー・パケットを転送できませんでした。

ISO.017

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.017 OSI unknwn init prot id

長構文: ISO.017 OSI unknown initial protocol identifier

説明: 初期プロトコル識別子が確認不能か、またはサポートされていない ISO CLNP パケットを受信しました。

ISO.018

レベル: P-TRACE

短構文: ISO.018 rcvd ERR pkt *source_NSAP -> destination_NSAP* cd= *error_code*

長構文: ISO.018 received Error packet *source_NSAP -> destination_NSAP* code = *error_code*

説明: このルーターに関する ISO CLNP エラー・パケットを受信しました。

ISO.019

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.019 rcvd DT loc *source_NSAP -> destination_NSAP*

長構文: ISO.019 received Data Packet Local *source_NSAP -> destination_NSAP*

説明: あて先 NSAP がルーターの NSAP の 1 つを示している ISO CLNP データ・パケットを受信しました。

ISO.020

レベル: P-TRACE

短構文: ISO.020 sent ERR pkt *destination_NSAP*

長構文: ISO.020 sent Error packet *destination_NSAP*

説明: 無効なパケットの受信時に、ISO CLNP エラー・パケットを送信しました。

ISO.021

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.021 SRAM err-no NSAP for sbnet

長構文: ISO.021 SRAM error-no NSAP for subnet

説明: サブネットまたはドメインに NSAP が定義されていないサブネットが定義されました。

ISO.022

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.022 SRAM err-unconcted sbnet

長構文: ISO.022 SRAM error- unconnected subnet

説明: サブネットまたはドメインに NSAP が定義されていないサブネットが定義されました。

ISO.023

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.023 SRAM err-rte not insrted err= *error_code* Rt *Destination*

長構文: ISO.023 SRAM error- route not intserted error code = *error_code* Route to *Destination*

説明: 静的に構成されたルートを、ルーティング・テーブルに挿入できませんでした。

ISO.024

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.024 SRAM err-no adj structs

長構文: ISO.024 SRAM error-no adjacency structures available

説明: 構成された隣接構造が十分ではありません。

ISO.025

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.025 SRAM err-bad ES rte no sub dom = *domain* int= *interface*

長構文: ISO.025 SRAM error-bad static encoded ES route-no subnet domain = *domain* int = *interface*

説明: 存在しないサブネットのコード化エンド・システム・ルートが定義されました。

ISO.027

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.027 SRAM err-bad glbl conf

長構文: ISO.027 SRAM error-bad global configuration

説明: OSI 転送機能が使用可能にされましたが、定義されているドメインがないか、あるいはルートまたは隣接の数が 0 に設定されています。

ISO.028

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.028 SRAM err-not enough mem

長構文: ISO.028 SRAM error-not enough memory

説明: OSI 転送機能が、稼働するために必要な記憶域を獲得できませんでした。

ISO.029

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.029 OSI configured to be disabled

長構文: ISO.029 OSI forwarder is configured to be disabled

説明: OSI 転送機能が、グローバル情報が入力されなかったか、あるいはその転送機能が明示的に使用不可にされていたために、使用可能になっていませんでした。

ISO.030

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.030 OSI not starting - check config

長構文: ISO.030 OSI forwarder not starting - check configuration

説明: OSI 転送機能が、その構成方法が原因で始動していません。

ISO.031

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.031 rcvd echo dest unkwn *source_NSAP* -> *destination_NSAP*

長構文: ISO.031 received echo packet - destination unknown *source_NSAP* -> *destination_NSAP*

説明: ISO CLNP エコー・パケットを受信しましたが、あて先に関するルーティング・テーブル・エントリがないためにルートできません。

ISO.032

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.032 no iob avail to snd echo pkt

長構文: ISO.032 no i/o buffer available to send echo packet

説明: ISO CLNP エコー・パケットを送信しようとしたが、システム入出力バッファがないために失敗しました。

ISO.033

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.033 cnnt fwd echo pkt hndlr err (= *error_code*) *source_NSAP* -> *destination_NSAP*

長構文: ISO.033 cannot send an echo packet, handler error (err= *error_code*) *source_NSAP* -> *destination_NSAP*

説明: ハンドラー・エラーのために、ISO CLNP エコー・パケットを送信できませんでした。

ISO.034

レベル: P-TRACE

短構文: ISO.034 sent ECHO rply pkt *destination_NSAP*

長構文: ISO.034 sent ECHO reply packet *destination_NSAP*

説明: 無効なパケットの受信時に、ISO CLNP ECHO 応答パケットを送信しました。

ISO.035

レベル: P-TRACE

短構文: ISO.035 sent ECHO pkt rqst *destination_NSAP*

長構文: ISO.035 sent ECHO request packet *destination_NSAP*

説明: 無効なパケットの受信時に、ISO CLNP ECHO 要求パケットを送信しました。

ISO.036

レベル: P-TRACE

短構文: ISO.036 rcvd ECHO rqst *source_NSAP* -> *destination_NSAP*

長構文: ISO.036 received Echo Requet *source_NSAP* -> *destination_NSAP*

説明: ISO CLNP エコー・パケットを受信しました。

ISO.037

レベル: P-TRACE

短構文: ISO.037 rcvd ECHO rply *source_NSAP* -> *destination_NSAP*

長構文: ISO.037 received ECHO reply *source_NSAP* -> *destination_NSAP*

説明: ISO CLNP ECHO 応答を受信しました。

ISO.038

レベル: P-TRACE

短構文: ISO.038 DNA pkt forwarded via OSI at level *rtg_lvl*

長構文: ISO.038 DNA packet forwarded via OSI at level *rtg_lvl*

説明: DNA パケットが受信され、それを転送するために OSI に渡されました。

ISO.039

レベル: P-TRACE

短構文: ISO.039 DNA pkt translated to OSI pkt *source_NSAP* -> *destination_NSAP*

長構文: ISO.039 DNA pkt translated to OSI pkt: *source_NSAP* -> *destination_NSAP*

説明: DNA データ・パケットが、OSI データ・パケットに正しく変換されました。

ISO.040

レベル: P-TRACE

短構文: ISO.040 Translation of DNA pkt to OSI pkt failed

長構文: ISO.040 Translation of DNA pkt to OSI pkt failed

説明: DNA データ・パケットの OSI データ・パケットへの変換の試みに失敗しました。

ISO.041

レベル: P-TRACE

短構文: ISO.041 OSI pkt translated to DNA pkt *src* -> *dst*

長構文: ISO.041 OSI pkt translated to DNA pkt: *src* -> *dst*

説明: OSI データ・パケットが、DNA データ・パケットに正しく変換されました。

ISO.043

レベル: P-TRACE

短構文: ISO.043 OSI pkt forwarded via DNA at level *rtg_lvl*

長構文: ISO.043 OSI packet forwarded via DNA at level *rtg_lvl*

説明: OSI パケットを受信し、それを転送するために DNA に渡しました。

ISO.044

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.044 Can't send echo message to local router

長構文: ISO.044 Can't send an echo message to the local router.

説明: エコー・メッセージをローカル・ルーターに送信しようとしてしました。この試みは、ユーザーがあて先アドレスとしてローカル・ルーターの NSAP を指定した送信コマンドをコンソールから入力すると行われます。

ISO.045

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.045 Error PDU rcvd from *src_nsap* on nt network ID dropped - SP, MS or E/R flag set

長構文: ISO.045 Error PDU received from *src_nsap* on network *network ID* dropped because either the segmentation permitted, more segments, or error report flag was set

説明: エラー報告 PDU を受信しましたが、それは、セグメント化が許可されている、もっと多くのセグメントを含んでいる、あるいはエラー報告フラグが設定されているものでした。これらのフラグは、エラー PDU の場合は常にゼロであることになっています。エラー PDU は除去されます。

ISO.046

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.046 max SVC adj reached on cir (*routing-circuit*)

長構文: ISO.046 maximum SVC adjacencies reached on circuit *routing-circuit*

説明: DA 回線がすでに許容最大隣接数に達しているために、ルーターがその回線上でデータを転送できません。

ISO.047

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.047 no usable DTEs on cir (*routing-circuit*)

長構文: ISO.047 no usable DTEs on DA circuit (*routing-circuit*)

説明: コール障害、および DA 回線へのすべてのリモート DTE が、リコール・タイマーより新しいタイム・スタンプを持っています。

ISO.048

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.048 call tmplt not found for cir (*routing-circuit*)

長構文: ISO.048 call template not found for circuit (*routing-circuit*)

説明: コール障害、ルーターがその回線のコール・テンプレートを見付けられません。

ISO.049

レベル: C-TRACE

短構文: ISO.049 rcvd clr on cir (*routing-circuit*)

長構文: ISO.049 received Clear on circuit (*routing-circuit*)

説明: ルーターが回線上で切断指示を受信しました。

ISO.050

レベル: C-TRACE

短構文: ISO.050 recall timeout on cir (*routing-circuit*)

長構文: ISO.050 recall timeout on DA circuit (*routing-circuit*)

説明: DA 回線上のリコール・タイマーが満了となりました。

ISO.051

レベル: C-TRACE

短構文: ISO.051 rsrv timeout on cir (*routing-circuit*)

長構文: ISO.051 reserve timeout on DA circuit (*routing-circuit*)

説明: DA SVC 上の予約タイマーが満了となりました。

ISO.052

レベル: C-TRACE

短構文: ISO.052 idle timeout on cir (*routing-circuit*)

長構文: ISO.052 idle timeout on DA circuit (*routing-circuit*)

説明: DA SVC 上のアイドル・タイマーが満了となりました。

ISO.053

レベル: C-TRACE

短構文: ISO.053 calling on cir (*routing-circuit*)

長構文: ISO.053 calling on circuit (*routing-circuit*)

説明: ルーターが、回線に関するコールを発信しました。

ISO.054

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.054 max calls on cir (*routing-circuit*)

長構文: ISO.054 maximum call attempts made on circuit (*routing-circuit*)

説明: ルーターが、回線上でコール障害を起こし、最大コール試行回数に達しました。

ISO.055

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.055 cnnt reg with WAN ser on intf *interface*

長構文: ISO.055 cannot register with WAN services on interface *interface*

説明: プロトコルがインターフェース上で WAN サービスに登録できません。

ISO.056

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.056 op on non-exist cir (*routing-circuit*)

長構文: ISO.056 attempt to operate on a non-existent circuit (*routing-circuit*)

説明: ルーターが、構成されていない回線上で操作 (使用可能化/使用不可化) を試みました。

ISO.057

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.057 cnnt get X.121 from NASP

長構文: ISO.057 cannot extract the X.121 address from the NSAP given

説明: あて先 NSAP が X.121 抽出可能形式になっていません。

ISO.058

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.058 que ovflw on cir (*routing-circuit*)

長構文: ISO.058 buffer queue overflow on DA circuit (*routing-circuit*)

説明: ISO CLNP 出力パケット待ち行列がオーバーフローしました。転送機能がこのパケットを除去しました。

第54章 ISDN 調整および管理エンティティ (CEME)

この章では、ISDN 調整および管理エンティティ (CEME) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

CEME.001

レベル: U-INFO

短構文: CEME.001 START_RQ recvd switch type = *switch* on isdn/ *intf*

長構文: CEME.001 Request to initiate L2 for switch *switch* on network *intf*

説明: このインターフェースの L2 および TEI 要求を開始するための要求。

処置: なし。

CEME.003

レベル: U-INFO

短構文: CEME.003 RELEASE Layer 3 prim=0x *prim* on nt isdn/ *intf*

長構文: CEME.003 layer 3 Release received primitive=0x *prim* on ISDN/ *intf*

説明: このインターフェースに対するすべてのコールを解放し、L2 を通知します。

処置: なし。

CEME.004

レベル: U-INFO

短構文: CEME.004 Establish request received, primitive 0x *prim* on isdn/ *intf*

長構文: CEME.004 Establish layer 3 primitive value (0x *prim*) on network *intf*

説明: レイヤー 3 開始 D チャンネル通信を確立します。

処置: なし。

CEME.005

レベル: U-INFO

短構文: CEME.005 TEI *tei* REMOVED no response from network on isdn/ *intf*

長構文: CEME.005 *tei* time out, no network response for *tei* on isdn *intf*

説明: TEI を除去します。

処置: なし。

CEME.006

レベル: U-INFO

短構文: CEME.006 TEI *tei* REMOVED by request on isdn/ *intf*

長構文: CEME.006 *tei* *tei* has been removed by request on isdn *intf*

説明: TEI を除去します。

処置: なし。

Panic cemeym

短構文: YDC ISDN: mem alloc fld

説明: YDC ISDN ネットワーク・ハンドラーは、初期化フェーズで十分な記憶域を割り振ることができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

第55章 ISDN レイヤー 2 リンク・アクセス手順 D チャネル (LAPD)

この章では、ISDN レイヤー 2 リンク・アクセス手順 D チャネル (LAPD) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

LAPD.001

レベル: U-INFO

短構文: LAPD.001 SABME rcvd on isdn/ intf

長構文: LAPD.001 Request to initiate Asynchronous balanced mode on isdn/ intf

説明: コネクション型のレイヤー 2 サービスを開始します。

処置: なし。

LAPD.002

レベル: U-INFO

短構文: LAPD.002 SABME sent on isdn/ intf

長構文: LAPD.002 Request to initiate Asynchronous balanced mode on isdn/ intf

説明: コネクション型のレイヤー 2 サービスを開始します。

処置: なし。

LAPD.003

レベル: U-INFO

短構文: LAPD.003 UA rcvd on isdn/ intf

長構文: LAPD.003 Response to SABME/ DISC initiate/terminate Asynchronous balanced mode on isdn/ intf

説明: コネクション型のレイヤー 2 サービスを開始/停止します。

処置: なし。

LAPD.004

レベル: U-INFO

短構文: LAPD.004 UA sent on isdn/ intf

長構文: LAPD.004 Respond to request to initiate/terminate Asynchronous balanced mode on isdn/ intf

説明: コネクション型のレイヤー 2 サービスを開始/停止します。

処置: なし。

LAPD.005

レベル: U-INFO

短構文: LAPD.005 L2-DISC rcv on isdn/ intf

長構文: LAPD.005 Layer 2 disconnect received to terminate Asynchronous balanced mode on isdn/ intf

説明: コネクション型のレイヤー 2 サービスを停止します。

処置: なし。

LAPD.006

レベル: U-INFO

短構文: LAPD.006 DM rcv on isdn/ intf

長構文: LAPD.006 Disconnect Mode (DM) rcv terminate Asynchronous balanced mode on isdn/ intf

説明: コネクション型のレイヤー 2 サービスを停止します。

処置: なし。

Panic lapdym

短構文: YDC ISDN: mem alloc fld

説明: YDC ISDN ネットワーク・ハンドラーは、初期化フェーズで十分な記憶域を割り振ることができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

第56章 LAN エミュレーション・クライアント機能 (LEC)

この章では、LAN エミュレーション・クライアント機能 (LEC) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

LEC.001

レベル: C-INFO

短構文: LEC.001 LEC function entry/exit tracing

長構文: LEC.001 LEC function entry/exit tracing

説明: ユーザーは、このメッセージの表示をオン/オフにするだけで、LEC の機能の開始および終了のトレースを使用可能/使用不可にすることができます。

LEC.002

レベル: C-INFO

短構文: LEC.002 nt network entry_exit log_point

長構文: LEC.002 network network: lec trace log: entry_exit log_point

説明: LEC 汎用機能の開始/終了

LEC.003

レベル: C-INFO

短構文: LEC.003 nt network entry_exit log_point, D1= arg1

長構文: LEC.003 network network: lec trace log: entry_exit log_point, D1= arg1

説明: 引き数を 1 つ指定した LEC 汎用機能の開始/終了

LEC.004

レベル: C-INFO

短構文: LEC.004 nt network entry_exit log_point, D1= arg1, D2= arg2

長構文: LEC.004 network network: lec trace log: entry_exit log_point, D1= arg1, D2= arg2

説明: 引き数を 2 つ指定した LEC 汎用機能の開始/終了

LEC.006

レベル: C-INFO

短構文: LEC.006 nt network trace_type log_point, conn_handle= conn_handle

長構文: LEC.006 network network: lec trace log: trace_type

log_point, conn_handle= conn_handle

説明: 引き数 (接続ハンドル) を 1 つ含む、LEC の総称トレース・メッセージ

LEC.007

レベル: C-INFO

短構文: LEC.007 nt network trace_type log_point, client_state= client_state

長構文: LEC.007 network network: lec trace log: trace_type log_point, client_state= client_state

説明: 引き数 (クライアント状態) を 1 つ含む、LEC の総称トレース・メッセージ

LEC.008

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.008 LEC inbnd fr dscrdr, bad FC, on nt network ID, word1 word2 word3 word4

長構文: LEC.008 LEC inbnd fr dscrdr, bad FC, on network network ID, word1 word2 word3 word4

説明: LEC インバウンド・データ・フレームが廃棄されました。FC バイトが不良です。

LEC.009

レベル: U-INFO

短構文: LEC.009 nt network LEC state chng from old_state to new_state

長構文: LEC.009 network network LEC client state machine changed from old_state to new_state

説明: LEC クライアント状態マシン (CLSM) が現在の LEC の状態を追跡しています。状態として可能なものには、IDLE、LECS_SETUP、CONFIGURE、LES_SETUP、JOINING、ARPING FOR BUS、BUS SETUP、および OPERATIONAL があります。

LEC.010

レベル: U-INFO

短構文: LEC.010 nt *network* dest state chng from *old_state* to *new_state*

長構文: LEC.010 network *network* LEC destination state machine changed from *old_state* to *new_state*

説明: LEC あて先マシン (DSM) が ARP エントリーの状態を追跡しています。状態として可能なものは、UNKNOWN、ARPING、CYCLING、KNOWN、FLUSHING、および CONNECTED です。

LEC.011

レベル: P_TRACE

短構文: LEC.011 Trace LEC data packet

長構文: LEC.011 Trace LEC data packet

説明: トレース LEC データ・パケット

LEC.012

レベル: P_TRACE

短構文: LEC.012 Trace LEC control packet

長構文: LEC.012 Trace LEC control packet

説明: トレース LEC 制御パケット

LEC.013

レベル: C-TRACE

短構文: LEC.013 nt *network* Rcvd *ctrl_frame* on conn handle *conn_handle* with xid *xid*

長構文: LEC.013 network *network* Received *ctrl_frame* control frame on conn handle *conn_handle* with tran id of *xid*

説明: LEC が ATM ネットワークから制御フレームを受信しました。

LEC.014

レベル: C-TRACE

短構文: LEC.014 nt *network* Sent *ctrl_frame* on conn handle *conn_handle* with xid *xid*

長構文: LEC.014 network *network* Sent *ctrl_frame* control frame on conn handle *conn_handle* with tran id of *xid*

説明: LEC が ATM ネットワーク上に制御フレームを送信しました。

LEC.015

レベル: U-INFO

短構文: LEC.015 nt *network* trace_type log_point

長構文: LEC.015 network *network*: lec trace log: trace_type log_point

説明: LEC 一般情報

LEC.017

レベル: U-INFO

短構文: LEC.017 nt *network* trace_type log_point, D1= *arg1*, D2= *arg2*

長構文: LEC.017 network *network*: lec trace log: trace_type log_point, D1= *arg1*, D2= *arg2*

説明: 2 つの引き数を含む LEC 一般情報

LEC.020

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.020 nt *network* error_lvl log_point

長構文: LEC.020 network *network*: lec error log: error_lvl log_point

説明: LEC 総称エラー

LEC.021

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.021 nt *network* error_lvl log_point, D1= *arg1*

長構文: LEC.021 network *network*: lec error log: error_lvl log_point, D1= *arg1*

説明: 1 つの引き数を含む LEC 総称エラー

LEC.022

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.022 nt *network* error_lvl log_point, D1= *arg1*, D2= *arg2*

長構文: LEC.022 network *network*: lec error log: error_lvl log_point, D1= *arg1*, D2= *arg2*

説明: 2 つの引き数を含む LEC 総称エラー

LEC.024

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.024 open frame SAP failed on nt *n_net*, rc= *retcd*

長構文: LEC.024 open frame SAP failed on network *n_net*, rc = *retcd*

説明: フレーム SAP のオープンに失敗しました。

LEC.025

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.025 open call SAP failed on nt *n_net*, rc= *retcd*

長構文: LEC.025 open call SAP failed on network *n_net*, rc = *retcd*

説明: コール SAP のオープンに失敗しました。

LEC.026

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.026 open data path failed for outgoing call, on nt *n_net*, rc= *retcd*

長構文: LEC.026 open data path failed for outgoing call, on network *n_net*, rc = *retcd*

説明: 発信コールのためのデータ・パスのオープンに失敗しました。

LEC.027

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.027 open data path failed for incoming call, on nt *n_net*, rc= *retcd*

長構文: LEC.027 open data path failed for incoming call, on network *n_net*, rc = *retcd*

説明: 着信コールのためのデータ・パスのオープンに失敗しました。

LEC.028

レベル: C-INFO

短構文: LEC.028 Function *function_name* called, nt *network ID*

長構文: LEC.028 Function *function_name* called, on network *network ID*

説明: ATM の LEC 機能が呼び出されました。

LEC.029

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.029 Start failed, on nt *network ID*, rc= *retcd*

長構文: LEC.029 Start failed, on network *network ID*, rc = *retcd*

説明: LEC オブジェクトの開始に失敗しました。

LEC.030

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.030 create LEC object failed, on nt *network ID*, rc= *retcd*

長構文: LEC.030 create LEC object failed, on network *network ID*, rc = *retcd*

説明: LEC オブジェクトを作成できませんでした。

LEC.031

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.031 usr reg failed, on nt *network ID*, rc= *retcd*

長構文: LEC.031 user registration failed, on network *network ID*, rc = *retcd*

説明: LEC が登録できませんでした。

LEC.032

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.032 nt *network ID*, ATM nt *network ID* nt nbld

長構文: LEC.032 on network *network ID*, ATM network *network ID* not enabled

説明: ATM インターフェースが使用可能になっていません。

LEC.033

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.033 LEC activate failed, on nt *network ID*, rc= *retcd*

長構文: LEC.033 LEC activate failed, on network *network ID*, rc = *retcd*

説明: LEC の活動化に失敗しました。

LEC.034

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.034 LEC activate complete, on nt *network ID*, rc= *retcd*

長構文: LEC.034 LEC activate complete, on network *network ID*, rc = *retcd*

説明: LEC の活動化に失敗しました。

LEC.035

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.035 Outbound frame freed, on nt *network ID*

長構文: LEC.035 Outbound frame freed, on network *network ID*

説明: アウトバウンド・フレームが解放されました。

LEC.036

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.036 Outbound frame queued, on nt *network ID*

長構文: LEC.036 Outbound frame queued, on network *network ID*

説明: アウトバウンド・フレームが待ち行列に入れられました。

LEC.037

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.037 Transmit failed, on nt *network ID*, rc=*retcd*

長構文: LEC.037 Transmit failed, on network *network ID*, rc = *retcd*

説明: 送信に失敗しました。

LEC.038

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.038 Outbound frame discarded, on nt *network ID*, rsn= *reason*, state= *state*, hndl= *conn_handle*

長構文: LEC.038 Outbound frame discarded, on network *network ID*, reason = *reason*, DSM state = *state*, conn handle = *conn_handle*

説明: アウトバウンド・フレームが廃棄されました。

LEC.039

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.039 LEC inbnd fr dscrd, size *size*, on nt *network ID*

長構文: LEC.039 LEC inbound frame discarded, size *size*, on network *network ID*

説明: LEC インバウンド・データ・フレームが、フレームが小さ過ぎるために廃棄されました。

LEC.040

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.040 LEC inbnd fr dscrd, mcast addr, on nt *network ID*

長構文: LEC.040 LEC inbnd fr dscrd, mcast address, on network *network ID*

説明: LEC インバウンド・データ・フレームが、マルチキャスト・データがデータ・ダイレクト上に受信されたために廃棄されました。

LEC.041

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.041 LEC inbnd fr dscrd, bad mac, on nt *network ID*

長構文: LEC.041 LEC inbnd fr dscrd, bad mac address, on network *network ID*

説明: LEC インバウンド・データ・フレームが、MAC アドレスが不適切であるために廃棄されました。

LEC.042

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.042 SRAM nt fnd on dsbl, on nt *network ID*

長構文: LEC.042 SRAM not found after disable, on network *network ID*

説明: ユーザーが LEC インターフェースを使用不可にした後に、合致する SRAM ブロックが検出できませんでした。

LEC.043

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.043 cancel alarm, on nt *net_no* rc = *rcode*, num *num*

長構文: LEC.043 Bad return from cancel alarm, on network *net_no*, rc = *rcode*, num = *num*

説明: タイマーを停止しましたが、不正な戻りコードが返されました。

LEC.044

レベル: C-TRACE

短構文: LEC.044 nt *network* Rcvd Topology on conn handle *conn_handle* with *xid xid*

長構文: LEC.044 network *network* Received Topology

control frame on conn handle *conn_handle* with tran id of *xid*

説明: LEC は ATM ネットワークからトポロジー制御フレームを受信しました。

LEC.045

レベル: C-TRACE

短構文: LEC.045 nt *network* Sent Topology on conn handle *conn_handle* with xid *xid*

長構文: LEC.045 network *network* Sent Topology control frame on conn handle *conn_handle* with tran id of *xid*

説明: LEC は ATM ネットワークを通してトポロジー制御フレームを送信しました。

LEC.046

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.046 nt *net_no* LEC QoS object addresses unavailable

長構文: LEC.046 nt *net_no* LEC QoS object addresses unavailable

説明: LEC QoS オブジェクトが LEC のオブジェクト・アドレスを取得できません。

LEC.047

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.047 nt *net_no* LEC QoS invld parms, entity:(*maxReservedBW*, *trafficType*, *pcr*, *scr*, *qosClass*, *maxBurstSize*),rc= *rcode*

長構文: LEC.047 nt *net_no* LEC QoS invalid parms, entity(max= *maxReservedBW* kbps,type= *trafficType*,pcr= *pcr* kbps,scr= *scr* kbps,class= *qosClass*,busrt= *maxBurstSize*),rc= *rcode*

説明: エンティティに関する LEC QoS の QoS パラメーターが無効です。

LEC.048

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.048 nt *net_no* LEC QoS invld TLV rcvd, entity:type= *tlvType*

長構文: LEC.048 nt *net_no* LEC QoS invalid TLV received, entity,type= *tlvType*

説明: LEC QoS の無効の TLV が、*tlvType* の制御フレーム (エンティティ) に入って受信されました。

LEC.049

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.049 nt *net_no* LEC QoS error updating statistics, invld type = *statisticType*

長構文: LEC.049 nt *net_no* LEC QoS error updating statistics, invld type = *statisticType*

説明: LEC QoS の無効のタイプが、統計の更新中に指定されました。

LEC.050

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.050 nt *net_no* LEC QoS error obtaining config parm *configParm* = *value1*

長構文: LEC.050 nt *net_no* LEC QoS error obtaining configuration parameter *configParm* = *value1*

説明: SRAM から構成パラメーターを獲得中に、LEC QoS エラーが生じました。

LEC.051

レベル: U-INFO

短構文: LEC.051 nt *net_no* lec *tableId*: incr tbl sz frm *prevMaxConnEnties* to *newMaxConnEntries* : *statusString*

長構文: LEC.051 nt *net_no* lec *tableId*: increase table size from *prevMaxConnEnties* to *newMaxConnEntries* : Status *statusString*

説明: LEC 構成要素によって、テーブルのサイズが拡大され、動作状況は SUCCESSFULL と FAILED のいずれかです。

LEC.052

レベル: U-INFO

短構文: LEC.052 nt *net_no* lec *tableId*: decr tbl sz frm *prevMaxConnEnties* to *newMaxConnEntries* : *statusString*

長構文: LEC.052 nt *net_no* lec *tableId*: decrease table size from *prevMaxConnEnties* to *newMaxConnEntries* : Status *statusString*

説明: LEC 構成要素によって、テーブルのサイズが縮小され、動作状況は SUCCESSFULL と FAILED のいずれかです。

LEC.053

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.053 Outbnd frm dscrd, on nt *net_no*,frm sz (*frame_size*) xcds cnfgd frm sz (*config_frame_size*)

長構文: LEC.053 Outbound frame discarded, on network *net_no*, frame size (*frame_size*) exceeds configured frame size (*config_frame_size*)

説明: アウトバウンド・フレームが廃棄されました。フレームのサイズが、構成されたフレーム・サイズより大きかったためです。

LEC.054

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.054 Inbnd frm dscrd, on nt *net_no*,frm sz (*frame_size*) xcds cnfgd frm sz (*config_frame_size*)

長構文: LEC.054 Inbound frame discarded, on network *net_no*, frame size (*frame_size*) exceeds configured frame size (*config_frame_size*)

説明: インバウンド・フレームが廃棄されました。フレームのサイズが、構成されたフレーム・サイズより大きかったためです。

LEC.055

レベル: C-INFO

短構文: LEC.055 FLUSH msg prcssd by Redun IP Gtwy on nt *net_no*

長構文: LEC.055 The LEC received a FLUSH msg that was processed by a Redundant IP Gateway on net *net_no*

説明: LEC が 冗長 IP ゲートウェイで処理された FLUSH メッセージを受信しました。このメッセージは、1 次ゲートウェイが起動を試みていることを、バックアップ・ゲートウェイに通知します。

LEC.057

レベル: DEBUG

短構文: LEC.057 nt *net_no*:ntrng fn: *function_name*:
parameters

長構文: LEC.057 nt *net_no*:entering function: *function_name*:
parameters

説明: 名前を指定された機能が開始されました。

LEC.058

レベル: DEBUG

短構文: LEC.058 nt *net_no*:xtng fn: *function_name*:
parameters

長構文: LEC.058 nt *net_no*:exiting function: *function_name*:
parameters

説明: 名前を指定された機能が終了しました。

LEC.059

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.059 nt *net_no*:fn: *function_name*:ntry entry
unkwn dest st *dest_state*

長構文: LEC.059 nt *net_no*:function *function_name*:entry
entry unknown destination state *dest_state*

説明: 指定の機能で、処理中のエントリーが無効の状態です。

LEC.060

レベル: CE-ERROR

短構文: LEC.060 nt *net_no*:Mx LE_ARP rtry cnt (*retry_cnt*)
excd fr *arp_entry*

長構文: LEC.060 nt *net_no*:Max LE_ARP retry count (*retry_cnt*)
exceeded from *arp_entry*

説明: 最大 ARP エントリー・カウントを超えました。待ち行列に入っているフレームはすべて廃棄され、該当の ARP エントリーは削除されます。

LEC.061

レベル: C-INFO

短構文: LEC.061 nt *net_no*:ARP cycl tmr xprd:ntry
arp_entry st *state*

長構文: LEC.061 nt *net_no*:ARP cycle timer expired:entry
arp_entry state *state*

説明: 指定のエントリーの ARP サイクル・タイマーが満了しました。該当の ARP エントリーは解放されます。

LEC.062

レベル: C-INFO

短構文: LEC.062 nt *net_no*:Flsh tmr xprd:ntry *arp_entry*
st *state*

長構文: LEC.062 nt *net_no*:Flush timer expired:entry
arp_entry state *state*

説明: 指定のエントリーのフラッシュ・タイマーが満了しました。指定の状態が FLUSHING の場合、待ち行列に入っているフレームはすべて廃棄され、別のフラッシュ要求が送信されます。

LEC.063

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.063 nt *net_no*:Orphnd Flsh tmr xprd:ntry *arp_entry* st state

長構文: LEC.063 nt *net_no*:Orphaned Flush timer expired:entry *arp_entry* state state

説明: 指定のエントリーの孤立フラッシュ・タイマーが満了しました。指定された状態では、フラッシュ・タイマーがアクティブであるはずはありません。

LEC.064

レベル: C-INFO

短構文: LEC.064 nt *net_no*:PSD tmr xprd:ntry *arp_entry* st state

長構文: LEC.064 nt *net_no*:PSD timer expired:entry *arp_entry* state state

説明: 指定のエントリーのパス・スイッチ遅延タイマーが満了しました。指定された状態が FLUSHING の場合、待ち行列に入っているフレームはすべて転送されます。

LEC.065

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.065 nt *net_no*:Orphnd PSD tmr xprd:ntry *arp_entry* st state

長構文: LEC.065 nt *net_no*:Orphaned PSD timer expired:entry *arp_entry* state state

説明: 指定のエントリーの孤立 PSD タイマーが満了しました。指定された状態では、PSD タイマーはアクティブであるはずはありません。

LEC.066

レベル: C-INFO

短構文: LEC.066 nt *net_no*:Rdy rtry cnt eqls mx rdy rtries (*max_rdy_retries*), ntry *art_entry*

長構文: LEC.066 nt *net_no*:Ready retry count equals max ready retries(*max_rdy_retries*), entry *art_entry*

説明: レディー再試行カウントが定義された最大レディー再試行回数に等しく、エントリーの状態は CALL PENDING です。コールはハングアップされます。

LEC.067

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.067 nt *net_no*:xmt ctrl frm, rdy qry fld,ntry *art_entry*

長構文: LEC.067 nt *net_no*:xmit control frame, ready query failed, entry *art_entry*

説明: レディー照会の送信中に、エラーが発生しました。

LEC.068

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.068 nt *net_no*:Orphnd Rdy tmr xprd:ntry *art_entry* st state

長構文: LEC.068 nt *net_no*:Orphaned Ready timer expired:entry *art_entry* state state

説明: 指定のエントリーの孤立レディー・タイマーが満了しました。指定された状態では、レディー・タイマーはアクティブであるはずはありません。

LEC.069

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.069 nt *net_no*:Plc cll fld:out of rsrc, addr *atm_addr*

長構文: LEC.069 nt *net_no*:Place call failed:out of resource, address *atm_addr*

説明: 資源の不足のため、アウトバウンド・データ・ダイレクト接続のコールの発信に失敗しました。

LEC.070

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.070 nt *net_no*:fn *function_name*:ntry entry unknwn cll st *call_state*

長構文: LEC.070 nt *net_no*:function *function_name*:entry entry unknown call state *call_state*

説明: 指定の機能で、処理中のエントリーが無効の状態です。

LEC.071

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.071 nt *net_no*:Mltpl cnncnts exst to cllr addr *caller_addr*

長構文: LEC.071 nt *net_no*:Multiple connections exist to caller address *caller_addr*

説明: インバウンド・データ・ダイレクト・コールを受信しました。コーリング側への接続が複数存在するため、このコールは拒否されます。

LEC.072

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.072 nt *net_no*:Rcv cll fld:out of rsrc, conn hndl *conn_handle*

長構文: LEC.072 nt *net_no*:Receive call failed:out of resource,conn handle *conn_handle*

説明: 資源の不足のため、インバウンド・データ・ダイレクト接続のコールの受信に失敗しました。

LEC.073

レベル: C-INFO

短構文: LEC.073 nt *net_no*:Rdy Indct rcvd,ntry *art_entry* st *state*

長構文: LEC.073 nt *net_no*:Ready Indicate received,entry *art_entry* state *state*

説明: レディー表示フレームを受信しました。

LEC.074

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.074 nt *net_no*:Rdy Indct rcvd,cll st err ,ntry *art_entry* st *state*

長構文: LEC.074 nt *net_no*:Ready Indicate received,call state error, entry *art_entry* state *state*

説明: レディー表示フレームは、この状態の接続上で受信されるはずはありません。

LEC.075

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.075 nt *net_no*:Rdy Indct rcvd,unkwnn conn, conn hndl *conn_handle*

長構文: LEC.075 nt *net_no*:Ready Indicate received,unknown connection, conn handle *conn_handle*

説明: LEC が認識不能の接続上でレディー表示フレームを受信しました。

LEC.076

レベル: C-INFO

短構文: LEC.076 nt *net_no*:Plc Cll Ack rcvd,ntry *art_entry* st *state*

長構文: LEC.076 nt *net_no*:Place Call Ack Received,entry *art_entry* state *state*

説明: 発信コール ACK を受信しました。

LEC.077

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.077 nt *net_no*:xmt ctrl frm,rdy indct fld,addr *atm_addr*

長構文: LEC.077 nt *net_no*:xmit control frame,ready indicate failed, address *atm_addr*

説明: レディー表示制御フレームを送信できません。

LEC.078

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.078 nt *net_no*:Plc Cll Ack rcvd,cll st err ,ntry *art_entry* st *state*

長構文: LEC.078 nt *net_no*:Place Call Ack received,call state error, entry *art_entry* state *state*

説明: 発信コール ACK が、この状態の接続上で受信されるはずはありません。

LEC.079

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.079 nt *net_no*:Plc Cll Ack rcvd,unkwnn conn, conn hndl *conn_handle*

長構文: LEC.079 nt *net_no*:Place Call Ack received,unknown connection, conn handle *conn_handle*

説明: LEC が確認不能の接続上で、発信コール ACK を受信しました。

LEC.080

レベル: C-INFO

短構文: LEC.080 nt *net_no*:Rtrng cll estblshmnt, ntry *art_entry*

長構文: LEC.080 nt *net_no*:Retrying call establishment, entry *art_entry*

説明: コールの切断中で、接続の再確立を試みます。

LEC.081

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.081 nt *net_no*:Dscnnct rcvd,unkwnn conn, conn hndl *conn_handle*

長構文: LEC.081 nt *net_no*:Disconnect received,unknown

connection, conn handle *conn_handle*

説明: LEC が確認不能の接続について、切断を受信しました。

LEC.082

レベル: C-INFO

短構文: LEC.082 nt *net_no*:HangUp cll rcvd,ntry *art_entry* st *state*

長構文: LEC.082 nt *net_no*:HangUp call received,entry *art_entry* state *state*

説明: HangUp コールを受信しました。

LEC.083

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.083 nt *net_no*:HangUp cll rcvd,unkwn conn, conn hndl *conn_handle*

長構文: LEC.083 nt *net_no*:HangUp call received,unknown connection, conn handle *conn_handle*

説明: LEC が認識不能の接続について、HangUp コールを受信しました。

LEC.084

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.084 nt *net_no*:fn *function_name*:unkwn clnt st *client_state*

長構文: LEC.084 nt *net_no*:function *function_name*:unknown client state *client_state*

説明: 名前を指定された機能内で、LEC が無効の状態です。

LEC.085

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.085 nt *net_no*:Plc Cll Ack for Cfg Drct rcvd,clnt st err ,st *state*

長構文: LEC.085 nt *net_no*:Place Call Ack for Cfg Direct received,client state error, state *state*

説明: 構成ダイレクト VCC に関する発信コール ACK は、LEC がこの状態の場合に受信されるはずはありません。

LEC.086

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.086 nt *net_no*:Unbl to strt jn rqst tmr

長構文: LEC.086 nt *net_no*:Unable to start join request timer

説明: この LEC に関して、結合要求タイマーが開始できませんでした。

LEC.087

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.087 nt *net_no*:xmt ctrl frm,jn rqst fld

長構文: LEC.087 nt *net_no*:xmit control frame,join request failed

説明: 結合要求制御フレームを送信できません。

LEC.088

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.088 nt *net_no*:Plc Cll Ack for Ctrl Drct rcvd,clnt st err ,st *state*

長構文: LEC.088 nt *net_no*:Place Call Ack for Control Direct received,client state error, state *state*

説明: コントロール・ダイレクト VCC に関する発信コール ACK は、LEC がこの状態の場合に受信されるはずはありません。

LEC.089

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.089 nt *net_no*:Plc Cll Ack for Mcst Snd rcvd,clnt st err ,st *state*

長構文: LEC.089 nt *net_no*:Place Call Ack for Mcast Send received,client state error, state *state*

説明: マルチキャスト・センド VCC に関する発信コール ACK は、LEC がこの状態の場合に受信されるはずはありません。

LEC.090

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.090 nt *net_no*:PVC stup to LECS fld

長構文: LEC.090 nt *net_no*:PVC setup to LECS failed

説明: LECS (VPI 0,VCI 17) に関する PVC の設定の試みが失敗しました。

LEC.091

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.091 nt *net_no*:Dscnct for Cnfg Drct rcvd,clnt st err ,st state

長構文: LEC.091 nt *net_no*:Disconnect for Config Direct received,client state error, state state

説明: 構成ダイレクト VCC に関する切断は、LEC がこの状態の場合に受信されるはずはありません。

LEC.092

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.092 nt *net_no*:Dscnct for Ctrl Drct rcvd,clnt st err ,st state

長構文: LEC.092 nt *net_no*:Disconnect for Control Direct received,client state error, state state

説明: コントロール・ダイレクト VCC に関する切断は、LEC がこの状態の場合に受信されるはずはありません。

LEC.093

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.093 nt *net_no*:Dscnct for Ctrl Dstrbt rcvd,clnt st err ,st state

長構文: LEC.093 nt *net_no*:Disconnect for Control Distribute received,client state error, state state

説明: コントロール・ディストリビュート VCC に関する切断は、LEC がこの状態の場合に受信されるはずはありません。

LEC.094

レベル: C-INFO

短構文: LEC.094 nt *net_no*:Rtryng Mcst Snd conn to BUS

長構文: LEC.094 nt *net_no*:Retrying Mcst Send connection to BUS

説明: BUS へのマルチキャスト・センド接続の設定を試行します。

LEC.095

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.095 nt *net_no*:Dscnct for Mcst Snd rcvd,clnt st err ,st state

長構文: LEC.095 nt *net_no*:Disconnect for Mcast Send received,client state error, state state

説明: マルチキャスト・センド VCC に関する切断は、LEC がこの状態の場合に受信されるはずはありません。

LEC.096

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.096 nt *net_no*:Dscnct for Mcst Fwd rcvd,clnt st err ,st state

長構文: LEC.096 nt *net_no*:Disconnect for Mcast Fwd received,client state error, state state

説明: マルチキャスト・フォワード VCC に関する切断は、LEC がこの状態の場合に受信されるはずはありません。

LEC.097

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.097 nt *net_no*:Cnfg Rsp err, trans id (x *trans_id*) not eql rsp trans id (x *rsp_trans_id*)

長構文: LEC.097 nt *net_no*:Config Rsp error,trans id (x *trans_id*) not equal response trans id (x *rsp_trans_id*)

説明: トランザクション ID が構成要求と構成応答とで等しくありませんでした。トランザクション ID は要求と応答とで同じであることが必要です。

LEC.098

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.098 nt *net_no*:Cnfg Rsp err, st status

長構文: LEC.098 nt *net_no*:Config Rsp error, status status

説明: 構成応答が、明記されているエラー状況を戻しました。

LEC.099

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.099 nt *net_no*:Vldtn of cnfg parms frm LECS fld

長構文: LEC.099 nt *net_no*:Validation of config parms from LECS failed

説明: LECS からの LEC の構成パラメーターの検証に失敗しました。

LEC.101

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.101 nt *net_no*:Jn Rsp err, st status

長構文: LEC.101 nt *net_no*:Jn Rsp error, status status

説明: 結合応答が、明記されているエラー状況を戻しました。

LEC.102

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.102 nt *net_no*:xmt ctrl frm,arp rqst fld, dst *dest_mac*

長構文: LEC.102 nt *net_no*:xmit control frame,arp request failed, dest *dest_mac*

説明: ARP 要求制御フレームを送信できません。

LEC.103

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.103 nt *net_no*:Unbl to strt arp rqst tmr

長構文: LEC.103 nt *net_no*:Unable to start arp request timer

説明: この LEC の ARP 要求タイマーを開始できませんでした。

LEC.104

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.104 nt *net_no*:Jn rsp rcvd,clnt st err ,st *state*

長構文: LEC.104 nt *net_no*:Join response received,client state error, state *state*

説明: 結合応答が、この状態の LEC によって受信されるはずはありません。

LEC.105

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.105 nt *net_no*:Flsh rsp rcvd,no ARP ntry ,st *state*

長構文: LEC.105 nt *net_no*:Flush response received,no ARP entry, state *state*

説明: フラッシュ応答を受信しましたが、関連する ARP エントリーが見付かりませんでした。

LEC.106

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.106 nt *net_no*:Flsh rsp rcvd,src addr *src_addr*, LEC addr *lec_addr* msmtch

長構文: LEC.106 nt *net_no*:Flush response received,source addr *src_addr*, LEC addr *lec_addr* mismatch

説明: フラッシュ応答を受信しましたが、フレームの発信元アドレスが LEC のアドレスに一致しません。

LEC.107

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.107 nt *net_no*:LE ARP Rsp err, st *status*, dst *dest_mac*

長構文: LEC.107 nt *net_no*:LE ARP Rsp error, status *status*, dest *dest_mac*

説明: LE ARP 応答が、明記されているエラー状況を戻しました。

LEC.108

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.108 nt *net_no*:Invld tag(*tag*), LE ARP Rsp, st *state*

長構文: LEC.108 nt *net_no*:Invalid tag (*tag*) LE ARP Rsp, state *state*

説明: LE ARP 応答に無効のタグが含まれています。

LEC.109

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.109 nt *net_no*:LE ARP Rsp rcvd,no ARP ntry, dest *dest_mac* st *state*

長構文: LEC.109 nt *net_no*:LE ARP Rsp received,no ARP entry, dest *dest_mac* state *state*

説明: LE ARP 応答を受信しましたが、関連する ARP エントリーが見付かりませんでした。

LEC.110

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.110 nt *net_no*:Invld tag(*tag*), LE NARP Rqst, st *state*

長構文: LEC.110 nt *net_no*:Invalid tag (*tag*) LE ARP Rqst, state *state*

説明: LE NARP 要求に無効のタグが含まれています。

LEC.111

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.111 nt *net_no*:Jn timeout exceeded

長構文: LEC.111 nt *net_no*:Join timeout exceeded

説明: 結合タイムアウトを超過しました。

LEC.112

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.112 nt *net_no*:Cnfg rqst tmout (*config_timeout*)
excds cntrl tmout(*control_timeout*)

長構文: LEC.112 nt *net_no*:Config request timeout
(*config_timeout*) exceeds control timeout (*control_timeout*)

説明: 構成要求タイムアウトが制御タイムアウトを超えています。

LEC.113

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.113 nt *net_no*:Cnfg Req tmr xprd,clnt st err
,st *state*

長構文: LEC.113 nt *net_no*:Config Request timer
expired,client state error, state *state*

説明: 構成要求タイマーは、LEC がこの状態の場合に満了するはずはありません。

LEC.114

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.114 nt *net_no*:LE ARP rtry cnt (*arp_retry_cnt*)
fr BUS eqls mx rtries

長構文: LEC.114 nt *net_no*:LE ARP retry count
(*arp_retry_cnt*) for BUS equals max retries

説明: LE ARP 再試行カウントが最大再試行カウントに等しくなっています。

LEC.115

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.115 nt *net_no*:LE ARP fr BUS tmr xprd,clnt
st err ,st *state*

長構文: LEC.115 nt *net_no*:LE ARP for BUS timer
expired,client state error, state *state*

説明: LE ARP 要求タイマーは、LEC がこの状態の場合に満了するはずはありません。

LEC.116

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.116 nt *net_no*:Cnfg Rsp cntrl frm err,src
(*src_dest*) not LEC's (*lec_mac*)

長構文: LEC.116 nt *net_no*:Config Response control frame
error, source (*src_dest*) not LEC's (*lec_mac*)

説明: 構成応答制御フレームを受信しました。発信元 MAC アドレスが LEC の MAC アドレスに等しくありません。

LEC.117

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.117 nt *net_no*:Cnfg Rsp cntrl frm err, invld
eln nm sz (*name_size*)

長構文: LEC.117 nt *net_no*:Config Response control frame
error,invalid ELAN name size (*name_size*)

説明: 構成応答制御フレームを受信しました。ELAN の名前サイズが無効です。

LEC.118

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.118 nt *net_no*:Cnfg Rsp cntrl frm err, invld
frm sz (*frame_size*)

長構文: LEC.118 nt *net_no*:Config Response control frame
error,invalid frame size (*frame_size*)

説明: 構成応答制御フレームを受信しました。最大フレーム・サイズが無効です。

LEC.119

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.119 nt *net_no*:Cnfg Rsp cntrl frm err, invld
prmtr *config_parm*

長構文: LEC.119 nt *net_no*:Config Response control frame
error,invalid parameter *config_parm*

説明: 構成応答制御フレームを受信しました。指定された構成パラメーターが無効、または範囲外です。

LEC.120

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.120 nt *net_no*:Jn Rsp cntrl frm err, invld frm
sz (*frame_size*)

長構文: LEC.120 nt *net_no*:Join Response control frame
error,invalid frame size (*frame_size*)

説明: 結合応答制御フレームを受信しました。最大フレーム・サイズが無効です。

LEC.121

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.121 nt *net_no*:Jn Rsp cntrl frm err, lan typ (*lan_type*) not eql to LEC (*lec_lan_type*)

長構文: LEC.121 nt *net_no*:Join Response control frame error,lan type (*lan_type*) not equal to LEC (*lec_lan_type*)

説明: 結合応答制御フレームを受信しました。応答の中の LAN タイプが LEC の LAN タイプに一致しません。

LEC.122

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.122 nt *net_no*:Unbl to strt cnfg rqst tmr

長構文: LEC.122 nt *net_no*:Unable to start cnfg request timer

説明: この LEC の構成要求タイマーを開始できませんでした。

LEC.123

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.123 nt *net_no*:xmt cntrl frm,cnfg rqst fld

長構文: LEC.123 nt *net_no*:xmit control frame,cnfg request failed

説明: 構成要求制御フレームを送信できません。

LEC.124

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.124 nt *net_no*:Jn Req tmr xprd,clnt st err ,st state

長構文: LEC.124 nt *net_no*:Join Request timer expired,client state error, state state

説明: 結合要求タイマーは、LEC がこの状態の場合に満了するはずはありません。

LEC.125

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.125 nt *net_no*:set alrm tmr rtn null pntr, fn *function_name*, alrm type *alarm_type*

長構文: LEC.125 nt *net_no*:Set Alarm timer returned a null pointer, function *function_name*, alarm type *alarm_type*

説明: 警報タイマーを割り振ることができません。

LEC.126

レベル: C-INFO

短構文: LEC.126 nt *net_no*:Regstrd lan dest/RD *lan_dest* w/LES

長構文: LEC.126 nt *net_no*:Registered lan destination/Route Descriptor *lan_dest* with LES

説明: LEC が LES に LAN あて先記述子またはルート記述子を登録しました。

LEC.127

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.127 nt *net_no*:Fld to reg lan dest/RD *lan_dest* w/LES

長構文: LEC.127 nt *net_no*:Failed to register lan destination/Route Descriptor *lan_dest* with LES

説明: LES に LAN あて先記述子またはルート記述子を登録する試みが失敗しました。

LEC.128

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.128 nt *net_no*:fn *function_name*:unknown RSM st *rsm_state*

長構文: LEC.128 nt *net_no*:function *function_name*:unknown RSM state *rsm_state*

説明: 名前を指定された機能内で、LEC RSM が無効の状態です。

LEC.129

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.129 nt *net_no*:Fld to reg lan dest/RD *dest_addr* (atm addr *dest_atm_addr*) w/LES

長構文: LEC.129 nt *net_no*:Failed to register lan destination/Route Descriptor *dest_addr* (atm address *dest_atm_addr*) with LES

説明: LES に LAN あて先記述子またはルート記述子を登録する試みが失敗しました。

LEC.130

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.130 nt *net_no*:fn *function_name*:lec fld to get reg req tmr

長構文: LEC.130 nt *net_no*:function *function_name*:lec failed to get register request timer

説明: 指定の機能で、LEC は登録要求タイマーを入手するのに失敗しました。

LEC.131

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.131 nt *net_no*:fn *function_name*:lec reg xmit join req fld

長構文: LEC.131 nt *net_no*:function *function_name*:lec register transmit join request failed

説明: 指定の機能で、LEC は結合要求を送信するのに失敗しました。

LEC.132

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.132 nt *net_no*:fn *function_name*:unxpctd rsp rcvd, st *rsm_state*, rsp *rsp OpCode*

長構文: LEC.132 nt *net_no*:function *function_name*:unexpected response received, state *rsm_state*, response *rsp OpCode*

説明: 名前を指定された機能内で、特定の RSM 状態に関して予期しない応答を受信しました。

LEC.133

レベル: U-INFO

短構文: LEC.133 nt *net_no*:LEC nt oprtnl, st *state*

長構文: LEC.133 nt *net_no*:LEC not operational, state *state*

説明: LEC は作動不能です。

LEC.134

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.134 nt *net_no*:Outbnd frm dscrd, dst = *dest_addr* src = *src_addr*, rsn = *reason*

長構文: LEC.134 nt *net_no*:Outbound frame discarded, dest = *dest_addr* source = *src_addr*, reason = *reason*

説明: アウトバウンド・フレームが廃棄されました。

LEC.135

レベル: DEBUG

短構文: LEC.135 nt *net_no*:Snd frm on Mcast Snd VCC, dst = *dest_addr* src = *src_addr*

長構文: LEC.135 nt *net_no*:Send frame on Multicast Send VCC, dest = *dest_addr* source = *src_addr*

説明: フレームがマルチキャスト・センド VCC 上で送信されました。

LEC.136

レベル: U-INFO

短構文: LEC.136 nt *net_no*:No cnctn to BUS

長構文: LEC.136 nt *net_no*:No connection to BUS

説明: LEC には BUS への接続がありません。

LEC.137

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.137 nt *net_no*:No ARP entrs avlbl,hngup lst usd conn fld

長構文: LEC.137 nt *net_no*:No ARP entires available, hngup least used connection failed

説明: LEC の ARP テーブルがいっぱいです。

LEC.138

レベル: DEBUG

短構文: LEC.138 nt *net_no*:Snd Drctd frm, dst = *dest_addr* src = *src_addr*

長構文: LEC.138 nt *net_no*:Send Directed frame, dest = *dest_addr* source = *src_addr*

説明: 方向を指定されたフレームが送信されました。

LEC.139

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.139 nt *net_no*:Inbnd frm dscrd, dst = *dest_addr* src = *src_addr*, rsn = *reason*

長構文: LEC.139 nt *net_no*:Inbound frame discarded, dest = *dest_addr* source = *src_addr*, reason = *reason*

説明: インバウンド・フレームが廃棄されました。

LEC.140

レベル: DEBUG

短構文: LEC.140 nt *net_no*:Rcvd *frame_type* cntrl frm,trans id x *trans_id*, conn hndl *conn_handle*

長構文: LEC.140 nt *net_no*:Received *frame_type* control frame, trans id x *trans_id*, connection handle *conn_handle*

説明: 指定された制御フレームが LEC によって受信されました。

LEC.141

レベル: U-INFO

短構文: LEC.141 nt *net_no*:Dscrd LE_ARP Rqst. *str_port* prt nt in fwding st. Prt st *str_state*(0x *port_state*)

長構文: LEC.141 nt *net_no*:Discarded LE_ARP Request. *str_port* port not in forwarding state. Port state is *str_state*(0x *port_state*)

説明: ローカルまたはリモート・ポートが転送状態にならない場合は、LEC が LE_ARP 要求に応答するはずはありません。

LEC.142

レベル: UI_ERROR

短構文: LEC.142 nt *net_no*:Get LEC's cnfg prms fld

長構文: LEC.142 nt *net_no*:Get LEC's config parameters failed

説明: LEC の構成パラメーターの読み取りに失敗しました。

LEC.143

レベル: UI_ERROR

短構文: LEC.143 nt *net_no*:Create object *LEC_object* fld

長構文: LEC.143 nt *net_no*:Create object *LEC_object* failed

説明: 指定された LEC オブジェクトが作成できませんでした。

LEC.144

レベル: UI_ERROR

短構文: LEC.144 nt *net_no*:Rgstr dest *dest_addr* fld, rsn *reason*

長構文: LEC.144 nt *net_no*:Register destination *dest_addr* failed, rsn *reason*

説明: 指定されたあて先が LES に登録できませんでした。

LEC.145

レベル: UI_ERROR

短構文: LEC.145 nt *net_no*:ATM addr actvtd, invld st *client_state*

長構文: LEC.145 nt *net_no*:ATM address activated, invalid state *client_state*

説明: LEC がこの状態にあるときは、ATM アドレスを活性化してはなりません。

LEC.146

レベル: UI_ERROR

短構文: LEC.146 nt *net_no*:ATM addr actvtd, ILMI fld

長構文: LEC.146 nt *net_no*:ATM address activated, ILMI failure

説明: ILMI 障害が生じました。

LEC.147

レベル: UE_ERROR

短構文: LEC.147 nt *net_no*:Get LECS addr fld

長構文: LEC.147 nt *net_no*:Get LECS address failed

説明: LEC は LECS アドレスを入手できませんでした。

LEC.148

レベル: UE_ERROR

短構文: LEC.148 nt *net_no*:Cntrl Drct setup fld

長構文: LEC.148 nt *net_no*:Control Direct setup failed

説明: LEC は LES へのコントロール・ダイレクト VCC を設定することができませんでした。

LEC.149

レベル: UE_ERROR

短構文: LEC.149 nt *net_no*:Cnfg Drct setup fld

長構文: LEC.149 nt *net_no*:Config Direct setup failed

説明: LEC は LECS への構成ダイレクト VCC を設定することができませんでした。

LEC.150

レベル: U-INFO

短構文: LEC.150 nt *net_no*:Unslctd Cnfg Rsp rcvd

長構文: LEC.150 nt *net_no*:Unsolicited Config Response received

説明: LEC は非勧誘型構成応答フレームを受信しました。

LEC.151

レベル: DEBUG

短構文: LEC.151 nt *net_no*:xmt ctrl frm *frame_type* ,trans id x *trans_id*, conn hndl *conn_handle*

長構文: LEC.151 nt *net_no*:xmit control frame *frame_type*, trans id x *trans_id*, connection handle *conn_handle*

説明: 指定された制御フレームが送信されました。

LEC.152

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.152 nt *net_no*:Invlid LE ARP Rsp,rsn *status*

長構文: LEC.152 nt *net_no*:Invalid LE ARP Response, reason *status*

説明: 明記されている理由により、LE ARP 応答は無効です。

LEC.153

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.153 nt *net_no*:Place call ack for unknwn conn, st *client_state*

長構文: LEC.153 nt *net_no*:Place call ack for unknown connection, state *client_state*

説明: 確認不能の接続に関して、発信コール ACK を受信しました。

LEC.154

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.154 nt *net_no*:lec_cmgr has conn_tbl/freelist inconsistency, index = *index*

長構文: LEC.154 nt *net_no*:lec_mgr has conn_tbl/freelist inconsistency, index = *index*

説明: 新規接続ブロックの獲得時に不整合が見付かりました。

LEC.155

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.155 nt *net_no*:lec_cmgr:decrTblSz err: tblSz= *max_conn_handles*, connEntries= *non_null_entries*, flstAvl= *freelist_available*

長構文: LEC.155 nt *net_no*:lec_cmgr:decrTblSz error: tblSz= *max_conn_handles*, connEntries= *non_null_entries*, flstAvl= *freelist_available*

説明: LEC 接続テーブルの縮小時に不整合が見付かりました。

LEC.156

レベル: U-INFO

短構文: LEC.156 nt *net_no*:lec_cmgr:decrTblSz check OK: tblSz= *max_conn_handles*, flstAvl= *freelist_available*

長構文: LEC.156 nt *net_no*:lec_cmgr:decrTblSz check OK: tblSz= *max_conn_handles*, flstAvl= *freelist_available*

説明: lec_cmgr:decrease_conn_tbl で整合性検査は OK でしたが、テーブルは縮小されていません。

LEC.157

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.157 nt *net_no*:Unbl to allct ART entry

長構文: LEC.157 nt *net_no*:Unable to allocate ART entry

説明: ART エントリを割り振ることができませんでした。

LEC.158

レベル: DEBUG

短構文: LEC.158 nt *net_no*:Snt frm to BUS on conn hndl *conn_handle*, frm cnt *frame_cnt*

長構文: LEC.158 nt *net_no*:Sent frame to BUS on conn handle *conn_handle*, frame count *frame_cnt*

説明: あて先へのデータ・ダイレクトがまだ存在していないため、LEC は BUS にフレームを送信しました。

LEC.159

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.159 nt *net_no*:ARP Rsp err, trans id (x *trans_id*) not eql rsp trans id (x *rsp_trans_id*)

長構文: LEC.159 nt *net_no*:ARP Rsp error,trans id (x *trans_id*) not equal response trans id (x *rsp_trans_id*)

説明: トランザクション ID が ARP 要求と ARP 応答とで等しくありませんでした。トランザクション ID は要求と応答とで同じであることが必要です。

LEC.160

レベル: C-INFO

短構文: LEC.160 nt *net_no*:LEC rcvd mltpl ARP rsp

長構文: LEC.160 nt *net_no*:LEC received multiple ARP responses

説明: LEC は 1 つの ARP 要求に対して複数の ARP 応答を受信しました。

LEC.161

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.161 nt *net_no*:fn: *function_name*:ntry entry invld dest st *dest_state*

長構文: LEC.161 nt *net_no*:function *function_name*:entry entry invalid destination state *dest_state*

説明: 指定の機能で、処理中のエントリーが無効の状態です。

LEC.162

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.162 nt *net_no*:Dscrd *frame_cnt* queued frms, st *dest_state*, conn hndl *conn_hndl*

長構文: LEC.162 nt *net_no*:Discarded *frame_cnt* queued frames, state *dest_state*, conn handle *conn_hndl*

説明: LEC は明記されている数の待ち行列入りフレームを廃棄しました。

LEC.163

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.163 nt *net_no*:Purge queued frms fld

長構文: LEC.163 nt *net_no*:Purge queued frames failed

説明: LEC が待ち行列に入っているフレームの解放を試みている間に、エラーが発生しました。

LEC.164

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.164 nt *net_no*:Err purging queued frms, queue not empty

長構文: LEC.164 nt *net_no*:Error purging queued frames, queue not empty

説明: 待ち行列からフレームをすべて除去しておく必要がありました。

LEC.165

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.165 nt *net_no*:Snd queued frms fld,queue empty

長構文: LEC.165 nt *net_no*:Send queued frames failed, queue empty

説明: LEC が待ち行列に入っているフレームの送信を試みている間に、エラーが発生しました。

LEC.166

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.166 nt *net_no*:Err snding queued frms, queue not empty

長構文: LEC.166 nt *net_no*:Error sending queued frames, queue not empty

説明: フレームをすべて送信しておく必要がありました。

LEC.167

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.167 nt *net_no*:xmt ctrl frm,flsh rqst fld, dst *dest_mac*

長構文: LEC.167 nt *net_no*:xmit control frame,flush request failed, dest *dest_mac*

説明: フラッシュ要求制御フレームを送信できません。

LEC.168

レベル: DEBUG

短構文: LEC.168 nt *net_no*:srch tbl *table*, addr *address*

長構文: LEC.168 nt *net_no*:search tbl *table*, address *address*

説明: 指定されたテーブルでアドレスを探索しました。

LEC.169

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.169 nt *net_no*:Unbl to add *database_type* dtbs entry, *entry*

長構文: LEC.169 nt *net_no*:Unable to add *database_type* database entry, *entry*

説明: 指定のデータベースにエントリーを追加できませんでした。

LEC.170

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.170 nt *net_no*:ARP tbl full, No ARP entrns avlbl

長構文: LEC.170 nt *net_no*:ARP table full, No ARP entries available

説明: LEC の ARP テーブルがいっぱいです。

LEC.171

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.171 nt *net_no*:No entrs in tbl

長構文: LEC.171 nt *net_no*:No entries in table

説明: LEC の ARP テーブルが空です。

LEC.172

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.172 nt *net_no*:Invld tag(*tag*), rls arp entry

長構文: LEC.172 nt *net_no*:Invalid tag (*tag*),release arp entry

説明: 無効のタグを持つ ARP エントリーの解放を試みています。

LEC.173

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.173 nt *net_no*:ntry *arp_entry*, xmit queue nt empty (*xmit_queue_count*), rls arp entry

長構文: LEC.173 nt *net_no*:Entry *arp_entry*, xmit queue not empty (*xmit_queue_count*),release arp entry

説明: 空でない送信待ち行列を持つ ARP エントリーの解放を試みています。

LEC.174

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.174 nt *net_no*:fn *function*, unbl to allct memry

長構文: LEC.174 nt *net_no*:Function *function*, unable to allocate memory

説明: 指定された機能では、記憶域を割り振ることができませんでした。

LEC.175

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.175 nt *net_no*:Invld LEC or ART ptr

長構文: LEC.175 nt *net_no*:Invalid LEC or ART pointer

説明: LEC または ART ポインターが無効です。

LEC.176

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.176 nt *net_no*:Invld AAL parms(*AAL_parms*),
cll rjctd

長構文: LEC.176 nt *net_no*:Invalid AAL parms(
AAL_parms), call rejected

説明: AAL パラメーターが無効のため、通信は拒否されます。

LEC.177

レベル: U-INFO

短構文: LEC.177 nt *net_no*:Invld PID in rcv cll

長構文: LEC.177 nt *net_no*:Invalid PID in receive call

説明: PID が無効のコールを受信しました。

LEC.178

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.178 nt *net_no*:place call fld, rsn *reason*

長構文: LEC.178 nt *net_no*:place call failed, reason *reason*

説明: 以下の理由により、発信コールに失敗しました。

LEC.179

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.179 nt *net_no*:get ART cnfg parms fld

長構文: LEC.179 nt *net_no*:get ART config parms failed

説明: ART 構成パラメーターを入手することができません。

LEC.180

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.180 nt *net_no*:ART tbl full, No ART entrs
avlbl

長構文: LEC.180 nt *net_no*:ART table full, No ART entries
available

説明: LEC の ART テーブルがいっぱいです。

LEC.181

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.181 nt *net_no*:ART entry alrdy freed

長構文: LEC.181 nt *net_no*:ART entry already freed

説明: ART はすでに解放されています。

LEC.182

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.182 nt *net_no*:ART entry aging suspnd

長構文: LEC.182 nt *net_no*:ART entry aging suspended

説明: ART エントリーは経過時間切れになりません。

LEC.183

レベル: U-INFO

短構文: LEC.183 nt *network ID*:Old llh in func name
discrding: arp_ptr=0x *arp_entry_ptr* arp_ts= *arp_time_stamp*
vcc_ptr=0x *vcc_handle* vcc_ts= *vcc_time_created*

長構文: LEC.183 nt *network ID*:Old llh in function name
discarding:arp_ptr=0x *arp_entry_ptr* arp_ts= *arp_time_stamp*
vcc_ptr=0x *vcc_handle* vcc_ts= *vcc_time_created*

説明: 古い LLH が LEC 高速パスで使用されました。
新しい LLH が作成されます。

LEC.186

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.186 nt *net_no*:Jn Rsp cntnl frm err, invld prmtr
config_parm

長構文: LEC.186 nt *net_no*:Join Response control frame
error,invalid parameter *config_parm*

説明: 結合応答制御フレームを受信しました。指定された
結合パラメーターが無効、または範囲外です。

LEC.187

レベル: C-INFO

短構文: LEC.187 nt *net_no*:MUF tmr xprd:ntry *arp_entry*
st state

長構文: LEC.187 nt *net_no*:MUF timer expired:entry
arp_entry state state

説明: 指定のエントリーの最大不明フレーム・タイマー
が満了しました。指定された状態が CONNECTED または
FLUSHING の場合は、最大不明フレーム・カウントまで
の待ち行列フレームが転送されます。

LEC.188

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.188 nt *net_no*:Orphnd MUF tmr xprd:ntry
arp_entry st state

長構文: LEC.188 nt *net_no*:Orphaned MUF timer
expired:entry *arp_entry* state state

説明: 指定のエントリーの孤立 MUF タイマーが満了し
ました。指定された状態では、MUF タイマーがアクティ
ブであるはずはありません。

LEC.189

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.189 nt *net_no*:Fwd Dscn tmr xprd,clnt st err
,st state

長構文: LEC.189 nt *net_no*:Forward disconnect timer
expired,client state error, state state

説明: 転送切断タイマーは、LEC がこの状態のときには
満了するはずはありません。

LEC.190

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.190 nt *net_no*:Unbl to strt fwd dscn tmr

長構文: LEC.190 nt *net_no*:Unable to start forward
disconnect timer

説明: この LEC の転送切断タイマーを開始できません
でした。

LEC.191

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.191 nt *net_no*:Reg Rsp err, trans id (x
trans_id) not eql rsp trans id (x *rsp_trans_id*)

長構文: LEC.191 nt *net_no*:Register Rsp error,trans id (x
trans_id) not equal response trans id (x *rsp_trans_id*)

説明: 登録要求と登録応答の中のトランザクション ID
が等しくありませんでした。トランザクション ID は要求
と応答とで同じである必要があります。

LEC.192

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.192 nt *net_no*:Unsuccsfl reg rsp rcvd, LEC
trmntd

長構文: LEC.192 nt *net_no*:Unsuccessful register response
received, LEC will be terminated

説明: 失敗の登録応答を受け取りました。LEC の
ELAN メンバースhipは終了します。

LEC.193

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.193 nt *net_no*:Regstrtn tmr exceeded, LEC trmntd

長構文: LEC.193 nt *net_no*:Registration timer exceeded, LEC will be terminated

説明: 登録タイマーが超過しました。LEC の ELAN メンバーシップは終了します。

LEC.194

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.194 nt *net_no*:Unbl to xmit reg req, LEC trmntd

長構文: LEC.194 nt *net_no*:Unable to xmit register request, LEC will be terminated

説明: LEC は登録要求を送信できませんでした。LEC の ELAN メンバーシップは終了します。

LEC.195

レベル: U-INFO

短構文: LEC.195 nt *net_no*:in_use_flag set to TRUE for ARP entry *arp_entry*

長構文: LEC.195 nt *net_no*:in_use_flag set to TRUE for ARP entry *arp_entry*

説明: LAN スイッチからのドメイン・メンバー応答メッセージに基づいて、このルート記述子の *in_use_flag* が TRUE に設定されます。

LEC.196

レベル: U-INFO

短構文: LEC.196 nt *net_no*:switch domain member *arp_entry*, not found in ARP table

長構文: LEC.196 nt *net_no*:switch domain member *arp_entry*, not found in ARP table

説明: スイッチ・ドメイン・メンバーが ARP テーブル内で見つかりませんでした。

LEC.197

レベル: U-INFO

短構文: LEC.197 nt *net_no* xmit queue hgh wtr mrk, Strt ARP Sweep Timer *timer_status*

長構文: LEC.197 nt *net_no* xmit queue high water mark, Start ARP Sweep Timer *timer_status*

説明: LEC は、検証またはトポロジー・スweep・タイマー時に LE_ARP 要求の送信を試みているときに、送信バッファ待ち行列の最高水準点に達しました。アウトスタンディング LE_ARP の残りの送信を終了させるために、ARP sweep・タイマーが開始しています。

LEC.198

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.198 nt *network ID*:LEC at hgh wtr mrk on xmit buf queue *iorbs opfair*

長構文: LEC.198 nt *network ID*:LEC at high water mark on xmit buffer queue *iorbs opfair*

説明: LEC は、制御フレームの送信を試みているときに、ATM 送信バッファ待ち行列の最高水準点に達しました。

LEC.199

レベル: C-INFO

短構文: LEC.199 nt *net_no*:LE ARP Rqst snt, for LES/BUS tmout, cnt *dest_mac*, dst count st state

長構文: LEC.199 nt *net_no*:LE ARP Request sent, for LES/BUS timeout, count *dest_mac*, dest count state state

説明: LES/BUS アクティビティ・タイムアウトのための LE ARP 要求が送信されました。

LEC.200

レベル: C-INFO

短構文: LEC.200 nt *net_no*:LE ARP Rsp rcvd, for LES/BUS tmout, dest *dest_mac* st state

長構文: LEC.200 nt *net_no*:LE ARP Rsp received, for LES/BUS timeout, dest *dest_mac* state state

説明: LES/BUS アクティビティ・タイムアウトに対する LE ARP 応答を受信しました。

LEC.201

レベル: C-INFO

短構文: LEC.201 nt *net_no*:updtcd cnfgrtn for fld ' *field_name* '

長構文: LEC.201 nt *net_no*:updated configuration for field ' *field_name* '

説明: 初期化時に、古くて使われなくなった構成レコードが検出されました。LEC インターフェースの構成内の所定パラメーターが、新しい機能を反映するように更新されました。新しいコード・リリースに移行した後は、

この事象が生じるのは通常です。

LEC.202

レベル: DEBUG

短構文: LEC.202 nt *net_no*:Inbnd frm dscrd, dst =
dest_addr src = src_addr, rsn = reason

長構文: LEC.202 nt *net_no*:Inbound frame discarded, dest
= dest_addr source = src_addr, reason = reason

説明: インバウンド・フレームが廃棄されました。

LEC.203

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.203 nt *net_no*:LES/BUS tmout, cnt dest_mac,
dst count st state

長構文: LEC.203 nt *net_no*:LES/BUS timeout, count
dest_mac, dest count state state

説明: LE ARP 要求の送信時に、応答を受信しませんでした。LES/BUS がダウンしていると想定して、LEC をリセットします。リセットすることにより、LEC は新しいLES/BUS を検出できます。

第57章 LAN エミュレーション構成サーバー (LECS)

この章では、LAN エミュレーション構成サーバー (LECS) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

LECS.001

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.001 LECS: crt fld: dplct LECS

長構文: LECS.001 LECS: create failed: duplicate LECS

説明: LECS がすでに存在するので、別のものを作成することはできません。

LECS.002

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.002 LECS: crt fld: mem alloc err

長構文: LECS.002 LECS: create failed: memory allocation error

説明: LECS を作成しようとしているときに、記憶域割り振りエラーが発生しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.003

レベル: U_INFO

短構文: LECS.003 LECS: starting operation

長構文: LECS.003 LECS: starting operation

説明: LECS 初期化手順が開始しています。

LECS.004

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.004 LECS: doesn't exist: *descrip_string*

長構文: LECS.004 LECS: does not exist: *descrip_string*

説明: ユーザーが LECS の資源を追加、削除、または変更しようとしていますが、LECS はまだ作成されていません。無効なアクションは、パラメーターによって示されています。

LECS.005

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.005 LECS: inactv state: *descrip_string*

長構文: LECS.005 LECS: inactive state: *descrip_string*

説明: ユーザーが LECS を追加、削除、または変更しようとしていますが、LECS はこのアクションを実行できない状態にあります。無効なアクションは、パラメーターによって示されています。

LECS.006

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.006 LECS: dlt fld: no LECS

長構文: LECS.006 LECS: delete failed: no LECS

説明: LECS を削除しようとしたますが、LECS が存在しません。

LECS.007

レベル: U_INFO

短構文: LECS.007 LECS: dltd

長構文: LECS.007 LECS: deleted

説明: LECS は削除されました。

LECS.008

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.008 LECS: stp fld: no LECS

長構文: LECS.008 LECS: stop failed: no LECS

説明: LECS を停止しようとしたますが、LECS が存在しません。

LECS.009

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.009 LECS: stp fld: invld ctl blk

長構文: LECS.009 LECS: stop failed: invalid control block

説明: 制御ブロックへの無効なポインターを使用して、LECS を停止しようとした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.010

レベル: U_INFO

短構文: LECS.010 LECS: stopped

長構文: LECS.010 LECS: stopped

説明: LECS 操作が停止しました。

LECS.011

レベル: U_INFO

短構文: LECS.011 LECS: restarting

長構文: LECS.011 LECS: restarting

説明: LECS 動作がリスタート中です。

LECS.012

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.012 LECS: set fld: no LECS

長構文: LECS.012 LECS: set failed: no LECS

説明: LECS のパラメーターを設定しようとした
ますが、LECS が存在しません。

LECS.013

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.013 LECS: set fld: invld parm

長構文: LECS.013 LECS: set failed: invalid parameter

説明: 無効なパラメーター識別子を使用して、LECS の
パラメーターを設定しようとした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.014

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.014 LECS: crt ELAN 'elan_name' fld: dplct
ELAN nm

長構文: LECS.014 LECS: create ELAN 'elan_name' failed:
duplicate ELAN name

説明: ユーザーは LECS で ELAN を作成しようとした
ますが、使用された ELAN 名はすでに LECS に存在して
います。

LECS.015

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.015 LECS: crt ELAN 'elan_name' fld: mem
alloc err

長構文: LECS.015 LECS: create ELAN 'elan_name' failed:
memory allocation error

説明: LECS で ELAN を作成しようとしているときに、
記憶域割り振りエラーが発生しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.016

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.016 LECS: invld crlitr on upcall '
upcall_descriptor_string'

長構文: LECS.016 LECS: invalid correlator on upcall '
upcall_descriptor_string'

説明: ATM インターフェースは LECS へのアップコー
ルを発信しましたが、使用されているユーザー相関係数
が無効です。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.017

レベル: U_INFO

短構文: LECS.017 LECS: ELAN 'elan_name' crtd

長構文: LECS.017 LECS: ELAN 'elan_name' created

説明: LECS で、指定の ELAN が作成されました。

LECS.018

レベル: U_INFO

短構文: LECS.018 LECS: ELAN 'elan_name' dltd

長構文: LECS.018 LECS: ELAN 'elan_name' deleted

説明: LECS で、指定の ELAN が削除されました。

LECS.019

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.019 LECS: crt plcy fld: invld plcy type x
policy_type

長構文: LECS.019 LECS: create policy failed: invalid policy
type x policy_type

説明: ユーザーはポリシーを作成しようとしたが、
ポリシー・タイプが無効です。

LECS.020

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.020 LECS: crt plcy fld: invld plcy prtrty
policy_priority

長構文: LECS.020 LECS: create policy failed: invalid policy
priority policy_priority

説明: ユーザーはポリシーを作成しようとしたが、
ポリシー優先順位が無効です。

LECS.021

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.021 LECS: crt plcy fld: mem alloc err: tp x *policy_type* prtty *policy_priority*

長構文: LECS.021 LECS: create policy failed: memory allocation error: type x *policy_type* priority *policy_priority*

説明: LECS は、ポリシーを作成するために必要な記憶域を割り振ることができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.022

レベル: C_INFO

短構文: LECS.022 LECS: plcy x *policy_type* crtd at prtty *policy_priority*

長構文: LECS.022 LECS: policy x *policy_type* created at priority *policy_priority*

説明: LECS で、指定のポリシーが指定の優先順位で作成されました。

LECS.023

レベル: C_INFO

短構文: LECS.023 LECS: plcy x *policy_type* dltd at prtty *policy_priority*

長構文: LECS.023 LECS: policy x *policy_type* deleted at priority *policy_priority*

説明: LECS から、指定のポリシーが指定の優先順位で削除されました。

LECS.024

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.024 LECS: crt plcy val fld: mem alloc err: *pol_value_type_description* *pol_value*

長構文: LECS.024 LECS: create policy value failed: memory allocation error: *pol_value_type_description* *pol_value*

説明: LECS は、指定のポリシー値を作成するために必要な記憶域を割り振ることができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.025

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.025 LECS: crt plcy val fld: val exists: *pol_value_type_description* *pol_value*

長構文: LECS.025 LECS: create policy value failed: value already exists: *pol_value_type_description* *pol_value*

説明: 指定のポリシー値は、すでに LECS に存在しています。

LECS.026

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.026 LECS: crt plcy val fld: dbase err: *pol_value_type_description* *pol_value*

長構文: LECS.026 LECS: create policy value failed: database error: *pol_value_type_description* *pol_value*

説明: 内部データベース・エラーのために、LECS はポリシー値を作成できませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.027

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.027 LECS: crt plcy val fld: incompat val: *pol_val_type_description* *pol_value*

長構文: LECS.027 LECS: create policy value failed: incompatible value: *pol_val_type_description* *pol_value*

説明: 指定された値が LECS と互換性がないので、LECS はポリシー値を作成できませんでした。示されている ELAN タイプが指定の ELAN のタイプと矛盾しているか、示されているフレーム・サイズが指定の ELAN の最大フレーム・サイズと矛盾しています。

LECS.028

レベル: C_INFO

短構文: LECS.028 LECS: crtd ATM pref pol val: x *atm_prefix_pv* => x *les_atm_addr*

長構文: LECS.028 LECS: created ATM prefix policy value: x *atm_prefix_pv* => x *les_atm_addr*

説明: LECS は、指定されたポリシー値を正常に作成し、それを指定の LES にバインドしました。

LECS.029

レベル: C_INFO

短構文: LECS.029 LECS: crtd MAC addr pol val: x *mac_address_pv* => x *les_atm_addr*

長構文: LECS.029 LECS: created MAC address policy value: x *mac_address_pv* => *les_atm_addr*

説明: LECS は、指定されたポリシー値を正常に作成し、それを指定の LES にバインドしました。

LECS.030

レベル: C_INFO

短構文: LECS.030 LECS: crtd rte desc pol val: x *rte_descriptor_pv* => x *les_atm_addr*

長構文: LECS.030 LECS: created route descriptor policy value: x *rte_descriptor_pv* => x *les_atm_addr*

説明: LECS は、指定されたポリシー値を正常に作成し、それを指定の LES にバインドしました。

LECS.031

レベル: C_INFO

短構文: LECS.031 LECS: crtd LAN type pol val: *lan_type_pv* => x *les_atm_addr*

長構文: LECS.031 LECS: created LAN type policy value: *lan_type_pv* => x *les_atm_addr*

説明: LECS は、指定されたポリシー値を正常に作成し、それを指定の LES にバインドしました。

LECS.032

レベル: C_INFO

短構文: LECS.032 LECS: crtd max frm sz pol val: *frame_size_pv* => x *les_atm_addr*

長構文: LECS.032 LECS: created maximum frame size policy value: *frame_size_pv* => x *les_atm_addr*

説明: LECS は、指定されたポリシー値を正常に作成し、それを指定の LES にバインドしました。

LECS.033

レベル: C_INFO

短構文: LECS.033 LECS: crtd ELAN nm pol val: ' *elan_name_pv* ' => x *les_atm_addr*

長構文: LECS.033 LECS: created ELAN name policy value: ' *elan_name_pv* ' => x *les_atm_addr*

説明: LECS は、指定されたポリシー値を正常に作成し、それを指定の LES にバインドしました。

LECS.034

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.034 LECS: dltd ATM pref pol val: val not exst x *atm_prefix_pv* => x *les_atm_addr*

長構文: LECS.034 LECS: deleted ATM prefix policy value: value did not exist x *atm_prefix_pv* => x *les_atm_addr*

説明: 指定のポリシー値が LECS に存在しないので、LECS はそのポリシー値と LES とのバインドを正常に削除しました。

LECS.035

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.035 LECS: dltd ATM pref pol val: bad LES addr x *atm_prefix_pv* => x *les_atm_addr*

長構文: LECS.035 LECS: deleted ATM prefix policy value: bad LES address x *atm_prefix_pv* => x *les_atm_addr*

説明: 指定されたポリシー値は指定の LES 以外にバインドされているので、LECS はそのポリシー値と LES とのバインドを正常に削除しました。

LECS.036

レベル: C_INFO

短構文: LECS.036 LECS: dltd ATM pref pol val: x *atm_prefix_pv* => x *les_atm_addr*

長構文: LECS.036 LECS: deleted ATM prefix policy value: x *atm_prefix_pv* => x *les_atm_addr*

説明: LECS は、ポリシー値と指定の LES とのバインドを正常に削除しました。

LECS.037

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.037 LECS: dltd MAC addr pol val: val not exst x *mac_address_pv* => x *les_atm_addr*

長構文: LECS.037 LECS: deleted MAC address policy value: value did not exist x *mac_address_pv* => x *les_atm_addr*

説明: 指定のポリシー値が LECS に存在しないので、LECS はそのポリシー値と LES とのバインドを正常に削除しました。

LECS.038

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.038 LECS: dltd MAC addr pol val: bad LES addr x *mac_address_pv* => x *les_atm_addr*

長構文: LECS.038 LECS: deleted MAC address policy value: bad LES address x *mac_address_pv* => x *les_atm_addr*

説明: 指定されたポリシー値は指定の LES 以外にバインドされているので、LECS はそのポリシー値と LES とのバインドを正常に削除しました。

LECS.039

レベル: C_INFO

短構文: LECS.039 LECS: dltd MAC addr pol val: x *mac_address_pv* => x *les_atm_addr*

長構文: LECS.039 LECS: deleted MAC address policy value: x *mac_address_pv* => x *les_atm_addr*

説明: LECS は、ポリシー値と指定の LES とのバインドを正常に削除しました。

LECS.040

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.040 LECS: dltd rte desc pol val: val not exst x *rte_descriptor_pv* => x *les_atm_addr*

長構文: LECS.040 LECS: deleted route descriptor policy value: bad LES addr x *rte_descriptor_pv* => x *les_atm_addr*

説明: 指定のポリシー値が LECS に存在しないので、LECS はそのポリシー値と LES とのバインドを正常に削除しました。

LECS.041

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.041 LECS: dltd rte desc pol val: bad LES addr x *rte_descriptor_pv* => x *les_atm_addr*

長構文: LECS.041 LECS: deleted route descriptor policy value: bad LES address x *rte_descriptor_pv* => x *les_atm_addr*

説明: 指定されたポリシー値は指定の LES 以外にバインドされているので、LECS はそのポリシー値と LES とのバインドを正常に削除しました。

LECS.042

レベル: C_INFO

短構文: LECS.042 LECS: dltd rte desc pol val: x *rte_descriptor_pv* => x *les_atm_addr*

長構文: LECS.042 LECS: deleted route descriptor policy value: x *rte_descriptor_pv* => x *les_atm_addr*

説明: LECS は、ポリシー値と指定の LES とのバインドを正常に削除しました。

LECS.043

レベル: C_INFO

短構文: LECS.043 LECS: dltd LAN type pol val: *lan_type_pv* => x *les_atm_addr*

長構文: LECS.043 LECS: deleted LAN type policy value: *lan_type_pv* => x *les_atm_addr*

説明: LECS は、ポリシー値と指定の LES とのバインドを正常に削除しました。

LECS.044

レベル: C_INFO

短構文: LECS.044 LECS: dltd max frm sz pol val: *frame_size_pv* => x *les_atm_addr*

長構文: LECS.044 LECS: deleted maximum frame size policy value: *frame_size_pv* => x *les_atm_addr*

説明: LECS は、ポリシー値と指定の LES とのバインドを正常に削除しました。

LECS.045

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.045 LECS: dltd ELAN nm pol val: val not exst ' *elan_name_pv*' => x *les_atm_addr*

長構文: LECS.045 LECS: deleted ELAN name policy value: value did not exist ' *elan_name_pv*' => x *les_atm_addr*

説明: 指定のポリシー値が LECS に存在しないので、LECS はそのポリシー値と LES とのバインドを正常に削除しました。

LECS.046

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.046 LECS: dltd ELAN nm pol val: bad LES addr ' *elan_name_pv*' => x *les_atm_addr*

長構文: LECS.046 LECS: deleted ELAN name policy value: bad LES address ' *elan_name_pv*' => x *les_atm_addr*

説明: 指定されたポリシー値は指定の LES 以外にバインドされているので、LECS はそのポリシー値と LES とのバインドを正常に削除しました。

LECS.047

レベル: C_INFO

短構文: LECS.047 LECS: dltd ELAN nm pol val: ' *elan_name_pv*' => x *les_atm_addr*

長構文: LECS.047 LECS: deleted ELAN name policy value: ' *elan_name_pv*' => x *les_atm_addr*

説明: LECS は、ポリシー値と指定の LES とのバインドを正常に削除しました。

LECS.048

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.048 LECS: *operation_descrip_string*: ELAN nm ' *elan_name*' not exist

長構文: LECS.048 LECS: *operation_descrip_string*: ELAN name ' *elan_name*' does not exist

説明: 示されている操作時に、指定の ELAN 名の探索が失敗しました。

LECS.049

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.049 LECS: crt TLV failed: tp x *tlv_type* len *tlv_length* val *tlv_value*: for ELAN ' *elan_name*': mem alloc err

長構文: LECS.049 LECS: create TLV failed: type x *tlv_type* length *tlv_length* value *tlv_value*: for ELAN ' *elan_name*': memory allocation error

説明: LECS は、TLV 用の記憶域の割り振りに失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.050

レベル: C_INFO

短構文: LECS.050 LECS: crtld TLV: tp x *tlv_type* len *tlv_length* val x *tlv_value*: for ELAN ' *elan_name*'

長構文: LECS.050 LECS: created TLV: type x *tlv_type* length *tlv_length* value x *tlv_value*: for ELAN ' *elan_name*'

説明: LECS は、指定の ELAN 用の指定された TLV を作成しました。

LECS.051

レベル: C_INFO

短構文: LECS.051 LECS: dltd TLV: tp x *tlv_type* len *tlv_length* val *tlv_value*: for ELAN ' *elan_name*'

長構文: LECS.051 LECS: deleted TLV: type x *tlv_type* length *tlv_length* value *tlv_value*: for ELAN ' *elan_name*'

説明: LECS は、指定の TLV を ELAN から削除しました。

LECS.052

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.052 LECS: trmntng *error_string* (*error_code*)

長構文: LECS.052 LECS: terminating *error_string* (*error_code*)

説明: 指定の理由で、LECS が終了中です。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.053

レベル: U_INFO

短構文: LECS.053 LECS: rlsng idle vccs

長構文: LECS.053 LECS: releasing idle vccs

説明: LECS が、VCC の最大数を超過したので、最近使用していない VCC を解放しようとしています。

LECS.054

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.054 LECS: rls idle vccs fld: *error_string* (*error_code*)

長構文: LECS.054 LECS: release idle vccs failed: *error_string* (*error_code*)

説明: LECS は、ATM 装置から現行時間を入手しようとしたが、失敗しました。アイドル状態の VCC を解放できませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.055

レベル: C_INFO

短構文: LECS.055 LECS: rlsd idle vcc to x *atm_address*

長構文: LECS.055 LECS: released idle vcc to x *atm_address*

説明: LECS は、指定の ATM アドレスへの接続はアイドル状態であることを判別し、それを解放しました。

LECS.056

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.056 LECS: ATM user reg fld: *error_string* (*error_code*)

長構文: LECS.056 LECS: ATM user registration failed: *error_string* (*error_code*)

説明: LECS は、ATM のユーザーとして登録できませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.057

レベル: U_INFO

短構文: LECS.057 LECS: wtng for ATM net up

長構文: LECS.057 LECS: waiting for ATM net up

説明: ATM インターフェースはダウンしており、ネットワークが利用可能になるのを待っています。

LECS.058

レベル: U_INFO

短構文: LECS.058 LECS: wtng for ATM addr act

長構文: LECS.058 LECS: waiting for ATM address activation

説明: ATM アドレス活動化がまだ完了していません。

LECS.059

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.059 LECS: ATM addr act fld: *error_string* (*error_code*)

長構文: LECS.059 LECS: ATM address activation failed: *error_string* (*error_code*)

説明: LECS の ATM アドレス活動化が失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.060

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.060 LECS: unbl to get ATM addr: *error_string* (*error_code*)

長構文: LECS.060 LECS: unable to get ATM address: *error_string* (*error_code*)

説明: LECS はその ATM アドレスを入手できませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.061

レベル: U_INFO

短構文: LECS.061 LECS: ATM addr: x *atm_address*

長構文: LECS.061 LECS: ATM address: x *atm_address*

説明: LECS がその ATM アドレスを検索しました。

LECS.062

レベル: U_INFO

短構文: LECS.062 LECS: wtng for UNI vrsn rpt

長構文: LECS.062 LECS: waiting for UNI version report

説明: LECS は、UNI バージョンが報告されるのを待っています。

LECS.063

レベル: U_INFO

短構文: LECS.063 LECS: UNI vrsn *uni_version* rptd

長構文: LECS.063 LECS: UNI version *uni_version* reported

説明: LECS は、指定の UNI バージョンのもとで動作中です。

LECS.064

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.064 LECS: unbl to open frame SAP: *error_string* (*error_code*)

長構文: LECS.064 LECS: unable to open frame SAP: *error_string* (*error_code*)

説明: LECS は、フレーム SAP のオープンに失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.065

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.065 LECS: unbl to open call SAP: *error_string* (*error_code*)

長構文: LECS.065 LECS: unable to open call SAP: *error_string* (*error_code*)

説明: LECS は、コール SAP のオープンに失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.066

レベル: U_INFO

短構文: LECS.066 LECS: cmplt d intzlt n

長構文: LECS.066 LECS: completed initialization

説明: LECS は初期化を完了し、完全に操作可能になっています。

LECS.067

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.067 LECS: frm dscrdd: *discard_reason*

長構文: LECS.067 LECS: frame discarded: *discard_reason*

説明: LECS は、指定の理由で、着信フレームを廃棄しました。

LECS.068

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.068 LECS: invld lecid: *lecid*

長構文: LECS.068 LECS: invalid lecid: *lecid*

説明: 着信フレームに無効な LEC-ID 値が入っていました。

LECS.069

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.069 LECS: invld src LAN dest: x *source_lan_dest_string*

長構文: LECS.069 LECS: invalid source LAN destination: x *source_lan_dest_string*

説明: 着信フレームに無効な発信元 LAN あて先が入っていました。

LECS.070

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.070 LECS: invld src ATM addr: x *source_atm_addr_string*

長構文: LECS.070 LECS: invalid source ATM address: x *source_atm_addr_string*

説明: 着信フレームに無効な発信元 ATM アドレスが入っていました。

LECS.071

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.071 LECS: invld ELAN typ: *requested_lan_type*

長構文: LECS.071 LECS: invalid ELAN type: *requested_lan_type*

説明: 着信フレームに無効な ELAN タイプ・フィールドがありました。

LECS.072

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.072 LECS: invld max frm sz: *requested_mfs*

長構文: LECS.072 LECS: invalid maximum frame size: *requested_mfs*

説明: 着信フレームに無効な最大フレーム・サイズ・フィールドがありました。

LECS.073

レベル: C_INFO

短構文: LECS.073 LECS: frm pssd vldtn chcks

長構文: LECS.073 LECS: frame passed validation checks

説明: 着信フレームは、すべてのフレーム妥当性検査テストに合格しました。

LECS.074

レベル: C_INFO

短構文: LECS.074 LECS: LEC x *lec_atm_addr* assgnd to LES x *les_atm_addr* at *priority* usng *policy_descript_string*

長構文: LECS.074 LECS: LEC x *lec_atm_addr* assigned to LES x *les_atm_addr* at *priority* *priority* using *policy* *policy_descript_string*

説明: 指定のポリシーに基づいて、LEC が指定の LES に割り当てられました。

LECS.075

レベル: C_INFO

短構文: LECS.075 LECS: unbl to assign rqst frm x *source_atm_address*

長構文: LECS.075 LECS: unable to assign request from x *source_atm_address*

説明: LECS は、指定の発信元 ATM アドレスからの構成要求を LES に割り当てることができませんでした。

LECS.076

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.076 LECS: ATM net down

長構文: LECS.076 LECS: ATM net down

説明: 現在 ATM ネットワークはダウンしています。

LECS.077

レベル: U_INFO

短構文: LECS.077 LECS: ATM net up

長構文: LECS.077 LECS: ATM net up

説明: 現在 ATM ネットワークは利用可能になっています。

LECS.078

レベル: U_INFO

短構文: LECS.078 LECS: ATM addr actvtd

長構文: LECS.078 LECS: ATM address activated

説明: LECS の ATM アドレスが活動化されました。

LECS.079

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.079 LECS: ATM addr actvtn tmd out: retrying

長構文: LECS.079 LECS: ATM address activation timed out: retrying

説明: LECS の ATM アドレス活動化がタイムアウトになっています。活動化が再試行されます。

LECS.080

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.080 LECS: ATM addr rjctd

長構文: LECS.080 LECS: ATM address rejected

説明: LECS の ATM アドレスが拒否されました。ATM アドレスを活性化するために、別の試みがなされます。

LECS.081

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.081 LECS: ATM addr dctvtd: reactivating

長構文: LECS.081 LECS: ATM address deactivated: reactivating

説明: LECS の ATM アドレスが非活動化されました。LECS は再活動化を試行中です。

LECS.082

レベル: U_INFO

短構文: LECS.082 LECS: UNI vrsn rptd

長構文: LECS.082 LECS: UNI version reported

説明: UNI バージョンが報告されました。

LECS.083

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.083 LECS: invld upcall:

upcall_descriptor_string

長構文: LECS.083 LECS: invalid upcall from ATM: *upcall_descriptor_string*

説明: ATM が無効な、または予期しない LECS 手順を呼び出しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.084

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.084 LECS: rfsd cfgtn drct: invld parms

長構文: LECS.084 LECS: refused configuration direct: invalid parameters

説明: 無効なパラメーターのために、LECS は着信構成ダイレクト VCC を拒否しました。

LECS.085

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.085 LECS: rfsd cfgtn drct frm x *calling_atm_address*: invld parms

長構文: LECS.085 LECS: refused configuration direct from x *calling_atm_address*: invalid parameters

説明: パラメーターが無効であるために、LECS は指定の ATM アドレスからの着信構成ダイレクト VCC を拒否しました。VCC が拒否された理由の詳細を知るためには、LES ELS メッセージの表示が必要です。関係のある LES ELS メッセージに該当するのは、LES.002 ～ LES.040 です。

LECS.086

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.086 LECS: rfsd cfgtn drct frm x *calling_atm_address*: at max VCCs

長構文: LECS.086 LECS: refused configuration direct from x *calling_atm_address*: at maximum VCCs

説明: すでに VCC が最大数に達しているため、LECS は指定の ATM からの着信構成ダイレクト VCC を拒否しました。LECS はアイドル状態の VCC を見つけて解放しようとしたのですが、失敗しました。

LECS.087

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.087 LECS: rfsd cfgtn drct frm x
calling_atm_address: mem alloc err

長構文: LECS.087 LECS: refused configuration direct from
x *calling_atm_address*: memory allocation error

説明: 記憶域割り振りエラーのために、LECS は指定の ATM からの着信構成ダイレクト VCC を拒否しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.088

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.088 LECS: rfsd cfgtn drct frm x
calling_atm_address: unble to get time

長構文: LECS.088 LECS: refused configuration direct from
x *calling_atm_address*: unable to get time

説明: 時間を判別できないために、LECS は指定の ATM からの着信構成ダイレクト VCC を拒否しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.089

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.089 LECS: rfsd cfgtn drct frm x
calling_atm_address: opn data path err: no ATM mem

長構文: LECS.089 LECS: refused configuration direct from
x *calling_atm_address*: open data path error: no ATM
memory

説明: コーラーへのデータ・パスをオープンできないために、LECS は指定の ATM からの着信構成ダイレクト VCC を拒否しました。 ATM の記憶域の不足が、データ・パスの障害の原因でした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.090

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.090 LECS: rfsd cfgtn drct frm x
calling_atm_address: opn data path err: *error_code_string* (*error_code*)

長構文: LECS.090 LECS: refused configuration direct from
x *calling_atm_address*: open data path error: *error_code_string* (*error_code*)

説明: コーラーへのデータ・パスをオープンできないた

めに、LECS は指定の ATM からの着信構成ダイレクト VCC を拒否しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.091

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.091 LECS: rfsd cfgtn drct frm x
calling_atm_address: rcv ack err: no SVC mem

長構文: LECS.091 LECS: refused configuration direct from
x *calling_atm_address*: receive ack error: no SVC memory

説明: コールを受信確認できないために、LECS は指定の ATM からの着信構成ダイレクト VCC を拒否しました。 SVC の記憶域の不足が、受信確認の障害の原因でした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.092

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.092 LECS: rfsd cfgtn drct frm x
calling_atm_address: rcv ack err: *error_code_string* (*error_code*)

長構文: LECS.092 LECS: refused configuration direct from
x *calling_atm_address*: rcv ack error: *error_code_string* (*error_code*)

説明: コールを受信確認できないために、LECS は指定の ATM からの着信構成ダイレクト VCC を拒否しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.093

レベル: C_INFO

短構文: LECS.093 LECS: cfgtn drct frm x
calling_atm_address estblshd

長構文: LECS.093 LECS: configuration direct from x
calling_atm_address established

説明: LECS は、指定のコーラーから構成ダイレクトを確立しました。

LECS.094

レベル: C_INFO

短構文: LECS.094 LECS: cfgtn drct frm x
calling_atm_address dscnnctd

長構文: LECS.094 LECS: configuration direct from x
calling_atm_address disconnected

説明: 指定の ATM からの構成ダイレクト VCC が切断されました。

LECS.095

レベル: C_INFO

短構文: LECS.095 LECS: sent config response to x *source_atm_address*

長構文: LECS.095 LECS: sent configuration response to x *source_atm_address*

説明: LECS は、指定の発信元 ATM アドレスを使用して、構成応答を送信しました。

LECS.096

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.096 LECS: invld state (*state*) for upcall ' *upcall_descriptor_string*'

長構文: LECS.096 LECS: invalid state (*state*) for upcall ' *upcall_descriptor_string*'

説明: ATM インターフェースは LECS へのアップコールを発信しましたが、使用されているユーザー相関係数が無効です。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.097

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.097 LECS: *operation_descrip_string*: LES addr *les_atm_addr* not exst

長構文: LECS.097 LECS: *operation_descrip_string*: LES ATM address *les_atm_addr* does not exist

説明: 示されている操作時に、指定の LES ATM アドレスの探索が失敗しました。

LECS.098

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.098 LECS: crt LES *les_atm_addr* fld: mem alloc err

長構文: LECS.098 LECS: create LES *les_atm_addr* failed: memory allocation error

説明: LECS で LES を作成しようとしているときに、記憶域割り振りエラーが発生しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.099

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.099 LECS: crt LES *les_atm_addr* fld: dplct LES addr

長構文: LECS.099 LECS: create LES *les_atm_addr* failed: duplicate LES ATM address

説明: ユーザーは LES を作成しようとしたしましたが、使用された LES ATM アドレスはすでに存在しています。

LECS.100

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.100 LECS: crt LES *les_atm_addr* fld: dbase err

長構文: LECS.100 LECS: create LES *les_atm_addr* failed: database error

説明: LES アドレスを LECS データベースに追加しようとしているときに、データベース・エラーが発生しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.101

レベル: U_INFO

短構文: LECS.101 LECS: LES crtd x *les_atm_addr* => ' *elan_name*'

長構文: LECS.101 LECS: LES created x *les_atm_addr* => ' *elan_name*'

説明: 指定の LES が作成され、指定の ELAN にバインドされました。

LECS.102

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.102 LECS: dltd LES: val not exst x *les_atm_addr* => ' *elan_name*'

長構文: LECS.102 LECS: deleted LES: value did not exist x *les_atm_addr* => ' *elan_name*'

説明: 指定の LES ATM アドレスが LECS に存在しないので、LECS はそのポリシー値と ELAN とのバインドを正常に削除しました。

LECS.103

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.103 LECS: dlt LES *les_atm_addr* fld: bad ELAN nm ' *elan_name*'

長構文: LECS.103 LECS: delete of LES *les_atm_addr* failed: bad ELAN name ' *elan_name*'

説明: ユーザーは LES を ELAN から削除しようとしたが、その LES はその ELAN に関連付けられていませんでした。

LECS.104

レベル: U_INFO

短構文: LECS.104 LECS: LES dltd: x *les_atm_addr* => ' *elan_name*'

長構文: LECS.104 LECS: LES deleted: x *les_atm_addr* => ' *elan_name*'

説明: LECS で、指定の LES が指定の ELAN から削除されました。

LECS.105

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.105 LECS: crt ELAN ' *elan_name*' fld: dbase err

長構文: LECS.105 LECS: create ELAN ' *elan_name*' failed: database error

説明: ELAN を LECS データベースに追加しようとしているときに、データベース・エラーが発生しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.106

レベル: C_INFO

短構文: LECS.106 LECS: incmng call: *local_or_wk_address*

長構文: LECS.106 LECS: incoming call: *local_or_wk_address*

説明: LECS は、ローカル・アドレス、または LAN エミュレーション仕様に指定されている LECS アドレスの着信コールを受信しました。

LECS.107

レベル: C_INFO

短構文: LECS.107 LECS: addng LEC addr to mem: *lec_atm_addr*: LES *les_atm_addr* time *current_time*

長構文: LECS.107 LECS: adding LEC ATM address to memory: *lec_atm_addr*: LES *les_atm_addr* current time *current_time*

説明: LEC ATM アドレスが LECS 一時記憶域に追加されました。示されている時間に、LEC は指定の LES に割り当てられました。

LECS.108

レベル: C_INFO

短構文: LECS.108 LECS: dltnng LEC addr frm mem: *lec_atm_addr* time *current_time*

長構文: LECS.108 LECS: deleting LEC ATM address from memory: *lec_atm_addr* current time *current_time*

説明: 示されている時間に、LEC ATM アドレスが LECS 一時記憶域から削除されました。

LECS.109

レベル: C_INFO

短構文: LECS.109 LECS: updtng LEC addr in mem: *lec_atm_addr* LES *les_atm_addr* time *current_time*

長構文: LECS.109 LECS: updating LEC ATM address in memory: *lec_atm_addr*: LES *les_atm_addr* current time *current_time*

説明: LECS 一時記憶域内の LEC ATM アドレスが更新されました。この LES は、示されている時間に指定の LES に最後に割り当てられたものです。

LECS.110

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.110 LECS: mem add fld: unbl to get time: *lec_atm_addr*

長構文: LECS.110 LECS: memory add failed: unable to get time: *lec_atm_addr*

説明: 現行時間を入手できなかったため、LECS は記憶域に LEC ATM アドレスを追加できませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.111

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.111 LECS: mem updt fld: unbl to get time: *lec_atm_addr*

長構文: LECS.111 LECS: memory update failed: unable to get time: *lec_atm_addr*

説明: 現行時間を入手できなかったため、LECS は記憶域内の LEC ATM アドレスを更新できませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.112

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.112 LECS: mem lkup fld: unbl to get time: *lec_atm_addr*

長構文: LECS.112 LECS: memory lookup failed: unable to get time: *lec_atm_addr*

説明: 現行時間を入手できなかったため、LECS は記憶域内の LEC ATM アドレスを探索できませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.113

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.113 LECS: mem add fld: mem alloc err: *lec_atm_addr*

長構文: LECS.113 LECS: memory add failed: memory allocation error: *lec_atm_addr*

説明: 記憶域割り振りエラーのために、LECS は記憶域に LEC ATM アドレスを追加できませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.114

レベル: C_INFO

短構文: LECS.114 LECS: mem lkup success: *lec_atm_addr* prim LES *primary_les_atm_addr*: last LES *last_les_atm_addr*

長構文: LECS.114 LECS: memory lookup success: *lec_atm_addr* primary LES *primary_les_atm_addr*: last LES *last_les_atm_addr*

説明: LECS はその一時記憶域内で LEC ATM アドレスを検出しました。この LEC は、データベース内で指定の 1 次 LES と関連付けられており、前回に LEC が LECS に接続されたときに、LES が指定した LES アドレスが与えられました。

LECS.115

レベル: C_INFO

短構文: LECS.115 LECS: mem lkup fld: *lec_atm_addr*

長構文: LECS.115 LECS: memory lookup failed: *lec_atm_addr*

説明: LECS は記憶域で LEC ATM アドレスを検出できませんでした。1 次 LES ATM アドレスは、構成応答で使用されます。

LECS.116

レベル: U_INFO

短構文: LECS.116 LECS: mvd to nrml state

長構文: LECS.116 LECS: moved to normal state

説明: LECS は、すべての着信コールを拒否する状態から通常の作動状態に移行しました。

LECS.117

レベル: U_INFO

短構文: LECS.117 LECS: mvd to rjct calls state

長構文: LECS.117 LECS: moved to reject calls state

説明: LECS は、すべての着信コールを拒否する状態に移行しました。

LECS.118

レベル: C_INFO

短構文: LECS.118 LECS: rfsd cfgtn drct frm x *calling_atm_address* rjct calls state

長構文: LECS.118 LECS: refused configuration direct from x *calling_atm_address* in reject call state

説明: LECS は、すべての VCC を拒否する状態にあるので、指定の ATM アドレスから着信構成ダイレクト VCC を拒否しました。

LECS.119

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.119 LECS: ELAN ' *elan_name*': set fld: dbase err: *set_fail_reason*

長構文: LECS.119 LECS: ELAN ' *elan_name*': set failed: database error: *set_fail_reason*

説明: ELAN のパラメーターを設定しようとしたましたが、データベース・エラーのために失敗しました。LECS で、失敗した ELAN の資源が解放されました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.120

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.120 LECS: LES x *les_atm_addr*: set fld: dbase err: *set_fail_reason*

長構文: LECS.120 LECS: LES x *les_atm_addr*: set failed: database error: *set_fail_reason*

説明: LES のパラメーターを設定しようとしたましたが、

データベース・エラーのために失敗しました。 LECS で、失敗した LES が解放されました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.121

レベル: C_INFO

短構文: LECS.121 LECS: lcl LES addr for ELAN '*elan_name*' mapped to LES: *actual_les_atm_addr*

長構文: LECS.121 LECS: local LES address for ELAN: '*elan_name*' mapped to LES: *actual_les_atm_addr*

説明: ローカル LES ATM アドレスが、指定された実 ATM アドレスにマップされました。実 ATM アドレスは、指定された ELAN にサービスを提供する、このルーター上に配置されている LES/BUS から獲得されました。

LECS.122

レベル: U_INFO

短構文: LECS.122 LECS: unbl to find local LES for ELAN '*elan_name*' for LEC: *lec_atm_addr*

長構文: LECS.122 LECS: unable to find local LES for ELAN '*elan_name*' for LEC: *lec_atm_addr*

説明: 指定された LEC はローカル LES に割り当てられるはずでしたが、そのローカル LES がルーター上に存在していません。この LEC に関する構成要求は拒否されます。

LECS.123

レベル: U_INFO

短構文: LECS.123 LECS: *wka_anycast* rgstrtn: success

長構文: LECS.123 LECS: *wka_anycast* address registration: success

説明: LECS の事前割り当てアドレスまたは LECS 任意アドレスを ATM スイッチに登録するための ILMI による試みが成功しました。

LECS.124

レベル: U_INFO

短構文: LECS.124 LECS: *wka_anycast* rgstrtn: no success

長構文: LECS.124 LECS: *wka_anycast* address registration: no success

説明: LECS の事前割り当てアドレスまたは LECS 任意アドレスをスイッチに登録するための ILMI による試みが、失敗したか、まだ成功していないかのいずれかです。LECS は、事前割り当てアドレスまたは任意アドレ

スの状況を再度ポーリングします。

LECS.125

レベル: U_INFO

短構文: LECS.125 LECS: *wka_anycast* rgstrtn: gvng up

長構文: LECS.125 LECS: *wka_anycast* address registration: giving up

説明: LECS の事前割り当てアドレスまたは LECS 任意アドレスをスイッチに登録するための ILMI による試みが、失敗したか、まだ成功していないかのいずれかです。LECS は、事前割り当てアドレスまたは任意アドレスの状況を再度ポーリングしません。

LECS.126

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.126 LECS: *wka_anycast* rgstrtn err: *error_string* (*error_code*)

長構文: LECS.126 LECS: *wka_anycast* address registration error: *error_string* (*error_code*)

説明: LECS が、LECS 事前割り当てアドレスまたは LECS 任意アドレスの登録の状況のポーリングを試みた結果、エラーになりました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.127

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.127 LECS: *wka_anycast* actvtn err: *error_string* (*error_code*)

長構文: LECS.127 LECS: *wka_anycast* address activation error: *error_string* (*error_code*)

説明: LECS が、LECS 事前割り当てアドレスまたは LECS 任意アドレスの活動化を試みた結果、エラーになりました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.128

レベル: P_TRACE

短構文: LECS.128 Trace LECS control frames

長構文: LECS.128 Trace LAN Emulation Configuration Server control frames

説明: パケットは、LECS との間でやり取りされる制御フレームをトレース中です。

LECS.129

レベル: C_INFO

短構文: LECS.129 LECS: secrty req rejected for LEC *lec_atm_addr* and LES *les_atm_addr: rejection_reason*

長構文: LECS.129 LECS: security request rejected for LEC *lec_atm_addr* and LES *les_atm_addr: rejection_reason*

説明: LECS は、指定の LEC と LES に関するセキュリティ要求を処理した結果、この要求は拒否されました。セキュリティ要求を拒否した理由は、以下のとおりです。1) "reqstng LES not last assgnd LES" - LEC は LECS の一時記憶域内に見付かりましたが、それが最後に割り当てられた LES は要求元の LES ではありません。2) "LES assgnmnt fld" - LECS には、自らに接続している LEC について認識がなく、LECS は、提供された情報を基にして、LEC の LES を見付けることができません。3) "requestng LES not assgnd LES" - LECS には、自らに接続している LEC について認識がなく、LECS は LEC を LES に割り当てることができませんでしたが、要求元の LES は、LECS によって割り当てられる LES ではありません。

LECS.130

レベル: C_INFO

短構文: LECS.130 LECS: secrty req apprvd for LEC *lec_atm_addr* and LES *les_atm_addr*

長構文: LECS.130 LECS: security request approved for LEC *lec_atm_addr* and LES *les_atm_addr*

説明: LECS は、指定の LEC と LES に関するセキュリティ要求を処理した結果、この要求は承認されました。

LECS.132

レベル: C_INFO

短構文: LECS.132 LECS: sndng LEC: *lec_atm_addr* to *primary_or_backup* LES: *les_atm_addr*

長構文: LECS.132 LECS: sending LEC: *lec_atm_addr* to *primary_or_backup* LES: *les_atm_addr*

説明: 指定されたクライアントは、指定された 1 次またはバックアップ LES に送信されている最中です。

LECS.133

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.133 LECS: err *error_location*: invld ATM addr mask *atm_addr_mask*

長構文: LECS.133 LECS: error *error_location*: invalid ATM address mask *atm_addr_mask*

説明: 特定の ATM アドレス・マスクが無効です。現在使用できる唯一のタイプのアドレス・マスクは、ATM アドレスのプレフィックスを指定するものです。したがって、マスクは非ゼロ個の 0xff オクテットの後に、すべて 0x00 オクテットが続くものである必要があります。ユーザーが ATM アドレス・ポリシー値の作成または削除を試みたとき、エラーが発生しました。

LECS.134

レベル: C_INFO

短構文: LECS.134 LECS: crtd ESI/Sel pol val: x *esi_selector* => x *les_atm_addr*

長構文: LECS.134 LECS: created ESI/Selector policy value: x *esi_selector* => x *les_atm_addr*

説明: LECS は、指定されたポリシー値を正常に作成し、それを指定の LES にバインドしました。

LECS.135

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.135 LECS: dltd ESI/Sel pol val: val not exst x *esi_selector_pv* => x *les_atm_addr*

長構文: LECS.135 LECS: deleted ESI/Selector policy value: value did not exist x *esi_selector_pv* => x *les_atm_addr*

説明: 指定のポリシー値が LECS に存在しないので、LECS はそのポリシー値と LES とのバインドを正常に削除しました。

LECS.136

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.136 LECS: dltd ESI/Sel pol val: bad LES addr x *esi_selector_pv* => x *les_atm_addr*

長構文: LECS.136 LECS: deleted ESI/Selector policy value: bad LES address x *esi_selector_pv* => x *les_atm_addr*

説明: 指定されたポリシー値は指定の LES 以外にバインドされているので、LECS はそのポリシー値と LES とのバインドを正常に削除しました。

LECS.137

レベル: C_INFO

短構文: LECS.137 LECS: dltd ESI/Sel pol val: x *esi_selector_pv* => x *les_atm_addr*

長構文: LECS.137 LECS: deleted ESI/Selector policy value:

x esi_selector_pv => x les_atm_addr

説明: LECS は、ポリシー値と指定の LES とのバインドを正常に削除しました。

LECS.138

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.138 LECS: crt sus ATM Addr fld: mem alloc err: *suspect_atm_address_description_string*

長構文: LECS.138 LECS: create suspect ATM Addr failed: memory allocation error: *suspect_atm_address_description_string*

説明: LECS は、指定された suspect ATM アドレスの作成に必要な記憶域を割り振ることができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.139

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.139 LECS: crt sus ATM Addr fld: val exists: *suspect_ATM_Address_description*

長構文: LECS.139 LECS: create suspect ATM Address failed: value already exists: *suspect_ATM_Address_description*

説明: 指定されたサスペクト ATM アドレスは、LECS にすでに存在しています。

LECS.140

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.140 LECS: crt sus ATM Addr fld: dbase err: *suspect_ATM_Address_description*

長構文: LECS.140 LECS: create suspect ATM Address failed: database error: *suspect_ATM_Address_description*

説明: 内部データベース・エラーのため、LECS はサスペクト ATM アドレスを作成することができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.141

レベル: U_INFO

短構文: LECS.141 LECS: sus ATM Addr dltd: *suspect_ATM_Address_description*

長構文: LECS.141 LECS: suspect ATM Address deleted: *suspect_ATM_Address_description*

説明: 指定されたサスペクト ATM アドレスは LECS から削除されました。

LECS.142

レベル: C_INFO

短構文: LECS.142 LECS: suspect src ATM addr: x *source_atm_addr_string*

長構文: LECS.142 LECS: suspect source ATM address: x *source_atm_addr_string*

説明: 着信フレームにサスペクト発信元 ATM アドレスがありました。この構成またはセキュリティー要求は、原因 "Access Denied" で拒否されました。

LECS.143

レベル: C_INFO

短構文: LECS.143 LECS: updttd cnfgtrn for fld: ' *field_name*'

長構文: LECS.143 LECS: updated configuration for field: ' *field_name*'

説明: 初期化中に、古くて使われなくなった構成レコードが検出されました。LECS の特定の構成パラメーターは更新されて、新しいコード・リリースが反映されています。これは普通に生じる事象であり、新しいリリースの操作コードへの更新後は、生じることが予期される事象です。

LECS.144

レベル: C_INFO

短構文: LECS.144 LECS: rfsd cfgtn drct frm x *calling_atm_address* suspect ATM address

長構文: LECS.144 LECS: refused configuration direct from x *calling_atm_address* in reject call state

説明: LECS が特定の ATM アドレスからの着信構成ダイレクト VCC を拒否しました。このアドレスがアクセス制御データベース内にサスペクト ATM アドレスとして構成されているためです。

LECS.145

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.145 LECS: frm contains bad TLV info

長構文: LECS.145 LECS: frame contains incorrect no bytes in TLV data.

説明: 着信フレームに含まれている TLV データのバイト数が間違っています。

LECS.146

レベル: U_INFO

短構文: LECS.146 LECS: LEC x *lec_atm_addr* last assgnd to unkwn LES, occrrd *count* times

長構文: LECS.146 LECS: LEC x *lec_atm_addr* last assigned to unknown LES, has occurred *count* times

説明: 指定された LEC は LECS の記憶域に入っているが、ごく最近、1 次でもバックアップでもない LES に割り当てられました。LEC または LECS での構成変更の結果である可能性もあれば複数の LEC を構成する場合には、エッジ装置が同一の発信元 ATM アドレスを誤って使用していることを示している可能性もあります。このメッセージが同じ LEC について複数回発生して、カウントが増える場合は、後者の説明が該当する可能性が高くなります。

LECS.147

レベル: C_INFO

短構文: LECS.147 LECS: crtd LEC TLV: tp x *tlv_type* len *tlv_length* val x *tlv_value*: for *policy_value_type* *policy_value*

長構文: LECS.147 LECS: created LEC TLV: type x *tlv_type* length *tlv_length* value x *tlv_value*: for *policy_value_type* *policy_value*

説明: LECS は、指定のポリシー値の指定の TLV を作成しました。

LECS.148

レベル: C_INFO

短構文: LECS.148 LECS: dltd LEC TLV: tp x *tlv_type* len *tlv_length* val *tlv_value*: for *policy_value_type* *policy_value*

長構文: LECS.148 LECS: deleted LEC TLV: type x *tlv_type* length *tlv_length* value *tlv_value*: for *policy_value_type* *policy_value*

説明: LECS は、指定のポリシー値から指定の TLV を削除しました。

LECS.149

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.149 LECS: crt LEC TLV failed: tp x *tlv_type* len *tlv_length* val *tlv_value*

長構文: LECS.149 LECS: create LEC TLV failed: type x *tlv_type* length *tlv_length* value *tlv_value*

説明: LECS は、TLV 用の記憶域の割り振りに失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.150

レベル: C_INFO

短構文: LECS.150 LECS: crt sus ATM Addr *suspect_ATM_Address_*

長構文: LECS.150 LECS: create suspect ATM Address *suspect_ATM_Address_*

説明: LECS で疑わしい ATM アドレスが作成されました。

LECS.151

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.151 LECS: crt TLV failed: type x *tlv_type* len *tlv_length*

長構文: LECS.151 LECS: create TLV failed: type x *tlv_type* length *tlv_length*

説明: LECS は、データベース同期の一部としてリモート LECS に送信する符号化 LECS SRAM レコードが入っている TLV のために記憶域を割り振ろうとしましたが、失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.152

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.152 LECS: error alloc mem for Dbase Sync ATM addr: *dbase_sync_atm_address_string*

長構文: LECS.152 LECS: error allocating memory for Dbase Sync ATM addr: *dbase_sync_atm_address_string*

説明: LECS は、データベース同期の指定のリモート LECS ATM アドレスを作成するために必要な記憶域を割り振ることができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.153

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.153 LECS: remote LECS ATM addr already exists: *dbase_sync_ATM_Address_string*

長構文: LECS.153 LECS: remote LECS ATM addr already exists: *dbase_sync_ATM_Address_string*

説明: LECS データベース同期の指定のリモート LECS ATM アドレスは、すでに LECS に存在しています。

LECS.154

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.154 LECS: dbase err for Dbase Sync ATM address: *dbase_sync_ATM_Address_string*

長構文: LECS.154 LECS: dbase err for Dbase Sync ATM address: *dbase_sync_ATM_Address_string*

説明: LECS は、内部データベース・エラーのために、データベース同期 ATM アドレスを作成することができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.155

レベル: C_INFO

短構文: LECS.155 LECS: create Dbase Sync Addr: *dbase_sync_ATM_Address_string*

長構文: LECS.155 LECS: create Dbase Sync Addr: *dbase_sync_ATM_Address_string*

説明: LECSで、LECS データベース同期 ATM アドレスが作成されました。

LECS.156

レベル: U_INFO

短構文: LECS.156 LECS: dbase sync ATM Addr deleted: *dbase_sync_ATM_Address_string*

長構文: LECS.156 LECS: dbase sync ATM Addr deleted: *dbase_sync_ATM_Address_string*

説明: 指定の LECS データベース同期 ATM アドレスが LECS から削除されました。

LECS.157

レベル: C_INFO

短構文: LECS.157 LECS: attempting Dbase Sync VCC to: *dbase_sync_ATM_Address_string*

長構文: LECS.157 LECS: attempting setup of Dbase Sync VCC to: *dbase_sync_ATM_Address_string*

説明: 指定のリモート LECS ATM アドレスへの LECS データベース同期 VCC を試行中です。

LECS.158

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.158 LECS: *error_message*, rc=x *error_code*: err in Dbase Sync VCC to: *dbase_sync_ATM_Address_string*

長構文: LECS.158 LECS: *error_message*, rc=x *error_code*: err in Dbase Sync VCC to: *dbase_sync_ATM_Address_string*

説明: 指摘されているエラーのため、指定のリモート LECS ATM アドレスへの LECS データベース同期 VCC を設定することができません。

LECS.159

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.159 LECS: error alloc mem for Dbase Sync frame, rc=x *error_code*: *dbase_sync_atm_address_string*

長構文: LECS.159 LECS: error alloc mem for Dbase Sync frame, rc=x *error_code*: *dbase_sync_atm_address_string*

説明: LECS は、データベース同期の指定のリモート LECS ATM アドレスを作成するために必要な記憶域を割り振ることができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.160

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.160 LECS: reject Dbase Sync VCC (not allowed) from: *calling_atm_address*

長構文: LECS.160 LECS: reject Dbase Sync VCC (not allowed) from: *calling_atm_address*

説明: この LECS はリモート構成を許さないように構成されているために、LECS は指定の LECS ATM アドレスから着信 LECS データベース同期 VCC を拒否しました。

LECS.161

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.161 LECS: reject Dbase Sync VCC (already exists) from: *calling_atm_address*

長構文: LECS.161 LECS: reject Dbase Sync VCC (already exists) from: *calling_atm_address*

説明: 別のデータベース同期 VCC がすでに存在し、一度に 1 つしか許されないために、LECS は指定の LECS ATM から着信 LECS データベース同期 VCC を拒否しました。

LECS.162

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.162 LECS: rfsd dbase sync frm x *calling_atm_address*: rcv ack err: *error_code_string* (*error_code*)

長構文: LECS.162 LECS: refused database sync vcc from x *calling_atm_address*: rcv ack error: *error_code_string* (*error_code*)

説明: コールを受信確認できないために、LECS は指定の ATM から着信 LECS データベース同期 VCC を拒否しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.163

レベル: C_INFO

短構文: LECS.163 LECS: dbase sync vcc setup from remote LECS: *calling_atm_address*

長構文: LECS.163 LECS: dbase sync vcc setup from remote LECS: *calling_atm_address*

説明: 指定の ATM アドレスを持つリモート LECS から、LECS データベース同期 VCC を確立するのに成功しました。

LECS.164

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.164 LECS: rfsd dbase sync frm x *calling_atm_address*: open data path err: *error_code_string* (*error_code*)

長構文: LECS.164 LECS: refused database sync vcc from x *calling_atm_address*: open data path error: *error_code_string* (*error_code*)

説明: コーラーへのデータ・パスをオープンできないために、LECS は指定の ATM から着信 LECS データベース同期 VCC を拒否しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.165

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.165 LECS: dbase sync call fail: open data path err: *error_code_string* (*error_code*)

長構文: LECS.165 LECS: database sync call failed: open data path err: *error_code_string* (*error_code*)

説明: コーラーへのデータ・パスをオープンできないために、LECS は LECS データベース同期 VCC を設定できませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LECS.166

レベル: C_INFO

短構文: LECS.166 LECS: dbase sync vcc setup to remote LECS

長構文: LECS.166 LECS: dbase sync vcc setup to remote LECS

説明: リモート LECS への LECS データベース同期 VCC が正常に確立されました。

LECS.167

レベル: CE_ERROR

短構文: LECS.167 LECS: Dbase Sync call failed: cause *cause_code*

長構文: LECS.167 LECS: Dbase Sync call failed: cause code = *cause_code*

説明: 示されている原因コードにより、LECS データベース同期 VCC の確立に失敗しました。

LECS.168

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.168 LECS: Dbase Sync call failed: net down

長構文: LECS.168 LECS: Dbase Sync call failed: net down

説明: ネットワークへの接続がダウンしているために、LECS データベース同期 VCC の確立に失敗しました。

LECS.169

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.169 LECS: Dbase Sync VCC released: cause *cause_code*

長構文: LECS.169 LECS: Dbase Sync VCC released: cause *cause_code*

説明: 示されている原因コードにより、LECS データベース同期 VCC が解放されました。

LECS.170

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.170 LECS: Dbase Sync VCC released: net down

長構文: LECS.170 LECS: Dbase Sync VCC released: net down

説明: ネットワークへの接続がダウンしているために、LECS データベース同期 VCC が解放されました。

LECS.171

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.171 LECS: SRAM error: *reason_string*

長構文: LECS.171 LECS: SRAM error: *reason_string*

説明: LECS データベース同期手順で、LECS SRAM 構成を正しく読み取ることができませんでした。詳細については、エラー・メッセージを参照してください。

LECS.172

レベル: UE_ERROR

短構文: LECS.172 LECS: Dbase Sync VCC rx bad frame: *frame_opcode_string*

長構文: LECS.172 LECS: Dbase Sync VCC received bad frame type: *frame_opcode_string*

説明: LECS データベース同期 VCC で、指摘されている無効なフレーム・タイプを受信しました。

LECS.173

レベル: U_INFO

短構文: LECS.173 LECS: Dbase Sync retry timer expiration num= *num_call_failures*

長構文: LECS.173 LECS: Dbase Sync retry timer expiration num= *num_call_failures*

説明: LECS データベース同期 VCC 再試行タイマーが満了し、改めてデータベース同期 VCC を試行する必要がありますを示しています。

LECS.174

レベル: C_INFO

短構文: LECS.174 LECS: Config Req sent on Dbase Sync VCC

長構文: LECS.174 LECS: Config Req sent on Dbase Sync VCC

説明: LECS データベース同期 VCC で、構成要求フレームが符号化 LECS SRAM データとともに正常に送信されました。

LECS.175

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.175 LECS: error writing config from Dbase Sync VCC

長構文: LECS.175 LECS: error writing config from Dbase Sync VCC

説明: LECS データベース同期 VCC 上で受信した LECS SRAM レコードを保管するときにエラーが発生しました。

LECS.176

レベル: C_INFO

短構文: LECS.176 LECS: Config Request received on Dbase Sync VCC

長構文: LECS.176 LECS: Config Request received on Dbase Sync VCC

説明: LECS データベース同期 VCC 上で、構成要求フレームを正常に受信しました。

LECS.177

レベル: C_INFO

短構文: LECS.177 LECS: Config Response received on Dbase Sync VCC: status= *status*

長構文: LECS.177 LECS: Config Response received on Dbase Sync VCC: status= *status*

説明: LECS データベース同期 VCC 上で、構成応答フレームを正常に受信しました。

LECS.178

レベル: UI_ERROR

短構文: LECS.178 LECS: not ready for Config Response on Dbase Sync VCC

長構文: LECS.178 LECS: not ready for Config Response on Dbase Sync VCC

説明: LECS データベース同期 VCC で構成応答の受信中にエラーが生じました。現行データベース同期制御ブロックへのポインターが無効 (NULL) です。

第58章 LAN エミュレーション・サーバーおよび同報通信確認不能サーバー (LES/BUS)

この章では、LAN エミュレーション・サーバーおよび同報通信確認不能サーバー (LES/BUS) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

LES.001

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.001 LES/BUS:' *ELAN_name*':trmntng:
error_string (*error_code*)

長構文: LES.001 LES/BUS:' *ELAN_name*':terminating:
error_string (*error_code*)

説明: ELAN が終了中です。

LES.002

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.002 LE:Cell Rate IE:Fwd PCR(CLP=0+1)
excds ln rt *fwd_peak_rate*

長構文: LES.002 LE:Cell Rate IE:Forward Peak Cell
Rate(CLP=0+1) exceeds line rate *fwd_peak_rate*

説明: 低優先順位データの順方向ピーク・セル速度がライン速度を超えています。

LES.003

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.003 LE:Cell Rate IE:Fwd SCR(CLP=0+1)
excds max *fwd_sustainable_rate*

長構文: LES.003 LE:Cell Rate IE:Forward Sustainable Cell
Rate(CLP=0+1) exceeds maximum *fwd_sustainable_rate*

説明: 低優先順位データの順方向持続可能セル速度が、予約済みの最大セル速度を超えています。

LES.004

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.004 LE:Cell Rate IE:Fwd SCR(CLP=0) excds
max *fwd_sustainable_rate*

長構文: LES.004 LE:Cell Rate IE:Forward Sustainable Cell
Rate(CLP=0) exceeds maximum *fwd_sustainable_rate*

説明: 高優先順位データの順方向持続可能セル速度が、予約済みの最大セル速度を超えています。

LES.005

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.005 LE:Cell Rate IE:Fwd PCR(CLP=0+1)
excds max *fwd_peak_rate*

長構文: LES.005 LE:Cell Rate IE:Forward Peak Cell
Rate(CLP=0+1) exceeds maximum *fwd_peak_rate*

説明: 低優先順位データの順方向ピーク・セル速度が、予約済みの最大セル速度を超えています。

LES.006

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.006 LE:Cell Rate IE:Bak SCR(CLP=0+1)
excds max *bak_sustainable_rate*

長構文: LES.006 LE:Cell Rate IE:Backward Sustainable Cell
Rate(CLP=0+1) exceeds maximum *bak_sustainable_rate*

説明: 低優先順位データの逆方向持続可能セル速度が、予約済みの最大セル速度を超えています。

LES.007

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.007 LE:Cell Rate IE:Bak SCR(CLP=0) excds
max *bak_sustainable_rate*

長構文: LES.007 LE:Cell Rate IE:Backward Sustainable Cell
Rate(CLP=0) exceeds maximum *bak_sustainable_rate*

説明: 高優先順位データの逆方向持続可能セル速度が、予約済みの最大セル速度を超えています。

LES.008

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.008 LE:Cell Rate IE:Bak PCR(CLP=0+1)
excds max *bak_peak_rate*

長構文: LES.008 LE:Cell Rate IE:Backward Peak Cell
Rate(CLP=0+1) exceeds maximum *bak_peak_rate*

説明: 低優先順位データの逆方向ピーク・セル速度が、予約済みの最大セル速度を超えています。

LES.009

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.009 LE:Bearer IE:Invld class (x *bearer_class*)

長構文: LES.009 LE:Bearer IE:Invalid class (x *bearer_class*)

説明: 無効なベアラー・クラス。ベアラー・クラスは、クラス C またはクラス X でなければなりません。

LES.010

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.010 LE:Bearer IE:Invld conn type (x *conn_type*)

長構文: LES.010 LE:Bearer IE:Invalid connection type (x *conn_type*)

説明: 無効な接続タイプ。接続タイプは、ポイント・ポイントでなければなりません。

LES.011

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.011 LE:QOS IE:Invld fwd QOS class (x *fwd_QOS*)

長構文: LES.011 LE:QOS IE:Invalid forward QOS class (x *fwd_QOS*)

説明: 接続はベストエフォート・サービスであり、順方向のサービス品質は QOS クラス 0 でなければなりません。

LES.012

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.012 LE:QOS IE:Invld bak QOS class (x *bak_QOS*)

長構文: LES.012 LE:QOS IE:Invalid backward QOS class (x *bak_QOS*)

説明: 接続はベストエフォートであり、逆方向のサービス品質は QOS クラス 0 でなければなりません。

LES.013

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.013 LE:Calling Party addr IE not prsnt

長構文: LES.013 LE:Calling Party address IE not present

説明: コーリング側アドレス IE は、存在しません。

LES.014

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.014 LE:Calling Party Addr IE:Invld ATM addr lngth (*remote_addr_length*)

長構文: LES.014 LE:Calling Party Addr IE:Invalid ATM address length (*remote_addr_length*)

説明: コーリング側アドレス IE は、無効な ATM アドレス長です。

LES.015

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.015 LE:Calling Party Addr IE:ATM addr fld scrn

長構文: LES.015 LE:Calling Party Addr IE:ATM address failed screening

説明: ATM アドレスが検査され、スクリーニングに不合格でした。

LES.016

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.016 LE:Calling Party Addr IE:Invld ATM addr

長構文: LES.016 LE:Calling Party Address IE:Invalid ATM address

説明: ATM アドレスの形式が誤りです。私用 ATM アドレス形式しかサポートされません。

LES.017

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.017 LE:AAL IE:Not prsnt, or Invld AAL type (x *AAL_type*)

長構文: LES.017 LE:AAL IE:Not present, or Invalid AAL type (x *AAL_type*)

説明: 無効な AAL タイプ。AAL タイプは AAL5 でなければなりません。

LES.018

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.018 LE:AAL IE:Invld fwd max SDU sz (*fwd_max_SDU_size*)

長構文: LES.018 LE:AAL IE:Invalid forward maximum SDU size (*fwd_max_SDU_size*)

説明: 順方向の最大 SDU サイズが無効です。

LES.019

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.019 LE:AAL IE:Invld bak max SDU sz for P2P call (bak_max_SDU_size)

長構文: LES.019 LE:AAL IE:Invalid backward maximum SDU size for Point-to-Point Call (bak_max_SDU_size)

説明: ポイント・ポイント間のコールの場合、逆方向の最大 SDU サイズが無効です。

LES.020

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.020 LE:AAL IE:Invld bak max SDU sz for P2MP call (bak_max_SDU_size)

長構文: LES.020 LE:AAL IE:Invalid backward maximum SDU size for Point-to-MultiPoint Call (bak_max_SDU_size)

説明: ポイント・マルチポイント間のコールの場合、逆方向の最大 SDU サイズが無効です。これは、ゼロまたは 1 でなければなりません。

LES.022

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.022 LE:AAL IE:Invld mode (x data_transport_mode)

長構文: LES.022 LE:AAL IE:Invalid mode (x data_transport_mode)

説明: UNI バージョン 3.0 の場合、データ転送モードが無効です。データ転送モードは、メッセージ・モードでなければなりません。

LES.023

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.023 LE:AAL IE:Mode spcfd in UNI 3.1 x data_transport_mode

長構文: LES.023 LE:AAL IE:Mode specified in UNI 3.1 x data_transport_mode

説明: UNI 3.1 の場合、データ転送モードを指定してはなりません。

LES.024

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.024 LE:AAL IE:Invld SSCS type (x SSCS_type)

長構文: LES.024 LE:AAL IE:Invalid SSCS type (x SSCS_type)

説明: 無効の SSCS タイプです。SSCS タイプは空白であることが必要です。この検査は、すでに LE サービスでは実行されなくなりました。

LES.025

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.025 LE:BLLI IE:Invld L2 prtcl (x l2prot)

長構文: LES.025 LE:BLLI IE:Invalid Layer 2 protocol (x l2prot)

説明: BLLI IE に無効のレイヤー 2 プロトコルが含まれています。レイヤー 2 プロトコルは、指定しないことが必要です。

LES.026

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.026 LE:BLLI IE:Invld L2 mode (x l2mode)

長構文: LES.026 LE:BLLI IE:Invalid Layer 2 mode (x l2mode)

説明: 無効のレイヤー 2 モードです。レイヤー 2 モードは、指定しないことが必要です。

LES.027

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.027 LE:BLLI IE:Invld L2 wndw sz (l2wndw_size)

長構文: LES.027 LE:BLLI IE:Invalid Layer 2 window size (l2wndw_size)

説明: BLLI IE に無効のレイヤー 2 ウィンドウ・サイズが含まれています。レイヤー 2 ウィンドウ・サイズは、指定しないことが必要です。

LES.028

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.028 LE:BLLI IE:Invld L2 prtcl info (x l2info)

長構文: LES.028 LE:BLLI IE:Invalid Layer 2 protocol info (x l2info)

説明: 無効のレイヤー 2 プロトコル情報です。レイヤー 2 プロトコル情報は、指定しないことが必要です。

LES.029

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.029 LE:BLLI IE:L3 prtcl not spcfd

長構文: LES.029 LE:BLLI IE:Layer 3 protocol not specified

説明: レイヤー 3 プロトコルは指定してはなりません。
ISO/IEC TR 9577 (x0B) でなければなりません。

LES.030

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.030 LE:BLLI IE:Invld L3 prtcl (x l3prtcl)

長構文: LES.030 LE:BLLI IE:Invalid Layer 3 protocol (x l3prtcl)

説明: 無効なレイヤー 3 プロトコル。ISO/IEC TR9577 (x0B) でなければなりません。

LES.031

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.031 LE:BLLI IE:Invld L3 mode (x l3mode)

長構文: LES.031 LE:BLLI IE:Invalid Layer 3 mode (x l3mode)

説明: 無効のレイヤー 3 モードです。レイヤー 3 モードは、指定しないことが必要です。

LES.032

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.032 LE:BLLI IE:Invld L3 dflt pkt sz (x l3dflt_pkt_sz)

長構文: LES.032 LE:BLLI IE:Invalid Layer 3 default packet size (x l3dflt_pkt_sz)

説明: 無効のレイヤー 3 デフォルト・パケット・サイズです。レイヤー 3 パケット・サイズは、指定しないことが必要です。

LES.033

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.033 LE:BLLI IE:Invld L3 pkt wndw sz x l3pkt_wndw_sz

長構文: LES.033 LE:BLLI IE:Invalid Layer 3 packet window size x l3pkt_wndw_sz

説明: 無効のレイヤー 3 パケット・ウィンドウ・サイズです。レイヤー 3 パケット・ウィンドウ・サイズは、指定しないことが必要です。

LES.034

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.034 LE:BLLI IE:Invld L3 prtcl info (x l3info)

長構文: LES.034 LE:BLLI IE:Invalid Layer 3 protocol info (x l3info)

説明: 無効のレイヤー 3 プロトコル情報です。レイヤー 3 プロトコル情報は、指定しないことが必要です。

LES.035

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.035 LE:BLLI IE:L3 IPI not spcfd

長構文: LES.035 LE:BLLI IE:Layer 3 Initial Protocol Identifier not specified

説明: レイヤー 3 初期プロトコル識別子が指定されていません。レイヤー 3 IPI は x80 であるはずですが。

LES.036

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.036 LE:BLLI IE:Invld L3 IPI (x IPI)

長構文: LES.036 LE:BLLI IE:Invalid Layer 3 Initial Protocol Identifier (x IPI)

説明: 無効なレイヤー 3 初期プロトコル識別子。レイヤー 3 IPI は x80 でなければなりません。

LES.037

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.037 LE:BLLI IE:SNAP OUI not spcfd

長構文: LES.037 LE:BLLI IE:SNAP OUI not specified

説明: BLLI IE, SNAP OUI が指定されていません。

LES.038

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.038 LE:BLLI IE:invld SNAP OUI x SNAP_OUI

長構文: LES.038 LE:BLLI IE:Invalid SNAP OUI x SNAP_OUI

説明: 無効な SNAP OUI。SNAP OUI は x00 xA0 x3E でなければなりません。

LES.039

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.039 LE:BLLI IE:SNAP PID not spcfd

長構文: LES.039 LE:BLLI IE:SNAP PID not specified

説明: BLLI IE, SNAP PID が指定されていません。

LES.040

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.040 LE:BLLI IE:Invld SNAP PID (x SNAP_PID)

長構文: LES.040 LE:BLLI IE:Invalid SNAP PID (x SNAP_PID)

説明: BLLI IE、無効な SNAP PID

LES.041

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.041 LES/BUS:' ELAN_name':crt fld:dplct ELAN name

長構文: LES.041 LES/BUS:' ELAN_name':create failed: duplicate ELAN name

説明: LES/BUS は作成できません。指定の ELAN 名をもつ LES/BUS がすでに存在しています。

LES.042

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.042 LES/BUS:' ELAN_name':crt fld:mem alloc err

長構文: LES.042 LES/BUS:' ELAN_name':create failed memory allocation error

説明: LES/BUS を作成しようとしているときに、記憶域割り振りエラーが発生しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.043

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.043 LES/BUS:' ELAN_name':crt fld:dtbs err

長構文: LES.043 LES/BUS:' ELAN_name':create failed:database error

説明: この LES/BUS を ELAN データベースに追加できません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.044

レベル: U_INFO

短構文: LES.044 LES/BUS:' ELAN_name':STARTING

長構文: LES.044 LES/BUS:' ELAN_name':STARTING

説明: LES/BUS が開始しました。

LES.045

レベル: U_INFO

短構文: LES.045 LES/BUS:' ELAN_name':releasing redun_typeRedundancy VCC

長構文: LES.045 LES/BUS:' ELAN_name':releasing redun_typeRedundancy VCC

説明: 冗長 VCC が解放されました。

LES.046

レベル: U_INFO

短構文: LES.046 LES/BUS:' ELAN_name':DELETED

長構文: LES.046 LES/BUS:' ELAN_name':DELETED

説明: LES/BUS が削除されました。

LES.047

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.047 LES/BUS:' ELAN_name':rfsd redun_typeRdndncy Call Calling ATM addr = x calling_address

長構文: LES.047 LES/BUS:' ELAN_name':refused redun_typeRedundancy Call, Calling ATM address = x calling_address

説明: 冗長コールがリジェクトされました。

LES.048

レベル: U_INFO

短構文: LES.048 LES/BUS:' ELAN_name':RESTARTING

長構文: LES.048 LES/BUS:' ELAN_name':RESTARTING

説明: LES/BUS が再始動しました。

LES.049

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.049 LES/BUS:' ELAN_name':rfsd redun_typeRdndncy call:ack fld:no mem Calling ATM addr = x calling_address

長構文: LES.049 LES/BUS:' ELAN_name':refused
redun_typeRedundancy Call:ack failed:no memory, Calling
ATM address = x calling_address

説明: 資源が不十分であるために、冗長コールがリジェクトされました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.050

レベル: U_INFO

短構文: LES.050 LES/BUS:' ELAN_name':STOPPED

長構文: LES.050 LES/BUS:' ELAN_name':STOPPED

説明: LES/BUS が停止しました。

LES.051

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.051 LES/BUS:' ELAN_name':=>DOWN:err
acking redun_typeRdndncy call: error_string (error_code)

長構文: LES.051 LES/BUS:' ELAN_name':=>DOWN:error
acking redun_typeRedundancy call: error_string (error_code)

説明: 冗長コールを受け付けているときに、エラーが発生しました。ELAN は終了します。

LES.052

レベル: U_INFO

短構文: LES.052 LES/BUS:' ELAN_name':
redun_typeRedundancy VCC estblshd Calling Atm addr = x
calling_address

長構文: LES.052 LES/BUS:' ELAN_name':
redun_typeRedundancy VCC established, Calling ATM address
= x calling_address

説明: 冗長 VCC が確立されました。

LES.053

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.053 LES/BUS:' ELAN_name':rfsd Ctrl Dir call
to redundant LES Calling ATM addr = x calling_address

長構文: LES.053 LES/BUS:' ELAN_name':refused Control
Direct call to redundant LES, Calling ATM address = x
calling_address

説明: LES は冗長で、パートナーの LES/BUS に制御が渡っているため、コントロール・ダイレクト・コールはリジェクトされました。

LES.054

レベル: U_INFO

短構文: LES.054 LES/BUS:' ELAN_name':
redun_typeRedundancy VCC estblshd Called ATM addr = x
called_address

長構文: LES.054 LES/BUS:' ELAN_name':
redun_typeRedundancy VCC established, Called ATM address
= x called_address

説明: 冗長 VCC が確立済みです。

LES.055

レベル: C_INFO

短構文: LES.055 LES/BUS:' ELAN_name': VCC_type
rlsd:nrmal

長構文: LES.055 LES/BUS:' ELAN_name': VCC_type
released:normal

説明: 正常な理由で、VCC が解放されました。

LES.056

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.056 LES/BUS:' ELAN_name':
redun_typeRdndncy call fld:cause cause_code Called ATM
addr = x called_address

長構文: LES.056 LES/BUS:' ELAN_name':
redun_typeRedundancy call failed:cause cause_code, Called
ATM address = x called_address

説明: 冗長コールが失敗しました。

LES.057

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.057 LES/BUS:' ELAN_name':=>DOWN:ATM
user reg fld: error_string (error_code)

長構文: LES.057 LES/BUS:' ELAN_name':=>DOWN:ATM
user registration failed: error_string (error_code)

説明: ATM ユーザーの登録が失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.058

レベル: U_INFO

短構文: LES.058 LES/BUS:' ELAN_name':waiting for ATM
Net Up

長構文: LES.058 LES/BUS:' ELAN_name':waiting for ATM Net Up

説明: ATM インターフェースはダウンしており、ネットワークが利用可能になるのを待っています。

LES.059

レベル: U_INFO

短構文: LES.059 LES/BUS:' ELAN_name':waiting for ATM addr actvn

長構文: LES.059 LES/BUS:' ELAN_name':waiting for ATM address activation

説明: ATM アドレス活動化がまだ完了していません。

LES.060

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.060 LES/BUS:' ELAN_name':=>DOWN:ATM addr actvn fld: *error_string* (*error_code*)

長構文: LES.060 LES/BUS:' ELAN_name':=>DOWN:ATM address activation failed: *error_string* (*error_code*)

説明: ATM アドレス活動化が失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.061

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.061 LES/BUS:' ELAN_name':=>DOWN:err reading ATM addr: *error_string* (*error_code*)

長構文: LES.061 LES/BUS:' ELAN_name':=>DOWN:err reading ATM address: *error_string* (*error_code*)

説明: ATM アドレスの読み取り時のエラー

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.062

レベル: U_INFO

短構文: LES.062 LES/BUS:' ELAN_name':waiting for UNI Vrsn rpt

長構文: LES.062 LES/BUS:' ELAN_name':waiting for UNI Version report

説明: UNI バージョン報告がまだ完了していません。

LES.063

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.063 LES/BUS:' ELAN_name':=>DOWN:err reading UNI Vrsn: *error_string* (*error_code*)

長構文: LES.063 LES/BUS:' ELAN_name':=>DOWN:error reading UNI Version: *error_string* (*error_code*)

説明: UNI バージョンの読み取り時のエラー

LES.064

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.064 LES/BUS:' ELAN_name':=>DOWN:err opening ATM Adptr Frame SAP: *error_string* (*error_code*)

長構文: LES.064 LES/BUS:' ELAN_name':=>DOWN:error opening ATM Adapter Frame SAP: *error_string* (*error_code*)

説明: ATM アダプター・フレーム SAP のオープン時のエラー

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.065

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.065 LES/BUS:' ELAN_name':=>DOWN:err opening Call SAP: *error_string* (*error_code*)

長構文: LES.065 LES/BUS:' ELAN_name':=>DOWN:error opening Call SAP: *error_string* (*error_code*)

説明: コール SAP のオープン時のエラー

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.066

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.066 LES/BUS:' ELAN_name':=>DOWN:err opening Ctrl Dist Grp: *error_string* (*error_code*)

長構文: LES.066 LES/BUS:' ELAN_name':=>DOWN:error opening Control Distribute Group: *error_string* (*error_code*)

説明: コントロール・ディストリビュート・グループのオープン時のエラー

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.067

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.067 LES/BUS:' ELAN_name':=>DOWN:err opening Mcast Fwd Grp: *error_string* (*error_code*)

長構文: LES.067 LES/BUS:' ELAN_name':=>DOWN:error

opening Multicast Forward Group: *error_string* (*error_code*)

説明: マルチキャスト・フォワード・グループのオープン時のエラー

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.068

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.068 LES/BUS:' *ELAN_name*':BCM init fld

長構文: LES.068 LES/BUS:' *ELAN_name*':BCM initialization failed

説明: ブロードキャスト・マネージャーの初期化に失敗しました。

LES.069

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.069 LES/BUS:' *ELAN_name*':err starting IP BCM

長構文: LES.069 LES/BUS:' *ELAN_name*':error starting IP BCM

説明: IP ブロードキャスト・マネージャーを開始しようとしているときに、エラーが発生しました。

LES.070

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.070 LES/BUS:' *ELAN_name*':err starting IPX BCM

長構文: LES.070 LES/BUS:' *ELAN_name*':error starting IPX BCM

説明: IPX ブロードキャスト・マネージャーを開始しようとしているときに、エラーが発生しました。

LES.071

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.071 LES/BUS:' *ELAN_name*':err starting NetBIOS BCM

長構文: LES.071 LES/BUS:' *ELAN_name*':error starting NetBIOS BCM

説明: NetBIOS ブロードキャスト・マネージャーを開始しようとしているときに、エラーが発生しました。

LES.072

レベル: UE_ERROR

短構文: LES.072 LES/BUS:' *ELAN_name*':ATM Net DOWN

長構文: LES.072 LES/BUS:' *ELAN_name*':ATM Net DOWN

説明: ATM インターフェースは操作不能の状態です。

LES.073

レベル: U_INFO

短構文: LES.073 LES/BUS:' *ELAN_name*':ATM Net UP

長構文: LES.073 LES/BUS:' *ELAN_name*':ATM Net UP

説明: ATM インターフェースは操作可能な状態です。

LES.074

レベル: U_INFO

短構文: LES.074 LES/BUS:' *ELAN_name*':ATM addr actvtd

長構文: LES.074 LES/BUS:' *ELAN_name*':ATM address activated

説明: ATM アドレスが正常に活動化されました。

LES.075

レベル: UE_ERROR

短構文: LES.075 LES/BUS:' *ELAN_name*':ATM addr actvtn tmd out: retrying

長構文: LES.075 LES/BUS:' *ELAN_name*':ATM address activation timed out:retrying

説明: ATM アドレスの活動化がタイムアウトになりました。活動化は再試行されます。

LES.076

レベル: UE_ERROR

短構文: LES.076 LES/BUS:' *ELAN_name*':ATM addr rjctd by switch

長構文: LES.076 LES/BUS:' *ELAN_name*':ATM address rejected by switch

説明: ATM アドレスがスイッチによってリジェクトされました。ATM アドレスを活性化するために、別の試みがなされます。

LES.077

レベル: UE_ERROR

短構文: LES.077 LES/BUS:' ELAN_name':ATM Addr deactvtd: reactvtng

長構文: LES.077 LES/BUS:' ELAN_name':ATM address deactivated: reactivating

説明: ATM アドレスがスイッチによって非活動化されました。アドレスは再活動化されます。

LES.078

レベル: U_INFO

短構文: LES.078 LES/BUS:' ELAN_name':UNI Vrsn rptd

長構文: LES.078 LES/BUS:' ELAN_name':UNI Version reported

説明: UNI バージョンが報告されました。

LES.079

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.079 Unexpected LECS addr lst rptd

長構文: LES.079 Unexpected LECS address list reported

説明: 予期しない LECS ATM アドレス・リストが報告されました。

LES.080

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.080 LES/BUS:' ELAN_name':rfsd Ctrl Dir call

長構文: LES.080 LES/BUS:' ELAN_name':refused Control Direct call

説明: コントロール・ダイレクト VCC の要求の妥当性検査が失敗しました。

LES.081

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.081 LES/BUS:' ELAN_name':rfsd Ctrl Dir Call, Calling ATM addr = x calling_address

長構文: LES.081 LES/BUS:' ELAN_name':refused Control Direct Call, Calling ATM address = x calling_address

説明: コントロール・ダイレクト VCC の要求の妥当性検査が失敗しました。

LES.082

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.082 LES/BUS:' ELAN_name':rfsd Ctrl Dir Call:mem alloc err, Calling ATM addr = x calling_address

長構文: LES.082 LES/BUS:' ELAN_name':refused Control Direct Call:memory allocation error, Calling ATM address = x calling_address

説明: コントロール・ダイレクト VCC の要求が失敗しました。記憶域を割り振ることができません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.083

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.083 LES/BUS:' ELAN_name':rfsd Ctrl Dir Call:dt pth opn err:no mem, Calling ATM addr = x calling_address

長構文: LES.083 LES/BUS:' ELAN_name':refused Control Direct Call:data path open error:no memory, Calling ATM address = x calling_address

説明: コントロール・ダイレクト VCC のデータ・パスをオープンするための資源が不十分です。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.084

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.084 LES/BUS:' ELAN_name':=>DOWN:Ctrl Dir dt pth opn err: error_string (error_code)

長構文: LES.084 LES/BUS:' ELAN_name':=>DOWN:Control Direct data path open error: error_string (error_code)

説明: コントロール・ダイレクト VCC のデータ・パスをオープンしようとしているときに、エラーが発生しました。ELAN は終了します。

LES.085

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.085 LES/BUS:' ELAN_name':rfsd Ctrl Dir Call:ack fld:no mem, Calling ATM addr = x calling_address

長構文: LES.085 LES/BUS:' ELAN_name':refused Control Direct Call:ack failed:no memory, Calling ATM address = x calling_address

説明: 資源が不十分であるために、コントロール・ダイレクト・コールを受け付けることができません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.086

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.086 LES/BUS:' *ELAN_name*':=>DOWN:error
acking Ctrl Dir call: *error_string* (*error_code*)

長構文: LES.086 LES/BUS:' *ELAN_name*':=>DOWN:error
acking Control Direct call: *error_string* (*error_code*)

説明: コントロール・ダイレクト・コールを受け付けて
いるときに、エラーが発生しました。ELAN は終了しま
す。

LES.087

レベル: C_INFO

短構文: LES.087 LES/BUS:' *ELAN_name*':Ctrl Dir estblshd,
Calling ATM addr = x *calling_address*

長構文: LES.087 LES/BUS:' *ELAN_name*':=>Control Direct
established, Calling ATM address = x *calling_address*

説明: コントロール・ダイレクト VCC が確立されまし
た。

LES.088

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.088 LES/BUS:' *ELAN_name*':rfsd Mcast Send
call

長構文: LES.088 LES/BUS:' *ELAN_name*':refused Multicast
Send call

説明: マルチキャスト・センド VCC の要求の妥当性検
査が失敗しました。

LES.089

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.089 LES/BUS:' *ELAN_name*':rfsd Mcast Send
call, Calling ATM addr = x *calling_address*

長構文: LES.089 LES/BUS:' *ELAN_name*':refused Multicast
Send call, Calling ATM addr = x *calling_address*

説明: マルチキャスト・センド VCC の要求の妥当性検
査が失敗しました。

LES.090

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.090 LES/BUS:' *ELAN_name*':rfsd Mcast Send
call:unkwn ATM addr, calling ATM addr = x *calling_address*

長構文: LES.090 LES/BUS:' *ELAN_name*':refused Multicast

Send Call:unknown ATM address,calling ATM address = x
calling_address

説明: マルチキャスト・センド・コールがリジェクトさ
れました。ATM アドレスが不明です。

LES.091

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.091 LES/BUS:' *ELAN_name*':rfsd Mcast Send
call:JOIN incmpl, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.091 LES/BUS:' *ELAN_name*':refused Multicast
Send call:join incomplete, LEC ATM address = x
LEC_address

説明: マルチキャスト・センド・コールがリジェクトさ
れました。JOIN フェーズが完了していません。

LES.092

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.092 LES/BUS:' *ELAN_name*':rfsd Mcast Send
call:VCC alrdy actv, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.092 LES/BUS:' *ELAN_name*':refused Multicast
Send call:VCC already active, LEC ATM address = x
LEC_address

説明: LEC はすでに BUS への接続をもっています。

LES.093

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.093 LES/BUS:' *ELAN_name*':rfsd Mcast Send
call:dt pth opn err:no mem, LEC ATM addr = x
LEC_address

長構文: LES.093 LES/BUS:' *ELAN_name*':refused Multicast
Send call:data path open error:no memory, LEC ATM address
= x *LEC_address*

説明: マルチキャスト・センド VCC のデータ・パスを
オープンするための資源が不十分です。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.094

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.094 LES/BUS:' *ELAN_name*':=>DOWN:Mcast
Send dt pth opn err: *error_string* (*error_code*)

長構文: LES.094 LES/BUS:'
ELAN_name':=>DOWN:Multicast Send data path open error:
error_string (*error_code*)

説明: マルチキャスト・センド VCC のデータ・パスを

オープンしようとしているときに、エラーが発生しました。ELAN は終了します。

LES.095

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.095 LES/BUS:' *ELAN_name*':rfsd Mcast Send call:ack fld:no mem, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.095 LES/BUS:' *ELAN_name*':refused Multicast Send call:ack failed:no memory, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: 資源が不十分であるために、マルチキャスト・センド・コールを受け付けることができません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.096

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.096 LES/BUS:' *ELAN_name*':=>DOWN:err ackng Mcast Send call: *error_string* (*error_code*)

長構文: LES.096 LES/BUS:' *ELAN_name*':=>DOWN:error acknowledging Multicast Send call: *error_string* (*error_code*)

説明: マルチキャスト・センド・コールを受け付けているときに、エラーが発生しました。ELAN は終了します。

LES.097

レベル: C_INFO

短構文: LES.097 LES/BUS:' *ELAN_name*':Mcast Send estblshd, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.097 LES/BUS:' *ELAN_name*':Multicast Send established, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: マルチキャスト・センド VCC が確立されました。

LES.098

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.098 LES/BUS:' *ELAN_name*':trmntng LEC:ngtttd *VCC_type* parms, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.098 LES/BUS:' *ELAN_name*':terminating LEC:negotiated *VCC_type* parms, LEC ATM addr = x *LEC_address*

説明: AAL および BLI パラメーターは折衝不能です。

LES.099

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.099 LES/BUS:' *ELAN_name*':=>DOWN: *VCC_type* dt pth opn err: *error_string* (*error_code*)

長構文: LES.099 LES/BUS:' *ELAN_name*':=>DOWN: *VCC_type* data path open error: *error_string* (*error_code*)

説明: VCC のデータ・パスをオープンしようとしているときに、エラーが発生しました。ELAN は終了します。

LES.100

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.100 LES/BUS:' *ELAN_name*':trmntng LEC: *VCC_type* dt pth opn err:no mem, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.100 LES/BUS:' *ELAN_name*':terminating LEC: *VCC_type* data path open error:no memory, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: VCC のデータ・パスをオープンするための資源が不十分です。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.101

レベル: C_INFO

短構文: LES.101 LES/BUS:' *ELAN_name*': *VCC_type* estblshd, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.101 LES/BUS:' *ELAN_name*': *VCC_type* established, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: 指定のタイプの VCC が確立されました。

LES.102

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.102 LES/BUS:' *ELAN_name*':=>DOWN:err adding to Ctrl Dist Grp: *error_string* (*error_code*)

長構文: LES.102 LES/BUS:' *ELAN_name*':=>DOWN:error adding to Control Distribute Group: *error_string* (*error_code*)

説明: コントロール・ディストリビュート・グループに VCC を追加しようとしているときに、エラーが発生しました。

LES.103

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.103 LES/BUS:' *ELAN_name*':=>DOWN:err adding to Mcast Fwd Grp: *error_string* (*error_code*)

長構文: LES.103 LES/BUS:' *ELAN_name*':=>DOWN:error adding to Multicast Forward Group: *error_string* (*error_code*)

説明: マルチキャスト・フォワード・グループに VCC を追加しようとしているときに、エラーが発生しました。ELAN は終了します。

LES.104

レベル: C_INFO

短構文: LES.104 LES/BUS:' *ELAN_name*': VCC_type leaf estblshd, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.104 LES/BUS:' *ELAN_name*': VCC_type leaf established, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: 指定の VCC タイプの場合、ポイント・マルチポイント間のコールに通話者が追加されました。

LES.105

レベル: C_INFO

短構文: LES.105 LES/BUS:' *ELAN_name*':trmtnng LEC:Ctrl Dir rlsd:nrml, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.105 LES/BUS:' *ELAN_name*':terminating LEC:Control Direct released:normal, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: 正常な理由で、コントロール・ダイレクト・コールが解放されました。LEC の ELAN メンバーシップは終了します。

LES.106

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.106 LES/BUS:' *ELAN_name*':trmtnng LEC:Ctrl Dir rlsd:cause *cause_code*, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.106 LES/BUS:' *ELAN_name*':terminating LEC:Control Direct released:cause *cause_code*, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: 示されている原因で、コントロール・ダイレクト・コールが解放されました。LEC の ELAN メンバーシップは終了します。

LES.107

レベル: UE_ERROR

短構文: LES.107 LES/BUS:' *ELAN_name*':trmtnng LEC:Ctrl Dir rlsd:nt dwn, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.107 LES/BUS:' *ELAN_name*':terminating LEC:Control Direct released:net down, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: ネットワークへの接続がダウンしたために、コントロール・ダイレクト・コールが解放されました。LEC の ELAN メンバーシップは終了します。

LES.108

レベル: C_INFO

短構文: LES.108 LES/BUS:' *ELAN_name*': VCC_type call fld:retrying with Bearer Class C, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.108 LES/BUS:' *ELAN_name*': VCC_type call failed:retrying with Bearer Class C, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: 指定のタイプのコールが失敗しました。このコールは、ベアラー・クラス C で再試行されます。

LES.109

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.109 LES/BUS:' *ELAN_name*':trmtnng LEC: VCC_type call fld:cause *cause_code*, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.109 LES/BUS:' *ELAN_name*':terminating LEC: VCC_type call failed:cause *cause_code*, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: 示されている原因で、コールが失敗しました。LEC の ELAN メンバーシップは終了します。

LES.110

レベル: UE_ERROR

短構文: LES.110 LES/BUS:' *ELAN_name*':trmtnng LEC: VCC_type call fld:net dwn, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.110 LES/BUS:' *ELAN_name*':terminating LEC: VCC_type call failed:net down, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: ネットワークへの接続がダウンしていたために、コールが失敗しました。LEC の ELAN メンバーシップは終了します。

LES.111

レベル: UE_ERROR

短構文: LES.111 LES/BUS:' *ELAN_name*': VCC_type rlsd:cause *cause_code*

長構文: LES.111 LES/BUS:' *ELAN_name*': VCC_type released:cause *cause_code*

説明: 示されている原因で、VCC が解放されました。

LES.112

レベル: UE_ERROR

短構文: LES.112 LES/BUS:' ELAN_name': VCC_type
rlsd:net dwn

長構文: LES.112 LES/BUS:' ELAN_name': VCC_type
released:net down

説明: ネットワークへの接続がダウンしたために、VCC
が解放されました。

LES.113

レベル: C_INFO

短構文: LES.113 LES/BUS:' ELAN_name':Mcast Send
rlsd:nrml, LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.113 LES/BUS:' ELAN_name':Multicast Send
released:normal, LEC ATM address = x LEC_address

説明: 正常な理由で、マルチキャスト・センド・コール
が解放されました。

LES.114

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.114 LES/BUS:' ELAN_name':Mcast Send
rlsd:cause cause_code, LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.114 LES/BUS:' ELAN_name':Multicast Send
released:cause cause_code, LEC ATM address = x
LEC_address

説明: 示されている原因で、マルチキャスト・センド・
コールが解放されました。

LES.115

レベル: UE_ERROR

短構文: LES.115 LES/BUS:' ELAN_name':Mcast Send
rlsd:net dwn, LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.115 LES/BUS:' ELAN_name':Multicast Send
released:net down, LEC ATM address = x LEC_address

説明: ネットワークへの接続が現在ダウンしているため
に、マルチキャスト・センド・コールが解放されまし
た。

LES.116

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.116 LES/BUS:' ELAN_name':trmntng LEC:err
adding VCC_type leaf:cause cause_code, LEC ATM addr =
x LEC_address

長構文: LES.116 LES/BUS:' ELAN_name':terminating
LEC:error adding VCC_type leaf:cause cause_code, LEC ATM
address = x LEC_address

説明: リーフを追加しているときに、エラーが発生しま
した。LEC の ELAN メンバーシップは終了します。

LES.118

レベル: C_INFO

短構文: LES.118 LES/BUS:' ELAN_name':trmntng LEC:
VCC_type leaf rlsd:nrml, LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.118 LES/BUS:' ELAN_name':terminating LEC:
VCC_type leaf released:normal, LEC ATM address = x
LEC_address

説明: 正常な理由で、リーフが解放されました。LEC の
ELAN メンバーシップは終了します。

LES.119

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.119 LES/BUS:' ELAN_name':trmntng LEC:
VCC_type leaf rlsd:cause cause_code, LEC ATM addr = x
LEC_address

長構文: LES.119 LES/BUS:' ELAN_name':terminating LEC:
VCC_type leaf released:cause cause_code, LEC ATM address
= x LEC_address

説明: 示された理由で、リーフが解放されました。LEC
の ELAN メンバーシップは終了します。

LES.120

レベル: UE_ERROR

短構文: LES.120 LES/BUS:' ELAN_name':trmntng LEC:
VCC_type leaf rlsd:net dwn, LEC ATM addr = x
LEC_address

長構文: LES.120 LES/BUS:' ELAN_name':terminating LEC:
VCC_type leaf released:net down, LEC ATM address = x
LEC_address

説明: ネットワークへの接続がダウンしたために、リー
フが解放されました。LEC の ELAN メンバーシップは
終了します。

LES.121

レベル: C_INFO

短構文: LES.121 LES/BUS:' ELAN_name': VCC_type leaf
rlsd:normal, LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.121 LES/BUS:' ELAN_name': VCC_type leaf

released:normal, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: 正常な理由で、リーフが解放されました。

LES.122

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.122 LES/BUS:' *ELAN_name*': VCC_type leaf
rlsd:cause *cause_code*, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.122 LES/BUS:' *ELAN_name*': VCC_type leaf
released:cause *cause_code*, LEC ATM address = x
LEC_address

説明: 示されている原因で、リーフが解放されました。

LES.123

レベル: UE_ERROR

短構文: LES.123 LES/BUS:' *ELAN_name*': VCC_type leaf
rlsd:net dwn, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.123 LES/BUS:' *ELAN_name*': VCC_type leaf
released:net down, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: ネットワークへの接続がダウンしたために、リーフが解放されました。

LES.124

レベル: C_INFO

短構文: LES.124 LES/BUS:' *ELAN_name*':dscrd OAM frm,
PTI (x *pti*)

長構文: LES.124 LES/BUS:' *ELAN_name*':discarded OAM
frame, PTI (x *pti*)

説明: OAM フレームが廃棄されました。

LES.125

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.125 LES/BUS:' *ELAN_name*':dscrd cntrl
frm:invld mrkr (x *marker*), LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.125 LES/BUS:' *ELAN_name*':discarded control
frame:invalid Marker (x *marker*), LEC ATM addr = x
LEC_address

説明: マーカーが無効であるために、制御フレームが廃棄されました。 マーカーは xFF00 でなければなりません。

LES.126

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.126 LES/BUS:' *ELAN_name*':dscrd cntrl
frm:invld prtcl (x *protocol*), LEC ATM addr = x
LEC_address

長構文: LES.126 LES/BUS:' *ELAN_name*':discarded control
frame:invalid prtcl (x *protocol*), LEC ATM addr = x
LEC_address

説明: プロトコルが無効であるために、制御フレームが廃棄されました。 プロトコルは x01 でなければなりません。

LES.127

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.127 LES/BUS:' *ELAN_name*':dscrd cntrl
frm:invld Vrsn (x *version*), LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.127 LES/BUS:' *ELAN_name*':discarded control
frame:invalid Version (x *version*), LEC ATM addr = x
LEC_address

説明: バージョンが無効であるために、制御フレームが廃棄されました。 バージョンは x01 でなければなりません。

LES.128

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.128 LES/BUS:' *ELAN_name*':dscrd ARP
RSP:src JOIN incmplt, Src LEC ATM addr = x
source_LEC_address

長構文: LES.128 LES/BUS:' *ELAN_name*':discarded ARP
Response:source JOIN incomplete, Source LEC ATM address
= x *source_LEC_address*

説明: 発信元 LEC の JOIN フェーズが完了していないために、ARP 応答が廃棄されました。

LES.129

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.129 LES/BUS:' *ELAN_name*':dscrd ARP
RSP:unkwn LECID (x *LECID*), Src LEC ATM addr = x
source_LEC_address

長構文: LES.129 LES/BUS:' *ELAN_name*':discarded ARP
Response:unknown LECID (x *LECID*), Source LEC ATM
address = x *source_LEC_address*

説明: LECID が不明であるために、ARP 応答が廃棄されました。

LES.130

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.130 LES/BUS:'ELAN_name':dscrd ARP RSP:trgt JOIN incmplt, Src LEC ATM addr = x *source_LEC_address*, Trgt LEC ATM addr = x *target_LEC_address*

長構文: LES.130 LES/BUS:'ELAN_name':discarded ARP Response:target JOIN incomplete, Source LEC ATM address = x *source_LEC_address*, Target ATM address = x *target_LEC_address*

説明: あて先 LEC の JOIN フェーズが完了していないために、ARP 応答が廃棄されました。

LES.131

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.131 LES/BUS:'ELAN_name':dscrd FLUSH RSP:src JOIN incmplt, Src LEC ATM addr = x *source_LEC_address*

長構文: LES.131 LES/BUS:'ELAN_name':discarded FLUSH Response:source JOIN incomplete, Source LEC ATM address =x *source_LEC_address*

説明: 発信元 LEC の JOIN フェーズが完了していないために、FLUSH 応答が廃棄されました。

LES.132

レベル: C_INFO

短構文: LES.132 LES/BUS:'ELAN_name':flooded FLUSH RSP:unkwn LECID (x *LECID*), Src LEC ATM addr = x *source_LEC_address*

長構文: LES.132 LES/BUS:'ELAN_name':flooded FLUSH Response:unknown LECID (x *LECID*), Source LEC ATM address =x *source_LEC_address*

説明: FLUSH 応答がすべてのクライアントにフラッディングされました。その LECID が LES には確認不能であったためです。この事象が生じる一般的な理由としては、ショートカット・ブリッジングの使用があります。

LES.133

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.133 LES/BUS:'ELAN_name':dscrd FLUSH RSP:trgt JOIN incmplt, Src LEC ATM addr = x *source_LEC_address*, Trgt LEC ATM addr = x *target_LEC_address*

長構文: LES.133 LES/BUS:'ELAN_name':discarded FLUSH Response:target JOIN incomplete, Source LEC ATM address

= x *source_LEC_address*, Target ATM address = x *target_LEC_address*

説明: あて先 LEC の JOIN フェーズが完了していないために、FLUSH 応答が廃棄されました。

LES.134

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.134 LES/BUS:'ELAN_name':dscrd NARP REQ:JOIN incmplt, LEC ATM address = x *LEC_address*

長構文: LES.134 LES/BUS:'ELAN_name':discarded NARP Request:JOIN incomplete, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: JOIN フェーズが完了していないために、NARP 要求が廃棄されました。

LES.135

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.135 LES/BUS:'ELAN_name':dscrd NARP REQ:invld LECID (x *LECID*), LEC ATM address = x *LEC_address*

長構文: LES.135 LES/BUS:'ELAN_name':discarded NARP Request:invalid LECID (x *LECID*), LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: LECID が不明であるために、NARP 要求が廃棄されました。

LES.136

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.136 LES/BUS:'ELAN_name':dscrd TPLGY REQ:JOIN incmplt, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.136 LES/BUS:'ELAN_name':discarded TOPOLOGY Request:JOIN incomplete, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: JOIN フェーズが完了していないために、TOPOLOGY 要求が廃棄されました。

LES.137

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.137 LES/BUS:'ELAN_name':dscrd TPLGY REQ:invld LECID (x *LECID*), LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.137 LES/BUS:'ELAN_name':discarded TOPOLOGY Request:invalid LECID (x *LECID*), LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: LECID が不明であるために、TOPOLOGY 要求が廃棄されました。

LES.138

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.138 LES/BUS:' *ELAN_name*':dscrd cntrl frm:invld Opcode (x *opcode*), LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.138 LES/BUS:' *ELAN_name*':discarded control frame:invalid Opcode (x *opcode*), LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: 操作コードが無効であるために、制御フレームが廃棄されました。

LES.139

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.139 LES/BUS:' *ELAN_name*':dscrd Mcast Snd frm:Bus cnnct incmplt, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.139 LES/BUS:' *ELAN_name*':discarded Multicast Send frame:Bus connect incomplete, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: 発信元 LEC が BUS 接続フェーズを完了していないために、マルチキャスト・センド・フレームが廃棄されました。

LES.140

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.140 LES/BUS:' *ELAN_name*':dscrd Mcast Snd frm:invld prtcl (x *protocol*), LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.140 LES/BUS:' *ELAN_name*':discarded Multicast Send Frame:invalid protocol (x *protocol*), LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: プロトコルが無効であるために、マルチキャスト・センド・フレームが廃棄されました。プロトコルは x01 でなければなりません。

LES.141

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.141 LES/BUS:' *ELAN_name*':dscrd Mcast Snd frm:invld Vrsn (x *version*), LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.141 LES/BUS:' *ELAN_name*':discarded Multicast Send frame:invalid Version (x *version*), LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: バージョンが無効であるために、マルチキャスト・センド・フレームが廃棄されました。バージョンは x01 でなければなりません。

LES.142

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.142 LES/BUS:' *ELAN_name*':dscrd Mcast Snd frm:invld Opcode (x *opcode*), LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.142 LES/BUS:' *ELAN_name*':discarded Multicast Send frame:invalid Opcode (x *opcode*), LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: 操作コードが無効であるために、マルチキャスト・センド・フレームが廃棄されました。

LES.144

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.144 LES/BUS:' *ELAN_name*':dscrd FLUSH REQ:trgt Bus Cnnct incmplt, Src LEC ATM addr = x *source_LEC_address*, Trgt LEC ATM addr = x *target_LEC_address*

長構文: LES.144 LES/BUS:' *ELAN_name*':discarded FLUSH Request:target Bus Connect incomplete, Source LEC ATM address = x *source_LEC_address*, Target LEC ATM address = x *target_LEC_address*

説明: あて先 LEC が BUS 接続フェーズを完了していないために、FLUSH 応答が廃棄されました。

LES.146

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.146 LES/BUS:' *ELAN_name*':dscrd dt frm:invld sz (x *frame_size*), LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.146 LES/BUS:' *ELAN_name*':discarded data frame:invalid size (x *frame_size*), LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: フレーム・サイズが無効であるために、データ・フレームが廃棄されました。

LES.147

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.147 LES/BUS:' *ELAN_name*':dscrd dt frm:trgt Bus cnnct incmplt, Src LEC ATM addr = x *source_LEC_address*, Trgt LEC ATM addr = x *target_LEC_address*

長構文: LES.147 LES/BUS:' *ELAN_name*':discarded data

frame:target Bus connect incomplete, Source LEC ATM address = x *source_LEC_address*, Target LEC ATM address = x *target_LEC_address*

説明: あて先 LEC が BUS 接続フェーズを完了していないために、データ・フレームが廃棄されました。

LES.148

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.148 LES/BUS:' *ELAN_name*':=>BUS tx err: *error_string* (*error_code*)

長構文: LES.148 LES/BUS:' *ELAN_name*':=>BUS transmit error: *error_string* (*error_code*)

説明: BUS 送信エラーが発生しました。エラーの重大度に応じて、ELAN が終了することがあります。

LES.149

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.149 LES/BUS:' *ELAN_name*':trmntng LEC:JOIN parms chngd, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.149 LES/BUS:' *ELAN_name*':terminating LEC:JOIN parms changed, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: JOIN パラメーターが変更されました。LEC の ELAN メンバーシップは終了します。

LES.150

レベル: C_INFO

短構文: LES.150 LES/BUS:' *ELAN_name*':dsrcl dplct JOIN REQ, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.150 LES/BUS:' *ELAN_name*':discard duplicate JOIN Request, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: 重複する JOIN 要求を受信し、廃棄しました。

LES.151

レベル: C_INFO

短構文: LES.151 LES/BUS:' *ELAN_name*':resndng JOIN RSP, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.151 LES/BUS:' *ELAN_name*':resending JOIN Response, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: JOIN 応答が再送されました。

LES.152

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.152 LES/BUS:' *ELAN_name*':JOIN fld:invld LECID (x *LECID*), LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.152 LES/BUS:' *ELAN_name*':JOIN failed:invalid LECID (x *LECID*), LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: LECID が無効であるために、JOIN が失敗しました。LECID は x00 でなければなりません。

LES.153

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.153 LES/BUS:' *ELAN_name*':JOIN fld:invld MAC addr (x *MAC_address*), LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.153 LES/BUS:' *ELAN_name*':JOIN failed:invalid MAC address (x *MAC_address*), LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: MAC アドレスが無効であるために、JOIN が失敗しました。

LES.154

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.154 LES/BUS:' *ELAN_name*':JOIN fld:dplct MAC addr (x *MAC_address*), LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.154 LES/BUS:' *ELAN_name*':JOIN failed:duplicate MAC address (x *MAC_address*), LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: MAC アドレスが固有でないために、JOIN が失敗しました。

LES.156

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.156 LES/BUS:' *ELAN_name*':JOIN fld:invld LAN Dest Tag (x *LAN_dest_tag*), LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.156 LES/BUS:' *ELAN_name*':JOIN failed:invalid LAN Destination Tag (x *LAN_dest_tag*), LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: LAN あて先タグが無効であるために、JOIN が失敗しました。

LES.157

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.157 LES/BUS:' *ELAN_name*':JOIN fld:ATM addr msmtch, Calling ATM addr = x *calling_address*, Src ATM addr = x *source_address*

長構文: LES.157 LES/BUS:' *ELAN_name*':Join failed:ATM address mismatch, Calling ATM address = x *calling_address*, Source ATM address = x *source_address*

説明: 発信元 ATM アドレスがコーリング側アドレスと一致しないために、JOIN が失敗しました。

LES.158

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.158 LES/BUS:' *ELAN_name*':JOIN fld:invld Src ATM addr frmt, LEC ATM addr = x *LEC_address*, Src ATM addr = x *source_address*

長構文: LES.158 LES/BUS:' *ELAN_name*':Join failed:invalid Source ATM address format, LEC ATM address = x *LEC_address*, Source ATM address = x *source_address*

説明: 発信元 ATM アドレス形式が無効であるために、JOIN が失敗しました。

LES.159

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.159 LES/BUS:' *ELAN_name*':JOIN fld:dplct ATM addr, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.159 LES/BUS:' *ELAN_name*':JOIN failed:duplicate ATM address, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: ATM アドレスが固有でないために、JOIN が失敗しました。

LES.160

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.160 LES/BUS:' *ELAN_name*':JOIN fld:invld LAN Type (x *LAN_type*), LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.160 LES/BUS:' *ELAN_name*':JOIN failed:invalid LAN Type (x *LAN_type*), LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: LAN タイプが無効であるために、JOIN が失敗しました。

LES.161

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.161 LES/BUS:' *ELAN_name*':JOIN fld:invld frm sz (x *frame_size*), LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.161 LES/BUS:' *ELAN_name*':JOIN failed:invalid frame size (x *frame_size*), LEC ATM address =x *LEC_address*

説明: フレーム・サイズが無効であるために、JOIN が失敗しました。

LES.162

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.162 LES/BUS:' *ELAN_name*':JOIN fld:ATM addr CB alloc err, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.162 LES/BUS:' *ELAN_name*':JOIN failed:ATM address Control Block allocation error, LEC ATM address =x *LEC_address*

説明: ATM アドレス制御ブロック用の記憶域を割り振ろうとしているときにエラーが発生したために、JOIN が失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.163

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.163 LES/BUS:' *ELAN_name*':JOIN fld:MAC addr CB alloc err, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.163 LES/BUS:' *ELAN_name*':JOIN failed:MAC address Control Block allocation error, LEC ATM address =x *LEC_address*

説明: MAC アドレス制御ブロック用の記憶域を割り振ろうとしているときにエラーが発生したために、JOIN が失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.164

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.164 LES/BUS:' *ELAN_name*':JOIN fld:LECID CB alloc err, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.164 LES/BUS:' *ELAN_name*':JOIN failed:LECID Control Block allocation error, LEC ATM address =x *LEC_address*

説明: LECID 制御ブロック用の記憶域を割り振ろうとし

ているときにエラーが発生したために、JOIN が失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.165

レベル: U_INFO

短構文: LES.165 LES/BUS:' ELAN_name':JOIN fld:all LECIDs in use, LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.165 LES/BUS:' ELAN_name':JOIN failed:all LECIDs in use , LEC ATM address =x LEC_address

説明: すべての LECID が使用中であるために、JOIN が失敗しました。

LES.166

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.166 LES/BUS:' ELAN_name':trmntng LEC:JOIN time-out, LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.166 LES/BUS:' ELAN_name':terminating LEC:JOIN time-out, LEC ATM address = x LEC_address

説明: タイマーが満了する前に、JOIN フェーズが完了しませんでした。LEC の ELAN メンバーシップは終了します。

LES.167

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.167 LES/BUS:' ELAN_name':=>DOWN:LECID DB add err: error_string (error_code)

長構文: LES.167 LES/BUS:' ELAN_name':DOWN:LECID DataBase add error: error_string (error_code)

説明: LECID データベースにエントリーを追加しようとしているときに、エラーが発生しました。ELAN は終了します。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.168

レベル: C_INFO

短構文: LES.168 LES/BUS:' ELAN_name':plcng VCC_type call, LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.168 LES/BUS:' ELAN_name':placing VCC_type call, LEC ATM address = x LEC_address

説明: 指定の VCC タイプのコールを確立中です。

LES.169

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.169 LES/BUS:' ELAN_name':JOIN fld:err plcng VCC_type call: error_string (error_code), LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.169 LES/BUS:' ELAN_name':JOIN failed:error placing VCC_type call: error_string (error_code), LEC ATM address = x LEC_address

説明: 記憶域の不足でコールを発信できないために、JOIN が失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.170

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.170 LES/BUS:' ELAN_name':=>DOWN:err plcng VCC_type call: error_string (error_code)

長構文: LES.170 LES/BUS:' ELAN_name':=>DOWN:error placing VCC_type call: error_string (error_code)

説明: コールの発信を試みているときに、エラーが発生しました。

LES.171

レベル: C_INFO

短構文: LES.171 LES/BUS:' ELAN_name':wtng to add VCC_type leaf, LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.171 LES/BUS:' ELAN_name':waiting to add VCC_type leaf,LEC ATM address = x LEC_address

説明: コール信号が進行中で、完了を待っています。

LES.172

レベル: C_INFO

短構文: LES.172 LES/BUS:' ELAN_name':adding VCC_type leaf, LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.172 LES/BUS:' ELAN_name':adding VCC_type leaf,LEC ATM address = x LEC_address

説明: リーフを追加中です。

LES.173

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.173 LES/BUS:' ELAN_name':JOIN fld:err adding VCC_type leaf: error_string (error_code), LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.173 LES/BUS:' *ELAN_name*':JOIN failed:error adding *VCC_type* leaf: *error_string* (*error_code*),LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: リーフの追加中にエラーが発生したために、JOIN が失敗しました。

LES.174

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.174 LES/BUS:' *ELAN_name*':=>DOWN:err adding *VCC_type* leaf: *error_string* (*error_code*)

長構文: LES.174 LES/BUS:' *ELAN_name*':=>DOWN:error adding *VCC_type* leaf: *error_string* (*error_code*)

説明: リーフを追加しているときに、エラーが発生しました。ELAN は終了します。

LES.175

レベル: C_INFO

短構文: LES.175 LES/BUS:' *ELAN_name*':dsrcl FLUSH REQ:trgtcl for BUS, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.175 LES/BUS:' *ELAN_name*':discarded FLUSH Request:targeted for BUS, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: BUS をあて先にしていたために、FLUSH 要求が廃棄されました。

LES.176

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.176 LES/BUS:' *ELAN_name*':trmtng LEC:err plng *VCC_type* call: *error_string* (*error_code*), LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.176 LES/BUS:' *ELAN_name*':terminating LEC:error placing *VCC_type* call: *error_string* (*error_code*), LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: 記憶域の不足のために、コールを発信できません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.177

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.177 LES/BUS:' *ELAN_name*':trmtng LEC:err adding *VCC_type* leaf: *error_string* (*error_code*), LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.177 LES/BUS:' *ELAN_name*':terminating LEC:error adding *VCC_type* leaf: *error_string* (*error_code*),

LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: リーフの追加中にエラーが発生しました。

LES.178

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.178 LES/BUS:' *ELAN_name*':dsrcl REG REQ:JOIN incmpl, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.178 LES/BUS:' *ELAN_name*':discarded Register Request:JOIN incomplete, LEC ATM addr = x *LEC_address*

説明: JOIN フェーズが完了していないために、登録要求が廃棄されました。

LES.179

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.179 LES/BUS:' *ELAN_name*':REG fld:invld LECID (*LECID*), LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.179 LES/BUS:' *ELAN_name*':Registration failed:invalid LECID (*LECID*), LEC ATM addr = x *LEC_address*

説明: LECID が無効であるために、登録が失敗しました。

LES.180

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.180 LES/BUS:' *ELAN_name*':REG fld:invld Src ATM addr frmt, LEC ATM addr = x *LEC_address*, Source ATM addr = x *source_address*

長構文: LES.180 LES/BUS:' *ELAN_name*':Registration failed:invalid Source ATM address format, LEC ATM addr = x *LEC_address*, Source ATM address = x *source_address*

説明: 発信元 ATM アドレス形式が無効であるために、登録が失敗しました。

LES.181

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.181 LES/BUS:' *ELAN_name*':REG fld:invld MAC addr (x *MAC_address*), LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.181 LES/BUS:' *ELAN_name*':Registration failed:invalid MAC address (x *MAC_address*), LEC ATM addr = x *LEC_address*

説明: MAC アドレスが無効であるために、登録が失敗しました。

LES.182

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.182 LES/BUS:' ELAN_name':REG fld:dplct MAC addr (x MAC_address), LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.182 LES/BUS:' ELAN_name':Registration failed:duplicate MAC address (x MAC_address), LEC ATM addr = x LEC_address

説明: MAC アドレスが固有でないために、登録が失敗しました。

LES.183

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.183 LES/BUS:' ELAN_name':REG fld:dplct Src ATM addr, LEC ATM addr = x LEC_address, Src ATM addr = x source_address

長構文: LES.183 LES/BUS:' ELAN_name':Registration failed:duplicate Source ATM address, LEC ATM addr = x LEC_address, Source ATM address = x source_address

説明: 発信元 ATM アドレスが固有でないために、登録が失敗しました。

LES.184

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.184 LES/BUS:' ELAN_name':REG fld:ATM addr CB alloc err, LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.184 LES/BUS:' ELAN_name':Registration failed:ATM address Control Block allocation error, LEC ATM address =x LEC_address

説明: ATM アドレス制御ブロック用の記憶域を割り振ろうとしているときにエラーが発生したために、登録が失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.185

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.185 LES/BUS:' ELAN_name':REG fld:MAC addr CB alloc err, LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.185 LES/BUS:' ELAN_name':Registration failed:MAC address Control Block allocation error, LEC ATM address =x LEC_address

説明: MAC アドレス制御ブロック用の記憶域を割り振ろうとしているときにエラーが発生したために、登録が失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.186

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.186 LES/BUS:' ELAN_name':REG fld:RD on Eth ELAN, LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.186 LES/BUS:' ELAN_name':Registration failed:Route Descriptor on Ethernet ELAN, LEC ATM address = x LEC_address

説明: ルート記述子がイーサネット ELAN では認められないために、登録が失敗しました。

LES.187

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.187 LES/BUS:' ELAN_name':REG fld:dplct RD (x route_descriptor), LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.187 LES/BUS:' ELAN_name':Registration failed:duplicate Route Descriptor (x route_descriptor), LEC ATM address = x LEC_address

説明: ルート記述子が固有でないために、登録が失敗しました。

LES.188

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.188 LES/BUS:' ELAN_name':REG fld:RD CB alloc err, LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.188 LES/BUS:' ELAN_name':Registration failed:Route Descriptor Control Block allocation error, LEC ATM address =x LEC_address

説明: ルート記述子制御ブロック用の記憶域を割り振ろうとしているときにエラーが発生したために、登録が失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.189

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.189 LES/BUS:' ELAN_name':REG fld:invld LAN Dest Tag (x LAN_dest_tag), LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.189 LES/BUS:' ELAN_name':Registration failed:invalid LAN Destination Tag (x LAN_dest_tag), LEC ATM address = x LEC_address

説明: LAN あて先タグが無効であるために、登録が失敗しました。

LES.190

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.190 LES/BUS:' *ELAN_name*':dscrd UNREG REQ:JOIN incmplt, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.190 LES/BUS:' *ELAN_name*':discarded Unregister Request:JOIN incomplete, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: JOIN フェーズが完了していないために、登録抹消要求が廃棄されました。

LES.191

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.191 LES/BUS:' *ELAN_name*':UNREG fld:invld LECID (*LECID*), LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.191 LES/BUS:' *ELAN_name*':Unregister failed:invalid LECID (*LECID*), LEC ATM addr = x *LEC_address*

説明: LECID が無効であるために、登録抹消が失敗しました。

LES.192

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.192 LES/BUS:' *ELAN_name*':UNREG fld:invld Src ATM addr frmt, LEC ATM addr = x *LEC_address*, Source ATM addr = x *source_address*

長構文: LES.192 LES/BUS:' *ELAN_name*':Unregister failed:invalid Source ATM address format, LEC ATM addr = x *LEC_address*, Source ATM address = x *source_address*

説明: 発信元 ATM アドレス形式が無効であるために、登録抹消が失敗しました。

LES.193

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.193 LES/BUS:' *ELAN_name*':UNREG fld:invld MAC addr (x *MAC_address*), LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.193 LES/BUS:' *ELAN_name*':Unregister failed:invalid MAC address (x *MAC_address*), LEC ATM addr = x *LEC_address*

説明: MAC アドレスが無効であるために、登録抹消が失敗しました。

LES.194

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.194 LES/BUS:' *ELAN_name*':UNREG fld:RD on Eth ELAN, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.194 LES/BUS:' *ELAN_name*':Unregister failed:Route Descriptor on Ethernet ELAN, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: ルート記述子が Ethernet ELAN では認められないために、登録抹消が失敗しました。

LES.195

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.195 LES/BUS:' *ELAN_name*':UNREG fld:invld LAN Dest Tag (x *LAN_dest_tag*), LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.195 LES/BUS:' *ELAN_name*':Unregister failed:invalid LAN Destination Tag (x *LAN_dest_tag*), LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: LAN あて先タグが無効であるために、登録抹消が失敗しました。

LES.196

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.196 LES/BUS:' *ELAN_name*':dscrd ARP REQ:JOIN incmplt, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.196 LES/BUS:' *ELAN_name*':discarded ARP Request:JOIN incomplete, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: JOIN フェーズが完了していないために、ARP 要求が廃棄されました。

LES.197

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.197 LES/BUS:' *ELAN_name*':ARP fld:invld LECID (*LECID*), LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.197 LES/BUS:' *ELAN_name*':ARP failed:invalid LECID (*LECID*), LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: LECID が無効であるために、ARP が失敗しました。

LES.198

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.198 LES/BUS:' ELAN_name':ARP fld:mcast MAC addr (x MAC_address), LANEv1 LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.198 LES/BUS:' ELAN_name':ARP failed:multicast MAC address (x MAC_address), LANEv1 LEC ATM address = x LEC_address

説明: MAC アドレスがマルチキャストであり、LEC が LANEv1 であるために、ARP が失敗しました。

LES.199

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.199 LES/BUS:' ELAN_name':dscrd ARP REQ:trgt JOIN incmplpt,Src LEC ATM addr = x source_LEC_address, Trgt LEC ATM addr = x target_LEC_address

長構文: LES.199 LES/BUS:' ELAN_name':discarded ARP Request:target JOIN incomplete, Source LEC ATM address = x source_LEC_address, Target LEC ATM address = x target_LEC_address

説明: あて先 LEC の JOIN フェーズが完了していないために、ARP 要求が廃棄されました。

LES.200

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.200 LES/BUS:' ELAN_name':ARP fld:RD on Eth ELAN, LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.200 LES/BUS:' ELAN_name':ARP failed:Route Descriptor on Ethernet ELAN, LEC ATM address = x LEC_address

説明: ルート記述子がイーサネット ELAN では認められないために、ARP が失敗しました。

LES.201

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.201 LES/BUS:' ELAN_name':dscrd FLUSH REQ:no Proxy Mcast Fwd, Src LEC ATM addr = x source_LEC_address, Trgt LEC ATM addr = x target_LEC_address

長構文: LES.201 LES/BUS:' ELAN_name':discarded Flush Request:no Proxy Multicast Forward, Source LEC ATM address = x source_LEC_address, Target LEC ATM addr = x target_LEC_address

説明: プロキシ・マルチキャスト・フォワード VCC が操作不能のために、フラッシュ要求が廃棄されました。

LES.202

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.202 LES/BUS:' ELAN_name':dscrd ARP REQ:invld LAN Dest Tag (x LAN_dest_tag), LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.202 LES/BUS:' ELAN_name':discarded ARP Request:invalid LAN Dest Tag (x LAN_dest_tag), LEC ATM address = x LEC_address

説明: LAN あて先タグが無効であるために、ARP 要求が廃棄されました。

LES.203

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.203 LES/BUS:' ELAN_name':=>LES tx err: error_string (error_code)

長構文: LES.203 LES/BUS:' ELAN_name':=>LES transmit error: error_string (error_code)

説明: LES 送信エラーが発生しました。エラーの重大度に応じて、ELAN が終了することがあります。

LES.204

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.204 LES/BUS:' ELAN_name':=>DOWN:ATM addr DB add err: error_string (error_code)

長構文: LES.204 LES/BUS:' ELAN_name':DOWN:ATM address DataBase add error: error_string (error_code)

説明: ATM アドレスをデータベースに追加しようとしているときに、エラーが発生しました。ELAN は終了します。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.205

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.205 LES/BUS:' ELAN_name':=>DOWN:MAC addr DB add err: error_string (error_code)

長構文: LES.205 LES/BUS:' ELAN_name':DOWN:MAC address DataBase add error: error_string (error_code)

説明: MAC アドレスをデータベースに追加しようとしているときに、エラーが発生しました。ELAN は終了します。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.206

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.206 LES/BUS:' *ELAN_name*':=>DOWN:RD
DB add err: *error_string* (*error_code*)

長構文: LES.206 LES/BUS:' *ELAN_name*':DOWN:Route
Descriptor DataBase add error: *error_string* (*error_code*)

説明: ルート記述子をデータベースに追加しようとしているときに、エラーが発生しました。ELAN は終了します。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.209

レベル: C_INFO

短構文: LES.209 LES/BUS:' *ELAN_name*': VCC_type call
fld:retrying temp failure, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.209 LES/BUS:' *ELAN_name*': VCC_type call
failed:retrying temporary failure, LEC ATM address = x
LEC_address

説明: 一時的な状態が原因で、コールが失敗しました。
このコールは再試行されます。

LES.211

レベル: C_INFO

短構文: LES.211 LES/BUS:' *ELAN_name*':err adding
VCC_type leaf:cause *cause_code*, LEC ATM addr = x
LEC_address

長構文: LES.211 LES/BUS:' *ELAN_name*':error adding
VCC_type leaf:cause *cause_code*, LEC ATM address = x
LEC_address

説明: リーフの追加中にエラーが発生しました。

LES.213

レベル: U_INFO

短構文: LES.213 BCM:' *ELAN_name*':initlzd

長構文: LES.213 BCM:' *ELAN_name*':initialized

説明: この ELAN の BCM が初期化されました。

LES.214

レベル: U_INFO

短構文: LES.214 BCM:' *ELAN_name*':HALTED

長構文: LES.214 BCM:' *ELAN_name*':HALTED

説明: この ELAN の BCM が停止しました。活動状態
になっているプロトコルがありません。

LES.215

レベル: U_INFO

短構文: LES.215 BCM:'

ELAN_name':STARTED/RESTARTED prtcl *protocol_name*

長構文: LES.215 BCM:'

ELAN_name':STARTED/RESTARTED protocol *protocol_name*

説明: 指定のプロトコルについて、この ELAN の BCM
が開始（または、再始動）されました。

LES.216

レベル: U_INFO

短構文: LES.216 BCM:' *ELAN_name*':STOPPED prtcl
protocol_name

長構文: LES.216 BCM:' *ELAN_name*':STOPPED protocol
protocol_name

説明: 指定のプロトコルについて、この ELAN の BCM
が停止されました。既存のプロトコル・エントリは経
過時間が過ぎると除去されるので、フレームは、このプ
ロトコルについて BCM によって処理されることはありません。

LES.217

レベル: C_INFO

短構文: LES.217 BCM:' *ELAN_name*':notfd of LEC actvn,
ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.217 BCM:' *ELAN_name*':notified of LEC
activation, ATM address = x *LEC_address*

説明: BCM は、この ELAN 上で LEC が活動状態にな
ることを通知されました。

LES.218

レベル: C_INFO

短構文: LES.218 BCM:' *ELAN_name*':dltd all prtcls from
MAC addr x *MAC_address* due to *cause_string*

長構文: LES.218 BCM:' *ELAN_name*':deleted all protocols
from MAC address x *MAC_address* due to *cause_string*

説明: 示されている原因で、BCM が指定の MAC アド
レスから、すべてのキャッシュされたプロトコルを削除
しました。

LES.219

レベル: C_INFO

短構文: LES.219 BCM:' *ELAN_name*':notfd of LEC term, ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.219 BCM:' *ELAN_name*':notified of LEC termination, ATM address = x *LEC_address*

説明: BCM は、この ELAN 上で LEC が終了中であることを通知されました。

LES.220

レベル: C_INFO

短構文: LES.220 BCM:' *ELAN_name*':notfd of MAC rgstm, MAC addr = x *MAC_address* ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.220 BCM:' *ELAN_name*':notified of MAC registration, MAC address = x *MAC_address* ATM address = x *LEC_address*

説明: BCM は、この ELAN で MAC アドレスが登録中であることを通知されました。

LES.221

レベル: C_INFO

短構文: LES.221 BCM:' *ELAN_name*':dltd Lrnd MAC addr x *MAC_address* due to *cause_string*

長構文: LES.221 BCM:' *ELAN_name*':deleted Learned MAC address x *MAC_address* due to *cause_string*

説明: 示されている原因で、BCM は確認した MAC アドレスをキャッシュから削除しました。

LES.222

レベル: U_INFO

短構文: LES.222 BCM:' *ELAN_name*':SHUT DOWN BCM for prtcl *protocol_name*

長構文: LES.222 BCM:' *ELAN_name*':SHUT DOWN BCM for protocol *protocol_name*

説明: 指定のプロトコルについて、この ELAN の BCM がシャットダウンされました。既存のプロトコル・エントリーがすべて削除されたので、フレームはこのプロトコルについて BCM により処理されません。

LES.223

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.223 BCM:' *ELAN_name*':net hndlr err on Opn Grp VCC: *error_string* (*error_code*)

長構文: LES.223 BCM:' *ELAN_name*':net handler error on Open Group VCC: *error_string* (*error_code*)

説明: グループ VCC をオープンするための ATM 装置ドライバのコールが、正常に行われませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.224

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.224 BCM:' *ELAN_name*':SHUT DOWN BCM for prtcl IPX. net hndlr err: *error_string* (*error_code*)

長構文: LES.224 BCM:' *ELAN_name*':SHUT DOWN BCM for protocol IPX. net handler error: *error_string* (*error_code*)

説明: グループ VCC に追加するための ATM 装置ドライバのコールが、正常に行われませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.225

レベル: C_INFO

短構文: LES.225 BCM:' *ELAN_name*':added VCC to grp VCC for prtcl *protocol_name*, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.225 BCM:' *ELAN_name*':added VCC to group VCC for protocol *protocol_name*, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: 指定のプロトコルについて、BCM がグループ VCC に VCC を追加しました。

LES.226

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.226 BCM:' *ELAN_name*':SHUT DOWN BCM for prtcl IPX. warn: excd max *ipx_cutoff* in IPX grp VCC.

長構文: LES.226 BCM:' *ELAN_name*':SHUT DOWN BCM for protocol IPX. Warning: exceeded maximum *ipx_cutoff* in IPX group VCC.

説明: BCM IPX はそれ自体が自動的に使用不可になりました。この保護機構が起動するのは、この ELAN が含まれている IPX ネットワーク内で、指定された数を超える固有の IPX ルーターおよびサーバーが検出された場合です。その理由は、以下のとおりです。BCM が ELAN 内に N 個の固有の IPX ルーター/サーバーを確認したとします。BUS によって受信された各 IPX 同報通信フレームは、各 IPX ルーター/サーバーごとに 1 回ずつ、N 個のユニキャスト・フレームに変換され、マルチキャスト・センド VCC 上をあて先まで送信されます。N が大きいと、この結果は再送過剰となり、システムおよびネ

ットワークのパフォーマンスを低下させる可能性があります。この時点で BCM IPX が自動的に使用不可になると、BUS は通常どおり、単一の同報通信フレームを処理することができることになります。

処置: 考えられる処置の 1 つは、IPX の BCM をオフにすることです。こうすれば、将来は IPX の BCM がデータ・パスから除去されます。別の処置として、BCM 静的ターゲットを使用する方法が考えられます。少数の LEC の背後に多数の IPX ルーター/サーバーが配置されている場合は、LEC を BCM 静的ターゲットとして定義することができます。IPX 同報通信フレームは、各 BCM 静的ターゲットにそれぞれ 1 回だけ送信されます。IPX の BCM は、他の LEC の背後にある追加の固有 IPX ルーター/サーバーを、最大限このメッセージに指定されている数まで、さらに確認することができます。BCM 静的ターゲット数の現行の限界は 3 です。3 番目の処置として考えられるのは、送信リスト内の BCM IPX エントリーの最大数として、さらに大きい値を構成する方法です。この 3 番目の処置の採用には注意が必要です。ネットワークのパフォーマンスおよびこの装置に影響が生じるからです。

LES.227

レベル: C_INFO

短構文: LES.227 BCM:' *ELAN_name*':added MAC to grp VCC for prtcl *protocol_name*, MAC addr = x *MAC_address* LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.227 BCM:' *ELAN_name*':added MAC to group VCC for protocol *protocol_name*, MAC address = x *MAC_address* LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: 指定のプロトコルについて、BCM は MAC アドレスをグループ VCC に追加しました。

LES.228

レベル: U_INFO

短構文: LES.228 BCM:' *ELAN_name*':cant add VCC to grp VCC for prtcl *protocol_name*, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.228 BCM:' *ELAN_name*':can not add VCC to group VCC for protocol *protocol_name*, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: 指定のプロトコルについて、BCM はグループ VCC に VCC を追加できません。グループ VCC が無効であるか、LEC が BUS からは操作不能であるかのいずれかです。

LES.229

レベル: C_INFO

短構文: LES.229 BCM:' *ELAN_name*':dlt MAC from grp VCC for prtcl *protocol_name*, MAC addr = x *MAC_address* LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.229 BCM:' *ELAN_name*':deleted MAC from group VCC for protocol *protocol_name*, MAC address = x *MAC_address* LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: 指定のプロトコルについて、BCM はグループ VCC から MAC アドレスを削除しました。

LES.230

レベル: C_INFO

短構文: LES.230 BCM:' *ELAN_name*':dlt VCC from grp VCC for prtcl *protocol_name*, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.230 BCM:' *ELAN_name*':deleted VCC from group VCC for protocol *protocol_name*, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: 指定のプロトコルについて、BCM はグループ VCC から VCC アドレスを削除しました。

LES.231

レベル: U_INFO

短構文: LES.231 BCM:' *ELAN_name*':grp VCC for prtcl *protocol_name* mssng MAC x *MAC_address* or VCC (ATM addr x *LEC_address*) Code ' *error_string*' (*error_code*) due to abnrml LEC term?

長構文: LES.231 BCM:' *ELAN_name*':group VCC for protocol *protocol_name* is missing MAC x *MAC_address* or VCC (to LEC ATM address x *LEC_address*). Code ' *error_string*' (*error_code*) may be due to abnormal LEC termination.

説明: 指定のプロトコルについて、MAC アドレスをグループ VCC からマップ解除しようとしているときに、BCM が予期しない戻りコードを受け取りました。これは LEC の異常終了が原因と考えられ、ログにも記録されているはずです。MAC、LEC の ATM アドレス、および予期しない戻りコードが示されています。

LES.232

レベル: U_INFO

短構文: LES.232 BCM:' *ELAN_name*':Rst lcl IPX net info

長構文: LES.232 BCM:' *ELAN_name*':Reset local IPX network information

説明: この ELAN の IPX グループ VCC 上の最後のあて先が除去されたところです。BCM は、ローカル IPX ネットワーク情報をリセットしました。

LES.233

レベル: U_INFO

短構文: LES.233 BCM:' *ELAN_name*':NetBIOS NAME_IN_CONFLICT rcvd. dltd name *protocol_address*

長構文: LES.233 BCM:' *ELAN_name*':NetBIOS NAME_IN_CONFLICT received. deleted name *protocol_address*

説明: NetBIOS BCM は NAME_IN_CONFLICT を検出しました。この ELAN が属しているネットワークで、重複する NetBIOS 名が使用されていました。この状態が生じる可能性があるのは、ネットワークの故障が修復されたばかりのときです。(BCM は、この NetBIOS 名をキャッシュから削除しました。)

LES.234

レベル: U_INFO

短構文: LES.234 BCM:' *ELAN_name*':dltd all Lrnd MAC addrs

長構文: LES.234 BCM:' *ELAN_name*':deleted all Learned MAC addresses

説明: すべての確認した MAC アドレスが削除されました。

LES.235

レベル: U_INFO

短構文: LES.235 BCM:' *ELAN_name*':dltd all *protocol_name* prtcl entries

長構文: LES.235 BCM:' *ELAN_name*':deleted all entries for protocol *protocol_name*

説明: 特定のプロトコルのすべてのプロトコル・エントリが削除されました。

LES.236

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.236 BCM:' *ELAN_name*':add to cache fld. prtcl CB alloc err

長構文: LES.236 BCM:' *ELAN_name*':add to cache failed. protocol control block allocation error

説明: プロトコル制御ブロック用の記憶域を割り振ろうとしているときにエラーが発生したために、BCM は新しい

プロトコル・アドレスを追加できませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.237

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.237 BCM:' *ELAN_name*':add to cache fld. MAC addr CB alloc err

長構文: LES.237 BCM:' *ELAN_name*':add to cache failed. MAC address control block allocation error

説明: MAC 制御ブロック用の記憶域を割り振ろうとしているときにエラーが発生したために、BCM は新規の確認した MAC アドレスを追加できませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.238

レベル: UE_ERROR

短構文: LES.238 BCM:' *ELAN_name*':rcvd frm from MAC x *MAC_address*, LEC ATM addr = x *LEC_address*. conflicts with rgstrn by LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.238 BCM:' *ELAN_name*':received frame from MAC x *MAC_address*, LEC ATM address = x *LEC_address*. conflicts with registration by LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: BCM はこの ELAN で、指定の MAC アドレスが登録されている LEC とは異なる LEC から、指定の MAC アドレスからのフレームを受信しました。LEC によって登録された MAC アドレスは、固有であるものと見なされています。おそらく重複する MAC アドレスが、ネットワークに存在しています。この MAC アドレスをもつフレームを幾つ受信したかに関係なく、このメッセージは MAC が登録されている間に 1 回だけログに記録されます。

処置: ネットワーク内の MAC アドレスが固有であることを確認してください。

LES.239

レベル: C_INFO

短構文: LES.239 BCM:' *ELAN_name*':added *protocol_type_string* *protocol_address* on MAC addr x *MAC_address*

長構文: LES.239 BCM:' *ELAN_name*':added *protocol_type_string* *protocol_address* on MAC address x *MAC_address*

説明: BCM は、指定の MAC アドレス上に指定のプロトコル・アドレスを確認しました。

LES.240

レベル: C_INFO

短構文: LES.240 BCM:'ELAN_name':added Lrnd MAC addr x MAC_address, LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.240 BCM:'ELAN_name':added Learned MAC address x MAC_address, LEC ATM address = x LEC_address

説明: BCM は、指定の MAC アドレスを確認しました。この MAC アドレスは、どの LEC によっても指定の ELAN に登録されていません。

LES.241

レベル: C_INFO

短構文: LES.241 BCM:'ELAN_name':aged protocol_type_string protocol_address on MAC addr x MAC_address from cache

長構文: LES.241 BCM:'ELAN_name':aged protocol_type_string protocol_address on MAC address x MAC_address from cache

説明: BCM は、指定の MAC アドレスで、経過時間が過ぎた指定のプロトコル・アドレスを除去しました。

LES.242

レベル: U_INFO

短構文: LES.242 BCM:'ELAN_name':stopd rapid aging

長構文: LES.242 BCM:'ELAN_name':stopped rapid aging

説明: この ELAN で、スパンニング・ツリー・トポロジーが変更された後、順方向遅延タイマーが満了しました。BCM は、経過時間が過ぎたすべての非ローカル・プロトコル・アドレスおよび確認した MAC アドレスを除去しました。

LES.243

レベル: U_INFO

短構文: LES.243 BCM:'ELAN_name':strtd rapid aging

長構文: LES.243 BCM:'ELAN_name':started rapid aging

説明: この ELAN で、スパンニング・ツリー・トポロジーの変更が検出されました。順方向遅延タイマーが満了すると、BCM は、経過時間が過ぎたすべての非ローカル・プロトコル・アドレスおよび確認した MAC アドレスを除去します。

LES.244

レベル: C_INFO

短構文: LES.244 BCM:'ELAN_name':set protocol_type_string protocol_address age to age

長構文: LES.244 BCM:'ELAN_name':set protocol_type_string protocol_address age to age

説明: 指定のプロトコル・アドレスの経過時間が、示されている経過時間に設定されました。

LES.245

レベル: C_INFO

短構文: LES.245 BCM:'ELAN_name':dltd protocol_type_string protocol_address from MAC addr x MAC_address

長構文: LES.245 BCM:'ELAN_name':deleted protocol_type_string protocol_address from MAC address x MAC_address

説明: BCM は、指定の MAC アドレスからプロトコル・アドレスを削除しました。

LES.246

レベル: C_INFO

短構文: LES.246 SRM:'ELAN_name':added route Route_string, LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.246 SRM:'ELAN_name':added route Route_string, LEC ATM address = x LEC_address

説明: SRM は、指定のルートを指定の LEC ATM アドレスに追加しました。

LES.247

レベル: C_INFO

短構文: LES.247 SRM:'ELAN_name':rplcd route Route_string, LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.247 SRM:'ELAN_name':replaced route Route_string, LEC ATM address = x LEC_address

説明: SRM は、現在キャッシュされているルートより良いと思われるので、指定の LEC ATM アドレスで指定のルートを置き換えました。

LES.248

レベル: U_INFO

短構文: LES.248 SRM:'ELAN_name':WRNG: SRM out of resources.

長構文: LES.248 SRM:' *ELAN_name*':WARNING: Source Route Management out of resources.

説明: この ELAN の SRM が、資源切れ状態を検出しました。SRM はシャットダウンされていません。この状態が続く場合、エントリは経過時間が過ぎると除去されます。

LES.249

レベル: C_INFO

短構文: LES.249 SRM:' *ELAN_name*':dltd route *Route_string* LEC ATM addr = x *LEC_address* due to *cause_string*

長構文: LES.249 SRM:' *ELAN_name*':deleted route *Route_string*, LEC ATM address = x *LEC_address* due to *cause_string*

説明: 示されている原因で、SRM は指定の LEC ATM アドレスで、指定のルートを削除しました。

LES.250

レベル: C_INFO

短構文: LES.250 SRM:' *ELAN_name*':aged rte *Route_string* on LEC ATM addr x *LEC_address* from cache

長構文: LES.250 SRM:' *ELAN_name*':aged route *Route_string* on LEC ATM address x *LEC_address* from cache

説明: SRM は、指定の LEC アドレスで、経過時間が過ぎた指定のルートを除去しました。

LES.251

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.251 LES/BUS:' *ELAN_name*':dscrd data frm:no Proxy Mcast Fwd, Src LEC ATM addr = x *source_LEC_address*,

長構文: LES.251 LES/BUS:' *ELAN_name*':discarded Flush Request:no Proxy Multicast Forward, Source LEC ATM address = x *source_LEC_address*

説明: プロキシ・マルチキャスト・フォワード VCC が操作不能であるために、データ・フレームが廃棄されました。

LES.252

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.252 LES/BUS:' *ELAN_name*':dscrd *frameType* frm:no Proxy Ctrl Dist, Src LEC ATM addr = x *source_LEC_address*,

長構文: LES.252 LES/BUS:' *ELAN_name*':discarded *frameType* frame:no Proxy Control Distribute, Source LEC ATM address = x *source_LEC_address*

説明: 指定されたタイプのフレームが廃棄されました。プロキシ・コントロール・ディストリビュート VCC を介して転送されるはずでしたが、プロキシ・コントロール・ディストリビュート VCC が運用不可です。この原因として非常に可能性が高いのは、ELAN に加入しているプロキシ・クライアントがない場合です。

LES.253

レベル: U_INFO

短構文: LES.253 LES/BUS:' *ELAN_name*':dscrd *protocol_name* frm due to *cause_string*, Src LEC ATM addr = x *LEC_address*,

長構文: LES.253 LES/BUS:' *ELAN_name*':discarded *protocol_name* frame due to *cause_string*, Source LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: 示されている理由で、指定のプロトコル・タイプのデータ・フレームが廃棄されました。

LES.254

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.254 LES/BUS:' *ELAN_name*':dscrd cntnl frm:invld sz (x *frame_size*), LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.254 LES/BUS:' *ELAN_name*':discarded control frame:invalid size (x *frame_size*), LEC ATM addr = x *LEC_address*

説明: 実際のサイズが無効であったために、LES に送信された制御フレームが廃棄されました。

LES.255

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.255 LES/BUS:' *ELAN_name*':dscrd Mcast Snd frm:invld sz (x *frame_size*), LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.255 LES/BUS:' *ELAN_name*':discarded Multicast Send frame:invalid size (x *frame_size*), LEC ATM addr = x *LEC_address*

説明: 実際のサイズが無効であったために、BUS に送信された制御フレームが廃棄されました。

LES.256

レベル: P_TRACE

短構文: LES.256 Trace LAN Emulation Control frame.

長構文: LES.256 Trace LAN Emulation Control frame.

説明: LAN エミュレーション制御フレーム・パケットのトレース

LES.257

レベル: P_TRACE

短構文: LES.257 Trace LAN Emulation Data frame.

長構文: LES.257 Trace LAN Emulation Data frame.

説明: LAN エミュレーション・データ・フレーム・パケットのトレース

LES.258

レベル: UE_ERROR

短構文: LES.258 LES/BUS:'ELAN_name':
*redun_type*Rdndncy call fld:net down, Called ATM addr =
x *called_address*

長構文: LES.258 LES/BUS:'ELAN_name':
*redun_type*Redundancy call failed:net down,Called ATM
address = x *called_address*

説明: ネットワークへの接続がダウンしているために、
冗長コールが失敗しました。

LES.259

レベル: UE_ERROR

短構文: LES.259 LES/BUS:'ELAN_name':
*redun_type*Rdndncy VCC rlsd:cause *cause_code*

長構文: LES.259 LES/BUS:'ELAN_name':
*redun_type*Redundancy VCC released:cause *cause_code*

説明: 冗長 VCC が解放されました。

LES.260

レベル: UE_ERROR

短構文: LES.260 LES/BUS:'ELAN_name':
*redun_type*Rdndncy VCC rlsd:net down

長構文: LES.260 LES/BUS:'ELAN_name':
*redun_type*Redundancy VCC released:net down

説明: ネットワークへの接続がダウンしているために、
冗長 VCC が解放されました。

LES.261

レベル: C_INFO

短構文: LES.261 LES/BUS:'ELAN_name':plcng
*redun_type*Rdndncy call Called ATM addr = x *called_address*

長構文: LES.261 LES/BUS:'ELAN_name':placing
*redun_type*Redundancy call, Called ATM address = x
called_address

説明: 冗長コールが確立されました。

LES.262

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.262 LES/BUS:'ELAN_name':err plcng
*redun_type*Rdndncy call: *error_string* (*error_code*) Called
ATM addr = x *called_address*

長構文: LES.262 LES/BUS:'ELAN_name':error placing
*redun_type*Redundancy call: *error_string* (*error_code*), Called
ATM address = x *called_address*

説明: 冗長コールの確立中にエラーが発生しました。

LES.263

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.263 LES/BUS:'ELAN_name':=>DOWN:err
plcng *redun_type*Rdndncy call: *error_string* (*error_code*)

長構文: LES.263 LES/BUS:'ELAN_name':=>DOWN:error
placing *redun_type*Redundancy call: *error_string* (*error_code*)

説明: 冗長コールの確立中にエラーが発生しました。
ELAN は終了します。

LES.264

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.264 LES/BUS:'ELAN_name':JOIN fld:frame
buff alloc err LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.264 LES/BUS:'ELAN_name':JOIN failed:frame
buffer allocation error, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: フレーム・バッファを割り振ることができない
ために、JOIN が失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.265

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.265 LES/BUS:'ELAN_name':=>DOWN:frm
buff alloc err: *error_string* (*error_code*)

長構文: LES.265 LES/BUS:' *ELAN_name*':=>DOWN:frame
buffer allocation error: *error_string* (*error_code*)

説明: フレーム・バッファを割り振ることができません。
ELAN は終了します。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.266

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.266 LES/BUS:' *ELAN_name*':JOIN fld:access
denied LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.266 LES/BUS:' *ELAN_name*':JOIN
failed:access denied, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: JOIN 妥当性検査が失敗しました。LEC が ELAN
へのアクセスをリジェクトされます。

LES.267

レベル: UE_ERROR

短構文: LES.267 LES/BUS:' *ELAN_name*':JOIN fld:LECS
Intf err LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.267 LES/BUS:' *ELAN_name*':JOIN failed:LECS
Interface error, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: LECS インターフェースは、妥当性検査要求を
LECS に送ることができません。

LES.268

レベル: P_TRACE

短構文: LES.268 Trace LECS Security Interface frame.

長構文: LES.268 Trace LECS Security Intervace frame.

説明: LECS セキュリティー・インターフェース・フレ
ーム・パケットのトレース

LES.269

レベル: U_INFO

短構文: LES.269 LECS Intf:dev *device_number*:STARTING

長構文: LES.269 LECS Intf:dev *device_number*:STARTING

説明: LECS インターフェースが開始しました。

LES.270

レベル: U_INFO

短構文: LES.270 LECS Intf:dev *device_number*:DELETED

長構文: LES.270 LECS Intf:dev *device_number*:DELETED

説明: LECS インターフェースが削除されました。

LES.271

レベル: U_INFO

短構文: LES.271 LECS Intf:dev

device_number:RESTARTING

長構文: LES.271 LECS Intf:dev

device_number:RESTARTING

説明: LECS インターフェースが再始動しました。

LES.272

レベル: U_INFO

短構文: LES.272 LECS Intf:dev *device_number*:STOPPED

長構文: LES.272 LECS Intf:dev *device_number*:STOPPED

説明: LECS インターフェースが停止しました。

LES.273

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.273 LECS Intf:dev

device_number:=>DOWN:ATM user reg fld: *error_string* (
error_code)

長構文: LES.273 LECS Intf:dev

device_number:=>DOWN:ATM user reg failed: *error_string*
(*error_code*)

説明: ATM ユーザー登録が失敗しました。LECS インタ
ーフェースは終了します。

LES.274

レベル: U_INFO

短構文: LES.274 LECS Intf:dev *device_number*:wtng for
ATM Net Up

長構文: LES.274 LECS Interface:dev *device_number*:waiting
for ATM NetUp

説明: LECS インターフェースは、ATM インターフェー
スが利用可能な状態になるのを待っています。

LES.275

レベル: U_INFO

短構文: LES.275 LECS Intf:dev *device_number*:wtng for
ATM addr actvtn

長構文: LES.275 LEC Intf:dev *device_number*:waiting for
ATM address activation

説明: LECS インターフェースは、ATM アドレスの活動
化が完了するのを待っています。

LES.276

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.276 LECS Intf:dev

device_number:=>DOWN:ATM addr actvtn fld: *error_string*
(*error_code*)

長構文: LES.276 LECS Intf:dev

device_number:=>DOWN:ATM address activation failed:
error_string (*error_code*)

説明: ATM アドレスの活動化が失敗しました。LECS インターフェースは終了します。

LES.277

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.277 LECS Intf:dev

device_number:=>DOWN:err reading ATM addr: *error_string*
(*error_code*)

長構文: LES.277 LECS Intf:dev

device_number:=>DOWN:error reading ATM address:
error_string (*error_code*)

説明: ATM アドレスの読み取り中にエラーが発生しました。LECS インターフェースは終了します。

LES.278

レベル: U_INFO

短構文: LES.278 LECS Intf:dev *device_number*:wtng for
UNI Vrsn rpt

長構文: LES.278 LECS Intf:dev *device_number*:waiting for
UNI Version report

説明: LECS インターフェースは、UNI バージョンの報告を待っています。

LES.279

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.279 LECS Intf:dev

device_number:=>DOWN:err reading UNI Vrsn: *error_string*
(*error_code*)

長構文: LES.279 LECS Intf:dev

device_number:=>DOWN:error reading UNI Version Report:
error_string (*error_code*)

説明: UNI バージョンの読み取り中にエラーが発生しました。LECS インターフェースは終了します。

LES.280

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.280 LECS Intf:dev

device_number:=>DOWN:err opening ATM Adptr Frm SAP:
error_string (*error_code*)

長構文: LES.280 LECS Intf:dev

device_number:=>DOWN:error opening ATM Adapter Frame
SAP: *error_string* (*error_code*)

説明: ATM アダプター・フレーム SAP のオープン中にエラーが発生しました。LECS インターフェースは終了します。

LES.281

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.281 LECS Intf:dev

device_number:=>DOWN:err opening Call SAP: *error_string*
(*error_code*)

長構文: LES.281 LECS Intf:dev

device_number:=>DOWN:error opening Call SAP: *error_string*
(*error_code*)

説明: コール SAP のオープン中にエラーが発生しました。LECS インターフェースは終了します。

LES.282

レベル: U_INFO

短構文: LES.282 LECS Intf:dev *device_number*:wtng for
LECS addr rpt

長構文: LES.282 LECS Intf:dev *device_number*:waiting for
LECS address report

説明: LECS インターフェースは、LECS ATM アドレスのリストを待っています。

LES.283

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.283 LECS Intf:dev

device_number:=>DOWN:err reading LECS addr: *error_string*
(*error_code*)

長構文: LES.283 LECS Intf:dev

device_number:=>DOWN:error reading LECS address:
error_string (*error_code*)

説明: LECS アドレスの読み取り中にエラーが発生しました。LECS インターフェースは終了します。

LES.284

レベル: UE_ERROR

短構文: LES.284 LECS Intf: dev *device_number*:ATM Net DOWN

長構文: LES.284 LECS Intf: dev *device_number*:ATM Net DOWN

説明: ATM インターフェースは操作不能の状態です。LECS インターフェースの資源が解放されます。

LES.285

レベル: U_INFO

短構文: LES.285 LECS Intf:dev *device_number*:ATM Net UP

長構文: LES.285 LECS Intf:dev *device_number*:ATM Net UP

説明: ATM インターフェースは操作可能な状態です。LECS インターフェースは再始動されます。

LES.286

レベル: U_INFO

短構文: LES.286 LECS Intf:dev *device_number*:ATM addr actvtd

長構文: LES.286 LECS Intf:dev *device_number*:ATM address activated

説明: ATM アドレスが正常に活動化されました。

LES.287

レベル: UE_ERROR

短構文: LES.287 LECS Intf:dev *device_number*: ATM addr actvtn timed out:retrying

長構文: LES.287 LECS Intf:dev *device_number*: ATM address activation timed out: retrying

説明: ATM アドレスの活動化がタイムアウトになりました。アドレスの活動化は再試行されます。

LES.288

レベル: UE_ERROR

短構文: LES.288 LECS Intf:dev *device_number*:ATM addr rjctd by switch

長構文: LES.288 LECS Intf:dev *device_number*:ATM address rejected by switch

説明: ATM アドレスがスイッチによってリジェクトされ

ました。ATM アドレスを活性化するために、別の試みがなされます。

LES.289

レベル: UE_ERROR

短構文: LES.289 LECS Intf:dev *device_number*:ATM addr deactvtd:reactvtng

長構文: LES.289 LECS Intf:dev *device_number*:ATM address deactivated:reactivating

説明: ATM アドレスが非活動化されました。アドレスの再活動化が試みられます。

LES.290

レベル: U_INFO

短構文: LES.290 LECS Intf:dev *device_number*:UNI Vrsn rptd

長構文: LES.290 LECS Intf:dev *device_number*:UNI Version reported

説明: UNI バージョンが報告されました。

LES.291

レベル: U_INFO

短構文: LES.291 LECS Intf:dev *device_number*:LECS addr list rptd

長構文: LES.291 LECS Intf:dev *device_number*:LECS address list reported

説明: LECS ATM アドレスのリストが報告されました。

LES.292

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.292 LECS Intf:dev *device_number*:rfsd unexpctd call Calling ATM addr = x *calling_address*

長構文: LES.292 LECS Intf:dev *device_number*:refused unexpected call, Calling ATM address = x *calling_address*

説明: 予期しないコールを受信しました。このコールは解放されます。

LES.293

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.293 LECS Intf:dev *device_number*:Config Dir call fld:LECS negotiated parms LECS ATM addr = x *LECS_address*

長構文: LES.293 LECS Intf:dev *device_number*:Config Dir

call failed:LECS negotiated parms, LECS ATM address = x *LECS_address*

説明: LAN エミュレーション・コールの AAL および BLLI パラメーターは折衝不能です。LECS はこれらのパラメーターの折衝を試みたために、コールは失敗しました。

LES.294

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.294 LECS Intf:dev *device_number*:=>DOWN:Config Dir data path open err: *error_string* (*error_code*)

長構文: LES.294 LECS Intf:dev *device_number*:=>DOWN:Config Direct data path open error: *error_string* (*error_code*)

説明: VCC のデータ・パスをオープンしようとしているときに、エラーが発生しました。LECS は終了します。

LES.295

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.295 LECS Intf:dev *device_number*:Config Dir call fld:data path open err:no mem

長構文: LES.295 LECS Intf:dev *device_number*:Config Direct call failed:data path open error:no memory

説明: VCC のデータ・パスをオープンするための資源が不十分です。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.296

レベル: C_INFO

短構文: LES.296 LECS Intf:dev *device_number*:Config Dir estblshd LECS ATM addr = x *LECS_address*

長構文: LES.296 LECS Intf:dev *device_number*:Config Dir esatblished, LECS ATM address = x *LECS_address*

説明: 構成ダイレクト VCC が操作可能です。

LES.297

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.297 LECS Intf:unexpctd add leaf ack

長構文: LES.297 LECS Intf:unexpected add leaf acknowledgement

説明: 予期しないリーフ追加確認応答を受信しました。

LES.298

レベル: C_INFO

短構文: LES.298 LECS Intf:dev *device_number*:Config Dir call fld:rtryng temp failure LECS ATM addr = x *LECS_address*

長構文: LES.298 LECS Intf:dev *device_number*:Config Direct call failed:retrying temporary failure, LECS ATM address = x *LECS_address*

説明: 一時的な状態が原因で、構成ダイレクト・コールの再試行が失敗しました。

LES.299

レベル: C_INFO

短構文: LES.299 LECS Intf:dev *device_number*:Config Dir call fld:rtryng with Bearer Class C LECS ATM addr = x *LECS_address*

長構文: LES.299 LECS Intf:dev *device_number*:Config Direct call failed:retrying with Bearer Class C, LECS ATM address = x *LECS_address*

説明: コントロール・ダイレクト・コールが失敗しました。ベアラークラス C を用いて再試行されます。

LES.300

レベル: C_INFO

短構文: LES.300 LECS Intf:dev *device_number*:Config Dir call fld:trying lower PCR (*PCR* Kbps) LECS ATM addr = x *LECS_address*

長構文: LES.300 LECS Intf:dev *device_number*:Config Direct call failed:trying lower PCR (*PCR* Kbps), LECS ATM addr = x *LECS_address*

説明: ユーザー・セル速度が選択不可能なため、構成ダイレクト・コールに失敗しました。ピーク・セル速度を落として、コールが再試行されます。

LES.301

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.301 LECS Intf:dev *device_number*:Config Dir call fld:cause *cause_code* LECS ATM addr = x *LECS_address*

長構文: LES.301 LECS Intf:dev *device_number*:Config Direct call failed:cause *cause_code*, LECS ATM address = x *LECS_address*

説明: 示されている理由のために、構成ダイレクト・コールが失敗しました。

LES.302

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.302 LECS Intf:dev *device_number*:Config Dir
call fld:net down LECS ATM addr = x *LECS_address*

長構文: LES.302 LECS Intf:dev *device_number*:Config
Direct call failed:net down, LECS ATM address = x
LECS_address

説明: ネットワークがダウンしているために、構成ダイ
レクト・コールが失敗しました。

LES.303

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.303 LECS Intf:unexpctd leaf rlse

長構文: LES.303 LECS INTF:unexpected leaf release

説明: 予期せずにリーフが解放されました。

LES.304

レベル: C_INFO

短構文: LES.304 LECS Intf:dev *device_number*:dscrdded
OAM frm

長構文: LES.304 LECS Intf:dev *device_number*:discarded
OAM frame

説明: OAM フレームが廃棄されました。

LES.305

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.305 LECS Intf:dev *device_number*:dscrdded
frm:invld size (x *frame_size*)

長構文: LES.305 LECS Intf:dev *device_number*:discarded
frame:invalid size (x *frame_size*)

説明: サイズが無効であったために、フレームが廃棄さ
れました。

LES.306

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.306 LECS Intf:dev *device_number*:dscrdded
frm:invld marker (x *marker*)

長構文: LES.306 LECS Intf:dev *device_number*:discarded
frame:invalid marker (x *marker*)

説明: マーカーが無効であったために、フレームが廃棄
されました。 マーカーは xFF00 でなければなりません。

LES.307

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.307 LECS Intf:dev *device_number*:dscrdded
frm:invld prtcl (x *protocol*)

長構文: LES.307 LECS Intf:dev *device_number*:discarded
frame:invalid protocol (x *protocol*)

説明: プロトコルが無効であったために、フレームが廃
棄されました。 プロトコルは x01 でなければなりません。

LES.308

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.308 LECS Intf:dev *device_number*:dscrdded
frm:invld vrsn (x *version*)

長構文: LES.308 LECS Intf:dev *device_number*:discarded
frame:invalid version (x *version*)

説明: バージョンが無効であったために、フレームが廃
棄されました。 バージョンは x01 でなければなりません。

LES.309

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.309 LECS Intf:dev *device_number*:dscrdded
frm:invld opcode (x *opcode*)

長構文: LES.309 LECS Intf:dev *device_number*:discarded
frame:invalid opcode (x *opcode*)

説明: 操作コードが無効であったために、フレームが廃
棄されました。 操作コードは x0101 でなければなりません。

LES.310

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.310 LECS Intf:dev *device_number*:dscrdded
frm:invld number-TLVs (x *number_TLVs*)

長構文: LES.310 LECS Intf:dev *device_number*:discarded
frame:invalid number-TLVs (x *number_TLVs*)

説明: TLV 数フィールドが無効であったために、フレー
ムが廃棄されました。 TLV 数フィールドは x01 でな
ければなりません。

LES.311

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.311 LECS Intf:dev *device_number*:dscrdded
frm:invld TLV, Type = x *TLV_type*, Length = x *TLV_length*

長構文: LES.311 LECS Intf:dev *device_number*:discarded
frame:invalid TLV, Type = x *TLV_type*, Length = x
TLV_length

説明: TLV のタイプまたは長さが無効であったため、フ
レームが廃棄されました。

LES.312

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.312 LECS Intf:dev *device_number*:dscrdded
frm:invld ELAN name size in TLV (x *ELAN_name_size*)

長構文: LES.312 LECS Intf:dev *device_number*:discarded
frame:invalid ELAN name size in TLV (x *ELAN_name_size*)

説明: ELAN 名のサイズが無効であったために、フレイ
ムが廃棄されました。

LES.313

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.313 LECS Intf:dev *device_number*:dscrdded
frm:unkwn ELAN name in TLV, ELAN name =
ELAN_name

長構文: LES.313 LECS Intf:dev *device_number*:discarded
frame:unknown ELAN name in TLV, ELAN name = x
ELAN_name

説明: TLV 値フィールド内の ELAN 名が不明であるた
めに、フレームが廃棄されました。

LES.314

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.314 LECS Intf:dev *device_number*:dscrdded
frm:unkwn LEC ATM addr, ELAN name = *ELAN_name*
LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.314 LECS Intf:dev *device_number*:discarded
frame:unknown LEC ATM address, ELAN name = x
ELAN_name, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: LEC ATM アドレスが不明であったために、フレ
ームが廃棄されました。

LES.315

レベル: C_INFO

短構文: LES.315 LECS Intf:dev *device_number*:plcng Config
Dir call LECS ATM addr = x *LECS_address*

長構文: LES.315 LECS Intf:dev *device_number*:placing
Config Direct call, LECS ATM address = x *LECS_address*

説明: LECS への構成ダイレクト VCC を確立するため
のコールが行われました。

LES.316

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.316 LECS Intf:dev *device_number*:err plcng
Config Dir call: *error_string* (*error_code*) LECS ATM addr
= x *LECS_address*

長構文: LES.316 LECS Intf:dev *device_number*:error placing
Config Direct call: *error_string* (*error_code*), LECS ATM
address = x *LECS_address*

説明: 構成ダイレクト VCC を確立するためのコール中
にエラーが発生しました。

LES.317

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.317 LECS Intf:dev
device_number::=>DOWN:err plcng Config Dir call:
error_string (*error_code*)

長構文: LES.317 LECS Intf:dev
device_number::=>DOWN:error placing Config Direct call:
error_string (*error_code*)

説明: 構成ダイレクト VCC を確立するためのコール中
にエラーが発生しました。LECS インターフェースは終了
します。

LES.318

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.318 LECS Intf:dev *device_number*:rlsng Config
Dir:local LES err

長構文: LES.318 LECS Intf:dev *device_number*:releasing
Config Direct:local LES error

説明: ローカル LES エラーのために、構成ダイレクト
VCC が解放されました。

LES.319

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.319 LECS Intf:dev *device_number*:frm buff alloc err

長構文: LES.319 LECS Intf:dev *device_number*:frame buffer allocation error

説明: フレーム・バッファを割り振ることができません。

LES.320

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.320 LECS Intf:dev *device_number*:=>DOWN:frm buff alloc err: *error_string* (*error_code*)

長構文: LES.320 LECS Intf:dev *device_number*:=>DOWN:frame buffer allocation error: *error_string* (*error_code*)

説明: フレーム・バッファを割り振ることができません。LECS インターフェースは終了します。

LES.321

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.321 LECS Intf:dev *device_number*:=>DOWN:tx err: *error_string* (*error_code*)

長構文: LES.321 LECS Intf:dev *device_number*:=>DOWN:transmit error: *error_string* (*error_code*)

説明: LECS にフレームを送信中にエラーが発生しました。エラーの重大度に応じて、LECS インターフェースが終了することがあります。

LES.322

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.322 LECS Intf:dev *device_number*:trmntng: *error_string* (*error_code*)

長構文: LES.322 LECS Intf:dev *device_number*:terminating: *error_string* (*error_code*)

説明: 示されている理由により、LECS インターフェースが終了しました。

LES.323

レベル: UE_ERROR

短構文: LES.323 LECS Intf:dev *device_number*:Config Dir rlsd:cause *cause_code* LECS ATM addr = x *LECS_address*

長構文: LES.323 LECS Intf:dev *device_number*:Config Direct released:cause *cause_code*, LECS ATM address = x *LECS_address*

説明: 示されている理由により、構成ダイレクト VCC が解放されました。

LES.324

レベル: UE_ERROR

短構文: LES.324 LECS Intf:dev *device_number*:Config Dir rlsd:net down LECS ATM addr = x *LECS_address*

長構文: LES.324 LECS Intf:dev *device_number*:Config Direct released:net down, LECS ATM address = x *LECS_address*

説明: ネットワークがダウンしているために、構成ダイレクトが解放されました。

LES.325

レベル: U_INFO

短構文: LES.325 BMON:'*ELAN_name*':initlzd

長構文: LES.325 BMON:'*ELAN_name*':initialized

説明: この ELAN の BMON が初期化されました。

LES.326

レベル: U_INFO

短構文: LES.326 BMON:'*ELAN_name*':halted

長構文: LES.326 BMON:'*ELAN_name*':halted

説明: この ELAN の BMON が停止しました。

LES.327

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.327 LES/BUS:'*ELAN_name*':BMON init fld

長構文: LES.327 LES/BUS:'*ELAN_name*':BMON initialization failed

説明: 記憶域の不足のために、BUS モニターの初期化が失敗しました。ELAN の操作は続行されます。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.328

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.328 BMON:' *ELAN_name*':topN mem alloc fld

長構文: LES.328 BMON:' *ELAN_name*':Top N memory allocation failed

説明: BUS モニターは、最新のサンプル間隔について上位 N 個のユーザーを記録するための記憶域を割り振ることができませんでした。BUS モニターは、次のサンプル間隔で再試行します。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.329

レベル: U_INFO

短構文: LES.329 LES/BUS:' *ELAN_name*':ATM dev lnspeed - *VCC_type* VCC PCR (*peak_rate* Kbps) mismatch:PCR chngd to lnspeed (*linespeed* Kbps)

長構文: LES.329 LES/BUS:' *ELAN_name*':ATM device linespeed - *VCC_type* VCC PCR (*peak_rate* Kbps) mismatch:PCR changed to linespeed (*linespeed* Kbps)

説明: ATM 装置の回線速度が変更されました。指定の VCC の PCR は、ATM 装置の以前の回線速度に等しい値になっていました。VCC の PCR が変更され、現在は ATM 装置の現行の回線速度に等しくなっています。

LES.330

レベル: C_INFO

短構文: LES.330 LES/BUS:' *ELAN_name*':ATM dev lnspeed is *linespeed* Kbps, *VCC_type* VCC PCR = *peak_rate* Kbps

長構文: LES.330 LES/BUS:' *ELAN_name*':ATM device linespeed is *linespeed* Kbps, *VCC_type* VCC PCR = *peak_rate* Kbps

説明: 指定の VCC のピーク速度が、ATM 装置の回線速度に等しくありません。

LES.331

レベル: C_INFO

短構文: LES.331 LES/BUS:' *ELAN_name*':ATM dev lnspeed is *linespeed* Kbps, *VCC_type* VCC PCR = *peak_rate* Kbps, SCR = *sustained_rate* Kbps

長構文: LES.331 LES/BUS:' *ELAN_name*':ATM device linespeed is *linespeed* Kbps, *VCC_type* VCC PCR = *peak_rate* Kbps, SCR = *sustained_rate* Kbps

説明: 指定の VCC のピーク速度が、ATM 装置の回線速度に等しくありません。

LES.332

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.332 LES/BUS:' *ELAN_name*':Create fld: *VCC_type* VCC PCR (*peak_rate* Kbps) excds ATM dev lnspeed (*linespeed* Kbps)

長構文: LES.332 LES/BUS:' *ELAN_name*':Create failed: *VCC_type* VCC PCR (*peak_rate* Kbps) exceeds ATM device linespeed (*linespeed* Kbps)

説明: ピーク・セル速度が ATM 装置の回線速度を超えているために、LES/BUS を作成できませんでした。

LES.333

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.333 LES/BUS:' *ELAN_name*':Rstrtd fld: *VCC_type* VCC PCR (*peak_rate* Kbps) excds ATM dev lnspeed (*linespeed* Kbps)

長構文: LES.333 LES/BUS:' *ELAN_name*':Restart failed: *VCC_type* VCC PCR (*peak_rate* Kbps) exceeds ATM device linespeed (*linespeed* Kbps)

説明: ピーク・セル速度が ATM 装置の回線速度を超えているために、LES/BUS を再始動できませんでした。

LES.334

レベル: U_INFO

短構文: LES.334 LECS Intf:dev *device_number*:ATM dev lnspeed - Config Dir VCC PCR (*peak_rate* Kbps) mismatch:PCR chngd to lnspeed (*linespeed* Kbps)

長構文: LES.334 LECS Intf:dev *device_number*:ATM device linespeed - Config Direct VCC PCR (*peak_rate* Kbps) mismatch:PCR changed to linespeed (*linespeed* Kbps)

説明: ATM 装置の回線速度が変更されました。構成ダイレクト VCC の PCR は、ATM 装置の以前の回線速度に等しい値になっていました。VCC の PCR が変更され、現在は ATM 装置の現行の回線速度に等しくなっています。

LES.335

レベル: C_INFO

短構文: LES.335 LECS Intf:dev *device_number*:ATM dev lnspeed is *linespeed* Kbps, Config Dir VCC PCR = *peak_rate* Kbps

長構文: LES.335 LECS Intf:dev *device_number*:ATM device

linespeed is *linespeed* Kbps, Config Direct VCC PCR = *peak_rate* Kbps

説明: 構成ダイレクト VCC のピーク速度が、ATM 装置の回線速度に等しくありません。

LES.336

レベル: C_INFO

短構文: LES.336 LECS Intf:dev *device_number*:ATM dev
lnspeed is *linespeed* Kbps, Config Dir VCC PCR = *peak_rate*
Kbps, SCR = *sustained_rate* Kbps

長構文: LES.336 LECS Intf:dev *device_number*:ATM device
linespeed is *linespeed* Kbps, Config Direct VCC PCR =
peak_rate Kbps, SCR = *sustained_rate* Kbps

説明: 構成ダイレクト VCC のピーク速度が、ATM 装置の回線速度に等しくありません。

LES.337

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.337 LECS Intf:dev *device_number*:Create
fld:Config Dir VCC PCR (*peak_rate* Kbps) excds ATM dev
lnspeed (*linespeed* Kbps)

長構文: LES.337 LECS Intf:dev *device_number*:Create
failed:Config Direct VCC PCR (*peak_rate* Kbps) exceeds
ATM device linespeed (*linespeed* Kbps)

説明: ピーク・セル速度が ATM 装置の回線速度を超えているために、LECS インターフェースを作成できませんでした。

LES.338

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.338 LECS Intf:dev *device_number*:Rstrtl
fld:Config Dir VCC PCR (*peak_rate* Kbps) excds ATM dev
lnspeed (*linespeed* Kbps)

長構文: LES.338 LECS Intf:dev *device_number*:Restart
failed:Config Direct VCC PCR (*peak_rate* Kbps) exceeds
ATM device linespeed (*linespeed* Kbps)

説明: ピーク・セル速度が ATM 装置の回線速度を超えているために、LECS インターフェースを再始動できませんでした。

LES.339

レベル: C_INFO

短構文: LES.339 LES/BUS:'*ELAN_name*':updtld cnfgtrn for
fld ' *field_name*'

長構文: LES.339 LES/BUS:'*ELAN_name*':updated
configuration for field ' *field_name*'

説明: 初期化中に、古くて使われなくなった構成レコードが検出されました。LES/BUS の構成内の特定のパラメーターが更新されて、新しい機能が反映されています。新規コード・リリースに移行後は、この事象が生じるのは普通です。

LES.340

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.340 LES/BUS:'*ELAN_name*': *frame_type* fld,
reason

長構文: LES.340 LES/BUS:'*ELAN_name*': *frame_type*
failed, *reason*

説明: TLV の処理中にエラーが発生したために、結合または登録要求がリジェクトされました。

LES.341

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.341 LES/BUS:'*ELAN_name*':rfsd Mcast Send
VCC splice to Mcast Fwrd VCC, LEC ATM addr = x
LEC_address

長構文: LES.341 LES/BUS:'*ELAN_name*':refused Multicast
Send VCC splice to Multicast Forward VCC, LEC ATM
address = x *LEC_address*

説明: BUS のマルチキャスト・フォワード VCC へのクライアントのマルチキャスト・センド VCC の接続を試みている最中に、エラーが発生しました。

処置: 即時の処置は必要ありません。このクライアントについては、BUS のピーク・パフォーマンスは不可能ですが、指定された ELAN への参加に影響はありません。問題判別がさらに必要な場合は、サービス技術員に連絡してください。

LES.342

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.342 LES/BUS:'*ELAN_name*':rfsd Mcast Send
VCC unsplice from Mcast Fwrd VCC, LEC ATM addr =
x *LEC_address*

長構文: LES.342 LES/BUS:'*ELAN_name*':refused Multicast
Send VCC unsplice from Multicast Forward VCC, LEC ATM
address = x *LEC_address*

説明: BUS のマルチキャスト・フォワード VCC へのクライアントのマルチキャスト・センド VCC の接続の切断を試みている最中に、エラーが発生しました。

処置: 即時の処置は必要ありません。このクライアントから受信したパケットはトレースできません。問題判別がさらに必要な場合は、サービス技術員に連絡してください。

LES.343

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.343 LES/BUS:' *ELAN_name*':Incompatible hardware for VCC-splice operation, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.343 LES/BUS:' *ELAN_name*':Incompatible hardware for VCC-splice operation, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: インストールされている ATM アダプターのハードウェア・レベルでは、VCC 接続がサポートされていません。クライアントのマルチキャスト・センド VCC は、BUS のマルチキャスト・フォワード VCC に接続されていません。

処置: 即時の処置は必要ありません。このクライアントについては、BUS のピーク・パフォーマンスは不可能ですが、指定された ELAN への参加に影響はありません。ATM アダプターをアップグレードして、VCC 接続機構をサポートできるようにする必要がある場合もあります。さらに援助が必要な場合は、サービス技術員に連絡してください。

LES.344

レベル: U_INFO

短構文: LES.344 SUPER ELAN:Super ELAN spans multiple ATM interfaces, ID= *super_elan_id*.

長構文: LES.344 SUPER ELAN:Super ELAN spans multiple ATM interfaces, ID= *super_elan_id*.

説明: 各 ATM アダプターがそれぞれ別々の交換網に接続されている場合があるので、異なる ELAN のクライアント間にデータ・ダイレクト VCC を確立する試みが失敗する可能性があります。

処置: 両方の ATM アダプターが同一の交換網に接続されている場合は、処置は必要ありません。ATM アダプターが異なる交換網に接続されている場合は、一方または両方のインターフェース上のスーパー ELAN 機能を使用不可にするか、または各 ATM アダプター上の論理インターフェースを異なるスーパー ELAN に割り当てます。

LES.345

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.345 SUPER ELAN:Super ELAN is supported for STB enabled ports only, net *net_1*.

長構文: LES.345 SUPER ELAN:Super ELAN is supported for STB enabled ports only, net *net_1*.

説明: スーパー ELAN は、STB 使用可能のブリッジ・ポート上でサポートされます。トークンリングとイーサネットが両方ともサポートされますが、ブリッジングの動作がソース・ルート専用のブリッジ・ポートはサポートされません。

処置: 指定されたインターフェースに対応するブリッジ・ポート上で、スパンニング・ツリー透過型ブリッジ (STB) サポートを使用可能にします。

LES.346

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.346 SUPER ELAN:Super ELAN is supported on ATM interfaces only, net *net_1*.

長構文: LES.346 SUPER ELAN:Super ELAN is supported on ATM interfaces only, net *net_1*.

説明: スーパー ELAN がサポートされるのは、ATM インターフェース上だけです。

処置: 指定されたインターフェースに対応するブリッジ・ポート上で、スーパー ELAN サポートを使用不可にします。

LES.347

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.347 SUPER ELAN:Intf types cannot be mixed within a Super ELAN, ID= *super_elan_id*.

長構文: LES.347 SUPER ELAN:Interface types cannot be mixed within a Super ELAN, ID= *super_elan_id*.

説明: スーパー ELAN ID が設定できませんでした。トークンリング・クライアントとイーサネット・クライアントが同一のスーパー ELAN 上に存在することはできないからです。

処置: スーパー ELAN ID を別の値に変更します。

LES.348

レベル: U_INFO

短構文: LES.348 BCM:' *ELAN_name*':Warning: MAC addr x *MAC_address* replaced MAC addr x *MAC_address* for protocol_type_string protocol_address

長構文: LES.348 BCM:' *ELAN_name*':Warning: MAC address x *MAC_address* replaced MAC address x *MAC_address* for protocol_type_string protocol_address

説明: 2 つの MAC アドレスが同一のプロトコル・アドレスを使用していることが、BCM によって検出されました。最初に表示されている MAC アドレスが新しく検出されたもので、これからはこれがそのプロトコル・アドレスに対応付けられます。

処置: これは、装置の 1 つの構成の誤りである可能性があります。

LES.349

レベル: U_INFO

短構文: LES.349 LES/BUS:' *ELAN_name*':delay complete, add LEC to Ctrl Dist, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.349 LES/BUS:' *ELAN_name*':delay complete, now adding LEC to Control Distribute, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: addPartyDelayTimer が満了したので、コントロール・ディストリビュート VCC 上でこの LEC に関して、ここで Add Leaf (リーフ追加) が試みられます。これが行われるのは、スイッチ信号輻輳 (ふくそう) の判別があった場合だけです。

LES.350

レベル: U_INFO

短構文: LES.350 LES/BUS:' *ELAN_name*':delay complete, add LEC to Mcast Fwd, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.350 LES/BUS:' *ELAN_name*':delay complete, now adding LEC to Multicast Forward, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: addPartyDelayTimer が満了したので、マルチキャスト・フォワード VCC 上でこの LEC に関して、ここで Add Leaf (リーフ追加) が試みられます。これが行われるのは、スイッチ信号輻輳 (ふくそう) の判別があった場合だけです。

LES.351

レベル: U_INFO

短構文: LES.351 LES/BUS:' *ELAN_name*':delay add of VCC_type leaf for *delay_duration* secs, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.351 LES/BUS:' *ELAN_name*':delaying addition of VCC_type leaf for *delay_duration* seconds, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: スイッチ信号輻輳 (ふくそう) が検出されたため、LES コントロール・ディストリビュート VCC へのこのリーフの追加が遅延中で、もっと後になります。

LES.352

レベル: U_INFO

短構文: LES.352 LES/BUS:' *ELAN_name*':delay add of VCC_type leaf for *delay_duration* secs, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.352 LES/BUS:' *ELAN_name*':delaying adding of VCC_type leaf for *delay_duration* seconds, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: スイッチ信号輻輳 (ふくそう) が検出されたため、BUS マルチキャスト・フォワード VCC へのこのリーフの追加が遅延中で、もっと後になります。

LES.353

レベル: U_INFO

短構文: LES.353 LES/BUS:' *ELAN_name*' Temp err adding VCC_type leaf: cause # *cause_code*: retry later LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.353 LES/BUS:' *ELAN_name*':temporary error adding VCC_type leaf: cause code # *cause_code*: will retry later, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: 一時的な状態が原因で、リーフ追加要求が失敗しました。ランダム遅延後、リーフ追加要求は再試行されます。

LES.354

レベル: U_INFO

短構文: LES.354 LES/BUS:' *ELAN_name*': err adding VCC_type leaf: out of mem, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.354 LES/BUS:' *ELAN_name*': error adding VCC_type leaf: memory exhausted, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: 記憶域の不足のため、リーフを追加することができません。

LES.355

レベル: U_INFO

短構文: LES.355 LES/BUS:' *ELAN_name*' Terminating LEC: err adding VCC_type leaf: no memory, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.355 LES/BUS:' *ELAN_name*': terminating

LEC: error adding VCC_type leaf: memory exhausted, LEC
ATM address = x *LEC_address*

説明: 使用可能な記憶域がないため、リーフは追加されませんでした。LEC の ELAN メンバーシップは終了します。

LES.356

レベル: U_INFO

短構文: LES.356 Interface # *interface_number*: Entering Add Party Delay State

長構文: LES.356 Interface # *interface_number*: Now entering the Add Party Delay state

説明: ネットワーク信号輻輳 (ふくそう) が検出された (その証拠に、Add Party (パーティー追加) が一時的原因によってリジェクトされるか、または無視されている) ので、現在は、このインターフェース上のすべての LES/BUS で、Add Party (パーティー追加) メッセージがランダム遅延になる状態に移行中です。

LES.357

レベル: U_INFO

短構文: LES.357 LES/BUS: ' *ELAN_name*' VCC_type leaf: drop LEC: max Add Leaf retries LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.357 LES_BUS: ' *ELAN_name*': terminating LEC: VCC_type leaf: no more Add Leaf retries, LEC ATM addr = x *LEC_address*

説明: ネットワーク信号輻輳 (ふくそう) のため、別の Add Party (パーティー追加) メッセージの再送が必要ですが、最大再試行回数を超えているので、LEC へのマルチキャスト・センドを切断します。

LES.358

レベル: U_INFO

短構文: LES.358 Interface # *interface_number*: Leaving Add Party Delay State

長構文: LES.358 Interface # *interface_number*: Now leaving the Add Party Delay state

説明: 直前の DELAY_ADD_PARTY_STATE_CLEARING_INTERVAL 秒間、ネットワーク信号輻輳 (ふくそう) が LES/BUS によって検出されず、Delay Add Party (パーティー追加遅延) 状態にあったので、Delay Add Party (パーティー追加遅延) 状態を終了します。

LES.359

レベル: U_INFO

短構文: LES.359 LES/BUS: ' *ELAN_name*' Temp err adding VCC_type leaf: network down: retry later LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.359 LES/BUS: ' *ELAN_name*':temporary error adding VCC_type leaf: network down: will retry later, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: NETWORK_DOWN 状態のため、リーフ追加要求が失敗しました。ランダム遅延後、リーフ追加要求は再試行されます。これは、通常、SAAL がダウンしているか、Add Party (パーティー追加) に応答がなかったか、いずれかを意味します。

LES.360

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.360 LES/BUS: ' *ELAN_name*':0-hop rings overlap with Rtr mac= *MAC_address* (*ring_number*: *ring_number*) Req Rtr mac= *MAC_address* (*ring_number*: *ring_number*)

長構文: LES.360 LES/BUS: ' *ELAN_name*':0-hop rings overlap with Router MAC address= *MAC_address* (range= *ring_number*: *ring_number*) Requesting Router MAC address= *MAC_address*(range= *ring_number*: *ring_number*)

説明: ゼロ・ホップ・ルーターが、オーバーラップしているバーチャル・リング範囲の登録を試行しました。

LES.361

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.361 LES/BUS: ' *ELAN_name*':refuse Mcast Send call: no mem, LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.361 LES/BUS: ' *ELAN_name*':refused Multicast Send call: no memory, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: マルチキャスト・センド・コールを受け入れることができません。結合する内部 LEC のバインドされたマルチキャスト・センド VCC を、対応する LES/BUS 待ち行列に追加するために必要な記憶域が不足しているためです。

LES.362

レベル: U_INFO

短構文: LES.362 BCM: ' *ELAN_name*':NetBIOS NAME_RECOGNIZED not rcvd, deleting Name protocol_address from MAC addr x *MAC_address*

長構文: LES.362 BCM: ' *ELAN_name*':NetBIOS

NAME_RECOGNIZED not received, deleting Name protocol_address from MAC addr x MAC_address

説明: BCM NetBIOS は、指定の名前と MAC アドレスに NAME_QUERY を送信してから 1 秒以内に NAME_RECOGNIZED を受信しました。BCM NetBIOS キャッシュ・エントリーはもう有効でない可能性があるため、このエントリーが削除されています。現在 BCM によって処理されている NAME_QUERY は同報通信されます。指定の名前に対してネーム・シェアリング機能が使用されている場合は、指定の MAC アドレスを使用するすべてのセッションが使い尽くされている可能性があり、この事象は正常です。

LES.363

レベル: C_INFO

短構文: LES.363 LECS Intf:dev device_num:updtcd cnfgtrn for fld ' field_name'

長構文: LES.363 LECS Intf:dev device_num:updated configuration for field ' field_name'

説明: 初期化時に、古くて使われなくなった構成レコードが検出されました。LECS インターフェースの構成内の所定パラメーターが、新しい機能が反映するために更新されました。新しいコード・リリースに移行した後は、この事象が生じるのは通常です。

LES.364

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.364 LES/BUS:' ELAN_name':JOIN fld:invld flags (x flags), LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.364 LES/BUS:' ELAN_name':JOIN failed:invalid flags (x flags), LEC ATM address = x LEC_address

説明: フラグ・フィールドが無効であるために、JOIN が失敗しました。これは LEC が、LUNiv2 フラグを設定する LUNiv2 LEC でないことが原因と考えられます。

LES.365

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.365 LES/BUS:' ELAN_name':JOIN fld:dplct RD (x route_descriptor), LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.365 LES/BUS:' ELAN_name':JOIN failed:duplicate route descriptor (x route_descriptor), LEC ATM address = x LEC_address

説明: ルート記述子アドレスが固有でなかったために、JOIN が失敗しました。

LES.366

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.366 LES/BUS:' ELAN_name':JOIN fld:RD CB alloc err, LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.366 LES/BUS:' ELAN_name':JOIN failed:Route Descriptor Control Block allocation error, LEC ATM address =x LEC_address

説明: ルート記述子制御ブロック用の記憶域を割り振ろうとしているときにエラーが発生したために、JOIN が失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.367

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.367 LES/BUS:' ELAN_name':dscrd VRFY REQ:JOIN incmplt, LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.367 LES/BUS:' ELAN_name':discarded Verify Request:JOIN incomplete, LEC ATM addr = x LEC_address

説明: JOIN フェーズが完了していなかったため、検証要求が廃棄されました。

LES.368

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.368 LES/BUS:' ELAN_name':VRFY fld:invld LECID (LECID), LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.368 LES/BUS:' ELAN_name':Verify failed:invalid LECID (LECID), LEC ATM addr = x LEC_address

説明: LECID が無効であるために、検証が失敗しました。

LES.369

レベル: C_INFO

短構文: LES.369 LES/BUS:' ELAN_name':VRFY fld:invld ATM addr (x atm_addr_to_verify), LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.369 LES/BUS:' ELAN_name':Verify failed:invalid ATM address (x atm_addr_to_verify), LEC ATM addr = x LEC_address

説明: ATM アドレスが BUS の ATM アドレスでないために、検証が失敗しました。

LES.370

レベル: C_INFO

短構文: LES.370 LES/BUS:' ELAN_name':VRFY ok for ATM addr x atm_addr_to_verify, LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.370 LES/BUS:' ELAN_name':Verify ok for ATM address x atm_addr_to_verify, LEC ATM addr = x LEC_address

説明: 検証が成功しました。指定された ATM アドレスは、実際に BUS の ATM アドレスでした。

LES.371

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.371 LES/BUS:' ELAN_name':trmntng LEC:Mcast Send dscnntcd time-out, LEC ATM addr = x LEC_address

長構文: LES.371 LES/BUS:' ELAN_name':terminating LEC:Mcast Send disconnected time-out, LEC ATM address = x LEC_address

説明: マルチキャスト送信切断時間を示すマルチキャスト・センド VCC が LEC から BUS に送られなかったために、LEC が終了しました。

LES.372

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.372 LES/BUS:' ELAN_name':dscrd data frm:bad RIF lngth x rif_length, Src LEC ATM addr = x source_LEC_address,

長構文: LES.372 LES/BUS:' ELAN_name':discarded data frame:invalid RIF length x rif_length, Source LEC ATM address = x source_LEC_address

説明: RIF の長さが無効であるために、データ・フレームが廃棄されました。

LES.373

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.373 LES/BUS:' ELAN_name':dscrd FLUSH REQ:trgt msmtch, Src LEC ATM addr = x source_LEC_address, Trgt LEC ATM addr = x target_LEC_address, Trgt MAC addr = x target_MAC

長構文: LES.373 LES/BUS:' ELAN_name':discarded Flush request:target mismatch, Source LEC ATM address = x source_LEC_address, Target LEC ATM addr = x target_LEC_address Target MAC address = x target_MAC

説明: ターゲット MAC とターゲット ATM アドレスが異なる LEC を示していたために、フラッシュ要求が廃棄されました。

LES.374

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.374 LES/BUS:' ELAN_name':dscrd FLUSH REQ:trgt msmtch, Src LEC ATM addr = x source_LEC_address, Trgt LEC ATM addr = x target_LEC_address, Trgt RD = x target_RD

長構文: LES.374 LES/BUS:' ELAN_name':discarded Flush request:target mismatch, Source LEC ATM address = x source_LEC_address, Target LEC ATM addr = x target_LEC_address Target RD = x target_RD

説明: ターゲット RD とターゲット ATM アドレスが異なる LEC を示していたために、フラッシュ要求が廃棄されました。

LES.375

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.375 LES/BUS:' ELAN_name':dscrd FLUSH REQ:invld tag (x lan_dest_tag), Src LEC ATM addr = x source_LEC_address, Trgt LEC ATM addr = x target_LEC_address,

長構文: LES.375 LES/BUS:' ELAN_name':discarded Flush request:invalid tag (x lan_dest_tag), Source LEC ATM address = x source_LEC_address, Target LEC ATM addr = x target_LEC_address

説明: ターゲット LAN あて先フィールドが無効であるために、フラッシュ要求が廃棄されました。LANEv2 LE クライアントの場合は、1 または 2 でなければなりません。

LES.376

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.376 LECS Intf:dev device_number:mem alloc err: src ATM addr x lec_atm_addr

長構文: LES.376 LECS Intf:dev device_number:memory allocation error: source ATM address x lec_atm_addr

説明: LECS インターフェースが必要な記憶域を割り振ることができなかったために、セキュリティ要求の検証は失敗しました。

LES.377

レベル: UE_ERROR

短構文: LES.377 LECS Intf:dev *device_number*:cpy TLVs for scrty fld: src ATM addrx *lec_atm_addr*

長構文: LES.377 LECS Intf:dev *device_number*:copy TLVs for security request failed: source ATM address x *lec_atm_addr*

説明: LECS インターフェースは、セキュリティ要求に結合 TLV を付加できませんでした。結合内の TLV が破壊されていたか、セキュリティ TLV の追加によってフレームが大きくなり過ぎて LECS に送信できなくなったかのいずれかです。

LES.378

レベル: U_INFO

短構文: LES.378 BCM:' *ELAN_name*':added IPX Server Farm (reached *ipx_threshold* Srvrs/Rtrs), LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.378 BCM:' *ELAN_name*':added IPX Server Farm (reached *ipx_threshold* Servers/Routers), LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: BCM IPX は、指定の LEC の背後でサーバー・ファームを検出しました。LEC の背後で動的に検出された IPX サーバー/ルーターの数が、指定のサーバー・ファーム限界値に達しました。

LES.379

レベル: U_INFO

短構文: LES.379 BCM:' *ELAN_name*':removed IPX Server Farm (less than *ipx_threshold* Srvrs/Rtrs), LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.379 BCM:' *ELAN_name*':removed IPX Server Farm (less than *ipx_threshold* Servers/Routers), LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: BCM IPX は、前に指定の LEC の背後で検出されたサーバー・ファームを除去しました。LEC の背後で動的に検出された IPX サーバー/ルーターの数は、指定のサーバー・ファーム限界値より低下しました。

LES.380

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.380 LES/BUS:Receive frame bad vcc correlator 0x *vcc_corr*, atm user 0x *atm_user_corr*

長構文: LES.380 LES/BUS:Receive frame bad vcc correlator 0x *vcc_corr*, atm user 0x *atm_user_corr*

説明: サポートされない接続タイプ上でフレームを受信しました。受信したフレームは廃棄されました。

LES.381

レベル: U_INFO

短構文: LES.381 LES/BUS:' *ELAN_name*':v2 Lec->v1 Lec:frame buff alloc err LEC ATM addr = x *LEC_address*

長構文: LES.381 LES/BUS:' *ELAN_name*':v2 Lec->v1 Lec:frame buffer allocation error, LEC ATM address = x *LEC_address*

説明: フレーム・バッファを割り振ることができなかったため、LUNI v2 制御フレームを v1 LEC に送信するために変換することができませんでした。フレームは LUNI v2 フォーマットで v1 LEC に送信されました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.382

レベル: C_INFO

短構文: LES.382 LES/BUS:' *ELAN_name*':dscred *frameType* frm:no V2 Proxy Ctrl Dist, Src LEC ATM addr = x *source_LEC_address*,

長構文: LES.382 LES/BUS:' *ELAN_name*':discarded *frameType* frame:no V2 Proxy Control Distribute, Source LEC ATM address = x *source_LEC_address*

説明: 指定されたタイプのフレームが廃棄されました。これは V2 プロキシ・コントロール・ディストリビュート VCC を介して転送されるはずでしたが、V2 プロキシ・コントロール・ディストリビュート VCC が運用可ではありません。この原因として非常に可能性が高いのは、ELAN に接続しているプロキシ・クライアントがない場合です。

LES.383

レベル: C_INFO

短構文: LES.383 LES/BUS:' *ELAN_name*':dscred *frameType* frm:no V1 or V2 Proxy Ctrl Dist, Src LEC ATM addr = x *source_LEC_address*,

長構文: LES.383 LES/BUS:' *ELAN_name*':discarded *frameType* frame:no V1 or V2 Proxy Control Distribute, Source LEC ATM address = x *source_LEC_address*

説明: 指定されたタイプのフレームが廃棄されました。これはプロキシ・コントロール・ディストリビュート VCC を介して転送されるはずでしたが、V1 プロキシ・コントロール・ディストリビュート VCC も、V2 プロキシ・コントロール・ディストリビュート VCC も運用不可です。この原因として非常に可能性が高いのは、

ELAN に接続しているプロキシー・クライアントがない場合です。

LES.384

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.384 LES/BUS:' *ELAN_name*':Unable to allocate memory for configuration

長構文: LES.384 LES/BUS:' *ELAN_name*':Unable to allocate memory for configuration

説明: LE /BUS 構成の移行または作成のために記憶域を割り振ることができませんでした。構成ツールを使用して、構成を移行してください。おそらく、この構成は無効で、使用できません。

LES.385

レベル: U_INFO

短構文: LES.385 LES/BUS:' *ELAN_name*':yielding to Partner, # LEC's terminated= *num_lecs reason* Partner Atm addr = x *les_address*

長構文: LES.385 LES/BUS:' *ELAN_name*':yielding to Partner, # LEC's terminated= *num_lecs. reason*, Partner Atm addr = x *les_address*

説明: LES/BUS は、指摘されている理由でパートナーの LES/BUS に制御を渡すために、すべての LEC を終了中です。

LES.386

レベル: U_INFO

短構文: LES.386 LES/BUS:' *ELAN_name*':now acpctng LEC's, taking over Partner *reason* Partner Atm addr = x *les_address*

長構文: LES.386 LES/BUS:' *ELAN_name*':now accepting LEC's, taking over Partner *reason*, Partner Atm addr = x *les_address*

説明: LES/BUS は、指摘されている理由でパートナーの LES/BUS から制御を引き継ぐために、現在新規の LE クライアントを受け入れ中です。

LES.387

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.387 LES/BUS:' *ELAN_name*':=>DOWN:Enhncd Rdndncy Call dt pth opn err: *error_string* (*error_code*)

長構文: LES.387 LES/BUS:' *ELAN_name*':=>DOWN:Enhanced Redundancy Call data path open error: *error_string* (*error_code*)

説明: 拡張冗長 VCC のためのデータ・パスのオープンを試みているときにエラーが発生しました。ELAN は終了します。

LES.388

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.388 LES/BUS:' *ELAN_name*':rlsd Enhncd Rdndncy Call:dt pth opn err:no mem

長構文: LES.388 LES/BUS:' *ELAN_name*':released Enhanced Redundancy Call:data path open error:no memory

説明: 拡張冗長 VCC のデータ・パスをオープンするための資源が不十分です。拡張冗長 VCC は解放され、後で再試行されます。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.389

レベル: P_TRACE

短構文: LES.389 Trace LES/BUS Enhncd Rdndncy Status Message.

長構文: LES.389 Trace LES/BUS Enhanced Redundancy Status Message.

説明: LES/BUS 拡張冗長状態メッセージ・パケットをトレース中です。

LES.390

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.390 LES/BUS:' *ELAN_name*':dscrd rdndcy status msg:invld sz (x *frame_size*)

長構文: LES.390 LES/BUS:' *ELAN_name*':discarded redundancy status message:invalid size (x *frame_size*)

説明: 実際のサイズが無効であったために、LES に送信された冗長状態メッセージが廃棄されました。

LES.391

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.391 LES/BUS:' *ELAN_name*':dscrd rdndcy status msg:invld mrkr (x *marker*)

長構文: LES.391 LES/BUS:' *ELAN_name*':discarded redundancy status message:invalid Marker (x *marker*)

説明: マーカーが無効であったために、冗長状態メッセージが廃棄されました。マーカーは xFF00 でなければなりません。

LES.392

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.392 LES/BUS:' *ELAN_name*':dscrd rdndcy status msg:invld prtcl (x *protocol*)

長構文: LES.392 LES/BUS:' *ELAN_name*':discarded redundancy status message:invalid prtcl (x *protocol*)

説明: プロトコルが無効であったために、冗長状態メッセージが廃棄されました。プロトコルは x01 でなければなりません。

LES.393

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.393 LES/BUS:' *ELAN_name*':dscrd rdndcy status msg:invld Vrsn (x *version*)

長構文: LES.393 LES/BUS:' *ELAN_name*':discarded redundancy status message:invalid Version (x *version*)

説明: バージョンが無効であったために、冗長状態メッセージが廃棄されました。バージョンは x01 でなければなりません。

LES.394

レベル: CE_ERROR

短構文: LES.394 LES/BUS:' *ELAN_name*':dscrd rdndcy status msg:invld opcode (x *opcode*)

長構文: LES.394 LES/BUS:' *ELAN_name*':discarded redundancy status message:invalid opcode (x *opcode*)

説明: 命令コードが無効であったために、冗長状態メッセージが廃棄されました。

LES.395

レベル: U_INFO

短構文: LES.395 LES/BUS:' *ELAN_name*':rdndcy status msg frame buff alloc err

長構文: LES.395 LES/BUS:' *ELAN_name*':redundancy status message frame buffer allocation error

説明: フレーム・バッファを割り振ることができなかったため、冗長状態メッセージ・フレームをパートナー LES/BUS に送信できませんでした。

LES.396

レベル: U_INFO

短構文: LES.396 LES/BUS:' *ELAN_name*':takeover req. sent to backup Partner Atm addr = x *les_address*

長構文: LES.396 LES/BUS:' *ELAN_name*':takeover request sent to backup. Partner Atm addr = x *les_address*

説明: ユーザーがアクティブのバックアップ LES/BUS から、この LES/BUS の引き継ぎを要求しました。バックアップ LES/BUS が制御を引き渡すまでは、1 次 LES/BUS は新規の LE の受け入れを開始しません。

LES.397

レベル: C_INFO

短構文: LES.397 BUSFILTER:' *ELAN_name*':initlzd

長構文: LES.397 BUSFILTER:' *ELAN_name*':initialized

説明: この ELAN の BUS FILTER が初期化されました。

LES.398

レベル: U_INFO

短構文: LES.398 BUSPOLICE:' *ELAN_name*':initlzd

長構文: LES.398 BUSPOLICE:' *ELAN_name*':initialized

説明: この ELAN の BUS POLICE が初期化されました。

LES.399

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.399 BUSFILTER:' *ELAN_name*':init fld

長構文: LES.399 BUSFILTER:' *ELAN_name*':initialization failed

説明: BUS FILTER の初期化に失敗しました。記憶域割り振りエラー。ELAN の動作は続行されます。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.400

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.400 BUSPOLICE:' *ELAN_name*':init fld

長構文: LES.400 BUSPOLICE:' *ELAN_name*':initialization failed

説明: 記憶域の不足のために、BUS POLICE の初期化が失敗しました。ELAN の動作は続行されます。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.401

レベル: U_INFO

短構文: LES.401 BUSFILTER:' *ELAN_name*':Rmv'd filter items

長構文: LES.401 BUSFILTER:' *ELAN_name*':Removed all filter items

説明: このバス・フィルターのすべてのフィルター項目が除去され、対応する記憶域が解放されました。

LES.402

レベル: U_INFO

短構文: LES.402 BUSPOLICE:' *ELAN_name*':Rmv'd filter items

長構文: LES.402 BUSPOLICE:' *ELAN_name*':Removed all filter items

説明: このバス・ポリース (Bus Police) のすべてのフィルター項目が除去され、対応する記憶域が解放されました。

LES.403

レベル: UE_ERROR

短構文: LES.403 BUSPOLICE:' *ELAN_name*':threshold exc'd Src mac addr = *SOURCE_address*

長構文: LES.403 BUSPOLICE:' *ELAN_name*':Threshold has been exceeded. SOURCE mac address = x *SOURCE_address*

説明: 定義された BUS POLICE 限界値を超えました。

LES.404

レベル: U_INFO

短構文: LES.404 BUSPOLICE:' *ELAN_name*':Not added to Filter List. On immunity list Src mac addr = *SOURCE_address*

長構文: LES.404 BUSPOLICE:' *ELAN_name*':Mac address not added to Filter list. Already on immunity list. SOURCE mac address = x *SOURCE_address*

説明: この Mac アドレスは Immunity リストに含まれているので、フィルター・リストに追加されませんでした。

LES.405

レベル: UI_ERROR

短構文: LES.405 BUSPOLICE:' *ELAN_name*':Not put on

Filter List. Mem alloc error. src mac addr = x *SOURCE_address*

長構文: LES.405 BUSPOLICE:' *ELAN_name*':Address was not put on Filter List. Mem Allocation error. SOURCE mac address = x *SOURCE_address*

説明: Mac アドレスはフィルター・リストに入れられませんでした。十分な記憶域がありません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LES.406

レベル: U_INFO

短構文: LES.406 BUSPOLICE:' *ELAN_name*':Added to Filter List. Src mac addr = *SOURCE_address*

長構文: LES.406 BUSPOLICE:' *ELAN_name*':Mac address was added to Filter list. SOURCE mac address = x *SOURCE_address*

説明: Mac アドレスはフィルター・リストに正常に追加されました。

LES.407

レベル: C_INFO

短構文: LES.407 BUSFILTER:' *ELAN_name*':Match Exclude List. cmp value = 0x *Item_string*

長構文: LES.407 BUSFILTER:' *ELAN_name*':Frame matched filter on Exclude list. Compare Value = 0x *Item_string*.

説明: フレームは、バス・フィルターの除外リストにあるフィルターに一致します。このフレームはフィルターに掛けられました。

LES.408

レベル: C_INFO

短構文: LES.408 BUSFILTER:' *ELAN_name*':Match Include List. cmp value = 0x *Item_string*

長構文: LES.408 BUSFILTER:' *ELAN_name*':Frame matched filter on Include list. Compare Value = 0x *Item_string*.

説明: フレームは、バス・フィルターの組み込みリストにあるフィルターに一致します。このフレームは転送されました。

LES.409

レベル: C_INFO

短構文: LES.409 BUSFILTER:' *ELAN_name*':No Match.
Dflt performed-EXCLUDE.

長構文: LES.409 BUSFILTER:' *ELAN_name*':No Match on
filter. Default action was performed. Frame was filtered.

説明: フレームはどちらのフィルター・リストにあるフ
ィルターにも一致しませんでした。 EXCLUDE のデフォ
ルト・アクションが実行されました。このフレームはフ
ィルターに掛けられました。

LES.410

レベル: C_INFO

短構文: LES.410 BUSFILTER:' *ELAN_name*':No Match.
Dflt performed-INCLUDE.

長構文: LES.410 BUSFILTER:' *ELAN_name*':No Match on
filter. Default action was performed. Frame was forwarded.

説明: フレームはどちらのフィルター・リストにあるフ
ィルターにも一致しませんでした。 INCLUDE のデフォ
ルト・アクションが実行されました。このフレームは転
送されました。

LES.411

レベル: C_INFO

短構文: LES.411 BUSPOLICE:' *ELAN_name*':Frame filtered.
Src mac addr = *SOURCE_address*

長構文: LES.411 BUSPOLICE:' *ELAN_name*':Frame was
filtered by Bus Police. Source mac address = 0x
SOURCE_address

説明: この MAC アドレスからのフレームが Bus Police
によってフィルターに掛けられました。

第59章 LAN ネットワーク・マネージャー (LNM)

この章では、LAN ネットワーク・マネージャー (LNM) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

LNM.001

レベル: C-INFO

短構文: LNM.001 Configuring port *port_number*

長構文: LNM.001 Configuring port *port_number*

説明: LNM が指定されたポートの構成を開始しています。

LNM.002

レベル: C-INFO

短構文: LNM.002 Configuration complete port *port_number* nt network

長構文: LNM.002 Configuration complete port *port_number* network *network*

説明: LNM が指定されたポートの構成を完了しました。

LNM.003

レベル: U-INFO

短構文: LNM.003 LNM configured for port *port_number*, port does not exist in Bridge Configuration

長構文: LNM.003 LNM configured for port *port_number*, but the port is not configured in the Bridge Configuration

説明: ポートは LNM 構成として構成されていますが、SRT 構成ではありません。

原因: ユーザーの構成の誤り

処置: LNM または SRT を再構成します。ブリッジが使用可能であることを確かめます。

LNM.004

レベル: U-INFO

短構文: LNM.004 LNM configured for port *port_number*, is not SRB port

長構文: LNM.004 LNM configured for port *port_number*, is not configured for SRB

説明: ポートは LNM 構成として構成されていますが、SRT 構成の SRB ポートとして構成されていません。

原因: ユーザーの構成の誤り

処置: LNM または SRT を再構成します。

LNM.005

レベル: U-INFO

短構文: LNM.005 LNM configured for port *port_number*, is not token ring

長構文: LNM.005 LNM configured for port *port_number*, is not a token ring interface

説明: ポートは LNM 構成内で構成されていますが、インターフェースがトークンリング・インターフェースではありません。

原因: ユーザーの構成の誤り

処置: LNM またはインターフェースを再構成します。

LNM.006

レベル: UI-ERROR

短構文: LNM.006 No iorb to transmit packet

長構文: LNM.006 No buffer available to copy one or more packets

説明: LLC を通じて送信するために 1 つまたは複数のパケットをコピーできるバッファがありません。

原因: 重大なパケット・バッファの不足

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。

原因: トラフィック・ピークで、利用可能なバッファがすべて使われています。

処置: このメッセージが非常にまれに出る場合は問題です。

LNM.007

レベル: C-INFO

短構文: LNM.007 Initializing port *port_number* nt network

長構文: LNM.007 Initializing port *port_number* network *network*

説明: LNM は指定されたポートの初期化を開始しています。

LNM.008

レベル: C-INFO

短構文: LNM.008 Initialization complete port *port_number* nt *network*

長構文: LNM.008 Initialization complete port *port_number* network *network*

説明: LNM は指定されたポートの初期化を完了しました。

LNM.009

レベル: C-INFO

短構文: LNM.009 Activating LLC for port *port_number* nt *network*

長構文: LNM.009 Activating LLC for port *port_number* network *network*

説明: LNM は指定されたポートに対する LLC への接続を活動化しています。

LNM.010

レベル: C-INFO

短構文: LNM.010 Activating REM for port *port_number* nt *network*

長構文: LNM.010 Activating REM for port *port_number* network *network*

説明: LNM は指定されたポートのリング・エラー・モニターを活動化しています。

LNM.011

レベル: C-INFO

短構文: LNM.011 Activating RPS for port *port_number* nt *network*

長構文: LNM.011 Activating RPS for port *port_number* network *network*

説明: LNM は指定されたポートのリング・パラメーター・サーバーを活動化しています。

LNM.012

レベル: C-INFO

短構文: LNM.012 Activating CRS for port *port_number* nt *network*

長構文: LNM.012 Activating CRS for port *port_number* network *network*

説明: LNM は指定されたポートの構成報告書サーバーを活動化しています。

LNM.013

レベル: C-INFO

短構文: LNM.013 Activating LRM for port *port_number* nt *network*

長構文: LNM.013 Activating LRM for port *port_number* network *network*

説明: LNM は指定されたポートの LAN 報告機構を活動化しています。

LNM.014

レベル: C-INFO

短構文: LNM.014 Activating MAC frame int for port *port_number* nt *network*

長構文: LNM.014 Activating MAC frame interface for port *port_number* network *network*

説明: LNM は、指定されたポートとの間での MAC フレームの転送のために、トークンリングとのインターフェースを起動中です。

LNM.015

レベル: C-INFO

短構文: LNM.015 Proc net up ind for port *port_number* nt *network*

長構文: LNM.015 Processing network up indication for port *port_number* network *network*

説明: LNM は、LNM が使用可能にされているインターフェースが現在アップ状態である旨の指示を受信しました。LNM は、そのインターフェースとの間で送受信する要求の処理を開始するために必要な処置を実行します。

LNM.016

レベル: C-INFO

短構文: LNM.016 Proc net dwn ind for port *port_number* nt *network*

長構文: LNM.016 Processing network down indication for port *port_number* network *network*

説明: LNM は、LNM が使用可能にされているインターフェースが現在ダウン状態である旨の指示を受信しました。LNM はインターフェースを往来する処理要求を終了します。

LNМ.017

レベル: UI-ERROR

短構文: LNM.017 No memory to queue event

長構文: LNM.017 No memory available to create an LNM event queue block

説明: LNM 事象待ち行列ブロックを作成するために使用可能な記憶域はありません。これは致命的な状態であり、あらゆる可能性に照らして記憶域漏れを示すものです。

LNМ.018

レベル: C-INFO

短構文: LNM.018 Rem cn req refused port *port_number* nt *network*

長構文: LNM.018 Remote connection request refused for port *port_number* network *network*

説明: LNM は、リモート・ステーションにより開始された接続要求が受信されたという指示を受信しました。LNM は遠隔接続要求を受け入れないため、接続要求は拒否されます。

LNМ.019

レベル: C-INFO

短構文: LNM.019 cn cnfm rcvd but not cnctg link *link* port *port_number* nt *network*

長構文: LNM.019 A connect confirm indication was received but the link is not in connecting state for link *link* port *port_number* network *network*

説明: LNM は、直前に発行された接続要求が LLC により確認されたという指示を受信しましたが、リンクの状態は、どの接続要求も解決済みであることを示しています。

原因: 未解決の接続要求は、ネットダウン状態のため、取り消されてしまった可能性があります。

LNМ.020

レベル: C-INFO

短構文: LNM.020 disc rcvd when cnctg link *link* port *port_number* nt *network*

長構文: LNM.020 A disconnect indication was received while the link is in connecting state for link *link* port *port_number* network *network*

説明: LNM は、直前に発行された接続要求が未解決である一方、切断指示を受信しました。

LNМ.021

レベル: C-INFO

短構文: LNM.021 disc rcvd but conn not act port *port_number* nt *network*

長構文: LNM.021 A disconnect indication was received but the connection is not active on port *port_number* network *network*

説明: LNM は、指定されたリンクが切断されたという指示を受信しましたが、リンクの状態は、接続が活動状態ではないことを示しています。

原因: 接続は、ネットダウン状態のため、クローズされてしまった可能性があります。

LNМ.022

レベル: C-INFO

短構文: LNM.022 reset rcvd link *link* port *port_number* nt *network*

長構文: LNM.022 A reset indication was received for link *link* port *port_number* network *network*

説明: LNM は、指定されたリンクに対するリセット指示を受信しました。LNM はリセット応答を戻します。

LNМ.023

レベル: C-INFO

短構文: LNM.023 cannot open conn SAP clsd port *port_number* nt *network*

長構文: LNM.023 Cannot open a connection SAP closed on port *port_number* network *network*

説明: LNM は接続をオープンしようと試みましたが、LNM SAP がクローズされていると判明しました。

原因: SAP は、ネットダウン状態のため、クローズされてしまった可能性があります。

LNМ.024

レベル: C-INFO

短構文: LNM.024 cannot open conn lnk in use lnk *link* port *port_number* nt *network*

長構文: LNM.024 Cannot open a connection link in use link *link* port *port_number* network *network*

説明: LNM は接続をオープンしようと試みましたが、要求されたリンクがすでに使用中であると判明しました。

LNM.025

レベル: C-INFO

短構文: LNM.025 open sta fld rtn = *retval* lnk link port
port_number nt network

長構文: LNM.025 Open station failed return = *retval* link
link port *port_number* network network

説明: LNM はステーションをオープンしようと試みましたが、LLC はその操作を拒否しました。

LNM.026

レベル: C-INFO

短構文: LNM.026 conn req fld rtn = *retval* lnk link port
port_number nt network

長構文: LNM.026 Connect req failed return = *retval* link
link port *port_number* network network

説明: LNM は接続をオープンしようと試みましたが、LLC はその操作を拒否しました。

LNM.027

レベル: C-INFO

短構文: LNM.027 disc req fld rtn = *retval* lnk link port
port_number nt network

長構文: LNM.027 Disconnect req failed return = *retval* link
link port *port_number* network network

説明: LNM は接続を切断しようと試みましたが、LLC はその操作を拒否しました。

LNM.028

レベル: C-INFO

短構文: LNM.028 netdwn rcvd clsg LNM SAP port
port_number nt network

長構文: LNM.028 Netdown received closing LNM SAP port
port_number network network

説明: LNM は指定されたポートのネットワークダウンの指示を受信しました。その結果、LNM は LNM SAP X'F4' をクローズしています。

LNM.029

レベル: C-INFO

短構文: LNM.029 netup rcvd opening LNM SAP port
port_number nt network

長構文: LNM.029 Netup received, opening LNM SAP port
port_number network network

説明: LNM は指定されたポートのネットワークアップの指示を受信しました。LNM はその結果、LNM SAP X'F4' をオープンしています。

LNM.030

レベル: C-INFO

短構文: LNM.030 No rsrc for open LNM SAP port
port_number nt network

長構文: LNM.030 No resources for opening LNM SAP port
port_number network network

説明: LLC は、LNM SAP X'F4' をオープンするための資源の量が不足していることを示しました。この結果、LNM は使用可能になりません。

LNM.031

レベル: C-INFO

短構文: LNM.031 LNM UI frm not sent rsn = *reason* port
port_number nt network

長構文: LNM.031 LNM UI LLC frame not sent reason =
reason port *port_number* network network

説明: LNM は LLC を介して UI フレームを送信しようと試みましたが、フレームは指示された理由により送信できませんでした。

LNM.032

レベル: C-INFO

短構文: LNM.032 LNM UI frm not sent net dwn port
port_number nt network

長構文: LNM.032 LNM UI LLC frame not sent network
down port *port_number* network network

説明: LNM は LLC を介して UI フレームを送信しようと試みましたが、フレームはネットワーク・インターフェースがダウンしているため、送信できませんでした。

LNM.033

レベル: C-INFO

短構文: LNM.033 LNM I frm not sent conn clsd port
port_number nt network

長構文: LNM.033 LNM I frame not sent connection closed
port *port_number* network network

説明: LNM は LLC を介して I フレームを送信しようと試みましたが、フレームは接続がクローズされているため、送信できませんでした。

原因: 接続は、ネットワーク・インターフェースのダウン状態によりクローズされている場合があります。

LNM.034

レベル: C-INFO

短構文: LNM.034 LNM I frm not sent rsu = *reason* link
link port *port_number* nt *network*

長構文: LNM.034 LNM I frame not sent reason = *reason*
link link port *port_number* network *network*

説明: LNM は LLC を介して I フレームを送信しようと試みましたが、フレームは指示された理由により送信できませんでした。

LNM.035

レベル: C-INFO

短構文: LNM.035 packet rcvd but no connection on link
link port *port_number* nt *network*

長構文: LNM.035 An LLC packet was received but no connection exists for link number: link port *port_number*
network *network*

説明: LNM は非活動リンクについて LLC パケットを受信しました。おそらく、直前に活動化されたリンクが使用不可になったことを示しています。

原因: 直前の接続要求は、ネットダウン状態のため、取り消されてしまった可能性があります。

LNM.036

レベル: C-INFO

短構文: LNM.036 server PARSE error, code = *error* port
port nt *network* *msgptr*

長構文: LNM.036 server LLC parsing error, code = *error*
port *port* network *network* *msgptr*

説明: LNM は LLC パケットを受信しましたが、体系構文エラーが含まれていて、適正に構文解析することができませんでした。このコードは、特定の構文解析障害を定義します。

原因: 実行エラー

LNM.037

レベル: C-INFO

短構文: LNM.037 server EXECUTION error, code = *error*
port *port* nt *network* *msgptr*

長構文: LNM.037 server EXECUTION error, code = *error*
port *port* network *network* *msgptr*

説明: LNM は LLC パケットを受信しましたが、構文的には正しいのに、実行することができませんでした。

原因: パケットの要求は実行できないか、サポートされません。

LNM.038

レベル: C-INFO

短構文: LNM.038 server PCK_ALLOC error, code = *error*
port *port* nt *network* *msgptr*

長構文: LNM.038 server packet allocation error, code = *error*
port *port* network *network* *msgptr*

説明: 指定されたサーバー構成要素はパケット・バッファを割り振ることができませんでした。

原因: システムが繁忙状態か、さらに多くのパケット・バッファを割り振る必要があるかのいずれかです。

LNM.039

レベル: C-INFO

短構文: LNM.039 server GET_CHAR error, code = *error*
port *port* nt *network* *msgptr*

長構文: LNM.039 server error, code = *error* port *port*
network *network* *msgptr*

説明: 示されているサーバー構成要素が LLC パケットから次の文字を獲得できませんでした。

原因: 実行エラー

LNM.040

レベル: C-INFO

短構文: LNM.040 server error, code = *error* port *port* nt
network *msgptr*

長構文: LNM.040 server error, code = *error* port *port*
network *network* *msgptr*

説明: 指定されたサーバー構成要素はパケット文字操作を行うことができませんでした。

原因: 実行エラー

LNM.041

レベル: C-INFO

短構文: LNM.041 server error, code = *error* port *port* nt
network *msgptr*

長構文: LNM.041 server error, code = *error* port *port*
network *network* *msgptr*

説明: 指定されたサーバー構成要素はバッファ操作を

実行することができませんでした。

原因: 実行エラー

LNM.042

レベル: C-INFO

短構文: LNM.042 server error, code = error port port nt network msgptr

長構文: LNM.042 server error, code = error port port network network msgptr

説明: 指定されたサーバー構成要素はタイマー操作を実行することができませんでした。

原因: 実行エラー

LNM.043

レベル: C-INFO

短構文: LNM.043 server error, code = error port port nt network msgptr

長構文: LNM.043 server error, code = error port port network network msgptr

説明: 指定されたサーバー構成要素はソケット操作を実行することができませんでした。

原因: 実行エラー

LNM.044

レベル: C-INFO

短構文: LNM.044 server error, code = error port port nt network msgptr

長構文: LNM.044 server error, code = error port port network network msgptr

説明: 指定されたサーバー構成要素は記憶域のリストを実行することができませんでした。

原因: 実行エラー

LNM.045

レベル: C-INFO

短構文: LNM.045 server error, code = error port port nt network msgptr

長構文: LNM.045 server error, code = error port port network network msgptr

説明: 指定されたサーバー構成要素は LSS 構文解析操作を実行することができませんでした。

原因: TRD によって不良パケットが送信されました。

LNM.046

レベル: C-INFO

短構文: LNM.046 server error, code = error port port nt network msgptr

長構文: LNM.046 server error, code = error port port network network msgptr

説明: 示されているサーバー構成要素が LLC2 からエラー戻り状況を受信しました。

原因: 実行エラー

LNM.047

レベル: C-INFO

短構文: LNM.047 server error, code = error port port nt network msgptr

長構文: LNM.047 server error, code = error port port network network msgptr

説明: 指定されたサーバー構成要素は LSCM 操作を実行することができませんでした。

原因: 構成エラー

LNM.048

レベル: C-INFO

短構文: LNM.048 server error, code = error port port nt network msgptr

長構文: LNM.048 server error, code = error port port network network msgptr

説明: 指定されたサーバー構成要素は LRM からエラー戻り状況を受信しました。

原因: 実行エラー

LNM.049

レベル: C-INFO

短構文: LNM.049 server error, code = error port port nt network msgptr

長構文: LNM.049 server error, code = error port port network network msgptr

説明: 指定されたサーバー構成要素は LBS からエラー戻り状況を受信しました。

原因: 実行エラー

LNLM.050

レベル: C-INFO

短構文: LNM.050 server error, code = error port port nt network msgptr

長構文: LNM.050 server error, code = error port port network network msgptr

説明: 指定されたサーバー構成要素は CRS からエラー戻り状況を受信しました。

原因: 実行エラー

LNLM.051

レベル: C-INFO

短構文: LNM.051 server error, code = error port port nt network msgptr

長構文: LNM.051 server error, code = error port port network network msgptr

説明: 指定されたサーバー構成要素は REM からエラー戻り状況を受信しました。

原因: 実行エラー

LNLM.052

レベル: C-INFO

短構文: LNM.052 server error, code = error port port nt network msgptr

長構文: LNM.052 server error, code = error port port network network msgptr

説明: 指定されたサーバー構成要素は RPS からエラー戻り状況を受信しました。

原因: 実行エラー

LNLM.053

レベル: C-INFO

短構文: LNM.053 server error, code = error port port nt network msgptr

長構文: LNM.053 server error, code = error port port network network msgptr

説明: 指定されたサーバー構成要素は TRD からエラー戻り状況を受信しました。

原因: 実行エラー

LNLM.054

レベル: C-INFO

短構文: LNM.054 server error, code = error port port nt network msgptr

長構文: LNM.054 server error, code = error port port network network msgptr

説明: 指定されたサーバー構成要素はシステム・エラー戻り状況を受信しました。

原因: 実行エラー

LNLM.055

レベル: C-INFO

短構文: LNM.055 packet rcvd but no connection nt network

長構文: LNM.055 An LLC packet was received but no connection exists for network network

説明: LNM は不活性リンクに関する LLC パケットを受信しました。以前活性化されたリンクが不活性になったことを示している可能性があります。データは廃棄されました。

原因: 直前の接続要求は、ネットダウン状態のため、取り消されてしまった可能性があります。

LNLM.056

レベル: C-INFO

短構文: LNM.056 packet rcvd but SAP not open nt network

長構文: LNM.056 AN LLC packet was received but the LNM SAP is not open for network network

説明: LNM は LLC パケットを受信しましたが、LNM SAP はオープンされていません。おそらく、インターフェースがダウンしたことを示しています。データは廃棄されました。

原因: LNM SAP は、ネットダウン状態のため、クローズされてしまった可能性があります。

LNLM.057

レベル: U-INFO

短構文: LNM.057 This LNM release supports only one LAN to one WAN bridge

長構文: LNM.057 This LNM release supports only one LAN to one WAN bridge

説明: LNM の最初のリリース (14.0a) は、DNX 300 の LAN から WAN だけのサポートに限定されます。

原因: ユーザーの構成の誤り

処置: WAN に対する LAN となるようブリッジを再構成するか、後続リリース版を使用します。

LNM.058

レベル: C-TRACE

短構文: LNM.058 LNM- *major-vector direction*, link *link*, port *port*, nt *network*

長構文: LNM.058 LNM protocol message *major-vector direction*, link *link*, port *port*, network *network*

説明: このメッセージは、すべての着信および発信 IBM LAN ネットワーク・マネージャー・プロトコル・メッセージをトレースします。 *major-vectors* 値については、IBM トークンリング・アーキテクチャーの資料 SC30-3374 で説明しています。メッセージの *direction* は、rcvd または sent で、メッセージに示されています。 *link* 値は、LINK が確立されている場合は、0 ~ 3 で、非 LINK メッセージ (UNITDATA メッセージ) の場合は、242 です。

LNM.059

レベル: C-TRACE

短構文: LNM.059 MAC- *MAC-vector direction*, port *port*, nt *network*

長構文: LNM.059 MAC protocol message *MAC-vector direction*, port *port*, network *network*

説明: このメッセージは、すべての着信および発信 MAC メッセージをトレースします。 *MAC-vector* 値については、IBM トークンリング・アーキテクチャーの資料 SC30-3370 で説明しています。メッセージの *direction* は、rcvd または sent で、メッセージに示されています。

LNM.060

レベル: UI-ERROR

短構文: LNM.060 Drp LNM frm, len *frame-length*, nt *network*

長構文: LNM.060 Dropping LNM frame, length *frame-length*, network *network*

説明: 以下に挙げる 2 つのうちいずれか 1 つの理由により、ルーターが着信メッセージを除去中です。(1) フレームの長さがゼロで、LNM は防御上パケットを廃棄するか、(2) LNM が内部 LNM バッファを獲得できない (これは、発生がまったく予期できない)。フレームの長さは表示されるので、理由が (1) であるか (2) であるかは分かります。理由が (1) であるか (2) であるかを、サービス技術員に通知する必要があります。

LNM.061

レベル: U-INFO

短構文: LNM.061 LNM support *action* in LAN Switch: domain *domain-index* net *network*

長構文: LNM.061 LNM support *action* in LAN Switch: domain *domain-index* network *network*

説明: LAN スイッチ上のポートに関連するネットワークに対して、LNM サポートが構成されました。LAN スイッチ上の対応するドメインがリストされています。要求された処置は正常に行なわれました。

原因: なし。

処置: なし。

LNM.062

レベル: U-INFO

短構文: LNM.062 LNM support failed for domain *domain-index* net *network* action *action* error code *rc*

長構文: LNM.062 LNM support failed for domain *domain-index* network *network* action *action* error code *rc*

説明: LAN スイッチ上のポートに関連するネットワークに対して、LNM サポートが構成されました。LAN スイッチ上の対応するドメインがリストされています。このサポートの要求された処置は、以下のエラー・コードの 1 つによって示される理由で、失敗しました。1 - 無効なドメイン番号 2 - ドメインに複数の物理ポートが構成されている 3 - ドメインにポートが構成されていない 4 - ポートに機能アドレスを設定できない 5 - スイッチのマикроコードが下位レベルである 6 - 互換性のない ARI/FCI オプション (非ルートにのみ設定) 7 - 互換性のないハードウェア (MPC 3.0)

原因: ユーザーの構成の誤り

処置: 戻されたエラー・コードを調べて、該当する装置の構成をやり直してください。

第60章 LAN スイッチ統合 (LSI)

この章では、LAN スイッチ統合 (LSI) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

LSI.001

レベル: U-INFO

短構文: LSI.001 Rcv *packet_type* len *length* dom *domain* from *from_hw_add* to *to_hw_add* net *network ID*

長構文: LSI.001 Received a packet type: *packet_type* length *length* on logical port *domain* from *from_hw_add* to *to_hw_add* to net *network ID*

説明: LAN スイッチからフレームを受信しました。

原因: LAN スイッチからフレームを受信しました。

LSI.002

レベル: U-INFO

短構文: LSI.002 Snd *type* len *length* dom *domain* from *from_hw_add* to *to_hw_add* net *network ID*

長構文: LSI.002 Sending a packet type *type* of length *length* on domain *domain* from *from_hw_add* to *to_hw_add* from net *network ID*

説明: LAN スイッチにフレームを送信中です。

原因: LAN スイッチにフレームを送信中です。

LSI.003

レベル: U-INFO

短構文: LSI.003 Frame rcv too big for net Max: *max* Len: *length* Elp: *elp* from *from_hw_add* to *to_hw_add* net *network ID*

長構文: LSI.003 Frame received too large for net Max: *max* Len: *length* Elp: *elp* from *from_hw_add* to *to_hw_add* net *network ID*

説明: パケットを受信しましたが、大き過ぎてネット・インターフェースで処理できません。

原因: パケットを受信しましたが、大き過ぎてネット・インターフェースで処理できません。

LSI.004

レベル: U-INFO

短構文: LSI.004 Disc frame *type* len *length* from dom:

domain from *from_hw_add* to *to_hw_add* type: *elptype*

長構文: LSI.004 Discard frame *type* length *length* from domain *domain* from *from_hw_add* to *to_hw_add* type: *elptype*

説明: パケットを受信しましたが、関連のネットのアドレスと一致していません。

原因: このドメインの関連のネットとそれらに構成されたプロトコルにとっては必要のないパケットを受信しました。

LSI.005

レベル: U-INFO

短構文: LSI.005 Rif Walk post bdg Dom: *domain* DestSeg: *sseg* SrcSeg *pseg* ret:

長構文: LSI.005 Rif Walk post bdg Domain: *domain* DestSeg: *sseg* SrcSeg *pseg* ret:

説明: ブリッジ機能からパケットを受信しましたが、正しい発信元セグメントに転送する必要があります。発信元ブリッジ・セグメント。

原因: ブリッジの後でパケットを受信しました。

LSI.006

レベル: P-TRACE

短構文: LSI.006 Trace LSI packet

長構文: LSI.006 Trace LSI packet

説明: 入力または出力パケットをトレースします。

LSI.007

レベル: U-INFO

短構文: LSI.007 VCC Handle: *txId* added for lcd: *vcc* domain: *domain*

長構文: LSI.007 VCC Handle: *txId* added for lcd: *vcc* domain: *domain*

説明: ハードウェア・パスのために、VCC ハンドルがこの LCD に追加されました。

LSI.008

レベル: U-INFO

短構文: LSI.008 TxID: *txId* added for VCC Handle: *vcc*
domain: *domain*

長構文: LSI.008 TxID: *txId* added for VCC Handle: *vcc*
domain: *domain*

説明: LAN スイッチ送信チャネルが作成されました。

LSI.009

レベル: U-INFO

短構文: LSI.009 mac addr *mac* assigned TxID: *txId* domain:
domain

長構文: LSI.009 mac addr *mac* assigned TxID: *txId* domain:
domain

説明: MAC アドレスが *txid* に関連付けられ、そのアドレスあてのパケットはハードウェアによって LAN スイッチから ATM ネットワークに切り替えられるようになります。

LSI.010

レベル: U-INFO

短構文: LSI.010 Route Desc *rd* assigned TxID: *txId* domain:
domain

長構文: LSI.010 Route Desc *rd* assigned TxID: *txId* domain:
domain

説明: ルート記述子が *txid* に関連付けられ、そのルート記述子あてのパケットはハードウェアによって LAN スイッチから ATM ネットワークに切り替えられるようになります。

LSI.011

レベル: U-INFO

短構文: LSI.011 HwPath VCC deleted *vcc_id*: *vcc* *lcd_p*:
lcd_p

長構文: LSI.011 HwPath VCC deleted *vcc_id*: *vcc* *lcd_p*:
lcd_p

説明: VCC が、ブリッジされたハードウェア・パスから削除されました。

LSI.012

レベル: U-INFO

短構文: LSI.012 TxId deleted id: *txid*

長構文: LSI.012 TxId deleted id: *txid*

説明: *txid* は、関連の VCC が削除されたときに、ブリッジされたハードウェア・パスから削除されました。

LSI.014

レベル: U-INFO

短構文: LSI.014 mac addr *mac* reassigned txId: *txId*
domain: *domain* sw *pth*

長構文: LSI.014 mac addr *mac* reassigned txId: *txId*
domain: *domain* sw *pth*

説明: *txid* に関連付けられた MAC アドレスが再割り当てされており、そのアドレスあてのパケットは、ソフトウェアによって処理されて、ATM ネットワークに送られるようになります。

LSI.015

レベル: U-INFO

短構文: LSI.015 Route Desc *rd* reassigned txId: *txId*
domain: *domain* sw *pth*

長構文: LSI.015 Route Desc *rd* reassigned txId: *txId*
domain: *domain* sw *pth*

説明: *txid* に関連付けられたルート記述子が再割り当てされており、そのルート記述子あてのパケットは、ソフトウェアによって処理されて、ATM ネットワークに送られるようになります。

LSI.016

レベル: U-INFO

短構文: LSI.016 Packet Disc bad Rif len: *len* domain:
domain Intf: *intf*

長構文: LSI.016 Packet Disc bad Rif len: *len* domain:
domain Intf: *intf*

説明: ソフトウェア・ブリッジから LAN スイッチに送信されたパケットが、パケット内の RIF フィールドが正しくないために廃棄されました。

原因: 内部ソフトウェア・エラー

LSI.017

レベル: U-INFO

短構文: LSI.017 Packet Disc bad txid: *txid* len: *len*

長構文: LSI.017 Packet Disc bad txid: *txid* len: *len*

説明: LAN スイッチから受信したパケットが、無効な *txchannel* のために廃棄されました。

原因: 内部ソフトウェア・エラー

LSI.018

レベル: U-INFO

短構文: LSI.018 Snd Pkt Disc no mimic buffer dom: *dom*, len: *len*

長構文: LSI.018 Send Packet Disc no mimic buffers dom: *dom*, len: *len*

説明: LAN スイッチに転送するパケットをコピーするために使用可能な疑似バッファがないために、パケットが廃棄されました。

原因: 内部ソフトウェア・エラー

LSI.019

レベル: U-INFO

短構文: LSI.019 Get Domain Members Request issued for domain: *domain*

長構文: LSI.019 Get Domain Members Request issued for domain: *domain*

説明: LAN スイッチに対して、ドメイン・メンバー獲得要求が出されました。

LSI.020

レベル: U-INFO

短構文: LSI.020 Get Domain Members Response received for domain: *domain*

長構文: LSI.020 Get Domain Members Response received for domain: *domain*

説明: LAN スイッチから、ドメイン・メンバー獲得応答を受信しました。

LSI.021

レベル: U-INFO

短構文: LSI.021 function:feCrfMembersResponse, LEC Net pointer for domain: *domain* is 0

長構文: LSI.021 Net pointer for domain: *domain* is 0

説明: プロキシリー LEC に関連したネット・ポインターが無効です。

LSI.022

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.022 VCC Handle not available for lcd: vcc domain: *domain*

長構文: LSI.022 VCC Handle not available for lcd: vcc domain: *domain*

説明: ハードウェア・パス用に利用可能な VCC ハンドルはもうありません。

LSI.023

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.023 TxID not available for VCC Handle: vcc domain: *domain*

長構文: LSI.023 TxID not available for VCC Handle: vcc domain: *domain*

説明: ハードウェア・パス用に利用可能な送信チャネル ID はもうありません。

LSI.024

レベル: U-INFO

短構文: LSI.024 MPOA mac addr *mac* was NOT assigned to TxID: *txId* domain: *domain*

長構文: LSI.024 MPOA mac addr *mac* was NOT assigned to TxID: *txId* domain: *domain*

説明: MAC アドレスは MPOA アドレスであり、TxID には関連付けられません。

LSI.025

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.025 net *bdg* and net *rtr* are both SRB bridged on domain *dom*, net *network ID* disabled

長構文: LSI.025 net *bdg* and net *rtr* are both SRB bridged on domain *dom*, net *network ID* disabled

説明: 2 つのブリッジ・セグメントをもつ 2 つの SRB インターフェースが、同じドメインに割り当てられました。これは無効な構成であり、2 つのインターフェースのうちの 2 番目のものが強制的に使用不可状態にされました。

LSI.026

レベル: U-INFO

短構文: LSI.026 A packet was discarded because the destined net was down

長構文: LSI.026 A packet was discarded because the destined net was down

説明: パケットは、あて先のネットが使用不可であるか、ダウンしているために廃棄されました。

LSI.027

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.027 The hw path received a null pointer on rx

長構文: LSI.027 The hw path received a null pointer on rx

説明: ハードウェア・ブリッジはネットワーク・インターフェースから事象を受信しましたが、ヌル・パケット・ポインターを持っていました。

LSI.028

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.028 The hw path detected a PCI error

長構文: LSI.028 The hw path detected a PCI error

説明: ハードウェア・パスが PCI エラーを検出しました。詳細を示した追加のメッセージが続いて出される場合もあります。

LSI.029

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.029 The hw path detected a PCI DMA error

長構文: LSI.029 The hw path detected a PCI DMA error

説明: ハードウェア・パスが PCI DMA エラーを検出しました。詳細を示した追加のメッセージが続いて出される場合もあります。

LSI.030

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.030 The hw path detected a PCI DMA error on the transmit path

長構文: LSI.030 The hw path detected a PCI DMA error on the transmit path

説明: ハードウェア・パスが PCI DMA エラーを検出しました。詳細を示した追加のメッセージが続いて出される場合もあります。

LSI.031

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.031 The hw path detected a PCI DMA error on the receive path

長構文: LSI.031 The hw path detected a PCI DMA error on the receive path

説明: ハードウェア・パスが PCI DMA エラーを検出しました。詳細を示した追加のメッセージが続いて出される場合もあります。

LSI.032

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.032 The hw path detected an error in a packet that was received from the lan switch

長構文: LSI.032 The hw path detected an error in a packet that was received from the lan switch

説明: ハードウェア・パスは、LAN スイッチから受信したネットワーク・インターフェースあてのパケットの制御ブロック・ヘッダー内にエラーを検出しました。

LSI.033

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.033 The hw path detected target abort signal on the PCI bus.

長構文: LSI.033 The hw path detected target abort signal on the PCI bus.

説明: ハードウェア・パスは、ネットワーク・インターフェースとの間でパケットの転送を試みているときにエラーを検出しました。

LSI.034

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.034 The hw path detected master abort signal on the PCI bus.

長構文: LSI.034 The hw path detected master abort signal on the PCI bus.

説明: ハードウェア・パスは、ネットワーク・インターフェースとの間でパケットの転送を試みているときにエラーを検出しました。

LSI.035

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.035 The hw path received a parity error signal from a target.

長構文: LSI.035 The hw path received a parity error signal from a target.

説明: ハードウェア・パスは、ネットワーク・インターフェースへのパケットの転送を試みているときにエラーを検出しました。このエラーは、パケットを記憶スペースに入れるために DMA (直接メモリー・アクセス) して

いるときに、ネットワーク側で検出されました。

LSI.036

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.036 The hw path received a detected a parity on the pci bus.

長構文: LSI.036 The hw path received a detected a parity on the pci bus.

説明: ハードウェア・パスは、ネットワーク・インターフェースからのパケットの転送を試みているときにエラーを検出しました。これは、パケットを記憶スペースに入れるために DMA しているときに、ハードウェア・パス側で検出されました。

LSI.037

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.037 The hw path dma was unexpectedly halted.

長構文: LSI.037 The hw path dma was unexpectedly halted.

説明: ハードウェア・パス DMA エンティティが、予期せずに停止しました。リスタートが試みられますが、ハードウェア・パスを回復できない可能性があります。

LSI.038

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.038 An inv int was reg net *network ID*/ *dom* on *dom*:

長構文: LSI.038 An inv int was reg net *network ID*/ *dom* on *dom*:

説明: 無効なネットワークが LSI クライアントに登録されました。おそらく、これは無効な構成、または破壊された構成が原因と考えられます。

LSI.039

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.039 A hw path reset timed out.

長構文: LSI.039 A hw path reset timed out.

説明: HW パスに対してリセットが出され、正しい状態が達成される前にタイムアウトになりました。これは PCI エラーの結果、またはその他の問題が考えられます。システムはまだ作動可能である場合もあります。

LSI.040

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.040 A hw path looped packet failed.

長構文: LSI.040 A hw path looped packet failed.

説明: スイッチへのループ・パケットを正常に受信できませんでした。この結果、リセットを必要とするような重大なエラーがシステム上に発生する可能性があります。システムはまだ作動可能である場合もあります。

LSI.041

レベル: UI-ERROR

短構文: LSI.041 nt *network error_lvl log_point*

長構文: LSI.041 network *network*: lsi error log: *error_lvl log_point*

説明: LSI 一般エラー

LSI.042

レベル: UI-ERROR

短構文: LSI.042 improper looped frame *type len length* from *dom: domain* from *from_hw_add* to *to_hw_add* type: *elptype*

長構文: LSI.042 improper looped frame *type len length* from *dom: domain* from *from_hw_add* to *to_hw_add* type: *elptype*

説明: MSS UFC カードから MSS カードへと不適正にループバックされたフレームを受信しました。これは、スイッチ・マイクロコードのバック・レベル・バージョンの結果である場合があります。

LSI.043

レベル: U-INFO

短構文: LSI.043 loop Snd *type len length dom domain* from *from_hw_add* to *to_hw_add* net *network ID*

長構文: LSI.043 looping a packet *type type* of length *length* on domain *domain* from *from_hw_add* to *to_hw_add* from net *network ID*

説明: フレームを MSS カードにループバックさせるために、LAN スイッチへとフレームを送信中です。

LSI.044

レベル: U-INFO

短構文: LSI.044 Disc frm out inl: t *type dom length len domain from_hw_add -> to_hw_add n network ID*

長構文: LSI.044 Disc frame out when in_low set: *type type*

dom *length length domain from from_hw_add to to_hw_add*
net *network ID*

説明: 発信元インターフェースがバッファを使い果たった状態にあったため、LAN スイッチに送信されるはずだったフレームが廃棄されました。

LSI.045

レベル: U-INFO

短構文: LSI.045 Buff not avail for cpy pkt: type: *type*
length length dom domain from from_hw_add to to_hw_add
net *network ID*

長構文: LSI.045 Buff not avail for cpy pkt: type: *type*
length length dom domain from from_hw_add to to_hw_add
net *network ID*

説明: LAN スイッチから MSS カードに送信されるはずだったフレームが、このドメイン上に構成される 2 番目のネットにコピーされることになっていました。LAN スイッチ・インターフェースのバッファが不足していたため、バッファのコピーを 2 番目のインターフェースに送信することができませんでした。この事象が頻繁に発生する場合は、次のようにすることをお勧めします。できれば、2 番目のインターフェースをそれ自体のドメインに移動するか、あるいはインターフェースがボックス管理にのみ使用されている場合は、代わりに IPHOST を使用します。

LSI.046

レベル: U-INFO

短構文: LSI.046 LAN Switch Out queue over flow

長構文: LSI.046 LAN Switch Out queue over flow

説明: MSS UFC がこの時点で受信可能な量を超えるトラフィックを、LAN スイッチが MSS UFC に送信中です。指定されていない数のパケットが、廃棄された可能性があります。この事象はエラーとは見なされませんが、この事象を高い率で受け取る場合は、ネットワークが使用状況を示している可能性があります。ネットワークを再構成するか、不適切なトラフィックをフィルターに掛けると、このエラーが減る場合があります。

第61章 レイヤー 2 トンネル伝送 (L2)

この章では、レイヤー 2 トンネル伝送 (L2) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

L2.001

レベル: UI_ERROR

短構文: L2.001 ERROR: *errorString*

長構文: L2.001 ERROR: *errorString*

説明: 一般エラー - このエラーが生じた場合は、重大な障害があります。何が起きたか、またはそれが起きた場所 (あるいは、その両方) についての簡単な説明が、このメッセージに付属しています。

L2.002

レベル: CI_ERROR

短構文: L2.002 WARNING: *warningString*

長構文: L2.002 WARNING: *warningString*

説明: 一般警告 - これは、通常の状態で資源 (バッファ、ネット、コール、トンネルなど) が不足したとき、あるいは同位が何か予期しないことを行なったときに出されます。何が起きたか、またはそれが起きた場所 (あるいは、その両方) についての簡単な説明が、このメッセージに付属しています。

L2.003

レベル: C-INFO

短構文: L2.003 L2 Slf Tst net *net*

長構文: L2.003 Performing Self Test on L2 network *net*

説明: l2tp_slftst に入っています。

L2.004

レベル: C-INFO

短構文: L2.004 L2 init net *net*

長構文: L2.004 Intitalizing L2 network *net*

説明: l2tp_init に入っています。

L2.005

レベル: C-INFO

短構文: L2.005 L2 install net *net*

長構文: L2.005 Installing L2 network *net*

説明: l2tp_install に入っています。

L2.006

レベル: C-INFO

短構文: L2.006 LCP start net *net* cause= *cause*

長構文: L2.006 Renegotiate LCP-L2 net *net*, cause= *cause*

説明: リストされている原因により、L2 ネットワーク上で LCP がリスタートされました。

L2.007

レベル: C-INFO

短構文: L2.007 LNS action L2 net *net*

長構文: L2.007 LNS action L2 network *net*

説明: LNS 上の L2 ネットワークを割り振り/解放 (アクション) しました。

L2.008

レベル: P_TRACE

短構文: L2.008 Call Make AVPtype AVP,attr= *attributeNo*,val= *value*,len= *length*,flag= *flags*

長構文: L2.008 Call Make AVPtype AVP,attr= *attributeNo*,val= *value*,len= *length*,flag= *flags*

説明: コールは、指定された属性をもつ AVP を作成しています。値 0 は、その値が長過ぎてメッセージに表示できないことを示します。

L2.009

レベル: P_TRACE

短構文: L2.009 Call Rcv AVPtype AVP,attr= *attributeNo*,val= *value*,len= *length*,flag= *flags*

長構文: L2.009 Call Rcv AVPtype AVP,attr= *attributeNo*,value= *value*,len= *length*,flags= *flags*

説明: コールは、指定された属性をもつ AVP を受信しています。値 0 は、その値が長過ぎてメッセージに表示できないか、ローカルでサポートされないことを示します。

L2.010

レベル: C_TRACE

短構文: L2.010 Start Call LAC net *net*, speed= *speed*, btype= *bearer*, frame= *framing*, auth= *proxy_auth*

長構文: L2.010 Start Call LAC net *net*, speed= *speed*, btype= *bearer*, ftype= *framing*, auth= *proxy_auth*

説明: LAC から FSM のコールを開始しています。リストされているパラメーターは、速度 (ビット/秒)、ベアラー・タイプ、フレーム・タイプ、およびプロキシー認証タイプです。

L2.011

レベル: C_TRACE

短構文: L2.011 Stopping Call id= *callid*, net *net* int /

長構文: L2.011 Stopping Call id= *callid*, net *net* int /

説明: コールを停止しています。

L2.012

レベル: C-INFO

短構文: L2.012 Local Term net *net*

長構文: L2.012 Local Terminate L2 network *net*

説明: ローカル終了は、安全な切り離し、または何らかの理由での物理的なダウン事象を意味しています。

L2.013

レベル: C-INFO

短構文: L2.013 Call *id* State Changed *old* -> *new*

長構文: L2.013 Call *id* State Changed *old* -> *new*

説明: コールの状態が変更されました。

L2.014

レベル: C_TRACE

短構文: L2.014 CallORTunnel from net *net*

長構文: L2.014 CallORTunnel from net *net*

説明: これは L2TP システムへの入り口です。コールを開始しています (トンネルも開始する必要がある可能性があります)。

L2.015

レベル: C_TRACE

短構文: L2.015 Call Established- *Type*, net= *net*, speed= *speed*, flags= *sendFlags*

長構文: L2.015 Call Established- *Type*, net= *net*, speed= *speed*, flags= *sendFlags*

説明: FSM のコールが確立状態に達しました。

L2.016

レベル: C_TRACE

短構文: L2.016 Forcing initial CHAP challenge

長構文: L2.016 Forcing initial CHAP challenge

説明: ピアはプロキシー CHAP を送信しましたが、ユーザーはセキュリティ上の理由から、初期 CHAP 再チャレンジを強制するように構成しました。

L2.017

レベル: C_TRACE

短構文: L2.017 Using Proxy- *authType* AUTH on net *net*

長構文: L2.017 Using Proxy- *authType* AUTH on net *net*

説明: LNS は、ピアから示されたプロキシー認証タイプを受け入れています。

L2.018

レベル: C_TRACE

短構文: L2.018 Aborting Call, callid= *callid*, net= *net*

長構文: L2.018 Aborting Call, callid= *callid*, net= *net*

説明: コールを強制終了しています。

L2.019

レベル: C_TRACE

短構文: L2.019 Cleaning up *type* Call id= *callid*

長構文: L2.019 Cleaning up *type* Call id= *callid*

説明: コールの構造と状態を終結処理しています。

L2.020

レベル: P_TRACE

短構文: L2.020 RCV *type*, callid= *callid*, net= *net*

長構文: L2.020 RCV *type*, callid= *callid*, net= *net*

説明: 示されているコール制御メッセージを受信しま

す。資源の状態の場合は、ネットは 0 です。

L2.021

レベル: P_TRACE

短構文: L2.021 SEND *type*, *callid*= *callid*, *net*= *net*

長構文: L2.021 SEND *type*, *callid*= *callid*, *net*= *net*

説明: 示されているコール制御メッセージを送信します。資源の状態の場合は、ネットは 0 です。

L2.022

レベル: P_TRACE

短構文: L2.022 PAYLOAD RCVD *bytes bytes*, *net net*, *callid*= *cid*

長構文: L2.022 PAYLOAD RCVD *bytes bytes*, *net net*, *callid*= *cid*

説明: LAC/LNS 上で PAYLOAD パケットを受信しました。

L2.023

レベル: P_TRACE

短構文: L2.023 Send *type* Zero Len Body (ZLB), *tid*= *tid*, *cid*= *cid*

長構文: L2.023 Send *type* Zero Len Body (ZLB), *tid*= *tid*, *cid*= *cid*

説明: ACK のために ZLB をピアに送信しようとしています。

L2.024

レベル: P_TRACE

短構文: L2.024 PAYLOAD SEND *bytse bytes*, *net*= *net*, *callid*= *cid*

長構文: L2.024 PAYLOAD SEND *bytse bytes*, *net*= *net*, *callid*= *cid*

説明: ペイロードを送信します。

L2.025

レベル: P_TRACE

短構文: L2.025 LNS Rcvd Proxy-Lcp *type* updating *local_remote*

長構文: L2.025 LNS Rcvd Proxy-Lcp *type* updating *local_remote*

説明: LNS は LAC から proxy-lcp を受信しました。

L2.026

レベル: P_TRACE

短構文: L2.026 LNS Forcing LCP MRU= *mru*

長構文: L2.026 LNS Forcing LCP MRU= *mru*

説明: LNS は LAC からの proxy-mru を処理しています。

L2.027

レベル: P_TRACE

短構文: L2.027 LNS Forcing LCP ACCM= *accm*

長構文: L2.027 LNS Forcing LCP ACCM= *accm*

説明: LNS は LAC からの proxy-accm を処理しています。

L2.028

レベル: P_TRACE

短構文: L2.028 LNS Forcing LCP Auth= *auth_type*

長構文: L2.028 LNS Forcing LCP Auth= *auth_type*

説明: LNS は LAC からの proxy-lcp 認証を処理しています。

L2.029

レベル: P_TRACE

短構文: L2.029 LNS Forcing LCP Magic Number= *auth_type*

長構文: L2.029 LNS Forcing LCP Magic Number= *auth_type*

説明: LNS は LAC からの proxy-magic-number を処理しています。

L2.030

レベル: P_TRACE

短構文: L2.030 LNS Forcing LCP option *option*

長構文: L2.030 LNS Forcing LCP option *option*

説明: LNS は LAC からの proxy-lcp オプションを処理しています。

L2.031

レベル: P_TRACE

短構文: L2.031 LNS Forcing LCP Quality *prot*= *prot*, *period*= *period*

長構文: L2.031 LNS Forcing LCP Quality prot= *prot*, period= *period*

説明: LNS は LAC からの proxy-lcp 品質を処理しています。

L2.032

レベル: P_TRACE

短構文: L2.032 LNS Forcing LCP MRRU= *MRRU*

長構文: L2.032 LNS Forcing LCP MRRU= *MRRU*

説明: LNS は LAC からの proxy-mrru を処理しています。

L2.033

レベル: P_TRACE

短構文: L2.033 LNS Forcing LCP Endpt Disc cls= *class*, addr= *address*

長構文: L2.033 LNS Forcing LCP Endpt Disc cls= *class*, addr= *address*

説明: LNS は LAC からの proxy-endpt-discriminator を処理しています。

L2.034

レベル: P_TRACE

短構文: L2.034 LNS Forcing LCP Link-Discriminator= *ld*

長構文: L2.034 LNS Forcing LCP Link-Discriminator= *ld*

説明: LNS は LAC からの proxy-link-discriminator を処理しています。

L2.035

レベル: P_TRACE

短構文: L2.035 Tunnel Auth Create *type*, Tid= *tid*/ *len*, Len=

長構文: L2.035 Tunnel Auth Create *type*, Tid= *tid*/ *len*, Len=

説明: トンネル認証 AVP を作成しています。

L2.036

レベル: P_TRACE

短構文: L2.036 Create Result Code AVP:rslt= *result*,err= *error*

長構文: L2.036 Create Result Code AVP:rslt= *result*,err= *error*

説明: 結果コード AVP を作成しています。

L2.037

レベル: C_INFO

短構文: L2.037 l2tp_conf init L2-tunneling maxcalls= *maxcalls* maxtunnels= *maxtunnels*

長構文: L2.037 l2tp_conf init L2-tunneling maxcalls= *maxcalls* maxtunnels= *maxtunnels*

説明: レイヤー 2 トンネル伝送の初期化を行なっています。

L2.038

レベル: CE_ERROR

短構文: L2.038 PPP Discard packet - setting up tunnel, net *net*

長構文: L2.038 PPP Discard packet - setting up tunnel, net *net*

説明: トンネル/コールが確立されていないため、クライアントからの PPP パケットを廃棄しています。

L2.039

レベル: C_INFO

短構文: L2.039 NOTE: *note_msg*

長構文: L2.039 NOTE: *note_msg*

説明: 一般的な注釈

L2.040

レベル: P_TRACE

短構文: L2.040 RCV F= *flags*,L= *length*,Tid= *tunnelid*,Cid= *callid*,NS= *ns*,NR= *nr*,O= *offset*

長構文: L2.040 RCV F= *flags*,L= *length*,Tid= *tunnelid*,Cid= *callid*,NS= *ns*,NR= *nr*,O= *offset*

説明: レイヤー 2 トンネル伝送コンポーネントが、トンネル伝送されたパケットを受信しました。表示されたフィールドのいくつかを受信していない可能性があるので注意が必要です。"flags" マスクを使用して、受信したフィールドを見つけてください。

L2.041

レベル: P_TRACE

短構文: L2.041 SND F= *flags*,L= *length*,Tid= *tunnelid*,Cid= *callid*,NS= *ns*,NR= *nr*,O= *offset*

長構文: L2.041 SND F= *flags*,L= *length*,Tid= *tunnelid*,Cid=

callid,NS= ns,NR= nr,O= offset

説明: レイヤー 2 トンネル伝送コンポーネントが、トンネル伝送されたパケットを送信しています。表示されたフィールドの一部のものが送信されていない可能性があるので注意が必要です。"flags" マスクを使用して、どのフィールドが送信されたのかを確認してください。

L2.042

レベル: P_TRACE

短構文: L2.042 Rcvd pkt udp_len= *WUDP_LEN*, L2_len= *L2_LEN*

長構文: L2.042 Rcvd pkt udp_len= *WUDP_LEN*, L2_len= *L2_LEN*

説明: UDP パケットの長さが、L2 パケットの長さに一致していません。

L2.043

レベル: P_TRACE

短構文: L2.043 RCV *type* Zero Len Body (ZLB), tid= *tid*,cid= *cid*

長構文: L2.043 RCV *type* Zero Len Body (ZLB), tid= *tid*,cid= *cid*

説明: ピアから ZLB を受信しました。

L2.044

レベル: C_INFO

短構文: L2.044 Allocating UDP port *port* for tunnelid= *tid*

長構文: L2.044 Allocating UDP port *port* for tunnelid= *tid*

説明: トンネル用の UDP 発信元ポートを割り振りました。

L2.045

レベル: P_TRACE

短構文: L2.045 *packet* Pkt Queued for delayed *type* XMT, id= *id*

長構文: L2.045 *packet* Pkt Queued for delayed *type* XMT, id= *id*

説明: レイヤー 2 トンネル伝送システムがビジー (xmt ウィンドウが満ぱい) であるため、このパケットは送信を遅らせるために待ち行列に入れられました。

L2.046

レベル: C_INFO

短構文: L2.046 Clearing callid= *callid*, tunnelid= *tunnelid*

長構文: L2.046 Clearing callid= *callid*, tunnelid= *tunnelid*

説明: コールを解放しています。

L2.047

レベル: C-INFO

短構文: L2.047 Tunnel *tid*/ *peer-tid* State Changed *old* -> *new*

長構文: L2.047 Tunnel *tid*/ *peer-tid* State Changed *old* -> *new*

説明: コールの状態が変更されました。

L2.048

レベル: P_TRACE

短構文: L2.048 RCV *type*, tid= *tid*/ *peer-tid*

長構文: L2.048 RCV *type*, tid= *tid*/ *peer-tid*

説明: 示されているトンネル制御メッセージを受信します。

L2.049

レベル: P_TRACE

短構文: L2.049 SEND *type*, tid= *tid*/ *peer-tid*

長構文: L2.049 SEND *type*, tid= *tid*/ *peer-tid*

説明: 示されているトンネル制御メッセージを送信します。

L2.050

レベル: C_INFO

短構文: L2.050 EVENT *event*,tid= *tunnelid*/ *peerid*,state= *state*

長構文: L2.050 EVENT *event*,tid= *tunnelid*/ *peerid*,state= *state*

説明: トンネル発信側/受信側の事象

L2.051

レベル: C_INFO

短構文: L2.051 Cleaning up tunnelid *tid*/ *peerid*

長構文: L2.051 Cleaning up tunnelid *tid*/ *peerid*

説明: トンネルを終結処理しています。

L2.052

レベル: C_INFO

短構文: L2.052 Tunnel *tid/ peer-tid* has *seconds* seconds to establish itself

長構文: L2.052 Tunnel *tid/ peer-tid* has *seconds* seconds to establish itself

説明: <seconds> 秒後に確立されない場合、トンネルはダウンにされます。

L2.053

レベル: C_INFO

短構文: L2.053 tid *tid/ peerid* will shutdown in *seconds* seconds

長構文: L2.053 tid *tid/ peerid* will shutdown in *seconds* seconds

説明: <seconds> 秒後に、トンネルは遮断されます。

L2.054

レベル: C_INFO

短構文: L2.054 Assigning tunnel peer *peer*, tid= *IP/ address*

長構文: L2.054 Assigning tunnel peer *peer*, tid= *IP/ address*

説明: トンネルを割り当てています。

L2.055

レベル: C_INFO

短構文: L2.055 Delayed Tunnel clean-up tid= *tid/ peer-tid*, already doomed

長構文: L2.055 Delayed Tunnel clean-up tid= *tid/ peer-tid* already doomed

説明: トンネルの終結処理を遅らせました。

L2.056

レベル: C_INFO

短構文: L2.056 Call to kill tunnel *tid/ now*, already doomed, die gracefully

長構文: L2.056 Call to kill tunnel *tid/ now*, already doomed, die gracefully

説明: トンネルを強制終了します。

L2.057

レベル: P_TRACE

短構文: L2.057 Processing Challenge Response from Peer *peer*

長構文: L2.057 Processing Challenge Response from Peer *peer*

説明: チャレンジ・レスポンスを処理します。

L2.058

レベル: P_TRACE

短構文: L2.058 Peer *Attribute* = *value*

長構文: L2.058 Peer *Attribute* = *value*

説明: トンネル AVP (値は整数) を処理します。

L2.059

レベル: P_TRACE

短構文: L2.059 Peer *Attribute* = *value*

長構文: L2.059 Peer *Attribute* = *value*

説明: トンネル AVP (値は 16 進数) を処理します。

L2.060

レベル: P_TRACE

短構文: L2.060 Peer *Attribute* = *value*

長構文: L2.060 Peer *Attribute* = *value*

説明: トンネル AVP (値は文字列) を処理します。

L2.061

レベル: C_INFO

短構文: L2.061 unsuccessful result: code= *result*,error= *error* msg=

長構文: L2.061 unsuccessful result: code= *result*,error= *error* msg=

説明: 制御接続開始要求/応答/接続完了の処理の結果

L2.062

レベル: C_INFO

短構文: L2.062 *action* all calls on tunnel *tid*

長構文: L2.062 *action* all calls on tunnel *tid*

説明: トンネル上のすべてのコールの強制終了/解放

L2.063

レベル: P_TRACE

短構文: L2.063 Retransmit *msgtype* on tunnel *tid* call *cid*

長構文: L2.063 Retransmit *msgtype* on tunnel *tid* call *cid*

説明: ACK 待機のタイムアウト後に、パケットを再送しています。

L2.064

レベル: CE_ERROR

短構文: L2.064 Timeout waiting for ACK call *cid*

長構文: L2.064 Timeout waiting for ACK call *cid*

説明: ACK タイムアウト

L2.065

レベル: CE_ERROR

短構文: L2.065 Declaring LOST pkt on call *cid*

長構文: L2.065 Declaring LOST pkt on call *cid*

説明: 損失パケットを宣言します。

L2.066

レベル: CE_ERROR

短構文: L2.066 Tunnel Retransmit limit exceeded - killing tunnel *tid*

長構文: L2.066 Tunnel Retransmit limit exceeded - killing tunnel *tid*

説明: トンネル再送が最大

L2.067

レベル: C_INFO

短構文: L2.067 Result Code Rx code= *result_code* error= *error_code* msg= *message*

長構文: L2.067 Result Code Rx code= *result_code* error= *error_code* msg= *message*

説明: 結果コードを受信しました。

L2.068

レベル: C_INFO

短構文: L2.068 L2TPSEC: Processing Encoded Key AVP *a b c d e f g h i j k l m n o p*

長構文: L2.068 L2TPSEC: Processing Encoded Key AVP *a b c d e f g h i j k l m n o p*

説明: l2tpsec 符号化キー AVP

L2.069

レベル: C_INFO

短構文: L2.069 L2TPSEC: Decoded Key: *a b c d e f g h i j k l m n o p*

長構文: L2.069 L2TPSEC: Decoded Key: *a b c d e f g h i j k l m n o p*

説明: l2tpsec 符号化キー AVP

L2.070

レベル: C_INFO

短構文: L2.070 L2TPSEC: Create Encoded Key AVP *a b c d e f g h i j k l m n o p*

長構文: L2.070 L2TPSEC: Create Encoded Key AVP *a b c d e f g h i j k l m n o p*

説明: l2tpsec 符号化キー AVP

L2.071

レベル: C_INFO

短構文: L2.071 L2TPSEC: Actual Key is: *a b c d e f g h i j k l m n o p*

長構文: L2.071 L2TPSEC: Actual Key is: *a b c d e f g h i j k l m n o p*

説明: l2tpsec 符号化キー AVP

L2.072

レベル: C_INFO

短構文: L2.072 RESET: R Bit rcvd - clear q thru ns= *ns*, mynr= *nr*

長構文: L2.072 RESET: R Bit rcvd - clear q thru ns= *ns*, mynr= *nr*

説明: ピアから R ビットを受信しました。

L2.073

レベル: C_INFO

短構文: L2.073 *type* Originate Tunnel to peer *peer*

長構文: L2.073 *type* Originate Tunnel to peer *peer*

説明: トンネル・セッションを開始しています。

掛からないようにしてください。

L2.074

レベル: C_INFO

短構文: L2.074 Upcall from AAA subsystem, request *status*

長構文: L2.074 Upcall from AAA subsystem, request *status*

説明: AAA (RADIUS/ローカル・リスト) からのアップコールの結果の出力

L2.075

レベル: C_INFO

短構文: L2.075 Idle Timer Expired - Net *net*

長構文: L2.075 Idle Timer Expired - Net *net*

説明: アイドル・タイムアウトのために、デマンド回線がダウンになります。

L2.076

レベル: C_INFO

短構文: L2.076 Fixed Outbound L2TP circuit - initiate call
Nt *net*

長構文: L2.076 Fixed Outbound L2TP circuit - initiate call
Nt *net*

説明: 固定回線が自己テストを実行中 - コールを起動

L2.077

レベル: C_INFO

短構文: L2.077 Demand Outbound L2TP circuit - n_up Nt
net

長構文: L2.077 Demand Outbound L2TP circuit - n_up Nt
net

説明: デマンド回線が自己テストを実行中 - プロトコルを起動

L2.078

レベル: UE-ERROR

短構文: L2.078 Multi L2 Tunnel - discard nt *netnum*

長構文: L2.078 Multiple L2 tunnel - discard network
netnum

説明: 別のレイヤー 2 トンネルでトンネル伝送されるレイヤー 2 トンネルはサポートしていません。

原因: L2TP に渡されているパケットは、すでに L2TP を使ってカプセル化されています。

処置: L2TP またはルーティング・プロトコルを再構成して、トンネル伝送が再帰される際にトラフィックが引

第62章 LCS バーチャル・ネットワーク・インターフェース (LCS)

この章では、LCS バーチャル・ネットワーク・インターフェース (LCS) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

LCS.001

レベル: P-TRACE

短構文: LCS.001 brd rcv unkwn typ *packet_type* *source_Ethernet_address* -> *destination_Ethernet_address* nt *network*

長構文: LCS.001 broadcast packet received with unknown Ethernet type *packet_type* from host *source_Ethernet_address* to *destination_Ethernet_address* network *network*

説明: 同報通信パケットを受信しましたが、イーサネット・タイプ・フィールドが不明であるか、サポートされていません。

LCS.002

レベル: UE-ERROR

短構文: LCS.002 rcv unkwn typ *packet_type* *source_Ethernet_address* -> *destination_Ethernet_address* nt *network*

長構文: LCS.002 packet received with unknown Ethernet type field *packet_type* from *source_Ethernet_address* to *destination_Ethernet_address* network *network*

説明: 非同報通信パケットを受信しましたが、イーサネット・タイプ・フィールドが不明であるか、サポートされていません。

LCS.003

レベル: P-TRACE

短構文: LCS.003 brd 802.3 bd ln *actual_length* *claimed_length* *source_Ethernet_address* -> *destination_Ethernet_address* nt *network*

長構文: LCS.003 broadcast packet received with a bad 802.3 length field actual *actual_length* claimed *claimed_length* from *source_Ethernet_address* to *destination_Ethernet_address* network *network*

説明: タイプ・フィールド 802.3 を示す同報通信パケットを受信しましたが、802.3 ヘッダーに示されているデータ長より短くなっていました。

LCS.004

レベル: UE-ERROR

短構文: LCS.004 802.3 bd ln *actual_length* *claimed_length* *source_Ethernet_address* -> *destination_Ethernet_address* nt *network*

長構文: LCS.004 packet received with a bad 802.3 length field actual *actual_length* claimed *claimed_length* from *source_Ethernet_address* to *destination_Ethernet_address* network *network*

説明: タイプ・フィールド 802.3 を示す非同報通信パケットを受信しましたが、802.3 ヘッダーに示されているデータ長より短くなっていました。

LCS.005

レベル: UI_ERROR

短構文: LCS.005 MAC frm typ *mac_frametype* unex from *hardware_address* nt *network*

長構文: LCS.005 MAC frame type *mac_frametype* unexpected from *hardware_address* network *network*

説明: ハンドラーが、予期しないフレーム・タイプをもつフレームを受信しました。

LCS.006

レベル: C-INFO

短構文: LCS.006 LLC unk SAP *DSAP* *source_Ethernet_address* -> *destination_Ethernet_address* nt *network*

長構文: LCS.006 802.2 LLC packet received with unknown DSAP *DSAP* from host *source_Ethernet_address* to *destination_Ethernet_address* network *network*

説明: ネットワークから 802.2 LLC パケットを受信しましたが、非アクティブの（認識できない）DSAP をもっています。

LCS.012

レベル: ALWAYS

短構文: LCS.012 LCS Eth nt *network* set to *eth_vers*

長構文: LCS.012 LCS Ethernet network *network* set to Ethernet *eth_vers*

説明: 示されている形式の ARP フレームを受信しました。LCS ネットは、示されているイーサネット・バージョンを使用して稼働するよう設定されています。

LCS.013

レベル: UE-ERROR

短構文: LCS.013 ARP rcv bd hdw type on nt *network* *rec_hdw_type* *exp_hdw_type* *rec_hdw_len* *exp_hdw_len*

長構文: LCS.013 ARP packet received with bad hardware information on network *network*: type received *rec_hdw_type* expected *exp_hdw_type*, length received *rec_hdw_len* expected *exp_hdw_len*

説明: ARP パケットを受信しましたが、ハードウェア・タイプとハードウェア長さのいずれかが、予想されていたものに合致しませんでした。

LCS.014

レベル: UE-ERROR

短構文: LCS.014 ARP rcv bd prot type on nt *network* *rec_prot_type* *exp_prot_type* *rec_prot_len* *exp_prot_len*

長構文: LCS.014 ARP packet received with bad protocol information on network *network*: type received *rec_prot_type* expected *exp_prot_type*, length received *rec_prot_len* expected *exp_prot_len*

説明: ARP パケットを受信しましたが、プロトコル・タイプとプロトコル長さのいずれかが、予想されていたものに合致しませんでした。

LCS.015

レベル: UE-ERROR

短構文: LCS.015 ARP rcv bd dest addr *dest_address* not *local_addr* on nt *network*

長構文: LCS.015 ARP packet received for destination address *dest_address* not *local_addr* on network *network*

説明: ARP パケットを受信しましたが、あて先 IP アドレスがローカル IP アドレスに合致しませんでした。

LCS.016

レベル: UE-ERROR

短構文: LCS.016 ARP rcv bd type *arp_type* on nt *network*

長構文: LCS.016 ARP packet received with unknown type *arp_type* on network *network*

説明: ARP パケットを受信しましたが、ARP 要求ではありませんでした。

LCS.017

レベル: UI-ERROR

短構文: LCS.017 LCS frm rcvd when net not op on nt *network*

長構文: LCS.017 LCS frame received when network *network* is not operational

説明: LCS フレームを受信しましたが、そのとき、ネットワークは入力では使用可能になっていませんでした。

LCS.018

レベル: P-TRACE

短構文: LCS.018 ARP rsp sent on nt *network*

長構文: LCS.018 An ARP response was sent to the host on network *network*

説明: ARP 応答が送信されました。

LCS.019

レベル: P-TRACE

短構文: LCS.019 Eth frm rcvd on nt *network*

長構文: LCS.019 An Ethernet frame was received on network *network*

説明: イーサネット・フレームを受信しました。

LCS.020

レベル: P-TRACE

短構文: LCS.020 Tok frm rcvd on nt *network*

長構文: LCS.020 A Token-Ring frame was received on network *network*

説明: トークンリング・フレームを受信しました。

LCS.021

レベル: C-INFO

短構文: LCS.021 nt *network* set to IP *IP_address*

長構文: LCS.021 network *network* set to IP address *IP_address*

説明: ネット・ハンドラーは IP アドレスに設定されています。

LCS.022

レベル: P-TRACE

短構文: LCS.022 IP frm sent on nt *network*

長構文: LCS.022 An IP frame was sent on network *network*

説明: IP フレームが送信されました。

LCS.023

レベル: P-TRACE

短構文: LCS.023 FDDI frame rcvd on nt *network*

長構文: LCS.023 An FDDI frame was received on network *network*

説明: FDDI フレームを受信しました。

LCS.024

レベル: C-INFO

短構文: LCS.024 nt *network* IP addr *IP_address* removed

長構文: LCS.024 network *network* IP address *IP_address* was reset

説明: ネット・ハンドラーの IP アドレスがリセットされました。

LCS.025

レベル: C-INFO

短構文: LCS.025 nt *network* IP *IP_address* was ignored

長構文: LCS.025 network *network* IP address *IP_address* was ignored.

説明: ネット・ハンドラーは現在、ブリッジング用または異なるローカル IPV4 アドレス用に構成されています。IP アドレスは無視されました。

LCS.026

レベル: C-INFO

短構文: LCS.026 nt *network* Bdg port *bridge_port* was ignored

長構文: LCS.026 network *network* Bridge port number *bridge_port* was ignored.

説明: ネット・ハンドラーは IP 用に構成されています。ブリッジ・ポート番号は無視されました。

LCS.028

レベル: C-INFO

短構文: LCS.028 nt *network* IPV6 *IPV6_address* was ignored

長構文: LCS.028 network *network* IPV6 address *IPV6_address* was ignored.

説明: ネット・ハンドラーは現在、ブリッジング用または異なるローカル IPV6 アドレス用に構成されています。IPV6 アドレスは無視されました。

LCS.029

レベル: C-INFO

短構文: LCS.029 nt *network* set to IPV6 *IPV6_address*

長構文: LCS.029 network *network* IPV6 address *IPV6_address* was reset

説明: ネット・ハンドラーの IPV6 アドレスがリセットされました。

LCS.030

レベル: UE-ERROR

短構文: LCS.030 *file(line) command* failed: *reason* (nt *network*)

長構文: LCS.030 *file(line) command* failed: *reason* (network *network*)

説明: 何らかのコマンドが失敗しました。

原因: LCS コマンドを受信したが、リジェクトされた。

処置: 理由を調べてください。

原因: ブリッジ・コードから無効なパケットを受信した。

処置: 理由を調べて、ホスト・メッセージを検査してください。

LCS.031

レベル: C-INFO

短構文: LCS.031 LCS net *netnum* rcvd netup from net *lan_netnum* (nt *network*)

長構文: LCS.031 LCS net *netnum* received netup from net *lan_netnum* (network *network*)

説明: LCS ネット・ハンドラーが接続ダウンストリーム LAN からネットアップを受信しました。

説明: ダウンストリーム LAN アダプターがネットダウンしたため、LCS ネット・ハンドラーはネットダウンしました。

LCS.032

レベル: C-INFO

短構文: LCS.032 LCS net *netnum* MAC addr *macaddr* set (nt *network*)

長構文: LCS.032 LCS net *netnum* MAC address set to *macaddr* (network *network*)

説明: LCS ネット・ハンドラーが接続ダウンストリーム LAN からネットアップを受信しました。

LCS.033

レベル: CI-ERROR

短構文: LCS.033 LCS frame not sent to LAN - rc *rc* (nt *network*)

長構文: LCS.033 LCS frame not sent to LAN - return code *rc* (network *network*)

説明: LCS ネット・ハンドラーは、ダウンストリーム LAN にフレームを送信できませんでした。

LCS.034

レベル: CI-ERROR

短構文: LCS.034 LCS Error, frame rcvd from wrong LAN, (nt *network*)

長構文: LCS.034 LCS Error, frame received from wrong LAN, (network *network*)

説明: IP フレームまたは ARP フレームが、間違った LAN から受信されました (3172 エミュレーションのみ)。

LCS.035

レベル: C-INFO

短構文: LCS.035 LCS net *netnum* netdwn by LAN net *lan_netnum* netdwn (nt *network*)

長構文: LCS.035 LCS net *netnum* went netdown because LAN net *lan_netnum* went netdown (nt *network*)

第63章 論理リンク制御 (LLC) ELS

この章では、論理リンク制御 (LLC) ELS メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

LLC.001

レベル: C-TRACE

短構文: LLC.001 Sent *frame_type*, *src_mac*-> *dst_mac*, *rif*
saps src_sap-> *dst_sap*, *dlci dlci* nt *network*

長構文: LLC.001 Sent *frame_type*, *src_mac*-> *dst_mac*, *rif*
saps src_sap-> *dst_sap*, *dlci dlci* *network network*

説明: LLC はフレームを送信中です。使用できるフレーム・タイプは、次のとおりです。 SABME_C0 または SABME_C1 (拡張非同期平衡モード設定)、 DM_R0 または DM_R1 (切断モード)、 DISC_C0 または DISC_C1 (切断)、 RR_C0 または RR_C1 または RR_R0 または RR_R1 (受信可)、 RNR_C0 または RNR_C1 または RNR_R0 または RNR_R1 (受信不可)、 REJ_C0 または REJ_C1 または REJ_R0 または REJ_R1 (リジェクト)、 UA_R0 または UA_R1 (非番号制確認)、 FRMR_R0 または FRMR_R1 (フレーム・リジェクト)、および I_C0 または I_C1 または I_R0 または I_R1 (情報フレーム)。省略形の接尾部は、 C0 (コマンド、ポーリング・ビットがオフ)、 C1 (コマンド、ポーリング・ビットがオン)、 R0 (応答、ファイナル・ビットがオフ)、および R1 (応答、ファイナル・ビットがオン) です。

LLC.002

レベル: C-TRACE

短構文: LLC.002 *ev*= *llc_event* in *st*= *llc_state*,
llc2_connection, *dlci dlci*, nt *network*

長構文: LLC.002 *event*= *llc_event* in *state*= *llc_state*,
llc2_connection, *dlci dlci*, *network network*

説明: LLC2 接続で事象が発生しました。 LLC2 FSM (有限状態管理機構) が事象処理のために呼び出されました。 LLC2 接続は、特定ネットワーク上のあて先 MAC アドレス、発信元 MAC アドレス、あて先 SAP、および発信元 SAP の組み合わせによって固有に識別されます。考えられる事象は次のとおりです。 SET_ABME (リモートへ接続するためのユーザー要求)、 SET_ADM (リモートから切断するためのユーザー要求)、 SEND_BTU (データを送信するためのユーザー要求)、 FLOW_REQ_ON (ローカル・ビジー条件をオフにするためのユーザー要求)、 FLOW_REQ_OFF (ローカル・ビジー条件をオンにするためのユーザー要求)、 T1_EXP (T1 タイマー満了)、 T2_EXP (T2 タイマー満了)、 Ti_EXP (Ti タイマー満了)、 OS_I_C0

または OS_I_C1 または OS_I_R0 または OS_I_R1 (I フレーム上の N がシーケンス誤り)、 I_C0 または I_C1 または I_R0 または I_R1 (有効な I フレームを受信)、 RR_C0 または RR_C1 または RR_R0 または RR_R1 (RR フレームを受信)、 RNR_C0 または RNR_C1 または RNR_R0 または RNR_R1 (RNR フレームを受信)、 REJ_C0 または REJ_C1 または REJ_R0 または REJ_R1 (REJ フレームを受信)、 UA_R0 または UA_R1 (UA フレームを受信)、 DISC_C0 または DISC_C1 (DISC フレームを受信)、 DM_R0 または DM_R1 (DM フレームを受信)、 FRMR_R0 または FRMR_R1 (FRMR フレームを受信)、 BAD_FRAME_0 または BAD_FRAME_1 (受信フレームが FRMR を生成)、 SABME_C0 または SABME_C1 (SABME フレームを受信)、および SEND_I_POLL (ポーリング・ビットをオンに設定して I フレームを送信)。省略形の接尾部は、 C0 (コマンド、ポーリング・ビットがオフ)、 C1 (コマンド、ポーリング・ビットがオン)、 R0 (応答、ファイナル・ビットがオフ)、および R1 (応答、ファイナル・ビットがオン) です。

LLC.003

レベル: C-INFO

短構文: LLC.003 *llc_state*-> *llc_state*, *llc2_connection*, *dlci dlci*, nt *network*

長構文: LLC.003 *llc_state* to *llc_state*, *llc2_connection*, *dlci dlci*, *network network*

説明: LLC2 の状態変更があります。可能な状態は、以下のとおりです。 DISCONNECTED (初期状態)、 LINK_OPENING (リンク確立中)、 DISCONNECTING (DISC を送信、DM を待機中)、 FRMR_SENT (FRMR を送信)、 LINK_OPENED (通常の状態)、 LOCAL_BUSY (ローカルがビジー)、 REJECTION (リモートがシーケンス誤りフレームを送信)、 CHECKPOINTING (ポーリングを送信、中断状態のデータを送信する応答を待機中)、 CKPT_LB (組み合わせ状態)、 CKPT_REJ (組み合わせ状態)、 RESETING (リセットのためのユーザー応答を待機中)、 REMOTE_BUSY (リモートがビジー)、 LB_RB (組み合わせ状態)、 REJ_LB (組み合わせ状態)、 REJ_RB (組み合わせ状態)、 CKPT_REJ_LB (組み合わせ状態)、 CKPT_CLR (CKPT_LB 状態からのクリア)、 CKPT_REJ_CLR (CKPT_REJ_LB 状態からのクリア)、 REJ_LB_RB (組み合わせ状態)、 FRMR_RECEIVED (FRMR を受信)。上記で使用されている略語は、

CKPT=CHECKPOINTING、CLR=CLEARING、LB=LOCAL BUSY、RB=REMOTE BUSY、REJ=REJECTION です。

LLC.004

レベル: C-INFO

短構文: LLC.004 Up evt *user_event* args *user_value/*
event_reason on *llc2-conn*

長構文: LLC.004 Upcall user event *user_event* *user_value*
event_reason on *llc2-conn*

説明: LLC2 事象アップコールが行われています。アップコールの一部の引き数が表示されます。ユーザーのクッキーは、LLC サブシステムで実行されているルーター・ソフトウェアに対して意味をもっています。ときには、事象の理由が、さらに事象を指定している場合があります。考えられる事象は、次のとおりです。CONN_IND (クッキー = セッション、理由 = なし)、CONN_IND_PASS (クッキー = SAP、理由 = なし)、CONN_CONFIRM (クッキー = セッション、理由 = なし)、DISC_IND (クッキー = セッション、考えられる理由: ローカル端末 (切断中)、リモート端末、接続拒否、ローカル端末 (切断))、RESET_IND (クッキー = セッション、考えられる理由: ローカル・リセット、リモート・リセット、FRMR 受信、FRMR 送信)、RESET_CONF (クッキー = セッション、理由 = なし)、FLOW_IND (クッキー = セッション、考えられる理由: フローオフ、フローオン)、および DISC_CONFIRM (クッキー = セッション、理由 = なし)。

LLC.005

レベル: C-INFO

短構文: LLC.005 prim *user_primitive* sap *SAP_value* on nt
network

長構文: LLC.005 user primitive *user_primitive* sap
SAP_value on network *network*

説明: SAP 関連の LLC ユーザー・プリミティブが呼び出されました。可能な SAP プリミティブは、以下のとおりです。OPEN_SAP、CLOSE_SAP、CLOSE_SAP_FORCED、MODIFY_SAP、OPEN_STATION、および UNITDATA。

LLC.006

レベル: C-INFO

短構文: LLC.006 prim *user_primitive*, *llc2_connection*, dlci
dlci, nt *network*

長構文: LLC.006 primitive *user_primitive*, *llc2_connection*,
dlci *dlci*, network *network*

説明: LLC2 接続の非データ・ユーザー・プリミティブが呼び出されました。可能なプリミティブは、以下のとおりです。CLOSE_STATION、CLOSE_STATION_FORCED、CONNECT_REQUEST、CONNECT_RESPONSE、DISCONNECT_REQUEST、RESET_REQUEST、RESET_RESPONSE、FLOW_REQ。

LLC.007

レベル: C-TRACE

短構文: LLC.007 data prim, *llc2_connection*, dlci *dlci*, nt
network

長構文: LLC.007 data primitive, *llc2_connection*, dlci *dlci*,
network *network*

説明: DATA_REQUEST データ・プリミティブが呼び出されました。DATA_REQUEST は、データをバッファ記憶域に渡します。

LLC.008

レベル: C-TRACE

短構文: LLC.008 data prim, *llc2_connection*, dlci *dlci*, nt
network

長構文: LLC.008 data primitive, *llc2_connection*, dlci *dlci*,
network *network*

説明: DATA_LOCAL データ・プリミティブが呼び出されました。DATA_LOCAL は、データをデータ記憶域に渡します。

LLC.009

レベル: C-TRACE

短構文: LLC.009 unitdata prim, sap *SAP_value*, dlci *dlci*
nt *network*

長構文: LLC.009 unitdata primitive, sap *SAP_value* dlci *dlci*
network *network*

説明: UNITDATA LLC1 データ・プリミティブが呼び出されました。

LLC.010

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.010 out q too big, *llc2_connection*, dlci *dlci*,
nt *network*

長構文: LLC.010 outboudn queue too big, *llc2_connection*,
dlci *dlci*, network *network*

説明: アウトバウンド待ち行列が大きくなり過ぎました。LLC2 接続は自動的に終了されます。

原因: LLC アプリケーションがフロー制御に応答していません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

LLC.011

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.011 No buf to dup I-frame, *llc2_connection*, *dlci dlci*, *nt network*

長構文: LLC.011 No buffer available to duplicate I-frame, *llc2_connection*, *dlci dlci*, *network network*

説明: I フレームを複写するために利用可能なバッファがありません。

原因: 重大なパケット・バッファの不足

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。他のルーター・ソフトウェアによるバッファの使用量を減らしてください。LLC の構成を変更して LLC 接続の数を減らすことにより、バッファの使用量を減らしてください。特に、LLC 送受信ウィンドウが通常のサイズであることを確認してください。

LLC.012

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.012 No mem to dup I-frame, *llc2_connection*, *dlci dlci*, *nt network*

長構文: LLC.012 No memory available to duplicate I-frame, *llc2_connection*, *dlci dlci*, *network network*

説明: I フレームを複写するための記憶域がありません。

原因: 記憶域の不足

処置: 他のソフトウェアのテーブル数を減らして、記憶域の使用量を削減してください。LLC 構成を変更して LLC の接続数を減らすことにより、記憶域の使用量を減らしてください。特に、LLC 送受信ウィンドウが通常のサイズであることを確認してください。

LLC.013

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.013 No buf for LLC frame, *llc2_connection*, *dlci dlci*, *nt network*

長構文: LLC.013 No buffer for LLC frame, *llc2_connection*, *dlci dlci*, *network network*

説明: LLC 監視フレームまたは非番号制フレームを作成するためのバッファを入手できませんでした。データ

の保全性は今のところ失われていませんが、このためのバッファが数秒以内に利用可能にならないければ、LLC2 接続の相手側は、通常の LLC2 プロトコルの一部として、この LLC 接続を終了させる可能性が非常に高くなります。

原因: 重大なパケット・バッファの不足

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。

LLC.014

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.014 fr type inv, *llc2_connection*, *dlci dlci*, *nt network*

長構文: LLC.014 frame type invalid, *llc2_connection*, *dlci dlci*, *network network*

説明: LLC が作成しようとしているフレーム・タイプは無効です。

原因: ハードウェア障害またはソフトウェア・バグ

処置: サービス技術員に連絡してください。

LLC.015

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.015 Inv LLC2 ev *event_code_number*

長構文: LLC.015 Invalid LLC2 FSM event *event_code_number*

説明: LLC2 有限状態遷移図 (FSM) が呼び出されましたが、事象が範囲外です。

原因: ハードウェア障害またはソフトウェア・バグ

処置: サービス技術員に連絡してください。

LLC.016

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.016 inv nt typ *network_type* on *nt network*

長構文: LLC.016 invalid network type *network_type* on *network network*

説明: LLC がサポートしていないネットワーク・タイプで、OPEN SAP 操作を試みました。サポートされるネットワーク・タイプは、トークンリング、イーサネット、および FDDI です。

原因: ソフトウェア・バグ

処置: サービス技術員に連絡してください。

LLC.017

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.017 dup sap *SAP_value* on nt *network*

長構文: LLC.017 duplicate sap *SAP_value* on network *network*

説明: すでにオープンされている SAP で、OPEN SAP 操作を試みました。

原因: ソフトウェア・バグ

処置: サービス技術員に連絡してください。

LLC.018

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.018 No mem for sap blk on nt *network*

長構文: LLC.018 No memory for SAP control block on network *network*

説明: SAP 制御ブロック用の記憶域を割り振ることができません。

原因: 重大な記憶域の不足

処置: 他のプロトコルのテーブル・サイズを小さくする、システムで使用するプロトコルの数を減らす、ルーターの記憶域を拡張するなどの処置を取ってください。

LLC.019

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.019 No mem for stn blk on nt *network*

長構文: LLC.019 No memory for station control block on network *network*

説明: 端末制御ブロック用の記憶域を割り振ることができません。

原因: 重大な記憶域の不足

処置: 他のプロトコルのテーブル・サイズを小さくする、システムで使用するプロトコルの数を減らす、ルーターの記憶域を拡張するなどの処置を取ってください。LLC2 接続の数を減らしてください。

LLC.020

レベル: U-INFO

短構文: LLC.020 UI frm drp *llc2_connection*, dlci *dlci*, nt *network*

長構文: LLC.020 UI frame dropped, *llc2_connection*, dlci *dlci*, network *network*

説明: UI フレームが、ルーター内のローカル・アプリケ

ーションによって拒否されました。

原因: フレームが、ローカル・アプリケーションが処理しようとしたタイプではありません。

処置: なし。

LLC.021

レベル: U-INFO

短構文: LLC.021 TST frm refused *llc2_connection*, dlci *dlci*, nt *network*

長構文: LLC.021 TEST frame refused, *llc2_connection*, dlci *dlci*, network *network*

説明: TEST フレームが、ルーター内のローカル・アプリケーションによって拒否されました。フレームは、ブリッジ・コードなどに渡されます。

原因: フレームが、ローカル・アプリケーションが処理しようとしたタイプではありません。

処置: なし。

LLC.022

レベル: U-INFO

短構文: LLC.022 XID frm refused *llc2_connection*, dlci *dlci*, nt *network*

長構文: LLC.022 XID frame refused, *llc2_connection*, dlci *dlci*, network *network*

説明: XID フレームが、ルーター内のローカル・アプリケーションによって拒否されました。フレームは、ブリッジ・コードなどに渡されます。

原因: フレームが、ローカル・アプリケーションが処理しようとしたタイプではありません。

処置: なし。

LLC.023

レベル: C-INFO

短構文: LLC.023 Upcall frm *frame_type*, *src_mac*-> *dst_mac*, rif saps *src_sap*-> *dst_sap*, dlci *dlci*, nt *network*

長構文: LLC.023 Upcall frame *frame_type*, *src_mac*-> *dst_mac*, rif saps *src_sap*-> *dst_sap*, dlci *dlci*, network *network*

説明: LLC は、アップコールを行って、単位データ・フレームをもつ LLC を提供します。可能な単位データ・フレームは、TEST_C0 または TEST_C1 または TEST_R0 または TEST_R1 (TEST フレーム)、XID_C0 または XID_C1 または XID_R0 または XID_R1 (交換識別フレーム)、UI_C0 または UI_R0 (非番号制情報) です。省略形の接尾部は、C0 (コマンド、ポーリング・ビットがオ

フ)、C1 (コマンド、ポーリング・ビットがオン)、R0 (応答、ファイナル・ビットがオフ)、および R1 (応答、ファイナル・ビットがオン) です。

LLC.024

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.024 llc2 out drp, rsn *reason_code*, llc2_connection, dlci *dlci*, nt *network*

長構文: LLC.024 llc2 outbound frame dropped, reason *reason_code*, llc2_connection, dlci *dlci*, network *network*

説明: LLC2 関連のアウトバウンド・フレームの送信が失敗しました。reason_code は、障害の内部エラー・コードです。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、network_name を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたは不正な同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去されました (理由コード 4)

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

LLC.025

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.025 frame_type out frm drp, rsn *reason_code*, llc2_connection, dlci *dlci*, nt *network*

長構文: LLC.025 frame_type outbound frame dropped, reason *reason_code*, llc2_connection, dlci *dlci*, network *network*

説明: ユーザーの UNITDATA または LLC が生成した XID または TEST 応答アウトバウンド・フレームの送信が失敗しました。可能なフレーム・テストは、TEST_C0 または TEST_C1 または TEST_R0 または TEST_R1 (TEST フレーム)、XID_C0 または XID_C1 または XID_R0 または XID_R1 (交換識別フレーム)、UI_C0 または UI_R0 (非番号制情報フレーム)、および予測不能 (上記のタイプのいずれでもないもの) です。省略形の接尾部

は、C0 (コマンド、ポーリング・ビットがオフ)、C1 (コマンド、ポーリング・ビットがオン)、R0 (応答、ファイナル・ビットがオフ)、および R1 (応答、ファイナル・ビットがオン) です。

原因: LLC.024 を参照してください。

処置: LLC.024 を参照してください。

LLC.026

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.026 No mem for cfg blk on nt *network*

長構文: LLC.026 No memory for LLC CONF BLOCK on network *network*

説明: 初期化時に、LLC_CONF_BLOCK 用の記憶域を割り振ることができませんでした。LLC 構成の省略時値が使用されます。

原因: 重大な記憶域の不足

処置: 他のプロトコルのテーブル・サイズを小さくする、システムで使用するプロトコルの数を減らす、ルーターの記憶域を拡張するなどの処置を取ってください。

LLC.027

レベル: U-INFO

短構文: LLC.027 Read LLC Cfg for nt *network*

長構文: LLC.027 Read LLC Configuration record for network *network*

説明: このネットワーク用の LLC 構成レコードが読み取られました。これは、初期化時にのみ行われます。LLC 構成レコードの中の値が、ネットワークの省略時値として使用されます。

LLC.028

レベル: U-INFO

短構文: LLC.028 Inv acc access_priority for nt *network*

長構文: LLC.028 Inv access priority access_priority for network *network*

説明: トークンリング以外のネットワークの access_priority は、使用されないもので、ゼロでなければなりません。

原因: 装置は削除されたり追加されたりするので、非トークンリング LAN インターフェースの LLC 構成レコードの1つに、非ゼロのアクセス優先順位が入っている可能性があります。

処置: なし。このネットワークの LLC 構成をやり直し

て、このメッセージが出ないようにすることもできます。

LLC.029

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.029 Inv acc *access_priority* for nt *network*

長構文: LLC.029 Inv acc *access_priority* for *network network*

説明: アクセス優先順位が 7 より大きくなっています。省略時値の 0 が使用されます。

原因: 構成記憶域の破壊

処置: このネットワークの LLC を再構成して、このメッセージが出ないようにしてください。

LLC.030

レベル: C-TRACE

短構文: LLC.030 Inv hw type *hardware_type* in cfg for nt *network*

長構文: LLC.030 Invalid hardware type *hardware_type* for *network network*

説明: LAN ハードウェア・タイプをもたないインターフェースの LLC 構成レコードが存在します。

原因: 装置は削除されたり追加されたりするので、LLC 構成レコードの 1 つに、もう LAN インターフェースではなくなっているインターフェースが入っている可能性があります。

処置: なし。この状況は有害ではありません。

LLC.031

レベル: C-TRACE

短構文: LLC.031 Inv int *interface_number* in cfg

長構文: LLC.031 Invalid interface *interface_number* in config

説明: 存在しないインターフェースの LLC 構成レコードがあります。

原因: 装置は削除されたり追加されたりするので、LLC 構成レコードの 1 つに、無効なインターフェース番号が入っている可能性があります。

処置: なし。この状況は有害ではありません。

LLC.032

レベル: C-INFO

短構文: LLC.032 Sent *frame_type*, *src_mac*-> *dst_mac*, rif saps *src_sap*-> *dst_sap*, dlci *dlci*, nt *network*

長構文: LLC.032 Sent *frame_type*, *src_mac*-> *dst_mac*, rif saps *src_sap*-> *dst_sap*, dlci *dlci*, *network network*

説明: LLC ユーザーがフレームを送信しているか、LLC 自体が TEST または XID 応答フレームを送信しています。可能なフレーム・タイプは、TEST_C0 または TEST_C1 または TEST_R0 または TEST_R1 (TEST フレーム)、XID_C0 または XID_C1 または XID_R0 または XID_R1 (交換識別フレーム)、UI_C0 または UI_R0 (非番号制情報フレーム) です。省略形の接尾部は、C0 (コマンド、ポーリング・ビットがオフ)、C1 (コマンド、ポーリング・ビットがオン)、R0 (応答、ファイナル・ビットがオフ)、および R1 (応答、ファイナル・ビットがオン) です。

LLC.033

レベル: C-INFO

短構文: LLC.033 frm to LLC, frm *frame_type*, *src_mac*-> *dst_mac*, rif saps *src_sap*-> *dst_sap*, dlci *dlci*, nt *network*

長構文: LLC.033 frm to LLC, frm *frame_type*, *src_mac*-> *dst_mac*, rif saps *src_sap*-> *dst_sap*, dlci *dlci*, *network network*

説明: LLC サブシステム自体が、TEST または XID フレームに応答しています。可能なフレーム・タイプは、TEST_C0 または TEST_C1 (TEST フレーム)、および XID_C0 または XID_C1 (交換識別フレーム) です。省略形の接尾部は、C0 = (コマンド、ポーリング・ビットがオフ)、および C1 = (コマンド、ポーリング・ビットがオン) です。

LLC.034

レベル: C-INFO

短構文: LLC.034 LLC loopback invoked *src_mac*-> *dst_mac*, saps *src_sap*-> *dst_sap*, nt *network*

長構文: LLC.034 LLC loopback invoked, *src_mac*-> *dst_mac*, saps *src_sap*-> *dst_sap*, *network network*

説明: ルーター内でフレームをルート指定するために、ループバック処理が起動されました。

LLC.035

レベル: C-INFO

短構文: LLC.035 Dest SCB not found *src_mac*-> *dst_mac*, saps *src_sap*-> *dst_sap*, nt *network*

長構文: LLC.035 Destination SCB not found, *src_mac->dst_mac*, saps *src_sap->dst_sap*, network *network*

説明: あて先に関するセッション制御ブロックが、処理によって見付かりませんでした。

原因: あて先アプリケーションがオープン・ステーションを行わなかった可能性があります。あて先アプリケーションがダウンしていた可能性があります。

処置: なし。

LLC.036

レベル: C-INFO

短構文: LLC.036 Loopback CONNECT, *src_mac->dst_mac*, saps *src_sap->dst_sap*, nt *src_net*, nt *dst_net*

長構文: LLC.036 Loopback CONNECT, *src_mac->dst_mac*, saps *src_sap->dst_sap*, network *src_net*, network *dst_net*

説明: 発信元ネットからあて先ネットへコネクトインの送信中です。

LLC.037

レベル: C-INFO

短構文: LLC.037 Loopback CONNECT Rsp, *src_mac->dst_mac*, saps *src_sap->dst_sap*, nt *src_net*, nt *dst_net*

長構文: LLC.037 Loopback CONNECT Response, *src_mac->dst_mac*, saps *src_sap->dst_sap*, network *src_net*, nt *dst_net*

説明: 発信元ネットからあて先ネットへ接続応答の送信中です。

LLC.038

レベル: C-INFO

短構文: LLC.038 Loopback DISCONNECT, *src_mac->dst_mac*, saps *src_sap->dst_sap*, nt *src_net*, nt *dst_net*

長構文: LLC.038 Loopback DISCONNECT, *src_mac->dst_mac*, saps *src_sap->dst_sap*, nt *src_net*, nt *dst_net*

説明: 発信元ネットからあて先ネットへ切断の送信中です。

LLC.039

レベル: C-INFO

短構文: LLC.039 Loopback DISCONNECT Rsp, *src_mac->dst_mac*, saps *src_sap->dst_sap*, nt *src_net*, nt *dst_net*

長構文: LLC.039 Loopback DISCONNECT Response, *src_mac->dst_mac*, saps *src_sap->dst_sap*, nt *src_net*, nt *dst_net*

説明: 発信元ネットからあて先ネットへ切断応答の送信中です。

LLC.040

レベル: C-INFO

短構文: LLC.040 Loopback RESET, *src_mac->dst_mac*, saps *src_sap->dst_sap*, nt *src_net*, nt *dst_net*

長構文: LLC.040 Loopback RESET, *src_mac->dst_mac*, saps *src_sap->dst_sap*, nt *src_net*, nt *dst_net*

説明: 発信元ネットからあて先ネットへリセットの送信中です。

LLC.041

レベル: C-INFO

短構文: LLC.041 Loopback RESET Rsp, *src_mac->dst_mac*, saps *src_sap->dst_sap*, nt *src_net*, nt *dst_net*

長構文: LLC.041 Loopback RESET Response, *src_mac->dst_mac*, saps *src_sap->dst_sap*, nt *src_net*, nt *dst_net*

説明: 発信元ネットからあて先ネットへリセット応答の送信中です。

LLC.042

レベル: C-INFO

短構文: LLC.042 Loopback FLOW ON, *src_mac->dst_mac*, saps *src_sap->dst_sap*, nt *src_net*, nt *dst_net*

長構文: LLC.042 Loopback FLOW ON, *src_mac->dst_mac*, saps *src_sap->dst_sap*, network *src_net*, nt *dst_net*

説明: 発信元ネットからあて先ネットへフローオンの送信中です。

LLC.043

レベル: C-INFO

短構文: LLC.043 Loopback FLOW OFF, *src_mac->dst_mac*, saps *src_sap->dst_sap*, nt *src_net*, nt *dst_net*

長構文: LLC.043 Loopback FLOW OFF, *src_mac->dst_mac*, saps *src_sap->dst_sap*, network *src_net*, nt *dst_net*

説明: 発信元ネットからあて先ネットへフローオフの送信中です。

LLC.044

レベル: C-INFO

短構文: LLC.044 Loopback FLOW OFF Data, st *state*,, busy *busy_flag*,, qnum *qnum*,, nt *src_net*

長構文: LLC.044 Loopback FLOW OFF Data, state *state*,, busy *busy_flag*,, tr_queue_num *qnum*,, network *src_net*

説明: フローオフを送信するアプリケーションの正確な状況を入手するためのフローオフ・データ

LLC.045

レベル: C-INFO

短構文: LLC.045 Loopback FLOW ON Data, st *state*,, busy *busy_flag*,, qnum *qnum*,, nt *src_net*

長構文: LLC.045 Loopback FLOW ON Data, state *state*,, busy *busy_flag*,, tr_queue_num *qnum*,, network *src_net*

説明: フローオンを送信するアプリケーションの正確な状況を入手するためのフローオン・データ。

LLC.046

レベル: C-INFO

短構文: LLC.046 LLC Busy No Resource, st *state*,, busy *busy_flag*,, num *qnum*,, nt *src_net*

長構文: LLC.046 LLC Busy No Resource, state *state*,, busy *busy_flag*,, num *qnum*,, network *src_net*

説明: アプリケーションの正確な状況を入手するためのデータ、待ち行列内の最大 IORB を超えました。

LLC.047

レベル: C-INFO

短構文: LLC.047 Loopback Net Not Found, *src_mac*-> *dst_mac*, saps *src_sap*-> *dst_sap*, nt *network*

長構文: LLC.047 Loopback Net Not Found, *src_mac*-> *dst_mac*, saps *src_sap*-> *dst_sap*, network *network*

説明: ループバックあて先ネットのネット構造が見付かりませんでした。

LLC.048

レベル: C-INFO

短構文: LLC.048 Loopback Dest Matching SAP Not Found, *src_mac*-> *dst_mac*, saps *src_sap*-> *dst_sap*, nt *network*

長構文: LLC.048 Loopback Dest Matching SAP Not Found, *src_mac*-> *dst_mac*, saps *src_sap*-> *dst_sap*, network *network*

説明: ループバックあて先 SAP の SAP 構造が見付かりませんでした。

LLC.049

レベル: C-INFO

短構文: LLC.049 Loopback Connect Data, st *state*,, dest_st *dest_st*,, nt *src_net*,, nt *dst_net*

長構文: LLC.049 Loopback Connect Data, state *state*,, dest_st *dest_st*,, network *src_net*,, network *dst_net*

説明: ループバック接続データ

LLC.050

レベル: C-INFO

短構文: LLC.050 Loopback Connect Failed, st *state*,, dest_st *dest_st*,, nt *src_net*,, nt *dst_net*

長構文: LLC.050 Loopback Connect Failed, state *state*,, dest_st *dest_st*,, network *src_net*,, network *dst_net*

説明: ループバック接続が失敗しました。

LLC.051

レベル: C-INFO

短構文: LLC.051 Loopback Send Failed, st *state*,, dest_st *dest_st*,, nt *src_net*,, nt *dst_net*

長構文: LLC.051 Loopback Send Failed, state *state*,, dest_st *dest_st*,, network *src_net*,, network *dst_net*

説明: ループバック送信が失敗しました。

LLC.053

レベル: C-INFO

短構文: LLC.053 LLC Config Block not found, sap *src_sap*, nt *network*

長構文: LLC.053 LLC Config Block not found, sap *src_sap* network *network*

説明: 記述されている SAP について、オープン・ステーションが失敗しました。

LLC.054

レベル: C-INFO

短構文: LLC.054 LLC Client Registered Fail, sap *src_sap*, nt *network*

長構文: LLC.054 LLC Client Registered Fail, sap *src_sap* network *network*

説明: 記述されている SAP について、オープン・ステーションが失敗しました。

LLC.055

レベル: C-INFO

短構文: LLC.055 Dynamic Config for Loopback *network_type* requested, nt *network*

長構文: LLC.055 Dynamic Config for Loopback *network_type* requested network *network*

説明: ループバックに関する動的構成が要求されました。

LLC.056

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.056 No mem for loopback net on nt *network*

長構文: LLC.056 No memory for loopback pseudonet on network *network*

説明: ループバック・ネット用として記憶域を割り振ることができません。

LLC.057

レベル: C-INFO

短構文: LLC.057 LLC init loop addr *loopbk_addr_p*, dest_net *dest_net_ptr*, macaddr *macaddr*, nt *network*

長構文: LLC.057 LLC init loop addr *loopbk_addr_p*, dest_net *dest_net_ptr*, macaddr *macaddr*, net *network*

説明: ループ・ネットの初期化

LLC.058

レベル: C-INFO

短構文: LLC.058 Frame Numbers Vr *Vr*,, Vs *Vs*,, Nr *Nr*,, Ns *Ns*,, scb *scb*, nt *dst_net*

長構文: LLC.058 Frame Numbers Vr *Vr*,, Vs *Vs*,, Nr *Nr*,, Ns *Ns*,, scb *scb*, network *dst_net*

説明: フレーム番号

LLC.059

レベル: C-INFO

短構文: LLC.059 LLC FLOW ON, *src_mac-> dst_mac*, saps *src_sap-> dst_sap*, dlci *dlci*, nt *dst_net*

長構文: LLC.059 Primitive FLOW ON, *src_mac-> dst_mac*, saps *src_sap-> dst_sap*, dlci *dlci*, nt *dst_net*

説明: 発信元からあて先ネットへフローオンの送信中です。

LLC.060

レベル: C-INFO

短構文: LLC.060 LLC FLOW ON Data, st *state*,, busy *busy_flag*,, qnum *qnum*,, nt *src_net*

長構文: LLC.060 LLC FLOW ON Data, state *state*,, busy *busy_flag*,, tr_queue_num *qnum*,, network *src_net*

説明: フローオンを送信するアプリケーションの正確な状況を入手するためのフローオン・データ。

LLC.061

レベル: C-INFO

短構文: LLC.061 LLC FLOW OFF, *src_mac-> dst_mac*, saps *src_sap-> dst_sap*, dlci *dlci*, nt *dst_net*

長構文: LLC.061 LLC FLOW OFF, *src_mac-> dst_mac*, saps *src_sap-> dst_sap*, dlci *dlci*, nt *dst_net*

説明: 発信元からあて先ネットへフローオフの送信中です。

LLC.062

レベル: C-INFO

短構文: LLC.062 LLC FLOW OFF Data, st *state*,, busy *busy_flag*,, qnum *qnum*,, nt *src_net*

長構文: LLC.062 LLC FLOW OFF Data, state *state*,, busy *busy_flag*,, tr_queue_num *qnum*,, network *src_net*

説明: フローオフを送信するアプリケーションの正確な状況を入手するためのフローオフ・データ

LLC.063

レベル: C-INFO

短構文: LLC.063 Invalid LPDU, *src_mac-> dst_mac*, saps *src_sap-> dst_sap*, dlci *dlci*, lpdu_type *lpdu_type* nt *dst_net*

長構文: LLC.063 Invalid LPDU, *src_mac-> dst_mac*, saps *src_sap-> dst_sap*, dlci *dlci*, lpdu_type *lpdu_type* nt *dst_net*

説明: 発信元からあて先ネットへ無効の LPDU の送信中です。

LLC.064

レベル: C-INFO

短構文: LLC.064 Dest Matching SAP Not Found, *src_mac-> dst_mac*, saps *src_sap-> dst_sap*, nt *network*

長構文: LLC.064 Dest Matching SAP Not Found, *src_mac-> dst_mac*, saps *src_sap-> dst_sap*, network *network*

説明: あて先 SAP の SAP 構造が見付かりませんでした。

LLC.065

レベル: C-INFO

短構文: LLC.065 Validate Sap Failed, sap *src_sap*, sap_pb *sap_pb* nt *network*

長構文: LLC.065 Validate Sap Failed, sap *src_sap*, sap parm block *sap_pb* network *network*

説明: 記述されている SAP について、SAP の検証に失敗しました。

LLC.066

レベル: C-INFO

短構文: LLC.066 Init Sap Failed, sap *src_sap*, sap_pb *sap_pb* nt *network*

長構文: LLC.066 Init Sap Failed, sap *src_sap*, sap parm block *sap_pb* network *network*

説明: 記述されている SAP について、SAP の初期化に失敗しました。

LLC.067

レベル: C-INFO

短構文: LLC.067 Open Station Failed, reason *reason*, sap *src_sap*, stn_pb *stn_pb* nt *network*

長構文: LLC.067 Open Station Failed, reason *reason*, sap *src_sap*, station parm block *stn_pb* network *network*

説明: 記述されている SAP について、オープン・ステーションが失敗しました。

LLC.068

レベル: U-INFO

短構文: LLC.068 SABME frame rejected, *src_mac*-> *dest_mac*, saps *src_sap*-> *dst_sap*, dlci *dlci*, nt *network*

長構文: LLC.068 SABME frame rejected, *src_mac*-> *dest_mac*, saps *src_sap*-> *dst_sap*, dlci *dlci*, network *network*

説明: SABME フレームがルーター内でローカル・アプリケーションによって拒否されました。このフレームは、接続指示受動要求として着信しました。

原因: フレームが、ローカル・アプリケーションが処理しようとしたタイプではありません。

処置: なし。

LLC.069

レベル: C-INFO

短構文: LLC.069 SAP Added For Frame Relay, sap *sap*, sap_cb *sap_cb*, dlci *dlci*, nt *network*

長構文: LLC.069 SAP Added For Frame Relay, sap *sap*, sap_cb *sap_cb*, dlci *dlci*, network *network*

説明: フレーム・リレーに関するオープン SAP 処理が正常に行われ、SAP が SAP テーブルに追加されました。

LLC.070

レベル: C-INFO

短構文: LLC.070 SAP Added, sap *sap*, sap_cb *sap_cb*, nt *network*

長構文: LLC.070 SAP Added, sap *sap*, sap_cb *sap_cb*, nt *network*

説明: オープン SAP 処理が正常に行われ、SAP が SAP テーブルに追加されました。

LLC.071

レベル: C-INFO

短構文: LLC.071 SCB Found, scb *scb*, sap *sap*, src_mac *src_mac*, dest_mac *dest_mac*, dlci *dlci*, nt *network*

長構文: LLC.071 SCB Found, scb *scb*, sap *sap*, src_mac *src_mac*, dest_mac *dest_mac*, dlci *dlci*, network *network*

説明: セッション制御ブロックが見付かりました。これは通常の処理です。フレーム・リレーの場合は、DLCI がリストされます。非フレーム・リレー・ネットワークの場合は、DLCI 番号は無意味です。

第64章 LSA チャンネル・ネットワーク・インターフェース (LSA)

この章では、LSA チャンネル・ネットワーク・インターフェース (LSA) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

LSA.001

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.001 LSA id_check error *error_code*, (nt network)

長構文: LSA.001 LSA id_check error *error_code*, (network network)

説明: 応答を送信するための対応する *u_cep_id* または *u_sap_id* がありません。

LSA.002

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.002 LSA Error, no mem alloc for SAP CB, (nt network)

長構文: LSA.002 LSA Error, unable to allocate memory for SAP CB, (network network)

説明: SAP CB 用として記憶域を割り振ることができません。

LSA.003

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.003 LSA Error, no room to alloc mem for LSCB *sap_cb_ptr*, (nt network)

長構文: LSA.003 LSA Error, no room available to allocate memory for LSCB *sap_cb_ptr*, (network network)

説明: 追加の LSCB を割り振るだけの余地がテーブルにありません。

LSA.004

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.004 LSA dl_close_sap error *llc_rc* from LLC, (nt network)

長構文: LSA.004 LSA dl_close_sap error *llc_rc* from LLC, (network network)

説明: LSA が SAP のクローズを試みていたとき、LLC がエラーを検出しました。

LSA.005

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.005 LSA dl_close_station error *llc_rc* from LLC, (nt network)

長構文: LSA.005 LSA dl_close_station error *llc_rc* from LLC, (network network)

説明: LSA がリンク・ステーションのクローズを試みていたとき、LLC がエラーを検出しました。

LSA.006

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.006 LSA dl_data_request error *llc_rc* from LLC, (nt network)

長構文: LSA.006 LSA dl_data_request error *llc_rc* from LLC, (network network)

説明: LSA がタイプ 2 データ・フレームの送信を試みていたとき、LLC がエラーを検出しました。

LSA.007

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.007 LSA header_check error *error_code*, (nt network)

長構文: LSA.007 LSA header_check error *error_code*, (network network)

説明: インバウンド LSA プリミティブのヘッダーの検査中に、エラーが見つかりました。

LSA.008

レベル: CE-ERROR

短構文: LSA.008 LSA stn *p_cep_id* on SAP *sap_value* terminated with rc *vtamrc*, (nt network)

長構文: LSA.008 LSA closing link station *p_cep_id* on SAP *sap_value* with rc *vtamrc*, (network network)

説明: LSA は、このネットワーク・インターフェースの VTAM SAP 上でリンク・ステーションをクローズしました。

LSA.009

レベル: C-INFO

短構文: LSA.009 LSA disabling int for VTAM host user *host_user*, (nt *network*)

長構文: LSA.009 LSA disabling interface for VTAM host user *host_user*, (network *network*)

説明: LSA は VTAM ユーザー接続を使用不可にしました。サブチャネルがオフラインのためです。

LSA.010

レベル: C-INFO

短構文: LSA.010 LSA closing SAP *sap_value*, (nt *network*)

長構文: LSA.010 LSA closing SAP *sap_value*, (network *network*)

説明: LSA は、このネットワーク・インターフェースの VTAM SAP をクローズしました。

LSA.011

レベル: C-INFO

短構文: LSA.011 LSA stn *p_cep_id* on SAP *sap_value* closed by VTAM, (nt *network*)

長構文: LSA.011 LSA link station *p_cep_id* on SAP *sap_value* closed by VTAM, (network *network*)

説明: LSA は、このネットワーク・インターフェースの VTAM SAP 上でリンク・ステーションをクローズしました。

LSA.012

レベル: C-INFO

短構文: LSA.012 LSA stn *p_cep_id* on SAP *sap_value* terminated with rc *vtamrc*, (nt *network*)

長構文: LSA.012 LSA closing link station *p_cep_id* on SAP *sap_value* with rc *vtamrc*, (network *network*)

説明: LSA は、このネットワーク・インターフェースの VTAM SAP 上でリンク・ステーションをクローズしました。

LSA.013

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.013 LSA Error, invalid *p_cep_id* or *p_sap_id* cookie, (nt *network*)

長構文: LSA.013 LSA Error, invalid *p_cep_id* or *p_sap_id* cookie, (network *network*)

説明: LLC 事象、つまり "クッキー" が無効のデータ・フレームを受信しました。

LSA.014

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.014 LSA Error, event rcvd from wrong LAN, (nt *network*)

長構文: LSA.014 LSA Error, event received from wrong LAN, (network *network*)

説明: LLC 事象、つまり間違った LAN からデータ・フレームを受信しました。

LSA.015

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.015 LSA Error, LLC event *event_type* received in state *vlan_status*, (nt *network*)

長構文: LSA.015 LSA Error, LLC event *event_type* received in state *vlan_status*, (network *network*)

説明: LLC 事象の発生が、LSA バーチャル・インターフェースがオンラインになる前でした。

LSA.016

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.016 LSA Error, SABME rcvd for statn *station* in state *status*, (nt *network*)

長構文: LSA.016 LSA Error, SABME received for station *station* in state *status*, (network *network*)

説明: SABME が接続ステーション上で受信されました。

LSA.017

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.017 LSA Error, unxpctd Conn Confirm rcvd for stn *station* in state *status*, (nt *network*)

長構文: LSA.017 LSA Error, unexpected Connect Confirm received for link station *station* in link state *status*, (network *network*)

説明: 予期しない応答確認 (接続確認) を LLC から受信しました。

LSA.018

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.018 LSA Error, unable to allocate LSCB for SAP *sap_id*, (nt *network*)

長構文: LSA.018 LSA Error, unable to allocate LSCB for SAP *sap_id*, (network *network*)

説明: この SAP 用の空き LSCB を見付けることができません。

LSA.019

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.019 LSA Error, invalid route info len *route_inf_len* rcvd, (nt *network*)

長構文: LSA.019 LSA Error, invalid routing information length *route_inf_len* received, (network *network*)

説明: 受信したルーティング情報長が無効でした。

LSA.020

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.020 LSA Error, event type *event_type*, invalid cause code *cause_code* rcvd, (nt *network*)

長構文: LSA.020 LSA Error, event type *event_type*, unexpected cause code *cause_code* received, (network *network*)

説明: 受信した原因符号が無効でした。

LSA.021

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.021 LSA Error, unexpected event type *event_type* rcvd, (nt *network*)

長構文: LSA.021 LSA Error, unexpected event type *event_type* received, (network *network*)

説明: LLC から受信した事象タイプが確認不能です。

LSA.022

レベル: CE-ERROR

短構文: LSA.022 LSA Error, invalid LAN type *lan_type* or LAN num *lan_num*, (nt *network*)

長構文: LSA.022 LSA Error, invalid LAN type *lan_type* or LAN number *lan_num*, (network *network*)

説明: LAN タイプまたは LAN 番号が無効です。

LSA.023

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.023 LSA Error, virt adapt not init, stat is *virt_adap_stat*, (nt *network*)

長構文: LSA.023 LSA Error, virtual adapter not initialized, status is *virt_adap_stat*, (network *network*)

説明: バーチャル・アダプターの状況が ENABLED ではありません。

LSA.024

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.024 LSA Error, frame rcvd with unknown id *identifier*, (nt *network*)

長構文: LSA.024 LSA Error, frame received with unknown identifier *identifier*, (network *network*)

説明: フレームを受信しましたが、*p_sap_id* または *p_cep_id* が確認不能です。

LSA.025

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.025 LSA Error, cntrlr len *controller_len* should be *t2_len*, (nt *network*)

長構文: LSA.025 LSA Error, controller length *controller_len* should be *t2_len*, (network *network*)

説明: 制御装置長が無効です。

LSA.026

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.026 LSA Error, XID poll/final *cmd_resp* or *cmd/resp poll_final* error, (nt *network*)

長構文: LSA.026 LSA Error, XID poll/final *cmd_resp* or command/response field value *poll_final* is incorrect, (network *network*)

説明: ポーリング/最終フィールドに無効値または間違った状態が入っているか、または コマンド/応答フィールドが無効です。

LSA.027

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.027 LSA Error, invalid routing info len *route_info_len*, (nt *network*)

長構文: LSA.027 LSA Error, invalid routing information length of *route_info_len*, (network *network*)

説明: ルーティング情報長さが無効です。

LSA.028

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.028 LSA Error, frame len *frame_size* exceeded max *frame_max*, (nt *network*)

長構文: LSA.028 LSA Error, frame length of *frame_size* exceeded maximum of *frame_max*, (network *network*)

説明: フレーム・サイズが最大値を超えました。

LSA.029

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.029 LSA Error, invalid SSAP *ssap* for Test/XID, (nt *network*)

長構文: LSA.029 LSA Error, invalid SSAP *ssap* for Test/XID, (network *network*)

説明: 発信元 SAP がテスト/XID では無効です。

LSA.030

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.030 LSA Error, invalid SAP CB ptr *sap_cb*, (nt *network*)

長構文: LSA.030 LSA Error, invalid SAP CB pointer *sap_cb*, (network *network*)

説明: SAP CB ポインターが無効です。

LSA.031

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.031 LSA Error, unexpected ret code 0x *ret_code* from LLC call to *func_name*, (nt *network*)

長構文: LSA.031 LSA Error, unexpected return code 0x *ret_code* from LLC call to *func_name*, (network *network*)

説明: LLC が LSA ネット・ハンドラーにエラー・コードを戻しました。

LSA.032

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.032 LSA Error, prim type *primitive* vtam code *vtam_code*, parm *parm* (nt *network*)

長構文: LSA.032 LSA Error, primitive type *primitive* vtam code *vtam_code*, parameter *parm* (network *network*)

説明: VTAM 要求/応答の処理でエラーが発生しました。指定されたパラメーターのせいでした。

LSA.033

レベル: C-INFO

短構文: LSA.033 LSA enabling int for VTAM host user *host_user*, (nt *network*)

長構文: LSA.033 LSA enabling interface for VTAM host user *host_user*, (network *network*)

説明: LSA は VTAM ユーザー接続を使用可能にしました。

LSA.034

レベル: C-INFO

短構文: LSA.034 LSA opening SAP *sap_value*, p_sap_id *p_sap_id* (nt *network*)

長構文: LSA.034 LSA opening SAP *sap_value*, p_sap_id *p_sap_id* (network *network*)

説明: LSA は、このネットワーク・インターフェースの VTAM SAP をオープンしました。

LSA.035

レベル: C-INFO

短構文: LSA.035 LSA stn *p_cep_id* on SAP *sap_value* opened by VTAM, (nt *network*)

長構文: LSA.035 LSA link station *p_cep_id* on SAP *sap_value* opened by VTAM, (network *network*)

説明: LSA は、このネットワーク・インターフェースの VTAM SAP 上でリンク・ステーションをオープンしました。

LSA.036

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.036 LSA Event, prim type *primitive* vtam code *vtam_code*, (nt *network*)

長構文: LSA.036 LSA Event, primitive type *primitive* vtam code *vtam_code*, (network *network*)

説明: VTAM 要求/応答の処理で非エラー事象が発生しました。

LSA.037

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.037 LSA Error, MAC adap not enabled, (nt *network*)

長構文: LSA.037 LSA Error, MAC adapter is not enabled, (network *network*)

説明: MAC アダプターが使用可能にされていません。

LSA.038

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.038 LSA Error, out of host user blocks, (nt network)

長構文: LSA.038 LSA Error, out of host user blocks, (network network)

説明: ホスト・ユーザー・ブロックがそれ以上ありません。

LSA.039

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.039 LSA Error, unknwn or unexpect req/resp primitive rcvd, (nt network)

長構文: LSA.039 LSA Error, unknown or unexpected request/response primitive received, (network network)

説明: プリミティブを受信しましたが、確認不能または予期しないものでした。

LSA.040

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.040 LSA Error, invalid req/resp primitive for statn station_status stat network/)

長構文: LSA.040 LSA Error, invalid request/response primitive for station station_status in status network/)

説明: 要求/応答がこのステーション状況では無効です。

LSA.041

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.041 LSA dl_open_station error 0x llc_rc from LLC, (nt network)

長構文: LSA.041 LSA dl_open_station error 0x llc_rc from LLC, (network network)

説明: LSA がリンク・ステーションのオープンを試みていたとき、LLC がエラーを検出しました。

LSA.042

レベル: C-INFO

短構文: LSA.042 LSA stn p_cep_id on SAP sap_value conn est, (nt network)

長構文: LSA.042 LSA link station p_cep_id on SAP sap_value connection established, (network network)

説明: LSA はリモート・リンク・ステーションとの LLC 接続を確立しました。

LSA.043

レベル: C-INFO

短構文: LSA.043 LSA stn p_cep_id on SAP sap_value conn rej by rej_end, (nt network)

長構文: LSA.043 LSA link station p_cep_id on SAP sap_value connection rejected by rej_end, (network network)

説明: リモート・リンク・ステーションへの LLC 接続がリジェクトされました。

LSA.044

レベル: C-INFO

短構文: LSA.044 LSA net netnum rcvd netup from net lan_netnum (nt network)

長構文: LSA.044 LSA net netnum received netup from net lan_netnum (network network)

説明: LSA ネット・ハンドラーが接続ダウンストリーム LAN からネットアップを受信しました。

LSA.045

レベル: C-INFO

短構文: LSA.045 LSA net netnum MAC addr macaddr set (nt network)

長構文: LSA.045 LSA net netnum MAC address set to macaddr (network network)

説明: LSA ネット・ハンドラーが接続ダウンストリーム LAN からネットアップを受信しました。

LSA.046

レベル: P-TRACE

短構文: LSA.046 LSA user data to base net handler (nt network)

長構文: LSA.046 LSA user data sent to the base net handler (network network)

説明: LSA ネット・ハンドラーは、基本ネット・ハンドラーにユーザー・データを送信しました。

LSA.047

レベル: P-TRACE

短構文: LSA.047 LSA user data from base net handler (nt network)

長構文: LSA.047 LSA user data received from the base net handler (network network)

説明: LSA ネット・ハンドラーは、基本ネット・ハンドラーからユーザー・データを受信しました。

LSA.048

レベル: P-TRACE

短構文: LSA.048 LSA prim *prim_code* to base net handler (nt network)

長構文: LSA.048 LSA primitive *prim_code* sent to the base net handler (network network)

説明: LSA ネット・ハンドラーは、基本ネット・ハンドラーにデータを送信しました。このデータは、ホストへの接続の稼働のために LSA が使用するプリミティブが含まれるプリミティブであり、接続を通して実行するユーザー・データではありません。

LSA.049

レベル: P-TRACE

短構文: LSA.049 LSA prim *prim_code* from base net handler (nt network)

長構文: LSA.049 LSA primitive *prim_code* received from the base net handler (network network)

説明: LSA ネット・ハンドラーは、基本ネット・ハンドラーからデータを受信しました。このデータは、ホストへの接続の稼働のために LSA が使用するプリミティブが含まれるプリミティブであり、接続を通して実行するユーザー・データではありません。

LSA.050

レベル: C-INFO

短構文: LSA.050 *in_out* flow *on_off* LSA stn *p_cep_id* on SAP *sap_value*, (nt network)

長構文: LSA.050 *in_out* flow turned *on_off* for LSA link station *p_cep_id* on SAP *sap_value*, (network network)

説明: VTAM または LLC が、LSA リンク・ステーションに関して、フロー制御をオン/オフにしました。

LSA.051

レベル: CE-ERROR

短構文: LSA.051 FRMR *in_out* for LSA stn *p_cep_id* on SAP *sap_value*, (nt network)

長構文: LSA.051 Frame reject *in_out* for LSA link station *p_cep_id* on SAP *sap_value*, (network network)

説明: フレーム・リジェクトが、LSA リンク・ステーションに関して、送信または受信されました。

LSA.053

レベル: C-INFO

短構文: LSA.053 LSA rcvd *event* event for SAP/stn *sap_cep* (nt network)

長構文: LSA.053 LSA received *event* event from LLC for SAP/link station *sap_cep* (network network)

説明: LSA ネット・ハンドラーは、LLC アプリケーションから事象通知を受信しました。

LSA.054

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.054 LSA frame not sent to host rc *rc* (nt network)

長構文: LSA.054 LSA frame not sent to host - return code *rc* (network network)

説明: LSA ネット・ハンドラーは、ホストにフレームを送信できませんでした。

LSA.055

レベル: C-INFO

短構文: LSA.055 APPN Loopback net installed (nt network)

長構文: LSA.055 APPN Loopback net installed (nt network)

説明: LLC ループバック用の APPN ネット・ハンドラーがインストールされました。

LSA.056

レベル: C-INFO

短構文: LSA.056 APPN Loopback net init complete (nt network)

長構文: LSA.056 APPN Loopback net initialization complete (nt network)

説明: LLC ループバック用の APPN ネット・ハンドラーが初期化されました。

LSA.057

レベル: C-INFO

短構文: LSA.057 LSA net *netnum* disabled by user (nt network)

長構文: LSA.057 LSA net *netnum* disabled by user (nt network)

説明: LSA ネット・ハンドラー使用不可ルーチンが起動されました。

LSA.058

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.058 LSA can't get IORB for *cause* (nt *network*)

長構文: LSA.058 LSA unable to get IORB for *cause* (nt *network*)

説明: LSA ネット・ハンドラーは IORB を入手できませんでした。事象が発生した可能性があります、VTAM に報告されることはありません。

LSA.059

レベル: C-INFO

短構文: LSA.059 LSA net passed self-test (nt *network*)

長構文: LSA.059 LSA net passed self-test (nt *network*)

説明: LSA ネット・ハンドラーは、その自己検査ルーチンを渡しました。チャンネル・アダプターとダウンストリーム LAN アダプターが両方ともネットアップしました。

LSA.060

レベル: C-INFO

短構文: LSA.060 LSA net *netnum* netdown by LAN net *lan_netnum* netdown (nt *network*)

長構文: LSA.060 LSA net *netnum* went netdown because LAN net *lan_netnum* went netdown (nt *network*)

説明: ダウンストリーム LAN アダプターがネットダウンしたため、LSA ネット・ハンドラーはネットダウンしました。

LSA.061

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.061 LSA LLC can't find MAC *macaddr* SAP *sap* for *prim* (nt *network*)

長構文: LSA.061 LSA LLC can't find MAC *macaddr* SAP *sap* for VTAM primitive *prim* (nt *network*)

説明: LLC は、MAC アドレスに対してオープン、指定された SAP を見付けることができませんでした。このエラーが発生するのは、LLC ループバックの場合だけです。

Panic Isanomem

短構文: Isanomem: LSA handler no memory

説明: LSA ハンドラーが、制御ブロック (複数の場合もある) 用として記憶域を割り振ることができません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic Isansram

短構文: Isansram: LSA SRAM not found

説明: LSA ネット・ハンドラーに関する SRAM レコードが見つかりませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic Isanolan

短構文: Isanolan: LSA target LAN not defined

説明: LSA ターゲット LAN が定義されていません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic Isanolsa

短構文: Isanolsa: APPN loopback activated with no LSA net defined

説明: APPN ループバックが起動されましたが、LSA ネットが定義されていません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic Isabcall

短構文: Isabcall: bad call to routine

説明: ルーチンに対して無効の呼び出しが行われました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

第65章 MAC フィルター (MCF)

この章では、MAC フィルター (MCF) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

MCF.001

レベル: P-TRACE

短構文: MCF.001 MCF enbl

長構文: MCF.001 MAC Filtering enabled

説明: MAC フィルター・データベースが使用可能になりました。

MCF.002

レベル: P-TRACE

短構文: MCF.002 MCF dsbl

長構文: MCF.002 MAC Filtering disabled

説明: MAC フィルター・データベースが使用不可になりました。

MCF.003

レベル: UI-ERROR

短構文: MCF.003 MCF init-err no mem

長構文: MCF.003 MAC Filtering no memory for initialization

説明: MAC フィルター・データベースの初期化で、MAC フィルター制御構造用の記憶域の割り振りに失敗しました。

原因: この構成をサポートするには、記憶域が不十分です。

処置: 構成を変更して、記憶域使用量を減らします。追加の物理記憶域が必要になる場合があります。

MCF.004

レベル: UI-ERROR

短構文: MCF.004 MCF init-err bd ifc nmbr - *filter_intf*

長構文: MCF.004 MAC Filtering bad interface number *filter_intf* given in initialization

説明: MAC フィルター・データベースの初期化で、存在しないインターフェースがフィルターと共に構成されています。

原因: インターフェースが存在していないのに、ユーザ

ーがトラップを構成したのです。

処置: 誤ったトラップを削除するか、そのトラップを割り当てるインターフェースを追加します。

MCF.005

レベル: UI-ERROR

短構文: MCF.005 MCF init-err gen flt db

長構文: MCF.005 MAC Filtering database initialization error

説明: MAC フィルター・データベースの初期化で、フィルター・データベースの作成中にエラーを検出しました。

原因: この構成をサポートするには、記憶域が不十分です。

処置: 構成を変更して、記憶域使用量を減らします。追加の物理記憶域が必要になる場合があります。

MCF.006

レベル: U-TRACE

短構文: MCF.006 MCF add filt at *name* ok

長構文: MCF.006 MAC Filtering initialized filter at *name* successfully

説明: 示されている方向およびインターフェースで構成された MAC フィルターが正常に初期化され、有効になっています。

MCF.007

レベル: U-TRACE

短構文: MCF.007 flt *filter* exc frm *source-> dest*, nt *network* int *intname/ intnum*

長構文: MCF.007 MAC Filter *filter* excludes frame *source-> dest*, network *network* interface *intname/ intnum*

説明: 指定された MAC フィルターが、示されている方向およびインターフェース上で、あるフレームと一致しました。このフレームは、それ以降の処理から除外されました。

MCF.008

レベル: U-TRACE

短構文: MCF.008 *flt filter inc frm source-> dest, nt network*
int ininame/ ininum

長構文: MCF.008 MAC Filter *filter* includes frame *source->*
dest, network network interface ininame/ ininum

説明: 指定された MAC フィルターが、示されている方向およびインターフェース上で、あるフレームと一致しました。このフレームは、それ以降の処理に組み込まれました。

MCF.009

レベル: U-TRACE

短構文: MCF.009 *flt filter tag(tag) frm source-> dest, nt*
network int ininame/ ininum

長構文: MCF.009 MAC Filter *filter* tags(*tag*) frame
source-> dest, network network interface ininame/ ininum

説明: 指定された MAC フィルターが、示されている方向およびインターフェース上で、あるフレームと一致しました。このフレームは、構成された処置に従って、フィルターされました。

Panic mcfimem

短構文: MCF init fail, no mem

説明: MAC フィルター初期化は初期化を完了するために十分な記憶域を割り振ることに失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

第66章 MMC

この章では、MMC メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

MMC.001

レベル: C-INFO

短構文: MMC.001 Dscrd ATM pkt on int *net_num*, int is down.

長構文: MMC.001 Discard ATM packet on interface *net_num*, because interface is down.

説明: ATM パケットが廃棄されました。

MMC.002

レベル: UI-ERROR

短構文: MMC.002 switch_receive_frame. Unspprted msg (type= *type*) rcvd

長構文: MMC.002 switch_receive_frame. Unsupported message type *type* received

説明: switch_receive_frame() で、サポートされていないメッセージを受信しました。

MMC.003

レベル: UI-ERROR

短構文: MMC.003 *func_name*: int *net_num* is not regstrd

長構文: MMC.003 *func_name*: interface *net_num* is not registered

説明: インターフェースは装置ドライバーに登録されていません。

MMC.004

レベル: UI-ERROR

短構文: MMC.004 *func_name*: int *net_num* is not open

長構文: MMC.004 *func_name*: int *net_num* is not open

説明: 装置内でインターフェースがオープンしていません。

MMC.005

レベル: C-INFO

短構文: MMC.005 Frame ACK timed out for int *net_num* msg type *msg_type*

長構文: MMC.005 Frame ACK timed out for interface *net_num*, message type *msg_type*

説明: 装置ドライバー内でフレーム確認タイマーが時間切れになりました。

MMC.006

レベル: DEBUG

短構文: MMC.006 Initializing cpu_enet_init()

長構文: MMC.006 Initializing cpu_enet_init()

説明: cpu_enet_init() ルーチンに入りました。

MMC.007

レベル: DEBUG

短構文: MMC.007 cpu_enet_ *type*_dscr_list: 0x *addr*

長構文: MMC.007 cpu_enet_ *type*_dscr_list: 0x *addr*

説明: CPU Enet TX/RX 記述子リストを印刷してください。

MMC.008

レベル: C-INFO

短構文: MMC.008 cpu_enet_rx_dequeue: Discrdng rx frame *value*

長構文: MMC.008 cpu_enet_rx_dequeue: Discarding rx frame *value*

説明: cpu_enet_rx_dequeue ルーチンが ATM パケットを廃棄しています。

MMC.009

レベル: DEBUG

短構文: MMC.009 Error dequeuing *type* bufs from enet

長構文: MMC.009 Error dequeuing *type* buffers from enet

説明: 装置ドライバー内のバッファを誤って待ち行列解除しました。

MMC.010

レベル: DEBUG

短構文: MMC.010 enet_receive_frame: valid *net_num* cell cnt = int , debug , for

長構文: MMC.010 enet_receive_frame: valid *net_num*, cell cnt = , i/f , debug , for "

説明: IORB 割り振りが失敗しました。

MMC.011

レベル: CI-ERROR

短構文: MMC.011 tx frame over enet failed

長構文: MMC.011 transmit frame over enet failed

説明: イーサネット・フレームを送送する試みが失敗しました。

MMC.012

レベル: DEBUG

短構文: MMC.012 ATM VCC INDEX 0x *vcc_index* LECID: *lec_index*

長構文: MMC.012 ATM VCC INDEX 0x *vcc_index* LECID: *lec_index*

説明: ATM -> CPU メッセージをデコードします。

MMC.013

レベル: CI-ERROR

短構文: MMC.013 addAtmConnection failed on *net_num*

長構文: MMC.013 addAtmConnection failed on *net_num*

説明: このインターフェース上で addAtmConnection に失敗しました。

MMC.014

レベル: C-INFO

短構文: MMC.014 deleteAtmConnection failed - *rc connection_ea* , *rc2*, *connection_ae*

長構文: MMC.014 deleteAtmConnection failed - *rc connection_ea* , *rc2*, *connection_ae*

説明: deleteAtmConnection に失敗しました。

MMC.015

レベル: CI-ERROR

短構文: MMC.015 *func_name*: illegal dist type

長構文: MMC.015 *func_name*: illegal distribution type

説明: 無許可の配布タイプ

MMC.016

レベル: DEBUG

短構文: MMC.016 *string*

長構文: MMC.016 *string*

説明: これは、MMC から渡された汎用ストリングです。

MMC.017

レベル: CI-ERROR

短構文: MMC.017 nt *net_num1 func_name*: frm struc alloc failed

長構文: MMC.017 nt *net_num1 func_name*: frame structure allocation failed

説明: フレーム構造の割り振りに失敗しました。

MMC.018

レベル: C-INFO

短構文: MMC.018 nt *net_num1* reliable queue full - dropping frame

長構文: MMC.018 nt *net_num1* reliable queue full - dropping frame

説明: 信頼性のあるメッセージ待ち行列がいっぱいです。

MMC.019

レベル: C-INFO

短構文: MMC.019 nt *net_num1* Frame ACK timed out - bcast msg type *msg_type*

長構文: MMC.019 nt *net_num1* Frame ACK timed out - broadcast message type *msg_type*

説明: このメッセージは、高信頼性の同報通信に関してフレーム確認が失敗したことを示しています。

MMC.020

レベル: CI-ERROR

短構文: MMC.020 nt *net_num1* *func_name*: msg buf alloc
failed

長構文: MMC.020 nt *net_num1* *func_name*: message buffer
allocation failed

説明: フレーム構造の割り振りに失敗しました。

MMC.021

レベル: C-INFO

短構文: MMC.021 Resetting EPIF *epif_num*

長構文: MMC.021 Resetting EPIF *epif_num*

説明: EPIF をリセット中です。

第67章 MPC チャネル・ネットワーク・インターフェース (MPC)

この章では、MPC チャネル・ネットワーク・インターフェース (MPC) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

MPC.001

レベル: UE-ERROR

短構文: MPC.001 *file(line)*: No IORB allocated (nt network)

長構文: MPC.001 *file(line)*: No IORB could be allocated (network network)

説明: MPC+ 処理は IORB を必要としましたが、これが獲得できませんでした。

MPC.002

レベル: P-TRACE

短構文: MPC.002 *file(line)*: netfout did not send data frame (nt network)

長構文: MPC.002 *file(line)*: netfout did not send out data frame (network network)

説明: MPC+ ネット・ハンドラーは netfout を行いましたが、これがフレームを送り出すことに失敗しました。

MPC.003

レベル: UE-ERROR

短構文: MPC.003 *file(line)*: PDU invalid (nt network)

長構文: MPC.003 *file(line)*: PDU received was invalid (network network)

説明: MPC+ PDU が無効でした。

原因: MPC+ ネット・ハンドラーが必要とした PDU は、チャネルを通して受信されたものではありませんでした。

処置: ソフトウェア・サポートに連絡してください。

MPC.004

レベル: C-TRACE

短構文: MPC.004 *file(line)*: input *fsminput* curr stte curr_state new stte new_state actn action (nt network)

長構文: MPC.004 *file(line)*: input *fsminput* current state curr_state new state new_state action action (network network)

説明: メッセージに示されている MPC+ FSM に入力を示します。

MPC.005

レベル: UE-ERROR

短構文: MPC.005 *file(line)*: SDU (*rutype_string*) invalid (nt network)

長構文: MPC.005 *file(line)*: SDU (*rutype_string*) was invalid (network network)

説明: MPC+ SDU が無効でした。

原因: MPC+ ネット・ハンドラーが必要とした SDU は、チャネルを通して受信された PDU のものではありませんでした。

処置: ソフトウェア・サポートに連絡してください。

MPC.006

レベル: UE-ERROR

短構文: MPC.006 *file(line)*: no *cbtype_string* CB available (nt network)

長構文: MPC.006 *file(line)*: no *cbtype_string* control block available (network network)

説明: 制御ブロックまたはその資源 (たとえば、IORB) 用の記憶域が、MPC+ ネット・ハンドラーの場合に獲得できませんでした。

MPC.007

レベル: UE-ERROR

短構文: MPC.007 *file(line)*: *conntype_string_* equal user data (nt network)

長構文: MPC.007 *file(line)*: *conntype_string_* Virtual Circuit user data was equal (network network)

説明: バーチャル・サーキット上の *user_data* が同じでした。

原因: VTAM と MPC+ ネット・ハンドラーの両方が同じユーザー・データを選出しました。

処置: 接続タイプが CM の場合は、再度 MPC+ グループの立ち上げを試みてください。ユーザー・データ内の

乱数が次回は異なっていることが期待されます。

処置: ユーザー接続の場合は、ユーザー・データの変更を試みてください。 APPN 接続にはコントロール・ポイント名が使用されていることに注意してください。

MPC.008

レベル: UE-ERROR

短構文: MPC.008 *file(line): cbtype_string* CB was not found for *cmdtype_string* (nt network)

長構文: MPC.008 *file(line): cbtype_string* control block could not be located for *cmdtype_string* (network network)

説明: コマンド (プリミティブ/SDU) に関する MPC+ 制御ブロックを見付けることができませんでした。

原因: 資源がダウンしたため、制御ブロックはすでに解放されていました。

処置: 一般的には、処置は必要ありません。

MPC.009

レベル: U-INFO

短構文: MPC.009 *file(line): fsmtype_string* FSM invalid, input = *input* state = *state* (nt network)

長構文: MPC.009 *file(line): fsmtype_string* FSM had invalid input, input = *input* state = *state* (network network)

説明: MPC+ FSM の 1 つが入力を受信しましたが、これは現在の状態で発生するはずがない入力です。

処置: 一般的には、処置は必要ありません。問題が続く場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

MPC.010

レベル: UE-ERROR

短構文: MPC.010 *file(line): Primitive (primtype_string)* invalid (nt network)

長構文: MPC.010 *file(line): Primitive (primtype_string)* was invalid (network network)

説明: MPC+ プリミティブが無効でした。

原因: MPC+ ネット・ハンドラーが必要としたプリミティブは、ボックス内の他の処理から受信したものではありませんでした。

処置: ソフトウェア・サポートに連絡してください。

MPC.011

レベル: C-INFO

短構文: MPC.011 *file(line): Primitive (primtype_string)* was a dup (nt network)

長構文: MPC.011 *file(line): Primitive (primtype_string)* was a duplicate (network network)

説明: MPC+ プリミティブは、すでにアクティブであったか、またはアクティブになる途上にあった資源用でした。

処置: 一般的には、処置は必要ありません。問題が続く場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

MPC.012

レベル: P-TRACE

短構文: MPC.012 *file(line): conntype_string* conn congested (nt network)

長構文: MPC.012 *file(line): conntype_string* connection is congested (network network)

説明: MPC+ PDU の受信が行われた接続が輻輳 (ふくそう) していたので、PDU は廃棄されました。

処置: 一般的には、処置は必要ありません。問題が続く場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

MPC.013

レベル: UI-ERROR

短構文: MPC.013 *file(line): cmd (commtype_string)* was un supp (nt network)

長構文: MPC.013 *file(line): command (commtype_string)* was unsupported (network network)

説明: 装置ドライバーからのコマンドがサポートされていませんでした。

処置: ソフトウェア・サポートに連絡してください。

MPC.015

レベル: C-INFO

短構文: MPC.015 *file(line): subchnnl (local_sc_num)* not expectng *cmd_string* cmd (nt network)

長構文: MPC.015 *file(line): local subchannel (local_sc_num)* not expecting *cmd_string* command in current state (network network)

説明: MPC+ サブチャネルがコマンドを受信しましたが、その現在の状態では予期されなかったものです。そのコマンドは無視されました。

原因: VTAM が再送したコマンドが、そのサブチャネル用としてすでに処理されていたものでした。

処置: 一般的には、処置は必要ありません。問題が続く場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

MPC.016

レベル: UI-ERROR

短構文: MPC.016 *file(line): timer (timer_string) popped when not running (nt network)*

長構文: MPC.016 *file(line): timer (timer_string) popped when it was not currently running (network network)*

説明: MPC+ タイマーが稼働中でしたが、処理ではこのタイマーが稼働中とは考えられなかったときでした。

処置: ソフトウェア・サポートに連絡してください。

MPC.017

レベル: UE-ERROR

短構文: MPC.017 *file(line): XID2(xid2_type) failed validation (nt network)*

長構文: MPC.017 *file(line): XID2(xid2_type) failed was validation (network network)*

説明: 受信された MPC+ XID2 がその妥当性検査に失敗し、不良と見なされます。

原因: XID2 交換内の乱数が、MPC+ ネット・ハンドラーおよび VTAM 内と同じものでした。

処置: 再度 MPC グループの立ち上げを試みてください。次回は異なる乱数が交換されることが期待されます。

MPC.018

レベル: C-INFO

短構文: MPC.018 *file(line): dup. PDU was received (nt network)*

長構文: MPC.018 *file(line): A duplicate PDU was received (network network)*

説明: MPC+ シーケンス・マネージャーが、受信した重複 PDU を廃棄しました。

処置: 処置は必要ありません。

MPC.019

レベル: UI-ERROR

短構文: MPC.019 *file(line): conn_string connection cleaned up by Seq. Manager (nt network)*

長構文: MPC.019 *file(line): conn_string connection was cleaned up by Sequence Manager (network network)*

説明: MPC+ シーケンス・マネージャーが接続を終結処理しました。順序制御または確認に問題があったためです。

原因: データの順序に誤りがあり、回復できませんでした。

処置: 接続は復旧し回復する必要があります。問題が引き続き発生する場合は、その接続のシーケンス・タイマーの値が低過ぎないかどうか調べます。低過ぎる可能性がある場合は、その接続のシーケンス・タイマーの値を大きくしてください。問題の原因は、シーケンス・タイマーの値の大きさが不十分で、トラフィックの遅延にあった可能性があります。

原因: VTAM からのデータの受信確認がタイムリーに行われていませんでした。

処置: データの流れがなお続いている場合は、その接続のシーケンス・タイマーの値を変更する必要がある可能性があります。

MPC.020

レベル: P-TRACE

短構文: MPC.020 *file(line): MPC+ command_string to base channel (nt network)*

長構文: MPC.020 *file(line): MPC+ command_string sent to base channel (network network)*

説明: MPC+ ネット・ハンドラーが、基本チャネル・ネット・ハンドラーに MPC コマンドまたはデータを送信しました。

MPC.021

レベル: P-TRACE

短構文: MPC.021 *file(line): MPC+ command_string from base channel (nt network)*

長構文: MPC.021 *file(line): MPC+ command_string received from base channel (network network)*

説明: MPC+ ネット・ハンドラーが、基本チャネル・ネット・ハンドラーから MPC コマンドまたはデータを受信しました。

MPC.022

レベル: UE-ERROR

短構文: MPC.022 *file(line): ru_string invalid. err_string: 0x err_data (nt network)*

長構文: MPC.022 *file(line): ru_string validation failed.*

err_string: 0x err_data (network network)

説明: 構成タイプ・パラメーターが妥当性検査に不合格でした。

原因: こちら側で構成したデータか、相手側から受信したデータが無効です。

処置: 構成を修正します。

MPC.023

レベル: ALWAYS

短構文: MPC.023 *file(line): Disabled Net(rea_string). err_string: 0x err_data (nt network)*

長構文: MPC.023 *file(line): Error: Disabled Network Interface (rea_string). err_string: 0x err_data (network network)*

説明: 重大なエラーのため、ネット・ハンドラー・インターフェースが使用不可になりました。

原因: 記憶割り振り障害です。

処置: 構成済み資源用として十分な記憶域が現在ありません。記憶域が使用可能になる可能性はあります。インターフェースをアップに戻す試みとして、オペレーター・コンソールからテストを出します。

原因: 無効のプロトコルによるインターフェースの使用の試み。

処置: ソフトウェア・エラーの可能性があるので、構成を検査します。これが OK の場合は、サービス技術員に連絡してください。

MPC.024

レベル: C-INFO

短構文: MPC.024 *file(line): event_string IP Addr IP_address MPC+ nt network*

長構文: MPC.024 *file(line): event_string IP Address IP_address on MPC+ network network*

説明: IP アドレスが MPC+ ネット・ハンドラーに追加または削除されました。

MPC.025

レベル: P-TRACE

短構文: MPC.025 *file(line): MPC+ user data to base channel (nt network)*

長構文: MPC.025 *file(line): MPC+ user data sent to base channel (network network)*

説明: MPC+ ネット・ハンドラーが、基本チャネル・ネット・ハンドラーにユーザー・データを送信しました。

PDU には複数のユーザー・データ・パケットが入っている可能性があります。このメッセージは各 PDU につき 1 回カウントされますが、PDU 内の各パケットごとに表示されます。

MPC.026

レベル: P-TRACE

短構文: MPC.026 *file(line): MPC+ user data from base channel (nt network)*

長構文: MPC.026 *file(line): MPC+ user data received from base channel (network network)*

説明: MPC+ ネット・ハンドラーが、基本チャネル・ネット・ハンドラーからユーザー・データを受信しました。PDU には複数のユーザー・データ・パケットが入っている可能性があります。このメッセージは各 PDU につき 1 回カウントされますが、PDU 内の各パケットごとに表示されます。

MPC.027

レベル: UE-ERROR

短構文: MPC.027 *file(line): Wrong protocol(protocol1_string) tried to use protocol2_string Exclusive Use MPC+ Group (nt network)*

長構文: MPC.027 *file(line): Wrong protocol(protocol1_string) tried to use protocol2_string Exclusive Use MPC+ Group (network network)*

説明: MPC+ グループは、要求元プロトコルでは、構成を基にして使用することができません。

処置: 構成 (排他使用が使用可能) が正しかったかどうかを二重にチェックしてください。

MPC.028

レベル: UE-ERROR

短構文: MPC.028 *file(line): protocol1_string Exclusive Use MPC+ Group already in use by protocol2_string (nt network)*

長構文: MPC.028 *file(line): protocol1_string Exclusive Use MPC+ Group already in use by protocol2_string (network network)*

説明: MPC+ グループは、要求元プロトコルでは、構成およびプロトコルの別のインスタンスが使用中であるという事実を基にして、使用することができません。

処置: 構成 (排他使用が使用可能) が正しかったかどうかダブル・チェックしてください。

MPC.029

レベル: UE-ERROR

短構文: MPC.029 *file(line)*: Subchannel (0x *subnum*) is READ or WRITE on both sides (nt *network*)

長構文: MPC.029 *file(line)*: Subchannel (0x *subnum*) is coded READ or coded WRITE on both sides (network *network*)

説明: サブチャネル・リストのコーディングは、チャネルの両側での READ とチャネルの両側での WRITE のいずれかとして行われています。

処置: 構成 (READ か WRITE) が正しかったかどうかダブル・チェックしてください。

MPC.030

レベル: UE-ERROR

短構文: MPC.030 *file(line)*: *cmdtype_string* was received for SC 0x *subnum* which is not part of this Net (nt *network*)

長構文: MPC.030 *file(line)*: *cmdtype_string* was received for subchannel 0x *subnum* which is not part of this MPC+ NET (network *network*)

説明: サブチャネルに関してコマンド・リストを受信しましたが、それがネット・ハンドラーの一部ではないものです。

処置: ソフトウェア・サポートに連絡してください。

MPC.031

レベル: C-INFO

短構文: MPC.031 *file(line)*: MPC+ nt *network* protocol down for protocol *prtcl*

長構文: MPC.031 *file(line)*: MPC+ network *network* protocol down for protocol *prtcl*

説明: MPC+ ネット・ハンドラーは、プロトコルがダウンであることを受信しました。

MPC.032

レベル: C-INFO

短構文: MPC.032 *file(line)*: cmd (*commtype_string*) was discarded - net is disabled (nt *network*)

長構文: MPC.032 *file(line)*: command (*commtype_string*) was discarded - net is disabled (network *network*)

説明: コマンドは、ネットが使用不可にされていたために廃棄されました。

処置: ソフトウェア・サポートに連絡してください。

MPC.033

レベル: UI-ERROR

短構文: MPC.033 *file(line)*: MPC+ discarded *protocolid_string* IORB due to no data (nt *network*)

長構文: MPC.033 *file(line)*: MPC+ discarded *protocolid_string* IORB due to no data (network *network*)

説明: IORB は、データがなにも入っていなかったので廃棄されました。

処置: ソフトウェア・サポートに連絡してください。

MPC.034

レベル: CE-ERROR

短構文: MPC.034 *file(line)*: *protocol_string* tried to use a non-Exclusive Use MPC+ Group (nt *network*)

長構文: MPC.034 *file(line)*: *protocol_string* tried to use a non-Exclusive Use MPC+ Group (network *network*)

説明: 要求元プロトコルは、構成に基づいて MPC+ グループを使用することができません。これはエラーではない可能性があります。一部のホスト・ユーザー (たとえば、TCP/IP) は、意図的に複数の MPC プロトコルに対して要求を送信し、すべてが成功するとは期待していない場合があります。

処置: 構成 (排他使用が使用可能) が正しかったかどうかを二重にチェックしてください。

MPC.035

レベル: C-INFO

短構文: MPC.035 *file(line)*: BF Decide: Loc Conn Token=0x *conn_string* BF= *bf* ThruPut= *thruput*(ms/pack) ElapTime= *elaptim*(ms) (nt *network*)

長構文: MPC.035 *file(line)*: Blocking Factor Decision: Local Connection Token=0x *conn_string* Blocking Factor= *bf* ThruPut= *thruput*(millisec/packet) ElapsedTime= *elaptim*(millisec) (network *network*)

説明: この接続に対して MPC+ ブロック・アルゴリズムがどのように作用するかについての情報を提供します。

処置: なし。

MPC.036

レベル: C-INFO

短構文: MPC.036 *file(line)*: Block Push: Loc Conn Token=0x *conn_string* BF= *bf* PushCnt= *pushcnt* (nt *network*)

長構文: MPC.036 *file(line)*: Block Push: Local Connection

Token=0x *conn_string* Blocking Factor= *bf* PushCnt= *pushcnt*
(network *network*)

説明: この接続に対して MPC+ ブロック・アルゴリズムがどのように作用するかについての情報を提供します。

処置: なし。

Panic mpcnomem

短構文: mpcnomem: MPC+ Net Handler no memory

説明: MPC+ ネット・ハンドラーは、制御ブロック用の記憶域を割り振ることができません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic mpcnsram

短構文: mpcnsram: MPC+ channel SRAM not found

説明: MPC+ チャネル・ネット・ハンドラーの SRAM レコードが見付かりませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic mpcnosub

短構文: mpcnosub: subch not found

説明: 要求された論理パスと装置アドレスが、チャネル・ハンドラー・サブチャネル・テーブル内で見付かりませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

第68章 マルチキャスト・アドレス解決プロトコル (MARS)

この章では、マルチキャスト・アドレス解決プロトコル (MARS) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

MARS.001

レベル: U-INFO

短構文: MARS.001 MARS Q ovf (destId= destQueue) for nt network

長構文: MARS.001 MARS Queue overflow (destId= destQueue) net network

説明: 未処理の MARS パケットの待ち行列が長過ぎたため、MARS パケットが待ち行列に追加されないで廃棄されました。これは、MARS パケットの到着が速過ぎて処理できなかったことを意味しています。この事象は、ELS ではカウントされないで、MARS コンソールでカウントされることに注意してください。

MARS>STATISTICS コマンドを使用して、"input packet overflows" セクションのカウンター (入力ネットワーク別に保持) を読み取ることができます。

原因: これは、いわゆる "MARS ストーム" の徴候としてしばしば現れるものです。ホスト (通常は、普通のワークステーション) に到着するパケットによっては、ホストがそのあて先アドレスを認識できないもの (通常は、IP 同報通信) があります。そこで、ホストでは、(ホスト仕様に違反して) パケットの転送を試みますが、そのためには MARS のマッピングが必要になります。すべてのホストが同時に同報通信を受信するので、すべてが同時にパケットの転送を試み、すべてが同時に MARS 要求を行います。

処置: 該当するホストの製造元に、ソフトウェアを仕様に適合させるよう依頼してください。短期的には、そのようなパケットの送信元を使用不可にするなり、パケットの送信元に対して、誤作動するホストが同報通信として認識できるアドレスを使用させるようにすることができます。

MARS.002

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.002 MARS Q dst is NULL (destId= destQueue) for nt network ID

長構文: MARS.002 MARS queue destination is NULL (destId= destQueue) for net network ID

説明: メッセージが内部 MARS 処理ルーチンに送信されましたが、あて先タイプが無効であったか、あて先待

ち行列の初期化が正しく行われませんでした。

MARS.003

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.003 ATM MARS marsSend net not sup or NULL channel detected (channel= chaDest nt network ID)

長構文: MARS.003 ATM MARS marsSend net not supported or NULL channel detected (channel= chaDest net network ID)

説明: ネットワークで発信 MARS パケットを受信しましたが、そのネットワークでは、どのプロトコルもアドレス変換のために MARS を使用していないか、パケットが送信されるはずであったチャネルが NULL です。メッセージに含まれている情報を調べて、障害の原因を判別します。

原因: ゲートウェイの構成が誤っています。

処置: 構成を訂正してください。

MARS.004

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.004 ATM MARS Rqst send failed rsn reason_code nt network ID

長構文: MARS.004 ATM MARS transmission of request failed for reason reason_code net network ID

説明: 内部に何らかの問題が生じた結果、発信 MARS 要求パケットが除去されました。理由コード (reason_code) に原因が示されています。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、network_name を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたは不正な同報通信を回避するために、

ハンドラーによって除去されました (理由コード 4)

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

MARS.005

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.005 ATM MARS marsSendControlList: Invalid input parms (listAddr= *listVal* dataAddr= *DataVal*)

長構文: MARS.005 ATM MARS marsSendControlList: Invalid input parms (listAddr= *listVal* dataAddr= *DataVal*)

説明: 発信制御リスト上の MARS パケットの送信要求を受信しました。この要求に関する入力パラメーターが無効です。listAddr および dataAddr の値を記録し、問題が続く場合は、問題を報告します。

MARS.006

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.006 ATM MARS *functionCall*: *msgDesc*.

長構文: MARS.006 ATM MARS *functionCall*: *msgDesc*.

説明: 内部エラーが発生しました。メッセージにエラーが発生した場所と理由が含まれています。

MARS.008

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.008 ATM MARS marsSendMember: Invalid input parms (nodeAddr= *nodeVal* dataAddr= *DataVal*)

長構文: MARS.008 ATM MARS marsSendMember: Invalid input parms (nodeAddr= *nodeVal* dataAddr= *DataVal*)

説明: 出力チャンネル上の MARS パケットの送信要求を受信しました。この要求に関する入力パラメーターが無効です。nodeAddr および dataAddr の値を記録し、問題が続く場合は、問題を報告します。

MARS.009

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.009 ATM MARS marsControlListCreate: Invalid input parms (listAddr= *listAddr* nodeAddr= *nodeAddr* dataAddr= *DataAddr*)

長構文: MARS.009 ATM MARS marsControlListCreate: Invalid input parms (listAddr= *listAddr* nodeAddr= *nodeAddr* dataAddr= *DataAddr*)

説明: 制御リストの作成要求が失敗しました。この要求に関する入力パラメーターが無効です。

listAddr、nodeAddr、および dataAddr の値を記録し、問題が続く場合は、問題を報告します。

MARS.010

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.010 ATM MARS PlaceCall Failure (rc= *retCode*): nt *network ID* for ATM addr = *atmAddr*

長構文: MARS.010 ATM MARS PlaceCall Failure (rc= *retCode*): net *network ID* for destination ATM address = *atmAddr*

説明: SVC の設定を試みているときに、装置ドライバーのサービスが SUCCESS 以外の値を返しました。

MARS.011

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.011 ATM MARS PlaceCall Success: nt *network ID* for ATM addr = *atmAddr*

長構文: MARS.011 ATM MARS PlaceCall Success: net *network ID* for ATM addr = *atmAddr*

説明: コールは正常に実行されました。このチャンネルは新しいチャンネル・リストの上に現れるはずであり、まだ応答はなされていません。応答されると、ログに PlaceCallAck メッセージが現れます。

MARS.012

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.012 ATM MARS marsControlListAddMember: Invalid input parms (listAddr= *listAddr* nodeAddr= *nodeAddr* dataAddr= *DataAddr*)

長構文: MARS.012 ATM MARS marsControlListAddMember: Invalid input parms (listAddr= *listAddr* nodeAddr= *nodeAddr* dataAddr= *DataAddr*)

説明: 制御リストへのメンバーの追加要求が失敗しました。この要求に関する入力パラメーターが無効です。listAddr、nodeAddr、および dataAddr の値を記録し、問題が続く場合は、問題を報告します。

MARS.013

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.013 ATM MARS AddLeaf Failure (rc= *retCode*): nt *network ID* for ATM addr = *atmAddr*

長構文: MARS.013 ATM MARS AddLeaf Failure (rc=

retCode): net *network ID* for destination ATM address = *atmAddr*

説明: 既存の P2MP VC にリーフの追加を試みているとき、装置ドライバーのサービスが SUCCESS 以外の値を返しました。

MARS.014

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.014 ATM MARS AddLeaf Success: vpi= *vpiVal* vci= *vciVal* nt *network ID* for ATM addr = *atmAddr*

長構文: MARS.014 ATM MARS AddLeaf Success: vpi= *vpiVal* vci= *vciVal* net *network ID* for ATM addr = *atmAddr*

説明: AddLeaf のコールが正常に実行されました。このリーフはチャンネル・リスト上に現れるはずですが、まだ応答はなされていません。応答がなされると、AddLeafAck メッセージがログに現れます。

MARS.015

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.015 ATM MARS

marsControlListRemoveMember: Invalid input parms (listAddr= *listAddr* nodeAddr= *nodeAddr*)

長構文: MARS.015 ATM MARS

marsControlListRemoveMember: Invalid input parms (listAddr= *listAddr* nodeAddr= *nodeAddr*)

説明: 制御リストからのメンバーの除去要求が失敗しました。この要求に関する入力パラメーターが無効です。listAddr および nodeAddr の値を記録し、問題が続く場合は、問題を報告します。

MARS.016

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.016 ATM MARS HangupLeaf Failure (rc= *retCode*): vpi= *vpiVal* vci= *vciVal* for ATM addr = *atmAddr*

長構文: MARS.016 ATM MARS HangupLeaf Failure (rc= *retCode*): vpi= *vpiVal* vci= *vciVal* for destination ATM address = *atmAddr*

説明: 既存の P2MP VC からリーフの除去を試みているとき、装置ドライバーのサービスが SUCCESS 以外の値を返しました。

MARS.017

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.017 ATM MARS HangupLeaf Success: vpi= *vpiVal* vci= *vciVal* for ATM addr = *atmAddr*

長構文: MARS.017 ATM MARS HangupLeaf Success: vpi= *vpiVal* vci= *vciVal* for ATM addr = *atmAddr*

説明: HangupLeaf のコールが正常に実行されました。このリーフがチャンネル・リスト上に現れることはもうないはずです。

MARS.018

レベル: UE-ERROR

短構文: MARS.018 ATM MARS CloseDataPath failure(rc= *return_code* vpi= *vpiVal*, vci= *vciVal*) for ATM addr = *atmAddr*.

長構文: MARS.018 ATM MARS CloseDataPath failure(rc= *return_code* vpi= *vpiVal*, vci= *vciVal*) for ATM address = *atmAddr*.

説明: 指定のパラメーターを用いてデータ・パスのオープンを試みているとき、障害が発生しました。このコールは、該当する原因コードを出して停止します。

MARS.019

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.019 ATM MARS HangupCall Failure (rc= *retCode*): vpi= *vpiVal* vci= *vciVal* for ATM addr = *atmAddr*

長構文: MARS.019 ATM MARS HangupCall Failure (rc= *retCode*): vpi= *vpiVal* vci= *vciVal* for destination ATM address = *atmAddr*

説明: チャンネルの除去を試みているとき、装置ドライバーのサービスが SUCCESS 以外の値を返しました。

MARS.020

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.020 ATM MARS *functionCall*: *msgDesc*.

長構文: MARS.020 ATM MARS *functionCall*: *msgDesc*.

説明: これは、MARS サーバーが実行中のアクションです。

MARS.021

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.021 ATM MARS *marsMcsCreateP2MPVC*: Invalid input parms (mpp= *marsprt* channelp= *channel* grpaddr= *grpaddr* mep= *pvtEnt*)

長構文: MARS.021 ATM MARS *marsMcsCreateP2MPVC*: Invalid input parms (mpp= *marsprt* channelp= *channel* grpaddr= *grpaddr* mep= *pvtEnt*)

説明: データ VC の作成要求が失敗しました。この要求

に関する入力パラメーターが無効です。
mpp、channelp、grpaddr、および mep の値を記録し、問題が続く場合は、問題を報告します。

MARS.022

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.022 ATM MARS cmdType: Invalid input parms (channelp= channel mnp= marsnode)

長構文: MARS.022 ATM MARS cmdType: Invalid input parms (channelp= channel mnp= marsnode)

説明: データ P2MP VC に対するメンバーの追加/除去要求が失敗しました。この要求に関する入力パラメーターが無効です。channelp および mnp の値を記録し、問題が続く場合は、問題を報告します。

MARS.030

レベル: U-INFO

短構文: MARS.030 ATM MARS Net devState (dev num = devNum): ATM addr = atmAddr.

長構文: MARS.030 ATM MARS Net devState (device number = devNum):ATM addr = atmAddr.

説明: このクライアントは、メッセージに示されているように、ネットアップ・コールまたはネットダウン・コールを受信しました。ネットダウン・コールの場合は、チャネルおよびコールはすべて切断されます。NetUp アップコールを受信すると、インターフェースはすべてのコールの再確立を試みます。

MARS.031

レベル: C-INFO

短構文: MARS.031 ATM MARS AddrStateChg (action): ATM addr = atmAddr.

長構文: MARS.031 ATM MARS AddrStateChg (action): ATM addr = atmAddr.

説明: このクライアントは、スイッチからアドレス状態の変更を受信しました。これは、メッセージの内容に応じて、アドレス ESI および SEL が活性化または非活性化されたことを意味します。活性化された場合は、クライアントは設定を続け、スイッチに対するコールを受信することができます。非活性化された場合は、SVC 接続はすべて切断されますが、PVC は作動可能な状態のままになります。

MARS.032

レベル: UE-ERROR

短構文: MARS.032 ATM MARS AddrStateChg (action): ATM addr = atmAddr.

長構文: MARS.032 ATM MARS AddrStateChg (action): ATM addr = atmAddr.

説明: このクライアントは、スイッチから異常なアドレス状態の変更を受信しました。拒否の場合は、重複する MAC アドレスがすでにスイッチに登録されています。

MARS.033

レベル: C-INFO

短構文: MARS.033 ATM MARS UNI Vers rcvcd: nt network ID

長構文: MARS.033 ATM MARS UNI Vers rcvcd: net network ID

説明: この ATM クライアントは、スイッチからサポートされている UNI バージョンを受信しました。

MARS.034

レベル: C-INFO

短構文: MARS.034 ATM MARS Address Activation pending: nt network ID

長構文: MARS.034 ATM MARS Address Activation pending: net network ID

説明: このクライアントは、クライアント ATM アドレスをスイッチに登録するシーケンスを開始しています。登録が完了すると、クライアント ATM アドレスの状況を記述する、別のアドレス状態変更のメッセージがログに記録されます。

処置: 処置は必要ありません。これは通常の処理です。

MARS.035

レベル: C-INFO

短構文: MARS.035 ATM MARS Address Activation success: nt network ID

長構文: MARS.035 ATM MARS Address Activation success: net network ID

説明: このクライアントは、正常にアドレスを活動化しました。

MARS.036

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.036 ATM MARS GetAddrByHandle rc=
return_code: nt network ID

長構文: MARS.036 ATM MARS GetAddrByHandle rc=
return_code: net network ID

説明: スイッチからアドレスを入手しようとしているときに、エラーが検出されました。

MARS.037

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.037 ATM MARS LlcOpenCallSap rc=
return_code: nt network ID

長構文: MARS.037 ATM MARS LlcOpenCallSap rc=
return_code: net network ID

説明: コール SAP をオープンしようとしているときに、エラーが検出されました。コール SAP は、リモートあて先に ATM コールを発信または受信するために必要です。

MARS.038

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.038 ATM MARS atmMarsInit Registr failure
(rc= return_code): nt network ID

長構文: MARS.038 ATM MARS atmMarsInit Registr failure
(rc= return_code): net network ID

説明: このクライアントは、基礎にある装置ドライバおよびネットワーク・ハンドラーに対して、ユーザーとして登録するのに失敗しました。このクライアントは、操作不能になります。

処置: ルーターをリブートし、担当のサービス技術員に連絡してください。

MARS.039

レベル: C-INFO

短構文: MARS.039 ATM MARS atmMarsInit Registr
successful: nt network ID

長構文: MARS.039 ATM MARS atmMarsInit Registr
successful: net network ID

説明: このクライアントは、基礎にある装置ドライバおよびネットワーク・ハンドラーに、正常に登録されました。これは通常の初期化です。

MARS.041

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.041 ATM MARS atmMarsLecsListReport?:

長構文: MARS.041 ATM MARS atmMarsLecsListReport?:

説明: 内部誤動作です。指定された機能が起動されたのは、クラシカル MARS サーバーに対してでしたが、このサーバーにはそのような機能は定義されていません。

MARS.042

レベル: U-INFO

短構文: MARS.042 ATM MARS ReceiveCall (vpi= vpiVal,
vci= vciVal) for ATM addr = atmAddr.

長構文: MARS.042 ATM MARS ReceiveCall (vpi= vpiVal,
vci= vciVal) for ATM address = atmAddr.

説明: コールは、このクライアントによって受信されました。

MARS.044

レベル: UE-ERROR

短構文: MARS.044 ATM MARS OpenDataPath fail(rc=
return_code vpi= vpiVal, vci= vciVal) for ATM addr =
atmAddr.

長構文: MARS.044 ATM MARS OpenDataPath fail(rc=
return_code vpi= vpiVal, vci= vciVal) for ATM address =
atmAddr.

説明: 指定のパラメーターを用いてデータ・パスのオープンを試みているとき、障害が発生しました。このコールは、該当する原因コードを出して停止します。

MARS.045

レベル: UE-ERROR

短構文: MARS.045 ATM MARS atmRcvCallAck fail(rc=
return_code vpi= vpiVal, vci= vciVal) for ATM addr =
atmAddr.

長構文: MARS.045 ATM MARS atmRcvCallAck fail(rc=
return_code vpi= vpiVal, vci= vciVal) for ATM address =
atmAddr.

説明: 着信コールの受信確認をしようとしているときに、障害が発生しました。

原因: 原因は、内部の制御ブロックの問題です。

MARS.046

レベル: C-INFO

短構文: MARS.046 ATM MARS PlaceCallAck (vpi=*vpiNum*, vci= *vciNum*) for ATM addr = *atmAddr*.

長構文: MARS.046 ATM MARS PlaceCallAck (vpi=*vpiNum*, vci= *vciNum*) for ATM address = *atmAddr*.

説明: 発信したコールが、リモートあて先によって受信され、受信確認されました。リモート側へのデータ・パスをオープンし、VCC での送受信を開始します。

MARS.047

レベル: UE-ERROR

短構文: MARS.047 ATM MARS PlaceCallAck call parms mod.(vpi= *vpiNum*, vci= *vciNum*) for ATM addr = *atmAddr*.

長構文: MARS.047 ATM MARS PlaceCallAck call parameters modified (vpi= *vpiNum*, vci= *vciNum*) for ATM address = *atmAddr*.

説明: こちらから発信したコールがリモートあて先によって受信および確認されましたが、元のパラメーターが変更されています。MARS サーバーはコール・パラメーターの変更をサポートできません。

MARS.048

レベル: U-INFO

短構文: MARS.048 ATM MARS atmDisconnectCall: NULL CORRELATOR received

長構文: MARS.048 ATM MARS atmDisconnectCall: NULL CORRELATOR received

説明: コールが、受信する直前に解放されました。

MARS.049

レベル: U-INFO

短構文: MARS.049 ATM MARS DisconnectCall: (vpi= *vpiNum*, vci= *vciNum* type= *chanType*) for ATM addr = *atmAddr*.

長構文: MARS.049 ATM MARS DisconnectCall: (vpi= *vpiNum*, vci= *vciNum* type= *chanType*) for ATM address = *atmAddr*.

説明:すでに活動状態になっているコール、または現在発信中のコールが解放されました。解放された理由が、追加 ELS メッセージに表示されています。これは、通常の状態です。チャンネルが必要な場合は、再初期化します。たとえば、制御チャンネルは、サーバーに接続されるまで 15 秒ごとに再試行されます。このメッセージの中の

情報は、チャンネル VPI/VCI と、切断中のチャンネルのリモート ATM アドレスです。

原因: ネットワークまたはリモート・ユーザーのいずれかが、コールを解放しました。

MARS.050

レベル: U-INFO

短構文: MARS.050 ATM MARS DisconnectCall: rsn= *reason_code*, cause= *cause_code*, diagLen= *diag_len*, diagData[0]= *diag_data*

長構文: MARS.050 ATM MARS DisconnectCall: rsn= *reason_code*, cause= *cause_code*, diagLen= *diag_len*, diagData[0]= *diag_data*

説明: このメッセージに入っている情報は、コールが解放された理由です。

MARS.052

レベル: U-INFO

短構文: MARS.052 ATM MARS DisconnectLeaf: rsn= *reason_code*, cause= *cause_code*, diagLen= *diag_len*, diagData[0]= *diag_data* vpi= *vcc_vpi*, vci= *vcc_vci*, LeafAtmAddr= *leaf_remote_atm_address*

長構文: MARS.052 ATM MARS DisconnectLeaf: rsn= *reason_code*, cause= *cause_code*, diagLen= *diag_len*, diagData[0]= *diag_data* vpi= *vcc_vpi*, vci= *vcc_vci*, LeafAtmAddr= *leaf_remote_atm_address*

説明: このメッセージに含まれている情報は、リーフが解放された理由です。また、このリーフがメンバーになっていたチャンネル VPI/VCI、ならびにこのリーフの ATM アドレスを示す情報も含まれています。

MARS.053

レベル: U-INFO

短構文: MARS.053 ATM MARS AddLeafAck: vpi= *vcc_vpi*, vci= *vcc_vci*, LeafAtmAddr= *leaf_remote_atm_address*

長構文: MARS.053 ATM MARS AddLeafAck: vpi= *vcc_vpi*, vci= *vcc_vci*, LeafAtmAddr= *leaf_remote_atm_address*

説明: ポイント・マルチポイント (1 地点多地点間) コールへの新規パーティーの追加が正常に行われたことを確認します。

MARS.054

レベル: UE-ERROR

短構文: MARS.054 ATM MARS RcvFrame: Unknown frameType value= *protocolNum* nt *network ID*

長構文: MARS.054 ATM MARS RcvFrame: Unknown
frameType value= protocolNum net network ID

説明: 指定されたネットワーク以外で、不明のプロトコル ID をもつパケットが受信されました。これは予想されたトラフィックである場合も、そうでない場合もあります。いずれの場合も、パケットは廃棄されます。転送はされません。

MARS.055

レベル: U-INFO

短構文: MARS.055 ATM MARS This message is available
for use

長構文: MARS.055 ATM MARS This message is available
for use

説明: これは単にプレースホルダーに過ぎません。

MARS.056

レベル: U-INFO

短構文: MARS.056 ATM MARS This message is available
for use

長構文: MARS.056 ATM MARS This message is available
for use

説明: これは単にプレースホルダーに過ぎません。

MARS.057

レベル: U-INFO

短構文: MARS.057 ATM MARS This message is available
for use

長構文: MARS.057 ATM MARS This message is available
for use

説明: これは単にプレースホルダーに過ぎません。

MARS.058

レベル: U-INFO

短構文: MARS.058 ATM MARS joinMsg: MARS_JOIN
for group *group* ignored. Registration pending.

長構文: MARS.058 ATM MARS joinMsg: MARS_JOIN
for group *group* ignored. Registration pending.

説明: 直前の登録に関するリーフの追加からの確認がまだ到着していません。

MARS.059

レベル: U-INFO

短構文: MARS.059 ATM MARS joinMsg: MARS_JOIN
for group *group* ignored. Not registered.

長構文: MARS.059 ATM MARS joinMsg: MARS_JOIN
for group *group* ignored. Not registered.

説明: グループに加入する試みですが、ノードが以前に登録されていません。

MARS.060

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.060 ATM MARS remove_group: Removing
a group but number of members = *numMembers*

長構文: MARS.060 ATM MARS remove_group: Removing
a group but number of members = *numMembers*

説明: グループが除去されている最中ですが、メンバーの数はゼロではありません。これは内部エラーで、カウンターに誤りがあることを示しています。グループ除去は続行します。

MARS.061

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.061 ATM MARS mars_malloc: calloc of
numbytes bytes failed, *errno* = *errno*

長構文: MARS.061 ATM MARS mars_malloc: Attempt to
calloc *numbytes* bytes has failed, *errno* = *errno*

説明: 記憶域の獲得の試みが失敗しました。

MARS.062

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.062 ATM MARS mars_free: Address being
freed is NULL

長構文: MARS.062 ATM MARS mars_free: Address being
freed is NULL

説明: 記憶域解放サブルーチンを呼び出し中ですが、アドレスが NULL です。これは内部エラーです。

MARS.063

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.063 ATM MARS add_member: Adding a
member but the group is NULL

長構文: MARS.063 ATM MARS add_member: Adding a
member but the group is NULL

説明: グループへのメンバーの追加を試みっていますが、そのグループが NULL です。これは内部エラーです。

MARS.064

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.064 ATM MARS punch_mbr_holes: Group *group* needs to be hole punched

長構文: MARS.064 ATM MARS punch_mbr_holes: Group *group* needs to be hole punched

説明: ノードがすでにメンバーになっているグループを範囲から除外します。

MARS.065

レベル: U-INFO

短構文: MARS.065 ATM MARS print_ *functionCall*: 0x *proto* is an unknown protocol

長構文: MARS.065 ATM MARS print_ *functionCall*: 0x *proto* is an unknown protocol. It is ignored.

説明: プロトコルが定義されましたが、サーバーのプロトコル・テーブル内に見付かりませんでした。そのプロトコルは無視されます。

MARS.066

レベル: U-INFO

短構文: MARS.066 ATM MARS print_nodes: For protocol 0x *proto*, the number of active members = *mbrcnt*

長構文: MARS.066 ATM MARS print_nodes: For protocol 0x *proto*, the number of active members = *mbrcnt*

説明: 通知メッセージ

MARS.067

レベル: U-INFO

短構文: MARS.067 ATM MARS print_nodes: For protocol 0x *proto*, the number of removed members = *mbrcnt*

長構文: MARS.067 ATM MARS print_nodes: For protocol 0x *proto*, the number of removed members = *mbrcnt*

説明: 通知メッセージ

MARS.068

レベル: U-INFO

短構文: MARS.068 ATM MARS print_nodes: Server *serverAtmAddr* has joined these groups:

長構文: MARS.068 ATM MARS print_nodes: Server

serverAtmAddr has joined these groups:

説明: 通知メッセージ

MARS.069

レベル: U-INFO

短構文: MARS.069 ATM MARS print_nodes: Host *hostAtmAddr* has joined these groups:

長構文: MARS.069 ATM MARS print_nodes: Host *hostAtmAddr* has joined these groups:

説明: 通知メッセージ

MARS.070

レベル: U-INFO

短構文: MARS.070 ATM MARS print_nodes: *group*

長構文: MARS.070 ATM MARS print_nodes: *group*

説明: 通知メッセージ

MARS.071

レベル: U-INFO

短構文: MARS.071 ATM MARS print_nodes: Server *serverAtmAddr* has not joined any groups

長構文: MARS.071 ATM MARS print_nodes: Server *serverAtmAddr* has not joined any groups

説明: 通知メッセージ

MARS.072

レベル: U-INFO

短構文: MARS.072 ATM MARS print_nodes: Host *hostAtmAddr* has not joined any groups

長構文: MARS.072 ATM MARS print_nodes: Host *hostAtmAddr* has not joined any groups

説明: 通知メッセージ

MARS.073

レベル: U-INFO

短構文: MARS.073 ATM MARS print_groups: Protocol = 0x *proto*

長構文: MARS.073 ATM MARS print_groups: Protocol = 0x *proto*

説明: 通知メッセージ

MARS.074

レベル: U-INFO

短構文: MARS.074 ATM MARS print_groups: Group *group* has these servers:

長構文: MARS.074 ATM MARS print_groups: Group *group* has these servers:

説明: 通知メッセージ

MARS.075

レベル: U-INFO

短構文: MARS.075 ATM MARS print_groups: Group *group* has these hosts:

長構文: MARS.075 ATM MARS print_groups: Group *group* has these hosts:

説明: 通知メッセージ

MARS.076

レベル: U-INFO

短構文: MARS.076 ATM MARS print_groups: Server *serverAtmAddr*

長構文: MARS.076 ATM MARS print_groups: Server *serverAtmAddr*

説明: 通知メッセージ

MARS.077

レベル: U-INFO

短構文: MARS.077 ATM MARS print_groups: Host *hostAtmAddr*

長構文: MARS.077 ATM MARS print_groups: Host *hostAtmAddr*

説明: 通知メッセージ

MARS.078

レベル: U-INFO

短構文: MARS.078 ATM MARS print_groups: Group *group* has no members

長構文: MARS.078 ATM MARS print_groups: Group *group* has no members

説明: 通知メッセージ

MARS.079

レベル: U-INFO

短構文: MARS.079 ATM MARS mservMsg: MARS_MSERV for group *group* ignored. Registration pending.

長構文: MARS.079 ATM MARS mservMsg: MARS_MSERV for group *group* ignored. Registration Pending.

説明: 直前の登録に関するリーフの追加確認がまだ到着していません。

MARS.080

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.080 ATM MARS *functionCall*: Hole punched pair = *group*

長構文: MARS.080 ATM MARS *functionCall*: Hole punched pair = *group*

説明: 通知メッセージ

MARS.081

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.081 ATM MARS free_punset: Multi group = *group*

長構文: MARS.081 ATM MARS free_punset: Multi group = *group*

説明: 通知メッセージ

MARS.082

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.082 ATM MARS *functionCall*: Illegal ATM address.

長構文: MARS.082 ATM MARS *functionCall*: Illegal ATM address.

説明: サブルーチン *marsChkAtmAddr* は、ATM アドレスがイリーガルなことを示しました。

MARS.083

レベル: U-INFO

短構文: MARS.083 ATM MARS leaveMsg: MARS_LEAVE for group *group* ignored.

長構文: MARS.083 ATM MARS leaveMsg: MARS_LEAVE for group *group* ignored.

説明: コピーがゼロでないか、またはメッセージに <min,max> ペアが 2 つ以上含まれている場合は、通知することなくメッセージを除去する必要があります。

MARS.084

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.084 ATM MARS leaveMsg: Undefined protocol (0x *proto*) in MARS_LEAVE, ignored.

長構文: MARS.084 ATM MARS leaveMsg: Undefined protocol (0x *proto*) in MARS_LEAVE, ignored.

説明: メッセージ内に確認不能のプロトコルがあります。

MARS.085

レベル: U-INFO

短構文: MARS.085 ATM MARS leaveMsg: MARS_LEAVE from host *hostAtmAddr* was not registered.

長構文: MARS.085 ATM MARS leaveMsg: MARS_LEAVE from host *hostAtmAddr* was not registered.

説明: ノードのテーブル内にホストを見付けることができません。

MARS.086

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.086 ATM MARS leaveMsg: Processing MARS_LEAVE deregister from host *hostAtmAddr*

長構文: MARS.086 ATM MARS leaveMsg: Processing MARS_LEAVE deregister from host *hostAtmAddr*

説明: 通知トレース・メッセージ

MARS.087

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.087 ATM MARS leaveMsg: Processing MARS_LEAVE for group *group*

長構文: MARS.087 ATM MARS leaveMsg: Processing MARS_LEAVE for group *group*

説明: 通知トレース・メッセージ

MARS.088

レベル: U-INFO

短構文: MARS.088 ATM MARS leaveMsg: MARS_LEAVE for group *group* ignored.

長構文: MARS.088 ATM MARS leaveMsg:

MARS_LEAVE for group *group* ignored.

説明: これが MCS であるか、クラスター・メンバーが以前に登録されていない場合は、メッセージは除去します。

MARS.089

レベル: U-INFO

短構文: MARS.089 ATM MARS leaveMsg: MARS_LEAVE for group *group* not found.

長構文: MARS.089 ATM MARS leaveMsg: MARS_LEAVE for group *group* not found.

説明: 離脱ノードは、指定されたグループのメンバーではありません。

MARS.090

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.090 ATM MARS cluster_leave: Group leave = *group*

長構文: MARS.090 ATM MARS cluster_leave: Group leave = *group*

説明: グループは、MARS_LEAVE メッセージ内に含まれています。

MARS.091

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.091 ATM MARS make_newmsg: Hole punched pair *group* to new msg.

長構文: MARS.091 ATM MARS make_newmsg: Hole punched pair *group* to new msg.

説明: 穿孔 (せんこう) の結果

MARS.092

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.092 ATM MARS multi_group: Group *group* was MCS holepunched.

長構文: MARS.092 ATM MARS multi_group: Group *group* was MCS holepunched.

説明: MCS の穿孔 (せんこう) の結果

MARS.093

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.093 ATM MARS multi_group: Hole punched pair *group* to original msg.

長構文: MARS.093 ATM MARS multi_group: Hole punched pair *group* to original msg.

説明: トレース・メッセージ

MARS.094

レベル: U-INFO

短構文: MARS.094 ATM MARS cluster_join: group *group* gets layer3grp reset.

長構文: MARS.094 ATM MARS cluster_join: group *group* gets layer3grp reset.

説明: 通知

MARS.095

レベル: U-INFO

短構文: MARS.095 ATM MARS cluster_join: group *group* is an overlap, ignored.

長構文: MARS.095 ATM MARS cluster_join: group *group* is an overlap, ignored.

説明: 通知

MARS.096

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.096 ATM MARS *functionCall*: Holepunching produced *ctr* pairs.

長構文: MARS.096 ATM MARS *functionCall*: Holepunching produced *ctr* pairs.

説明: トレース・メッセージ

MARS.097

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.097 ATM MARS *functionCall*: Hole punched pair = *group*

長構文: MARS.097 ATM MARS *functionCall*: Hole punched pair = *group*

説明: トレース・メッセージ

MARS.098

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.098 ATM MARS joinMsg: MARS_JOIN for group *group* ignored.

長構文: MARS.098 ATM MARS joinMsg: MARS_JOIN for group *group* ignored.

説明: トレース・メッセージ

MARS.099

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.099 ATM MARS joinMsg: Undefined protocol (0x *proto*) in MARS_JOIN, ignored.

長構文: MARS.099 ATM MARS joinMsg: Undefined protocol (0x *proto*) in MARS_JOIN, ignored.

説明: メッセージ内に確認不能のプロトコルがあります。

MARS.100

レベル: U-INFO

短構文: MARS.100 ATM MARS joinMsg: MARS_JOIN from host *hostAtmAddr* is duplicate registration.

長構文: MARS.100 ATM MARS joinMsg: MARS_JOIN from host *hostAtmAddr* is duplicate registration.

説明: 重複加入

MARS.101

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.101 ATM MARS joinMsg: Processing MARS_JOIN register from host *hostAtmAddr*

長構文: MARS.101 ATM MARS joinMsg: Processing MARS_JOIN register from host *hostAtmAddr*

説明: トレース・メッセージ

MARS.102

レベル: U-INFO

短構文: MARS.102 ATM MARS joinMsg: Cluster registration has failed.

長構文: MARS.102 ATM MARS joinMsg: Cluster registration has failed.

説明: 通知メッセージ

MARS.103

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.103 ATM MARS joinMsg: Processing MARS_JOIN for group *group*

長構文: MARS.103 ATM MARS joinMsg: Processing MARS_JOIN for group *group*

説明: トレース・メッセージ

MARS.104

レベル: U-INFO

短構文: MARS.104 ATM MARS joinMsg: MARS_JOIN for group *group* ignored.

長構文: MARS.104 ATM MARS joinMsg: MARS_JOIN for group *group* ignored.

説明: 通知メッセージ

MARS.105

レベル: U-INFO

短構文: MARS.105 ATM MARS joinMsg: MARS_JOIN for group *group* is a duplicate.

長構文: MARS.105 ATM MARS joinMsg: MARS_JOIN for group *group* is a duplicate.

説明: 通知メッセージ

MARS.106

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.106 ATM MARS multi_group: No holes were punched in *group*

長構文: MARS.106 ATM MARS multi_group: No holes were punched in *group*

説明: トレース・メッセージ

MARS.107

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.107 ATM MARS cluster_join: No group specified in MARS_JOIN message

長構文: MARS.107 ATM MARS cluster_join: No group specified in MARS_JOIN message

説明: グループに加入する試みですが、グループが指定されていません。

MARS.108

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.108 ATM MARS cluster_join: Group *group* now has *ctr* members

長構文: MARS.108 ATM MARS cluster_join: Group *group* now has *ctr* members

説明: トレース・メッセージ

MARS.109

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.109 ATM MARS cluster_register: *io_subroutine_name* rc = 0x *rc*

長構文: MARS.109 ATM MARS cluster_register: *io_subroutine_name* rc = 0x *rc*

説明: 入出力エラー戻りコード

MARS.110

レベル: U-INFO

短構文: MARS.110 ATM MARS joinMsg: Cluster join has failed.

長構文: MARS.110 ATM MARS joinMsg: Cluster join has failed.

説明: 通知メッセージ

MARS.111

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.111 ATM MARS *functionCall*: Holepunching produced a NULL pair.

長構文: MARS.111 ATM MARS *functionCall*: Holepunching produced a NULL pair.

説明: トレース・メッセージ

MARS.112

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.112 ATM MARS glrequestMsg: Undefined protocol (0x *proto*) in MARS_GROUPLIST_REQUEST, ignored

長構文: MARS.112 ATM MARS glrequestMsg: Undefined protocol (0x *proto*) in MARS_GROUPLIST_REQUEST, ignored

説明: メッセージ内に確認不能のプロトコルがあります。

MARS.113

レベル: U-INFO

短構文: MARS.113 ATM MARS glrequestMsg: MARS_GROUPLIST_REQUEST from host *hostAtmAddr* not registered

長構文: MARS.113 ATM MARS glrequestMsg: MARS_GROUPLIST_REQUEST from host *hostAtmAddr* not registered

説明: 通知メッセージ

MARS.114

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.114 ATM MARS send_reply: Sending *ctr* protocol addresses

長構文: MARS.114 ATM MARS send_reply: Sending *ctr* protocol addresses

説明: トレース・メッセージ

MARS.115

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.115 ATM MARS glreply: Group request = *group*

長構文: MARS.115 ATM MARS glreply: Group request = *group*

説明: トレース・メッセージ

MARS.116

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.116 ATM MARS glreply: Group found = *group*

長構文: MARS.116 ATM MARS glreply: Group found = *group*

説明: トレース・メッセージ

MARS.117

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.117 ATM MARS glreply: Group found but member is not Layer 3

長構文: MARS.117 ATM MARS glreply: Group found but member is not Layer 3

説明: トレース・メッセージ

MARS.118

レベル: U-INFO

短構文: MARS.118 ATM MARS mservMsg: MARS_MSERV for group *group* ignored

長構文: MARS.118 ATM MARS mservMsg: MARS_MSERV for group *group* ignored

説明: 通知メッセージ

MARS.119

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.119 ATM MARS mservMsg: Undefined protocol (0x *proto*) in MARS_MSERV, ignored.

長構文: MARS.119 ATM MARS mservMsg: Undefined protocol (0x *proto*) in MARS_MSERV, ignored.

説明: メッセージ内に確認不能のプロトコルがあります。

MARS.120

レベル: U-INFO

短構文: MARS.120 ATM MARS mservMsg: MARS_MSERV from server *serverAtmAddr* is duplicate registration

長構文: MARS.120 ATM MARS mservMsg: MARS_MSERV from server *serverAtmAddr* is duplicate registration

説明: 通知メッセージ

MARS.121

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.121 ATM MARS mservMsg: Processing MARS_MSERV register from server *serverAtmAddr*

長構文: MARS.121 ATM MARS mservMsg: Processing MARS_MSERV register from server *serverAtmAddr*

説明: 通知メッセージ

MARS.122

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.122 ATM MARS mservMsg: Processing MARS_MSERV for group *group*

長構文: MARS.122 ATM MARS mservMsg: Processing MARS_MSERV for group *group*

説明: トレース・メッセージ

MARS.123

レベル: U-INFO

短構文: MARS.123 ATM MARS mservMsg: MARS_MSERV for group *group* ignored. Not registered.

長構文: MARS.123 ATM MARS mservMsg: MARS_MSERV for group *group* ignored. Not registered.

説明: 通知メッセージ

MARS.124

レベル: U-INFO

短構文: MARS.124 ATM MARS mservMsg:
MARS_MSERV for group *group* is a duplicate

長構文: MARS.124 ATM MARS mservMsg:
MARS_MSERV for group *group* is a duplicate

説明: 通知メッセージ

MARS.125

レベル: U-INFO

短構文: MARS.125 ATM MARS mservMsg:
Server registration has failed

長構文: MARS.125 ATM MARS mservMsg:
Server registration has failed

説明: 通知メッセージ

MARS.126

レベル: U-INFO

短構文: MARS.126 ATM MARS unservMsg:
MARS_UNSERV for group *group* is a copy, ignored

長構文: MARS.126 ATM MARS unservMsg:
MARS_UNSERV for group *group* is a copy, ignored

説明: 通知メッセージ

MARS.127

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.127 ATM MARS unservMsg: Undefined
protocol (0x *proto*) in MARS_UNSERV, ignored

長構文: MARS.127 ATM MARS unservMsg: Undefined
protocol (0x *proto*) in MARS_UNSERV, ignored

説明: メッセージ内に確認不能のプロトコルがありま
す。

MARS.128

レベル: U-INFO

短構文: MARS.128 ATM MARS unservMsg:
MARS_UNSERV from server *serverAtmAddr* not registered

長構文: MARS.128 ATM MARS unservMsg:
MARS_UNSERV from server *serverAtmAddr* not registered

説明: 通知メッセージ

MARS.129

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.129 ATM MARS unservMsg: Processing
MARS_UNSERV deregister from server *serverAtmAddr*

長構文: MARS.129 ATM MARS unservMsg: Processing
MARS_UNSERV deregister from server *serverAtmAddr*

説明: トレース・メッセージ

MARS.130

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.130 ATM MARS unserv: Processing
MARS_UNSERV for group *group*

長構文: MARS.130 ATM MARS unserv: Processing
MARS_UNSERV for group *group*

説明: トレース・メッセージ

MARS.131

レベル: UE-ERROR

短構文: MARS.131 ATM MARS msg_handler:
Unrecognized tlv for *mars_message* message

長構文: MARS.131 ATM MARS msg_handler:
Unrecognized tlv for *mars_message* message

説明: メッセージを除去して、エラー・メッセージを出
します。

MARS.132

レベル: U-INFO

短構文: MARS.132 ATM MARS msg_handler:
mars_message is an unexpected message, ignored

長構文: MARS.132 ATM MARS msg_handler:
mars_message is an unexpected message, ignored

説明: 通知メッセージ

MARS.133

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.133 ATM MARS send_bkups: Sending a
redirect msg with *ctr* addrs

長構文: MARS.133 ATM MARS send_bkups: Sending a
redirect msg with *ctr* addrs

説明: トレース・メッセージ

MARS.134

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.134 ATM MARS redirmap: Timer cancelled, all leafs on CCVC are gone

長構文: MARS.134 ATM MARS redirmap: Timer cancelled, all leafs on CCVC are gone

説明: トレース・メッセージ

MARS.135

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.135 ATM MARS requestMsg: Undefined protocol (0x *proto*) in MARS_REQUEST, ignored

長構文: MARS.135 ATM MARS requestMsg: Undefined protocol (0x *proto*) in MARS_REQUEST, ignored

説明: メッセージ内に確認不能のプロトコルがあります。

MARS.136

レベル: U-INFO

短構文: MARS.136 ATM MARS requestMsg: MARS_REQUEST from unregistered host *hostAtmAddr*

長構文: MARS.136 ATM MARS requestMsg: MARS_REQUEST from unregistered host *hostAtmAddr*

説明: ホストが以前に登録していません。メッセージは無視します。

MARS.137

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.137 ATM MARS requestMsg: Group = *group*

長構文: MARS.137 ATM MARS requestMsg: Group = *group*

説明: トレース・メッセージ

MARS.138

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.138 ATM MARS *functionCall*: Sending *mars_opcode* on *vctype*

長構文: MARS.138 ATM MARS *functionCall*: Sending *mars_opcode* on *vctype*

説明: トレース・メッセージ

MARS.139

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.139 ATM MARS *functionCall*: *io_subroutine_name* rc = 0x *rc*

長構文: MARS.139 ATM MARS *functionCall*: *io_subroutine_name* rc = 0x *rc*

説明: 入出力エラー戻りコード

MARS.140

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.140 ATM MARS marsTimerInit: Using default of *defaultValue* for redirect timer

長構文: MARS.140 ATM MARS marsTimerInit: Using default of *defaultValue* for redirect timer

説明: トレース・メッセージ

MARS.141

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.141 ATM MARS marsTimerInit: redirect timer from configuration = *timerValue*

長構文: MARS.141 ATM MARS marsTimerInit: redirect timer from configuration = *timerValue*

説明: トレース・メッセージ

MARS.143

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.143 ATM MARS marsListCleanUp: Purge of *typeVc* about to begin

長構文: MARS.143 ATM MARS marsListCleanUp: Purge of *typeVc* about to begin

説明: トレース・メッセージ

MARS.144

レベル: U-INFO

短構文: MARS.144 ATM MARS marsInstanceCleanUp: Unknown instance

長構文: MARS.144 ATM MARS marsInstanceCleanUp: Unknown instance

説明: 終結処理を停止しました。

第69章 マルチキャスト・フォワード・キャッシュ (MFC)

この章では、マルチキャスト・フォワード・キャッシュ (MFC) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

MFC.001

レベル: UI-ERROR

短構文: MFC.001 No buf for IGMP poll, ifc *IGMP_interface*

長構文: MFC.001 No buffer to send IGMP Host Membership Query on interface *IGMP_interface*

説明: バッファ不足のため、IGMP ホスト・メンバーシップ照会を指定のインターフェースから送信することができませんでした。次のポーリング時間間隔が経過するまでは、照会の送信は試行されません。

原因: この構成およびトラフィックをサポートできる十分な記憶域がありません。

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。アップグレードして記憶域を増やすか、不要な転送機能/プロトコルを使用不可にして記憶域を獲得してください。

MFC.002

レベル: UI-ERROR

短構文: MFC.002 IGMP poll fails, ifc *IGMP_interface* rsn *failure_code*

長構文: MFC.002 Can't send IGMP Host Membership Query on interface *IGMP_interface* reason: *failure_code*

説明: 指定の理由により、IGMP ホスト・メンバーシップ照会を指定のインターフェースから送信することができませんでした。次のポーリング時間間隔が経過するまでは、照会の送信は試行されません。

原因: 示されている理由 (コード) により、指定のインターフェースのネット・ハンドラーがポーリングの送信に失敗しました。

処置: このメッセージと共に出されている理由コードを調べて、問題を訂正してください。

MFC.003

レベル: P-TRACE

短構文: MFC.003 Rcvd IGMP Report *IP_source* -> *IP_destination*, nt *network ID*

長構文: MFC.003 Received IGMP Host Membership Report

IP_source -> *IP_destination*, net *network ID*

説明: 指定のインターフェースで、IGMP ホスト・メンバーシップ報告書を受信しました。

MFC.005

レベル: UE-ERROR

短構文: MFC.005 Bad IGMP xsum *IP_source* -> *IP_destination*, nt *network ID*

長構文: MFC.005 Received bad IGMP checksum, *IP_source* -> *IP_destination* net *network ID*

説明: 無効な IGMP チェックサムをもつ IGMP メッセージを受信しました。メッセージは廃棄されます。

MFC.007

レベル: UE-ERROR

短構文: MFC.007 Unexp IGMP Query *IP_source* -> *IP_destination*, nt *network ID*

長構文: MFC.007 Unexpected IGMP Host Membership Query, *IP_source* -> *IP_destination* net *network ID*

説明: インターフェースで IGMP ホスト・メンバーシップ照会を受信しましたが、そのインターフェースでは受信側ルーター自体がホスト・メンバーシップ照会を送信しています (すなわち、ルーター自体が指定ルーターです)。これは予期しないことです。いずれにしても、ホスト・メンバーシップ照会は無視されます。

MFC.008

レベル: P-TRACE

短構文: MFC.008 Rcvd IGMP Query *IP_source* -> *IP_destination*, nt *network ID*

長構文: MFC.008 Received IGMP Host Membership Query, *IP_source* -> *IP_destination* net *network ID*

説明: IGMP ホスト・メンバーシップ照会を受信しましたが、マルチキャスト・ルーターによって無視されました。

MFC.009

レベル: P-TRACE

短構文: MFC.009 Rcvd dgram *IP_source* -> *IP_destination*,
from *receiving_interface*

長構文: MFC.009 Received IP multicast datagram, *IP_source*
-> *IP_destination*, from *receiving_interface*

説明: IP データグラムを受信しましたが、これはクラス
D アドレスを持っており、IP マルチキャストであることを
示しています。データグラムの転送が試みられます。

MFC.010

レベル: P-TRACE

短構文: MFC.010 Fwrld dgram *IP_source* -> *IP_destination*,
nt *network ID*

長構文: MFC.010 Forwarded IP multicast datagram,
IP_source -> *IP_destination*, net *network ID*

説明: IP データグラムが、データ・リンク・マルチキャ
ストとして、指定のインターフェースから転送されまし
た。

MFC.011

レベル: P-TRACE

短構文: MFC.011 Fwrld dgram *IP_source* -> *IP_destination*,
nbr *IP_gw_address*

長構文: MFC.011 Forwarded IP multicast datagram,
IP_source -> *IP_destination*, neighbor *IP_gw_address*

説明: IP データグラムが、データ・リンク・ユニキャス
トとして、指定の近隣に転送されました。

MFC.012

レベル: P-TRACE

短構文: MFC.012 Local delivery, *IP_source* ->
IP_destination

長構文: MFC.012 Local delivery of multicast datagram,
IP_source -> *IP_destination*

説明: IP データグラムが、ルーターの内部アプリケーシ
ョンの 1 つに送達されました。

MFC.013

レベル: UE-ERROR

短構文: MFC.013 Bad IP option, *IP_source* ->
IP_destination

長構文: MFC.013 Multicast datagram discarded due to bad

option, *IP_source* -> *IP_destination*

説明: IP マルチキャスト・データグラムを受信しまし
たが、無効な IP オプション (フォーマットが間違っている
か、マルチキャストには不適切なオプション) が含まれて
います。データグラムは廃棄され、ICMP メッセージは戻
されません。

MFC.014

レベル: UE-ERROR

短構文: MFC.014 Can't fwd *IP_source* -> *IP_destination*,
rsn: *reason*

長構文: MFC.014 Can't forward multicast *IP_source* ->
IP_destination, due to reason : *reason*

説明: 示されている理由により、IP マルチキャスト・デ
ータグラムが転送されませんでした。

MFC.015

レベル: P-TRACE

短構文: MFC.015 Lcl orig *IP_source* -> *IP_destination*

長構文: MFC.015 Locally originated multicast, *IP_source*
-> *IP_destination*

説明: ルーターの内部アプリケーションの 1 つによっ
て、IP データグラムが発信されました。転送が試みられ
ています。このようなデータグラムは、転送に関する他
の決定には関係なく、常にパケットの発信元に対応する
インターフェース (もしあれば) から転送されます。

MFC.016

レベル: UI-ERROR

短構文: MFC.016 MARS Local Join failed, ifc
IGMP_interface rsn *failure_code*

長構文: MFC.016 Request to send MARS Join on interface
IGMP_interface failed with reason code: *failure_code*

説明: 指定の理由により、MARS ローカル参加要求を指
定されたインターフェースから送信することができませ
んでした。

原因: 示されている理由 (コード) により、識別されてい
るインターフェースの MARS クライアントが要求の送信
に失敗しました。

処置: このメッセージと共に出されている理由コードを
調べて、問題を訂正してください。

MFC.017

レベル: UI-ERROR

短構文: MFC.017 MARS Local Leave failed, ifc
IGMP_interface rsn *failure_code*

長構文: MFC.017 Request to send MARS Leave on
interface *IGMP_interface* failed with reason code: *failure_code*

説明: 指定の理由により、MARS ローカル離脱要求を指定されたインターフェースから送信することができませんでした。

原因: 示されている理由 (コード) により、識別されているインターフェースの MARS クライアントが要求の送信に失敗しました。

処置: このメッセージと共に示されている理由コードを調べて、問題を訂正してください。

MFC.018

レベル: P-TRACE

短構文: MFC.018 Rcvd IGMP Leave *IP_source* ->
IP_destination, group *IP_group* nt *network ID*

長構文: MFC.018 Received IGMP Leave *IP_source* ->
IP_destination, group *IP_group* net *network ID*

説明: 指定のインターフェース上で IGMP Leave メッセージを受信しました。

MFC.019

レベル: U-INFO

短構文: MFC.019 Rcvd IGMPv2 Query in IGMPv1 mode
IP_source -> *IP_destination*, nt *network ID*

長構文: MFC.019 Received IGMPv2 Membership Query in
IGMPv1 mode, *IP_source* -> *IP_destination* net *network ID*

説明: IGMPv2 ホスト・メンバーシップ照会を受信しましたが、ルーターは IGMPv1 用に構成されています。

MFC.020

レベル: U-INFO

短構文: MFC.020 Rcvd IGMPv1 Query in IGMPv2 mode
IP_source -> *IP_destination*, nt *network ID*

長構文: MFC.020 Received IGMPv1 Membership Query in
IGMPv2 mode, *IP_source* -> *IP_destination* net *network ID*

説明: IGMPv1 ホスト・メンバーシップ照会を受信しましたが、ルーターは IGMPv2 用に構成されています。

第70章 マルチキャスト・フォワード・キャッシュ v6 (MFC6)

この章では、マルチキャスト・フォワード・キャッシュ v6 (MFC6) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

MFC6.001

レベル: UI-ERROR

短構文: MFC6.001 No buf for MLD poll, ifc
MLD_interface

長構文: MFC6.001 No buffer to send MLD Query on
interface *MLD_interface*

説明: バッファの不足により、MLD 照会を指定のインターフェースから送信することができませんでした。次のポーリング時間間隔が経過するまでは、照会の送信は試行されません。

原因: この構成およびトラフィックをサポートできる十分な記憶域がありません。

処置: GWCON 内の記憶域の統計を検査して、パケット・バッファのレベルを確認してください。アップグレードして記憶域を増やすか、不要な転送機能/プロトコルを使用不可にして記憶域を獲得してください。

MFC6.002

レベル: UI-ERROR

短構文: MFC6.002 MLD poll fails, ifc *MLD_interface* rsn
failure_code

長構文: MFC6.002 Can't send MLD Query on interface
MLD_interface reason: *failure_code*

説明: 指定の理由により、MLD 照会を指定のインターフェースから送信することができませんでした。次のポーリング時間間隔が経過するまでは、照会の送信は試行されません。

原因: 示されている理由 (コード) により、指定のインターフェースのネット・ハンドラーがポーリングの送信に失敗しました。

処置: このメッセージと共に出されている理由コードを調べて、問題を訂正してください。

MFC6.003

レベル: P-TRACE

短構文: MFC6.003 Rcvd MLD Report *IP_source* ->
IP_destination, nt *network ID*

長構文: MFC6.003 Received MLD Report *IP_source* ->

IP_destination, nt *network ID*

説明: 指定のインターフェースで MLD レポートを受信しました。

MFC6.004

レベル: UE-ERROR

短構文: MFC6.004 Unexp MLD Query *IP_source* ->
IP_destination, nt *network ID*

長構文: MFC6.004 Unexpected MLD Query, *IP_source* ->
IP_destination nt *network ID*

説明: インターフェースで MLD 照会を受信しましたが、受信しているルーター自体がホスト・メンバーシップ照会を送信しています (すなわち、ルーター自体が指定ルーターです)。これは予期しないことです。いずれにしても、ホスト・メンバーシップ照会は無視されます。

MFC6.005

レベル: P-TRACE

短構文: MFC6.005 Rcvd MLD Query *IP_source* ->
IP_destination, nt *network ID*

長構文: MFC6.005 Received MLD Query, *IP_source* ->
IP_destination nt *network ID*

説明: MLD 照会を受信しましたが、マルチキャスト・ルーターによって無視されました。

MFC6.006

レベル: P-TRACE

短構文: MFC6.006 Rcvd dgram *IP_source* -> *IP_destination*,
from *receiving_interface*

長構文: MFC6.006 Received IP multicast datagram,
IP_source -> *IP_destination*, from *receiving_interface*

説明: IP データグラムを受信しましたが、これはクラス D アドレスを持っており、IP マルチキャストであることを示しています。データグラムの転送が試みられます。

MFC6.007

レベル: P-TRACE

短構文: MFC6.007 Fwrd dgram *IP_source* -> *IP_destination*,
nt *network ID*

長構文: MFC6.007 Forwarded IP multicast datagram,
IP_source -> *IP_destination*, net *network ID*

説明: IP データグラムが、データ・リンク・マルチキャストとして、指定のインターフェースから転送されました。

MFC6.008

レベル: P-TRACE

短構文: MFC6.008 Fwrd dgram *IP_source* -> *IP_destination*,
nbr *IP_gw_address*

長構文: MFC6.008 Forwarded IP multicast datagram,
IP_source -> *IP_destination*, neighbor *IP_gw_address*

説明: IP データグラムが、データ・リンク・ユニキャストとして、指定の近隣に転送されました。

MFC6.009

レベル: P-TRACE

短構文: MFC6.009 Local delivery, *IP_source* ->
IP_destination

長構文: MFC6.009 Local delivery of multicast datagram,
IP_source -> *IP_destination*

説明: IP データグラムが、ルーターの内部アプリケーションの 1 つに送達されました。

MFC6.010

レベル: UE-ERROR

短構文: MFC6.010 Bad IP option, *IP_source* ->
IP_destination

長構文: MFC6.010 Multicast datagram discarded due to bad
option, *IP_source* -> *IP_destination*

説明: IP マルチキャスト・データグラムを受信しましたが、無効な IP オプション (フォーマットが間違っているか、マルチキャストには不適切なオプション) が含まれています。データグラムは廃棄され、ICMP メッセージは戻されません。

MFC6.011

レベル: UE-ERROR

短構文: MFC6.011 Can't fwd *IP_source* -> *IP_destination*,
rsn: *reason*

長構文: MFC6.011 Can't forward multicast *IP_source* ->
IP_destination, due to reason : *reason*

説明: 示されている理由により、IP マルチキャスト・データグラムが転送されませんでした。

MFC6.012

レベル: P-TRACE

短構文: MFC6.012 Lcl orig *IP_source* -> *IP_destination*

長構文: MFC6.012 Locally originated multicast, *IP_source*
-> *IP_destination*

説明: ルーターの内部アプリケーションの 1 つによって、IP データグラムが発信されました。転送が試みられています。このようなデータグラムは、転送に関する他の決定には関係なく、常にパケットの発信元に対応するインターフェース (もしあれば) から転送されます。

MFC6.013

レベル: P-TRACE

短構文: MFC6.013 Rcvd MLD reg for *IP_source*

長構文: MFC6.013 Received MLD Register Request for
group *IP_source*

説明: 内部アプリケーションから MLD 登録要求を受信しました。

MFC6.014

レベル: P-TRACE

短構文: MFC6.014 Rcvd MLD Done *IP_source* ->
IP_destination, group *IP_group* nt *network ID*

長構文: MFC6.014 Received MLD Done *IP_source* ->
IP_destination, group *IP_group* net *network ID*

説明: 指定のインターフェースで MLD 完了メッセージを受信しました。

MFC6.015

レベル: UI-ERROR

短構文: MFC6.015 Bad dp trie key delete, fnc : *function*

長構文: MFC6.015 The deletion of a dp trie key failed in
function : *function*

説明: 機能が dp trie データ構造からキーを削除しようと試みました。

原因: 指定されたキーを dp trie 内で見付けることができませんでした。

処置: IBM サービス技術員に連絡してください。

第71章 マルチリンク PPP (MLP)

この章では、マルチリンク PPP (MLP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

MLP.001

レベル: P-TRACE

短構文: MLP.001 MP Rcv bytes byt num= *seqno*,M=M,BE= *BE_bits* lng?= *long* nt *network*

長構文: MLP.001 MP Rcv bytes byt num= *seqno*,M=M,BE= *BE_bits* lng?= *long* nt *network*

説明: MP パケットを受信しました。このメッセージで報告されるのは、サイズ (バイト数)、MP ヘッダーに入っている MP シーケンス番号、MP バンドル内の各リンクごとに最後に受信したシーケンス番号の最小値である M 値、BE ビット数 (0 = いずれでもなし、1 = 終了フラグメント、2 = 開始フラグメント、3 = 開始と終了の両方 (全パケット))、長シーケンス番号を受信中かどうかということ (1 = はい)、およびパケットが受信されたネットおよびインターフェースです。

MLP.002

レベル: CI-ERROR

短構文: MLP.002 net *net* DISCARD (sequence less than expected) nrcv= *nrcv*,num= *seq*

長構文: MLP.002 net *net* DISCARD (sequence less than expected) nrcv= *nrcv*,num= *seq*

説明: シーケンス番号が予期していた番号より小さい (nrcv または M より小さい) ために、MP パケットを廃棄中です。これは、このパケットがすでに損失として "宣言" されていたことを示している可能性があります。

MLP.003

レベル: P-TRACE

短構文: MLP.003 BAP Snd REQ= *type* (0=Cll,1=Cllbk,2=Drp)

長構文: MLP.003 BAP Snd REQ= *type* (0=Cll,1=Cllbk,2=Drp)

説明: BAP の送信中です。

MLP.005

レベル: P-TRACE

短構文: MLP.005 BAP Send CALL-STATUS= *status* (0=SUCC,255=FAIL)

長構文: MLP.005 BAP Send CALL-STATUS= *status* (0=SUCC,255=FAIL)

説明: リンクが MP バンドルに正常に結合したかどうかを示すために、BAP コール状態表示を送信中です (これには、LCP ネゴシエーションが組み込まれます)。

MLP.006

レベル: CI-ERROR

短構文: MLP.006 BAP: Inbound Req or Status Ind was not Acked

長構文: MLP.006 BAP: Inbound Req or Status Ind was not Acked

説明: 何らかの理由で、BAP がピア (相手) からの着信要求を確認しない選択をしました。これが生じる可能性があるのは、十分な資源がないか、ピア (相手) による帯域幅の追加または除去の決定にこちらが同意しない場合です。

MLP.007

レベル: P-TRACE

短構文: MLP.007 BAP Rcv Req= *theirReq* (0=Cll,1=Cllbk,2=Drp) ->COLLISION favp= *favpeer*

長構文: MLP.007 BAP Rcv Req= *theirReq* (0=Cll,1=Cllbk,2=Drp) ->COLLISION favp= *favpeer*

説明: ピア (相手) からのインバウンド BAP 要求を受信しましたが、すでにその間に別の要求を送信していました。これは正常な衝突であり、BACP 優先ピア (相手) によって解決されます。

MLP.008

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.008 BAP bd state-inbnd= *theirReq*(0=Cll,1=Cbk,2=Drp,3=CR,4=CBR,5=DR,6=S,7=SR)

長構文: MLP.008 BAP bd state-inbnd=
theirReq(0=Cll,1=Cbk,2=Drp,3=CR,4=CBR,5=DR,6=S,7=SR)

説明: インバウンド BAP パケットの BAP 状態不良です。

MLP.009

レベル: P-TRACE

短構文: MLP.009 BAP RCV RSP=
RespType(0=Cl,1=Cbk,2=Drp,3=St)
Response(0=AK,1=NK,2=RJ,3=FLN)

長構文: MLP.009 BAP RCV RSP=
RespType(0=Cl,1=Cbk,2=Drp,3=St)
Response(0=AK,1=NK,2=RJ,3=FLN)

説明: インバウンド BAP 応答パケットを対応する応答コードと共に受信しました (ACK は、「要求を推進してください」を意味し、NAK は、「要求を理解し支持するが、今は実行してほしくないので、後で改めて試行してください」を意味し、REJECT は、「要求を理解または支持、あるいはその両方をしない」を意味し、FULLNAK は、「要求を理解し支持するが、ある種の資源条件 (これは構成可能リンクの最大数パラメーターである可能性がある) による制限があるので、MP バンドルの合計帯域幅が変更されるまでは、この要求を再度送信しないでください」を意味します)。

MLP.010

レベル: C-INFO

短構文: MLP.010 BOD Aprc= *Add*,ASpd= *AddS*,Dprc=
Drop,DSpd= *DropS*,oSpd= *out*,iSpd= *in*

長構文: MLP.010 BOD Aprc= *Add*,ASpd= *AddS*,Dprc=
Drop,DSpd= *DropS*,oSpd= *out*,iSpd= *in*

説明: リンクの追加または除去が必要かどうかを判別するために、帯域幅を検査中です。合計帯域幅、追加パーセント、計算追加速度、除去パーセント、計算除去速度、アウトバウンド速度、およびインバウンド速度が表示されます。除去するためには、iSpd および oSpd を両方とも DSpd 未満に落とす必要があります。追加するためには、iSpd と oSpd のいずれかを ASpd より上まで上げる必要があります。

MLP.011

レベル: C-INFO

短構文: MLP.011 BAP BOD Drp lnk net= *net*,rem LD=
remLD,loc LD= *locLD*

長構文: MLP.011 BAP BOD Drp lnk net= *net*,rem LD=
remLD,loc LD= *locLD*

説明: BAP によるリンクの削除が行われています。リモートおよびローカル・リンク弁別子が表示されます。

MLP.012

レベル: CI-ERROR

短構文: MLP.012 BAP BOD - Avail *nettype*
(0=Drp,1=Out,2=In) nt not found

長構文: MLP.012 BAP BOD - Avail *nettype*
(0=Drp,1=Out,2=In) net not found

説明: 十分な資源がないか、ダイヤル回線が直前のアクションからまだリセットしていない場合は、通常のエラーです。

MLP.013

レベル: C-INFO

短構文: MLP.013 BAP BOD Adding Net= *net* with *type*
(0=Cll,1=Cllbk)

長構文: MLP.013 BAP BOD Adding Net= *net* with *type*
(0=Cll,1=Cllbk)

説明: BAP がリンクを追加中です。

MLP.014

レベル: CI-ERROR

短構文: MLP.014 BAP BOD Can NOT check BOD
requirements NOW!

長構文: MLP.014 BAP BOD Can NOT check BOD
requirements NOW!

説明: BAP プロセスが行われている最中で、帯域幅タイマーがポップする (帯域幅がこの間隔で検査されることはありません) 場合は、通常のエラーです。

MLP.015

レベル: C-INFO

短構文: MLP.015 BAP Peer wants to Drop our LD= *LD*

長構文: MLP.015 BAP Peer wants to Drop our LD= *LD*

説明: 表示されているリンク弁別子とこちらのリンクの除去を希望する、インバウンド BAP 除去要求です。

MLP.016

レベル: P-TRACE

短構文: MLP.016 BAP Rcv *theirReq*
(Cll:1,2;CllBck:3,4;Drp:5,6;St:7,8->Req,Rsp)

長構文: MLP.016 BAP Rcv *theirReq*

(Cll:1,2;CllBck:3,4;Drp:5,6;St:7,8->Req,Rsp)

説明: インバウンド BAP 要求を受信しました。

MLP.017

レベル: C-INFO

短構文: MLP.017 BAP - Our Available Phone number is *phoneNum*

長構文: MLP.017 BAP - Our Available Phone number is *phoneNum*

説明: ピア (相手) に渡すために使用可能な電話番号を見付けました。

MLP.018

レベル: C-INFO

短構文: MLP.018 BAP cll nt= *net*,olen= *len*,ud= *ud*,sntd= *sent*,offst= *offset*,Ph= *phone*

長構文: MLP.018 BAP cll nt= *net*,olen= *len*,ud= *ud*,sntd= *sent*,offst= *offset*,Ph= *phone*

説明: BAP がコールを発信中です。電話番号が使用されるフィールドが表示されます。電話番号の元の長さ、固有の桁数、ピア (相手) から送信された桁数、コピーを開始するための電話番号内オフセット、および電話番号があります。

MLP.019

レベル: C-INFO

短構文: MLP.019 MP Nt *net* removed from the bundle

長構文: MLP.019 MP Nt *net* removed from the bundle

説明: MP がバンドルからリンクを除去します。

MLP.020

レベル: C-INFO

短構文: MLP.020 MP add Nt *net* to the *type* (0=old,1=new) bundle

長構文: MLP.020 MP add Nt *net* to the *type* (0=old,1=new) bundle

説明: MP がバンドルにリンクを追加します。

MLP.021

レベル: P-TRACE

短構文: MLP.021 MP Nt *oldnet* XMT shrt?= *short* frg *frag* (*bytes* byt) on nt *net*

長構文: MLP.021 MP Nt *oldnet* XMT shrt?= *short* frg *frag* (*bytes* byt) on nt *net*

説明: MP がパケットを XMIT (送信) します。MP 装置、短シーケンス番号を送信中かどうか (1 = はい)、フラグメント番号 (または、パケット全体の場合は、0)、バイト数、およびトランスポート・ネットが表示されます。

MLP.022

レベル: C-INFO

短構文: MLP.022 BAP OPT: LNK TYPE: spd= *speed*, typ= *type* (1=ISDN,4=ANALOG)

長構文: MLP.022 BAP OPT: LNK TYPE: spd= *speed*, typ= *type* (1=ISDN,4=ANALOG)

説明: BAP オプション

MLP.023

レベル: C-INFO

短構文: MLP.023 BAP OPT: PHONE:dig:unique= *ud*,snt= *ds*;num= *delta*,sub= *subaddr*

長構文: MLP.023 BAP OPT: PHONE:dig:unique= *ud*,snt= *ds*;num= *delta*,sub= *subaddr*

説明: BAP オプション

MLP.024

レベル: C-INFO

短構文: MLP.024 BAP OPT: NO PHONE NUMBER NEEDED

長構文: MLP.024 BAP OPT: NO PHONE NUMBER NEEDED

説明: BAP オプション

MLP.025

レベル: C-INFO

短構文: MLP.025 BAP OPT: REASON: *reason*

長構文: MLP.025 BAP OPT: REASON: *reason*

説明: BAP オプション

MLP.026

レベル: C-INFO

短構文: MLP.026 BAP OPT: LINK DISCRIMINATOR: *ld*

長構文: MLP.026 BAP OPT: LINK DISCRIMINATOR: *ld*

説明: BAP オプション

MLP.027

レベル: C-INFO

短構文: MLP.027 BAP OPT:STAT:

status(0=SCC,17=BSY,255=FL)*act*= *action*(0=NO,1=RTRY)

長構文: MLP.027 BAP OPT:STAT:

status(0=SCC,17=BSY,255=FL)*act*= *action*(0=NO,1=RTRY)

説明: BAP オプション

MLP.028

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.028 BAP OPTION NOT RECOGNIZED

長構文: MLP.028 BAP OPTION NOT RECOGNIZED

説明: BAP オプションなし

MLP.029

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.029 BAP error (inbound packet): no buffer

長構文: MLP.029 BAP error (inbound packet): no buffer

説明: BAP は、応答を送信するためにパケットの生成を試行しましたが、バッファを割り振ることができませんでした。重大な記憶域不足問題がある可能性があります。

MLP.030

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.030 BAP error (inbound packet): length mismatch

長構文: MLP.030 BAP error (inbound packet): length mismatch

説明: BAP エラー

MLP.031

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.031 BAP error (inbound packet): bap_check failed

長構文: MLP.031 BAP error (inbound packet): bap_check failed

説明: インバウンド BAP パケット・オプションの処理中に、bap_check によってエラーが報告されました。

MLP.032

レベル: P-TRACE

短構文: MLP.032 Sending BAP RESPONSE= *resp* (0=Ack)

長構文: MLP.032 Sending BAP RESPONSE= *resp* (0=Ack)

説明: インバウンド要求または状態表示に対する BAP 応答です (0=ACK、1=NAK、2=REJ、3=FULLNAK)。

MLP.033

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.033 BAP error (inbound packet): id mismatch

長構文: MLP.033 BAP error (inbound packet): id mismatch

説明: 応答または状態表示のインバウンド ID が、初期要求で使用されたものに一致しません。

MLP.034

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.034 BAP error: unique digits > digits sent

長構文: MLP.034 BAP error: unique digits > digits sent

説明: ダイヤルする電話番号を形成できません。固有の桁数が送信された桁数より大です。

MLP.035

レベル: P-TRACE

短構文: MLP.035 mk favorite peer magic number *magic*

長構文: MLP.035 making favorite peer magic number with value *magic*

説明: bacp_option によって優先ピア (相手) が作成されました。

MLP.036

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.036 mk bacp unk option

長構文: MLP.036 making unknown bacp option *option*

説明: bacp_option が確認不能オプションを作成しました。

MLP.037

レベル: C-INFO

短構文: MLP.037 *state*, *routine_name*, nt *network ID*

長構文: MLP.037 *state* = *state*,, called *routine_name*,, on nt *network ID*

説明: 指定の cp ルーチン呼び出しました。

MLP.038

レベル: P-TRACE

短構文: MLP.038 ck favorite peer mag 0x *magic_number*

長構文: MLP.038 checking favorite peer magic number with value 0x *magic_number*

説明: bacp_check がマジック・ナンバーを処理しました。

MLP.039

レベル: P-TRACE

短構文: MLP.039 ck bacp unk *option*

長構文: MLP.039 checking unknown bacp option *option*

説明: bacp_check が確認不能オプションを処理しました。

MLP.040

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.040 Bd bacp req hdr lngth, nt *network ID*

長構文: MLP.040 Bad BACP request header length, on network *network ID*

説明: bacp_req が要求を受信しましたが、ヘッダーの長さが不良です。

MLP.041

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.041 Bd bacp req opt *bacp_option*, shrt, nt *network ID*

長構文: MLP.041 Bd BACP req opt *bacp_option*., data too short, on net *network ID*

説明: bacp_req が要求を入手しましたが、含まれているオプションがデータ不足です。

MLP.042

レベル: C-TRACE

短構文: MLP.042 bacp req rslt: *bacp_rslt*., opt *bacp_option*., ln *opt_len*., nt *network ID*

長構文: MLP.042 bacp req rslt: *bacp_rslt*., opt *bacp_option*., ln *opt_len*., nt *network ID*

説明: ここまでの、1つのオプションの処理の結果

MLP.043

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.043 lpbk nt *network ID*

長構文: MLP.043 Excessive bacp magic number collisions on nt *network ID*

説明: リンクの構成を試行中に、過度のマジック・ナンバー衝突がありました。

MLP.044

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.044 Bd bacp ack id, exp *exp_id*, gt *got_id*., nt *network ID*

長構文: MLP.044 Bad bacp ack id, exp *exp_id*, got *got_id*., on nt *network ID*

説明: bacp_ack が構成 ACK を入手しましたが、ID が不良です。

MLP.045

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.045 Bd bacp ack lngth, nt *network ID*

長構文: MLP.045 Bad bacp ack length, on network *network ID*

説明: bacp_ack が構成 ACK を入手しましたが、長さが不良です。

MLP.046

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.046 msmtchd bacp ack, nt *network ID*

長構文: MLP.046 mis-matched data in bacp ack, on network *network ID*

説明: bacp_ack が ACK を入手しましたが、そのデータがこちらの要求に一致しません。

MLP.047

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.047 Bd bacp nak id, exp *exp_id*, gt *got_id*., nt *network ID*

長構文: MLP.047 Bad BACP nak id, expected *exp_id*., got *got_id*., on network *network ID*

説明: bacp_nak が NAK を入手しましたが、ID が不良です。

MLP.048

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.048 Bd bacp nak lngth, nt *network ID*

長構文: MLP.048 Bad BACP nak length, on *network network ID*

説明: bacp_nak が NAK を入手しましたが、長さが不良です。

MLP.049

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.049 Bd bacp nak opt *bacp_option,,* nt *network ID*

長構文: MLP.049 Bad BACP nak option = *bacp_option,,* on *network network ID*

説明: bacp_nak が NAK を入手しましたが、含まれているオプションが範囲外です。

MLP.050

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.050 out-ordr bacp nak opt *bacp_option,,* nt *network ID*

長構文: MLP.050 Bad BACP nak option = *bacp_option,,* on *network network ID*

説明: bacp_nak が NAK を入手しましたが、含まれているオプションが順序誤りです。

MLP.051

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.051 Bd bacp nak opt *bacp_option, shrt,* nt *network ID*

長構文: MLP.051 Bad BACP nak option = *bacp_option,,* data too short, on *network network ID*

説明: bacp_nak が NAK を入手しましたが、含まれているオプションがデータ不足です。

MLP.052

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.052 Bd bacp rej id, exp *exp_id,* gt *got_id,,* nt *network ID*

長構文: MLP.052 Bad bacp rej id, expected *exp_id,,* got *got_id,,* on *network network ID*

説明: bacp_ack が構成 ACK を入手しましたが、ID が不良です。

MLP.053

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.053 Bd bacp rej lngth, nt *network ID*

長構文: MLP.053 Bad BACP reject length, on *network network ID*

説明: bacp_rej がリジェクトを入手しましたが、長さが不良です。

MLP.054

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.054 Bd bacp rej opt *bacp_option,,* nt *network ID*

長構文: MLP.054 Bad BACP reject option = *bacp_option,,* on *network network ID*

説明: bacp_rej がリジェクトを入手しましたが、含まれているオプションが範囲外です。

MLP.055

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.055 out-ordr bacp rej opt *bacp_option,,* nt *network ID*

長構文: MLP.055 Bad BACP reject option = *bacp_option,,* on *network network ID*

説明: bacp_rej がリジェクトを入手しましたが、含まれているオプションが順序誤りです。

MLP.056

レベル: C-INFO

短構文: MLP.056 MP bundle removed (Nt *net*)

長構文: MLP.056 MP bundle removed (Nt *net*)

説明: MP がバンドル解除します。残っているリンク (残っているものがある場合) は、すべてダウンにされます。

MLP.057

レベル: P-TRACE

短構文: MLP.057 MP Nt *oldnet* SLW XMT shrt?= *short frg frag* (*bytes byt*) on nt *net*

長構文: MLP.057 MP Nt *oldnet* SLW XMT shrt?= *short frg frag* (*bytes byt*) on nt *net*

説明: MP 低速 XMIT (送信)。これが使用されるのは、

BRS `n_get` 送信パスの場合です。パラメーターは `MLP_21` の場合と同じです。

MLP.058

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.058 Bad Dial nt *network ID*

長構文: MLP.058 Bad Dialout MP link for nt *network ID*

説明: 構成されたダイヤルアウト MP リンクが存在していないか、ダイヤルアウト MP 専用リンクではありません。

原因: 構成エラー

処置: ダイヤル回線をダイヤルアウト MP 専用リンクとして構成します。

MLP.059

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.059 ERROR: Fixed link *link* with wrong MP nt *MPnet* - dropping link

長構文: MLP.059 ERROR: Fixed link *link* with wrong MP nt *MPnet* - dropping link

説明: リンクは MP ONLY であり、バンドルを見付けましたが、これが構成済みバンドルではありませんでした。

原因: 構成エラー

MLP.060

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.060 ERROR: MaxLinks exceeded MP nt *MPnet* - dropping nt *link*

長構文: MLP.060 ERROR: MaxLinks exceeded MP nt *MPnet* - dropping nt *link*

説明: このバンドルに関するリンクの最大数を超過しました。

原因: 構成エラー

MLP.061

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.061 ERROR: LCP or Auth on nt *link* mismatch w/ MP nt *MPnet* - dropping link

長構文: MLP.061 ERROR: LCP or Auth on nt *link* mismatch w/ MP nt *MPnet* - dropping link

説明: このリンクの LCP または認証ネゴシエーションが一致しません。

原因: 構成エラー

MLP.062

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.062 ERROR: link nt *link* not the 1st link in bundle MP nt *MPnet* - dropping link

長構文: MLP.062 ERROR: link nt *link* not the 1st link in bundle MP nt *MPnet* - dropping link

説明: この MP ネットの最初のリンクではありません。

原因: 構成エラー

MLP.063

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.063 ERROR: No MP bundle Net to use - dropping nt *link*

長構文: MLP.063 ERROR: No MP bundle Net to use - dropping nt *link*

説明: この MP セッション用として使用する MP ネットがありません。

原因: 構成エラー

MLP.064

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.064 ERROR: Out of MP Buffers on MP nt *MPnet*

長構文: MLP.064 ERROR: Out of MP Buffers on MP nt *MPnet*

説明: この MP ネット上には MP バッファはこれ以上ありません。

原因: もっと記憶域が必要です。

MLP.065

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.065 ERROR: mp_netostart is performed on a non-MP net *MPnet*

長構文: MLP.065 ERROR: mp_netostart is performed on a non-MP net *MPnet*

説明: `mp_netostart` (BRS) が非 MP ネットで実行されています。

原因: 構成エラー

MLP.066

レベル: C-INFO

短構文: MLP.066 >>>>->> mp_init_prvq nt *MPnet* w/
numbuffs bufs, *numbytes* bytes!

長構文: MLP.066 >>>>->> mp_init_prvq nt *MPnet* w/
numbuffs bufs, *numbytes* bytes!

説明: MP 初期化

MLP.067

レベル: C-INFO

短構文: MLP.067 mp_slftst : net = *MPnet*

長構文: MLP.067 mp_slftst : net = *MPnet*

説明: MP 自己検査

MLP.068

レベル: C-INFO

短構文: MLP.068 >>>>->> performing n_up for DOD nt
MPnet

長構文: MLP.068 >>>>->> performing n_up for DOD nt
MPnet

説明: ダイヤル・オンデマンド MP ネットに関する通常
の MP 自己検査

MLP.069

レベル: C-INFO

短構文: MLP.069 >>>>->> performing n_down for FIXED
INBOUND nt *MPnet*

長構文: MLP.069 >>>>->> performing n_down for FIXED
INBOUND nt *MPnet*

説明: 固定インバウンド MP 回線に関する通常の MP 自
己検査

MLP.070

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.070 MP self test nt *MPnet* - bad state

長構文: MLP.070 MP self test nt *MPnet* - bad state

説明: MP 自己検査が不良です。

MLP.071

レベル: C-INFO

短構文: MLP.071 >>>>->> performing n_down since
NETDOWN nt *MPnet*

長構文: MLP.071 >>>>->> performing n_down since
NETDOWN nt *MPnet*

説明: MP 自己検査。基本ネットがいまだに NETDOWN
状態です。

MLP.072

レベル: C-INFO

短構文: MLP.072 >>>>->> performing n_up for DOD nt
MPnet

長構文: MLP.072 >>>>->> performing n_up for DOD nt
MPnet

説明: ダイヤル・オンデマンド MP ネットに関する通常
の MP 自己検査

MLP.073

レベル: C-INFO

短構文: MLP.073 >>>>->> performing n_down for FIXED
INBOUND nt *MPnet*

長構文: MLP.073 >>>>->> performing n_down for FIXED
INBOUND nt *MPnet*

説明: 固定インバウンド MP 回線に関する通常の MP 自
己検査

MLP.074

レベル: C-INFO

短構文: MLP.074 >>>>->> performing n_down since callout
failure nt *MPnet*

長構文: MLP.074 >>>>->> performing n_down since callout
failure nt *MPnet*

説明: MP 自己検査。ダイヤル回線コールアウトに失敗
し、再度試行します。

MLP.075

レベル: C-INFO

短構文: MLP.075 >>>>->> performing n_down bad link
state and not calling nt *MPnet*

長構文: MLP.075 >>>>->> performing n_down bad link
state and not calling nt *MPnet*

説明: ダイヤル回線ネットが配線状態に見えます。

MLP.076

レベル: C-TRACE

短構文: MLP.076 Idle timer expired MP nt *MPnet* - MP circuit down

長構文: MLP.076 Idle timer expired MP nt *MPnet* - MP circuit down

説明: MP 保守。ダイヤル・オンデマンド MP 回線に関して、アイドル・タイマーが満了になりました。

MLP.077

レベル: CI-ERROR

短構文: MLP.077 BAP: NO Available Phone Number

長構文: MLP.077 BAP: NO Available Phone Number

説明: BAP は電話番号を渡すことができません。いずれも入手してくれないからです。資源状態も 1 つ (または複数) のダイヤル回線も、まだ直前のアクションからリセットしていません。

MLP.078

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.078 BAP: unknown PHONE DELTA sub option

長構文: MLP.078 BAP: unknown PHONE DELTA sub option

説明: PHONE DELTA サブオプションが確認不能です。

MLP.079

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.079 BAP: unknown BAP option *option*

長構文: MLP.079 BAP: unknown BAP option *option*

説明: BAP オプションが確認不能です。

MLP.080

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.080 BAP: FAILED BAP NEGOTIATIONS nt *MPnet*

長構文: MLP.080 BAP: FAILED BAP NEGOTIATIONS nt *MPnet*

説明: BAP ネゴシエーションが失敗しました (LINK TYPE OR PHONE DELTA NOT SUPPLIED)。

MLP.081

レベル: C-TRACE

短構文: MLP.081 BAP: Place call..tmp_addr= *temp*, dst_addr= *dst*

長構文: MLP.081 BAP: Place call..tmp_addr= *temp*, dst_addr= *dst*

説明: コールが発信されました。tmp_addrs を使用して、コールを発信します。

MLP.082

レベル: C-TRACE

短構文: MLP.082 BACP OPEN nt *MPnet*: fav= *favpeer* (0=N,1=Y) loc= *local*,rem= *remote*

長構文: MLP.082 BACP OPEN nt *MPnet*: fav= *favpeer* (0=N,1=Y) loc= *local*,rem= *remote*

説明: MP ネットに関して BACP がオープンされました。表示されるのは、優先ピア (相手) 値です。

MLP.083

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.083 ERROR: Unknown BAP pkt type *type*

長構文: MLP.083 ERROR: Unknown BAP pkt type *type*

説明: 確認不能の BAP パケット・タイプを受信しました。

MLP.084

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.084 BAP: Unable to drop MP lnk from MP nt *MPnet*

長構文: MLP.084 BAP: Unable to drop MP lnk from MP nt *MPnet*

説明: リンクをダウンにすることができないうちに、リンク除去タイムアウト期間が経過しました。

MLP.085

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.085 ERROR: No MP on static MP Link nt *linkNet*

長構文: MLP.085 ERROR: No MP on static MP Link nt *linkNet*

説明: MP ONLY リンク上の MRRU ネゴシエーションが正常に行われませんでした。

MLP.086

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.086 ERROR: bad Endpt Disc on static MP Lnk nt *linkNet*

長構文: MLP.086 ERROR: bad Endpt Disc on static MP Lnk nt *linkNet*

説明: MP ONLY リンク上のエンドポイント選別子が、バンドルと異なっていました。

MLP.087

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.087 ERROR: nt *linkNet* parameter mismatch with MP bundle

長構文: MLP.087 ERROR: nt *linkNet* parameter mismatch with MP bundle

説明: リンク・ネットは、MP バンドルと同じパラメーターをネゴシエーションしませんでした。

MLP.088

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.088 ERROR: nt *linkNet* did not neg lnk disc on MP nt *MPnet* -BAP

長構文: MLP.088 ERROR: nt *linkNet* did not neg lnk disc on MP nt *MPnet* -BAP

説明: リンク・ネットは、BAP を実行するバンドルについて、リンク識別子をネゴシエーションしませんでした。

MLP.089

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.089 ERROR: nt *MPnet* rcv BAP packet in bapCLOSED state

長構文: MLP.089 ERROR: nt *MPnet* rcv BAP packet in bapCLOSED state

説明: BAP パケットが受信されたのが、BAP が稼働していない回線上でした。

MLP.090

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.090 ERROR: nt *MPnet* rcvd a BACP pkt in CLOSED state

長構文: MLP.090 ERROR: nt *MPnet* rcvd a BACP pkt in CLOSED state

説明: BACP パケットがクローズ状態で受信されました。

MLP.091

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.091 ERROR: BRS enabled on an MP slave net *linkNet*

長構文: MLP.091 ERROR: BRS enabled on an MP slave net *linkNet*

説明: BRS が MP リンク・ネット上で使用可能にされています。パケットは除去されます。

MLP.092

レベル: C-INFO

短構文: MLP.092 BAP: no subaddress found

長構文: MLP.092 BAP: no subaddress found

説明: BAP: サブアドレスが見つからず、渡そうとしていません。マルチポートがサポートされていないか、現在は使用されていないためと思われます。

MLP.093

レベル: C-INFO

短構文: MLP.093 BAP - Our Available subaddress is *subAddr*

長構文: MLP.093 BAP - Our Available subaddress is *subAddr*

説明: サブアドレスを見付けたので、こちらの BAP コール・レスポンスまたは BAP コールバック・リクエストの中でそれを渡します。

MLP.094

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.094 WARNING: nt *link* already added to MP nt *MPnet* - continuing

長構文: MLP.094 WARNING: nt *link* already added to MP nt *MPnet* - continuing

説明: pppblk はすでに MP ネットに追加されています。処理を続けます。

原因: おそらく廃棄されたパケットです。

MLP.095

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.095 Leased MP net with WRS/DOD nt network ID

長構文: MLP.095 Leased MP net with WRS/DOD nt network ID

説明: MP ネットに専用回線が含まれており、WRS が使用可能になっています。

原因: 構成エラー

処置: WRS を使用不可にしてください。

MLP.096

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.096 Disabling BAP on Leased MP nt network ID

長構文: MLP.096 Disabling BAP on Leased MP nt network ID

説明: MP ネットは "専用" (少なくとも 1 つの専用回線を含んでいる) であり、BAP が使用可能にされています。この構成は誤っています。BAP は使用不可になり、BOD は BAP を使用しません。

原因: 構成エラー

処置: 専用 MP 回線上の BAP を使用不可にしてください。

MLP.097

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.097 Disabling BAP on MP nt network ID w/ bad ctrl net

長構文: MLP.097 Disabling BAP on MP nt network ID w/ bad ctrl net

説明: BAP は、制御ネットが有効な ISDN ダイヤル回線である (I.430、I.431 でない) 場合にのみ機能します。

原因: 構成エラー

処置: MP 回線上の BAP を使用不可にしてください。

MLP.098

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.098 Disabling BOD ON INBOUND MP nt network ID

長構文: MLP.098 Disabling BOD ON INBOUND MP nt network ID

説明: BOD は INBOUND MP 回線上では機能しません (BAP が使用されていない限り)。

原因: BOD を使用不可にする。

処置: MP 回線上の BOD を使用不可にしてください。

MLP.099

レベル: C-INFO

短構文: MLP.099 BOD: Dropping nt linknet from MP nt mpnet

長構文: MLP.099 BOD: Dropping nt linknet from MP nt mpnet

説明: BOD がリンクを除去しました。

MLP.100

レベル: C-INFO

短構文: MLP.100 BOD: Attempting to Add nt linknet to MP nt mpnet

長構文: MLP.100 BOD: Attempting to Add nt linknet to MP nt mpnet

説明: BOD はリンクを追加しています。

MLP.101

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.101 WARNING: slftst Nt MPnet - bundle sequences are off

長構文: MLP.101 WARNING: slftst Nt MPnet - bundle sequences are off

説明: バンドル・シーケンス番号がオフです。予期していたより小さい番号のパケットを受信したために 30 回連続して除去されたことが原因です。これは回復メカニズムです。

原因: バンドル内の 1 つのリンクが、他のリンクがダウンになる前にリスタートしたことが原因で起きた可能性もあります。その結果、1 つのバンドル自体が再確立できなくなり、旧接続からのシーケンス番号を使用しています。

MLP.102

レベル: UI_ERROR

短構文: MLP.102 ERROR: n_speed is 0 or very small,MP net MPnet - dropping net link

長構文: MLP.102 ERROR: n_speed is 0 or very small,MP net MPnet - dropping net link

説明: MP バンドルへの結合を試みているリンクの 1 つに `n_speed` が構成されていませんでした。

MLP.103

レベル: CI-ERROR

短構文: MLP.103 net *net* DISCARD due to timer or rcv buffer shortage

長構文: MLP.103 net *net* DISCARD due to timer or rcv buffer shortage

説明: パケット/断片を待っている間に MP タイムアウト期間が満了したか、(こちらの方が可能性が高いと思われますが) PPP リンクが受信バッファの最低水準点に達したために、MP パケットを廃棄中です。

MLP.104

レベル: CI-ERROR

短構文: MLP.104 net *net* DISCARD (packet dropped in transit) M= *M*,num= *seq*

長構文: MLP.104 net *net* DISCARD (packet dropped in transit) M= *M*,num= *seq*

説明: パケットが除去されたために、MP パケットを廃棄中です。これは *M* 値 (すべてのリンクの最後に受信されたシーケンス番号の最小値) を計算することによって判別されました。*M* 値は除去されたパケット数を超過しており、それらは決して受信されることがないことを示しています。

第72章 ATM 経路マルチプロトコル・クライアント (MPOA)

この章では、ATM 経路マルチプロトコル・クライアント (MPOA) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

MPOA.001

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.001 Critical memory allocation failure!
(interface # *net_number*)

長構文: MPOA.001 Critical memory allocation failure!
(interface # *net_number*)

説明: 指摘されているインターフェース番号で、通常の MPC 動作を妨害するような重大な記憶域割り振り失敗が起きました。

原因: ボックスの動的割り振り可能記憶域が不足しています。

MPOA.002

レベル: CI-ERROR

短構文: MPOA.002 Non-critical memory allocation failure!
(interface # *net_number*)

長構文: MPOA.002 Non-critical memory allocation failure!
(interface # *net_number*)

説明: 指摘されているインターフェース番号で、重大でない記憶域割り振り失敗が起きました。これは MPC 動作は妨害しませんが、パフォーマンスがいくぶん低下する可能性があります。

原因: ボックスの動的割り振り可能記憶域が不足しています。

MPOA.003

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.003 Unrecog frame recvd (dropped)! (0x *word_1* 0x *word_2* 0x *word_3*)

長構文: MPOA.003 Unrecognized frame received (dropped)!
(0x *word_1* 0x *word_2* 0x *word_3*)

説明: 認識不能/サポートされない LLC SNAP 符号化を持つフレームを受信しました (フレームの最初の 3 ワードが印刷されています)。そのため、フレームは廃棄されました。

MPOA.004

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.004 Bad NHRP/MPOA msg recvd
(dropped)! (0x *word_1* 0x *word_2* 0x *word_3*)

長構文: MPOA.004 Bad NHRP/MPOA message received
(dropped)! (0x *word_1* 0x *word_2* 0x *word_3*)

説明: 破壊された NHRP/MPOA メッセージを受信しました (ヘッダー・チェックサムなどの検査に基づいて判別) (フレームの最初の 3 ワードが印刷されています)。そのため、フレームは廃棄されました。

MPOA.005

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.005 NHRP Error ind. msg recvd! (intf #
intf_num, code *error_code*)

長構文: MPOA.005 NHRP Error indication message
received! (intf # *intf_num* code *error_code*)

説明: NHRP エラー表示メッセージを受信しました。

MPOA.006

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.006 Internal ATM downcall failed
(*function_name*, return: *error_string*)

長構文: MPOA.006 Internal ATM downcall failed
(*function_name*, return: *error_string*)

説明: ATM ドライバーへの内部ダウンコールが失敗しました。通常は起こるはずのないことです。

MPOA.007

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.007 Couldn't send MPOA Ctrl msg to
atm_address, rc *return_code*

長構文: MPOA.007 Couldn't send MPOA Ctrl msg to
atm_address, rc *return_code*

説明: MPOA クライアントは、MPOA 制御フレームを指定の ATM アドレスに送信できませんでした。これは、

そのアドレスへの使用可能な VCC がないことが原因と考えられます。

MPOA.008

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.008 Sending MPOA NAK *atm_address*, *cie code cie_code*

長構文: MPOA.008 Sending MPOA NAK *atm_address*, *cie code cie_code*

説明: MPOA クライアントは、指定の ATM アドレスの MPOA 装置に、NAK メッセージの送信を開始しています。示されている CIE コードが使用されています。

MPOA.009

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.009 Recvd Imposition Rqst on (*vpi/ vci*)

長構文: MPOA.009 Recvd Imposition Rqst on (*vpi/ vci*)

説明: MPC は、指定の VCC 上で MPOA キャッシュ組み付け要求メッセージを受信しました。

MPOA.010

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.010 Parsing error on recvd msg (*error_string/rc return_code*)

長構文: MPOA.010 Parsing error on recvd msg (*error_string/rc return_code*)

説明: 受信した MPOA 制御フレームの構文解析時にエラーが検出されました。

MPOA.011

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.011 Imposition rqst failure (*error_string/rc return_code*)

長構文: MPOA.011 Imposition rqst failure (*error_string/rc return_code*)

説明: 受信した MPOA キャッシュ組み付け要求メッセージの処理時に、エラーが発生しました。エラー・ストリングが、詳しい情報を提供しています。

MPOA.012

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.012 Recvd Imposition rqst from unknown MPS (VCC *vpi/ vci*)

長構文: MPOA.012 Recvd Imposition rqst from unknown MPS (VCC *vpi/ vci*)

説明: MPC は、指定の VCC 上で組み付け要求を受信しましたが、現在はまだ送信側が MPS であることが確認されていません。

MPOA.013

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.013 Free MPOA tag given out (*tag*)

長構文: MPOA.013 Free MPOA tag given out (*tag*)

説明: 空き MPOA タグが出側キャッシュ・エントリーに割り当てられました。

MPOA.014

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.014 MPOA tag value freed (*tag*)

長構文: MPOA.014 Previously assigned MPOA tag value freed back (*tag*)

説明: 以前に割り当てられた MPOA タグ値が、解放されて戻されました。

MPOA.015

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.015 New egress cache entry created (*ipAddress/ ipAddressMask*, *x cacheID,entryTypeString*)

長構文: MPOA.015 New egress cache entry created (*ipAddress/ ipAddressMask*, *x cacheID entryTypeString*)

説明: 指定のプロトコル・アドレスとマスクの組みの新しい出側キャッシュ・エントリーが作成されました。キャッシュ ID とエントリーのタイプも印刷されています。

MPOA.016

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.016 Cntrl frm too large to send! (type *x MPOAFrameType*, *max maxFrameSize*)

長構文: MPOA.016 Control frame too large to send! (type *x MPOAFrameType*, *max maxFrameSize*)

説明: MPOA クライアントは、送信可能な制御フレームの最大サイズより大きい制御フレームを作成しました。そのため、このフレームは送信できませんでした。最大許容フレーム・サイズと共に MPOA パケット・タイプ・コードも印刷されています。

MPOA.017

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.017 Imposition rqst unsuccessful (*errString*,
x *errCode*)

長構文: MPOA.017 Imposition rqst unsuccessful (*errString*,
x *errCode*)

説明: 受信したキャッシュ組み付け要求は、アクティブの使用可能な出側キャッシュ・エントリーの作成に失敗しました。問題を説明したエラー・ストリングと内部エラー・コードが印刷されています。

MPOA.018

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.018 Imposn rfrsh for exstng ntry recvd
(*ipAddress/ ipAddressMask*, x *cacheID*, *entryTypeString*)

長構文: MPOA.018 Imposition refresh for existing entry received (*ipAddress/ ipAddressMask*, x *cacheID*,
entryTypeString)

説明: 出側キャッシュ内の既存のエントリーをリフレッシュするための MPOC キャッシュ組み付け要求を受信しました。あて先プロトコル・アドレス、マスク、キャッシュ ID、およびエントリーのタイプが表示されています。

MPOA.019

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.019 Recvd imposn rqst had dll mismatch!
(*ipAddress/ ipAddressMask*)

長構文: MPOA.019 Recvd imposn rqst had dll mismatch!
(*ipAddress/ ipAddressMask*)

説明: 既存の出側キャッシュ・エントリーに対する組み付け要求を受信しましたが、DLL が前の要求で提供されたものとは異なっていました。MPC は内部の古いエントリーを削除し、新しい情報を入れた新しいエントリーを作成します。

MPOA.020

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.020 Imposn rqst valid (*ipAddress/ ipAddressMask*,
rqst ID: x *requestID*)

長構文: MPOA.020 Imposition request valid (*ipAddress/ ipAddressMask*,
rqst ID: x *requestID*)

説明: 指定のあて先アドレス/マスクの組みに対する有効なキャッシュ組み付け要求を受信しました。メッセージ

内の要求 ID も印刷されています。

MPOA.021

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.021 Processing imposn rqst for new ntry
(*ipAddress/ ipAddressMask*, x *cacheID*, *entryTypeString*)

長構文: MPOA.021 Processing imposition request for a new entry (*ipAddress/ ipAddressMask*, x *cacheID*,
entryTypeString)

説明: 新しい出側キャッシュ・エントリーのための MPOA キャッシュ組み付け要求を処理中です。あて先プロトコル・アドレス、マスク、キャッシュ ID、およびエントリーのタイプが表示されています。

MPOA.022

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.022 Recvd imposn rqst, ntry type mismatch
(old *ipAddress/ new ipAddressMask*)

長構文: MPOA.022 Recvd imposn rqst, entry type mismatch
(old *ipAddress/ new ipAddressMask*)

説明: 既存の出側キャッシュ・エントリーに対する組み付け要求を受信しましたが、エントリー・タイプが既存のものと異なっています。既存のエントリーは内部で削除され、新しいエントリーが作成されます。

MPOA.023

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.023 Recvd imposn rqst, prtcl addr mismatch
(old *oldIpAddressPrefix/ new newIpAddressPrefix*)

長構文: MPOA.023 Recvd imposn rqst, prtcl addr mismatch
(old *oldIpAddressPrefix/ new newIpAddressPrefix*)

説明: 既存の出側キャッシュ・エントリーに対する組み付け要求を受信しましたが、あて先プロトコル・アドレス・プレフィックスが既存のものと異なっています。既存のエントリーは内部で削除され、新しいエントリーが作成されます。E-MPS 論理のエラーの可能性を示しています。

MPOA.024

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.024 Recvd imposn rqst had src atm addr mismatch (*ipAddress/ ipAddressMask*)

長構文: MPOA.024 Recvd imposn rqst had src atm addr mismatch (*ipAddress/ ipAddressMask*)

説明: 既存の出側キャッシュ・エントリーに対する組み

付け要求を受信しましたが、発信元 ATM アドレスが既存のものと異なっています。既存のエントリーは内部で削除され、新しいエントリーが作成されます。E-MPS 論理のエラーの可能性を示しています。

MPOA.025

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.025 Internal error (function: *functionName*)

長構文: MPOA.025 Internal error (function: *functionName*)

説明: 内部エラーが発生しました (指摘されている機能で)。これはデバッグの目的だけのものです。

MPOA.026

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.026 Recvd imposn rfrsh for purging ntry (*ipAddress/ ipAddressMask*)

長構文: MPOA.026 Recvd imposn rfrsh for purging ntry (*ipAddress/ ipAddressMask*)

説明: エントリーに対する組み付け要求を受信しましたが、そのエントリーは除去処理中でした。E-MPS 論理のエラーの可能性を示しています。

MPOA.027

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.027 Egress cache entry refreshed (*ipAddress/ ipAddressMask*, id x *cacheID*, *entryTypeString*)

長構文: MPOA.027 Egress cache entry refreshed (*ipAddress/ ipAddressMask*, id x *cacheID*, *entryTypeString*)

説明: 指定のプロトコル・アドレスとマスクの組みの既存の出側キャッシュ・エントリーがリフレッシュされました。キャッシュ ID とエントリーのタイプも印刷されています。

MPOA.028

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.028 Cache id based e-mps purge recvd (x *cacheID*)

長構文: MPOA.028 Cache id based e-mps purge recvd (x *cacheID*)

説明: 単一の出側キャッシュ・エントリーに対する e-mps 除去を受信しました。このエントリーのキャッシュ ID が印刷されています。

MPOA.029

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.029 Prtcl addr based e-mps purge recvd (*ipAddress/ ipAddressMask*)

長構文: MPOA.029 Prtcl addr based e-mps purge recvd (*ipAddress/ ipAddressMask*)

説明: 一定の範囲のプロトコル・アドレスに対する e-mps 除去を受信しました。この範囲は、プロトコル・アドレスとアドレス・マスクによって指定されています (範囲には 1 つのアドレスだけを指定することもできます)。

MPOA.030

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.030 Cache id based e-mps purge. No match! (x *cacheID*)

長構文: MPOA.030 Cache id based e-mps purge. No match! (x *cacheID*)

説明: キャッシュ ID が入っている e-mps キャッシュ除去要求に一致するキャッシュ・エントリーが見付かりませんでした。

MPOA.031

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.031 Emps purge: purging egress cache entry (id x *cacheID*)

長構文: MPOA.031 Emps purge: purging egress cache entry (id x *cacheID*)

説明: e-mps 除去要求を受信したために、出側キャッシュ・エントリーを除去中です。エントリーのキャッシュ ID が表示されています。

MPOA.032

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.032 Aging out egress cache entry (id x *cacheID*)

長構文: MPOA.032 Aging out egress cache entry (id x *cacheID*)

説明: 保留時間が満了したために、出側キャッシュ・エントリーを経時処理により除去中です。エントリーのキャッシュ ID が表示されています。

MPOA.033

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.033 Initiating e-mpc purge request
(id x *cacheID*)

長構文: MPOA.033 Initiating e-mpc purge request
(id x *cacheID*)

説明: 指定の出側キャッシュ・エントリーに対する e-mpc 発信の除去要求手順を開始しています。

MPOA.034

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.034 Error preparing e-mpc purge request
(id x *cacheID*, err code *errorCode*)

長構文: MPOA.034 Error preparing e-mpc purge request
(id x *cacheID*, err code *errorCode*)

説明: ローカル・エラー (たとえば、記憶域割り振り失敗) により、e-mpc 発信の除去要求メッセージを作成できませんでした。

MPOA.035

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.035 Retrying e-mpc purge request
(id x *cacheID*)

長構文: MPOA.035 Retrying e-mpc purge request
(id x *cacheID*)

説明: 指定の出側キャッシュ・エントリーに対する e-mpc 発信の除去要求手順を再試行中です。これは、以前の要求を送信できなかったか、それに対する有効な応答を受信しなかったためです。

MPOA.036

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.036 Exhausted e-mpc purge request retries.
entry deleted (id x *cacheID*)

長構文: MPOA.036 Exhausted e-mpc purge request retries.
entry deleted (id x *cacheID*)

説明: 出側キャッシュ・エントリーに対する e-mpc 発信の除去要求で、複数回の試行に失敗しました。最大再試行時間を超過したので、エントリーをローカルで削除中です。

MPOA.037

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.037 Received empc purge reply
(vpi/vci *vpi/ vci*)

長構文: MPOA.037 Received empc purge reply
(vpi/vci *vpi/ vci*)

説明: 指定の VCC 上のこの MPC が empc 除去応答を受信しました。

MPOA.038

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.038 eMPC purge reply without dll hdr
(vpi/vci *vpi/ vci*)

長構文: MPOA.038 eMPC purge reply without dll hdr
(vpi/vci *vpi/ vci*)

説明: 指定の VCC 上のこの MPC は empc 除去応答を受信しましたが、MPOA DLL ヘッダー拡張子がありませんでした。パケットはそれ以上処理されずに廃棄されます。

MPOA.039

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.039 eMPC purge reply: no match on cache
ID (id x *cacheId*)

長構文: MPOA.039 eMPC purge reply: no match on cache
ID (id x *cacheId*)

説明: この MPC は empc 除去応答を受信しましたが、メッセージ内のキャッシュ ID (印刷されている) が、同じ MPS によって組み付けられた既存のエントリーのどれにも一致しません。パケットはそれ以上処理されずに廃棄されます。

MPOA.040

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.040 eMPC purge reply: mps mismatch
(id x *cacheId*)

長構文: MPOA.040 eMPC purge reply: mps mismatch
(id x *cacheId*)

説明: この MPC は empc 除去応答を受信しましたが、照合するキャッシュ・エントリーは異なる MPC によって組み付けられたものでした。パケットはそれ以上処理されずに廃棄されます。受信したメッセージのキャッシュ ID が印刷されています。

MPOA.041

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.041 eMPC purge reply recvd for non purging entry (id x *cacheId*)

長構文: MPOA.041 eMPC purge reply recvd for non purging entry (id x *cacheId*)

説明: この MPC は empc 除去応答を受信しましたが、照合するキャッシュ・エントリーは今回の除去の対象になっていません。パケットはそれ以上処理されずに廃棄されます。受信したメッセージのキャッシュ ID が印刷されています。

MPOA.042

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.042 eMPC purge reply deleted entry (id x *cacheId*)

長構文: MPOA.042 eMPC purge reply deleted entry (id x *cacheId*)

説明: MPC は、印刷されているキャッシュ ID を持つエントリーに対する有効な empc 除去応答を受信し、エントリーを削除中です。

MPOA.043

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.043 eMPC purge reply recvd as a NAK (vpi/vci *vpi/ vci*)

長構文: MPOA.043 eMPC purge reply recvd as a NAK (vpi/vci *vpi/ vci*)

説明: 指定の VCC 上のこの MPC は empc 除去応答を受信しましたが、応答は NAK を示していました。パケットはそれ以上処理されずに廃棄されます。

MPOA.044

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.044 eMPC recvd LEC down! (lec *lecIntfNum*)

長構文: MPOA.044 eMPC recvd LEC down! (lec *lecIntfNum*)

説明: empc は、指定の LEC が使用不可にされたことを知らせる (内部) メッセージを受信しました。この LEC を介して組み付けられた出側キャッシュ・エントリーは、使用不可にされるか、除去されます (あるいは、その両方が行われます)。

MPOA.045

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.045 eMPC recvd LAN destn unreg (lec *lecIntfNum*)

長構文: MPOA.045 eMPC recvd LAN destn unreg (lec *lecIntfNum*)

説明: empc は、指定の LEC が LAN あて先を登録解除したことを知らせる (内部) メッセージを受信しました。この LEC を介して組み付けられたこの LAN あて先の出側キャッシュ・エントリーは、使用不可にされるか、除去されます (あるいは、その両方が行われます)。

MPOA.046

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.046 eMPC recvd mps down (MPS *mpsAtmAddr*)

長構文: MPOA.046 eMPC recvd mps down (MPS *mpsAtmAddr*)

説明: empc は、MPS がダウンになったことを示す (内部) メッセージを受信しました。MPS の ATM アドレスが印刷されています。この MPS によって組み付けられた出側キャッシュ・エントリーは無効にされ、各エントリーに対してデータ平面除去 (data plane purge) が送信されることがあります。

MPOA.047

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.047 eMPC recvd mps mac addr invalid (MPS *mpsAtmAddr*) (MAC *macAddr*)

長構文: MPOA.047 eMPC recvd mps mac addr invalid (MPS *mpsAtmAddr*) (MAC *macAddr*)

説明: empc は、MPS MAC アドレス・アソシエーションが無効になったことを示す (内部) メッセージを受信しました。この MAC アドレスを発信元 MAC アドレスとして持つ、DLL 情報を含む出側キャッシュ・エントリーは無効にされ、各エントリーに対してデータ平面除去 (data plane purge) が送信されることがあります。

MPOA.048

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.048 eMPC deleting imposed e-cache entry (addr/mask *addr/ addrMask*, cache id x *cacheId*)

長構文: MPOA.048 eMPC deleting imposed e-cache entry (addr/mask *addr/ addrMask*, cache id x *cacheId*)

説明: 外部から組み付けられた出側 MPC キャッシュ・エントリーを削除中です。プロトコル・アドレス、アドレス・マスク、およびキャッシュ ID が印刷されています。

MPOA.049

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.049 Deleting intern. derived e-cache entry (addr/mask *addr/ addrMask*, cache id x *cacheId*)

長構文: MPOA.049 Deleting intern. derived e-cache entry (addr/mask *addr/ addrMask*, cache id x *cacheId*)

説明: 内部で派生した出側 MPC キャッシュ・エントリーを削除中です。プロトコル・アドレス、アドレス・マスク、およびキャッシュ ID が印刷されています。

MPOA.050

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.050 eMPC: Nontag 1483 next hop ambiguity! (new entry cache id x *cacheId*)

長構文: MPOA.050 eMPC: Nontag 1483 next hop ambiguity! (new entry cache id x *cacheId*)

説明: この組み付け要求で、ネクスト・ホップがあいまいになる事例が検出されました。これは、同じ発信元 ATM アドレスとあて先プロトコル・アドレスを持つ 2 つの異なる出側キャッシュ・エントリーが生じる結果になります。今回の場合は、既存のエントリーが新しい情報で上書きされます。新しいエントリーのキャッシュ ID が印刷されています。

MPOA.051

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.051 eMPC purge reply rqst id mismatch! (msg cache id x *cacheId*)

長構文: MPOA.051 eMPC purge reply rqst id mismatch! (msg cache id x *cacheId*)

説明: 除去しようとする照合出側キャッシュ・エントリーに対する E-MPC 発信の除去応答を受信しましたが、応答の中の要求 ID が送信したものと一致していませんでした。応答は無視されます。

MPOA.052

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.052 Bad tag in recvd pkt! (*receivedTag*)

長構文: MPOA.052 Bad tag in recvd pkt! (*receivedTag*)

説明: MPOA タグ付きパケットを受信しましたが、無効なタグが付いていました。パケット内のタグが印刷されています。

MPOA.053

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.053 Destn prot addr mismatch in recvd pkt! (dstn *pktDstnProtAddr*, entry *entryProtAddr/ entryAddrMask*)

長構文: MPOA.053 Destn prot addr mismatch in recvd pkt! (dstn *pktDstnProtAddr*, entry *entryProtAddr/ entryAddrMask*)

説明: 受信した MPOA タグ付きパケットのタグに基づく検索で一致した出側キャッシュ・エントリーは、あて先プロトコル・アドレス範囲がパケット内のあて先プロトコル・アドレスと異なっていました。パケット内のあて先アドレス、および出側キャッシュ・エントリー内のアドレス/マスクの組みが印刷されています。

MPOA.054

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.054 Src atm addr mismatch in recvd pkt! (entry *entryAtmAddr*, vpi/vci *vpi/ vci*)

長構文: MPOA.054 Src atm addr mismatch in recvd pkt! (entry *entryAtmAddr*, vpi/vci *vpi/ vci*)

説明: 受信した MPOA タグ付きパケットのタグに基づく検索で一致した出側キャッシュ・エントリーは、発信元 ATM アドレスがパケットの発信元とは異なっていました。パケット内の src atm アドレスと、パケットを送送した VCC の vpi/vci が印刷されています。

MPOA.055

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.055 Tagged pkt: matching entry inactive! (entry *entryProtAddress/ entryProtAddressMask*, state *entryState*)

長構文: MPOA.055 Tagged pkt: matching entry inactive! (entry *entryProtAddress/ entryProtAddressMask*, state *entryState*)

説明: 受信した MPOA タグ付きパケットのタグに基づく検索で一致した出側キャッシュ・エントリーは、アクティブ状態ではありませんでした。照合するエントリーのプロトコル・アドレスとアドレス・マスクが、エントリーの状態とともに印刷されています。

MPOA.056

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.056 Bridge unable to deliver data packet
(rc *returnCode*)

長構文: MPOA.056 Bridge unable to deliver data packet
(rc *returnCode*)

説明: ブリッジは、受信したデータ・パケットを正常にブリッジすることができませんでした。ブリッジからの戻りコードが印刷されています。

MPOA.057

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.057 Recvd tagged data pkt!
(tag *receivedTag*, vpi/vci /)

長構文: MPOA.057 Recvd tagged data pkt!
(tag *receivedTag*, vpi/vci /)

説明: MPOA タグ付きパケットを受信しました。パケット内のタグが印刷されています。

MPOA.058

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.058 Recvd 1483 IP data pkt!
(*pktDstIpAddr*)

長構文: MPOA.058 Recvd 1483 IP data pkt!
(*pktDstIpAddr*)

説明: MPOA タグなし 1483 IP パケットを受信しました。パケット内のあて先 IP アドレスが印刷されています。

MPOA.059

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.059 1483 pkt: matching entry inactive!
(entry *entryProtAddress*/ *entryProtAddressMask*, state *entryState*)

長構文: MPOA.059 1483 pkt: matching entry inactive!
(entry *entryProtAddress*/ *entryProtAddressMask*, state *entryState*)

説明: 受信した MPOA タグなし 1483 パケットのタグに基づく検索で一致した出側キャッシュ・エントリーは、アクティブ状態ではありませんでした。照合するエントリーのプロトコル・アドレスとアドレス・マスクが、エントリーの状態とともに印刷されています。

MPOA.060

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.060 1483 pkt hash cache miss!
(*pktDstIpAddr*)

長構文: MPOA.060 1483 pkt hash cache miss!
(*pktDstIpAddr*)

説明: 受信した MPOA タグなし 1483 IP パケットで、ハッシュ配列の誤りが検出されました。パケット内のあて先 IP アドレスが印刷されています。

MPOA.061

レベル: P-TRACE

短構文: MPOA.061 mpoa client ATM contrl frame trace

長構文: MPOA.061 mpoa client ATM contrl frame trace

説明: MPOA クライアント ATM 制御フレームのパケット・トレース。

MPOA.062

レベル: P-TRACE

短構文: MPOA.062 mpoa client ATM data frame trace

長構文: MPOA.062 mpoa client ATM data frame trace

説明: MPOA クライアント ATM データ・フレームのパケット・トレース。

MPOA.063

レベル: P-TRACE

短構文: MPOA.063 mpoa client LAN frame trace

長構文: MPOA.063 mpoa client LAN frame trace

説明: MPOA クライアント LAN フレームのパケット・トレース

MPOA.064

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.064 Bad recvd pkt: sending DPP rqst! (*pktDstIpAddr*)

長構文: MPOA.064 Bad recvd pkt: sending DPP rqst! (*pktDstIpAddr*)

説明: 受信したパケットに一致する出側キャッシュ・エントリーが見付からなかったために、データ平面除去要求を送信中です。パケット内のあて先プロトコル・アドレスが印刷されています。

MPOA.065

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.065 MPC create failed! (intf *netNum*, rc *returnCode*)

長構文: MPOA.065 MPC create failed! (intf *netNum*, rc *returnCode*)

説明: 指定の ATM インターフェース番号での初期 MPOA クライアント作成プロセスが失敗し、指定の戻りコードが戻されました。これは、記憶域割り振り失敗のような内部エラー、あるいは ATM インターフェースに関連する何らかの障害を示しています。障害の原因が訂正されるまでは、MPOA クライアントはアップになりません。

MPOA.066

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.066 No MPC sram record. Will use defaults! (*netNum*)

長構文: MPOA.066 No MPC sram record. Will use defaults! (*netNum*)

説明: MPOA クライアントの SRAM 構成レコードが見つかりませんでした。そのため、クライアントはデフォルトのパラメーター設定で起動されます。

MPOA.067

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.067 Mismatched MPC sram record. Will use defaults! (*netNum*)

長構文: MPOA.067 Mismatched MPC sram record. Will use defaults! (*netNum*)

説明: MPOA クライアントの SRAM 構成レコードが見つかりましたが、起動する ATM インターフェースが異なっています。そのため、既存の SRAM レコード構成パラメーターは無視され、クライアントはデフォルトのパラメーター設定で起動されます。これは、構成の誤りを示している可能性があります。

MPOA.068

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.068 Matching MPC sram record found, initializing. (*netNum*)

長構文: MPOA.068 Matching MPC sram record found, initializing. (*netNum*)

説明: MPOA クライアントの照合 SRAM 構成レコード

が見つかりました。クライアントは、構成済みのパラメーター設定を使用して起動を試みます。

MPOA.069

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.069 Updated MPC line rate/bw config parms! (*netNum*)

長構文: MPOA.069 Updated MPC line rate/bw config parms! (*netNum*)

説明: MPC 構成レコード内のライン・レートまたは帯域幅 (あるいは、その両方) に関連した構成パラメーターが、MPC を起動する ATM インターフェースのライン・レートに対して誤っています。これらは、インターフェースのライン・レートに対して正しい値に更新されました。これは、ユーザーによる構成の誤りを示している可能性があります。

MPOA.070

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.070 Recvd frame too large to bridge! (*lecNetNum*)

長構文: MPOA.070 Recvd frame too large to bridge! (*lecNetNum*)

説明: 受信したフレームは、出側 LEC がブリッジするのに大き過ぎます。出側 LEC のネット番号が印刷されています。これは、出側の外部エラー、あるいは e-mps と e-mpc 間の mtus の構成の誤りが原因と考えられます。

MPOA.071

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.071 eMPC: purge reply from unknown mps (*vpi*, *vci*)

長構文: MPOA.071 eMPC: purge reply from unknown mps (*vpi*, *vci*)

説明: 指定の VCC 上で e-mpc 発信の除去応答を受信しましたが、この VCC の反対側は現在 MPS であることが判明していません。

MPOA.072

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.072 MPC (*atmIntfNum*) STARTING

長構文: MPOA.072 MPC (*atmIntfNum*) STARTING

説明: MPC インスタンスが動作を開始中です。

MPOA.073

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.073 MPC (*atmIntfNum*) TERMINATING: *errString*

長構文: MPOA.073 MPC (*atmIntfNum*) TERMINATING: *errString*

説明: MPC インスタンスは、エラーのために動作を終了中です。

MPOA.074

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.074 MPC (*atmIntfNum*) DELETED

長構文: MPOA.074 MPC (*atmIntfNum*) DELETED

説明: MPC インスタンスを削除中です。

MPOA.075

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.075 MPC (*atmIntfNum*) STOPPED

長構文: MPOA.075 MPC (*atmIntfNum*) STOPPED

説明: MPC インスタンスの動作を停止中です。

MPOA.076

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.076 MPC (*atmIntfNum*) RESTARTING

長構文: MPOA.076 MPC (*atmIntfNum*) RESTARTING

説明: MPC インスタンスの動作をリスタート中です。

MPOA.077

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.077 MPC (*atmIntfNum*) => DOWN: ATM user reg failed: *errString*

長構文: MPOA.077 MPC (*atmIntfNum*) => DOWN: ATM user reg failed: *errString*

説明: ATM インターフェースのユーザーとしての登録に失敗しました。その結果、MPC はダウンになります。

MPOA.078

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.078 MPC (*atmIntfNum*) => DOWN: ATM set user name failed: *errString*

長構文: MPOA.078 MPC (*atmIntfNum*) => DOWN: ATM

set user name failed: *errString*

説明: ユーザー名を設定するための ATM インターフェースの呼び出しに失敗しました。その結果、MPC はダウンになります。

MPOA.079

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.079 MPC (*atmIntfNum*): waiting for ATM net UP

長構文: MPOA.079 MPC (*atmIntfNum*): waiting for ATM net UP

説明: ATM ネットがアップになるまで、MPC 動作が中断されました。

MPOA.080

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.080 MPC (*atmIntfNum*): ATM net DOWN

長構文: MPOA.080 MPC (*atmIntfNum*): ATM net DOWN

説明: ATM ネットがダウンになりました。ATM ネットがアップに戻るまで、MPC 動作は中断されます。

MPOA.081

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.081 MPC (*atmIntfNum*): ATM net UP

長構文: MPOA.081 MPC (*atmIntfNum*): ATM net UP

説明: ATM ネットがアップになりました。MPC 動作が続行されます。

MPOA.082

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.082 MPC (*atmIntfNum*) => DOWN: ATM addr activation failed: *errString*

長構文: MPOA.082 MPC (*atmIntfNum*) => DOWN: ATM addr activation failed: *errString*

説明: MPC の ATM アドレスの活性化 (つまり、スイッチへの登録) を開始するための ATM インターフェースの呼び出しに失敗しました。その結果、MPC はダウンになります。

MPOA.083

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.083 MPC (*atmIntfNum*): waiting for ATM addr activation

長構文: MPOA.083 MPC (*atmIntfNum*): waiting for ATM addr activation

説明: MPC の ATM アドレスの活性化が開始されました。活性化が完了するまで、MPC 動作は中断されます。

MPOA.084

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.084 MPC (*atmIntfNum*): ATM addr activation timed out: retrying

長構文: MPOA.084 MPC (*atmIntfNum*): ATM addr activation timed out: retrying

説明: MPC の ATM アドレスを活性化するための要求に対する応答を受信しません。活性化要求が再試行されます。

MPOA.085

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.085 MPC (*atmIntfNum*): ATM addr rejected by switch: retry timer started

長構文: MPOA.085 MPC (*atmIntfNum*): ATM addr rejected by switch: retry timer started

説明: MPC の ATM アドレスを活性化するための要求が、スイッチによってリジェクトされました。活性化要求は、しばらくしてから再試行されます。

MPOA.086

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.086 MPC (*atmIntfNum*): ATM addr deactivated: reactivating

長構文: MPOA.086 MPC (*atmIntfNum*): ATM addr deactivated: reactivating

説明: MPC の ATM アドレスは非活性化されていました。再活性化が開始されます。

MPOA.087

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.087 MPC (*atmIntfNum*): timer expired, retrying ATM addr activation

長構文: MPOA.087 MPC (*atmIntfNum*): timer expired, retrying ATM addr activation

説明: ATM アドレス活性化再試行タイマーが満了しました。MPC の ATM アドレスを活性化するための要求が、すぐに再試行されます。

MPOA.088

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.088 MPC (*atmIntfNum*): unexpected ATM addr activation timer expiration

長構文: MPOA.088 MPC (*atmIntfNum*): unexpected ATM addr activation timer expiration

説明: 予期せずに ATM アドレス活性化再試行タイマーが満了しました。

MPOA.089

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.089 MPC (*atmIntfNum*): ATM addr activated

長構文: MPOA.089 MPC (*atmIntfNum*): ATM addr activated

説明: MPC の ATM アドレスが活性化されました。MPC 動作が続行されます。

MPOA.090

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.090 MPC (*atmIntfNum*) => DOWN: err reading ATM addr: *errString*

長構文: MPOA.090 MPC (*atmIntfNum*) => DOWN: err reading ATM addr: *errString*

説明: MPC の ATM アドレスを読み取るための ATM インターフェースのコールに失敗しました。その結果、MPC はダウンになります。

MPOA.091

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.091 MPC (*atmIntfNum*) => DOWN: err reading UNI version: *errString*

長構文: MPOA.091 MPC (*atmIntfNum*) => DOWN: err reading UNI version: *errString*

説明: UNI バージョンを読み取るための ATM インターフェースのコールに失敗しました。その結果、MPC はダウンになります。

MPOA.092

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.092 MPC (*atmIntfNum*): waiting for UNI version report

長構文: MPOA.092 MPC (*atmIntfNum*): waiting for UNI version report

説明: ATM サブシステムによって UNI バージョンが報告されるまで、MPC 動作が中断されました。

MPOA.093

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.093 MPC (*atmIntfNum*): UNI version reported

長構文: MPOA.093 MPC (*atmIntfNum*): UNI version reported

説明: 実行中の UNI のバージョンが、ATM サブシステムによって報告されました。

MPOA.094

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.094 MPC (*atmIntfNum*) => DOWN: err opening LLC Call SAP: *errString*

長構文: MPOA.094 MPC (*atmIntfNum*) => DOWN: err opening LLC Call SAP: *errString*

説明: LLC のコールを受信するために SAP をオープンする ATM インターフェース・プリミティブが失敗しました。その結果、MPC はダウンになります。

MPOA.095

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.095 MPC (*atmIntfNum*) => DOWN: err opening LANE Call SAP: *errString*

長構文: MPOA.095 MPC (*atmIntfNum*) => DOWN: err opening LANE Call SAP: *errString*

説明: LANE のコールを受信するために SAP をオープンする ATM インターフェース・プリミティブが失敗しました。その結果、MPC はダウンになります。

MPOA.096

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.096 MPC (*atmIntfNum*) => DOWN: err opening ATM Frame SAP: *errString*

長構文: MPOA.096 MPC (*atmIntfNum*) => DOWN: err opening ATM Frame SAP: *errString*

説明: ATM フレームを転送するために SAP をオープンするための、ATM インターフェースのコールに失敗しました。その結果、MPC はダウンになります。

MPOA.097

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.097 MPC (*atmIntfNum*) => DOWN: registration with LEC failed: *errString*

長構文: MPOA.097 MPC (*atmIntfNum*) => DOWN: registration with LEC failed: *errString*

説明: LEC インターフェースのユーザーとして登録するためのコールが、失敗しました。その結果、MPC はダウンになります。

MPOA.098

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.098 MPC (*atmIntfNum*) => DOWN: egress init failed: *errString*

長構文: MPOA.098 MPC (*atmIntfNum*) => DOWN: egress init failed: *errString*

説明: 出側 MPC 機能を初期化するためのコールが失敗しました。その結果、MPC はダウンになります。

MPOA.099

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.099 MPC: recv unexpected LECS addr list report

長構文: MPOA.099 MPC: recv unexpected LECS addr list report

説明: ATM サブシステムから予期しない LECS アドレス・リスト報告を受け取りました。

MPOA.100

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.100 MPC: recv unexpected ATM disconnect leaf message

長構文: MPOA.100 MPC: recv unexpected ATM disconnect leaf message

説明: ATM サブシステムから予期しないリーフ切断メッセージを受け取りました。

MPOA.101

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.101 MPC: recv unexpected ATM add leaf ack message

長構文: MPOA.101 MPC: recv unexpected ATM add leaf ack message

説明: ATM サブシステムから予期しないリープ追加確認メッセージを受け取りました。

MPOA.102

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.102 MPC (*atmIntfNum*): LEC (*lecIntfNum*) UP

長構文: MPOA.102 MPC (*atmIntfNum*): LEC (*lecIntfNum*) UP

説明: MPC LEC が動作可能になりました。

MPOA.103

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.103 MPC (*atmIntfNum*): LEC (*lecIntfNum*) IGNORED: cntrl blk alloc failed

長構文: MPOA.103 MPC (*atmIntfNum*): LEC (*lecIntfNum*) IGNORED: cntrl blk alloc failed

説明: 制御ブロック割り振りに失敗したために、動作可能になった MPC LEC を無視しています。

MPOA.104

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.104 MPC (*atmIntfNum*): LEC (*lecIntfNum*) IGNORED: ELAN ID database insertion failed

長構文: MPOA.104 MPC (*atmIntfNum*): LEC (*lecIntfNum*) IGNORED: ELAN ID database insertion failed

説明: ELAN ID データベース挿入に失敗したために、動作可能になった MPC LEC を無視しています。

MPOA.105

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.105 MPC (*atmIntfNum*): LEC (*lec1IntfNum*) IGNORED: same ELAN ID as LEC (*lec2IntfNum*), but different ELAN type

長構文: MPOA.105 MPC (*atmIntfNum*): LEC (*lec1IntfNum*) IGNORED: same ELAN ID as LEC (*lec2IntfNum*), but different ELAN type

説明: LEC は、別の MPC LEC と同じ ELAN ID に対応していますが、それらの LEC は ELAN のタイプが異なっているために、動作可能になった MPC LEC を無視しています。

MPOA.106

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.106 MPC (*atmIntfNum*): not accepting shortcuts for ELAN ID *elanId*: multiple Ethernet LECs on same ELAN

長構文: MPOA.106 MPC (*atmIntfNum*): not accepting shortcuts for ELAN ID *elanId*: multiple Ethernet LECs on same ELAN

説明: ELAN 上に複数のローカル・イーサネット LEC が存在するので、MPC は ELAN のショートカットを受け入れていません。

MPOA.107

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.107 MPC (*atmIntfNum*): resuming shortcut acceptance for ELAN ID *elanId*

長構文: MPOA.107 MPC (*atmIntfNum*): resuming shortcut acceptance for ELAN ID *elanId*

説明: MPC は ELAN のショートカットの受け入れを再開しました。

MPOA.108

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.108 MPC (*atmIntfNum*): LEC (*lecIntfNum*) DOWN

長構文: MPOA.108 MPC (*atmIntfNum*): LEC (*lecIntfNum*) DOWN

説明: MPC LEC は動作可能でなくなりました。

MPOA.109

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.109 MPC (*atmIntfNum*): LEC (*lecIntfNum*) registered route descriptor (x *rd*)

長構文: MPOA.109 MPC (*atmIntfNum*): LEC (*lecIntfNum*) registered route descriptor (x *rd*)

説明: MPC LEC は、LES にルート記述子を登録しました。

MPOA.110

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.110 MPC (*atmIntfNum*): route descriptor (x *rd*) IGNORED: cntrl blk alloc failed

長構文: MPOA.110 MPC (*atmIntfNum*): route descriptor

(x rd) IGNORED: cntrl blk alloc failed

説明: 制御ブロックの割り振りに失敗したために、MPC は、MPC LEC によって LES に登録されたルート記述子 を無視しています。

MPOA.111

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.111 MPC (*atmIntfNum*): LEC (*lecIntfNum*) deregistered route descriptor (x rd)

長構文: MPOA.111 MPC (*atmIntfNum*): LEC (*lecIntfNum*) deregistered route descriptor (x rd)

説明: MPC LEC は、LES へのルート記述子の登録を解除しました。

MPOA.112

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.112 MPC (*atmIntfNum*): ignored bad MPOA Device TLV rcv by LEC (*lecIntfNum*)

長構文: MPOA.112 MPC (*atmIntfNum*): ignored bad MPOA Device TLV rcv by LEC (*lecIntfNum*)

説明: MPC は、LEC を介して受信した不正な MPOA 装置 TLV を無視しました。

MPOA.113

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.113 MPC (*atmIntfNum*): MPS IGNORED: ATM addr database insertion failed: LEC (*lecIntfNum*): MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.113 MPC (*atmIntfNum*): MPS IGNORED: ATM addr database insertion failed: LEC (*lecIntfNum*): MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPS の ATM アドレスのデータベース・エントリ ーの挿入に失敗したために、MPC は検出された MPS を無視しています。

MPOA.114

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.114 MPC (*atmIntfNum*): MPS IGNORED: cntrl blk alloc failed: LEC (*lecIntfNum*): MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.114 MPC (*atmIntfNum*): MPS IGNORED: cntrl blk alloc failed: LEC (*lecIntfNum*): MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: 制御ブロックの割り振りに失敗したために、MPC

は検出された MPS を無視しています。

MPOA.115

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.115 MPC (*atmIntfNum*): MPS DISCOVERED: LEC (*lecIntfNum*): MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.115 MPC (*atmIntfNum*): MPS DISCOVERED: LEC (*lecIntfNum*): MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は MPS を検出しました。

MPOA.116

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.116 MPC (*atmIntfNum*): MPS DELETED: *reasonString*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.116 MPC (*atmIntfNum*): MPS DELETED: *reasonString*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は検出した MPS の制御ブロックを削除しました。

MPOA.117

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.117 MPC (*atmIntfNum*): MPS MAC Addr (x *macAddr*) DISCOVERED: LEC (*lecIntfNum*): MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.117 MPC (*atmIntfNum*): MPS MAC Addr (x *macAddr*) DISCOVERED: LEC (*lecIntfNum*): MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は、MPS に対応する MAC アドレスを検出しました。

MPOA.118

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.118 MPC (*atmIntfNum*): refreshed MPS MAC addr (x *macAddr*): LEC (*lecIntfNum*): MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.118 MPC (*atmIntfNum*): refreshed MPS MAC Addr (x *macAddr*): LEC (*lecIntfNum*): MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MAC アドレスと MPS とのアソシエーションが リフレッシュされました。

MPOA.119

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.119 MPC (*atmIntfNum*): MPS MAC addr (x *macAddr*) IGNORED: cntrl blk alloc failed: LEC (*lecIntfNum*): MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.119 MPC (*atmIntfNum*): MPS MAC addr (x *macAddr*) IGNORED: cntrl blk alloc failed: LEC (*lecIntfNum*): MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: 制御ブロックの割り振りに失敗したために、MPC は MPS に対応する MAC アドレスの検出を無視しました。

MPOA.120

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.120 MPC (*atmIntfNum*): MPS MAC addr (x *macAddr*) IGNORED: bridge reg failed: LEC (*lecIntfNum*): MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.120 MPC (*atmIntfNum*): MPS MAC addr (x *macAddr*) IGNORED: bridge reg failed: LEC (*lecIntfNum*): MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MAC アドレスのブリッジへの登録に失敗したために、MPC は MPS に対応する MAC アドレスの検出を無視しました。

MPOA.121

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.121 MPC (*atmIntfNum*): MPS MAC addr (x *macAddr*) DELETED: LEC (*lecIntfNum*): MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.121 MPC (*atmIntfNum*): MPS MAC addr (x *macAddr*) DELETED: LEC (*lecIntfNum*): MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は、MPS に対応する MAC アドレスの制御ブロックを削除しました。

MPOA.122

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.122 MPC (*atmIntfNum*): recv ' *tlvString*' config TLV from LECS: LEC (*lecIntfNum*): value = *parmValue*

長構文: MPOA.122 MPC (*atmIntfNum*): recv ' *tlvString*' config TLV from LECS: LEC (*lecIntfNum*): value = *parmValue*

説明: MPC は、LECS から構成 TLV を受信しました。

MPOA.123

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.123 MPC (*atmIntfNum*): recv ' *enable_disable_string* IP' config TLV from LECS: LEC (*lecIntfNum*)

長構文: MPOA.123 MPC (*atmIntfNum*): recv ' *enable_disable_string* IP' config TLV from LECS: LEC (*lecIntfNum*)

説明: MPC は LECS から IP フロー検出を使用可能または使用不可にするのを制御する構成 TLV を受信しました。

MPOA.124

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.124 MPC (*atmIntfNum*): recv invalid ' *tlvString*' config TLV from LECS: LEC (*lecIntfNum*): value = *parmValue*

長構文: MPOA.124 MPC (*atmIntfNum*): recv invalid ' *tlvString*' config TLV from LECS: LEC (*lecIntfNum*): value = *parmValue*

説明: MPC は、LECS から無効な構成 TLV を受信しました。

MPOA.125

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.125 MPC (*atmIntfNum*): recv config TLV for unknown protocol from LECS: LEC (*lecIntfNum*): protocol short = x *shortProtocol*, long = x *longProtocol*

長構文: MPOA.125 MPC (*atmIntfNum*): recv config TLV for unknown protocol from LECS: LEC (*lecIntfNum*): protocol short = x *shortProtocol*, long = x *longProtocol*

説明: MPC は LECS から不明のプロトコルに対する構成 TLV を受信しました。

MPOA.126

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.126 MPC (*atmIntfNum*): recv unknown config TLV from LECS: LEC (*lecIntfNum*): type = x *tlvType*

長構文: MPOA.126 MPC (*atmIntfNum*): recv unknown config TLV from LECS: LEC (*lecIntfNum*): type = x *tlvType*

説明: MPC は LECS から不明のタイプを持つ構成 TLV を受信しました。

MPOA.127

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.127 MPC (*atmIntfNum*): rcv *msgTypeString* with no src ATM addr: Remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.127 MPC (*atmIntfNum*): rcv *msgTypeString* with no src ATM addr: Remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

説明: MPC は、発信元 ATM アドレスが含まれていない制御メッセージを受信しました。

MPOA.128

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.128 MPC (*atmIntfNum*): rcv MPS keep-alive: lifetime = *lifeTime*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.128 MPC (*atmIntfNum*): rcv MPS keep-alive: lifetime = *lifeTime*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は MPS からキープアライブ・メッセージを受信しました。

MPOA.129

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.129 MPC (*atmIntfNum*): rcv keep-alive with no extension: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.129 MPC (*atmIntfNum*): rcv keep-alive with no extension: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は MPS から拡張子のないキープアライブ・メッセージを受信しました。

MPOA.130

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.130 MPC (*atmIntfNum*): rcv invalid MPS keep-alive: *errString*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*: bad value = *badValue*

長構文: MPOA.130 MPC (*atmIntfNum*): rcv invalid MPS keep-alive: *errString*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*: bad value = *badValue*

説明: MPC は MPS から無効なキープアライブ・メッセージを受信しました。

MPOA.131

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.131 MPC (*atmIntfNum*): rcv keep-alive for unknown MPS: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.131 MPC (*atmIntfNum*): rcv keep-alive for unknown MPS: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は不明の MPS からキープアライブ・メッセージを受信しました。

MPOA.132

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.132 MPC (*atmIntfNum*): rcv purge request: previous-hop ATM addr = x *atmAddr*

長構文: MPOA.132 MPC (*atmIntfNum*): rcv purge request: previous-hop ATM addr = x *atmAddr*

説明: MPC は除去要求メッセージを受信しました。

MPOA.133

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.133 MPC (*atmIntfNum*): initiating err ind: *errString*: next-hop ATM addr = x *atmAddr*

長構文: MPOA.133 MPC (*atmIntfNum*): initiating err ind: *errString*: next-hop ATM addr = x *atmAddr*

説明: MPC はエラー表示メッセージの転送を開始しています。

MPOA.134

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.134 MPC (*atmIntfNum*): cntrl frm not sent: *errString*: next-hop ATM addr = x *atmAddr*

長構文: MPOA.134 MPC (*atmIntfNum*): cntrl frm not sent: *errString*: next-hop ATM addr = x *atmAddr*

説明: 転送を開始した制御フレームが送信されませんでした。

MPOA.135

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.135 MPC (*atmIntfNum*): invalid CIE in purge req: *errString*: previous-hop ATM addr = x *atmAddr*

長構文: MPOA.135 MPC (*atmIntfNum*): invalid CIE in purge req: *errString*: previous-hop ATM addr = x *atmAddr*

説明: MPC は無効な CIE が含まれている除去要求を受信しました。

MPOA.136

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.136 MPC (*atmIntfNum*): purging IP shortcut: IP addr = *ipAddr*, prefix len = *prefixLength*

長構文: MPOA.136 MPC (*atmIntfNum*): purging IP shortcut: IP addr = *ipAddr*, prefix len = *prefixLength*

説明: MPC は IP ショートカットを除去しました。

MPOA.137

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.137 MPC (*atmIntfNum*): initiating purge reply: next-hop ATM addr = x *atmAddr*

長構文: MPOA.137 MPC (*atmIntfNum*): initiating purge reply: next-hop ATM addr = x *atmAddr*

説明: MPC は除去応答メッセージの転送を開始しています。

MPOA.138

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.138 MPC (*atmIntfNum*): recv trigger for IP addr = *ipAddr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.138 MPC (*atmIntfNum*): recv trigger for IP addr = *ipAddr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は IP アドレスに対するトリガー要求を受信しました。

MPOA.139

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.139 MPC (*atmIntfNum*): recv invalid trigger: *errString*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.139 MPC (*atmIntfNum*): recv invalid trigger: *errString*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は無効なトリガー要求を受信しました。

MPOA.140

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.140 MPC (*atmIntfNum*): recv trigger for unknown MPS: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.140 MPC (*atmIntfNum*): recv trigger for unknown MPS: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は不明の MPS に対するトリガー要求を受信しました。

MPOA.141

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.141 MPC (*atmIntfNum*): shortcut cntrl blk alloc failed: IP addr/mask = *ipAddr/ ipMask*

長構文: MPOA.141 MPC (*atmIntfNum*): shortcut cntrl blk alloc failed: IP addr/mask = *ipAddr/ ipMask*

説明: ショートカット制御ブロックの割り振りに失敗しました。

MPOA.142

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.142 MPC (*atmIntfNum*): shortcut cntrl blk DELETED: *ipAddr*: IP addr/mask = *ipMask/*

長構文: MPOA.142 MPC (*atmIntfNum*): shortcut cntrl blk DELETED: *ipAddr*: IP addr/mask = *ipMask/*

説明: MPC はショートカット・ルートを削除しました。

MPOA.143

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.143 MPC (*atmIntfNum*): initiating resolution req: IP addr = *ipAddr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.143 MPC (*atmIntfNum*): initiating resolution req: IP addr = *ipAddr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は IP アドレス解決要求の転送を開始しています。

MPOA.144

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.144 MPC (*atmIntfNum*): recv resolution reply: IP addr = *ipAddr/ ipMask*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.144 MPC (*atmIntfNum*): recv resolution reply: IP addr = *ipAddr/ ipMask*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は IP あて先の解決応答を受信しました。

MPOA.145

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.145 MPC (*atmIntfNum*): discarded

resolution reply: *reasonString*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.145 MPC (*atmIntfNum*): discarded resolution reply: *reasonString*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は受信した解決応答を廃棄しました。

MPOA.146

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.146 MPC (*atmIntfNum*): recv invalid resolution reply: *errString*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.146 MPC (*atmIntfNum*): recv invalid resolution reply: *errString*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は無効な解決応答を受信しました。

MPOA.147

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.147 MPC (*atmIntfNum*): recv resolution NAK: *nakString*: IP addr = *ipAddr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.147 MPC (*atmIntfNum*): recv resolution NAK: *nakString*: IP addr = *ipAddr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は IP アドレス解決応答で否定応答を受信しました。

MPOA.148

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.148 MPC (*atmIntfNum*): ignored LANE ext: *errString*: IP addr = *ipAddr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.148 MPC (*atmIntfNum*): ignored LANE ext: *errString*: IP addr = *ipAddr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は IP アドレス解決応答の中の無効な LANE 拡張子を無視しています。

MPOA.149

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.149 MPC (*atmIntfNum*): converting route: IP addr/mask *errString*/ *ipAddr1* => *ipMask1*/ *ipAddr2*

長構文: MPOA.149 MPC (*atmIntfNum*): converting route: IP addr/mask *errString*/ *ipAddr1* => *ipMask1*/ *ipAddr2*

説明: MPC は受信した IP アドレス解決応答の内容に基

づいて、既存のルートを変換しています。変換は、ホスト・ルートからネットワーク・ルートへ、またはその逆に行われるものと考えられます。

MPOA.150

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.150 MPC (*atmIntfNum*): route conversion failed: *reasonString*

長構文: MPOA.150 MPC (*atmIntfNum*): route conversion failed: *reasonString*

説明: 既存のルートから新規タイプへの変換が失敗しました。失敗した変換は、ホスト・ルートからネットワーク・ルートへ、またはその逆であったと考えられます。

MPOA.151

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.151 MPC (*atmIntfNum*): shortcut associated with VCC: IP addr/mask = *ipAddr*/ *ipMask*

長構文: MPOA.151 MPC (*atmIntfNum*): shortcut associated with VCC: IP addr/mask = *ipAddr*/ *ipMask*

説明: MPC はショートカット・ルートを VCC に対応付けました。

MPOA.152

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.152 MPC (*atmIntfNum*): shortcut disassociated from VCC: IP addr/mask = *ipAddr*/ *ipMask*

長構文: MPOA.152 MPC (*atmIntfNum*): shortcut disassociated from VCC: IP addr/mask = *ipAddr*/ *ipMask*

説明: MPC はショートカット・ルートを VCC から分離しました。

MPOA.153

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.153 MPC (*atmIntfNum*): updated shortcut: IP addr/mask *ipAddr*/ *ipMask*: encapsulation type = *encapsString*: MTU = *mtu*: holding time = *holdingTime* secs: VCC state = *vccTypeString*: dest ATM addr = x *dstAtmAddr*

長構文: MPOA.153 MPC (*atmIntfNum*): updated shortcut: IP addr/mask *ipAddr*/ *ipMask*: encapsulation type = *encapsString*: MTU = *mtu*: holding time = *holdingTime* secs: VCC state = *vccTypeString*: dest ATM addr = x *dstAtmAddr*

説明: MPC は IP アドレス解決応答の内容に基づいて、ショートカット・ルートを更新しました。

MPOA.154

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.154 MPC (*atmIntfNum*): IP shortcut=>hold
down state: *errString*: IP addr/mask = *ipAddr/ ipMask*

長構文: MPOA.154 MPC (*atmIntfNum*): IP shortcut=>hold
down state: *errString*: IP addr/mask = *ipAddr/ ipMask*

説明: MPC は IP ショートカットを保留状態に置きました。

MPOA.155

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.155 MPC (*atmIntfNum*): VCC cntrl blk
alloc failed: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.155 MPC (*atmIntfNum*): VCC cntrl blk
alloc failed: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

説明: 制御ブロックの割り振りに失敗したために、VCC
が確立されませんでした。

MPOA.156

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.156 MPC (*atmIntfNum*): placing call for
typeOfVccString: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.156 MPC (*atmIntfNum*): placing call for
typeOfVccString: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

説明: MPC は ATM VCC を確立するためにコールを発
信しました。

MPOA.157

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.157 MPC (*atmIntfNum*): err placing call:
errString: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.157 MPC (*atmIntfNum*): err placing call:
errString: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

説明: MPC がコールを発信するために ATM インター
フェース・プリミティブを起動したときに、エラーが発
生しました。

MPOA.158

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.158 MPC (*atmIntfNum*) => DOWN: err
placing call: *errString*

長構文: MPOA.158 MPC (*atmIntfNum*) => DOWN: err
placing call: *errString*

説明: MPC がコールを発信するために ATM インター
フェース・プリミティブを起動したときに、致命的エラ
ーが発生しました。

MPOA.159

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.159 MPC (*atmIntfNum*): AAL IE: not
present or invalid AAL type (x *aalType*)

長構文: MPOA.159 MPC (*atmIntfNum*): AAL IE: not
present or invalid AAL type (x *aalType*)

説明: MPC は信号メッセージを受信しましたが、AAL
IE が含まれていないか、AAL IE 内の AAL タイプが不正
であるために無効でした。

MPOA.160

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.160 MPC (*atmIntfNum*): AAL IE: invalid
sduTypeString max SDU size (*sduSize*)

長構文: MPOA.160 MPC (*atmIntfNum*): AAL IE: invalid
sduTypeString max SDU size (*sduSize*)

説明: MPC は信号メッセージを受信しましたが、AAL
IE 内の最大 SDU サイズが不正であるために無効でし
た。

MPOA.161

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.161 MPC (*atmIntfNum*): invalid BLLI

長構文: MPOA.161 MPC (*atmIntfNum*): invalid BLLI

説明: MPC は信号メッセージを受信しましたが、不正な
BLLI IE を含んでいるために無効でした。

MPOA.162

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.162 MPC (*atmIntfNum*): cell rate IE:
errString (*badVal*)

長構文: MPOA.162 MPC (*atmIntfNum*): cell rate IE:
errString (*badVal*)

説明: MPC は信号メッセージを受信しましたが、セル・
レート IE に不正な値が入っているために無効でした。

MPOA.163

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.163 MPC (*atmIntfNum*): bearer IE: *errString* (x *badVal*)

長構文: MPOA.163 MPC (*atmIntfNum*): bearer IE: *errString* (x *badVal*)

説明: MPC は信号メッセージを受信しましたが、広帯域ベアラ IE に不正な値が入っているために無効でした。

MPOA.164

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.164 MPC (*atmIntfNum*): QoS IE: *errString* (x *badVal*)

長構文: MPOA.164 MPC (*atmIntfNum*): QoS IE: *errString* (x *badVal*)

説明: MPC は信号メッセージを受信しましたが、QoS IE に不正な値が入っているために無効でした。

MPOA.165

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.165 MPC (*atmIntfNum*): calling party IE: *errString*

長構文: MPOA.165 MPC (*atmIntfNum*): calling party IE: *errString*

説明: MPC は信号メッセージを受信しましたが、コーリング側 IE が誤っているために無効でした。

MPOA.166

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.166 MPC (*atmIntfNum*): releasing placed call: *errString*; remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.166 MPC (*atmIntfNum*): releasing placed call: *errString*; remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

説明: MPC は、エラーがあったので発信したコールを解放しています。

MPOA.167

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.167 MPC (*atmIntfNum*) => DOWN: err opening VCC data path: *errString*

長構文: MPOA.167 MPC (*atmIntfNum*) => DOWN: err opening VCC data path: *errString*

説明: VCC データ・パスをオープンするために MPC が ATM インターフェース・プリミティブを起動したときに、致命的エラーが発生しました。

MPOA.168

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.168 MPC (*atmIntfNum*): placed call failed: net down: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.168 MPC (*atmIntfNum*): placed call failed: net down: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

説明: ネットワークへの信号インターフェースがダウンであるために、MPC による発信コールが失敗しました。

MPOA.169

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.169 MPC (*atmIntfNum*): placed call failed: cause # *causeCode*: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.169 MPC (*atmIntfNum*): placed call failed: cause # *causeCode*: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

説明: 示されている原因符号により、MPC による発信コールが失敗しました。

MPOA.170

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.170 MPC (*atmIntfNum*): retrying placed call with bearer class C: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.170 MPC (*atmIntfNum*): retrying placed call with bearer class C: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

説明: ベアラ・クラスが原因で MPC による発信コールが失敗したので、ベアラ・クラス C を使用してコールが再試行されています。

MPOA.171

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.171 MPC (*atmIntfNum*): placed call established: *typeOfVccString*; remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.171 MPC (*atmIntfNum*): placed call established: *typeOfVccString*; remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

説明: MPC によるコールが確立されました。

MPOA.172

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.172 MPC (*atmIntfNum*): rejected received call: no calling party ATM addr

長構文: MPOA.172 MPC (*atmIntfNum*): rejected received call: no calling party ATM addr

説明: MPCは、コーリング側 ATM アドレスが提供されていなかったために、受信したコールをリジェクトしました。

MPOA.173

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.173 MPC (*atmIntfNum*): rejected received call: *errString*; remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.173 MPC (*atmIntfNum*): rejected received call: *errString*; remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

説明: MPC は、指摘されている理由で、受信したコールをリジェクトしました。

MPOA.174

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.174 MPC (*atmIntfNum*) (*errString*) => DOWN: err acking received call:

長構文: MPOA.174 MPC (*atmIntfNum*) (*errString*) => DOWN: err acking received call:

説明: MPC が受信したコールを確認するために ATM インターフェース・プリミティブを起動したときに、致命的エラーが発生しました。

MPOA.175

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.175 MPC (*atmIntfNum*): received call: *typeOfVccString*; remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.175 MPC (*atmIntfNum*): received call: *typeOfVccString*; remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

説明: MPC は指定のタイプの VCC のコールを受信しました。

MPOA.176

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.176 MPC (*atmIntfNum*): call released: normal: *typeOfVccString*; remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.176 MPC (*atmIntfNum*): call released: normal: *typeOfVccString*; remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

説明: 正常な原因符号により、コールがリモートから解放されました。

MPOA.177

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.177 MPC (*atmIntfNum*): call released: net down: *typeOfVccString*; remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.177 MPC (*atmIntfNum*): call released: net down: *typeOfVccString*; remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

説明: ネットワークへの信号インターフェースがダウンになったために、コールが解放されました。

MPOA.178

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.178 MPC (*atmIntfNum*): call released: cause # *causeCode*: *typeOfVccString*; remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.178 MPC (*atmIntfNum*): call released: cause # *causeCode*: *typeOfVccString*; remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

説明: 示されている原因符号により、コールがリモートから解放されました。

MPOA.179

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.179 MPC (*atmIntfNum*): starting VCC timer: *timerTypeString* = *timerValue* secs; remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.179 MPC (*atmIntfNum*): starting VCC timer: *timerTypeString* = *timerValue* secs; remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

説明: 指定のリモート ATM アドレスへの VCC に対応するタイマーが始動しました。

MPOA.180

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.180 MPC (*atmIntfNum*): VCC DELETED: *reasonString*; remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.180 MPC (*atmIntfNum*): VCC DELETED: *reasonString*; remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

説明: 示されている理由により、VCC が削除されました。

MPOA.181

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.181 MPC (*atmIntfNum*): ATM frame buf alloc failed: *errString*

長構文: MPOA.181 MPC (*atmIntfNum*): ATM frame buf alloc failed: *errString*

説明: ATM フレーム用のバッファの割り振りに失敗しました。

MPOA.182

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.182 MPC (*atmIntfNum*) => DOWN: ATM frame buf alloc failed: *errString*

長構文: MPOA.182 MPC (*atmIntfNum*) => DOWN: ATM frame buf alloc failed: *errString*

説明: MPC が ATM フレーム用のバッファの割り振りを試みているときに、致命的エラーが発生しました。

MPOA.183

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.183 MPC (*atmIntfNum*) => DOWN: err reading burned-in MAC addr: *errString*

長構文: MPOA.183 MPC (*atmIntfNum*) => DOWN: err reading burned-in MAC addr: *errString*

説明: MPC が焼き付け MAC アドレスを読み取るために ATM インターフェース・プリミティブを起動したときに、致命的エラーが発生しました。

MPOA.184

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.184 MPC (*atmIntfNum*): opened hardware path for LANE VCC: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.184 MPC (*atmIntfNum*): opened hardware path for LANE VCC: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

説明: MPC は、ハードウェア内の LANE VCC 上で受信したフレームを切り替えるためのパスをオープンしました。

MPOA.185

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.185 MPC (*atmIntfNum*): err opening VCC hardware path: *errString* remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.185 MPC (*atmIntfNum*): err opening VCC hardware path: *errString* remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

説明: MPC は、ハードウェア内の LANE VCC 上で受信したフレームを切り替えるためのパスをオープンしようとしたときに、エラーが発生しました。

MPOA.186

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.186 Rcvd LANE data frame (vpi/vci *vpi/vci*)

長構文: MPOA.186 Rcvd LANE data frame (vpi/vci *vpi/vci*)

説明: LANE データ・フレームが empc によって受信されました。フレームを受信した VCC の vpi/vci が印刷されています。

MPOA.187

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.187 Unable to send data plane purge rqst (addr *protocolAddress*, rc *errorCode*)

長構文: MPOA.187 Unable to send data plane purge rqst (addr *protocolAddress*, rc *errorCode*)

説明: empc は、データ平面除去要求メッセージを送信できませんでした。DPP の送信先のプロトコル・アドレスと内部エラー・コードが印刷されています。

MPOA.188

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.188 LANE pkt recvd from invalid vcc, initiating hold down! (vpi/vci *vpi/vci*)

長構文: MPOA.188 LANE pkt recvd from invalid vcc, initiating hold down! (vpi/vci *vpi/vci*)

説明: LANE vcc からパケットを受信しましたが、この VCC 上で受信することは予想していません。(相手側が誤って LANE ショートカット・パケットから確認を開始し、LANE パケットを送信している場合には、通常 LANE 拡張子が付いています)。受信したパケットは廃棄

され、この VCC の ATM アドレスは保留状態に置かれます。

MPOA.189

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.189 Recvd lane ready query (vpi/vci vpi/vci)

長構文: MPOA.189 Recvd lane ready query (vpi/vci vpi/vci)

説明: 指定の VCC 上で LANE Ready-Query (レディー照会) メッセージを受信しました。MPC は LANE Ready-Ind (レディー表示) パケットで応答を試みます。

MPOA.190

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.190 Recvd lane encaps NHRP purge rqst (vpi/vci vpi/ vci)

長構文: MPOA.190 Recvd lane encaps NHRP purge rqst (vpi/vci vpi/ vci)

説明: 指定の VCC 上で LANE 制御フレームとしてカプセル化された NHRP 除去要求メッセージを受信しました。MPC はこの要求の処理を開始します。

MPOA.191

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.191 Recvd invalid lane control frame, dropping! (vpi/vci vpi/ vci)

長構文: MPOA.191 Recvd invalid lane control frame, dropping! (vpi/vci vpi/ vci)

説明: 指定の VCC 上で無効な LANE 制御フレームを受信しました。パケットは廃棄されます。

MPOA.192

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.192 Exhausted dpp retries (src atm addr entryAtmAddr)

長構文: MPOA.192 Exhausted dpp retries (src atm addr entryAtmAddr)

説明: empc は、エントリーの入側装置に MPOA データ平面除去要求を送信するための最大試行回数を使い尽くしました (データ平面除去応答は IBM MPC からのみ要求されます)。そのエントリーの発信元 ATM アドレス (入側のアドレス) が表示され、エントリーは削除されます。

MPOA.193

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.193 Recvd lane encaps NHRP purge rply ! (vpi/vci vpi/ vci)

長構文: MPOA.193 Recvd lane encaps NHRP purge rply ! (vpi/vci vpi/ vci)

説明: 指定の VCC 上で LANE 制御フレームとしてカプセル化された NHRP 除去応答メッセージを受信しました。MPC はこのメッセージの処理を開始します。

MPOA.194

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.194 Recvd bad NHRP purge rply ! (vpi/vci vpi/ vci)

長構文: MPOA.194 Recvd bad NHRP purge rply ! (vpi/vci vpi/ vci)

説明: 指定の VCC 上で NHRP 除去応答メッセージを受信しましたが、フォーマットに問題があるか、必要な情報が欠落しています。パケットは廃棄されます。

MPOA.195

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.195 Sending MPS death dpp rqst! (destIpAddress/ destIpAddressMask, id cacheId)

長構文: MPOA.195 Sending MPS death dpp rqst! (destIpAddress/ destIpAddressMask, id cacheId)

説明: エントリーを組み付けた MPS が使用不可になったことが検出されたために、そのエントリーのデータ平面除去要求を送信しています。エントリーのプロトコル・アドレスとマスクおよびキャッシュ ID が表示されています。

MPOA.196

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.196 Sending MPS MAC invalid dpp rqst! (destIpAddress/ destIpAddressMask, id cacheId)

長構文: MPOA.196 Sending MPS MAC invalid dpp rqst! (destIpAddress/ destIpAddressMask, id cacheId)

説明: 対応する MPS MAC アドレスが有効でなくなったために、エントリーのデータ平面除去要求を送信しています。エントリーのプロトコル・アドレスとマスクおよびキャッシュ ID が表示されています。

MPOA.197

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.197 Recvd local lane frame (atm intf *atmIntfNum*)

長構文: MPOA.197 Recvd local lane frame (atm intf *atmIntfNum*)

説明: empc は、ローカルに送達された LANE カプセル化データ・フレームを受信しました。

MPOA.198

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.198 Recvd bad frame (x *frameBytes*)

長構文: MPOA.198 Recvd bad frame (x *frameBytes*)

説明: empc は不正なフレーム (正しくデコード化できない) を受信しました。フレームは廃棄されます。

MPOA.199

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.199 local tagged pkt src atm mismatch (entry: *srcAtmAddrInEntry*)

長構文: MPOA.199 local tagged pkt src atm mismatch (entry: *srcAtmAddrInEntry*)

説明: ローカルで送達可能なタグ付きフレームがエントリーに一致しましたが、こちら側の発信元 ATM アドレスとは異なっています。これは、内部エラーにより、入側と出側の MPC が同期していないことを示している可能性があります。

MPOA.200

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.200 No match for recvd dpp reply (*destIpAddr/ destIpAddrMask*)

長構文: MPOA.200 No match for recvd dpp reply (*destIpAddr/ destIpAddrMask*)

説明: データ平面除去応答を受信しましたが (IBM MPC 入側装置からのみ有効)、除去処理中のアウトスタンディング・エントリーのどれにも一致しません (除去応答を受信する前に、エントリーが内部で削除されてしまっている可能性があります)。

MPOA.201

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.201 No mem for derived entry (*atmIntfNum*)

長構文: MPOA.201 No mem for derived entry (*atmIntfNum*)

説明: パケットの受信時に、内部記憶域割り振り ("派生" タイプの出側キャッシュ・エントリー) に失敗しました。パケットは除去され、データ平面除去要求が開始されます。これは、ボックスの動的割り振り可能記憶域が不足していることを示しています。

MPOA.202

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.202 No match in Nontag 1483 net routes for pkt (*destProtAddr*)

長構文: MPOA.202 No match in Nontag 1483 net routes for pkt (*destProtAddr*)

説明: タグなし 1483 ネットワーク・ルート・データベース内で、受信パケットのあて先プロトコル・アドレスに一致する出側キャッシュ・エントリーが見付かりませんでした。

MPOA.203

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.203 No match in Nontag 1483 host routes for pkt (*destProtAddr*)

長構文: MPOA.203 No match in Nontag 1483 host routes for pkt (*destProtAddr*)

説明: タグなし 1483 ホスト・ルート・データベース内で、受信パケットのあて先プロトコル・アドレスに一致する出側キャッシュ・エントリーが見付かりませんでした。

MPOA.204

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.204 Function *functionNameString()* called

長構文: MPOA.204 Function *functionNameString()* called

説明: 表示されている (内部) 機能が呼び出されました (注意: ほとんどの内部機能はこの ELS を印刷しません。印刷するのはほんの少数です)。

MPOA.205

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.205 Dropping LANE data packet (*atmIntfNum*)

長構文: MPOA.205 Dropping LANE data packet (*atmIntfNum*)

説明: 一致する出側 LEC が存在しなかったか、パケットが正しく作成されていなかったために、MPC は受信した LANE データ・パケットを廃棄しています。これはパケットの送信側のエラーにより、LANE ヘッダー情報が間違っているか、LANE データ・パケットが正しく作成されていないことを示している可能性があります。

MPOA.206

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.206 No matching LEC on imposition (dll: ring 1 x *firstRingNumber* ring 2 x *secondRingNumber* bridge x *bridgeNumber*)

長構文: MPOA.206 No matching LEC on imposition (dll: ring 1 x *firstRingNumber* ring 2 x *secondRingNumber* bridge x *bridgeNumber*)

説明: MPOA キャッシュ組み付け要求で提供された DLL ヘッダー情報が、現在 MPC が認識している "最初のリング番号、ブリッジ番号、2 番目のリング番号" の 3 要素のいずれにも一致しませんでした。これは、組み付け e-mps によって提供された DLL ヘッダー情報に誤りがあることを示している可能性があります。

MPOA.207

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.207 Resetting src atm lane ext lec ptr ATM: x *atmAddress*

長構文: MPOA.207 Resetting src atm lane ext lec ptr ATM: x *atmAddress*

説明: 指定の発信元 ATM アドレスの LANE 拡張 lec 出側 LEC ptr をリセット中です。この後、この ATM アドレスからの VCC は任意の出側 LEC を使用して、ハードウェア切り替えパスを確立することができます。

MPOA.208

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.208 Setting src atm lane ext lec ptr ATM: x *atmAddress* Lec:

長構文: MPOA.208 Setting src atm lane ext lec ptr ATM: x *atmAddress* Lec:

説明: 指定の発信元 ATM アドレスの LANE 拡張 lec 出側 LEC ptr を、表示された LEC へのポイントに設定しています。これで、このリモート ATM アドレスを使用して、VCC 上にハードウェア切り替えパスを確立することができます。

MPOA.209

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.209 MPC Tag array resized to *newSize*

長構文: MPOA.209 MPC Tag array resized to *newSize*

説明: eMpc の内部タグ配列のサイズが、示されている値に変更されました。これは、出側キャッシュ内のタグ付きキャッシュ・エントリーの数がかかなり大きい場合にのみ行われます。

MPOA.210

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.210 Bad data pkt dropped w/o dpp (dest: *destIpAddr*, vpi/vci *vpi/ vci*)

長構文: MPOA.210 Bad data pkt dropped w/o dpp (dest: *destIpAddr*, vpi/vci *vpi/ vci*)

説明: 受信したデータ・パケットは、有効な出側キャッシュ・エントリーのいずれにも一致していませんでしたが、パケットを受信した VCC のリモート ATM アドレスに対する除去レート限界タイマーが有効であったために、データ平面除去を送信せずに廃棄されました。

MPOA.211

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.211 MPC (*atmIntfNum*): retrying placed call with pcr 25 MBps: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.211 MPC (*atmIntfNum*): retrying placed call with pcr 25 MBps: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

説明: MPC による発呼が、セル・レートが高過ぎるために失敗したので、25 MBps のピーク・セル・レートで発呼が再試行されています。

MPOA.212

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.212 MPC (*atmIntfNum*): shortcut cntrl blk alloc failed: IPX addr = x *ipxAddr*

長構文: MPOA.212 MPC (*atmIntfNum*): shortcut cntrl blk alloc failed: IPX addr = x *ipxAddr*

説明: ショートカット制御ブロックの割り振りに失敗しました。

MPOA.213

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.213 MPC (*atmIntfNum*): IPX shortcut=>hold down state: *errString*: IPX addr = x *ipxAddrPtr*

長構文: MPOA.213 MPC (*atmIntfNum*): IPX shortcut=>hold down state: *errString*: IPX addr = x *ipxAddrPtr*

説明: MPC は IPX ショートカットを保留状態に置きました。

MPOA.214

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.214 MPC (*atmIntfNum*): shortcut disassociated from VCC: IPX addr = x *ipxAddrPtr*

長構文: MPOA.214 MPC (*atmIntfNum*): shortcut disassociated from VCC: IPX addr = x *ipxAddrPtr*

説明: MPC は IPX ショートカット・ルートを VCC から分離しました。

MPOA.215

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.215 MPC (*atmIntfNum*): purging IPX shortcut: IPX addr = x *ipxAddrPtr*

長構文: MPOA.215 MPC (*atmIntfNum*): purging IPX shortcut: IPX addr = x *ipxAddrPtr*

説明: MPC は IPX ショートカットを除去しました。

MPOA.216

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.216 MPC (*atmIntfNum*): shortcut associated with VCC: IPX addr = x *ipxAddrPtr*

長構文: MPOA.216 MPC (*atmIntfNum*): shortcut associated with VCC: IPX addr = x *ipxAddrPtr*

説明: MPC は IPX ショートカット・ルートを VCC と対応付けました。

MPOA.217

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.217 MPC (*atmIntfNum*): initiating resolution req: IPX addr = x *ipxAddrPtr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.217 MPC (*atmIntfNum*): initiating resolution req: IPX addr = x *ipxAddrPtr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は IPX アドレス解決要求の転送を開始しています。

MPOA.218

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.218 MPC (*atmIntfNum*): shortcut cntrl blk DELETED: *ipxAddrPtr*: IPX addr = x

長構文: MPOA.218 MPC (*atmIntfNum*): shortcut cntrl blk DELETED: *ipxAddrPtr*: IPX addr = x

説明: MPC は IPX ショートカット・ルートを削除しました。

MPOA.219

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.219 MPC (*atmIntfNum*): ignored LANE ext: *errString*: IPX addr = x *ipxAddrPtr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.219 MPC (*atmIntfNum*): ignored LANE ext: *errString*: IPX addr = x *ipxAddrPtr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は IPX アドレス解決応答の中の無効な LANE 拡張子を無視しています。

MPOA.220

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.220 MPC (*atmIntfNum*): recv resolution NAK: *nakString*: IPX addr = x *ipxAddrPtr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.220 MPC (*atmIntfNum*): recv resolution NAK: *nakString*: IPX addr = x *ipxAddrPtr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は IPX アドレス解決応答で否定応答を受信しました。

MPOA.221

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.221 MPC (*atmIntfNum*): recv resolution reply: IPX addr = x *ipxAddrPtr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.221 MPC (*atmIntfNum*): recv resolution reply: IPX addr = x *ipxAddrPtr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は IPX あて先の解決応答を受信しました。

MPOA.222

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.222 MPC (*atmIntfNum*): converting route: IPX addr/prefix x *errString/ ipxAddrPtr => prefix1*

長構文: MPOA.222 MPC (*atmIntfNum*): converting route: IPX addr/prefix x *errString/ ipxAddrPtr => prefix1*

説明: MPC は受信した IPX アドレス解決応答の内容に基づいて、既存のルートを変換しています。変換は、ホスト・ルートからネットワーク・ルートへ、またはその逆に行われるものと考えられます。

MPOA.223

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.223 MPC (*atmIntfNum*): updated shortcut: IPX addr x *ipxAddrPtr*: encapsulation type = *encapsString*: MTU = *mtu*: holding time = *holdingTime* secs: VCC state = *vccTypeString*: dest ATM addr = x *dstAtmAddr*

長構文: MPOA.223 MPC (*atmIntfNum*): updated shortcut: IPX addr x *ipxAddrPtr*: encapsulation type = *encapsString*: MTU = *mtu*: holding time = *holdingTime* secs: VCC state = *vccTypeString*: dest ATM addr = x *dstAtmAddr*

説明: MPC は IPX アドレス解決応答の内容に基づいて、ショートカット・ルートを更新しました。

MPOA.224

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.224 MPC (*atmIntfNum*): recv trigger for IPX addr = x *ipxAddrPtr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.224 MPC (*atmIntfNum*): recv trigger for IPX addr = x *ipxAddrPtr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は IPX アドレスに対するトリガー要求を受信しました。

MPOA.225

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.225 eMPC deleting imposed e-cache entry (IPX networkNo x *ipxNetworkNumber*, cache id x *cacheId*)

長構文: MPOA.225 eMPC deleting imposed e-cache entry (IPX networkNo x *ipxNetworkNumber*, cache id x *cacheId*)

説明: 外部から組み付けられた出側 MPC キャッシュ・エントリー (IPX ネットワーク) を削除中です。

MPOA.226

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.226 eMPC deleting imposed e-cache entry (IPX address x *ipxAddress*, cache id x *cacheId*)

長構文: MPOA.226 eMPC deleting imposed e-cache entry (IPX address x *ipxAddress*, cache id x *cacheId*)

説明: 外部から組み付けられた出側 MPC キャッシュ・エントリー (おそらく、ネットワーク) を削除中です。

MPOA.227

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.227 eMPC deleting intern. derived e-cache entry (IPX address x *ipxAddress*, cache id x *cacheId*)

長構文: MPOA.227 eMPC deleting intern. derived e-cache entry (IPX address x *ipxAddress*, cache id x *cacheId*)

説明: 外部から組み付けられた出側 MPC キャッシュ・エントリー (おそらく、ネットワーク) を削除中です。

MPOA.228

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.228 Sending MPS death dpp rqst! (*destIpAddress*, id *cacheId*)

長構文: MPOA.228 Sending MPS death dpp rqst! (*destIpAddress*, id *cacheId*)

説明: エントリーを組み付けた MPS が使用不可になったことが検出されたために、そのエントリーのデータ平面除去要求を送信しています。エントリーのプロトコル・アドレスとキャッシュ ID が表示されています。

MPOA.229

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.229 Bad data pkt dropped w/o dpp (dest: *destIpAddr*, vpi/vci *vpi/ vci*)

長構文: MPOA.229 Bad data pkt dropped w/o dpp (dest: *destIpAddr*, vpi/vci *vpi/ vci*)

説明: 受信したデータ・パケットは、有効な出側キャッシュ・エントリーのいずれにも一致していませんでしたが、パケットを受信した VCC のリモート ATM アドレスに対して除去レート限界タイマーが有効であったために、データ平面除去を送信せずに廃棄されました。

MPOA.230

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.230 MPC (*atmIntfNum*) IP STOPPED

長構文: MPOA.230 MPC (*atmIntfNum*) IP STOPPED

説明: MPC インスタンスの IP 動作を停止中です。

MPOA.231

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.231 MPC (*atmIntfNum*) IPX STOPPED

長構文: MPOA.231 MPC (*atmIntfNum*) IPX STOPPED

説明: MPC インスタンスの IPX 動作を停止中です。

MPOA.232

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.232 No MPC protocol sram record. Will use defaults! (*netNum*)

長構文: MPOA.232 No MPC protocol sram record. Will use defaults! (*netNum*)

説明: MPOA クライアントの SRAM プロトコル構成レコードが見付かりませんでした。そのため、クライアントはデフォルトのパラメーター設定で起動されます。

MPOA.233

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.233 Mismatched MPC protocol sram record. Will use defaults! (*netNum*)

長構文: MPOA.233 Mismatched MPC protocol sram record. Will use defaults! (*netNum*)

説明: MPOA クライアントの SRAM プロトコル構成レコードが見付かりましたが、起動する ATM インターフェースが異なります。そのため、既存の SRAM プロトコル・レコード構成パラメーターは無視され、クライアントはデフォルトのパラメーター設定で起動されます。これは、構成の誤りを示している可能性があります。

MPOA.234

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.234 Bad recvd pkt: sending DPP rqst! (*destIpAddrPtr*)

長構文: MPOA.234 Bad recvd pkt: sending DPP rqst! (*destIpAddrPtr*)

説明: 受信した IPX パケットに一致する出側キャッシュ・エントリーが見付からなかったために、データ平面除去要求を送信中です。パケット内のあて先プロトコル・アドレスが印刷されています。

MPOA.235

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.235 Purge Reply recvd for disabled protocol! (IP addr/mask = *IpAddress/ IpAddressMask*, vpi/vci *vpi/ vci*)

長構文: MPOA.235 Purge Reply recvd for disabled protocol! (IP addr/mask = *IpAddress/ IpAddressMask*, vpi/vci *vpi/ vci*)

説明: 指定の VCC 上で NHRP 除去応答メッセージを受信しましたが、指定されたプロトコルは使用不可にされ、すべてのエントリーが削除されています。パケットは廃棄されます。

MPOA.236

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.236 Purge Reply recvd for disabled protocol! (IPX addr = *ipxAddrPtr*, Prefix = *ipxPrefix*, vpi/vci *vpi/ vci*)

長構文: MPOA.236 Purge Reply recvd for disabled protocol! (IPX addr = *ipxAddrPtr*, Prefix = *ipxPrefix*, vpi/vci *vpi/ vci*)

説明: 指定の VCC 上で NHRP 除去応答メッセージを受信しましたが、指定されたプロトコルは使用不可にされ、すべてのエントリーが削除されています。パケットは廃棄されます。

MPOA.237

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.237 No match for recvd IPX dpp reply (*ipxAddrPtr/ ipxPrefix*)

長構文: MPOA.237 No match for recvd IPX dpp reply (*ipxAddrPtr/ ipxPrefix*)

説明: データ平面除去応答を受信しましたが (IBM MPC

入側装置からのみ有効)、除去処理中のアウトスタンディング IPX エントリーのどれにも一致しません (除去応答を受信する前に、エントリーが内部で削除されてしまっている可能性があります)。

MPOA.238

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.238 Destn prot addr mismatch in recvd pkt! (dstn *dstnIpxAddrPtr*, entry *entryIpxAddrPtr*, Prefix = *entryIpxPrefix*)

長構文: MPOA.238 Destn prot addr mismatch in recvd pkt! (dstn *dstnIpxAddrPtr*, entry *entryIpxAddrPtr*, Prefix = *entryIpxPrefix*)

説明: 受信した MPOA タグ付きパケットのタグに基づく検索で一致した出側キャッシュ・エントリーは、IPX あて先プロトコル・アドレス範囲がパケット内のあて先プロトコル・アドレスと異なっていました。パケット内の IPX あて先アドレスと出側キャッシュ・エントリー内のアドレス/マスクの組みが印刷されています。

MPOA.239

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.239 Tagged pkt: matching entry inactive! (entry *ipxAddrPtr*, Prefix = *ipxPrefix*, state *entryState*)

長構文: MPOA.239 Tagged pkt: matching entry inactive! (entry *ipxAddrPtr*, Prefix = *ipxPrefix*, state *entryState*)

説明: 受信した MPOA タグ付きパケットのタグに基づく検索で一致した出側キャッシュ・エントリーは、アクティブ状態ではありませんでした。照合エントリーの IPX プロトコル・アドレスとアドレス・マスクが、エントリーの状態とともに印刷されています。

MPOA.240

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.240 Recvd 1483 IPX data pkt! (*ipxAddrPtr*)

長構文: MPOA.240 Recvd 1483 IPX data pkt! (*ipxAddrPtr*)

説明: MPOA タグなし 1483 IPX パケットを受信しました。パケット内のあて先 IPX アドレスが印刷されています。

MPOA.241

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.241 1483 pkt hash cache miss! (*ipxAddrPtr*)

長構文: MPOA.241 1483 pkt hash cache miss! (*ipxAddrPtr*)

説明: 受信した MPOA タグなし 1483 IPX パケットで、ハッシュ配列の誤りが検出されました。パケット内のあて先 IPX アドレスが印刷されています。

MPOA.242

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.242 1483 pkt: matching entry inactive! (entry *ipxAddrPtr*, Prefix = *ipxPrefix*, state *entryState*)

長構文: MPOA.242 1483 pkt: matching entry inactive! (entry *ipxAddrPtr*, Prefix = *ipxPrefix*, state *entryState*)

説明: 受信した MPOA タグなし 1483 パケットのタグに基づく検索で一致した出側キャッシュ・エントリーは、アクティブ状態ではありませんでした。照合エントリーの IPX プロトコル・アドレスとプレフィックスが、エントリーの状態とともに印刷されています。

MPOA.243

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.243 Unable to send data plane purge rqst (addr *ipxAddrPtr*, rc *errorCode*)

長構文: MPOA.243 Unable to send data plane purge rqst (addr *ipxAddrPtr*, rc *errorCode*)

説明: empc は、データ平面除去要求メッセージを送信できませんでした。DPP の送信先の IPX プロトコル・アドレスと内部エラー・コードが印刷されています。

MPOA.244

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.244 No match in Nontag 1483 host routes for IPX pkt (*ipxAddrPtr*)

長構文: MPOA.244 No match in Nontag 1483 host routes for IPX pkt (*ipxAddrPtr*)

説明: タグなし 1483 ホスト・ルート・データベース内で、受信パケットのあて先 IPX プロトコル・アドレスに一致する出側キャッシュ・エントリーが見付かりませんでした。

MPOA.245

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.245 No match in Nontag 1483 net routes for IPX pkt (*ipxAddrPtr*)

長構文: MPOA.245 No match in Nontag 1483 net routes for IPX pkt (*ipxAddrPtr*)

説明: タグなし 1483 ネットワーク・ルート・データベ

ース内で、受信パケットのあて先 IPX プロトコル・アドレスに一致する出側キャッシュ・エントリーが見付かりませんでした。

MPOA.246

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.246 Imposn rqst valid (*ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*, rqst ID: *x requestID*)

長構文: MPOA.246 Imposition request valid (*ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*, rqst ID: *x requestID*)

説明: 指定のあて先 IPX アドレスとプレフィックスに対する有効なキャッシュ組み付け要求を受信しました。メッセージ内の要求 ID も印刷されています。

MPOA.247

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.247 Processing imposn rqst for new ntry (*ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*, *x cacheID*, *entryTypeString*)

長構文: MPOA.247 Processing imposition request for a new entry (*ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*, *x cacheID*, *entryTypeString*)

説明: 新しい出側キャッシュ・エントリーに対する MPOA キャッシュ組み付け要求を処理中です。あて先 IPX プロトコル・アドレス、プレフィックスの長さ、キャッシュ ID、およびエントリーのタイプが表示されています。

MPOA.248

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.248 New egress cache IPX entry created (*ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*, *x cacheID*, *entryTypeString*)

長構文: MPOA.248 New egress cache IPX entry created (*ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*, *x cacheID*, *entryTypeString*)

説明: 指定の IPX プロトコル・アドレスとプレフィックスの新しい出側 IPX キャッシュ・エントリーが作成されました。キャッシュ ID とエントリーのタイプも印刷されています。

MPOA.249

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.249 Imposn rfrsh for exstng IPX ntry rcvd (*ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*, *x cacheID*, *entryTypeString*)

長構文: MPOA.249 Imposition refresh for existing IPX entry received (*ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*, *x cacheID*, *entryTypeString*)

説明: 出側キャッシュ内の既存の IPX エントリーをリフレッシュするための MPOC キャッシュ組み付け要求を受信しました。あて先 IPX プロトコル・アドレス、プレフィックス、キャッシュ ID、およびエントリーのタイプが表示されています。

MPOA.250

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.250 Recvd imposn rfrsh for purging ntry (*ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*)

長構文: MPOA.250 Recvd imposn rfrsh for purging ntry (*ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*)

説明: IPX エントリーに対する組み付け要求を受信しましたが、そのエントリーは除去処理中でした。E-MPS 論理のエラーの可能性を示しています。

MPOA.251

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.251 Recvd imposn rqst, IPX network mismatch (old *oldNetwork*/ new *newNetwork*)

長構文: MPOA.251 Recvd imposn rqst, IPX network mismatch (old *oldNetwork*/ new *newNetwork*)

説明: 既存の出側キャッシュ・エントリーに対する組み付け要求を受信しましたが、あて先 IPX ネットワークが既存のものと異なっています。既存のエントリーは内部で削除され、新しいエントリーが作成されます。E-MPS 論理のエラーの可能性を示しています。

MPOA.252

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.252 Recvd imposn rqst, IPX address mismatch (old *ipxAddrPtr1*/ new *ipxAddrPtr2*)

長構文: MPOA.252 Recvd imposn rqst, IPX address mismatch (old *ipxAddrPtr1*/ new *ipxAddrPtr2*)

説明: 既存の出側キャッシュ・エントリーに対する組み付け要求を受信しましたが、あて先 IPX アドレスが既存のものと異なっています。既存のエントリーは内部で削除され、新しいエントリーが作成されます。E-MPS 論理のエラーの可能性を示しています。

MPOA.253

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.253 Recvd IPX imposn rqst had src atm addr mismatch (*ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*)

長構文: MPOA.253 Recvd IPX imposn rqst had src atm

addr mismatch (*ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*)

説明: 既存の出側キャッシュ・エントリーに対する IPX 組み付け要求を受信しましたが、発信元 ATM アドレスが既存のものと異なっています。既存のエントリーは内部で削除され、新しいエントリーが作成されます。E-MPS 論理のエラーの可能性を示しています。

MPOA.254

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.254 Recvd IPX imposn rqst had dll mismatch!(*ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*)

長構文: MPOA.254 Recvd IPX imposn rqst had dll mismatch!(*ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*)

説明: 既存の出側キャッシュ・エントリーに対する IPX 組み付け要求を受信しましたが、DLL が直前の要求で提供されたものと異なっていました。MPC は内部の古いエントリーを削除し、新しい情報を入れた新規のエントリーを作成します。

MPOA.255

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.255 Egress IPX cache entry refreshed (*ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*, x *cacheID*, *entryTypeString*)

長構文: MPOA.255 Egress IPX cache entry refreshed (*ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*, x *cacheID*, *entryTypeString*)

説明: 指定のprotocols・アドレスとプレフィックスの組みの既存の出側 IPX キャッシュ・エントリーがリフレッシュされました。キャッシュ ID とエントリーのタイプも印刷されています。

MPOA.256

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.256 IPX prtcl addr based e-mps purge recvd (*ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*)

長構文: MPOA.256 IPX prtcl addr based e-mps purge recvd (*ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*)

説明: 一定の範囲の IPX protocols・アドレスに対する e-mps 除去を受信しました。この範囲は、protocols・アドレスとプレフィックスによって指定されています (範囲は 1 つのアドレスだけでも指定できます)。

MPOA.257

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.257 MPC (*atmIntfNum*) IP STARTED

長構文: MPOA.257 MPC (*atmIntfNum*) IP STARTED

説明: MPC インスタンスの IP 動作を始動中です。

MPOA.258

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.258 MPC (*atmIntfNum*) IPX STARTED

長構文: MPOA.258 MPC (*atmIntfNum*) IPX STARTED

説明: MPC インスタンスの IPX 動作を始動中です。

MPOA.259

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.259 Sending MPS MAC invalid IPX dpp rqst! (*ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*, id *cacheId*)

長構文: MPOA.259 Sending MPS MAC invalid IPX dpp rqst! (*ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*, id *cacheId*)

説明: 対応する MPS MAC アドレスが有効でなくなったために、エントリーのデータ平面除去要求を送信しています。エントリーの IPX protocols・アドレスとプレフィックス、およびキャッシュ ID が表示されています。

MPOA.260

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.260 MPC (*atmIntfNum*): recv ' enable_disable_string IPX' config TLV from LECS: LEC (*lecIntfNum*)

長構文: MPOA.260 MPC (*atmIntfNum*): recv ' enable_disable_string IPX' config TLV from LECS: LEC (*lecIntfNum*)

説明: MPC は LECS から IPX フロー検出を使用可能または使用不可にするのを制御する構成 TLV を受信しました。

MPOA.261

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.261 MPC => DOWN: FDDL user reg failed: x *errString*

長構文: MPOA.261 MPC => DOWN: FDDL user reg failed: x *errString*

説明: FDDL インターフェースのユーザーとしての登録が失敗しました。その結果、MPC はダウンになります。

MPOA.262

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.262 MPC => DOWN: FDDL user reg failed: x *errString*

長構文: MPOA.262 MPC => DOWN: FDDL user reg failed: x *errString*

説明: FDDL インターフェースの構成設定要求が失敗しました。その結果、MPC はダウンになります。

MPOA.263

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.263 MPC (*atmIntfNum*): FDDL add failed MPS MAC addr (x *macAddr*): LEC (*lecIntfNum*): MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.263 MPC (*atmIntfNum*): refreshed MPS MAC Addr (x *macAddr*): LEC (*lecIntfNum*): MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MAC アドレスと MPS とのアソシエーションがリフレッシュされていません。

MPOA.264

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.264 MPC: anchor tag cb init failed

長構文: MPOA.264 MPC: anchor tag control block initialization failed.

説明: MPC: アンカー・タグ制御ブロックの初期化に失敗しました。

MPOA.265

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.265 MPC: FDDL MPS MAC ADDR Update cycle successful

長構文: MPOA.265 MPC: FDDL MPS MAC ADDR Update cycle successful

説明: MPC: FDDL MPS MAC アドレス更新サイクルが正常に行なわれました。

MPOA.266

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.266 MPC (*atmIntfNum*) Egress Cache Tag (*tagValue*) Deletion from FDDL Failed

長構文: MPOA.266 MPC (*atmIntfNum*) Egress Cache Tag (*tagValue*) Deletion from FDDL Failed

説明: MPC インスタンスは、FDDL から出側キャッシュ・タグを削除できませんでした。

MPOA.267

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.267 MPC (*atmIntfNum*) Egress Cache Tag (*tagValue*) Addition to FDDL Failed

長構文: MPOA.267 MPC (*atmIntfNum*) Egress Cache Tag (*tagValue*) Addition to FDDL Failed

説明: MPC インスタンスは、FDDL に出側キャッシュ・タグを追加できませんでした。

MPOA.268

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.268 Recvd imposn rqst had VEGA Blade/Box mismatch (*ipAddress/ ipAddressMask*)

長構文: MPOA.268 Recvd imposn rqst had VEGA Blade/Boxmismatch (*ipAddress/ ipAddressMask*)

説明: 既存の出側キャッシュ・エントリーに対する組み付け要求を受信しましたが、ブレード/ボックス属性が既存のものと異なっています。既存のエントリーは内部で削除され、新しいエントリーが作成されます。

MPOA.269

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.269 Recvd IPX imposn rqst had box/blade mismatch!(*ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*)

長構文: MPOA.269 Recvd IPX imposn rqst had box/blade mismatch!(*ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*)

説明: 既存の出側キャッシュ・エントリーに対する IPX 組み付け要求を受信しましたが、ボックス/ブレード属性が直前の要求で提供されたものと異なっていました。MPC は内部の古いエントリーを削除し、新しい情報を入れた新しいエントリーを作成します。

MPOA.270

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.270 MPC: FDDL MPS MAC ADDR Update cycle called

長構文: MPOA.270 MPC: FDDL MPS MAC ADDR Update cycle called

説明: MPC: FDDL MPS MAC アドレス更新サイクルが呼び出されました。

MPOA.271

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.271 MPC (*atmIntfNum*) Egress Cache Tag (*tagValue*) Deletion from FDDL Called

長構文: MPOA.271 MPC (*atmIntfNum*) Egress Cache Tag (*tagValue*) Deletion from FDDL Called

説明: MPC: FDDL から出側キャッシュ・タグ削除が呼び出されました。

MPOA.272

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.272 MPC (*atmIntfNum*) Egress Cache Tag (*tagValue*) Addition to FDDL Called

長構文: MPOA.272 MPC (*atmIntfNum*) Egress Cache Tag (*tagValue*) Addition to FDDL Called

説明: MPC: FDDL への出側キャッシュ・タグ加算が呼び出されました。

MPOA.273

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.273 MPC (*atmIntfNum*): MPS ID (*mpsId*) MPS MAC addr (x *macAddr*) Add. to FDDL Called

長構文: MPOA.273 MPC (*atmIntfNum*): MPS ID (*mpsId*) MPS MAC addr (x *macAddr*) Addition to FDDL Called

説明: MPC: FDDL への MPS MAC アドレス追加が呼び出されました。

MPOA.274

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.274 MPC (*atmIntfNum*): MPS ID (*mpsId*) MPS MAC addr (x *macAddr*) Add. to FDDL Failed

長構文: MPOA.274 MPC (*atmIntfNum*): MPS ID (*mpsId*) MPS MAC addr (x *macAddr*) Addition to FDDL Failed

説明: MPC: FDDL への MPS MAC アドレス追加が失敗しました。

MPOA.275

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.275 MPC (*atmIntfNum*): MPS ID (*mpsId*) MPS MAC addr (x *macAddr*) Del. from FDDL Called

長構文: MPOA.275 MPC (*atmIntfNum*): MPS ID (*mpsId*) MPS MAC addr (x *macAddr*) Deletion from FDDL Called

説明: MPC: FDDL からの MPS MAC アドレス削除が呼び出されました。

MPOA.276

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.276 MPC (*atmIntfNum*): MPS ID (*mpsId*) MPS MAC addr (x *macAddr*) Del. from FDDL Failed.

長構文: MPOA.276 MPC (*atmIntfNum*): MPS ID (*mpsId*) MPS MAC addr (x *macAddr*) Deletion from FDDL Failed.

説明: MPC: FDDL への MPS MAC アドレス追加が失敗しました。

MPOA.277

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.277 MPC (*atmIntfNum*) Init Failed. Max. possible MPC instances exceeded

長構文: MPOA.277 MPC (*atmIntfNum*) Init Failed. Max. possible MPC instances exceeded

説明: 最大可能な MPC インスタンスがすでに実行されているので、MPC インスタンスを初期化できませんでした。

MPOA.278

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.278 MPC (*atmIntfNum*): SRAM update performed (Addition of MPC_PROTOCOL SRAM)

長構文: MPOA.278 MPC (*atmIntfNum*): SRAM update performed (Addition of MPC_PROTOCOL SRAM)

説明: 共通 SRAM レコードのみが存在します。そこで、構成にプロトコル SRAM レコードが追加されました。

MPOA.279

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.279 MPOA: LEC assoc. with MPC instance failed, no MPC on device: (*atmIntfNum*)

長構文: MPOA.279 MPOA: LEC assoc. with MPC instance failed, no MPC on device: (*atmIntfNum*)

説明: LEC の起動時に、lecUp メッセージで、LEC が ATM インターフェース上で稼働しているが、そのインターフェースで実行されている MPC がないと、通知されました。

MPOA.280

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.280 MPC (*atmIntfNum*): Loc. shortcut to (*ipAddress*) is untagged. FDDL Ing cache Add not done

長構文: MPOA.280 MPC (*atmIntfNum*): Loc. shortcut to (*ipAddress*) is untagged. FDDL Ing cache Add not done

説明: ローカル・ショートカットのタイプは、必ず "タグ付き" である必要があります。しかし、この場合には、タグなしです。したがって、入側キャッシュ・エントリを追加するための fddl コールは行なわれません。

MPOA.281

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.281 MPC (*atmIntfNum*): Loc. shortcut to (*ipAddress*) has bad tag (*tag*). FDDL Ing cache Add not done

長構文: MPOA.281 MPC (*atmIntfNum*): Loc. shortcut to (*ipAddress*) is bad tag (*tag*). FDDL Ing cache Add not done

説明: ローカル・ショートカットのタグは無効でした。したがって、入側キャッシュ・エントリを追加するための fddl コールは行なわれません。

MPOA.282

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.282 MPC (*atmIntfNum*): FDDL LAN dest (*macAddress*) to interface failed.

長構文: MPOA.282 MPC (*atmIntfNum*): FDDL LAN dest (*macAddress*) to interface failed.

説明: 示された MAC アドレスが存在する既存のインターフェースを検索する fddl コールは成功しませんでした。

MPOA.283

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.283 MPC (*atmIntfNum*): Flow Indication for MPS (*mpsId*) received.

長構文: MPOA.283 MPC (*atmIntfNum*): Flow Indication for the MPS (*mpsId*) received at CPU.

説明: データ・フレームが MPS へとブリッジされました。EPIF が CPU に指示を送信します。

第73章 NetBIOS サポート・サブシステム (NBS)

この章では、NetBIOS サポート・サブシステム (NBS) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

NBS.001

レベル: C-INFO

短構文: NBS.001 *instance_str*NetBIOS Add_Name_Query received from bridge for *source_nbname*(*source_macaddr*)-> *dest_nbname*(*dest_macaddr*)

長構文: NBS.001 *instance_str*NetBIOS Add_Name_Query received from bridge for source name(MAC) *source_nbname* (*source_macaddr*) -> target name(MAC) *dest_nbname* (*dest_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、ブリッジで結ばれているネットワークから NetBIOS Add_Name_Query フレームを受信しました。

NBS.002

レベル: C-INFO

短構文: NBS.002 *instance_str*NetBIOS Add_Group_Name_Query received from bridge for *source_nbname*(*source_macaddr*)-> *dest_nbname* (*dest_macaddr*)

長構文: NBS.002 *instance_str*NetBIOS Add_Group_Name_Query received from bridge for source name(MAC) *source_nbname* (*source_macaddr*) -> target name(MAC) *dest_nbname* (*dest_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、ブリッジで結ばれているネットワークから、Add_Group_Name_Query フレームを受信しました。

NBS.003

レベル: C-INFO

短構文: NBS.003 *instance_str*NetBIOS Add_Name_Response received from bridge for *source_nbname* (*source_macaddr*)-> *dest_nbname* (*dest_macaddr*)

長構文: NBS.003 *instance_str*NetBIOS Add_Name_Response received from bridge for source name(MAC) *source_nbname* (*source_macaddr*) -> target name(MAC) *dest_nbname* (*dest_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、ブリッジで結ばれているネットワークから NetBIOS Add_Name_Response フレームを受信しました。

NBS.004

レベル: C-INFO

短構文: NBS.004 *instance_str*NetBIOS Name_Query received from bridge for *source_nbname* (*source_macaddr*)-> *dest_nbname* (*dest_macaddr*)

長構文: NBS.004 *instance_str*NetBIOS Name_Query received from bridge for source name(MAC) *source_nbname* (*source_macaddr*) -> target name(MAC) *dest_nbname* (*dest_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、ブリッジで結ばれているネットワークから NetBIOS Name_Query フレームを受信しました。

NBS.005

レベル: C-INFO

短構文: NBS.005 *instance_str*NetBIOS Name_Recognized received from bridge for *source_nbname* (*source_macaddr*)-> *dest_nbname* (*dest_macaddr*)

長構文: NBS.005 *instance_str*NetBIOS Name_Recognized received from bridge for source name(MAC) *source_nbname* (*source_macaddr*) -> target name(MAC) *dest_nbname* (*dest_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、ブリッジで結ばれているネットワークから NetBIOS Name_Recognized フレームを受信しました。

NBS.006

レベル: C-INFO

短構文: NBS.006 *instance_str*NetBIOS Name_In_Conflict received from bridge for *source_nbname* (*source_macaddr*)-> *dest_nbname* (*dest_macaddr*)

長構文: NBS.006 *instance_str*NetBIOS Name_In_Conflict received from bridge for source name(MAC) *source_nbname* (*source_macaddr*) -> target name(MAC) *dest_nbname* (*dest_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、ブリッジで結ばれているネットワークから NetBIOS Name_In_Conflict フレームを受信しました。

NBS.007

レベル: C-INFO

短構文: NBS.007 *instance_strNetBIOS Status_Query* received from bridge for *source_nbname (source_macaddr)-> dest_nbname (dest_macaddr)*

長構文: NBS.007 *instance_strNetBIOS Status_Query* received from bridge for source name(MAC) *source_nbname (source_macaddr) -> target name(MAC) dest_nbname (dest_macaddr)*

説明: NetBIOS ソフトウェアが、ブリッジで結ばれているネットワークから NetBIOS Status_Query フレームを受信しました。

NBS.008

レベル: C-INFO

短構文: NBS.008 *instance_strNetBIOS Status_Response* received from bridge for *source_nbname (source_macaddr)-> dest_nbname (dest_macaddr)*

長構文: NBS.008 *instance_strNetBIOS Status_Response* received from bridge for source name(MAC) *source_nbname (source_macaddr) -> target name(MAC) dest_nbname (dest_macaddr)*

説明: NetBIOS ソフトウェアが、ブリッジで結ばれているネットワークから NetBIOS Status_Response フレームを受信しました。

NBS.009

レベル: C-INFO

短構文: NBS.009 *instance_strNetBIOS Datagram* received from bridge for *source_nbname (source_macaddr)-> dest_nbname (dest_macaddr)*

長構文: NBS.009 *instance_strNetBIOS Datagram* received from bridge for source name(MAC) *source_nbname (source_macaddr) -> target name(MAC) dest_nbname (dest_macaddr)*

説明: NetBIOS ソフトウェアが、ブリッジで結ばれているネットワークから NetBIOS Datagram フレームを受信しました。

NBS.010

レベル: C-INFO

短構文: NBS.010 *instance_strNetBIOS Datagram_Broadcast* received from bridge for *source_nbname (source_macaddr)-> dest_nbname (dest_macaddr)*

長構文: NBS.010 *instance_strNetBIOS Datagram_Broadcast*

received from bridge for source name(MAC) *source_nbname (source_macaddr) -> target name(MAC) dest_nbname (dest_macaddr)*

説明: NetBIOS ソフトウェアが、ブリッジで結ばれているネットワークから、NetBIOS Datagram_Broadcast フレームを受信しました。

NBS.011

レベル: C-INFO

短構文: NBS.011 *instance_strNetBIOS Terminate_Trace_07* received from bridge for *source_nbname (source_macaddr)-> dest_nbname (dest_macaddr)*

長構文: NBS.011 *instance_strNetBIOS Terminate_Trace_07* received from bridge for source name(MAC) *source_nbname (source_macaddr) -> target name(MAC) dest_nbname (dest_macaddr)*

説明: NetBIOS ソフトウェアが、ブリッジで結ばれているネットワークから NetBIOS Terminate_Trace_07 フレームを受信しました。

NBS.012

レベル: C-INFO

短構文: NBS.012 *instance_strNetBIOS Terminate_Trace_13* received from bridge for *source_nbname (source_macaddr)-> dest_nbname (dest_macaddr)*

長構文: NBS.012 *instance_strNetBIOS Terminate_Trace_13* received from bridge for source name(MAC) *source_nbname (source_macaddr) -> target name(MAC) dest_nbname (dest_macaddr)*

説明: NetBIOS ソフトウェアが、ブリッジで結ばれているネットワークから NetBIOS Terminate_Trace_13 フレームを受信しました。

NBS.013

レベル: C-INFO

短構文: NBS.013 *instance_strUnrecognized NetBIOS frame* received from bridge for *source_nbname (source_macaddr)-> dest_nbname(dest_macaddr)*

長構文: NBS.013 *instance_strUnrecognized NetBIOS frame* received from bridge for source name(MAC) *source_nbname(source_macaddr) -> target name(MAC) dest_nbname(dest_macaddr)*

説明: NetBIOS ソフトウェアが、ブリッジで結ばれているネットワークから、認識できない NetBIOS フレームを受信しました。

NBS.014

レベル: C-INFO

短構文: NBS.014 *instance_str*NetBIOS Add_Name_Query received from dlsW for *source_nbname(source_macaddr)-> dest_nbname(dest_macaddr)*

長構文: NBS.014 *instance_str*NetBIOS Add_Name_Query received from dlsW for source name(MAC) *source_nbname(source_macaddr) -> target name(MAC) dest_nbname(dest_macaddr)*

説明: NetBIOS ソフトウェアが、DLSw ネットワークから、NetBIOS Add_Name_Query フレームを受信しました。

NBS.015

レベル: C-INFO

短構文: NBS.015 *instance_str*NetBIOS Add_Group_Name_Query received from dlsW for *source_nbname(source_macaddr)-> dest_nbname(dest_macaddr)*

長構文: NBS.015 *instance_str*NetBIOS Add_Group_Name_Query received from dlsW for source name(MAC) *source_nbname(source_macaddr) -> target name(MAC) dest_nbname(dest_macaddr)*

説明: NetBIOS ソフトウェアが、DLSw ネットワークから、NetBIOS Add_Group_Name_Query フレームを受信しました。

NBS.016

レベル: C-INFO

短構文: NBS.016 *instance_str*NetBIOS Add_Name_Response received from dlsW for *source_nbname(source_macaddr)-> dest_nbname(dest_macaddr)*

長構文: NBS.016 *instance_str*NetBIOS Add_Name_Response received from dlsW for source name(MAC) *source_nbname(source_macaddr) -> target name(MAC) dest_nbname(dest_macaddr)*

説明: NetBIOS ソフトウェアが、DLSw ネットワークから、NetBIOS Add_Name_Response フレームを受信しました。

NBS.017

レベル: C-INFO

短構文: NBS.017 *instance_str*NetBIOS Name_Query received from dlsW for *source_nbname(source_macaddr)-> dest_nbname(dest_macaddr)*

長構文: NBS.017 *instance_str*NetBIOS Name_Query received

from dlsW for source name(MAC) *source_nbname(source_macaddr) -> target name(MAC) dest_nbname(dest_macaddr)*

説明: NetBIOS ソフトウェアが、DLSw ネットワークから、NetBIOS Name_Query フレームを受信しました。

NBS.018

レベル: C-INFO

短構文: NBS.018 *instance_str*NetBIOS Name_Recognized received from dlsW for *source_nbname(source_macaddr)-> dest_nbname(dest_macaddr)*

長構文: NBS.018 *instance_str*NetBIOS Name_Recognized received from dlsW for source name(MAC) *source_nbname(source_macaddr) -> target name(MAC) dest_nbname(dest_macaddr)*

説明: NetBIOS ソフトウェアが、DLSw ネットワークから、NetBIOS Name_Recognized フレームを受信しました。

NBS.019

レベル: C-INFO

短構文: NBS.019 *instance_str*NetBIOS Name_In_Conflict received from dlsW for *source_nbname(source_macaddr)-> dest_nbname(dest_macaddr)*

長構文: NBS.019 *instance_str*NetBIOS Name_In_Conflict received from dlsW for source name(MAC) *source_nbname(source_macaddr) -> target name(MAC) dest_nbname(dest_macaddr)*

説明: NetBIOS ソフトウェアが、DLSw ネットワークから、NetBIOS Name_In_Conflict フレームを受信しました。

NBS.020

レベル: C-INFO

短構文: NBS.020 *instance_str*NetBIOS Status_Query received from dlsW for *source_nbname(source_macaddr)-> dest_nbname(dest_macaddr)*

長構文: NBS.020 *instance_str*NetBIOS Status_Query received from dlsW for source name(MAC) *source_nbname(source_macaddr) -> target name(MAC) dest_nbname(dest_macaddr)*

説明: NetBIOS ソフトウェアが、DLSw ネットワークから、NetBIOS Status_Query フレームを受信しました。

NBS.021

レベル: C-INFO

短構文: NBS.021 *instance_strNetBIOS Status_Response* received from dlsf for *source_nbname(source_macaddr)-> dest_nbname(dest_macaddr)*

長構文: NBS.021 *instance_strNetBIOS Status_Response* received from dlsf for source name(MAC) *source_nbname(source_macaddr) -> target name(MAC) dest_nbname(dest_macaddr)*

説明: NetBIOS ソフトウェアが、DLSw ネットワークから、NetBIOS Status_Response フレームを受信しました。

NBS.022

レベル: C-INFO

短構文: NBS.022 *instance_strNetBIOS Datagram* received from dlsf for *source_nbname(source_macaddr)-> dest_nbname(dest_macaddr)*

長構文: NBS.022 *instance_strNetBIOS Datagram* received from dlsf for source name(MAC) *source_nbname(source_macaddr) -> target name(MAC) dest_nbname(dest_macaddr)*

説明: NetBIOS ソフトウェアが、DLSw ネットワークから、NetBIOS Datagram フレームを受信しました。

NBS.023

レベル: C-INFO

短構文: NBS.023 *instance_strNetBIOS Datagram_Broadcast* received from dlsf for *source_nbname(source_macaddr)-> dest_nbname(dest_macaddr)*

長構文: NBS.023 *instance_strNetBIOS Datagram_Broadcast* received from dlsf for source name(MAC) *source_nbname(source_macaddr) -> target name(MAC) dest_nbname(dest_macaddr)*

説明: NetBIOS ソフトウェアが、DLSw ネットワークから、NetBIOS Datagram_Broadcast フレームを受信しました。

NBS.024

レベル: C-INFO

短構文: NBS.024 *instance_strNetBIOS Terminate_Trace_07* received from dlsf for *source_nbname(source_macaddr)-> dest_nbname(dest_macaddr)*

長構文: NBS.024 *instance_strNetBIOS Terminate_Trace_07* received from dlsf for source name(MAC) *source_nbname(*

source_macaddr) -> target name(MAC) dest_nbname(dest_macaddr)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、DLSw ネットワークから NetBIOS Terminate_Trace_07 フレームを受信しました。

NBS.025

レベル: C-INFO

短構文: NBS.025 *instance_strNetBIOS Terminate_Trace_13* received from dlsf for *source_nbname(source_macaddr)-> dest_nbname(dest_macaddr)*

長構文: NBS.025 *instance_strNetBIOS Terminate_Trace_13* received from dlsf for source name(MAC) *source_nbname(source_macaddr) -> target name(MAC) dest_nbname(dest_macaddr)*

説明: NetBIOS ソフトウェアが、DLSw ネットワークから NetBIOS Terminate_Trace_13 フレームを受信しました。

NBS.026

レベル: C-INFO

短構文: NBS.026 *instance_strUnrecognized NetBIOS frame* received from dlsf for *source_nbname(source_macaddr)-> dest_nbname(dest_macaddr)*

長構文: NBS.026 *instance_strUnrecognized NetBIOS frame* received from dlsf for source name(MAC) *source_nbname(source_macaddr) -> target name(MAC) dest_nbname(dest_macaddr)*

説明: NetBIOS ソフトウェアが、DLSw ネットワークから、認識できない NetBIOS フレームを受信しました。

NBS.027

レベル: C-INFO

短構文: NBS.027 *instance_strNetBIOS frame for source_nbname-> dest_nbname* not forwarded to bridge - frame type filter

長構文: NBS.027 *instance_strNetBIOS frame for source name source_nbname -> dest name dest_nbname* not forwarded to bridge due to frame type filter

説明: NetBIOS ソフトウェア・ブリッジ・フレーム・タイプ・フィルターが、ブリッジで結ばれているネットワークに、示されている NetBIOS フレームを転送しませんでした。このフレームは、NetBIOS サポート・ブリッジ・フレーム・タイプ・フィルターによってフィルターされました。

NBS.028

レベル: C-INFO

短構文: NBS.028 *instance_strNetBIOS* frame for *source_nbname*-> *dest_nbname* not forwarded to dlsw - frame type filter

長構文: NBS.028 *instance_strNetBIOS* frame for source name *source_nbname* -> dest name *dest_nbname* not forwarded to DLSw due to frame type filter

説明: ルーターは、示されている NetBIOS フレームが、NetBIOS サポート DLSw フレーム・タイプ・フィルターによってフィルターされたために、そのフレームを DLSw ネットワークに転送しませんでした。

NBS.029

レベル: C-INFO

短構文: NBS.029 *instance_strNetBIOS* frame for *source_nbname*-> *dest_nbname* not forwarded to bridge - no name cache entry

長構文: NBS.029 *instance_strNetBIOS* frame for source name *source_nbname* -> dest name *dest_nbname* not forwarded to bridge due to no matching name cache entry created

説明: ルーターは、示されている NetBIOS フレームが、対応する名前キャッシュ項目を見付けられなかった、あるいは作成できなかったために、そのフレームをブリッジで結ばれているネットワークに転送しませんでした。

NBS.030

レベル: C-INFO

短構文: NBS.030 *instance_strNetBIOS* frame for *source_nbname*-> *dest_nbname* not forwarded to dlsw - no name cache entry

長構文: NBS.030 *instance_strNetBIOS* frame for source name *source_nbname* -> dest name *dest_nbname* not forwarded to dlsw due to no matching name cache entry created

説明: ルーターは、示されている NetBIOS フレームが、対応する名前キャッシュ項目を見付けられなかった、あるいは作成できなかったために、そのフレームを DLSw ネットワークに転送しませんでした。

NBS.031

レベル: C-INFO

短構文: NBS.031 *instance_strNetBIOS* frame for

source_nbname-> *dest_nbname* not forwarded to bridge - command processing

長構文: NBS.031 *instance_strNetBIOS* frame for source name *source_nbname* -> dest name *dest_nbname* not forwarded to bridge due to duplicate command frame processing

説明: ルーターは、示されている NetBIOS フレームを、重複 NetBIOS コマンド・フレームとしてフィルターによって除外したために、そのフレームをブリッジで結ばれているネットワークに転送しませんでした。

NBS.032

レベル: C-INFO

短構文: NBS.032 *instance_strNetBIOS* frame for *source_nbname*-> *dest_nbname* not forwarded to dlsw - command processing

長構文: NBS.032 *instance_strNetBIOS* frame for source name *source_nbname* -> dest name *dest_nbname* not forwarded to dlsw due to duplicate command frame processing

説明: ルーターは、示されている NetBIOS フレームを、重複 NetBIOS コマンド・フレームとしてフィルターによって除外したために、そのフレームを DLSw ネットワークに転送しませんでした。

NBS.033

レベル: C-INFO

短構文: NBS.033 *instance_strNetBIOS* frame for *source_nbname*-> *dest_nbname* not forwarded to bridge - response processing

長構文: NBS.033 *instance_strNetBIOS* frame for source name *source_nbname* -> dest name *dest_nbname* not forwarded to bridge due to no command matching this response

説明: ルーターは、そのルーターがこの応答フレームと一致するコマンド・フレームを見付けられなかったために、示されている NetBIOS フレームをブリッジで結ばれているネットワークに転送しませんでした。

NBS.034

レベル: C-INFO

短構文: NBS.034 *instance_strNetBIOS* frame for *source_nbname*-> *dest_nbname* not forwarded to dlsw - response processing

長構文: NBS.034 *instance_strNetBIOS* frame for source name *source_nbname* -> dest name *dest_nbname* not forwarded to dlsw due to no command matching this response

説明: ルーターは、そのルーターがこの応答フレームと一致するコマンド・フレームを見付けられなかったために、示されている NetBIOS フレームを DLSw ネットワークに転送しませんでした。

NBS.035

レベル: C-INFO

短構文: NBS.035 *instance_str*NetBIOS frame for *source_nbname*-> *dest_nbname* not forwarded to bridge - checking cache

長構文: NBS.035 *instance_str*NetBIOS frame for source name *source_nbname* -> dest name *dest_nbname* not forwarded to bridge due to name cache processing checks

説明: ルーターは、示されている NetBIOS フレームを転送してはならないということが名前キャッシュ処理で示されたために、そのフレームをブリッジで結ばれているネットワークに転送しませんでした。

NBS.036

レベル: C-INFO

短構文: NBS.036 *instance_str*NetBIOS frame for *source_nbname*-> *dest_nbname* not forwarded to dls w - checking cache

長構文: NBS.036 *instance_str*NetBIOS frame for source name *source_nbname* -> dest name *dest_nbname* not forwarded to dls w due to name cache processing checks

説明: ルーターは、示されている NetBIOS フレームを転送してはならないということが名前キャッシュ処理で示されたために、そのフレームを DLSw ネットワークに転送しませんでした。

NBS.037

レベル: C-INFO

短構文: NBS.037 *instance_str*NetBIOS frame for *source_nbname*-> *dest_nbname* not forwarded to bridge - checking other

長構文: NBS.037 *instance_str*NetBIOS frame for source name *source_nbname* -> dest name *dest_nbname* not forwarded to bridge due to other processing checks

説明: ルーターは、示されている NetBIOS フレームをブリッジで結ばれたネットワークに転送しませんでした。ルーターはそのフレームを転送してはならないことが、処理によって示されたためです。

NBS.038

レベル: C-INFO

短構文: NBS.038 *instance_str*NetBIOS frame for *source_nbname*-> *dest_nbname* not forwarded to dls w - checking other

長構文: NBS.038 *instance_str*NetBIOS frame for source name *source_nbname* -> dest name *dest_nbname* not forwarded to dls w due to other processing checks

説明: ルーターは、示されている NetBIOS フレームを転送してはならないということが処理で示されたために、そのフレームを DLSw ネットワークに転送しませんでした。

NBS.039

レベル: C-INFO

短構文: NBS.039 *instance_str*Learning new NetBIOS name / MAC and RIF assoc for *source_nbname* to *source_macaddr/ rif*

長構文: NBS.039 *instance_str*Learning new NetBIOS name to MAC address and RIF association for NetBIOSname *source_nbname* to MAC *source_macaddr* / RIF *rif*

説明: NetBIOS ソフトウェアは、MAC アドレスと RIF を、NetBIOS 名と関連付けています。この関連付けを、NetBIOS Name_Queryys、Name_Recognizeds、および Datagrams で見付けてください。

NBS.040

レベル: C-INFO

短構文: NBS.040 *instance_str*NetBIOS frame for *dest_nbname* modified with new MAC (*dest_macaddr*) and RIF (*rif*)

長構文: NBS.040 *instance_str*NetBIOS frame for destination name *dest_nbname* was modified with the new MAC (*dest_macaddr*) and RIF (*rif*)

説明: ルーターは、キャッシュされた MAC アドレスとルーティング情報 (これが使用可能な場合) を使用して、ブリッジで結ばれたネットワークに転送されるように、NetBIOS フレームを変更しました。この変更は、NetBIOS Name_Queryys、Status_Queryys、Datagrams で行われます。

NBS.041

レベル: C-INFO

短構文: NBS.041 *instance_str*NetBIOS name cache entry created for *nbname*

長構文: NBS.041 *instance_str*NetBIOS name cache entry created for NetBIOS name *nbname*

説明: ルーターは、新しい NetBIOS 名前キャッシュ項目を作成しました。これは、一般的に、NetBIOS Name_Queryys、Status_Queryys、Add_Name_Queryys、Add_Group_Name_Queryys、および Datagrams で行われます。

NBS.042

レベル: C-INFO

短構文: NBS.042 *instance_str*NetBIOS command/response entry created for *nbname*

長構文: NBS.042 *instance_str*NetBIOS command/response entry created for NetBIOS name *nbname*

説明: ルーターは、新しい NetBIOS コマンド/応答項目を作成しました。これは、一般的に、NetBIOS Name_Queryys、Status_Queryys、および Datagrams で行われます。

NBS.043

レベル: UE-ERROR

短構文: NBS.043 *instance_str*NetBIOS name cache entry invalid (reason *reason*) for *nbname*

長構文: NBS.043 *instance_str*NetBIOS name cache entry validation error occurred (reason *reason*) for NetBIOS name *nbname*

説明: 名前キャッシュ項目の妥当性検査で、その項目が無効であることが示されました。すなわち、ある特定のフィールドに、無効な値または無効な値の組み合わせが含まれている、ということです。示される可能性がある理由コードは、以下のとおりです。01 - *nlist_search / name_type* の組み合わせが無効。02 - *entry_type / name_type* の組み合わせが無効。03 - *name_type* の値が無効。

NBS.044

レベル: C-INFO

短構文: NBS.044 *instance_str*NetBIOS name cache entry deleted for *nbname*

長構文: NBS.044 *instance_str*NetBIOS name cache entry deleted for NetBIOS name *nbname*

説明: ルーターは、NetBIOS 名前キャッシュ項目を削除しました。これは、一般的に、その項目が経過時間切れした (古くなった) ために行われます。

NBS.045

レベル: C-INFO

短構文: NBS.045 *instance_str*NetBIOS Support component is active

長構文: NBS.045 *instance_str*NetBIOS Support component is active

説明: NetBIOS ソフトウェアが、活動化され初期化されました。

NBS.046

レベル: UI-ERROR

短構文: NBS.046 no mem to alloc NB flt

長構文: NBS.046 No memory to allocate a NETBIOS Filter

説明: ルーターが、少なくとも 1 つの構成済み NetBIOS フィルターを活動化できなくなります。記憶域が不足しているためです。

原因: 空き記憶域の不足

処置: 記憶域のサイズを増やしてください。

NBS.047

レベル: U-INFO

短構文: NBS.047 *input_output* NB flt lst, port *port_number*, dlted

長構文: NBS.047 *input_output* NETBIOS filter list, for port *port_number*, deleted by user. Filter will not be enabled

説明: すでに構成が済んでいるフィルターの一部であるフィルター・リストが削除されました。そのフィルターを使用可能にできません。

原因: ユーザーの構成の誤り

処置: 削除されたフィルター・リストを再構成してください。

NBS.048

レベル: U-INFO

短構文: NBS.048 *input_output* NB flt configd for port *port_number*, port doesnt exist

長構文: NBS.048 *input_output* NETBIOS filter for port *port_number* is configured, but that port number is not configured

説明: 特定のポートの NetBIOS フィルターが構成されましたが、そのポート番号が構成されていません。

原因: ユーザーの構成の誤り

処置: NetBIOS フィルターを正しいポート番号用のものに再構成するか、NetBIOS フィルター内で構成したポート番号を SRT 構成に追加します。

NBS.049

レベル: C-TRACE

短構文: NBS.049 NB outp pkt fltd *source_mac*-> *dest_mac*,
prt *port*, nt *network*

長構文: NBS.049 NETBIOS Output Packet Filtered -
source_mac-> *dest_mac* , port *port*, network *network*

説明: NetBIOS パケットが、ルーターが NetBIOS フィルター構成レコード内に指定した基準と一致しました。パケットは除去されます。

NBS.050

レベル: UI-ERROR

短構文: NBS.050 no mem to alloc NB cnsl info

長構文: NBS.050 No memory to allocate information for
NETBIOS Filter console display

説明: NetBIOS コンソールの表示を行うルーターの一部が、T 5 処理から完全な表示を行うために十分な記憶域を割り振ることができません。

原因: 空き記憶域の不足

処置: 記憶域のサイズを増やしてください。

第74章 ネットワーク・アドレス変換 (NAT)

この章では、ネットワーク・アドレス変換 (NAT) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

NAT.001

レベル: P-TRACE

短構文: NAT.001 *source_ip_address* ->
destination_ip_address - Prot= *protocol* Flg=x *ip_flags* Dir=
direction

長構文: NAT.001 Translating IP packet from
source_ip_address for *destination_ip_address*; protocol: *protocol*
flags: x *ip_flags* flow: *direction*

説明: NAT によって変換される前の IP パケットのトレース・ポイント

NAT.002

レベル: P-TRACE

短構文: NAT.002 *source_ip_address* ->
destination_ip_address - Status= *status*

長構文: NAT.002 Translated IP packet from
source_ip_address for *destination_ip_address*; packet status:
status

説明: NAT によって変換された後の IP パケットのトレース・ポイント

NAT.003

レベル: P-TRACE

短構文: NAT.003 *source_ip_address* ->
destination_ip_address - ICMP Type= *icmp_type*,Code=
icmp_code

長構文: NAT.003 Translating ICMP packet from
source_ip_address for *destination_ip_address*; ICMP Type
icmp_type - Code *icmp_code*

説明: NAT によって変換される前の ICMP パケットのトレース・ポイント

NAT.004

レベル: P-TRACE

短構文: NAT.004 *source_ip_address*/ *source_udp_port* ->
destination_ip_address/ *destination_udp_port* - UDP

長構文: NAT.004 Translating UDP packet from

source_ip_address/port *source_udp_port* for
destination_ip_address/port *destination_udp_port*

説明: NAT によって変換される前の UDP パケットのトレース・ポイント

NAT.005

レベル: P-TRACE

短構文: NAT.005 *source_ip_address*/ *source_tcp_port* ->
destination_ip_address/ *destination_tcp_port* - TCP

長構文: NAT.005 Translating TCP packet from
source_ip_address/port *source_tcp_port* for
destination_ip_address/port *destination_tcp_port*

説明: NAT によって変換される前の TCP パケットのトレース・ポイント

NAT.006

レベル: P-TRACE

短構文: NAT.006 *source_ip_address*/ *source_port* ->
destination_ip_address/ *destination_port* - *protocol* (x
specific_datax)

長構文: NAT.006 Translating packet from
source_ip_address/port *source_port* for
destination_ip_address/port *destination_port*, protocol *protocol*,
data x *specific_datax*

説明: NAT によって変換される前の高位レイヤー・プロトコル・パケットのトレース・ポイント。FTP の場合、特定データは以前の変換からの現行データ・デルタです。DNS の場合、特定データは、RR の数 (上位ワード) と DNS ヘッダーからのフラグ・フィールド (下位ワード) です。

NAT.007

レベル: UI-ERROR

短構文: NAT.007 *source_ip_address*/ *source_tcp_port* ->
destination_ip_address/ *destination_tcp_port* - No mem for
TCP entry

長構文: NAT.007 No memory available to create new TCP
session entry from *source_ip_address*/port *source_tcp_port* for
destination_ip_address/port *destination_tcp_port*

説明: NAT 用の新しい TCP セッション・エントリーを作成するために利用可能な記憶域がありません。

原因: この構成をサポートできる十分な記憶域がありません。

処置: アップグレードして記憶域を増やすか、構成を削減してください。

NAT.008

レベル: UI-ERROR

短構文: NAT.008 Private= *private_ip_address* Public= *public_ip_address* - TCP entry not deleted

長構文: NAT.008 Given TCP entry (PrivateIP= *private_ip_address*, PublicIP= *public_ip_address*) not found and deleted from TCP session list

説明: 指定の TCP エントリーが見つからず、NAT によって監視されているアクティブ TCP セッションのリストから削除できませんでした。

原因: 内部 NAT エラー

処置: NAT の構成を検査してください。これが有効である場合は、サービス技術員に連絡してください。

NAT.009

レベル: UI-ERROR

短構文: NAT.009 *source_ip_address/ source ftp_port -> destination_ip_address/ destination ftp_port* - FTP/TCP not tracked

長構文: NAT.009 Active FTP session from *source_ip_address/port source ftp_port* for *destination_ip_address/port destination ftp_port* not being monitored by NAT

説明: アクティブ FTP セッションが NAT によって監視されていません。NAPT が使用されている場合、NAT はすべてのアクティブ TCP セッションを監視する必要があります。

原因: 内部 NAT エラー

処置: NAT の構成を検査してください。これが有効である場合は、サービス技術員に連絡してください。

NAT.010

レベル: UE-ERROR

短構文: NAT.010 *source_ip_address/ source ftp_port -> destination_ip_address/ destination ftp_port* - FTP <host-port> trans fail - state= *tcp_state*

長構文: NAT.010 Translation of FTP <host-port> string

failed for session from *source_ip_address/port source ftp_port* for *destination_ip_address/port destination ftp_port* - TCP State *tcp_state*

説明: 無効な <host-port> 文字列が、FTP PORT または PASV コマンドの中で NAT によって検出されました。

原因: IP パケットで、誤動作する FTP アプリケーションまたは破壊された FTP データを受け取りました。

処置: ネットワークと FTP アプリケーションの整合性を検査してください。

NAT.011

レベル: UE-ERROR

短構文: NAT.011 Bad FTP <host-port> string: *ftp_host_port_string*

長構文: NAT.011 NAT tried to translate an invalid FTP <host-port> string: *ftp_host_port_string*

説明: 無効な <host-port> 文字列が、FTP PORT または PASV コマンドの中で NAT によって検出されました。

原因: IP パケットで、誤動作する FTP アプリケーションまたは破壊された FTP データを受け取りました。

処置: ネットワークと FTP アプリケーションの整合性を検査してください。

NAT.012

レベル: UI-ERROR

短構文: NAT.012 *base_ip_address- range_mask* - No mem for NAT range entry

長構文: NAT.012 No memory available to create new Translate Range entry for Base Address *base_ip_address* Mask *range_mask*

説明: NAT 用の新しい変換範囲エントリーを作成するために利用可能な記憶域がありません。

原因: この構成をサポートできる十分な記憶域がありません。

処置: アップグレードして記憶域を増やすか、構成を削減してください。

NAT.013

レベル: UE-ERROR

短構文: NAT.013 Bad Reserve Pool: *pool_name*, *starting_ip_address*, *pool_mask*, *pool_size*: *error_msg*

長構文: NAT.013 NAT Reserve Pool *pool_name* misconfigured: StartAddr= *starting_ip_address* Mask= *pool_mask* Size= *pool_size*: *error_msg*

説明: NAT の初期化時に、予約プールの無効な値が検出されました。

原因: NAT 予約プールについて、プール・サイズがない、プール・マスクがない、または重複する予約アドレスが構成されたかのいずれかです。

処置: NAT の構成を訂正してください。

NAT.014

レベル: UE-ERROR

短構文: NAT.014 Multiple NaptAddr ReservePool: *pool_name*, *napt_ip_address*, *napt_ip_address*

長構文: NAT.014 NAT Reserve Pool *pool_name* configured with multiple NAPT addresses: NaptAddr= *napt_ip_address* NewNaptAddr= *napt_ip_address*

説明: NAT の初期化時に、単一の予約プールに対して複数の NAPT アドレスが検出されました。

原因: NAT に対して複数の NAPT アドレスが構成されました。 1 つしか許されません。

処置: NAT の構成を訂正してください。

NAT.015

レベル: UI-ERROR

短構文: NAT.015 *pool_name* - No mem for Reserve Pool entry

長構文: NAT.015 No memory available to create new Reserve Pool entry for Pool *pool_name*

説明: NAT 用の新しい予約プール・エントリーを作成するために利用可能な記憶域がありません。

原因: この構成をサポートできる十分な記憶域がありません。

処置: アップグレードして記憶域を増やすか、構成を削減してください。

NAT.016

レベル: UI-ERROR

短構文: NAT.016 *pool_name* - Reserve Pool entry not deleted

長構文: NAT.016 Given Reserve Pool *pool_name* not found and deleted from Reserve Pool list

説明: 指定の予約プール・エントリーが見つからず、NAT が保管している予約プールのリストから削除できませんでした。

原因: 内部 NAT エラー

処置: NAT の構成を検査してください。これが有効である場合は、サービス技術員に連絡してください。

NAT.017

レベル: UE-ERROR

短構文: NAT.017 *pool_name* <- *base_ip_address* - Assoc Reserve Pool not found for NAT range

長構文: NAT.017 Associated Reserve Pool *pool_name* not found for configured Translate Range *base_ip_address*

説明: NAT の初期化時に変換範囲が検出されましたが、既存の関連付けられた予約プールが含まれていません。

原因: NAT 適格の IP アドレスの範囲が、存在しない関連の予約プールを含めるように構成されました。

処置: NAT の構成を訂正してください。

NAT.018

レベル: CI-ERROR

短構文: NAT.018 *ip_address* - not removed from Reserve Pool

長構文: NAT.018 Given IP Address *ip_address* not found and removed from Reserve Pool list

説明: 指定の公衆 IP アドレスが見つからず、NAT が保管している利用可能な予約 IP アドレスのリストから削除できませんでした。

原因: 内部 NAT エラー

処置: NAT の構成を検査してください。これが有効である場合は、サービス技術員に連絡してください。

NAT.019

レベル: CI-ERROR

短構文: NAT.019 *source_ip_address* -> *destination_ip_address* - NAT not enabled

長構文: NAT.019 Request to translate IP packet from *source_ip_address* for *destination_ip_address*, but NAT not enabled

説明: おそらく NAT 構成エラーが原因で、NAT が使用可能になりませんでした。そのため、アクセス制御はパケットの変換を指示していましたが、変換は実行されませんでした。

原因: おそらく NAT 構成エラー

処置: NAT の構成を再検査して、エラー/矛盾を訂正してください。

NAT.020

レベル: U-INFO

短構文: NAT.020 Private= *private_ip_address* - no BasicNAT addr avail for non-TCP/UDP pkt

長構文: NAT.020 Private IP Address *private_ip_address* trying to use Basic NAT for a non-TCP/UDP packet, but none available

説明: 私設ネットワークから開始された非 TCP/UDP セッションが NAT の使用を試みましたが、利用可能な基本 NAT 公衆 IP アドレスがありませんでした。

原因: NAT が利用可能な公衆 IP アドレスがありませんでした。

処置: 構成を変更して、NAT が使用できる公衆 IP アドレスを増やしてください。

NAT.021

レベル: UI-ERROR

短構文: NAT.021 Private= *private_ip_address* - no Assoc Reserve Pool for NAPT

長構文: NAT.021 Private IP Address *private_ip_address* trying to use NAPT but does not have an associated Reserve Pool

説明: 私設ネットワークから開始されたセッションが、NAPT アドレスを使用するために NAT によってマップされましたが、使用する関連の予約プールが指定されていませんでした。

原因: 内部 NAT エラー

処置: NAT の構成を検査してください。これが有効である場合は、サービス技術員に連絡してください。

NAT.022

レベル: U-INFO

短構文: NAT.022 Private= *private_ip_address* - no BasicNAT/NAPT addr avail for use

長構文: NAT.022 Private IP Address *private_ip_address* trying to use Basic NAT or NAPT, but none available

説明: 私設ネットワークから受信した IP パケットが NAT の使用を試みましたが、利用可能な基本 NAT または NAPT 公衆 IP アドレスがありませんでした。

原因: NAT が利用可能な構成済みの公衆 IP アドレスがありませんでした。

処置: 構成を変更して、NAT が使用できる公衆 IP アドレスを増やしてください。

NAT.023

レベル: UI-ERROR

短構文: NAT.023 *direction*/Hash= *hash_value* - no 1st entry to remove

長構文: NAT.023 No NAT entry to remove from the *direction* NAT Table at position *hash_value*

説明: 指定の NAT エントリーが見つからず、NAT が保管しているエントリーのリストから削除できませんでした。

原因: 内部 NAT エラー

処置: NAT の構成を検査してください。これが有効である場合は、サービス技術員に連絡してください。

NAT.024

レベル: UE-ERROR

短構文: NAT.024 Private: *private_ip_address*/ *private_port*, *private_pool_name*<->Public: *public_ip_address*/ *public_port*, *public_pool_name* - static map failed: *reason*

長構文: NAT.024 Static mapping (Private: *private_ip_address*/ *private_port*, pool= *private_pool_name*<->Public: *public_ip_address*/ *public_port*, pool= *public_pool_name*) failed: *reason*

説明: 失敗した NAT 初期化時に、静的マッピングが検出されました。このマッピングは、マップされる私設 IP アドレスに関連付けられた構成済み予約プールと矛盾している可能性があります。あるいは、指定されたアドレスの 1 つがすでにバインド済みである可能性もあります。

原因: NAT に対して無効な静的マッピングが構成されました。

処置: NAT の構成を訂正してください。

NAT.025

レベル: C-INFO

短構文: NAT.025 proxy ARP rsp for NAT: *ip_address*

長構文: NAT.025 Proxy ARP for NAT is responding to an ARP request for IP address *ip_address*

説明: NAT のプロキシ ARP は、NAT が予約した IP アドレスに対する ARP 要求に応答しています。

NAT.026

レベル: UI-ERROR

短構文: NAT.026 *ip_address/ port_number* - duplicate key added *direction*

長構文: NAT.026 A duplicate key (IpAddr=*ip_address*/Port= *port_number*) has been added to the *direction* NAT Table

説明: 重複する NAT エントリーが、NAT によって保管されているエントリーのリストに追加されました。

原因: 内部 NAT エラー

処置: NAT の構成を検査してください。これが有効である場合は、サービス技術員に連絡してください。

NAT.027

レベル: UI-ERROR

短構文: NAT.027 *ip_address/ port_number* - entry not removed *direction*

長構文: NAT.027 Given NAT entry (IpAddr=*ip_address*/Port= *port_number*) not removed from the *direction* NAT Table

説明: 指定の NAT エントリーが見つからず、NAT が保管しているエントリーのリストから削除できませんでした。

原因: 内部 NAT エラー

処置: NAT の構成を検査してください。これが有効である場合は、サービス技術員に連絡してください。

NAT.028

レベル: UI-ERROR

短構文: NAT.028 Private: *private_ip_address/ private_port*
Public: *public_ip_address/ public_port* - no mem for entry

長構文: NAT.028 No memory available to create new NAT entry for Private *private_ip_address*/port *private_port* - Public *public_ip_address*/port *public_port*

説明: NAT 用の新しい変換エントリーを作成するために利用可能な記憶域がありません。

原因: この構成/トラフィック負荷をサポートできる十分な記憶域がありません。

処置: アップグレードして記憶域を増やすか、構成/トラフィックを削減してください。

NAT.029

レベル: UI-ERROR

短構文: NAT.029 No NAT entry given to unbind

長構文: NAT.029 No NAT entry given to removed from the NAT Table

説明: NAT テーブルから削除するための NAT エントリーが指定されませんでした。

原因: 内部 NAT エラー

処置: NAT の構成を検査してください。これが有効である場合は、サービス技術員に連絡してください。

NAT.030

レベル: UI-ERROR

短構文: NAT.030 *ip_address/ port_number* - STATIC entry being unbound

長構文: NAT.030 Statically defined entry (*ip_address*/Port= *port_number*) is trying to get unbound

説明: NAT によって静的マッピングのアンバインドが行われています。

原因: 内部 NAT エラー

処置: NAT の構成を検査してください。これが有効である場合は、サービス技術員に連絡してください。

NAT.031

レベル: C-INFO

短構文: NAT.031 *ip_address/ port_number* - unbound *direction*

長構文: NAT.031 Given NAT entry (IpAddr=*ip_address*/Port= *port_number*) removed from the *direction* NAT Table

説明: 指定の NAT エントリーが見つかり、NAT が保管しているエントリーのリストから削除されました。

NAT.032

レベル: UI-ERROR

短構文: NAT.032 NAT init failed

長構文: NAT.032 Initialization of NAT failed

説明: NAT が内部データ構造を初期化しているときに障害が起きました。

原因: 構成エラー、または内部 NAT 処理エラー

処置: この前に表示された ELS メッセージを検査して、

初期化に障害が起きた理由についての詳しい情報を入手してください。

NAT.033

レベル: UI-ERROR

短構文: NAT.033 Return of NAT mem failed

長構文: NAT.033 Returning of all NAT memory failed

説明: NAT が記憶域をシステムに戻しているときに障害が起きました。

原因: 内部 NAT 処理エラー

処置: この前に表示された ELS メッセージを検査して、記憶域を戻すときに障害が起きた理由についての詳しい情報を入手してください。

NAT.034

レベル: UI-ERROR

短構文: NAT.034 No mem for frag chain *fragment_id*: *source_ip_address* -> *destination_ip_address*

長構文: NAT.034 No memory available to track new IP fragment chain *fragment_id* from *source_ip_address* for *destination_ip_address*

説明: NAT 用の新しい IP 断片エントリを作成するために利用可能な記憶域がありません。

原因: この構成をサポートできる十分な記憶域がありません。

処置: アップグレードして記憶域を増やすか、構成を削減してください。

NAT.035

レベル: U-INFO

短構文: NAT.035 1st frag lost in chain *fragment_id*: *source_ip_address* -> *destination_ip_address*

長構文: NAT.035 The first IP fragment packet was assumed to be lost for chain *fragment_id* from *source_ip_address* for *destination_ip_address*

説明: 一連の断片の中の最初の IP 断片が損失しました。

原因: ネットワーク内でパケットが損失しています。

処置: ネットワークの性能を検査し、輻輳 (ふくそう) している区域を調べてください。

NAT.036

レベル: UI-ERROR

短構文: NAT.036 *source_ip_address* -> *destination_ip_address* - Cannot trans pkt using frag *fragment_chain_key*

長構文: NAT.036 Cannot translate packet from *source_ip_address* to *destination_ip_address* using tracked IP fragment for *fragment_chain_key*

説明: NAT は、追跡した断片チェーンから保管された情報を使用して IP パケットを変換することができませんでした。

原因: 内部 NAT エラー

処置: NAT の構成を検査してください。これが有効である場合は、サービス技術員に連絡してください。

NAT.037

レベル: C-INFO

短構文: NAT.037 track frag chain *fragment_id*/*source_ip_address* -> *destination_ip_address*

長構文: NAT.037 NAT is tracking fragment chain *fragment_id* from *source_ip_address* to *destination_ip_address*

説明: NAT は、断片チェーンの追跡を開始しています。

NAT.038

レベル: C-INFO

短構文: NAT.038 saving frag *fragment_id*/*source_ip_address* -> *destination_ip_address*

長構文: NAT.038 NAT is saving a fragment *fragment_id* from *source_ip_address* to *destination_ip_address*

説明: NAT は、最初の断片からの情報が得られないために、現行の断片を処理できません。NAT は現行の断片を保管し、最初の断片の到着を待ちます。

NAT.039

レベル: C-INFO

短構文: NAT.039 freeing saved frag *fragment_id*/*ip_address* saved port *saved_port*

長構文: NAT.039 NAT is freeing saved fragment *fragment_id* from *ip_address* saved port *saved_port*

説明: NAT は、保管した IP 断片を解放しています。

NAT.040

レベル: C-INFO

短構文: NAT.040 process saved frag *fragment_id/ ip_address* saved port *saved_port*

長構文: NAT.040 NAT is processing saved fragment *fragment_id* from *ip_address* saved port *saved_port*

説明: NAT は、保管した IP 断片を処理しています。

NAT.041

レベル: C-INFO

短構文: NAT.041 stopped tracking frag chain *fragment_id/ ip_address* saved port *saved_port*

長構文: NAT.041 NAT is stopping tracking of fragment chain *fragment_id: ip_address* saved port *saved_port*

説明: NAT はもう IP 断片チェーンを追跡していません。

NAT.042

レベル: C-INFO

短構文: NAT.042 *source_ip_address -> destination_ip_address*: modified IP option x *ip_option*

長構文: NAT.042 NAT modified packet going from *source_ip_address* to *destination_ip_address* with IP option x *ip_option*

説明: NAT は、IP ヘッダー・オプション・フィールドに入っている IP アドレスを変更しました。

NAT.043

レベル: U-INFO

短構文: NAT.043 *source_ip_address -> destination_ip_address*: dropped because of IP option x *ip_option*

長構文: NAT.043 Packet from *source_ip_address* to *destination_ip_address* was dropped by NAT because of IP option x *ip_option*

説明: IP オプションを含む IP パケットが NAT の使用を試みましたが、利用可能な基本 NAT 公衆 IP アドレスがありませんでした。

原因: NAT が利用可能な公衆 IP アドレスがありませんでした。

処置: 構成を変更して、NAT が使用できる公衆 IP アドレスを増やしてください。

NAT.044

レベル: C-INFO

短構文: NAT.044 *source_ip_address/ source_port -> destination_ip_address/ destination_port*: delta: *data_delta*, modified FTP data: *ftp_data*

長構文: NAT.044 NAT modified FTP data going from *source_ip_address/ source_port* to *destination_ip_address/ destination_port* with delta *data_delta*, FTP data *ftp_data*

説明: NAT は、TCP パケット内の FTP データを変更しました。

NAT.045

レベル: UI-ERROR

短構文: NAT.045 dup 1st pkts in frag chain *fragment_id(saved_port)*: *source_ip_address -> destination_ip_address*

長構文: NAT.045 NAT has received duplicate 1st packets in fragment chain *fragment_id* (saved port *saved_port*) from *source_ip_address* to *destination_ip_address*

説明: NAT は、断片チェーン内の最初のパケットを重複して受信しました。

原因: ネットワーク内でパケットが破壊されています。

処置: ネットワークとネットワーク装置を検査してください。

NAT.046

レベル: C-INFO

短構文: NAT.046 *description: private_ip_address* to *public_ip_address*

長構文: NAT.046 NAT modified data: *description*: from *private_ip_address* to *public_ip_address*

説明: NAT は、IP データ内の IP アドレスを変換しました。

NAT.047

レベル: C-INFO

短構文: NAT.047 Private= *private_ip_address* Public= *public_ip_address* - TCP entry deleted

長構文: NAT.047 Given TCP entry (PrivateIP= *private_ip_address*, PublicIP= *public_ip_address*) deleted from TCP session list

説明: 指定の TCP エントリーが見つかり、NAT によって監視されているアクティブ TCP セッションのリストから削除されました。

NAT.048

レベル: C-INFO

短構文: NAT.048 NAT dropping packet: *reason*

長構文: NAT.048 NAT dropping packet: *reason*

説明: NAT は、指摘されている理由で IP パケットを廃棄しています。

第75章 ネットワーク・ディスパッチャー・ルーター (NDR)

この章では、ネットワーク・ディスパッチャー・ルーター (NDR) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

NDR.001

レベル: P-TRACE

短構文: NDR.001 rcv *source_ip_address* ->
destination_ip_address

長構文: NDR.001 Receiving packet from *source_ip_address*
for *destination_ip_address*

説明: このメッセージは、第1レベル合理性検査に合格した各パケットに対して生成されます。

NDR.002

レベル: C-TRACE

短構文: NDR.002 frg pkt *source_ip_address* ->
destination_ip_address

長構文: NDR.002 Packet from *source_ip_address* for
destination_ip_address requires fragmentation

説明: このメッセージは、伝送するために IP パケットを断片化する必要がある場合に生成されます。

NDR.003

レベル: UE-ERROR

短構文: NDR.003 LL broadcast *source_ip_address* ->
destination_ip_address, discarded

長構文: NDR.003 Received link level broadcast from
source_ip_address for *destination_ip_address*, discarded

説明: このメッセージは、リンク・レベルの同報通信/マルチキャストとして受信した IP パケットを転送しようとした場合に生成されます。そのようなパケットは転送されず、ICMP メッセージを発信元に送り返すこともせず、廃棄されます。

NDR.004

レベル: CE-ERROR

短構文: NDR.004 TTL zero *source_ip_address* ->
destination_ip_address

長構文: NDR.004 Time-to-live expired on packet from
source_ip_address for *destination_ip_address*

説明: このメッセージは、活動時間が満了したためにパ

ケットが廃棄された場合に生成されます。

原因: パケットは、発信元が IP ヘッダーの活動時間フィールドに入れた初期値よりも多くのルーターを経由しました。旧型システムの多くは 15 または 30 の値を使用していますが、これは標準に適合しておらず、現行ネットワークには小さ過ぎることがしばしばあります。

処置: 活動時間の初期値を大きくしてください。

原因: パケットはルーティング・ループに入ってしまった、活動時間が満了するまで、一連のルーターを何回も巡回しています。

処置: パケットの発信元からあて先までのルートを検査して、ループがないかどうかを調べてください。ただし、一部のルーティング・プロトコルでは、ルートのタイマー満了により、一時的なループは避けられません。

NDR.005

レベル: CI-ERROR

短構文: NDR.005 pkt *source_ip_address* ->
destination_ip_address dsc rsn *reason_code*, nt *Network ID*

長構文: NDR.005 Packet from *source_ip_address* for
destination_ip_address discarded for reason
reason_code, network *Network ID*

説明: 指定のネットワークでパケットを送信しようとしたが、そのネットワークでの転送は受け入れられませんでした。reason_code に、パケットが受け入れられなかった理由が示されています。理由がフロー制御の場合、ICMP 発信元抑制が送信側に送られます。それ以外の場合は、ICMP あて先到達不能が送られます。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、network_name を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたは不正な同報通信を回避するためにハ

ンドラーによって廃棄された (理由コード 4)

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

NDR.006

レベル: C-INFO

短構文: NDR.006 New cnct rqst *r_a remote_addr r_p remote_port l_p local_port nd local_addr*

長構文: NDR.006 New connection request *r_a remote_addr r_p remote_port l_p local_port node local_addr*

説明: 新規の接続要求が確立されました。

NDR.007

レベル: UE-ERROR

短構文: NDR.007 no cnct *r_a remote_addr r_p remote_port l_a local_addr l_p local_port flg flags*

長構文: NDR.007 no connection *r_a remote_addr r_p remote_port l_a local_addr l_p local_port flg flags*

説明: このパケットが到着しているのが、NDR に接続レコードがない接続の場合です。

処置: エラー・カウンタを増分し、ローカルで処理してください。

NDR.008

レベル: C-TRACE

短構文: NDR.008 fwd fr *client_addr cl cluster_addr pt port_id srv server_addr*

長構文: NDR.008 Forward from *client_addr* for cluster *cluster_addr* port *port_id* to server *server_addr*

説明: TCP パケットがサーバーに転送されます。

NDR.009

レベル: C-TRACE

短構文: NDR.009 found FTP CTRL connection

長構文: NDR.009 found FTP CTRL connection

説明: FTP CTRL 接続を検出しました。

NDR.010

レベル: UE-ERROR

短構文: NDR.010 no srv fnd src *remote_addr clst local_addr pt local_port*

長構文: NDR.010 no server found for source *remote_addr* cluster *local_addr* port *local_port*

説明: このパケットが到着しているのが、NDR に接続レコードがない接続の場合です。

処置: エラー・カウンタを増分し、ローカルで処理してください。

NDR.011

レベル: UE-ERROR

短構文: NDR.011 unexp SYN src *remote_addr clst local_addr pt local_port srv server_addr*

長構文: NDR.011 unexpected SYN source *remote_addr* cluster *local_addr* port *local_port* server *server_addr*

説明: 予期しない SYN ピットがパケット内に設定されています。

処置: サーバーにその解決を依頼してください。

NDR.012

レベル: C-TRACE

短構文: NDR.012 clean up everything older than the limit.

長構文: NDR.012 clean up everything older than the limit

説明: 限界より古いものをすべて終結処理します。

NDR.013

レベル: UE-ERROR

短構文: NDR.013 bad INCONN rd rtn *remote_addr rmt pt remote_port*

長構文: NDR.013 bad INCONN record returned source *remote_addr* remote post *remote_port*

説明: 不正な INCONN レコードが戻されました。

処置: 実行を続けてください。

NDR.014

レベル: P-TRACE

短構文: NDR.014 rcv frg pkt src *source_ip_address* dst *destination_ip_address*

長構文: NDR.014 Receiving fragment packet from source *source_ip_address* for destination *destination_ip_address*

説明: 断片パケットを受信します。

NDR.015

レベル: P-TRACE

短構文: NDR.015 last frg pkt src *source_ip_address* dst *destination_ip_address*

長構文: NDR.015 Last fragment packet from source *source_ip_address* for destination *destination_ip_address*

説明: 断片パケットを受信します。

NDR.016

レベル: P-TRACE

短構文: NDR.016 first frg pkt src *source_ip_address* dst *destination_ip_address*

長構文: NDR.016 First fragment packet from source *source_ip_address* for destination *destination_ip_address*

説明: 断片パケットを受信します。

NDR.017

レベル: P-TRACE

短構文: NDR.017 fwd frg pkt pkt src *source_ip_address* dst *destination_ip_address* srv *server_addr*

長構文: NDR.017 Forward a fragment packet from source *source_ip_address* for destination *destination_ip_address* server *server_addr*

説明: 断片パケットをサーバーに転送します。

NDR.018

レベル: UI-ERROR

短構文: NDR.018 discd pkt src *source_ip_address* dst *destination_ip_address*

長構文: NDR.018 discard packet source *source_ip_address* destination *destination_ip_address*

説明: パケットを廃棄します。

NDR.019

レベル: P-TRACE

短構文: NDR.019 Rply ARP clst *cluster_addr*

長構文: NDR.019 Reply ARP request for cluster *cluster_addr*

説明: ARP 要求のクラスター・アドレスが見つかりました。

NDR.020

レベル: UI-ERROR

短構文: NDR.020 ARP rqst for clst *cluster_addr* not fnd

長構文: NDR.020 ARP request for cluster *cluster_addr* is not found.

説明: ARP 要求のクラスター・アドレスが見つかりません。

NDR.021

レベル: P-TRACE

短構文: NDR.021 adv *adv_name* on prt *adv_port* created.

長構文: NDR.021 advisor *adv_name* on port *adv_port* created

説明: アドバイザーが作成されます。

NDR.022

レベル: P-TRACE

短構文: NDR.022 adv *adv_name* on prt *adv_port* destroyed.

長構文: NDR.022 advisor *adv_name* on port *adv_port* destroyed

説明: アドバイザーが破棄されます。

NDR.023

レベル: UI-ERROR

短構文: NDR.023 err adding adv *adv_name* on prt *adv_port*

長構文: NDR.023 error in adding advisor *adv_name* on port *adv_port*

説明: アドバイザーを追加できません。ポートがすでに使用中であるためか、アドバイザー・テーブルがいっぱいになっているためか、いずれかです。指定されたポート上にアドバイザーが確立できませんでした。

NDR.024

レベル: UI-ERROR

短構文: NDR.024 err in adv *adv_name* on prt *adv_port*

長構文: NDR.024 error in advisor *adv_name* on port *adv_port*

説明: アドバイザー上にエラーが発生しています。エラーは、アドバイザーが、ホスト・リスト接続用のソケットの作成に失敗したか、マネージャー・ホスト・リスト・ポートへの接続に失敗したか、ホスト・リスト接続に関して許可の正常な送信に失敗したか、ホスト・リス

ト・コマンドの書き込みに失敗したか、ホスト・リスト接続に対する許可に失敗したか、ホストのカウントの読み取りに失敗したか、ホストのアドレスの読み取りに失敗したか、いずれかです。

NDR.025

レベル: P-TRACE

短構文: NDR.025 adv mk cnntn on lcl addr *ip_addr* prt *port_number*

長構文: NDR.025 advisor makes connection on addr *ip_addr* and port *port_number*

説明: アドバイザーは接続を作成中です。

NDR.026

レベル: UI-ERROR

短構文: NDR.026 adv: sckt err code *error_code*

長構文: NDR.026 advisor: socket error code *error_code*

説明: アドバイザーにソケット・エラーがあります。

NDR.027

レベル: UI-ERROR

短構文: NDR.027 adv: cnntn fld on prt *port_number*

長構文: NDR.027 advisor: connection failed on port *port_number*

説明: アドバイザーは接続の作成に失敗しました。

NDR.028

レベル: UI-ERROR

短構文: NDR.028 mgr: host not in table

長構文: NDR.028 manager: Tried to get the info on a host that is not in the table

説明: テーブル内にないホストに関する情報の入手を試行しました。

NDR.029

レベル: UI-ERROR

短構文: NDR.029 mgr: Error reading metric report

長構文: NDR.029 manager: Error reading metric report.

説明: メトリック・レポート・データ、または送信されたメトリックの数、またはポート番号の読み取りにエラーがあります。

NDR.030

レベル: C-INFO

短構文: NDR.030 mgr: Metric table has been updated.

長構文: NDR.030 manager: Metric table has been updated.

説明: メトリック・テーブルが更新されました。

NDR.031

レベル: P-TRACE

短構文: NDR.031 mgr: compute *comp_type* prop: *host_name* *host_weight* *host_totalweight* *host_weight_prop*

長構文: NDR.031 manager: compute *comp_type* proportions : *host_name* *host_weight* *host_totalweight* *host_weight_prop*

説明: 比率の計算中です。

NDR.032

レベル: P-TRACE

短構文: NDR.032 mgr: Port *port_number* has been updated

長構文: NDR.032 manager: Port *port_number* has been updated

説明: ポートが更新されました。

NDR.033

レベル: P-TRACE

短構文: NDR.033 ha: prev: *prev_state* evt: *event* cur: *cur_state*

長構文: NDR.033 High Availability: previous: *prev_state* event: *event* current: *cur_state*

説明: 状態変更

NDR.034

レベル: UI-ERROR

短構文: NDR.034 ha: err in State *backup_state* Event *event*

長構文: NDR.034 High Availability: error in State *backup_state* Event *event*

説明: HA のエラー

NDR.035

レベル: UI-ERROR

短構文: NDR.035 ha: err in State *backup_state* Event *event*

長構文: NDR.035 High Availability: error in State *backup_state* Event *event*

説明: HA のエラー

NDR.036

レベル: C-INFO

短構文: NDR.036 ha: Send Gratuitous ARP for : *vec_address*

長構文: NDR.036 High Availability: Send Gratuitous ARP for : *vec_address*

説明: ARP 要求に対する応答

NDR.037

レベル: C-INFO

短構文: NDR.037 ha: Send *pkt cmd*

長構文: NDR.037 High Availability: Send packet *cmd*

説明: パケットを送信します。

NDR.038

レベル: C-INFO

短構文: NDR.038 ha: rcv *pkt cmd*

長構文: NDR.038 High Availability: receive packet *cmd*

説明: パケットを受信します。

NDR.039

レベル: UI-ERROR

短構文: NDR.039 internal IP addr is not set

長構文: NDR.039 internal IP address is not set.

説明: アドバイザーがマネージャーとの通信をオープンできるようにするために、内部 IP アドレスを設定する必要があります。

NDR.040

レベル: UE-ERROR

短構文: NDR.040 err msg: *ec msg*

長構文: NDR.040 error message: *ec msg*

説明: エラー・メッセージが *setuerror* 機能によって設定されました。

NDR.041

レベル: UE-ERROR

短構文: NDR.041 No mem avail for init.

長構文: NDR.041 No memory available for initialization.

説明: ヒープから割り振るための十分な記憶域がありません。

NDR.042

レベル: C-INFO

短構文: NDR.042 mgr: Invld mtrc rpt rcvd.

長構文: NDR.042 manager: Invalid metric report received. Report ignored.

説明: アドバイザーから受信したメトリック・レポートは、有効とはみなされません。メトリック・レポートは無視されました。

NDR.043

レベル: UE-ERROR

短構文: NDR.043 Total no. of unique srvr IP addr. exceeds *max_unique_servers*. Disabling the NDR

長構文: NDR.043 Total no. of unique server IP addresses exceeds *max_unique_servers*. Disabling the NDR

説明: 構成された物理サーバー (それぞれ固有なサーバー IP アドレスを持っています) が多過ぎます。これらの物理サーバーはそれぞれ、多くのクラスターとポートのもとで構成できることに注意してください。また、このような状況が検出されるたびにネットワーク・ディスパッチャーが使用不可にされることにも注意してください。

処置: 構成を変更し、物理サーバー (各サーバーに固有なサーバー IP アドレスが付いています) の合計数が、示されたプラットフォームに許可される最大数を超過していないことを確認してください。

NDR.044

レベル: UE-ERROR

短構文: NDR.044 Total no. of srvr for port no. *port_no* exceeds *max_servers_per_port*. Disabling the NDR

長構文: NDR.044 Total no. of server for port number *port_no* exceeds *max_servers_per_port*. Disabling the NDR

説明: 特定のポート番号に構成されたサーバーが多過ぎました。固有の物理サーバー (固有のサーバー IP アドレスが付いています) を、複数のクラスター上の特定のポートのもとで構成できること、各インスタンスは、示されたプラットフォームに許可される最大限度に向かってカウントされることに注意してください。また、このような状況が検出されるたびにネットワーク・ディスパッチャーが使用不可にされることにも注意してください。

処置: 構成を変更してください。

NDR.045

レベル: UE-ERROR

短構文: NDR.045 Error:Srvr addr *server_ip_address* is same as cluster address. Disabling the NDR

長構文: NDR.045 Error:Server address *server_ip_address* is same as cluster address. Disabling the NDR

説明: サーバー・アドレスとクラスター・アドレスが固有ではありません。

処置: 構成を変更してください。

第76章 IPv6 用の近隣発見プロトコル (NDP6)

この章では、IPv6 用の近隣発見プロトコル (NDP6) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

NDP6.001

レベル: P-TRACE

短構文: NDP6.001 unknown dest protocol address net network ID

長構文: NDP6.001 Unknown destination protocol address net network ID

説明: このメッセージは、近隣発見要求が不明のプロトコル・アドレスを指定している場合 (すなわち、このルーターに対する要求でない場合) に生成されます。

原因: このネットワーク上の、このルーター以外のホストに対する近隣発見要求。

処置: 何も必要ありません。要求は廃棄されます。

NDP6.002

レベル: UI-ERROR

短構文: NDP6.002 Send request failed reason reason_code net network ID

長構文: NDP6.002 Transmission of request failed for reason reason_code net network ID

説明: ルーターに何らかの問題があるために、発信された近隣発見要求パケットが廃棄されました。理由コードに原因が示されています。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、network_name を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたは不正な同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去された (理由コード 4)

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

NDP6.003

レベル: U-INFO

短構文: NDP6.003 Unknown hdwe space hardware_address_space net network ID

長構文: NDP6.003 Unknown hardware space hardware_address_space net network ID

説明: ネットワークで着信した近隣発見パケットを受信しましたが、そのネットワークでは、どのプロトコルもアドレス変換のために近隣発見を使用していません。

原因: ゲートウェイの構成の誤り

処置: 構成を訂正してください。

原因: そのネットワーク上では近隣発見プロトコルを必要とするプロトコルが使用されているが、ルーターはそのプロトコルをサポートしていない。

処置: なし。

NDP6.004

レベル: UI-ERROR

短構文: NDP6.004 recv: No mem for cache entry, protocol_type net network ID

長構文: NDP6.004 receive: No memory for cache entry, protocol_type net network ID

説明: 近隣発見パケットの入力処理時に、ルーターは指定のプロトコルの近隣キャッシュ・エントリを作成するための記憶域が得られませんでした。

原因: ルーターはヒープ記憶域が極端に少ない状態です。

処置: 記憶域の使用量を減らす方法を見つけてください。

NDP6.005

レベル: P-TRACE

短構文: NDP6.005 Unknown protocol type protocol_type net network ID

長構文: NDP6.005 Unknown protocol type *protocol_type*
net *network ID*

説明: プロトコルあてに着信した近隣発見パケットを受信しましたが、そのプロトコルはアドレス変換のために近隣発見プロトコルを使用していません。

原因: ゲートウェイの構成の誤り

処置: 構成を訂正してください。

原因: そのネットワーク上では近隣発見を必要とするプロトコルが使用されているが、ルーターはそのプロトコルをサポートしていない。

処置: なし。

NDP6.006

レベル: C-INFO

短構文: NDP6.006 NDP6 init

長構文: NDP6.006 Neighbor Discovery initialization

説明: このメッセージは、近隣発見の初期化中に印刷されます。

NDP6.007

レベル: C-TRACE

短構文: NDP6.007 New cache entry
hardware_address_space protocol_type net network ID

長構文: NDP6.007 New neighbor cache entry
hardware_address_space protocol_type net network ID

説明: このホストのアドレスあてに着信した近隣発見パケットに、近隣キャッシュに入っていないマッピングが含まれていました。パケット内の情報を使用して、新しいキャッシュ・エントリが記入されました。

NDP6.008

レベル: UI-ERROR

短構文: NDP6.008 NDP unable to get memory

長構文: NDP6.008 Neighbor Discovery Protocol unable to get memory

説明: 近隣発見は、必要な記憶域を割り振ることができませんでした。そのために、近隣発見を実行することができません。

原因: ヒープ記憶域が不足しています。おそらく記憶域を大量に必要とする転送機能/プロトコルの数が多過ぎるためです。

処置: 不必要な転送機能/プロトコルを使用不可にするか、記憶域を増やしてください。

NDP6.009

レベル: C-TRACE

短構文: NDP6.009 Sending NA *source_IP_address destination_IP_address net network ID*

長構文: NDP6.009 Neighbor Advertisement packet sent from *source_IP_address* to *destination_IP_address* net *network ID*

説明: 別のホストからのアドレス変換要求のためにICMP6 近隣公示を送信中です。

NDP6.010

レベル: U-INFO

短構文: NDP6.010 Dropping RA *source_IP_address -> destination_IP_address net network ID*

長構文: NDP6.010 Dropping router advertisement request packet received from *source_IP_address* to *destination_IP_address* net *network ID*

説明: このルーターは発信元ルーターからルーター公示要求を受信しました。他のルーターからのルーター公示要求は無視されるので、この要求は廃棄されます。

NDP6.011

レベル: U-INFO

短構文: NDP6.011 Dropping Redirect *source_IP_address -> destination_IP_address net network ID*

長構文: NDP6.011 Dropping redirect packet received from *source_IP_address* to *destination_IP_address* net *network ID*

説明: このルーターは発信元ルーターから転送メッセージを受信しました。ルーターはルーティング・プロトコルに基づいてメッセージを転送する必要があるので、転送メッセージは廃棄されます。

NDP6.012

レベル: UI-ERROR

短構文: NDP6.012 No iorb for send net *network ID*

長構文: NDP6.012 No buffer for send request packet net *network ID*

説明: ルーター内のバッファ不足のために、発信された応答パケットが廃棄されました。

原因: この問題は、一時的な過負荷など、さまざまな原因が考えられます。

処置: ルーターの残りのログ出力を調べて、さらに詳しい情報を入手してください。問題が続く場合は、サービス技術員に連絡してください。

NDP6.013

レベル: C-TRACE

短構文: NDP6.013 Sending RA *source_IP_address* *destination_IP_address* net *network ID*

長構文: NDP6.013 Router Advertisement packet sent from *source_IP_address* to *destination_IP_address* net *network ID*

説明: 別のホストからのアドレス変換要求のために ICMP6 ルーター公示を送信中です。

NDP6.014

レベル: C-INFO

短構文: NDP6.014 Sending redirect *source_IP_address* -> *destination_IP_address* to *new_next_hop_IP_address*

長構文: NDP6.014 Sending redirect for packet from *source_IP_address* to *destination_IP_address* to use router *new_next_hop_IP_address*

説明: ルーターは ICMP6 転送メッセージを送信して、このトラフィックにはより良い最初のホップ・ルーターがあることを、直接接続されているネットワーク上の発信元ホストに知らせています。

NDP6.015

レベル: U-INFO

短構文: NDP6.015 Dropping NS *source_IP_address* -> *destination_IP_address*

長構文: NDP6.015 Dropping neighbor solicitation packet received from *source_IP_address* to *destination_IP_address*

説明: ルーターが発信元ホストから ICMP6 近隣送信請求を受信しました。ICMP6 パケットの妥当性検査に失敗したために、この要求は廃棄されました。

NDP6.016

レベル: C-INFO

短構文: NDP6.016 NS received *source_IP_address* -> *destination_IP_address*

長構文: NDP6.016 Neighbor Solicitation request packet received from *source_IP_address* to *destination_IP_address*

説明: ルーターが発信元ホストから ICMP6 近隣送信請求を受信しました。

NDP6.017

レベル: U-INFO

短構文: NDP6.017 Dropping NA *source_IP_address* -> *destination_IP_address*

長構文: NDP6.017 Dropping neighbor advertisement packet received from *source_IP_address* to *destination_IP_address*

説明: ルーターが発信元ホストから ICMP6 近隣公示を受信しました。ICMP6 パケットの妥当性検査に失敗したために、この要求は廃棄されました。

NDP6.018

レベル: C-INFO

短構文: NDP6.018 NA received *source_IP_address* -> *destination_IP_address*

長構文: NDP6.018 Neighbor Advertise request packet received from *source_IP_address* to *destination_IP_address*

説明: ルーターが発信元ホストから ICMP6 近隣公示を受信しました。

NDP6.019

レベル: C-INFO

短構文: NDP6.019 Received RS *source_IP_address* -> *destination_IP_address*

長構文: NDP6.019 Router Solicitation packet received from *source_IP_address* to *destination_IP_address*

説明: ルーターが発信元ホストから ICMP6 ルーター送信請求を受信しました。

NDP6.020

レベル: U-INFO

短構文: NDP6.020 Dropping RS *source_IP_address* -> *destination_IP_address*

長構文: NDP6.020 Dropping Router Solicitation packet received from *source_IP_address* to *destination_IP_address*

説明: ルーターが発信元ホストから ICMP6 ルーター送信請求を受信しました。ICMP6 パケットの妥当性検査に失敗したために、この要求は廃棄されました。

NDP6.021

レベル: UE-ERROR

短構文: NDP6.021 Dropping invalid *ND_packet_type* *source_IP_address* -> *destination_IP_address*

長構文: NDP6.021 Invalid neighbor discovery packet

(*ND_packet_type*) received from *source_IP_address* to *destination_IP_address* is dropped

説明: ルーターが発信元ホストから無効な近隣発見パケットを受信しました。パケットは廃棄されます。

原因: ソフトウェアはネット・ポインターが無効であることを検出しましたが、その原因は無効なネットワーク構成にあるものと考えられます。

処置: ネットワーク構成を検査してください。

NDP6.022

レベル: C-TRACE

短構文: NDP6.022 Sending NS *source_IP_address* -> *destination_IP_address* target *addr_to_resolve* net *network ID*

長構文: NDP6.022 Neighbor Solicitation packet sent *source_IP_address* to *destination_IP_address* target *addr_to_resolve* net *network ID*

説明: アドレス変換要求があったために、ICMP6 近隣請求を送信中です。

第77章 ネクスト・ホップ・ルーティング・プロトコル (NHRP)

この章では、ネクスト・ホップ・ルーティング・プロトコル (NHRP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

NHRP.001

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.001 *caller_string* detected ext offst incorrect

長構文: NHRP.001 *caller_string* detected ext offset too small or too big

説明: エクステンション・オフセットが小さ過ぎるか、大き過ぎるかのいずれかです。大き過ぎる場合は、バッファの大きさが不十分で、指定されたエクステンションを組み込むことができません。

原因: エクステンション・オフセットが間違っているか、MTU の大きさが本当に不十分であるか、あるいは内部エラーがあるかのいずれかです。

処置: エクステンション・オフセットが有効であるかどうかを確認してください。ネットワークに見合うように MTU をサイズ変更してください。

NHRP.002

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.002 *addr family mssmtch in caller_string: rcvd fh_AddressFamily vs cached family*

長構文: NHRP.002 *addr family mismatch in caller_string: we received fh_AddressFamily and our cache is family*

説明: 指定されたプロセスの処理中に、受信したアドレス・ファミリーがキャッシュ内にあるものではないことを検出しました。

NHRP.003

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.003 *addr family fh_AddressFamily !supprtd in caller_string*

長構文: NHRP.003 *addr family fh_AddressFamily not supported in caller_string*

説明: 指定されたプロセスの処理中に、受信したアドレス・ファミリーがサポートするものではないことを検出しました。

NHRP.004

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.004 in *caller_string*, detctd a loop *proto_addr*

長構文: NHRP.004 while in *caller_string*, we detected that an NHRP frame is in a loop *proto_addr*.

説明: NHRP パケットの処理中に、このパケットを前に一度処理したことがあることに気付きました。

原因: 実ループが検出されているか、ほかでも同じ IP アドレスを使用中です。

処置: 重複 IP アドレスがネットワーク内で使用されていないかどうか、ダブル・チェックします。

NHRP.005

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.005 *sbntwrk id rcvd subnet_id not cfgd on nt network ID*

長構文: NHRP.005 *subnetwork ID rcvd subnet_id not configured on the net network ID*

説明: 同じ交換接続ネットワーク上ではありません。交換接続ネットワークは細分されています。送信側が送信している先の交換接続ネットワークは、同じサブネットワークになるように構成されていません。

NHRP.006

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.006 *nll ext not last found by caller_string*

長構文: NHRP.006 *null extension found in the middle of the extensions by caller_string*

説明: エクステンション・リストの中央にヌル・エクステンションが見つかりました。

NHRP.007

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.007 *proc sbntwrk id ext in rply*

長構文: NHRP.007 *processing subnetwork id ext in a reply*

説明: 応答内のサブネットワーク ID エクステンションを処理中です。

NHRP.008

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.008 proc sbntwrk id ext in req

長構文: NHRP.008 processing subnetwork id ext in a request

説明: 要求内のサブネットワーク ID エクステンションを処理中です。

NHRP.009

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.009 rspndr addr ext len=0 in rply

長構文: NHRP.009 responder address ext length is zero is a reply

説明: 応答内の中継エクステンションの処理中に、応答側アドレス・エクステンション長さがゼロに等しいことを検出しました。応答側が誤ってエクステンションを記入しなかったことを意味します。

NHRP.010

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.010 unexpctd err hndlng in res_ext_hndlr

長構文: NHRP.010 unexpected error handling in the res_ext_handler

説明: IBM ベンダー私用エクステンションに関する一般的なエラー処理のデフォルト事例です。

NHRP.011

レベル: CI_ERROR

短構文: NHRP.011 unspprtd cmp ext *ext_type* rcvd in *caller_string*

長構文: NHRP.011 unsupported compulsory extension *ext_type* received in *caller_string*

説明: 指定された必須エクステンションに関するサポートがありません。

NHRP.012

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.012 rspndr addr ext rcvd *rspndr_addr*

長構文: NHRP.012 responder address extension reply received *rspndr_addr*

説明: 指定されたアドレスは、応答を戻した応答側です。

NHRP.013

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.013 *transit_ext_type* transit ext rsp rcvd

長構文: NHRP.013 *transit_ext_type* transit extension response received

説明: これは、中継エクステンションのタイプ (順方向または逆方向) を識別します。次の事象で NHS がリストされます。

NHRP.014

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.014 nhs: *nhs_paddr*

長構文: NHRP.014 nhs: *nhs_paddr*

説明: このアドレスは、上記のエクステンションの中の NHS の 1 つです。エクステンション内の順序で表示されます。

NHRP.015

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.015 unrcgnzd ext type *ext_type* in *caller_string*

長構文: NHRP.015 unrecognized extension type *ext_type* in *caller_string* reply

説明: クライアントはエクステンションを送信しなかったが、応答内にエクステンションがあります。

原因: これは内部バグの可能性がありますが、応答内でエクステンションを送信したのに、応答内のエクステンションを処理するための処理を追加することを忘れました。

処置: コードを修正します。

原因: こちらの要求パケットに誰かがエクステンションを追加しています。

NHRP.016

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.016 lsi paddr= *proto_addr*, mac= *mac_addr*, atm= *atm_addr*

長構文: NHRP.016 Lane Shortcuts to paddr= *proto_addr*, mac= *mac_addr*, atm= *atm_addr*

説明: 指定されたアドレスへの NHRP データ・ダイレク

ト VCC を設定するための、レーン・ショートカット・インターフェースへの発呼

NHRP.017

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.017 invld ATM addr rcvd *atm_addr* *atm_saddr* in *caller_string*

長構文: NHRP.017 invalid ATM addr received *atm_addr* *atm_saddr* in *caller_string*

説明: 受信した ATM アドレスが無効です。

NHRP.018

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.018 *caller* can't parse the frame at address *frame_address*.

長構文: NHRP.018 *caller* cannot parse the frame at address *frame_address*.

説明: コーラーは、指定のアドレスでフレームを解析することができません。

NHRP.019

レベル: P_TRACE

短構文: NHRP.019 Trace NHRP/MPOA Ctrl pkt.

長構文: NHRP.019 Trace NHRP/MPOA Ctrl pkt.

説明: NHRP/MPOA 制御フレーム・パケットのトレース。

NHRP.020

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.020 *caller_string*

長構文: NHRP.020 *caller_string*

説明: 通常の情報

NHRP.021

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.021 *integer*

長構文: NHRP.021 *integer*

説明: この整数は、ELS が使用されていなかった当時の、古い TYPEN() コールに由来するものです。mscs.h 内の定義を参照してください。

NHRP.022

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.022 Could not xmit pkt to *protocol_address*, out net intf *net_number*

長構文: NHRP.022 Could not transmit NHRP packet to *protocol_address*, out network interface *net_number*

説明: NHRP パケットを送信できませんでした。

原因: このプロトコル・アドレスまでは、ルートされたパスが存在しません。

処置: このプロトコル・アドレス (たとえば、IP) にプロトコル・データを送信するために、ルートされたパスを修正してください。

NHRP.023

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.023 fwding res reqst for *destination_addr* to *nhrp_server_addr*

長構文: NHRP.023 forwarding resolution request for dest=*destination_addr* to nhs= *nhrp_server_addr*

説明: NHRP 解決要求の転送中です。

NHRP.025

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.025 *caller* can't xmit purge pkt to client=*cli_net_addr*/ *cli_node_addr* for dest_addr= *dest_net_addr*/ *dest_node_addr*

長構文: NHRP.025 *caller* can't send purge pkt to client=*cli_net_addr*/ *cli_node_addr* for destination address= *dest_net_addr*/ *dest_node_addr*

説明: 指定のコーラーは、情報を除去できません。

NHRP.026

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.026 cant get memory for *struct_type* in *caller_string*

長構文: NHRP.026 can not get memory for *struct_type* in *caller_string*

説明: 指定されたルーチン内に指定されている構造用の記憶域が獲得できません。

NHRP.027

レベル: CE_ERROR

短構文: NHRP.027 nak *nhrp_client_addr* for *route_type_text* route to dest= *destination_addr* because *reason_text*

長構文: NHRP.027 nak to client addr *nhrp_client_addr* for *route_type_text* shortcut route to destination *destination_addr* because *reason_text*

説明: NHRP サーバーは、クライアントが受信した要求を満たすことができません。

原因: 詳しい理由は *reason_text* に説明されています。

処置: 処置は必要ありませんが、このクライアント/あて先に関して NAK を停止することができる方法を決めるにあたっては、*reason_text* を役立てることができます。

NHRP.028

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.028 rcvd res reqst from *nhrp_client_addr* for *destination_addr*

長構文: NHRP.028 received resolution request from *nhrp_client_addr* for *destination_addr*

説明: NHRP サーバーが解決要求を受信しました。

NHRP.029

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.029 xmit purge pkt to client= *nhrp_client_addr* for dest_addr= *destination_addr* w/ prefix= *prefix*

長構文: NHRP.029 Sending purge pkt to client= *nhrp_client_addr* for destination address= *destination_addr* with prefix= *prefix*

説明: パージ・パケット送信情報

NHRP.030

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.030 *function_name: general_message*

長構文: NHRP.030 *function_name: general_message*

説明: メッセージが説明です。

NHRP.031

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.031 *function_name: general_message* *general_code*

長構文: NHRP.031 *function_name: general_message* *general_code*

説明: メッセージが説明です。

NHRP.032

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.032 *function_name: general_message* *general_code*

長構文: NHRP.032 *function_name: general_message* *general_code*

説明: メッセージが説明です。

NHRP.033

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.033 *function_name: general_message* *proto_addr*

長構文: NHRP.033 *function_name: general_message* *proto_addr*

説明: メッセージが説明です。

NHRP.034

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.034 *function_name: general_message* *proto_addr1/ proto_addr2*

長構文: NHRP.034 *function_name: general_message* *proto_addr1/ proto_addr2*

説明: メッセージが説明です。

NHRP.035

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.035 *function_name: general_message* *proto_addr1/ proto_addr2/ proto_addr3*

長構文: NHRP.035 *function_name: general_message* *proto_addr1/ proto_addr2/ proto_addr3*

説明: メッセージが説明です。

NHRP.036

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.036 Exclude 1st match for: *ip_addr*

長構文: NHRP.036 Exclude list match for: *ip_addr*

説明: NHRP は NHRP パケットの全部または一部の処理ができません。パケット内の IP アドレスが、NHRP 除

外リスト内に構成されているものに一致するためです。

NHRP.037

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.037 *caller_string* dtctd potential mac chgs so attempt to send purge

長構文: NHRP.037 *caller_string* detected potential mac changes, so attempt to sen purge

説明: レーン・ショートカット・インターフェース・サーバー側で、レベル 2 の変更の可能性が検出されたので、必要なら、NHRP パージの送信を試みます。

NHRP.038

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.038 *caller_string* cant get L2 parms, retries exceeded, attempt to send Purge

長構文: NHRP.038 *caller_string* cannot get L2 parms, retries exceeded, attempt to send Purge

説明: レーン・ショートカット・インターフェース・サーバーは、レベル 2 パラメーターが検索されるのを待っていましたが、試行回数を使い尽くしました。そこで、NHRP パージの送信を試みます。

NHRP.039

レベル: U_INFO

短構文: NHRP.039 *caller_string* dtctd *cache_type* has reached its limit

長構文: NHRP.039 *caller_string* detected that the *cache_type* has reached its limit

説明: NHS/MPS は、指定されたキャッシュのキャッシュ限界に達しました。必要な場合は、キャッシュ限界を再構成してください。

NHRP.040

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.040 *caller_string* dtctd err with proto addr= *proto_addr*, type= *type*, table= *table*

長構文: NHRP.040 *caller_string* detected error with protocol addr= *proto_addr*, type= *type*, table= *table*

説明: プロトコル・アドレスに基づく MIB エントリーの入手ができません。

NHRP.041

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.041 *function_name*: *general_message* *general_code*

長構文: NHRP.041 *function_name*: *general_message* *general_code*

説明: メッセージが説明です。

NHRP.042

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.042 *function_name*: No dest for frame, rc = *general_code*

長構文: NHRP.042 *function_name*: No destination for this frame, rc = *general_code*

説明: このフレームにはあて先アドレスがありません。

NHRP.043

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.043 *function_name*: No src for frame, rc = *general_code*

長構文: NHRP.043 *function_name*: No source for this frame, rc = *general_code*

説明: このフレームの発信元アドレスがありません。

NHRP.044

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.044 *function_name*: Can't crush frame, rc = *general_code*

長構文: NHRP.044 *function_name*: Unable to crush NHRP frame, rc = *general_code*

説明: ネットワーク上に送信する前に、ローカル (内部使用) NHRP フレームを圧搾することができません。

NHRP.045

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.045 *function_name*: Can't expand frame, rc = *general_code*

長構文: NHRP.045 *function_name*: Unable to expand NHRP frame, rc = *general_code*

説明: ローカル (内部使用) コピーのために、NHRP フレームを展開することができません。

NHRP.046

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.046 *function_name*: Proto *protocol_type* not handled

長構文: NHRP.046 *function_name*: Protocol *protocol_type* not handled by NHRP

説明: このプロトコル・タイプのアドレスは、現行リリースの NHRP ではサポートされていません。

原因: NHRP でサポートされていないタイプのプロトコル・アドレス内での機能受け渡し

処置: なし。

NHRP.047

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.047 *function_name*: No *data_type* available

長構文: NHRP.047 *function_name*: No *data_type* could be allocated

説明: タイプ *data_type* の構造を割り振ることができませんでした。

原因: 新規構造に割り振るために使用可能な記憶域がありません。

処置: なし。

NHRP.048

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.048 *function_name*: No ATM info for *proto_addr*, rc = *general_code*

長構文: NHRP.048 *function_name*: Could not get ATM info for *proto_addr*, rc = *general_code*

説明: このプロトコル・アドレスに関する ATM アドレスが検索できませんでした。

NHRP.049

レベル: U_INFO

短構文: NHRP.049 New RIF= *new_rif*, Current RIF= *current_rif*

長構文: NHRP.049 New RIF= *new_rif*, Current RIF= *current_rif*

説明: ショートカットに関するパラメーターに対応する RIF が、このショートカット用として現在使用されているものと異なっています。両方の RIF は共に非 NULL です。以後は新規 RIF がこのショートカットに対応付けられます。

NHRP.050

レベル: U_INFO

短構文: NHRP.050 *function_name*: *general_message*

長構文: NHRP.050 *function_name*: *general_message*

説明: メッセージが説明です。

NHRP.051

レベル: U_INFO

短構文: NHRP.051 New RIF= *new_rif*, Current RIF=NULL

長構文: NHRP.051 New RIF= *new_rif*, Current RIF=NULL

説明: ショートカットに関するパラメーターに対応する RIF が 非 NULL です。これは現在使用中の NULL RIF とは異なっています。以後は新規非 NULL RIF がこのショートカットに対応付けられます。

NHRP.052

レベル: U_INFO

短構文: NHRP.052 New RIF=NULL, Current RIF= *current_rif*

長構文: NHRP.052 New RIF=NULL, Current RIF= *current_rif*

説明: ショートカットに関するパラメーターに対応する RIF が現在は NULL です。これは現在使用中の非 NULL RIF とは異なっています。このショートカットに対応する RIF は、NULL に変更されます。

NHRP.053

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.053 fwding frame for *dest_net_addr/dest_node_addr* to *nhs_net_addr/ nhs_node_addr*

長構文: NHRP.053 forwarding req/rep for *dest/src=dest_net_addr/ dest_node_addr* to *nhs= nhs_net_addr/ nhs_node_addr*

説明: NHRP 解決要求の転送中です。

NHRP.054

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.054 *function_name*: Timer type *timer_type* *timer_state* for CCE: *proto_addr*

長構文: NHRP.054 *function_name*: Timer type *timer_type* *timer_state* for ClientCacheElement: *proto_addr*

説明: なし。

NHRP.055

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.055 *caller_string*

長構文: NHRP.055 *caller_string*

説明: なし。

NHRP.056

レベル: U_INFO

短構文: NHRP.056 *function_name*: VCs marked down for *destination_protocol_addr*

長構文: NHRP.056 *function_name*: VCs marked down for *destination_protocol_addr*

説明: このあて先プロトコルに関する VC は、クローズされているか、または無効になっているので、NHRP キャッシュ内でダウンとマークされています。

NHRP.057

レベル: U_INFO

短構文: NHRP.057 *function_name*: Function currently unimplemented

長構文: NHRP.057 *function_name*: Function currently unimplemented

説明: この機能は現在は実現されていないので、何も行われません。

NHRP.058

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.058 *function_name*: NextHop (1483 or LSI) will not bypass *proto_addr1*

長構文: NHRP.058 *function_name*: NHRP NextHop (1483 or LSI) will not bypass *proto_addr1*

説明: 解決応答で受信した 1483 または LSI NextHop は、ルートされたパスの NextHop と同じものです。

NHRP.060

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.060 *function_name*: *general_message*

長構文: NHRP.060 *function_name*: *general_message*

説明: メッセージが説明です。

NHRP.061

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.061 *function_name*: *general_message* *general_code*

長構文: NHRP.061 *function_name*: *general_message* *general_code*

説明: メッセージが説明です。

NHRP.062

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.062 *function_name*: *general_message* *general_code*

長構文: NHRP.062 *function_name*: *general_message* *general_code*

説明: メッセージが説明です。

NHRP.063

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.063 *function_name*: *general_message* *proto_addr*

長構文: NHRP.063 *function_name*: *general_message* *proto_addr*

説明: メッセージが説明です。

NHRP.064

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.064 *function_name*: NHRP vers mismatch, vers = *general_code*

長構文: NHRP.064 *function_name*: NHRP version mismatch, version = *general_code*

説明: NHRP フレームを受信しましたが、バージョン番号が間違っています。

NHRP.065

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.065 *function_name*: Checksum not 0: *general_code*

長構文: NHRP.065 *function_name*: Checksum not 0: *general_code*

説明: フレームを受信しましたが、チェックサムの計算が 0 になりませんでした。

NHRP.066

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.066 *function_name: addr_name proto_addr*
not cached

長構文: NHRP.066 *function_name: addr_name proto_addr*
not cached

説明: このアドレスがクライアント・キャッシュ内に見付かりませんでした。

NHRP.067

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.067 *function_name: Hold time 0 rcvd from proto_addr1 for proto_addr2*

長構文: NHRP.067 *function_name: Holding time of 0 received from proto_addr1 for proto_addr2*

説明: 解決要求に対する応答として、保留時間 0 を受信しました。

NHRP.068

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.068 *function_name: Can't match MTU for netp general_pointer*

長構文: NHRP.068 *function_name: Can't provide correct MTU size for netp general_pointer*

説明: 応答内で戻された MTU 用として使用できる、使用可能な netp がありません。

NHRP.069

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.069 *function_name: Rcvd fragment, length = general_length*

長構文: NHRP.069 *function_name: Received a fragment, length = general_length*

説明: 受信したフレームは、単にフラグメントに過ぎませんでした。

NHRP.070

レベル: CE_ERROR

短構文: NHRP.070 *function_name: general_message*

長構文: NHRP.070 *function_name: general_message*

説明: メッセージが説明です。

NHRP.071

レベル: CE_ERROR

短構文: NHRP.071 *function_name: NAK rqst sent from local client proto_addr1 for dest proto_addr2, Code = reply_code*

長構文: NHRP.071 *function_name: NAK for request made by local client proto_addr1 for destination proto_addr2, Code = reply_code*

説明: reply_code が非ゼロの場合は、proto_addr2 に関して行われた要求のローカル・クライアント proto_addr1 に関して NAK を受信しました。そうでない場合は、クライアントが、応答を NAK であるかのように処理することによって、強制的に NAK を出しました。

NHRP.072

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.072 *caller_string rc = integer*

長構文: NHRP.072 SNMP interface function *caller_string* returned error (*rc = integer*)

説明: SNMP インターフェース機能がエラーを戻しました。

NHRP.073

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.073 NHRP LSI AddrStateChg (Active): nt *network ID*

長構文: NHRP.073 NHRP LSI AddrStateChg (Active): nt *network ID*

説明: この NHRP LSI ネットワークは、スイッチからアドレス状態の変更を受信しました。これは、アドレス ESI および SEL がスイッチに登録されたことを意味しています。これで、このインターフェースを通して、NHRP LANE ショートカットを設定することができます。

NHRP.074

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.074 NHRP LSI GetAddrByHandle *rc= return_code: nt network ID*

長構文: NHRP.074 NHRP LSI GetAddrByHandle *rc= return_code: nt network ID*

説明: スイッチからアドレスを入手しようとしているときに、エラーが検出されました。

NHRP.075

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.075 NHRP LSI OpenCallSap rc=
return_code: nt network ID

長構文: NHRP.075 NHRP LSI OpenCallSap rc=
return_code: nt network ID

説明: コール SAP をオープンしようとしているときに、エラーが検出されました。コール SAP は、リモートあて先に ATM のコールを発信または受信するために必要です。

NHRP.076

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.076 NHRP LSI Addr Deactivated!: nt
network ID

長構文: NHRP.076 NHRP LSI Addr Deactivated!: nt
network ID

説明: この NHRP LSI の ATM アドレスが非活性化されました。すべてのコールが削除されています。この NHRP LSI は、アドレスが再活性化されるのを待つこととなります。

NHRP.077

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.077 NHRP LSI Addr Refused!: nt network
ID

長構文: NHRP.077 NHRP LSI Addr Refused!: nt network
ID

説明: 要求されたアドレスが、スイッチによって拒否されました。

原因: 考えられる原因は、重複する MAC アドレスがすでにスイッチに登録されていることです。

NHRP.078

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.078 NHRP LSI AddrStChg unknown: nt
network ID

長構文: NHRP.078 NHRP LSI AddrStChg unknown: nt
network ID

説明: アドレス状態変更機能が呼び出されましたが、要求された状態が不明です。

NHRP.079

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.079 NHRP LSI OpenDataPath failr(
return_code): nt network ID

長構文: NHRP.079 NHRP LSI OpenDataPath failr(
return_code): nt network ID

説明: 指定のパラメーターを用いてデータ・パスのオープンを試みているとき、障害が発生しました。このコールは、該当する原因コードを出して停止します。

NHRP.080

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.080 NHRP LSI PlaceCallAck: nt network
ID

長構文: NHRP.080 NHRP LSI PlaceCallAck: nt network
ID

説明: 発信したコールが、リモートあて先によって受信され、受信確認されました。リモート側へのデータ・パスをオープンし、VCC での送受信を開始します。

NHRP.081

レベル: U_INFO

短構文: NHRP.081 NHRP LSI DisconnectCall: NULL
CORRELATOR received

長構文: NHRP.081 NHRP LSI DisconnectCall: NULL
CORRELATOR received

説明: コールが、受信する直前に解放されました。

NHRP.082

レベル: U_INFO

短構文: NHRP.082 NHRP LSI DisconnectCall: nt network
ID

長構文: NHRP.082 NHRP LSI DisconnectCall: nt network
ID

説明: すでにアクティブになっているコール、または現在発信中のコールが解放されました。解放された理由が、追加 ELS メッセージに表示されています。これは、通常の状態です。チャネルが必要な場合は、再初期化します。

原因: ネットワークまたはリモート・ユーザーのいずれかが、コールを解放しました。

NHRP.083

レベル: U_INFO

短構文: NHRP.083 NHRP LSI DisconnectCall: rsn=*reason_code*, cause= *cause_code*, diagLen= *diag_len*, diagData[0]= *diag_data*

長構文: NHRP.083 NHRP LSI DisconnectCall: rsn=*reason_code*, cause= *cause_code*, diagLen= *diag_len*, diagData[0]= *diag_data*

説明: このメッセージに入っている情報は、コールが解放された理由です。

NHRP.084

レベル: U_INFO

短構文: NHRP.084 NHRP LSI DisconnectCall: vpi=*vcc_vpi*, vci= *vcc_vci*, AtmAddr= *vcc_remote_atm_address*

長構文: NHRP.084 NHRP LSI DisconnectCall: vpi=*vcc_vpi*, vci= *vcc_vci*, AtmAddr= *vcc_remote_atm_address*

説明: このメッセージの中の情報は、チャンネル VPI/VCI と、切断中のチャンネルのリモート ATM アドレスです。

NHRP.085

レベル: U_INFO

短構文: NHRP.085 NHRP LSI DisconnectCall WalkDwn PCR= *walk_down_PCR*, SCR= *walk_down_SCR*:nt *network ID*

長構文: NHRP.085 NHRP LSI DisconnectCall WalkDwn PCR= *walk_down_PCR*, SCR= *walk_down_SCR*:nt *network ID*

説明: 解放されたコールは、セル速度が原因で解放されました。NHC コードは、NHRP_XX (ARP_48 として使用される) にリストされているターゲットとの接続を確立するために、一般に使用されているデータ速度まで下げようと試みます。

原因: セル速度が不一致であるために、ネットワークまたはリモート・ユーザーのいずれかが、コールを解放しました。

NHRP.086

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.086 NHRP LSI Register failure (rc=*return_code*): nt *network ID*

長構文: NHRP.086 NHRP LSI Register failure (rc=*return_code*): nt *network ID*

説明: この NHRP LSI は、基礎にある装置ドライバーお

よびネット・ハンドラーへのユーザーとしての登録に失敗しました。この NHRP LSI は作動不能になります。

処置: ルーターをリブートし、担当のサービス技術員に連絡してください。

NHRP.087

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.087 NHRP LSI Register successfull: nt *network ID*

長構文: NHRP.087 NHRP LSI Register successfull: nt *network ID*

説明: この NHRP LSI は、基礎にある装置ドライバーおよびネット・ハンドラーに正常に登録しました。これは通常の初期化です。

NHRP.088

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.088 NHRP LSI OpnBffFrmSap Failed (rc=*return_code*): nt *network ID*

長構文: NHRP.088 NHRP LSI OpnBffFrmSap Failed (rc=*return_code*): nt *network ID*

説明: この NHRP LSI は、バッファ・フレーム SAP のオープン中に失敗しました。これは内部エラーが原因です。この NHRP LSI は作動不能になります。

処置: ルーターをリブートし、担当のサービス技術員に連絡してください。

NHRP.089

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.089 NHRP LSI Address Activation pending: nt *network ID*

長構文: NHRP.089 NHRP LSI Address Activation pending: net *network ID*

説明: この NHRP LSI は、その ATM アドレスをスイッチに登録する手順を開始しました。登録が完了すると、NHRP LSI の ATM アドレスの状況を記述する、別のアドレス状態変更のメッセージがログに記録されます。

処置: 処置は必要ありません。これは通常の処理です。

NHRP.090

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.090 NHRP LSI Address Activation success: nt *network ID*

長構文: NHRP.090 NHRP LSI Address Activation success:
nt *network ID*

説明: この NHRP LSI は、正常にアドレスを活性化しました。

NHRP.091

レベル: CE_ERROR

短構文: NHRP.091 NHRP LSI AAL IE:Not prsnt, or Invld
AAL type (x *AAL_type*)

長構文: NHRP.091 NHRP LSI AAL IE:Not present, or
Invalid AAL type (x *AAL_type*)

説明: 無効な AAL タイプ。AAL タイプは AAL5 でなければなりません。

NHRP.092

レベル: CE_ERROR

短構文: NHRP.092 NHRP LSI AAL IE:Invld fwd max
SDU sz (*fwd_max_SDU_size*)

長構文: NHRP.092 NHRP LSI AAL IE:Invalid forward
maximum SDU size (*fwd_max_SDU_size*)

説明: 順方向の最大 SDU サイズが無効です。

NHRP.093

レベル: CE_ERROR

短構文: NHRP.093 NHRP LSI AAL IE:Invld bak max
SDU sz for P2P call (*bak_max_SDU_size*)

長構文: NHRP.093 NHRP LSI AAL IE:Invalid backward
maximum SDU size for Point-to-Point Call
(*bak_max_SDU_size*)

説明: ポイント・ポイント (2 地点間) コールの場合、逆方向の最大 SDU サイズが無効です。

NHRP.094

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.094 NHRP LSI No Next Hop @ match:
nt *network ID*

長構文: NHRP.094 NHRP LSI No Next Hop Address
match: net *network ID*

説明: ショートカットの設定を試みているとき、NHRP LSI の対応するデータ構造が見つかりませんでした。NHRP LSI の初期化が正常に完了しなかったようです。

NHRP.095

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.095 NHRP LSI Invld user or frm sap hndl:
nt *network ID*

長構文: NHRP.095 NHRP LSI Invalid user or frame sap
handle: nt *network ID*

説明: SVC の設定を試みているとき、NHRP LSI のユーザー・ハンドルまたはフレーム SAP ハンドルが NULL でした。

NHRP.096

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.096 NHRP LSI Call sap invld: nt *network ID*

長構文: NHRP.096 NHRP LSI Call sap invalid: network
network ID

説明: SVC の設定を試みているとき、NHRP LSI のユーザーに有効なコール SAP がありません。

NHRP.097

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.097 NHRP LSI atmPlaceCall Failure (rc=
return_code): nt *network ID*

長構文: NHRP.097 NHRP LSI atmPlaceCall Failure (rc=
return_code): net *network ID*

説明: SVC の設定を試みているとき、装置ドライバーのサービスが SUCCESS 以外の値を返しました。

NHRP.098

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.098 NHRP LSI atmPlaceCall Failure
destination: Atm@= *vcc_remote_atm_address*

長構文: NHRP.098 NHRP LSI atmPlaceCall Failure
destination: AtmAddr= *vcc_remote_atm_address*

説明: SVC の設定を試みているとき、装置ドライバーのサービスが SUCCESS 以外の値を返しました。これは、VCC の確立が試みられているリモート端末のアドレスです。

NHRP.099

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.099 NHRP LSI atmPlaceCall Success:
Atm@= *atm_address* nt *network ID*

長構文: NHRP.099 NHRP LSI atmPlaceCall Success:
AtmAddr= *atm_address* net *network ID*

説明: コールは正常に実行されました。このチャンネルは新しいチャンネル・リストの上に現れるはずであり、まだ応答はされていません。応答されると、ログに PlaceCallAck メッセージが現れます。

NHRP.100

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.100 Function *function_name* called, nt
network ID

長構文: NHRP.100 Function *function_name* called, on
network *network ID*

説明: NHRP LSI 機能が呼び出されました。

NHRP.102

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.102 NHRP LSI: Inbnd data rcvd frm
ATM@= *atm_addr* nt *network ID*

長構文: NHRP.102 NHRP LSI: Inbound data received from
ATM Address= *atm_addr* nt *network ID*

説明: NHRP LSI は VCC を通してデータを受信しました。NHRP LSI VCC はすべてが送信専用 VCC であるはずなので、これは起こるはずのないことです。NHRP LSI はこの ATM に使用不可のマークを付け、そこまで他のショートカットが設定されることはありません。

処置: 状況を訂正して、NHRP LSI VCC の他端の LEC がデータを送信することがないようにします。ルーターをリブートしてください。

NHRP.103

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.103 NHRP LSI: Invld Shrtct Atm@=
atm_addr nt *network ID*

長構文: NHRP.103 NHRP LSI: Invalid Shortcut Atm Addr=
atm_addr nt *network ID*

説明: NHRP LSI は、以前使用不可と判別された ATM アドレスへのショートカットの設定を要求されました。これは、NHRP LSI が、以前、VCC を通してこの同じ ATM アドレスからデータを受信したことの結果です。NHRP LSI VCC はすべてが送信専用です。

NHRP.104

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.104 NHRP LSI: New Shrtct Rqst NxtHp@=
next_hop_prot_addr Atm@= *atm_addr* nt *network ID*

長構文: NHRP.104 NHRP LSI: New Shortcut Request Next
Hop Addr= *next_hop_prot_addr* Atm Addr= *atm_addr* nt
network ID

説明: アクティブな現行ショートカットがないネクスト・ホップへのショートカットの設定が、NHRP LSI に依頼されました。これは正常で、ここでこの新規ネクスト・ホップへのショートカットが設定されます。

NHRP.105

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.105 NHRP LSI: Mdfy Shrtct Rqst NxtHp@=
next_hop_prot_addr Atm@= *atm_addr* nt *network ID*

長構文: NHRP.105 NHRP LSI: Modify Shortcut Request
Next Hop Addr= *next_hop_prot_addr* Atm Addr= *atm_addr*
nt *network ID*

説明: ショートカットがすでにあるネクスト・ホップへのショートカットの設定が、NHRP LSI に要求されました。この要求と一緒に渡されたパラメーターが、現在アクティブなショートカットのパラメーターと照合して検査され、新規パラメーターに変更があれば、すべて現行ショートカット内に反映されます。

NHRP.106

レベル: U_INFO

短構文: NHRP.106 NHRP LSI: MAC @ Chngd NxtHp@=
next_hop_prot_addr New MAC@= *new_mac_addr* Crmt MAC
@= *current_mac_addr* nt *network ID*

長構文: NHRP.106 NHRP LSI: MAC Address Changed
Next Hop Addr= *next_hop_prot_addr* New MAC Addr=
new_mac_addr Current MAC Addr= *current_mac_addr* nt
network ID

説明: 既存のショートカットに対応するあて先の MAC アドレスが変更されていることが判明しました。

NHRP.107

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.107 NHRP LSI: Delete Shrtct Rqst
NxtHp@= *next_hop_prot_addr* nt *network ID*

長構文: NHRP.107 NHRP LSI: Delete Shortcut Request
Next Hop Addr= *next_hop_prot_addr* nt *network ID*

説明: ショートカットの削除要求を受信し、実行します。

NHRP.108

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.108 NHRP LSI: VCC Setup Err NxtHp@=
next_hop_prot_addr Atm@= *atm_addr* nt *network ID*

長構文: NHRP.108 NHRP LSI: VCC Setup Error Next Hop
Addr= *next_hop_prot_addr* Atm Addr= *atm_addr* nt *network ID*

説明: VCC の設定要求に対する戻りコードに、VCC が設定されなかったことが示されています。前の ELS メッセージに、この状況の理由が示されているはずです。

NHRP.109

レベル: U_INFO

短構文: NHRP.109 NHRP LSI: RIF Chngd NxtHp@=
next_hop_prot_addr Atm@= *atm_addr* nt *network ID*

長構文: NHRP.109 NHRP LSI: RIF Changed Next Hop
Addr= *next_hop_prot_addr* Atm Addr= *atm_addr* nt *network ID*

説明: 既存のショートカットに対応するルーティング情報フィールド (RIF) が変更されていることが判明しました。

NHRP.110

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.110 NHRP LSI: Hldng Time Reset
NxtHp@= *next_hop_prot_addr* nt *network ID*

長構文: NHRP.110 NHRP LSI: Holding Time Reset Next
Hop Addr= *next_hop_prot_addr* nt *network ID*

説明: NHRP LSI に渡された保留時間パラメーターが、既存のショートカットに対応する現行存続時間より大です。既存のショートカットが変更されて、新しい保留時間が反映されます。

NHRP.111

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.111 NHRP LSI: Cntrl Frame *direction*
Atm@= *atm_addr* nt *network ID*

長構文: NHRP.111 NHRP LSI: Control Frame *direction*
Atm Addr= *atm_addr* nt *network ID*

説明: 制御フレームが NHRP LSI によって受信されました。

NHRP.112

レベル: P_TRACE

短構文: NHRP.112 Trace NHRP LSI data packet

長構文: NHRP.112 Trace NHRP LSI data packet

説明: NHRP LSI データ・パケットをトレースします。

NHRP.113

レベル: P_TRACE

短構文: NHRP.113 Trace NHRP LSI control packet

長構文: NHRP.113 Trace NHRP LSI control packet

説明: NHRP LSI 制御パケットをトレースします。

NHRP.114

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.114 *caller_string* is passed a ibm lec net

長構文: NHRP.114 *caller_string* is being passed a
non-forum compliant lec net

説明: IBM LEC へのレーン・ショートカットは、サポートしません。

NHRP.115

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.115 *caller_string* dtctd invld ATM addr tl=
addr_tl or sub addr tl= *sub_addr_tl*

長構文: NHRP.115 *caller_string* detected invalid ATM
address type/len= *addr_tl* or sub address type/len= *sub_addr_tl*

説明: アドレスまたはサブアドレスのタイプ・フィールドと長さフィールドのいずれかが無効です。

NHRP.116

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.116 *caller_string* cant get the ccb

長構文: NHRP.116 *caller_string* can not get the ccb for
1483 transmit

説明: 1483 送信を行うための CCB を入手できません。

NHRP.117

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.117 *caller_string* cant find the atmarp side
car

長構文: NHRP.117 *caller_string* can not find the atmarp side car

説明: ATMARP サイド・カーがそこにありません。

NHRP.118

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.118 *caller_string* connction exists w/ autorfrsh set, arp ent cant be owned by NHRP

長構文: NHRP.118 *caller_string* detects existing connection with autorefresh configured

説明: ATM 接続がすでに存在しています。自動リフレッシュが構成されるので、NHRP がこの ARP エントリーを所有することはできません。

NHRP.119

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.119 *caller_string* new arp ent being added

長構文: NHRP.119 *caller_string* new arp entry being added.

説明: NHRP が ATMARP に ARP エントリーを追加中です。

NHRP.120

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.120 *caller_string* holding time updated

長構文: NHRP.120 *caller_string* holding time updated

説明: 保留時間を ARP エントリーに入っている値まで下げました。

NHRP.121

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.121 *caller_string* detctd unexpctd ATM addr changed

長構文: NHRP.121 *caller_string* detected unexpected ATM address changed

説明: これは予期しない ATM アドレス変更です。

NHRP.122

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.122 *caller_string* rdatm is null for corrspondng macrd= *macrd_elem*

長構文: NHRP.122 *caller_string* rdatm element is null for the associated macrd element= *macrd_elem*

説明: macrd 要素が存在している場合は、対応する rdatm が存在する必要があります。この原因となった内部バグがあるはずです。

NHRP.123

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.123 *caller_string* rdatm= *rdatm_elem* is not pting back to the corrspondng macrd= *macrd_elem*

長構文: NHRP.123 *caller_string* rdatm= *rdatm_elem* is not pointing back to the associated macrd element= *macrd_elem*

説明: macrd 要素が存在している場合は、対応する rdatm が存在する必要があります。rdatm 要素が macrd 要素を逆に指示してはいません。この原因となった内部バグがあるはずです。

NHRP.124

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.124 *caller_string* detctd a protocol, mac or ri change

長構文: NHRP.124 *caller_string* detected a protocol, mac or ri change

説明: 機能コールで、プロトコル、MAC、または RI 変更が検出されました。

NHRP.125

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.125 *caller_string* free learp mac-atm elem for mac addr= *mac_addr*

長構文: NHRP.125 *caller_string* free learp mac-atm element for mac addr= *mac_addr*

説明: 指定された MAC アドレスに関する LEARP_MAC_ATM_ENTRY を解放します。

NHRP.126

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.126 *caller_string* free learp rd-atm elem for next_rd= *next_rd*

長構文: NHRP.126 *caller_string* free learp rd-atm element for the next route descriptor= *next_rd*

説明: 指定された次のルート記述子に関する LEARP_RD_ATM_ENTRY を解放します。

NHRP.127

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.127 *caller_string* free learp mac-rd elem for
nxt hp addr= *prot_addr*

長構文: NHRP.127 *caller_string* free learp mac-rd element
for next hop addr= *prot_addr*

説明: 指定された IP アドレスに関する
LEARP_MAC_RD_ENTRY を解放します。

NHRP.128

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.128 *caller_string* dtctd hldng time exprd for
mac addr= *mac_addr*

長構文: NHRP.128 *caller_string* detected holding time
expired for mac addr= *mac_addr*

説明: LEARP MAC-ATM 要素エントリーの保留時間が満了しました。

NHRP.129

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.129 *caller_string* dtctd hldng time exprd for
next_rd= *next_rd*

長構文: NHRP.129 *caller_string* detected holding time
expired for next route descriptor= *next_rd*

説明: LEARP RD-ATM 要素エントリーの保留時間が満了しました。

NHRP.130

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.130 *caller_string* rfrsh ent for mac addr=
mac_addr

長構文: NHRP.130 *caller_string* refresh entry for mac addr=
mac_addr

説明: 指定の MAC アドレスの LEARP MAC-ATM 要素エントリーをリフレッシュします。

NHRP.131

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.131 *caller_string* rfrsh ent for next_rd=
next_rd

長構文: NHRP.131 *caller_string* refresh entry for next route
descriptor= *next_rd*

説明: 指定のネクスト・ルート記述子の LEARP RD-ATM 要素エントリーをリフレッシュします。

NHRP.132

レベル: U_INFO

短構文: NHRP.132 LEC arp timer timed out for mac addr=
mac_addr

長構文: NHRP.132 LEC's arp timer timed out for mac
addr= *mac_addr*

説明: NHRP は、指定された MAC アドレスに関する
LEARP を起動しましたが、応答を入手しませんでした。

NHRP.133

レベル: U_INFO

短構文: NHRP.133 LEC arp timr timed out for next_rd=
next_rd

長構文: NHRP.133 LEC's arp timer timed out for next
route descriptor= *next_rd*

説明: NHRP は、指定されたルート記述子に関する
LEARP を起動しましたが、応答を入手しませんでした。

NHRP.134

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.134 LEC rcvd LE_ARP rply for mac addr=
mac_addr

長構文: NHRP.134 LEC received LE_ARP reply for mac
addr= *mac_addr*

説明: NHRP は、指定された MAC アドレスに関する
LEARP を起動し、応答を入手しました。

NHRP.135

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.135 LEC rcvd LE_ARP rply for next_rd=
next_rd

長構文: NHRP.135 LEC received LE_ARP reply for next
route descriptor= *next_rd*

説明: NHRP は、指定されたルート記述子に関する
LEARP を起動し、応答を入手しました。

NHRP.136

レベル: U_INFO

短構文: NHRP.136 LEC rcvd LE_ARP rply but atm addr
changed, new addr= *atm_addr*

長構文: NHRP.136 LEC received LE_ARP reply but atm address changed, new addr= *atm_addr*

説明: NHRP は、指定された MAC アドレスまたはルート記述子に関する LEARP を起動し、MAC アドレス内に変更を検出しました。

NHRP.137

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.137 entry exists in LEC's arp table for mac_addr= *mac_addr*

長構文: NHRP.137 entry exists in LEC's arp table for mac_addr= *mac_addr*

説明: NHRP は、指定された MAC アドレスに関する LEARP を起動しましたが、応答を入手しませんでした。

NHRP.138

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.138 entry exists in LEC's arp table for next_rd= *next_rd*

長構文: NHRP.138 entry exists in LEC's arp table for next route descriptor= *next_rd*

説明: NHRP は、指定されたルート記述子に関する LEARP を起動しましたが、応答を入手しませんでした。

NHRP.139

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.139 LEC arp tbl is full, nhrp cant get entry

長構文: NHRP.139 LEC's arp table is full, nhrp cannot get an entry

説明: LEC の ARP テーブルがいっぱいで、NHRP はエントリーを入手できません。応答を入手します。

処置: LEC の ARP テーブルをもっと大きい値に構成してください。

NHRP.140

レベル: U_INFO

短構文: NHRP.140 LEC notifd NHRP of a tplyg change in net= *net_no*

長構文: NHRP.140 LEC has notified NHRP of a topology change in net= *net_no*

説明: LEC は、トポロジー変更があったことを NHRP に通知しました。

NHRP.141

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.141 *call_string* retrvd MAC addr succssflly from ARP for *proto_addr*

長構文: NHRP.141 *call_string* retrieved MAC address successfully from ARP for *proto_addr*

説明: NHRP は ARP を呼び出して、MAC アドレスを入手します。MAC が入手できない場合は、NHRP は 1 秒間待ってから再試行します。

NHRP.142

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.142 *call_string* found *element_type* elemnt in del pendng

長構文: NHRP.142 *call_string* found *element_type* element in delete pending state

説明: コーラーは削除保留状態の LEARP 要素を検出しました。

NHRP.143

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.143 *call_string* cant find *element_type* elemnt

長構文: NHRP.143 *call_string* cannot find *element_type* element

説明: コーラーが LEARP 要素を検出できません。

NHRP.144

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.144 *caller_string* detctd LE_Regstrtn faild for *element_type*= *mac_addr* on net= *net_no*

長構文: NHRP.144 *caller_string* detected LE_Registration failed for *element_type*= *mac_addr* on net= *net_no*

説明: この ELAN に属さない MAC/RD および ATM アドレスの、NHRP による登録が失敗しました。

NHRP.145

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.145 *caller_string* detctd LE_Regstrtn workd for *element_type*= *mac_addr* on net= *net_no*

長構文: NHRP.145 *caller_string* detected LE_Registration worked for *element_type*= *mac_addr* on net= *net_no*

説明: この ELAN に属さない MAC/RD および ATM ア

ドレスの、NHRP による登録が正常に行われました。

NHRP.146

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.146 LE_Regstrtn pendng for *element_type= mac_addr* on net= *net_no*

長構文: NHRP.146 LE_Registration pending for *element_type= mac_addr* on net= *net_no*

説明: この ELAN に属さない MAC/RD および ATM アドレスの、NHRP による登録が保留中です。

NHRP.147

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.147 Cant send LE_Regstrtn for *element_type= mac_addr* on net= *net_no*

長構文: NHRP.147 Cannot send the LE_Registration for *element_type= mac_addr* on net= *net_no*

説明: この ELAN に属さない MAC/RD および ATM アドレスの LE_Registration の送信で、LEC に問題が生じています。

NHRP.148

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.148 entry expird for *element_type= mac_addr* but LE_Regstrtn pendng

長構文: NHRP.148 entry expired for *element_type= mac_addr* but LE_Registration pending

説明: NHRP による、この ELAN に属さない MAC/RD および ATM アドレス登録の保留時間が満了しましたが、LE_Registration が未処理です。このエントリーは、ここでは削除されません。

NHRP.149

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.149 LE_Regstrtn entry expird for *element_type= mac_addr* and markd to be deltd

長構文: NHRP.149 LE_Registration entry expired for *element_type= mac_addr* and marked to be deletd

説明: NHRP による、この ELAN に属さない MAC/RD および ATM アドレス登録の保留時間が満了しました。エントリーは削除とマークされます。

NHRP.150

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.150 LE_Regstrtn entry expird for *element_type= mac_addr* unreg the entry

長構文: NHRP.150 LE_Registration entry expired for *element_type= mac_addr*, unregister the entry

説明: NHRP による、この ELAN に属さない MAC/RD および ATM アドレス登録の保留時間が満了しました。エントリーは削除とマークされます。このエントリーは正常に登録されたので、NHRP はここでエントリーの登録を抹消します。

NHRP.151

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.151 *caller_string* detctd invalid lsi lan_type= *lan_type*

長構文: NHRP.151 *caller_string* detected invalid lsi lan_type= *lan_type*

説明: NHRP はレーン・ショートカット・インターフェース *lan_types* を認識しません。

NHRP.152

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.152 LANE shrtct to one of our int = *ip_addr*

長構文: NHRP.152 LANE shortcut to one of our interface= *ip_addr*

説明: NHRP は、NHS の LEC IP アドレスの 1 つへのショートカットを許可しています。

NHRP.153

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.153 NHS rcvd Res Req

長構文: NHRP.153 NHS received Resolution Request

説明: NHS が解決要求を受信しました。

NHRP.154

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.154 *caller_string* dtctd src or dst proto len err

長構文: NHRP.154 *caller_string* detected source or destination protocol length error

説明: コーラーがプロトコルの長さエラーを検出しました。

NHRP.155

レベル: CE_ERROR

短構文: NHRP.155 nak *src_net_addr/ src_node_addr* for *route_type_text* route to dest= *dest_net_addr/ dest_node_addr* because *reason_text*

長構文: NHRP.155 nak to addr *src_net_addr/ src_node_addr* for *route_type_text* shortcut route to destination *dest_net_addr/ dest_node_addr* because *reason_text*

説明: NHRP サーバーは、クライアントが受信した要求を満たすことができません。

原因: 詳しい理由は *reason_text* に説明されています。

処置: 処置は必要ありませんが、このクライアント/あて先に関して NAK を停止することができる方法を決めるにあたっては、*reason_text* を役立てることができます。

NHRP.156

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.156 Could not delete Imp Cache entry for dest= *proto_addr*, pfx= *prefix*, cid= *cacheid*

長構文: NHRP.156 Could not delete Imposition Cache entry for dest= *proto_addr*, prefix= *prefix*, cacheid= *cacheid*

説明: e-mpc が開始したページの組み付けキャッシュ・エントリーの削除に失敗しました。

NHRP.161

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.161 *caller_string* dtctd dst unreachable to *proto_addr*

長構文: NHRP.161 *caller_string* detected destination unreachable to *proto_addr*

説明: コーラーには指定された着信先へのルートがありません。

NHRP.162

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.162 *caller_string* dtctd hop count exceeded in the NHRP fwd pkt

長構文: NHRP.162 *caller_string* detected hop count exceeded in the NHRP forward packet.

説明: コーラーが NHRP パケットを転送中ですが、ホップ・カウントを超えました。

NHRP.163

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.163 *caller_string* cant get 1483 ATM addr

長構文: NHRP.163 *caller_string* cannot get 1483 ATM address

説明: コーラーは 1483 ATM アドレスを入手できません。要求を待ち行列に入れ、後で再度試行する必要があります。

NHRP.164

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.164 *caller_string* dtctd err in the q mngmnt for *queue_type*

長構文: NHRP.164 *caller_string* detected error in the queue management for *queue_type*

説明: 待ち行列上の要素を処理中に、コーラーがエラーを検出しました。待ち行列と待ち行列の内容のサイズにミスマッチがあります。

NHRP.165

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.165 *caller_string* cant get MAC or corresponding ATM addr

長構文: NHRP.165 *caller_string* cannot get MAC or corresponding ATM address

説明: コーラーは MAC アドレスと対応する ATM アドレスのいずれかを入手できません。要求を待ち行列に入れ、後で再度試行する必要があります。

NHRP.166

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.166 *caller_string* invalid rc from *called_function*

長構文: NHRP.166 *caller_string* invalid return code from *called_function*

説明: コーラーが無効の戻りコードを検出しました。

NHRP.167

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.167 NHS sending a *reply_type* to *src_proto_addr*

長構文: NHRP.167 NHRP Server sending a *reply_type* to *src_proto_addr*

説明: NHRP サーバーが指定されたクライアントに指定された応答を送信中です。

NHRP.168

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.168 NHS cant send a ResReply to *src_proto_addr*

長構文: NHRP.168 NHRP Server cannot send a Resolution Reply to *src_proto_addr*

説明: NHRP サーバーが指定されたクライアントに解決応答を送信できません。

NHRP.169

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.169 *caller_string* ARP/LEARP was successful

長構文: NHRP.169 *caller_string* ARP and/or LEARP was successful

説明: コーラーは、解決応答の送信に必要な MAC アドレスまたは ATM アドレス、あるいはその両方を入手しました。

NHRP.170

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.170 Zero Hop Cli snding a RegReq

長構文: NHRP.170 Zero Hop Client is sending a Registration Request.

説明: ゼロ・ホップまたはルート切り替えクライアントが登録要求を送信中です。

NHRP.171

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.171 *caller_string* forwarding *packet_type* pkt

長構文: NHRP.171 *caller_string* forwarding *packet_type* packet

説明: コーラーが指定されたパケット・タイプを転送中です。

NHRP.172

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.172 *caller_string* cant forward *packet_type* pkt

長構文: NHRP.172 *caller_string* cannot forward *packet_type* packet

説明: コーラーが指定されたパケットを転送できません。

原因: NHS がネクスト・ホップに対して許可されていないか、ネクスト・ホップのネットが NHRP 使用可能でないか、ネクスト・ホップのネットが入力ネットに交換接続されていません。

NHRP.173

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.173 *caller_string* rcvd a *packet_type* pkt destined to me

長構文: NHRP.173 *caller_string* received a *packet_type* packet destined to me

説明: コーラーが NHS/MPS あての指定されたパケット・タイプを受信しました。

NHRP.174

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.174 NHS dtctd a Proto-ATM mapping chg on a RegRequest spcfd as unique..src= *proto_addr*

長構文: NHRP.174 NHS detected Protocol-ATM mapping change on a RegRequest specified as unique..source= *proto_addr*

説明: NHRP サーバーが、固有と指定された登録要求のリフレッシュ上に、プロトコルと ATM のマッピングの変更を検出しました。

NHRP.175

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.175 NHS ran out of mem for client registrations

長構文: NHRP.175 NHS ran out of memory for client registrations

説明: NHRP サーバーは記憶域を使い尽くして、クライアント登録にサービスできませんでした。

原因: NHS が記憶域を獲得できないか、登録対象の構成済みクライアント数に達してしまったか、いずれかです。

NHRP.176

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.176 *caller_string* cant regcnz the NHRP pkt type = *packet_type_value*

長構文: NHRP.176 *caller_string* cannot recognize the NHRP

packet type = *packet_type_value*

説明: コーラーが NHRP パケット・タイプを認識しません。

NHRP.177

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.177 *caller_string* dtctd NHRP pktsz= *pktsize* greater than the input net's MTU= *mtu*

長構文: NHRP.177 *caller_string* detected NHRP packet size= *pktsize* greater than the input net's MTU= *mtu*

説明: NHRP パケット・サイズが入力ネットの MTU より大です。MTU は最大データ・サイズから LLC を差し引いたものです。

NHRP.178

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.178 *caller_string* dtctd NHRP pktsz= *pktsize* greater than bytes rcvd= *bytes_rcvd*

長構文: NHRP.178 *caller_string* detected NHRP packet size= *pktsize* greater than bytes received= *bytes_rcvd*

説明: NHRP パケット・サイズが受信したバイト数より大です。

NHRP.179

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.179 *caller_string* dtctd bytes rcvd= *bytes_rcvd* greater than max pkt size= *max_pkt_sz*

長構文: NHRP.179 *caller_string* detected NHRP bytes received= *bytes_rcvd* greater than max packet size= *max_pkt_sz*

説明: 受信した NHRP バイト数が、このネットに関する最大データ・サイズより大です。

NHRP.180

レベル: U_INFO

短構文: NHRP.180 *caller_string* dtctd iniatlst == NULL implies IP not in the box

長構文: NHRP.180 *caller_string* detected iniatlst == NULL implies IP not in the box

説明: IP はこの NHS/MPS 内に構成されていません。

NHRP.181

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.181 *caller_string* dtctd no IP defined on the physical net= *net_num*

長構文: NHRP.181 *caller_string* detected that no IP address is defined on the physical net= *net_num*

説明: 物理ネット上に IP アドレスが構成されていません。このために NHRP ショートカット数が制限される可能性があります。

NHRP.182

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.182 *caller_string* using anthr net= *net_num* to allw shrtcts

長構文: NHRP.182 *caller_string* using another net= *net_num* to allow shortcuts

説明: NHRP はショートカット用として匹敵する別のネットを見付けようと試みます。

NHRP.183

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.183 *caller_string* no alternate net found for shrtcts

長構文: NHRP.183 *caller_string* no alternate net found for shortcuts

説明: ショートカットを使用できる代替インターフェイスが見付かりません。

NHRP.184

レベル: U_INFO

短構文: NHRP.184 *caller_string* rcvd NHRP pkts on intrfce= *net_num*

長構文: NHRP.184 *caller_string* received NHRP pkts on interface= *net_num*

説明: インターフェース上で NHRP パケットを受信しましたが、NHRP が使用可能になっていません。

NHRP.185

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.185 *caller_string* cant recogzn the dest_type = *dest_type_value*

長構文: NHRP.185 *caller_string* cannot recognize the dest_type = *dest_type_value*

説明: コーラーが `dest_type` を認識しません。

NHRP.186

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.186 *caller_string* called `n_send()` but it cant send the NHRP pkt

長構文: NHRP.186 *caller_string* called `n_send()` but it cannot send the NHRP packet

説明: `n_send` が不良の戻りコードを戻しました。

NHRP.187

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.187 *caller_string* called w/ bad input parm

長構文: NHRP.187 *caller_string* called with bad input parameter

説明: 入力パラメーターの 1 つが誤りです。

NHRP.188

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.188 *caller_string* cant find the nxthp to send NHRP/MPOA Packet

長構文: NHRP.188 *caller_string* cannot find the nexthop to send NHRP/MPOA Packet

説明: どのインターフェース外にも NHRP パケットを送信できません。

NHRP.189

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.189 *caller_string* cant recgnz proto_state = *proto_state*

長構文: NHRP.189 *caller_string* cannot recognize the proto_state = *proto_state*

説明: コーラーがプロトコル使用可能ビット・パターンを認識しません。

NHRP.190

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.190 *caller_string* NHRP initialized on net = *net_no*

長構文: NHRP.190 *caller_string* NHRP initialized on network number = *net_no*

説明: NHRP 使用可能ネットが初期化されたことを知らせる通知

NHRP.191

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.191 *caller_string* NHRP enbld net = *net_no* is down.

長構文: NHRP.191 *caller_string* NHRP enabled net = *net_no* is down.

説明: NHRP 使用可能ネットがダウンしていることを知らせる通知

NHRP.192

レベル: U_INFO

短構文: NHRP.192 Rcvd Err Ind w/ err code= *error_code*, err offset= *error_offset*, from= *from_proto_addr*

長構文: NHRP.192 Received Error Indication w/ error code= *error_code*, error offset= *error_offset*, from= *from_proto_addr*

説明: 誤り通知パケットが受信され、こちらが着信先になっていることを知らせる通知

NHRP.193

レベル: U_INFO

短構文: NHRP.193 *caller_string* rcvd err rc from IP Route Table for *ip_addr*: rte= *rte*, inrretp= *inrretp*

長構文: NHRP.193 *caller_string* received error return code from IP Routing Table for *ip_addr*: rte= *rte*, inrretp= *inrretp*

説明: IP ルーティング・エラーがあることを知らせる通知

NHRP.194

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.194 *caller_string* rcvd a req for *ip_addr* which is one of our proto addr

長構文: NHRP.194 *caller_string* received a request for *ip_addr*, which is one of our protocol address

説明: こちらのプロトコル・アドレスの 1 つへのショートカットに対する要求を受信しました。

NHRP.195

レベル: U_INFO

短構文: NHRP.195 *caller_string* rcvd out_net=sink net from IP Route Table for *ip_addr*

長構文: NHRP.195 *caller_string* received out_net=sink net from IP Routing Table for *ip_addr*

説明: IP ルート・テーブル・コールからの出力ネットが受信側ネットです。

NHRP.196

レベル: U_INFO

短構文: NHRP.196 *caller_string* cant route *dest*, no explicitly defined NHRP IP Servers

長構文: NHRP.196 *caller_string* cannot route *dest*, there is no explicitly defined NHRP IP Servers

説明: ルートされたパスを使用して NHRP パケットをルーティングすることができず、NHRP IP サーバーは定義されていません。

NHRP.197

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.197 *caller_string* scan routing tbl bcause change occurred since last scan

長構文: NHRP.197 *caller_string* scan routing table because change has occurred since last scan

説明: NHRP がルーティング・テーブルをスキャン中であることを知らせる通知

NHRP.198

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.198 Invalid prefix= *prefix_flag* in *caller_string*

長構文: NHRP.198 Invalid prefix flag= *prefix_flag* detected in *caller_string*

説明: 無効のプレフィックス・フラグを検出しました。

NHRP.199

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.199 *caller_string* did not dtct mac chgs so no purge triggered.

長構文: NHRP.199 *caller_string* did not detect mac changes, so no purge is triggered.

説明: レベル 2 の変更がレーン・ショートカット・インターフェース・サーバー側で検出されなかったので、NHRP パージが送信されることはありません。

NHRP.200

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.200 *caller_string* waiting for L2 parms to be retrieved bfore chgs can be dtctd

長構文: NHRP.200 *caller_string* waiting for L2 parms to be retrieved before changes can be detected

説明: レーン・ショートカット・インターフェース・サーバーは、レベル 2 パラメーターが検索されるのを待ってからでないと、変更を検出して、NHRP パージを送信することはできません。

NHRP.201

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.201 ATM netids mismatch on nt *in_net* (netid *in_netid*) and nt *out_net* (netid *out_netid*)

長構文: NHRP.201 ATM network-ids mismatch on net *in_net* (netid *in_netid*) and net *out_net* (netid *out_netid*)

説明: インバウンド・ネットとアウトバウンド・ネットは同じ交換接続ネットワーク上にはありません。インバウンド・ネットとアウトバウンド・ネットの ATM ネットワーク ID は、異なる値を用いて構成されています。

NHRP.202

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.202 Cant send LE_Unregstrtn for *element_type*= *mac_addr* on net= *net_no*

長構文: NHRP.202 Cannot send the LE_Unregistration for *element_type*= *mac_addr* on net= *net_no*

説明: この ELAN に属さない MAC/RD および ATM アドレスの LE_Unregistration の送信で、LEC に問題が生じています。

NHRP.203

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.203 *caller_string* Cant register existing MAC/RD with new ATM addr for *element_type*= *mac_addr* on net= *net_no*

長構文: NHRP.203 *caller_string* Cannot register existing MAC/RD with new ATM address for *element_type*= *mac_addr* on net= *net_no*

説明: NHRP による MAC/RD および ATM アドレスの登録が失敗しました。

NHRP.204

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.204 *caller_string* Rings not unique in merged RIF (ring *ring_no*)

長構文: NHRP.204 *caller_string* Ring numbers not unique in merged RIF (ring *ring_no*)

説明: 0 ホップ・ルーティングの組み合わせ RIF がエラー状態です。

NHRP.205

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.205 *caller_string* Merged RIF too long (driflen= *rif_len* sriflen= *rif_len* mriflen= *rif_len*)

長構文: NHRP.205 *caller_string* Merged RIF exceeded MAX_RIF_LEN (dest riflen= *rif_len*, src riflen= *rif_len*, merged riflen= *rif_len*)

説明: 0 ホップ・ルーティングの組み合わせ RIF が長過ぎます。

NHRP.206

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.206 *caller_string* No free virtual RDs

長構文: NHRP.206 *caller_string* All virtual route-descriptors are in use

説明: バーチャル・ルート記述子はすべて使用中です。

NHRP.207

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.207 *caller_string* retcd failure for mac= *caller_string*

長構文: NHRP.207 *caller_string* returned failure for mac address= *caller_string*

説明: 0 ホップ・クライアントに関する *local_flag* の入手を試みているとき、LEC コードが障害を戻しました。

NHRP.208

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.208 0-Hop detd bridging type mismatch between mac= *caller_string* and mac= *caller_string*

長構文: NHRP.208 0-Hop detected transparent and source-route bridges between mac= *caller_string* and mac= *caller_string*

説明: ブリッジング・タイプの混合が原因の 0 ホップ・ルーティングの非互換性

NHRP.209

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.209 0-Hop rings overlap on net= *net_no*

長構文: NHRP.209 0-Hop virtual ring range overlapping with another router on net= *net_no*

説明: ユーザーに対して、オーバーラップしない 0 ホップ・バーチャル・リング範囲を構成するように警告します。

NHRP.210

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.210 *caller_string* dtctd no 0-hop reg tbl alloc on net= *net_num*

長構文: NHRP.210 *caller_string* detected that 0-hop registration table is not allocated on net= *net_num*

説明: 0 ホップ登録テーブルがこのネット上で割り振られていませんでした。

NHRP.211

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.211 Function *caller_string*, no valid LSI net on intf *net_num*

長構文: NHRP.211 Function *caller_string* called, no valid LSI net found on interface *net_num*

説明: NHRP LSI ネット SRAM レコードが定義されていないか、Rel 1.1 形式です。

NHRP.212

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.212 *packet_type* not rcvd; cannot snd *packet_type* pkt; inbound/outbound rqst-id *inbound_request_id*/ *outbound_request_id*

長構文: NHRP.212 *packet_type* not received; therefore, cannot send *packet_type* for inbound/outbound Request-ID *inbound_request_id*/ *outbound_request_id*

説明: *packet_type* の応答は、対応する応答を受信しないので送信できません。

原因: ルートされたパスの中のルーターの 1 つの NHRP または MPOA が使用不可にされているか、誤って構成されています。

処置: パケットが廃棄されている場所を見つけてください。

NHRP.213

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.213 MPOA 1483 cntrl VC dwn reason= *reason_code*, cause= *cause_code*

長構文: NHRP.213 MPOA 1483 control VCC down reason= *reason_code*, cause= *cause_code*

説明: 外部 MPS または MPC が、VCC をダウンにしました。

NHRP.214

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.214 Could not xmit pkt to *atm_addr*, out net intf *net_number*

長構文: NHRP.214 Could not transmit NHRP packet to *atm_addr*, out network interface *net_number*

説明: MPOA/NHRP パケットを MPC/MPS に送信できませんでした。

原因: *atm_addr* への VCC が活動状態になっていません。

処置: *atm_addr* によって識別されている外部装置の状態を検査してください。

NHRP.215

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.215 *ip_addr* is LEC on net intf *net_number*, but it's not an MPC/MPS

長構文: NHRP.215 *ip_addr* is LEC on network interface *net_number*, but it's not an MPC/MPS

説明: *net_number* に関連する ELAN 上の *ip_addr* が、MPC/MPS ではありません。

原因: いずれかの側で MPOA が使用可能にされていないか、サポートされていません。

処置: NHRP パケットを *ip_addr* で受信する場合は、処置は必要ありません。ただし、*ip_addr* に関連した LEC が MPC または MPS の場合は、両側の構成を検査してください。

NHRP.216

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.216 Add purge entry for *dest_addr*= *destination_addr*, *prefix*= *prefix*, *nh*= *next_hop_addr*

長構文: NHRP.216 Adding new purge cache entry for *destination address*= *destination_addr*, *prefix*= *prefix* and *nh*= *next_hop_addr*

説明: 新しいページ・キャッシュ・エントリーを追加中です。

NHRP.217

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.217 Purge Cache: *comment* *nh* *nh_client*= *nh* *nh_client_addr*, for *dest_addr*= *next_hop_addr*, *nh*=

長構文: NHRP.217 Purge Cache info: *comment* *nh* *nh* *nh_client*= *nh* *nh_client_addr*, for *destination address*= *next_hop_addr* and *nh*=

説明: ページ・キャッシュ情報

NHRP.218

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.218 Purge Cache: *comment* MPC for *dest_addr*= *nh* *nh_client_addr*, *nh*= *next_hop_addr*

長構文: NHRP.218 Purge Cache info: *comment* MPC for *destination address*= *nh* *nh_client_addr* and *nh*= *next_hop_addr*

説明: ページ・キャッシュ情報

NHRP.219

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.219 Cache Imp *msg*: *rid*= *reqid*, *dest*= *dest_addr*, *px*= *prefix*, *cid*= *cacheid*, *ht*= *holding_time*, *nt*= *netno*

長構文: NHRP.219 Cache Imposition *msg*: *reqid*= *reqid*, *dest*= *dest_addr*, *prefix*= *prefix*, *cacheid*= *cacheid*, *htime*= *holding_time* *net*= *netno*

説明: MPOA キャッシュ組み付け要求/応答

NHRP.220

レベル: P_TRACE

短構文: NHRP.220 Trace MPOA KeepAlive pkt.

長構文: NHRP.220 Trace MPOA KeepAlive pkt.

説明: MPOA キープアライブ制御フレーム・パケットのトレース

NHRP.221

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.221 rcvd res reqst from *src_net_addr/*
src_node_addr for *dest_net_addr/ dest_node_addr*

長構文: NHRP.221 received resolution request from
src_net_addr/ src_node_addr for *dest_net_addr/*
dest_node_addr

説明: NHRP サーバーが解決要求を受信しました。

NHRP.222

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.222 xmit purge pkt to client= *cli_net_addr/*
cli_node_addr for *dest_addr= dest_net_addr/ dest_node_addr*
w/ *prefix= prefix*

長構文: NHRP.222 Send purge pkt to client= *cli_net_addr/*
cli_node_addr for *destination= dest_net_addr/ dest_node_addr*
with *prefix= prefix*

説明: パージ・パケット送信情報

NHRP.223

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.223 *function_name: general_message*
proto_net_addr/ proto_node_addr

長構文: NHRP.223 *function_name: general_message*
proto_net_addr/ proto_node_addr

説明: メッセージが説明です。

NHRP.224

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.224 *function_name: general_message*
pr_net_ad1/ pr_node_ad1 pr_net_ad2/ pr_node_ad2
pr_net_ad3/ pr_node_ad3

長構文: NHRP.224 *function_name: general_message*
pr_net_ad1/ pr_node_ad1 pr_net_ad2/ pr_node_ad2
pr_net_ad3/ pr_node_ad3

説明: メッセージが説明です。

NHRP.225

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.225 Exclude lst match for: *pr_net_addr/*
pr_node_addr

長構文: NHRP.225 Exclude list match for: *pr_net_addr/*
pr_node_addr

説明: NHRP は NHRP パケットの全部または一部の処理ができません。パケット内の IPX アドレスが、NHRP 除外リストに構成されているアドレスに一致するためです。

NHRP.227

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.227 *function_name: general_message*
proto_net_addr/ proto_node_addr

長構文: NHRP.227 *function_name: general_message*
proto_net_addr/ proto_node_addr

説明: メッセージが説明です。

NHRP.228

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.228 *caller_string* free learp mac-rd elem for
nxt hp *addr= prot_net_addr/ prot_node_addr*

長構文: NHRP.228 *caller_string* free learp mac-rd element
for next hop *addr= prot_net_addr/ prot_node_addr*

説明: 指定されたプロトコル・アドレスの
LEARP_MAC_RD_ENTRY を解放します。

NHRP.229

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.229 Could not delete Imp Cache entry for
dest= proto_net_addr/ proto_node_addr, *pfx= prefix*, *cid=*
cacheid

長構文: NHRP.229 Could not delete Imposition Cache entry
for *dest= proto_net_addr/ proto_node_addr*, *prefix= prefix*,
cacheid= cacheid

説明: e-mpc が開始した除去要求の組み付けキャッシュ・エントリーの削除に失敗しました。

NHRP.230

レベル: UE_ERROR

短構文: NHRP.230 *caller_string* dtctd dst unreachable to
proto_net_addr/ proto_node_addr

長構文: NHRP.230 *caller_string* detected destination
unreachable to *proto_net_addr/ proto_node_addr*

説明: コーラーには指定されたあて先へのルートがありません。

NHRP.231

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.231 NHS sending a *reply_type* to *src_proto_net_addr/ src_proto_node_addr*

長構文: NHRP.231 NHRP Server sending a *reply_type* to *src_proto_net_addr/ src_proto_node_addr*

説明: NHRP サーバーは、指定のクライアントに指定の応答を送信中です。

NHRP.233

レベル: U_INFO

短構文: NHRP.233 *caller_string* rcvd err rc from IPX Route Table for *ipx_net_addr/ ipx_node_addr*

長構文: NHRP.233 *caller_string* received error return code from IPX Routing Table for *ipx_net_addr/ ipx_node_addr*

説明: IPX ルーティング・エラーがあることを知らせる通知

NHRP.234

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.234 *caller_string* rcvd a req for *ipx_net_addr/ ipx_node_addr* which is one of our proto addr

長構文: NHRP.234 *caller_string* received a request *ipx_net_addr/ ipx_node_addr*, which is one of our protocol address

説明: こちらのプロトコル・アドレスの 1 つへショートカットする要求を受信しました。

NHRP.235

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.235 *ipx_net_addr/ ipx_node_addr* is LEC on net intf *net_number*, but it's not an MPC/MPS

長構文: NHRP.235 *ipx_net_addr/ ipx_node_addr* is LEC on network interface *net_number*, but it's not an MPC/MPS

説明: *net_number* に対応する ELAN 上の *ipx_addr* が、MPC/MPS ではありません。

原因: いずれかの側で MPOA が使用可能にされていないか、サポートされていません。

処置: NHRP パケットを *ipx_addr* で受信する場合は、処置は必要ありません。ただし、*ipx_addr* に対応する LEC が MPC または MPS である場合は、両側の構成を検査してください。

NHRP.236

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.236 Add purge entry for *dest_net= dest_net_addr*, *nh= nh_net_addr/ nh_node_addr*

長構文: NHRP.236 Adding new purge cache entry for *dest_net= dest_net_addr* and *nh= nh_net_addr/ nh_node_addr*

説明: 新しいページ・キャッシュ・エントリーを追加中です。

NHRP.237

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.237 Cache Imp *msg: rid= reqid*, *dest= dest_net_addr/ dest_node_addr*, *pfx= prefix*, *cid= cacheid*, *ht= holding_time*, *nt= netno*

長構文: NHRP.237 Cache Imposition *msg: reqid= reqid*, *dest= dest_net_addr/ dest_node_addr*, *prefix= prefix*, *cacheid= cacheid*, *htime= holding_time* *net= netno*

説明: MPOA キャッシュ組み付け要求/応答

NHRP.238

レベル: UI_ERROR

短構文: NHRP.238 *caller* can't add purge entry for *dest_net= dest_net_addr*, *nh= nh_net_addr/ nh_node_addr*

長構文: NHRP.238 *caller* can't Add new purge cache entry for *dest_net= dest_net_addr* and *nh= nh_net_addr/ nh_node_addr*

説明: 上記のルーチンは、新しいページ・キャッシュ・エントリーを追加できません。

NHRP.239

レベル: C_INFO

短構文: NHRP.239 *function_name: general_message general_code general_message general_code*

長構文: NHRP.239 *function_name: general_message general_code general_message general_code*

説明: メッセージが説明です。

第78章 最短パス最優先オープン (OSPF)

この章では、最短パス最優先オープン (OSPF) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

SPF.001

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.001 Bad length pkt, from *IP_source*, to *IP_destination*, OSPF len *OSPF_packet_length*, IP len *IP_packet_length*, type *OSPF_packet_type*

長構文: SPF.001 Bad length packet, from *IP_source*, to *IP_destination*, OSPF *OSPF_packet_length*, IP *IP_packet_length*, type *OSPF_packet_type*

説明: OSPF パケットを受信しました。OSPF 長さフィールドに示されているパケットの長さが、IP ヘッダーの長さフィールドに示されている値より長くなっています。パケットは廃棄されます。

SPF.002

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.002 Bad pkt checksum, from *IP_source*, type *OSPF_packet_type*

長構文: SPF.002 Bad packet checksum, from *IP_source*, type *OSPF_packet_type*

説明: OSPF パケットを受信しました。パケットには無効な OSPF チェックサムが入っています。パケットは廃棄されます。

SPF.003

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.003 Bad OSPF version, from *IP_source*, type *OSPF_packet_type*

長構文: SPF.003 Bad OSPF version, from *IP_source*, type *OSPF_packet_type*

説明: OSPF パケットを受信しました。OSPF ヘッダーのバージョン・フィールドが 1 に等しくありません。パケットは廃棄されます。

SPF.005

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.005 No matching ifc for pkt from *IP_source*, type *OSPF_packet_type*

長構文: SPF.005 No matching SPF-interface for packet from *IP_source*, type *OSPF_packet_type*

説明: OSPF パケットを受信しました。パケットに指定された IP あて先が受け入れ不能であるか、あるいは OSPF ヘッダー内のパラメーター (たとえば、区域 ID) が、受信側インターフェース用に構成されたパラメーターと一致していません。パケットは廃棄されます。

SPF.006

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.006 Authentication failure, from *IP_source*, type *OSPF_packet_type*

長構文: SPF.006 Packet authentication failure, from *IP_source*, type *OSPF_packet_type*

説明: OSPF パケットを受信しましたが、認証に失敗しました。パケットは廃棄されます。

SPF.007

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.007 No matching nbr for pkt from *IP_source*, type *OSPF_packet_type*

長構文: SPF.007 No matching OSPF neighbor for packet from *IP_source*, type *OSPF_packet_type*

説明: OSPF パケットを受信しました。このパケットはハロー・パケットではなく、既存のどの OSPF 近隣とも一致しません。パケットは廃棄されます。

SPF.008

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.008 Bad pkt type from *IP_source*, type *OSPF_packet_type*

長構文: SPF.008 Bad packet type received from *IP_source*, type *OSPF_packet_type*

説明: OSPF パケットを受信しました。OSPF パケットのタイプ・フィールドが無効です。パケットは廃棄されます。

SPF.009

レベル: UI-ERROR

短構文: SPF.009 No buffer for mcast to *IP_destination*

長構文: SPF.009 No buffer for multicast packet to *IP_destination*

説明: リンク・レベルでパケットを拡張して、非同報通信ネットワークでマルチキャスト・パケットを送信しようとした。バッファ資源が不十分だったので、この拡張が失敗しました。

原因: 資源の輻輳 (ふくそう)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

SPF.010

レベル: P-TRACE

短構文: SPF.010 Received packet type *OSPF_packet_type* from *IP_source*

長構文: SPF.010 Received packet type *OSPF_packet_type* from *IP_source*

説明: 指定のタイプの OSPF パケットを受信しました。

SPF.011

レベル: U-TRACE

短構文: SPF.011 Sending unicast type *OSPF_packet_type* dst *IP_destination*

長構文: SPF.011 Sending unicast type *OSPF_packet_type* dst *IP_destination*

説明: 指定のタイプのユニキャスト OSPF パケットを、指定の IP へて先に送信しました。

SPF.012

レベル: P-TRACE

短構文: SPF.012 Sending mcast type *OSPF_packet_type*, dst *IP_destination* net *network*

長構文: SPF.012 Sending multicast, type *OSPF_packet_type*, destination *IP_destination* net *network*

説明: 指定のタイプのマルチキャスト OSPF パケットを、指定のインターフェースに送信しました。

SPF.013

レベル: U-INFO

短構文: SPF.013 Rxmitting type *OSPF_packet_type*, *IP_source* -> *IP_destination*

長構文: SPF.013 Retransmitting packet, type *OSPF_packet_type*, *IP_source* -> *IP_destination*

説明: 指定のタイプのユニキャスト OSPF パケットを再送中です。

SPF.014

レベル: UI-ERROR

短構文: SPF.014 No FSM match, ifc *interface_IP_address*, state *interface_state*, event *interface_event*

長構文: SPF.014 No FSM match, interface *interface_IP_address*, state *interface_state*, event *interface_event*

説明: インターフェースが指定の状態にあるときに、指定の事象が発生しました。この発生には、インターフェースの有限状態遷移図は適用されませんでした。この事象は無視されます。

原因: 内部エラーの可能性あります。

処置: サービスに連絡してください。

SPF.015

レベル: U-INFO

短構文: SPF.015 State change, ifc *interface_IP_address*, new state *new_interface_state*, event *interface_event*

長構文: SPF.015 State change, interface *interface_IP_address*, new state *new_interface_state*, event *interface_event*

説明: 指定のインターフェースで指定の事象が発生し、そのためにインターフェースの状態が変換しました。

SPF.016

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.016 No match for hlo (virtual link) from *IP_source*

長構文: SPF.016 No match for hello received on virtual link, from *IP_source*

説明: 仮想リンクにのみ突き合わせることができるハロー・パケットを受信しましたが、仮想リンクが構成されていません。パケットは廃棄されます。

SPF.017

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.017 Network mask mismatch with *IP_source*

長構文: SPF.017 Network mask mismatch in hello from *IP_source*

説明: 近隣からハロー・パケットを受信しました。近隣は、共通ネットワークのネットワーク・マスクが、このルーターと一致していません。パケットは廃棄されます。

SPF.018

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.018 Hello interval mismatch with *IP_source*

長構文: SPF.018 Hello interval mismatch in hello from *IP_source*

説明: 近隣からハロー・パケットを受信しました。近隣は、共通ネットワークで使用するハロー時間間隔が、このルーターと一致していません。パケットは廃棄されます。

SPF.019

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.019 Dead interval mismatch with *IP_source*

長構文: SPF.019 Dead interval mismatch in hello from *IP_source*

説明: 近隣からハロー・パケットを受信しました。近隣は、共通ネットワーク上で使用されるはずの“休止ルーター時間間隔”に関して、このルーターと一致しません。パケットは廃棄されます。

SPF.020

レベル: UI-ERROR

短構文: SPF.020 No FSM match, nbr *neighbor_IP_address*, state *neighbor_state*, event *neighbor_event*

長構文: SPF.020 No FSM match, neighbor *neighbor_IP_address*, state *neighbor_state*, event *neighbor_event*

説明: 指定の事象が生成され、指定の近隣は現在、指定の状態にあります。この事象の発生は、近隣の有限状態機械によって予測されていませんでした。この事象は無視されます。

原因: 内部エラーの可能性あります。

処置: サービスに連絡してください。

SPF.021

レベル: U-INFO

短構文: SPF.021 State change, nbr *neighbor_IP_address*, new state *neighbor_state*, event *neighbor_event*

長構文: SPF.021 State change, neighbor

neighbor_IP_address, new state *neighbor_state*, event *neighbor_event*

説明: 指定の事象が生成され、指定の近隣は新しい状態に移行しました。

SPF.022

レベル: UI-ERROR

短構文: SPF.022 Outstanding DD pkt not avail for nbr *neighbor_IP_address*

長構文: SPF.022 Outstanding Database Description packet not avail for neighbor *neighbor_IP_address*

説明: 指定の近隣にデータベース記述パケットを再送しようとしたが、パケットが見つかりませんでした。再送は打ち切られます。

原因: 内部エラーの可能性あります。

処置: サービスに連絡してください。

SPF.023

レベル: UI-ERROR

短構文: SPF.023 Unable to get pkt, to *IP_destination*, ifc *interface_IP_address*

長構文: SPF.023 Unable to get packet to send to *IP_destination*, out interface *interface_IP_address*

説明: 指定のあて先に OSPF パケットを送信しようとしたが、バッファの不足のために、指定のインターフェースは異常終了しました。

原因: 資源の輻輳 (ふくそう)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

SPF.024

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.024 Bad length LS adv from *neighbor_IP_address*

長構文: SPF.024 Bad length Link state advertisement received from *neighbor_IP_address*

説明: 指定の近隣からリンク状態公示を受信しましたが、公示の長さフィールドが、受信したリンク状態更新パケットには公示全体が完全には収められていないことを示しています。部分的な公示は廃棄されます。

SPF.025

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.025 from *neighbor_IP_address*, adv. cksum fl: (*LS_type*, *advertisement_ID*)

長構文: SPF.025 from *neighbor_IP_address*, LS advertisement checksum fails: LS type *LS_type* id *advertisement_ID*

説明: リンク状態公示を受信しました。公示は、LS タイプと 2 つの部分からなる発信元 ID (OSPF 仕様セクション 12.1 を参照) によって識別されています。公示に含まれているチェックサム・フィールドが無効です。公示は無視されます。

SPF.026

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.026 from *neighbor_IP_address*, bad type, adv: (*LS_type*, *advertisement_ID*)

長構文: SPF.026 from *neighbor_IP_address*, bad LS type, advertisement: typ *LS_type* id *advertisement_ID*

説明: リンク状態公示を受信しました。公示の LS タイプ・フィールドが無効です。公示は無視されます。

SPF.027

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.027 from *neighbor_IP_address*, ext adv on VL: (*LS_type*, *advertisement_ID*)

長構文: SPF.027 from *neighbor_IP_address*, AS external link adv. on Virtual Link: typ *LS_type* id *advertisement_ID*

説明: リンク状態公示を受信しました。これは仮想リンクを介して受信しましたが、その LS タイプは AS 外部リンクに等しくなっています。公示は無視されます。

SPF.028

レベル: U-INFO

短構文: SPF.028 from *neighbor_IP_address*, old adv: (*LS_type*, *advertisement_ID*)

長構文: SPF.028 from *neighbor_IP_address*, old LS advertisement: typ *LS_type* id *advertisement_ID*

説明: リンク状態公示を受信しました。この公示は、現行のデータベース・コピーより古いものです。受信した公示は、発信元に向けて再びフラッディングされます。

SPF.029

レベル: U-INFO

短構文: SPF.029 from *neighbor_IP_address*, self update: (*LS_type*, *advertisement_ID*)

長構文: SPF.029 from *neighbor_IP_address*, self update: typ *LS_type* id *advertisement_ID*

説明: リンク状態公示を受信しました。公示はルーター自身によって発信されたものですが、データベース・コピーより新しいものです。これは、ルーターが最後に始動される前に、公示が発信されたことを示しています。このことにより、ルーターは LS シーケンス番号を進め、公示を新しくインスタンス化するか、あるいは公示をフラッシュするか (公示が要約 LSA で、接続された区域が要約 LSA をこれ以上インポートできない場合) のいずれかを行います。

SPF.030

レベル: U-INFO

短構文: SPF.030 from *neighbor_IP_address*, new adv: (*LS_type*, *advertisement_ID*)

長構文: SPF.030 from *neighbor_IP_address*, new LS advertisement: typ *LS_type* id *advertisement_ID*

説明: リンク状態公示を受信しました。この公示は、現行のデータベース・コピーより新しいものです。この公示は、他のすべてのインターフェースからあふれて、ルーティング・データベースに導入されました。

SPF.031

レベル: U-INFO

短構文: SPF.031 from *neighbor_IP_address*, Old ack for adv: (*LS_type*, *advertisement_ID*)

長構文: SPF.031 from *neighbor_IP_address*, Old acknowledgement for advertisement: typ *LS_type* id *advertisement_ID*

説明: 予期しないリンク状態確認応答を受信しましたが、この確認応答は、以前に出されたリンク状態公示のインスタンスに対するものです。

SPF.032

レベル: U-INFO

短構文: SPF.032 Bad ack from *neighbor_IP_address* for adv: (*LS_type*, *advertisement_ID*)

長構文: SPF.032 Bad acknowledgment from *neighbor_IP_address* for advertisement: typ *LS_type* id *advertisement_ID*

説明: 予期しないリンク状態確認応答を受信しましたが、この確認応答は、現行のリンク状態公示のインスタンスに対するものです。

SPF.033

レベル: U-INFO

短構文: SPF.033 LS update retransmission to *neighbor_IP_address*

長構文: SPF.033 LS update retransmission to neighbor *neighbor_IP_address*

説明: 再送済みのリンク状態公示が入っているリンク状態更新パケットが、指定の近隣にユニキャストされました。これはおそらく、フラッディング手順時にパケットが失われたことを示しています。

SPF.034

レベル: U-INFO

短構文: SPF.034 LS ack sent direct to *neighbor_IP_address*

長構文: SPF.034 LS acknowledgement sent directly to neighbor *neighbor_IP_address*

説明: リンク状態確認応答パケットが、指定の近隣に直接送信されました。これは、近隣から受信した重複リンク状態公示に対する応答です。これはおそらく、フラッディング手順時にパケットが失われたことを示しています。

SPF.035

レベル: U-INFO

短構文: SPF.035 Flushing advertisement: (*LS_type*, *advertisement_ID*)

長構文: SPF.035 Flushing advertisement: typ *LS_type* id *advertisement_ID*

説明: リンク状態データベースに入っているリンク状態公示が、この 2 時間更新されていません。この公示はデータベースから削除されます。これはおそらく、公示の発信元が到達不能になっていることを示しています。OSPF 仕様のセクション 14 を参照してください。

SPF.036

レベル: U-INFO

短構文: SPF.036 Originating adv: (*LS_type*, *advertisement_ID*)

長構文: SPF.036 Originating LS advertisement: typ *LS_type* id *advertisement_ID*

説明: リンク状態公示が、ルーターによって (再) 発信されています。これは、トポロジーの変更によるか、リフレッシュが必要であるためと考えられます。

SPF.037

レベル: U-INFO

短構文: SPF.037 new route to *destination*, type *route_type* cost *route_cost*

長構文: SPF.037 New route to destination *destination*, type *route_type* cost *route_cost*

説明: SPF ルーティング・テーブル作成プロセスが、指定のあて先への新しい最良ルートを検出し、そのルートは指定のコストをもっています。

SPF.038

レベル: P-TRACE

短構文: SPF.038 *Interface* hello sent to dest type

長構文: SPF.038 *Interface* hello sent to IP destination type

説明: OSPF ハローが、指定の IP あて先に送信されました。これは、NBMA (非同報通信マルチアクセス) ネットワーク、または P2MP ポイント・マルチポイント(1 地点多地点間) ネットワークを通して行われました。

SPF.039

レベル: U-INFO

短構文: SPF.039 The OSPF routing protocol is *en/disabled*

長構文: SPF.039 The OSPF routing protocol is *en/disabled*

説明: ルーターの始動時に印刷されました。SPF プロトコルの操作状況を示しています。

SPF.040

レベル: U-INFO

短構文: SPF.040 SPF Interface *interface_IP_address* is not an IP address, Interface not installed

長構文: SPF.040 SPF Interface *interface_IP_address* is not an IP address, Interface not installed

説明: ルーターの始動時に印刷されました。OSPF インターフェース・アドレスが構成されていますが、そのアドレスが IP コンソールでは構成されていませんでした。OSPF インターフェースはインストールされません。

SPF.043

レベル: U-INFO

短構文: SPF.043 Duplicate LS ack received from *neighbor_IP_address*

長構文: SPF.043 Duplicate LS acknowledgment received from neighbor *neighbor_IP_address*

説明: 指定の近隣から、予期しないリンク状態確認応答を受信しました。これはおそらく、フラッドイング手順時にパケットが失われたことを示しています。

SPF.044

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.044 from *neighbor_IP_address*, bad age field, adv (*LS_type*, *advertisement_ID*)

長構文: SPF.044 from *neighbor_IP_address*, bad age field, advertisement: typ *LS_type* id *advertisement_ID*

説明: リンク状態公示を受信しました。公示の LS 経過時間フィールドが無効です。公示は無視されます。

SPF.045

レベル: U-INFO

短構文: SPF.045 non-existent transit area *proposed_transit_area*, VL discarded

長構文: SPF.045 Transit area *proposed_transit_area* not configured, virtual link discarded

説明: 仮想リンクが特定伝送区域用に構成されていますが、その区域が定義されていません。仮想リンクは無視されます。

SPF.046

レベル: U-INFO

短構文: SPF.046 No backbone configured, VLs discarded

長構文: SPF.046 Backbone area is not configured, all virtual links discarded

説明: 仮想リンクは、バックボーン区域が構成されていないと使用できません。

SPF.047

レベル: U-INFO

短構文: SPF.047 *destination* now unreachable

長構文: SPF.047 Destination *destination* now unreachable

説明: ルーティング・テーブル作成処理時に、あて先が

到達不能であることが分かりました。

SPF.048

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.048 AS ext adv limit exceeded; adv ignored

長構文: SPF.048 Limit of AS external advertisements exceeded; advertisement discarded

説明: 公示の見積数を超過しました。ルーターのヒープの使用量を制限するために、新しい AS 外部公示は無視されます。

SPF.050

レベル: U-INFO

短構文: SPF.050 from *neighbor_IP_address*, MaxAge: (*LS_type*, *advertisement_ID*)

長構文: SPF.050 from *neighbor_IP_address*, received unexpected MaxAge: typ *LS_type* id *advertisement_ID*

説明: リンク状態公示を受信しました。その経過時間が MaxAge であり、ルーターのデータベースには現行の公示のインスタンスはありません。公示は確認応答された後、フラッドイングを伴わないで廃棄されます。

SPF.051

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.051 bad adv/ovflo: (*LS_type*, *advertisement_ID*)

長構文: SPF.051 error in advertisement or routing overflow: typ *LS_type* id *advertisement_ID*

説明: リンク状態公示を受信しました。公示にエラーが含まれているか、ルーティング・テーブルがオーバーフローするので、データベースに追加することができません。いずれの場合も、公示は廃棄されます。

SPF.052

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.052 Stub area mismatch with *IP_source*

長構文: SPF.052 Stub area mismatch in hello from *IP_source*

説明: 近隣からハロー・パケットを受信しました。近隣は、接続区域の AS 外部リンク公示処理機能が、このルーターと一致していません。ハロー・パケットは無視されます。

SPF.053

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.053 from *neighbor_IP_address*, recvd in stub area, adv (*LS_type*, *advertisement_ID*)

長構文: SPF.053 from *neighbor_IP_address*, type 5 LSA in stub area, adv: typ *LS_type* id *advertisement_ID*

説明: タイプ 5 リンク状態公示を受信しました。 公示はスタブ区域を通してフラッディングされるので、無視されます。

SPF.054

レベル: C-INFO

短構文: SPF.054 Dijkstra calculation performed: *Number_areas* area(s)

長構文: SPF.054 Dijkstra calculation performed, on *Number_areas* area(s)

説明: トポロジ変更の結果として、Dijkstra 計算から始めて、ルーティング・テーブルが再計算されました。

SPF.055

レベル: U-INFO

短構文: SPF.055 Network LSA w/ old Adv Rtr: (*LS_type*, *advertisement_ID*)

長構文: SPF.055 Network LSA with old Advertising Router: (*LS_type*, *advertisement_ID*)

説明: 当方のアドレスの 1 つをリンク状態 ID として持っているネットワーク・リンクの公示を受信しましたが、公示ルーターが当方のルーター ID ではありません。これらの公示は古いと思われるので、フラッシュされます。

SPF.056

レベル: U-INFO

短構文: SPF.056 Reparsing Network LSA: *Link_State_ID*

長構文: SPF.056 Reparsing Network LSA: *Link_State_ID*

説明: ネットワーク内に同じリンク状態 ID をもつネットワーク LSA が複数存在するので、ネットワーク・リンクが再解析されています。これは、ルーターが OSPF ルーター ID を変更し、変更の前と後に同じルーター LSA を発信したことを示しています。これは正常ですが、まれな事象です。

SPF.057

レベル: UI-ERROR

短構文: SPF.057 Send unicast type *OSPF_packet_type* dst *IP_destination* fld, rsn *reason_code*, net *network*

長構文: SPF.057 Sending unicast type *OSPF_packet_type* dst *IP_destination* failed, reason *reason_code*, network *network*

説明: 指定の IP あて先に指定のタイプのユニキャスト OSPF パケットを送信しましたが、失敗しました。*reason_code* は、障害の内部エラー・コードです。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、*network_name* を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたは不正な同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去されました (理由コード 4)

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

SPF.058

レベル: UI-ERROR

短構文: SPF.058 Send multicast type *OSPF_packet_type* dst *IP_destination* fld, rsn *reason_code*, net *network*

長構文: SPF.058 Sending multicast type *OSPF_packet_type* dst *IP_destination* failed, reason *reason_code*, network *network*

説明: 指定の IP あて先に指定のタイプのマルチキャスト OSPF パケットを送信しましたが、失敗しました。*reason_code* は、障害の内部エラー・コードです。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、*network_name* を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判

断した理由を調べてください。

原因: ループまたは不正な同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去されました (理由コード 4)

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

SPF.059

レベル: UI-ERROR

短構文: SPF.059 Rxmit type *OSPF_packet_type* fld, *IP_source* -> *IP_destination*, rs n *reason_code*, net *network*

長構文: SPF.059 Retransmitting packet failed, type *OSPF_packet_type*, *IP_source* -> *IP_destination*, reason *reason_code*, network *network*

説明: 指定のタイプのユニキャスト OSPF パケットの再送が失敗しました。 *reason_code* は、障害の内部エラー・コードです。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、*network_name* を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたは不正な同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去されました (理由コード 4)

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

SPF.060

レベル: UI-ERROR

短構文: SPF.060 NBMA hello disc to dest *neighbor_IP_address*, rs n *reason_code*, net *network*

長構文: SPF.060 NBMA hello disc to IP destination *neighbor_IP_address*, reason *reason_code*, network *network*

説明: 指定の IP あて先への送信を試みているときに、OSPF ハローが廃棄されました。非同報通信、複数アクセス・インターフェースを介して送信しようとした。

reason_code は、障害の内部エラー・コードです。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、*network_name* を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたは不正な同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去されました (理由コード 4)

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

SPF.061

レベル: U-INFO

短構文: SPF.061 non-existent area *proposed_area*, interface *interface_IP_address* not installed

長構文: SPF.061 OSPF area *proposed_area* not configured, interface *interface_IP_address* not installed

説明: OSPF インターフェース・アドレスが構成されているときに、ルーターの始動時に印刷が行われましたが、接続区域が定義されていません。そのため、OSPF インターフェースは導入されていません。

SPF.062

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.062 LS node alloc fld, ty *ls_node_type*, sz *ls_node_size*

長構文: SPF.062 LS node allocation failed, type *ls_node_type*, size *ls_node_size*

説明: ルーターの記憶域の空きがなくなりました。結果として、OSPF は直前に受信した公示、または発信を試みている公示に対して、この後リンク状態データベースへ追加するためにノードを割り振ることができません。

SPF.063

レベル: UI-ERROR

短構文: SPF.063 No FSM match, state *interface_state*, event *interface_event*, unnum net *network ID*

長構文: SPF.063 No FSM match, state *interface_state*, event *interface_event*, unnumbered net *network ID*

説明: 番号なしのインターフェースが指定の状態にあるときに、指定の事象が発生しました。この発生には、インターフェースの有限状態遷移図は適用されませんでした。この事象は無視されます。

原因: 内部エラーの可能性あります。

処置: サービスに連絡してください。

SPF.064

レベル: U-INFO

短構文: SPF.064 State change, new state *new_interface_state*, event *interface_event*, unnum net *network ID*

長構文: SPF.064 State change, new state *new_interface_state*, event *interface_event*, unnumbered net *network ID*

説明: 指定のインターフェースで指定の事象が発生し、そのためにインターフェースの状態が変換しました。

SPF.066

レベル: U-INFO

短構文: SPF.066 SPF IP mismatch for unnum addr *interface_IP_address*, Interface not installed

長構文: SPF.066 SPF IP mismatch for unnumbered address *interface_IP_address*, Interface not installed

説明: ルーターの始動時に印刷されます。番号なしの OSPF インターフェース・アドレスが構成されていますが、そのアドレスが IP コンソールでは構成されていませんでした。OSPF インターフェースはインストールされません。

SPF.067

レベル: U-INFO

短構文: SPF.067 DMD circuit support active for area *active_area*

長構文: SPF.067 Demand circuit support active for area *active_area*

説明: 印刷されるのは、区域のリンク状態データベースのいずれにも、それ以上は DC ビット・クリアの LSA がなく、DoNotAge ビットの設定が有効な場合です。

SPF.068

レベル: U-INFO

短構文: SPF.068 DMD circuit support not active for area *inactive_area*

長構文: SPF.068 Demand circuit support not active for area *inactive_area*

説明: 印刷されるのは、DC ビット・クリアの LSA が区域のリンク状態データベースの 1 つに追加され、DoNotAge ビットが設定された LSA がいずれも除去される場合です。

SPF.069

レベル: P-TRACE

短構文: SPF.069 Unchanged adv: (*LS_type*, *advertisement_ID*) suppr for dmd int

長構文: SPF.069 Unchanged advertisement: typ *LS_type* id *advertisement_ID* suppressed for demand interfaces

説明: 印刷されるのは、LSA の内容に直前のバージョンから変更がないため、LSA が交換型回線として構成された 1 つまたは複数の回線を通す、フラッドイングの対象にならない場合です。

SPF.070

レベル: P-TRACE

短構文: SPF.070 Hello's on int *interface_address* to neigh *neighbor_address*. suppressed

長構文: SPF.070 Hello's on interface *interface_address* to neighbor *neighbor_address*. are being suppressed.

説明: 印刷されるのは、あるインターフェースおよび近隣に関して、ハロー抑止が動作可能になった場合です。

SPF.071

レベル: P-TRACE

短構文: SPF.071 Cbit clear indicate received in area *area_address* from *router_id*.

長構文: SPF.071 Cbit clear indicate LSA received in area *area_address* from *router_id*.

説明: 印刷されるのは、非スタブ区域で、その区域外に DoNotAge 処理をサポートしないルーターが存在することを示す、特殊タイプ 4 の LSA 表示が受信された場合です。

SPF.072

レベル: P-TRACE

短構文: SPF.072 Cbit clear indicate originated in area *area_address*

長構文: SPF.072 Cbit clear indicate LSA originated in area *area_address*.

説明: 印刷されるのは、ローカル・ルーターが、区域外に DoNotAge 処理をサポートしないルーターが存在することを示す、特殊タイプ 4 の LSA 表示を発信した場合です。

SPF.073

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.073 adv discarded, ovflo buf: (*LS_type*, *advertisement_ID*)

長構文: SPF.073 advertisement discarded, overflows buffer: LS type *LS_type* id *advertisement_ID*

説明: リンク状態公示が廃棄されました。大き過ぎてルーターのデータ域に収まらないためです。

原因: 単一の区域内の隣接ルーターへの直接接続の数が多いために、ルーター・リンクの LSA が過度に大きくなっています。

処置: ネットワークを再構成して、最大のリンク状態公示のサイズを縮小するか、LSA を保持するためのルーターのデータ域のサイズを拡大します。LSA の作成に使用されるデータ域は、最大 LSA サイズを構成することによって、ローカル・ルーターのバッファのサイズまで拡大することができます。ローカル・ルーターのバッファのサイズは、ローカル接続されたサブネットワークに関する最大 MTU のサイズを大きくすることによって、拡大することができます。

SPF.074

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.074 Demand circuit *Advertisement_scope* LSA purge error - Area *area_id* count is *area_do_not_age_count*.

長構文: SPF.074 Demand circuit *Advertisement_scope* LSA purge error - Area *area_id* count is *area_do_not_age_count*.

説明: 交換型回線をサポートする区域から交換型回線をサポートしない区域への状況の変更が原因で、除去された公示の数のミスマッチです。

SPF.075

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.075 DD pkt MTU mismatch for *Neighbor_Address* - ifc MTU *Interface_MTU*, ifc MRU *Interface_MRU*, nbr MTU *Neighbor*

長構文: SPF.075 Database Description paket MTU mismatch for *Neighbor_Address* - interface MTU/MRU *Interface_MTU/Interface_MRU* versus neighbor MTU *Neighbor*.

説明: 公示された MTU とインターフェース MTU の

MTU ミスマッチが原因で、受信したデータ記述パケットが廃棄されました。

原因: OSPF データベース記述パケットに指定されている MTU がインターフェース MTU より大です。

処置: IP サブネット内の OSPF ルーターをすべて再構成して、同一のインターフェース MTU になるようにします。

SPF.076

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.076 OSPF subsystem reset cannot increase heap from *Current_heap_allocation* to *Requested_heap_allocation*.

長構文: SPF.076 OSPF subsystem reset cannot increase heap reservation from *Current_heap_allocation* to *Requested_heap_allocation*.

説明: OSPF 用のヒープ割り振りを増やすために、OSPF リセットが試行されました。

処置: OSPF ヒープ予約を増やすためには、ルーターをリスタートする必要があります。

SPF.077

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.077 OSPF subsystem reset memory alloc failure for *Object_type* - *Object_id*.

長構文: SPF.077 OSPF subsystem reset memory allocation failure for object *Object_type* - *Object_id*.

説明: オブジェクトを割り振るために OSPF リセットが試みられましたが、失敗しました。他のルーター・プロトコルおよび機能に対する記憶域割り振りを検査してください。

SPF.078

レベル: C_INFO

短構文: SPF.078 0x *Memory_op* *Memory_address* Length *Memory*.

長構文: SPF.078 0x *Memory_op* *Memory_address* for length *Memory*.

説明: OSPF は一時記憶域を割り振ったか、あるいは解放しました。

SPF.079

レベル: C_INFO

短構文: SPF.079 LS Update (*LSA_type*, *LSA_id*, *LSA_org*) unicast to *Neighbor_ID*.

長構文: SPF.079 LS Update (type *LSA_type*, id *LSA_id*, org *LSA_org*) unicast to *Neighbor_ID*.

説明: RFC 2178 に準拠して、より最近の LSA が発信元に戻されました。

SPF.080

レベル: U-INFO

短構文: SPF.080 from *neighbor_IP_address*, MINLSARRIVAL reject: (*LS_type*, *advertisement_ID*, *new_lsa_seq*) seq *old_lsa_seq* *lsa_age* versus *lsa_received*.

長構文: SPF.080 from *neighbor_IP_address*, MINLSARRIVAL reject: type *LS_type* id *advertisement_ID* seq *new_lsa_seq* - old seq *old_lsa_seq* *lsa_age* versus *lsa_received*.

説明: MINLSARRIVAL 以内に、リンク状態公示を受信しました。これは無視されます。

第79章 ルーター IP への OS インターフェース (IPIF)

この章では、ルーター IP への OS インターフェース (IPIF) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

IPIF.001

レベル: UI-ERROR

短構文: IPIF.001 *mosip_ mosip_routine: ifconfig ifconfig_string FAILED, errno = errno.*

長構文: IPIF.001 *mosip_ mosip_routine: ifconfig ifconfig_string FAILED, errno = errno.*

説明: IPIF ifconfig エラー・メッセージ

原因: *errno* (エラー番号) を参照してください。

IPIF.002

レベル: UI-ERROR

短構文: IPIF.002 *mosip_ mosip_routine: route route_string FAILED, errno = errno.*

長構文: IPIF.002 *mosip_ mosip_routine: route route_string FAILED, errno = errno.*

説明: IPIF ルート・エラー・メッセージ

原因: *errno* (エラー番号) を参照してください。

IPIF.003

レベル: UI-ERROR

短構文: IPIF.003 *mosip_getport: TCP/UDP port (requested_port) not assigned.*

長構文: IPIF.003 *mosip_getport: TCP/UDP port (requested_port) not assigned.*

説明: IPIF ポート割り当てエラー・メッセージ

原因: TCP/UDP ポートが利用不能です。

IPIF.004

レベル: UI-ERROR

短構文: IPIF.004 *mosip_ mosip_routine: ERROR allocating memory (memory_type).*

長構文: IPIF.004 *mosip_ mosip_routine: ERROR allocating memory (memory_type).*

説明: IPIF 記憶域割り振りエラー・メッセージ

原因: 記憶域が利用不能です。

IPIF.005

レベル: C-TRACE

短構文: IPIF.005 *trace_string*

長構文: IPIF.005 *trace_string*

説明: IPIF トレース・メッセージ

原因: IPIF でトレースが使用可能にされています。

IPIF.006

レベル: C-TRACE

短構文: IPIF.006 *mosip_ mosip_routine: route route_string*

長構文: IPIF.006 *mosip_ mosip_routine: route route_string*

説明: IPIF トレース・メッセージ

原因: IPIF でトレースが使用可能にされています。

IPIF.007

レベル: C-TRACE

短構文: IPIF.007 *mosip_ output/rcv: UDP ((ip_address,port)) len length*

長構文: IPIF.007 *mosip_ output/rcv: UDP ((ip_address,port)) length length*

説明: IPIF トレース・メッセージ

原因: IPIF でトレースが使用可能にされています。

IPIF.008

レベル: C-TRACE

短構文: IPIF.008 *mosip_getport: Ignoring error on UDP port port_number registration.*

長構文: IPIF.008 *mosip_getport: Ignoring error on UDP port port_number registration.*

説明: IPIF トレース・メッセージ

原因: IPIF でトレースが使用可能にされています。

IPIF.009

レベル: C-TRACE

短構文: IPIF.009 mosip_ add/del: ifconfig ifconfig_string

長構文: IPIF.009 mosip_ add/del: ifconfig ifconfig_string

説明: IPIF トレース・メッセージ

原因: IPIF でトレースが使用可能にされています。

IPIF.010

レベル: C-TRACE

短構文: IPIF.010 mosip_port_allocate: (protocol requested_port,port assigned_port,addr protocol) ==> port

長構文: IPIF.010 mosip_port_allocate: (protocol requested_port,port assigned_port,addr protocol) ==> port

説明: IPIF トレース・メッセージ

原因: IPIF でトレースが使用可能にされています。

IPIF.011

レベル: C-TRACE

短構文: IPIF.011 mosip_port_free: freeing UDP port port_to_free

長構文: IPIF.011 mosip_port_free: freeing UDP port port_to_free

説明: IPIF トレース・メッセージ

原因: IPIF でトレースが使用可能にされています。

IPIF.012

レベル: C-TRACE

短構文: IPIF.012 mosip_ output/rcv: TCP ((ip_address,port)) len length

長構文: IPIF.012 mosip_ output/rcv: TCP ((ip_address,port)) length length

説明: IPIF トレース・メッセージ

原因: IPIF でトレースが使用可能にされています。

IPIF.013

レベル: C-TRACE

短構文: IPIF.013 mosip_ output/rcv: ICMP (source_ip_address) -> (dest_ip_address) type icmp_type code icmp_code len length

長構文: IPIF.013 mosip_ output/rcv: ICMP (source_ip_address) -> (dest_ip_address) type icmp_type

code icmp_code length length

説明: IPIF トレース・メッセージ

原因: IPIF でトレースが使用可能にされています。

IPIF.014

レベル: C-TRACE

短構文: IPIF.014 mosip_ output/rcv: (source_ip_address) -> (dest_ip_address) protocol protocol len length

長構文: IPIF.014 mosip_ output/rcv: (source_ip_address) -> (dest_ip_address) protocol protocol length length

説明: IPIF トレース・メッセージ

原因: IPIF でトレースが使用可能にされています。

IPIF.015

レベル: UI-ERROR

短構文: IPIF.015 Error on system_call system call, errno = errno

長構文: IPIF.015 Error on system_call system call, errno = errno

説明: IPIF トレース・メッセージ

原因: IPIF でトレースが使用可能にされています。

IPIF.016

レベル: C-TRACE

短構文: IPIF.016 mosip_rcv: TCP/UDP dest port port_number refused

長構文: IPIF.016 mosip_rcv: TCP/UDP destination port port_number refused

説明: IPIF トレース・メッセージ

原因: IPIF でトレースが使用可能にされています。

第80章 PCA ネットワーク・インターフェース (PCA)

この章では、PCA ネットワーク・インターフェース (PCA) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

PCA.001

レベル: ALWAYS

短構文: PCA.001 bd frm LANtype *lan_type* LANnum *lan_num* on nt *network*

長構文: PCA.001 frame received for unknown LAN type *lan_type*, LAN number *lan_num* on network *network*

説明: チャンネルからフレームを受信しましたが、そのあと先が確認不能の LAN タイプまたは LAN 番号になっています。

PCA.002

レベル: ALWAYS

短構文: PCA.002 bd not *not_id* on nt *network*

長構文: PCA.002 unknown notification *not_id* received from device driver on network *network*

説明: 装置ドライバーから通知を受信しましたが、確認不能でした。

PCA.003

レベル: UE-ERROR

短構文: PCA.003 bd 8232 cmd *cmd* on nt *network*

長構文: PCA.003 unknown 8232 command *cmd* received on network *network*

説明: 8232 コマンドを受信しましたが、確認不能でした。

PCA.004

レベル: ALWAYS

短構文: PCA.004 bd cmd *cmd* on nt *network*

長構文: PCA.004 unknown IORB command *cmd* received on network *network*

説明: IORB を受信しましたが、確認不能のコマンドが含まれていました。

PCA.005

レベル: ALWAYS

短構文: PCA.005 no subch on nt *network*

長構文: PCA.005 no subchannels are defined on network *network*, cannot pass self-test

説明: 並列チャンネル・アダプター基本ネットに関してサブチャンネルが定義されていないので、ネットワークは起動する (自己試験に合格する) ことができません。

原因: この基本ネット・ハンドラーのバーチャル・ネット・ハンドラーが正しく定義されていませんでした。

処置: この並列チャンネル・アダプター上でバーチャル・ネット・ハンドラーに関するサブチャンネルを定義します。

PCA.006

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.006 STOP: no IORB on nt *network*

長構文: PCA.006 network *network* was unable to send a STOP command to the device driver because an IORB was not available

説明: ネットワークは停止を完了することができませんでした。装置ドライバーに STOP コマンドを送信する場合に使用する IORB が使用可能でなかったためです。

PCA.007

レベル: P-TRACE

短構文: PCA.007 frm sent to lt *lantype* ln *lannumber* on nt *network*

長構文: PCA.007 A frame was sent to LAN type *lantype*, LAN number *lannumber* on network *network*

説明: チャンネル上でフレームを受信し、バーチャル・ネット・ハンドラーに送信しました。

PCA.008

レベル: P-TRACE

短構文: PCA.008 data frm rcvd from nt *network*

長構文: PCA.008 A data frame was received from network *network*

説明: チャネルに送信するデータ・フレームをバーチャル・ネット・ハンドラーから受信しました。

PCA.009

レベル: P-TRACE

短構文: PCA.009 cmd *cmd_code* in frm rcvd from nt *network*

長構文: PCA.009 command *cmd_code* in frame received from network *network*

説明: チャネルに送信するコマンド・フレームをバーチャル・ネット・ハンドラーから受信しました。

PCA.010

レベル: P-TRACE

短構文: PCA.010 notif *notif_code* rcvd on nt *network*

長構文: PCA.010 notification *notif_code* received from device driver on network *network*

説明: 装置ドライバーから通知を受信しました。

PCA.011

レベル: P-TRACE

短構文: PCA.011 8232 cmd *cmd_code* rcvd on nt *network*

長構文: PCA.011 8232 command *cmd_code* received on network *network*

説明: 基本ネット・ハンドラーが 8232 コマンドを受信しました。

PCA.012

レベル: C-TRACE

短構文: PCA.012 nt *virtual_net_number* reg on nt *network*

長構文: PCA.012 Network number *virtual_net_number* registering on base network *network*

説明: バーチャル・ネット・ハンドラーが、並列チャネル・アダプター基本ネット・ハンドラーに登録中です。

PCA.013

レベル: P-TRACE

短構文: PCA.013 Cmd *cmd_code* fail stat *cmd_status* on nt *network*

長構文: PCA.013 Command *cmd_code* to device driver failed with status *cmd_status* on network *network*

説明: 基本ネット・ハンドラーから装置ドライバーにコマンドが送信されましたが、これが失敗でした。

PCA.014

レベル: P-TRACE

短構文: PCA.014 Cmd *cmd_code* sent to DD on nt *network* (sub *locaddr locaddr devaddr devaddr*)

長構文: PCA.014 Commands *cmd_code* was sent to the device driver on network *network* (subchannel local address *locaddr*, device address *devaddr*)

説明: 装置ドライバーにコマンドが送信されました。

PCA.015

レベル: P-TRACE

短構文: PCA.015 Snd 8232 resp *cmd_code* (rc *retcode*) on nt *network* (sub *locaddr locaddr devaddr devaddr*)

長構文: PCA.015 Sending 8232 response for command *cmd_code* with return code *retcode* on network *network* (subchannel local address *locaddr*, device address *devaddr*)

説明: 8232 応答がホストに送信されました。

PCA.016

レベル: P-TRACE

短構文: PCA.016 Snd not *notification_id* to net *virt_net_number* on nt *network*

長構文: PCA.016 Sending notification *notification_id* to net *virt_net_number* on network *network*

説明: 基本ネット・ハンドラーからバーチャル・ネット・ハンドラーに通知が送信されました。

PCA.017

レベル: U-TRACE

短構文: PCA.017 circdn for nt *net_num* on nt *network*

長構文: PCA.017 circdown for net *net_num* called on network *network*

説明: ネットワークに関する回線ダウン・ルーチンが呼び出されました。

PCA.018

レベル: U-TRACE

短構文: PCA.018 circup for nt *net_num* on nt *network*

長構文: PCA.018 circup for net *net_num* called on network *network*

説明: ネットワークに関する回線アップ・ルーチンが呼び出されました。

PCA.019

レベル: U-TRACE

短構文: PCA.019 net up for nt *net_num* on nt *network*

長構文: PCA.019 net up for net *net_num* called on network *network*

説明: バーチャル・ネットワークに関するネットアップ・ルーチンが呼び出されました。

PCA.020

レベル: U-TRACE

短構文: PCA.020 net dn for nt *net_num* on nt *network*

長構文: PCA.020 net down for net *net_num* called on network *network*

説明: バーチャル・ネットワークに関するネットダウン・ルーチンが呼び出されました。

PCA.029

レベル: UI_ERROR

短構文: PCA.029 Unable to create dump file for PCA adapter in slot *slot*. RC=0x *rc*

長構文: PCA.029 Unable to create dump file for PCA adapter in slot *slot*. RC=0x *rc*

説明: 致命的エラーを PCA アダプターが検出しましたが、装置ドライバーはダンプ・ファイルを作成できませんでした。 ソフトウェア・サポートに連絡してください。

PCA.030

レベル: UI_ERROR

短構文: PCA.030 Dump file ' *filename*' created for the PCA adapter in slot *slot*.

長構文: PCA.030 Dump file ' *filename*' created for the PCA adapter in slot *slot*.

説明: 致命的エラーを、PCA アダプター・マイクロコードが検出し、障害情報を含むダンプ・ファイルが作成されました。 ソフトウェア・サポートに連絡してください。

PCA.034

レベル: ALWAYS

短構文: PCA.034 PCA in slot *slot*. AIB FLASH mismatch: code at 0x *codelev*, adapter at 0x *adaplev*

長構文: PCA.034 Parallel Channel Adapter in slot *slot*. AIB FLASH mismatch: code at 0x *codelev*, adapter at 0x *adaplev*

説明: 並列チャネル・アダプターが、現行のロード・イメージで使用可能なレベルとは異なる FLASH コードを持っています。

処置: ソフトウェア・サポートに連絡して、アダプターの FLASH コードを更新する必要があるかどうかを調べてください。

PCA.035

レベル: C-INFO

短構文: PCA.035 PCA in slot *slot* is operational.

長構文: PCA.035 Parallel Channel Adapter in slot *slot* is operational.

説明: 並列チャネル・アダプターは作動可能です。

PCA.036

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.036 PCA error, slot= *slot*, subchan= *subchan*, rc= *rc*, origcmd= *origcmd*, sev= *sev*, correl=0x *correl*.

長構文: PCA.036 Parallel Channel Adapter DD received an Error notif from slot *slot* PCA; subchan= *subchan*, rc = *rc*, origcmd= *origcmd*, severity= *sev*, correl=0x *correl*.

説明: 並列チャネル・アダプターは、並列チャネル・アダプター装置ドライバーにエラーを報告中です。

処置: 一般的には、処置は必要ありません。問題が続く場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。詳細については、資料を参照してください。

PCA.037

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.037 PCA in slot= *slot* is offline to the host.

長構文: PCA.037 Parallel Channel Adapter in slot= *slot* is offline to the host.

説明: 並列チャネル・アダプターは、ホストに対してオフラインにあることを報告中です。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが再始動に失敗した場合は、診断が起動します。

処置: アダプターが診断には合格しても、やはり始動し

ない場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

PCA.038

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.038 PCA DD received i960 Processor Fault notif from slot= *slot* PCA, Fault Type=0x *ft*.

長構文: PCA.038 Parallel Channel Adapter DD received an i960 Processor Fault notif from slot *slot* PCA with Fault Type=0x *ft*.

説明: 並列チャネル・アダプターは、i960 プロセッサに障害があったことを報告中です。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが始動に失敗した場合は、診断が起動します。

処置: ソフトウェア・サポートに連絡してください。

PCA.040

レベル: U-INFO

短構文: PCA.040 PCA in slot *slot* had an unexpected interrupt.

長構文: PCA.040 Parallel Channel Adapter DD received an Unexpected Interrupt notification from slot *slot* PCA.

説明: 並列チャネル・アダプターに予期しない割り込みがありました。問題が続く場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

PCA.042

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.042 Slot *slot* PCA microcode aborted with rc=0x *rc*.

長構文: PCA.042 Parallel Channel Adapter DD received a Microcode Aborted notification from slot *slot* PCA, rc=0x *rc*.

説明: 並列チャネル・アダプターは、マイクロコードが強制終了したことを報告中です。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが再始動に失敗した場合は、診断が起動します。

処置: アダプターが再始動に失敗した場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

PCA.044

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.044 PCA in slot *slot* had a POST error, error = 0x *error*.

長構文: PCA.044 Parallel Channel Adapter in slot *slot* had a POST error, error = 0x *error*.

説明: 並列チャネル・アダプターに POST エラーがありました。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが再始動に失敗した場合は、診断が起動します。

処置: アダプターが再始動に失敗した場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

PCA.045

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.045 PCA in slot *slot* had a POST error, CBSP value=0x *error*.

長構文: PCA.045 Parallel Channel Adapter in slot *slot* had a POST error, CBSP value=0x *error*.

説明: 並列チャネル・アダプターに POST エラーがありました。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが再始動に失敗した場合は、診断が起動します。

処置: アダプターが再始動に失敗した場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

PCA.046

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.046 PCA in slot *slot* did not complete POST.

長構文: PCA.046 Parallel Channel Adapter in slot *slot* did not complete POST.

説明: 並列チャネル・アダプターは POST を完了しませんでした。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが再始動に失敗した場合は、診断が起動します。

処置: アダプターが診断には合格しても、やはり再始動しない場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

PCA.047

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.047 PCA in slot *slot* had a PrePOST error = 0x *error*.

長構文: PCA.047 Parallel Channel Adapter in slot *slot* had a PrePOST error = 0x *error*.

説明: 並列チャネル・アダプターに PrePOST エラーがありました。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが再始動に失敗した場合は、診断が起動します。

処置: アダプターが再始動しない場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

PCA.048

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.048 Slot *slot* does not contain a PCA, identifier = *id*.

長構文: PCA.048 Slot *slot* does not contain a Parallel Channel Adapter, identifier = *id*.

説明: スロットに並列チャネル・アダプターが収まっていませんが、ソフトウェアは、このスロットに並列チャネル・アダプターが入っている場合用として構成されています。

処置: 構成を訂正してください。再構成後も問題が生じる場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

PCA.049

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.049 Slot *slot* PCA timed-out during initialization, cmd=0x *cmd*.

長構文: PCA.049 Slot *slot* Parallel Channel Adapter timed-out during initialization, cmd=0x *cmd*.

説明: アダプターは自動的に再始動します。

処置: アダプターが再始動しない場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

PCA.050

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.050 Slot *slot* PCA Control Unit table did not load correctly, rc=0x *rc*, tbl=0x *tbl_num*.

長構文: PCA.050 Slot *slot* Parallel Channel Adapter Control Unit table did not load correctly, rc=0x *rc*, tbl=0x *tbl_num*.

説明: これらのテーブルなしでは、並列チャネル・アダプターは始動できません。アダプターは自動的に再始動します。

処置: アダプターが再始動しない場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

PCA.051

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.051 PCA DD could not obtain a Control Buffer from slot *slot* adapter.

長構文: PCA.051 Parallel Channel Adapter DD could not obtain a Control Buffer from adapter in slot *slot*.

説明: 装置ドライバーはアダプターからのバッファを

必要とします。このバッファを提供できない場合、アダプターは適正に機能していません。アダプターは自動的に再始動します。

処置: 問題が続く場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

PCA.052

レベル: U-INFO

短構文: PCA.052 PCA DD encountered an internal error for slot *slot*. Identifier = *id*.

長構文: PCA.052 Parallel Channel Adapter DD encountered an internal error for slot *slot*. Identifier = *id*.

説明: 並列チャネル・アダプター装置ドライバーは、適正に処理することができない状態を検出しました。

処置: 問題が続く場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

PCA.054

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.054 PCA DD could not obtain system memory; slot=0x *slot*, identifier= *id*.

長構文: PCA.054 Parallel Channel Adapter DD could not obtain system memory; slot=0x *slot*, identifier= *id*.

説明: このエラーが初期化中に発生した場合は、アダプターは再始動します。

処置: 問題が続く場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

PCA.055

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.055 PCA DD could not open dump files on harddrive. Dumps not available for slot *slot* adapter.

長構文: PCA.055 Parallel Channel Adapter DD could not open the dump files on the harddrive. The dumps are not available for slot *slot* adapter

説明: 装置ドライバーはハード・ディスクのファイルのオープンを試みましたが、これが正常に行われませんでした。並列チャネル・アダプターのダンプが利用不能です。

処置: アダプターの問題が続く場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

PCA.056

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.056 PCA DD could not dump all slot *slot* PCA *data_type* data to the dump file.

長構文: PCA.056 Parallel Channel Adapter DD could not dump all of the slot *slot* PCA *data_type* data to the dump file on the harddrive.

説明: 装置ドライバーは、ハード・ディスク上のファイルへの並列チャンネル・アダプター・データのダンプを試みました。IRAM ダンプは、c:\PCAIx.DMP (ただし、x はスロット番号) で部分的に使用可能な場合があります。DRAM ダンプは、c:\PCADx.DMP (ただし、x はスロット番号) で部分的に使用可能な場合があります。

処置: ソフトウェア・サポートに連絡してください。

PCA.057

レベル: C-INFO

短構文: PCA.057 PCA DD received a reset subchannel notif for subchannel 0x *sc*, slot= *slot*.

長構文: PCA.057 Parallel Channel Adapter DD received a reset subchannel notification for subchannel 0x *sc*, slot= *slot*.

説明: 装置ドライバーはサブチャンネル・リセット通知を受信しました。

PCA.058

レベル: C-INFO

短構文: PCA.058 Incorrect subchannel configuration detected for slot *slot* PCA.

長構文: PCA.058 Incorrect subchannel configuration detected for slot *slot* Parallel Channel Adapter.

説明: 装置ドライバーは、サブチャンネル構成に誤りがあることを検出しました。構成が正しいサブチャンネルであれば、この問題による影響を受けるはずがありません。

処置: 構成を訂正してください。

PCA.059

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.059 PCA DD could not obtain a Command FIFO entry from slot *slot* adapter.

長構文: PCA.059 Parallel Channel Adapter DD could not obtain a Command FIFO entry from adapter in slot *slot*.

説明: アダプターとの通信のために、装置ドライバーにはコマンド FIFO 項目が必要です。初期化中に項目を獲得

することができない場合は、アダプターは再始動します。それ以外の時点でも、アダプターが項目を獲得できない場合は、内部ソフトウェアが回復を試みます。

処置: 問題が続く場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

PCA.060

レベル: P-TRACE

短構文: PCA.060 PCA DD sending frame from slot= *slot*,, subchan= *subchan*,, LT= *lantype*,, LN= *lannum*, to base net.

長構文: PCA.060 Parallel Channel Adapter DD rcvd frame from slot *slot*, PCA, subchan= *subchan*,, LanType= *lantype*,, and LanNum= *lannum*; sending it to base net.

説明: フレームがチャンネルによって受信され、並列チャンネル・アダプター基本ネット・ハンドラーに送信されました。

PCA.061

レベル: P-TRACE

短構文: PCA.061 PCA DD rcvd frame from net handler for slot= *slot*,, subchan= *subchan*,, LT= *lantype*,, LN= *lannum*,,PDU-hdr= *pdu_len*

長構文: PCA.061 Parallel Channel Adapter DD received a frame from a net handler destined for slot *slot*, PCA, subchan= *subchan*,, LanType= *lantype*,, and LanNum= *lannum*,, PDU-header len= *pdu_len*.

説明: 並列チャンネル・アダプター関連のネット・ハンドラーが、並列チャンネル・アダプター DD に転送フレームを送信しました。

PCA.062

レベル: P-TRACE

短構文: PCA.062 PCA DD rcvd *cmd*, *cmd* from net handler for slot *slot* PCA.

長構文: PCA.062 Parallel Channel Adapter DD received *cmd*, command from net handler for slot *slot* PCA.

説明: 並列チャンネル・アダプター関連のネット・ハンドラーが、並列チャンネル・アダプター DD に転送フレームを送信しました。

PCA.063

レベル: P-TRACE

短構文: PCA.063 PCA DD rcvd *cmd*, *cmd* from nethandler for slot *slot*, PCA, subchan= *subchan*.

長構文: PCA.063 Parallel Channel Adapter DD received *cmd*, command from a nethandler for slot *slot*, PCA, subchan= *subchan*.

説明: 並列チャネル・アダプター関連のネット・ハンドラーが、並列チャネル・アダプター DD に転送フレームを送信しました。

PCA.064

レベル: P-TRACE

短構文: PCA.064 PCA DD sent *notif*, notif for slot *slot*, PCA, subchan= *subchan*., LT= *lantype*., LN= *lanum*, to nethandler.

長構文: PCA.064 Parallel Channel Adapter DD sent *notif*, notif for slot *slot*, PCA, subchan= *subchan*., LT= *lantype*., LN= *lanum*, to nethandler.

説明: 並列チャネル・アダプター装置ドライバーは、並列チャネル・アダプター関連のネット・ハンドラーに通知を送信しました。

PCA.065

レベル: U-INFO

短構文: PCA.065 PCA ran out of rcv buffers, LCS frame discarded, slot= *slot*, local sc= *subchan*

長構文: PCA.065 Parallel Channel Adapter ran out of receive buffers and discarded an LCS frame; slot= *slot* local subchan= *subchan*.

説明: 並列チャネル・アダプターは、受信バッファを獲得できなかったために LCS を廃棄したことを報告しています。

処置: 一般的には、処置は必要ありません。問題が続く場合は、この並列チャネル・アダプター用の受信バッファの数を増やしてください。

PCA.066

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.066 PCA ran out of rcv buffers, LSA frame discarded, slot= *slot*, local sc= *subchan*

長構文: PCA.066 Parallel Channel Adapter ran out of receive buffers and discarded an LSA frame; slot= *slot* local subchan= *subchan*.

説明: 並列チャネル・アダプターは、受信バッファを獲得できなかったために LSA を廃棄したことを報告しています。

処置: この並列チャネル・アダプター用の受信バッファの数を増やしてください。

PCA.067

レベル: U-INFO

短構文: PCA.067 PCA ran out of rcv buffers, MPC+ frame discarded, slot= *slot*, local sc= *subchan*

長構文: PCA.067 Parallel Channel Adapter ran out of receive buffers and discarded an MPC+ frame; slot= *slot* local subchan= *subchan*.

説明: 並列チャネル・アダプターは、受信バッファを獲得できなかったために MPC+ を廃棄したことを報告しています。

処置: 一般的には、処置は必要ありません。問題が続く場合は、この並列チャネル・アダプター用の受信バッファの数を増やしてください。

Panic pcanomem

短構文: pcanomem: Parallel Channel Adapter handler no memory

説明: 並列チャネル・アダプターは、制御ブロック用の記憶域を割り振ることができません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic pcansram

短構文: pcansram: Parallel Channel Adapter SRAM not found

説明: 並列チャネル・アダプター・ハンドラーの SRAM レコードが見つかりませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic pcabprt

短構文: pcabprt: bad prot init

説明: サポートされないネットワーク・レイヤー・プロトコルが、並列チャネル・アダプター・ハンドラーの初期化を試みました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic pcadreg

短構文: pcadreg: virt net already reg

説明: 並列チャネル・アダプター・バーチャル・ネット・ハンドラーは、すでに基本ネットに登録されています。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic pcabreq

短構文: pcabreq: bad xmit rqst

説明: サポートされないプロトコル・パケットが、転送のために並列チャネル・アダプター・ハンドラーに渡されました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic pcanosub

短構文: pcanosub: subch not found

説明: 要求された装置アドレスが、PCA 基本ハンドラー・サブチャネル・テーブル内で見付かりませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic pcabcall

短構文: pcabcall: bad call to routine.

説明: ルーチンに対して無効のコールが行われました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic pcabprd

短構文: pcabprt: bad prot down

説明: サポートされないネットワーク・レイヤー・プロトコルが、並列チャネル・アダプター・ハンドラーの消去を試みました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

第81章 ポイント・ポイント (2 地点間) プロトコル・ネットワーク・インターフェース (PPP)

この章では、ポイント・ポイント (2 地点間) プロトコル・ネットワーク・インターフェース (PPP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

PPP.001

レベル: C-INFO

短構文: PPP.001 Req brng up IP, addr = *ip_address* nt *network ID*

長構文: PPP.001 Request to bring up IP, local address = *ip_address*, on network *network ID*

説明: IP プロトコルのために、`ppp_prinit` ルーチンが呼び出されました。

PPP.002

レベル: C-INFO

短構文: PPP.002 Srl prt up, nt *network ID*

長構文: PPP.002 Serial port came up sucessfully, on network *network ID*

説明: `ppp_slftst2` ルーチンは、正常にロードおよび初期化されました。

PPP.003

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.003 Mnt nt *network ID*

長構文: PPP.003 Doing maint, on network *network ID*

説明: `ppp_mnt` を実行中です。

PPP.004

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.004 Nt opn fr outb *protocol_name*, nt *network ID*

長構文: PPP.004 Outbound data discarded, not open for protocol *protocol_name*, on network *network ID*

説明: IP 状態がオープン (OK) でないときに、IP データのために `ppp_send` が呼び出されました。

PPP.005

レベル: U-INFO

短構文: PPP.005 Bd IP pkt xmt typ= *type*, nt *network ID*

長構文: PPP.005 Bad IP packet to transmit: type = *type*, on network *network ID*

説明: `slhc` が、IP パケットに対して無効なコードを戻しました。

PPP.006

レベル: CE-ERROR

短構文: PPP.006 I_ERR on rcv nt *network ID*

長構文: PPP.006 Packet received with I_ERR set, on network *network ID*

説明: `ppp_in` が、I_ERR がセットされているパケットを受信しました。

PPP.007

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.007 Rcv Bd fr addr *bad_address*, nt *network ID*

長構文: PPP.007 Received packet with bad frame address = *bad_address*, on network *network ID*

説明: `ppp_in` が、アドレス・バイトが 0xff ではないフレームを受信しました。

PPP.008

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.008 Rcv Bd fr cntrl *bad_control*, nt *network ID*

長構文: PPP.008 Received packet with bad frame control field = *bad_control*, on network *network ID*

説明: `ppp_in` が、制御バイトが 3 (UI) ではないフレームを受信しました。

PPP.009

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.009 Rcv inv prtcl *bad_protocol*, nt *network ID*

長構文: PPP.009 Received packet with invalid protocol = *bad_protocol*,, on network *network ID*

説明: *ppp_in* が、プロトコルが無効な (未知ではない) フレームを受信しました。

PPP.010

レベル: CE-ERROR

短構文: PPP.010 Nt opn fr inb *protocol_name*, nt *network ID*

長構文: PPP.010 Inbound data discarded, not open for protocol *protocol_name*, on network *network ID*

説明: *ppp_in* が、プロトコル状態がオープンではないときに、データを受信しました。

PPP.011

レベル: CE-ERROR

短構文: PPP.011 Nt opn fr inb *control_protocol_name*, nt *network ID*

長構文: PPP.011 Inbound *control_protocol_name*, discarded, not open for IPCP on network *network ID*

説明: *ppp_in* が、LCP 状態がオープンではないときに、制御プロトコル・データを受信しました。

PPP.012

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.012 Multi Encrypt - discard nt *network ID*

長構文: PPP.012 Multiple Encrypt. - discard on network *network ID*

説明: エクスポート上の理由から、ボックス内でパケットを 2 度暗号化することはサポートされていません。PPP 暗号化がネゴシエーションされてから、すでに暗号化されたパケットを廃棄する前に、この ELS メッセージがログに記録されます。

原因: PPP 暗号化がネゴシエーションされると、暗号化されたパケットが PPP に渡されます。

処置: IPSEC または PPP を再構成して、暗号化が複数回試みられないようにしてください。

PPP.014

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.014 *fsm_name*/ *fsm_state*, *routine_name*, nt *network ID*

長構文: PPP.014 FSM = *fsm_name*,, state = *fsm_state*,, called *routine_name*,, on network *network ID*

説明: 指定の FSM ルーチンを呼び出しました。

PPP.015

レベル: UI-ERROR

短構文: PPP.015 *fsm_name*/ *fsm_state*, snd bd cd *code*, xmt, nt *network ID*

長構文: PPP.015 FSM = *fsm_name*,, state = *fsm_state*,, tried to send bad code *code*,, on network *network ID*

説明: 無効なコードをもつパケットを送信するために、*fsm_send* が呼び出されました。

原因: 制御ブロックまたは記憶域 (またはその両方) の破壊

処置: ルーターを再始動して、サービス技術員に連絡してください。

PPP.016

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.016 *fsm_name*/ *fsm_state*, snd *code*,, id *id*, len *len*,, nt *network ID*

長構文: PPP.016 FSM = *fsm_name*,, state = *fsm_state*,, sending *code*,, id *id*,, len *len*,, on network *network ID*

説明: *fsm_send* が、FSM メッセージを送信しようとしています。

PPP.017

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.017 *fsm_name*/ *fsm_state*, rcv *code*,, id *id*, len *len*,, nt *network ID*

長構文: PPP.017 FSM = *fsm_name*,, state = *fsm_state*,, received *code*,, id *id*,, len *len*,, on network *network ID*

説明: *fsm_proc* が、FSM メッセージを受信しました。

PPP.018

レベル: CE-ERROR

短構文: PPP.018 *fsm_name*, *msg_type*, retr exc nt *network ID*

長構文: PPP.018 *fsm_name*, FSM, *msg_type*, retries exceeded, on network *network ID*

説明: 構成要求または終了要求の再試行回数が多過ぎます。

PPP.019

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.019 LCP/ *lcp_state*, *routine_name*, nt *network ID*

長構文: PPP.019 LCP, state = *lcp_state*,, called *routine_name*,, on network *network ID*

説明: 指定の LCP ルーチン呼び出しました。

PPP.020

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.020 Bd lcp rej id, exp *exp_id*, gt *got_id*,, nt *network ID*

長構文: PPP.020 Bad LCP reject id, expected *exp_id*,, got *got_id*,, on network *network ID*

説明: lcp_rej が、拒否を受信しましたが、ID が無効です。

PPP.021

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.021 Bd lcp rej lngth, nt *network ID*

長構文: PPP.021 Bad LCP reject length, on network *network ID*

説明: lcp_rej が、拒否を受信しましたが、長さが無効です。

PPP.022

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.022 Bd lcp rej opt *lcp_option*,, nt *network ID*

長構文: PPP.022 Bad LCP reject option = *lcp_option*,, on network *network ID*

説明: lcp_rej が、拒否を受信しましたが、範囲外のオプションが含まれています。

PPP.023

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.023 out-ordr lcp rej opt *lcp_option*,, nt *network ID*

長構文: PPP.023 Bad LCP reject option = *lcp_option*,, on network *network ID*

説明: lcp_rej が、拒否を受信しましたが、順序エラーのオプションが含まれています。

PPP.024

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.024 Bd lcp req hdr lngth, nt *network ID*

長構文: PPP.024 Bad LCP request header length, on network *network ID*

説明: lcp_req が、要求を受信しましたが、ヘッダーの長さが無効です。

PPP.025

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.025 Bd lcp req opt *lcp_option*, shrt, nt *network ID*

長構文: PPP.025 Bad LCP request option = *lcp_option*,, data too short, on network *network ID*

説明: lcp_req が、要求を受信しましたが、オプションのデータが不十分です。

PPP.026

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.026 lcp req rslt: *lcp_rslt*,, opt *lcp_option*,, ln *opt_len*,, nt *network ID*

長構文: PPP.026 lcp request result: *lcp_rslt*,, option = *lcp_option*,, length = *opt_len*,, on network *network ID*

説明: ここまでの、1つのオプションの処理の結果

PPP.027

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.027 Bd lcp ack id, exp *exp_id*, gt *got_id*,, nt *network ID*

長構文: PPP.027 Bad lcp ack id, expected *exp_id*,, got *got_id*,, on network *network ID*

説明: lcp_ack が、構成 ACK を受信しましたが、ID が無効です。

PPP.028

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.028 Bd lcp ack lngth, nt *network ID*

長構文: PPP.028 Bad lcp ack length, on network *network ID*

説明: lcp_ack が、構成 ACK を受信しましたが、長さが無効です。

PPP.029

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.029 msmtchd lcp ack, nt *network ID*

長構文: PPP.029 mis-matched data in lcp ack, on network *network ID*

説明: lcp_ack が ACK を受信しましたが、そのデータが要求と合致していません。

PPP.030

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.030 Bd lcp nak id, exp *exp_id*, gt *got_id*,, nt *network ID*

長構文: PPP.030 Bad LCP nak id, expected *exp_id*,, got *got_id*,, on network *network ID*

説明: lcp_nak が NAK を受信しましたが、ID が無効です。

PPP.031

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.031 Bd lcp nak lngth, nt *network ID*

長構文: PPP.031 Bad LCP nak length, on network *network ID*

説明: lcp_nak が NAK を受信しましたが、長さが無効です。

PPP.032

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.032 Bd lcp nak opt *lcp_option*,, nt *network ID*

長構文: PPP.032 Bad LCP nak option = *lcp_option*,, on network *network ID*

説明: lcp_nak が NAK を受信しましたが、範囲外のオプションが含まれています。

PPP.033

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.033 out-ordr lcp nak opt *lcp_option*,, nt *network ID*

長構文: PPP.033 Bad LCP nak option = *lcp_option*,, on network *network ID*

説明: lcp_nak が NAK を受信しましたが、順序エラーのオプションが含まれています。

PPP.034

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.034 Bd lcp nak opt *lcp_option*, shrt, nt *network ID*

長構文: PPP.034 Bad LCP nak option = *lcp_option*,, data too short, on network *network ID*

説明: lcp_nak が NAK を受信しましたが、オプションのデータが不十分です。

PPP.035

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.035 mk mru *mru*

長構文: PPP.035 making max receive unit with value *mru*

説明: lcp_option が、最大受信単位 (mru) を作成しました。

PPP.036

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.036 mk accm 0x *accm*

長構文: PPP.036 making accm = 0x *accm*

説明: lcp_option が、accm を作成しました。

PPP.037

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.037 mk aut 0x *auth*

長構文: PPP.037 making authorization protocol with value 0x *auth*

説明: lcp_option が、許可を作成しました。

PPP.038

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.038 mk mag 0x *magic_number*

長構文: PPP.038 making magic number with value 0x *magic_number*

説明: lcp_option が、マジック・ナンバーを作成しました。

PPP.039

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.039 mk pfc

長構文: PPP.039 making protocol compression

説明: lcp_option が、プロトコル圧縮を作成しました。

PPP.040

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.040 mk acfc

長構文: PPP.040 making address/control field compression

説明: lcp_option が、アドレス/制御圧縮を作成しました。

PPP.041

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.041 mk qp 0x *protocol*, *period*

長構文: PPP.041 making quality protocol = 0x *protocol*,,
period = *period*

説明: lcp_option が、品質を作成しました。

PPP.042

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.042 mk fcs

長構文: PPP.042 making 32-bit fcs

説明: lcp_option が、32 ビット FCS を作成しました。

PPP.043

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.043 mk lcp unk *option*

長構文: PPP.043 making unknown lcp option *option*

説明: lcp_option が、認知できないオプションを作成しました。

PPP.044

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.044 ck mru *mru*

長構文: PPP.044 checking max receive unit with value *mru*

説明: lcp_check が、最大受信単位 (mru) を処理しました。

PPP.045

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.045 ck accm 0x *accm*

長構文: PPP.045 checking accm = 0x *accm*

説明: lcp_check が、accm を処理しました。

PPP.046

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.046 ck aut 0x *auth*

長構文: PPP.046 checking authorization protocol with value
0x *auth*

説明: lcp_check が、許可を処理しました。

PPP.047

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.047 ck mag 0x *magic_number*

長構文: PPP.047 checking magic number with value 0x
magic_number

説明: lcp_check が、マジック・ナンバーを処理しました。

PPP.048

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.048 ck pfc

長構文: PPP.048 checking protocol compression

説明: lcp_check が、プロトコル圧縮を処理しました。

PPP.049

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.049 ck acfc

長構文: PPP.049 checking address/control field compression

説明: lcp_check が、アドレス/制御圧縮を処理しました。

PPP.050

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.050 ck qp 0x *protocol*, *period*

長構文: PPP.050 checking quality protocol = 0x *protocol*,,
period = *period*

説明: lcp_check が、品質を処理しました。

PPP.051

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.051 ck fcs

長構文: PPP.051 checking 32-bit fcs

説明: lcp_check が、32 ビット FCS を処理しました。

PPP.052

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.052 ck lcp unk option

長構文: PPP.052 checking unknown lcp option option

説明: lcp_check が、認知できないオプションを処理しました。

PPP.053

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.053 state, routine_name, nt network ID

長構文: PPP.053 state = state,, called routine_name,, on network network ID

説明: 指定の cp ルーチンを呼び出しました。

PPP.054

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.054 Bd control_protocol, ack id, exp exp_id, gt got_id,, nt network ID

長構文: PPP.054 Bad control_protocol, ack id, expected exp_id,, got got_id,, on network network ID

説明: xxcp_ack が、構成 ACK を受信しましたが、ID が無効です。

PPP.055

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.055 Bad control_protocol, ack lngth nt network ID

長構文: PPP.055 Bad control_protocol, ack length on network network ID

説明: xxcp_ack が、構成 ACK を受信しましたが、長さが無効です。

PPP.056

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.056 msmtchd control_protocol, ack, nt network ID

長構文: PPP.056 mis-matched data in control_protocol, ack, on network network ID

説明: xxcp_ack が ACK を入手しましたが、そのデータがこちらの要求に合致していません。

PPP.057

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.057 Bd control_protocol, nak id, exp exp_id, gt got_id,, nt network ID

長構文: PPP.057 Bad control_protocol, nak id, expected exp_id,, got got_id,, on network network ID

説明: xxcp_nak が NAK を受信しましたが、ID が無効です。

PPP.058

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.058 Bd control_protocol, nak lngth, nt network ID

長構文: PPP.058 Bad control_protocol, nak length, on network network ID

説明: xxcp_nak が NAK を受信しましたが、長さが無効です。

PPP.059

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.059 Bd control_protocol, nak opt ipcp_option,, nt network ID

長構文: PPP.059 Bad control_protocol, nak option = ipcp_option,, on network network ID

説明: xxcp_nak が NAK を受信しましたが、範囲外のオプションが含まれています。

PPP.060

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.060 out-ordr control_protocol, nak opt ipcp_option,, nt network ID

長構文: PPP.060 Bad control_protocol, nak option = ipcp_option,, on network network ID

説明: `xxcp_nak` が NAK を受信しましたが、順序外れのオプションが含まれています。

PPP.061

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.061 *Bd control_protocol, nak opt ipcp_option, shrt, nt network ID*

長構文: PPP.061 *Bad control_protocol, nak option = ipcp_option,, data too short, on network network ID*

説明: `xxcp_nak` が NAK を受信しましたが、オプションのデータが不十分です。

PPP.062

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.062 *Bd control_protocol, rej id, exp exp_id, gt got_id,, nt network ID*

長構文: PPP.062 *Bad control_protocol, reject id, expected exp_id,, got got_id,, on network network ID*

説明: `xxcp_rej` が、拒否を受信しましたが、ID が無効です。

PPP.063

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.063 *Bd control_protocol, rej lngth, nt network ID*

長構文: PPP.063 *Bad control_protocol, reject length, on network network ID*

説明: `xxcp_rej` が、拒否を受信しましたが、長さが無効です。

PPP.064

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.064 *Bd control_protocol, rej opt ipcp_option,, nt network ID*

長構文: PPP.064 *Bad control_protocol, reject option = ipcp_option,, on network network ID*

説明: `xxcp_rej` が、拒否を受信しましたが、順不同のオプションが含まれています。

PPP.065

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.065 *out-ordr control_protocol, rej opt ipcp_option,, nt network ID*

長構文: PPP.065 *Bad control_protocol, reject option = ipcp_option,, on network network ID*

説明: `xxcp_rej` が、拒否を受信しましたが、順序外れのオプションが含まれています。

PPP.066

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.066 *mk ads src_addr, dest_addr*

長構文: PPP.066 *making IPCP addresses option, addresses = src_addr, dest_addr*

説明: `ipcp_option` が、(使用すべきでない) IPCP アドレス・オプションを作成しました。

PPP.067

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.067 *mk cmp 0x comp_protocol, slots,/ slot_compress*

長構文: PPP.067 *making compression option 0x comp_protocol,, slots = slots,, slot_compress = slot_compress*

説明: `ipcp_option` が、圧縮オプションを作成しました。

PPP.068

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.068 *mk ad ip_address*

長構文: PPP.068 *making IPCP address option, address = ip_address*

説明: `ipcp_option` が、IPCP アドレス・オプションを作成しました。

PPP.069

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.069 *mk protocol, unk option*

長構文: PPP.069 *making unknown protocol, option option*

説明: `{ipcp,dncp}_option` が、認知できないオプションを作成しました。

PPP.070

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.070 *ck ads src_addr, dest_addr*

長構文: PPP.070 *checking IPCP addresses option, addresses = src_addr, dest_addr*

説明: `ipcp_check` が、(使用すべきでない) IPCP アドレ

ス・オプションを処理しました。

PPP.071

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.071 ck cmp 0x comp_protocol, slots,/ slot_compress

長構文: PPP.071 checking compression option 0x comp_protocol,, slots = slots,, slot_compress = slot_compress

説明: ipcp_check が、圧縮オプションを処理しました。

PPP.072

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.072 ck ad ip_address

長構文: PPP.072 checking IPCP address option, address = ip_address

説明: ipcp_check が、IPCP アドレス・オプションを処理しました。

PPP.073

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.073 ck control_protocol, unk option

長構文: PPP.073 checking unknown control_protocol, option option

説明: ipcp_check が、IPCP の認知できないオプションを処理しました。

PPP.074

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.074 Bd control_protocol, req hdr lngth, nt network ID

長構文: PPP.074 Bad control_protocol, request header length, on network network ID

説明: xxcp_req が、要求を受信しましたが、ヘッダー長が無効です。

PPP.075

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.075 Bd control_protocol, req opt ipcp_option, shrt, nt network ID

長構文: PPP.075 Bad control_protocol, request option = ipcp_option,, data too short, on network network ID

説明: xxcp_req が、要求を受信しましたが、含まれているオプションのデータが不十分です。

PPP.076

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.076 control_protocol, req rslt: ipcp_rslt,, opt ipcp_option,, ln opt_len,, nt network ID

長構文: PPP.076 control_protocol, request result: ipcp_rslt,, option = ipcp_option,, length = opt_len,, on network network ID

説明: ここまでの、1つのオプションの処理の結果

PPP.077

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.077 bd rcv len, pk hdr_len, dr i_bxfr, nt network ID

長構文: PPP.077 bad length on received data, packet length = hdr_len,, driver says i_bxfr,, on network network ID

説明: LCP または NCP パケットの長さフィールドが、IORB の i_bxfr に一致していません。

PPP.078

レベル: C-INFO

短構文: PPP.078 Mdm sts chg, DCD dcd CTS cts nt network ID

長構文: PPP.078 Modem status changed DCD = dcd CTS = cts on network network ID

説明: モデム状況の変更が発生しました。現在の状態が記述されています。

PPP.079

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.079 prt rej rcv, prt 0x protocol) nt network ID

長構文: PPP.079 protocol reject received for protocol 0x protocol) on network network ID

説明: リンクからプロトコル拒否パケットを受信しました。

PPP.080

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.080 rc bd cd packet_type, prt prot_type, nt network ID

長構文: PPP.080 Received bad code (packet_type,) for prot prot_type,, on network network ID

説明: ネットワークからのパケットが、そのプロトコルではサポートされないタイプをもっていました。

PPP.081

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.081 rc bd mgc 0x rcv_magic_num,, ours 0x our_magic_num, nt network ID

長構文: PPP.081 Received bad magic number 0x rcv_magic_num,, ours is 0x our_magic_num,, on network network ID

説明: 必要なマジック・ナンバーを入手できませんでした。独自のナンバーが得られたら (2 つの引き数一致)、リンクはループバックされます。

PPP.082

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.082 lpbk nt network ID

長構文: PPP.082 link appears to be looped back on network network ID

説明: リンクの構成を試みているときの、過度のマジック・ナンバーの衝突

PPP.083

レベル: UI-ERROR

短構文: PPP.083 Srl prt fl: 0x status, nt network ID

長構文: PPP.083 Serial port failed init, stat: 0x status,, network network ID

説明: ppp_slftst2 が (netp->n_idctp)->d_flg after init 内の悪い状況を監視しました。

PPP.084

レベル: C-INFO

短構文: PPP.084 Req brng up DN nt network ID

長構文: PPP.084 Request to bring up DECNET IV, on network network ID

説明: ppp_prrinit ルーチンが、Decnet IV プロトコルのために呼び出されました。

PPP.085

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.085 rc no mgc nt network ID

長構文: PPP.085 Received message without a magic number, on network network ID

説明: 受信したパケットには、マジック・ナンバー (ECHO REQ, ECHO ACK, QUALITY REPORT, DISC REQ) が入っているはずですが、入っていませんでした。

PPP.086

レベル: C-INFO

短構文: PPP.086 Req brng up IPX nt network ID

長構文: PPP.086 Request to bring up IPX, on network network ID

説明: ppp_prrinit ルーチンが、IPX プロトコルのために呼び出されました。

PPP.087

レベル: C-INFO

短構文: PPP.087 Req brng up SRT nt network ID

長構文: PPP.087 Request to bring up SRT, on network network ID

説明: ppp_prrinit ルーチンが、SRT プロトコルのために呼び出されました。

PPP.088

レベル: C-INFO

短構文: PPP.088 BNCP changed SR seg num from oldsegnum to newsegnum on port port nt network ID

長構文: PPP.088 Bridging control protocol changed source route segment number from oldsegnum to newsegnum on port port, network network ID

説明: 発信元ルート回線 ID のネゴシエーションの結果、リンクのローカル側が、その発信元ルート・セグメント番号を変更しました。

PPP.089

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.089 DROP: rcvd STB bdgd pkt but bdging dsbld on nt network

長構文: PPP.089 Dropping the received Spanning Tree Bridged packet but bridging is disabled on network network

説明: スパニング・ツリー・ブリッジングがこのインターフェースでは使用可能にされていないか、STB がボックス内で使用不可になっていますが、この PPP インターフェース上でブリッジされたパケットが受信されています。

PPP.090

レベル: C-INFO

短構文: PPP.090 Req brng up AppleTalk nt *network ID*

長構文: PPP.090 Request to bring up AppleTalk, on network *network ID*

説明: ppp_pprint ルーチンが、AppleTalk プロトコルのために呼び出されました。

PPP.091

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.091 ATCP add opt rejected on nt *network ID* - no common net num

長構文: PPP.091 ATCP address option rejected on network *network ID* - no common network number

説明: AppleTalk Address オプションに PPP リンクの共通ネットワーク番号が含まれていなかったため、ATCP 構成拒否が送信されます。

PPP.092

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.092 ATCP add opt rejected on nt *network ID* - remote's node ID invalid *node_id*

長構文: PPP.092 ATCP address option rejected on network *network ID* - remote side's node ID is invalid *node_id*

説明: リモート側からの AppleTalk Address オプションに無効なノード ID が含まれていたため、ATCP 構成拒否が送信されます。

PPP.093

レベル: C-INFO

短構文: PPP.093 Req brng up OSI nt *network ID*

長構文: PPP.093 Request to bring up OSI, on network *network ID*

説明: ppp_pprint ルーチンが、OSI プロトコルのために呼び出されました。

PPP.094

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.094 CCP rec reset-req nt *network ID*

長構文: PPP.094 CCP received compression reset-req on network *network ID*

説明: CCP が、リモート・ホストからリセット要求を受

信しました。これは、パケットが失われたか、破壊されたためと考えられます。

PPP.095

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.095 CCP snd reset-req nt *network ID*

長構文: PPP.095 CCP sent compression reset-req on network *network ID*

説明: CCP が、リモート・ホストにリセット要求を送信しました。これは、パケットが失われたか、破壊されたためです。

PPP.096

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.096 CCP rec reset-ack nt *network ID*

長構文: PPP.096 CCP received compression reset-ack on network *network ID*

説明: CCP が、リモート・ホストからリセット確認を受信しました。

PPP.097

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.097 Bd *control_protocol*, reset-ack id, exp *exp_id*, gt *got_id*,, nt *network ID*

長構文: PPP.097 Bad *control_protocol*, reset-ack id, expected *exp_id*,, got *got_id*,, on network *network ID*

説明: xxcp_reset_ack が、リセットを受け取りましたが、ID が無効です。

PPP.098

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.098 Bad *alg_name*, seq, exp *exp_id*, gt *got_id*,, nt *network ID*

長構文: PPP.098 *alg_name*, decompress, bad sequence id, expected *exp_id*,, got *got_id*,, on network *network ID*

説明: ADC データ圧縮解除で不適正なシーケンス番号を受け取りました。これは、パケットが欠落していることが原因です。

PPP.099

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.099 CCP mk *opt_id*, sz *len*, opt *optval*

長構文: PPP.099 CCP make option *opt_id*, length *len*, optionval *optval*

説明: CCP が、このタイプのオプションを作成しました。

PPP.100

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.100 CCP bad packet nt *network ID*

長構文: PPP.100 CCP decompressor dropped a bad packet, network *network ID*

説明: PPP データ圧縮解除で、不適正なパケットを除去しました。

PPP.101

レベル: C-INFO

短構文: PPP.101 ccinit *typename*, will *will_neg*, mem *mem*, nt *network ID*.

長構文: PPP.101 CCP init: *typename*, will_negotiate *will_neg*, maxmem *mem*, net *network ID*.

説明: CCP の使用可能圧縮機能とそのコストのブート時リスト

PPP.103

レベル: C-INFO

短構文: PPP.103 CCP dis nt *network ID*.

長構文: PPP.103 CCP data compression disabled at boot time, net *network ID*.

説明: CCP データ圧縮が、このインターフェース上で使用不可です。

PPP.104

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.104 uncmp pkt; cmp len *cmp_len*, > orig *orig_len*, (*action*,); nt *network ID*

長構文: PPP.104 Uncompressible packet: compressed len *cmp_len*, >= uncompressed len *orig_len*, (*action*,), nt *network ID*.

説明: CCP 圧縮機能が、圧縮できないパケットを検出しました。通常、元の圧縮されていないパケットが代わりに送信されます。

PPP.105

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.105 CCP have *proto*, got *opt*, (*ob1*, *ob2*, *ob3*)

長構文: PPP.105 CCP proto *proto*, option is *opt*, (*ob1*, *ob2*, *ob3*).

説明: 別のルーターが、オプションを含む構成要求を送信しました。

PPP.106

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.106 CDP gnt pkt got, (> *mrui*).

長構文: PPP.106 CDP saw a giant packet of length got, (> *mrui*).

説明: ルーターが、圧縮済みのパケットを受信しましたが、そのデータが多過ぎます。

PPP.107

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.107 STAC pkt after reset (*res_id*,) nt *network ID*.

長構文: PPP.107 STAC received a packet after reset (*res_id*,) net *network ID*.

説明: リセット確認を待っているときに、パケットが廃棄されました。

PPP.108

レベル: UI-ERROR

短構文: PPP.108 Ignoring extra IP addr: addr = *ip_address* nt *network ID*

長構文: PPP.108 Ignoring multiple IP addresses configured on single PPP link, local address = *ip_address*, on network *network ID*

説明: IP/PPP は、PPP インターフェースごとに IP アドレスを 1 個だけサポートすることができます。1 つの PPP インターフェース上で複数の IP アドレスを構成すると、ルーターは最初の IP アドレス以外はすべて無視します。このメッセージは、ルーターが IP アドレスを無視していることを示します。

PPP.109

レベル: UI-ERROR

短構文: PPP.109 CCP rcv CODE_REJ *code*, nt *network ID*.

長構文: PPP.109 CCP received CODE_REJ for code *code*,, net *network ID*.

説明: CCP が、CCP パケットに対して CODE_REJect を受信しました。コード 14 は RESET-REQ であり、圧縮リセットをサポートしていないリモート・ホストがそれを拒否する可能性があります。ルーターは、CCP 接続を終了し、独力で再始動すると考えられます。

PPP.110

レベル: C-INFO

短構文: PPP.110 CCP *dir*, no buf net *network ID*.

長構文: PPP.110 CCP *dir*,put no buffers available net *network ID*.

説明: CCP が、入力バッファまたは出力バッファの割り振りを試みて、失敗しました。

PPP.111

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.111 CCP R-req timeout nt *network ID*.

長構文: PPP.111 CCP Reset-req timeout expired net *network ID*.

説明: CCP がリセット要求を送信し、確認応答を待っていましたが、タイムアウトになりました。

PPP.112

レベル: C-INFO

短構文: PPP.112 Req brng up APPN ISR nt *network ID*

長構文: PPP.112 Request to bring up APPN ISR, on *network network ID*

説明: ppp_prrinit ルーチンが、APPN ISR プロトコルのために呼び出されました。

PPP.113

レベル: C-INFO

短構文: PPP.113 Req brng up APPN HPR nt *network ID*

長構文: PPP.113 Request to bring up APPN HPR, on *network network ID*

説明: ppp_prrinit ルーチンが、APPN HPR プロトコルのために呼び出されました。

PPP.114

レベル: C-INFO

短構文: PPP.114 *message*

長構文: PPP.114 *message*

説明: 特殊な事象メッセージで、内部開発用として使用されます。

PPP.116

レベル: C-INFO

短構文: PPP.116 PAP Rcv *packet_type*, nt *network ID*.

長構文: PPP.116 PAP Received *packet_type*, net *network ID*.

説明: PAP は、認証要求に対して ACK または NAK を受け取りました。

PPP.117

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.117 Bd id, exp *exp_id*, gt *got_id*,, nt *network ID*

長構文: PPP.117 Bad id, expected *exp_id*,, got *got_id*,, on *network network ID*

説明: PAP または CHAP または MSCHAP のパケットに、予期されているものと違う ID が含まれています。

PPP.118

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.118 *protocol*, Bd typ *type*, nt *network ID*.

長構文: PPP.118 *protocol*, Bad Packet Type *type*, net *network ID*.

説明: PAP または CHAP または MSCHAP が、無効なパケット・タイプを受信しました。

PPP.119

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.119 CHAP rcv pkt *packet_type*, nt *network ID*.

長構文: PPP.119 CHAP receive packet type *packet_type*, on net *network ID*.

説明: CHAP または MSCHAP が、パケットを受信しました。

PPP.120

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.120 CHAP snd pkt *packet_type*, nt *network ID*.

長構文: PPP.120 CHAP sent packet type *packet_type*, on net *network ID*.

説明: CHAP または MSCHAP がパケットを送信しました。

PPP.121

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.121 CHAP bad len nt *network ID*.

長構文: PPP.121 CHAP bad response length net *network ID*.

説明: CHAP または MSCHAP が短過ぎる応答パケットを受信しました。

PPP.124

レベル: C-INFO

短構文: PPP.124 *protocol*, msg *message*, nt *network ID*.

長構文: PPP.124 *protocol*, message *message*, net *network ID*.

説明: PAP または CHAP または MSCHAP の応答パケットが、平文メッセージを含んでいました。

PPP.125

レベル: C-INFO

短構文: PPP.125 CHAP CHAL *direction*, name= *name*, nt *network ID*.

長構文: PPP.125 CHAP CHAL *direction*, name= *name*, nt *network ID*.

説明: CHAP または MSCHAP チャレンジが発行または受信されました。

PPP.126

レベル: C-INFO

短構文: PPP.126 CHAP RESP *direction*, name= *name*, nt *network ID*.

長構文: PPP.126 CHAP RESP *direction*, name= *name*, nt *network ID*.

説明: CHAP または MSCHAP チャレンジに対する応答が発行または受信されました。

PPP.127

レベル: C-INFO

短構文: PPP.127 PAP REQ *direction*, name= *name*, nt *network ID*.

長構文: PPP.127 PAP REQ *direction*, name= *name*, nt *network ID*.

説明: PAP 要求が発行または受信されました。

PPP.128

レベル: CE-ERROR

短構文: PPP.128 Rcvd illegal *protocol*, nt *network ID*.

長構文: PPP.128 Rcvd illegal *protocol*, nt *network ID*.

説明: 受信した PAP または CHAP または MSCHAP のパケットが、ネゴシエーションで決められたオプションと対応していませんでした。

PPP.129

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.129 *protocol*, *flag*, done nt *network ID*.

長構文: PPP.129 *protocol*, *flag*, Authentication complete net *network ID*.

説明: ローカルまたはリモートの認証が正常に完了しました。

PPP.130

レベル: C-INFO

短構文: PPP.130 Auth done nt *network ID*.

長構文: PPP.130 Authentication completed successfully on net *network ID*.

説明: すべての認証が正常に完了しました。

PPP.131

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.131 *protocol*, *fcn_name*, nt *network ID*.

長構文: PPP.131 *protocol*, *fcn_name*, net *network ID*.

説明: 指定の認証機能呼び出しました。

PPP.132

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.132 No name cfgrd nt *network ID*.

長構文: PPP.132 No name configured net *network ID*.

説明: この PPP インターフェース上で構成されている名前がありません。

PPP.133

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.133 LCP Ident: *message*, nt *network ID*.

長構文: PPP.133 LCP Identification: *message*, on net *network ID*

説明: LCP 識別パケットを受信しました。

PPP.134

レベル: C-INFO

短構文: PPP.134 *seconds*, seconds remaining pkt typ *packet_type*, nt *network ID*.

長構文: PPP.134 *seconds*, seconds remaining packet type *packet_type*, on net *network ID*

説明: TIME REMAINING パケットを受信しました。

PPP.135

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.135 time rem start *seconds*, seconds net *network ID*.

長構文: PPP.135 Time Remaining Started with *seconds*, Seconds Remaining net *network ID*.

説明: 残り時間が開始しました。

PPP.136

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.136 time rem sent *seconds*, seconds left net *network ID*..

長構文: PPP.136 Time Remaining Packet Sent *seconds*, Seconds Remaining net *network ID*

説明: TIME REMAINING パケットを送信しました。

PPP.137

レベル: C-INFO

短構文: PPP.137 No Time Remaining! Forced Shutdown net *network ID*.

長構文: PPP.137 No Time Remaining! Forced Shutdown net *network ID*.

説明: 残り時間がありません。強制的にシャットダウンします。

PPP.138

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.138 *protocol*, snd pkt *packet_type*, id *id*, nt *network ID*.

長構文: PPP.138 *protocol*, sent packet type *packet_type*, id=*id*, on net *network ID*.

説明: 認証プロトコルがパケットを送信しました。

PPP.139

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.139 *protocol*, rcv pkt *packet_type*, nt *network ID*.

長構文: PPP.139 *protocol*, receive packet type *packet_type*, on net *network ID*.

説明: 認証プロトコルがパケットを受信しました。

PPP.140

レベル: C-INFO

短構文: PPP.140 *protocol*, Rcv *packet_type*, nt *network ID*.

長構文: PPP.140 *protocol*, Received *packet_type*, net *network ID*.

説明: 認証プロトコルが、認証要求について ACK または NAK を受信しました。

PPP.141

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.141 Rcvd *what*, prtcl=0x *protocol*), len= *length*, nt *network ID*.

長構文: PPP.141 Packet (*what*) Received, protocol=0x *protocol*), length= *length*, net *network ID*.

説明: PPP がパケットを受信しました。"what" パラメーターによって、パケットが実際に正規のパケット "pkt" として受信されたのか、圧縮データ・パケット "CDP" として受信されたのかが示されます。表示されたプロトコルおよび長さは、圧縮解除が行われた後のものです。

PPP.143

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.143 Unlimited Seconds Remaining for net *network ID*.

長構文: PPP.143 Unlimited Seconds Remaining net *network ID*.

説明: 残り時間が無制限です。

PPP.144

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.144 Unlimited Time Remaining Packet Sent
net *network ID*..

長構文: PPP.144 Unlimited Time Remaining Packet Sent
net *network ID*

説明: 無制限残り時間パケットを送信しました。

PPP.145

レベル: U-INFO

短構文: PPP.145 Test # *test_number* triggered, nt *network ID*. --> *test_description*

長構文: PPP.145 Test # *test_number* triggered on net
network ID. Description: *test_description*

説明: 特殊診断テストが起動されました。

PPP.146

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.146 CDP decomp err: data exceeds MRU, nt
network ID.

長構文: PPP.146 CDP decompression error; expanded data
length > MRU, net *network ID*

説明: データ圧縮解除がパケットを展開して生成した PPP 情報フィールドの長さが、ネゴシエーションで決められた MRU 値を超えています。これは、受信側より送信側に問題があるか、または受信したパケット内のデータが破壊されているためである可能性があります。

PPP.147

レベル: U-INFO

短構文: PPP.147 MRU reduced (was *old_mru*., now
new_mru.), nt *network ID*.

長構文: PPP.147 MRU has been reduced, from *old_mru*,
to *new_mru*., net *network ID*.

説明: PPP リンク上で使用中の MRU 値は、構成された値から削減されています。下位リンクでは構成された MRU をサポートしないためです。この基本的な原因は、指定の MRU をもつ PPP パケットを完全に含むには、下位リンクのフレーム・サイズが不足していることです。これが発生するのは、おそらく ISDN ダイアル回線において、ISDN 基本ネットワークに対して構成されたフレーム・サイズが小さ過ぎるために、指定の MRU では PPP

パケットを送信できない場合です。

処置: 新しい MRU 値が受け入れられる値であれば、処置は必要ありません。そうでなければ、PPP インターフェースを再構成して、ベース・リンク・フレーム指示において MRU をより小さい適切な値にするか、指定の PPP MRU 値を処理できるように、下位リンクに対するフレーム・サイズ・パラメーターを増やしてください。

PPP.148

レベル: UI-ERROR

短構文: PPP.148 Init MRU= *mru*, too small (<1500) for
PPP nt *network ID*.

長構文: PPP.148 Initial MRU value of *mru*, is too small,
net *network ID*.

説明: PPP リンク上で使用されている MRU の初期値が小さ過ぎるため、リンクが正しく作動できません。このエラーは、1500 バイトのデータを持つ PPP フレームを受信するには、内部の入力データ・バッファが小さ過ぎることを示しています。PPP では、1500 バイトのデータを処理する能力が必要です。LCP によるネゴシエーションで MRU 値がより小さくなる場合がありますが、ネゴシエーションが行われるまでは MRU は 1500 です。このメッセージが出る基本的な原因は、MRU サイズが省略時値の 1500 である PPP パケットを完全に含むには、下位リンクのフレーム・サイズが不足していることです。ここで注意すべきことは、この値は LCP によるネゴシエーションの結果として最終的に 1500 以下になった値に過ぎないため、この問題は構成された PPP MRU 値の問題では「ない」ということです。そうではなく、問題は MRU の一致が失われた場合や MRU のネゴシエーションを行う場合に、パケットを 1500 バイトに戻すには PPP 用のデータ・バッファが不足しているということです。制御パケットが問題を引き起こすほど長くなることはまれなので、ネゴシエーションが行われる MRU が小さいものであれば、ネットワークはおそらく正常に機能します。これが発生するのは、おそらく ISDN ダイアル回線において、ISDN 基本ネットワークに対して構成されたフレーム・サイズが小さ過ぎるために、データ・バイト数が 1500 では PPP パケットを運ぶことができない場合です。

処置: 下位リンクのパラメーター (ISDN フレーム・サイズなど) を再構成します。問題が続く場合は、サービス技術員に連絡してください。

PPP.149

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.149 Rcv pkt discard, rs= *reason*., nt *network ID*

長構文: PPP.149 Input packet discarded, reason= *reason*,, nt *network ID*

説明: PPP が受信したパケットを廃棄しました。

処置: なし。通知専用のメッセージ

PPP.150

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.150 Pkt data= *data*... nt *network ID*

長構文: PPP.150 Packet data= *data*... net *network ID*

説明: この通知メッセージは、パケット内のデータの最初の数バイトを表示するだけのものです。このメッセージは、他の ELS メッセージと共に送られ、独立のメッセージとしては表示されないはずです。表示された厳密なデータ (およびそのデータのパケット内での位置) は、このメッセージを表示する原因となった事象に依存するものです。

処置: なし。通知のみのメッセージ

PPP.151

レベル: C-INFO

短構文: PPP.151 Net dwn, *why*,, nt *network ID*

長構文: PPP.151 Signalling a net down on network, cause= *why*,, *network ID*

説明: PPP が高位レイヤーに対して、ネットダウン事象を通知しています。

PPP.152

レベル: C_INFO

短構文: PPP.152 Effective MRU changed from *old_mru*, to *new_mru*,, nt *network ID*

長構文: PPP.152 Effective MRU changed from *old_mru*, to *new_mru*,, net *network ID*

説明: すでに 'up' としてマークされているリンク上の有効な MRU が変更されました。PPP は、MRU サイズが変更されたことを示すために、特殊な 'net up' タイプの事象を通知しています。通常この状態が起きるのは、暗号化が起動された場合、またはダイヤル・オンデマンド回線で、構成された値とは異なる MRU の値を回線の両側がネゴシーションを行う場合です。

PPP.153

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.153 Sent pkt, prtcl=0x *protocol*), len= *length*, rc= *rc* (*status*), nt *network ID*.

長構文: PPP.153 Packet Sent, protocol=0x *protocol*), length= *length*, status= *rc* (*status*), net *network ID*.

説明: PPP がパケットを送信しました。これは実際には、下位の装置ドライバーによって送達されるものであるパケットを PPP が送信したことを意味しています。装置ドライバーまたは帯域幅予約システムが、実際のパケットの送信を妨害した可能性があります。このことは、状態 (戻りコード) 値が非ゼロの値であることによって示される場合があります。プロトコルおよび長さの値は、データ圧縮前の値です (パケットが圧縮形式で送信された場合)。

PPP.154

レベル: C-INFO

短構文: PPP.154 CCP start cmp *algorithm options*, nt *network ID*

長構文: PPP.154 CCP start compressor *algorithm options*, on *network network ID*

説明: CCP は、圧縮アルゴリズムのネゴシーションを正常に行いました。

PPP.155

レベル: C-INFO

短構文: PPP.155 CCP start dcmp *algorithm options*, nt *network ID*

長構文: PPP.155 CCP start decompressor *algorithm options*, on *network network ID*

説明: CCP は、圧縮解除アルゴリズムのネゴシーションを正常に行いました。

PPP.156

レベル: C-INFO

短構文: PPP.156 CCP stop cmp *algorithm*, nt *network ID*

長構文: PPP.156 CCP start compressor *algorithm*, on *network network ID*

説明: CCP が圧縮をシャットダウンしました。

PPP.157

レベル: C-INFO

短構文: PPP.157 CCP stop dcmp *algorithm*, nt *network ID*

長構文: PPP.157 CCP stop compressor *algorithm*, on *network network ID*

説明: CCP が圧縮をシャットダウンしました。

PPP.158

レベル: C-INFO

短構文: PPP.158 PPP net down, nt *network ID*

長構文: PPP.158 PPP net down, on network *network ID*

説明: PPP リンクがダウンしました。外部信号通知された事象が原因であるか、PPP_151 を経由して報告されることになる、何らかの内部生成 PPP 事象が原因である可能性があります。

PPP.159

レベル: C-INFO

短構文: PPP.159 PPP link down (disconnect on dial link), nt *network ID*

長構文: PPP.159 PPP link down (disconnect on dial link), on network *network ID*

説明: ダイヤル回線上の PPP リンクがダウンしました。これは事象 PPP_158 とは異なります。つまり、リンクがダウンしているのは PPP から見た場合であり、レイヤー 3 プロトコルの観点からは相変わらずアップの状態にあります (たとえば、ISDN アイドル・タイマーが満了したために切断されたダイヤル・オンデマンド回線)。

PPP.160

レベル: C-INFO

短構文: PPP.160 PPP link disabled, nt *network ID*

長構文: PPP.160 PPP link disabled, on network *network ID*

説明: PPP リンクが使用不可になりました。

PPP.161

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.161 ck mrru *mrru*

長構文: PPP.161 checking max reconstructed receive unit with value *mrru*

説明: lcp_check が mrru を処理しました。

PPP.162

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.162 ck short seqnos

長構文: PPP.162 checking short sequence numbers

説明: lcp_check が短いシーケンス番号を処理しました。

PPP.163

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.163 ck endpt discr. cls= *class* addr= *addr*

長構文: PPP.163 checking endpoint discriminator class= *class*,addr= *addr*

説明: lcp_check がエンドポイント弁別子を処理しました。

PPP.164

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.164 ck link discr= *LD*

長構文: PPP.164 checking link discriminator = *LD*

説明: lcp_check がリンク弁別子を処理しました。

PPP.165

レベル: C-INFO

短構文: PPP.165 Assigning IP Address *ip_address*, nt *network ID*

長構文: PPP.165 Assigning IP Address *ip_address*, nt *network ID*

説明: IPCP ネゴシエーションのための IP アドレスが割り当てられました。

PPP.167

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.167 ECP mk *opt_id*, sz *len*, opt *optval*

長構文: PPP.167 ECP make option *opt_id*, length *len*, optionval *optval*

説明: ECP がこのタイプのオプションを作成しました。

PPP.168

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.168 ECP have *proto*, got *opt*, (*ob1*, *ob2*, *ob3*)

長構文: PPP.168 ECP *proto proto*, option is *opt*, (*ob1*, *ob2*, *ob3*).

説明: 別のルーターが、オプションを含む構成要求を送信しました。

PPP.169

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.169 ECP rec reset-req nt *network ID*

長構文: PPP.169 ECP received encryption reset-req on *network network ID*

説明: ECP がリモート・ホストからリセット要求を受信しました。これは、パケットが失われたか、破壊されたためと考えられます。

PPP.170

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.170 ECP rec reset-ack nt *network ID*

長構文: PPP.170 ECP received encryption reset-ack on *network network ID*

説明: ECP がリモート・ホストからリセット確認を受信しました。

PPP.171

レベル: UI-ERROR

短構文: PPP.171 ECP rcv CODE_REJ *code*, nt *network ID*.

長構文: PPP.171 ECP received CODE_REJ for *code code*,, net *network ID*.

説明: ECP が ECP パケットに関して CODE_REJect を受信しました。コード 14 は RESET-REQ であり、暗号化リセットをサポートしていないリモート・ホストはこれをリジェクトする可能性があります。ルーターは ECP 接続を終了し、独自に再始動する可能性があります。

PPP.172

レベル: C-INFO

短構文: PPP.172 ECP dis nt *network ID*.

長構文: PPP.172 ECP data encryption disabled at boot time, net *network ID*.

説明: ECP データ暗号化は、このインターフェース上で使用不可になっています。

PPP.173

レベル: C-INFO

短構文: PPP.173 ccinit *typename*, will *will_neg*, mem *mem*,, nt *network ID*.

長構文: PPP.173 ECP init: *typename*, will_negotiate *will_neg*, maxmem *mem*,, net *network ID*.

説明: ECP の使用可能な暗号機能とそのコストのブート時間リスト

PPP.174

レベル: C-INFO

短構文: PPP.174 ECP *dir*, no buf net *network ID*.

長構文: PPP.174 ECP *dir*,put no buffers available net *network ID*.

説明: ECP が入力バッファまたは出力バッファの割り振りを試み、これに失敗しました。

PPP.175

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.175 ECP snd reset-req nt *network ID*

長構文: PPP.175 ECP sent encryption reset-req on *network network ID*

説明: ECP がリモート・ホストにリセット要求を送信しました。これは、パケットが失われたか、破壊されたためです。

PPP.176

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.176 Bad *alg_name*, seq, exp *exp_id*, gt *got_id*,, nt *network ID*

長構文: PPP.176 *alg_name*, decrypt, bad sequence id, expected *exp_id*,, got *got_id*,, on *network network ID*

説明: ADC データ暗号化解除で入手したシーケンス番号が不適正です。これは、パケットが欠落していることが原因です。

PPP.178

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.178 mk mrru *mrru*

長構文: PPP.178 making max reconstructed receive unit with value *mrru*

説明: lcp_option が mrru を作成しました。

PPP.179

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.179 mk endpt discriminator

長構文: PPP.179 making endpoint discriminator

説明: lcp_option がエンドポイント弁別子を作成しました。

PPP.180

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.180 mk link discriminator

長構文: PPP.180 making link discriminator

説明: lcp_option がリンク弁別子を作成しました。

PPP.181

レベル: C-INFO

短構文: PPP.181 Duplicate address *address* nt *network ID*

長構文: PPP.181 IPCP negotiated IP address *address* is being used by another host nt *network ID*

説明: この IP アドレスに関する ARP に応答したのが別のホストであり、ルートは追加されません。

PPP.182

レベル: C-INFO

短構文: PPP.182 Added route from *from* to *to* mask *mask*

長構文: PPP.182 Added route from *from* to *to* mask *mask*

説明: ダイアルイン・クライアントまたは LAN に関して、新規静的ルートが追加されました。

PPP.183

レベル: C-INFO

短構文: PPP.183 IPCP no buf net *network ID*

長構文: PPP.183 IPCP no buffers available net *network ID*

説明: IPCP が入力バッファまたは出力バッファの割り振りを試み、これに失敗しました。

PPP.184

レベル: C-INFO

短構文: PPP.184 Add static rte to *address* failed nt *network ID*

長構文: PPP.184 Add static route to *address* failed nt *network ID*

説明: このアドレスが使用中かどうか確認検査するための ARP が失敗しました。

PPP.185

レベル: CI-ERROR

短構文: PPP.185 Can't do cmprs on new intfc, thrsiz too small, nt *network ID*

長構文: PPP.185 Can't do compression on activated interface due to limited trailer size on allocated packet buffers, network *network ID*

説明: データ圧縮がインターフェース上で使用可能にできませんでした。すでにボックス内で割り振られていたバッファに対してサイズ制約が課されていたためです。データ圧縮には、バッファ上のトレーラー・サイズが通常よりやや大きいことが必要です。これが通常発生するのは、PPP インターフェースに対して ACTIVATE INTERFACE が行われた場合ですが、ボックス内の既存の回線で圧縮が使用可能になっていたものではありませんでした。ルーターがこの時点で再始動された場合は、トレーラー・サイズを大きくしてバッファを割り振り、圧縮は作動可能になるはずですが。

PPP.186

レベル: C-INFO

短構文: PPP.186 ARP ent deleted for prt add *protocol_address*

長構文: PPP.186 ARP entry deleted for IP address *protocol_address*

説明: ダイアルイン IP アドレスに関する ARP エントリは、現在は削除されています。

PPP.187

レベル: UI_ERROR

短構文: PPP.187 No available Mac Addr - disabling *type*

長構文: PPP.187 No available Mac Addr - disabling *type*

説明: MAC アドレスを入手できませんでした。

PPP.188

レベル: C_TRACE

短構文: PPP.188 Net state change, net *network ID*) is *state*.

長構文: PPP.188 Net state change, net *network ID*) is *state*.

説明: PPP ネットが (おそらく) 新しい状態に設定されました。

処置: なし。通知専用のメッセージ

PPP.189

レベル: C_TRACE

短構文: PPP.189 Protocol *protocol* marked down, net *network ID*).

長構文: PPP.189 Protocol *protocol* marked down, net *network ID*).

説明: レイヤー 3 プロトコルが、PPP リンク上でダウンとマークされました。通常これは RESET PROTOCOL が実行された場合に起こります。

処置: なし。通知専用のメッセージ

PPP.190

レベル: C_TRACE

短構文: PPP.190 Protocol protocol action on net network ID).

長構文: PPP.190 Protocol protocol action on net network ID).

説明: レイヤー 3 プロトコルが、PPP インターフェース上での実行に適格として登録または登録解除しました。"action" パラメーターが、登録したのか登録解除したのかを示します。

処置: なし。通知専用のメッセージ

PPP.191

レベル: C_TRACE

短構文: PPP.191 sent_or_rcvd LCP lcp_packet_type, ID=id, net network ID) LCP State = < fsm_state>, PktLen=pkt_len, LcpLen= contents, Contents:

長構文: PPP.191 sent_or_rcvd LCP lcp_packet_type, ID=id, net network ID) LCP State = < fsm_state>, PktLen=pkt_len, LcpLen= contents, Contents:

説明: LCP 構成パケットを送信または受信しました。これは、構成要求、ACK、NAK、またはリジェクト・パケットを表しています。"contents" フィールドに、パケット内に存在する (あるいは、1 つの ELS メッセージに入るだけの) オプションが記述されます。<fsm_state> は、この処置が記録されたときの LCP の状態を示しています。PktLen は受信したパケットの長さ (フレーム/HDLC/FCS バイトを含まない) であり、もう一方の LcpLen は LCP ヘッダーに組み込まれているパケットの "定義" された長さです。これらの値は通常は同じですが、パケットに埋め込みが含まれている場合には、PktLen の方が長い場合があります (これが LcpLen より短い場合には、パケットは切り捨てられ、無効になります)。

処置: なし。通知専用のメッセージ

PPP.193

レベル: U_INFO

短構文: PPP.193 algorithm decryption failed (status= status), packet lost, net network ID.

長構文: PPP.193 algorithm decryption failed (status= status), packet lost, net network ID.

説明: パケットは正しく暗号化解除できずに、失われました。この状態値は、暗号化解除ルーチンによって提供された戻りコードです。

PPP.194

レベル: U_INFO

短構文: PPP.194 algorithm encryption failed (status= status), net network ID.

長構文: PPP.194 algorithm encryption failed (status= status), net network ID.

説明: パケットは正しく暗号化できず、送信されませんでした。この状態値は、暗号化ルーチンによって提供された戻りコードです。

PPP.195

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.195 MSCHAP usr ' username' bad chgpwd len length nt network ID.

長構文: PPP.195 MSCHAP user ' username' supplied a bad change password length of length on net network ID.

説明: MSCHAP は、短過ぎるパスワード変更パケットを受信しました。

PPP.196

レベル: UE_ERROR

短構文: PPP.196 Auth svr does not support MSCHAP nt net_number.

長構文: PPP.196 The authentication server does not support MSCHAP on net net_number.

説明: 現行構成は、MSCHAP をサポートしない認証サーバーを使用しています。このサーバーを使用してユーザーを認証しようとする MSCHAP の試行はすべて失敗します。MSCHAP を使用不可にするか、あるいは MSCHAP をサポートする認証サーバーを使用してください。

PPP.197

レベル: UI_ERROR

短構文: PPP.197 Cannot gt remote pwd for user ' username' nt net_number.

長構文: PPP.197 Authentication server returned an empty password for user ' username' on net net_number.

説明: MSCHAP は、パスワード変更パケットに組み込ま

れている新規パスワードの暗号化を解除するために、ピアの現行パスワードを必要とします。MSCHAPはこのパスワードを入手できなかったため、ピアのローカル・リスト・パスワードを変更することができませんでした。

PPP.198

レベル: UI_ERROR

短構文: PPP.198 Bad ptr.

長構文: PPP.198 MSCHAP encountered an invalid internal value.

説明: MSCHAPは無効なポインター値を検出しました。これは内部エラーです。

PPP.199

レベル: UE_ERROR

短構文: PPP.199 MSCHAP user 'username' sent unexpected chg pwd nt *net_number*.

長構文: PPP.199 MSCHAP user 'username' sent an unexpected/unsupported change password pkt on net *net_number*.

説明: ピアは許可されないパスワード変更パケットを送信しました。パケットは無視されます。

PPP.200

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.200 ck CBCP

長構文: PPP.200 checking Callback Control Protocol (CBCP).

説明: lcp_check は CBCP 要求を処理しました。

PPP.201

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.201 Callback PPP user *username* at *dial_number* in *delay* seconds on net *network ID*.

長構文: PPP.201 Callback PPP user *username* at *dial_number* in *delay* seconds on net *network ID*.

説明: ローミングまたは必須コールバックのために、PPP ユーザーをコールバック中です。

PPP.202

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.202 Callback call start for user *username*, at *destination*, on net *network ID*.

長構文: PPP.202 Callback call start for user *username*, at *destination*, on net *network ID*.

説明: 示されている番号の指定のユーザーをコールバックしようとしています。

PPP.203

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.203 Callback successful reconnection of user *username*, on net *network ID*.

長構文: PPP.203 Callback successful reconnection of user *username*, on net *network ID*.

説明: リストされているユーザーのコールバックが正常に行われました。

PPP.204

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.204 Callback collision. User *username*, interrupt callback of *username*, on net *network ID*.

長構文: PPP.204 Callback collision. User *username*, interrupt callback of *username*, on net *network ID*.

説明: 2 番目のユーザーのコールバックを試行中に、最初のユーザーがコールしました。最初のユーザーは切断され、ユーザー 2 のコールバックは継続されます。

PPP.205

レベル: UE_ERROR

短構文: PPP.205 MSCHAP disabled while MPPE is enabled nt *net_number*.

長構文: PPP.205 MSCHAP was disabled while MPPE is still enabled on net *net_number*.

説明: 現行構成では MPPE 暗号化が使用可能にされています。この場合は MSCHAP も使用可能であることが必要です。MPPE (暗号化) を使用不可にせずに MSCHAP を使用不可にすると、すべての PPP リンクに障害が起こる可能性があります。

PPP.206

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.206 MPPE is active for nt *net_number*..

長構文: PPP.206 Net *net_number* has negotiated MPPE.

説明: 特定のネットの MPPE がアクティブかどうかを示します。

PPP.207

レベル: P_TRACE

短構文: PPP.207 Link dropped for net *net_number* because MPPE was enabled and could not negotiate..

長構文: PPP.207 Link dropped for net *net_number* because MPPE was enabled and could not negotiate..

説明: MPPE がネゴシエーションを行わず、ネットで必須暗号化が使用可能にされている場合には、リンクを除去する必要があります。

PPP.208

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.208 Getting ready to send packet through compression and encryption routines.

長構文: PPP.208 Getting ready to send packet through compression and encryption routines.

説明: ほぼ完全なパケット。プロトコルまたは HDLC ヘッダーを持っていません。主としてパケット・トレース用です。

PPP.209

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.209 Code reject. Something bad happened.

長構文: PPP.209 Code reject. Something bad happened.

説明: コード・リジェクト。パケット・トレース用

PPP.210

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.210 Authentication packet received

長構文: PPP.210 Authentication packet received

説明: 認証パケットを受信しました。主としてパケット・トレース用です。

PPP.211

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.211 Termination packet sent/received

長構文: PPP.211 Termination packet sent/received

説明: 終了要求または終了確認を送信/受信しました。主としてパケット・トレース用です。

Panic pppimem

短構文: PPP interface initialization failed, no memory.

説明: PPP インターフェースが、初期化を完了するための十分な記憶域を割り振ることができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic pppiprt

短構文: PPP: unsupported protocol during initialization

説明: PPP ネットワーク・ハンドラーが初期化時に、サポートされないプロトコルを検出しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic pppidev

短構文: PPP: wrong device type

説明: PPP ネットワーク・ハンドラーが初期化時に、I_LOUIE または I_ATC2 以外の装置に PPP が構成されているのを検出しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

第82章 Presence Manager (PM)

この章では、Presence Manager (PM) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

PM.001

レベル: UI-ERROR

短構文: PM.001 Fan *fan* failed.

長構文: PM.001 Cooling fan *fan* has failed.

説明: 冷却ファンが、十分な冷却に必要な最小 RPM で回転を停止しました。

PM.002

レベル: U-INFO

短構文: PM.002 Fan *fan* up to speed.

長構文: PM.002 Cooling fan *fan* is up to speed.

説明: 前に障害を起こしていた冷却ファンが、現在は、十分な冷却に必要な最小 RPM で回転しています。

PM.003

レベル: U-INFO

短構文: PM.003 Pwr Supp *power_supply* OFF.

長構文: PM.003 Power Supply *power_supply* is OFF or has failed.

説明: 電源機構が電源オフになっているか、障害を起こしています。

PM.004

レベル: U-INFO

短構文: PM.004 Pwr Supp *power_supply* ON.

長構文: PM.004 Power Supply *power_supply* is ON.

説明: 電源機構が電源オンになっています。

PM.005

レベル: U-INFO

短構文: PM.005 Thermal *thermal* Overtemp.

長構文: PM.005 Thermal Sensor *thermal* is over-temp.

説明: 温度センサーの示度が指定のしきい値を超えました。

PM.006

レベル: U-INFO

短構文: PM.006 Thermal *thermal* below thresh.

長構文: PM.006 Thermal Sensor *thermal* is below warning level.

説明: 前に指定のしきい値を超えていた温度センサーの示度が、現在は、指定のしきい値より下まで下がっています。

PM.007

レベル: U-INFO

短構文: PM.007 LIC2 *at0 at1 - lic_name* detected in slot *slot*.

長構文: PM.007 LIC2 *at0 at1 - lic_name* detected in slot *slot*.

説明: 指定のタイプの LIC が、指定のスロットで検出されました。

PM.008

レベル: U-INFO

短構文: PM.008 LIC2 *at0 at1 - lic_name* extracted from slot *slot*.

長構文: PM.008 LIC2 *at0 at1 - lic_name* extracted from slot *slot*.

説明: 指定のタイプの LIC が、指定のスロットから取り出されました。

PM.009

レベル: UE-ERROR

短構文: PM.009 Mechanical Insertion Error, slot *slot*.

長構文: PM.009 Mechanical Insertion Error in slot *slot*.

説明: 機械的な挿入エラーが発生し、LIC タイプを検出できなかったことを示しています。LIC を再挿入する必要があります。

PM.010

レベル: UE-ERROR

短構文: PM.010 Unknown LIC Type in slot *slot*.

長構文: PM.010 Unknown LIC Type detected in slot *slot*.

説明: スロットにプラグが差し込まれた LIC タイプは、既知のどの LIC タイプとも一致しません。

PM.011

レベル: UE-ERROR

短構文: PM.011 LIC2 *at0 at1* - *lic_name* is not valid in slot *slot*.

長構文: PM.011 LIC2 *at0 at1* - *lic_name* is not valid in slot *slot*.

説明: スロットにプラグが差し込まれた LIC は、隣接するスロットに存在する LIC と互換性がありません。その結果、LIC は使用可能にされず、“Wrong Slot” 表示がオンになります。

PM.012

レベル: UI-ERROR

短構文: PM.012 LIC2 *at0 at1* - *lic_name* in slot *slot* is defective.

長構文: PM.012 LIC2 *at0 at1* - *lic_name* in slot *slot* is defective.

説明: スロットにプラグが差し込まれた LIC タイプは、欠陥があります。

第83章 プロトコル独立マルチキャスト (PIM)

この章では、プロトコル独立マルチキャスト (PIM) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

PIM.001

レベル: C-TRACE

短構文: PIM.001 Add phyint *IP_interface*

長構文: PIM.001 Add physical interface *IP_interface*

説明: 指定の物理インターフェースで PIM が使用可能にされました。

PIM.002

レベル: C-TRACE

短構文: PIM.002 Add tunnel *tunnel_source*->
tunnel_destination

長構文: PIM.002 Add tunnel *tunnel_source*->
tunnel_destination

説明: 指定の発信元アドレスとあて先アドレスの間に PIM トンネルが構成されました。

PIM.003

レベル: U-TRACE

短構文: PIM.003 Nbr *IP_neighbor* removed, ifc down

長構文: PIM.003 Neighbor *IP_neighbor* removed due to
interface going down

説明: PIM バーチャル・インターフェースがダウンしており、この近隣は近隣リストから除去されました。

PIM.004

レベル: UE-ERROR

短構文: PIM.004 bd hdr cks 0x *checksum* (exp 0x
expected_checksum) *source_ip_address* ->
destination_ip_address

長構文: PIM.004 Bad header checksum 0x *checksum*
(expected 0x *expected_checksum*) in packet from
source_ip_address for *destination_ip_address*

説明: このメッセージは、PIM 制御メッセージが無効なチェックサムを持っている場合に生成されます。受信したチェックサムが、正しいチェックサムと共に表示されています。

原因: おそらく、パケットが損傷しています。別のノードが、正しくない PIM 制御メッセージを作成している可能性があります。

処置: 問題が引き続き起こる場合は、回線トレースを調べて、パケットが損傷する箇所を判別してください。

PIM.005

レベル: U-TRACE

短構文: PIM.005 Rcvd PIM unk ver= *PIM_version*
IP_source -> *IP_destination*, nt *network ID*

長構文: PIM.005 Received PIM Unknown Version=
PIM_version, *IP_source* -> *IP_destination* net *network ID*

説明: PIM 制御メッセージを受信しましたが、不明のバージョン番号を持っています。パケットは廃棄されます。

PIM.006

レベル: P-TRACE

短構文: PIM.006 Rcvd Hello Msg *IP_source* ->
IP_destination, nt *network ID*

長構文: PIM.006 Received PIM Hello Message, *IP_source*
-> *IP_destination* net *network ID*

説明: PIM Hello メッセージを受信しました。

PIM.007

レベル: P-TRACE

短構文: PIM.007 Rcvd Jn/Prn Msg *IP_source* =>
PIM_upstream, nt *network ID*

長構文: PIM.007 Received PIM Join/Prune Message,
IP_source upstream *PIM_upstream* net *network ID*

説明: PIM Join/Prune メッセージを受信しました。表示されているアドレスは IP パケットあて先アドレスではないのに、PIM プロトコル・パケットにはアップストリーム・ルーター・アドレスが入っています。

PIM.008

レベル: P-TRACE

短構文: PIM.008 Rcvd Assert Msg, grp *IP_group*, src *IP_source*, nt *network ID*

長構文: PIM.008 Received PIM Assert Message, Group *IP_group*, Source *IP_source*, net *network ID*

説明: PIM Assert メッセージを受信しました。

PIM.009

レベル: P-TRACE

短構文: PIM.009 Rcvd Graft Msg *IP_source* -> *IP_destination*, nt *network ID*

長構文: PIM.009 Received PIM Graft Message, *IP_source* -> *IP_destination* net *network ID*

説明: PIM Graft メッセージを受信しました。

PIM.010

レベル: P-TRACE

短構文: PIM.010 Rcvd GraftAck Msg *IP_source* -> *IP_destination*, nt *network ID*

長構文: PIM.010 Received PIM Graft Ack Message, *IP_source* -> *IP_destination* net *network ID*

説明: PIM Graft 確認メッセージを受信しました。

PIM.011

レベル: UE-ERROR

短構文: PIM.011 Rcvd unk msg *IP_source* -> *IP_destination*, nt *network ID*

長構文: PIM.011 Received PIM Unknown Message, *IP_source* -> *IP_destination* net *network ID*

説明: PIM Control メッセージを受信しましたが、不明のメッセージ・タイプを持っています。メッセージは廃棄されます。

PIM.012

レベル: P-TRACE

短構文: PIM.012 Send Hello Msg *IP_source* -> *IP_destination*, nt *network ID*

長構文: PIM.012 Sending PIM Hello Message, *IP_source* -> *IP_destination* net *network ID*

説明: PIM Hello メッセージが作成され、伝送のためにスケジュールされました。

PIM.013

レベル: P-TRACE

短構文: PIM.013 Send Jn/Prn Msg *IP_source* => *PIM_upstream*, nt *network ID*

長構文: PIM.013 Sending PIM Join/Prune Message, *IP_source* upstream *PIM_upstream* net *network ID*

説明: PIM Join/Prune メッセージが作成され、伝送のためにスケジュールされました。表示されているアドレスは IP パケットあて先アドレスではない (全 PIM ルーター・アドレスです) のに、PIM プロトコル・パケットにはアップストリーム・ルーター・アドレスが入っています。

PIM.014

レベル: P-TRACE

短構文: PIM.014 Send Assert Msg, grp *IP_group*, src *IP_source*, nt *network ID*

長構文: PIM.014 Sending PIM Assert Message, Group *IP_group*, Source *IP_source* net *network ID*

説明: PIM Assert メッセージが作成され、伝送のためにスケジュールされました。この Assert が出されるのは、出力インターフェースで転送テーブル内のマルチキャスト・エントリーあてのマルチキャスト・データ・パケットを受信した場合、あるいは問題のマルチキャスト・データを転送するはずのない別のルーターから Assert を受信した場合です。このアクションは、ルーティング・ループが原因で、重複するマルチキャスト・データが送信されていることを示しています。この Assert メッセージにより、どのルーターを転送ルーターにする必要があるのかを解決することができ、この状態が続かないことが保証されます。

PIM.015

レベル: P-TRACE

短構文: PIM.015 Send Graft Msg *IP_source* -> *IP_destination*, nt *network ID*

長構文: PIM.015 Sending PIM Graft Message, *IP_source* -> *IP_destination* net *network ID*

説明: PIM Graft メッセージが作成され、伝送のためにスケジュールされました。

PIM.016

レベル: P-TRACE

短構文: PIM.016 Send GraftAck Msg *IP_source* -> *IP_destination*, nt *network ID*

長構文: PIM.016 Sending PIM Graft Ack Message,
IP_source -> IP_destination net network ID

説明: PIM Graft 確認メッセージが作成され、伝送のためにスケジュールされました。

PIM.017

レベル: UI-ERROR

短構文: PIM.017 Could not obtain iorb *IP_source -> IP_destination*

長構文: PIM.017 Unable to obtain an iob for send,
IP_source -> IP_destination

説明: PIM が PIM 制御メッセージを作成して送信するために必要な入出力要求ブロック (iorb) が、システムによって戻されませんでした。

原因: システムの資源が使い尽くされています。これは通常、システム・バッファの記憶域不足によって起こります。

処置: 問題の原因がアプリケーション・エラーにあるのでない場合は、追加メモリーを導入し、システムのバッファ数を増やしてください。

PIM.018

レベル: UI-ERROR

短構文: PIM.018 Failed iorb send rqst *IP_source -> IP_destination*

長構文: PIM.018 IORB send request was unsuccessful,
IP_source -> IP_destination

説明: PIM 制御メッセージが入っている iorb の送信要求が失敗し、メッセージは廃棄されました。

原因: システムは入出力要求ブロックの送信を拒否しました。これは、ルーターの過負荷またはアプリケーション・エラーが原因と考えられます。

処置: 高パフォーマンスのルーターにアップグレードしてください。

PIM.019

レベル: U-TRACE

短構文: PIM.019 DR *PIM_old_DR* replaced by *PIM_new_DR* for nt *network ID*

長構文: PIM.019 Designated Router *PIM_old_DR* is replaced by *PIM_new_DR* net *network ID*

説明: 指定ルーターがタイムアウトになり、新しい指定ルーターに置き換えられました。

PIM.020

レベル: C-TRACE

短構文: PIM.020 Nbr *PIM_neighbor* del for int *PIM_interface*

長構文: PIM.020 Neighbor *PIM_neighbor* Deleted from Interface *PIM_interface*

説明: 近隣が時間内に Hello メッセージを送信しなかったためにタイムアウトになりました。近隣は除去されます。

PIM.021

レベル: UI-ERROR

短構文: PIM.021 No nbr blocks available for *PIM_neighbor*, int *PIM_interface*

長構文: PIM.021 No neighbor control blocks are available for *PIM_neighbor*, Interface *PIM_interface*

説明: 近隣の配列がいっぱいで、インターフェース上で新たに発見された近隣のために利用可能な近隣制御ブロックが得られません。

原因: PIM 近隣の数が、PIM によってサポートされる限界を超えています。これは指定ルーター選択プロセスに影響を与える可能性があります。

処置: 同じサブネット上で PIM を実行しているルーターの数を減らしてください。

PIM.022

レベル: C-TRACE

短構文: PIM.022 Nbr *PIM_neighbor* added to int *PIM_interface*

長構文: PIM.022 Neighbor *PIM_neighbor* added for Interface *PIM_interface*

説明: Hello メッセージを受信したために、近隣がインターフェースに追加されました。

PIM.023

レベル: C-TRACE

短構文: PIM.023 J/P Msg parsed, vif *PIM_interface* gcnt *Group_count*, jcmt *Join_count*, pcmt *Prune_count*

長構文: PIM.023 Join/Prune message parsed, vif = *PIM_interface*, groups = *Group_count*, joins = *Join_count*, prunes = *Prune_count*

説明: PIM Join/Prune フォーマットのメッセージを受信し、解析されました。カウントは、解析された

groups、joins、および prunes の合計数です。PIM パーチャル・インターフェースは、パケットを受信したインターフェースです。

PIM.024

レベル: UI-ERROR

短構文: PIM.024 No mem for msg q

長構文: PIM.024 Could not allocate memory for building a message queue element.

説明: PIM メッセージ待ち行列用のメッセージ待ち行列要素を作成しているときに、記憶域の割り振りに失敗しました。

原因: システムの資源が不足しており、システムの記憶域が使い尽くされています。

処置: 追加メモリーを導入するか、ルーターをアップグレードしてください。

PIM.025

レベル: U-TRACE

短構文: PIM.025 msg type unk, msg not queued

長構文: PIM.025 Could not queue message element due to unknown message type.

説明: メッセージ・スケジューラーは、発信側から不明のメッセージ・タイプを転送されたために、メッセージ要素を該当するメッセージ待ち行列に入れることができませんでした。メッセージ要素は解放されて記憶域プールに戻され、その他のアクションは取られません。

PIM.026

レベル: UI-ERROR

短構文: PIM.026 No mem for state, src = *IP_source*, grp = *IP_group*, vif = *PIM_interface*

長構文: PIM.026 Could not get memory for state element, source= *IP_source*, group= *IP_group*, interface = *PIM_interface*

説明: 示されている PIM インターフェース上で、報告されている発信元グループの組みの状態データベースの状態要素を作成しているときに、記憶域の割り振りに失敗しました。

原因: システムの資源が不足しており、システムの記憶域が使い尽くされています。

処置: 追加メモリーを導入するか、ルーターをアップグレードしてください。

PIM.027

レベル: UI-ERROR

短構文: PIM.027 No mem for sgnode, src = *IP_source*, grp = *IP_group*, vif = *PIM_interface*

長構文: PIM.027 No memory for source-group node, source = *IP_source*, group = *IP_group*, interface = *PIM_interface*

説明: 示されている PIM インターフェース上で、報告されている発信元グループの組みの状態データベースの発信元/グループ・ノード要素を作成しているときに、記憶域の割り振りに失敗しました。

原因: システムの資源が不足しており、システムの記憶域が使い尽くされています。

処置: 追加メモリーを導入するか、ルーターをアップグレードしてください。

PIM.028

レベル: C-TRACE

短構文: PIM.028 New PRUNE state src *IP_source* grp *IP_group* vif *PIM_interface*

長構文: PIM.028 A new PRUNE state has been created, source = *IP_source*, group = *IP_group*, vif = *PIM_interface*

説明: 新規の PIM PRUNE 状態が作成され、状態データベースに入れられました。

PIM.029

レベル: U-TRACE

短構文: PIM.029 Del not required src *IP_source* grp *IP_group* vif *PIM_interface*

長構文: PIM.029 Delete request for state not in database, source = *IP_source*, group = *IP_group*, vif = *PIM_interface*

説明: PIM 状態データベースに存在しない状態を削除するための要求が処理されました。アクションは何も取られず、制御がただちに発信側に戻されました。

PIM.030

レベル: C-TRACE

短構文: PIM.030 PRUNE state removed src *IP_source* grp *IP_group* vif *PIM_interface*

長構文: PIM.030 A PRUNE was deleted from the state database, source = *IP_source*, group = *IP_group*, vif = *PIM_interface*

説明: PRUNE 状態は状態データベースから正常に除去され、すべての該当するプログラム待ち行列から除去され

ました。この PRUNE 状態はもう存在しません。

PIM.031

レベル: UI-ERROR

短構文: PIM.031 srte has rte type that is UNKNOWN by PIM, src net = *IP_source* type = *route_type*

長構文: PIM.031 Unicast entry has route type UNKNOWN by PIM, source net = *IP_source*, route type = *route_type*

説明: PIM は、PIM Assert プロセスで使用する特定のマルチキャスト転送エントリーの優先ローカル・ユニキャスト・ルーティング・メトリックを判別しようとしています。ユニキャスト・ルーティング・エントリーのルート・タイプは、PIM が認知しているどのタイプでもなく、優先ルーティング・メトリックは 0x7FFFFFFF であったために、ルーティング・メトリックは不明のルートに適用される 0xFFFFFFFF に設定されました。その結果、通常このルーターは Assert プロセスを失い、その oif をマルチキャスト転送キャッシュ・エントリーから除去することになります。

原因: この原因は通常、実行しているユニキャスト・ルーティング・プロトコルまたはその他の機能がユニキャスト転送テーブルを更新し、ユニキャスト・エントリーに PIM が認知しないルート・タイプのマークを付けたことにあります。これは、新規のプロトコルをルーターに追加し、それをサポートするように PIM を更新しなかった場合にのみ起きるはずです。PIM は新規の機能をサポートできなくなるか、あるいは新しいバージョンの PIM が必要になります。

処置: サポート技術員に連絡して、問題を説明してください。すべてのユニキャスト・ルーティング・プロトコルおよび転送テーブルの変更メカニズムが PIM によってサポートされている場合は、新しいバージョンが必要です。

PIM.032

レベル: P-TRACE

短構文: PIM.032 Rcv Pim Control Msg for net *network ID*

長構文: PIM.032 Received Pim Ctl Message for net *network ID*, which is not ready

説明: インターフェースあての PIM 制御メッセージを受信しましたが、インターフェースはメッセージを受信する準備が整っていません。制御メッセージは廃棄されます。

PIM.033

レベル: C-TRACE

短構文: PIM.033 PIM states have been cleared

長構文: PIM.033 The PIM state database has been cleared

説明: PIM 状態データベースは、すべての状態を消去しました。これが起こる最も一般的な状況は、ユニキャスト・ルーティングの更新のために、マルチキャスト転送キャッシュが消去されてしまった場合です。

PIM.034

レベル: U-TRACE

短構文: PIM.034 Group address not multicast, addr = *IP_group*

長構文: PIM.034 An invalid group address was encountered, address = *IP_group*

説明: PIM 制御メッセージの解析中に、有効なマルチキャスト・アドレスとは認められないグループ・アドレスが検出されました。構文解析プログラムは、このアドレスの処理は継続せずに無視しましたが、パケットのその他の解析は続行しました。

PIM.035

レベル: U-TRACE

短構文: PIM.035 jp rcv pkt len err, len *error_length* vif *PIM_interface*

長構文: PIM.035 join/prune parser error due to bad PIM packet counts, length = *error_length* vif = *PIM_interface*

説明: 受信した PIM Join/Prune メッセージの解析中に、構文解析プログラムは長さエラーを検出しました。これは、PIM パケット自体の group、join、および prune カウント・フィールドが間違っており、パケットに含まれているグループおよび発信元アドレスの数を誤って報告している場合に起こります。

PIM.036

レベル: C-TRACE

短構文: PIM.036 New JOIN state src *IP_source* grp *IP_group* vif *PIM_Interface*

長構文: PIM.036 A new JOIN state has been created, source = *IP_source*, group = *IP_group*, vif = *PIM_Interface*

説明: 新規の PIM PRUNE 状態が作成され、状態データベースに入れられました。

PIM.037

レベル: C-TRACE

短構文: PIM.037 JOIN state removed src *IP_source* grp *IP_group* vif *PIM_Interface*

長構文: PIM.037 A JOIN was deleted from the state database, source = *IP_source*, group = *IP_group*, vif = *PIM_Interface*

説明: JOIN 状態は状態データベースから正常に除去され、すべての該当するプログラム待ち行列から除去されました。この JOIN 状態はもう存在しません。

PIM.038

レベル: U-TRACE

短構文: PIM.038 No PIM vif, *IP_source* -> *IP_destination*, net *network ID*

長構文: PIM.038 Could not find a PIM virtual interface, *IP_source* -> *IP_destination* net *network ID*

説明: PIM 制御メッセージを受信しましたが、PIM バイチャル・インターフェースにマップできませんでした。パケットは廃棄されます。

PIM.039

レベル: UI-ERROR

短構文: PIM.039 No mem for rpf q

長構文: PIM.039 Could not allocate memory for building an rpf neighbor block.

説明: 逆パス転送近隣制御ブロックを作成しているときに、記憶域の割り振りに失敗しました。

原因: システムの資源が不足しており、システムの記憶域が使い尽くされています。

処置: 追加メモリーを導入するか、ルーターをアップグレードしてください。

PIM.040

レベル: U-TRACE

短構文: PIM.040 Rcv Assert for mfcache entry, no ifc, grp *IP_group*, src *IP_source*, fip *fip_index*

長構文: PIM.040 Received Assert on interface not in mfcache entry, Group *IP_group*, Source *IP_source*, fip *fip_index*

説明: 指摘されているマルチキャスト転送インターフェース・インデックスで PIM Assert メッセージを受信しま

したが、このインターフェースは対応する mfcache エントリーに存在しません。

PIM.041

レベル: P-TRACE

短構文: PIM.041 Rcv Assert for unk src, grp *IP_group*, src *IP_source*, fip = *fip_index*

長構文: PIM.041 Received an Assert for unknown source, Group *IP_group*, Source *IP_source*, fip = *fip_index*

説明: 指摘されているマルチキャスト転送インターフェース・インデックスで PIM Assert メッセージを受信しましたが、ユニキャスト・ルーティング・テーブル内で発信元アドレスを見付けることができませんでした。

PIM.042

レベル: U-TRACE

短構文: PIM.042 Discard packet due to bad addr, family = *encode_family*, type = *encode_type*

長構文: PIM.042 Packet was discarded due to a bad address, family = *encode_family*, type = *encode_type*

説明: PIM メッセージ・パケットを受信しましたが、符号化アドレスがサポートされないファミリーまたはタイプを持っていました。パケットは廃棄されました。

PIM.043

レベル: U-TRACE

短構文: PIM.043 Bad addr, ignored, family = *encode_family*, type = *encode_type*

長構文: PIM.043 Address in packet ignored due to bad address, family = *encode_family*, type = *encode_type*

説明: PIM 制御メッセージの解析中に、サポートされないファミリーまたはタイプを持つ符号化アドレスが検出されました。このアドレスの処理は継続されずに無視されましたが、パケットのその他の解析は続行されました。

PIM.044

レベル: U-TRACE

短構文: PIM.044 Ignored aggregated addr, msklen = *mask_length*

長構文: PIM.044 Ignored address with mask length less than maximum, mask length = *mask_length*

説明: PIM 制御メッセージの解析中に、マスク長がアドレス最大値より短い符号化アドレスが検出されました。

これは集約を示しており、集約は PIM によってサポートされないため、このアドレスは無視されました。

PIM.045

レベル: U-TRACE

短構文: PIM.045 Net *net_index* not pt-to-pt, reset hello to *hello_period* sec

長構文: PIM.045 The net *net_index* is not a point-to-point, reset hello period to *hello_period* seconds

説明: PIM インターフェースの構成情報の読み取り時に、隣接の確立後に Hello メッセージの伝送を抑制する Hello 期間が指定されていないことが検出されました。これは、ポイント・ポイント・インターフェースの場合にのみ使用されます。設定するインターフェースがポイント・ポイントでない場合、Hello 期間はデフォルトの Hello 期間に変更されます。

第84章 プロトコル独立マルチキャスト IPv6 (PIM6)

この章では、プロトコル独立マルチキャスト IPv6 (PIM6) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

PIM6.001

レベル: C-TRACE

短構文: PIM6.001 Add phyint *IP6_interface*

長構文: PIM6.001 Add physical interface *IP6_interface*

説明: 指定の物理インターフェースで PIM が使用可能にされました。

PIM6.002

レベル: C-TRACE

短構文: PIM6.002 Add tunnel *tunnel6_source->tunnel6_destination*

長構文: PIM6.002 Add tunnel *tunnel6_source->tunnel6_destination*

説明: 指定の発信元アドレスとあて先アドレスの間に PIM トンネルが構成されました。

PIM6.003

レベル: U-TRACE

短構文: PIM6.003 Nbr *IP6_neighbor* removed, ifc down

長構文: PIM6.003 Neighbor *IP6_neighbor* removed due to interface going down

説明: PIM バーチャル・インターフェースがダウンしており、この近隣は近隣リストから除去されました。

PIM6.004

レベル: UE-ERROR

短構文: PIM6.004 bd hdr cks 0x *checksum* (exp 0x *expected_checksum*) *source_ip_address -> destination_ip_address*

長構文: PIM6.004 Bad header checksum 0x *checksum* (expected 0x *expected_checksum*) in packet from *source_ip_address* for *destination_ip_address*

説明: このメッセージは、PIM 制御メッセージが無効なチェックサムを持っている場合に生成されます。受信したチェックサムが、正しいチェックサムと共に表示されます。

原因: おそらく、パケットが損傷しています。別のノードが、正しくない PIM 制御メッセージを作成している可能性があります。

処置: 問題が引き続き起こる場合は、回線トレースを調べて、パケットが損傷する箇所を判別してください。

PIM6.005

レベル: U-TRACE

短構文: PIM6.005 Rcvd PIM unk ver= *PIM_version* *IP6_source -> IP6_destination*, nt *network ID*

長構文: PIM6.005 Received PIM Unknown Version= *PIM_version*, *IP6_source -> IP6_destination* net *network ID*

説明: PIM 制御メッセージを受信しましたが、不明のバージョン番号を持っています。パケットは廃棄されます。

PIM6.006

レベル: P-TRACE

短構文: PIM6.006 Rcvd Hello Msg *IP6_source -> IP6_destination*, nt *network ID*

長構文: PIM6.006 Received PIM Hello Message, *IP6_source -> IP6_destination* net *network ID*

説明: PIM Hello メッセージを受信しました。

PIM6.007

レベル: P-TRACE

短構文: PIM6.007 Rcvd Jn/Prn Msg *IP6_source => PIM6_upstream*, nt *network ID*

長構文: PIM6.007 Received PIM Join/Prune Message, *IP6_source* upstream *PIM6_upstream* net *network ID*

説明: PIM Join/Prune メッセージを受信しました。表示されているアドレスは IP パケットあて先アドレスではないのに、PIM プロトコル・パケットにはアップストリーム・ルーター・アドレスが入っています。

PIM6.008

レベル: P-TRACE

短構文: PIM6.008 Rcvd Assert Msg, grp *IP6_group*, src *IP6_source*, nt *network ID*

長構文: PIM6.008 Received PIM Assert Message, Group *IP6_group*, Source *IP6_source*, net *network ID*

説明: PIM Assert メッセージを受信しました。

PIM6.009

レベル: P-TRACE

短構文: PIM6.009 Rcvd Graft Msg *IP6_source* -> *IP6_destination*, nt *network ID*

長構文: PIM6.009 Received PIM Graft Message, *IP6_source* -> *IP6_destination* net *network ID*

説明: PIM Graft メッセージを受信しました。

PIM6.010

レベル: P-TRACE

短構文: PIM6.010 Rcvd GraftAck Msg *IP6_source* -> *IP6_destination*, nt *network ID*

長構文: PIM6.010 Received PIM Graft Ack Message, *IP6_source* -> *IP6_destination* net *network ID*

説明: PIM Graft 確認メッセージを受信しました。

PIM6.011

レベル: UE-ERROR

短構文: PIM6.011 Rcvd unk msg *IP6_source* -> *IP6_destination*, nt *network ID*

長構文: PIM6.011 Received PIM Unknown Message, *IP6_source* -> *IP6_destination* net *network ID*

説明: PIM Control メッセージを受信しましたが、不明のメッセージ・タイプを持っています。メッセージは廃棄されます。

PIM6.012

レベル: P-TRACE

短構文: PIM6.012 Send Hello Msg *IP6_source* -> *IP6_destination*, nt *network ID*

長構文: PIM6.012 Sending PIM Hello Message, *IP6_source* -> *IP6_destination* net *network ID*

説明: PIM Hello メッセージが作成され、伝送のためにスケジュールされました。

PIM6.013

レベル: P-TRACE

短構文: PIM6.013 Send Jn/Prn Msg *IP6_source* => *PIM6_upstream*, nt *network ID*

長構文: PIM6.013 Sending PIM Join/Prune Message, *IP6_source* upstream *PIM6_upstream* net *network ID*

説明: PIM Join/Prune メッセージが作成され、伝送のためにスケジュールされました。表示されているアドレスは IP パケットあて先アドレスではない (全 PIM ルーター・アドレスです) のに、PIM プロトコル・パケットにはアップストリーム・ルーター・アドレスが入っています。

PIM6.014

レベル: P-TRACE

短構文: PIM6.014 Send Assert Msg, grp *IP6_group*, src *IP6_source*, nt *network ID*

長構文: PIM6.014 Sending PIM Assert Message, Group *IP6_group*, Source *IP6_source*, net *network ID*

説明: PIM Assert メッセージが作成され、伝送のためにスケジュールされました。この Assert が出されるのは、出力インターフェースで転送テーブル内のマルチキャスト・エントリーあてのマルチキャスト・データ・パケットを受信した場合、あるいは問題のマルチキャスト・データを転送するはずのない別のルーターから Assert を受信した場合です。このアクションは、ルーティング・ループが原因で、重複するマルチキャスト・データが送信されていることを示しています。この Assert メッセージにより、どのルーターを転送ルーターにする必要があるのかを解決することができ、この状態が続かないことが保証されます。

PIM6.015

レベル: P-TRACE

短構文: PIM6.015 Send Graft Msg *IP6_source* -> *IP6_destination*, nt *network ID*

長構文: PIM6.015 Sending PIM Graft Message, *IP6_source* -> *IP6_destination* net *network ID*

説明: PIM Graft メッセージが作成され、伝送のためにスケジュールされました。

PIM6.016

レベル: P-TRACE

短構文: PIM6.016 Send GraftAck Msg *IP6_source* -> *IP6_destination*, nt *network ID*

長構文: PIM6.016 Sending PIM Graft Ack Message, *IP6_source -> IP6_destination net network ID*

説明: PIM Graft 確認メッセージが作成され、伝送のためにスケジュールされました。

PIM6.017

レベル: UI-ERROR

短構文: PIM6.017 Could not obtain iorb *IP6_source -> IP6_destination*

長構文: PIM6.017 Unable to obtain an iob for send, *IP6_source -> IP6_destination*

説明: PIM が PIM 制御メッセージを作成して送信するために必要な入出力要求ブロック (iorb) が、システムによって戻されませんでした。

原因: システムの資源が使い尽くされています。これは通常、システム・バッファの記憶域不足によって起こります。

処置: 問題の原因がアプリケーション・エラーにあるのでない場合は、追加メモリーを導入し、システムのバッファ数を増やしてください。

PIM6.018

レベル: UI-ERROR

短構文: PIM6.018 Failed iorb send rqst *IP6_source -> IP6_destination*

長構文: PIM6.018 IORB send request was unsuccessful, *IP6_source -> IP6_destination*

説明: PIM 制御メッセージが入っている iorb の送信要求が失敗し、メッセージは廃棄されました。

原因: システムが入出力要求ブロックの送信を拒否しました。これは、ルーターの過負荷またはアプリケーション・エラーが原因と考えられます。

処置: 高パフォーマンスのルーターにアップグレードしてください。

PIM6.019

レベル: U-TRACE

短構文: PIM6.019 DR *PIM6_old_DR* replaced by *PIM6_new_DR* for nt *network ID*

長構文: PIM6.019 Designated Router *PIM6_old_DR* is replaced by *PIM6_new_DR* net *network ID*

説明: 指定ルーターがタイムアウトになり、新しい指定ルーターに置き換えられました。

PIM6.020

レベル: C-TRACE

短構文: PIM6.020 Nbr *PIM6_neighbor* del for int *PIM6_interface*

長構文: PIM6.020 Neighbor *PIM6_neighbor* Deleted from Interface *PIM6_interface*

説明: 近隣が時間内に Hello メッセージを送信しなかったためにタイムアウトになりました。近隣は除去されます。

PIM6.021

レベル: UI-ERROR

短構文: PIM6.021 No nbr blocks available for *PIM6_neighbor*, int *PIM6_interface*

長構文: PIM6.021 No neighbor control blocks are available for *PIM6_neighbor*, Interface *PIM6_interface*

説明: 近隣の配列がいっぱいで、インターフェース上で新たに発見された近隣のために利用可能な近隣制御ブロックが得られません。

原因: PIM 近隣の数が、PIM によってサポートされる限界を超えています。これは指定ルーター選択プロセスに影響を与える可能性があります。

処置: 同じサブネット上で PIM を実行しているルーターの数を減らしてください。

PIM6.022

レベル: C-TRACE

短構文: PIM6.022 Nbr *PIM6_neighbor* added to int *PIM6_interface*

長構文: PIM6.022 Neighbor *PIM6_neighbor* added for Interface *PIM6_interface*

説明: Hello メッセージを受信しているために、近隣がインターフェースに追加されました。

PIM6.023

レベル: C-TRACE

短構文: PIM6.023 J/P Msg parsed, vif *PIM6_interface* gcnt *Group_count*, jcnt *Join_count*, pcnt *Prune_count*

長構文: PIM6.023 Join/Prune message parsed, vif = *PIM6_interface*, groups = *Group_count*, joins = *Join_count*, prunes = *Prune_count*

説明: PIM Join/Prune フォーマットのメッセージを受信し、解析されました。カウントは、解析された

groups、joins、および prunes の合計数です。PIM パーチャル・インターフェースは、パケットを受信したインターフェースです。

PIM6.024

レベル: UI-ERROR

短構文: PIM6.024 No mem for msg q

長構文: PIM6.024 Could not allocate memory for building a message queue element.

説明: 逆パス転送近隣制御ブロックを作成しているときに、記憶域の割り振りに失敗しました。

原因: システムが少ない資源で稼働しており、システムの記憶域が使い尽くされています。

処置: 追加メモリーを導入するか、ルーターをアップグレードしてください。

PIM6.025

レベル: U-TRACE

短構文: PIM6.025 msg type unk, msg not queued

長構文: PIM6.025 Could not queue message element due to unknown message type.

説明: メッセージ・スケジューラーは、コーラーから不明のメッセージ・タイプを転送されたために、メッセージ要素を該当するメッセージ待ち行列に入れることができませんでした。メッセージ要素は解放されて記憶域プールに戻され、その他のアクションは取られません。

PIM6.026

レベル: UI-ERROR

短構文: PIM6.026 No mem for state, src = *IP6_source*, grp = *IP6_group*, vif = *PIM6_interface*

長構文: PIM6.026 Could not get memory for state element, source = *IP6_source*, group = *IP6_group*, interface = *PIM6_interface*

説明: 示されている PIM インターフェース上で、報告されている発信元グループの組みの状態データベースの状態要素を作成しているときに、記憶域の割り振りに失敗しました。

原因: システムの資源が不足しており、システムの記憶域が使い尽くされています。

処置: 追加メモリーを導入するか、ルーターをアップグレードしてください。

PIM6.027

レベル: UI-ERROR

短構文: PIM6.027 No mem for sgnode, src = *IP6_source*, grp = *IP6_group*, vif = *PIM6_interface*

長構文: PIM6.027 No memory for source-group node, source = *IP6_source*, group = *IP6_group*, interface = *PIM6_interface*

説明: 示されている PIM インターフェース上で、報告されている発信元グループの組みの状態データベースの発信元/グループ・ノード要素を作成しているときに、記憶域の割り振りに失敗しました。

原因: システムの資源が不足しており、システムの記憶域が使い尽くされています。

処置: 追加メモリーを導入するか、ルーターをアップグレードしてください。

PIM6.028

レベル: C-TRACE

短構文: PIM6.028 New PRUNE state src *IP6_source* grp *IP6_group* vif *PIM6_interface*

長構文: PIM6.028 A new PRUNE state has been created, source = *IP6_source*, group = *IP6_group*, vif = *PIM6_interface*

説明: 新規の PIM PRUNE 状態が作成され、状態データベースに入れられました。

PIM6.029

レベル: U-TRACE

短構文: PIM6.029 Del not required src *IP6_source* grp *IP6_group* vif *PIM6_interface*

長構文: PIM6.029 Delete request for state not in database, source = *IP6_source*, group = *IP6_group*, vif = *PIM6_interface*

説明: PIM 状態データベースに存在しない状態を削除するための要求が処理されました。アクションは何も取られず、制御がただちにコーラーに戻されました。

PIM6.030

レベル: C-TRACE

短構文: PIM6.030 PRUNE state removed src *IP6_source* grp *IP6_group* vif *PIM6_interface*

長構文: PIM6.030 A PRUNE was deleted from the state database, source = *IP6_source*, group = *IP6_group*, vif = *PIM6_interface*

説明: PRUNE 状態は状態データベースから正常に除去され、すべての該当するプログラム待ち行列から除去されました。この PRUNE 状態はもう存在しません。

PIM6.031

レベル: UI-ERROR

短構文: PIM6.031 srte has rte type that is UNKNOWN by PIM, src net = *IP6_source* type = *route_type*

長構文: PIM6.031 Unicast entry has route type UNKNOWN by PIM, source net = *IP6_source*, route type = *route_type*

説明: PIM は、PIM Assert プロセスで使用する特定のマルチキャスト転送エントリーの優先ローカル・ユニキャスト・ルーティング・メトリックを判別しようとしています。ユニキャスト・ルーティング・エントリーのルート・タイプは、PIM が認知しているどのタイプでもなく、優先ルーティング・メトリックは 0x7FFFFFFF であったために、ルーティング・メトリックは不明のルートに適用される 0xFFFFFFFF に設定されました。その結果、通常このルーターは Assert プロセスを失い、その oif をマルチキャスト転送キャッシュ・エントリーから除去することになります。

原因: この原因は通常、実行しているユニキャスト・ルーティング・プロトコルまたはその他の機能がユニキャスト転送テーブルを更新し、ユニキャスト・エントリーに PIM が認知しないルート・タイプのマークを付けたことにあります。これは、新規のプロトコルをルーターに追加し、それをサポートするように PIM を更新しなかった場合にのみ起きるはずです。PIM は新規の機能をサポートできなくなるか、あるいは新しいバージョンの PIM が必要になります。

処置: サポート技術員に連絡して、問題を説明してください。すべてのユニキャスト・ルーティング・プロトコルおよび転送テーブルの変更メカニズムが PIM によってサポートされている場合は、新しいバージョンが必要です。

PIM6.032

レベル: P-TRACE

短構文: PIM6.032 Rcv Pim Control Msg for net *network ID*

長構文: PIM6.032 Received Pim Ctl Message for net *network ID*, which is not ready

説明: インターフェースあての PIM 制御メッセージを受信しましたが、インターフェースはメッセージを受信する準備が整っていません。制御メッセージは廃棄されます。

PIM6.033

レベル: C-TRACE

短構文: PIM6.033 PIM states have been cleared

長構文: PIM6.033 The PIM state database has been cleared

説明: PIM 状態データベースは、すべての状態を消去しました。これが起こる最も一般的な状況は、ユニキャスト・ルーティングの更新のために、マルチキャスト転送キャッシュが消去されてしまった場合です。

PIM6.034

レベル: U-TRACE

短構文: PIM6.034 Group address not multicast, addr = *IP6_group*

長構文: PIM6.034 An invalid group address was encountered, address = *IP6_group*

説明: PIM 制御メッセージの解析中に、有効なマルチキャスト・アドレスとは認められないグループ・アドレスが検出されました。構文解析プログラムは、このアドレスの処理は継続せずに無視しましたが、パケットのその他の解析は続行しました。

PIM6.035

レベル: U-TRACE

短構文: PIM6.035 jp rcv pkt len err, len *error_length* vif *PIM6_interface*

長構文: PIM6.035 join/prune parser error due to bad PIM packet counts, length = *error_length* vif = *PIM6_interface*

説明: 受信した PIM Join/Prune メッセージの解析中に、構文解析プログラムは長さエラーを検出しました。これは、PIM パケット自体の group、join、および prune カウント・フィールドが間違っており、パケットに含まれているグループおよび発信元アドレスの数を誤って報告している場合に起こります。

PIM6.036

レベル: C-TRACE

短構文: PIM6.036 New JOIN state src *IP6_source* grp *IP6_group* vif *PIM6_Interface*

長構文: PIM6.036 A new JOIN state has been created, source = *IP6_source*, group = *IP6_group*, vif = *PIM6_Interface*

説明: 新規の PIM PRUNE 状態が作成され、状態データベースに入れられました。

PIM6.037

レベル: C-TRACE

短構文: PIM6.037 JOIN state removed src *IP6_source* grp *IP6_group* vif *PIM6_Interface*

長構文: PIM6.037 A JOIN was deleted from the state database, source = *IP6_source*, group = *IP6_group*, vif = *PIM6_Interface*

説明: JOIN 状態は状態データベースから正常に除去され、すべての該当するプログラム待ち行列から除去されました。この JOIN 状態はもう存在しません。

PIM6.038

レベル: U-TRACE

短構文: PIM6.038 No PIM vif, *IP6_source* -> *IP6_destination*, net *network ID*

長構文: PIM6.038 Could not find a PIM virtual interface, *IP6_source* -> *IP6_destination* net *network ID*

説明: PIM 制御メッセージを受信しましたが、PIM バイチャル・インターフェースにマップできませんでした。パケットは廃棄されます。

PIM6.039

レベル: UI-ERROR

短構文: PIM6.039 No mem for rpf q

長構文: PIM6.039 Could not allocate memory for building an rpf neighbor block.

説明: 逆パス転送近隣制御ブロックを作成しているときに、記憶域の割り振りに失敗しました。

原因: システムの資源が不足しており、システムの記憶域が使い尽くされています。

処置: 追加メモリーを導入するか、ルーターをアップグレードしてください。

PIM6.040

レベル: U-TRACE

短構文: PIM6.040 Rcv Assert for mfcache entry, no ifc, grp *IP6_group*, src *IP6_source*, fip *fip_index*

長構文: PIM6.040 Received Assert on interface not in mfcache entry, Group *IP6_group*, Source *IP6_source*, fip *fip_index*

説明: 指摘されているマルチキャスト転送インターフェース・インデックスで PIM Assert メッセージを受信しま

したが、このインターフェースは対応する mfcache エントリーに存在しません。

PIM6.041

レベル: P-TRACE

短構文: PIM6.041 Rcv Assert for unk src, grp *IP6_group*, src *IP6_source*, fip = *fip_index*

長構文: PIM6.041 Received an Assert for unknown source, Group *IP6_group*, Source *IP6_source*, fip = *fip_index*

説明: 指摘されているマルチキャスト転送インターフェース・インデックスで PIM Assert メッセージを受信しましたが、ユニキャスト・ルーティング・テーブル内で発信元アドレスを見付けることができませんでした。

PIM6.042

レベル: U-TRACE

短構文: PIM6.042 Discard packet due to bad addr, family = *encode_family*, type = *encode_type*

長構文: PIM6.042 Packet was discarded due to a bad address, family = *encode_family*, type = *encode_type*

説明: PIM メッセージ・パケットを受信しましたが、符号化アドレスがサポートされないファミリーまたはタイプを持っていました。パケットは廃棄されました。

PIM6.043

レベル: U-TRACE

短構文: PIM6.043 Bad addr, ignored, family = *encode_family*, type = *encode_type*

長構文: PIM6.043 Address in packet ignored due to bad address, family = *encode_family*, type = *encode_type*

説明: PIM 制御メッセージの解析中に、サポートされないファミリーまたはタイプを持つ符号化アドレスが検出されました。このアドレスの処理は継続されずに無視されましたが、パケットのその他の解析は続行されました。

PIM6.044

レベル: U-TRACE

短構文: PIM6.044 Ignored aggregated addr, msklen = *mask_length*

長構文: PIM6.044 Ignored address with mask length less than maximum, mask length = *mask_length*

説明: PIM 制御メッセージの解析中に、マスク長がアドレス最大値より短い符号化アドレスが検出されました。

これは集約を示しており、集約は PIM によってサポートされないため、このアドレスは無視されました。

PIM6.045

レベル: U-TRACE

短構文: PIM6.045 Net *net_index* not pt-to-pt, reset hello to *hello_period* sec

長構文: PIM6.045 The net *net_index* is not a point-to-point, reset hello period to *hello_period* seconds

説明: PIM インターフェースの構成情報の読み取り時に、隣接の確立後に Hello メッセージの伝送を抑制する Hello 期間が指定されていないことが検出されました。これは、ポイント・ポイント・インターフェースの場合にのみ使用されます。設定するインターフェースがポイント・ポイントでない場合、Hello 期間はデフォルトの Hello 期間に変更されます。

第85章 プロキシ DHCP (DHCP)

この章では、プロキシ DHCP (DHCP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

DHCP.001

レベル: P-TRACE

短構文: DHCP.001 Sent DHCP packet to server *destination giaddr giaddr haddr haddr*

長構文: DHCP.001 Sent DHCP packet to server *destination giaddr giaddr haddr haddr*

説明: プロキシ DHCP がパケットを送信しました。

DHCP.002

レベル: CI-ERROR

短構文: DHCP.002 Error Sending Dhcp Packet: Bad Dest Address *destination*

長構文: DHCP.002 Error Sending Dhcp Packet: Bad Dest Address *destination*

説明: DHCP パケットの送信でエラーが発生しました。これが発生するのは、構成された DHCP サーバーの 1 つへのルートが現在ない場合です。

DHCP.005

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.005 Proxy DHCP Closing on net *network ID cid clientid state state*

長構文: DHCP.005 Proxy DHCP Closing on network *network ID clientid clientid state state*

説明: このメッセージが生じるのは、IPCP が正常にクローズするか、または何らかの理由による伝送路の切断または終了によって、IPCP にクローズによる以外の停止が生じた場合のみです。

DHCP.006

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.006 Proxy DHCP state transition from *oldstate* to *newstate* on net *network ID cid clientid*

長構文: DHCP.006 Proxy DHCP state transition from *oldstate* to *newstate* on network *network ID clientid clientid*

説明: プロキシ DHCP の状態遷移が生じました (状態は RFC 2131 に定義されています)。

DHCP.007

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.007 Proxy DHCP Reset on net *network ID cid clientid*

長構文: DHCP.007 Proxy DHCP Reset on network *network ID clientid clientid*

説明: プロキシ DHCP の状態管理機構のリセットが生じました。

DHCP.008

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.008 Proxy DHCP IP Address Retry on net *network ID cid clientid state state*

長構文: DHCP.008 Proxy DHCP IP Address Retry on network *network ID clientid clientid state state*

説明: プロキシ DHCP Get IP アドレスの再試行。これが生じるのは、DHCP サーバーからの応答が特定の時間にわたって受信されなかった場合です。

DHCP.009

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.009 Initiate Proxy DHCP Get IP Address on network *network ID state state*

長構文: DHCP.009 Initiate Proxy DHCP Get IP Address on network *network ID state state*

説明: 初期のプロキシ DHCP Get IP アドレス

DHCP.010

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.010 Could not find DHCP Option *option*

長構文: DHCP.010 Could not find DHCP Option *option*

説明: DHCP オプションを探索したが、受信パケット内で見つけることができませんでした。これが起こる可能性があるのは、サーバーから送信されたオプションが認識できない場合、またはパケットが破壊されている場合です。事象 DHCP_25 も参照してください。

DHCP.011

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.011 Processing DHCP NAK on net *network ID cid clientid state state*

長構文: DHCP.011 Processing DHCP NAK on network *network ID clientid clientid state state*

説明: DHCP NAK の処理

DHCP.012

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.012 Processing DHCP ACK on net *network ID cid clientid state state*

長構文: DHCP.012 Processing DHCP ACK on network *network ID clientid clientid state state*

説明: DHCP ACK の処理 - BOUND 状態に移る前に DHCP サーバーから受信する最終メッセージです。

DHCP.013

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.013 ERROR: *desc* on net *network ID cid clientid state state*

長構文: DHCP.013 ERROR: *desc* on network *network ID clientid clientid state state*

説明: 一般エラー

DHCP.014

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.014 WARNING: *desc* on net *network ID cid clientid state state*

長構文: DHCP.014 WARNING: *desc* on network *network ID clientid clientid state state*

説明: 一般警告

DHCP.015

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.015 Option DHCP_MESSAGE_TYPE = *message_type* (*message_text*) on net *network ID cid clientid state state*

長構文: DHCP.015 Option DHCP_MESSAGE_TYPE = *message_type* (*message_text*) on network *network ID clientid clientid state state*

説明: このタイプの DHCP オプションを処理しました。

DHCP.016

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.016 Option DHCP_REQUESTED_IP = *ipaddr* on net *network ID cid clientid state state*

長構文: DHCP.016 Option DHCP_REQUESTED_IP = *ipaddr* on network *network ID clientid clientid state state*

説明: このタイプの DHCP オプションを処理しました。

DHCP.017

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.017 Option DHCP_LEASE_TIME = *time* on net *network ID cid clientid state state*

長構文: DHCP.017 Option DHCP_LEASE_TIME = *time* on network *network ID clientid clientid state state*

説明: このタイプの DHCP オプションを処理しました。

DHCP.018

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.018 Option DHCP_HOSTNAME on net *network ID cid clientid state state*

長構文: DHCP.018 Option DHCP_HOSTNAME on network *network ID clientid clientid state state*

説明: 現在認識されているが、この情報をクライアントに送信する手段がないので、サポートされていません。プロキシ DHCP クライアントが実際に HOSTNAME を DHCP サーバーに送信する、動的 DNS ではないことに注意してください。

DHCP.019

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.019 Option DHCP_DOMAINNAME on net *network ID cid clientid state state*

長構文: DHCP.019 Option DHCP_DOMAINNAME on network *network ID clientid clientid state state*

説明: 現在認識はされているが、やはり、この情報も IPCP を通してクライアントに送信することはできないので、サポートされません。

DHCP.020

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.020 Option DHCP_SERVER_ID = *server* on net *network ID cid clientid state state*

長構文: DHCP.020 Option DHCP_SERVER_ID = *server*

on network *network ID* clientid *clientid* state *state*

説明: このタイプのオプションを受信しました。

DHCP.021

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.021 MESSAGE FROM DHCP SERVER:
(len = *length*) message on net *network ID* cid *clientid* state *state*

長構文: DHCP.021 MESSAGE FROM DHCP SERVER:
(len = *length*) message on network *network ID* clientid *clientid* state *state*

説明: DHCP サーバーからメッセージが送られてきました。人間が読むことのできる ASCII テキスト・ストリングのはずです。

DHCP.022

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.022 Option DHCP_RENEWAL_TIME = *time*
on net *network ID* cid *clientid* state *state*

長構文: DHCP.022 Option DHCP_RENEWAL_TIME = *time*
on network *network ID* clientid *clientid* state *state*

説明: このタイプの DHCP オプションを処理しました。

DHCP.023

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.023 Option DHCP_REBIND_TIME = *time*
on net *network ID* cid *clientid* state *state*

長構文: DHCP.023 Option DHCP_REBIND_TIME = *time*
on network *network ID* clientid *clientid* state *state*

説明: このタイプの DHCP オプションを処理しました。

DHCP.024

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.024 Option DHCP_CLIENT_ID = *clientid*
on network *network ID* state *state*

長構文: DHCP.024 Option DHCP_CLIENT_ID = *clientid*
on network *network ID* state *state*

説明: このタイプの DHCP オプションを処理しました。

DHCP.025

レベル: CE-ERROR

短構文: DHCP.025 Unknown option type *option* on net *network ID* state *state*

長構文: DHCP.025 Unknown option type *option* on network *network ID* state *state*

説明: 確認不能のオプションを受信しました。これが生じるのは、DHCP サーバーから認識できないオプションが送信されてきたときです。オプションを単に無視するだけになります (プロキシー DHCP 用として使用することはできない可能性が非常に高いと思われます)。クライアントが追加オプションを必要とする場合は、それを入手するために IP リンクが確立された後で、DHCPINFORM を発行する必要があります。

DHCP.026

レベル: P-TRACE

短構文: DHCP.026 Processing DHCP OFFER on net *network ID* clientid *clientid* state *state*

長構文: DHCP.026 Processing DHCP OFFER on network *network ID* clientid *clientid* state *state*

説明: サーバーから受信した DHCP OFFER の処理

DHCP.027

レベル: P-TRACE

短構文: DHCP.027 Received DHCP PACKET on net *network ID* state *state*

長構文: DHCP.027 Received DHCP PACKET on network *network ID* state *state*

説明: プロキシー DHCP をあて先とする DHCP PACKET をサーバーから受信しました。

DHCP.028

レベル: P-TRACE

短構文: DHCP.028 DHCP Release Sent on net *network ID* cid *clientid* state *state*

長構文: DHCP.028 DHCP Release Sent on network *network ID* clientid *clientid* state *state*

説明: DHCP Release を送信して、リースを解放しました。これが生じるのは、DHCP サーバーからの IP アドレスを使用していた IP 接続が終了したときのはずです。

DHCP.029

レベル: P-TRACE

短構文: DHCP.029 DHCP Decline Sent on net *network ID* cid *clientid* state *state*

長構文: DHCP.029 DHCP Decline Sent on network *network ID* clientid *clientid* state *state*

説明: DHCP Decline を送信しました。これが生じるのは、DHCP サーバーによって提供されたパラメーターを、何らかの理由で必要としない場合のはずです。

DHCP.030

レベル: P-TRACE

短構文: DHCP.030 DHCP Discover Sent on net *network ID cid clientid state state*

長構文: DHCP.030 DHCP Discover Sent on network *network ID clientid clientid state state*

説明: DHCP Discover を送信しました。これは最初に送信されるメッセージです。構成された DHCP サーバーのそれぞれについて 1 つずつ送信する必要があります。

DHCP.031

レベル: P-TRACE

短構文: DHCP.031 DHCP Request Sent on net *network ID cid clientid state state*

長構文: DHCP.031 DHCP Request on network *network ID clientid clientid state state*

説明: DHCP Request を送信しました。これは、DHCP サーバーからの DHCP Offer に対する応答として送信します。

DHCP.032

レベル: P-TRACE

短構文: DHCP.032 DHCP Request Retry on net *network ID cid clientid state state*

長構文: DHCP.032 DHCP Request Retry on network *network ID clientid clientid state state*

説明: DHCP Request Retry を送信しました。これが生じるのは、DHCP サーバーからの応答を受信しなかった場合で、特定の時間が経過した後です。

DHCP.033

レベル: P-TRACE

短構文: DHCP.033 Received DHCP Packet: claddr= &bpkt->btp_claddr.i_lwr yaddr= &bpkt->btp_yaddr.i_lwr svaddr= &bpkt->btp_svaddr.i_lwr gwaddr= &bpkt->btp_gwaddr.i_lwr

長構文: DHCP.033 claddr= &bpkt->btp_claddr.i_lwr yaddr= &bpkt->btp_yaddr.i_lwr svaddr= &bpkt->btp_svaddr.i_lwr gwaddr= &bpkt->btp_gwaddr.i_lwr

説明: DHCP パケットを受信しました。

DHCP.034

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.034 Option DHCP_CLIENT_FQDN = *clientid on network network ID state state*

長構文: DHCP.034 Option DHCP_CLIENT_FQDN = *clientid on network network ID state state*

説明: このタイプの DHCP オプションを処理しました。

DHCP.035

レベル: P-TRACE

短構文: DHCP.035 DHCP Renewal Request *network ID int minutes/ seconds cid clientid state state*

長構文: DHCP.035 DHCP Renewal Request *network ID interface minutes/ seconds clientid clientid state state*

説明: DHCP Renewal Request を送信しました。

DHCP.036

レベル: P-TRACE

短構文: DHCP.036 DHCP Rebind Request *network ID int minutes/ seconds cid clientid state state*

長構文: DHCP.036 DHCP Rebind Request *network ID interface minutes/ seconds clientid clientid state state*

説明: DHCP Rebind Request を送信しました。

DHCP.037

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.037 Received DHCP Packet on network *network ID* while DHCP Not Enabled!!

長構文: DHCP.037 Received DHCP Packet on network *network ID* while DHCP Not Enabled!!

説明: DHCP が使用可能でないとき、DHCP パケットを受信しました。

DHCP.038

レベル: P-TRACE

短構文: DHCP.038 DHCP Request Denial Notification Sent from network *network ID clientid clientid state state*

長構文: DHCP.038 DHCP Request Denial Notification Sent from network *network ID clientid clientid state state*

説明: DHCP Request Denial Notification を送信しました。別のサーバーをすでに選択した後で、アドレスを提供したサーバーに送信されます。

DHCP.039

レベル: CE-ERROR

短構文: DHCP.039 Unable to contact DHCP server with successive retries, giving up on network *network ID*

長構文: DHCP.039 Unable to contact DHCP server with successive retries, giving up on network *network ID*

説明: プロキシ DHCP の放棄。ユーザーがここに至る前に、IPCP がタイムアウトになっているものと考えられます。

DHCP.041

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.041 ERROR: *desc*

長構文: DHCP.041 ERROR: *desc*

説明: 一般エラー - 使用可能なインターフェース情報がありません。

DHCP.042

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.042 WARNING: *desc*

長構文: DHCP.042 WARNING: *desc*

説明: 一般警告 - 使用可能なインターフェース情報がありません。

第86章 QLLC レイヤー (X25 上)

この章では、QLLC レイヤー (X25 上) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

QLLC.001

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.001 reset pkt rcvd: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.001 reset pkt rcvd: network *cep* state lcn event

説明: リセット・パケットを受信しました。

QLLC.002

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.002 reset cnf pkt rcvd: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.002 reset cnf pkt rcvd: network *cep* state lcn event

説明: リセット構成パケットを受信しました。

QLLC.003

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.003 ckt busy cleared: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.003 ckt busy cleared: network *cep* state lcn event

説明: ckt busy がクリアされました。

QLLC.004

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.004 ckt busy establish: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.004 ckt busy establish: network *cep* state lcn event

説明: ckt busy を設定

QLLC.005

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.005 QTEST_RSP timeout exceeded: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.005 QTEST_RSP timeout exceeded: network *cep* state lcn event

説明: QTEST_RSP タイムアウトを超過しました。

QLLC.006

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.006 QXID_RSP timeout exceeded: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.006 QXID_RSP timeout exceeded: network *cep* state lcn event

説明: QXID_RSP タイムアウトを超過しました。

QLLC.007

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.007 QDISCONTACT timeout exceeded: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.007 QDISCONTACT timeout exceeded: network *cep* state lcn event

説明: QDISCONTACT タイムアウトを超過しました。

QLLC.008

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.008 QCONTACT timeout exceeded: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.008 QCONTACT timeout exceeded: network *cep* state lcn event

説明: QCONTACT タイムアウトを超過しました。

QLLC.009

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.009 PVC CIRCUIT ACTIVE: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.009 PVC CIRCUIT ACTIVE: network *cep* state lcn event

説明: PVC CIRCUIT ACTIVE。 *cep*->*port*->*hp_handle* を検査すると役立つ場合があります。

QLLC.010

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.010 PLC changed to down: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.010 PLC changed to down: network *cep* state lcn event

説明: PLC がダウンに変更されました。

QLLC.011

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.011 Q_CONTACT_RCV: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.011 Q_CONTACT_RCV: network *cep* state lcn event

説明: Q_CONTACT_RCV

QLLC.012

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.012 Q_EXCPTN - UNEXP_CFIELD_RCVD: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.012 Q_EXCPTN - UNEXP_CFIELD_RCVD: network *cep* state lcn event

説明: Q_EXCPTN - UNEXP_CFIELD_RCVD

QLLC.013

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.013 Q_CONTACT_CNF: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.013 Q_CONTACT_CNF: network *cep* state lcn event

説明: Q_CONTACT_CNF

QLLC.014

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.014 Q_DISCONTACT_RCV: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.014 Q_DISCONTACT_RCV: network *cep* state lcn event

説明: Q_DISCONTACT_RCV

QLLC.015

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.015 Q_DISCONTACT_CNF: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.015 Q_DISCONTACT_CNF: network *cep* state lcn event

説明: Q_DISCONTACT_CNF

QLLC.016

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.016 Q_CIRCUIT_BUSY: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.016 Q_CIRCUIT_BUSY: network *cep* state lcn event

説明: Q_CIRCUIT_BUSY

QLLC.017

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.017 Q_XID_CMD_RCV: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.017 Q_XID_CMD_RCV: network *cep* state lcn event

説明: Q_XID_CMD_RCV

QLLC.018

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.018 Q_XID_RSP_RCV: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.018 Q_XID_RSP_RCV: network *cep* state lcn event

説明: Q_XID_RSP_RCV

QLLC.019

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.019 b001 plc chg to dwn. nt

長構文: QLLC.019 b001 plc change to down network

説明: b001 plc がダウンに変更されました。

QLLC.020

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.020 b002 plc ckt bsy chg: nt *cep* lcn cst st

長構文: QLLC.020 b002 plc ckt busy change: network *cep* for lcn cep state state

説明: b002 plc ckt busy が変更されました。

QLLC.021

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.021 b003 clear_reset pkt rcvd: nt *cep* lcn cst st

長構文: QLLC.021 b003 clear_reset pkt rcvd: network *cep* lcn cep state state

説明: b003 clear_reset pkt を受信しました。

QLLC.022

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.022 b004 q_pkt rcvd: nt *qa_field* lcn cst qa-field

長構文: QLLC.022 b004 q_pkt rcvd: network *qa_field* lcn cep state qa_field

説明: b004 q_pkt を受信しました。

QLLC.023

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.023 b004 q_pkt rcvd: nt *qc_field* lcn cst qc-field

長構文: QLLC.023 b004 q_pkt rcvd: network *qc_field* lcn cep state qc_field

説明: c_field

QLLC.024

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.024 b004 user data pkt rcvd: nt *cep* lcn st

長構文: QLLC.024 b004 user data pkt rcvd: network *cep* lcn state

説明: b004 ユーザー・データ・パケットを受信しました。

QLLC.025

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.025 b005 ckt active: nt *cep* lcn st

長構文: QLLC.025 b005 ckt active: network *cep* lcn state

説明: b005 ckt がアクティブ

QLLC.026

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.026 b006 plc change to up: nt

長構文: QLLC.026 b006 plc change to up: network

説明: b006 plc がアップに変更されました。

QLLC.027

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.027 b019 link busy change: nt *link_status* lnk stat

長構文: QLLC.027 b019 link busy change: network *link_status* link status

説明: b019 link busy が変更されました。

QLLC.028

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.028 b020 Rx Incoming call: nt *peer* lcn st

長構文: QLLC.028 b020 Rx Incoming call: nt *peer* lcn st

説明: b020 Rx 着信コール

QLLC.029

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.029 b022 get qdata: nt *peer* lcn st tsk

長構文: QLLC.029 b022_get_qdata_pkt: network *peer* lcn state transmit task

説明: b019 Rxk 接続完了

QLLC.030

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.030 b023 rcv pkt: nt *tx_task* lcn st

長構文: QLLC.030 b023_rcv_pkt_state_dr : network *tx_task* lcn state

説明: b023 受信パケット状態 DR

QLLC.031

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.031 b023 pkt rcvd state DR: nt *tx_task* lcn st

長構文: QLLC.031 b023 pkt rcvd state DR: network *tx_task* lcn state

説明: b023 パケット受信状態 DR

QLLC.032

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.032 b024 crt rst or clr pkt: nt *cep* lcn st code

長構文: QLLC.032 b024 create reset or clear pkt: network *cep* lcn state code

説明: b024 リセットまたは解放パケット作成

QLLC.033

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.033 s003 open port: nt *prtcl* prtcl

長構文: QLLC.033 s003 open port: network *prtcl* protocol

説明: s003 オープン・ポート: プロトコル

QLLC.034

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.034 s003 close port: nt *protocol* prtcl

長構文: QLLC.034 s003 close port: network *protocol* protocol

説明: s003 クローズ・ポート

QLLC.035

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.035 s005 register station: nt *lcn* prtcl lcn hndl

長構文: QLLC.035 s005 register station: network *lcn* protocol lcn handle

説明: s005 登録ステーション

QLLC.036

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.036 s006 unregister station: nt *cep* lcn

長構文: QLLC.036 s006 unregister station: network *cep* lcn

説明: s006 登録解除ステーション

QLLC.037

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.037 s007 call req: nt *cep* prtcl

長構文: QLLC.037 s007 call req: network *cep* protocol

説明: s007 コール・リクエスト

QLLC.038

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.038 s008 clr call req: nt *cep* lcn code

長構文: QLLC.038 s008 clr call req: network *cep* lcn code

説明: s011 データ要求プリミティブ

QLLC.039

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.039 s009 xid req: nt *cep* lcn state

長構文: QLLC.039 s009 xid request : network *cep* lcn cep state :

説明: s009 xid 要求プリミティブ

QLLC.040

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.040 s011 data req: nt *cep* lcn state

長構文: QLLC.040 s011 data req: network *cep* lcn cep state

説明: s011 データ要求プリミティブ

QLLC.041

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.041 s012 xid resp: nt *cep* lcn modifier

長構文: QLLC.041 s012 xid response : nt *cep* lcn modifier

説明: s017 q_rsp タイマー満了

QLLC.042

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.042 s013 tst resp: nt *cep* lcn state modifier

長構文: QLLC.042 s013 tst resp: nt *cep* lcn state modifier

説明: s013 テスト応答

QLLC.043

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.043 s016 ckt bsy req: nt *cep* lcn state modifier

長構文: QLLC.043 s016 ckt bsy req: nt *cep* lcn state modifier

説明: s016 回線ビジー要求

QLLC.044

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.044 s017 rsp tmr expr: nt *cep* lcn state

長構文: QLLC.044 s017 q response timer expired: network *cep* lcn state

説明: s022 接続要求プリミティブ

QLLC.045

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.045 s018 set stn role: nt *cep* lcn state modifier

長構文: QLLC.045 s018 set station role : network *cep* lcn state modifier

説明: s018 ステーション役割設定

QLLC.046

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.046 s019 inc call resp: nt *cep* lcn hnd modifier

長構文: QLLC.046 s019 incoming call response: network *cep* lcn handle modifier

説明: s019 着信コール応答

QLLC.047

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.047 s029 rst req: nt *cep* lcn state modifier

長構文: QLLC.047 s029 reset request: network *cep* lcn state modifier

説明: s029 リセット要求

QLLC.048

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.048 s022 cont req: nt *cep* lcn state

長構文: QLLC.048 s022 contact request: network *cep* lcn state

説明: s022 接続要求

QLLC.049

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.049 s023 cont resp: nt *cep* lcn state modifier

長構文: QLLC.049 s023 contact response: network *cep* lcn state modifier

説明: s023 接続応答

QLLC.050

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.050 s024 disc req prim: nt *cep* lcn state

長構文: QLLC.050 s024 discontact request prim: nt *cep* lcn state

説明: s024 切断要求プリミティブ

QLLC.051

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.051 s025 disc resp prim: nt *cep* lcn state

長構文: QLLC.051 s025 discontact response prim: nt *cep* lcn state

説明: s025 切断応答プリミティブ

QLLC.052

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.052 s027 strt q_rsp tmr: nt *cep* lcn state

長構文: QLLC.052 start q_rsp timer: network *cep* lcn state

説明: start q_rsp タイマー

QLLC.053

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.053 s028 chg hnd prim: nt *cep* lcn state hndl

長構文: QLLC.053 s028 change handle prim: network *cep* lcn state h_handle

説明: s028 変更処理プリミティブ

QLLC.054

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.054 s029 abort call: nt *cep* lcn state

長構文: QLLC.054 s029 abort call: network *cep* lcn state

説明: s029 コールの強制終了

第87章 ISDN Q.931 シグナル・レイヤー 3 (Q931)

この章では、ISDN Q.931 シグナル・レイヤー 3 (Q931) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

Q931.001

レベル: U-INFO

短構文: Q931.001 SETUP recvd CRV (0x *crv*) from (*cg*n) to (*cd*n) Channel (B *chan*) bw *bw* kbps on isdn/ *intf* nt *net*

長構文: Q931.001 Set up msg received from the switch with Call reference value (0x *crv*) from originator *cg*n to destination *cd*n on Channel number *chan* speed *bw* kbps on isdn *intf* network *net*

説明: セットアップ・メッセージを受信しました。データ接続の準備を整えています。

処置: なし。

Q931.002

レベル: U-INFO

短構文: Q931.002 SETUP sent CRV (0x *crv*) from (*cg*n) to (*cd*n) Channel (B *chan*) bw *bw* kbps on isdn/ *intf* nt *net*

長構文: Q931.002 Set up msg sent to the switch with Call reference value (0x *crv*) from originator *cg*n to destination *cd*n on Channel number *chan* bw *bw* on isdn *intf* network *net*

説明: セットアップ・メッセージを送信しました。データ接続の準備を整えています。

処置: なし。

Q931.003

レベル: U-INFO

短構文: Q931.003 ALERT sent CRV (0x *crv*) on isdn/ *intf* nt *net*

長構文: Q931.003 Alert msg sent to the switch with Call reference value (0x *crv*) on ISDN/ *intf* network *net*

説明: アラート・メッセージを送信しました。構成を検査して、コールを受け入れることができるかどうかを調べてください。

処置: なし。

Q931.004

レベル: U-INFO

短構文: Q931.004 CONNECT sent CRV (0x *crv*) on isdn/ *intf* nt *net*

長構文: Q931.004 Connect msg sent to the switch with Call reference value (0x *crv*) on isdn/ *intf* network *net*

説明: 接続メッセージを送信しました。B チャネル通信を開始します。

処置: なし。

Q931.008

レベル: U-INFO

短構文: Q931.008 State change CRV (0x *crv*) connid *connid* from *oldstate* to *newstate* on isdn/ *intf* nt *net*

長構文: Q931.008 Q931 state changed for Call reference value (0x *crv*), connid *connid* from *oldstate* to *newstate* on isdn/ *intf* network *net*

説明: チャネルの状態が変更されました。

処置: なし。

Q931.009

レベル: U-INFO

短構文: Q931.009 RESTART rcv CRV (0x *crv*) Ind[0]=0x *ind* channel= *chan* on isdn/ *intf* nt *net*

長構文: Q931.009 Restart msg rcv from the switch with Call reference value (0x *crv*) ind *ind* Chan *chan* on isdn *intf* network *net*

説明: リスタート・メッセージを受信しました。B チャネル通信を終了します。

処置: なし。

Q931.018

レベル: U-INFO

短構文: Q931.018 Incoming SETUP rejected DN0 mismatch CDN (*cg*n) isdn/ *intf* nt *net*

長構文: Q931.018 Set up msg received from the switch

did not have the right CDN (0x *cgn*) on isdn *intf* network *nt*

説明: セットアップ・メッセージを受信しましたが、互換性のない DN0 です。

処置: なし。

Q931.019

レベル: U-INFO

短構文: Q931.019 SETUP recvd CRV (0x *crv*) from (*cgn*)and rejected - incompatible BC (*bc1 bc2 bc3 bc4*) on nt isdn/ *intf* nt *nt*

長構文: Q931.019 Set up msg received from the switch with Call reference value (0x *crv*) from *cgn* with incompatible bearer capability *bc1 bc2 bc3 bc4* on isdn/ *intf* network *nt*

説明: セットアップ・メッセージを受信しましたが、伝達能力に互換性がないために拒否されました。

処置: なし。

Q931.020

レベル: U-INFO

短構文: Q931.020 Clear Channel B *crv* send msg (0x *cgn*) *crv* (0x *bc*) cause (0x *intf*) on isdn/ nt

長構文: Q931.020 Send a DISC/REL/REL COMP *crv* to call on chan *cgn* up msg to the switch with Call reference value (0x *bc*) cause *intf* on isdn/ network

説明: セットアップ・メッセージを受信しましたが、伝達能力に互換性がないために拒否されました。

処置: なし。

Panic q931ym

短構文: YDC ISDN: mem alloc fld

説明: YDC ISDN ネットワーク・ハンドラーは、初期化フェーズで十分な記憶域を割り振ることができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

第88章 ルーティング情報プロトコル (RIP)

この章では、ルーティング情報プロトコル (RIP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

RIP.001

レベル: UE-ERROR

短構文: RIP.001 bd ver *version_number* frm hst *source_IP_address*

長構文: RIP.001 bad version *version_number* received from host *source_IP_address*

説明: RIP ヘッダーのバージョン・フィールドが、現行バージョンに一致していませんでした。

原因: これはおそらく、発信元ホストのエラーが原因です。

処置: 発信元ホストの製造元に連絡して、問題を報告してください。

RIP.002

レベル: U-TRACE

短構文: RIP.002 rq frm *source_IP_address*

長構文: RIP.002 request received from host *source_IP_address*

説明: RIP ルーティング・テーブル要求を、別のホストから受信しました。ルーティング・テーブル更新が、そのホストに送信されます。

RIP.003

レベル: U-INFO

短構文: RIP.003 trc on *tracing_file* frm *source_IP_address*

長構文: RIP.003 trace on to *tracing_file* received from host *source_IP_address*

説明: 示されているログ・ファイルへの RIP トレースをオンにするための要求を、ホストから受信しました。ルーターはこの要求を無視します。

RIP.004

レベル: U-INFO

短構文: RIP.004 trc off frm *source_IP_address*

長構文: RIP.004 trace off received from host *source_IP_address*

説明: RIP トレースをオフにするための要求を、ホストから受信しました。ルーターはこの要求を無視します。

RIP.005

レベル: C-TRACE

短構文: RIP.005 rsp frm *source_IP_address*

長構文: RIP.005 response received from host *source_IP_address*

説明: RIP ルーティング・テーブル更新を受信しました。特にルーティング・テーブルが大きい場合、ルーティング・テーブル全体を転送するために複数の応答パケットが必要になる場合があります。

RIP.006

レベル: UE-ERROR

短構文: RIP.006 bd cmd *command_code* frm *source_IP_address*

長構文: RIP.006 bad command code *command_code* received from host *source_IP_address*

説明: RIP メッセージを受信しましたが、認知できないコマンド・コードが含まれています。

原因: 発信元ホストのソフトウェアにエラーがあるか、古いのが原因と考えられます。

処置: 発信元ホストの製造元に連絡して、問題を報告してください。

RIP.007

レベル: UE-ERROR

短構文: RIP.007 rsp frm off nt *source_IP_address*

長構文: RIP.007 response received from off network host *source_IP_address*

説明: RIP ルーティング更新応答を受信しましたが、送信元のマシンが、この応答が伝送されてきたネットワークに直接接続されていませんでした。パケットは廃棄されます。

原因: 通常の RIP ソフトウェアは、データの送信先を接続されているネットのみに限るように書かれるのが一般

的なので、この場合は、敵性事象であることを示していると考えられます。

処置: 監査記録やその他の情報を調べて、最初の発信元ホストを突き止めてください。

RIP.009

レベル: U-TRACE

短構文: RIP.009 dyn rt to *destination_IP_network* frm *next_hop_IP_address* dis

長構文: RIP.009 dynamic route to *destination_IP_network* from *next_hop_IP_address* disallowed

説明: 動的ルートを受信しましたが、ルーターの RIP の構成では、テーブル内のルート以外の動的ルートは許されておらず、このルートはテーブルに含まれていないので無視されます。

RIP.010

レベル: U-INFO

短構文: RIP.010 nt *destination_IP_address* unrch via *next_hop_IP_address*, del

長構文: RIP.010 network *destination_IP_address* now unreachable via router *next_hop_IP_address*, deleted

説明: 前にあて先ネットワークへのネクスト・ホップとしてリストされていたルーターからの着信 RIP 更新によって、あて先が到達不能 (つまり、メトリックが 'infinity') であると公示されています。そのあて先への RIP ルートは削除されます。

RIP.011

レベル: U-INFO

短構文: RIP.011 updt nt *destination_IP_network* hps *metric* via *next_hop_IP_address*

長構文: RIP.011 update route to net *destination_IP_network* at metric *metric* hops via router *next_hop_IP_address*

説明: 指定のあて先への新しい (より良い) ルートが、RIP を介して受信され、導入されました。

RIP.012

レベル: C-TRACE

短構文: RIP.012 snd rqst *source_IP_address*

長構文: RIP.012 send request from address *source_IP_address*

説明: ルーターは、アップ状態になったばかりのインタ

ーフェースに関連する各アドレスから、RIP 要求を送信しています。

RIP.013

レベル: C-TRACE

短構文: RIP.013 snd brd to *destination_IP_address* *packet_count* pkts *number_of_routes* rtes

長構文: RIP.013 sending broadcast response to address *destination_IP_address* in *packet_count* packets with *number_of_routes* routes

説明: ルーターは、通常の RIP 同報通信更新 (タイマーまたはルーティング・テーブル内の変更によって起動された) を、指定のアドレスに送信しています。

RIP.014

レベル: C-INFO

短構文: RIP.014 snd to *destination_IP_address* *packet_count* pkts *number_of_routes* rtes

長構文: RIP.014 sending response to address *destination_IP_address* in *packet_count* packets with *number_of_routes* routes

説明: ルーターは、RIP 更新 (別のホストからの要求によって起動された) を、指定のアドレスに送信しています。

RIP.015

レベル: CI-ERROR

短構文: RIP.015 cnt all pkt

長構文: RIP.015 cannot allocate packet for transmission

説明: RIP が伝送のため (要求と応答のどちらかのため) にパケットを割り振ろうとしたとき、使用可能なパケットがありませんでした。

RIP.016

レベル: C-TRACE

短構文: RIP.016 snd pkt *destination_IP_address*

長構文: RIP.016 sending packet to *destination_IP_address*

説明: RIP パケット (ルーティング・テーブル更新か、インターフェースが初めてアップになったときであれば、要求) が送信されました。

RIP.017

レベル: UI-ERROR

短構文: RIP.017 err *output_error_code* sndng pkt nt *network*

長構文: RIP.017 error code *output_error_code* when sending packet out net *network*

説明: ルーターに何らかの問題があるために、発信応答パケットが廃棄されました。

原因: この問題の原因としては、出力待ち行列の過負荷やネットワークのダウンなど、さまざまなものが考えられます。

処置: 該当するネットワーク・サブシステムからのログ出力を調べて、さらに詳しい情報を入手してください。

RIP.018

レベル: U-INFO

短構文: RIP.018 nt rt to *destination_IP_address* tmd out

長構文: RIP.018 network route to *destination_IP_address* timed out

説明: ルーティング・データベース内の他のルーターを経由するあて先へのルートが、しばらくの間、通信を受信しないので、到達不能としてマークを付けているところです。

RIP.019

レベル: U-INFO

短構文: RIP.019 nt rt to *destination_IP_address* del

長構文: RIP.019 network route to *destination_IP_address* deleted

説明: ルーティング・データベース内の他のルーターを経由するあて先へのルートが、しばらくの間通信を受信せず、到達不能としてマークが付けられていましたが、現在そのルートを削除しています。

Panic ripudperr

短構文: rip udp port not avail

説明: 別のアプリケーションが前に RIP の UDP ポートに登録済みです。

処置: サービス技術員に連絡してください。

RIP.020

レベル: U-INFO

短構文: RIP.020 ver *version_number* frm hst *source_IP_address* intf *source_IP_interface*

長構文: RIP.020 Mismatch version *version_number* received from host *source_IP_address* on interface *source_IP_interface*

説明: RIP ヘッダーのバージョン・フィールドが、受信インターフェース上の現行バージョンに一致しませんでした。

原因: 発信元ホスト内の構成エラーが原因であると考えられます。

処置: 発信元ホスト内の構成を訂正してください。

RIP.021

レベル: UE-ERROR

短構文: RIP.021 bd auth frm hst *source_IP_address* intf *source_IP_interface*

長構文: RIP.021 Authentication error received from host *source_IP_address* on interface *source_IP_interface*

説明: パケットはリジェクトされます。認証情報が無効のためか、認証が使用不可のためか、いずれかが原因で認証エラーが生じたためです。

原因: 構成の誤りが原因であると考えられます。

処置: 構成を訂正してください。

RIP.022

レベル: C-TRACE

短構文: RIP.022 snd RIP2 to *destination_IP_address* from *source_IP_address* packet_count pkts *number_of_routes* rtes

長構文: RIP.022 sending RIP2 response to address *destination_IP_address* from *source_IP_address* in packet_count packets with *number_of_routes* routes

説明: ルーターは、指定されたアドレスに通常の RIP2 更新 (タイマーとルーティング・テーブルの変更のいずれかによって起動された) を送信中です。

第89章 IPv6 用の RIP (RIP6)

この章では、IPv6 用の RIP (RIP6) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

RIP6.001

レベル: UE-ERROR

短構文: RIP6.001 bd ver *version_number* frm hst *source_IPV6_address*

長構文: RIP6.001 bad version *version_number* received from host *source_IPV6_address*

説明: RIP6 ヘッダーのバージョン・フィールドが、現行バージョンに一致していませんでした。

原因: これはおそらく、発信元ホストのエラーが原因です。

処置: 発信元ホストの製造元に連絡して、問題を報告してください。

RIP6.002

レベル: U-TRACE

短構文: RIP6.002 Received RIP6 Request *source_ipv6_address* -> *dest_ipv6_address* on nt *Network ID*

長構文: RIP6.002 Request received from host *source_ipv6_address* to *dest_ipv6_address* network *Network ID*

説明: RIP6 ルーティング・テーブル要求を、別のホストから受信しました。ルーティング・テーブル更新が、そのホストに送信されます。

RIP6.003

レベル: C-TRACE

短構文: RIP6.003 Received RIP6 Resp *source_ipv6_address* -> *dest_ipv6_address* on nt *Network ID*

長構文: RIP6.003 response received from host *source_ipv6_address* to *dest_ipv6_address* network *Network ID*

説明: RIP6 ルーティング・テーブル更新を受信しました。特にルーティング・テーブルが大きい場合、ルーティング・テーブル全体を転送するために複数の応答パケットが必要になる場合があります。

RIP6.004

レベル: UE_ERROR

短構文: RIP6.004 rip6_pkt *source_ipv6_address* -> *dest_ipv6_address* on nt *Network ID*

長構文: RIP6.004 Bad RIP6 received from host *source_ipv6_address* to *dest_ipv6_address* network *Network ID*

説明: RIP6 パケットは、要求または応答のいずれの場合も、少なくとも 1 つの RTE を持っている必要があります。パケットは廃棄されます。

RIP6.005

レベル: UE_ERROR

短構文: RIP6.005 rcv RIP6 update net *Network ID* from *src_addr* bad port *srcport*

長構文: RIP6.005 receiving RIP6 update on net *Network ID* from *src_addr* with bad UDP6 source port *srcport*

説明: ルーターは無効な UDP6 発信元ポートを含んでいる RIP6 更新/応答を受信しました。発信元ポートは 521 でなければなりません。

RIP6.006

レベル: UE-ERROR

短構文: RIP6.006 bd cmd *command_code* frm *source_IP_address*

長構文: RIP6.006 bad command code *command_code* received from host *source_IP_address*

説明: 認知されないコマンド・コードを含んでいる RIP6 メッセージを受信しました。

原因: 発信元ホストのソフトウェアにエラーがあるか、古いのが原因と考えられます。

処置: 発信元ホストの製造元に連絡して、問題を報告してください。

RIP6.007

レベル: UE_ERROR

短構文: RIP6.007 rcv RIP6 update net *Network ID* from

src_addr bad_dest_address dst_addr

長構文: RIP6.007 receiving RIP6 update on net *Network ID* from *src_addr* with bad dest. address *dst_addr*

説明: ルーターは無効なあて先アドレスを含んでいる RIP6 更新/応答を受信しています。あて先アドレスは、このインターフェースのローカル・アドレスまたはマルチキャスト FF02::9 のいずれかでなければなりません。

RIP6.008

レベル: UE_ERROR

短構文: RIP6.008 rcv RIP6 update net *Network ID* from *src_addr* bad rte's prefix *prefix*

長構文: RIP6.008 receiving RIP6 update on net *Network ID* from *src_addr* with bad rte's prefix6 *prefix*

説明: ルーターは無効な RTE プレフィックスを含んでいる RIP6 更新/応答を受信しています。RTE のプレフィックスは、マルチキャスト・アドレスまたはリンク・ローカル・アドレスであってはなりません。

RIP6.009

レベル: UE_ERROR

短構文: RIP6.009 rcv RIP6 update net *Network ID* from *src_addr* bad rte's metric *metric*

長構文: RIP6.009 receiving RIP6 update on net *Network ID* from *src_addr* with bad rte's metric *metric*

説明: ルーターは無効な RTE メトリックを含んでいる RIP6 更新/応答を受信しています。RTE のメトリックは 1 ~ 16 (両端の値を含む) の範囲内でなければなりません。

RIP6.010

レベル: U-INFO

短構文: RIP6.010 Net *destination_IP_address* unrch via *next_hop_IP_address*, del

長構文: RIP6.010 network *destination_IP_address* now unreachable via router *next_hop_IP_address*, deleted

説明: 以前にあて先ネットワークへのネクスト・ホップとしてリストされていたルーターから着信した RIP6 更新が、あて先が到達不能 (つまり、メトリックが 'infinity') であることを公示しています。そのあて先への RIP6 ルートは削除されます。

RIP6.011

レベル: U-INFO

短構文: RIP6.011 Update net *destination_IP_network* hops *metric* via *next_hop_IP_address*

長構文: RIP6.011 update route to net *destination_IP_network* at metric *metric* hops via router *next_hop_IP_address*

説明: 指定のあて先への新しい (より良い) ルートが、RIP6 を介して確認され、導入されました。

RIP6.012

レベル: C-TRACE

短構文: RIP6.012 Sending RIP6 Request *source_ipv6_address* -> *dest_ipv6_address* on nt *Network ID*

長構文: RIP6.012 Sending RIP6 multicast Request from *source_ipv6_address* to *dest_ipv6_address* network *Network ID*

説明: ルーターは、アップ状態になったばかりの各インターフェースからの RIP6 要求を送信中です。

RIP6.013

レベル: C-TRACE

短構文: RIP6.013 Sending RIP6: *source_IP_address* -> *destination_IP_address* on net *Network ID* *packet_count* pkts *number_of_routes* rtes

長構文: RIP6.013 Sending RIP6 from *source_IP_address* to *destination_IP_address* on net *Network ID* in *packet_count* packets with *number_of_routes* route enties

説明: ルーターは、指定されたアドレスに RIP6 更新 (タイマーによって、またはルーティング・テーブルの変更によって起動された) をマルチキャストしています。

RIP6.014

レベル: C-TRACE

短構文: RIP6.014 Sending RIP6: *source_IP_address* -> *destination_IP_address* on net *Network ID* *packet_count* pkts *number_of_routes* rtes

長構文: RIP6.014 Sending RIP6 from *source_IP_address* to *destination_IP_address* on net *Network ID* in *packet_count* packets with *number_of_routes* route enties

説明: ルーターは指定のアドレスに RIP6 更新 (別のホストからの要求によって起動された) を送信しています。

RIP6.015

レベル: CI-ERROR

短構文: RIP6.015 cnt all pkt

長構文: RIP6.015 cannot allocate packet for transmission

説明: RIP6 が (要求または応答のいずれかの) 伝送のためにパケットを割り振ろうとしたとき、使用可能なパケットがありませんでした。

RIP6.016

レベル: C-TRACE

短構文: RIP6.016 Sending RIP6: *source_IP_address* -> *destination_IP_address* on net *Network ID*

長構文: RIP6.016 Sending RIP6 from *source_IP_address* to *destination_IP_address* on net *Network ID*

説明: RIP6 パケット (ルーティング・テーブル更新、またはインターフェースが初めてアップになった場合は、要求) が送信されました。

RIP6.017

レベル: UI-ERROR

短構文: RIP6.017 err *output_error_code* sending pkt nt *network*

長構文: RIP6.017 error code *output_error_code* when sending packet out net *network*

説明: ルーターに何らかの問題があるために、発信応答パケットが廃棄されました。

原因: この問題の原因としては、出力待ち行列の過負荷やネットワークのダウンなど、さまざまなものが考えられます。

処置: 該当するネットワーク・サブシステムからのログ出力を調べて、さらに詳しい情報を入手してください。

RIP6.018

レベル: U-INFO

短構文: RIP6.018 nt rt to *destination_IP_address* tmd out

長構文: RIP6.018 network route to *destination_IP_address* timed out

説明: ルーティング・データベース内の他のルーターを経由するあて先へのルートは、しばらく通信を受信しないので、到達不能のマークが付けられているところです。

RIP6.019

レベル: U-INFO

短構文: RIP6.019 nt rt to *destination_IP_address* del

長構文: RIP6.019 network route to *destination_IP_address* deleted

説明: ルーティング・データベース内の他のルーターを経由するあて先へのルートは、しばらく通信を受信しないために到達不能としてマークが付けられていましたが、現在そのルートを削除しています。

Panic rip6udperr

短構文: RIP6 udp port not avail

説明: 別のアプリケーションが前に RIP の UDP ポートに登録済みです。

処置: サービス技術員に連絡してください。

RIP6.020

レベル: UE_ERROR

短構文: RIP6.020 rcv RIP6 update net *Network ID* from *src_addr* bad rte's prefix_len *prefix_len*

長構文: RIP6.020 receiving RIP6 update on net *Network ID* from *src_addr* with bad rte prefixlen *prefix_len*

説明: ルーターは無効な RTE プレフィックス LEN を含んでいる RIP6 更新/応答を受信しています。RTE のプレフィックスは 0 ~ 128 (両端の値を含む) の範囲内でなければなりません。

RIP6.021

レベル: UE_ERROR

短構文: RIP6.021 rcv RIP6 update net *Network ID* from *src_addr* bad next hop rte prefix *prefix*

長構文: RIP6.021 receiving RIP6 update on net *Network ID* from *src_addr* with bad next hop rte prefix6 *prefix*

説明: ルーターは無効なネクスト・ホップ RTE プレフィックスを含んでいる RIP6 更新/応答を受信しています。RTE のプレフィックスは、ゼロまたはリンク・ローカル・アドレスでなければなりません。

RIP6.022

レベル: UE_ERROR

短構文: RIP6.022 rcv RIP6 update net *Network ID* from *src_addr* bad next hop rte rtag *rtag*

長構文: RIP6.022 receiving RIP6 update on net *Network ID* from *src_addr* with bad next hop rte route tag *rtag*

説明: ルーターは無効なネクスト・ホップ RTE ルート・タグを含んでいる RIP6 更新/応答を受信しています。ネクスト・ホップ RTE ルート・タグはゼロでなければなりません。

RIP6.023

レベル: UE_ERROR

短構文: RIP6.023 rcv RIP6 update net *Network ID* from *src_addr* bad next hop rte prefix_len *plen*

長構文: RIP6.023 receiving RIP6 update on net *Network ID* from *src_addr* with bad next hop rte prefix len *plen*

説明: ルーターは無効なネクスト・ホップ RTE プレフィックス LEN を含んでいる RIP6 更新/応答を受信しています。

RIP6.024

レベル: UE_ERROR

短構文: RIP6.024 rcv RIP6 update on net *Network ID* bad srcaddr *src_addr*

長構文: RIP6.024 receiving RIP6 update on net *Network ID* with bad source address *src_addr*

説明: ルーターは無効な発信元アドレスを含んでいる RIP6 更新/応答を受信しています。発信元アドレスは、リンク・ローカル・アドレスでなければなりません。

RIP6.025

レベル: UE_ERROR

短構文: RIP6.025 rcv RIP6 update net *Network ID* from *src_addr* bad hopcount *hopcount*

長構文: RIP6.025 receiving RIP6 update on net *Network ID* from *src_addr* with bad hopcount *hopcount*

説明: ルーターは無効なホップ・カウントを含んでいる RIP6 更新/応答を受信しています。ホップ・カウントは 255 でなければなりません。

第90章 RSVP

この章では、RSVP メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

RSVP.001

レベル: C-INFO

短構文: RSVP.001 Initializing RSVP; status= *init_status*.

長構文: RSVP.001 Initializing RSVP function; result status is *init_status*.

説明: 初期化機能を実行するために、RSVP 初期化ルーチンが呼び出されました。結果の状態 (NOT CONFIGURED、STARTED、CONFIG ERROR) が表示されています。

RSVP.002

レベル: C-INFO

短構文: RSVP.002 RSVP stopped at clock *time_now*.

長構文: RSVP.002 RSVP function is stopped by operator at system clock *time_now*.

説明: オペレーターが *op-console* コマンドを使用して RSVP 機能を停止しました。

RSVP.004

レベル: U-INFO

短構文: RSVP.004 Rcvd net *n_net* updown_state msg; net-type= *net_type* b/w=

長構文: RSVP.004 RSVP received network *n_net* updown_state message; network type= *net_type* bandwidth=

説明: RSVP は、ネットワーク・インターフェース UP/DOWN 状態に関するアップ・コールを受信しました。

RSVP.007

レベル: U-INFO

短構文: RSVP.007 RSVP not enabled on i/f *Interface* due to *Reason_string*

長構文: RSVP.007 Enable RSVP on interface *Interface* failed due to *Reason_string*

説明: インターフェース上で RSVP を使用可能にする試みが、リンク構成の競合 (たとえば、BRS がすでにそのリンクに構成されている) またはその他の理由で失敗しました。

RSVP.010

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.010 Not RSVP V1 vrsn *RSVPVersion* fm *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.010 Not RSVP V1 version *RSVPVersion* in packet from *SourceIPAddress*

説明: 無効なバージョン番号を持つ RSVP パケットを受信しました (*rsvp_rx_process*)。

RSVP.011

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.011 Bad RSVP checksum *RSVPChecksum* fm *SourceIPAddress*"

長構文: RSVP.011 Invalid RSVP checksum *RSVPChecksum* in packet from *SourceIPAddress*"

説明: 無効なチェックサムを持つ RSVP パケットを受信しました (*rsvp_rx_process*)。

RSVP.012

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.012 Bad RSVP pkt lngth *RSVPPacketLength* fm *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.012 Bad RSVP packet length *RSVPPacketLength* in packet from *SourceIPAddress*

説明: 無効な長さを持つ RSVP パケットを受信しました (*rsvp_rx_process*)。

RSVP.015

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.015 Bad RSVP objct lngth *RSVPObjectLength* in objct cla *RSVPObjectClass* from *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.015 A bad RSVP object length *RSVPObjectLength* in obj cla *RSVPObjectClass* in packet from *SourceIPAddress*

説明: RSVP オブジェクトの長さが 4 の倍数でないか、4 より小さいか、あるいはネクスト・オブジェクト・ポインターが無効でした (*rsvp_map_pkt*)。

RSVP.016

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.016 Bad RSVP object class *RSVPObjectClass* from *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.016 RSVP object class *RSVPObjectClass* not defined in packet from *SourceIPAddress*

説明: RSVP オブジェクト・クラスが定義されていませんでした (rsvp_map_pkt)。

RSVP.017

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.017 Fltr without flw from *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.017 RSVP filter spec received before flow spec in packet from *SourceIPAddress*

説明: filterspec を flowspec と一緒に受信しました (rsvp_map_pkt)。

RSVP.018

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.018 RSVP objct lngth err *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.018 RSVP object length was bad in packet from *SourceIPAddress*

説明: RSVP オブジェクトの長さが無効でした (rsvp_map_pkt)。

RSVP.021

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.021 RSVP src *SenderTemplate*/dstn *Session* cnflct fm *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.021 An RSVP source *SenderTemplate*/destination *Session* conflict from *SourceIPAddress*

説明: RSVP 送信側テンプレートまたはフィルター仕様が、セッションと一致していません (rsvp_check_srcport)。

RSVP.022

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.022 RSVP Pth mssng tmplt *SenderTemplate* or tspec *SenderTSpec* fm *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.022 RSVP Path message has no template *SenderTemplate* or tspec *SenderTSpec* from *SourceIPAddress*

説明: RSVP パス・メッセージに sender_template または

sender_tspec が欠落しています (rsvp_check_sender)。

RSVP.026

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.026 RSVP WF Resv mssng flow fm *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.026 RSVP WF RESV message missing flowspec from *SourceIPAddress*

説明: ワイルドカード・フィルター (WF) スタイルの RSVP 予約メッセージに flowspec 情報が欠落しています (rsvp_check_flow)。

RSVP.027

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.027 RSVP *RSVPStyle* Resv mssng fltr or flow fm *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.027 RSVP *RSVPStyle* RESV message missing filterspec or flowspec from *SourceIPAddress*

説明: 固定フィルター (FF) スタイルまたは共用明示的 (SE) スタイルの RSVP 予約メッセージに filterspec または flowspec 情報が欠落しています (rsvp_check_flow)。

RSVP.028

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.028 RSVP Resv unkn styl *RSVPStyle* fm *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.028 RSVP RESV message contains unknown style *RSVPStyle* from *SourceIPAddress*

説明: RSVP 予約メッセージが、不明またはサポートされていないスタイルを持っています (rsvp_check_flow)。

RSVP.031

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.031 RSVP msg type *MsgType* mssng ssn fm *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.031 RSVP message type *MsgType* rcvd with missing session from *SourceIPAddress*

説明: RSVP メッセージにセッション・オブジェクトが欠落しています (rsvp_msg_integrity)。

RSVP.032

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.032 RSVP Path mssng hp or tm fm *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.032 RSVP Path message missing hop or time from *SourceIPAddress*

説明: RSVP パス・メッセージにホップ値または時間値が欠落しています (rsvp_msg_integrity)。

RSVP.033

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.033 RSVP Resv mssng hp, tm or styl fm *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.033 RSVP Resv message missing hop, time or style from *SourceIPAddress*

説明: RSVP 予約メッセージに rsvp_shop、時間、またはスタイル情報が欠落しています (rsvp_msg_integrity)。

RSVP.034

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.034 RSVP Path rrr mssng rrr fm *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.034 RSVP Path error message missing error spec from *SourceIPAddress*

説明: RSVP Path エラー・メッセージに error_spec 情報が欠落しています (rsvp_msg_integrity)。

RSVP.035

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.035 RSVP Resv rrr mssng rrr or styl fm *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.035 RSVP Resv error message missing error or style from *SourceIPAddress*

説明: RSVP Resv エラー・メッセージに error_spec または style_spec 情報が欠落しています (rsvp_msg_integrity)。

RSVP.036

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.036 RSVP Path tr mssng hop *RsvpHop* fm *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.036 RSVP Path tear message missing rsvp_hop *RsvpHop* from *SourceIPAddress*

説明: RSVP パス切り離しメッセージに rsvp_hop 情報が欠落しています (rsvp_msg_integrity)。

RSVP.037

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.037 RSVP Resv tr mssng hop, scp, or styl from *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.037 RSVP Resv tear message missing hop, scope or style from *SourceIPAddress*

説明: RSVP パス切り離しメッセージに rsvp_hop、有効範囲、またはスタイル情報が欠落しています (rsvp_msg_integrity)。

RSVP.038

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.038 RSVP Resv cnf mssng rrr spc, cnfrm or styl fm *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.038 RSVP Resv confirm message missing error spec, confirm or style from *SourceIPAddress*

説明: RSVP Resv 確認メッセージに error_spec、resv_confirm、または style 情報が欠落しています (rsvp_msg_integrity)。

RSVP.039

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.039 Unknwn RSVP msg *msgtype* rcvd fm *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.039 Unknown RSVP message *msgtype* received from *SourceIPAddress*

説明: RSVP パス切り離しメッセージに rsvp_hop、有効範囲、またはスタイルが欠落しています (rsvp_msg_integrity)。

RSVP.041

レベル: C-TRACE

短構文: RSVP.041 Sess *sess_id*: port rt chg: new *i_if*=*i_if*; new out-mask= *out_mask*

長構文: RSVP.041 Rte chg on Sessn *sess_id* port *port* detected; new input port= *i_if*; new out mask= *out_mask*

説明: セッション %I ポート %d でルート変更が検出されました。新しい入力インターフェースは %n になり、新しい出力インターフェース・マスクは %x になっています。

RSVP.046

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.046 prt ncnstncy

長構文: RSVP.046 Port inconsistency (tbd)

説明: `rsvp_chk_port` の不正が指摘されています (`rsvp_proc_path`)。

RSVP.047

レベル: UI-ERROR

短構文: RSVP.047 Cant add RSVP pth state fm nt *network ID*

長構文: RSVP.047 Cannot add new RSVP Path state information from net *network ID*

説明: 新しい状態を示す RSVP パス・メッセージを、RSVP テーブルがいっぱいである (つまり、RSVP_TABLE_NEW に失敗した) ために追加できません (`rsvp_proc_path`)。

RSVP.048

レベル: UI-ERROR

短構文: RSVP.048 RSVP pth has bad tm int *time_values* nt *network ID*

長構文: RSVP.048 RVSP path message has bad time interval *time_values* net *network ID*

説明: RSVP パス・メッセージの時間値が、許容最大値より長い、許容最小値より短い、いずれかです (`rsvp_proc_path`)。

RSVP.049

レベル: UI-ERROR

短構文: RSVP.049 NULL input if *network ID*

長構文: RSVP.049 Empty input *network ID*

説明: ローカル・セッションがヌル入力インターフェース (later) を持っています (`rsvp_proc_path`)。

RSVP.050

レベル: UI-ERROR

短構文: RSVP.050 RSVP Rte failure to dest *dst_addr*

長構文: RSVP.050 RSVP route query to dest *dst_addr* failed

説明: IP ルーティング・データベースへの RSVP 照会の結果、あて先へのルートがありませんでした。

RSVP.051

レベル: UI-ERROR

短構文: RSVP.051 Cant updt TC fltr nt *network ID*

長構文: RSVP.051 Cannot update Traffic Control Filter net *network ID*

説明: RSVP パス・メッセージによってトラフィック制御が変更されましたが、トラフィック制御フィルターを更新できませんでした (`rsvp_proc_path`)。

RSVP.052

レベル: UI-ERROR

短構文: RSVP.052 Can't get *entry_type* entry for snder *SenderAddress* prot *Protocol* port *SenderPort* to session *SessionAddress* port *SessPort*

長構文: RSVP.052 Can't get *entry_type* entry space for sender *SenderAddress* prot *Protocol* port *SenderPort* to session *SessionAddress* port *SessPort*

説明: 指定されたパス要求の処理中に、指定のエントリ・テーブルのスペースが使い尽くされました。

RSVP.062

レベル: CE-ERROR

短構文: RSVP.062 RSVP *RSVPStyle* resv not rsrvd or modified from *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.062 A reservation for an *RSVPStyle* RSVP resv could not be made from *SourceIPAddress*

説明: RSVP 予約メッセージの結果として、新規の予約を確立できなかったか、古い予約を増やすことができませんでした (`rsvp_proc_FF`、SE、または WF)。

RSVP.064

レベル: UI-ERROR

短構文: RSVP.064 PktClas update error for Session *SessionAddress* Prot *Protocol* Port *SessionPort* out-if *Output*

長構文: RSVP.064 Packet Classifier update error for Session *SessionAddress* Prot *Protocol* Port *SessionPort* out-if *Output*

説明: 指定のセッションの予約メッセージの処理時に、パケット分類プログラムを更新するためのコールが失敗しました。

RSVP.065

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.065 *MsgT* for sess *SessionAddress*: *SessionProt* at i/f *NetNum* discarded (*Reason*)

長構文: RSVP.065 msg *MsgT* for sess *SessionAddress*: *SessionProt* at i/f *NetNum* discarded due to *Reason*

説明: 無効な状態の RSVP メッセージを受信し、廃棄されました。

RSVP.068

レベル: C-TRACE

短構文: RSVP.068 IP rtr *ChangeReason* to subnet *DestSubnet* mask *DestMask*

長構文: RSVP.068 IP route change notification (route *ChangeReason*) to dest subnet *DestSubnet* msk *DestMask*

説明: あて先サブネットへの IP ルート変更通知 (changed|deleted) を受信しました。このトレースは、このルートが RSVP によって使用される場合にのみ表示されます。

RSVP.069

レベル: C-TRACE

短構文: RSVP.069 Local *upcallType* upcall event

長構文: RSVP.069 *upcallType* upcall event

説明: ローカル (つまり、ルーターへの) アプリケーションに対する RSVP 制御メッセージを受信しました。メッセージ・テキストは、アップ・コール事象のタイプを示しています。

RSVP.070

レベル: P-TRACE

短構文: RSVP.070 Rcvd *RSVPStyle* msg for sess *SessionAddress*: *Protocol* prot *SessionPort* from *OrigAddress*

長構文: RSVP.070 Valid RSVP msg type *RSVPStyle* rcv'd for sess *SessionAddress* port *Protocol* prot *SessionPort* from *OrigAddress*

説明: *OrigAddress* を持つ IP ノードから、特定のセッション (*SessionAddress*、*Protocol*、*SessionPort*) に対する RSVP メッセージ (*Path*、*Resv* FF/SE/WF) を受信しました。

RSVP.071

レベル: C-TRACE

短構文: RSVP.071 type *RESV* from *SourceAddress*: *SourcePort* to *DestAddress*: *DestPort* *Protocol* *Protocol* on out-i/f *OPort*

長構文: RSVP.071 type RSVP *RESV* entry in pkt classifier for flow from *SourceAddress* Port *SourcePort* to *DestAddress* Port *DestPort* *Protocol* *Protocol* on out-i/f *OPort*

説明: 特定の発信インターフェース上の指定のセッション / フローのエントリーが、RSVP パケット分類プログラムに追加 / 削除されました。

RSVP.072

レベル: C-TRACE

短構文: RSVP.072 type *PATH* state from *SourceAddress*: *SourcePort* prot *Protocol* to *DestAddress*: *DestPort*

長構文: RSVP.072 type a *Path* state for flow from *SourceAddress* port *SourcePort* protocol *Protocol* to *DestAddress* port *DestPort*

説明: 発信元ポートからあて先ポート (セッション) へのフローの *PATH* 状態が追加 / 削除されました。

RSVP.073

レベル: P-TRACE

短構文: RSVP.073 --RSVP send IP pkt to *Dest_Address* on net *Netp*, return code= *retcode*

長構文: RSVP.073 RSVP sends an IP packet out to *Dest_Address* on net *Netp*, with return code *retcode*

説明: RSVP 内部状態および事象の結果として、RSVP メッセージがネクスト・ホップ RSVP ルーターまたはホストに送信されました。

RSVP.074

レベル: P-TRACE

短構文: RSVP.074 Send *msg_type* for session *SessionAddress*: *SessionPort*

長構文: RSVP.074 Send a RSVP message type *msg_type* for session *SessionAddress* port *SessionPort*

説明: 指定のタイプのリフレッシュまたは切り離しメッセージを、指定されたセッションに送信しました。

RSVP.075

レベル: U-TRACE

短構文: RSVP.075 *type* state timeout from *SourceAddress*:
SourePort prot *Protocol* to *DestAddress*: *DestPort*

長構文: RSVP.075 A *type* state for flow from
SourceAddress port *SourePort* protocol *Protocol* to
DestAddress port *DestPort* timed out

説明: 発信元ポートからあて先ポート (セッション) のフ
ローの PATH または RESV 状態がタイムアウトになり、
除去されました。

RSVP.076

レベル: P-TRACE

短構文: RSVP.076 Forward QoS pkt from *Src_Address* to
Dest_Address prot *Protocol* rt-code= *retcode*

長構文: RSVP.076 Packet Classifier forwards a QoS pkt
from *Src_Address* to *Dest_Address* protocol *Protocol*; return
code= *retcode*

説明: パケット分類プログラムは、QoS フロー内のパケ
ットを識別し、このパケットを該当する待ち行列に転送
します。

RSVP.077

レベル: U-TRACE

短構文: RSVP.077 Pkt Classifier table flushed.

長構文: RSVP.077 Packet Classifier table is flushed!

説明: 初期化時に、またはオペレーター・コンソール・
コマンドによって、パケット分類プログラム・テーブル
がフラッシュされました。

RSVP.078

レベル: P-TRACE

短構文: RSVP.078 Send pos RESV-Confirm Pkt back to
recever_addr

長構文: RSVP.078 A RESV Confirm packet is sent back
to *recever_addr* as requested.

説明: RESV 確認メッセージが、予約メッセージで予約
の確認を要求した受信側 (RESV の発信元) に送信されま
した。

RSVP.079

レベル: U-TRACE

短構文: RSVP.079 Ntwk DISC rcvd frm *next_hop* on sess
sess_addr: *port_num*

長構文: RSVP.079 A network DISC received from next-hop
next_hop on session *sess_addr* port *port_num*

説明: ネクスト・ホップ・ルーターから、ネットワーク
またはリモート・ホスト生成のセッションに関する DISC
を受信しました。

RSVP.080

レベル: U-TRACE

短構文: RSVP.080 *var1*= *v1*; *var2*= *v2*; *var3*= *v3*; *var4*=
v4

長構文: RSVP.080 component *var1* *var1*= *v1*; *var2* *var2*=
v2; *var3* *var3*= *v3*; *var4* *var4*= *v4*

説明: 異常事象の総称トレース。var1 はモジュール名と
最初のトレース変数名、v1 は最初のトレース変数値を示
し、var2 は 2 番目のトレース変数名、v2 は 2 番目のト
レース変数値を示すといった具合になっています。

第91章 SDLC リレー (SRLY)

この章では、SDLC リレー (SRLY) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

SRLY.001

レベル: UI-ERROR

短構文: SRLY.001 invld cnfgtrton ip addr cnfgd on nt *networkID*

長構文: SRLY.001 Invalid router configuration because an IP address has been configured on network *networkID*

説明: IP アドレスを SDLC リレー・インターフェース上で構成することは認められていません。

SRLY.002

レベル: UI-ERROR

短構文: SRLY.002 unsptd intf nt *networkID*

長構文: SRLY.002 unsupported interface on network *networkID*

説明: SDLC リレー・グループで、サポートされないネットワーク・インターフェースが構成されました。

SRLY.003

レベル: C-INFO

短構文: SRLY.003 SDLC relay intf init strt nt *networkID*

長構文: SRLY.003 SDLC relay initialization started on network *networkID*

説明: SDLC リレー転送機能が、リレー・インターフェースで初期化を開始しました。

SRLY.004

レベル: C-INFO

短構文: SRLY.004 SDLC relay intf init cmplt nt *networkID*

長構文: SRLY.004 SDLC relay initialization completed on network *networkID*

説明: SDLC リレー転送機能が、リレー・インターフェースで初期化を完了しました。

SRLY.005

レベル: UI-ERROR

短構文: SRLY.005 disc scndry->prmry pkt addr

SRLY_addrH net congestd on nt *networkID*

長構文: SRLY.005 Discard SDLC frame with sdhc address *SRLY_addrH* heading to primary station due to network congestion on network *networkID*

説明: 輻輳 (ふくそう) のために、SDLC フレームがネットワーク・インターフェースから廃棄されました。

原因: トラフィックのバーストによりアウトバウンド・フレームが輻輳 (ふくそう) しているか、または内部のソフトウェアに矛盾が発生している場合があります。

SRLY.006

レベル: C-TRACE

短構文: SRLY.006 added prmry->scndry pkt addr *SRLY_addressH* on nt *networkID* to sdhc qu

長構文: SRLY.006 Added packet received on primary side with SDLC address *SRLY_addressH* on network *networkID* onto the sdhc queue.

説明: このメッセージは、1 次ポート (1 次ステーションに直接または間接的に接続されているポート) から 2 次ポート (2 次ステーションに直接または間接的に接続されているポート) へてに送信された SDLC リレー・フレームを転送機能が受信したときに生成されます。

SRLY.007

レベル: C-TRACE

短構文: SRLY.007 added scndry->prmry pkt addr *SRLY_addressH* on nt *networkID* to sdhc qu

長構文: SRLY.007 Added packet received on secondary side with SDLC address *SRLY_addressH* on network *networkID* onto the sdhc queue.

説明: このメッセージは、2 次ポート (2 次ステーションに直接または間接的に接続されているポート) から 1 次ポート (1 次ステーションに直接または間接的に接続されているポート) へてに送信された SDLC リレー・フレームを転送機能が受信したときに生成されます。

SRLY.008

レベル: CE-ERROR

短構文: SRLY.008 frm disc grp *group_num* not dfned nt *networkID*

長構文: SRLY.008 A SDLC relay frame discarded due to group *group_num* defined in the frame received from the network *networkID* not being defined in the router.

説明: フレームのグループ番号がそのルーターでは定義されていないので、SDLC リレー・フレームが廃棄されました。

SRLY.009

レベル: CE-ERROR

短構文: SRLY.009 frm disc grp *group_num* dsbld nt *networkID*

長構文: SRLY.009 A SDLC relay frame discarded due to group *group_num* being disabled for frame coming in from the network *networkID*.

説明: グループが使用可能にされていないので、SDLC リレー・フレームが廃棄されました。

SRLY.010

レベル: CE-ERROR

短構文: SRLY.010 frm with sdhc addr *SRLY_addrH* grp *group_num* disc src prmry port dsbld

長構文: SRLY.010 A SDLC relay frame with sdhc address *SRLY_addrH* discarded due to the source primary port of group *group_num* being disabled.

説明: 発信元ポート（フレームを発信した元）が使用不可にされているので、SDLC リレー・フレームが廃棄されました。

SRLY.012

レベル: CI-ERROR

短構文: SRLY.012 frm disc src prt sdhc addr *SRLY_addrH* not found in grp *group_num*

長構文: SRLY.012 A SDLC relay frame discarded due to the src port with sdhc address *SRLY_addrH* specified in the frame not being found in group *group_num*.

説明: フレーム内で指定された SDLC アドレスをもつ発信元ポートが、指定のグループ内に見付からないため、SDLC リレー・フレームが廃棄されました。これは、グループのユーザー構成の誤りによるものです。

SRLY.013

レベル: CI-ERROR

短構文: SRLY.013 frm with sdhc addr *SRLY_addrH* grp *group_num* disc dst prmry port dsbld

長構文: SRLY.013 A SDLC relay frame with sdhc address *SRLY_addrH* discarded due to the destination primary port of group *group_num* being disabled.

説明: あて先ポート（フレームの送信先）が使用不可にされているので、SDLC リレー・フレームが廃棄されました。

SRLY.014

レベル: CI-ERROR

短構文: SRLY.014 frm disc prt dst sdhc addr *SRLY_addrH* not fnd in grp *group_num*

長構文: SRLY.014 A SDLC relay frame discarded due to the destination port sdhc address *SRLY_addrH* specified in the packet not being found in group *group_num*.

説明: フレーム内で指定された SDLC アドレスをもつあて先ポートが、指定されたグループ内に見付からないため、SDLC リレー・フレームが廃棄されました。これは、グループのユーザー構成の誤りによるものです。SDLC アドレス %d をもつ指定のポートは、グループに追加されませんでした。

SRLY.015

レベル: CI-ERROR

短構文: SRLY.015 frm with dst sdhc addr *SRLY_addrH* disc rly dwn or rly dsbld nt *networkID*

長構文: SRLY.015 SDLC frame with dst sdhc addr *SRLY_addrH* discarded due to relay down condition on network *networkID*

説明: ネットワーク・インターフェースがダウン状態だったので、SDLC リレーのインターフェースからの送信に失敗し、そのため SDLC フレームは廃棄されました。このメッセージは、ネットワークがダウンしている場合、または現在 IP が使用可能になっていない場合に印刷されます。IP が使用可能になっていない場合は、SDLC リレーを行うことはできないため、フレームは単に廃棄されます。

SRLY.016

レベル: CI-ERROR

短構文: SRLY.016 dsc scndry->prmry frm sdhc addr *SRLY_addrH* rjd rsn = *reason* on nt *networkID*

長構文: SRLY.016 discard net rejected sdhc frame address *SRLY_addrH* heading for primary station with reject reason = *reason* on network *networkID*

説明: SDLC リレー・フレームが、ネットワーク・インターフェースによって拒否されて、廃棄されました。

SRLY.018

レベル: C-INFO

短構文: SRLY.018 frwrd SRLY frm scndry->prmry sdhc addr *SRLY_addrH* nt *networkID*

長構文: SRLY.018 forwarded SDLC Relay frame from secondary station destined for primary station with frame sdhc address *SRLY_addrH* on network *networkID*

説明: 2 次 -> 1 次ステーションの方向に転送されているフレームが、示されているインターフェース上に転送されました。

SRLY.019

レベル: C-INFO

短構文: SRLY.019 frwrd SRLY frm prmry->scndry sdhc addr *SRLY_addrH* nt *networkID*

長構文: SRLY.019 forwarded SDLC Relay frame from primary station destined for secondary station with frame sdhc address *SRLY_addrH* on network *networkID*

説明: 1 次 -> 2 次ステーションの方向に転送されているフレームが、示されているインターフェース上に転送されました。

SRLY.020

レベル: UI-ERROR

短構文: SRLY.020 dsc frm from nt *networkID* IP not enbled

長構文: SRLY.020 discard sdhc frame from network *networkID* because IP is not enabled on router

説明: SDLC リレーを作動させるには、ルーター上で IP が使用可能になっていることが必要なので、SDLC リレー・フレームは廃棄されました。ユーザーは、少なくとも 1 つの非 SDLC リレー・インターフェースに、少なくとも 1 つの IP アドレスを追加しなければなりません。

SRLY.022

レベル: CI-ERROR

短構文: SRLY.022 disc frm grp *group_num* cnfg bad

長構文: SRLY.022 Frame discarded because group

group_num configuration is bad.

説明: このメッセージは、SDLC リレーに関するルーター間のグループ構成が互いに矛盾するために、転送機能がパケットを廃棄する必要がある場合に生成されます。グループ内のポートの 1 次および 2 次の属性を検査して、矛盾がないようにしてください。

SRLY.023

レベル: C-INFO

短構文: SRLY.023 IP dest *ip_address* unrchble

長構文: SRLY.023 The IP destination *ip_address* is unreachable.

説明: このメッセージは、カプセル化された SDLC フレームが、フレーム内で指定された IP 宛先アドレスが到達不能であるために失われる場合に生成されます。ソフトウェアは、フレームの再送用に構成されている次の IP アドレスの使用を試みます。それ以上アドレスがない場合には、ソフトウェアはパケットを除去します。ユーザーは、DELETE IP-ADDRESS コマンドを使用して、IP アドレス・リストからこの IP アドレスを削除を試みる必要があります。

SRLY.024

レベル: CI-ERROR

短構文: SRLY.024 disc prmry->scndry pkt addr *SRLY_addrH* net congestd on nt *networkID*

長構文: SRLY.024 Discard SDLC frame with sdhc address *SRLY_addrH* heading to secondary station due to network congestion on network *networkID*

説明: 輻輳 (ふくそう) のために、SDLC フレームがネットワーク・インターフェースから廃棄されました。

原因: トラフィックのバーストによりアウトバウンド・フレームが輻輳 (ふくそう) しているか、または内部のソフトウェアに矛盾が発生している場合があります。

SRLY.025

レベル: CI-ERROR

短構文: SRLY.025 frm with sdhc addr *SRLY_addrH* grp *group_num* disc src scndry port dsbld

長構文: SRLY.025 A SDLC relay frame with sdhc address *SRLY_addrH* discarded due to the source secondary port of group *group_num* being disabled.

説明: 発信元ポート (フレームを発信した元) が使用不可にされているので、SDLC リレー・フレームが廃棄されました。

SRLY.026

レベル: CI-ERROR

短構文: SRLY.026 frm with sdhc addr *SRLY_addrH* grp *group_num* disc dst scndry port dsbld

長構文: SRLY.026 A SDLC relay frame with sdhc address *SRLY_addrH* discarded due to the destination secondary port of group *group_num* being disabled.

説明: あて先ポート（フレームの送信先）が使用不可にされているので、SDLC リレー・フレームが廃棄されました。

SRLY.027

レベル: CI-ERROR

短構文: SRLY.027 dsc prmry->scndry frm sdhc addr *SRLY_addrH* rjd rsn = *reason* on nt *networkID*

長構文: SRLY.027 discard net rejected sdhc frame address *SRLY_addrH* heading for secondary station with reject reason = *reason* on network *networkID*

説明: SDLC リレー・フレームが、ネットワーク・インターフェースによって拒否されて、廃棄されました。

Panic SRLYimem

短構文: SRLY mem alloc failed

説明: SRLY 転送機能が、初期化を完了するために十分な記憶域を割り振ることができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic sdhcudperr

短構文: SDLC Relay UDP port not avail

説明: 別のアプリケーションが以前に SDLC リレーの UDP ポートを使用して登録済みです。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic srlyprinit

短構文: srly_prinit called, not SRLY

説明: SDLC リレー回線ではないネットワークに、SDLC リレー・ハンドラーの初期化ルーチンが呼び出されました。

原因: おそらく、ソフトウェア生成エラーです。

処置: サービス技術員に連絡してください。

第92章 セキュリティー・プロトコル (SEC)

この章では、セキュリティ・プロトコル (SEC) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

SEC.001

レベル: C-INFO

短構文: SEC.001 Tacacs+: *A message*

長構文: SEC.001 TacacsPlus Message: *A message*

説明: Tacacs Plus に関する汎用メッセージ

SEC.002

レベル: C-INFO

短構文: SEC.002 Tacx+StartPacket: *A message*

長構文: SEC.002 TacacsPlus StartPacket Message: *A message*

説明: Tacacs Plus 開始パケットに関する汎用メッセージ

SEC.004

レベル: U-INFO

短構文: SEC.004 Tacacs conn to *neighbor* open on *sprt sourceport dprt destinationport*

長構文: SEC.004 Tacacs connection to *neighbor neighbor* open on *soure port sourceport destination port destinationport*

説明: この近隣のこの接続に関する OPEN メッセージを受け取りました。

原因: その近隣への接続が正常に完了しました。

処置: なし。これは、通知メッセージです。

SEC.005

レベル: C-INFO

短構文: SEC.005 Tacx+ContinuePacket: *A message*

長構文: SEC.005 TacacsPlus ContinuePacket Message: *A message*

説明: Tacacs Plus 継続パケットに関する汎用メッセージ

SEC.006

レベル: C-INFO

短構文: SEC.006 Tacx+ReplyPacket: *A message*

長構文: SEC.006 TacacsPlus ReplyPacket Message: *A message*

説明: Tacacs Plus 応答パケットに関する汎用メッセージ

SEC.007

レベル: C-INFO

短構文: SEC.007 TacPlus: [*id*,] *A message*

長構文: SEC.007 TacacsPlus Message: *id*, *A message*

説明: Tacacs Plus が要求 ID を提供する場合は汎用メッセージ

SEC.008

レベル: U-INFO

短構文: SEC.008 TacPlus: [*id*,] *A message*

長構文: SEC.008 TacacsPlus Message: [*id*,] *A message*

説明: Tacacs Plus クリーン・パス・メッセージに関する汎用メッセージ

SEC.009

レベル: ERROR

短構文: SEC.009 TacPlus: [*id*,] *A message*

長構文: SEC.009 Tacacs-Plus Message: [*id*,] *A message*

説明: Tacacs Plus に関する汎用メッセージ

SEC.010

レベル: C-INFO

短構文: SEC.010 TacPlus: *rq*[*id*,] *tcp*[*id2*,] *A message*

長構文: SEC.010 TacacsPlus Message: *id*, *id2*, *A message*

説明: Tacacs Plus が要求 ID および tcp ID を示す場合の汎用メッセージ

SEC.011

レベル: C-INFO

短構文: SEC.011 *A message*

長構文: SEC.011 Message: *A message*

説明: セキュリティー・プロトコルの汎用メッセージ

SEC.016

レベル: C-INFO

短構文: SEC.016 UDP port *port* not hooked

長構文: SEC.016 UDP port *port* not hooked

説明: 認証プロトコルが、パケットを受信するための UDP ポートをフックできませんでした。

SEC.017

レベル: C-INFO

短構文: SEC.017 Rcvd Resp for unknown id *id*

長構文: SEC.017 Received Response for unknown id *id*

説明: 認証プロトコルが応答を受信しましたが、未解決の要求のいずれにも合致しない応答でした。

SEC.018

レベル: C-INFO

短構文: SEC.018 Rcvd Invalid Authenticator

長構文: SEC.018 Received Invalid Authenticator

説明: Radius がパケットを受信しましたが、認証機能が無効なので、パケットを廃棄しました。

SEC.019

レベル: C-INFO

短構文: SEC.019 *direction packetType*

長構文: SEC.019 *direction packetType* packet

説明: 認証プロトコル UDP パケット・タイプを受信または送信しました。

SEC.020

レベル: C-INFO

短構文: SEC.020 No Srvr Cfd

長構文: SEC.020 No Server Addresses Configured packet

説明: サーバー・アドレスが、認証プロトコル用として構成されませんでした。

SEC.021

レベル: C-INFO

短構文: SEC.021 Radius hooked UDP port *port*

長構文: SEC.021 Radius hooked UDP port *port*

説明: Radius が、Radius パケットを受信するための UDP ポートをフックしませんでした。

SEC.022

レベル: C-INFO

短構文: SEC.022 *direction packetType* to *address* via *src* port *port*

長構文: SEC.022 *direction packetType* packet to *address* source *src* port *port*

説明: Radius パケット・タイプが、指定されたアドレスおよびポートに送信されました。

SEC.023

レベル: C-INFO

短構文: SEC.023 Auth *result* user= *user*

長構文: SEC.023 Authentication *result* user= *user*

説明: 認証に合格または不合格でした。

SEC.024

レベル: C-INFO

短構文: SEC.024 Auth Req Outstanding for *compId*

長構文: SEC.024 Auth Req Outstanding for *compId*

説明: 認証要求がこのネット上ですでに未解決になっているので、新しい要求を廃棄します。

SEC.025

レベル: C-INFO

短構文: SEC.025 Request List at Max = *maxSize*

長構文: SEC.025 Request List at Max = *maxSize*

説明: 要求リストが最大サイズに達しており、要求を廃棄せざるを得ませんでした。

SEC.026

レベル: C-INFO

短構文: SEC.026 *action* Request id= *id* compID= *size* list size=

長構文: SEC.026 *action* Request id= *id* compID= *size* list size=

説明: セキュリティー・リストに対する要求の追加/除去

SEC.027

レベル: C-INFO

短構文: SEC.027 *action compID= id*

長構文: SEC.027 *action compID= id*

説明: セキュリティー・アクションが行われています。

SEC.028

レベル: C-INFO

短構文: SEC.028 *Tacacs hooked UDP port port*

長構文: SEC.028 *Tacacs hooked UDP port port*

説明: Tacacs が、Tacacs パケットを受信するための UDP ポートをフックしました。

SEC.029

レベル: C-INFO

短構文: SEC.029 *direction packetType for id rqid to address via src port port*

長構文: SEC.029 *direction packetType packet for request id rqid to address source src port port*

説明: Radius パケット・タイプが、指定されたアドレスおよびポートに送信されました。

SEC.030

レベル: C-INFO

短構文: SEC.030 *action compID= id net: net*

長構文: SEC.030 *action completionID= id network number: net*

説明: ネットに対してセキュリティー・アクションが行われています。

第93章 シリアル・ライン・ネットワーク・インターフェース (SL)

この章では、シリアル・ライン・ネットワーク・インターフェース (SL) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

SL.001

レベル: CI-ERROR

短構文: SL.001 no bfr available for slftst on nt *network ID*

長構文: SL.001 no buffer available for selftest on network *network ID*

説明: インターフェース自己検査のために必要なときに、パケット・バッファが利用不能でした。

SL.007

レベル: U-TRACE

短構文: SL.007 slftst started on nt *network ID*

長構文: SL.007 selftest started on network *network ID*

説明: シリアル・ラインで、自己検査を開始中です。

SL.019

レベル: UE-ERROR

短構文: SL.019 cbl typ *cable_type* nt compt with lvl cnvt typ *level_converter_type*, nt *network ID*

長構文: SL.019 Cable of type *cable_type* is not compatible with level converter of type *level_converter_type*, network *network ID*

説明: インターフェース上のケーブルとレベル変換器に互換性がありません。自己検査は失敗します。

原因: レベル変換器のケーブル・タイプが間違っています。

処置: 正しいケーブル・タイプを使用してください。

原因: *cable_type* が "none" の場合は、ケーブルがありません。

処置: アダプター・ケーブルを接続してください。

原因: ケーブルが破損しているために、ケーブル・タイプを正しく示すことができません (非常にまれです)。

処置: ケーブルを交換してください。

SL.020

レベル: UI-ERROR

短構文: SL.020 *cable_type* can't be used with *internal_external* clk, nt *network ID*

長構文: SL.020 *cable_type* cable cannot be used with *internal_external* clocking enabled, network *network ID*

説明: ケーブルのモード (DCE または DTE) と使用されている刻時タイプに互換性がありません。インターフェースは起動しません。

原因: DTE ケーブルと内部クロックを使用しています。

処置: DCE ケーブルまたは外部クロックを使用してください。

原因: 外部クロック付き DCE ケーブル

処置: DTE ケーブルまたは内部クロックを使用してください。

SL.021

レベル: CE-ERROR

短構文: SL.021 slf tst failed, mdm sts: CTS = *cts*, DSR = *dsr*, DCD = *dcd*, nt *network ID*

長構文: SL.021 Self test failed because of modem status: CTS = *cts*, DSR = *dsr*, DCD = *dcd*, network *network ID*

説明: 少なくとも1つのモデム信号がオフであったために、インターフェースの自己検査が失敗しました。モデム信号の現在の状態が ELS メッセージに示されています。モデム信号の正常な状態は、RS-232、V.35、および V.36 の場合は、CTS=ON、DSR=ON、および DCD=ON です。X.21 の場合は、表示信号の正常な状態は ON です。ELS メッセージでは、DCD は X.21 表示信号を表します。HSSI の場合は、CA 信号の正常な状態は ON です。ELS メッセージでは、DCD は HSSI CA 信号を表します。

原因: ケーブルがモデムに接続されていません。

処置: ケーブルを接続してください。

原因: モデムの電源が入っていません。

処置: モデムの電源を入れてください。

原因: モデム回線の相手側が正しく接続されていません (特に、DCD OFF)。

処置: モデムの問題を解決してください。

SL.022

レベル: C-INFO

短構文: SL.022 Modem status change CTS = *cts*, DSR = *dsr*, DCD = *dcd*, nt *network ID*

長構文: SL.022 Modem status change CTS = *cts*, DSR = *dsr*, DCD = *dcd*, on *network network ID*

説明: モデム状況の変更が発生しました。モデム信号の現在の状態が ELS メッセージに示されています。モデム信号の正常な状態は、RS-232、V.35、および V.36 の場合は、CTS=ON、DSR=ON、および DCD=ON です。X.21 の場合は、表示信号の正常な状態は ON です。ELS メッセージでは、DCD は X.21 表示信号を表します。HSSI の場合は、CA 信号の正常な状態は ON です。ELS メッセージでは、DCD は HSSI CA 信号を表します。

SL.023

レベル: CE-ERROR

短構文: SL.023 int dwn due to mdm sts: CTS = *cts*, DSR = *dsr*, DCD = *dcd*, nt *network ID*

長構文: SL.023 Interface down because of modem status: CTS = *cts*, DSR = *dsr*, DCD = *dcd*, network *network ID*

説明: モデムの信号の1つがオフになったので、インターフェースがダウンしました。モデム信号の正常な状態は、RS-232、V.35、および V.36 の場合は、CTS=ON、DSR=ON、および DCD=ON です。X.21 の場合は、表示信号の正常な状態は ON です。ELS メッセージでは、DCD は X.21 表示信号を表します。HSSI の場合は、CA 信号の正常な状態は ON です。ELS メッセージでは、DCD は HSSI CA 信号を表します。

SL.024

レベル: UI-ERROR

短構文: SL.024 conf frame sz *configured_size* too large, reducing to *maximum_size*, nt *network ID*

長構文: SL.024 Configured frame size of *configured_size* bytes too large, reducing to *maximum_size* bytes, network *network ID*

説明: このインターフェースにユーザーが構成したフレーム・サイズが、特定のシリアル・ライン装置に許される最大サイズを超えています。サイズは、最大許容フレーム・サイズに縮小されます。

原因: 構成が許容サイズを超えています。

処置: サイズを再構成して、再始動します。

SL.027

レベル: UI-ERROR

短構文: SL.027 No level conv, disabling nt *network ID*

長構文: SL.027 No level converter, disabling network *network ID*

説明: シリアル・アダプターのこのポート上にレベル変換器がありません。自己検査は失敗し、それ以降の自己検査は取り消されます。

原因: レベル変換器がありません。

処置: ポートにレベル変換器を追加してください。

原因: レベル変換器に欠陥があり、インストールされていないものと見なされています。

処置: レベル変換器を交換してください。

SL.028

レベル: UI-ERROR

短構文: SL.028 Unk level conv *converter_type*, disabling nt *network ID*

長構文: SL.028 Unknown level converter type *converter_type*, disabling network *network ID*

説明: シリアル・アダプターのこのポート上にレベル変換器がありますが、そのタイプが確認不能です。自己検査は失敗し、それ以降の自己検査は取り消されます。

原因: レベル変換器のタイプが認識できません。

処置: このタイプのレベル変換器をサポートしている、新しいソフトウェアにアップグレードしてください。

原因: レベル変換器に欠陥があり、認識できないタイプであると見なされています。

処置: レベル変換器を交換してください。

SL.034

レベル: UE-ERROR

短構文: SL.034 no cable installed, nt *network ID*

長構文: SL.034 No cable installed or installed cable broken or non-compatible, network *network ID*

説明: システムが、ネットワーク・インターフェース用のアダプター・ケーブルを検出しません。自己検査は失敗します。

原因: ケーブルが取り付けられていません。

処置: 正しいアダプター・ケーブルを接続してください。

原因: ケーブルが破損しているために、ケーブル・タイプを正しく示すことができません (非常にまれです)。

処置: ケーブルを交換してください。

第94章 サーバー・キャッシュ同期プロトコル (SCSP)

この章では、サーバー・キャッシュ同期プロトコル (SCSP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

SCSP.002

レベル: U-TRACE

短構文: SCSP.002 Add SG nt network sg server_group rc return_code

長構文: SCSP.002 Add Server Group. Network network SGID server_group rc return_code

説明: サーバー・グループが追加されました。戻りコードが 0 であれば、即時に正常に行われたことを示しています。1483 クライアントは後で動作可能になる場合があります。SG UP を示している ELS を探します。

SCSP.003

レベル: U-TRACE

短構文: SCSP.003 Del SG nt network sg server_group rc return_code

長構文: SCSP.003 Delete Server Group. Network network SGID server_group rc return_code

説明: サーバー・グループが削除されました。戻りコードが 0 であれば、正常に行われたことを示しています。

SCSP.004

レベル: UE-ERROR

短構文: SCSP.004 Mult DCS nt network sg server_group dcs dcs_id

長構文: SCSP.004 Multiple DCS IDs at a ATM address. Network network SGID server_group DCSID dcs_id

説明: SCSP メッセージを DCS から受信しましたが、DCS ID が、その ATM アドレスから以前受信した DCS ID に一致しません。メッセージは廃棄されます。DCS_ID は、その ATM アドレスにすでにある DCS の ID です。

原因: 構成エラー

SCSP.005

レベル: UI-ERROR

短構文: SCSP.005 out of memory

長構文: SCSP.005 An error occurred when attempting to allocate memory

説明: 記憶域の割り振りを試みているとき、エラーが起きました。記憶域が使い尽くされています。

原因: 過負荷

SCSP.006

レベル: U-INFO

短構文: SCSP.006 DCS not config. nt network sg server_group dcs DCS_ID

長構文: SCSP.006 Message received from unconfigured DCS. nt network sg server_group dcs DCS_ID

説明: メッセージを DCS から受信しましたが、その DCS はこのサーバー・グループのもとで構成されていませんでした。構成がセキュア・モードを示しているので、自動的にアップになる DCS はありません。

SCSP.007

レベル: U-TRACE

短構文: SCSP.007 SCSP up on nt network

長構文: SCSP.007 SCSP initialized on network network

説明: 示されているネットワークがアップになり、このネットワーク用として SCSP が初期化されました。

SCSP.008

レベル: U-TRACE

短構文: SCSP.008 Add DCS nt network sg server_group atm partial_atm_addr

長構文: SCSP.008 A DCS is added to network network, server group server_group, atm addr (esi,sel) partial_atm_addr

説明: 示されているサーバー・グループに DCS が追加されました。チャネルはまだアップではなく、DCSID もまだありません。

SCSP.009

レベル: U_INFO

短構文: SCSP.009 Hello on down DCS, nt *network sg server_group*

長構文: SCSP.009 Hello msg received on down DCS, network *network*, server_group *server_group*

説明: これが起こりえたとすれば、ハローを獲得したものの、このチャンネルに関して、API からまだ *channel_up* を受信していない場合だけですが、実際には起こるはずありません。

SCSP.010

レベル: U_TRACE

短構文: SCSP.010 DCS Hello state chg to *dcs_hello_state*, nt *network sg server_group dcs dcsid*

長構文: SCSP.010 DCS Hello FSM state change to *dcs_hello_state* on network *network*, server group *server_group*, DCSID *dcsid*

説明: DCS ハロー有状態機械が状態を変更しました。状態には、以下のものがあります。DOWN - チャンネルがまだアップになっていない。DOWN_INOP - チャンネルがまだオープンされていない。WAITING - DCS からのハロー・メッセージを待っている。UNIDIRECTIONAL - ハロー・メッセージを受信したが、こちらの LSID が含まれていなかった。BIDIRECTIONAL - 最終状態で、ハローを交換する。

SCSP.011

レベル: U_INFO

短構文: SCSP.011 RID doesn't match LSID, nt *network sg server_group dcs dcsid*

長構文: SCSP.011 RID in received msg doesn't match LSID of this DCS. network *network*, server group *server_group*, DCSID *dcsid*

説明: メッセージの中の受信側 ID が、特定の DCS の構成済み LSID に一致しません。

SCSP.012

レベル: P_TRACE

短構文: SCSP.012 Hello rcvd nt *network sg server_group dcs dcsid*

長構文: SCSP.012 Hello message received on network *network*, server group *server_group*, DCSID *dcsid*

説明: 通常のハロー・メッセージ

SCSP.013

レベル: U_TRACE

短構文: SCSP.013 DCS CA state chg to *dcs_ca_state/ dcs_master_state*, nt *network sg server_group dcs dcsid*

長構文: SCSP.013 DCS CA FSM state change to *dcs_ca_state/ dcs_master_state* on network *network*, server group *server_group*, DCSID *dcsid*

説明: DCS キャッシュ調整有限状態機械が状態を変更しました。DOWN - ハローがまだ交換されていない。MS_NEG - マスター/スレーブの折衝。SUMMARIZE - キャッシュ要約レコードの交換。UPDATE - データベース・レコードの交換。ALIGNED - 最終状態。

SCSP.014

レベル: UE_ERROR

短構文: SCSP.014 CA msg rejected nt *network sg server_group dcs dcsid*

長構文: SCSP.014 CA msg rejected nt *network sg server_group dcs dcsid*

説明: 以下に挙げる理由の 1 つにより、受信した CA メッセージをリジェクトしました。MS_NEG であり、M/S 請求を受け入れない。SUMMARIZE、UPDATE、または ALIGNED であり、I フラグが設定されているか、M フラグが正しくない。SUMMARIZE、UPDATE、または ALIGNED および MASTER であり、シーケンス番号がこちらのシーケンス番号より小さい。SUMMARIZE/SLAVE で、シーケンス番号がこちらの最後のシーケンス番号より 1 だけ大きくない。UPDATE または ALIGNED で、重複ではない。DOWN 状態である。

SCSP.015

レベル: P_TRACE

短構文: SCSP.015 CA rcvd nt *network sg server_group dcs dcsid*

長構文: SCSP.015 CA message received on network *network*, server group *server_group*, DCSID *dcsid*

説明: キャッシュ調整メッセージを受信しました。

SCSP.016

レベル: UE_ERROR

短構文: SCSP.016 CSUS msg rejected nt *network sg server_group dcs dcsid*

長構文: SCSP.016 CSUS msg rejected nt *network sg server_group dcs dcsid*

説明: 以下に挙げる理由の 1 つにより、受信した CSUS メッセージをリジェクトしました。状態が UPDATE または ALIGNED でない。

SCSP.017

レベル: UE_ERROR

短構文: SCSP.017 Bad message nt *network sg server_group dcs dcsid*

長構文: SCSP.017 Bad message nt *network sg server_group dcs dcsid*

説明: 以下に挙げる理由の 1 つにより、受信したメッセージをリジェクトしました。示されている長さに対して、パケットが短過ぎた。パケットに含まれていた CSA または CSAS レコードが短過ぎた。

SCSP.018

レベル: P_TRACE

短構文: SCSP.018 CSA rcvd nt *network sg server_group dcs dcsid cpa protocol_addr csa_state*

長構文: SCSP.018 Cache Update received nt *network sg server_group dcs dcsid cpa protocol_addr csa_state*

説明: キャッシュ更新を特定の DCS から受信しました。CPA はプロトコル・アドレスです。

SCSP.019

レベル: U_TRACE

短構文: SCSP.019 Hello missed, state chg to *dcs_hello_state*, nt *network sg server_group dcs dcsid*

長構文: SCSP.019 Hello message missed, FSM state change to *dcs_hello_state* on *network network*, *server group server_group*, DCSID *dcsid*

説明: 休止係数 (Dead Factor) をハロー・インターバル倍した時間内に、DCS からハロー・メッセージを受信しませんでした。

SCSP.020

レベル: U_TRACE

短構文: SCSP.020 CA missed, retransmitting, nt *network sg server_group dcs dcsid*

長構文: SCSP.020 CA message missed, retransmitting, *network network*, *server group server_group*, DCSID *dcsid*

説明: SUMMARIZE 状態のとき、予期された期間内に、DCS から CA メッセージを受信しませんでした。

SCSP.021

レベル: U_TRACE

短構文: SCSP.021 CSUS missed, retransmitting, nt *network sg server_group dcs dcsid*

長構文: SCSP.021 CSUS message missed, retransmitting, *network network*, *server group server_group*, DCSID *dcsid*

説明: UPDATE 状態のとき、予期された期間内に、DCS から CSUS メッセージを受信しませんでした。

SCSP.022

レベル: U_TRACE

短構文: SCSP.022 retransmitting CSAs, nt *network sg server_group dcs dcsid*

長構文: SCSP.022 retransmitting CSAs. *network network*, *server group server_group*, DCSID *dcsid*

説明: CSU_REQ メッセージ内で送信された CSA に確認応答されませんでした。再送中です。

SCSP.024

レベル: UE_ERROR

短構文: SCSP.024 sg (*server_group*) bad in msg nt *network*

長構文: SCSP.024 message contains a sg (*server_group*) that is not configured. *network network*

説明: メッセージまたは CSA を受信したのが、このネットワーク上に構成されていないサーバー・グループについてです。

SCSP.025

レベル: UE_ERROR

短構文: SCSP.025 bad msg type (*message_type*) nt *network*

長構文: SCSP.025 bad message type (*message_type*) received on *network network*

説明: メッセージを受信しましたが、メッセージ・タイプが確認不能です。

SCSP.026

レベル: UE_ERROR

短構文: SCSP.026 bad msg hdr nt *network*

長構文: SCSP.026 bad message header received on *network network*

説明: 受信したメッセージが不良です。理由は次のいず

れか 1 つである可能性があります。メッセージ・パージ
ョンが無効。チェックサムの誤り。

SCSP.027

レベル: U_TRACE

短構文: SCSP.027 EP state chg (*ep_state*) nt *network* SG
server_group

長構文: SCSP.027 Endpoint state change to *ep_state*,
network network, SGID *server_group*

説明: このサーバー・グループが使用しているエンドポ
イント・アドレスまたは ATM アドレスが状態を変更し
ました。 0 は動作不可能で、1 は動作可能です。

SCSP.028

レベル: P_TRACE

短構文: SCSP.028 *message_type* msg sent nt *network* sg
server_group sid *sender_id* rid *receiver_id*

長構文: SCSP.028 *message_type* message sent on *network*
network server group *server_group*. sid *sender_id* rid
receiver_id

説明: 特定のタイプのメッセージの送信中です。 SID は
送信側 ID (LSID) です。 RID は受信側 ID (DCS ID) で
す。

SCSP.029

レベル: P_TRACE

短構文: SCSP.029 CSUS rcvd nt *network* sg *server_group*
dc *dc*sid

長構文: SCSP.029 CSUS message received on *network*
network, server group *server_group*, DCSID *dc*sid

説明: キャッシュ状態更新勧誘メッセージを受信しまし
た。

SCSP.031

レベル: P_TRACE

短構文: SCSP.031 *message_type* msg rcvd nt *network* sg
server_group sid *sender_id* rid *receiver_id*

長構文: SCSP.031 *message_type* message received on
network network server group *server_group*. sid *sender_id* rid
receiver_id

説明: 特定のタイプのメッセージの受信中です。 SID は
送信側 ID (LSID) です。 RID は受信側 ID (DCS ID) で
す。

SCSP.032

レベル: U_TRACE

短構文: SCSP.032 CSA retry exceeded, state chg to
dc *dc* *hello_state*, nt *network* sg *server_group* *dc* *dc*sid

長構文: SCSP.032 CSA retry count exceeded, HFSM state
change to *dc* *hello_state* on *network network*, server group
server_group, DCSID *dc*sid

説明: 数回の試行後も、DCS は CSA の受信を確認しま
せんでした。これは異常事象と見なされます。DCS は
WAITING 状態にリセットされます。

SCSP.033

レベル: C_TRACE

短構文: SCSP.033 cache entry *cache_action*, paddr
protocol_address, oid *origin_id*., key *cache_key*

長構文: SCSP.033 cache entry *cache_action*, protocol
address *protocol_address*, origin ID *origin_id*., cache key
cache_key

説明: SCSP キャッシュ要素の作成、更新、リンク解除、
または経過時間切れです。 *cache_action* は、次のいずれか
1 つです。 *created* - キャッシュ要素が作成される。
updated - シーケンス番号が更新される。 *relinked* - 更新
および再リンク。 *unlinked* - サーバーがキャッシュ項目
を除去中。 *ignored* - シーケンス番号の大きさが足りない
ため、更新が無視される。 *aged* - 経過時間切れ。

SCSP.034

レベル: UE_ERROR

短構文: SCSP.034 duplicate SG registration (*server_group*)
nt *network*

長構文: SCSP.034 duplicate server group registration (*server_group*) on *network network*

説明: サーバーがサーバー・グループの開始を試みまし
たが、そのサーバー・グループ ID がすでに使用されてい
たものです。構成を調べて、サーバー・グループ ID が重
複していないかどうか確認します。

第95章 シンプル・ネットワーク管理プロトコル (SNMP)

この章では、シンプル・ネットワーク管理プロトコル (SNMP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

SNMP.001

レベル: P-TRACE

短構文: SNMP.001 rcvd pkt frm hst *source_address*

長構文: SNMP.001 received packet from host *source_address*

説明: このメッセージは、リモート・ホストから各 SNMP パケットを受信するたびに生成されます。

SNMP.002

レベル: P-TRACE

短構文: SNMP.002 snt pkt to hst *dest_address*

長構文: SNMP.002 sent packet to host *dest_address*

説明: このメッセージは、リモート・ホストに各 SNMP パケットを送信するたびに生成されます。

SNMP.003

レベル: UE-ERROR

短構文: SNMP.003 rcvd non-SNMP pkt frm hst *source_address* (err= *value*)

長構文: SNMP.003 received non-SNMP packet from host *source_address* (error code = *value*)

説明: このメッセージは、着信 SNMP パケットの第 1 レベル合理性検査によって生成されます。エラー・コードには、以下のような意味があります。 1 - パケットが SEQUENCE (0x30) で始まっていない。 2 - パケット順序の長さが短過ぎる。 3 - パケット順序の長さのコード化 (1 バイト) が不適正である。 4 - 最初のパケット・フィールドが ASN.1 INTEGER でない。 5 - パケット順序の長さのコード化 (2 バイト) が不適正である。 6 - 最初のパケット・フィールドが ASN.1 INTEGER でない。 7 - 何か別のエラーが検出された。

原因: ネットワーク上の他のノードが、間違った形式の SNMP パケットをルーターに送信しました。

処置: エラー・メッセージに指定されているリモート・ノードにエラーがないか調べてください。

SNMP.004

レベル: UE-ERROR

短構文: SNMP.004 bad ver *version* frm hst *source_address*

長構文: SNMP.004 bad version number *version* from host *source_address*

説明: このメッセージは、SNMP パケットに間違ったバージョン番号が含まれていることを示しています。

原因: ルーターまたはネットワーク管理プログラムが、互換性のないバージョンを実行しています。

処置: SNMP の一方のバージョンを更新 (またはバックアウト) してください。

原因: 不良パケットが、第 1 レベル・エラー検査で見落とされました。

処置: ネットワークにワイルド・パケットがないか検査してください。

SNMP.005

レベル: U-TRACE

短構文: SNMP.005 no access: comm *community*, hst *source_address*

長構文: SNMP.005 no access to community *community* from host *source_address*

説明: このメッセージは、リモート・ホストからの SNMP 要求が、存在しないコミュニティ、またはそのホストの IP アドレスを受け入れ可能としてリストしていないコミュニティを指定していることを示しています。

原因: リモート・ホストが間違ったコミュニティ名を使用しています。

処置: リモート・ホストのネットワーク管理プログラムを更新してください。

原因: ルーターに定義されているコミュニティが間違っています。

処置: コミュニティ名を訂正するか、リモート・ホストの IP アドレスをコミュニティのリストに追加してください。

SNMP.006

レベル: UE-ERROR

短構文: SNMP.006 bad appl type *appl_type* frm hst *source_address*

長構文: SNMP.006 bad application type *appl_type* from host *source_address*

説明: このメッセージは、SNMP パケットに間違った要求タイプがあったことを示します。つまり、GET、GETNEXT、または SET 要求ではなかったということです。

原因: リモート・ホストにエラーがあります (おそらく、応答パケットを送信しています)。

処置: リモート・ホストを検査してください。

原因: 不良パケットが、第 1 レベル・エラー検査で見落とされました。

処置: ネットワークにワイルド・パケットがないか検査してください。

SNMP.007

レベル: UI-ERROR

レベル: OOM

短構文: SNMP.007 no free pkr bfr

長構文: SNMP.007 no packet buffer available

説明: このメッセージは、SNMP が、SNMP 応答を作成するパケットを割り振ることができない場合に生成されます。

原因: 使用可能な空き記憶域はすべて現在システム上で使用中です。

処置: 後で照会を再試行します。これが正常に行われな
ない場合は、記憶域のアップグレードが必要になる可能性
があります。記憶域の統計を監視して、使用状況を調べ
てください。

SNMP.008

レベル: U-TRACE

短構文: SNMP.008 R/O access for SET: hst *source_address*,
comm *community*

長構文: SNMP.008 SET request from host *source_address*
has read-only access on community *community*

説明: このメッセージは、SET 要求が着信したのが、
MIB への読み取り専用アクセスしか提供しないコミュニ
ティであったことを示します。

処置: SET が可能なコミュニティを提供するか、リモ

ート・ホストに SET 要求の送信を停止させるようにして
ください。

SNMP.009

レベル: UI-ERROR

レベル: OOM

短構文: SNMP.009 TRAP: no free pkt bfr

長構文: SNMP.009 TRAP: no free packer buffer available

説明: SNMP が記憶域を割り振ることができないため、
トラップを送信するたびに、このメッセージが生成され
ます。

原因: 使用可能な空き記憶域はすべて現在システム上で
使用中です。

処置: 記憶域のアップグレードが必要になる可能性があ
ります。記憶域の統計を監視して、使用状況を調べてく
ださい。

SNMP.012

レベル: C-TRACE

短構文: SNMP.012 comm *name* added

長構文: SNMP.012 community *name* added

説明: SNMP 構成ルーチンが SRAM から新規コミュニ
ティを読み取るたびに、このメッセージが同構成ルー
チンによって生成されます。

SNMP.013

レベル: UE-ERROR

短構文: SNMP.013 rcvd non-SNMP pkt frm hst
source_address

長構文: SNMP.013 received non-SNMP packet from host
source_address

説明: このメッセージは、着信 SNMP パケットの合理性
検査によって生成されます。この検査は、PDU を処理す
る直前に行われます。

原因: ネットワーク上の別のノードが、間違った形式の
SNMP パケットをルーターに送信し、そのパケットが第
1 レベル・エラー検査で見落とされました。

処置: エラー・メッセージに指定されているリモート・
ノードにエラーがないか調べてください。

SNMP.014

レベル: UE-ERROR

短構文: SNMP.014 bad ovarlen *source_address* frm hst *ovarlen*

長構文: SNMP.014 length of variable to be sent out exceeds max length *source_address* from host *ovarlen*

説明: このメッセージは、送信される変数の長さの検査によって生成されます。

原因: ネットワーク上の別のノードが、間違っ形式の SNMP パケットをルーターに送信し、そのパケットが第 1 レベル・エラー検査で見落とされました。

処置: エラー・メッセージに指定されているリモート・ノードにエラーがないか調べてください。

SNMP.015

レベル: P-TRACE

短構文: SNMP.015 rcvd get-req pkt frm hst *source_address*

長構文: SNMP.015 received a get-request packet from host *source_address*

説明: このメッセージは、リモート・ホストから get-request タイプの各 SNMP パケットを受信するたびに生成されます。

SNMP.016

レベル: P-TRACE

短構文: SNMP.016 rcvd get-nxt pkt frm hst *source_address*

長構文: SNMP.016 received a get-next packet from host *source_address*

説明: このメッセージは、リモート・ホストから get-next タイプの各 SNMP パケットを受信するたびに生成されます。

SNMP.017

レベル: P-TRACE

短構文: SNMP.017 rcvd set-req pkt frm hst *source_address*

長構文: SNMP.017 received a set-request packet from host *source_address*

説明: このメッセージは、リモート・ホストから set-request タイプの各 SNMP パケットを受信するたびに生成されます。

SNMP.018

レベル: U-TRACE

短構文: SNMP.018 pkt frm hst : *source_address* caused err typ toobig

長構文: SNMP.018 packet from host *source_address* resulted in a pkt with error status: toobig

説明: このメッセージは、パケットが送り出されたが、問題の SNMP 変数がパケット・サイズに収まらなかった結果、too big というエラー状況であることを示します。

処置: パケット・サイズを大きくしてください。

SNMP.019

レベル: U-TRACE

短構文: SNMP.019 pkt frm hst : *source_address* caused err typ nosuchnam

長構文: SNMP.019 packet from host *source_address* resulted in a pkt with error status: nosuchname

説明: このメッセージは、パケットが送り出されたが、問題の SNMP 変数がシステム内、または指定されたコミュニティに関連するビュー内に存在しなかった結果、noSuchName というエラー状況であるか、または操作が読み取り専用変数に対する SET であることを示します。

処置: 要求された変数が (また、変数の特定のインスタンスも) システム内に存在し、その変数が要求されたビュー内にあり、コミュニティに正しいアクセス・タイプがあり、SET 操作の場合に、要求された変数が書き込み可能であるようにしてください。

SNMP.020

レベル: U-TRACE

短構文: SNMP.020 pkt frm hst : *source_address* caused err typ badvalue

長構文: SNMP.020 packet from host *source_address* resulted in a pkt with error status: badvalue

説明: このメッセージは、パケットが送り出されたが、SET 要求に誤った値を指定して変数の設定を試みた結果、badvalue というエラー状況であったことを示します。

処置: リモート・ホストからの SET 要求は、設定しようとしている値の ASN1 タイプに矛盾しない値を指定してください。

SNMP.021

レベル: UE-ERROR

短構文: SNMP.021 Pkt discd, inp buffs low, net *Network ID*

長構文: SNMP.021 Packet Discarded, input buffers are low, network *Network ID*

説明: 着信 SNMP パケットの入力バッファ・プールが、最低水準より下に落ちました。ルーターは SNMP パケットを除去して、他のトラフィックのためにバッファ・スペースを解放することを試みました。

原因: トラフィック・バーストが、インターフェース上の入力バッファでオーバーフローしました。

処置: このメッセージが頻繁に出る場合は、メッセージに示されたインターフェースの入力バッファを大きくする必要があるかもしれません。

SNMP.022

レベル: UE-ERROR

短構文: SNMP.022 ext err (*tag*) at *file(line) : message*

長構文: SNMP.022 code encountered external error (*tag*) at *file(line) : message*

説明: SNMP コードが、外部事象によって生じたエラー状態を検出しました。

処置: エラー・メッセージに応じて適切な処置を取ってください。

SNMP.023

レベル: UI-ERROR

短構文: SNMP.023 int err (*tag*) at *file(line) : message*

長構文: SNMP.023 code encountered internal error (*tag*) at *file(line) : message*

説明: SNMP コードが、内部事象によって生じたエラー状態を検出しました。

処置: エラー・メッセージに応じて適切な処置を取ってください。

SNMP.024

レベル: C-TRACE

短構文: SNMP.024 generic trc (*tag*) at *file(line) : message*

長構文: SNMP.024 generic trace message (*tag*) at *file(line) : message*

説明: SNMP コードがメッセージを生成しました。トレ

ース・メッセージは、P1 (最上位)、P2、P3、および P4 に分類されます。

処置: トレース・メッセージに応じて適切な処置を取ってください。

SNMP.025

レベル: C-TRACE

短構文: SNMP.025 trc sgmt: *trace_segment*

長構文: SNMP.025 trace segment is generated *trace_segment*

説明: SNMP コードがトレース・セグメントを生成しました。

処置: トレース・セグメントに応じて適切な処置を取ってください。

SNMP.026

レベル: C-TRACE

短構文: SNMP.026 pkt trc (*tag*) at *file(line) : message*

長構文: SNMP.026 snmp packet trace (*tag*) at *file(line) : message*

説明: *snmp_packet* がトレースされていることを示します。SNMP_25 をオンにして、パケット情報の残りを入手する必要があります。

SNMP.027

レベル: C-TRACE

短構文: SNMP.027 snmp container (*tag*) at *file(line)*

長構文: SNMP.027 snmp main data structure trace (*tag*) at *file(line)*

説明: SNMP の主要なデータ構造がトレースされていることを示します。SNMP_25 をオンにして、パケット情報の残りを入手する必要があります。

SNMP.028

レベル: CI-ERROR

短構文: SNMP.028 err (*tag*) at *file(line) : message*

長構文: SNMP.028 code encountered error (*tag*) at *file(line) : message*

説明: SNMP コードがエラー状態を検出しました。メッセージは、E1 (最も重大)、E2、および E3 のレベルに分類されます。

処置: エラー・メッセージに応じて適切な処置を取ってください。

Panic nmnostor

短構文: SNMP: no storage for MIB

説明: MIB に項目を追加するために利用可能な記憶域がありませんでした。

Panic nmitype

短構文: SNMP: interface type not defined for net

説明: インターフェースを定義する構造体が、MIB-II ifType 変数の値を定義していません。

処置: 新規ロードについては、サービス技術員に連絡してください。このロードを用いて試行したり、SNMP を使用可能にしたりしてはなりません。

Panic snmpudperr

短構文: snmp udp port not avail

説明: 別のアプリケーションが前に SNMP の UDP ポートに登録済みです。

処置: サービス技術員に連絡してください。

第96章 ソース・ルーティング透過型 (SRT) ブリッジ

この章では、ソース・ルーティング透過型 (SRT) ブリッジ・メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

SRT.001

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.001 No buf to dup broadcast frame
source_mac-> dest_mac to port *port*, nt *network*

長構文: SRT.001 No buffer available to duplicate frame
from *source_mac* to *dest_mac* on to port *port*, network
network

説明: 複数のインターフェースでブリッジ・フレームを送信するために、フレームをコピーするバッファがありません。マルチキャスト先アドレスの場合、または特定の静的エントリーの場合、ブリッジ・パケットは複数のインターフェースで送信されます。指定のポートおよびネットワークでは、このフレームのコピーは送信されません。

原因: 重大なパケット・バッファの不足

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。

原因: トラフィック・ピークで、利用可能なバッファがすべて使われています。

処置: 問題になるのは、このメッセージが出る頻度が低い場合です。

SRT.002

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.002 Err *error_code* setting promisc mode on
nt *network*

長構文: SRT.002 Error code *error_code* trying to set
promiscuous mode on network *network*

説明: スパニング・ツリー・プロトコルがこのネットワークを確認状態に設定することを要求しましたが、装置に対するコマンドが正常に行われませんでした。*error_code* は、装置特定エラー・コードで、そのエラーが何かを示しています。

原因: ハードウェア障害またはソフトウェア・バグ

処置: サービス技術員に連絡してください。

SRT.003

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.003 Hw cache full on port *port* nt *network*

長構文: SRT.003 Hardware cache full on port *port* network
network

説明: 内部フィルターおよび確認のために使用されるハードウェア・キャッシュが、エントリーの経年処理を試みているときに、満ぱい条件を検出しました。

原因: ハードウェア・キャッシュ内のエントリーが多過ぎます。

処置: 分解能の期間を短縮してください。

SRT.004

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.004 No buf for *command_name* cmd to nt
network

長構文: SRT.004 No buffer available for *command_name*
command to network *network*

説明: 装置にコマンドを送信するために利用可能なバッファがありませんでした。使用できるコマンド名としては、"D_CNFGSRB" (ソース・ルーティング・ブリッジングの構成)、"SRT_ON" (無差別オン)、"SRT_INFORM" (装置の機能の確認)、"SRT_SET_AGE" (装置内フィルター・データベースの経過時間の設定)、"SRT_DECR_AGE" (装置内フィルター・データベースに対する経時パスの実行)、"SRT_ADD_ENTRY" (静的エントリーの追加)、"SRT_DEL_ENTRY" (エントリーの削除、コンソールから)、"SRT_SEARCH_ENTRY" (特定のエントリーの探索、コンソールから)、および "SRT_LIST_ENTRY" (カード内確認データベースの内容のリスト) があります。コマンド "D_CNFGSRB" および "SRT_ON" の場合は、インターフェースは間違った状態のままであるという結果になりかねません。"SRT_INFORM" での失敗は、重大な問題を生じる可能性があります。その他のコマンドの場合は、それほど重大な結果にはなりません。

原因: 重大なパケット・バッファの不足

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。

原因: トラフィック・ピークで、利用可能なバッファがすべて使われています。

処置: 問題になるのは、このメッセージが出る頻度が低い場合です。

SRT.005

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.005 *source_mac-> dest_mac* send fld, rsn *reason_code*, port *port* nt *network*

長構文: SRT.005 Sending Frame from *source_mac* to *dest_mac* failed, reason *reason_code*, on port *port* network *network*

説明: 転送するパケットの送信が失敗しました。理由は、その障害の内部エラー・コードです。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、*network_name* を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたは不正な同報通信を回避するために、ハンドラーによって廃棄された (理由コード 4)

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

SRT.006

レベル: CI-ERROR

短構文: SRT.006 Input q ovf *source_mac-> dest_mac*, dropped, nt *network*

長構文: SRT.006 Input queue overflow on frame from *source_mac* to *dest_mac*, packet dropped from network *network*

説明: 転送の対象となるフレーム用の入力待ち行列が長過ぎ、輻輳 (ふくそう) を緩和する試みとして、このフレームは廃棄されました。

原因: バースト性トラフィックが輻輳 (ふくそう) の原因となっている場合があります。

処置: バーストが解消されるまで待ってください。

原因: トラフィックが多過ぎて、転送機能が転送できません。

処置: ネットワークを再構成してください。ルーターの速度を上げてください。

原因: バッファ資源が不十分です。

処置: GWCON 内の記憶域統計を調べてください。

SRT.008

レベル: CE-ERROR

短構文: SRT.008 *source_mac-> dest_mac* too big (*reformatted_length* > *output_maximum*) for port *port* nt *network*, dropped

長構文: SRT.008 Frame from *source_mac* to *dest_mac* is too big (*reformatted_length* *reformatted_length* bytes > *output_maximum* size *output_maximum* bytes) for port *port* network *network*, dropped

説明: 指定のフレームは、この発信ポートおよびネットワークで送信するには大き過ぎます。*reformatted_length* は、データ・リンク・ヘッダーのマッピング後の、MAC ヘッダーを含めたフレームのサイズです。

原因: 大きい最大フレーム・サイズをもつネットワーク上のホストが、これより小さい最大フレーム・サイズをもつネットワーク上のホストに送信しています。

処置: 送信ホストを再構成して、そのように大きいフレームを送信させないようにします。フレームが、フラグメントへの分割をサポートするルーティング可能プロトコル (IP または ISO など)、または最大フレーム・サイズ決定をサポートするルーティング可能プロトコル (DNA または XNS) の場合は、ブリッジングではなく、ルーティングの使用に変換します。

原因: 大きい最大フレーム・サイズをもつネットワーク上のホストが、これより小さい最大フレーム・サイズをもつネットワークを介して、ホストに送信しています。

処置: ネットワークを再構成して、最大フレーム・サイズが大きいネットワーク (FDDI または 802.5 など) をバックボーン・ネットワークとして使用します。スパンニング・ツリー・プロトコル内のポート・コストを再構成して、大きい最大フレーム・サイズをもつネットワークを介したスパンニング・ツリーが優先されるようにしてください。

SRT.009

レベル: UE-ERROR

短構文: SRT.009 *source_mac-> dest_mac* drp, nt *network* down

長構文: SRT.009 Frame from *source_mac* to *dest_mac*

dropped, input network *network* is down

説明: ダウンしているネットワークで、ブリッジするためのフレームを受信しました。これは無視されます。

原因: BPDU が、このインターフェース上のルーターのユニキャスト・アドレスあてに送信されました。

処置: 送信ノードの処置を訂正してください。

原因: 内部状態の矛盾

SRT.010

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.010 *source_mac-> dest_mac* drp, src add flt, port *port* nt *network*

長構文: SRT.010 Frame from *source_mac* to *dest_mac* dropped, source address filtered, port *port* network *network*

説明: ハードウェアが MAC フレームを受信しましたが、発信元 MAC アドレスがブリッジによって管理されてフィルター処理されます。フレームは廃棄されます。

原因: 発信元 MAC アドレスが発信元フィルターに合致するフレームを受信しました。

SRT.011

レベル: U-TRACE

短構文: SRT.011 *source_mac-> dest_mac* dropped, input port *port* nt *network* not forwarding

長構文: SRT.011 Frame from *source_mac* to *dest_mac* dropped, input port *port* network *network* not in forwarding state

説明: まだ "確認" 状態でしかないポート上で MAC フレームを受信しました。フレームがブリッジされるのは、ポートが "転送" 状態のときだけです。ポートがまだ "確認" 状態にある間は、フィルター・データベース用として発信元アドレスを確認するための、フレーム処理が行われるだけです。フレームはブリッジされません。

原因: "転送" 状態への遷移の一環をなす通常の過程です。

SRT.012

レベル: U-INFO

短構文: SRT.012 *source_mac-> dest_mac* dropped, output port *port* nt *network* not forwarding

長構文: SRT.012 Frame from *source_mac* to *dest_mac* dropped, output port *port* network *network* not in forwarding state

説明: MAC フレームはブリッジされている最中でした

が、あて先ポートが "転送" 状態ではありませんでした。そのポートでは、フレームは送信されません。

原因: 出力ポートがまだ "確認" 状態です。

処置: 何も必要ありません。ポートが "転送" に遷移するはずです。

原因: フィルター・データベース内の静的エントリーが指しているポートが、まだ "転送" 状態ではありません。

SRT.013

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.013 *source_mac-> dest_mac* drp, dst same LAN, port *port* nt *network*

長構文: SRT.013 Frame from *source_mac* to *dest_mac* dropped, destination on same LAN, port *port* network *network*

説明: MAC フレームを受信しましたが、そのあて先アドレスが、ブリッジのパケットが来た側と同じ側にあります。ブリッジする必要がないので、フレームはフィルター論理によって除去されます。

原因: ネットワーク上の通常のローカル・トラフィック。

SRT.014

レベル: CI-ERROR

短構文: SRT.014 *source_mac-> dest_mac* drp, dst port *port* not enabled, nt *network*

長構文: SRT.014 Frame from *source_mac* to *dest_mac* dropped, destination port *port* not enabled, network *network*

説明: ブリッジされている最中のフレームのあて先となっていたポートが、透過型ブリッジングを実行していないか、透過型ブリッジングに備えた "転送" 状態ではありません。

原因: フィルター・データベース内の静的エントリーが指しているポートが、まだ "転送" 状態ではありません。

SRT.015

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.015 *source_mac-> dest_mac* brdg port *port* nt *network* to port *port* nt *network*

長構文: SRT.015 Frame from *source_mac* to *dest_mac* bridged from port number *port* network *network* to port number *port* network *network*

説明: フレームが、これらの 2 つのインターフェース間でブリッジされています。あて先アドレスが分かっている

たので、正しいあて先ネットワークにのみ送信されました。

SRT.016

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.016 *source_mac-> dest_mac* brdg-all port *port nt network* to port *port nt network*

長構文: SRT.016 Frame from *source_mac* to *dest_mac* bridged to all ports from port number *port network network* to port number *port network network*

説明: フレームが、すべての活動透過型ブリッジ・ポートに透過的にブリッジされています。この状況が起こるのは、フレームのあて先がマルチキャストである場合、フレームのあて先が確認データベース内に存在しない場合、または確認データベース内の静的エントリーによって要求されている場合です。フレームが送信される各ポートごとに 1 つのメッセージが出されます。

SRT.017

レベル: U-INFO

短構文: SRT.017 Enabling SRT on port *port nt network*

長構文: SRT.017 Enabling SRT on port *port network network*

説明: SRT 転送機能は、指定のインターフェースでブリッジを使用可能にするためのプロセスを開始しています。これが開始されるのは、インターフェースが自己検査の後、アップ状態になるときです。

SRT.018

レベル: C-INFO

短構文: SRT.018 SRT startup complete on port *port nt network*

長構文: SRT.018 SRT startup complete on port *port network network*

説明: SRT 転送機能は、指定のインターフェースでブリッジを使用可能にするプロセスを完了しました。これから "閉そく" 状態に入ります。

SRT.019

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.019 Unsupp ifc typ *type_name*, nt *network*

長構文: SRT.019 Unsupported interface type *type_name*, network *network*

説明: SRT 転送機能が、サポートしていないタイプのイ

ンターフェースで使用可能にされました。

原因: ProNET-10 など、SRT をサポートしないインターフェース上で SRT を使用可能にしました。

SRT.020

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.020 Can't autocfg brdg addr, lowest port *port nt network* no MAC addr

長構文: SRT.020 Cannot autoconfigure the bridge address, the lowest numbered port *port network network* has no MAC address

説明: ブリッジ・アドレスが最小番号のポートの MAC アドレスに基づいて自動構成されるように、ユーザーがブリッジを構成しました。最小番号のポートが MAC アドレスをもっていないタイプ (たとえば、シリアル回線) です。

処置: SRT config> コマンド "SET BRIDGE" を使用して、ブリッジにアドレスを割り当てます。

SRT.022

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.022 Bridge config with no valid ports, disabling

長構文: SRT.022 Bridge configured with no valid ports, disabling the bridge

説明: ブリッジは使用可能にされましたが、そのブリッジ上にポートが構成されていないか、インターフェースとブリッジ・ポートの構成レコード間にミスマッチがありました。ブリッジは使用不可のままになります。

処置: ブリッジ・ポートと装置の間の構成の矛盾を解決してください。

SRT.023

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.023 Port *port* config on nonexistent network number *network_number*

長構文: SRT.023 Port *port* configured on nonexistent network number *network_number*

説明: Config> ADD DEVICE コマンドを用いて構成されていないネットワークを使用するように、ポートが構成されています。このブリッジのポートは使用不可にされます。

原因: ルーターの装置構成とブリッジ構成の間の矛盾

処置: ブリッジ構成内のネットワーク番号を訂正する

か、ネットワークを装置構成に追加するかしてください。

SRT.024

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.024 *existent_port_count* ports is < 2, disabling

長構文: SRT.024 *existent_port_count* existent ports is less than 2, disabling bridge

説明: ブリッジに構成されている (有効な) ポートが 2 つ未満です。少なくとも 2 つのポートがなければなりません。

原因: 構成されているポートが 2 つ未満です。

処置: さらにポートを追加するか、ブリッジングの試行および使用をしないようにします。

原因: 未構成装置上のポートが多過ぎます。

処置: ブリッジ・ポートと装置間の構成の矛盾を解決してください。

SRT.025

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.025 No mem for filt db (req *requested_size*, min *minimum_size*), disabl

長構文: SRT.025 No memory for filtering database (desired size *requested_size* bytes, absolute minimum size *minimum_size* bytes), disabling bridge

説明: 十分な空き記憶域がなくて、最小サイズのフィルター・データベースでさえ割り振ることができません。ブリッジは使用不可にされます。ブリッジは、*requestd_size* のバイト数を割り振る試みから始めた上で、徐々にサイズを小さくして、*minimum_size* に至るまで試行します。最小サイズには、登録済みエントリーと静的エントリーしか入りません。

原因: 重大な記憶域の不足

処置: 他のプロトコル内のルーティング・テーブル・サイズを縮小し、プロトコル数を減らしてシステムを使用し、ルーター内の記憶域を拡張します。

SRT.026

レベル: C-INFO

短構文: SRT.026 *source_mac*== *dest_mac*, drop, port *port* nt *network*

長構文: SRT.026 Frame from *source_mac* to *dest_mac*, source same as destination, dropping, from port *port* network *network*

説明: 同じアドレス間で送受信されるフレームは、このブリッジではブリッジされません。

SRT.027

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.027 Chg state *old_state* to *new_state*, port *port* nt *network*

長構文: SRT.027 Changing port state from *old_state* to *new_state* for port *port*, network *network*

説明: スパニング・ツリー・プロトコルが、SRT ブリッジ内のこのポートのこの状態変更を要求しました。*old_state* および *new_state* は、次のいずれか 1 つです。FORWARDING (スパニング・ツリー・プロトコル転送状態)、LEARNING (スパニング・ツリー・プロトコル確認状態)、LISTENING (スパニング・ツリー・プロトコル listen 状態)、BLOCKED (スパニング・ツリー・プロトコル閉そく状態)、CONFIGURING (ポート装置の構成保留)、POSTCONFIGURING (ポート装置の構成完了)、PRECONFIGURING (ポート使用可能、ポート装置の構成開始)、および DISABLED (ポート使用不可)。

SRT.028

レベル: UI_ERROR

短構文: SRT.028 No room for PERM *mac_address* in filt database, disabling

長構文: SRT.028 No room for permanent address *mac_address* in filtering database, disabling bridge

説明: フィルター・データベースに永続エントリーを入れる余地がありません。ブリッジは使用不可にされます。

原因: フィルター・データベースのサイズが小さ過ぎます。

処置: フィルター・データベースを大きくしてください。

原因: 永続エントリーが多過ぎます。

処置: 永続エントリーを減らして構成します。

SRT.029

レベル: UI_ERROR

短構文: SRT.029 No mem for PERM *mac_address*, disabling

長構文: SRT.029 No memory for permanent address *mac_address*, disabling bridge

説明: 補助データベースに永続エントリーを入れる余地がありません。ブリッジは使用不可にされます。

原因: 空き記憶域が少な過ぎます。

処置: ルーティング・データベースを小さくしてください。

処置: 記憶域のサイズを増やしてください。

原因: 永続エントリーが多過ぎます。

処置: 永続エントリーを減らして構成します。

SRT.030

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.030 *command* Cmd fld to net *network*

長構文: SRT.030 *command* command failed to network *network*

説明: ネットワーク装置へのコマンドが失敗しました。使用可能なコマンド名としては、“SRT_ON” (無差別オン)、“SRT_OFF” (無差別オフ)、“SRT_INFORM” (装置の機能の確認)、“SRT_ADD_ENTRY” (装置内静的エントリーの追加)、“SRT_SET_AGE” (装置内フィルター・データベースの経過時間の設定)、および “SRT_DECR_AGE” (装置内フィルター・データベースに対する経時パスの実行)があります。コマンド “SRT_ON” および “SRT_OFF” の場合は、インターフェースは間違った状態のままであるという結果になりかねません。“SRT_INFORM” での失敗は、重大な問題を生じる可能性があります。その他のコマンドの場合は、それほど重大な結果にはなりません。

原因: ハードウェア障害またはソフトウェア・バグ

処置: サービス技術員に連絡してください。

SRT.031

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.031 No buf to dup *routing_type* frame *source_mac*-> *dest_mac* to port *port*, nt *network*

長構文: SRT.031 No buffer available to duplicate *routing_type* frame from *source_mac* to *dest_mac* on to port *port*, network *network*

説明: 複数のインターフェース上で全ルート検索 (ARE) またはスパンニング・ツリー検索 (STE) *routing_type* フレームを送信するために、フレームをコピーする場合に使用可能なバッファがありません。ARE フレームは、SRT スパンニング・ツリーの一部をなす、すべてのインターフェース上で送信され、STE フレームは、ソース・ルーティングを実行する、すべてのインターフェース上で送信されます。指定のポートおよびネットワークでは、このフレームのコピーは送信されません。

原因: 重大なパケット・バッファの不足

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・

バッファ・レベルを確認してください。

原因: トラフィック・ピークで、利用可能なバッファがすべて使われています。

処置: 問題になるのは、このメッセージが出る頻度が低い場合です。

SRT.032

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.032 SR *source_mac*-> *dest_mac* send fld, rsn *reason_code*, port *port* nt *network*

長構文: SRT.032 Sending source routed frame from *source_mac* to *dest_mac* failed, reason *reason_code*, on port *port* network *network*

説明: 転送中のソース・ルーティング・フレームの送信が失敗しました。*reason_code* は、障害の内部エラー・コードです。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、*network_name* を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたは不正な同報通信を回避するために、ハンドラーによって廃棄された (理由コード 4)

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

SRT.033

レベル: C-TRACE

短構文: SRT.033 *routing_type* dup RD drop *source_mac*-> *dest_mac* from port *port*, nt *network*

長構文: SRT.033 *routing_type* with duplicate Route Descriptor from *source_mac* to *dest_mac* from port *port*, network *network*

説明: RIF 内に全ルート記述子 (ARE) またはスパンニング・ツリー検索 (STE) *routing_type* がある、ソース・ルーティング・フレームのルーティング記述子が、RIF 内で重複しています。フレームは廃棄されます。ソース・ル

ーティング領域に重複するパスが存在する場合、ARE フレームの場合は、これは正常です。STE フレームの場合は、これは、ソース・ルーティング・スパンニング・ツリーの一部になっているインターフェースがありますが、それが本来そうであってはならないインターフェースであることを示しています。

原因: すでにオンになっているセグメントからの ARE/STE の受信

処置: ARE の場合は、何も必要なく、これは正常です。STE の場合は、その "スパンニング・ツリー" を訂正することはできますが、必須ではありません。

SRT.034

レベル: UE-ERROR

短構文: SRT.034 SRF dup LOUT (RIF RIF) drop *source_mac-> dest_mac* from port *port*, nt *network*

長構文: SRT.034 SRF with duplicate LOUT (RIF RIF) from *source_mac* to *dest_mac* from port *port*, network *network*

説明: 特別ルーティング・フレーム (SRF) タイプのソース・ルーティング・フレームに重複 LOUT (発信 LAN ID) があります。これはイリーガルであり、フレームは廃棄されます。

原因: ステーションが、同じブリッジを 2 回以上通過する無効な RIF があるために永久にループするフレームを送信しています。

処置: ステーションがこの RIF を使用している原因を調べてください。手作業で構成された、間違っているものを使用しているか、ディスカバリー・アルゴリズムにバグがあるか、いずれかです。

SRT.036

レベル: UE-ERROR

短構文: SRT.036 STE max RD (RIF RIF) drop *source_mac-> dest_mac* from port *port*, nt *network*

長構文: SRT.036 Spanning Tree Explorer exceeds maximum Route Descriptors (RIF RIF) from *source_mac* to *dest_mac* from port *port*, network *network*

説明: スパンニング・ツリー検索 (STE) ソース・ルーティング・フレームに含まれるルート記述子の数が、このブリッジの構成で STE フレームに許されている数を超えています。フレームは廃棄されます。

原因: アップストリーム・ブリッジの STE RD 限界が、このブリッジのものと矛盾しています。

処置: ソース・ルーティング・ドメイン内のすべてのブ

リッジを再構成して、STE RD 限界を一致させてください。

原因: 構成された STE RD 限界に対して、ネットワークのホップ数が多過ぎます。

処置: ソース・ルーティング・ドメイン内のすべてのブリッジを再構成して、STE RD 限界をドメイン域の直径に一致させてください。

SRT.037

レベル: CE-ERROR

短構文: SRT.037 SRF unk LOUT (RIF RIF) drop *source_mac-> dest_mac* from port *port*, nt *network*

長構文: SRT.037 SRF with unknown LOUT (RIF RIF) from *source_mac* to *dest_mac* from port *port*, network *network*

説明: 特別ルーティング・フレーム (SRF) タイプのソース・ルーティング・フレームに、ルーター内の動作可能なソース・ルーティング・インターフェースのいずれの場合とも一致しない発信 LOUT (LAN ID Out) があります。パケットは廃棄されます。

原因: エンド・ステーションが、ルーター内のインターフェースがダウンする前に見付かった RIF を使用しています。

処置: 何も必要はありませんが、ステーション上のセッションが失敗し、ルート・ディスカバリーが再開されることになります。

原因: 着信セグメント上の複数のブリッジでブリッジ番号が同じであり、この LOUT がそのセグメント内で一致しています。

処置: 正しい構成になるように再構成してください。特定のセグメント上では、ブリッジ番号はすべてが固有である必要があります。

原因: エンド・ステーションが、まったく無効な RIF を使用しています。

処置: ステーションがこの RIF を使用している原因を調べてください。

SRT.038

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.038 ARE rcv (RIF RIF) *source_mac-> dest_mac* from port *port*, nt *network*

長構文: SRT.038 All Routes Explorer received (RIF RIF) from *source_mac* to *dest_mac* from port *port*, network *network*

説明: 指定のポートで、全ルート探索フレームを受信しました。

SRT.039

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.039 ARE sent (RIF RIF) source_mac-> dest_mac to port port, nt network

長構文: SRT.039 All Routes Explorer sent (RIF RIF) from source_mac to dest_mac to port port, network network

説明: 指定のポートから、全ルート探索フレームが送信されました。

SRT.040

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.040 STE rcv (RIF RIF) source_mac-> dest_mac from port port, nt network

長構文: SRT.040 Spanning Tree Explorer received (RIF RIF) from source_mac to dest_mac from port port, network network

説明: 指定のポートで、スパンニング・ツリー探索フレームを受信しました。

SRT.041

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.041 STE sent (RIF RIF) source_mac-> dest_mac to port port, nt network

長構文: SRT.041 Spanning Tree Explorer sent (RIF RIF) from source_mac to dest_mac to port port, network network

説明: 指定のポートから、スパンニング・ツリー探索フレームが送信されました。

SRT.042

レベル: U-INFO

短構文: SRT.042 routing_type LF lowered (old_LF to new_LF) source_mac-> dest_mac from port port, nt network

長構文: SRT.042 routing_type Largest Frame size lowered (from old_LF bytes to new_LF bytes) from source_mac to dest_mac from port port, network network

説明: ソース・ルーティング・エクスプローラー (routing_type が ARE または STE) が、その RIF 内の最大フレーム (LF) フィールドの値を低くしました。これは、現在 LF ビットにコード化されている値より小さい最大フレーム・サイズをもつセグメントからフレームを受信するたびに出されます。これは、すべてのルートの最

大フレーム・サイズを調べるための、スパンニング・ツリー・プロトコルの通常の部分です。

原因: 受信したフレームでこのメッセージが出され、このセグメント上のエンド・ノードまたは他のブリッジが異なるフレーム・サイズに構成されていることが指摘されるのは、幾分異常のように見えますが、これは完全に正しい構成です。

処置: 指定のセグメント上のフレーム・サイズの構成を矛盾のないものにしてください。

SRT.043

レベル: C-INFO

短構文: SRT.043 routing_type LF lowered (old_LF to new_LF) source_mac-> dest_mac to port port, nt network

長構文: SRT.043 routing_type Largest Frame size lowered (from old_LF bytes to new_LF bytes) from source_mac to dest_mac to port port, network network

説明: ソース・ルーティング・エクスプローラー (routing_type が ARE または STE) が、その RIF 内の最大フレーム (LF) フィールドの値を低くしました。これは、現在 LF ビットにコード化されている値より小さい最大フレーム・サイズをもつセグメントにフレームを送信するたびに出されます。これは、すべてのルートの最大フレーム・サイズを調べるための、スパンニング・ツリー・プロトコルの通常の部分です。

SRT.044

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.044 SRF rcv (RIF RIF) source_mac-> dest_mac from port port, nt network

長構文: SRT.044 Specifically-routed frame received (RIF RIF) from source_mac to dest_mac from port port, network network

説明: 指定されたポート上で特別ルーティング・フレームを受信しました。

SRT.045

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.045 Send SRF (RIF RIF) source_mac-> dest_mac to port port, nt network

長構文: SRT.045 Sending Specifically-routed frame (RIF RIF) from source_mac to dest_mac to port port, network network

説明: 指定されたポート上で特別ルーティング・フレームを送信中です。

SRT.046

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.046 *routing_type* rcv *source_mac*-> *dest_mac*
from *disabl port port*, *nt network*, *disc*

長構文: SRT.046 *routing_type* frame received from
source_mac to *dest_mac* on disabled *port port*, *network*
network, discarded

説明: 指定のポートでソース・ルーティング・フレームを受信しましたが、そのポートはブリッジング用に構成されていません。 *routing_type* は、SRF (特別ルーティング・フレーム)、STE (スパンニング・ツリー探索)、または ARE (全ルート探索) のいずれか 1 つです。ブリッジング用に使用可能にされていないポートは、ソース・ルーティング転送装置へのパケットを待ち行列化することはないはずなので、これは実際には一時的にしか起こりません。

SRT.047

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.047 *routing_type* rcv *source_mac*-> *dest_mac*
from *non-SR port port*, *nt network*, *disc*

長構文: SRT.047 *routing_type* frame received from
source_mac to *dest_mac* on *non-source-routing port port*,
network network, discarded

説明: 指定のポートでソース・ルーティング・フレームを受信しましたが、そのポートはソース・ルーティング・ブリッジ用に構成されていません。 *routing_type* は、SRF (特別ルーティング・フレーム)、STE (スパンニング・ツリー探索)、または ARE (全ルート探索) のいずれか 1 つです。ブリッジング用に使用可能にされていないポートは、ソース・ルーティング転送装置へのパケットを待ち行列化することはないはずなので、これは実際には一時的にしか起こりません。

SRT.048

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.048 STE dropped (RIF *RIF*) *source_mac*->
dest_mac from *blk port port*, *nt network*

長構文: SRT.048 Spanning Tree Explorer dropped (RIF
RIF) from *source_mac* to *dest_mac* from blocked *port port*,
network network

説明: スパンニング・ツリー探索 (STE) フレームが除去され、転送されませんでした。着信ポートがスパンニング・ツリーの一部になっていないか、STE フレームを転送するように構成されていなかったためです。

原因: STE フレームの場合は、正常であり、STE フレー

ムと ARE フレームの違いがここにあります。

SRT.050

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.050 *err error_string* *ena SR* on *nt network*

長構文: SRT.050 Got *error_string* error trying to enable
source-routing on *network network*

説明: ブリッジが、このインターフェース上のソース・ルーティング・ブリッジを使用可能にしようとしたが、インターフェースは構成コマンドを拒否しました。このインターフェース上のソース・ルーティングは使用不可のままになります。

原因: 無効なコマンドがインターフェースに渡されたか、インターフェース・ファームウェアにバグがあります。

処置: サービス技術員に連絡してください。

SRT.051

レベル: UE-ERROR

短構文: SRT.051 SRF *source_mac*-> *dest_mac* too big (
reformatted_length > *output_maximum*) for *port port nt*
network, dropped

長構文: SRT.051 Specifically-routed frame from *source_mac*
to *dest_mac* is too big (*reformatted length reformatted_length*
> *output maximum size output_maximum*) for *port port*
network network, dropped

説明: 指定された特別ルーティング (ソース・ルーティング) フレームは大き過ぎて、この発信ポートおよび発信ネットワーク上で送信できません。 *reformatted_length* は、データ・リンク・ヘッダーのマッピング後の、MAC ヘッダーを含めたフレームのサイズです。

原因: ホストが、戻された探索フレームからの LF ビット値を使用していません。

処置: ホストを修正してください。

SRT.052

レベル: UE-ERROR

短構文: SRT.052 *routing_type source_mac*-> *dest_mac* too
big (*reformatted_length* > *output_maximum*) for *port port*
nt network, dropped

長構文: SRT.052 *routing_type* frame from *source_mac* to
dest_mac is too big (*reformatted length reformatted_length*
> *output maximum size output_maximum*) for *port port*
network network, dropped

説明: ソース・ルーティング探索 (ARE または STE

routing_type) フレームが大き過ぎて、この発信ポートおよびインターフェースでは送信することができません。reformatted_length は、データ・リンク・ヘッダーのマッピング後の、MAC ヘッダーを含めたフレームのサイズです。

原因: 送信ホストが探索フレームにデータを入れ過ぎています。ホストは利用可能な最大フレーム・サイズを想定することがないので、通常、これらフレームは短いはずです。

処置: 送信ホストの動作を訂正してください。

SRT.053

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.053 routing_type inv RIF len RIF_length, source_mac-> dest_mac port port, nt network, disc

長構文: SRT.053 routing_type with invalid RIF lenth RIF_length from source_mac to dest_mac from port port, network network, discarded

説明: ソース・ルーティング・フレームを受信しましたが、RIF の長さビットにコード化されている RIF 長さが無効です。routing_type は、SRF (特別ルーティング・フレーム)、STE (スパンニング・ツリー探索)、または ARE (全ルート探索) のいずれか 1 つです。

原因: 受信したフレームの RIF 長さが 2 より小さいか、長さが 2 の倍数ではありません。

処置: 送信ノードのソフトウェアを訂正してください。

SRT.054

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.054 No mem for hash tab (req requested_size), disabl

長構文: SRT.054 No memory for hash table (desired size requested_size bytes), disabling bridge

説明: フィルター・データベース用のハッシュ・テーブルを割り振るための十分な空き記憶域がありません。ブリッジは使用不可にされます。

原因: 重大な記憶域の不足

処置: 他のプロトコル内のルーティング・テーブル・サイズを縮小し、プロトコル数を減らしてシステムを使用し、ルーター内の記憶域を拡張します。

SRT.055

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.055 No mem for conv hash tab (req requested_size), disabl

長構文: SRT.055 No memory for conversion hash table (desired size requested_size bytes), disabling bridge

説明: 変換データベース用のハッシュ・テーブルを割り振るための十分な空き記憶域がありません。ブリッジは使用不可にされます。

原因: 重大な記憶域の不足

処置: 他のプロトコル内のルーティング・テーブル・サイズを縮小し、プロトコル数を減らしてシステムを使用し、ルーター内の記憶域を拡張します。

SRT.056

レベル: CI-ERROR

短構文: SRT.056 Input SR q ovf source_mac-> dest_mac, dropped, nt network

長構文: SRT.056 Input source-routing queue overflow on frame from source_mac to dest_mac, packet dropped from network network

説明: 転送の対象となるソース・ルーティング・フレーム用の入力待ち行列が長過ぎ、輻輳 (ふくそう) を緩和する試みとして、このフレームは廃棄されました。

原因: バースト性トラフィックが輻輳 (ふくそう) の原因となっている場合があります。

処置: バーストが解消されるまで待ってください。

原因: トラフィックが多過ぎて、転送機能が転送できません。

処置: ネットワークを再構成してください。ルーターの速度を上げてください。

原因: バッファ資源が不十分です。

処置: GWCON 内の記憶域統計を調べてください。

SRT.057

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.057 source_mac-> dest_mac brdg port port nt network to port port nt network

長構文: SRT.057 Frame from source_mac to dest_mac bridged from port number port network network to port number port network network

説明: フレームが、これらの 2 つのインターフェース間でブリッジされています。あて先アドレスが分かっていたので、正しいあて先ネットワークにのみ送信されました。

SRT.058

レベル: CE-ERROR

短構文: SRT.058 TB->SR *source_mac*-> *dest_mac* too big (*reformatted_length* > *output_maximum*) for port *port* nt *network*, drop

長構文: SRT.058 Transparent frame converted to source-routed frame from *source_mac* to *dest_mac* is too big (reformatted length *reformatted_length* bytes > output maximum size *output_maximum* bytes) for port *port* *network network*, dropped

説明: 指定の透過型ブリッジ・フレームは長過ぎて、この発信ポートおよびネットワークでは、ソース・ルーティング・フレームとして送信することができません。*reformatted_length* は、データ・リンク・ヘッダーのマッピング後の、MAC ヘッダーおよび RIF を含めたフレームのサイズです。

原因: 大きい最大フレーム・サイズをもつネットワーク上のホストが、これより小さい最大フレーム・サイズをもつネットワーク上のホストに送信しています。

処置: 送信ホストを再構成して、そのように大きいフレームを送信させないようにします。フレームが、フラグメントへの分割をサポートするルーティング可能プロトコル (IP または ISO など)、または最大フレーム・サイズ決定をサポートするルーティング可能プロトコル (DNA または XNS) の場合は、ブリッジングではなく、ルーティングの使用に変換します。

原因: 大きい最大フレーム・サイズをもつネットワーク上のホストが、これより小さい最大フレーム・サイズをもつネットワークを介して、ホストに送信しています。

処置: ネットワークを再構成して、最大フレーム・サイズが大きいネットワーク (FDDI または 802.5 など) をバックボーン・ネットワークとして使用します。スパンニング・ツリー・プロトコル内のポート・コストを再構成して、大きい最大フレーム・サイズをもつネットワークを介したスパンニング・ツリーが優先されるようにしてください。

SRT.059

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.059 TB->SR *source_mac*-> *dest_mac* (RIF RIF) brdg port *port* nt *network* to port *port* nt *network*

長構文: SRT.059 Transparent frame converted to source-routed frame from *source_mac* to *dest_mac* (RIF RIF) bridged from port number *port* *network network* to port number *port* *network network*

説明: フレームがこれら 2 つのインターフェース間で変

換ブリッジされています。あて先アドレスおよび RIF が分かっていたので、正しいあて先ネットワークにのみ送信されました。

SRT.060

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.060 TB->SR *source_mac*-> *dest_mac* (RIF RIF) brdg-all port *port* nt *network* to port *port* nt *network*

長構文: SRT.060 Transparent frame converted to source-routed frame from *source_mac* to *dest_mac* (RIF RIF) bridged to all ports from port number *port* *network network* to port number *port* *network network*

説明: フレームがすべての動作可能なソース・ルーティング・ポートへ変換ブリッジされています。この状況が起きるのは、フレームのあて先がマルチキャストである場合、またはフレームのあて先がソース・ルーティング確認データベース内に存在しない場合です。フレームが送信される各ポートごとに 1 つのメッセージが出されます。

SRT.061

レベル: UE-ERROR

短構文: SRT.061 SRF rcv *source_mac*-> *dest_mac* (RIF RIF) to disabl port *port*, nt *network*, disc

長構文: SRT.061 Specifically routed frame frame received from *source_mac* to *dest_mac* (RIF RIF) to disabled port *port*, *network network*, discarded

説明: RIF によれば指定されたポート上で送信されるはずの、特別ルーティング・フレームを受信しましたが、そのポートはブリッジング用として構成されていません。

原因: エンド・ステーションが無効な RIF を使用します。これが起こる可能性があるのは、エンド・ステーションは RIF を獲得し、それをキャッシュしますが、その間に、ブリッジの再構成および再始動が行われてしまった場合です。

SRT.062

レベル: CE-ERROR

短構文: SRT.062 Warning:SR->TB *source_mac*-> *dest_mac* too big (*reformatted_length* > *output_maximum*) from port *port* nt *network*

長構文: SRT.062 Source-routed frame converted to transparent frame from *source_mac* to *dest_mac* is too big (reformatted length *reformatted_length* bytes > output

maximum size *output_maximum* bytes) from port *port* network *network*, may get dropped.

説明: 指定されたソース・ルーティング・フレームが、透過型ブリッジ定義域用として、LF-BIT 構成によって許容されているサイズより大です。発信ポートの MAC ヘッダーにマッピングした後、ポートの MSDU 限界を超えた場合には、パケットは廃棄されます。

原因: ソース・ルーティング・ホストが、ソース・ルーティング・スレッド化プロセスで決められた最大フレーム・サイズを使用していません。

処置: ホストの動作を訂正してください。

原因: 大きい最大フレーム・サイズをもつネットワーク上のホストが、これより小さい最大フレーム・サイズをもつネットワーク上のホストに送信しています。

処置: 送信ホストを再構成して、そのように大きいフレームを送信させないようにします。フレームが、フラグメントへの分割をサポートするルーティング可能プロトコル (IP または ISO など)、または最大フレーム・サイズ決定をサポートするルーティング可能プロトコル (DNA または XNS) の場合は、ブリッジングではなく、ルーティングの使用に変換します。

原因: 大きい最大フレーム・サイズをもつネットワーク上のホストが、これより小さい最大フレーム・サイズをもつネットワークを介して、ホストに送信しています。

処置: ネットワークを再構成して、最大フレーム・サイズが大きいネットワーク (FDDI または 802.5 など) をバックボーン・ネットワークとして使用します。スパンニング・ツリー・プロトコル内のポート・コストを再構成して、大きい最大フレーム・サイズをもつネットワークを介したスパンニング・ツリーが優先されるようにしてください。

SRT.063

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.063 No buf to dup *routing_type* frame *source_mac*-> *dest_mac* for SR->TB from port *port* nt *network*

長構文: SRT.063 No buffer available to duplicate *routing_type* frame from *source_mac* to *dest_mac* for source-routing to transparent bridging conversion from port *port* network *network*

説明: 全ルート探索 (ARE) またはスパンニング・ツリー探索 (STE) *routing_type* フレームを、透過ブリッジング・ドメイン内で透過型ブリッジ・フレームとして送り出すために、フレームをコピーする場合に使用可能なバッファがありません。このフレームのコピーは、透過型ブリッジ・ドメインに送信されません。

原因: 重大なパケット・バッファの不足

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。

原因: トラフィック・ピークで、利用可能なバッファがすべて使われています。

処置: 問題になるのは、このメッセージが出る頻度が低い場合です。

SRT.064

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.064 No mem for conv db (req *requested_size*), disabl

長構文: SRT.064 No memory for conversion database (desired size *requested_size* bytes), disabling bridge

説明: 変換データベースを割り振るための十分な記憶域がありません。ブリッジは使用不可にされます。

原因: 重大な記憶域の不足

処置: 他のプロトコル内のルーティング・テーブル・サイズを縮小し、プロトコル数を減らしてシステムを使用し、ルーター内の記憶域を拡張します。

SRT.065

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.065 Can't add stat ent *MAC_address* on nt *network*

長構文: SRT.065 Can not add static entry for address *MAC_address* on network *network*

説明: 内部フィルターをもつブリッジ・インターフェースの内部データベースに、特定の静的エントリを追加しようとしたましたが、失敗しました。

原因: ハードウェア障害またはソフトウェア・バグ

処置: サービス技術員に連絡してください。

SRT.066

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.066 Can't ena TB on nt *network*

長構文: SRT.066 Can not enable transparent bridging on network *network*

説明: ブリッジは、IEEE 802.5 トークンリング・ネットワークで透過型ブリッジを使用可能にするように構成されていますが、ネットワークには透過型ブリッジをサポートするハードウェアがありません。このインターフェースでは、透過型ブリッジは使用可能にされません。

原因: 構成の誤り

処置: 構成を訂正してください。

SRT.067

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.067 SRF *source_mac*-> *dest_mac* (RIF RIF) fwd to disabl port *port*, nt *network*, disc

長構文: SRT.067 Specifically routed frame frame from *source_mac* to *dest_mac* (RIF RIF) forwarded to disabled port *port*, network *network*, discarded

説明: ポート上で特別ルーティング・フレームを送信しましたが、そのポートがブリッジング用として構成されていません。ポートがブリッジング用に構成されていない場合は、事前の検査でこのコードのコールは受け入れられないはずなので、このような状況は決して起きないはずです。

SRT.068

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.068 Eth type table full for *ethernet_type*

長構文: SRT.068 Ethernet type table full for Ethernet type *ethernet_type*

説明: イーサネット・タイプ登録テーブル内に、指定の *ethernet_type* を入れるスペースがありません。これが生じるのは、ハッシュ衝突が多過ぎ、十分なオーバーフロー・バケットがない場合です。

原因: 追加されたイーサネット・タイプ・フィルタ数が多過ぎます。

処置: それほど多くのイーサネット・タイプ・フィルタを使用しないようにします。

SRT.069

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.069 SNAP type table full for PID *protocol*

長構文: SRT.069 Subnetwork Access Protocol table full for Protocol Identifier type *protocol*

説明: SNAP PID 登録テーブル内に、指定のプロトコルを入れるスペースがありません。これが生じるのは、ハッシュ衝突が多過ぎ、十分なオーバーフロー・バケットがない場合です。

原因: 追加された SNAP PID フィルタ数が多過ぎます。

処置: そのように多数の SNAP PID フィルタを使用しないでください。

SRT.070

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.070 *source_mac*-> *dest_mac* drp, dst add flt, port *port* nt *network*

長構文: SRT.070 Frame from *source_mac* to *dest_mac* dropped, destination address filtered, port *port* network *network*

説明: ハードウェアが MAC フレームを受信しましたが、あて先 MAC アドレスがブリッジによって管理されてフィルター処理されます。フレームは廃棄されます。

原因: あて先 MAC アドレスが排他的フィルターに合致するフレームを受信

SRT.071

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.071 SR not supp on port *port*, nt *network*

長構文: SRT.071 Source Routing not supported on port *port*, network *network*

説明: ソース・ルーティングが下位ネットワークに接続されているポート上に構成されていますが、本来ソース・ルーティング・タイプの機能をサポートしないネットワークです。そのようなネットワークには、イーサネットおよび FDDI があります。ブリッジは、ポートのソース・ルーティングを使用不可にします。

原因: ユーザーによる構成の誤りです。

SRT.081

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.081 NB STE converted to SRF (RIF RIF) *source_mac*-> *dest_mac* from port *port*

長構文: SRT.081 NETBIOS STE converted to SRF (RIF RIF) *source_mac*-> *dest_mac* from port *port*

説明: NETBIOS STE が NETBIOS 名前キャッシュによって SRF に変換されました。

SRT.082

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.082 NB STE not converted, RIF too long

長構文: SRT.082 NETBIO STE not converted, RIF too long

説明: NETBIO STE が変換されませんでした。RIF が長過ぎます。

SRT.083

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.083 NB find-name STE filtered (RIF RIF)
source_mac-> dest_mac from port port

長構文: SRT.083 NETBIOS find-name STE filtered (RIF RIF)
source_mac-> dest_mac from port port

説明: NETBIOS 名前検索 STE がフィルターされました。

SRT.084

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.084 Hello BPDU dropped, STP disabled on
prt port, nt network

長構文: SRT.084 Hello BPDU dropped because STP
disabled on *port port, network network*

説明: スパニング・ツリー・ハロー BPDU フレームが
受信されたポートは、"*disable tree port#*" コマンドによ
って、スパニング・ツリー参加では使用不可にされて
いました。

SRT.085

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.085 Frame relay Port *port* config on
non-Frame Relay intf *network_number*

長構文: SRT.085 Frame relay Port *port* configured on
non-Frame relay interface *network_number*

説明: このポートではフレーム・リレー・ネットワーク
を使用しますが、ブリッジ構成の後でインターフェース
構成が変更された結果、インターフェースがすでにフレ
ーム・リレーとして構成されていないか、装置レコード
の順序が変更されました。

原因: ルーターのインターフェース構成とブリッジ構成
の間の矛盾。

処置: インターフェースのデータ・リンク・サポートを
フレーム・リレー・タイプにするように訂正するか、ブ
リッジ構成のインターフェース番号を訂正するか、ある
いはその両方を行ってください。

SRT.086

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.086 Port *port*, cir= *circuit_name* reg with Frly
nt *network_number* failed, rs= *reason*

長構文: SRT.086 Bridge port *port* with circuit= *circuit_name*

registration with Frame relay network *network_number* failed,
reason= *reason*

説明: ブリッジ初期化中に、フレーム・リレー・ブリッ
ジ・ポートが関連フレーム・リレー・インターフェース
への登録を試みます。このメッセージは、このプロセス
に障害があることを示しています。

原因: 障害の理由としては、以下に挙げるものがありま
す。(1) 記憶域が不十分である。(2) 別のブリッジ・ポ
ートがこの回線を使用中である。(3) 回線が確認不能で
ある。

処置: (1) 記憶域の所要量を再評価してください。(2) 同
じ回線を使用する競合ブリッジ・ポートを除去または再
構成してください。(3) フレーム・リレー構成内で回線を
構成してください。

SRT.087

レベル: UE-ERROR

短構文: SRT.087 ARE max RD drop *source_mac->*
dest_mac from port port, nt network

長構文: SRT.087 All Routes Explorer exceeds maximum
Route Descriptors from *source_mac* to *dest_mac* from port
port, network network

説明: 全ルート探索 (ARE) ソース・ルーティング・フレ
ームに、このブリッジの構成で許されている ARE フレ
ーム数を超えるルート記述子があります。フレームは廃棄
されます。

原因: アップストリーム・ブリッジの ARE RD 限界が、
このブリッジのものと矛盾している。

処置: ソース・ルーティング・ドメイン内のすべてのブ
リッジを再構成して、ARE RD 限界を一致させてくださ
い。

原因: 構成された ARE RD 限界に対して、ネットワー
クのホップ数が多過ぎる。

処置: ソース・ルーティング・ドメイン内のすべてのブ
リッジを再構成して、ARE RD 限界をドメインの直径に
一致させてください。

SRT.088

レベル: CE-ERROR

短構文: SRT.088 *routing_type* inv LIN (RIF RIF) drop
source_mac-> dest_mac from port port, nt network

長構文: SRT.088 *routing_type* with invalid LIN (RIF RIF)
from *source_mac* to *dest_mac* from port *port, network*
network

説明: 同報通信ルーティング・フレーム (ARE または

STE) タイプのソース・ルーティング・フレームの着信 LIN (LAN ID In) が、フレームが受信されたブリッジ・ポートの構成済みセグメント番号に一致しません。パケットは廃棄されます。

原因: 問題のセグメントに接続されたブリッジ間の構成の不一致。

処置: 正しい構成になるように再構成してください。すべてのブリッジは、各セグメントが同じ LAN ID を持つように構成する必要があります。

原因: エンド・ステーションが、まったく無効な RIF を使用している。

処置: ステーションがこの RIF を使用している原因を調べてください。

SRT.090

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.090 ATM Port *port* config on non-ATM intf *network_number*

長構文: SRT.090 ATM Port *port* configured on non-ATM interface *network_number*

説明: このポートは ATM ネットワークを使用しますが、ブリッジ構成の後でインターフェース構成が変更された結果、インターフェースがすでに ATM として構成されていないか、装置レコードの順序が変更されました。

原因: ルーターのインターフェース構成とブリッジ構成の間の矛盾。

処置: インターフェースのデータ・リンク・サポートを ATM タイプにするように訂正するか、ブリッジ構成のネットワーク番号を訂正するか、あるいはその両方を行ってください。

SRT.091

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.091 Port *port*, vpi= *vpi* vci= *vci* reg with ATM nt *network_number* failed, rs= *reason*

長構文: SRT.091 Bridge port *port* with vpi= *vpi* vci= *vci* registration with ATM network *network_number* failed, reason= *reason*

説明: ブリッジ初期化中に、ATM ブリッジ・ポートは対応する ATM インターフェースへの登録を試みます。このメッセージは、このプロセスに障害があることを示しています。

原因: 障害の理由としては、以下に挙げるものがあります。(1) 記憶域が不十分である。(2) 別のブリッジ・ポ

ートがこの回線を使用中である。(3) 回線が確認不能である。

処置: (1) 記憶域の所要量を再評価してください。(2) 同じ回線を使用する競合ブリッジ・ポートを除去または再構成してください。(3) ATM 構成内で回線を構成してください。

SRT.092

レベル: U-INFO

短構文: SRT.092 DMAC addr. MAX limit. Not adding into dbase

長構文: SRT.092 DMAC addr maximum limit reached. This addr won't be added to SR database

説明: ブリッジ・データベースに、すでに 7 つの重複する MAC アドレスがあります。ブリッジが別の重複 MAC アドレスを検出中です。

処置: 7 つを超える重複 MAC アドレスが存在する環境では、これは普通です。

SRT.093

レベル: U-INFO

短構文: SRT.093 DMAC seg. mismatch. (RIF *RIF*) SA-source_mac from port *port*, nt *network*

長構文: SRT.093 DMAC last segment mismatch. (RIF *RIF*) from source_mac from port *port*, network *network*

説明: SRF フレームを受信しましたが、発信セグメント番号が PRIMARY RIF にも SECONDARY RIF にも一致しませんでした。

処置: 2 つを超える異なるセグメントに重複 MAC アドレスが存在する環境では、これは普通です。

SRT.094

レベル: U-INFO

短構文: SRT.094 DMAC RIF not updated.(RIF *RIF*) SA-source_mac from port *port*, nt *network*

長構文: SRT.094 DMAC RIF not updated.(RIF *RIF*) from source_mac from port *port*, network *network*

説明: 解決時間間隔内に別の RIF を受信しましたが、それがデータベース・エントリのリフレッシュに使用されることはありません。全ルート同報通信 (ARE) フレームがステーション別に送信される場合は、これは普通です。

SRT.095

レベル: UE-ERROR

短構文: SRT.095 Cannot dynamically add/reset bridge port, nt *network_number*, reason = *reason*

長構文: SRT.095 Bridge port associated with network *network_number* cannot be added/reset, reason = *reason*

説明: 追加またはリセットしているインターフェースに対応するブリッジ・ポートを構成できません。ブリッジ構成の変更の一部のものは、リスタートしないと行なえません。

原因: 障害の理由としては、次のものが考えられます。
(1) 追加/リセットしているポートに NetBIOS フィルターが構成されている。
(2) 追加/リセットしているポートに LNM が構成されている。
(3) 1:1 SRB 構成が変更された可能性がある。
(4) 関連のブリッジ・ポートの追加/リセットが原因でブリッジ・パーソナリティー (タイプ) (つまり、STB、SRB、STB & SRB、SRT、SR-TB、ASRT) が変更された。
(5) ブリッジ・オプションが変更された (つまり、内部バーチャル・セグメントに変更されるなど)。

処置: システムをリスタートしてください。

SRT.096

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.096 No mem for multiaccess hash tab (req *requested_size*), disabl

長構文: SRT.096 No memory for multiaccess hash table (desired size *requested_size* bytes), disabling multiaccess bridge ports

説明: マルチアクセス・データベース用のハッシュ・テーブルを割り振るための十分な空き記憶域がありません。マルチアクセス・ブリッジ・ポートは使用不可にされます。

原因: 重大な記憶域の不足

処置: 他のプロトコル内のルーティング・テーブル・サイズを縮小し、プロトコル数を減らしてシステムを使用し、ルーター内の記憶域を拡張してください。

SRT.097

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.097 No mem for multiaccess db (req *requested_size*), disabl

長構文: SRT.097 No memory for multiaccess database (desired size *requested_size* bytes), disabling multiaccess bridge ports

説明: マルチアクセス・データベースを割り振るための十分な空き記憶域がありません。マルチアクセス・ブリッジ・ポートは使用不可にされます。

原因: 重大な記憶域の不足

処置: 他のプロトコル内のルーティング・テーブル・サイズを縮小し、プロトコル数を減らしてシステムを使用し、ルーター内の記憶域を拡張してください。

SRT.098

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.098 FR/ATM Port *port* config on non-FR/ATM intf *network_number*

長構文: SRT.098 FR/ATM Port *port* configured on non-FR/ATM interface *network_number*

説明: このポートは、フレーム・リレーまたは ATM ネットワークを使用しますが、ブリッジ構成の後でインターフェース構成が変更された結果、インターフェースがすでにフレーム・リレーまたは ATM として構成されていないか、装置レコードの順序が変更されました。

原因: ルーターのインターフェース構成とブリッジ構成の間の矛盾。

処置: インターフェースのデータ・リンク・サポートをフレーム・リレーまたは ATM タイプにするように訂正するか、ブリッジ構成のインターフェース番号を訂正するか、あるいはその両方を行ってください。

SRT.099

レベル: U-INFO

短構文: SRT.099 *source_mac*-> *dest_mac* dropped, output circuit on port *port* nt *network* not active

長構文: SRT.099 Frame from *source_mac* to *dest_mac* dropped, output circuit on port *port* network *network* is not active

説明: マルチアクセス・ポートで MAC フレームがブリッジされていましたが、あて先ポートが "アクティブ" 状態ではありませんでした。フレームは送信されません。

原因: 出力ポート上の回線が使用中ではありません。

処置: 何も必要ありません。その回線でデータを受信すると、ポートは "アクティブ" になります。

Panic SRTmem

短構文: SRT: memory allocation failed

説明: SRT 転送機能が、最も基本的なテーブルを保持できる十分な記憶域を割り振ることができませんでした。

原因: 空き記憶域の不足

処置: 他のプロトコル用のデータベースを小さくしてください。

処置: 記憶域のサイズを増やしてください。

Fatal srtiisrt

短構文: SRT: Invalid i_srt on input

説明: ハンドラーから転送機能に渡された i_srt フラグの値が無効です。

原因: ソフトウェアのバグ

処置: 破損したダンプを取って、サービス技術員に連絡してください。

Fatal srtuimed

短構文: SRT: unknown input media

説明: 入力ネット・タイプが、SRT ブリッジによって認知されているタイプ (802.3/イーサネット、FDDI、または 802.5) の 1 つではありません。

原因: ソフトウェアのバグ

処置: 破損したダンプを取って、サービス技術員に連絡してください。

第97章 スパニング・ツリー・プロトコル (STP)

この章では、スパニング・ツリー・プロトコル (STP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

STP.001

レベル: C-TRACE

短構文: STP.001 Cfg BPDU rcv frm *source_address* *bridge_type*- *bridge_instance* port *bridge_port*, nt *network*

長構文: STP.001 Configuration BPDU received frm *source_address* on *bridge_type*- *bridge_instance* port *bridge_port*, network *network*

説明: 指定の MAC アドレスから、構成 BPDU を受信しました。

原因: このポートのこのブリッジと同じネットワーク上の別のブリッジ

STP.002

レベル: C-TRACE

短構文: STP.002 Tcn BPDU rcv frm *source_address* *bridge_type*- *bridge_instance* port *bridge_port*, nt *network*

長構文: STP.002 Topology change notification BPDU received frm *source_address* on *bridge_type*- *bridge_instance* port *bridge_port*, network *network*

説明: トポロジー変更通知 BPDU が指定された MAC アドレスから受信されました。

原因: 送信ブリッジで、または送信ブリッジのダウンストリームで、トポロジー変更を検出しました。

処置: 何も必要ありません。トポロジー変更がルート・ブリッジによって確認されると、メッセージは出なくなるはずです。

STP.003

レベル: UE-ERROR

短構文: STP.003 Unk BPDU type *BDPU_type* rcv frm *source_address* *bridge_type*- *bridge_instance* port *bridge_port*, nt *network*

長構文: STP.003 Unknown BPDU type *BDPU_type* received frm *source_address* on *bridge_type*- *bridge_instance* port *bridge_port*, network *network*

説明: 指定されたホストから BPDU を受信しましたが、BPDU タイプ・フィールドに未定義の値が入っています。これは無視されます。

原因: リモート・ブリッジでのプログラム・エラー

処置: リモート・ノードを訂正してください。

原因: 受信パケットのデータの破壊

処置: データ破壊の原因を除去してください。

STP.005

レベル: UE-ERROR

短構文: STP.005 BPDU bd ver *Protocol_Version_Identifier* frm *source_address* *bridge_type*- *bridge_instance* port *bridge_port*, nt *network*

長構文: STP.005 BPDU bad Version *Protocol_Version_Identifier* frm *source_address* on *bridge_type*- *bridge_instance* port *bridge_port*, network *network*

説明: 構成 BPDU を受信しましたが、プロトコル・バージョン識別子が 00 ではありません。これは無視されます。

原因: リモート・ブリッジでのプログラム・エラー

処置: リモート・ノードを訂正してください。

原因: 受信パケットのデータの破壊

処置: データ破壊の原因を除去してください。

STP.006

レベル: UE-ERROR

短構文: STP.006 Cfg BPDU trunc (*length* byt) frm *source_address* *bridge_type*- *bridge_instance* port *bridge_port*, nt *network*

長構文: STP.006 Configuration BPDU truncated (*length* bytes) frm *source_address* on *bridge_type*- *bridge_instance* port *bridge_port*, network *network*

説明: 構成 BPDU を受信しましたが、長さが 35 バイト未満です。これは無視されます。

原因: リモート・ブリッジでのプログラム・エラー

処置: リモート・ノードを訂正してください。

原因: 受信パケットのデータの破壊

処置: データ破壊の原因を除去してください。

STP.007

レベル: UE-ERROR

短構文: STP.007 Cfg BPDU unk flg *flags* frm *source_address bridge_type- bridge_instance* port *bridge_port*, nt *network*

長構文: STP.007 Configuration BPDU unknown flags *flags* frm *source_address* on *bridge_type- bridge_instance* port *bridge_port*, network *network*

説明: 構成 BPDU を受信しましたが、フラグ・フィールドに未定義のビットが設定されています。これは無視されます。

原因: リモート・ブリッジでのプログラム・エラー

処置: リモート・ノードを訂正してください。

原因: 受信パケットのデータの破壊

処置: データ破壊の原因を除去してください。

STP.008

レベル: UE-ERROR

短構文: STP.008 Tcn BPDU trunc (*length* byt) frm *source_address bridge_type- bridge_instance* port *bridge_port*, nt *network*

長構文: STP.008 Topology change notification BPDU tuncated (*length* bytes) frm *source_address* on *bridge_type- bridge_instance* port *bridge_port*, network *network*

説明: トポロジー変更通知 BPDU を受信しましたが、長さが 4 バイト未満です。これは無視されます。

原因: リモート・ブリッジでのプログラム・エラー

処置: リモート・ノードを訂正してください。

原因: 受信パケットのデータの破壊

処置: データ破壊の原因を除去してください。

STP.009

レベル: UI-ERROR

短構文: STP.009 No buf for BPDU *bridge_type- bridge_instance* port *bridge_port*, nt *network*

長構文: STP.009 No buffer to send BPDU on *bridge_type- bridge_instance* port *bridge_port*, network *network*

説明: 指定のポートで、BPDU を作成して送信するために利用可能なパケット・バッファがありません。

原因: 重大なパケット・バッファの不足

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。

原因: トラフィック・ピークで、利用可能なバッファがすべて使われています。

処置: 問題になるのは、このメッセージが出る頻度が低い場合です。

STP.010

レベル: P-TRACE

短構文: STP.010 Sndg cfg BPDU *bridge_type- bridge_instance* port *bridge_port*, nt *network*

長構文: STP.010 Sending Configuration BPDU on *bridge_type- bridge_instance* port *bridge_port* network *network*

説明: 指定のポートで、構成 BPDU が送信されました。これは通常、スパンニング・ツリー・プロトコルの一部として、定期的に行われます。この BPDU のフラグ・フィールドはゼロです。たとえば、トポロジー変更ビットもトポロジー変更確認ビットもセットされていません。

STP.011

レベル: P-TRACE

短構文: STP.011 Sndg Cfg BPDU flgs *TC TCA* *bridge_type- bridge_instance* port *bridge_port*, nt *network*

長構文: STP.011 Sending Configuration BPDU with flags *TC TCA* on *bridge_type- bridge_instance* port *bridge_port*, network *network*

説明: 指定のポートで、構成 BPDU が送信されました。これは通常、スパンニング・ツリー・プロトコルの一部として、定期的に行われます。TC が表示されるのは、トポロジー変更ビットが BPDU のフラグ・バイトに設定される場合であり、TCA が表示されるのは、トポロジー変更確認ビットがフラグ・バイト内に設定される場合です。

原因: このブリッジがルート・ブリッジであり、トポロジー変更が進行中であることを知っている場合、トポロジー変更フラグがセットされます。また、非ルート・ブリッジが、着信構成 BPDU 内で受信したこのビットを伝送します。

処置: 何も必要ありません。このフラグが設定される時間は、現行最大経過時間パラメーターと現行転送遅延パラメーター（ルート・ブリッジによって伝送される）の合計だけに過ぎません。

原因: このブリッジがトポロジー変更通知 BPDU を受信し、このポートがその LAN 上の指定ブリッジである場合は、トポロジー変更確認フラグが設定されます。

処置: 何も必要ありません。このフラグは 1 つの BPDU でしか送信されません。

STP.012

レベル: P-TRACE

短構文: STP.012 Sndg tcn BPDU *bridge_type-bridge_instance* port *bridge_port*, nt *network*

長構文: STP.012 Sending Topology Change Notification BPDU on *bridge_type-bridge_instance* port *bridge_port* network *network*

説明: 指定のポートで、トポロジー変更通知 BPDU が送信されます。非ルート・ブリッジは、スパンニング・ツリー内でトポロジー変更を検出すると、これらをルート・ポートから送信します。

原因: このスパンニング・ツリー内のブリッジ、またはブリッジ上のインターフェースが、アップまたはダウン状態になりました。

処置: 何も必要ありません。この状態が持続するのは、トポロジー変更確認の受信、または古いルート・ブリッジが到達不能になっていることを示すタイムアウトまでに過ぎません。

STP.013

レベル: UI-ERROR

短構文: STP.013 BPDU snd fld, rsn *reason_code*, *bridge_type-bridge_instance* port *bridge_port*, nt *network*

長構文: STP.013 BPDU send failed for reason code *reason_code* on *bridge_type-bridge_instance* port *bridge_port* network *network*

説明: 指定のポートで、転送のために BPDU を待ち行列化する試みが失敗しました。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ネットワークのハンドラーからのエラー・メッセージがあるかどうか調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたは不正な同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去されました (理由コード 4)

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

STP.014

レベル: U-INFO

短構文: STP.014 Blocking *bridge_type-bridge_instance* port *bridge_port*, nt *network*, det *topol* chg

長構文: STP.014 Blocking *bridge_type-bridge_instance* port *bridge_port*, network *network*, detecting topology change

説明: このポートは閉そく状態に入れられたばかりです。これはトポロジーの変更なので、このブリッジはトポロジー変更を検出しました。今度はこのために、トポロジー変更通知が送信されることになります。

原因: このスパンニング・ツリー内のブリッジ、またはブリッジ上のインターフェースが、アップまたはダウン状態になりました。

処置: 何も必要ありません。変更があった場合には、これは正常です。

STP.015

レベル: U-INFO

短構文: STP.015 Topol chg detected *bridge_type-bridge_instance* port *bridge_port*, nt *network*

長構文: STP.015 Topology change detected on *bridge_type-bridge_instance* port *bridge_port*, network *network*

説明: このポートでトポロジー変更通知を受信し、このポートは LAN 上の特定ポートです。これにより、プロトコルはトポロジー変更通知状態に入ります。トポロジー変更確認が送信側に戻され、ルートに向けて伝送されます。

原因: ブリッジ、またはブリッジ上のインターフェースが、このスパンニング・ツリー内でアップまたはダウンになりました。

処置: 何も必要ありません。変更があった場合には、これは正常です。

STP.016

レベル: U-INFO

短構文: STP.016 Select as root *bridge_type-bridge_instance*, det *topol* chg

長構文: STP.016 Selected as root on *bridge_type-bridge_instance*, detecting topology change

説明: このブリッジは、以前はそうではありませんでしたが、いまスパンニング・ツリーのルートとして自身を選択したばかりです。これにより、ブリッジはトポロジー変更通知状態に入ります。

原因: このスパンニング・ツリー内のブリッジ、または

ブリッジ上のインターフェースが、アップまたはダウン状態になりました。

処置: 何も必要ありません。変更があった場合には、これは正常です。

原因: これが最初にアップになったブリッジであり、したがって、ツリーのルートです。

STP.017

レベル: C-INFO

短構文: STP.017 Tply chg ackd *bridge_type- bridge_instance* port *bridge_port*, nt *network*

長構文: STP.017 Topology change acknowledged on *bridge_type- bridge_instance* port *bridge_port*, network *network*

説明: 指定のポートで、トポロジー変更確認を検出しました。このポートは、ブリッジのルート・ポートです。

原因: こちらのルート・ポートと同じ LAN 上のブリッジが、発信構成 BDPU 内にトポロジー変更確認フラグを設定しました。これは、このブリッジが発信または伝送したトポロジー変更通知に対する応答です。

処置: 何も必要ありません。これはトポロジー変更通知の通常の結果です。

STP.018

レベル: C-INFO

短構文: STP.018 Acking tply chg *bridge_type- bridge_instance* port *bridge_port*, nt *network*

長構文: STP.018 Acknowledging topology change on *bridge_type- bridge_instance* port *bridge_port*, network *network*

説明: 指定のポートで、トポロジー変更通知が確認されました。これは、その LAN の特定ポートであるポートで、トポロジー変更通知が受信された場合に行われます。

原因: このブリッジのダウンストリームのブリッジ・トポロジーの変更

処置: 何も必要ありません。スパンニング・ツリーの再構成の一環をなす通常の過程です。

STP.019

レベル: C-TRACE

短構文: STP.019 Tplgy chg notif timer expired *bridge_type- bridge_instance*

長構文: STP.019 Topology Change Notification timer expired on *bridge_type- bridge_instance*

説明: トポロジー変更タイマーが満了しました。このブ

リッジは、このルート・ポートでのトポロジー変更通知 BPDU の送信を中止します。

原因: ブリッジがトポロジー変更通知状態にあった期間が、ブリッジ・ハロー・タイマー期間を経過すると、タイマーは満了します。

処置: 何も必要ありません。この状態の通常の結果です。

STP.020

レベル: C-TRACE

短構文: STP.020 Tplgy chg timer expired *bridge_type- bridge_instance*

長構文: STP.020 Topology Change timer expired on *bridge_type- bridge_instance*

説明: トポロジー変更タイマーが満了しました。ルートであるこのブリッジは、トポロジー変更を構成 BPDU に入れて送信するのを中止します。

原因: これが生じるのは、このルート・ブリッジがトポロジー変更状態にあった時間が、現行最大経過時間パラメーターと現行転送遅延パラメーターの合計にわたった場合です。

処置: 何も必要ありません。この状態の通常の結果です。

STP.021

レベル: U-INFO

短構文: STP.021 Msg age tmr exp *bridge_type- bridge_instance* port *bridge_port*, nt *network*, try Root

長構文: STP.021 Message age timer expired on *bridge_type- bridge_instance* port *bridge_port*, network *network*, will try and become root

説明: このポートのメッセージ経過日数タイマーが満了しました。ブリッジは、ルートになろうと試みます。ブリッジは、その LAN 上の特定ポートになります。

原因: このインターフェース上で受信されている構成 BPDU はありません。この LAN 上にブリッジがないか、ブリッジがダウンしているか、いずれかです。

STP.022

レベル: C-TRACE

短構文: STP.022 Hello tmr exp *bridge_type- bridge_instance*

長構文: STP.022 Hello timer expired on *bridge_type- bridge_instance*

説明: このポートで、ハロー・タイマーが満了しまし

た。すべてのポートで、構成 BPDU が送信されます。

STP.023

レベル: C-TRACE

短構文: STP.023 Stop msg age tmr *bridge_type-bridge_instance* port *bridge_port*, nt *network*

長構文: STP.023 Stopping message age timer for *bridge_type- bridge_instance* port *bridge_port*, network *network*

説明: このポート上のメッセージ経過時間タイマーが停止します。このポートがその LAN 上の指定ポートであるためです。

STP.024

レベル: U-INFO

短構文: STP.024 Not root *bridge_type- bridge_instance*, stop hello tmr

長構文: STP.024 Not root anymore on *bridge_type-bridge_instance*, stopping hello timer

説明: このブリッジは、スパンニング・ツリー上のルート・ブリッジではなくなることに決まりました。ハロー・タイマーも取り消されます。

STP.025

レベル: C-INFO

短構文: STP.025 Stop tply chg age tmr *bridge_type-bridge_instance*

長構文: STP.025 Stopping topology change timer for *bridge_type- bridge_instance*

説明: このブリッジがルートではなくなったため、トポロジー変更タイマーを停止します。

STP.026

レベル: U-INFO

短構文: STP.026 Root *bridge_type- bridge_instance*, strt hello tmr

長構文: STP.026 Selected as root on *bridge_type-bridge_instance*, starting hello timer

説明: このブリッジは、スパンニング・ツリー上のルート・ブリッジになることが決まりました。ハロー・タイマーが始動されます。

STP.027

レベル: C-TRACE

短構文: STP.027 Strt msg age tmr *bridge_type-bridge_instance* port *bridge_port*, nt *network*

長構文: STP.027 Starting message age timer for *bridge_type- bridge_instance* port *bridge_port*, network *network*

説明: このポート上のメッセージ経過時間タイマーを始動します。

STP.028

レベル: C-TRACE

短構文: STP.028 Attmpt root *bridge_type- bridge_instance*, strt hello tmr

長構文: STP.028 Attempting to become root on *bridge_type-bridge_instance*, starting hello timer

説明: このブリッジは、スパンニング・ツリーのルート・ブリッジになろうと試んでいます。ハロー・タイマーが始動されます。

STP.032

レベル: UI-ERROR

短構文: STP.032 DROP: *bpdu_type* BPDU frm recvd on non-parti port *bridge_port*, nt *network*

長構文: STP.032 DROP: *bpdu_type* BPDU frame received on non-participating port *bridge_port*, network *network*

説明: ソース・ルート・ブリッジ BPDU または IEEE802.1D BPDU を受信しましたが、ポートが SRB または IEEE802.1D スパンニング・ツリー・プロトコルに参加していません。

Fatal stpubpdu

短構文: Attempt to send unknown BPDU type

説明: コードは、不明のタイプの BPDU を送信しようとしてしました。

原因: おそらく、ソフトウェアのバグです。

処置: 破損したダンプを入手して、サービス技術員に連絡してください。

第98章 SRT FDDL 関連 ELS メッセージ (SRTF)

この章では、SRT FDDL 関連 ELS メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

SRTF.001

レベル: U-INFO

短構文: SRTF.001 fddl: duplicate registration

長構文: SRTF.001 fddl: duplicate registration

説明: SRT プロトコルは、FDDL インターフェースにすでに登録済みです。

SRTF.002

レベル: UI-ERROR

短構文: SRTF.002 fddl: registration failed

長構文: SRTF.002 fddl: registration failed

説明: SRT プロトコルの FDDL インターフェースへの登録が失敗しました。

SRTF.003

レベル: UI-ERROR

短構文: SRTF.003 fddl: *function_name* call failed

長構文: SRTF.003 fddl: *function_name* call failed

説明: SRT による fddl_api コールが失敗しました。

SRTF.004

レベル: U-INFO

短構文: SRTF.004 fddl send interfaceConfigSet for ifNum *interfaceNum* ,state= *new_state*

長構文: SRTF.004 fddl send interfaceConfigSet for ifNum *interfaceNum* ,state= *new_state*

説明: ポート状態変更事象が発生しました。それぞれのインターフェースに新しい状態が送信されます。

SRTF.005

レベル: U-INFO

短構文: SRTF.005 fddl send macAddrDeleteRequest for addr= *mac_addr*

長構文: SRTF.005 fddl send macAddrDeleteRequest for addr= *mac_addr*

説明: FDDL インターフェースに MAC アドレス削除メッセージが送信されます。

SRTF.006

レベル: U-INFO

短構文: SRTF.006 fddl send macAddrPurgeRequest

長構文: SRTF.006 fddl send macAddrDeleteRequest

説明: FDDL インターフェースにデータベース除去要求メッセージが送信されます。

SRTF.007

レベル: U-INFO

短構文: SRTF.007 fddl send macAddrQueryRequest for addr= *mac_addr*

長構文: SRTF.007 fddl send macAddrQueryRequest for addr= *mac_addr*

説明: FDDL インターフェースに MAC アドレス照会要求メッセージが送信されます。

SRTF.008

レベル: U-INFO

短構文: SRTF.008 fddl recv macAddrResolutionRequest for addr= *mac_addr*, from ifNum= *interfaceNum*

長構文: SRTF.008 fddl recv macAddrResolutionRequest for addr= *mac_addr*, from ifNum= *interfaceNum*

説明: MAC アドレス解決要求メッセージを受信します。

SRTF.009

レベル: U-INFO

短構文: SRTF.009 fddl send macAddrResolutionReply for addr= *mac_addr*,ifNum= *interfaceNum*,vpiVci= *vpiVci*

長構文: SRTF.009 fddl send macAddrResolutionReply for addr= *mac_addr*,ifNum= *interfaceNum*,vpiVci= *vpiVci*

説明: FDDL インターフェースに MAC アドレス解決応答メッセージが送信されます。

SRTF.010

レベル: U-INFO

短構文: SRTF.010 fddl rcv macAddrQueryReply for addr=*mac_addr*,ifNum= *interfaceNum*,age= *age* secs

長構文: SRTF.010 fddl rcv macAddrQueryReply for addr=*mac_addr*,ifNum= *interfaceNum*,age= *age* seconds

説明: MAC アドレス照会応答メッセージを受信します。

SRTF.011

レベル: UI-ERROR

短構文: SRTF.011 fddl macAddrQueryReply, entry not in database: *mac_addr*

長構文: SRTF.011 fddl macAddrQueryReply, entry not in database: *mac_addr*

説明: FDDL 照会応答を受信しましたが、そのあて先アドレスが SRT データベース内にありません。

SRTF.012

レベル: U-INFO

短構文: SRTF.012 fddl rcv macAddrLearnRequest for addr=*mac_addr*,ifNum= *interfaceNum*

長構文: SRTF.012 fddl rcv macAddrLearnRequest for addr=*mac_addr*,ifNum= *interfaceNum*

説明: MAC アドレス確認要求メッセージを受信します。

SRTF.013

レベル: UI-ERROR

短構文: SRTF.013 fddl macAddrLearnRequest, entry not in database: *mac_addr*

長構文: SRTF.013 fddl macAddrLearnRequest, entry not in database: *mac_addr*

説明: FDDL 確認要求エラー。アドレスを確認した後も、アドレスが SRT データベース内にありません。

SRTF.014

レベル: U-INFO

短構文: SRTF.014 fddl send macAddrLearnReply for addr=*mac_addr*,ifNum= *interfaceNum*

長構文: SRTF.014 fddl send macAddrLearnReply for addr=*mac_addr*,ifNum= *interfaceNum*

説明: MAC アドレス確認応答メッセージにアドレスとインターフェース情報を付けて送信します。

SRTF.015

レベル: U-INFO

短構文: SRTF.015 fddl rcv statisticsUpdateIndication for ifNum= *interfaceNum*

長構文: SRTF.015 fddl rcv statisticsUpdateIndication for ifNum= *interfaceNum*

説明: 統計更新指示メッセージをインターフェースから受信しました。

SRTF.016

レベル: UI-ERROR

短構文: SRTF.016 fddl invalid ifNum= *interfaceNum* in msg = *message_name*

長構文: SRTF.016 fddl invalid ifNum= *interfaceNum* in msg = *message_name*

説明: FDDL コールをインターフェース番号付きで受信しました。このインターフェース番号についてネット構造は存在しません。

SRTF.017

レベル: UI-ERROR

短構文: SRTF.017 fddl macAddrLearnRequest, bad port pointer in database entry: *mac_addr*

長構文: SRTF.017 fddl macAddrLearnRequest, bad port pointer in database entry: *mac_addr*

説明: FDDL 確認要求エラー。SRT データベースのエントリに、NULL ポート・ポインターがあります。

第99章 SuperELAN (SE)

この章では、SuperELAN (SE) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

SE.001

レベル: UI-ERROR

短構文: SE.001 SE- *se_id*:No buf to dup broadcast frame 0x *source_mac*->0x *dest_mac* to port *port*, net- *network* int *int/* *int_no*

長構文: SE.001 SE- *se_id*:No buffer available to duplicate frame from 0x *source_mac* to 0x *dest_mac* on to port *port*, network *network* interface *int/* *int_no*

説明: 複数のインターフェースでブリッジ・フレームを送信するためにフレームをコピーするのに利用可能なバッファがありません。マルチキャストあて先アドレスまたは不明のユニキャスト・アドレスの場合、ブリッジ・パケットは複数のインターフェース上で送信されます。指定のポートとネットワーク上では、このフレームのコピーは送信されません。

原因: 重大なパケット・バッファの不足

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。

原因: トラフィック・ピーク時に利用可能なバッファがすべて使われている。

処置: 問題になるのは、このメッセージが出る頻度が低い場合です。

SE.002

レベル: UE-ERROR

短構文: SE.002 SE- *se_id*:Bcast 802.3 bad len *actual_length* *claimed_length*, 0x *source_Ethernet_address*->0x *destination_Ethernet_address* net- *network*

長構文: SE.002 SE- *se_id*:Broadcast packet received with a bad 802.3 length field actual *actual_length* claimed *claimed_length* from 0x *source_Ethernet_address* to 0x *destination_Ethernet_address* network *network*

説明: タイプ・フィールド 802.3 を示す同報通信パケットを受信しましたが、802.3 ヘッダーに示されているデータ長より短くなっていました。

SE.003

レベル: UE-ERROR

短構文: SE.003 SE- *se_id*:802.3 bad len *actual_length* *claimed_length*, 0x *source_Ethernet_address*->0x *destination_Ethernet_address* net- *network*

長構文: SE.003 SE- *se_id*:packet received with a bad 802.3 length field actual *actual_length* claimed *claimed_length* from 0x *source_Ethernet_address* to 0x *destination_Ethernet_address* network *network*

説明: タイプ・フィールド 802.3 を示す非同報通信パケットを受信しましたが、802.3 ヘッダーに示されているデータ長より短くなっていました。

SE.004

レベル: UE-ERROR

短構文: SE.004 SE- *se_id*:LOOP odd skip *count*, 0x *source_MAC_address*->0x *destination_MAC_address*, net- *network*

長構文: SE.004 SE- *se_id*:Loopback Protocol, odd skipCount *count* from 0x *source_MAC_address* to 0x *destination_MAC_address*, network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケット内に、奇数の skipCount が含まれていました。パケットは廃棄されます。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

SE.005

レベル: UI-ERROR

短構文: SE.005 SE- *se_id*:0x *source_mac*->0x *dest_mac* send failed, rsn *reason_code*, port *port* net- *network* int *int/* *int_no*

長構文: SE.005 SE- *se_id*:Sending Frame from 0x *source_mac* to 0x *dest_mac* failed, reason *reason_code*, on port *port* network *network* interface *int/* *int_no*

説明: 転送するパケットの送信が失敗しました。理由は、その障害の内部エラー・コードです。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、*network_name* を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたは不正な同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去された (理由コード 4)。

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

SE.006

レベル: CI-ERROR

短構文: SE.006 SE- *se_id*:Input q ovf 0x *source_mac*->0x *dest_mac*, dropped, net- *network* int *int/* *int_no*

長構文: SE.006 SE- *se_id*:Input queue overflow on frame from 0x *source_mac* to 0x *dest_mac*, packet dropped from network *network* interface *int/* *int_no*

説明: 転送の対象となるフレーム用の入力待ち行列が長過ぎ、輻輳 (ふくそう) を緩和する試みとして、このフレームは除去されました。

原因: バースト性トラフィックが輻輳 (ふくそう) の原因となっている場合があります。

処置: バーストが解消されるまで待ってください。

原因: トラフィックが多過ぎて、転送機能が転送できない。

処置: ネットワークを再構成してください。 ルーターの速度を上げてください。

原因: バッファ資源が不十分

処置: GWCON 内の記憶域統計を調べてください。

SE.007

レベル: CI-ERROR

短構文: SE.007 SE- *se_id*:BPDU q ovf 0x *source_mac*->0x *network*, dropped, net- *int* *int* *int_no/*

長構文: SE.007 SE- *se_id*:Bridge Protocol Data Unit input queue overflow on frame from 0x *source_mac* to 0x *network*, dropped from network *int* interface *int_no/*

説明: スパニング・ツリー・プロトコル・ブリッジ・プロトコル・データ単位用の入力待ち行列が長過ぎ、輻

輳 (ふくそう) を緩和する試みとして、このフレームは除去されました。

原因: 発信元ノードによる BDPU フレームのストリーミング。

処置: 発信元ノードの動作を訂正してください。

原因: トラフィックが多過ぎて、転送機能が転送できない。

処置: ネットワークを再構成してください。 ルーターの速度を上げてください。

原因: バッファ資源が不十分

処置: GWCON 内の記憶域統計を調べてください。

SE.008

レベル: CE-ERROR

短構文: SE.008 SE- *se_id*:0x *source_mac*->0x *dest_mac* too big (*reformatted_length* > *output_maximum*) for port *port* net- *network* int *int/* *int_no*, dropped

長構文: SE.008 SE- *se_id*:Frame from 0x *source_mac* to 0x *dest_mac* is too big (*reformatted_length* *reformatted_length* bytes > *output_maximum* size *output_maximum* bytes) for port *port* network *network* interface *int/* *int_no*, dropped

説明: 指定のフレームは、この発信ポートとネットワークで送信するには大き過ぎます。 *reformatted_length* は、データ・リンク・ヘッダーのマッピング後の、MAC ヘッダーを含めたフレームのサイズです。

原因: 大きい最大フレーム・サイズをもつネットワーク上のホストが、これより小さい最大フレーム・サイズをもつネットワーク上のホストに送信しています。

処置: 送信ホストを再構成して、そのような大きいフレームを送信しないようにします。フレームが、断片化をサポートするルーティング可能プロトコル (IP または ISO など)、または最大フレーム・サイズ決定をサポートするルーティング可能プロトコル (DNA または XNS) の場合は、ブリッジングではなく、ルーティングを使用するように変換します。

原因: 大きい最大フレーム・サイズをもつネットワーク上のホストが、これより小さい最大フレーム・サイズをもつネットワークを介して、ホストに送信しています。

処置: ネットワークを再構成して、最大フレーム・サイズが大きいネットワーク (FDDI または 802.5 など) をバックボーン・ネットワークとして使用します。スパニング・ツリー・プロトコル内のポート・コストを再構成して、大きい最大フレーム・サイズをもつネットワークを経由するスパニング・ツリーが優先されるようにしてください。

SE.009

レベル: UE-ERROR

短構文: SE.009 SE- *se_id*:0x *source_mac*->0x *dest_mac* dropped, net- *network* down

長構文: SE.009 SE- *se_id*:Frame from 0x *source_mac* to 0x *dest_mac* dropped, input network *network* is down

説明: ダウンしているネットワークで、ブリッジするためのフレームを受信しました。これは無視されます。

原因: BDPU が、このインターフェース上のルーターのユニキャスト・アドレスあてに送信された。

処置: 送信ノードのアクションを訂正してください。

原因: 内部状態の矛盾

SE.010

レベル: C-INFO

短構文: SE.010 SE- *se_id*:LOOP rcv 0x *source_MAC_address*->0x *destination_MAC_address*, net- *network*

長構文: SE.010 SE- *se_id*:Loopback Protocol frame received from 0x *source_MAC_address* to 0x *destination_MAC_address*, network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットを受信しました。

SE.011

レベル: C-INFO

短構文: SE.011 SE- *se_id*:0x *source_mac*->0x *dest_mac* dropped, input port *port* net- *network* int *int*/ *int_no* not forwarding

長構文: SE.011 SE- *se_id*:Frame from 0x *source_mac* to 0x *dest_mac* dropped, input port *port* network *network* interface *int*/ *int_no* not in forwarding state

説明: まだ "確認" 状態でしかないポート上で MAC フレームを受信しました。フレームがブリッジされるのは、ポートが "転送" 状態のときだけです。ポートがまだ "確認" 状態にある間は、フィルター・データベース用として発信元アドレスを確認するためのフレーム処理が行われるだけです。フレームはブリッジされません。

原因: "転送" 状態に移行する通常のプロセスです。

SE.012

レベル: C-INFO

短構文: SE.012 SE- *se_id*:0x *source_mac*->0x *dest_mac* dropped, output port *port* net- *network* int *int*/ *int_no* not forwarding

長構文: SE.012 SE- *se_id*:Frame from 0x *source_mac* to 0x *dest_mac* dropped, output port *port* network *network* interface *int*/ *int_no* not in forwarding state

説明: MAC フレームはブリッジされている最中でしたが、あて先ポートが "転送" 状態ではありませんでした。そのポートでは、フレームは送信されません。

原因: 出力ポートがまだ "確認" 状態である。

処置: 何も必要ありません。ポートが "転送" に遷移するはずです。

原因: フィルター・データベース内の静的エントリが指しているポートが、まだ "転送" 状態でない。

SE.013

レベル: C-INFO

短構文: SE.013 SE- *se_id*:0x *source_mac*->0x *dest_mac* dropped, dst same LAN, port *port* net- *network* int *int*/ *int_no*

長構文: SE.013 SE- *se_id*:Frame from 0x *source_mac* to 0x *dest_mac* dropped, destination on same LAN, port *port* network *network* interface *int*/ *int_no*

説明: MAC フレームを受信しましたが、そのあて先アドレスが、ブリッジのパケットが来た側と同じ側にあります。ブリッジする必要がないので、フレームはフィルター論理によって除去されます。

原因: ネットワーク上の通常のローカル・トラフィック

SE.014

レベル: CI-ERROR

短構文: SE.014 SE- *se_id*:0x *source_mac*->0x *dest_mac* drp, dst port *port* not enabled, net- *network* int *int*/ *int_no*

長構文: SE.014 SE- *se_id*:Frame from 0x *source_mac* to 0x *dest_mac* dropped, destination port *port* not enabled, network *network* interface *int*/ *int_no*

説明: ブリッジされたフレームのあて先となっていたポートが "転送" 状態ではありません。

原因: フィルター・データベースが "転送" 状態にないポートを指しています。

SE.015

レベル: C-INFO

短構文: SE.015 SE- *se_id*:0x *source_mac*->0x *dest_mac* fwd from port *port* net- *network* int *int/ int_no* to port *port* net- *network* int *int/ int_no*

長構文: SE.015 SE- *se_id*:Frame from 0x *source_mac* to 0x *dest_mac* forwarded from port number *port* network *network* interface *int/ int_no* to port number *port* network *network* interface *int/ int_no*

説明: フレームは、発信元 MAC からあて先 MAC にブリッジ中です。

SE.016

レベル: C-INFO

短構文: SE.016 SE- *se_id*:0x *source_mac*->0x *dest_mac* drp due to VLAN defs, from port *port* net- *network* int *int/ int_no* to port *port* net- *network* int *int/ int_no*

長構文: SE.016 SE- *se_id*:0x *source_mac*->0x *dest_mac* dropped due to VLAN definitions, from port *port* net- *network* int *int/ int_no* to port *port* net- *network* int *int/ int_no*

説明: フレームは、VLAN フィルターにより、指定のインターフェースに転送されませんでした。

SE.017

レベル: CE-ERROR

短構文: SE.017 SE- *se_id*:Unreg dst 0x *source_mac*->0x *dest_mac* Etype *Ethernet_type*, drp, net- *network*

長構文: SE.017 SE- *se_id*:Frame from 0x *source_mac* to unregistered destination MAC address 0x *dest_mac*, Ethernet type *Ethernet_type*, dropped, network *network*

説明: 使用可能プロトコルに一致するイーサネット・タイプのフレームを受信しましたが、あて先 MAC アドレスがブリッジに登録されていません。フレームは廃棄されます。

原因: *dest_mac* がユニキャスト・アドレスの場合、LAN 上のステーションが、このプロトコル用のフレームを間違ったネクスト・ホップ MAC アドレスに送信しています。

処置: リモート・ステーションのアクションを訂正してください。

原因: *dest_mac* がマルチキャスト・アドレスの場合、LAN 上のステーションが、フレームを間違ったマルチキャスト・アドレスにか、あるいは、おそらくこのルーターが使用可能にしていないあて先アドレスだけに送信しています。プロトコルによって、これはエラーである場

合と、エラーでない場合があります。

処置: 必要な場合には、リモート・ステーションのアクションを訂正してください。

SE.018

レベル: CE-ERROR

短構文: SE.018 SE- *se_id*:Unkn SNAP mfr code *number* from 0x *source_MAC* net- *network ID*

長構文: SE.018 SE- *se_id*:Unknown SNAP manufacturer code *number* from 0x *source_MAC* net *network ID*

説明: このメッセージは、SNAP ヘッダーに不明の編成コード (000000 以外の) をもつフレームを受信したときに生成されます。フレームは同報通信でした。

原因: ホストが、SNAP を使用して、不明の固有プロトコル用のパケットを送信しています。

SE.019

レベル: UE-ERROR

短構文: SE.019 SE- *se_id*:DECnet bad len *actual_length* *claimed_length*, 0x *source_MAC_address*->0x *destination_MAC_address* net- *network*

長構文: SE.019 SE- *se_id*:DECnet packet received with a bad length *actual actual_length* *claimed claimed_length* from 0x *source_MAC_address* to 0x *destination_MAC_address* network *network*

説明: DECnet パケットを受信しましたが、長さフィールドが実際のパケット長より長くなっていました。

SE.020

レベル: UI-ERROR

短構文: SE.020 SE- *se_id*:LLC RSP to 0x *destination_Ethernet_address* dsc, rsn code, net- *network*

長構文: SE.020 SE- *se_id*:LLC response to 0x *destination_Ethernet_address* discarded, for reason *code*, network *network*

説明: コードで示されている理由により、LLC 応答 (XID または TEST) を指定のアドレスに送信できませんでした。

SE.021

レベル: UE-ERROR

短構文: SE.021 SE- *se_id*:Dropped IPX pkt w/ *encap_seen* encaps - using *encap_used* encaps on int *intnum*

長構文: SE.021 SE- *se_id*:Dropped IPX pkt with encaps

encap_seen using *encap_used* on interface *intnum*

説明: このメッセージは、このインターフェース用に選択された以外のカプセル化を使用した IPX パケットを受信した場合に生成されます。

原因: 単一回線で複数のカプセル化を使用しているネットワークの場合、これは正常です。

処置: 何も必要ありません。

SE.022

レベル: U-INFO

短構文: SE.022 SE- *se_id*:Unkn SNAP mfr code *number* from 0x *source_MAC* net- *network ID*

長構文: SE.022 SE- *se_id*:Unknown SNAP manufacturer code *number* from 0x *source_MAC* net *network ID*

説明: このメッセージは、SNAP ヘッダーに不明の編成コード (000000 以外の) をもつフレームを受信したときに生成されます。このフレームは、ルーターにアドレス指定されていました。

原因: ホストが、SNAP を使用して、不明の固有プロトコル用のパケットを送信しています。

SE.023

レベル: U-INFO

短構文: SE.023 SE- *se_id*:Unexp U-frame *LLC_control* from 0x *source_MAC* ssap *source_SAP* dsap *dest_SAP* net- *network ID*

長構文: SE.023 SE- *se_id*:Unexpected U-frame *LLC_control* from 0x *source_MAC*, ssap *source_SAP*, dsap *dest_SAP*, net *network ID*

説明: このメッセージは、予期しない 802.2 LLC U (非番号制) フレーム・タイプを受信したときに生成されます。(UI、XID、および TEST のみがサポートされます。) このフレームは、ルーターにアドレス指定されました。

SE.024

レベル: CE-ERROR

短構文: SE.024 SE- *se_id*:Unexp U-frame *LLC_control* from 0x *source_MAC* ssap *source_SAP* dsap *dest_SAP* net- *network ID*

長構文: SE.024 SE- *se_id*:Unexpected U-frame *LLC_control* from 0x *source_MAC*, ssap *source_SAP*, dsap *dest_SAP*, net *network ID*

説明: このメッセージは、予期しない 802.2 LLC U (非番号制) フレーム・タイプを受信したときに生成されま

す。(UI、XID、および TEST のみがサポートされます。) フレームは同報通信でした。

SE.025

レベル: CI-ERROR

短構文: SE.025 SE- *se_id*:Hello BPDU dropped because STP disabled on prt *port*, net- *network*

長構文: SE.025 SE- *se_id*:Hello BPDU dropped because STP disabled on port *port*, network *network*

説明: スパニング・ツリー・ハロー BPDU フレームを受信したポートは、SuperELAN スパニング・ツリーが使用不可にされています。SuperELAN に対しては手動スパニング・ツリー・サポートは使用可能にされていないので、このメッセージは表示されるはずはありません。このメッセージが表示される場合は、オペレーショナル・コードに問題があることを示しています。

SE.026

レベル: C-INFO

短構文: SE.026 SE- *se_id*:Frame dropped, src 0x *source_mac*==dest 0x *dest_mac*, port *port* net- *network int int/ int_no*

長構文: SE.026 SE- *se_id*:Frame from 0x *source_mac* to 0x *dest_mac*, source same as destination, dropping, from port *port* network *network* interface *int/ int_no*

説明: 同じアドレス間で送受信されるフレームは、ブリッジされません。

SE.027

レベル: UE-ERROR

短構文: SE.027 SE- *se_id*:DECnet bad len *actual_length* *claimed_length*, 0x *source_Ethernet_address*->0x *destination_Ethernet_address* net- *network*

長構文: SE.027 SE- *se_id*:DECnet packet received with a bad length *actual_length* *claimed_length* from 0x *source_Ethernet_address* to 0x *destination_Ethernet_address* network *network*

説明: DECnet パケットを受信しましたが、長さフィールドが実際のパケット長より長くなっていました。

SE.028

レベル: UE-ERROR

短構文: SE.028 SE- *se_id*:DECnet MOP bad len *actual_length* *claimed_length*, 0x *source_Ethernet_address*->0x *destination_Ethernet_address* net- *network*

長構文: SE.028 SE- *se_id*:DECnet MOP packet received with a bad length actual *actual_length* claimed *claimed_length* from 0x *source_Ethernet_address* to 0x *destination_Ethernet_address* network *network*

説明: DECnet MOP パケットを受信しましたが、長さフィールドが実際のパケットの長さより大きくなっていました。

SE.029

レベル: UE-ERROR

短構文: SE.029 SE- *se_id*:Unexp type bcast frame *LLC_control* from 0x *source_MAC* ssap *source_SAP* dsap *dest_SAP* net- *network ID*

長構文: SE.029 SE- *se_id*:Unexpected type broadcast frame *LLC_control* from 0x *source_MAC*, ssap *source_SAP*, dsap *dest_SAP*, net *network ID*

説明: このメッセージは、予期しない 802.2 LLC フレーム・タイプを受信したときに生成されます。タイプは、I (情報転送) または S (監視) です。フレームは同報通信でした。

原因: ホストが、ルーターへの 802.2 タイプ 2 接続を試みています。

SE.030

レベル: UE-ERROR

短構文: SE.030 SE- *se_id*:IPX pkt in *received_encapsulation* encaps ign, using *configured_encapsulation* encaps, net- *network*

長構文: SE.030 SE- *se_id*:IPX pkt in *encapsulation received_encapsulation* ignored, using *encapsulation configured_encapsulation* on *network network*

説明: このメッセージは、インターフェースの IPX 用に構成されたフレーム以外のデータ・リンク・カプセル (フレーム) に入った IPX パケットを受信すると生成されます。パケットは無視されます。 *received_encapsulation* および *configured_encapsulation* は、"ETHERNET_802.3"、"ETHERNET_II"、"ETHERNET_802.2"、または "ETHERNET_SNAP" のうちのいずれか 1 つです。 ETHERNET_802.3 は "Novell" とも呼ばれ、ETHERNET_II は "Ethernet" とも呼ばれます。

原因: このネットワークで 1 つだけのカプセル化が使用されている場合、このノードのカプセルは、ネットワーク上の他のすべての IPX ノードと同じではありません。

処置: ネットワーク上のすべてのノードが同一のカプセルを使用するように構成してください。

原因: このネットワークで複数のカプセルが使用されている場合、パケットは、このノードとは異なるカプセル

を使用しているノードから受信されています。

SE.031

レベル: U-INFO

短構文: SE.031 SE- *se_id*:Unexp type frame *LLC_control* from 0x *source_MAC* ssap *source_SAP* dsap *dest_SAP* net- *network ID*

長構文: SE.031 SE- *se_id*:Unexpected type frame *LLC_control* from 0x *source_MAC*, ssap *source_SAP*, dsap *dest_SAP*, net *network ID*

説明: このメッセージは、予期しない 802.2 LLC フレーム・タイプを受信したときに生成されます。タイプは、I (情報転送) または S (監視) です。フレームは、ルーターにアドレス指定されていました。

原因: ホストが、ルーターへの 802.2 タイプ 2 接続を試みています。

SE.032

レベル: UI-ERROR

短構文: SE.032 SE- *se_id*:SR 0x *source_mac*->0x *dest_mac* send failed, rsn *reason_code*, port *port* net- *network* int *int*/ *int_no*

長構文: SE.032 SE- *se_id*:Sending source routed frame from 0x *source_mac* to 0x *dest_mac* failed, reason *reason_code*, on port *port* network *network* interface *int*/ *int_no*

説明: ソース・ルーティング・フレームの送信が失敗しました。 *reason_code* は、障害の内部エラー・コードです。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、 *network_name* を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたは不正な同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去された (理由コード 4)。

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

SE.033

レベル: UI-ERROR

短構文: SE.033 SE- *se_id*:LOOP fwd to 0x
forward_Ethernet_address dropped, *rsn_code*, net- *network*

長構文: SE.033 SE- *se_id*:Loopback protocol, forward to
0x *forward_Ethernet_address* discarded, for *reason_code*,
network network

説明: コードで示されている理由により、イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットが指定のアドレスに転送できませんでした。

SE.034

レベル: U-INFO

短構文: SE.034 SE- *se_id*:Unkn SNAP type *type_code* from
0x *source_MAC* net- *network ID*

長構文: SE.034 SE- *se_id*:Unknown SNAP type *type_code*
from 0x *source_MAC* net *network ID*

説明: このメッセージは、不明の SNAP タイプ (編成コード 000000 内の) をもつフレームを受信したときに生成されます。フレームは、ルーターにアドレス指定されていました。

原因: ホストが、SNAP を使用して、不明のイーサネット・タイプに関するパケットを送信しています。

SE.035

レベル: CE-ERROR

短構文: SE.035 SE- *se_id*:Unkn SNAP type *type_code* from
0x *source_MAC* net- *network ID*

長構文: SE.035 SE- *se_id*:Unknown SNAP type *type_code*
from 0x *source_MAC* net *network ID*

説明: このメッセージは、不明の SNAP タイプ (編成コード 000000 内の) をもつフレームを受信したときに生成されます。フレームは同報通信でした。

原因: ホストが、SNAP を使用して、不明のイーサネット・タイプに関するパケットを送信しています。

SE.036

レベル: U-INFO

短構文: SE.036 SE- *se_id*:Unkn SAP *sap_number* from 0x
source_MAC net- *network ID*

長構文: SE.036 SE- *se_id*:Unknown SAP *sap_number* from
0x *source_MAC* net *network ID*

説明: このメッセージは、不明のあて先 SAP をもつパ

ケットを受信したときに生成されます。メッセージは、ルーターにアドレス指定されていました。

原因: ホストが不明のプロトコル識別子 (SAP) のパケットを送信しています。

SE.037

レベル: U-INFO

短構文: SE.037 SE- *se_id*:Unkn SAP *sap_number* from 0x
source_MAC net- *network ID*

長構文: SE.037 SE- *se_id*:Unknown SAP *sap_number* from
0x *source_MAC* net *network ID*

説明: このメッセージは、不明のあて先 SAP をもつパケットを受信したときに生成されます。メッセージは同報通信でした。

原因: ホストが不明のプロトコル識別子 (SAP) のパケットを送信しています。

SE.038

レベル: C-INFO

短構文: SE.038 SE- *se_id*:Main pkt rcvd on net- *network*

長構文: SE.038 SE- *se_id*:Maintenance packet received on
net *network*

説明: ハンドラーが保守パケットを受信しました。

SE.039

レベル: CI-ERROR

短構文: SE.039 SE- *se_id*:0x *source_mac*->0x *dest_mac*
dropped, dest addr filt, port *port* net- *network int/ int_no*

長構文: SE.039 SE- *se_id*:Frame from 0x *source_mac* to
0x *dest_mac* dropped, destination address filtered, port *port*
network network interface int/ int_no

説明: ハードウェアが MAC フレームを受信しましたが、あて先 MAC アドレスがブリッジによって管理されてフィルター処理されます。フレームは廃棄されます。

原因: あて先 MAC アドレスが排他的フィルターに合致するフレームを受信しました。

SE.040

レベル: C-INFO

短構文: SE.040 SE- *se_id*:Test pkt 0x *mac_address*, src *sap*
source_sap, net- *network*

長構文: SE.040 SE- *se_id*:Test packet from 0x *mac_address*,
source sap source_sap, net *network*

説明: ハンドラーがテスト・メッセージを受信しました。

SE.041

レベル: C-INFO

短構文: SE.041 SE- *se_id*:XID pkt 0x *mac_address*, sap *source_sap*, net- *network*

長構文: SE.041 SE- *se_id*:XID packet received from 0x *mac_address*, source sap *source_sap*, net *network*

説明: ハンドラーが xid メッセージを受信しました。

SE.042

レベル: UE-ERROR

短構文: SE.042 SE- *se_id*:LOOP mcast fwd dest 0x *forward_Ethernet_address*, 0x *source_Ethernet_address*->0x *destination_Ethernet_address*, net- *network*

長構文: SE.042 SE- *se_id*:Loopback Protocol, multicast forward address 0x *forward_Ethernet_address* from 0x *source_Ethernet_address* to 0x *destination_Ethernet_address*, network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットに、マルチキャストの転送アドレスが入っています。パケットは廃棄されます。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

SE.043

レベル: C_INFO

短構文: SE.043 SE- *se_id*:LOOP fwd 0x *source_Ethernet_address*->0x *forward_Ethernet_address*, net- *network*

長構文: SE.043 SE- *se_id*:Loopback Protocol, forwarding from 0x *source_Ethernet_address* to 0x *forward_Ethernet_address*, network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットを、指定のネクスト・ホップに転送中です。

SE.044

レベル: C-INFO

短構文: SE.044 SE- *se_id*:SRF rcv (RIF *RIF*) 0x *source_mac*->0x *dest_mac* from port *port*, net- *network* int *int/* *int_no*

長構文: SE.044 SE- *se_id*:Specifically-routed frame received (RIF *RIF*) from 0x *source_mac* to 0x *dest_mac* from port

port, network *network* interface *int/* *int_no*

説明: 指定されたポート上で特別ルーティング・フレームを受信しました。

SE.045

レベル: C-INFO

短構文: SE.045 SE- *se_id*:Send SRF (RIF *RIF*) 0x *source_mac*->0x *dest_mac* to port *port*, net- *network* int *int/* *int_no*

長構文: SE.045 SE- *se_id*:Sending Specifically-routed frame (RIF *RIF*) from 0x *source_mac* to 0x *dest_mac* to port *port*, network *network* interface *int/* *int_no*

説明: 指定されたポート上で特別ルーティング・フレームを送信中です。

SE.046

レベル: UE-ERROR

短構文: SE.046 SE- *se_id*:LOOP func *function* not fwd, 0x *source_Ethernet_address*->0x *destination_Ethernet_address*, net- *network*

長構文: SE.046 SE- *se_id*:Loopback Protocol, function *function* not Forward Data from 0x *source_Ethernet_address* to 0x *destination_Ethernet_address*, network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットに、転送 (2) の機能コードが入っていませんでした。パケットは廃棄されます。

原因: ここは、このパケットの最終あて先なので、機能コードは応答 (1) でした。

処置: なし。

原因: リモート・ノードのプログラム・エラーによる未定義機能コード

SE.047

レベル: DEBUG

短構文: SE.047 SE- *se_id*:Attempt to learn MAC addr 0x *mac* for our own net- *network* int *int/* *intno*

長構文: SE.047 SE- *se_id*:Attempted to learn MAC address 0x *mac* for our own net- *network* int *int/* *intno*

説明: 転送コードが、それ自体のインターフェース MAC アドレスをキャッシュしようとしてしました。このアドレスは、動的に確認されるようなことがあってはなりません。これが起こる可能性があるのは、ネットワーク内の別の MAC アドレスが SE インターフェース MAC アドレスに一致しているか、あるいは SE BPDU が送信インターフェースにループバックされている場合です。

SE.048

レベル: C-INFO

短構文: SE.048 SE- *se_id*:message event not used

長構文: SE.048 SE- *se_id*:message event not used

説明: このメッセージ事象は使用されていません。

SE.049

レベル: C-INFO

短構文: SE.049 SE- *se_id*:message event not used

長構文: SE.049 SE- *se_id*:message event not used

説明: このメッセージ事象は使用されていません。

SE.050

レベル: C-INFO

短構文: SE.050 SE- *se_id*:LOOP rcv 0x
source_Ethernet_address->0x *destination_Ethernet_address*, net-
network

長構文: SE.050 SE- *se_id*:Loopback Protocol frame received
from 0x *source_Ethernet_address* to 0x
destination_Ethernet_address, network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットを受信しました。

SE.051

レベル: UE-ERROR

短構文: SE.051 SE- *se_id*:SRF 0x *source_mac*->0x *dest_mac*
too big (*reformatted_length* > *output_maximum*) for port *port*
net- *network* int *int/* *int_no*, dropped

長構文: SE.051 SE- *se_id*:Specifically-routed frame from
0x *source_mac* to 0x *dest_mac* is too big (reformatted length
reformatted_length > output maximum size *output_maximum*)
for port *port* network *network* interface *int/* *int_no*, dropped

説明: 指定された特別ルーティング (ソース・ルーティング) フレームは大き過ぎて、この発信ポートとネットワーク上では送信できません。 *reformatted_length* は、データ・リンク・ヘッダーのマッピング後の、MAC ヘッダーを含めたフレームのサイズです。

原因: ホストが戻された探索フレームからの LF ビット値を使用していません。

処置: ホストを修正してください。

SE.052

レベル: C-INFO

短構文: SE.052 SE- *se_id*:ELAN ' *src_elan*'/net- *src_netno*
-> ELAN ' *targ_elan*'/net- *targ_netno* *frame_type* drp due
to VLAN defs

長構文: SE.052 SE- *se_id*:ELAN ' *src_elan*'/net- *src_netno*
-> ELAN ' *targ_elan*'/net- *targ_netno* *frame_type* drp due
to VLAN defs

説明: LE 制御フレームは、VLAN フィルターのために、指定されたインターフェースに転送されませんでした。

SE.053

レベル: UE-ERROR

短構文: SE.053 SE- *se_id*:Inv RIF len *RIF_length*, 0x
source_mac->0x *dest_mac* port *port*, net- *network* ID, dropped

長構文: SE.053 SE- *se_id*:Frame with invalid RIF length
RIF_length from 0x *source_mac* to 0x *dest_mac* from port
port, network *network* ID, discarded

説明: ソース・ルーティング・フレームを受信しましたが、RIF の長さビットに符号化されている RIF 長さが無効です。

原因: 受信したフレームの RIF 長さが 2 より小さいか、長さが 2 の倍数ではありません。

処置: 送信ノードのソフトウェアを訂正してください。

SE.054

レベル: UE-ERROR

短構文: SE.054 SE- *se_id*:LOOP odd skip *count*, 0x
source_Ethernet_address->0x *destination_Ethernet_address*, net-
network

長構文: SE.054 SE- *se_id*:Loopback Protocol, odd skipCount
count from 0x *source_Ethernet_address* to 0x
destination_Ethernet_address, network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケット内に、奇数の skipCount が含まれていました。パケットは廃棄されます。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

SE.055

レベル: UE-ERROR

短構文: SE.055 SE- *se_id*:LOOP bd skip *count*, 0x
source_Ethernet_address->0x *destination_Ethernet_address*, net-
network

長構文: SE.055 SE- *se_id*:Loopback Protocol, bad skipCount count from 0x *source_Ethernet_address* to 0x *destination_Ethernet_address*, network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットに、パケットの終わりより先を指す skipCount が入っていました。パケットは廃棄されます。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

SE.056

レベル: C-INFO

短構文: SE.056 SE- *se_id*:0x *source_mac*->0x *dest_mac* dropped, port block/list, net- *network*

長構文: SE.056 SE- *se_id*:Frame from 0x *source_mac* to 0x *dest_mac* dropped, received on blocked or listening port, network *network*

説明: MAC フレームがハードウェアによって受信されましたが、廃棄されている最中です。受信が行われたポートが "閉そく" 状態または "listen" 状態のためです。フレームが処理されるのは、ポートが "確認" 状態または "転送" 状態のときだけです。

原因: ポートの起動時には正常です。

処置: ポートが "確認" 状態および "転送" 状態に遷移するのを待ちます。

SE.057

レベル: C-INFO

短構文: SE.057 SE- *se_id*:Chg state *old_state* to *new_state*, port *port* net- *network*

長構文: SE.057 SE- *se_id*:Changing port state from *old_state* to *new_state* for port *port*, network *network*

説明: スパン・ツリー・プロトコルが、SRT ブリッジ内のこのポートのこの状態変更を要求しました。 *old_state* および *new_state* は、次のいずれか 1 つです。 FORWARDING (スパンニング・ツリー・プロトコル転送状態)、 LEARNING (スパンニング・ツリー・プロトコル確認状態)、 LISTENING (スパンニング・ツリー・プロトコル listen 状態)、 BLOCKED (スパンニング・ツリー・プロトコル閉そく状態)、 CONFIGURING (ポート装置の構成保留)、 POSTCONFIGURING (ポート装置の構成完了)、 PRECONFIGURING (ポート使用可能、ポート装置の構成開始)、および DISABLED (ポート使用不可)。

SE.058

レベル: P-TRACE

短構文: SE.058 SE- *se_id*:Trace incoming data frame from ELAN ' *elan*'

長構文: SE.058 SE- *se_id*:Trace incoming data frame from ELAN ' *elan*'

説明: 着信データ・フレームのトレース

SE.059

レベル: P-TRACE

短構文: SE.059 SE- *se_id*:Trace outgoing data frame to ELAN ' *elan*'

長構文: SE.059 SE- *se_id*:Trace outgoing data frame to ELAN ' *elan*'

説明: 発信データ・フレームのトレース

SE.060

レベル: DEBUG

短構文: SE.060 SE- *se_id*:MAC 0x *mac* found in DFFC mapped to ELAN ' *elan*', net- *network* int *int*/ *int_no*

長構文: SE.060 SE- *se_id*:MAC 0x *mac* found in DFFC mapped to ELAN ' *elan*', net- *network* int *int*/ *int_no*

説明: DFFC データベースで MAC アドレスの検索に成功しました。

SE.061

レベル: DEBUG

短構文: SE.061 SE- *se_id*:Rte Desc *ring. bridge* found in DFFC mapped to ELAN ' *elan*', net- *network* int *int*/ *int_no*

長構文: SE.061 SE- *se_id*:Route Descriptor *ring. bridge* found in DFFC mapped to ELAN ' *elan*', net- *network* int *int*/ *int_no*

説明: DFFC データベースでルート記述子の検索に成功しました。

SE.062

レベル: C-INFO

短構文: SE.062 SE- *se_id*:Chg state *old_state* to *new_state*, port *port* net- *network*

長構文: SE.062 SE- *se_id*:Changing port state from *old_state* to *new_state* for port *port*, network *network*

説明: SE スパン・ツリー・プロトコルが、SE ブリッジ

内のこのポートのこの状態変更を要求しました。 `old_state` および `new_state` は、次のいずれか 1 つです。 FORWARDING (スパンニング・ツリー・プロトコル転送状態)、 LEARNING (スパンニング・ツリー・プロトコル確認状態)、 LISTENING (スパンニング・ツリー・プロトコル listen 状態)、 BLOCKED (スパンニング・ツリー・プロトコル閉そく状態)、 CONFIGURED (ポートは構成済み、SPT を待機)、 NETDOWN (ポートは構成されているが、インターフェースがダウン)、 CONFIGURING (ポートを構成中)、 および NOTSETUP (ポートは未構成)。

SE.063

レベル: C_INFO

短構文: SE.063 SE- *se_id*:0x *source_mac*->0x *dest_mac* SNAP *protocol_identifier*, endnode, net- *network*

長構文: SE.063 SE- *se_id*:Frame from 0x *source_mac* to 0x *dest_mac*, IEEE 802 SNAP Protocol Identifier *protocol_identifier* for endnode protocol, network *network*

説明: エンド・ノード・プロトコルに一致する、IEEE 802 サブネットワーク・アクセス・プロトコル (SNAP) プロトコル識別子 (PID) のマルチキャスト・フレームを受信しました。フレームは、エンド・ノード・プロトコルによってブリッジされ、ローカルで処理されます。

SE.064

レベル: CI_ERROR

短構文: SE.064 SE- *se_id*:DFFC MAC Cache exceeded, 0x *mac* deleted from cache

長構文: SE.064 SE- *se_id*:DFFC MAC Cache exceeded, 0x *mac* deleted from cache

説明: DFFC MAC キャッシュが、構成された最大サイズを超えました。最も古い MAC エントリが削除されます。

処置: 処置は必要ありません。利用可能な空きヒープ記憶域がある場合は、MAC キャッシュのサイズを増やすことができます。ヒープ記憶域の空き容量は、talk 5 インターフェース・コンソールから mem コマンドを出して調べることができます。

SE.065

レベル: UI_ERROR

短構文: SE.065 SE- *se_id*:No memory available for allocating cache entry

長構文: SE.065 SE- *se_id*:No memory available for allocating cache entry

説明: 記憶域不足のために、CFFC または DFFC エント

リーを割り振ることができませんでした。

処置: 過剰な記憶域ヒープ割り振りを防止するために、DFFC MAC キャッシュのサイズを減らすことが必要になる場合があります。その他のコンポーネントの構成も検査して、無駄な記憶域割り振りにつながる不当に高いパラメーター設定値がないか調べてください。

SE.066

レベル: CE_ERROR

短構文: SE.066 SE- *se_id*:Bridges connected to SE have diff cnfg ring num, 0x *ring_new* replaces 0x *ring_old*.

長構文: SE.066 SE- *se_id*:Bridges connected to SE have diff cnfg ring number, 0x *ring_new* replaces 0x *ring_old*.

説明: SuperELAN に接続されたブリッジは、異なるリング番号で構成されています。SE キャッシュは、確認された最新のリング番号が正しいものと想定し、それを現行のリング番号値とします。ルート・キャッシュはフラッシュされます。

処置: 接続ブリッジのリング番号設定値を変更し、SuperELAN に直接接続されたすべてのブリッジが同じリング番号に構成されていることを確認してください。これを行わないと SuperELAN の動作効率が低くなりますが、ネットワークの接続性には影響しないはずです。

SE.067

レベル: CI-ERROR

短構文: SE.067 SE- *se_id*:Ctrl q ovf, dropped, net- *network* int *int*/ *int_no*

長構文: SE.067 SE- *se_id*:Control frame queue overflow, packet dropped from network *network* interface *int*/ *int_no*

説明: 転送する制御フレーム待ち行列が長過ぎて、輻輳(ふくそう)を緩和するために、このフレームは廃棄されました。

SE.068

レベル: CE-ERROR

短構文: SE.068 SE- *se_id*:ELAN ' *elan*'/net- *netno* unjoined LES/BUS due to frame sz mismatch

長構文: SE.068 SE- *se_id*:ELAN ' *elan*'/net- *netno* unjoined LES/BUS due to frame size mismatch

説明: ELAN は、SuperELAN フレーム・サイズとは異なるフレーム・サイズを持つ LES/BUS の結合に成功しましたが、ショートカット LEC は LES/BUS から除去され、SuperELAN 内で使用することはできません。

処置: ショートカット LEC を結合しようとした

LES/BUS フレーム・サイズを変更するか、SuperELAN を異なるフレーム・サイズで再構成してください。

SE.069

レベル: CI-ERROR

短構文: SE.069 SE- *se_id*:ELAN ' *elan*'/net- *netno* no global bufs, LE Ctrl frame droppe.

長構文: SE.069 SE- *se_id*:ELAN ' *elan*'/net- *netno* no global buffers, LE Ctrl frame dropped

説明: LE 制御フレームをコピーするために利用可能なグローバル・バッファがありませんでした。フレームは SuperELAN ブリッジによって廃棄されました。

SE.070

レベル: CI-ERROR

短構文: SE.070 SE- *se_id*:ELAN ' *elan*'/net- *netno* no mem available to cache LE Ctrl frame

長構文: SE.070 SE- *se_id*:ELAN ' *elan*'/net- *netno* no memory available to cache LE Ctrl frame

説明: LE 制御フレームをキャッシュするために利用可能な記憶域がありません。フレームは SuperELAN ブリッジによって廃棄されました。

SE.071

レベル: C-INFO

短構文: SE.071 SE- *se_id*:ELAN ' *elan*'/net- *netno* LE Ctrl frame filt, Target MAC=0x *target_mac*

長構文: SE.071 SE- *se_id*:ELAN ' *elan*'/net- *netno* LE Ctrl frame filtered, Target MAC=0x *target_mac*

説明: LE ARP 要求がフィルターに掛けられました。

SE.072

レベル: C-INFO

短構文: SE.072 SE- *se_id*:ELAN ' *elan*'/net- *netno* LE Ctrl frame dropped, port not fwd

長構文: SE.072 SE- *se_id*:ELAN ' *elan*'/net- *netno* LE Ctrl frame dropped, port not forwarding

説明: ポートが転送状態になかったために、LE 制御フレームは廃棄されました。

SE.073

レベル: P-TRACE

短構文: SE.073 SE- *se_id*:Trace incoming LE Control frame from ELAN ' *elan*'

長構文: SE.073 SE- *se_id*:Trace incoming LE Control frame from ELAN ' *elan*'

説明: 着信 LE 制御フレームのトレース

SE.074

レベル: P-TRACE

短構文: SE.074 SE- *se_id*:Trace outgoing LE Control frame to ELAN ' *elan*'

長構文: SE.074 SE- *se_id*:Trace outgoing LE Control frame to ELAN ' *elan*'

説明: 発信 LE 制御フレームのトレース

SE.075

レベル: C-INFO

短構文: SE.075 SE- *se_id*:New targ route desc *ring*. *bridge* lrnd on ELAN ' *elan*'/net- *net* int *int*/ *intno*

長構文: SE.075 SE- *se_id*:New target route descriptor *ring*. *bridge* learned on ELAN ' *elan*'/net- *net* int *int*/ *intno*

説明: ネットのターゲット・ルート記述子が確認されました。このルート記述子は、ソース・ルート・ブリッジを介して SuperELAN に接続された次のブリッジ・リング・セグメントを表します。

SE.076

レベル: C-INFO

短構文: SE.076 SE- *se_id*:Target route desc *ring*. *bridge* deleted from DFFC

長構文: SE.076 SE- *se_id*:Target route desc *ring*. *bridge* deleted from DFFC

説明: ターゲット・ルート記述子が DFFC から除去されました。これが行われるのは、DFFC がフラッシュされるか、ルート記述子が経時処理によって除去された場合です。

SE.077

レベル: C-INFO

短構文: SE.077 SE- *se_id*:New MAC addr 0x *mac* learned on ELAN ' *elan*'/net- *net* int *int*/ *intno*

長構文: SE.077 SE- *se_id*:New MAC addr 0x *mac* learned

on ELAN ' *elan*', net- *net* int *int*/ *intno*

説明: 新しい MAC アドレスが確認されました。この MAC アドレスは、SuperELAN 内の ELAN に直接接続されたステーション、または透過型ブリッジの背後にある従来型ステーションを表しています。

SE.078

レベル: C-INFO

短構文: SE.078 SE- *se_id*:MAC addr 0x *mac* deleted from DFFC

長構文: SE.078 SE- *se_id*:MAC addr 0x *mac* deleted from DFFC

説明: MAC アドレスが DFFC から除去されました。これが行われるのは、DFFC がフラッシュされるか、MAC アドレスが経時処理によって除去された場合です。

SE.079

レベル: C-INFO

短構文: SE.079 SE- *se_id*:Dup MAC 0x *mac* found in DFFC

長構文: SE.079 SE- *se_id*:Dup MAC 0x *mac* found in DFFC

説明: DFFC データベースで MAC アドレスを検索した結果、重複する MAC の一致が検出されました。

SE.080

レベル: C-INFO

短構文: SE.080 SE- *se_id*:Dup MAC 0x *mac* detected on ELAN ' *elan*', net- *network* int *int*/ *int_no*

長構文: SE.080 SE- *se_id*:Duplicate MAC 0x *mac* detected on ELAN ' *elan*', net- *network* int *int*/ *int_no*

説明: 重複する MAC が検出されました。MAC は確認された ELAN に追加されました。

Fatal seiisrt

短構文: SE: Invalid *i_srt* on input

説明: ハンドラーから転送機能に渡された *i_srt* フラグの値が無効です。

原因: ソフトウェアのバグ

処置: 破損したダンプを取って、サービス技術員に連絡してください。

Fatal seuimed

短構文: SE: unknown input media

説明: 入力ネット・タイプが、SRT ブリッジによって認知されているタイプ (802.3/イーサネット、FDDI、または 802.5) の 1 つではありません。

原因: ソフトウェアのバグ

処置: 破損したダンプを取って、サービス技術員に連絡してください。

第100章 SuperELAN スパニング・ツリー・プロトコル (SEST)

この章では、SuperELAN スパニング・ツリー・プロトコル (SEST) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

SEST.001

レベル: C-INFO

短構文: SEST.001 Cfg BPDU rcv frame *source_address* *bridge_type-se_id* port *bridge_port*, net- *network* int *int/* *int_no*

長構文: SEST.001 Configuration BPDU received frm *source_address* on *bridge_type-se_id* port *bridge_port*, *network network* interface *int/ int_no*

説明: 指定の MAC アドレスから、構成 BPDU を受信しました。

原因: このポートのこのブリッジと同じネットワーク上の別の SE ブリッジ

SEST.002

レベル: C-INFO

短構文: SEST.002 Tcn BPDU rcv frame *source_address* *bridge_type-se_id* port *bridge_port*, net- *network* int *int/* *int_no*

長構文: SEST.002 Topology change notification BPDU received frame *source_address* on *bridge_type-se_id* port *bridge_port*, *network network* interface *int/ int_no*

説明: トポロジー変更通知 BPDU が指定された MAC アドレスから受信されました。

原因: 送信ブリッジで、または送信ブリッジのダウンストリームで、トポロジー変更を検出しました。

処置: 何も必要ありません。トポロジー変更がルート・ブリッジによって確認されると、メッセージは出なくなるはずです。

SEST.003

レベル: UE-ERROR

短構文: SEST.003 Ukn BPDU type *BDPU_type* rcv frame *source_address* *bridge_type-se_id* port *bridge_port*, net- *network* int *int/ int_no*

長構文: SEST.003 Unkown BPDU type *BDPU_type* received frame *source_address* on *bridge_type-se_id* port *bridge_port*, *network network* interface *int/ int_no*

説明: 指定されたホストから BPDU を受信しましたが、

BPDU タイプ・フィールドに未定義の値が入っています。これは無視されます。

原因: リモート・ブリッジでのプログラム・エラー

処置: リモート・ノードを訂正してください。

原因: 受信パケットのデータの破壊

処置: データ破壊の原因を除去してください。

SEST.004

レベル: UE-ERROR

短構文: SEST.004 BPDU bad ID *Protocol_Identifier* frame *source_address* *bridge_type-se_id* port *bridge_port*, net- *network* int *int/ int_no*

長構文: SEST.004 BPDU bad protocol identifier *Protocol_Identifier* frame *source_address* on *bridge_type-se_id* port *bridge_port*, *network network* interface *int/ int_no*

説明: 構成 BPDU を受信しましたが、プロトコル識別子が 0000 ではありません。これは無視されます。

原因: リモート・ブリッジでのプログラム・エラー

処置: リモート・ノードを訂正してください。

原因: 受信パケットのデータの破壊

処置: データ破壊の原因を除去してください。

SEST.005

レベル: UE-ERROR

短構文: SEST.005 BPDU bad ver *Protocol_Version_Identifier* frame *source_address* *bridge_type-se_id* port *bridge_port*, net- *network* int *int/ int_no*

長構文: SEST.005 BPDU bad Version *Protocol_Version_Identifier* frame *source_address* on *bridge_type-se_id* port *bridge_port*, *network network* interface *int/ int_no*

説明: 構成 BPDU を受信しましたが、プロトコル・バージョン識別子が 00 ではありません。これは無視されます。

原因: リモート・ブリッジでのプログラム・エラー

処置: リモート・ノードを訂正してください。

原因: 受信パケットのデータの破壊

処置: データ破壊の原因を除去してください。

SEST.006

レベル: UE-ERROR

短構文: SEST.006 Cfg BPDU trunc (*length* byt) frame *source_address* *bridge_type*- *se_id* port *bridge_port*, net-*network* int *int*/ *int_no*

長構文: SEST.006 Configuration BPDU tuncated (*length* bytes) frame *source_address* on *bridge_type*- *se_id* port *bridge_port*, network *network* interface *int*/ *int_no*

説明: 構成 BPDU を受信しましたが、バイトの長さが正しくありません。これは無視されます。

原因: リモート・ブリッジでのプログラム・エラー

処置: リモート・ノードを訂正してください。

原因: 受信パケットのデータの破壊

処置: データ破壊の原因を除去してください。

SEST.007

レベル: UE-ERROR

短構文: SEST.007 Cfg BPDU unk flg *flags* frame *source_address* *bridge_type*- *se_id* port *bridge_port*, net-*network* int *int*/ *int_no*

長構文: SEST.007 Configuration BPDU unknown flags *flags* frame *source_address* on *bridge_type*- *se_id* port *bridge_port*, network *network* interface *int*/ *int_no*

説明: 構成 BPDU を受信しましたが、フラグ・フィールドに未定義のビットが設定されています。これは無視されます。

原因: リモート・ブリッジでのプログラム・エラー

処置: リモート・ノードを訂正してください。

原因: 受信パケットのデータの破壊

処置: データ破壊の原因を除去してください。

SEST.008

レベル: UE-ERROR

短構文: SEST.008 Tcn BPDU trunc (*length* byt) frame *source_address* *bridge_type*- *se_id* port *bridge_port*, net-*network* int *int*/ *int_no*

長構文: SEST.008 Topology change notification BPDU tuncated (*length* bytes) frame *source_address* on *bridge_type*- *se_id* port *bridge_port*, network *network* interface *int*/ *int_no*

説明: トポロジー変更通知 BPDU を受信しましたが、バイトの長さが正しくありません。これは無視されます。

原因: リモート・ブリッジでのプログラム・エラー

処置: リモート・ノードを訂正してください。

原因: 受信パケットのデータの破壊

処置: データ破壊の原因を除去してください。

SEST.009

レベル: UI-ERROR

短構文: SEST.009 No buf for BPDU *bridge_type*- *se_id* port *bridge_port*, net- *network* int *int*/ *int_no*

長構文: SEST.009 No buffer to send BDPU on *bridge_type*- *se_id* port *bridge_port*, network *network* interface *int*/ *int_no*

説明: 指定のポートで、BDPU を作成して送信するために利用可能なパケット・バッファがありません。

原因: 重大なパケット・バッファの不足

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。

原因: トラフィック・ピークで、利用可能なバッファがすべて使われています。

処置: 問題になるのは、このメッセージが出る頻度が低い場合です。

SEST.010

レベル: C-INFO

短構文: SEST.010 Sndg cfg BPDU *bridge_type*- *se_id* port *bridge_port*, net- *network* int *int*/ *int_no*

長構文: SEST.010 Sending Configuration BPDU on *bridge_type*- *se_id* port *bridge_port* network *network* interface *int*/ *int_no*

説明: 指定のポートで、構成 BPDU が送信されました。これは通常、SE スパニング・ツリー・プロトコルの一部として、定期的に行われます。この BPDU のフラグ・フィールドはゼロです。たとえば、トポロジー変更ビットもトポロジー変更確認ビットもセットされていません。

SEST.011

レベル: C-INFO

短構文: SEST.011 Sndg Cfg BPDU flgs *TC* *TCA* *bridge_type*- *se_id* port *bridge_port*, net- *network* int *int*/ *int_no*

長構文: SEST.011 Sending Configuration BPDU with flags *TC* *TCA* on *bridge_type*- *se_id* port *bridge_port*, network *network* interface *int*/ *int_no*

説明: 指定のポートで、構成 BPDU が送信されました。

これは通常、SE スパニング・ツリー・プロトコルの一部として、定期的に行われます。TC が表示されるのは、トポロジー変更ビットが BPDU のフラグ・バイトに設定される場合であり、TCA が表示されるのは、トポロジー変更確認ビットがフラグ・バイト内に設定される場合です。

原因: このブリッジがルート・ブリッジであり、トポロジー変更が進行中であることを知っている場合、トポロジー変更フラグがセットされます。また、非ルート・ブリッジが、着信構成 BPDU 内で受信したこのビットを送ります。

処置: 何も必要ありません。このフラグが設定される時間は、現行最大経過時間パラメーターと現行転送遅延パラメーター（ルート・ブリッジによって伝送される）の合計だけに過ぎません。

原因: このブリッジがトポロジー変更通知 BPDU を受信し、このポートがその LAN 上の指定ブリッジである場合は、トポロジー変更確認フラグが設定されます。

処置: 何も必要ありません。このフラグは 1 つの BPDU でしか送信されません。

SEST.012

レベル: C-INFO

短構文: SEST.012 Sndg tcn BPDU *bridge_type- se_id* port *bridge_port*, net- *network* int *int/ int_no*

長構文: SEST.012 Sending Topology Change Notification BPDU on *bridge_type- se_id* port *bridge_port* network *network* interface *int/ int_no*

説明: 指定のポートで、トポロジー変更通知 BPDU が送信されます。これらが非ルート・ポートのルート・ポート上で送信されるのは、スパニング・ツリー内にトポロジー変更を検出した場合です。

原因: このスパニング・ツリー内のブリッジ、またはブリッジ上のインターフェースが、アップまたはダウン状態になりました。

処置: 何も必要ありません。この状態が持続するのは、トポロジー変更確認の受信、または古いルート・ブリッジが到達不能になっていることを示すタイムアウトまでに過ぎません。

SEST.013

レベル: UI-ERROR

短構文: SEST.013 BPDU snd failed, rs_n *reason_code*, *bridge_type- se_id* port *bridge_port*, net- *network* int *int/ int_no*

長構文: SEST.013 BPDU send failed for reason code

reason_code on *bridge_type- se_id* port *bridge_port* network *network* interface *int/ int_no*

説明: 指定のポートで、転送のために BPDU を待ち行列化する試みが失敗しました。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ネットワークのハンドラーからのエラー・メッセージがあるかどうか調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたは不正な同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去されました (理由コード 4)

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

SEST.014

レベル: U-INFO

短構文: SEST.014 Blocking *bridge_type- se_id* port *bridge_port*, net- *network* int *int/ int_no*, det topol chg

長構文: SEST.014 Blocking *bridge_type- se_id* port *bridge_port*, network *network* interface *int/ int_no*, detecting topology change

説明: このポートは閉そく状態に入れられたばかりです。これはトポロジーの変更なので、このブリッジはトポロジー変更を検出しました。今度はこのために、トポロジー変更通知が送信されることになります。

原因: このスパニング・ツリー内のブリッジ、またはブリッジ上のインターフェースが、アップまたはダウン状態になりました。

処置: 何も必要ありません。変更があった場合には、これは正常です。

SEST.015

レベル: U-INFO

短構文: SEST.015 Topol chg detected *bridge_type- se_id* port *bridge_port*, net- *network* int *int/ int_no*

長構文: SEST.015 Topology change detected on

bridge_type- se_id port bridge_port, network network interface int/ int_no

説明: このポートでトポロジー変更通知を受信し、このポートは LAN 上の特定ポートです。これにより、プロトコルはトポロジー変更通知状態に入ります。トポロジー変更確認が送信側に戻され、ルートに向けて伝送されます。

原因: ブリッジ、またはブリッジ上のインターフェースが、このスパンニング・ツリー内でアップまたはダウンになりました。

処置: 何も必要ありません。変更があった場合には、これは正常です。

SEST.016

レベル: U-INFO

短構文: SEST.016 Select as root *bridge_type- se_id*, det
topol chg

長構文: SEST.016 Selected as root on *bridge_type- se_id*,
detecting topology change

説明: このブリッジは、以前はそうではありませんでしたが、いまスパンニング・ツリーのルートとして自身を選択したばかりです。これにより、ブリッジはトポロジー変更通知状態に入ります。

原因: このスパンニング・ツリー内のブリッジ、またはブリッジ上のインターフェースが、アップまたはダウン状態になりました。

処置: 何も必要ありません。変更があった場合には、これは正常です。

原因: これが最初にアップになったブリッジであり、したがって、ツリーのルートです。

SEST.017

レベル: C-INFO

短構文: SEST.017 Tply chg ackd *bridge_type- se_id port bridge_port, net- network int int/ int_no*

長構文: SEST.017 Topology change acknowledged on
bridge_type- se_id port bridge_port, network network interface int/ int_no

説明: 指定のポートで、トポロジー変更確認を検出しました。このポートは、ブリッジのルート・ポートです。

原因: こちらのルート・ポートと同じ LAN 上のブリッジが、発信構成 BDPU 内にトポロジー変更確認フラグを設定しました。これは、このブリッジが発信または伝送したトポロジー変更通知に対する応答です。

処置: 何も必要ありません。これはトポロジー変更通知の通常の結果です。

SEST.018

レベル: C-INFO

短構文: SEST.018 Acking tply chg *bridge_type- se_id port bridge_port, net- network int int/ int_no*

長構文: SEST.018 Acknowledging topology change on
bridge_type- se_id port bridge_port, network network interface int/ int_no

説明: 指定のポートで、トポロジー変更通知が確認されました。これは、その LAN の特定ポートであるポートで、トポロジー変更通知が受信された場合に行われます。

原因: このブリッジのダウンストリームのブリッジ・トポロジーの変更

処置: 何も必要ありません。スパンニング・ツリーの再構成の一環をなす通常の過程です。

SEST.019

レベル: C-INFO

短構文: SEST.019 Tplgy chg notif timer expired
bridge_type- se_id

長構文: SEST.019 Topology Change Notification timer
expired on *bridge_type- se_id*

説明: トポロジー変更タイマーが満了しました。このブリッジは、このルート・ポートでのトポロジー変更通知 BDPU の送信を中止します。

原因: ブリッジがトポロジー変更通知状態にあった期間が、ブリッジ・ハロー・タイマー期間を経過すると、タイマーは満了します。

処置: 何も必要ありません。この状態の通常の結果です。

SEST.020

レベル: C-INFO

短構文: SEST.020 Tplgy chg timer expired *bridge_type- se_id*

長構文: SEST.020 Topology Change timer expired on
bridge_type- se_id

説明: トポロジー変更タイマーが満了しました。ルートであるこのブリッジは、トポロジー変更を構成 BDPU に入れて送信するのを中止します。

原因: これが生じるのは、このルート・ブリッジがトポ

ロジ変更状態にあった時間が、現行最大経過時間パラメーターと現行転送遅延パラメーターの合計にわたった場合です。

処置: 何も必要ありません。この状態の通常の結果です。

SEST.021

レベル: U-INFO

短構文: SEST.021 Msg age timer exp *bridge_type- se_id* port *bridge_port*, net- *network* int *int/ int_no*, try Root

長構文: SEST.021 Message age timer expired on *bridge_type- se_id* port *bridge_port*, network *network* interface *int/ int_no*, will try and become root

説明: このポートのメッセージ経過日数タイマーが満了しました。ブリッジは、ルートになろうと試みます。ブリッジは、その LAN 上の特定ポートになります。

原因: このインターフェース上で受信されている構成 BPDU はありません。この LAN 上にブリッジがないか、ブリッジがダウンしているか、いずれかです。

SEST.022

レベル: C-INFO

短構文: SEST.022 Hello timer exp *bridge_type- se_id*

長構文: SEST.022 Hello timer expired on *bridge_type- se_id*

説明: このポートで、ハロー・タイマーが満了しました。すべてのポートで、構成 BPDU が送信されます。

SEST.023

レベル: C-INFO

短構文: SEST.023 Stop msg age timer *bridge_type- se_id* port *bridge_port*, net- *network* int *int/ int_no*

長構文: SEST.023 Stopping message age timer for *bridge_type- se_id* port *bridge_port*, network *network* interface *int/ int_no*

説明: このポート上のメッセージ経過時間タイマーが停止します。このポートがその LAN 上の指定ポートであるためです。

SEST.024

レベル: U-INFO

短構文: SEST.024 Not root *bridge_type- se_id*, stop hello timer

長構文: SEST.024 Not root anymore on *bridge_type- se_id*, stopping hello timer

説明: このブリッジは、スパンニング・ツリー上のルート・ブリッジではなくなることに決まりました。ハロー・タイマーも取り消されます。

SEST.025

レベル: C-INFO

短構文: SEST.025 Stop tplyg chg age timer *bridge_type- se_id*

長構文: SEST.025 Stopping topology change timer for *bridge_type- se_id*

説明: このブリッジがルートではなくなったため、トポロジ変更タイマーを停止します。

SEST.026

レベル: U-INFO

短構文: SEST.026 Root *bridge_type- se_id*, start hello timer

長構文: SEST.026 Selected as root on *bridge_type- se_id*, starting hello timer

説明: このブリッジは、スパンニング・ツリー上のルート・ブリッジになることが決まりました。ハロー・タイマーが始動されます。

SEST.027

レベル: C-INFO

短構文: SEST.027 Strt msg age timer *bridge_type- se_id* port *bridge_port*, net- *network* int *int/ int_no*

長構文: SEST.027 Starting message age timer for *bridge_type- se_id* port *bridge_port*, network *network* interface *int/ int_no*

説明: このポート上のメッセージ経過時間タイマーを始動します。

SEST.028

レベル: C-INFO

短構文: SEST.028 Attmpt root *bridge_type- se_id*, strt hello timer

長構文: SEST.028 Attempting to become root on *bridge_type- se_id*, starting hello timer

説明: このブリッジは、スパンニング・ツリーのルート・ブリッジになろうと試みています。ハロー・タイマーが始動されます。

SEST.029

レベル: UI-ERROR

短構文: SEST.029 Cfg BPDU frame *source_address* ignored *bridge_type- se_id*, inact port *bridge_port*, net- *network* int *int/ int_no*

長構文: SEST.029 Configuration BPDU from *source_address* on *bridge_type- se_id* ignored, inactive port *bridge_port*, network *network* interface *int/ int_no*

説明: 指定の MAC アドレスから構成 BPDU を受信しましたが、ポートがスパンニング・ツリー・プロトコルに含まれていません。

SEST.030

レベル: UI-ERROR

短構文: SEST.030 Tcn BPDU frame *source_address* ign *bridge_type- se_id*, inact port *bridge_port*, net- *network* int *int/ int_no*

長構文: SEST.030 Topology change notification BPDU from *source_address* on *bridge_type- se_id* ignored, inactive port *bridge_port*, network *network* interface *int/ int_no*

説明: 指定の MAC アドレスからトポロジー変更通知 BPDU を受信しましたが、ポートがスパンニング・ツリー・プロトコルに含まれていません。

SEST.031

レベル: C-INFO

短構文: SEST.031 *bridge_type- se_id* desig port *bridge_port*, net- *network* int *int/ int_no*

長構文: SEST.031 *bridge_type- se_id* becoming designated port *bridge_port*, network *network* interface *int/ int_no*

説明: このブリッジは、このポートに接続されている LAN 上の指定ポートであると自ら宣言しています。

SEST.032

レベル: UI-ERROR

短構文: SEST.032 DROP: *bpdu_type* BPDU frame rcvd on non-parti port *bridge_port*, net- *network* int *int/ int_no*

長構文: SEST.032 DROP: *bpdu_type* BPDU frame received on non-participating port *bridge_port*, network *network* interface *int/ int_no*

説明: 構成 BPDU を受信しましたが、ポートが SE スパンニング・ツリー・プロトコルに含まれていません。

SEST.033

レベル: C-INFO

短構文: SEST.033 BPDU from SE ID *bpdu_se_id* rcvd frame *source_address* *bridge_type- se_id* port *bridge_port*, net- *network* int *int/ int_no*

長構文: SEST.033 BPDU from SE ID *bpdu_se_id* rcvd frame *source_address* on *bridge_type- se_id* port *bridge_port*, network *network* interface *int/ int_no*

説明: 異なる SuperELAN に含まれている SuperELAN ブリッジから、構成 BPDU を受信しました。BPDU は廃棄されます。

原因: 2 つの SuperELAN インターフェースが同一の ELAN に接続されています。SuperELAN スパンニング・ツリーは単一の SuperELAN のコンテキスト内でのみ動作するので、このネットワークの実現方式は推奨できません。この場合、スパンニング・ツリーが正しく形成されず、ネットワーク・ループの原因になります。

処置: 複数の SuperELAN インターフェースが接続されている ELAN から SuperELAN インターフェースを取り外してください。

SEST.034

レベル: P-TRACE

短構文: SEST.034 SE- *se_id*:Trace incoming SE Spanning Tree frame from ELAN ' *elan*'

長構文: SEST.034 SE- *se_id*:Trace incoming SE Spanning Tree frame from ELAN ' *elan*'

説明: 着信 SE スパンニング・ツリー・フレームをトレースします。

SEST.035

レベル: P-TRACE

短構文: SEST.035 SE- *se_id*:Trace outgoing SE Spanning Tree frame to ELAN ' *elan*'

長構文: SEST.035 SE- *se_id*:Trace outgoing SE Spanning Tree frame to ELAN ' *elan*'

説明: 発信 SE スパンニング・ツリー・フレームをトレースします。

SEST.036

レベル: UE-ERROR

短構文: SEST.036 SE- *se_id*:SPT frame rcvd on ELAN ' *elan*' fwd by a non-short-cut brdg, frame drop.

長構文: SEST.036 SE- *se_id*:SPT frame received on ELAN

'elan' forwarded by a non-short-cut bridge, frame dropped.

説明: インターフェース上で受信した SuperELAN スパンニング・ツリー構成は、ショートカット・ブリッジングをサポートしないプロキシー装置によって転送されたものでした。SE SPT トポロジが非ショートカット・ネットワークを経由して収束するのを防止するために、フレームは廃棄されます。このメッセージが続く場合は、既存のブリッジ・トポロジを検査して、スパンニング・ツリー・エラーがないか調べてください。

SEST.037

レベル: UI-ERROR

短構文: SEST.037 SE- *se_id*:Unable to get LES address for ELAN 'elan'

長構文: SEST.037 SE- *se_id*:Unable to get LES address for ELAN 'elan'

説明: 指定された ELAN の LEC インターフェースの LES アドレスを取り出すことができませんでした。メッセージが引き続き出る場合は、サービス技術員に連絡してください。

SEST.038

レベル: UE-ERROR

短構文: SEST.038 SE- *se_id*:Cfg BPDU rcvd on ifc from which it was sent ELAN 'elan', frame drop

長構文: SEST.038 SE- *se_id*:Cfg BPDU received on interface from which it was sent ELAN 'elan', frame dropped

説明: SuperELAN 構成 BPDU がループバックし、それを送信したインターフェースで受信されました。BPDU は廃棄されました。SuperELAN に接続されたすべてのブリッジに、SNAP フィルター '10005A-80D7' を導入すれば、SE STP BPDU フレームのループバックを防止できます。

Fatal sestubpdu

短構文: Attempt to send unknown SE-BPDU type

説明: The code attempted to send an unknown type of SE-BPDU.

原因: おそらく、ソフトウェアのバグです。

処置: 破損したダンプを取って、サービス技術員に連絡してください。

第101章 同期データ・リンク制御 (SDLC)

この章では、同期データ・リンク制御 (SDLC) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

SDLC.001

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.001 nt *network ID* - SDLC support installed for QSL

長構文: SDLC.001 SDLC support installed for QSL, on network *network ID*

説明: DLSw SDLC が、シリアル装置を通して操作するために初期化され、現在ルーターで使用できるようになっています。

SDLC.002

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.002 dflt cfg used on stn *Address*, nt *network ID*

長構文: SDLC.002 No remote configuration was defined for SDLC address *Address* - default settings used, on network *network ID*

説明: SDLC ステーション上でオープンが試みられましたが、構成レコードが ADD STATION コマンドによって定義されていませんでした。ステーションは、省略時構成値を用いてオープンされます。このステーションは、モニター処理 LIST STATION ALL コマンドでリストされます。ステーション・アドレスの横のアスタリスク * は、省略時構成が使用されていることを示しています。

SDLC.003

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.003 no mem to copy to SDLC, nt *network ID*

長構文: SDLC.003 Cannot copy a user buffer to to SDLC - Out of memory, on network *network ID*

説明: 現在、ユーザー・データを SDLC にコピーするために利用可能な記憶域がありません。後で再度試行されます。

SDLC.004

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.004 frame dropped nt *network ID* not active

長構文: SDLC.004 Inbound frame was dropped - SDLC not yet active on network *network ID*.

説明: まだ SDLC クライアントによって所有されていないインターフェースで、フレームを受信しました。SDLC クライアントが使用のためにそのポートをオープンするまで、受信されたパケットはすべて除去されます。

SDLC.005

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.005 nt *network ID* congested - pkt dropped

長構文: SDLC.005 Packet dropped due to no SDLC credit or memory shortage, on network *network ID* . Temporary.

説明: SDLC 受信クレジットがないか、一時的な記憶域不足のために、着信パケットが除去されました。

SDLC.006

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.006 nt *network ID* - I_ERR on rcv

長構文: SDLC.006 Packet received with I_ERR set, on network *network ID*

説明: *real_sdlic_in* が、I_ERR がセットされているパケットを受信しました。

SDLC.007

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.007 nt *network ID* - tx to dev fail (*status*)

長構文: SDLC.007 Failure to send packet to device, on network *network ID*, status = *status*

説明: SDLC からフレームを送信しようとしているときに、*net send()* のコールが失敗しました。

SDLC.008

レベル: P-TRACE

短構文: SDLC.008 tx count bytes to address (nt *network ID*): *octets*

長構文: SDLC.008 Transmit to link station count, address bytes, on network *network ID*: *octets*

説明: ルーターが SDLC フレームを送信しました。フレームとは、SDLC ヘッダーも含めた、フレーム全体です。ルーターは、SDLC フレームの送信をすべてこのメッセージによってログに記録します。SDLC I フレームの送信のみをログに記録する場合は、SDLC_53 を使用します。

SDLC.009

レベル: P-TRACE

短構文: SDLC.009 rx count bytes from address (nt network ID): octets

長構文: SDLC.009 Received count bytes from link station address, on network network ID: octets

説明: ルーターが SDLC フレームを受信しました。フレームとは、SDLC ヘッダーも含めた、フレーム全体です。ルーターは、SDLC フレームの受信をすべてこのメッセージによってログに記録します。SDLC I フレームの受信のみをログに記録する場合は、SDLC_52 を使用します。

SDLC.010

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.010 port ACTIVE, nt network ID

長構文: SDLC.010 Request to bring up SDLC, on network network ID

説明: ルーター内のエンティティーがインターフェースに接続され、SDLC サービスを使用できるようになっています。

SDLC.011

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.011 port INACTIVE, nt network ID

長構文: SDLC.011 Request to bring down SDLC, on network network ID

説明: ルーター内のエンティティーは、もうこのインターフェースの SDLC サービスを使用していません。

SDLC.012

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.012 Link status: Exception, nt network ID

長構文: SDLC.012 Link status change Exception occurred, on network network ID

説明: インターフェース信号の状態が変りました。注: インターフェースが半二重モードで作動している場合

は、これらのメッセージが非常に多数生成されます。

SDLC.013

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.013 addr Address -> NRM, nt network ID

長構文: SDLC.013 Station Address is now UP, on network network ID

説明: SDLC リンクは現在、通常応答モードで作動しています。すなわち、現在 SDLC 接続が進行中です。

SDLC.014

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.014 SNRM refused, addr Address nt network ID

長構文: SDLC.014 Remote station refused SNRM, link station Address remains DOWN on network network ID

説明: ルーターによるリモート・リンク・ステーションへの接続の試みが拒否されました。

SDLC.015

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.015 addr Address -> NDM, nt network ID

長構文: SDLC.015 Station Address is now DOWN, on network network ID

説明: SDLC リンクは現在、通常切断モードで作動しています。すなわち、SDLC 接続が正常に終了しました。

SDLC.016

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.016 LnkStn Address excpt Exception, nt network ID

長構文: SDLC.016 Exception Address occurred on Link Station Exception, on network network ID

説明: SDLC プロトコルが初期化されました。

SDLC.020

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.020 nt network ID stn address: DLC_LINK_FAULT_CONDITION

長構文: SDLC.020 Network network ID SDLC station address: DLC_LINK_FAULT_CONDITION

説明: SDLC がリンク上で障害を検出し、リンク上のすべての活動 SDLC 接続を終了させました。この原因は通

常、全二重回線では DSR、CTS、または DCD の損失、半二重回線では DSR の損失にあります。

SDLC.021

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.021 nt *network ID* stn *address*:
DLC_RX_EXCEED_WINDOW_SIZE

長構文: SDLC.021 Network *network ID* SDLC station
address: DLC_RX_EXCEED_WINDOW_SIZE

説明: SDLC が、SDLC が応答できるようになる前に
RECEIVE WINDOW として構成されているフレーム数より
多くのフレームを受信しました。

SDLC.022

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.022 nt *network ID* stn *address*:
DLC_RX_LOCAL_PROTOCOL_ERROR

長構文: SDLC.022 Network *network ID* SDLC station
address: DLC_RX_LOCAL_PROTOCOL_ERROR

説明: ルーターが SDLC プロトコル・エラーを検出しま
した。その結果として、ルーターは SDLC 接続をすべて
終了させました。

SDLC.023

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.023 nt *network ID* stn *address*:
DLC_XID_RETRY_LIMIT_REACHED

長構文: SDLC.023 Network *network ID* SDLC station
address: DLC_XID_RETRY_LIMIT_REACHED

説明: リモート・リンク・ステーションが、ルーターに
よって送信された XID フレームに応答しません。

SDLC.024

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.024 nt *network ID* stn *address*:
DLC_TEST_RETRY_LIMIT_REACHED

長構文: SDLC.024 Network *network ID* SDLC station
address: DLC_TEST_RETRY_LIMIT_REACHED

説明: リモート・リンク・ステーションが、ルーターに
よって送信された TEST フレームに応答しません。

SDLC.025

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.025 nt *network ID* stn *address*:
DLC_SNRM_RETRY_LIMIT_REACHED

長構文: SDLC.025 Network *network ID* SDLC station
address: DLC_SNRM_RETRY_LIMIT_REACHED

説明: リモート・リンク・ステーションが、ルーターに
よって送信された SNRM フレームに応答しません。接
続の試みは失敗しました。

SDLC.026

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.026 nt *network ID* stn *address*:
DLC_POLL_RETRY_LIMIT_REACHED

長構文: SDLC.026 Network *network ID* SDLC station
address: DLC_POLL_RETRY_LIMIT_REACHED

説明: リモート・リンク・ステーションが、ルーターに
よって送信されたポーリング (RR または RNR) に応答し
ません。その結果として、ルーターは接続をすべて終
了させました。

SDLC.027

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.027 nt *network ID* stn *address*:
DLC_RX_FRMR_INV_CTL_FIELD

長構文: SDLC.027 Network *network ID* SDLC station
address: DLC_RX_FRMR_INV_CTL_FIELD

説明: リモート・リンク・ステーションが無効な制御フ
ィールドをもつフレームを受信したことを示す、フレ
ーム拒否 (FRMR) フレームを SDLC が受信しました。

SDLC.028

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.028 nt *network ID* stn *address*:
DLC_RX_FRMR_INV_LENGTH

長構文: SDLC.028 Network *network ID* SDLC station
address: DLC_RX_FRMR_INV_LENGTH

説明: リモート・リンク・ステーションが短過ぎるフレ
ームを受信したことを示す、フレーム拒否 (FRMR) フレ
ームを SDLC が受信しました。

SDLC.029

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.029 nt *network ID* stn *address*:
DLC_RX_FRMR_LONG_I_FIELD

長構文: SDLC.029 Network *network ID* SDLC station
address: DLC_RX_FRMR_LONG_I_FIELD

説明: リモート・リンク・ステーションが長過ぎるフレームを受信したことを示す、フレーム拒否 (FRMR) フレームを SDLC が受信しました。

SDLC.030

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.030 nt *network ID* stn *address*:
DLC_RX_FRMR_INV_NR

長構文: SDLC.030 Network *network ID* SDLC station
address: DLC_RX_FRMR_INV_NR

説明: リモート・リンク・ステーションが制御フィールドに無効な N(r) が入っているフレームを受信したことを示す、フレーム拒否 (FRMR) フレームを SDLC が受信しました。

SDLC.031

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.031 nt *network ID* stn *address*:
DLC_RX_FRMR_NO_I_FIELD

長構文: SDLC.031 Network *network ID* SDLC station
address: DLC_RX_FRMR_NO_I_FIELD

説明: リモート・リンク・ステーションが I フィールドにデータが入っていない I フレームを受信したことを示す、フレーム拒否 (FRMR) フレームを SDLC が受信しました。

SDLC.032

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.032 nt *network ID* stn *address*:
DLC_RX_FRAME_INV_CTL_FIELD

長構文: SDLC.032 Network *network ID* SDLC station
address: DLC_RX_FRAME_INV_CTL_FIELD

説明: SDLC が、無効な制御フィールドをもつフレームを受信しました。

SDLC.033

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.033 nt *network ID* stn *address*:
DLC_RX_FRAME_INV_LENGTH

長構文: SDLC.033 Network *network ID* SDLC station
address: DLC_RX_FRAME_INV_LENGTH

説明: SDLC が、短過ぎるフレームを受信しました。

SDLC.034

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.034 nt *network ID* stn *address*:
DLC_RX_FRAME_LONG_I_FIELD

長構文: SDLC.034 Network *network ID* SDLC station
address: DLC_RX_FRAME_LONG_I_FIELD

説明: SDLC が、長過ぎるフレームを受信しました。

SDLC.035

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.035 nt *network ID* stn *address*:
DLC_RX_FRAME_INV_NR

長構文: SDLC.035 Network *network ID* SDLC station
address: DLC_RX_FRAME_INV_NR

説明: SDLC が、制御フィールドに無効な N(r) が入っているフレームを受信しました。

SDLC.036

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.036 nt *network ID* stn *address*:
DLC_RX_DM

長構文: SDLC.036 Network *network ID* SDLC station
address: DLC_RX_DM

説明: SDLC が、切断モード (DM) フレームを受信しました。リモート 2 次リンク・ステーションは、このフレームを送信して、前に受信した DISC フレームを受け入れたことを示しました。現在、リンク切断は完了しています。

SDLC.037

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.037 nt *network ID* stn *address*:
DLC_RX_RD

長構文: SDLC.037 Network *network ID* SDLC station
address: DLC_RX_RD

説明: SDLC が、要求切断 (RD) フレームを受信しました。SDLC クライアントは、切断 (DISC) フレームを送信して、これに応答しなければなりません。

SDLC.038

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.038 nt network ID stn address: DLC_RX_RIM

長構文: SDLC.038 Network network ID SDLC station address: DLC_RX_RIM

説明: SDLC が、初期化要求モード (RIM) フレームを受信しました。SDLC クライアントは、初期化セット・モード (SIM) フレームを送信して、これに応答しなければなりません。

SDLC.039

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.039 nt network ID stn address: DLC_LINK_INACTIVITY_DETECTION

長構文: SDLC.039 Network network ID SDLC station address: DLC_LINK_INACTIVITY_DETECTION

説明: 将来使用するために予約されています。

SDLC.040

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.040 nt network ID stn address: DLC_TX_FRMR_INV_CTL_FIELD

長構文: SDLC.040 Network network ID SDLC station address: DLC_TX_FRMR_INV_CTL_FIELD

説明: SDLC は、無効な制御フィールドをもつフレームを受信したので、フレーム拒否 (FRMR) 状態になりました。

SDLC.041

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.041 nt network ID stn address: DLC_TX_FRMR_INV_LENGTH

長構文: SDLC.041 Network network ID SDLC station address: DLC_TX_FRMR_INV_LENGTH

説明: SDLC は、短過ぎるフレームを受信したので、フレーム拒否 (FRMR) 状態になりました。

SDLC.042

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.042 nt network ID stn address: DLC_TX_FRMR_LONG_I_FIELD

長構文: SDLC.042 Network network ID SDLC station address: DLC_TX_FRMR_LONG_I_FIELD

説明: SDLC は、長過ぎるフレームを受信したので、フレーム拒否 (FRMR) 状態になりました。

SDLC.043

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.043 nt network ID stn address: DLC_TX_FRMR_INV_NR

長構文: SDLC.043 Network network ID SDLC station address: DLC_TX_FRMR_INV_NR

説明: SDLC は、制御フィールドに無効な N(r) が入っているフレームを受信したので、フレーム拒否 (FRMR) 状態になりました。

SDLC.044

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.044 nt network ID stn address: DLC_RX_SNRM_WHILE_IN_NRM

長構文: SDLC.044 Network network ID SDLC station address: DLC_RX_SNRM_WHILE_IN_NRM

説明: 将来使用するために予約されています。

SDLC.045

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.045 nt network ID stn address: DLC_PORT_DISABLED

長構文: SDLC.045 Network network ID SDLC station address: DLC_PORT_DISABLED

説明: ユーザーが、SDLC コンソールからインターフェースを使用不可にしました。現行の接続はすべて終了されました。

SDLC.046

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.046 nt network ID stn address: DLC_PORT_ENABLED

長構文: SDLC.046 Network network ID SDLC station address: DLC_PORT_ENABLED

説明: ユーザーが、SDLC コンソールからインターフェースを使用可能にしました。

SDLC.047

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.047 nt *network ID*: CLOSED

長構文: SDLC.047 Network *network ID* SDLC link: DLC_STATION_CLOSED

説明: インターフェースが、SDLC によってクローズされました。このインターフェースでは、SDLC はもう実行されていません。

SDLC.048

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.048 nt *network ID* stn *address*: DISABLED

長構文: SDLC.048 Network *network ID* SDLC station *address*: DLC_LS_DISABLED

説明: ユーザーが、このインターフェース上のリモート・リンク・ステーションを、SDLC コンソールから使用不可にしました。現行の接続はすべて終了されました。

SDLC.049

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.049 nt *network ID* stn *address*: ENABLED

長構文: SDLC.049 Network *network ID* SDLC station *address*: DLC_LS_ENABLED

説明: ユーザーが、このインターフェース上のリモート・リンク・ステーションを、SDLC コンソールから使用可能にしました。

SDLC.050

レベル: P-TRACE

短構文: SDLC.050 nt *network ID* stn *address* - rx UI bytes *length*: *byte_count*

長構文: SDLC.050 Network *network ID* received UI from SDLC addr *address* *length* bytes: *byte_count*

説明: ルーターが、非番号制情報 (UI) フレームをこのインターフェース上で受信しました。

SDLC.051

レベル: P-TRACE

短構文: SDLC.051 nt *network ID* stn *address* - tx UI bytes *byte_count*: *octets*

長構文: SDLC.051 Network *network ID* sent UI to SDLC addr *address* *byte_count* bytes: *octets*

説明: ルーターが、非番号制情報 (UI) フレームをこのインターフェース上に送信しました。

SDLC.052

レベル: P-TRACE

短構文: SDLC.052 nt *network ID* - rx I on *address* *byte_count* bytes: *octets*

長構文: SDLC.052 Network *network ID* received I from SDLC addr *address* *byte_count* bytes: *octets*

説明: ルーターが、情報 (I) フレームをこのインターフェース上で受信しました。すべての受信 SDLC フレームをログに記録するためには、SDLC_9 を使用します。

SDLC.053

レベル: P-TRACE

短構文: SDLC.053 nt *network ID* - tx I on *address* *byte_count* bytes: *octets*

長構文: SDLC.053 Network *network ID* sent I to SDLC addr *address* *byte_count* bytes: *octets*

説明: ルーターが、情報 (I) フレームをこのインターフェース上に送信しました。すべての受信 SDLC フレームをログに記録するためには、SDLC_8 を使用します。

SDLC.054

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.054 nt *network ID* Stn *address* - MaxBTU too large for link - adjusted (*oldBTUSize* -> *newBTUSize*)

長構文: SDLC.054 Network *network ID* Station *address*, Max BTU size too large for link - adjusted (*oldBTUSize* -> *newBTUSize*)

説明: リモート・リンク・ステーションに構成された最大 BTU サイズが、このリンクに定義された値を超えています。ルーターは、このリモート・リンク・ステーションに対する値を一時的に調整しました。今後このメッセージが出るのを防ぐためには、SET REMOTE MAX-PACKET コマンドを用いて、最大 BTU サイズを変更してください。

SDLC.055

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.055 nt *network ID* Stn *address* - Rx *wdw sz* not compat w/modulo - adjusted (*oldRxWindow* -> *newRxWindow*)

長構文: SDLC.055 Network *network ID* Station *address*, Window size is inconsistent with modulo for link - adjusted (*oldRxWindow* -> *newRxWindow*)

説明: このリンクのモジュールがユーザーによって変更され、すべての定義済みのリモート・リンク・ステーションのウィンドウ・サイズが無効になりました。ウィンドウ・サイズは、一時的に調整されました。リンクがモジュール 8 用に構成されている場合、有効なウィンドウ・サイズは 0 ~ 7 です。リンクがモジュール 128 用に構成されている場合、有効なウィンドウ・サイズは 8 ~ 128 です。今後このメッセージが出るのを防ぐためには、SET REMOTE RECEIVE-WINDOW コマンドを用いて、受信ウィンドウ・サイズを変更してください。

SDLC.056

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.056 nt *network ID* Stn *address* - Tx *wdw sz* not compat w/modulo - adjusted (*oldTxWindow* -> *newTxWindow*)

長構文: SDLC.056 Network *network ID* Station *address*, Window size is inconsistent with modulo for link - adjusted (*oldTxWindow* -> *newTxWindow*)

説明: このリンクのモジュールがユーザーによって変更され、すべての定義済みのリモート・リンク・ステーションのウィンドウ・サイズが無効になりました。ウィンドウ・サイズは、一時的に調整されました。リンクがモジュール 8 用に構成されている場合、有効なウィンドウ・サイズは 0 ~ 7 です。リンクがモジュール 128 用に構成されている場合、有効なウィンドウ・サイズは 8 ~ 128 です。今後このメッセージが出るのを防ぐためには、'SET REMOTE TRANSMIT-WINDOW' コマンドを用いて、送信ウィンドウ・サイズを変更してください。

SDLC.057

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.057 nt *network ID* - Link *cfg* corrupted - using default

長構文: SDLC.057 Network *network ID* - Link configuration corrupted, using defaults.

説明: リンク構成のどこかが破壊されました。ソフトウェア更新が原因と考えられます。省略時のリンク構成が

作成されました。SDLC を作動する前に、新しく作成された構成を検討して、必要に応じて調整してください。

SDLC.058

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.058 nt *network ID* - *cfg* *XID/TEST* timeout corrupted - fixed

長構文: SDLC.058 Network *network ID* - Configured *XID/TEST* timeout corrupted - fixed.

説明: リンク構成で無効な *XID/TEST* タイムアウト値が検出されました。ソフトウェア更新が原因と考えられます。一時的に、有効な値に変更されました。今後このメッセージが出るのを防ぐためには、このインターフェースの SDLC 構成プロンプトから、*XID/TEST* タイムアウトを設定してください。

SDLC.059

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.059 nt *network ID* - *cfg* *XID/TEST* retry count corrupted - fixed

長構文: SDLC.059 Network *network ID* - Configured *XID/TEST* retry count corrupted - fixed.

説明: リンク構成で無効な *XID/TEST* 再試行値が検出されました。ソフトウェア更新が原因と考えられます。一時的に、有効な値に変更されました。今後このメッセージが出るのを防ぐためには、このインターフェースの SDLC 構成プロンプトから、*XID/TEST* 再試行カウントを設定してください。

SDLC.060

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.060 nt *network ID* - *cfg* *SNRM* timeout corrupted - fixed

長構文: SDLC.060 Network *network ID* - Configured *XID/TEST* timeout value corrupted - fixed.

説明: リンク構成で無効な *SNRM* タイムアウト値が検出されました。ソフトウェア更新が原因と考えられます。一時的に、有効な値に変更されました。今後このメッセージが出るのを防ぐためには、このインターフェースの SDLC 構成プロンプトから、*SNRM* タイムアウトを設定してください。

SDLC.061

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.061 nt *network ID* - cfg SNRM retry count corrupted - fixed

長構文: SDLC.061 Network *network ID* - Configured SNRM retry count corrupted - fixed.

説明: リンク構成で無効な SNRM 再試行値が検出されました。ソフトウェア更新が原因と考えられます。一時的に、有効な値に変更されました。今後このメッセージが出るのを防ぐためには、このインターフェースの SDLC 構成プロンプトから、SNRM 再試行カウントを設定してください。

SDLC.062

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.062 nt *network ID* - cfg POLL timeout corrupted - fixed

長構文: SDLC.062 Network *network ID* - Configured POLL timeout value corrupted - fixed.

説明: リンク構成で無効な POLL タイムアウト値が検出されました。ソフトウェア更新が原因と考えられます。一時的に、有効な値に変更されました。今後このメッセージが出るのを防ぐためには、このインターフェースの SDLC 構成プロンプトから、POLL タイムアウトを設定してください。

SDLC.063

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.063 nt *network ID* - cfg inter-POLL delay corrupted - fixed

長構文: SDLC.063 Network *network ID* - Configured inter-POLL delay value corrupted - fixed.

説明: リンク構成で無効な POLL 間遅延値が検出されました。ソフトウェア更新が原因と考えられます。一時的に、有効な値に変更されました。今後このメッセージが出るのを防ぐためには、このインターフェースの SDLC 構成プロンプトから、POLL 間遅延値を設定してください。

SDLC.064

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.064 nt *network ID* - cfg POLL retry count corrupted - fixed

長構文: SDLC.064 Network *network ID* - Configured POLL retry count corrupted - fixed.

説明: リンク構成で無効な POLL 再試行値が検出されました。ソフトウェア更新が原因と考えられます。一時的に、有効な値に変更されました。今後このメッセージが出るのを防ぐためには、このインターフェースの SDLC 構成プロンプトから、POLL 再試行カウントを設定してください。

SDLC.065

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.065 nt *network ID* - cfg inactivity timeout corrupted - fixed

長構文: SDLC.065 Network *network ID* - Configured inactivity timeout value corrupted - fixed.

説明: 将来使用するために予約されています。

SDLC.066

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.066 nt *network ID* - cfg RTS hold duration corrupted - fixed

長構文: SDLC.066 Network *network ID* - Configured RTS hold duration value corrupted - fixed.

説明: リンク構成で無効な RTS 保留値が検出されました。ソフトウェア更新が原因と考えられます。一時的に、有効な値に変更されました。今後このメッセージが出るのを防ぐためには、このインターフェースの SDLC 構成プロンプトから、RTS 保留値を設定してください。

SDLC.067

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.067 nt *network ID* - cfg max frame size corrupted - fixed

長構文: SDLC.067 Network *network ID* - Configured max frame size value corrupted - fixed.

説明: リンク構成で無効最大フレーム・サイズ値が検出されました。ソフトウェア更新が原因と考えられます。一時的に、有効な値に変更されました。今後このメッセージが出るのを防ぐためには、このインターフェースの SDLC 構成プロンプトから、最大フレーム・サイズを設定してください。

SDLC.068

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.068 nt *network ID* - link ctrs reset by usr

長構文: SDLC.068 Network *network ID* - SDLC link counters were reset by user.

説明: SDLC コンソールから、リンク・カウンタがリセットされました。

SDLC.069

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.069 nt *network ID* - cannot reset link ctrs

長構文: SDLC.069 Network *network ID* - SDLC link counters cannot be reset.

説明: SDLC コンソールから、リンク・カウンタをリセットすることができませんでした。通常、これは一時的な状態です。操作を再試行してください。

SDLC.070

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.070 nt *network ID* lnk stn *address* - link ctrs reset by usr

長構文: SDLC.070 Network *network ID* Link Station *address* - SDLC link counters were reset by user.

説明: ユーザーが、リモート 2 次ステーションのカウンタを SDLC コンソールからリセットしました。

SDLC.072

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.072 nt *network ID* stn *address*: CLOSED

長構文: SDLC.072 Network *network ID* SDLC station *address*: DLC_SAP_CLOSED

説明: リモート・リンク・ステーションがルーターによってクローズされ、もう活動状態ではありません。

SDLC.073

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.073 nt *network ID*: lo prio buffer alloc failed

長構文: SDLC.073 Network *network ID*: low priority buffer request failed

説明:すでに公平シェアを割り振り済みであったので、SDLC はルーターのヒープからの記憶域の割り振りに失敗しました。通常、これは一時的な問題で、SDLC は回復します。

SDLC.074

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.074 nt *network ID*: hi prio buffer alloc failed

長構文: SDLC.074 Network *network ID*: high priority buffer request failed

説明: SDLC が、ルーターのヒープからの高優先順位バッファの割り振りに失敗しました。この結果、SDLC は一時的にパフォーマンスが低下します。この状態が続く場合は、SDLC セッションが失われる可能性があります。

SDLC.075

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.075 nt *network ID*: buffer alloc failed - credit ok

長構文: SDLC.075 Network *network ID*: buffer alloc request failed, but credit is okay

説明: ヒープが使い尽くされていたので、SDLC はルーターのヒープからの記憶域の割り振りに失敗しました。通常、これは一時的な問題で、SDLC は回復します。

SDLC.076

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.076 nt *network ID*: cannot xmit I-frame. Will re-transmit

長構文: SDLC.076 Network *network ID*: cannot transmit I-frame. Will re-transmit later

説明: SDLC が、情報 (I) フレームをインターフェースに送信できませんでした。SDLC は、後で再送を試みます。

SDLC.077

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.077 nt *network ID*: cannot xmit S-frame - dropped

長構文: SDLC.077 Network *network ID*: cannot transmit S-frame - dropped

説明: SDLC が、監視 (S) フレームをインターフェースに送信できませんでした。SDLC は、後で再送を試みます。

SDLC.078

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.078 nt *network ID*: cannot xmit U-frame. SDLC will recover

長構文: SDLC.078 Network *network ID*: cannot transmit U-frame - SDLC will recover

説明: SDLC が、非番号制情報 (UI) フレームをインターフェースに送信できませんでした。SDLC は、後で再送を試みます。

SDLC.079

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.079 nt *network ID*: cannot xmit XID/TEST frame. Will re-xmit

長構文: SDLC.079 Network *network ID*: cannot transmit U-frame - SDLC will re-transmit

説明: SDLC が、XID または TEST フレームをインターフェースに送信できませんでした。SDLC は、後で再送を試みます。

SDLC.080

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.080 nt *network ID*: rx inv frame type - dropped

長構文: SDLC.080 Network *network ID*: received invalid frame type - dropped

説明: SDLC が、無効なフレーム・タイプを受信しました。このフレームは無視されました。

SDLC.081

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.081 nt *network ID*: rx frame from sec stn not polled - dropped

長構文: SDLC.081 Network *network ID*: received a frame from a secondary station that was not polled - dropped

説明: SDLC が、ポーリングしていないリモート・リンク・ステーションからフレームを受信しました。このフレームは無視されました。このエラーは、ポーリング応答タイムアウトが短過ぎる場合にも起きることがあります。

SDLC.082

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.082 nt *network ID*: rx UI frame from sec stn w/o F-bit - dropped

長構文: SDLC.082 Network *network ID*: received a UI frame from a secondary station without the Final bit set - dropped

説明: SDLC が、最終 (F) ビットがセットされていない

非番号制情報 (UI) フレームを受信しました。このフレームは除去されました。

SDLC.083

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.083 nt *network ID*: rx bcast on mpt line - dropped

長構文: SDLC.083 Network *network ID*: received a broadcast frame from a secondary station on a multipoint line - dropped

説明: SDLC が、分岐回線の同報通信アドレスへのフレームを受信しました。フレームは除去されました。

SDLC.084

レベル: UE-ERROR

短構文: SDLC.084 SDLC not up on nt *network ID* - no LINK config

長構文: SDLC.084 Network *network ID*: SDLC not brought up because no LINK configuration is defined

説明: このインターフェース用の SDLC リンク構成がないので、SDLC リンクを初期化できませんでした。

SDLC.085

レベル: UE-ERROR

短構文: SDLC.085 nt *network ID*: signal ctl rq failed - reason

長構文: SDLC.085 Network *network ID*: signal control request failed because reason

説明: SDLC が、インターフェース上の 1 つまたは複数の信号を制御できませんでした。この状況は、サポートされていないインターフェースで SDLC を実行しようとした場合に起こる可能性があります。

SDLC.086

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.086 HDX, DCD hi during xmit, nt *network ID*

長構文: SDLC.086 HDX, DCD went high during HDX transmit, on network *network ID*

説明: 半二重モードでフレームを伝送中に、DCD が高 (high) になりました。これはプロトコル違反であり、インターフェースは問題の訂正のために間もなくダウンします。

SDLC.087

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.087 HDX, CTS now low. Premature DCD recovery complete, nt *network ID*

長構文: SDLC.087 HDX, CTS now low. Premature DCD recovery complete, on network *network ID*

説明: CTS 信号が、インターフェースが半二重プロトコル違反から回復している間に低 (low) に移行しました。リンクは正しい状態になりました。データ転送が再開できます。

SDLC.088

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.088 HDX, unsolicited signal while idle, nt *network ID*

長構文: SDLC.088 HDX, unsolicited signal while idle, on network *network ID*

説明: 回線がアイドル状態のときに、接続装置によって信号が代入されました。半二重モードで作動中は、アイドル状態のインターフェースでは、DTR/DSR 信号だけを代入してください。

SDLC.089

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.089 HDX, DSR or CTS low during xmit, nt *network ID*

長構文: SDLC.089 HDX, DSR or CTS went low during HDX transmit, on network *network ID*

説明: DSR または CTS 信号が、伝送中に低 (low) になりました。これはプロトコル違反であり、インターフェースは問題の訂正のために間もなくダウンします。

SDLC.090

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.090 nt *network ID*: rx inv frame type while closing link *address* - dropped

長構文: SDLC.090 Network *network ID*: received inappropriate frame while closing link *address* - dropped

説明: SDLC は、リンク・ステーションをクローズしているとき、UA 以外のフレームを受信しました。ルーターはこのフレームを無視しました。

SDLC.091

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.091 addr *Address* added, nt *network ID*

長構文: SDLC.091 Secondary station *Address* has been dynamically added, on network *network ID*

説明: SDLC リモート・リンク・ステーションが SDLC コンソールからユーザーにより追加され、使用可能状態です。

SDLC.092

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.092 addr *Address* deleted, nt *network ID*

長構文: SDLC.092 Secondary station *Address* has been dynamically deleted, on network *network ID*

説明: SDLC リモート・リンク・ステーションが SDLC コンソールからユーザーにより削除され、使用できない状態です。

SDLC.093

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.093 nt *network ID*: rx frame from invalid stn addr - dropped

長構文: SDLC.093 Network *network ID*: received a frame from an invalid station address - dropped

説明: SDLC は、認知されないステーション・アドレスが入っているフレームを、リモート・リンク・ステーションから受け取りました。ルーターはこのフレームを無視しました。

SDLC.094

レベル: UE-ERROR

短構文: SDLC.094 nt *network ID* lnk stn *address* - stn disabled, rx frame dropped

長構文: SDLC.094 Network *network ID* Link Station *address* - station is disabled; frame ignored.

説明: あて先ステーションは使用不可状態なので、このステーションあての受信フレームをルーターが無視しました。

SDLC.095

レベル: UE-ERROR

短構文: SDLC.095 nt *network ID* stn *address*:
DLC_RX_NXID_WHILE_IN_NRM

長構文: SDLC.095 Network *network ID* SDLC station *address*: DLC_RX_NXID_WHILE_IN_NRM

説明: ローカル SDLC 2 次リンク・ステーションが、NRM の実行中にヌル XID フレームをリモート・リンク・ステーションから受信しました。これは、送信側でリンクが失敗し、接続の再確立を試みていることを示しているものとみなします。

説明: SDLC はフレームを送信しましたが、応答を受信することなく、応答を受信するための時間制限が満了しました。

SDLC.096

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.096 port FULL, nt *network ID*

長構文: SDLC.096 Transmit data queue has reached its limit on network *network ID*

説明: SDLC ユーザー (DLS または APPN など) は、このインターフェースへの待ち行列にそれ以上のデータを入れることができません。

SDLC.097

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.097 port newly AVAILABLE, nt *network ID*

長構文: SDLC.097 Transmit data queue has dropped below its threshold on network *network ID*

説明: SDLC ユーザー (DLS または APPN など) は、このインターフェースへの待ち行列に追加データを入れることができるようになりました。

SDLC.098

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.098 nt *network ID*: rx invalid control field for station *address* -- no link station timer running

長構文: SDLC.098 Network *network ID*: received a UI frame for station *address* and no link station timer is running

説明: SDLC は、非番号制情報 (UI) フレームを受信し、リンク・ステーション・タイマーが稼働していないこと、タイマーを開始するためのステーションが使用できないことが検出されました。

SDLC.099

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.099 nt *network ID*: Station (addr *address*) timeout has occurred.

長構文: SDLC.099 Network *network ID*: station (addr *address*) timer has expired without response.

第102章 シン・サーバー・ディスク・タスク (TSDK)

この章では、シン・サーバー・ディスク・タスク (TSDK) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

TSDK.001

レベル: U-INFO

短構文: TSDK.001 Deleting Host File: *host_file_name* (StagedFile: *cached_file_name*, DiskInfo: *disk_info_file_name*)

長構文: TSDK.001 Deleting Host File: *host_file_name* (StagedFile: *cached_file_name*, DiskInfo: *disk_info_file_name*)

説明: このメッセージは、キャッシュ・ファイルがディスク・ドライブから削除される場合に生成されます。

TSDK.002

レベル: UI-ERROR

短構文: TSDK.002 Couldn't schedule *request_type* of *request_name* file (*file_name*), rc: *return_code*(*rc*)

長構文: TSDK.002 Couldn't schedule *request_type* of *request_name* file (*file_name*), rc: *return_code*(*rc*)

説明: このメッセージは、ディスク・タスクがファイル要求を実行できない場合に生成される内部エラーです。

TSDK.003

レベル: UE-ERROR

短構文: TSDK.003 An error ocurred while reading *file_name*

長構文: TSDK.003 An error ocurred while reading *file_name*

説明: このメッセージは、ディスク・タスクがハード・ディスクからファイルを読み取れない場合に生成されます。

原因: 破壊されたハード・ディスク

処置: シン・サーバー機能をリスタートしてください。エラーが解消されない場合は、ハード・ディスクを復元してください。

TSDK.004

レベル: UI-ERROR

短構文: TSDK.004 Mismatch between actual file size (of *file_size*) and expected file size (of *file_size*)

長構文: TSDK.004 Mismatch between actual file size (of *file_size*) and expected file size (of *file_size*)

説明: このメッセージは、ハード・ディスクに保管されているファイルに矛盾がある場合に生成されます。

原因: 破壊されたハード・ディスク

処置: シン・サーバー機能をリスタートしてください。エラーが解消されない場合は、ハード・ディスクを復元してください。

TSDK.005

レベル: U-INFO

短構文: TSDK.005 Owner of *file_name* isn't a configured Master File Server

長構文: TSDK.005 Owner of *file_name* isn't a configured Master File Server

説明: このメッセージは、NFS と RFS/400 の間で構成が変更されている場合に生成されます。すべての既存のキャッシュ・ファイルが削除されます。

TSDK.006

レベル: C-INFO

短構文: TSDK.006 Found file: *directory/ file_name extension*

長構文: TSDK.006 Found file: *directory/ file_name extension*

説明: このメッセージは、シン・サーバーの初期化中に生成されます。ハード・ディスク上で各ファイルが検出されるたびに生成されます。指定されているファイル名は、シン・サーバーのハード・ディスク上のファイルの実際の名前です (これらの名前は、Talk 5 List Cached-Files 出力の最初の列に表示されます)。

TSDK.007

レベル: C-INFO

短構文: TSDK.007 Adding: *cached_file_name* (*host_file_name*) to cache

長構文: TSDK.007 Adding: *cached_file_name* (*host_file_name*) to cache

説明: このメッセージは、ハード・ディスク上のファイルが、実際に利用可能なファイル・セットに追加された

ことを示すために生成されます。

TSDK.008

レベル: U-TRACE

短構文: TSDK.008 *activate_or_terminate* disk task

長構文: TSDK.008 *activate_or_terminate* disk task

説明: このメッセージは、シン・サーバー・ディスク・タスクが開始中または終了中であることを示します。

TSDK.009

レベル: ALWAYS

短構文: TSDK.009 Update Finished: *host_file_name*, InTable: *in_table_state*(*value*)

長構文: TSDK.009 Update Finished: *host_file_name*, InTable: *in_table_state*(*value*)

説明: このメッセージは、キャッシュ・ファイル更新が完了した場合に生成されます。 InTable は、ファイルがまだキャッシュされているかどうかを示します。

TSDK.010

レベル: UI-ERROR

短構文: TSDK.010 RESERVED *n*

長構文: TSDK.010 RESERVED *n*

説明: 予約済み

TSDK.011

レベル: UI-ERROR

短構文: TSDK.011 *function* returning *error_code* because *reason*

長構文: TSDK.011 *function* returning *error_code* because *reason*

説明: この内部エラーは、ディスク・タスクが要求を処理できない場合に生成されます。

原因: 要求を割り振ることができませんでした。

処置: シン・サーバー機能は、要求の処理中に記憶域を使い尽くしました。障害が起こったクライアントをリスタートしてください。エラーが解消しない場合は、ファイルに同時にアクセスするクライアントの数を減らしてください。

TSDK.012

レベル: UI-ERROR

短構文: TSDK.012 *function* returning *error_code*

長構文: TSDK.012 *function* returning *error_code*

説明: このメッセージは、ディスク・タスク機能に障害が起こった場合に生成されます。

TSDK.013

レベル: C-INFO

短構文: TSDK.013 Create entry *file_name*

長構文: TSDK.013 Create entry *file_name*

説明: このメッセージは、ディスク上のキャッシュ・ファイルに新しいファイルが追加される場合に生成されます。

TSDK.014

レベル: C-TRACE

短構文: TSDK.014 Create Files for *host_file_name* (*file_number*), rc: *return_code*

長構文: TSDK.014 Create Files for *host_file_name* (*file_number*), rc: *return_code*

説明: このメッセージは、ディスク上のキャッシュ・ファイルに新しいファイルが追加される場合に生成されます。 16 進数の *file_number* は、ハード・ディスク上の実際のファイル名 (Talk 5 List Cached-Files 出力の最初の列に表示) に対応しています。

TSDK.015

レベル: UE-ERROR

短構文: TSDK.015 Couldn't *create_or_access* Thin Server File Cache Directory (*directory*) because *reason*

長構文: TSDK.015 Couldn't *create_or_access* Thin Server File Cache Directory (*directory*) because *reason*

説明: このメッセージは、何らかの理由でシン・サーバー機能がキャッシュ・ファイル・ディレクトリーを作成できない、またはアクセスできない場合に生成されます。このメッセージが出た場合は、ハード・ディスクの使用法とシン・サーバー機能の使用法との間に何らかの非互換性があります。もう 1 つの可能性は、ハード・ディスクが破壊されていることです。

TSDK.016

レベル: U-INFO

短構文: TSDK.016 Attempting to create Thin Server Directory: *directory_name*

長構文: TSDK.016 Attempting to create Thin Server Directory: *directory_name*

説明: このメッセージは、ディスク・タスクがハード・ディスク上にキャッシュ・ファイルを保管するのに使用するサブディレクトリーを作成中であることを示すために生成されます。

TSDK.017

レベル: U-INFO

短構文: TSDK.017 Thin Server Directory Created Successfully

長構文: TSDK.017 Thin Server Directory Created Successfully

説明: このメッセージは、ディスク・タスクがハード・ディスク上にキャッシュ・ファイルを保管するのに使用するサブディレクトリーの作成に成功したことを示すために生成されます。

TSDK.018

レベル: U-INFO

短構文: TSDK.018 Thin Server File Cache Directory Was Empty

長構文: TSDK.018 Thin Server File Cache Directory Was Empty

説明: このメッセージは、シン・サーバー機能を開始したときにキャッシュ・ファイルが存在しない場合に生成されます。

TSDK.019

レベル: UE-ERROR

短構文: TSDK.019 The following entry is a duplicate

長構文: TSDK.019 The following entry is a duplicate

説明: このメッセージは、シン・サーバー・キャッシュ内で重複ファイルが検出されたことを示すために生成されます。古いファイルが削除されたことを示す TSDK.1 メッセージも生成されます。

TSDK.020

レベル: UE-ERROR

短構文: TSDK.020 Read-Only file found: *file_name*

長構文: TSDK.020 Read-Only file found: *file_name*

説明: このメッセージは、シン・サーバー・ディレクトリーで読み取り専用ファイルが検出された場合に生成されます。これは起こり得ないことなので、ハード・ディスクが破壊されていることを示しています。

TSDK.021

レベル: UI-ERROR

短構文: TSDK.021 Internal Error: *part_1 part_2(number)*

長構文: TSDK.021 Internal Error: *part_1 part_2(number)*

説明: このメッセージは、シン・サーバー・ディスク・タスクで重大な内部エラーが発生した場合に生成されず。

TSDK.022

レベル: UE-ERROR

短構文: TSDK.022 Abort on: *file_name*, LastByteAvail: *bytes*, FileSize: *bytes*

長構文: TSDK.022 Abort on: *file_name*, LastByteAvail: *bytes*, FileSize: *bytes*

説明: このメッセージは、ファイル更新が中断された場合 (たとえば、マスター・ファイル・サーバーへの接続の損失によって) に生成されます。

TSDK.023

レベル: UI-ERROR

短構文: TSDK.023 Err in obj dtor: *specific_error_message*

長構文: TSDK.023 Error in object destructor: *specific_error_message*

説明: このメッセージは、オブジェクト・デストラクターが何らかの無効な状態を検出した場合に生成されず。

TSDK.024

レベル: C-TRACE

短構文: TSDK.024 TRC: *trace_message*

長構文: TSDK.024 TRACE: *trace_message*

説明: このメッセージは、ディスク・タスク内部トレースが使用されている場合に生成されます。

TSDK.025

レベル: U-INFO

短構文: TSDK.025 Rmv *file_name* (not in preload)

長構文: TSDK.025 Remove *file_name* (not in preload list or include directories)

説明: このメッセージは、ディスク・タスクが、事前ロード・リストまたは組み込みディレクトリーに含まれなくなったので、ファイルをキャッシュから除去する場合に生成されます。

TSDK.026

レベル: ALWAYS

短構文: TSDK.026 Refresh *protocol* files *starting_or_finished*

長構文: TSDK.026 Refresh *protocol* files *starting_or_finished*

説明: このメッセージは、特定のプロトコルに属するファイルのリフレッシュの開始中または完了中に生成されます。これは、何らかの理由でリフレッシュが打ち切られたことを示している場合があります。その場合には、該当するクライアント・メッセージ (TSNC for NFS, TSRC for RFS/400) が表示されるはずです。

TSDK.027

レベル: UI-ERROR

短構文: TSDK.027 Unexpected RC from *routine* is *error(number)* *optional_info*

長構文: TSDK.027 Unexpected RC from *routine* is *error(number)* *optional_info*

説明: このメッセージは、ディスク・タスク機能が予期しない戻りコードを戻した場合に生成されます。

TSDK.028

レベル: C-TRACE

短構文: TSDK.028 Acceptable RC from *routine* is *error(number)* *optional_info*

長構文: TSDK.028 Acceptable RC from *routine* is *error(number)* *optional_info*

説明: このメッセージは、ディスク・タスクが以下の戻りコードの 1 つを戻した場合に生成されます。

原因: TSDK_NO_SAME_VERSION

処置: NFS または RFS/400 クライアントが、ファイルの更新が必要かどうか、およびキャッシュ・ファイルがマスター・ファイル・サーバー上のファイルと同じバージョンかどうかを検査していました。

原因: TSDK_NO_NOT_ON_DISK

処置: TFTP、NFS、または RFS/400 サーバーは、事前ロード・リストには含まれているが、現在はハード・ディスク上に存在しないファイルにアクセスしようとしていました。

原因: TSDK_NO_NOT_AVAILABLE

処置: TFTP、NFS、または RFS/400 サーバーは、事前ロード・リストに含まれていないファイルにアクセスしようとしていました。

原因: TSDK_NO_NODE_NOT_FOUND

処置: NFS サーバーは、キャッシュ内に存在しないファイルにアクセスしようとしています。

TSDK.029

レベル: UE-ERROR

短構文: TSDK.029 RAM memory cache was configured for *configured_memoryk*, using *actual_memoryk*

長構文: TSDK.029 RAM memory cache was configured for *configured_memoryk*, using *actual_memoryk*

説明: このメッセージは、シン・サーバー機能が構成された量の RAM メモリー・キャッシュを使用できなかった場合に生成されます。

原因: RAM キャッシュに使用する記憶域の量を変更し、ルーター全体をリスタートせずに、シン・サーバー機能をリスタートした可能性があります。

原因: RAM キャッシュ用に構成されている記憶域の量が、ルーター内で利用可能な量より大きくなっています。

TSDK.030

レベル: UI-ERROR

短構文: TSDK.030 Invalid Handle, Task: *task_name*(0x *task_id*), Handle: 0x *handle*, rc: *error(error_number)*

長構文: TSDK.030 Invalid Handle, Task: *task_name*(0x *task_id*), Handle: 0x *handle*, rc: *error(error_number)*

説明: このメッセージは、ディスク・タスクが無効なハンドルを渡された場合に生成されます。

TSDK.031

レベル: UE-ERROR

短構文: TSDK.031 Aborting Disk Requests for *host_file_name* (FileState: *file_state*)

長構文: TSDK.031 Aborting Disk Requests for *host_file_name* (FileState: *file_state*)

説明: このメッセージは、リフレッシュ、ファイル削除、フラッシュ、またはマスター・サーバーとのファイル・バージョンの検証の結果として、アクセス中にファイルが削除された場合に生成されます。また、シン・サーバー機能が使用不可にされている場合、またはリスタートされた場合にも生成されることがあります。

TSDK.032

レベル: CE-ERROR

短構文: TSDK.032 *Canceling_or_Aborting* all Disk Requests for handle: *task*, 0x *handle*

長構文: TSDK.032 *Canceling_or_Aborting* all Disk Requests for handle: *task*, 0x *handle*

説明: このメッセージは、リフレッシュ、ファイル削除、フラッシュ、またはマスター・サーバーとのファイル・バージョンの検証の結果として、アクセス中にファイルが削除された場合に生成されます。また、シン・サーバー機能が使用不可にされている場合、またはリスタートされた場合にも生成されることがあります。

TSDK.033

レベル: UE-ERROR

短構文: TSDK.033 No room *cache_or_hard_file* for *host_file_name*

長構文: TSDK.033 No room *cache_or_hard_file* for *host_file_name*

説明: このメッセージは、余地がないためにファイルをシン・サーバーに保管できない場合に生成されます。

原因: RAM 専用モード (ハード・ディスクが構成されていない)。

処置: MEMORY-CACHE が、キャッシュされるすべてのファイルによって使用される合計スペースよりいくぶん大きい値に設定されていることを確認してください。

原因: 構成されたハード・ディスク。

処置: ハード・ディスクが動作可能であり、使用されていることを確認してください (たとえば、Talk 5 の構成を検査してください)。ハード・ディスクが使用されている場合は、ダウンロードされているファイル数が多過ぎないことを確認してください。

TSDK.034

レベル: ALWAYS

短構文: TSDK.034 Thin Server running without hard file because *problem*

長構文: TSDK.034 Thin Server running without hard file because *problem*

説明: このメッセージは、何らかの原因でシン・サーバーがハード・ディスクを使用できない場合に生成されます。

原因: 一般的な問題

処置: ハード・ディスクが破壊されていないこと、“TS” および “TS/DIR” ディレクトリーに無効なファイルが存在しないことを確認してください。これらのディレクトリー内のファイルはすべて “xxxxxxx.INF” または “xxxxxxx.DAT” 形式でなければなりません (ただし、“xxxxxxx” は16 進数)。また、すべてのファイルは、読み取り / 書き込みでなければなりません。

原因: ハード・ディスクが使用不能

処置: ハード・ディスクが存在することを確認してください。存在する場合は、十分なスペースがあることを確認してください。

原因: シン・サーバー・ディレクトリーを作成できない。

処置: ハード・ディスク上にスペースがあること、およびファイル “TS” が存在しないか、あるいは存在する場合は、それがディレクトリーであることを確認してください。また、“TS/DIR” がディレクトリーであるか、存在しないかのいずれかであることも確認してください。

原因: シン・サーバー・ディレクトリーにアクセスできない。

処置: ハード・ディスク上にディレクトリー “TS” が存在することを確認してください。また、“TS/DIR” がディレクトリーであることも確認してください。

第103章 シン・サーバー NFS (TSNS)

この章では、シン・サーバー NFS (TSNS) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

TSNS.001

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNS.001 System Error: *error_description*

長構文: TSNS.001 System Error: *error_description*

説明: NFS サーバーは、初期セットアップを正常に完了できませんでした。ポートマッパーの登録時または初期ソケットのセットアップ時に、エラーが発生しました。

TSNS.002

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNS.002 Unable to send *command-name* reply

長構文: TSNS.002 Unable to send *command-name* reply

説明: ネットワーク・ステーションに応答を送信する試みが失敗しました。

TSNS.003

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNS.003 Unable to decode *command_name* args

長構文: TSNS.003 Decode failed with *command_name*

説明: RPC 要求の引き数を復号する試みが失敗しました。

TSNS.004

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNS.004 Memory Allocation error getting *storage_name*

長構文: TSNS.004 Memory Allocation error failed with *storage_name*

説明: シン・サーバー機能が使用するために割り振られた記憶域が使い尽くされました。

TSNS.005

レベル: C-INFO

短構文: TSNS.005 *function_name* failed with *rc*

長構文: TSNS.005 *function_name* failed with *rc*

説明: 機能へのコールが、指定された戻りコードまたはエラー番号により失敗しました。

TSNS.006

レベル: C-INFO

短構文: TSNS.006 NFSD transport handle is *transport_handle*

長構文: TSNS.006 NFSD transport handle is *transport_handle*

説明: このメッセージは、NFS サーバーの初期化時に定義された NFS トランスポート・ハンドルを表示します。

TSNS.007

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNS.007 System Error: *function_name* errno is *errno*

長構文: TSNS.007 System Error: *function_name* errno is *errno*

説明: RPC サービス・トランスポートを作成しようとしているときに、システム・エラーが発生しました。

TSNS.008

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNS.008 *function_description* , sock number is *sock_descriptor*, errno *err_number*

長構文: TSNS.008 *function_description* , sock number is *sock_descriptor*, errno *err_number*

説明: *sock_descriptor* によって定義されたソケットのバインドが、指摘されたエラー番号により失敗しました。

TSNS.009

レベル: CE-ERROR

短構文: TSNS.009 Unsupported RPC invoked prog=*program_number*, vers=*version_number*, proc=*procedure_number*

長構文: TSNS.009 Unsupported RPC invoked prog=

program_number, vers= *version_number*, proc=
procedure_number

説明: サポートされない RPC ルーチンを起動しようとして
しました。

原因: NFS クライアントが、サポートされない RPC ル
ーチンを起動しようとした。

処置: メッセージに指定されているプロシージャ番号
を検査して、要求されたルーチンを判別し、その使用法
を確認してください。最も可能性が高いのは、WRITE コ
マンドと CREATE コマンドです。

TSNS.010

レベル: C-INFO

短構文: TSNS.010 MOUNT request from *ip_addr* on
directory *directory_name* was successful

長構文: TSNS.010 MOUNT request from *ip_addr* on
directory *directory_name* was successful

説明: 指定の IP アドレスのクライアントが正常にマウ
ントされました。

TSNS.011

レベル: C-INFO

短構文: TSNS.011 NFS DISPATCH received prog=
program_number, vers= *version_number*, proc=
procedure_number (*procedure_name*)

長構文: TSNS.011 NFS DISPATCH received prog=
program_number, vers= *version_number*, proc=
procedure_number (*procedure_name*)

説明: このメッセージは、NFS ディスパッチ・ルーチン
が起動されたことを示します。

TSNS.012

レベル: C-INFO

短構文: TSNS.012 MOUNT DISPATCH received prog=
program_number, vers= *version_number*, proc=
procedure_number (*procedure_name*)

長構文: TSNS.012 MOUNT DISPATCH received prog=
program_number, vers= *version_number*, proc=
procedure_number (*procedure_name*)

説明: このメッセージは、MOUNT ディスパッチ・ルー
チンが起動されたことを示します。

TSNS.013

レベル: C-INFO

短構文: TSNS.013 *function_name* was invoked

長構文: TSNS.013 *function_name* was invoked

説明: このメッセージは、指定された機能が起動された
ことを示します。

TSNS.014

レベル: C-INFO

短構文: TSNS.014 TRC: *message_description*

長構文: TSNS.014 TRACE: *message_description*

説明: デバッグの目的に使用される情報メッセージ

TSNS.015

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNS.015 MOS IP Interface Failed to Come Up
after *time* seconds

長構文: TSNS.015 MOS IP Interface Failed to Come Up
after *time* seconds

説明: このエラーは、ルーター IP インターフェースの
始動に失敗した場合に生成されます。

原因: IP インターフェースが正しく構成されていない
か、またはハードウェア障害が存在します。

処置: IP 構成の定義と物理的な接続を検査してくださ
い。

TSNS.016

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNS.016 *function-name* failed with rc: *rc*, error:
error-description(*error-code*)

長構文: TSNS.016 *function-name* failed with rc: *rc*, error:
error-description(*error-code*)

説明: 機能へのコールが、指摘されたエラーにより失敗
しました。これにより、NFS サーバー・スレッドが開始
できない場合があります。

TSNS.017

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNS.017 INT ERR: *function-name* failed with
reason

長構文: TSNS.017 INT ERR: *function-name* failed with
reason

説明: このエラーは、重大な内部コード問題を報告しています。

TSNS.018

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNS.018 INT ERR: *message_description*

長構文: TSNS.018 INT ERR: *message_description*

説明: このエラーは、破壊されたパケットが NFS サーバーによって検出されたことを報告しています。パケットは廃棄されます。

TSNS.019

レベル: C-INFO

短構文: TSNS.019 LOOKUP of file *filename* was received

長構文: TSNS.019 LOOKUP of file *filename* was received

説明: このメッセージは、ルックアップが実行されたファイル名を表示します。

第104章 シン・サーバー NFS クライアント (TSNC)

この章では、シン・サーバー NFS クライアント (TSNC) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

TSNC.001

レベル: U-INFO

短構文: TSNC.001 Starting NFSCL full Refresh

長構文: TSNC.001 Starting NFS Client full Refresh

説明: NFS クライアントは、全リフレッシュを開始しました。

TSNC.002

レベル: U-INFO

短構文: TSNC.002 Completing NFSCL full Refresh

長構文: TSNC.002 Completing NFS Client full Refresh

説明: NFS クライアントは、全リフレッシュを完了しました。

TSNC.003

レベル: U-INFO

短構文: TSNC.003 RESERVED x

長構文: TSNC.003 RESERVED x

説明: 予約済み

TSNC.004

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNC.004 *dir_operation* on *dir_name* failed.
Reason: *error_description*(*error_code*)

長構文: TSNC.004 *dir_operation* operation of *dir_name* returned *error_description*(*error_code*)

説明: このメッセージは、組み込みディレクトリーのスキャン中にエラーが検出された場合に生成されます。

TSNC.005

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNC.005 Invalid file attributes *st_mode* for file *host_file_name*

長構文: TSNC.005 Invalid file attributes *st_mode* for file *host_file_name*

説明: このメッセージは、組み込みディレクトリーのスキャン中に、通常ファイルまたはディレクトリーではないファイルが検出された場合に生成されます。

TSNC.006

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNC.006 No memory to process *host_file_name*

長構文: TSNC.006 No memory to process *host_file_name*

説明: このメッセージは、シン・サーバー機能が、記憶域が使い尽くされたためにファイルまたはディレクトリーを処理できない場合に生成されます。

原因: マスター・ファイル・サーバーは、1998 年 8 月の修正レベル以前の NSM コードが導入されている NT サーバーです。

処置: NSM コードを更新してください。

TSNC.007

レベル: U-INFO

短構文: TSNC.007 Refresh for *host_file_name* will be *refresh_action*

長構文: TSNC.007 Refresh for *host_file_name* will be *refresh_action*

説明: このメッセージは、リフレッシュのディレクトリー・スキャン・フェーズで生成され、サブディレクトリーが処理されるかどうかを示します。

TSNC.008

レベル: U-INFO

短構文: TSNC.008 Update of *host_file_name* is complete

長構文: TSNC.008 Update of *host_file_name* is complete

説明: このメッセージは、ファイルの更新が完了した場合に生成されます。

TSNC.009

レベル: U-INFO

短構文: TSNC.009 Update of *host_file_name* is *download_action*

長構文: TSNC.009 Update of *host_file_name* is *download_action*

説明: このメッセージは、リフレッシュのファイル更新フェーズで生成され、指定のファイルが更新されるかどうかを示します。

TSNC.010

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNC.010 OpenFile call for *file_name* returned *error_description(error_code)*

長構文: TSNC.010 OpenFile call for *file_name* returned *error_description(error_code)*

説明: NFS クライアントは、ハード・ディスク上の *host_file_name* のキャッシュ・コピーをオープンできませんでした。

原因: TSDK_NO_CANT_WRITE

処置: キャッシュされるファイルが多過ぎます。ルーター上に利用可能な記憶域を十分に確保するか、もしくは構成を調整してキャッシュ・ファイルの数を減らしてください。

原因: その他のコード

処置: 内部コード・エラーが発生しました。

TSNC.011

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNC.011 *open_or_close* call for *host_file_name* returned *error_description(error_code)*

長構文: TSNC.011 *open_or_close* call for *host_file_name* returned *error_description(error_code)*

説明: マスター・ファイル・サーバー上のファイルにアクセスしているときに問題が発生しました。

処置: シン・サーバーがキャッシュするファイルにアクセスできるように、マスター・ファイル・サーバーが正しく構成されていることを確認してください。

TSNC.012

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNC.012 Update File for *host_file_name* returned *error_description(error_code)*

長構文: TSNC.012 Update File for *host_file_name* returned *error_description(error_code)*

説明: NFS クライアントは、キャッシュ・ファイルを更新できませんでした。

原因: TSDK_NO_TOO_MANY_NODES または TSDK_NO_CANT_ADD

処置: キャッシュされるファイルが多過ぎます。構成を変更して、キャッシュするファイルの数を減らしてください。Talk 5 からのフラッシュも、使われなくなったファイルを除去するのに役立つ場合があります。

原因: TSDK_NO_NO_ROOM

処置: キャッシュ・ファイルがスペースを使い過ぎています。ハード・ディスクを使用していない場合は、キャッシュに使用する記憶域の量を増やしてください。これが不可能な場合、あるいはハード・ディスクを使用している場合は、構成を変更して、キャッシュするファイルの数を減らしてください。Talk 5 からのフラッシュも、使われなくなったファイルを除去するのに役立つ場合があります。

原因: その他のエラー

処置: 内部コード・エラーが発生しました。

TSNC.013

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNC.013 *file_operation* of *host_file_name* at Offset *offset* returned *error_description(error_code)*

長構文: TSNC.013 *file_operation* of *host_file_name* at Offset *offset* returned *error_description(error_code)*

説明: このメッセージは、マスター・ファイル・サーバー上のシークまたは読み取りに失敗した場合に生成されます。

処置: シン・サーバーがキャッシュするファイルにアクセスできるようにマスター・ファイル・サーバーが正しく構成されていることを確認してください。また、ネットワーク問題がないことも確認してください。

TSNC.014

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNC.014 WriteFileRequest call for *host_file_name* returned *error_description(error_code)*

長構文: TSNC.014 WriteFileRequest call for *host_file_name* returned *error_description(error_code)*

説明: このメッセージは、シン・サーバー・キャッシュへの書き込みに失敗した場合に生成されます。

原因: TSDK_CACHE_WRITE_ERROR

処置: シン・サーバーはハード・ディスクを使用しておらず、指定のファイルのキャッシュ内の記憶域が使い尽くされました。

原因: TSDK_SCHED_CANCELED

処置: リスタートまたは他のアクションが原因で、ファイルの更新が中断されました。処置は必要ありません。次のリフレッシュ時にファイルは回復されます。

原因: TSDK_DISK_IO_ERROR

処置: ファイルをハード・ディスクに書き込み中に、ディスク入出力エラーが発生しました。ハード・ディスクが破壊されていないことを確認してください。

原因: その他のエラー

処置: 内部コード・エラーが発生しました。

TSNC.015

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNC.015 LookUpNode call for *host_file_name* returned *error_description(error_code)*

長構文: TSNC.015 LookUpNode call for *host_file_name* returned *error_description(error_code)*

説明: NFS クライアントは、シン・サーバー・キャッシュ内のファイル名を解決することができませんでした。これは内部コード・エラーです。

TSNC.016

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNC.016 Resolve for *host_file_name* returned *error_description(error_code)*

長構文: TSNC.016 Resolve for *host_file_name* returned *error_description(error_code)*

説明: このメッセージは、NFS クライアントがマスター・ファイル・サーバー上の NFS マウントを使用して、ホスト・ファイル名をローカル・ファイル名に変換しようとしているときに生成されます。

原因: TSDK_NO_TOO_MANY_NODES

処置: キャッシュされているファイルが多過ぎるか、あるいはすべてのサブディレクトリー内のすべてのファイルをキャッシュするように構成されたディレクトリーの中に存在するディレクトリーの数が多過ぎます。構成を変更して、キャッシュするファイルまたはディレクトリーの数を減らしてください。Talk 5 からのフラッシュも、使われなくなったファイルを除去するのに役立つ場合があります。

原因: その他のエラー

処置: 内部コード・エラーが発生しました。

TSNC.017

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNC.017 WriteFileRequest call for *host_file_name* returned *errno error_description(error_code)*

長構文: TSNC.017 WriteFileRequest call for *host_file_name* returned *errno error_description(error_code)*

説明: ファイルをキャッシュに書き込み中に、ディスク入出力エラーが発生しました。ハード・ディスクが破壊されている可能性があります。

TSNC.018

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNC.018 AddDirectory for *host_file_name* returned *error_description(error_code)*

長構文: TSNC.018 AddDirectory for *host_file_name* returned *error_description(error_code)*

説明: このメッセージは、NFS クライアントがシン・サーバー上に、マスター・ファイル・サーバー上のディレクトリーに対応するディレクトリーを作成できない場合に生成されます。

原因: TSDK_NO_TOO_MANY_NODES

処置: キャッシュされているファイルが多過ぎるか、あるいはすべてのサブディレクトリー内のすべてのファイルをキャッシュするように構成されたディレクトリーの中に存在するディレクトリーの数が多過ぎます。構成を変更して、キャッシュするファイルまたはディレクトリーの数を減らしてください。Talk 5 からのフラッシュも、使われなくなったファイルを除去するのに役立つ場合があります。

原因: その他のエラー

処置: 内部コード・エラーが発生しました。

TSNC.019

レベル: C-TRACE

短構文: TSNC.019 TRC: *trace_message*

長構文: TSNC.019 TRACE: *trace_message*

説明: このメッセージは、NFS クライアントで内部トレースが使用されている場合に生成されます。

TSNC.020

レベル: C-INFO

短構文: TSNC.020 Create Incl Dir *include_directory* (local: *local_directory*), sub-dirs: *yes_no*

長構文: TSNC.020 Create Include Directory *include_directory* (local: *local_directory*), include sub-directories: *yes_no*

説明: このメッセージは、構成が処理されたときに生成されます。

TSNC.021

レベル: C-INFO

短構文: TSNC.021 Create sub-dir *parent_directory/ sub-directory* (local: *local_parent_directory/ sub-directory*), sub-dirs: *yes_no*

長構文: TSNC.021 Create sub-directory *parent_directory/ sub-directory* (local: *local_parent_directory/ sub-directory*), include sub-directories: *yes_no*

説明: このメッセージは、サブディレクトリーのスキャン中に生成されます。

TSNC.022

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNC.022 INT ERR: *function* for *object* returned *error_description*(*error_code*)

長構文: TSNC.022 INTERNAL ERROR: *function* for *object* returned *error_description*(*error_code*)

説明: このメッセージは、NFS クライアントで内部エラーが発生した場合に生成されます。

TSNC.023

レベル: C-INFO

短構文: TSNC.023 Adding *host_file_name* to file set

長構文: TSNC.023 Adding *host_file_name* to file set

説明: このメッセージは、リフレッシュされるファイル・セットにファイルが追加された場合に生成されます。

TSNC.024

レベル: C-INFO

短構文: TSNC.024 Update check *host_file_name*

長構文: TSNC.024 Update check *host_file_name*

説明: このメッセージは、ネットワーク・ステーションがファイルにアクセスするときに生成されます。NFS クライアントは、ファイルが最新のものであるかどうかを検査します。そのファイルが存在するディレクトリーが、すべてのサブディレクトリーが含まれている構成済みの組み込みディレクトリーによって指定されるディレ

クトリー・ツリーの一部を構成している場合、必要であれば、ファイルはキャッシュに追加されます。

TSNC.025

レベル: CE-ERROR

短構文: TSNC.025 Invalid file *host_file_name* (*error_description* - *error_code*)

長構文: TSNC.025 Invalid file *host_file_name* (*error_description* - *error_code*)

説明: このメッセージは、リフレッシュの組み込みディレクトリー・スキャン・フェーズで生成されるか、もしくはオンデマンドで生成されます。

原因: 不良ファイル記述子 (EBADF)

処置: マスター・サーバー上の NFS デーモンが開始していない可能性があります。マスター・サーバーが完全に動作可能であることを確認してください。

原因: このようなファイルまたはディレクトリーがない (ENOENT)。

処置: このファイルのファイル名の中にシン・サーバー機能がサポートできない文字が含まれています。

原因: 許可が拒否された (EACCESS)。

処置: ファイルが存在するディレクトリーに与えられている許可は、シン・サーバー機能がファイルにアクセスできないになっています。ファイルをダウンロードする必要がある場合 (あるいは、ファイルをダウンロードする必要があるディレクトリーに存在する場合)、マスター・サーバー上の許可は、シン・サーバーがファイルにアクセスすることを許可しているかどうかを確認してください (ファイルは、無名 UID である -2 に対応するユーザー ID による読み取りアクセスが許可されている必要があります)。

原因: ファイル名が長すぎる (ENAMETOOLONG)

処置: 完全修飾ファイル名は、シン・サーバー機能にとって長過ぎます。限界は 246 文字 (エクスポートされたディレクトリーを含まない) です。

TSNC.026

レベル: UE-ERROR

短構文: TSNC.026 NFS Mount on *host directory* returned *error_description*(*error_code*)

長構文: TSNC.026 NFS Mount on *host directory* returned *error_description*(*error_code*)

説明: このメッセージは NFS マウントに失敗した場合に生成されます。

原因: 十分なスペースがない (ENOMEM)。

処置: シン・サーバー上の組み込みディレクトリーの数を減らすか、マスター・ファイル・サーバー上のエクスポートの数を減らすか、あるいはその両方を行ってください。

原因: 許可が拒否された。(EACCESS)

処置: マスター・ファイル・サーバーがディレクトリーに正しい許可を与えてエクスポートしていることを確認してください。マスター・ファイル・サーバーが NT サーバーであり、NFS で NT セキュリティーが使用されている場合、NT ID が NFS UID -2 (GID も -2) にマップされていること、および NT ID がディレクトリーに対する読み取り許可を持っていることを確認してください。

原因: このような装置がない (ENODEV)

処置: ルーターをリスタートしてください。

原因: ホストへのルートがない (EHOSTUNREACH)。

処置: マスター・サーバーへのルートが存在し、NFS サーバーがアクティブであることを確認してください。

TSNC.027

レベル: UE-ERROR

短構文: TSNC.027 RPC Error in *function* is *error_description(error_code)*, *additional_description(additional_code, additional_code)*

長構文: TSNC.027 RPC Error in *function* is *error_description(error_code)*, *additional_description(additional_code, additional_code)*

説明: このメッセージは RPC のコールが失敗したときに生成されます。

TSNC.028

レベル: UE-ERROR

短構文: TSNC.028 Include directory *directory* could not be resolved because *reason*

長構文: TSNC.028 Include directory *directory* could not be resolved because *reason*

説明: このメッセージは、構成済みの組み込みディレクトリーの 1 つを、マスター・ファイル・サーバーによってエクスポートされた有効なマウントに解決できなかった場合に生成されます。

原因: エクスポートされた nfs ディレクトリーがない。

処置: マスター・ファイル・サーバーが必要なディレクトリーをエクスポートしていること、およびシン・サーバーがそれらに対するアクセスを持っていることを確認してください。

原因: 一致したエクスポートがない。

処置: 組み込みディレクトリーが正しく構成されていること、および正しいマスター・ファイル・サーバーが構成されていることを確認してください。ファイル名は大文字小文字を区別することにも注意してください。

TSNC.029

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNC.029 NFS Client initialization failed because *function* returned *error_description(error_code)*

長構文: TSNC.029 NFS Client initialization failed because *function* returned *error_description(error_code)*

説明: このエラーは、シン・サーバー NFS クライアントが内部エラーのために初期化に失敗した場合に報告されます。

TSNC.030

レベル: UE-ERROR

短構文: TSNC.030 NFS Mount on Master Server Failed: *error_description*

長構文: TSNC.030 NFS Mount on Master Server Failed: *error_description*

説明: このエラーは、*error_description* に説明されている RPC 問題のためにマスター・サーバー上の NFS マウントが失敗した場合に報告されます。

TSNC.031

レベル: UE-ERROR

短構文: TSNC.031 No exported directories on master server

長構文: TSNC.031 No exported directories on master server

説明: このエラーは、マスター・サーバーに上にエクスポートされたディレクトリーが存在しない場合に報告されます。

TSNC.032

レベル: U-INFO

短構文: TSNC.032 *function* failed, retrying *count* of *maximum* times

長構文: TSNC.032 *function* failed, retrying *count* of *maximum* times

説明: このエラーは、NFS クライアントが動作を再試行中であることを示すために報告されます。

第105章 シン・サーバー RFS クライアント (TSRC)

この章では、シン・サーバー RFS クライアント (TSRC) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

TSRC.001

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.001 *generic_string*

長構文: TSRC.001 *generic_string*

説明: これは、指定されたエラーを報告する総称 RFS クライアント・エラー・メッセージです。

TSRC.004

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.004 ERROR: (errno= *error_number*): *error_number_string*

長構文: TSRC.004 ERROR: (errno= *error_number*): *error_number_string*

説明: これは、指定のエラー番号に関連した文字列の説明を報告する、総称 RFS クライアント・エラー・メッセージです。

TSRC.005

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.005 *function_name*() call failed rc= *return_code* errno= *error_number*

長構文: TSRC.005 *function_name*() call failed rc= *return_code* errno= *error_number*

説明: 指定された機能コールが失敗しました。障害が起きた機能コールからの戻りコードと障害時のエラー番号が示されています。

TSRC.006

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.006 *function_name*() call failed rc= *return_code*

長構文: TSRC.006 *function_name*() call failed rc= *return_code*

説明: 指定された機能コールが失敗しました。失敗した機能からの戻りコードが示されています。

TSRC.007

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.007 Bad RC on *function_name* rc= *return_code* errno= *error_number*

長構文: TSRC.007 Bad return code on *function_name* rc= *return_code* errno= *error_number*

説明: 指定の *function_name* が不正な戻りコードを戻しました。障害が起きた機能コールからの戻りコードと障害時のエラー番号が示されています。

TSRC.008

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.008 ERROR: Bad RC from *function_name* (rc: *return_code*)

長構文: TSRC.008 ERROR: Bad return code from *function_name* (rc: *return_code*)

説明: 指定の機能コールが不正な戻りコードを戻しました。指定の機能コールから受信した戻りコードが示されています。

TSRC.009

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.009 *generic_string*

長構文: TSRC.009 *generic_string*

説明: これは、情報テキスト・ストリングを印刷するのに使用される、総称 RFS 情報メッセージです。

TSRC.015

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.015 INFO: About to enter: *function_name*

長構文: TSRC.015 INFO: About to enter: *function_name*

説明: この情報メッセージは、指定された機能が起動されようとしていることを示します。

TSRC.016

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.016 Starting func *function_name*()

長構文: TSRC.016 Starting function *function_name*()

説明: このメッセージは、指定の機能の開始時に生成されます。現在、指定されたルーチン内にいることを示しています。

TSRC.017

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.017 The *function_name* call completed ok

長構文: TSRC.017 The *function_name* call completed successfully

説明: 指定の機能コールが正常に完了しました。

TSRC.018

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.018 RFS client thread is terminating

長構文: TSRC.018 RFS client thread is terminating

説明: RFS クライアント・スレッドを終了中です。

原因: これが起る最も一般的な状況は、ユーザーが手でシン・サーバー機能の使用不可にしたか、リスタートした場合です。回復不能な例外エラー状態が検出された場合にも、RFS クライアント・スレッドが終了することがあります。

TSRC.019

レベル: UE-ERROR

短構文: TSRC.019 ERROR: Rply is NOT *expected_reply_id* (ReqRplyID: *received_reply_id*)

長構文: TSRC.019 ERROR: Reply is NOT *expected_reply_id* (ReqRplyID: *received_reply_id*)

説明: RFS クライアントは、マスター RFS ファイル・サーバーから予期しない応答を受信しました。予想していた識別子と受信した識別子が示されています。

TSRC.020

レベル: UE-ERROR

短構文: TSRC.020 ERROR: *rfs_reply_msg* rply does NOT have a matching correlation id (req cid: *request_cid* rply cid: *reply_cid*)

長構文: TSRC.020 ERROR: *rfs_reply_msg* reply does NOT

have a matching correlation id (request cid: *request_cid* reply cid: *reply_cid*)

説明: RFS クライアントは RFS 応答を受信しましたが、最後の要求で送信した関連識別子と一致していませんでした。

TSRC.021

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.021 ERROR: on *rfs_request_msg* req write() (rc= *return_code* errno= *error_number*)

長構文: TSRC.021 ERROR: on *rfs_request_msg* request write() (rc= *return_code* errno= *error_number*)

説明: 指定の RFS クライアント要求コマンドをマスター RFS ファイル・サーバー・ソケット・ストリームに書き込んでいるときに、エラーが発生しました。 *write()* からの戻りコードとエラー検出時のスレッド特定エラー番号の両方が示されています。

TSRC.022

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.022 ERROR: *rfs_request_msg* rply read() failed (rc= *return_code* errno= *error_number*)

長構文: TSRC.022 ERROR: *rfs_request_msg* reply read() failed (rc= *return_code* errno= *error_number*)

説明: 指定の RFS クライアント応答をマスター RFS ファイル・サーバー・ソケット・ストリームから読み取っているときに、エラーが発生しました。 *read()* からの戻りコードとエラー検出時のスレッド特定エラー番号の両方が示されています。

TSRC.023

レベル: UE-ERROR

短構文: TSRC.023 ERROR: *rfs_reply_msg* rply is too small (bytes read: *num_bytes_read*)

長構文: TSRC.023 ERROR: *rfs_reply_msg* reply is too small (bytes read: *num_bytes_read*)

説明: RFS クライアントは、予想より小さい RFS 応答を受け取りました。実際に読み取られたバイト数が示されています。

TSRC.024

レベル: CE-ERROR

短構文: TSRC.024 ERROR: File *pathname* not found on master RFS file server

長構文: TSRC.024 ERROR: File *pathname* not found on master RFS file server

説明: 指定されたファイルが、マスター RFS ファイル・サーバー上で見付かりませんでした。

原因: 指定のファイルがマスター RFS ファイル・サーバー上に存在しない。

処置: 指定のファイルをマスター RFS ファイル・サーバー上に置いてください。

原因: 指定のファイルはプリロード・リストに含まれているが、シン・サーバー・キャッシュのためには必要ない。

処置: 指定のファイルをプリロード・リストから除去してください。

TSRC.025

レベル: UE-ERROR

短構文: TSRC.025 ERROR: *rfs_reply_msg* rply has a trunc header (bytes read: *num_bytes_read*)

長構文: TSRC.025 ERROR: *rfs_reply_msg* reply has a truncated header (bytes read: *num_bytes_read*)

説明: RFS クライアントはマスター RFS ファイル・サーバーから RFS 応答を受信しましたが、ヘッダーが切り捨てられていました。

TSRC.026

レベル: UE-ERROR

短構文: TSRC.026 ERROR: Unexpected rply to *rfs_reply_msg* req (ReqRplyId: *reply_id*)

長構文: TSRC.026 ERROR: Unexpected reply to *rfs_reply_msg* request (ReqRplyId: *reply_id*)

説明: RFS クライアントは、マスター RFS ファイル・サーバーから、指定の RFS 要求に対する予期しない RFS 応答を受信しました。

原因: (OpenNode 要求の場合): RFS クライアントは、マスター RFS ファイル・サーバーからファイルを取り出すための十分な許可を持っていません。

処置: マスター RFS ファイル・サーバー上のファイルに関する許可を変更して、QTFTP というユーザー ID がファイルにアクセスできるようにしてください。

TSRC.027

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.027 Received portmapper resp (*response_character*) port: *port_number*

長構文: TSRC.027 Received portmapper response (*response_character*) port: *port_number*

説明: RFS クライアントは、マスター RFS ファイル・サーバーのポートマッパー・デーモンから、指定のポートマッパー応答を受信しました。

TSRC.028

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.028 *rfs_request_msg* req sent ok (*num_bytes_sent* bytes sent)

長構文: TSRC.028 *rfs_request_msg* request sent successfully (*num_bytes_sent* bytes sent)

説明: RFS クライアントは、指定の RFS 要求をマスター RFS ファイル・サーバーに正常に送信しました。

TSRC.029

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.029 RC from *rfs_reply_msg* is ok

長構文: TSRC.029 Return Code from *rfs_reply_msg* is ok

説明: RFS クライアントが指定の機能コールから受信した戻りコードは OK でした。

TSRC.030

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.030 *rfs_reply_msg* rply looks ok (*num_bytes_received* bytes received)

長構文: TSRC.030 *rfs_reply_msg* reply looks ok (*num_bytes_received* bytes received)

説明: RFS クライアントは、マスター RFS ファイル・サーバーからの指定の応答で、予期したバイト数を受け取りました。受信したバイト数とともに応答のタイプが示されています。

TSRC.031

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.031 RC from DS_RC rply: *return_code_in_msg*

長構文: TSRC.031 Return Code contained in DS_RC reply: *return_code_in_msg*

説明: 指定の戻りコードが、マスター RFS ファイル・サーバーからの DS_RC RFS 応答で戻されました。

原因: DS_RC は、RFSファイル・サーバーが RFS 要求に応答して RFS クライアントに戻りコードを戻すのに使用する戻りコード・データ構造です。この戻りコードに

関する追加情報が、RFS 仕様に含まれている場合があります。

TSRC.032

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.032 Remote/local timestamp match; thus file *pathname* will not be downloaded.

長構文: TSRC.032 Remote/local timestamp match; thus file *pathname* will not be downloaded.

説明: キャッシュ内の指定のファイルのキャッシュ・エントリーのタイム・スタンプが、マスター RFS ファイル・サーバー上のファイルのタイム・スタンプに一致しています。このファイルのキャッシュ・エントリーは最新のもののなので、ファイルはダウンロードされません。

TSRC.033

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.033 Remote/local timestamp mismatch; thus file *pathname* will be downloaded.

長構文: TSRC.033 Remote/local timestamp mismatch; thus file *pathname* will be downloaded.

説明: キャッシュ内の指定のファイルのキャッシュ・エントリーのタイム・スタンプが、マスター RFS ファイル・サーバー上のファイルのタイム・スタンプに一致していません。このファイルのキャッシュ・エントリーは最新ではないので、ファイルがダウンロードされます。

TSRC.034

レベル: UE-ERROR

短構文: TSRC.034 ERROR: StartServerReply reported bad primary RC: *primary_return_code*

長構文: TSRC.034 ERROR: StartServerReply reported bad primary return code: *primary_return_code*

説明: RFS クライアントは、マスター RFS サーバーから不正な 1 次戻りコードが入っている StartServerReply メッセージを受信しました。

原因: RFS ファイル・サーバーは、マスター・サーバー上で正常に開始されませんでした。

処置: マスター・サーバーのエラー・ログを検査して、このエラー状態の詳しい情報を調べ、適切な処置を取ってください。

TSRC.035

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.035 StartServerReply primary RC indicates success

長構文: TSRC.035 StartServerReply primary return code indicates success

説明: RFS クライアントは、マスター RFS サーバーから正常な 1 次戻りコードが入っている StartServerReply メッセージを受信しました。

TSRC.036

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.036 File length returned on Lookup rply: *file_length*

長構文: TSRC.036 File length returned on Lookup reply: *file_length*

説明: RFS クライアントは、マスター RFS ファイル・サーバーから、指定のファイル長を持つルックアップ応答を受け取りました。

TSRC.037

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.037 Checking state of master RFS file server connection

長構文: TSRC.037 Checking state of master RFS file server connection

説明: RFS クライアントは、RFS マスター・マスター・ファイルの接続状態を検査しています。

TSRC.038

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.038 Establishing communication with master RFS file server

長構文: TSRC.038 Establishing communication with master RFS file server

説明: RFS クライアントは、マスター RFS ファイル・サーバーとの通信を確立中です。

TSRC.039

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.039 Disconnected from master RFS file server

長構文: TSRC.039 Disconnected from master RFS file server

説明: RFS クライアントは、マスター RFS ファイル・サーバーから切断しました。

TSRC.040

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.040 *handle_name* Handle: *handle_value*

長構文: TSRC.040 *handle_name* Handle: *handle_value*

説明: RFS クライアントは、指定のハンドルの値を報告しています。マスター RFS ファイル・サーバーは、ルックアップ・ファイル・ハンドルとオープン・ファイル・ハンドルの両方を戻します。

TSRC.041

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.041 File handle returned on *parameter_name* rply: *reply_name*

長構文: TSRC.041 File handle returned on *parameter_name* reply: *reply_name*

説明: RFS クライアントは、指定の応答 (マスター RFS ファイル・サーバーからの) から受け取ったハンドルの値を報告しています。

TSRC.042

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.042 *reply_name* has correct syntax

長構文: TSRC.042 *reply_name* has correct syntax

説明: RFS クライアントは、指定の応答の構文が正しいことを報告しています。

TSRC.043

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.043 Failed ASCII->UNICODE *variable_name* conversion of *ascii_string*; conv_rc= *conversion_return_code*

長構文: TSRC.043 Failed ASCII->UNICODE *variable_name* conversion of *ascii_string*; conv_rc= *conversion_return_code*

説明: 指定の ASCII 文字列の ASCII->UNICODE 変換が、指定の戻りコードにより失敗しました。

TSRC.044

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.044 Successful ASCII->UNICODE *variable_name* conversion of *ascii_string*

長構文: TSRC.044 Successful ASCII->UNICODE *variable_name* conversion of *ascii_string*

説明: 指定の ASCII 文字列の ASCII->UNICODE 変換が成功しました。

TSRC.045

レベル: CE-ERROR

短構文: TSRC.045 ERROR: Unable to connect to master RFS server

長構文: TSRC.045 ERROR: Unable to connect to master RFS server

説明: RFS クライアントはマスター RFS ファイル・サーバーに接続できません。

原因: この症状がよく見られるのは、ネットワークに問題がある場合、またはマスター RFS サーバー・デーモンが実行されていない場合です。

処置: マスター RFS サーバーとの接続を検査してください (たとえば、ping または traceroute を使用して)。マスター RFS サーバーのサブシステム・プロセスが実行されていることを確認してください。問題が解消されない場合は、マスター・サーバー上の RFS サーバーのサブシステム・プロセスを停止し、リスタートしてみてください。

TSRC.046

レベル: CE-ERROR

短構文: TSRC.046 Aborted Connection Retry: Exceeded the maximum number of retry attempts

長構文: TSRC.046 Aborted Connection Retry: Exceeded the maximum number of retry attempts

説明: RFS クライアントは、マスター RFS ファイル・サーバーとの接続を何度も試みましたが、断念しました。

原因: この症状がよく見られるのは、ネットワークに問題がある場合、またはマスター RFS ファイル・サーバー・デーモンが実行されていない場合です。

処置: マスター RFS ファイル・サーバーとの接続を検査してください (たとえば、ping または traceroute を使用して)。マスター RFS ファイル・サーバーのサブシステム・プロセスが実行されていることを確認してください (たと

えば、wrksbs を使用して)。

処置: 問題が解消されない場合は、(AS/400) マスター・サーバー上の RFS ファイル・サーバーおよび TCP/IP サブシステム・プロセスを停止し、リスタートしてみてください。

処置: 問題が続く場合は、ルーターのシン・サーバー機能をリスタートしてください。

処置: 問題が続く場合は、ルーターをリスタートしてください。

TSRC.047

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.047 Warning: RFS Server connection status is not valid

長構文: TSRC.047 Warning: RFS Server connection status is not valid

説明: RFS クライアントは、無効な RFS サーバー接続状況を検出しました。

TSRC.048

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.048 seedrply is not valid

長構文: TSRC.048 seedrply is not valid

説明: RFS クライアントは、無効な seedrply を検出しました。

TSRC.049

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.049 Attempting to connect to *ip_address* (port *port_number*)

長構文: TSRC.049 Attempting to connect to *ip_address* (port *port_number*)

説明: RFS クライアントは、指定の IP アドレスとポート番号で、マスター・サーバーへの接続を試みています。

TSRC.050

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.050 Connected to the AS/400 master RFS file server (as-file) thread

長構文: TSRC.050 Connected to the AS/400 master RFS file server (as-file) thread

説明: RFS クライアントは、AS/400 のマスター RFS フ

ァイル・サーバー (as-file) スレッドに正常に接続されました。

TSRC.051

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.051 Initializing *socket_descriptor* to port *port_number*, family *family_number*

長構文: TSRC.051 Initializing *socket_descriptor* to port *port_number*, family *family_number*

説明: RFS クライアントは、指定のソケット記述子を、指定のポートとファミリー番号に初期設定しています。

TSRC.052

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.052 Sending req to obtain portnumber for: *server_process*

長構文: TSRC.052 Sending request to obtain portnumber for: *server_process*

説明: RFS クライアントは、指定のサーバー・プロセスのポート番号を入手するために、AS/400 のポートマップパーに要求を出しています。

TSRC.053

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.053 Connected to the AS/400 portmapper server thread

長構文: TSRC.053 Connected to the AS/400 portmapper server thread

説明: RFS クライアントは、AS/400 のポートマップパー・サーバー・スレッドに正常に接続されました。

TSRC.054

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.054 INFO: Value of refresh timeout: *num_sec* sec *num_nsec* nsec

長構文: TSRC.054 INFO: Value of refresh timeout: *num_sec* sec *num_nsec* nsec

説明: RFS クライアントは、リフレッシュ・タイムアウト変数の現行値を報告しています。この変数は、プリロード・リスト内のファイルの次の自動リフレッシュまでの残り時間を計算するのに使用されます。

TSRC.055

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.055 Refreshing file: *pathname*

長構文: TSRC.055 Refreshing file: *pathname*

説明: RFS クライアントは、指定のファイルをリフレッシュ中です。

TSRC.056

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.056 Refresh timer expired

長構文: TSRC.056 Refresh timer expired

説明: RFS クライアントのリフレッシュ・タイマーが満了しました。定期的なリフレッシュが使用可能にされている場合、この時点で、プリロード・リスト内のファイルがリフレッシュされます。下記の追加メッセージを参照して、プリロード・リスト・ファイルが実際にリフレッシュされているかどうかを調べてください。

TSRC.057

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.057 (*time_of_refresh* == 0), NOT sending refresh msg

長構文: TSRC.057 (*time_of_refresh* == 0), NOT sending refresh message

説明: *time_of_refresh* パラメーターは、ファイルを定期的なリフレッシュしてはならないことを示しています。プリロード・リスト・ファイルはリフレッシュされません。

TSRC.058

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.058 *action_name* refresh msg

長構文: TSRC.058 *action_name* refresh message

説明: スレッドは、RFS クライアント・スレッドにリフレッシュ・メッセージを出して、指定のアクションを実行しています。

TSRC.059

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.059 ERROR: Received UNRECOGNIZED msg (in mq) - Discarding

長構文: TSRC.059 ERROR: Received UNRECOGNIZED message (in message queue) - Discarding

説明: RFS クライアントは、メッセージ待ち行列から認識不能メッセージを受信しました。このメッセージは廃棄され、RFS クライアントは通常どおりに処理を続けます。

TSRC.060

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.060 Unable to *action_name* RFS client (*pr_mq*) mq rc= *return_code* errno= *error_number*

長構文: TSRC.060 Unable to *action_name* RFS client (*pr_mq*) message queue rc= *return_code* errno= *error_number*

説明: RFS クライアントは、RFS クライアント (*pr_mq*) メッセージ待ち行列上の指定のアクションを実行できませんでした。障害が起こった動作からの戻りコードと障害時のスレッド特定エラー番号が示されています。

TSRC.061

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.061 INFO: Received *message_name* msg (in mq)

長構文: TSRC.061 INFO: Received *message_name* message (in mq)

説明: RFS クライアントは、*pr_mq* メッセージ待ち行列からメッセージを受信したことを報告しています。

TSRC.062

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.062 Either received msg, signal, or timer expired

長構文: TSRC.062 Either received message, signal, or timer expired

説明: RFS クライアントは、メッセージ待ち行列上のメッセージ、信号、またはリフレッシュ・タイマーの満了の結果として、アクションを取る必要があることを検出しました。

TSRC.063

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.063 Exited mq_timedreceive() with: rc= *return_code* errno= *error_number*

長構文: TSRC.063 Exited mq_timedreceive() with: rc= *return_code* errno= *error_number*

説明: RFS は、示されている戻りコードにより、ブロック *mq_timedreceive* ルーチンを終了しました。RFS クラ

イアント・スレッドのエラー番号の現行値も表示されています。

TSRC.064

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.064 Processing msg (received from mq)

長構文: TSRC.064 Processing message (received from message queue)

説明: RFS クライアントは、メッセージ待ち行列から受け取ったメッセージを処理中です。

TSRC.065

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.065 Msg successfully sent to RFS client

長構文: TSRC.065 Message successfully sent to RFS client

説明: スレッドは、RFS クライアントのメッセージ待ち行列に、メッセージを正常に送信しました。

TSRC.066

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.066 RFS client (pr_mq) mq *action_name*

長構文: TSRC.066 RFS client (pr_mq) mq *action_name*

説明: RFS クライアント (pr_mq) メッセージ待ち行列に対して、示されているアクションを実行中です。

TSRC.067

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.067 ERROR: mqtimedreceive() call failed - No msg of desired type rc= *return_code* local_errno= *error_number*

長構文: TSRC.067 ERROR: mqtimedreceive() call failed - No message of desired type rc= *return_code* local_errno= *error_number*

説明: mqtimedreceive コールは、pr_mq メッセージ待ち行列で正しいタイプのメッセージが見付からなかったために失敗しました。

原因: スレッドは、無効なメッセージを RFS クライアント pr_mq メッセージ待ち行列に直接送信しました。

処置: スレッドは、RFS クライアント・インターフェース複数スレッド安全機能コールを使用して、メッセージを RFS クライアントに送る必要があります。

原因: RFS クライアントは、pr_mq メッセージ・バッファのメッセージを調べるために起動されましたが、そ

こにメッセージがありません。

処置: このエラーまでのすべての TSRC ELS メッセージのダンプを保管し、システム管理者にこのエラーを報告してください。

TSRC.068

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.068 ERROR: Msg on pr_mq mq exceeds mq_rcv_msg_buf size

長構文: TSRC.068 ERROR: Message on pr_mq message queue exceeds mq_rcv_msg_buf size

説明: pr_mq メッセージ待ち行列から受信中のメッセージは mq_rcv_msg_buf サイズを超えています。

原因: あるスレッドが RFS クライアント・スレッドにメッセージを送信していますが、それが RFS クライアント・スレッドの受信メッセージ・バッファより大きくなっています。問題のスレッドは、不要情報データを RFS クライアントに送信している可能性があります。

処置: ユーザーの場合: システム管理者に連絡してください。

処置: 開発者の場合: スレッドは必ず RFS クライアント・インターフェース複数スレッド安全機能コールを使用して、RFS クライアントにメッセージを送信する必要があります。メッセージが有効な場合は、スレッドが RFS クライアントに送信しているデータの量を減らすか、RFS クライアントが着信メッセージを収容できるように受信バッファをサイズを増やす必要があります。

TSRC.069

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.069 ERROR: *semaphore_name* Sem creat failed rc= *return_code* errno= *error_number*

長構文: TSRC.069 ERROR: *semaphore_name* Semaphore creation failed rc= *return_code* errno= *error_number*

説明: RFS クライアントは、指定のセマフォを作成するのに失敗しました。障害が起きたコールからの戻りコードと障害時のスレッド特定エラー番号が表示されています。

TSRC.070

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.070 Creating sems

長構文: TSRC.070 Creating semaphores

説明: RFS クライアントはセマフォを作成中です。

TSRC.071

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.071 ERROR: Bad disk_io_parms.Status returned to WriteFileRequestCallbackFunc() by DiskTask; Status= *disk_io_parms_status*, Errno= *disk_io_parms_errno*

長構文: TSRC.071 ERROR: Bad disk_io_parms.Status returned to WriteFileRequestCallbackFunc() by DiskTask; Status= *disk_io_parms_status*, Errno= *disk_io_parms_errno*

説明: RFS クライアントは DiskTask から、不正な disk_io_parms 状態を含む disk_io_parms ブロックを受信しました。disk_io_parms 構造からの状態とエラー番号が報告されています。DiskTask (TSDK) ELS メッセージを調べて、エラー状態についての詳しい情報を入手し、適切な処置を取ってください。

TSRC.072

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.072 ERROR: Stopping reading the preload list due to bad disk_io_parms.Status returned from DiskTask: *disk_io_parms_status*

長構文: TSRC.072 ERROR: Stopping reading the preload list due to bad disk_io_parms.Status returned from DiskTask: *disk_io_parms_status*

説明: RFS クライアントは、DiskTask によって不正な disk_io_parms.Status が戻されたために、ループの途中で ReadFileData() を終了しています。不正な状態値が示されています。

原因: DiskTask ReadFileData() インターフェース機能コールが失敗しました。

処置: シン・サーバーをリフレッシュしてください。

処置: 問題が解消されない場合は、DiskTask (TSDK) ELS メッセージを調べて、エラー状態についての詳しい情報を入手し、適切な処置を取ってください。

TSRC.073

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.073 UpdateFileInfo() returned a RC: rc= *return_code*

長構文: TSRC.073 UpdateFileInfo() returned a return code: rc= *return_code*

説明: RFS クライアントは、DiskTask への UpdateFileInfo() インターフェース機能コールで、指定の戻りコードが戻されたことを報告しています。この戻りコードについての詳細は、シン・サーバー DiskTask の資料を参照してください。

TSRC.074

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.074 disk_io_parms.Errno returned by DiskTask = *disk_io_parms_errno*

長構文: TSRC.074 disk_io_parms.Errno returned by DiskTask = *disk_io_parms_errno*

説明: RFS クライアントは、DiskTask によって戻された disk_io_parms.Errno を報告しています。この戻りコードについての詳細は、シン・サーバー DiskTask の資料を参照してください。

TSRC.075

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.075 Exiting ReadFileData() while loop due to ActualLen: *actual_length_value*

長構文: TSRC.075 Exiting ReadFileData() while loop due to ActualLen: *actual_length_value*

説明: RFS クライアントは、ファイル内にそれ以上バイトが残されていなかったために、ループ (ファイルをキャッシュに保管するための) の途中で ActualLen を終了したことを報告しています。ここに指定されている非ゼロの ActualLen 値が、問題の原因です。

原因: 正常な動作時には、このメッセージは value=0 を報告します。非ゼロ値は、問題があることを示しています。

処置: 非ゼロ値が表示されている場合は、すべての TSRC および TSDK エラー ELS メッセージを保管し、システム管理者に問題を報告してください。

TSRC.076

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.076 ERROR: *action_name* file: *pathname*

長構文: TSRC.076 ERROR: *action_name* file: *pathname*

説明: 指定のファイルに関する指定のファイル操作が失敗しました。

TSRC.077

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.077 Attempting to open local file on disk: *pathname*

長構文: TSRC.077 Attempting to open local file on disk: *pathname*

説明: RFS クライアントは、ローカル・ハード・ディスク

ク上の指定のファイルをオープンしようとしています。

TSRC.078

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.078 Local file write() was successful; bytes written: *num_bytes_written*

長構文: TSRC.078 Local file write() was successful; bytes written: *num_bytes_written*

説明: RFS クライアントは、指定されたバイト数をローカル・ハード・ディスクに正常に書き込みました。

TSRC.079

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.079 INFO: Filename: *pathname*

長構文: TSRC.079 INFO: Filename: *pathname*

説明: RFS クライアントは、前の ELS メッセージに関連した特定のファイル名を報告しています。

TSRC.080

レベル: P-TRACE

短構文: TSRC.080 File data to temp buffer read() looks ok; bytes received: *num_bytes_received*, bytes remaining: *num_bytes_remaining*

長構文: TSRC.080 File data to temp buffer read() looks ok; bytes received: *num_bytes_received*, bytes remaining: *num_bytes_remaining*

説明: RFS クライアントは、マスター RFS ファイル・サーバーからファイルをダウンロード中です。このメッセージは、RFS クライアントがソケット・ストリームからシン・サーバー・キャッシュに読み込んだ各パケットを報告します。

TSRC.081

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.081 *counter_config* value *variable_name* = *value*

長構文: TSRC.081 *counter_config* value *variable_name* = *value*

説明: 指定されたカウンター / 構成パラメーターの値が示されています。

TSRC.082

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.082 *counter_config* value *variable_name* = *value_string*

長構文: TSRC.082 *counter_config* value *variable_name* = *value_string*

説明: 指定されたカウンター / 構成パラメーター・ストリングの値が示されています。

TSRC.083

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.083 *function_name*() call failed rc=*return_code*

長構文: TSRC.083 *function_name*() call failed rc=*return_code*

説明: 指定された機能コールが失敗しました。失敗した機能からの戻りコードが示されています。このメッセージは、必ずしもエラーが発生したことを示しているわけではありません。正常な動作時にも、このメッセージは出ます。

原因: RFS クライアントはプリロード・リストの終わりに達し、ファイルの終わりを超えて読み取ろうとしています。

処置: 処置は必要ありません。これは通常に出るメッセージです。

第106章 シン・サーバー RFS サーバー (TSRS)

この章では、シン・サーバー RFS サーバー (TSRS) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

TSRS.001

レベル: C-TRACE

短構文: TSRS.001 Start func *function_name*, sh = *socket_handle*

長構文: TSRS.001 Starting function *function_name*, socket handle = *socket_handle*

説明: このメッセージは、各機能の開始時に生成されます。

TSRS.002

レベル: CI-ERROR

短構文: TSRS.002 *allocating_or_deallocating_ctl_blk_name*. old (*current_number*), new (*new_number*)

長構文: TSRS.002 *allocating_or_deallocating_ctl_blk_name*. old amount(*current_number*), new amount(*new_number*)

説明: このメッセージは、要求を達成するために資源の獲得を試みていること、または現在は必要でない資源を解放中であることを示すのに使用されます。

TSRS.003

レベル: C-TRACE

短構文: TSRS.003 Start func *function_name*

長構文: TSRS.003 Starting function *function_name*

説明: このメッセージは、機能の開始時に生成されます。

TSRS.004

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRS.004 Func *function_name* failed, rc = *return_code*

長構文: TSRS.004 Function *function_name* failed with rc = *return_code*

説明: 機能が予期しない戻りコードを戻しました。

TSRS.005

レベル: P-TRACE

短構文: TSRS.005 Func *function_name* compl, rc = *return_code*

長構文: TSRS.005 Function *function_name* completed. rc = *return_code*

説明: 機能が正常に完了し、指定された値を戻しました。

TSRS.006

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRS.006 Alloc failed for *control_block_name*

長構文: TSRS.006 Allocate failed for *control_block_name*

説明: 指定された制御ブロックを割り振るための十分な記憶域がありませんでした。

原因: クライアントの数をサポートするために利用可能な十分な記憶域がありません。

処置: クライアントの数を減らすか、装置内の記憶域の量を増やすかしてください。

TSRS.007

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRS.007 NS ctl blk not found. corrID = *corr_id*

長構文: TSRS.007 NS control block not found. correlation ID received = *corr_id*

説明: TSF は、接続された各クライアントに関する情報を保守しています。クライアントが要求を出すたびに、TSF はその情報を見付ける必要がありますが、この場合は、その情報が見付かりませんでした。corr_id は、受信したデータ・フレームからのものです。

TSRS.008

レベル: C-INFO

短構文: TSRS.008 Mas file svr *rfs_or_login* port not started

長構文: TSRS.008 Master file server *rfs_or_login* port not started

説明: マスター・ファイル・サーバーへの接続を確立しようとする試みが成功しませんでした。この接続は、シン・サーバーがマスター・ファイル・サーバーと同じバージョンのファイルを持っていることを正しく検証するために必要です。マスター・ファイル・サーバー接続が存在しないときにクライアントの電源をオンにすると、現在シン・サーバーが持っているファイルのバージョンを入手することができます。

原因: 間違ったマスター・ファイル・サーバー IP アドレス。

処置: マスター・ファイル・サーバー・アドレスが正しいことを確認してください。

原因: マスター・ファイル・サーバーへのパスがない。

処置: マスター・ファイル・サーバーとクライアントの間に IP パスが存在することを確認してください。

TSRS.009

レベル: C-INFO

短構文: TSRS.009 Mas file svr *rfs_or_login* port started

長構文: TSRS.009 Master file server *rfs_or_login* port started

説明: マスター・ファイル・サーバーへの接続が正常に確立されました。シン・サーバーは、ファイルがオープンされるたびに、ファイルのバージョンが正しいかどうかを検査します。また、シン・サーバーが特定のファイルを持っていない場合、要求はマスター・ファイル・サーバーにリレーされて、処理されます。

TSRS.010

レベル: P-TRACE

短構文: TSRS.010 Port mapper rply, use port *port_number*

長構文: TSRS.010 Port mapper reply directing client to port *port_number*

説明: クライアントが RFS を使用してシン・サーバーに接続し、シン・サーバーはそのクライアントを RFS またはログイン・アクティビティーのために指定のポートに転送しました。

TSRS.011

レベル: P-TRACE

短構文: TSRS.011 Port mapper req *request_string* is invalid

長構文: TSRS.011 Port mapper request *request_string* is invalid

説明: クライアントは、ポートマッパーに対して無効な要求を行いました。

TSRS.012

レベル: P-TRACE

短構文: TSRS.012 RFS *cmd_or_reply* = *cmd_op_code* (*cmd_name*) rcvd for fh = *file_handle* corrID = *rfs_correlation_id*

長構文: TSRS.012 RFS *cmd_or_reply* = *cmd_op_code* (*cmd_name*) received for file handle = *file_handle* corrID = *rfs_correlation_id*

説明: RFS/400 要求を受信しました。ファイル・ハンドルを使用すると、その要求に対応するファイルを判別することができます。また、相関 ID を使用すると、その要求を出したクライアントを判別することができます。

TSRS.013

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRS.013 Rcvd RFS rply(*reply_op_code*), exp(*cmd_op_code*)

長構文: TSRS.013 Received RFS reply(*reply_op_code*), expected(*cmd_op_code*)

説明: 予期しない応答を受信しました。相関 ID を使用すると、応答と要求を照合することができます。この場合、応答の中の相関 ID によって、これが *cmd_op_code* に対する応答であり、応答は実際に *repl_op_code* であることが分かります。

TSRS.014

レベル: C-TRACE

短構文: TSRS.014 Lookup *cmd_or_reply* (*file_name*) rc(*return_code*) (*client_ip_addr*)

長構文: TSRS.014 Lookup *cmd_or_reply* (*file_name*) rc(*return_code*) (*client_ip_addr*)

説明: ファイル・ルックアップ要求または応答を受信しました。ルックアップ要求には、情報を必要とするファイル名が入っています。ルックアップ応答には、ファイル情報と初期ファイル・ハンドルが入っています。戻りコード BD1 は、ファイルがマスター・ファイル・サーバー上に存在しないことを示します。

TSRS.015

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRS.015 8001 rcvd, rc(*return_code*), sh(*socket_handle*) cmd(*rfs_cmd*), file = *file_name*

長構文: TSRS.015 8001(Return Code) received, rc(*return_code*), socket handle(*socket_handle*) cmd(*rfs_cmd*), file name = *file_name*

説明: マスター・ファイル・サーバーは、クライアントにエラーを戻しました。

TSRS.016

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRS.016 sckt call *socket_function* failed. hndl = *socket_handle*, errno = *errno*

長構文: TSRS.016 socket call *socket_function* failed. handle = *socket_handle*, errno = *errno*

説明: ソケット・コールが失敗しました。ソケット・コールは、失敗した理由に関する情報が入っている指定のエラー番号 (errno) を戻しました。

TSRS.017

レベル: C-TRACE

短構文: TSRS.017 sck call *socket_function_name* successful. hndl = *socket_handle*, rc = *return_code*

長構文: TSRS.017 socket call *socket_function_name* successful. handle = *socket_handle*, rc = *return_code*

説明: ソケット・コールが正常に完了しました。

TSRS.018

レベル: P-TRACE

短構文: TSRS.018 sckt *send_receive* (*from*) sh(*socket_handle*) rc(*return_code*) len(*length*) fh(*file_handle*) corrID(*rfs_correlation_id*)

長構文: TSRS.018 socket *send_receive* (*from*) socket handle(*socket_handle*) rc(*return_code*) len(*length*) fh(*file_handle*) corrID(*rfs_correlation_id*)

説明: フレームが正常に送信/受信されました。

TSRS.019

レベル: P-TRACE

短構文: TSRS.019 sckt snd() *cmd_name* rply. rc = *return_code*

長構文: TSRS.019 socket send() *cmd_name* reply generated by TSF. rc = *return_code*

説明: シン・サーバーはクライアントの要求に対する応答を生成しました。この要求は、マスター・ファイル・サーバーに転送されませんでした。

TSRS.020

レベル: P-TRACE

短構文: TSRS.020 sckt lost. sckt(*socket_handle*) rc(*return_code*) port(*port_number*) listening(*listening_yes_or_no*)

長構文: TSRS.020 socket lost. socket(*socket_handle*) rc(*return_code*) port(*port_number*) listening(*listening_yes_or_no*)

説明: ソケット接続が失われました。これは正常な状態です。接続の開始と終了が連続的に行われています。

TSRS.021

レベル: C-INFO

短構文: TSRS.021 Open (*file_name*) to (*disk_yes_or_no*) by (*client_ip_addr*)

長構文: TSRS.021 Open file(*file_name*) to (*disk_yes_or_no*) by (*client_ip_addr*)

説明: 指定されたクライアントによってファイルがオープンされました。2番目のパラメーターは、シン・サーバーがこのファイルの処理を試みるのか、あるいはマスター・ファイル・サーバーがこのファイルを処理するのを示します。

TSRS.022

レベル: C-TRACE

短構文: TSRS.022 read offset(base= *base_offset*, rel= *relative_offset*), len(*length*)

長構文: TSRS.022 Processing read offset(base= *base_offset*, rel= *relative_offset*), length(*length*)

説明: クライアントは読み取り要求を行いました。

TSRS.023

レベル: C-INFO

短構文: TSRS.023 Conn est to *ip_addr*

長構文: TSRS.023 Connection established to client at ip addr *ip_addr*

説明: クライアントによってシン・サーバー RFS デモンへの接続が行われました。

TSRS.024

レベル: C-INFO

短構文: TSRS.024 Conn lost to *ip_addr*

長構文: TSRS.024 Connection lost to client at ip address *ip_addr*

説明: 指定のクライアントへのすべての TCP 接続が失われました。

原因: ネットワーク・エラー

処置: シン・サーバーとクライアント間のパスが利用可能かどうかを確認してください。

原因: クライアントが電源をオフにしました。

処置: なし。

TSRS.025

レベル: C-TRACE

短構文: TSRS.025 Call ReadFileRequest() buf strt(*buffer_addr*) end(*buffer_addr*)

長構文: TSRS.025 Calling ReadFileRequest() buf start(*buffer_addr*) end(*buffer_addr*)

説明: ローカル・ディスクからファイルを読み取るために、ハード・ディスクを呼び出し中です。

TSRS.026

レベル: C-INFO

短構文: TSRS.026 Close (*file_name*) by (*client_ip_addr*), *num_bytes* bytes served

長構文: TSRS.026 Close file (*file_name*) by (*client_ip_addr*), *num_bytes* bytes served

説明: 指定されたファイルをクローズ中です。 2 番目のパラメーターは、このファイルを使用したクライアントの IP アドレスを示し、3 番目のパラメーターは使用されたバイト数を示しています。

TSRS.027

レベル: P-TRACE

短構文: TSRS.027 Hndl based Lookup Req. hndl(*file_handle*)

長構文: TSRS.027 Handle based Lookup Request. handle(*file_handle*)

説明: クライアントは、指定されたハンドルを使用して、ハンドルに基づくルックアップ要求を出しました (ほとんどのルックアップ要求は、名前に基づいて行われます)。

TSRS.028

レベル: P-TRACE

短構文: TSRS.028 snd() to(*target_device*) *rfs_command* for *file_name* (hndl = *file_handle*)

長構文: TSRS.028 send() to(*target_device*) *rfs_command* for *file_name* (handle = *file_handle*)

説明: 指定された RFS/400 コマンドが、シン・サーバーによって生成されました。

TSRS.029

レベル: C-TRACE

短構文: TSRS.029 *ctl_blk_type* ctl blk destroyed. name = *name_assoc_with_ctl_blk*

長構文: TSRS.029 *ctl_blk_type* control block destroyed. name = *name_assoc_with_ctl_blk*

説明: 指定された制御ブロックを破壊中です。

TSRS.030

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRS.030 Congestion snding, waiting *num_seconds* seconds to retry, errno = *errno*

長構文: TSRS.030 Congestion sending, waiting *num_seconds* seconds to retry, errno = *errno*

説明: RFS サーバーは、データの送信を試みているときに輻輳 (ふくそう) に遭遇しています。輻輳が解消されるまで一時停止します。

TSRS.031

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRS.031 Req Ctl blk not fnd. corrID = *corr_id*

長構文: TSRS.031 Request Control block not found. corrID received = *corr_id*

説明: マスター・ファイル・サーバーから応答を受信した場合、TSF はその応答に対応する要求が処理されたときに保管された情報にアクセスする必要があります。その情報を見付けることができませんでした。 *corr_id* は、データ・フレームで受信した相関 ID の値です。

TSRS.032

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRS.032 File ctl blk not found using *search_type* (*search_parameter*)

長構文: TSRS.032 File control block not found using *search_type* (*search_parameter*)

説明: ファイル制御ブロックを見付けることができませんでした。 *search_type* は、制御ブロックを見付けるのに使用された方法を示し、これは受信したフレームのタイプによって異なります。 *search_parameter* は、検索アルゴ

リズムに入力されるパラメーターです。

TSRS.033

レベル: UI-ERROR

説明: RFS デモンは、受け入れ可能なクライアント接続の数の限界に達しました。最近多数のクライアントがリブートされたのであれば、元の接続がタイムアウトになれば、この状態は解消されるはずです。この状態が続く場合は、クライアントの数が許容最大数を超えていないか検査してください。

第107章 シン・サーバー TFTP および TFTP リレー・サーバー (TSTD)

この章では、シン・サーバー TFTP および TFTP リレー・サーバー (TSTD) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

TSTD.001

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.001 TFTP Relay *message socket value msg value*

長構文: TSTD.001 TFTP Relay *message socket value msg value*

説明: マスター・ホストへの TFTP リレーの情報メッセージ

TSTD.002

レベル: C-INFO

短構文: TSTD.002 Request from client *IP-address* about *file* peer number= *peer-number*

長構文: TSTD.002 Request from client *IP-address* about *file* peer number= *peer-number*

説明: IP アドレスを持つクライアントからファイルに関する要求を受信しました。この要求にはピア番号が割り当てられています。

TSTD.003

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.003 System resource error: *error-code*

長構文: TSTD.003 System resource error: *error-code*

説明: システム資源エラーが発生しました。エラー・コードを記録してください。構成パラメーターを検査してください。

TSTD.004

レベル: C-TRACE

短構文: TSTD.004 Port number assigned to this request *port-number* peer number *peer*

長構文: TSTD.004 Port number assigned to this request *port-number* peer number *peer*

説明: このTFTP 要求に、内部ポート番号とピア番号が割り当てられました。

TSTD.005

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.005 Error sending file to client error code= *error-code*

長構文: TSTD.005 Error sending file to client error code= *error-code*

説明: クライアントへのファイルの送信時のエラー。エラーを検査して、適切な処置を取ってください。

TSTD.006

レベル: U-TRACE

短構文: TSTD.006 Max. number of concurrent requests *count* current number *value*

長構文: TSTD.006 Max. number of concurrent requests *count* current number *value*

説明: NetworkStations から処理される並行 TFTP 要求の最大数と現在の要求の数

TSTD.007

レベル: C-TRACE

短構文: TSTD.007 Number of current TFTP Relay requests = *number*

長構文: TSTD.007 Number of current TFTP Relay requests = *number*

説明: 現在の TFTP リレーの要求の数

TSTD.008

レベル: C-INFO

短構文: TSTD.008 Request relayed to Master Server *Master-Server-IP-address*

長構文: TSTD.008 Request relayed to Master Server *Master-Server-IP-address*

説明: TFTP ファイル要求をクライアントから受信し、マスター・サーバーに中継中です。

TSTD.009

レベル: U-TRACE

短構文: TSTD.009 Packet Request options error *options-error*

長構文: TSTD.009 Packet Request options error *options-error*

説明: クライアントからの TFTP パケット要求オプション・エラー

TSTD.010

レベル: C-INFO

短構文: TSTD.010 File *file* - was(was found in local cache

長構文: TSTD.010 File *file* - was(was found in local cache

説明: 要求されたファイルがローカル・キャッシュ内で見付かりました (見付かりませんでした)。

TSTD.011

レベル: C-INFO

短構文: TSTD.011 File *file* - was(was retrieved from Master server

長構文: TSTD.011 File *file* - was(was retrieved from Master server

説明: 要求されたファイルがマスター・サーバーから取り出されました (取り出されませんでした)。

TSTD.012

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.012 Recoverable network or system resource error *error-code*

長構文: TSTD.012 Recoverable network or system resource error *error-code*

説明: 回復可能なネットワークまたはシステム資源エラーが発生しました。

TSTD.013

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.013 Error *error-number* sending OACK for block size to client *peer-number*

長構文: TSTD.013 Error *error-number* sending OACK for block size to client *peer-number*

説明: クライアントへのブロック・サイズ・ネゴシエーションに対する OACK の送信時のエラー

TSTD.014

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.014 Error *error-number* in ACK to OACK block size from client *peer-number*

長構文: TSTD.014 Error *error-number* in ACK to OACK block size from client *peer-number*

説明: クライアントへのブロック・サイズ・ネゴシエーションに対する ACK の受信時のエラー

TSTD.015

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.015 Error packet received from client *peer-number*

長構文: TSTD.015 Error packet received from client *peer-number*

説明: ブロック・サイズ・ネゴシエーション時に、クライアントからエラー・パケットを受信しました。

TSTD.016

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.016 Error opening file with return code=*value*

長構文: TSTD.016 Error opening file with return code=*value*

説明: 指定の戻りコードを伴う、ファイルのオープン時のエラー

TSTD.017

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.017 Error reading file with return code=*value*

長構文: TSTD.017 Error reading file with return code *value*

説明: 指定の戻りコードを伴う、ファイルの読み取り時のエラー

TSTD.018

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.018 Error sending file to client peer= *peer*, at block= *number*, error= *value*

長構文: TSTD.018 Error sending file to client peer= *peer*, at block= *number*, error= *value*

説明: 指定のエラー値を伴う、ブロック番号のクライア

ントへのファイルの送信時のエラー

TSTD.019

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.019 Error receiving ACK from client peer=*peer*

長構文: TSTD.019 Error receiving ACK from client peer=*peer*

説明: クライアントからの ACK の受信時のエラー

TSTD.020

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.020 Error packet received from client peer=*peer*

長構文: TSTD.020 Error packet received from client peer=*peer*

説明: クライアントからエラー・パケットを受信しました。

TSTD.021

レベル: C-TRACE

短構文: TSTD.021 Request for file complete peer=*peer-number*

長構文: TSTD.021 Request for file complete peer=*peer-number*

説明: 指定のピア番号を持つクライアントに対するファイル完了の要求

TSTD.022

レベル: C-TRACE

短構文: TSTD.022 Wrong block ack.ed resend frame *IP-Address*, block= *number*, last block= *number*

長構文: TSTD.022 Wrong block ack.ed resend frame *IP-Address* block= *number*, last block= *number*

説明: クライアントから間違ったブロックに対する ACK を受信しました。クライアントにフレームを再送しています。

TSTD.023

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.023 Timeout on response from client peer=*peer*

長構文: TSTD.023 Timeout on response from client peer=*peer*

説明: クライアントからの応答時にタイムアウトになりました。

TSTD.024

レベル: U-INFO

短構文: TSTD.024 Maximum TFTP threads exceeded *thread-count*

長構文: TSTD.024 Maximum TFTP threads exceeded *thread-count*

説明: 並行 TFTP 要求の最大数を超過しました。この TFTP 要求は、次に利用可能なスレッドで処理されます。

TSTD.025

レベル: C-TRACE

短構文: TSTD.025 Send frame to client, peer= *peer*, block#= *block*, block size= *block-size*

長構文: TSTD.025 Send frame to client, peer= *peer*, block#= *block*, block size= *block-size*

説明: クライアントにフレームを送信中です。ブロック番号とブロック・サイズが示されています。

TSTD.026

レベル: C-TRACE

短構文: TSTD.026 Resend frame to client *IP-Address*, block#= *block*, last block rec.ed= *last-block-received*

長構文: TSTD.026 Resend frame to client *IP-Address*, block#= *block*, last block rec.ed= *last-block-received*

説明: 指定のブロック番号のクライアントにフレームを再送します。

TSTD.027

レベル: C-TRACE

短構文: TSTD.027 ACK received from peer= *peer*, block rec.ed= *block-number-received*, block expected= *block-number-expected*

長構文: TSTD.027 ACK received from peer= *peer*, block rec.ed= *block-number-received*, block expected= *block-number-expected*

説明: 指定のブロックのクライアントから ACK を受信しました。

TSTD.028

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.028 NAK sent to client, peer= *peer*, error=*error-code*

長構文: TSTD.028 NAK sent to client, peer= *peer*, error=*error-code*

説明: NAK がクライアントに送信されました。

TSTD.029

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.029 Open request failed on Host Server *IP-address*, *error-code*

長構文: TSTD.029 Open request failed on Host Server *IP-address*, *error-code*

説明: ホスト・サーバー上でオープン要求が失敗しました。構成パラメーターおよびホスト・サーバーにアクセスするためのネットワークを検査してください。

TSTD.030

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.030 Read request failed on Host Server *IP-address*, *error-code*

長構文: TSTD.030 Read request failed on Host Server *IP-address*, *error-code*

説明: ホスト・サーバー上で読み取り要求が失敗しました。構成パラメーターおよびホスト・サーバーにアクセスするためのネットワークを検査してください。

第108章 トークンリング・ネットワーク・インターフェース (TKR)

この章では、トークンリング・ネットワーク・インターフェース (TKR) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

TKR.001

レベル: U-INFO

短構文: TKR.001 unexp type frm LLC_control fm source_MAC ssap source_SAP dsap dest_SAP nt network ID

長構文: TKR.001 Unexpected type frame LLC_control from source_MAC, ssap source_SAP, dsap dest_SAP, net network ID

説明: このメッセージは、予期しない 802.2 LLC フレーム・タイプを受信したときに生成されます。タイプは、I (情報転送) または S (監視) です。フレームは、ルーターにアドレス指定されていました。

原因: ホストが、ルーターへの 802.2 タイプ 2 接続を試みています。

TKR.002

レベル: P-TRACE

短構文: TKR.002 unexp type brd frm LLC_control fm source_MAC ssap source_SAP dsap dest_SAP nt network ID

長構文: TKR.002 Unexpected type broadcast frame LLC_control from source_MAC, ssap source_SAP, dsap dest_SAP, net network ID

説明: このメッセージは、予期しない 802.2 LLC フレーム・タイプを受信したときに生成されます。タイプは、I (情報転送) または S (監視) です。フレームは同報通信でした。

原因: ホストが、ルーターへの 802.2 タイプ 2 接続を試みています。

TKR.003

レベル: U-INFO

短構文: TKR.003 unkn SNAP mfr cd number fm source_MAC nt network ID

長構文: TKR.003 Unknown SNAP manufacturer code number from source_MAC net network ID

説明: このメッセージは、SNAP ヘッダーに不明の編成コード (000000 以外の) をもつフレームを受信したときに

生成されます。フレームは、ルーターにアドレス指定されていました。

原因: ホストが、SNAP を使用して、認識不能の固有プロトコルに関するパケットを送信しています。

TKR.004

レベル: P-TRACE

短構文: TKR.004 unkn SNAP mfr code number fm source_MAC nt network ID

長構文: TKR.004 Unknown SNAP manufacturer code number from source_MAC net network ID

説明: このメッセージは、SNAP ヘッダーに不明の編成コード (000000 以外の) をもつフレームを受信したときに生成されます。フレームは同報通信でした。

原因: ホストが、SNAP を使用して、認識不能の固有プロトコルに関するパケットを送信しています。

TKR.005

レベル: U-INFO

短構文: TKR.005 unkn SNAP type type_code fm source_MAC nt network ID

長構文: TKR.005 Unknown SNAP type type_code from source_MAC net network ID

説明: このメッセージは、不明の SNAP タイプ (編成コード 000000 内の) をもつフレームを受信したときに生成されます。フレームは、ルーターにアドレス指定されていました。

原因: ホストが、SNAP を使用して、認識不能のイーサネット・タイプに関するパケットを送信しています。

TKR.006

レベル: P-TRACE

短構文: TKR.006 unkn SNAP type type_code fm source_MAC nt network ID

長構文: TKR.006 Unknown SNAP type type_code from source_MAC net network ID

説明: このメッセージは、不明の SNAP タイプ (編成コード 000000 内の) をもつフレームを受信したときに生成されます。 フレームは同報通信でした。

原因: ホストが、SNAP を使用して、認識不能のイーサネット・タイプに関するパケットを送信しています。

TKR.007

レベル: U-INFO

短構文: TKR.007 unkn SAP *sap_number* fm *source_MAC* nt *network ID*

長構文: TKR.007 Unknown SAP *sap_number* from *source_MAC* net *network ID*

説明: このメッセージは、不明のあて先 SAP をもつパケットを受信したときに生成されます。メッセージは、ルーターにアドレス指定されていました。

原因: ホストが認識不能のプロトコル識別子 (SAP) に関するパケットを送信しています。

TKR.008

レベル: U-INFO

短構文: TKR.008 unkn SAP *sap_number* fm *source_MAC* nt *network ID*

長構文: TKR.008 Unknown SAP *sap_number* from *source_MAC* net *network ID*

説明: このメッセージは、不明のあて先 SAP をもつパケットを受信したときに生成されます。メッセージは同報通信でした。

原因: ホストが認識不能のプロトコル識別子 (SAP) に関するパケットを送信しています。

TKR.009

レベル: U-INFO

短構文: TKR.009 unexp U frm *LLC_control* fm *source_MAC* ssap *source_SAP* dsap *dest_SAP* nt *network ID*

長構文: TKR.009 Unexpected U frame *LLC_control* from *source_MAC*, ssap *source_SAP*, dsap *dest_SAP*, net *network ID*

説明: このメッセージは、予期しない 802.2 LLC U (非番号制) フレーム・タイプを受信したときに生成されます。(UI、XID、および TEST のみがサポートされます。) フレームは、ルーターにアドレス指定されていました。

TKR.010

レベル: P-TRACE

短構文: TKR.010 unexp U frm *LLC_control* fm *source_MAC* ssap *source_SAP* dsap *dest_SAP* nt *network ID*

長構文: TKR.010 Unexpected U frame *LLC_control* from *source_MAC*, ssap *source_SAP*, dsap *dest_SAP*, net *network ID*

説明: このメッセージは、予期しない 802.2 LLC U (非番号制) フレーム・タイプを受信したときに生成されます。(UI、XID、および TEST のみがサポートされます。) フレームは同報通信でした。

TKR.014

レベル: UI-ERROR

短構文: TKR.014 *selftest_phase* fld *error_condition* nt *network*

長構文: TKR.014 *selftest_phase* failed: *error_condition*, *network network*

説明: 802.5 トークンリング・カードに関する自己検査で、自己検査中のエラーが報告されました。 フェーズは、"Initial test"、"Board reset"、"Configuration"、"Open"、"Open: Lobe media test"、"Open: Physical insertion"、"Open: Address verification"、"Open: Roll call poll"、"Open: Request parameters"、"Packet output"、および "Packet receive" です。 IBM トークンリング自己検査障害については、メッセージ TKR-45 を参照してください。

原因: "Initial test" フェーズでは、エラーは "Buffer unavail" です。これは、ルーターに重大なパケット・バッファ不足があることを示しています。

処置: 記憶域のサイズを大きくするか、ルーティング・テーブルのサイズを小さくするかしてください。

原因: "Board reset" フェーズでは、エラーは次のいずれか 1 つである可能性があります。 "Initial test error"、"Adaptor ROM CRC error"、"Adaptor RAM error"、"Instruction Test error"、"Context/Interrupt Test error"、"Protocol Handler Hardware Err"、または "System Interface Register Err"。これらはいずれも、アダプター・チップ・セット内部の問題を示しています。

処置: インターフェースのハードウェア障害とされます。 交換してください。

原因: "Configuration" フェーズでは、エラーは次のいずれか 1 つである可能性があります。 "Invalid init block"、"Invalid options"、"Invalid receive burst"、"Invalid transmit burst"、"Invalid DMA abort threshold"、"Invalid SCB"、"Invalid SSB"、"DIO Parity"、"DMA timeout"、

"DMA parity"、"DMA bus error"、"DMA data error"、または "Adaptor check"。これらは、チップ・セット内部のハードウェアに問題があるか、ソフトウェアに問題がある可能性があることを示しています。

処置: インターフェースのハードウェア障害と思われる。交換してください。

原因: "Open" フェーズでは、エラーは次のいずれか 1 つである可能性があります。"Node address error"、"List size error"、"Buffer size error"、"Expansion RAM error"、"Transmit buffer count"、または "Invalid open option"。これらは、チップ・セット内部のハードウェアに問題があるか、ソフトウェアに問題がある可能性を示しています。

処置: インターフェースのハードウェア障害と思われる。交換してください。

原因: "Open: Lobe media test"、"Open: Physical insertion"、"Open: Address verification"、"Open: Participation in ring poll"、および "Open: Request initialization" フェーズでは、エラーは次のいずれか 1 つである可能性があります。"Function failure"、"Signal loss"、"Timeout"、"Ring failure"、"Ring beaconing"、"Duplicate node Address"、"Request initialization"、"Remove received"、または "IMPL force received"。これらは、リングを結合するための MAC アルゴリズムの処理に障害があることを示しています。問題はおそらく、インターフェースではなくリングまたはケーブルにあります。

処置: インターフェースが接続を試みている 802.5 リング内のネットワークに問題がないか調べてください。

原因: "Packet output" フェーズでは、エラーは "Unknown" です。伝送の完了時に、ノードが自分自身に送信した自己検査パケットのアドレス認知ビットがセットされていませんでした。

処置: ネットワークに問題がないか調べてください。ハードウェアに問題があると考えられます。

原因: "Packet input" フェーズでは、エラーは "Unknown" です。ノードがそれ自体に送信した自己検査パケットが、1/2 秒以内に受信されませんでした。

処置: ネットワークに問題がないか調べてください。ハードウェアに問題があると考えられます。

TKR.015

レベル: UI-ERROR

短構文: TKR.015 dwn sts cls nt *network*

長構文: TKR.015 Down, ring status close indication, *network network*

説明: 何らかの重大なエラー条件があったため、インタ

ーフェースはそれ自体をリングから自動的に除去しました。このエラーは、"Lobe wire fault"、"Auto-removal error"、または "Remove received" のいずれか 1 つである可能性があります。インターフェースはリングとの結合を再度試み、アップに戻る場合もあります。

原因: リングまたはインターフェースにハードウェア問題があります。正確な原因はログに記録されませんが、これらのエラーはカウントされ、+interface コマンド内のカウンターに問題が示されているはずです。

処置: インターフェース・カウンターを調べてください。"Lobe wire fault" では、ネットワークに問題があることが示されます。"Auto-removal error" では、インターフェースに内部問題があることが示されます。"Remove received" では、ネットワーク管理ステーションがこのステーションに対して、リングからの離脱を指示したことが示されます。

TKR.016

レベル: UI-ERROR

短構文: TKR.016 dwn adap chk *adapter_check_code* nt *network*

長構文: TKR.016 Down, adapter check *adapter_check_code*, *network network*

説明: アダプター状況チェックのため、インターフェースがダウンしました。インターフェースは自己検査を行わず、自動的にアップに戻りません。*adapter_check_code* に、発生したエラーが示されています。

原因: アダプターが重大な回復不能内部障害を検出しました。

処置: 問題が続く場合は、インターフェースを交換してください。

TKR.017

レベル: UI-ERROR

短構文: TKR.017 pkt sz *configured_size* too big for 4 Mbps, limiting to *maximum_size*, nt *network*

長構文: TKR.017 Packet size *configured_size* too big for 4 Megabit/Second, limiting to *maximum_size*, *network network*

説明: ユーザーが、802.5 ネットワーク用のパケット・サイズを、4 メガビット/秒のネットワーク用として許容されているパケット・サイズより大きく設定しました。8144、11407、および 17800 バイトのサイズがリーガル・サイズなのは、16 メガビット/秒のネットワークの場合だけです。

TKR.019

レベル: UE-ERROR

短構文: TKR.019 runt pkt (*length*) frm *source_address*,
net *network*

長構文: TKR.019 runt packet (*length* bytes) from node
source_address, network *network*

説明: パケットを受信しましたが、短過ぎて MAC ヘッ
ダーおよび LLC ヘッダーが入りません。

原因: 外部エラー

TKR.020

レベル: UE-ERROR

短構文: TKR.020 DN bd ln *actual_length* *claimed_length*
source_MAC_address -> *destination_MAC_address* nt *network*

長構文: TKR.020 DECnet packet received with a bad length
actual *actual_length* claimed *claimed_length* from
source_MAC_address to *destination_MAC_address* network
network

説明: DECnet パケットを受信しましたが、長さフィール
ドが実際のパケット長より長くなっていました。

TKR.021

レベル: P-TRACE

短構文: TKR.021 LOOP rcv *source_MAC_address* ->
destination_MAC_address, nt *network*

長構文: TKR.021 Loopback Protocol frame received from
source_MAC_address to *destination_MAC_address*, network
network

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試
験プロトコル) パケットを受信しました。

TKR.022

レベル: UE-ERROR

短構文: TKR.022 LOOP odd skip *count*,
source_MAC_address -> *destination_MAC_address*, nt *network*

長構文: TKR.022 Loopback Protocol, odd skipCount *count*
from *source_MAC_address* to *destination_MAC_address*,
network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試
験プロトコル) パケット内に、奇数の skipCount が含まれ
ていました。パケットは廃棄されます。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

TKR.023

レベル: UE-ERROR

短構文: TKR.023 LOOP bd skip *count*,
source_MAC_address -> *destination_MAC_address*, nt *network*

長構文: TKR.023 Loopback Protocol, bad skipCount *count*
from *source_MAC_address* to *destination_MAC_address*,
network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試
験プロトコル) パケットに、パケットの終わりより先を指
す skipCount が入っていました。パケットは廃棄されま
す。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

TKR.024

レベル: P-TRACE

短構文: TKR.024 LOOP func *function* not forw,
source_MAC_address -> *destination_MAC_address*, nt *network*

長構文: TKR.024 Loopback Protocol, function *function* not
Forward Data from *source_MAC_address* to
destination_MAC_address, network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試
験プロトコル) パケットに、転送 (2) の機能コードが入っ
ていませんでした。パケットは廃棄されます。

原因: ここは、このパケットの最終あて先なので、機能
コードは応答 (1) でした。

処置: なし。

TKR.025

レベル: UE-ERROR

短構文: TKR.025 LOOP mc fwd dst *forward_MAC_address*,
source_MAC_address -> *destination_MAC_address*, nt *network*

長構文: TKR.025 Loopback Protocol, multicast forward
address forward_MAC_address from *source_MAC_address* to
destination_MAC_address, network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試
験プロトコル) パケットに、マルチキャストの転送アドレ
スが入っています。パケットは廃棄されます。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

TKR.026

レベル: P-TRACE

短構文: TKR.026 LOOP fwd *source_MAC_address* ->
forward_MAC_address, nt *network*

長構文: TKR.026 Loopback Protocol, forwarding from *source_MAC_address* to *forward_MAC_address*, network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットを、指定のネクスト・ホップに転送中です。

TKR.027

レベル: UI-ERROR

短構文: TKR.027 LOOP fwd to *forward_Ethernet_address* dsc, rsn code, nt *network*

長構文: TKR.027 Loopback protocol, forward to *forward_Ethernet_address* discarded, for reason code, network *network*

説明: コードで示された理由により、イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットを、指定のアドレスに転送できませんでした。

TKR.028

レベル: UI-ERROR

短構文: TKR.028 rif table corruption for nt *network*

長構文: TKR.028 rif related functions failed because of rif table corruption on network *network*

説明: RIF テーブルが破壊されています。

TKR.029

レベル: P_TRACE

短構文: TKR.029 rif entry is being removed entry *hardware_address protocol_type* nt *network*

長構文: TKR.029 rif aging function is removing entry *hardware_address protocol_type* network *network*

説明: RIF エントリー経時機能によって、RIF テーブルからエントリーの除去が行われている最中です。

TKR.030

レベル: UI_ERROR

短構文: TKR.030 MAC frm typ *mac_frametype* unex from *hardware_address* nt *network*

長構文: TKR.030 MAC frame type *mac_frametype* unexpected from *hardware_address* network *network*

説明: ハンドラーが、予期しないフレーム・タイプをもつフレームを受信しました。

TKR.031

レベル: P_TRACE

短構文: TKR.031 Main rcd on nt *network*

長構文: TKR.031 Maintenance packet received on net *network*

説明: ハンドラーが保守パケットを受信しました。

TKR.032

レベル: P_TRACE

短構文: TKR.032 test frm *mac_address*, src sap *source_sap*, nt *network*

長構文: TKR.032 test packet from *mac_address*, source sap *source_sap*, net *network*

説明: ハンドラーがテスト・メッセージを受信しました。

TKR.033

レベル: P_TRACE

短構文: TKR.033 xid frm *mac_address*, sap *source_sap*, nt *network*

長構文: TKR.033 xid packet received from *mac_address*, source sap *source_sap*, net *network*

説明: ハンドラーが xid メッセージを受信しました。

TKR.035

レベル: U-TRACE

短構文: TKR.035 new RIF (*RIF*) for *MAC_address* nt *network ID*

長構文: TKR.035 new RIF (*RIF*) for *MAC_address* net *network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、802.5 MAC アドレスから RIF への変換キャッシュに、RIF が追加された場合です。

TKR.036

レベル: ALWAYS

短構文: TKR.036 can't set 2nd grp addr *MAC_address*

長構文: TKR.036 can't set 2nd group address *MAC_address*

説明: トークンリング・ハードウェアがサポートできるグループ・アドレスは 1 つだけです。2 番目のアドレスのインストールが試みられています。

TKR.037

レベル: ALWAYS

短構文: TKR.037 Net *network ID*, Unkn SRT Cmd Completion code - *SRT_Completion*. Being restarted

長構文: TKR.037 Network *network ID*, Has Received an Unknown SRT Command Completion code - *SRT_Completion*. Interface being restarted

説明: トークンリング・ハードウェアが、予期しない SRT 完了コードを戻しました。インターフェースは自己検査に入ります。

TKR.038

レベル: ALWAYS

短構文: TKR.038 Net *network ID*, Cmnd to TKR failed - invld param(s). Being restarted

長構文: TKR.038 Network *network ID*, Command to Token Ring Adapter failed - invalid parameter(s). Interface being restarted

説明: トークンリング・ボードが、渡されたパラメーターのうちの 1 つまたは複数が無効であったことを示す、イリーガル・パラメーター状況コードを戻しました。インターフェースは再初期化されます。

TKR.039

レベル: ALWAYS

短構文: TKR.039 Net *network ID*, Unkn TKR Cmd Completion code - *Completion_Code*. Being restarted

長構文: TKR.039 Network *network ID*, Unknown Command Completion code - *Completion_Code*. Interface being restarted

説明: トークンリング・ボードが予期しない完了コードを戻しました。インターフェースは再初期化されます。

TKR.040

レベル: ALWAYS

短構文: TKR.040 Net *network ID*, Invld Command Command rcvd in *tm_ioctl*. Being restarted

長構文: TKR.040 Network *network ID*, Invalid Command Command received by *tm_ioctl* from handler. Interface being restarted

説明: *tm_ioctl* ルーチンが、装置ハンドラーから無効なコマンドを受信しました。インターフェースは再初期化されます。

TKR.041

レベル: ALWAYS

短構文: TKR.041 Net *network ID*, Invld Interrupt rcvd Interrupt from TKR adapter. Being restarted

長構文: TKR.041 Network *network ID*, Invalid Interrupt Interrupt received from the TKR adapter. Interface being restarted

説明: 割り込みサービス・ルーチンが、アダプター・カードから無効な割り込みを受信しました。インターフェースは再初期化されます。

TKR.043

レベル: UE-ERROR

短構文: TKR.043 drop IPX pkt w/ *encap_seen* encaps - using *encap_used* encaps on int *intnum*

長構文: TKR.043 dropped IPX pkt with encaps *encap_seen* using *encap_used* on interface *intnum*

説明: このメッセージが生成されるのは、カプセル化がこのインターフェースの場合に選択されているもの以外の IPX パケットを受信した場合です。

原因: 単一回線で複数のカプセル化を使用しているネットワークの場合、これは正常です。

処置: 何も必要ありません。

TKR.044

レベル: UE-ERROR

短構文: TKR.044 odd RIF len frm *MAC_address*; pkt drpd nt *network ID*

長構文: TKR.044 odd RIF length from *MAC_address*; packet dropped on net *network ID*

説明: RIF ヘッダー内の長さバイトが奇数でした。これは無効です。パケットは廃棄されました。

TKR.045

レベル: UI-ERROR

短構文: TKR.045 *selftest_phase* fld *error_condition* nt *network*

長構文: TKR.045 *selftest_phase* failed: *error_condition*, *network network*

説明: IBM 802.5 トークンリングに関する自己検査で、自己検査中にエラーが報告されました。このメッセージは、トークンリング・ハードウェアに関する有効で迅速な初歩的診断ツールとして使用できることがしばしばあ

ります。フェーズには、"reset"、"load loader (part 1)"、"load loader (part 2)"、"download microcode"、"check downloaded microcode"、"Configuration"、"Read interesting pointers"、"open: lobe media test"、"open: physical insertion"、"open: address verification"、"open: participation in ring poll"、"open: request initialization"、"Set bridge params"、"Set STE wanted"、"Packet output"、"Packet receive"、"SRT Config"、"Set func/group address"、および"Unknown Test" があります。

原因: open: lobe media test: function failure.

処置: これは基本的なケーブルの問題です。ケーブルを検査してください。ルーター構成が、正しい媒体ケーブル設定 (すなわち、UTP または STP) になっているか調べてください。

原因: open: physical insertion fld ring beaconing. The Token-Ring is beaconing. これは通常、1 つのステーションで速度の構成に誤りがあることが原因です。

処置: ルーターの構成が、正しい速度設定 (すなわち、4 Mbps または 16 Mbps) になっているか調べてください。リング内のすべてのステーションが、同じ速度に設定されているか検査してください。トークンリングに物理的切断がないかどうか調べてください。

原因: open: address verification fld duplicate node address. このインターフェースの MAC アドレスが、リング上で重複しています。

処置: ルーターの構成が、このインターフェースの正しい MAC アドレスを指定しているか検査してください。リング上の他のステーションについて、重複アドレスがないかどうか検査してください。

原因: "reset"、"load loader (part 1)"、"load loader (part 2)"、"download microcode"、または "check downloaded microcode" フェーズのいずれか。

処置: インターフェースのハードウェア障害とされます。交換してください。

原因: "Configuration" フェーズでは、エラーは次のいずれか 1 つである可能性があります。"initial test error"、"microcode crc error"、"adapter ram error"、"instruction test error"、"context/interrupt test error"、"protocol handler hardware err"、"system interface register err"、"invalid parameter length"、"invalid options"、"invalid receive burst"、"invalid transmit burst"、"invalid dma abort threshold"、"invalid dma test address"、"dio parity"、"dma timeout"、"dma parity"、"dma bus error"、"dma data error"、または "adapter check"。

処置: これらは、アダプターが実行した診断によって検出された障害です。インターフェースのハードウェア障害と思われます。問題が続く場合は、交換してください。

原因: "Open" フェーズでは、エラーは次のいずれか 1 つである可能性があります。"Node address error"、"List size error"、"Buffer size error"、"Expansion RAM error"、"Transmit buffer count error"、または "Invalid open option"。

処置: インターフェースのハードウェア障害とされます。交換してください。

原因: "open: lobe media test"、"open: physical insertion"、"open: address verification"、"open: participation in ring poll"、"open: request initialization" フェーズ。オープン操作が失敗しました。

処置: これらは何度でも修正可能です。一般的な障害は上述の通りです。ケーブルの構成および速度を再度検査してください。ネットワークやケーブルに問題がないか、ハードウェア障害の可能性がないか調べてください。

原因: フェーズ "Set bridge params"、"Set STE wanted"、"SRT Config"、"Set func/group address" は、トークンリングをブリッジング、グループ・アドレス、機能アドレスなどのために設定する場合に関連するフェーズです。

処置: トークンリングはすでにアップし、正常に稼働していることを思えば、ソフトウェア問題である可能性の方が大です。

原因: パケットの出力フィールドが確認不能です。トークンリング・ドライバーはテスト・パケットを送信できませんでした。ルーター内のバッファが使い尽くされているなど、ソフトウェア問題である可能性の方が大です。

処置: 問題が続く場合は、ルーターを再始動してください。

原因: パケットの受信フィールドが確認不能です。トークンリング・ドライバーは、テスト・パケットを送信してリングを一周させ、それを受信することができませんでした。

処置: リング上に異常に大量のトラフィックがないかどうか検査してください。

TKR.046

レベル: C-INFO

短構文: TKR.046 FasTR frm drpd from SRC_address to Dest_address, RIF RIF, nt network

長構文: TKR.046 Fast Token Ring Frame dropped from SRC_address to Dest_address, RIF RIF, net network

説明: RIF を含む高速トークンリング・フレームが廃棄されました。

TKR.047

レベル: C-INFO

短構文: TKR.047 FasTR frm drpd from *SRC_address* to *Dest_address*, nt *network*

長構文: TKR.047 Fast Token Ring frame dropped from *SRC_address* to *Dest_address*, nt *network*

説明: RIF を含まない高速トークンリング・フレームが廃棄されました。

TKR.048

レベル: C-INFO

短構文: TKR.048 FasTR tst frm looped from *SRC_address* to *Dest_address*, nt *network* UP

長構文: TKR.048 Fast Token Ring frame looped from *SRC_address* to *Dest_address*, nt *network*

説明: ネットがアップのときに、高速トークンリング・テスト・フレームがループバックされました。

TKR.049

レベル: C-INFO

短構文: TKR.049 FasTR tst frm looped from *SRC_address* to *Dest_address*, nt *network* not UP

長構文: TKR.049 Fast Token Ring frame looped from *SRC_address* to *Dest_address*, nt *network*

説明: ネットがアップでないときに、高速トークンリング・テスト・フレームがループバックされました。

TKR.050

レベル: C-INFO

短構文: TKR.050 *flash_condition* flash state: *flash_state*, nt *network*

長構文: TKR.050 *flash_condition*, flash state = *flash_state* *network network*

説明: トークンリング・フラッシュ更新プロセスの情報通知。理由は、"3 回の試行後にマイクロコード更新を終了した"、"非 AMD フラッシュ更新はサポートされない"、"フラッシュ更新からの正常な状況"、"フラッシュ更新からのエラー状況"、"フラッシュ更新が進行中" です。

Panic tkrMacTooManyReg

短構文: tkr_regMacAddrUpCall: too many registered

説明: 内部問題

原因: ソフトウェアのバグ

処置: サービス技術員に通知してください。

Panic tkrMacStsTooManyReg

短構文: tkr_regStatusUpCall: too many registered

説明: 内部問題

原因: ソフトウェアのバグ

処置: サービス技術員に通知してください。

Panic tkrMacXmitTooManyReg

短構文: tkr_regXmitpCall: too many registered

説明: 内部問題

原因: ソフトウェアのバグ

処置: サービス技術員に通知してください。

第109章 伝送制御プロトコル (TCP)

この章では、伝送制御プロトコル (TCP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

TCP.001

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.001 pkt cksum fld pkt = *tcp_checksum* calc = *tcp_checksum*

長構文: TCP.001 packet checksum failed received packet checksum is *tcp_checksum* and calculated checksum is *tcp_checksum*

説明: 受信したパケットのチェックサムが、計算されたチェックサムに等しくないために、チェックサムが失敗しました。

TCP.002

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.002 rcvd pkt *source_ip_address* -> *destination_ip_address* dst prt *tcp_port* no cnn

長構文: TCP.002 received packet *source_ip_address* -> *destination_ip_address* with destination port *tcp_port* has no tcp connection

説明: TCP がパケットを受信しましたが、TCP ポート番号が無効です。

TCP.003

レベル: C-INFO

短構文: TCP.003 Act opn sccfl dst prt *tcp_port*

長構文: TCP.003 TCP Active open successful for port number *tcp_port*

説明: 能動オープンが成功し、オープンをアプリケーションに通知しています。

TCP.004

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.004 rcvd invld SYN in wndw *source_ip_address* -> *destination_ip_address* dst prt *tcp_port* kill cnn

長構文: TCP.004 received invalid SYN packet *source_ip_address* -> *destination_ip_address* with destination port *tcp_port*, kill connection

説明: TCP が無効な SYN パケットを受信したので、接続を切断します。

TCP.007

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.007 drp seg *source_ip_address* -> *destination_ip_address* dst prt *tcp_port* rsd *reject_code* snd ACK

長構文: TCP.007 dropped segment *source_ip_address* -> *destination_ip_address* with destination port *tcp_port*, reason *reject_code*, send a valid ACK in response

説明: TCP はセグメントを拒否しました。リジェクト・コードは、以下のとおりです。リジェクト・コード: 1 - Seg len = 0, Rcv win > 0, seqnum < tcb_ack 2 - Seg len = 0, Rcv win = 0, seqnum != tcb_ack 3 - Seg len > 0, Rcv win > 0, winend < tcb_ack 4 - Seg len > 0, Rcv win = 0.5 - Seg len = 0, Rcv win > 0, seqnum >= winend 6 - Seg len > 0, Rcv win > 0, seqnum >= winend 注: ACK を行なうのは、受信したセグメントが RST セグメント以外の場合だけです。

TCP.008

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.008 rcvd old seg dst prt *tcp_port* seq num *seq_num* snd ACK

長構文: TCP.008 received old duplicate packet with destination port *tcp_port*, sequence number *seq_num*, send ACK in response

説明: TCP はすでにアプリケーションによって使用された古いセグメントを受信したので、応答で ACK を送信します。

TCP.009

レベル: C-INFO

短構文: TCP.009 state LISTEN: rcvd RST dst prt *tcp_port* seq num *seq_num*

長構文: TCP.009 while in LISTEN state, received RST with destination port *tcp_port*, sequence number *seq_num*; drop segment

説明: TCP は、LISTEN 状態のときに RST を受信しました。単にパケットを無視します。

TCP.010

レベル: C-INFO

短構文: TCP.010 state SYN_RCVD: RST|TIMEOUT rtn to LISTEN port *tcp_port*

長構文: TCP.010 while in SYN_RECEIVED states, received RST or TIMEOUT with local port *tcp_port*. Return to LISTEN state

説明: 通信中のパートナーから RESET を受信したためか、SYN|ACK を戻した後で TIMEOUT したため、TCP 受動接続の試みが失敗しました。

TCP.011

レベル: C-INFO

短構文: TCP.011 rcvd RST dst prt *tcp_port* seq num *seq_num*, abort

長構文: TCP.011 received RST with destination port *tcp_port*, sequence number *seq_num*; drop segment and abort connection

説明: TCP は RST を受信しました。接続を打ち切ります。

TCP.012

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.012 drop seg dst prt *tcp_port* seq num *seq_num* no ACK present

長構文: TCP.012 drop segment with destination port *tcp_port*, sequence number *seq_num* because no ACK is present

説明: TCP は、パケット内に確認がなかったので、パケットの処理を停止しました。

TCP.013

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.013 drop seg dst prt *tcp_port* seq num *seq_num* ack num *ack_num* rcv invld ACK

長構文: TCP.013 drop segment with destination port *tcp_port*, sequence number *seq_num*, acknowledge number *ack_num*, received invalid ACK

説明: まだ送信していないデータに対する確認応答が入っているので、セグメントの処理を停止します。

TCP.014

レベル: C-INFO

短構文: TCP.014 state ESTAB: rcvd FIN dst prt *tcp_port* seq num *seq_num*

長構文: TCP.014 while in ESTABLISHED state, received FIN with destination port *tcp_port*, sequence number *seq_num*

説明: TCP は、ESTABLISHED 状態にあるときに FIN を受信しました。すべてのデータを受信した時点で、FIN|ACK を送信します。

TCP.015

レベル: C-INFO

短構文: TCP.015 rcvd PSB dst prt *tcp_port* seq num *seq_num*

長構文: TCP.015 received a segment with the PSB bit set with destination port *tcp_port*, sequence number *seq_num*

説明: TCP は、PSB ビットがセットされているセグメントを受信しました。

TCP.016

レベル: C-INFO

短構文: TCP.016 state SYNRCVD: rcvd vld seg dst prt *tcp_port* seq num *seq_num*, enter ESTAB

長構文: TCP.016 while in SYNRCVD state, received valid segment with destination port *tcp_port*, sequence number *seq_num*, so enter ESTABLISHED state

説明: TCP は、SYNRCVD 状態にあるときに、有効なセグメントを受信しました。ESTABLISHED 状態に入り、アプリケーションにオープンについて通知します。

TCP.017

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.017 rcvd FIN while in LISTEN dst prt *tcp_port* seq num *seq_num*, snd RST

長構文: TCP.017 received FIN segment while in the LISTEN state, destination port *tcp_port*, sequence number *seq_num*, snd RST

説明: TCP が LISTEN 状態にあるときに FIN を受信したので、相手側に RST を送信します。

TCP.024

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.024 prcss FIN in invld state

長構文: TCP.024 process a received FIN; current state is not SYNRCVD|ESTAB, so do nothing

説明: TCP が FIN を処理していますが、SYNRCVD|ESTAB 状態ではありません。

TCP.025

レベル: C-INFO

短構文: TCP.025 prcss FIN in ESTAB|SYNRCVD state frgn hst *ip_address* lcl hst *ip_address* dprt *dst_port* sprt *src_port*

長構文: TCP.025 process a received FIN; current state is SYNRCVD|ESTAB, foreign host *ip_address* local host *ip_address* destination port *dst_port* source port *src_port*

説明: TCP が FIN を処理していますが、SYNRCVD|ESTAB 状態ではありません。

TCP.026

レベル: C-INFO

短構文: TCP.026 app rcv tmout

長構文: TCP.026 application posted receive timeout has fired

説明: アプリケーションは、タイムアウト値を指定した読み取りを通知しています。要求したすべてのデータをタイムアウト期間内に受信しなかった場合、タイマーは満了し、受信バッファの内容がすべてアプリケーションに渡されます。

TCP.027

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.027 frgn prt illgl close of wndw frgn hst *ip_address* lcl hst *ip_address* dprt *dst_port* sprt *src_port*

長構文: TCP.027 foreign port closed the advertised window illegally foreign host *ip_address* local host *ip_address* destination port *dst_port* source port *src_port*

説明: 相手側は音信不通で、外部ウィンドウが不正にクローズされたようです。RST を送信します。

TCP.028

レベル: C-INFO

短構文: TCP.028 state trnstn to SYNRCVD

長構文: TCP.028 state of TCP connection transitioned to SYN-RECEIVED state

説明: 能動オープンまたは受動オープンの結果として、接続の状態が SYN-RECEIVED 状態に変更されました。

TCP.029

レベル: C-INFO

短構文: TCP.029 state trnstn to ESTAB

長構文: TCP.029 state of TCP connection transitioned to ESTABLISHED state

説明: 活動オープンまたは受動オープンの結果として、接続の状態が ESTABLISHED 状態に変更されました。

TCP.030

レベル: P-TRACE

短構文: TCP.030 rcvd TCP pkt *source_ip_address* -> *destination_ip_address* dst prt *tcp_port*

長構文: TCP.030 received packet *source_ip_address* -> *destination_ip_address* with destination port *tcp_port*

説明: TCP はパケットを受信しました。

TCP.031

レベル: P-TRACE

短構文: TCP.031 seq num *seq_num* to *seq_num* given to app.

長構文: TCP.031 data with sequence number *seq_num* through to *seq_num* given to application

説明: 受信バッファ内の有効なデータが、さらに処理するためにアプリケーションに渡されました。

TCP.032

レベル: C-INFO

短構文: TCP.032 excssv num rtries

長構文: TCP.032 excessive number of retries has occurred

説明: フレームを再送した回数が多過ぎます。アプリケーションがすでに接続をクローズしている場合は、単に打ち切ります。そうでない場合は、問題があることをアプリケーションに通知します。

TCP.033

レベル: P-TRACE

短構文: TCP.033 snd ctrl seg seq num *seq_num* ack num *ack_num* wndw *window*

長構文: TCP.033 send control segment with sequence number *seq_num* and acknowledge number *ack_num* window *window*

説明: セグメントに確認応答するため、あるいは FIN または RST などの特殊制御セグメントを送信するために、制御セグメントを送信します。

TCP.034

レベル: C-INFO

短構文: TCP.034 rxmt seq num *seq_num* to *seq_num*

長構文: TCP.034 retransmit data with sequence number *seq_num* through to *seq_num*

説明: 転送したデータに対する有効な ACK を受信しなかったので、データを再送します。

TCP.035

レベル: P-TRACE

短構文: TCP.035 xmt seq num *seq_num* to *seq_num*

長構文: TCP.035 transmit data with sequence number *seq_num* through to *seq_num*

説明: データを送信します。

TCP.036

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.036 unspt optn(*kind*) rcvd in SYN seg

長構文: TCP.036 unsupported option(*kind*) received in SYN segment

説明: SYN パケットのオプション・フィールドに、サポートされないオプションが入っています。

TCP.038

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.038 rjct seg dst prt *tcp_port* seq num *seq_num* bad ACK in SYNRCVD, snd RST

長構文: TCP.038 reject segment with destination port *tcp_port* and sequence number *seq_num*, bad ACK in segment while in SYNRCVD state

説明: SYNRCVD 状態のときに正しくない確認応答をもつセグメントを受信したので、セグメントを拒否し、相手側に RST を送信します。正しい確認応答を受信するまでは、ESTABLISHED 状態に進むことができません。

TCP.039

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.039 rcvd ACK seg with dst prt *tcp_port* seq num *seq_num* in LISTEN, snd RST

長構文: TCP.039 received ACK segment with destination port *tcp_port*, sequence number *seq_num* while in the LISTEN state, send RST

説明: TCP が、LISTEN 状態のときに ACK を受信しました。まだデータを何も送信しておらず、確認応答されるものは何もないはずなので、これは無意味です。したがって、RST を送信します。

TCP.040

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.040 TCP snd rst to hst *source_ip_address*

長構文: TCP.040 TCP sending RESET to host *source_ip_address*

説明: TCP は、相手側に RESET セグメントを送信しています。

TCP.041

レベル: C-INFO

短構文: TCP.041 TCP cnn clsd frgn hst *foreign_ip_address* lcl hst *local_ip_address*

長構文: TCP.041 TCP connection closed, foreign host *foreign_ip_address*, local hst *local_ip_address*

説明: TCP 接続がクローズされ、アプリケーションにそのことを通知しています。

TCP.042

レベル: C-INFO

短構文: TCP.042 Fmg TCB for frgn hst *foreign_ip_address* lcl hst *local_ip_address*

長構文: TCP.042 Freeing TCB block for connection between *foreign_ip_address* and *local_ip_address*

説明: クローズされた TCP 接続に関連した TCB ブロックを解放しています。

TCP.044

レベル: C-INFO

短構文: TCP.044 Idle tmr fires frgn hst *foreign_ip_address* lcl hst *local_ip_address*

長構文: TCP.044 Idle timer fires for connection between

foreign_ip_address and *local_ip_address*

説明: TCP 接続のアイドル・タイマーが満了します。

TCP.045

レベル: C-INFO

短構文: TCP.045 Rxmt tmr fires frgn hst *foreign_ip_address*
lcl hst *local_ip_address*

長構文: TCP.045 Retransmit timer fires for connection
between *foreign_ip_address* and *local_ip_address*

説明: TCP 接続の再送タイマーが満了します。

TCP.046

レベル: C-INFO

短構文: TCP.046 State trnstn frm ESTAB to FINWAIT
source_ip_address -> *destination_ip_address* dst prt
tcp_src_port src prt *tcp_dst_port*

長構文: TCP.046 State transitioned from ESTABLISHED
to FINWAIT *source_ip_address* -> *destination_ip_address* dst
prt *tcp_src_port* src prt *tcp_dst_port*

説明: TCP 接続の状態が ESTABLISHED から FINWAIT
に移行しました。FIN を送信し、現在は FIN-ACK の着
信を待っています。

TCP.047

レベル: C-INFO

短構文: TCP.047 State trnstn to CLOSED *source_ip_address*
-> *destination_ip_address* dst prt *tcp_src_port* src prt
tcp_dst_port

長構文: TCP.047 State transitioned to CLOSED
source_ip_address -> *destination_ip_address* dst prt
tcp_src_port src prt *tcp_dst_port*

説明: TCP 接続の状態が CLOSED に移行しました。

TCP.048

レベル: C-INFO

短構文: TCP.048 Rcvd data after CLOSE issued and zero
wndw, snd RST *source_ip_address* -> *destination_ip_address*
dst prt *tcp_src_port* src prt *tcp_dst_port*

長構文: TCP.048 Received data after CLOSE was issued,
and window is zero, send RESET *source_ip_address* ->
destination_ip_address dst prt *tcp_src_port* src prt *tcp_dst_port*

説明: アプリケーションが CLOSE を要求しているため
に、TCP 接続をクローズしています。ウィンドウがゼロ
に縮小した後で、受信したすべてのパケットを廃棄しま

す。これは、半二重 TCP クローズ手順に基づくもので
す。

TCP.049

レベル: C-INFO

短構文: TCP.049 Rcvd NACK

長構文: TCP.049 Received NACK

説明: 相手側が、データ長がゼロの古い ACK を送信し
ました。これは NACK として扱います。

TCP.050

レベル: C-INFO

短構文: TCP.050 Rcvd ACK for Keep Alive

長構文: TCP.050 Received Acknowledge for the keep alive
packet sent

説明: 相手側が、キープアライブ・パケットを確認しま
した。キープアライブ・パケットは、この TCP 接続で
キープアライブが使用可能にされており、接続がアイドル
状態である場合に送信されます。

TCP.051

レベル: C-INFO

短構文: TCP.051 Lcl wndw zero

長構文: TCP.051 Local window zero

説明: 公示されたローカル・ウィンドウがゼロです。ア
プリケーションによる TCP 受信バッファの処置が遅れ
ています。

TCP.052

レベル: C-INFO

短構文: TCP.052 snd FIN seq *seq_num*, ack *ack_num*

長構文: TCP.052 send FIN sequence number *seq_num*,
acknowledge number *ack_num*

説明: TCP 接続をクローズしており、FIN を送信しまし
た。

TCP.053

レベル: C-INFO

短構文: TCP.053 get buf fld - cannot snd pkt

長構文: TCP.053 get buf failed - cannot send packet

説明: ルーターが IORB を使い尽くしてしまい、getbuf
が失敗したので、パケットを送信できません。

TCP.054

レベル: C-INFO

短構文: TCP.054 xmit buf too large (*requested_amount*), clipped to *clipped_amount*

長構文: TCP.054 transmit buffer too large for listen/open (*requested_amount*), clipped to (*clipped_amount*)

説明: TCP 接続に関して要求された送信バッファ・サイズが大き過ぎて、システムがそれを割り振ることはできません。TCP は、その代わりに、システムで利用できる最大のサイズを選択しました。

TCP.055

レベル: C-INFO

短構文: TCP.055 rcv buf too large (*requested_amount*), clipped to *clipped_amount*

長構文: TCP.055 receive buffer too large for listen/open (*requested_amount*), clipped to (*clipped_amount*)

説明: TCP 接続に関して要求された受信バッファ・サイズが大き過ぎて、システムがそれを割り振ることができません。TCP は、その代わりに、システムで利用できる最大のサイズを選択しました。

TCP.056

レベル: UE-ERROR

短構文: TCP.056 6 Duplicate acks with seqnum *seq_num* ack num *ack_num* wndw *window*

長構文: TCP.056 6 ACKs seen with with sequence number *seq_num* and acknowledge number *ack_num* window *window*

説明: 高速再送が、脱落しているセグメントを送信しました。新しいデータは確認応答を受けていたはずですが、もう一方の側がダウンしているか、輻輳 (ふくそう) している可能性があります。

TCP.057

レベル: UE-ERROR

短構文: TCP.057 New data (*tcp_ack*) ACKed after *tcp_dupack* dups

長構文: TCP.057 Sequence number *tcp_ack* ACKnowledged after processing *tcp_dupack* duplicate ACKs

説明: TCP が、以前に確認応答されていたデータに確認応答している ACK をカウントしています。厳密に重複している ACK が 3 つ以上受信されている場合、明らかに脱落したデータ・セグメントが再送されています。新しいデータが確認応答されると、このメッセージが (厳密

に重複している ACK の合計数とともに) 印刷され、カウンタがクリアされます。

TCP.058

レベル: U-INFO

短構文: TCP.058 Echo *foreign_ip_address*(*foreign_port_number*) -> *local_ip_address*(*local_port_number*)

長構文: TCP.058 Connection to Echo from *foreign_ip_address* port *foreign_port_number* to *local_ip_address* port *local_port_number*

説明: エコーのための接続が確立されました。エコーは、受信したデータを送信側に戻します。

TCP.059

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.059 rcvd pkt *source_ip_address* -> *destination_ip_address* dst prt *tcp_port* no cnn

長構文: TCP.059 received packet *source_ip_address* -> *destination_ip_address* with destination port *tcp_port* has no tcp connection

説明: TCP はパケットを受信しましたが、TCP ポート番号が無効です。

TCP.060

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.060 rcvd invld SYN in wndw *source_ip_address* -> *destination_ip_address* dst prt *tcp_port* kill cnn

長構文: TCP.060 received invalid SYN packet *source_ip_address* -> *destination_ip_address* with destination port *tcp_port*, kill connection

説明: TCP は無効な SYN パケットを受信したので、接続を切断します。

TCP.063

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.063 drp seg *source_ip_address* -> *destination_ip_address* dst prt *tcp_port* rsd reject_code snd ACK

長構文: TCP.063 dropped segment *source_ip_address* -> *destination_ip_address* with destination port *tcp_port*, reason *reject_code*, send a valid ACK in response

説明: TCP はセグメントを拒否しました。リジェクト・コードは、以下のとおりです。リジェクト・コード: 1 -

Seg len = 0, Rcv win > 0, seqnum < tcb_ack 2 - Seg len = 0, Rcv win = 0, seqnum != tcb_ack 3 - Seg len > 0, Rcv win > 0, winend < tcb_ack 4 - Seg len > 0, Rcv win = 0. 5 - Seg len = 0, Rcv win > 0, seqnum >= winend 6 - Seg len > 0, Rcv win > 0, seqnum >= winend 注: ACK を行なうのは、受信したセグメントが RST セグメント以外の場合だけです。

TCP.064

レベル: C-INFO

短構文: TCP.064 prcss FIN in ESTAB|SYNRCVD state frgn hst *ip_address* lcl hst *ip_address* dprt *dst_port* sprt *src_port*

長構文: TCP.064 process a received FIN; current state is SYNRCVD|ESTAB, foreign host *ip_address* local host *ip_address* destination port *dst_port* source port *src_port*

説明: TCP が FIN を処理していますが、SYNRCVD|ESTAB 状態ではありません。

TCP.065

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.065 frgn prt illgl close of wndw frgn hst *ip_address* lcl hst *ip_address* dprt *dst_port* sprt *src_port*

長構文: TCP.065 foreign port closed the advertised window illegally foreign host *ip_address* local host *ip_address* destination port *dst_port* source port *src_port*

説明: 相手側は音信不通で、外部ウィンドウが不正にクローズされたようです。RST を送信します。

TCP.066

レベル: P-TRACE

短構文: TCP.066 rcvd TCP pkt *source_ip_address* -> *destination_ip_address* dst prt *tcp_port*

長構文: TCP.066 received packet *source_ip_address* -> *destination_ip_address* with destination port *tcp_port*

説明: TCP はパケットを受信しました。

TCP.067

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.067 TCP snd rst to hst *source_ip_address*

長構文: TCP.067 TCP sending RESET to host *source_ip_address*

説明: TCP は相手側に RESET セグメントを送信しています。

TCP.068

レベル: C-INFO

短構文: TCP.068 TCP cnn clsd frgn hst *foreign_ip_address* lcl hst *local_ip_address*

長構文: TCP.068 TCP connection closed, foreign host *foreign_ip_address*, local hst *local_ip_address*

説明: TCP 接続がクローズされ、アプリケーションにそのことを通知しています。

TCP.069

レベル: C-INFO

短構文: TCP.069 Fmg TCB for frgn hst *foreign_ip_address* lcl hst *local_ip_address*

長構文: TCP.069 Freeing TCB block for connection between *foreign_ip_address* and *local_ip_address*

説明: クローズされた TCP 接続に対応する TCB ブロックを解放しています。

TCP.071

レベル: C-INFO

短構文: TCP.071 Rxmt tmr fires frgn hst *foreign_ip_address* lcl hst *local_ip_address*

長構文: TCP.071 Retransmit timer fires for connection between *foreign_ip_address* and *local_ip_address*

説明: TCP 接続の再送タイマーが満了します。

TCP.072

レベル: C-INFO

短構文: TCP.072 State trnstn frm ESTAB to FINWAIT *source_ip_address* -> *destination_ip_address* dst prt *tcp_src_port* src prt *tcp_dst_port*

長構文: TCP.072 State transitioned from ESTABLISHED to FINWAIT *source_ip_address* -> *destination_ip_address* dst prt *tcp_src_port* src prt *tcp_dst_port*

説明: TCP 接続の状態が ESTABLISHED から FINWAIT に移行しました。FIN を送信し、現在は FIN-ACK の着信を待っています。

TCP.073

レベル: C-INFO

短構文: TCP.073 State trnstn to CLOSED *source_ip_address* -> *destination_ip_address* dst prt *tcp_src_port* src prt *tcp_dst_port*

長構文: TCP.073 State transitioned to CLOSED
source_ip_address -> destination_ip_address dst prt
tcp_src_port src prt *tcp_dst_port*

説明: TCP 接続の状態が CLOSED に移行しました。

TCP.074

レベル: C-INFO

短構文: TCP.074 Rcvd data after CLOSE issued and zero
wndw, snd RST *source_ip_address -> destination_ip_address*
dst prt *tcp_src_port* src prt *tcp_dst_port*

長構文: TCP.074 Received data after CLOSE was issued,
and window is zero, send RESET *source_ip_address ->*
destination_ip_address dst prt *tcp_src_port* src prt *tcp_dst_port*

説明: アプリケーションが CLOSE を要求しているため
に、TCP 接続をクローズしています。ウィンドウがゼロ
に縮小した後で、受信したすべてのパケットを廃棄しま
す。これは、半二重 TCP クローズ手順に基づくもので
す。

TCP.075

レベル: C-INFO

短構文: TCP.075 PMTU chg, fhost *destination_ip_address*,
PMTU *pmtu*, old MSS *old_mss* new MSS *new_mss*

長構文: TCP.075 Path MTU changed to foreign host
destination_ip_address, PMTU = *pmtu*, old MSS = *old_mss*
new MSS = *new_mss*

説明: ローカル・ホストが送信した TCP セグメントが、
この外部ホストへのパス内のリンクの 1 つにとって大き
過ぎることを示す Packet Too Big ICMP を受信しまし
た。

TCP.076

レベル: C-INFO

短構文: TCP.076 PMTU chg, rxmt *source_ip_address ->*
destination_ip_address, dst prt *tcp_src_port* src prt
tcp_dst_port

長構文: TCP.076 PMTU change, retransmit
source_ip_address -> destination_ip_address, dst prt
tcp_src_port src prt *tcp_dst_port*

説明: Packet Too Big ICMP によって指摘されて廃棄さ
れたセグメントを再送します。

TCP.077

レベル: C-INFO

短構文: TCP.077 xmt *source_ip_address ->*
destination_ip_address, dst prt *tcp_src_port* src prt
tcp_dst_port

長構文: TCP.077 transmit data *source_ip_address ->*
destination_ip_address, dst prt *tcp_src_port* src prt
tcp_dst_port

説明: データをリンク・ローカル・アドレスに送信しま
す。

TCP.078

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.078 xmt failed *source_ip_address ->*
destination_ip_address, dst prt *tcp_src_port* src prt
tcp_dst_port

長構文: TCP.078 transmit failed *source_ip_address ->*
destination_ip_address, dst prt *tcp_src_port* src prt
tcp_dst_port

説明: リンク・ローカル・アドレスへの送信が失敗しま
した。

TCP.079

レベル: U-INFO

短構文: TCP.079 Echo *foreign_ip_address(*
foreign_port_number) -> local_ip_address(*local_port_number)*

長構文: TCP.079 Connection to Echo from
foreign_ip_address port *foreign_port_number* to
local_ip_address port *local_port_number*

説明: エコーのための接続が確立されました。エコー
は、受信したデータを送信側に戻します。

TCP.080

レベル: UE-ERROR

短構文: TCP.080 Persistent Listen *local_ip_address(*
local_port_number) denied. *total_current_open* sockets open

長構文: TCP.080 SYN pkt has been received for
local_ip_address(*local_port_number)*. *total_current_open* bytes
are in SYNRCVD state

説明: %I(%d) への接続が試行されています。TCP は
LISTEN を複製する必要がありますが、接続の限界に達し
てしまいました。クライアントが使用するルーターの資
源が不十分であることを示している可能性があります。
あるいはサービス要求が拒否されたために SYN パケット

があふれていることを示している可能性もあります。

TCP.081

レベル: UE-ERROR

短構文: TCP.081 Persistent Listen *local_ip_address* (*local_port_number*) replaced

長構文: TCP.081 A connection (*local_ip_address* (*local_port_number*)) has completed. A LISTEN was replaced

説明: この LISTEN で置き換えるための前回の試行は、既存の持続 LISTEN が多過ぎるために拒否されました。そのサーバーの接続が確立され、LISTEN を置き換えるための十分な記憶域が得られました。

TCP.082

レベル: C-INFO

短構文: TCP.082 rcvd pkt *source_ip_address* -> *destination_ip_address* dst prt *tcp_port* sending to OS

長構文: TCP.082 received packet *source_ip_address* -> *destination_ip_address* with destination port *tcp_port*. Router passing packet to OS

説明: TCP は、受信したパケットを OS に渡しています。オペレーティング・システムはこの接続を持っている可能性があります。そうでない場合、オペレーティング・システムはリセットを戻すはずです。

TCP.083

レベル: C-INFO

短構文: TCP.083 TCP cnn request *source_ip_address* -> *destination_ip_address*(*tcp_port*) refused. Router is at cnn max(*tcp_max_cnn*)

長構文: TCP.083 received packet *source_ip_address* -> *destination_ip_address*(dst port *tcp_port*). Router supports max of *tcp_max_cnn* concurrent connections

説明: TCP は接続要求を受け取りましたが、ルーターはすでにサポートできる最大数の TCP 接続を持っています。この制限は、他のルーター・コンポーネントが記憶域を使い尽くしてしまうのを防止します。

TCP.084

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.084 TCP retransmitting *data_size* bytes *local_host*(*local_port*) -> *foreign_host*(*foreign_port*) with no buffer.

長構文: TCP.084 TCP retransmitting *data_size* bytes

local_host(*local_port*) -> *foreign_host*(*foreign_port*) with no buffer.

説明: アプリケーションがクローズを呼び出したときに、TCP はアイドル・モードでした。転送バッファはありませんので、フレーム内に何らかの制御ビットを設定するだけで済みます。

TCP.085

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.085 TCP reset connection *local_host* (*local_port*) -> *foreign_host*(*foreign_port*). No xbuf for *data_size* data bytes

長構文: TCP.085 TCP reset connection *local_host* (*local_port*) -> *foreign_host*(*foreign_port*). No xbuf for *data_size* data bytes

説明: 転送バッファはないので、複数のバイトを再送する必要があります。これがどのようにして起きるかは、明らかではありません。これが起きたら、IBM サービス技術員に報告してください。

TCP.086

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.086 New cnn *foreign_ip_addr* (*foreign_ip_port*)-> *local_ip_addr*(*local_ip_port*) has no master socket

長構文: TCP.086 New TCP handshake has completed from *foreign_ip_addr*(*foreign_ip_port*) to *local_ip_addr* (*local_ip_port*), but the master socket is no longer available

説明: この TCB が指すマスター・ソケットは、listen() になっていません。したがって、マスター・ソケットがクローズされたか、アプリケーションが無効なソケットを使用中かの、いずれかです。

第110章 トリビアル・ファイル転送プロトコル (TFTP)

この章では、トリビアル・ファイル転送プロトコル (TFTP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

TFTP.001

レベル: UI-ERROR

短構文: TFTP.001 xfer max exceeded

長構文: TFTP.001 simultaneous transfer maximum exceeded

説明: 同時 TFTP 転送の最大数がサポートされています。要求 (ローカルとリモートのどちらか) が行われたときは、この最大数の TFTP 転送がすでに進行中でした。

TFTP.002

レベル: UI-ERROR

短構文: TFTP.002 unknown rqst opcode: *opcode*

長構文: TFTP.002 unknown TFTP request opcode: *opcode*

説明: 確認不能の TFTP 要求命令コードを受信しました。

TFTP.003

レベル: UI-ERROR

短構文: TFTP.003 accs viol fn: *filename_requested*

長構文: TFTP.003 access violation filename: *filename_requested*

説明: TFTP アクセス制御違反のために、TFTP ファイル転送要求 (ローカルまたはリモート) が失敗しました。

TFTP.004

レベル: UI-ERROR

短構文: TFTP.004 no UDP port avail

長構文: TFTP.004 no UDP port available

説明: UDP ポートが利用不能であったので、TFTP ファイル転送要求 (ローカルまたはリモート) が失敗しました。

TFTP.005

レベル: UI-ERROR

短構文: TFTP.005 no bfr avail

長構文: TFTP.005 no buffer available

説明: バッファの不足のために、TFTP 要求が失敗しました。

TFTP.006

レベル: CI-ERROR

短構文: TFTP.006 2nd srvr regd

長構文: TFTP.006 second TFTP server registered

説明: 一度に動作可能にできる TFTP サーバーは 1 つだけです。2 番目のサーバーはソフトウェアによって登録され、直前のサーバーは停止されています。

TFTP.007

レベル: UE-ERROR

短構文: TFTP.007 unexp data pkt rcv

長構文: TFTP.007 unexpected TFTP data packet received

説明: 非活動状態の接続で、TFTP パケットを受信しました。

TFTP.008

レベル: UE-ERROR

短構文: TFTP.008 unexp xfer term: *reason_code*, tid *transfer_id*

長構文: TFTP.008 TFTP transfer unexpected termination: *reason_code*, transfer id *transfer_id*

説明: TFTP 転送が早期に終了しました。理由コードが用意されています。

TFTP.009

レベル: C-INFO

短構文: TFTP.009 normal xfer cmplt, tid *transfer_id*

長構文: TFTP.009 TFTP transfer completed normally, transfer id *transfer_id*

説明: TFTP 転送が正常に完了しました。

TFTP.010

レベル: CE-ERROR

短構文: TFTP.010 sorc appren avrtd, blk *block* exp *expected_block* tid *transfer_id*

長構文: TFTP.010 sorcerer's apprentice bug avoided, block *block* expected *expected_block* transfer id *transfer_id*

説明: 魔法使いの弟子と呼ばれるバグに対する修正では、シーケンス誤り TFTP ACK に対する応答として、古い TFTP データ・パケットの再送を行わないようにします。これが行われてしまったばかりです。受信した ACK と予期した ACK のブロック番号が表示されます。

TFTP.011

レベル: UE-ERROR

短構文: TFTP.011 xfer timeout, tid *transfer_id*

長構文: TFTP.011 TFTP transfer network timeout, transfer id *transfer_id*

説明: ネットワークでのタイムアウトのために、TFTP 転送が失敗しました。

TFTP.012

レベル: U-INFO

短構文: TFTP.012 ack pkt retrns, blk *block* tid *transfer_id*

長構文: TFTP.012 TFTP ack packet retransmission, block number *block* transfer id *transfer_id*

説明: 受信したシーケンス誤りデータ・パケットに対する応答として、TFTP ACK パケットが再送されました。

TFTP.013

レベル: U-INFO

短構文: TFTP.013 data pkt retrns, blk *block* tid *transfer_id*

長構文: TFTP.013 TFTP data packet retransmission, block number *block* transfer id *transfer_id*

説明: タイマーの満了時に、TFTP パケットが再送されました。

TFTP.014

レベル: C-INFO

短構文: TFTP.014 rmt *type* req acpctd, tid *transfer_id*

長構文: TFTP.014 remote TFTP *type* request accepted, transfer id *transfer_id*

説明: リモート TFTP 転送要求が受け入れられました。

TFTP.015

レベル: C-INFO

短構文: TFTP.015 data pkt sent, blk *block* tid *transfer_id*

長構文: TFTP.015 data packet sent, block number *block* transfer id *transfer_id*

説明: TFTP データ・パケットが送信されました。

TFTP.016

レベル: C-INFO

短構文: TFTP.016 ack pkt sent, blk *block* tid *transfer_id*

長構文: TFTP.016 ack packet sent, block number *block* transfer id *transfer_id*

説明: TFTP ACK パケットが送信されました。

TFTP.017

レベル: U-INFO

短構文: TFTP.017 req pkt retrns, tid *transfer_id*

長構文: TFTP.017 request packet retransmitted, transfer id *transfer_id*

説明: TFTP 要求パケットが再送されました。

TFTP.018

レベル: UE-ERROR

短構文: TFTP.018 remt req rej'd: *reason optional_details*

長構文: TFTP.018 remote request rejected: *reason optional_details*

説明: 示されている理由により、リモート TFTP 要求が拒否されました。任意選択の 2 番目のパラメーターが、さらに詳しい情報を提供します。

TFTP.019

レベル: C-INFO

短構文: TFTP.019 *type* req sent, tid *transfer_id*

長構文: TFTP.019 locally originated *type* request sent, transfer id *transfer_id*

説明: ローカル発信 TFTP 要求が送信されました。

TFTP.020

レベル: C-INFO

短構文: TFTP.020 xfer abrted by usr

長構文: TFTP.020 locally originated TFTP transfer aborted at the console

説明: ローカル発信 TFTP 転送がコンソールで放棄されました。

TFTP.021

レベル: C-INFO

短構文: TFTP.021 ack pkt rcvd blk *block* tid *trans_id*

長構文: TFTP.021 ack packet received, block *block* transfer id *trans_id*

説明: TFTP ACK パケットが受信されました。

TFTP.022

レベル: C-INFO

短構文: TFTP.022 data pkt rcvd blk *block* tid *trans_id*

長構文: TFTP.022 data packet received, block *block* transfer id *trans_id*

説明: TFTP データ・パケットが受信されました。

TFTP.023

レベル: C-INFO

短構文: TFTP.023 unexp err pkt rcvd code *errcode* colon_and_openquote *errmsg* closequote

長構文: TFTP.023 unexpected error packet received, code *errcode* colon_and_openquote *errmsg* closequote

説明: 予期しない TFTP エラー・パケットが受信されました。

TFTP.024

レベル: UE-ERROR

短構文: TFTP.024 lcl dev err *errmsg*

長構文: TFTP.024 local device error, *errmsg*

説明: ローカル装置の 1 つへのアクセスでのエラー。Errmsg に、実際の装置およびエラーのタイプが記述されています。

TFTP.025

レベル: ALWAYS

短構文: TFTP.025 Starting tftp of file *configFile* from *serverIpAddr*

長構文: TFTP.025 Starting tftp of file *configFile* from *serverIpAddr*

説明: EasyStart が、指定されたホストから指定されたファイルをダウンロードしようとしています。

TFTP.026

レベル: ALWAYS

短構文: TFTP.026 Open failed.

長構文: TFTP.026 Open failed.

説明: オープンが失敗しました。

TFTP.027

レベル: ALWAYS

短構文: TFTP.027 Transfer completed successfully. Writing to NVRAM.

長構文: TFTP.027 Transfer completed successfully. Writing to NVRAM.

説明: 転送が正しく完了しました。NVRAM に書き込む中です。

TFTP.028

レベル: ALWAYS

短構文: TFTP.028 Writing to NVRAM completed.

長構文: TFTP.028 Writing to NVRAM completed.

説明: NVRAM への書き込みが完了しました。

TFTP.029

レベル: ALWAYS

短構文: TFTP.029 Transfer stopped due to a failure.

長構文: TFTP.029 Transfer stopped due to a failure.

説明: 転送が、障害があったために停止しました。

TFTP.030

レベル: U-INFO

短構文: TFTP.030 ack blk *block* to duplicate data blk *duplicate*, tid *transfer_id*

長構文: TFTP.030 TFTP ack block *block* sent as response to duplicate block *duplicate* - tid *transfer_id*

説明: 重複データ・パケットに応答して、TFTP ACK パケットが送信されました。

TFTP.031

レベル: UE-ERROR

短構文: TFTP.031 blk wrapped. max rcvd blk *block* tid *trans_id*

長構文: TFTP.031 block wrapped. maximum received block was *block* transfer id *trans_id*

説明: 転送する必要があるファイルが大き過ぎます。このファイルを転送するには、512 バイトが 0xffff または 0x7fff ブロックより多く必要です。リモート・サーバーは、ブロック番号の折り返しを 0 に戻して扱うことはできません。ファイルの残りの部分の転送を続行するために、新しい書き込み要求が開始されます。

TFTP.032

レベル: UI-ERROR

短構文: TFTP.032 no mem avail

長構文: TFTP.032 no memory available

説明: 記憶域の不足のために、TFTP 要求が失敗しました。

TFTP.033

レベル: C-INFO

短構文: TFTP.033 *req* req sent for fn *fn*, tid *transfer_id*

長構文: TFTP.033 *req* request sent for file name *fn*, transfer id *transfer_id*

説明: 指定されたファイルに TFTP 要求が送信されました。

TFTP.034

レベル: UI-ERROR

短構文: TFTP.034 No known path to destination.

長構文: TFTP.034 No known path to destination.

説明: 転送要求のあて先への確認済みのパスがなかったために、転送を開始することができませんでした。

第111章 ユーザー・データグラム・プロトコル (UDP)

この章では、ユーザー・データグラム・プロトコル (UDP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

UDP.003

レベル: UE-ERROR

短構文: UDP.003 dsc pkt frm *source_ip_address* bd len *length*

長構文: UDP.003 Discarded packet from *source_ip_address*, bad length *length*

説明: このメッセージは、UDP の長さが IP の長さを超えているためにパケットが廃棄された場合に生成されます。

UDP.004

レベル: UE-ERROR

短構文: UDP.004 bd cksm clc *checksum* rcv *checksum*

長構文: UDP.004 Bad checksum - calculated *checksum*, received *checksum*

説明: このメッセージは、チェックサムが無効であるためにパケットが廃棄された場合に生成されます。

UDP.005

レベル: U-TRACE

短構文: UDP.005 rcvd pkt frm (*source_IP_address*, prt *udp_port_number*, nt *Network ID*)

長構文: UDP.005 received packet from (*source_IP_address*, port *udp_port_number*, net *Network ID*)

説明: 特定のインターフェース上で UDP データグラムを受信しました。ポート番号がメッセージに入っています。

UDP.006

レベル: U-TRACE

短構文: UDP.006 fwd pkt to *destination_IP_address* on prt *udp_port_number*

長構文: UDP.006 Forwarding packet to *destination_IP_address* on udp port *udp_port_number*

説明: 特定のあて先に UDP データグラムを転送中です。ポート番号がメッセージに入っています。

UDP.007

レベル: U-INFO

短構文: UDP.007 echo *source_ip_address*(*source_port_number*) -> *destination_ip_address*(*destination_port_number*)

長構文: UDP.007 UDP Echo received datagram from *source_ip_address* port *source_port_number* to *destination_ip_address* port *destination_port_number*

説明: UDP エコーがデータグラムを受信しました。データグラムを送信側に戻します。

第112章 IPv6 用ユーザー・データグラム・プロトコル (UDP6)

この章では、IPv6 用ユーザー・データグラム・プロトコル (UDP6) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

UDP6.001

レベル: U-INFO

短構文: UDP6.001 pkt *source_ip_address* -> *destination_ip_address* port *port_number* no *srvr*

長構文: UDP6.001 Packet from *source_ip_address* for *destination_ip_address* port *port_number*, no *server*

説明: このメッセージは、UDP6 がルーターに導入されていないか、あるいは UDP6 は導入されているが、パケットがマルチキャスト・アドレスあてであり、どのアプリケーションも UDP あて先ポートをサポートしていないためにパケットが廃棄された場合に生成されます。

UDP6.002

レベル: U-INFO

短構文: UDP6.002 pkt *source_ip_address* -> *destination_ip_address* port *port_number* no *srvr*

長構文: UDP6.002 Packet from *source_ip_address* for *destination_ip_address* port *port_number*, no *server*

説明: このメッセージは、UDP6 がルーターに導入されていないか、あるいは UDP6 は導入されているが、UDP6 アプリケーションが UDP6 あて先ポートをサポートしていないためにパケットが廃棄された場合に生成されます。パケットは、ルーターに送信されました。

UDP6.003

レベル: UE-ERROR

短構文: UDP6.003 discarded pkt from *source_ip_address* bad len *length*

長構文: UDP6.003 Discarded packet from *source_ip_address*, bad length *length*

説明: このメッセージは、UDP の長さが IP の長さを超えているためにパケットが廃棄された場合に生成されます。

原因: 問題の原因としては、さまざまなものが考えられます。この UDP6 パケットの送信元ノードに問題があるか、あるいはパケットが転送中またはこのルーターに到着したときに破壊された可能性があります。

処置: 送信元ノードの直後とこのルーターに到着する直

前のパケットをトレースしてください。

UDP6.004

レベル: UE-ERROR

短構文: UDP6.004 bad checksum clc *checksum* rcv *checksum*

長構文: UDP6.004 Bad checksum - calculated *checksum*, received *checksum*

説明: このメッセージは、チェックサムが無効であるためにパケットが廃棄された場合に生成されます。

原因: チェックサムの誤り。送信元ノードで UDP6 チェックサムが正しく実行されていなかったか、このパケットの UDP6 部分が破壊されている可能性があります。

処置: 送信元ノードの直後とこのルーターに到着する直前のパケットをトレースしてください。UDP6 チェックサム・フィールドのキー。

UDP6.005

レベル: C-TRACE

短構文: UDP6.005 received pkt from (*source_IP_address*, prt *udp_port_number*, nt *Network ID*)

長構文: UDP6.005 received packet from (*source_IP_address*, port *udp_port_number*, net *Network ID*)

説明: 特定のインターフェースで UDP6 データグラムを受信しました。ポート番号がメッセージに入っています。

UDP6.006

レベル: C-TRACE

短構文: UDP6.006 forwarding pkt to *destination_IP_address* on prt *udp_port_number*

長構文: UDP6.006 Forwarding packet to *destination_IP_address* on udp port *udp_port_number*

説明: 特定のあて先に UDP6 データグラムを転送中です。ポート番号がメッセージに入っています。

UDP6.007

レベル: UE-ERROR

短構文: UDP6.007 zero checksum rcv *checksum*

長構文: UDP6.007 zero checksum - received *checksum*

説明: このメッセージは、チェックサムがゼロのためにパケットが廃棄された場合に生成されます。(注: UDP とは異なり、IPv4 では UDP6 チェックサムはオプションではありません)。

原因: 送信元ノードが UDP6 チェックサムを実行しなかったか、あるいは UDP6 ヘッダー・フィールド内のチェックサム・フィールドが破壊されています。

処置: 送信元ノードの直後とこのルーターに到着する直前のパケットをトレースしてください。UDP6 チェックサム・フィールドのキー

第113章 VCRM

この章では、VCRM メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

VCRM.001

レベル: UI-ERROR

短構文: VCRM.001 VCRM No Rsrcs *Failure_type Routine*

長構文: VCRM.001 VCRM Insufficient resources of type *Failure_type* in *Routine*

説明: VCRM は必要な資源 (記憶域) を入手できませんでした。

VCRM.002

レベル: UI-ERROR

短構文: VCRM.002 VCRM *Correlator_type Crrltr Correlator* Msmthc *Routine*

長構文: VCRM.002 VCRM *Correlator_type Correlator Correlator* Mismatch in routine *Routine*

説明: 指定されたタイプの不明の VCRM 相関関係子が検出されました。

VCRM.003

レベル: UI-ERROR

短構文: VCRM.003 VCRM Unxpctd *Condition Code* from *Routine*

長構文: VCRM.003 VCRM Unexpected *Condition Code* from *Routine*

説明: VCRM の予期しない状態が発生しました。

VCRM.004

レベル: P-TRACE

短構文: VCRM.004 VCRM *Event_type Evnt Added_info1 Added_info2 Added_info3* in *Routine*

長構文: VCRM.004 VCRM *Event_type event* occurred *Added_info1 Added_info2 Added_info3* in routine *Routine*

説明: VCRM で VCRM トレース事象が発生しました。

VCRM.005

レベル: U-TRACE

短構文: VCRM.005 *var1= val1*

長構文: VCRM.005 component *var1 var1= val1*

説明: intServ spec の内容 (1 浮動小数点フィールド) の総称ダンプ。

VCRM.006

レベル: U-TRACE

短構文: VCRM.006 *var1= val1*

長構文: VCRM.006 component *var1 var1= val1*

説明: intServ spec の内容 (1 整数フィールド) の総称ダンプ。

VCRM.007

レベル: P-TRACE

短構文: VCRM.007 VCRM *event avg= avg peak= peak burst= burst minpkt= minmtu maxpkt= maxmtu* on i/f *oif* to *gateway*

長構文: VCRM.007 VCRM *event evnt; avgrate= avg peak= peak burst= burst minTU= minmtu maxTU= maxmtu* on out i/f *oif* to *nxt-hop gateway*

説明: VCRM 予約 QoS パラメーターの追加/削除、出力インターフェース、およびネクスト・ホップ・ゲートウェイのダンプ出力。

VCRM.008

レベル: U-TRACE

短構文: VCRM.008 *var1= v1; var2= v2; var3= v3; var4= v4*

長構文: VCRM.008 component *var1 var1= v1; var2 var2= v2; var3 var3= v3; var4 var4= v4*

説明: 異常事象の総称トレース。var1 はモジュール名と最初のトレース変数名、v1 は最初の変数値、var2 は 2 番目のトレース変数名、v2 は 2 番目のトレース変数値といった具合に (16 進値で) 表示されます。

VCRM.009

レベル: UI-ERROR

短構文: VCRM.009 VCRM Unxpctd *Condition Code ErrorMessage* from *Routine*

長構文: VCRM.009 VCRM Unexpected Condition Code
ErrorMsg from Routine

説明: VCRM の予期しない状態が発生しました。

VCRM.010

レベル: U-TRACE

短構文: VCRM.010 var1= v1; var2= v2; var3= v3; var4=
v4

長構文: VCRM.010 component var1 var1= v1; var2 var2=
v2; var3 var3= v3; var4 var4= v4

説明: 異常事象の総称トレース。var1 はモジュール名と最初のトレース変数名、v1 は最初の変数値、var2 は 2 番目のトレース変数名、v2 は 2 番目のトレース変数値といった具合に (10 進値で) 表示されます。

第114章 バーチャル LAN (VLAN) ELS

この章では、バーチャル LAN (VLAN) ELS メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

VLAN.001

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.001 TR IP arp

長構文: VLAN.001 Received a token ring IP arp frame

説明: トークンリング IP ARP フレームを受信しました。

VLAN.002

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.002 ENET IP arp DX

長構文: VLAN.002 Received an ethernet IP arp frame in DIX encapsulation

説明: DIX カプセル化によるイーサネット IP ARP フレームを受信しました。

VLAN.003

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.003 ENET IP arp SNAP

長構文: VLAN.003 Received an ethernet IP arp frame in SNAP encapsulation

説明: SNAP カプセル化によるイーサネット IP ARP フレームを受信しました。

VLAN.004

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.004 TR IPX 802.2

長構文: VLAN.004 Received a token ring IPX frame in 802.2 encapsulation

説明: 802.2 カプセル化によるトークンリング IPX フレームを受信しました。

VLAN.005

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.005 TR IPX SNAP

長構文: VLAN.005 Received a token ring IPX frame in SNAP encapsulation

説明: SNAP カプセル化によるトークンリング IPX フレームを受信しました。

VLAN.006

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.006 ENET IPX DIX

長構文: VLAN.006 Received an ethernet IPX frame in DIX encapsulation

説明: DIX カプセル化によるイーサネット IPX フレームを受信しました。

VLAN.007

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.007 ENET IPX raw

長構文: VLAN.007 Received an ethernet IPX frame in raw encapsulation

説明: 生カプセル化によるイーサネット IPX フレームを受信しました。

VLAN.008

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.008 ENET IPX 802.2

長構文: VLAN.008 Received an ethernet IPX frame in 802.2 encapsulation

説明: 802.2 カプセル化によるイーサネット IPX フレームを受信しました。

VLAN.009

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.009 ENET IPX SNAP

長構文: VLAN.009 Received an ethernet IPX frame in SNAP encapsulation

説明: SNAP カプセル化によるイーサネット IPX フレームを受信しました。

VLAN.010

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.010 TR NTBS

長構文: VLAN.010 Received a token ring netbios frame

説明: トークンリング NETBIOS フレームを受信しました。

VLAN.011

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.011 ENET NTBS LLC

長構文: VLAN.011 Received an ethernet netbios LLC frame

説明: イーサネット NETBIOS LLC フレームを受信しました。

VLAN.012

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.012 ENET NTBS

長構文: VLAN.012 Received an ethernet netbios frame

説明: イーサネット NETBIOS フレームを受信しました。

VLAN.013

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.013 Discard packet source MAC *sourceMac[0]*

長構文: VLAN.013 The packet from the indicated MAC *sourceMac[0]* was discarded. The port map is set to zero

説明: パケットは廃棄されました。ポート・マップはゼロに設定されます。これは、IP カットスルーが使用不可にされているか、一致する IPX カプセル化が見つからなかったことが原因と考えられます。

処置: なし。

VLAN.014

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.014 Discard packet (port excluded) prt *port_num* ifc *ifc_num* MAC *sourceMac[0]*

長構文: VLAN.014 Discard packet (port excluded) prt *port_num* ifc *ifc_num* MAC *sourceMac[0]*

説明: 指定のポートおよびインターフェース上で、指定の MAC アドレスからパケットを受信しましたが、廃棄しました。VLAN でポートの排他が設定されているため

です。ポート・マップはゼロに設定されます。

処置: なし。

VLAN.015

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.015 Flood packet from MAC *sourceMac[0]*

長構文: VLAN.015 The packet from the indicated MAC address *sourceMac[0]* will be flooded.

説明: 指定の MAC アドレスからのパケットはフラッディングされます。ポート・マップは未変更です。

処置: なし。

VLAN.016

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.016 IP prt *port_num* ifc *ifc_num* MAC *sourceMac[0]* *sourceNet* -> *protocolOption*

長構文: VLAN.016 Received an IP packet on port *port_num* interface *ifc_num* MAC *sourceMac[0]* source *sourceNet* -> destination *protocolOption*

説明: 発信元からあて先へ向かう、指定のポートおよびインターフェース上で、指定の MAC アドレスから IP パケットを受信しました。

処置: なし。

VLAN.017

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.017 IPX prt *port_num* ifc *ifc_num* MAC *sourceMac[0]* nt *sourceNet*

長構文: VLAN.017 Received an IPX packet on port *port_num* interface *ifc_num* MAC address *sourceMac[0]* network *sourceNet*

説明: 指定のポート、インターフェース、およびネットワーク上で、指定の MAC アドレスから IPX パケットを受信しました。

処置: なし。

VLAN.018

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.018 NTBS prt *port_num* ifc *ifc_num* MAC *sourceMac[0]*

長構文: VLAN.018 Received a NETBIOS packet on port *port_num* interface *ifc_num* MAC address *sourceMac[0]*

説明: 指定のポートおよびインターフェース上で、指定

の MAC アドレスから NETBIOS パケットを受信しました。

処置: なし。

VLAN.019

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.019 SLDW prt port_num ifc ifc_num MAC sourceMac[0]

長構文: VLAN.019 Received a packet on port port_num interface ifc_num MAC address sourceMac[0] sldw fltr.

説明: 指定のポートおよびインターフェース上で、指定の MAC アドレスからパケットを受信しました。スライディング・ウィンドウ・フィルタが定義されており、検査されます。

処置: なし。

VLAN.020

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.020 fwd PMP[0-3] vlanPmap[0] vlanPmap[1] vlanPmap[2] vlanPmap[3]

長構文: VLAN.020 forwarding port map [0][1][2][3] vlanPmap[0] vlanPmap[1] vlanPmap[2] vlanPmap[3]

説明: パケットが送り出される転送ポート・マップ

処置: なし。

VLAN.021

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.021 fwd PMP[4-7] vlanPmap[0] vlanPmap[1] vlanPmap[2] vlanPmap[3]

長構文: VLAN.021 forwarding port map [4][5][6][7] vlanPmap[0] vlanPmap[1] vlanPmap[2] vlanPmap[3]

説明: パケットが送り出される転送ポート・マップ

処置: なし。

VLAN.022

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.022 agt network hndl handle PMP[0-3] ageoutPmap[0] ageoutPmap[1] ageoutPmap[2] ageoutPmap[3]

長構文: VLAN.022 ageout network handle handle port map[4-7] ageoutPmap[0] ageoutPmap[1] ageoutPmap[2] ageoutPmap[3]

説明: 指定のネットワーク上でタイマーが満了すると、動作可能および転送ポート・マップから除外されます。

ハンドルによって、どの VLAN であるかが示されます。

処置: なし。

VLAN.023

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.023 agt network hndl handle PMP[4-7] ageoutPmap[4] ageoutPmap[5] ageoutPmap[6] ageoutPmap[7]

長構文: VLAN.023 ageout network handle handle port map[4-7] ageoutPmap[4] ageoutPmap[5] ageoutPmap[6] ageoutPmap[7]

説明: IP、IPX、または NBS (NETBIOS) でタイマーが満了すると、動作可能および転送ポート・マップから除外されます。ハンドルによって、それぞれの VLAN でどの VLAN であるかが示されます。

処置: なし。

VLAN.024

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.024 sld mtch prt port_num ifc ifc_num MAC sourceMac[0] strt offsetType offst offset cmlpl sldwCmpLen vl framePtr framePtr+4 framePtr+8

長構文: VLAN.024 Match on a sliding window filter occurred on port port_num interface ifc_num MAC sourceMac[0] starting field offsetType offset offset compare length sldwCmpLen value framePtr framePtr+4 framePtr+8

説明: スライディング・ウィンドウ VLAN で、指定のポートおよびインターフェース上で指定の MAC アドレスから受信したパケットとの一致が起きました。一致は、指定の長さの指定のオフセットで起きました。10 バイトのデータが表示されています。

処置: なし。

VLAN.025

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.025 mac match prt port_num ifc ifc_num MAC sourceMac[0]

長構文: VLAN.025 Match on a Mac Address filter occurred on port port_num interface ifc_num MAC sourceMac[0]

説明: MAC アドレス VLAN で、指定のポートおよびインターフェース上で発信元 MAC アドレスから受信したパケットとの一致が起きました。

処置: なし。

VLAN.026

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.026 port match prt *port_num* ifc *ifc_num* MAC *sourceMac[0]*

長構文: VLAN.026 Match on a Port-based filter occurred on port *port_num* interface *ifc_num* MAC Address *sourceMac[0]*

説明: ポート・ベース VLAN で、指定のポートおよびインターフェース上で MAC アドレスから受信したパケットとの一致が起きました。

処置: なし。

VLAN.027

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.027 IGMP Report prt *port_num* ifc *ifc_num* MAC *sourceMac[0]* Group *ipGroupAddress*

長構文: VLAN.027 Received an IGMP Report on port *port_num* interface *ifc_num* MAC *sourceMac[0]* Group *ipGroupAddress*

説明: 指定のポートおよびインターフェース上で、指定の MAC アドレスから指定の IP マルチキャスト・グループあての IGMP レポート・フレームを受信しました。

処置: なし。

VLAN.028

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.028 IP Mcast port *port_num* ifc *ifc_num* MAC *sourceMac[0]* Group *ipGroupAddress*

長構文: VLAN.028 Received matching IP Multicast frame on port *port_num* interface *ifc_num* MAC *sourceMac[0]* to Group *ipGroupAddress*

説明: 指定のポートおよびインターフェース上で、指定の MAC アドレスから指定の IP マルチキャスト・グループあての IP マルチキャスト・フレームを受信しましたが、これが使用可能にされている IP マルチキャスト VLAN に一致しています。

処置: なし。

VLAN.029

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.029 OSPF Hello prt *port_num* ifc *ifc_num* MAC *sourceMac[0]*

長構文: VLAN.029 Received an OSPF Hello on port

port_num interface *ifc_num* MAC *sourceMac[0]*

説明: 指定のポートおよびインターフェース上で、指定の MAC アドレスから OSPF ハロー・フレームを受信しました。

処置: なし。

VLAN.030

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.030 DVMRP Probe prt *port_num* ifc *ifc_num* MAC *sourceMac[0]*

長構文: VLAN.030 Received a DVMRP Probe on port *port_num* interface *ifc_num* MAC *sourceMac[0]*

説明: 指定のポートおよびインターフェース上で、指定の MAC アドレスから DVMRP プロブ・フレームを受信しました。

処置: なし。

VLAN.031

レベル: UI-ERROR

短構文: VLAN.031 Invld brid *brid*

長構文: VLAN.031 Invalid bridge ID *brid*

説明: ブリッジ ID が VLAN ブリッジ・テーブルに存在しません。

処置: なし。

VLAN.032

レベル: C-INFO

短構文: VLAN.032 BcstFwd Info brid *brid* bcsts_fwd *brInstTable->bcsts_forward* crnt_bcsts_fwd *brInstTable->current_bcsts_forward*

長構文: VLAN.032 Broadcast forwarding state requested bridge ID *brid* *brInstTable->bcsts_forward* *brInstTable->bcsts_forward* *brInstTable->current_bcsts_forward* *brInstTable->current_bcsts_forward*

説明: 指定のブリッジ ID の同報通信転送情報の現行状態が要求されました。同報通信転送フラグの状態が、現行転送フラグの前の状態とともに表示されます。

処置: なし。

VLAN.033

レベル: UI-ERROR

短構文: VLAN.033 fddl_brdg_intCnfgStReq state *portState*

長構文: VLAN.033 fddl_bridge_interfaceConfigSetRequest state *portState*

説明: fddl_bridge_interfaceConfigSetRequest へのコールで、渡された状態が

SRT_PBLOCKED、SRT_PLISTENING、SRT_PLEARNING、または SRT_PFORWARDING ではありません。

処置: なし。

VLAN.034

レベル: C-INFO

短構文: VLAN.034 CfgReq brghndl *brgFddlHandle* ifc *cfgInfo.interfaceNum* cfg.state *cfgInfo.interfaceState* cfg.bcf *cfgInfo.broadcastsForwardedByCpu*

長構文: VLAN.034 Sending CFG interface bridge handle *brgFddlHandle* number *cfgInfo.interfaceNum* interface state *cfgInfo.interfaceState* broadcasts forwarded *cfgInfo.broadcastsForwardedByCpu*

説明: 指定のインターフェースのインターフェース構成設定要求を送信中です。インターフェース fddl ブリッジ・ハンドル、インターフェース番号、同報通信状態、および同報通信転送フラグが表示されます。

処置: なし。

VLAN.035

レベル: UI-ERROR

短構文: VLAN.035 Err fddl_brdg_intCnfgStReq rc *rc*

長構文: VLAN.035 Error calling fddl_bridge_interfaceConfigSetRequest return code *rc*

説明: コーリング fddl_bridge_interfaceConfigSetRequest で、エラーが戻されました。コールからの戻りコードが表示されます。

処置: なし。

VLAN.036

レベル: C-INFO

短構文: VLAN.036 mcastAddReq brghndl *brgFddlHandle* MAC &*mcAddReq.lanDest.macAddr.octets[0]* fwd msk *mcAddReq.iMask[0-7]* &*mcAddReq.eMask[0-7]* exc msk

長構文: VLAN.036 Sending multicast add request bridge handle *brgFddlHandle* MAC address

&*mcAddReq.lanDest.macAddr.octets[0]* include mask *mcAddReq.iMask[0-7]* &*mcAddReq.eMask[0-7]* exclude map

説明: fddl_bridge_multicastAddRequest を送信中です。fddl ブリッジ・ハンドル、MAC アドレス、および包含/除外マスクが表示されます。

処置: なし。

VLAN.037

レベル: UI-ERROR

短構文: VLAN.037 Err fddl_brdg_mcastAddReq rc

長構文: VLAN.037 Error calling fddl_bridge_interfaceConfigSetRequest return code *rc*

説明: コーリング fddl_bridge_multicastAddRequest で、エラーが戻されました。コールからの戻りコードが表示されます。

処置: なし。

VLAN.038

レベル: C-INFO

短構文: VLAN.038 macAddrDelReq brghndl *brgFddlHandle* MAC *mcAddReq.lanDest.macAddr.octets[0]*

長構文: VLAN.038 Sending mac address delete request bridge handle *brgFddlHandle* MAC address *mcAddReq.lanDest.macAddr.octets[0]*

説明: fddl_bridge_macAddrDeleteRequest を送信中です。fddl ブリッジ・ハンドルと MAC アドレスが表示されます。

処置: なし。

VLAN.039

レベル: UI-ERROR

短構文: VLAN.039 Err fddl_brdg_macAddrDelReq rc

長構文: VLAN.039 Error calling fddl_bridge_macAddrDeleteRequest return code *rc*

説明: コーリング fddl_bridge_macAddrDeleteRequest でエラーが戻されました。コールからの戻りコードが表示されます。

処置: なし。

VLAN.040

レベル: C-INFO

短構文: VLAN.040 mcastStatsGetReq brghndl *brgFddlHandle* MAC &*mcAddReq.lanDest.macAddr.octets[0]*

長構文: VLAN.040 Sending multicast get statistics request
bridge handle *brgFddlHandle* MAC address
&*mcAddReq.lanDest.macAddr.octets[0]*

説明: *fddl_bridge_multicastStatsGetRequest* を送信中です。
fddl ブリッジ・ハンドルと MAC アドレスが表示されま
す。

処置: なし。

VLAN.041

レベル: UI-ERROR

短構文: VLAN.041 Err *fddl_brdg_mcastStatsGetReq rc*

長構文: VLAN.041 Error calling
fddl_bridge_multicastStatsGetRequest return code *rc*

説明: コーリング *fddl_bridge_multicastStatsGetRequest* で
エラーが戻されました。コールからの戻りコードが表示
されます。

処置: なし。

VLAN.042

レベル: C-INFO

短構文: VLAN.042 *mcastStatsGetReply* MAC
mcAddReq.lanDest.macAddr.octets[0] fwd
stats.framesForwarded fltrd stats.framesFiltered

長構文: VLAN.042 Received multicast statistics reply MAC
address *mcAddReq.lanDest.macAddr.octets[0]* frames forwarded
stats.framesForwarded frames filtered *stats.framesFiltered*

説明: *fddl_bridge_multicastStatsGetReply* を受信しました。
MAC アドレス、フレーム転送値およびフレーム・フィル
ター値が表示されます。

処置: なし。

VLAN.043

レベル: UI-ERROR

短構文: VLAN.043 *mcastStatsGetReply* address not found
MAC *lanDest.macAddr.octets[0]*

長構文: VLAN.043 Received multicast statistics reply MAC
address *lanDest.macAddr.octets[0]* not found

説明: マルチキャスト統計応答を受信しましたが、MAC
アドレスが見付かりませんでした。

処置: なし。

VLAN.044

レベル: C-INFO

短構文: VLAN.044 IGMP Query in prt *port_num* ifc
ifc_num MAC *sourceMac[0]* Group *ipGroupAddress*

長構文: VLAN.044 Received an IGMP Query on port
port_num interface *ifc_num* MAC *sourceMac[0]* Group
ipGroupAddress

説明: 指定のポートおよびインターフェース上で、指定
の MAC アドレスから指定の IP マルチキャスト・グル
ープあての IGMP 照会フレームを受信しました。グル
ープがゼロの場合は、フレームはすべてのグループへの一
般照会になります。

処置: なし。

VLAN.045

レベル: C-INFO

短構文: VLAN.045 Tx IGMP General Query out port
port_num ifc *ifc_num*

長構文: VLAN.045 Transmit IGMP Query out port
port_num interface *ifc_num*

説明: IGMP 一般照会フレームが、指定のポートおよび
インターフェースから伝送されました。

処置: なし。

VLAN.046

レベル: C-INFO

短構文: VLAN.046 Tx IGMP Report prt *port_num* ifc
ifc_num srcIp *ipSourceAddress* Group *ipGroupAddress*

長構文: VLAN.046 Transmit an IGMP Report out port
port_num interface *ifc_num* srcIp *ipSourceAddress* Group
ipGroupAddress

説明: 指定のポートおよびインターフェースから、指定
の IP マルチキャスト・グループあての IGMP レポー
ト・フレームが、指定の発信元 IP アドレスを付けて伝送
されました。

処置: なし。

VLAN.047

レベル: C-INFO

短構文: VLAN.047 BOOTP received on prt *port_num* ifc
ifc_num from MAC *sourceMac[0]*

長構文: VLAN.047 Received a BOOTP frame on port
port_num interface *ifc_num* from MAC *sourceMac[0]*

説明: 指定のポートおよびインターフェース上で、指定の MAC アドレスから BOOTP フレームを受信しました。

処置: なし。

第115章 バーチャル・ルーター冗長プロトコル (VRRP)

この章では、バーチャル・ルーター冗長プロトコル (VRRP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

VRRP.001

レベル: C-INFO

短構文: VRRP.001 VRID *Interface_address/ vrid* init success
net *network_number* ifc *network_name_number/*

長構文: VRRP.001 VRID *Interface_address/ vrid*
initialization successful for net *network_number* and interface
network_name_number/ .

説明: VRID (バーチャル・ルーター) は正常に初期化されました。この VRID は、VRRP プロトコルに含まれます。

VRRP.002

レベル: UE-ERROR

短構文: VRRP.002 VRID *Interface_address/ vrid* init failed:
reason_code

長構文: VRRP.002 VRID *Interface_address/ vrid*
initialization failed due to *reason_code*.

説明: VRID (バーチャル・ルーター) が初期化されませんでした。理由コードが障害のタイプを示しています。 1 - インターフェース IP アドレスが見つからない。 2 - IP アドレスのネットが見つからない。 3 - IP アドレスのネットがサポートされない。 4 - サポートされないトークンリング機能アドレス。 5 - VRID 制御ブロック割り振り時の記憶域エラー。 6 - VRID はバーチャル・アドレスを持たない。 7 - ブリッジ・ネット上のマルチキャスト VRID は許されない。

VRRP.003

レベル: C-INFO

短構文: VRRP.003 Net *network_number* ifc
network_name_number/ source_mac destination_mac-> protocol
proto

長構文: VRRP.003 Net *network_number* interface
network_name_number/ source_mac MAC level send
destination_mac-> protocol protocol successful.

説明: ネットワーク *n_fsend* 機能を使用して、インターフェース上で MAC レベルのフレームが送信されました。

VRRP.004

レベル: UE-ERROR

短構文: VRRP.004 Net *network_number* ifc
network_name_number/ source_mac destination_mac-> protocol
proto *reason_code* failed:

長構文: VRRP.004 Net *network_number* interface
network_name_number/ source_mac MAC level send
destination_mac-> protocol protocol *reason_code* failed due
to .

説明: MAC レベルのフレームの送信が失敗しました。理由コードが、障害の発生源を示しています。その他 - *n_fsend()* 戻りコード 254 - リンク・レイヤー・ヘッダー割り振り失敗。

VRRP.005

レベル: C-INFO

短構文: VRRP.005 VRID *Interface_address/ vrid* adv net
interface_name ifc *network_number/ network_name_number*

長構文: VRRP.005 VRID *Interface_address/ vrid*
advertisement sent on net *interface_name* interface
network_number/ network_name_number.

説明: インターフェース上で VRID 公示が送信されました。

VRRP.006

レベル: UE-ERROR

短構文: VRRP.006 VRID *Interface_address/ vrid* adv net
interface_name ifc *network_number/ network_name_name*
failed:

長構文: VRRP.006 VRID *Interface_address/ vrid*
advertisement on net *interface_name* interface *network_number/*
network_name_name failed due to reason .

説明: 次の理由で、インターフェース上で VRID 公示が送信されませんでした。 1 - 入出力バッファ割り振り失敗 2 - *vrrp_mac_send()* 障害

VRRP.007

レベル: C-INFO

短構文: VRRP.007 VRID *Interface_address/ vrid state old_state_name-> new_state_name: event_name*

長構文: VRRP.007 VRID *Interface_address/ vrid state change from old_state_name to new_state_name due to event event_name.*

説明: VRID の状態が変更されました。

VRRP.008

レベル: C-INFO

短構文: VRRP.008 VRID *Interface_address/ vrid adv rcv src source_ip net interface_name ifc network_number/ network_name_number*

長構文: VRRP.008 VRID *Interface_address/ vrid advertisement received on from source_ip on net interface_name interface network_number/ network_name_number.*

説明: インターフェース上で送信側から VRID 公示を受信しました。

VRRP.009

レベル: UE-ERROR

短構文: VRRP.009 VRID *Interface_address/ vrid adv rej src source_ip net interface_name ifc network_number/ network_name_number: reason_code*

長構文: VRRP.009 VRID *Interface_address/ vrid advertisement received on from source_ip on net interface_name interface network_number/ network_name_number due to reason reason_code.*

説明: 指定された理由のため、VRID 公示が拒否されました。理由コードには、次のものが含まれます。 1 - 不正な IP TTL 2 - 不正な IP 長 3 - 不正な VRRP バージョン/タイプ 4 - 間違ったネットを受信 5 - 不正なチェックサム 6 - 認証エラー

VRRP.010

レベル: C-INFO

短構文: VRRP.010 VRID *Interface_address/ vrid adv src source_ip net vrid_interval ifc received_interval/ int mm vs*

長構文: VRRP.010 VRID *Interface_address/ vrid advertisement received from source_ip net vrid_interval interface received_interval/ has interval mismatch versus .*

説明: 受信した VRID 公示の公示間隔が、構成された

VRID 公示と異なっています。ただし、この公示は受け入れられました。

VRRP.011

レベル: C-INFO

短構文: VRRP.011 VRID *Interface_address/ vrid adv src source_ip net ifc / addr mm*

長構文: VRRP.011 VRID *Interface_address/ vrid advertisement received on from source_ip net interface / had address list mismatch.*

説明: 受信した VRID 公示のアドレス・リストが、構成された VRID アドレス・リストと異なっています。ただし、この公示は受け入れられました。

第116章 V.25bis ダイアル呼び出し (V25B)

この章では、V.25bis ダイアル呼び出し (V25B) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

V25B.001

レベル: CE-ERROR

短構文: V25B.001 I_ERR (0x status) len(msglen) on rcv nt network ID

長構文: V25B.001 Frame received with I_ERR set (status = 0x status) or bad length(msglen), on network network ID

説明: V.25bis: v25b_rx() がドライバーからエラー・フラグがセットされた、または最小値以下の長さのバッファを受信しました。

処置: この事象をサービス技術員に報告してください。

V25B.002

レベル: UE-ERROR

短構文: V25B.002 Rx bad type (type) st state on nt network ID

長構文: V25B.002 Received an unrecognized frame type (type) in state state, on network network ID

説明: V.25bis: v25b_rx() が DCE からフレームを受信したが、通常の V.25bis 指示以外であり、状態は "接続" 以外でした。

処置: この事象をサービス技術員に報告してください。

V25B.003

レベル: U-INFO

短構文: V25B.003 Cll to address failed T = secs. ms secs on nt network ID

長構文: V25B.003 Call to address failed after secs. ms seconds on network network ID

説明: 接続の試みは失敗しました。考えられる理由については、V25B.016 を参照してください。

V25B.006

レベル: C-INFO

短構文: V25B.006 FSM st state1 ev event -> st state2 nt network ID

長構文: V25B.006 FSM transition occurred: old state state1,

event event, new state state2 on network network ID.

説明: ハンドラーが、状態変更を起こした事象を受信しました。これがモデム信号の変化の結果生じたのであれば、先行するログ・メッセージ (使用可能である場合) が新規の信号を指示しているはずです。

V25B.007

レベル: C-INFO

短構文: V25B.007 Mdm Chg 0x modem1 -> 0x modem2 (DSR/CTS/CD/CI) nt network ID

長構文: V25B.007 A modem signal change was detected (0x modem1 -> 0x modem2 DSR/CTS/CD/CI) network network ID.

説明: DCE からのモデム信号の変更が検出されました。これは、FSM 変換 (続く) を起こす場合とそうでない場合とがあります。

V25B.008

レベル: UE-ERROR

短構文: V25B.008 Dead DCE nt network ID

長構文: V25B.008 DCE not responding to the handler on network network ID.

説明: V.25bis ハンドラーは自己検査でモデム (または CU/DSU) を上げようと試みます。(CTS を上げることによって) 応答しない場合は、ハンドラーでは、休止または準拠外と見なします。

原因: DCE が接続されていないか、電源オフ、操作不能、または V.25bis に準拠していません。

処置: ケーブルを接続し、電源をオンにし、それを修正するか、または準拠しているモデムを入手します。

V25B.009

レベル: P-TRACE

短構文: V25B.009 RxD Pkt ln msglen nt network ID

長構文: V25B.009 Received a frame of length (msglen) from network network ID.

説明: V.25bis ハンドラーがデータ・フレームを受信しま

した。これはそのクライアント・カプセル化機能へ転送するものです。

V25B.010

レベル: P-TRACE

短構文: V25B.010 TxD Pkt ln msglen nt network ID

長構文: V25B.010 Transmitted a frame of length (msglen) over network network ID.

説明: V.25bis ハンドラーが、そのクライアント・カプセル化機能の代わりにデータ・フレームを転送しました。

V25B.012

レベル: UE-ERROR

短構文: V25B.012 No heap on function nt network ID

長構文: V25B.012 Insufficient heap memory to support this function (function) on network network ID.

説明: V.25bis ハンドラーは、動作のためにある程度の量のヒープ記憶域を必要とするが、それを取得できませんでした。

原因: ロード・イメージ、またはプロトコル・テーブルのいずれかが大き過ぎます。

処置: ロード・イメージを小さくするか、転送元テーブルのサイズを減らしてください。

V25B.013

レベル: UE-ERROR

短構文: V25B.013 Bd cfg (function) nt network ID

長構文: V25B.013 Incomplete configuration (function) for network network ID.

説明: V.25bis ハンドラーは作業のために最小構成を必要としますが、その情報が指定されませんでした。

処置: このインターフェースの V25B 構成が少なくともローカル・アドレスを含んでいるか確認してください。

V25B.014

レベル: UE-ERROR

短構文: V25B.014 Bd ConnID (0x ConnID 0x RegP 0x PortP)

長構文: V25B.014 V.25bis function invoked with an invalid Connection Identifier (0x ConnID 0x RegP 0x PortP).

説明: V.25bis ハンドラーが、カプセル化機能に対してその接続関連機能への接続識別子を介してインターフェースをとります。無効な接続識別子で呼び出されました。

V25B.015

レベル: U-TRACE

短構文: V25B.015 Drp RxD Pkt ln msglen st state nt network ID

長構文: V25B.015 Dropping a received Data frame of length (msglen) in state state from network network ID.

説明: V.25bis ハンドラーはデータ・フレームを受信しましたが、予期した状態ではなかったため、それを除去しました。

V25B.016

レベル: U-TRACE

短構文: V25B.016 indtype Ind rsn reason st state nt network ID

長構文: V25B.016 DCE indication indtype, reason reason in state state on network network ID.

説明: DCE は指定された指示を送信しました。これは、V.25bis ハンドラーにより開始された接続の試みが、指定された理由により失敗した (INV または CFI) ことを示す場合があります (このメッセージに理由コードが付随している場合、その説明についてはコーリング装置ユーザーズ・マニュアルを参照してください)。他に、これは単なる冗長着信コール指示 (INC) である場合があります。これはすでに CI 回線 125 により信号されています。

原因: コールが打ち切られました: ルーター・タイムアウト、またはモデム・ユーザー・インターフェース・コマンド。

処置: コールの確立期間を延長するか、コールに割り込まないようにしてください。

原因: ローカル DCE 使用中: ユーザーがコール装置ユーザー・インターフェースを通じて介入しました。

処置: 介入しないでください。

原因: 使用中トーン: リモート・エンドが使用中です。

処置: 後で再度試みます (ルーターで自動的に行うべきです)。

原因: ダイアル音なし: 電話ネットワークが応答しません。

処置: リンクを修理します。サービス会社に連絡してください。

原因: 番号が格納されていません。

処置: サービス技術員に連絡してください。対応するコマンドを使用していません。

原因: 応答トーン無し: リモート装置が応答トーンを出しませんでした。

処置: コールされた番号を調べ、リモート装置がオンラインかどうか確認します。

原因: リング・トーン (ただし、無応答)

処置: コールされた番号を調べ、リモート装置がオンラインかどうか確認します。

V25B.017

レベル: C-INFO

短構文: V25B.017 Indctn Message st state nt network ID

長構文: V25B.017 DCE sent Message in state state, on network network ID.

説明: コーリング装置がルーターの要求 (INC) を受け入れたか、コールの接続中 (CNX または ONL) であるかのいずれかです。これは正常な事象です。ただし、特定の DCE/CU によって必ずしも常に報告されるとは限りません。

V25B.018

レベル: UE-ERROR

短構文: V25B.018 Dlyd Cll ind delaytime minutes nt network ID

長構文: V25B.018 DCE indicates Call Delayed for delaytime minutes on network network ID.

説明: コーリング装置 (DCE) が、少なくとも指示した時間新たな発信コールをしないことを示しています。これは、ある種の DCE のある種の管理用任意選択機能で、短期間の高頻度のコールを禁止します。直前のログ項目を検査し、大量のコールが行われている理由を判別します。

原因: 特定のあて先に対する接続は継続してクリアされています。

処置: ゲートウェイ・メッセージを検査し、コールがアイドルにされている (アイドル期間を延長) か、検証プロシージャが失敗している (両端でコーリング番号を検査) か判別します。

原因: 無応答のリモート DCE

処置: コールされた番号を調べ、リモート DCE がオンラインかどうか確認します。

原因: リモート装置が使用中

処置: そのあて先に対するコール再試行タイムアウトを延ばします。

V25B.019

レベル: UE-ERROR

短構文: V25B.019 No Bf Cll nt network ID

長構文: V25B.019 Buffer unavailable for connection request on network network ID.

説明: ハンドラーは、DCE に "接続要求" を送信するためにバッファを必要とするが、それを獲得できませんでした。コールは失敗します。ルーターは後でコールを再開する必要があります。

V25B.020

レベル: UE-ERROR

短構文: V25B.020 Bd Sts CRN Tx 0x status nt network ID

長構文: V25B.020 Bad transmit status (0x status) for CRN network network ID.

説明: ドライバーは、コール・リクエスト (CRN) を送信しようとする際に不良送信状況を報告します。

V25B.021

レベル: C-INFO

短構文: V25B.021 Set DSS DSS nt network ID

長構文: V25B.021 Set output signals DSS on network network ID

説明: ルーターは、先行する事象の応答として出力データ・セット信号を変更しています。(DTR = V.24 回線 108/2 および RTS = V.24 回線 105)

V25B.022

レベル: CI-ERROR

短構文: V25B.022 no bfr avl action nt network ID

長構文: V25B.022 no buffer available for action network network ID

説明: ハードウェア固有のインターフェース・コードが、指定されたアクションを実行するためにパケット・バッファを必要としたとき、使用可能なパケット・バッファがありませんでした。

V25B.023

レベル: U-INFO

短構文: V25B.023 Slftst OK nt network ID

長構文: V25B.023 Selftest completed successfully on network network ID

説明: ルーターとモデム間の接続の自己検査が成功しました。

V25B.024

レベル: C-INFO

短構文: V25B.024 Tx CRN *destination nt network ID*

長構文: V25B.024 Sending Dial (CRN) command for call to *destination* on network *network ID*

説明: モデムは現在実際に V.25bis コマンドを受信できる状態なので、ダイヤルしたい電話番号をモデムに送信中です。

V25B.025

レベル: C-INFO

短構文: V25B.025 Clnt CR *destination nt network ID*

長構文: V25B.025 Client connection request to *destination* on network *network ID*

説明: クライアント (たとえば、ダイヤル回線または WAN 復元) が指定されたアドレスに接続要求を行ないました。

V25B.026

レベル: C-INFO

短構文: V25B.026 Clnt CR blkcd *destination nt network ID*

長構文: V25B.026 Client connection request on busy interface to *destination* on network *network ID*

説明: クライアント (たとえば、ダイヤル回線または WAN 復元) は接続を開始しようとしています、基本ネットワークが使用中です。

V25B.027

レベル: C-INFO

短構文: V25B.027 Out Call *destination cmp T= time nt network ID*

長構文: V25B.027 Client connection established to *destination* in *time* seconds on network *network ID*

説明: 指定された時間で、ルーターは要求された接続 (たとえば、ダイヤル回線または WAN 復元) を確立しました。オペレーターはこの値を使用して、構成済み接続タイムアウトを調整することができます。

V25B.028

レベル: ALWAYS

短構文: V25B.028 Bad drct Tx prot *Protocol*, pls remap to dial circuit on nt *network ID*

長構文: V25B.028 Some forwarder (*Protocol*) has attempted to transmit directly over the V.25bis network *network ID*

説明: V.25bis ネットワーク上での送信は、対応するダイヤル回線経由で行われ、したがって、適切なカプセル化が行われるというのは、想定でしかありません。これは、転送元の構成における間違いが原因です。どの転送元も V.25bis ネットワークを使用するよう構成してはいけません。これらメッセージの多数をまとめて、実際の事象の一部だけがログに記録されます。

原因: 転送元 (IP、IPX、など) アドレスは V.25bis インターフェースに割り当てられました。

処置: アドレスを削除し、ダイヤル回線 (それ自体は V.25bis ネットワークにマップされます) にアドレスを再割り当てすることになると考えられます。

原因: ブリッジまたは他の転送機能が V.25bis インターフェースを使用するよう構成されています。

処置: ブリッジまたは転送機能により使用されるポートとして V.25bis インターフェースを取り外します。

第117章 V.34 ダイアル呼び出し (V34)

この章では、V.34 ダイアル呼び出し (V34) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

V34.001

レベル: CE-ERROR

短構文: V34.001 I_ERR (0x status) len(msglen) on rcv nt network ID

長構文: V34.001 Frame received with I_ERR set (status = 0x status) or bad length(msglen), on network network ID

説明: V.34: V34_rx() がドライバーからバッファを受信しましたが、エラー・フラグが設定されていたか、長さが最小値未満でした。

処置: この事象をサービス技術員に連絡してください。

V34.002

レベル: C-INFO

短構文: V34.002 Rcv data/response: type st state on nt network ID

長構文: V34.002 Received data from modem (type) in state state, on network network ID

説明: V34 は "接続" 以外の状態にあるときに、モデムからデータを受信しました。これは正常であり、通常、モデムはルーターによって送信された AT コマンドに応答しています。

V34.003

レベル: U-INFO

短構文: V34.003 Cll to address failed T = secs. ms secs on nt network ID

長構文: V34.003 Call to address failed after secs. ms seconds on network network ID

説明: 接続の試みは失敗しました。考えられる理由については、V34.016 を参照してください。

V34.006

レベル: C-INFO

短構文: V34.006 FSM st state1 ev event -> st state2 nt network ID

長構文: V34.006 FSM transition occurred: old state state1, event event, new state state2 on network network ID.

説明: ハンドラーが、状態変更を起こした事象を受信しました。これがモデム信号の変化の結果生じたのであれば、先行するログ・メッセージ (使用可能である場合) が新規の信号を指示しているはずです。

V34.007

レベル: C-INFO

短構文: V34.007 Mdm Chg 0x modem1 -> 0x modem2 (DSR/CTS/CD/CI) nt network ID

長構文: V34.007 A modem signal change was detected (0x modem1 -> 0x modem2 DSR/CTS/CD/CI) network network ID.

説明: DCE からのモデム信号の変更が検出されました。これは、FSM 変換 (続く) を起こす場合とそうでない場合とがあります。

V34.008

レベル: UE-ERROR

短構文: V34.008 Dead DCE st state nt network ID

長構文: V34.008 DCE not responding (current st state) to the handler on network network ID.

説明: V.34 は、自己検査で、または通常操作ごとに、モデムを上げようと試みます。(CTS を上げることによって) 応答しない場合は、ハンドラーでは、休止または非準拠と見なします。

原因: DCE が未接続、電源オフ、動作不能、または非 V.34 準拠です。

処置: ケーブルを接続し、電源をオンにし、それを修正するか、または準拠しているモデムを入手します。

V34.009

レベル: P-TRACE

短構文: V34.009 RxD Pkt ln msglen nt network ID

長構文: V34.009 Received a frame of length (msglen) from network network ID.

説明: V.34 ハンドラーはデータ・フレームを受信し、そのクライアント・カプセル化機能へそのデータ・フレームを転送中です。

V34.010

レベル: P-TRACE

短構文: V34.010 TxD Pkt ln *msglen* nt *network ID*

長構文: V34.010 Transmitted a frame of length (*msglen*) over network *network ID*.

説明: V.34 ハンドラーが、そのクライアント・カプセル化機能に代わって、データ・フレームを送信しました。

V34.012

レベル: UE-ERROR

短構文: V34.012 No heap on *function* nt *network ID*

長構文: V34.012 Insufficient heap memory to support this function (*function*) on network *network ID*.

説明: V.34 ハンドラーは、動作のためにある程度の量のヒープ記憶域を必要とするが、それを取得できませんでした。

原因: ロード・イメージ、またはプロトコル・テーブルのいずれかが大き過ぎます。

処置: ロード・イメージを小さくするか、転送元テーブルのサイズを減らしてください。

V34.013

レベル: UE-ERROR

短構文: V34.013 Bd cfg (*function*) nt *network ID*

長構文: V34.013 Incomplete configuration (*function*) for network *network ID*.

説明: V.34 ハンドラーは作業のための最小構成を必要としますが、その情報が指定されませんでした。

処置: このインターフェースに関する V34 構成に、少なくともローカル・アドレスが組み込まれているかどうか確認してください。

V34.014

レベル: UE-ERROR

短構文: V34.014 Bd ConnID (0x *ConnID*)

長構文: V34.014 V.34 function invoked with an invalid Connection Identifier (0x *ConnID*).

説明: V.34 ハンドラーは、その接続関連機能のために、接続識別子を介して、カプセル化機能とのインターフェースをとります。無効な接続識別子で呼び出されました。

V34.015

レベル: U-TRACE

短構文: V34.015 Drp RxD Pkt ln *msglen* st *state* nt *network ID*

長構文: V34.015 Dropping a received Data frame of length (*msglen*) in *state* *state* from network *network ID*.

説明: V.34 ハンドラーはデータ・フレームを受信しましたが、予期した状態ではなかったので、それを除去しました。

V34.016

レベル: U-TRACE

短構文: V34.016 *indtype* Ind rsu *reason* st *state* nt *network ID*

長構文: V34.016 DCE indication *indtype*, *reason* *reason* in *state* *state* on network *network ID*.

説明: DCE は指定された指示を送信しました。これは、示されている理由により、V.34 ハンドラーによって開始された接続の試みが失敗した (INV または CFI) ことを示している場合があります (このメッセージに理由コードが伴っている場合は、理由コードの説明については、コーリング装置の使用者資料を参照してください)。他に、これは単なる冗長着信コール指示 (INC) である場合があります。これはすでに CI 回線 125 により信号されています。

原因: コールが打ち切られました。ルーター・タイムアウト、またはモデム・ユーザー・インターフェース・コマンド。

処置: コールの確立期間を延長するか、コールに割り込まないようにしてください。

原因: ローカル DCE 使用中: ユーザーがコーリング装置ユーザー・インターフェースを通じて介入しました。

処置: 介入しないでください。

原因: 使用中トーン: リモート・エンドが使用中です。

処置: 後で再度試みます (ルーターで自動的に行うべきです)。

原因: ダイアル音なし: 電話ネットワークが応答しません。

処置: リンクを修理します。サービス会社に連絡してください。

原因: 番号が格納されていません。

処置: サービス技術員に連絡してください。対応するコマンドを使用していません。

原因: 応答トーン無し: リモート装置が応答トーンを出しませんでした。

処置: コールされた番号を調べ、リモート装置がオンラインかどうか確認します。

原因: リング・トーン (ただし、無応答)

処置: コールされた番号を調べ、リモート装置がオンラインかどうか確認します。

V34.017

レベル: C-INFO

短構文: V34.017 Indctn Message st state nt network ID

長構文: V34.017 DCE sent Message in state state, on network network ID.

説明: コーリング装置がルーターの要求を受け入れたか、コールの接続中であるか、いずれかです。これは正常な事象です。ただし、特定の DCE によって必ずしも常に報告されるとは限らないようです。

V34.018

レベル: UE-ERROR

短構文: V34.018 Dlyd Cll ind delaytime minutes nt network ID

長構文: V34.018 DCE indicates Call Delayed for delaytime minutes on network network ID.

説明: コーリング装置 (DCE) が、少なくとも指示した時間新たな発信コールをしないことを示しています。これは、ある種の DCE のある種の管理用任意選択機能で、短期間の高頻度のコールを禁止します。直前のログ項目を検査し、大量のコールが行われている理由を判別します。

原因: 特定のあて先に対する接続は継続してクリアされています。

処置: ゲートウェイ・メッセージを検査し、呼び出しがアイドルにされている (アイドル期間を延長) か、検証プロシージャが失敗している (両端でコーリング番号を検査) か判別します。

原因: 無応答のリモート DCE

処置: コールされた番号を調べ、リモート DCE がオンラインかどうか確認します。

原因: リモート装置が使用中

処置: そのあて先に対するコール再試行タイムアウトを延ばします。

V34.019

レベル: UE-ERROR

短構文: V34.019 No Bf Cll nt network ID

長構文: V34.019 Buffer unavailable for connection request on network network ID.

説明: ハンドラーは、DCE に "接続要求" を送信するためにバッファを必要とするが、それを獲得できませんでした。コールは失敗します。ルーターは後でコールを再開する必要があります。

V34.020

レベル: UE-ERROR

短構文: V34.020 Bd Sts CRN Tx 0x status nt network ID

長構文: V34.020 Bad transmit status (0x status) for CRN network network ID.

説明: ドライバーは、コール・リクエスト (CRN) を送信しようとする際に不良送信状況を報告します。

V34.021

レベル: C-INFO

短構文: V34.021 Set DSS DSS nt network ID

長構文: V34.021 Set output signals DSS on network network ID

説明: ルーターは、先行する事象の応答として出力データ・セット信号を変更しています。(DTR = V.24 回線 108/2 および RTS = V.24 回線 105)

V34.022

レベル: CI-ERROR

短構文: V34.022 no bfr avl action nt network ID

長構文: V34.022 no buffer available for action network network ID

説明: ハードウェア固有のインターフェース・コードが、指定されたアクションを実行するためにパケット・バッファを必要としたとき、使用可能なパケット・バッファがありませんでした。

V34.023

レベル: U-INFO

短構文: V34.023 Slftst OK nt network ID

長構文: V34.023 Selftest completed successfully on network network ID

説明: ルーターとモデム間の接続の自己検査が成功しました。

V34.024

レベル: C-INFO

短構文: V34.024 Tx CRN *destination nt network ID*

長構文: V34.024 Sending Dial command for call to *destination on network network ID*

説明: モデムは現在実際に V.34 コマンドを受信できる状態なので、ダイヤルしたい電話番号をモデムに送信中です。

V34.025

レベル: C-INFO

短構文: V34.025 Clnt CR *destination nt network ID*

長構文: V34.025 Client connection request to *destination on network network ID*

説明: クライアント (たとえば、ダイヤル回線または WAN 復元) が指定されたアドレスに接続要求を行ないました。

V34.026

レベル: C-INFO

短構文: V34.026 Clnt CR blkcd *destination nt network ID*

長構文: V34.026 Client connection request on busy interface to *destination on network network ID*

説明: クライアント (たとえば、ダイヤル回線または WAN 復元) は接続を開始しようとしていますが、基本ネットワークが使用中です。

V34.027

レベル: C-INFO

短構文: V34.027 Out Call *destination cmp T= time nt network ID*

長構文: V34.027 Client connection established to *destination in time seconds on network network ID*

説明: ローカル・クライアント (たとえば、ダイヤル回線または WAN 復元) により指定されたアドレスに要求された接続は、指定された時間で確立されました。オペレーターはこの値を使用して、構成済み接続タイムアウトを調整することができます。

V34.028

レベル: ALWAYS

短構文: V34.028 Bad drct Tx prot *Protocol*, pls remap to dial circuit on nt *network ID*

長構文: V34.028 Some forwarder (*Protocol*) has attempted to transmit directly over the V.34 network *network ID*

説明: V.34 ネットワーク上での送信は、対応するダイヤル回線経由で行われ、したがって、適切なカプセル化が行われるというのは、想定でしかありません。これは転送機能の構成における誤りが原因です。転送機能はいずれも、V.34 ネットワークを使用する構成であってはなりません。これらメッセージの多数をまとめて、実際の事象の一部だけがログに記録されます。

原因: 転送機能 (IP、IPX など) アドレスが V.34 インターフェースに割り当てられました。

処置: アドレスを削除し、ダイヤル回線 (それ自体は V.34 ネットワークにマップされます) にアドレスを再割り当てすることになると考えられます。

原因: ブリッジまたは他の転送機能が V.34 インターフェースを使用する構成になっています。

処置: ブリッジまたは転送機能によって使用されるポートとしての V.34 インターフェースを除去します。

V34.029

レベル: UE_ERROR

短構文: V34.029 V34 escape and hangup command, *hangup_string*, not recognized by modem on nt *netnum*

長構文: V34.029 V34 escape and hangup command, *hangup_string*, not recognized by modem on nt *netnum*

説明: V34 初期化 FSM によって送信されたエスケープ・シーケンスおよびハングアップ・コマンドを、モデムが認識しませんでした。

原因: 構成されたハングアップ・ストリングが間違っています。

処置: インターフェースに接続されている特定のモデム用として、正しいハングアップ・ストリングを調べてください。何も指定されていない場合は、ATH がデフォルトです。

V34.030

レベル: UE_ERROR

短構文: V34.030 V34 reset command, *reset_string*, not recognized by modem on nt *netnum*

長構文: V34.030 V34 reset command, *reset_string*, not

recognized by modem on nt *netnum*

説明: V34 初期化 FSM によって送信されたりリセット・コマンドを、モデムが認識しませんでした。

原因: 構成されたりリセット・ストリングが間違っています。

処置: インターフェースに接続されている特定のモデム用として、正しいリセット・ストリングを調べてください。何も指定されていない場合は、ATZ がデフォルトです。

V34.031

レベル: UE_ERROR

短構文: V34.031 V34 factory defaults command, *factory_string*, not recognized by modem on nt *netnum*

長構文: V34.031 V34 factory defaults command, *factory_string*, not recognized by modem on nt *netnum*

説明: V34 初期化 FSM によって送信されたファクトリー・デフォルト設定コマンドを、モデムが認識しませんでした。

原因: 構成されたファクトリー・デフォルト・ストリングが間違っています。

処置: インターフェースに接続されている特定のモデム用として、正しいファクトリー・デフォルト・ストリングを調べてください。デフォルトは AT&F です。

V34.032

レベル: UE_ERROR

短構文: V34.032 V34 init command, *init_string*, not recognized by modem on nt *netnum*

長構文: V34.032 V34 init command, *init_string*, not recognized by modem on nt *netnum*

説明: V34 初期化 FSM によって送信された初期化ストリング・コマンドを、モデムが認識しませんでした。

原因: 構成された初期化ストリングが間違っています。

処置: インターフェースに接続されている特定のモデム用として、正しい初期化ストリングを調べてください。何も指定されない場合は、at&f&s1l1&d2&c1x3 がデフォルトです。

V34.033

レベル: UE_ERROR

短構文: V34.033 V34 initialization failed on nt *network ID*

長構文: V34.033 V34 initialization failed on net *network ID*

説明: V34 モデム初期化アルゴリズムが失敗しました。

原因: DCE が CTS を上げるのに失敗したか、あるいは ATZ、AT&F または構成可能なモデム初期化ストリングに OK を送りませんでした。

処置: インターフェースに接続されている特定のモデム用として、正しい初期化ストリングを調べてください。何も指定されない場合は、at&f&s1l1&d2&c1x3 がデフォルトです。

V34.034

レベル: CE_ERROR

短構文: V34.034 slf tst failed, mdm sts: CTS = *cts*, DSR = *dsr*, DCD = *dcd*, nt *network ID*

長構文: V34.034 Self test failed because of modem status: CTS = *cts*, DSR = *dsr*, DCD = *dcd*, network *network ID*

説明: 少なくとも1つのモデム信号がオフであったために、インターフェースの自己検査が失敗しました。モデム信号の現在の状態が ELS メッセージに示されています。モデム信号の正常な状態は、V34 接続の場合は、CTS=ON、DSR=ON、および DCD=OFF です。

原因: ケーブルがモデムに接続されていません。

処置: ケーブルを接続してください。

原因: モデムの電源が入っていません。

処置: モデムの電源を入れてください。

原因: モデム回線の相手側が正しく接続されていません (特に、DCD OFF)。

処置: モデムの問題を解決してください。

V34.035

レベル: CE_ERROR

短構文: V34.035 int dwn due to mdm sts: CTS = *cts*, DSR = *dsr*, DCD = *dcd*, nt *network ID*

長構文: V34.035 Interface down because of modem status: CTS = *cts*, DSR = *dsr*, DCD = *dcd*, network *network ID*

説明: モデムの信号の1つがオフになったので、インターフェースがダウンしました。モデム信号の正常な状態は、V34 の場合は、CTS=ON、DSR=ON、および DCD=ON です。

V34.036

レベル: C-INFO

短構文: V34.036 Modem status change CTS = *cts*, DSR = *dsr*, DCD = *dcd*, nt *network ID*

長構文: V34.036 Modem status change CTS = *cts*, DSR

= *dsr*, DCD = *dcd*, on network *network ID*

説明: モデム状況の変更が発生しました。モデム信号の現在の状態が ELS メッセージに示されています。モデム信号の正常な状態は、CTS=ON、DSR=ON、および DCD=ON です。

V34.037

レベル: C-INFO

短構文: V34.037 Cll dscnct from ISDN cll hndlr nt *network ID*

長構文: V34.037 Call disconnect from ISDN call handler on network *network ID*

説明: ISDN コール・ハンドラーが、指定のネットワークのコールの終了を通知しました。これは通常のコールの終了の場合もありますが、ハードウェア障害を通知している可能性もあります。

V34.038

レベル: U-INFO

短構文: V34.038 No nt to receive call.

長構文: V34.038 No net available or able to receive incoming call.

説明: 着信コールが検出されましたが、コールを受信するために利用可能な、または構成されたネットがありません。構成を検査して、着信コールを受信するための十分なネットが定義されていることを確認してください。

V34.039

レベル: UI-ERROR

短構文: V34.039 CML call remap to non-existent PPP dial circuit on nt *network ID*

長構文: V34.039 CML tried to remap a call to an unregistered PPP circuit on network *network ID*

説明: CML は、現在はネットワークに登録されていないダイヤル回線にコールを再マップしようとしてしました。このネットワーク・インターフェース上のダイヤル回線が正しく構成されていることを確認してください。

V34.040

レベル: C-INFO

短構文: V34.040 Configured call connect timeout of *time* seconds exceeded on nt *network ID*

長構文: V34.040 The NET's configured call connect timeout of *time* seconds was exceeded on net *network ID*

説明: コール接続タイムアウトを超過しました。オペレーターは、コール完了のための時間を長くするために、構成された接続タイムアウトを増やすことができます。

V34.041

レベル: P-TRACE

短構文: V34.041 Sent modem command: *type* on nt *network ID*

長構文: V34.041 Sent modem command: *type* on net *network ID*

説明: ルーターはモデムにコマンドを送信中です。

V34.042

レベル: C-INFO

短構文: V34.042 PPP dial circuit disconnect request on nt *network ID*

長構文: V34.042 PPP dial circuit disconnect request on net *network ID*

説明: PPP ダイヤル回線が V34 に対してコールを切断するように要求しました。

V34.043

レベル: UE_ERROR

短構文: V34.043 Timeout waiting for DCE to raise CTS on nt *network ID*

長構文: V34.043 Timeout waiting for DCE to raise CTS on net *network ID*

説明: ルーターが DTR 信号を上げましたが、DCE は応答可能な時間内に CTS を上げませんでした。

原因: DCE が未接続、電源オフ、動作不能、または非 V.34 準拠です。

処置: ケーブルを接続し、DCE の構成と電源を検査してください。

V34.044

レベル: UE_ERROR

短構文: V34.044 Timeout waiting for OK response from DCE on nt *network ID*

長構文: V34.044 Timeout waiting for OK response from DCE on net *network ID*

説明: ルーターは DCE に AT コマンドを送信しましたが、OK の応答を受け取りませんでした。送信されたコマンドは、ATZ、AT&F、および構成可能なモデム初期化文字列です。

原因: DCE が未接続、電源オフ、動作不能、または非 V.34 準拠です。

処置: ケーブルを接続し、DCE の構成と電源を検査してください。モデムの電源をオフ/オンにします。

第118章 Web サーバー・キャッシュ - コア (WEBC)

この章では、Web サーバー・キャッシュ - コア (WEBC) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

WEBC.001

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.001 Partition *partition* initialized successfully

長構文: WEBC.001 Partition *partition* initialized successfully

説明: 新規のキャッシュ区画が作成されました。

WEBC.002

レベル: CI-ERROR

短構文: WEBC.002 Partition *partition* initialization failed.
reason

長構文: WEBC.002 Partition *partition* initialization failed.
reason

説明: 示されている理由で、キャッシュ区画は作成されませんでした。

WEBC.003

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.003 Handle 0x *handle* obtained for partition
partition

長構文: WEBC.003 Handle 0x *handle* obtained for partition
partition

説明: 指定の区画のキャッシュ・ハンドルが獲得されました。

WEBC.004

レベル: CI-ERROR

短構文: WEBC.004 Unable to obtain handle for partition
partition. *reason*

長構文: WEBC.004 Unable to obtain handle for partition
partition. *reason*

説明: 示されている理由で、キャッシュ・ハンドルは許可されませんでした。

WEBC.005

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.005 Item added to partition *partition*

長構文: WEBC.005 Item added to partition *partition*

説明: 指定の区画にキャッシュ項目が追加されました。

WEBC.006

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.006 Item not added to partition *partition*

長構文: WEBC.006 Item not added to partition *partition*

説明: 指定の区画にキャッシュ項目は追加されませんでした。検査に合格しませんでした。

WEBC.007

レベル: CI-ERROR

短構文: WEBC.007 Item not added to partition *partition*.
reason

長構文: WEBC.007 Item not added to partition *partition*.
reason

説明: 示されている理由で、指定の区画にキャッシュ項目は追加されませんでした。

WEBC.008

レベル: UI-ERROR

短構文: WEBC.008 Item not added to partition *partition*.
RC=0x *retcode*

長構文: WEBC.008 Item not added to partition *partition*.
RC=0x *retcode*

説明: 指定の区画にキャッシュ項目は追加されませんでした。

WEBC.009

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.009 Item deleted from partition *partition*

長構文: WEBC.009 Item deleted from partition *partition*

説明: 指定の区画からキャッシュ項目が削除されました。

WEBC.010

レベル: CI-ERROR

短構文: WEBC.010 Item not deleted from partition *partition*.
reason

長構文: WEBC.010 Item not deleted from partition *partition*.
reason

説明: 示されている理由で、指定の区画からキャッシュ項目は削除されませんでした。

WEBC.011

レベル: UI-ERROR

短構文: WEBC.011 Item not added to partition *partition*.
RC=0x *retcode*

長構文: WEBC.011 Item not added to partition *partition*.
RC=0x *retcode*

説明: 指定の区画にキャッシュ項目は追加されませんでした。

WEBC.012

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.012 Partition *partition* being purged...

長構文: WEBC.012 Partition *partition* being purged...

説明: キャッシュ区画からすべてのキャッシュ項目を除去中です。

WEBC.013

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.013 Partition *partition* purge complete

長構文: WEBC.013 Partition *partition* purge complete

説明: キャッシュ区画からすべてのキャッシュ項目が除去されました。

WEBC.014

レベル: CI-ERROR

短構文: WEBC.014 Partition *partition* not purged. *reason*

長構文: WEBC.014 Partition *partition* not purged. *reason*

説明: 示されている理由で、キャッシュ区画はパージされませんでした。

WEBC.015

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.015 Item found in partition *partition*

長構文: WEBC.015 Item found in partition *partition*

説明: 指定の区画でキャッシュ項目が見付かりました。

WEBC.016

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.016 Item not found in partition *partition*

長構文: WEBC.016 Item not found in partition *partition*

説明: 指定の区画でキャッシュ項目が見付かりませんでした。

WEBC.017

レベル: CI-ERROR

短構文: WEBC.017 Item not found in partition *partition*.
reason

長構文: WEBC.017 Item not found in partition *partition*.
reason

説明: 示されている理由で、指定の区画でキャッシュ項目が見付かりませんでした。

WEBC.018

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.018 Handle 0x *handle* retired

長構文: WEBC.018 Handle 0x *handle* retired

説明: キャッシュ・ハンドルの使用が終了しました。

WEBC.019

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.019 Partition *partition* being terminated...

長構文: WEBC.019 Partition *partition* being terminated...

説明: キャッシュ区画を終了中です。

WEBC.020

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.020 Partition *partition* termination complete

長構文: WEBC.020 Partition *partition* termination complete

説明: キャッシュ区画が終了しました。

WEBC.021

レベル: CI-ERROR

短構文: WEBC.021 Partition *partition* not terminated. *reason*

長構文: WEBC.021 Partition *partition* not terminated. *reason*

説明: 示されている理由で、キャッシュ区画は終了しませんでした。

WEBC.022

レベル: UI-ERROR

短構文: WEBC.022 Garbage collection detected state *state* for partition *partition*

長構文: WEBC.022 Garbage collection detected state *state* for partition *partition*

説明: 不要情報収集ルーチンが、リストされている区画の不明状態を検出しました。不要情報収集は停止します。

WEBC.023

レベル: CI-ERROR

短構文: WEBC.023 Partition *partition* init failed. RC=0x *retcode*

長構文: WEBC.023 Partition *partition* initialization failed. Return code=0x *retcode*

説明: Web サーバー・キャッシュ区画が定義されましたが、初期化できません。

WEBC.024

レベル: CI-ERROR

短構文: WEBC.024 Proxy init failed for partition *partition*. RC=0x *retcode*

長構文: WEBC.024 Proxy initialization failed for partition *partition*. Return code=0x *retcode*

説明: Web サーバー・キャッシュ HTTP プロキシを定義することができません。

WEBC.025

レベル: CI-ERROR

短構文: WEBC.025 ECC Manager init failed. RC=0x *retcode*

長構文: WEBC.025 ECC Manager initialization failed. Return Code=0x *retcode*

説明: 外部キャッシュ管理プログラムの初期化に失敗しました。

WEBC.026

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.026 0x *bytecnt* bytes of heap storage are available for Web Server cache

長構文: WEBC.026 0x *bytecnt* bytes of heap storage are available for Web Server cache

説明: Web サーバー・キャッシュ機能が利用可能なヒープ記憶域の合計量を提示します。

WEBC.027

レベル: UE-ERROR

短構文: WEBC.027 Insufficient heap storage (0x *bytecnt* bytes) to run Web Server cache

長構文: WEBC.027 Insufficient heap storage (0x *bytecnt* bytes) to run Web Server cache

説明: Web サーバー・キャッシュ機能を有効に実行できるだけの十分なヒープ記憶域が定義されていません。重大な記憶域の問題が発生する可能性があります。

第119章 Web サーバー・キャッシュ - HTTP プロキシ (WEBH)

この章では、Web サーバー・キャッシュ - HTTP プロキシ (WEBH) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

WEBH.001

レベル: UE-ERROR

短構文: WEBH.001 No Storage for HTTP Proxy(cluster *cluster port port*)

長構文: WEBH.001 No Storage for HTTP Proxy(cluster *cluster port port*)

説明: HTTP プロキシは、必要な記憶域を入手することができませんでした。

WEBH.002

レベル: UE-ERROR

短構文: WEBH.002 Parsing error for HTTP Proxy(cluster *cluster port port*) conn (*connection*)

長構文: WEBH.002 Parsing error for HTTP Proxy(cluster *cluster port port*) connection (*connection*)

説明: HTTP プロキシ構文解析プログラムがデータを解析することができませんでした。解析されていた TCP セグメントについては、事象 WEBH_8 を参照してください。

WEBH.003

レベル: UE-ERROR

短構文: WEBH.003 HTTP Proxy (cluster *cluster port port*) conn (*connection*) could not get additional segment descriptor from TCP

長構文: WEBH.003 HTTP Proxy (cluster *cluster port port*) connection (*connection*) could not get additional segment descriptor from TCP

説明: HTTP プロキシは、TCP からデータ・ブロックの追加セグメント記述子入手できませんでした。

WEBH.004

レベル: UE-ERROR

短構文: WEBH.004 HTTP Proxy(cluster *cluster port port*) partition (*partition*) conn (*connection*) went to tunneling

長構文: WEBH.004 HTTP Proxy(cluster *cluster port port*)

partition (*partition*) connection (*connection*) went to tunneling

説明: HTTP プロキシは、接続を通知するためにトンネル伝送しました。

WEBH.005

レベル: UE-ERROR

短構文: WEBH.005 HTTP Proxy(cluster *cluster port port*) conn (*connection*) receive a non HTTP message

長構文: WEBH.005 HTTP Proxy(cluster *cluster port port*) connection (*connection*) receive a non HTTP message

説明: HTTP は、メッセージが HTTP でなかったために解析することができませんでした。

WEBH.006

レベル: UE-ERROR

短構文: WEBH.006 HTTP Proxy(cluster *cluster port port*) conn (*connection*) received a boundary that was too big

長構文: WEBH.006 HTTP Proxy(cluster *cluster port port*) connection (*connection*) received a boundary that was too big

説明: HTTP プロキシは、複数パーツ / バイト範囲の境界がこのボックスでサポートされるサイズより大きいために、メッセージを解析することができませんでした。

WEBH.007

レベル: UE-ERROR

短構文: WEBH.007 HTTP Proxy(cluster *cluster port port*) conn (*connection*) received unsupported transfer-encoding

長構文: WEBH.007 HTTP Proxy(cluster *cluster port port*) connection (*connection*) received unsupported transfer-encoding

説明: HTTP プロキシは、使用されている転送符号化がサポートされないために、メッセージを解析することができませんでした。

WEBH.008

レベル: P-TRACE

短構文: WEBH.008 *string*

長構文: WEBH.008 *string*

説明: セグメントのダンプ。ダンプされている理由については、他のメッセージを参照してください。

WEBH.009

レベル: P-TRACE

短構文: WEBH.009 HTTP Proxy(cluster *cluster* port *port*) conn (*connection*) new req being parsed

長構文: WEBH.009 HTTP Proxy(cluster *cluster* port *port*) connection (*connection*) new request being parser

説明: HTTP プロキシ構文解析プログラムは、新規の要求の解析を開始しようとしています。

WEBH.010

レベル: P-TRACE

短構文: WEBH.010 HTTP Proxy(cluster *cluster* port *port*) conn (*connection*) new resp being parsed

長構文: WEBH.010 HTTP Proxy(cluster *cluster* port *port*) connection (*connection*) new response being parsed

説明: HTTP プロキシ構文解析プログラムは、新規の応答の解析を開始しています。

WEBH.011

レベル: U-TRACE

短構文: WEBH.011 HTTP Proxy(cluster *cluster* port *port*) partition (*partition*) conn (*connection*) not caching rsp because *string*

長構文: WEBH.011 HTTP Proxy(cluster *cluster* port *port*) partition (*partition*) connection (*connection*) not caching rsp because *string*

説明: HTTP プロキシ構文解析プログラムは、応答をキャッシュしません (理由については、テキストを参照してください)。

WEBH.012

レベル: U-TRACE

短構文: WEBH.012 HTTP Proxy(cluster *cluster* port *port*) partition (*partition*) conn (*connection*) not using cache because *string*

長構文: WEBH.012 HTTP Proxy(cluster *cluster* port *port*)

partition (*partition*) connection (*connection*) not using cache because *string*

説明: HTTP プロキシ構文解析プログラム/キャッシュは、要求を満たすためにキャッシュを使用していません (理由については、テキストを参照してください)。

WEBH.013

レベル: C-INFO

短構文: WEBH.013 HTTP Proxy(cluster *cluster* port *port*) partition (*partition*) started

長構文: WEBH.013 HTTP Proxy(cluster *cluster* port *port*) partition (*partition*) started

説明: 指定のクラスターとポートの HTTP プロキシが開始されました。

WEBH.014

レベル: C-INFO

短構文: WEBH.014 HTTP Proxy(cluster *cluster* port *port*) partition (*partition*) ended

長構文: WEBH.014 HTTP Proxy(cluster *cluster* port *port*) partition (*partition*) ended

説明: 指定のクラスターとポートの HTTP プロキシが終了しました。

WEBH.015

レベル: C-INFO

短構文: WEBH.015 Conn (*connection*) HTTP Proxy(cluster *cluster* port *port*) partition (*partition*) opened

長構文: WEBH.015 Connection (*connection*) HTTP Proxy(cluster *cluster* port *port*) partition (*partition*) opened

説明: 指定のクラスターとポートの HTTP プロキシ接続が開始されました。

WEBH.016

レベル: C-INFO

短構文: WEBH.016 Conn (*connection*) HTTP Proxy(cluster *cluster* port *port*) partition (*partition*) closed

長構文: WEBH.016 Connection (*connection*) HTTP Proxy(cluster *cluster* port *port*) partition (*partition*) closed

説明: 指定のクラスターとポートの HTTP プロキシ接続がクローズされました。

WEBH.017

レベル: C-INFO

短構文: WEBH.017 Client connection *connection* accepted
as Socket *socket*

長構文: WEBH.017 Client connection *connection* accepted
as Socket *socket*

説明: クライアントは新規の接続を開始しました。

WEBH.018

レベル: C-INFO

短構文: WEBH.018 Server connection *connection* completed
as Socket *socket*

長構文: WEBH.018 Server connection *connection* completed
as Socket *socket*

説明: サーバーへの新規の接続が開始されました。

WEBH.019

レベル: UE-ERROR

短構文: WEBH.019 CONNECTING_TO_SERVER is
unexpected (socket *socket* state 0x *state*)

長構文: WEBH.019 CONNECTING TO SERVER is
unexpected (socket *socket* state 0x *state*)

説明: 一時的な CONNECTING_TO_SERVER 状態は、こ
こでは予期されないものです。

第120章 WAN 復元システム (WRS)

この章では、WAN 復元システム (WRS) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

WRS.001

レベル: C-INFO

短構文: WRS.001 Primary net *network ID* switching to secondary net *network ID*

長構文: WRS.001 Primary interface number *network ID* switching to secondary interface number *network ID*

説明: 1 次インターフェースが、2 次回線を通して復元中です。

WRS.002

レベル: C-INFO

短構文: WRS.002 Primary net *network ID* restored on secondary net *network ID*

長構文: WRS.002 Primary interface number *network ID* restored on secondary interface number *network ID*

説明: 1 次インターフェースが、2 次回線を通して復元されました。

WRS.004

レベル: C-INFO

短構文: WRS.004 Secondary net *network ID* switching back to primary net *network ID*

長構文: WRS.004 Secondary interface number *network ID* switching back to primary interface number *network ID*

説明: 2 次インターフェースが、2 次回線を通して復元中です。

WRS.006

レベル: C-INFO

短構文: WRS.006 Switch to sec net *network ID* averted pri net *network ID* disabled

長構文: WRS.006 Switch to secondary interface number *network ID* averted primary interface number *network ID* disabled

説明: 2 次インターフェースへの切り替えが放棄され、1 次インターフェースは使用不可になっています。

WRS.007

レベル: C-INFO

短構文: WRS.007 Secondary net *network ID* failed resort to primary net *network ID*

長構文: WRS.007 Secondary interface number *network ID* resorting back to primary interface number *network ID*

説明: 2 次インターフェースがダウンしたので、切り替えによって 1 次回線に戻りました。

WRS.008

レベル: C-INFO

短構文: WRS.008 Sec net *network ID* swt to AVL; pri net *network ID* bck ONL

長構文: WRS.008 Secondary net number *network ID* switch to AVAILABLE; primary net number *network ID* back ONLINE

説明: 2 次インターフェースへの切り替えが放棄され、1 次がそのまま活動状態でオンラインになっています。

WRS.009

レベル: C-TRACE

短構文: WRS.009 Packet forwarded pri net *network ID* onto sec net *network ID*

長構文: WRS.009 Packet forwarded from the primary interface number *network ID* onto the secondary interface number *network ID*

説明: 1 次インターフェースから 2 次インターフェースに、パケットが転送されました。

WRS.010

レベル: C-TRACE

短構文: WRS.010 Packet received on pri net *network ID* from sec net *network ID*

長構文: WRS.010 Packet received on primary interface number *network ID* from secondary interface number *network ID*

説明: 2 次インターフェースから 1 次インターフェース

へのパケットを受信しました。

WRS.012

レベル: C-TRACE

短構文: WRS.012 Unable to forward pri net *network ID* onto sec net *network ID*

長構文: WRS.012 Packet forwarded from the primary interface number *network ID* onto the secondary interface number failed *network ID*

説明: 1 次インターフェースから 2 次インターフェースに、パケットを転送することができません。

WRS.013

レベル: C-INFO

短構文: WRS.013 Switch to sec net *network ID* aborted, sec restoral disabled

長構文: WRS.013 Switch to secondary interface number *network ID* aborted secondary restoral disabled

説明: 2 次インターフェースへの切り替えが放棄され、2 次復元は使用不可になっています。

WRS.022

レベル: UE-ERROR

短構文: WRS.022 Protocol initialization on sec ignored, prot = *type* on nt *network ID*

長構文: WRS.022 Protocol initialization on secondary ignored, protocol = *type* on *network network ID*

説明: 2 次回線で無効なプロトコルが構成されました。

原因: ソフトウェア構成が古くなっています。サービス技術員に連絡してください。

WRS.023

レベル: UE-ERROR

短構文: WRS.023 Sec int disabled, mismatch datalink nt *network ID*

長構文: WRS.023 Secondary interface disabled, mismatched datalink *type network network ID*

説明: 2 次インターフェース上で構成されたデータ・リンク・タイプに不一致がありました。データ・リンク・タイプは 1 次インターフェースと一致していなければなりません。

WRS.024

レベル: C-INFO

短構文: WRS.024 Perform n_up for net *network ID*

長構文: WRS.024 Perform deferred net-up for interface number *network ID*

説明: 指定された 1 次インターフェースが、構成済みの安定化期間の間、継続的にアップ状態でした。そのため、ルーターはネットアップ通知の遅延を知らせます。

WRS.025

レベル: C-INFO

短構文: WRS.025 Reroute pri *network ID* alt *network ID*

長構文: WRS.025 Begin rerouting for primary *network ID* using alternate *network ID*

説明: 指定された 1 次インターフェースがダウンした(または、構成された最初の安定化期間内にアップにならなかった)ので、ルーターは代替をアップにして、再ルーティング・サービスを提供します。

WRS.026

レベル: C-INFO

短構文: WRS.026 End reroute pri *network ID* alt *network ID*

長構文: WRS.026 End rerouting for primary *network ID* using alternate *network ID*

説明: 指定された 1 次インターフェースは、代替の再ルーティング・サービスを必要としなくなりました。他に代替のサービスを必要とする 1 次インターフェースがない場合は、ルーターは代替を再ルーティング用としてアップにする以前の状態に復元します。

WRS.027

レベル: C-INFO

短構文: WRS.027 Queue deferred n_up for pri *network ID*

長構文: WRS.027 Queue deferred net-up for interface number *network ID*

説明: 指定された 1 次インターフェースはアップ状態になりましたが、ルーターは、構成済みの安定化期間の間だけネットアップ通知を遅らせます。

WRS.028

レベル: C-INFO

短構文: WRS.028 Queue delayed n_up for pri network ID

長構文: WRS.028 Queue delayed net-up for interface number network ID

説明: 指定された 1 次インターフェースはアップになりましたが、構成された時刻復帰開始時刻まで、ルーターはネットアップ通知を遅らせました。安定化期間 (構成済みの場合) は、すでに経過しました。

WRS.029

レベル: C-INFO

短構文: WRS.029 Dial-ofl switch some prots pri network ID alt network ID

長構文: WRS.029 Dial-on-overflow switching some protocols from primary network ID to alternate network ID

説明: ダイヤルオン・オーバーフロー追加しきい値を超え、定義済みプロトコルが代替インターフェースに切り替えられている最中です。

WRS.030

レベル: C-TRACE

短構文: WRS.030 Dial-ofl traffic pri network ID sp speed add add-count drp drop-count in: in-count out: out-count

長構文: WRS.030 Dial-on-overflow sample traffic primary network ID speed speed add-count add-count drop-count drop-count in-count: in-count out-count: out-count

説明: ダイヤルオン・オーバーフロー機能は、超過したのが追加しきい値か除去しきい値かを判別するために、1 次リンク上のトラフィックをサンプリング中です。構成されたリンク速度、代替の追加または除去のしきい値カウンント、および直前の時間間隔中の実際の着信および発信のカウントが報告されます。

WRS.031

レベル: C-INFO

短構文: WRS.031 Dial-ofl not enabled pri network ID wrong dta lnk type

長構文: WRS.031 Dial-on-overflow not enabled primary network ID wrong primary data link type

説明: データ・リンク・タイプがダイヤルオン・オーバーフローでは無効の 1 次リンク用として、ダイヤルオン・オーバーフローが構成されました。

WRS.032

レベル: C-INFO

短構文: WRS.032 Dial-ofl pri network ID alt network ID min alt up time sec sec exprd

長構文: WRS.032 Dial-on-overflow primary network ID alternate network ID minimum alternate up time sec seconds expired

説明: 指定された 1 次/代替ペアの最小ダイヤルオン・オーバーフロー代替アップ時間が満了となりました。ダイヤルオン・オーバーフロー・プロトコルは切り替えられて 1 次リンクに戻ります。

WRS.033

レベル: C-INFO

短構文: WRS.033 WRR alt network ID down, was rerouting for pri network ID

長構文: WRS.033 Wan reroute alternate link network ID has been marked down, was rerouting for primary network ID

説明: 指定された 1 次に関して能動的にトラフィックの再ルーティング中であった WAN 再ルーティング代替リンクが、ダウンとマークされました。

Panic wrsimem

短構文: WAN restoral initialization failed, no memory.

説明: WAN 復元初期化が、初期化を完了するために十分な記憶域を割り振ることができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

第121章 Xerox ネットワーク・コア (XN)

この章では、Xerox ネットワーク・コア (XN) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

XN.001

レベル: UE-ERROR

短構文: XN.001 *protocol trunc pkt frm source_net/ source_node, xns length phys length*

長構文: XN.001 *protocol truncated packet from source_net/ source_node; xns length, physical length*

説明: このメッセージが生成されるのは、パケットにパケットの物理長さより長い XNS パケット長がある場合です。

原因: リモート・ノード内のプログラミング・エラー。ネットワークによる切り捨て。

XN.004

レベル: UE-ERROR

短構文: XN.004 *protocol hop cnt ovflo frm source_net/ source_node to destination_net*

長構文: XN.004 *protocol hop count overflow from source_net/ source_node to destination_net*

説明: このメッセージは、パケットのホップ・カウントが 15 を超えてしまい、オーバーフローした場合に生成されます。エラー (ホップ・カウント) パケットが送信されます。

XN.005

レベル: CE-ERROR

短構文: XN.005 *protocol no gwy frm source_net/ source_node to destination_net*

長構文: XN.005 *protocol no gateway from source_net/ source_node to destination_net*

説明: このメッセージは、あて先ネットワークへのゲートウェイがないためにパケットを送信できない場合に生成されます。エラー (到達不能) パケットが送信されます。

XN.007

レベル: UE-ERROR

短構文: XN.007 *protocol dst hst 0 frm source_net/*

source_node to destination_net

長構文: XN.007 *protocol destination host 0 from source_net/ source_node to destination_net*

説明: このメッセージは、パケットがノード 000000000000 にアドレス指定された場合に生成されます。これは不正なホスト・アドレスです。エラー (チェックサム) パケットが送信されます。

XN.008

レベル: P-TRACE

短構文: XN.008 *protocol source_net/ source_node -> dest_net/ dest_node*

長構文: XN.008 *protocol Packet received from source_net/ source_node for dest_net/ dest_node*

説明: このメッセージは、パケットが転送されたときに生成されます。

XN.009

レベル: UE-ERROR

短構文: XN.009 *protocol pkt too lng to frwd pkt_size > max_size nt output network ID frm source_net/ source_node*

長構文: XN.009 *protocol packet too long to forward pkt_size > max_size net output network ID from source_net/ source_node*

説明: このメッセージは、転送されたパケットが長過ぎて、それを必要なインターフェースから送り出すことができない場合に生成されます。エラー (サイズ) パケットが送信されます。

XN.010

レベル: UI-ERROR

短構文: XN.010 *protocol type frm source_net/ source_node for dest_net/ dest_node dsc, rsn code*

長構文: XN.010 *protocol type from source_net/ source_node for dest_net/ dest_node discarded for reason code*

説明: エラー・コードで示されている理由により、出力パケットが正常に転送されませんでした。

XN.011

レベル: C-INFO

短構文: XN.011 *protocol intrfc network/ node nt network ID up*

長構文: XN.011 *protocol interface network/ node net network ID up*

説明: 指定されたインターフェースがアップ状態になり、指定された XNS プロトコル用に使用可能になっています。

XN.012

レベル: U-INFO

短構文: XN.012 *protocol del nt destination_net rt via gateway nt network ID*

長構文: XN.012 *protocol deleted net destination_net route via gateway net network ID*

説明: 指定されたルートが、そのルートの最初のホップ・インターフェースがダウンしたために、削除されました。

原因: インターフェースのダウン

処置: ネットワークを修正します。

XN.013

レベル: UI-ERROR

短構文: XN.013 *protocol tbl ovrl, dst destination_net*

長構文: XN.013 *protocol Table overflow, destination destination_net*

説明: このメッセージは、ルーティング・テーブルがすでに満杯のために、そのテーブルに新しい項目を作成できない場合に生成されます。

原因: ルーティング・テーブルが小さ過ぎます。

処置: このプロトコルのルーティング・テーブルのサイズを大きくします。

XN.014

レベル: C-INFO

短構文: XN.014 *protocol echo typ operation to skt socket frm source_net/ source_node*

長構文: XN.014 *protocol Echo type operation to socket socket from source_net/ source_node*

説明: 指定されたソケットに対する指定された操作を含む、エコー・タイプのパケットを受信しました。

XN.015

レベル: UE-ERROR

短構文: XN.015 *protocol bd src source_net/ source_node nt network ID*

長構文: XN.015 *protocol bad source source_net/ source_node net network ID*

説明: パケットが送信側に戻されていましたが、送信側のノード・アドレスがマルチキャスト・アドレスか、不正なアドレスの 000000000000 でした。この状態は、エコー応答、エラー・パケット、または他の照会への応答を送信するときに起こります。パケットは廃棄されます。

XN.016

レベル: UE-ERROR

短構文: XN.016 *protocol bad net 0 source_net/ source_node-> dest_net/ dest_node*

長構文: XN.016 *protocol bad source network 0 from source_net/ source_node for dest_net/ dest_node*

説明: パケットが送信側に戻されていて、その発信元ネットワークがゼロでしたが、あて先ネットワークが非ゼロでした。この状態は、エコー応答、エラー・パケット、または他の照会への応答を送信するときに起こります。パケットは廃棄されます。

XN.017

レベル: UI-ERROR

レベル: OOM

短構文: XN.017 *protocol no mem for err pkt*

長構文: XN.017 *protocol No memory for error packet*

説明: このメッセージは、誤りのあるパケットをエラー・パケットにコピーするために使用可能な記憶域がない場合に生成されます。エラー・パケットは送信されません。

XN.018

レベル: UE-ERROR

短構文: XN.018 *protocol short (length) pkt frm source_net/ source_node (?) nt network ID*

長構文: XN.018 *protocol short (length) packet from source_net/ source_node (?) net network ID*

説明: このメッセージは、パケットの物理長が、最短の 30 バイト XNS、IPX、または DDS ヘッダー長より短い場合に生成されます。切り捨ての重大度に応じて、source_net および source_node は、有効なパケット・デー

タである場合も、そうでない場合もあります。

原因: リモート・ノード内のプログラミング・エラー。
ネットワークによる切り捨て。

XN.019

レベル: C-TRACE

短構文: XN.019 *protocol chg src net to new_source_net, pkt source_net/ source_node -> dest_net/ dest_node*

長構文: XN.019 *protocol changing source network to new_source_net on packet received from source_net/ source_node for dest_net/ dest_node*

説明: このメッセージは、発信元ネットワーク番号が 0 である IPX パケットを受信したときに生成されます。ルーターはこの番号を、パケットを受信したインターフェースのネットワーク番号になるように訂正します。

XN.020

レベル: UE-ERROR

短構文: XN.020 *protocol bad src net 0, hop count hop_count, source_net/ source_node -> dest_net/ dest_node, nt network ID*

長構文: XN.020 *protocol bas source network 0 with hop count hop_count on packet received from source_net/ source_node for dest_net/ dest_node via network network ID*

説明: このメッセージは、発信元ネットワーク番号が 0 の IPX パケットを受信し、ホップ・カウント (トランスポート制御) が非ゼロである場合に生成されます。発信元ネットワーク番号は、そのネットワークがそれを受信したネットワークではないと思われるので、訂正されません。dest_node は応答することができません。

原因: これは、パケットが、転送時に発信元ネットワーク番号を訂正していない他のルーターによってすでに転送されていること、あるいは、発信元ノードが、非ゼロ・ホップ・カウントのパケットを送信したことを示します。

処置: リモート・ノードまたはルーター上のプログラミング・エラーを訂正します。

第122章 X.25 ネットワーク・インターフェース (X25)

この章では、X.25 ネットワーク・インターフェース (X25) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

X25.003

レベル: UI-ERROR

短構文: X25.003 req unkn nt *network ID*

長構文: X25.003 request unknown network index *network ID*

説明: X.25 ネットワーク・ハンドラーが、コンソール・インターフェースを介して、または転送機能の問題により、不明の要求を受信しました。要求は単に無視されます。

X25.012

レベル: CI-ERROR

短構文: X25.012 no nde addr nt *network ID*

長構文: X25.012 node address not assigned network index *network ID*

説明: X.25 ノード・アドレス割り当てが行われていないために、X.25 ネットワーク・ハンドラーが初期化を続行することができません。

X25.014

レベル: CI-ERROR

短構文: X25.014 prtcl not cnfg nt *network ID*

長構文: X25.014 protocol forwarder not configured network index *network ID*

説明: X.25 ネットワーク・ハンドラーがプロトコル事前初期化を受信しましたが、省略時構成が使用されました。プロトコルが構成されていません。

X25.017

レベル: UI-ERROR

短構文: X25.017 dev int dwn drng init nt *network ID*

長構文: X25.017 device driver constantly down during initialization network index *network ID*

説明: X.25 ネットワーク・ハンドラーは、CPU から COM-4 への初期化手順を完了するために、装置ドライバーを待っています。

処置: この状態が続く場合は、COM-4 インターフェースをリセットしてください。サービス技術員に連絡してください。

X25.026

レベル: CI-ERROR

短構文: X25.026 net int dwn nt *network ID*

長構文: X25.026 network interface went down network index *network ID*

説明: X.25 ネットワーク・ハンドラーが、ネットワーク・インターフェースがダウン状態に移行しているのを検出しました。ハンドラーは短期間モニターした後で、その状態をプロトコル転送機能に通知します。

X25.043

レベル: CI-ERROR

短構文: X25.043 PVC LCN rnge nt *network ID*

長構文: X25.043 PVC LCN lies outside configured PVC range: network *network ID*

説明: X.25 ネットワーク・ハンドラーは、構成に矛盾があるために、初期化を継続することができません。指摘されている PVC は、構成された PVC 範囲を外れています。

X25.044

レベル: CI-ERROR

短構文: X25.044 LCN overlap nt *network ID*

長構文: X25.044 One or more logical channel ranges overlap : network *network ID*

説明: X.25 ネットワーク・ハンドラーは、構成に矛盾があるために、初期化を継続することができません。構成された論理チャネル範囲がオーバーラップしています。範囲が非ゼロの場合は、以下の不等式が成り立つ必要があります。LOW-PVC <= HI-PVC < LOW-INBOUND <= HIGH-INBOUND < LOW-TWO-WAY <= HIGH-TWO-WAY < LOW-OUTBOUND <= HIGH-OUTBOUND.

X25.045

レベル: CI-ERROR

短構文: X25.045 pkt dflt > max nt *network ID*

長構文: X25.045 Packet default size greater than maximum size: network *network ID*

説明: X.25 ネットワーク・ハンドラーは、構成に矛盾があるために、初期化を継続することができません。構成された省略時パケット・サイズが、構成された最大パケット・サイズを超えています。

X25.046

レベル: UI-ERROR

短構文: X25.046 call req prot not supprtd nt *network ID*, *x25_source*-> *x25_destination* cud= *call_user_data*

長構文: X25.046 call request protocol not supported network index *network ID*, calling dte *x25_source* -> called dte *x25_destination* with call user data *call_user_data*

説明: X.25 ネットワーク・ハンドラーが受信したコール・リクエストに、サポートされないプロトコルが指示されています。

X25.051

レベル: UI-ERROR

短構文: X25.051 No heap for nt *network ID*

長構文: X25.051 Insufficient heap to complete initialization of network *network ID*

説明: X.25 ネットワークは、PVC の数、PVC 範囲のサイズ、および程度の小さいものでは、定義されるアドレスの数、使用可能なプロトコル、および SVC 範囲のサイズに基づいた量の、かなり大量のヒープ記憶域を初期化のために必要とします。この記憶域が使用可能でない場合、X.25 を実行することができません。インターフェースは、自身を使用不可にし、使用不可状態のままになります。

処置: X.25 テーブルのサイズ、またはルーター内のその他の構成可能なテーブル (ルーティング・テーブル) のサイズを減らすことを検討してください。

Panic x25intm

短構文: X25: net intf mismatch

説明: X.25 データ構造 "ネット" が X.25 関連ではありません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic x25iprt

短構文: X25: unsuppt prt drng init

説明: X.25 ネットワーク・ハンドラーが、初期化時に、サポートされないプロトコルを検出しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic x25imem

短構文: X25: mem alloc fld

説明: X.25 ネットワーク・ハンドラーが、初期化フェーズで、十分な記憶域を割り振るのに失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

Panic x25prtm

短構文: X25: prot mem alloc fld

説明: X.25 ネットワーク・ハンドラーが、プロトコルごとの初期化フェーズで、十分な記憶域を割り振るのに失敗しました。

処置: ルーターの構成を変更し、X.25 を作動させるための十分な記憶域を解放するか、X.25 ネットワークを削除することを検討してください。サービス技術員に連絡してください。

第123章 X.25 ネットワーク・インターフェース・フレーム・レイヤー (X252)

この章では、X.25 ネットワーク・インターフェース・フレーム・レイヤー (X252) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

X252.003

レベル: C-INFO

短構文: X252.003 frm lyr up nt *network ID*

長構文: X252.003 Frame layer up network *network ID*

説明: フレーム・レイヤーがアップになっています。

X252.004

レベル: C-INFO

短構文: X252.004 frm lyr dn reason *reason* nt *network ID*

長構文: X252.004 Frame layer down reason *reason* network *network ID*

説明: フレーム・レイヤーがダウンしています。

X252.005

レベル: P-TRACE

短構文: X252.005 I-frm rxd nt *network ID*

長構文: X252.005 I-frame received from network *network ID*

説明: ネットワークから正常な I フレームを受信しました。

X252.006

レベル: P-TRACE

短構文: X252.006 I-frm txd nt *network ID*

長構文: X252.006 I-frame transmitted to network *network ID*

説明: ネットワークに正常な I フレームを送信しました。

X252.007

レベル: P-TRACE

短構文: X252.007 rr rxd nt *network ID*

長構文: X252.007 rr received from network *network ID*

説明: ネットワークからフレーム・レイヤー RR を受信しました。

X252.008

レベル: P-TRACE

短構文: X252.008 rr txd nt *network ID*

長構文: X252.008 rr transmitted to network *network ID*

説明: ネットワークにフレーム・レイヤー RR を送信しました。

X252.009

レベル: P-TRACE

短構文: X252.009 rnr rxd nt *network ID*

長構文: X252.009 rnr received from network *network ID*

説明: ネットワークからフレーム・レイヤー RNR を受信しました。

X252.010

レベル: P-TRACE

短構文: X252.010 rnr txd nt *network ID*

長構文: X252.010 rnr transmitted to network *network ID*

説明: ネットワークにフレーム・レイヤー RNR を送信しました。

X252.011

レベル: P-TRACE

短構文: X252.011 rej rxd nt *network ID*

長構文: X252.011 rej received from network *network ID*

説明: ネットワークからフレーム・レイヤー拒否を受信しました。

X252.012

レベル: P-TRACE

短構文: X252.012 rej txd nt *network ID*

長構文: X252.012 rej transmitted to network *network ID*
説明: ネットワークにフレーム・レイヤー拒否を送信しました。

X252.013

レベル: P-TRACE

短構文: X252.013 sabme rxd nt *network ID*

長構文: X252.013 sabme received from network *network ID*

説明: ネットワークから SABME フレームを受信しました。

X252.014

レベル: P-TRACE

短構文: X252.014 sabme txd nt *network ID*

長構文: X252.014 sabme transmitted to network *network ID*

説明: ネットワークに SABME フレームを送信しました。

X252.015

レベル: P-TRACE

短構文: X252.015 sabm rxd nt *network ID*

長構文: X252.015 sabm received from network *network ID*

説明: ネットワークから SABM フレームを受信しました。

X252.016

レベル: P-TRACE

短構文: X252.016 sabm txd nt *network ID*

長構文: X252.016 sabm transmitted to network *network ID*

説明: ネットワークに SABM フレームを送信しました。

X252.017

レベル: P-TRACE

短構文: X252.017 disc rxd nt *network ID*

長構文: X252.017 disc received from network *network ID*

説明: ネットワークから DISC フレームを受信しました。

X252.018

レベル: P-TRACE

短構文: X252.018 disc txd nt *network ID*

長構文: X252.018 disc transmitted to network *network ID*

説明: ネットワークに DISC フレームを送信しました。

X252.019

レベル: P-TRACE

短構文: X252.019 dm rxd nt *network ID*

長構文: X252.019 dm received from network *network ID*

説明: ネットワークから DM フレームを受信しました。

X252.020

レベル: P-TRACE

短構文: X252.020 dm txd nt *network ID*

長構文: X252.020 dm transmitted to network *network ID*

説明: ネットワークに DM フレームを送信しました。

X252.021

レベル: P-TRACE

短構文: X252.021 ua rxd nt *network ID*

長構文: X252.021 ua received from network *network ID*

説明: ネットワークから UA フレームを受信しました。

X252.022

レベル: P-TRACE

短構文: X252.022 ua txd nt *network ID*

長構文: X252.022 ua transmitted to network *network ID*

説明: ネットワークに UA フレームを送信しました。

X252.026

レベル: UE-ERROR

短構文: X252.026 frmr I-frame too lng txd nt *network ID*

長構文: X252.026 frame reject for I-frame too long transmitted to network *network ID*

説明: ネットワークに、I フレームが長過ぎることを示すフレーム拒否を送信しました。

X252.027

レベル: UE-ERROR

短構文: X252.027 fmr N(R) invld rxd nt *network ID*

長構文: X252.027 frame reject for N(R) invalid received
from network *network ID*

説明: ネットワークから、無効な N(R) を受信したことを示すフレーム拒否を受信しました。

X252.028

レベル: UE-ERROR

短構文: X252.028 fmr N(R) invld txd nt *network ID*

長構文: X252.028 frame reject for N(R) invalid transmitted
to network *network ID*

説明: ネットワークに、無効な N(R) を受信したことを示すフレーム拒否を送信しました。

X252.033

レベル: C-INFO

短構文: X252.033 t2 tmr exp nt *network ID*

長構文: X252.033 T2 timer expired network *network ID*

説明: 指定のネットワークの T2 タイマーが満了しました。

第124章 X.25 ネットワーク・インターフェース・パケット・レイヤー (X253)

この章では、X.25 ネットワーク・インターフェース・パケット・レイヤー (X253) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

X253.003

レベル: C-INFO

短構文: X253.003 pkt lyr up nt *network ID*

長構文: X253.003 Packet layer up network *network ID*

説明: パケット・レイヤーはアップになっています。

X253.004

レベル: C-INFO

短構文: X253.004 pkt lyr dn reason *reason* nt *network ID*

長構文: X253.004 Packet layer down reason *reason* network *network ID*

説明: パケット・レイヤーはダウンしています。

X253.005

レベル: P-TRACE

短構文: X253.005 data pkt rxd lcn *lcn* nt *network ID*

長構文: X253.005 Data Packet received on lcn *lcn* from network *network ID*

説明: ネットワークから正常なデータ・パケットを受信しました。

X253.006

レベル: P-TRACE

短構文: X253.006 data pkt txd lcn *lcn* nt *network ID*

長構文: X253.006 Data Packet transmitted on lcn *lcn* to network *network ID*

説明: ネットワークに正常なデータ・パケットを送信しました。

X253.007

レベル: P-TRACE

短構文: X253.007 call ind rxd lcn *lcn* nt *network ID*

長構文: X253.007 Call indication received for lcn *lcn* from network *network ID*

説明: ネットワークから、指定の LCN のコール指示を受信しました。

X253.008

レベル: P-TRACE

短構文: X253.008 cll rq txd lcn *lcn* nt *network ID* with calling dte *calling_dte_addr* and called dte *called_dte_addr*

長構文: X253.008 Call request packet transmitted for lcn *lcn* network *network ID* from calling dte *calling_dte_addr* to called dte *called_dte_addr*

説明: ネットワークに、指定の LCN のコール・リクエストを送信しました。

X253.009

レベル: P-TRACE

短構文: X253.009 cll cnf rxd lcn *lcn* nt *network ID*

長構文: X253.009 Call Confirmation Packet received for lcn *lcn* network *network ID*

説明: ネットワークから、指定の LCN のコール確認を受信しました。

X253.010

レベル: P-TRACE

短構文: X253.010 cll acpt txd lcn *lcn* nt *network ID*

長構文: X253.010 Call Accepted Packet transmitted for lcn *lcn* network *network ID*

説明: ネットワークに、指定の LCN のコール受付を送信しました。

X253.011

レベル: P-TRACE

短構文: X253.011 rr rxd lcn *lcn* nt *network ID*

長構文: X253.011 RR Packet received for lcn *lcn* network *network ID*

説明: ネットワークから、指定の LCN の RR を受信しました。

X253.012

レベル: P-TRACE

短構文: X253.012 rr txd lcn lcn nt network ID

長構文: X253.012 RR Packet transmitted for lcn lcn network network ID

説明: ネットワークに、指定の LCN の RR を送信しました。

X253.013

レベル: P-TRACE

短構文: X253.013 rnr rxd lcn lcn nt network ID

長構文: X253.013 RNR Packet received for lcn lcn network network ID

説明: ネットワークから、指定の LCN の RNR を受信しました。

X253.014

レベル: P-TRACE

短構文: X253.014 rnr txd lcn lcn nt network ID

長構文: X253.014 RNR Packet transmitted for lcn lcn network network ID

説明: ネットワークに、指定の LCN の RNR を送信しました。

X253.017

レベル: P-TRACE

短構文: X253.017 clr rq rxd lcn lcn cse clearing_cause diag clearing_diagnostic nt network ID

長構文: X253.017 Clear request received for lcn lcn cause clearing_cause diagnostic clearing_diagnostic network network ID

説明: ネットワークから、指定の LCN の復旧要求を受信しました。

X253.018

レベル: P-TRACE

短構文: X253.018 clr rq txd lcn lcn cse clearing_cause diag clearing_diagnostic nt network ID

長構文: X253.018 Clear request transmitted for lcn lcn cause clearing_cause diagnostic clearing_diagnostic network network ID

説明: ネットワークに、指定の LCN の復旧要求を送信しました。

X253.019

レベル: P-TRACE

短構文: X253.019 clr cnf rxd lcn lcn nt network ID

長構文: X253.019 Clear confirm received for lcn lcn network network ID

説明: ネットワークから、指定の LCN の復旧確認を受信しました。

X253.020

レベル: P-TRACE

短構文: X253.020 clr cnf txd lcn lcn nt network ID

長構文: X253.020 Clear confirm transmitted to lcn lcn network network ID

説明: ネットワークに、指定の LCN の復旧確認を送信しました。

X253.023

レベル: P-TRACE

短構文: X253.023 rset rxd lcn lcn cse reset_cause diag reset_diagnostic nt network ID

長構文: X253.023 Reset received for lcn lcn cause reset_cause diagnostic reset_diagnostic network network ID

説明: ネットワークから、指定の LCN のリセットを受信しました。

X253.024

レベル: P-TRACE

短構文: X253.024 rset txd lcn lcn cse reset_cause diag reset_diagnostic nt network ID

長構文: X253.024 Reset transmitted for lcn lcn cause reset_cause diagnostic reset_diagnostic network network ID

説明: ネットワークに、指定の LCN のリセットを送信しました。

X253.025

レベル: P-TRACE

短構文: X253.025 rset cnf rxd lcn lcn nt network ID

長構文: X253.025 Reset confirm received for lcn lcn network network ID

説明: ネットワークから、指定の LCN のリセット確認を受信しました。

X253.026

レベル: P-TRACE

短構文: X253.026 rset cnf txd lcn lcn nt network ID

長構文: X253.026 Reset confirm transmitted for lcn lcn network network ID

説明: ネットワークに、指定の LCN のリセット確認を送信しました。

X253.027

レベル: P-TRACE

短構文: X253.027 rsttr rxd lcn lcn cse restart_cause diag restart_diagnostic nt network ID

長構文: X253.027 Restart received lcn lcn cause restart_cause diagnostic restart_diagnostic network network ID

説明: ネットワークから、再始動を受信しました。

X253.028

レベル: P-TRACE

短構文: X253.028 rsttr txd lcn lcn cse restart_cause diag restart_diagnostic nt network ID

長構文: X253.028 Restart transmitted lcn lcn cause restart_cause diagnostic restart_diagnostic network network ID

説明: ネットワークに、再始動を送信しました。

X253.029

レベル: P-TRACE

短構文: X253.029 rsttr cnf rxd lcn lcn nt network ID

長構文: X253.029 Restart confirm received lcn lcn network network ID

説明: ネットワークから、再始動確認を受信しました。

X253.030

レベル: P-TRACE

短構文: X253.030 rsttr cnf txd lcn lcn nt network ID

長構文: X253.030 Restart confirm transmitted lcn lcn network network ID

説明: ネットワークに、再始動確認を送信しました。

X253.031

レベル: P-TRACE

短構文: X253.031 diag txd diag cde diagnostic_code nt network ID

長構文: X253.031 Diagnostic transmitted diagnostic code diagnostic_code network network ID

説明: ネットワークに、診断パケットを送信しました。

X253.032

レベル: P-TRACE

短構文: X253.032 diag rxd diag cde diagnostic_code nt network ID

長構文: X253.032 Diagnostic received diagnostic code diagnostic_code network network ID

説明: ネットワークから、診断パケットを受信しました。

X253.033

レベル: C-INFO

短構文: X253.033 rsttr tmr exp lcn lcn nt network ID

長構文: X253.033 Restart timer expired lcn lcn network network ID

説明: 指定のネットワークの再始動タイマーが満了しました。

X253.040

レベル: U-INFO

短構文: X253.040 lost data - excessive X.25 mbit processing lcn network ID/

長構文: X253.040 lost data - excessive X.25 mbit processing lcn network ID/

説明: X.25 の M ビット処理で要求されているバッファーの数が多過ぎます。パケット・サイズおよび MTU サイズの構成パラメーターを微調整して、パケットを大きくするか、メッセージ・サイズを小さくするか、いずれかです。

X253.041

レベル: U-INFO

短構文: X253.041 lcn expired on lcn network ID/

長構文: X253.041 lcn expired on lcn network ID/

説明: パケット・レイヤー・タイマーが満了しました。

示されている回線がリセットまたは切断されている可能性があります。

X253.042

レベル: P-TRACE

短構文: X253.042 call ind rxd lcn *lcn* nt *network ID* with calling dte *calling_dte_addr* and called dte *called_dte_addr*

長構文: X253.042 Call indication received for lcn *lcn* from network *network ID* from calling dte *calling_dte_addr* to called dte *called_dte_addr*

説明: ネットワークから、指定の LCN のコール指示を受信しました。

X253.043

レベル: U-INFO

短構文: X253.043 *peer_DTE_addr* for DTE addr *network ID*/ *buffers_returned* buffers returned

長構文: X253.043 *peer_DTE_addr* for DTE addr *network ID*/ *buffers_returned* buffers returned

説明: パケット・レイヤー・タイマーが満了しました。処理されるデータがないので、バッファが戻されました。

第125章 X.25 ネットワーク・インターフェース物理レイヤー (X251)

この章では、X.25 ネットワーク・インターフェース物理レイヤー (X251) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

X251.001

レベル: C-INFO

短構文: X251.001 Mdm sts chg: DSR/DCD/CTS DSR/DCD/ CTS nt network ID

長構文: X251.001 Modem status changed DSR = DSR DCD = DCD CTS = CTS on network network ID

説明: (入力) モデム制御信号が変りました。入力信号の現在の状態は、示されている通りです。

X251.003

レベル: C-INFO

短構文: X251.003 Srl prt up, nt network ID

長構文: X251.003 Serial port came up sucessfully, on network network ID

説明: ロードおよび初期化の結果は、x25_s2 ルーチンにとって成功でした。

X251.004

レベル: UI-ERROR

短構文: X251.004 TxComp Rsys Schd fil nt network ID

長構文: X251.004 Rsys ring full on Transmit complete: network network ID

説明: 内部スケジューラー・リングがいっぱいであったため、X.25 のフレーム・レイヤーへの送信完了通知を待ち行列化しようとする試みが失敗しました。これは、バッファの損失を引き起こします。

X251.006

レベル: CE_ERROR

短構文: X251.006 RxOvr nt network ID

長構文: X251.006 Receiver overrun: frame too long network network ID

説明: 正しい CRC をもつフレームを受信しましたが、(構成された) 最大長を超えていました。

X251.007

レベル: CE_ERROR

短構文: X251.007 RxErr st status nt network ID

長構文: X251.007 Receiver error: Erroneous frame (driver status status) received on network network ID

説明: エラーのある (不正な CRC、モデム信号がダウンなど) フレームを受信しました。

X251.008

レベル: C-INFO

短構文: X251.008 Frm Rxd nt network ID

長構文: X251.008 Frame received from network network ID

説明: ネットワークから、正しいフレームを受信しました。

X251.009

レベル: CE-ERROR

短構文: X251.009 Frm Tx Flsh nt network ID

長構文: X251.009 Outbound frame flushed on network network ID

説明: プロトコルの状態または事象が原因で、フレームの転送が打ち切られました。

X251.010

レベル: CE-ERROR

短構文: X251.010 Frm Txd Fail st status nt network ID

長構文: X251.010 Frame transmission failed, status status, on network network ID

説明: ネットワークへのフレームの転送が失敗しました。ドライバーが、指定の状況を戻しました。

X251.011

レベル: C-INFO

短構文: X251.011 Frm Txd nt *network ID*

長構文: X251.011 Frame sucessfully transmitted to network
network ID

説明: フレームは、正常にネットワークに転送されました。

X251.012

レベル: CI-ERROR

短構文: X251.012 Cfg err nt *network ID*

長構文: X251.012 Configuration error on network index
network ID

説明: データが欠落しているか、ネットワーク構成に矛盾があるために、X.25 ネットワーク・ハンドラーは初期化を継続することができません。ノード・アドレス、バーチャル・サーキットの範囲、および PVC 割り当て (もしあれば) を検査してください。

X251.013

レベル: CE-ERROR

短構文: X251.013 Tx flsh cmp *network ID*

長構文: X251.013 Outbound buffer flush completed by
driver on network *network ID*

説明: プロトコルの事象により、フレーム・レイヤーは、ドライバーのために待ち行列化されているすべてのバッファをフラッシュすることが必要になりました。フラッシュ・コマンドを出して、これを行います。ドライバーは、フラッシュされる最後のバッファにマークを付け、そのバッファがこのメッセージを生成します。

第126章 TCP/IP を介する X.25 トランスポート (XTP)

この章では、TCP/IP を介する X.25 トランスポート (XTP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

XTP.002

レベル: U-INFO

短構文: XTP.002 q overflow, nt network ID

長構文: XTP.002 Queue overflow on packet from net network ID

説明: このメッセージは、入力待ち行列オーバーフローのために、転送機能がパケットを廃棄する場合に生成されます。

原因: 入力待ち行列オーバーフローは、バッファが不足しているインターフェースからパケットを受信し、しかも XTP 待ち行列の長さが公平シェアより大きい場合に発生します。原因は、バースト状態または定常状態で、XTP 転送機能の伝送能力より速くトラフィックが到着していることが考えられます。

処置: トラフィックのバーストを減らしてください。より高速なルーターにアップグレードしてください。

XTP.005

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.005 invalid tcp mesg type recvd

長構文: XTP.005 Undefined message received on TCP

説明: 受信された TCP メッセージが、定義されているものではありません。

XTP.006

レベル: U-INFO

短構文: XTP.006 called dte dteaddr, in call req from peer ipaddr not configured

長構文: XTP.006 Called DTE dteaddr, in CALL REQUEST from peer ipaddr is not configured on any interface.

説明: コールする必要がある DTE が、どのインターフェース上でも構成されていません。

XTP.007

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.007 call req to dte dteaddr, from peer ipaddr, failed with diag clearing_diagnostic

長構文: XTP.007 Call request to DTE dteaddr, from peer ipaddr, failed with diagnostic clearing_diagnostic

説明: DTE に対して行われたコール・リクエストが失敗しました。

XTP.008

レベル: U-INFO

短構文: XTP.008 tcp pkt or x25 pkt has invalid cktid

長構文: XTP.008 We received a tcp packet or an x.25 pkt with invalid circuit id in it.

説明: これは単なる整理段階である可能性があり、おそらく何の影響も及ぼしません。

XTP.009

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.009 tcp pkt alloc failed

長構文: XTP.009 Memory allocation for XTP tcp packet failed

説明: XTP の TCP パケットの割り振りに失敗しました。

XTP.010

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.010 unkn x25 data type recvd in tcp pkt

長構文: XTP.010 X.25 data encapsulated in TCP packet is neither Q nor U data.

説明: TCP メッセージに含まれている X.25 データが無効です。

XTP.011

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.011 data xfer req from peer ipaddr on an inactive x25 ckt

長構文: XTP.011 TCP Request from peer ipaddr to send data on an inactive X.25 circuit is received.

説明: X.25 回線が活動状態ではないために、X.25 回線を介してデータを送信できません。

XTP.012

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.012 data xfer req from peer *ipaddr*, on nt *network ID* failed

長構文: XTP.012 Data from peer *ipaddr*, could not be sent on net *network ID*

説明: X.25 回線を介してデータを送信できませんでした。

XTP.013

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.013 mem alloc failed in *function_name*

長構文: XTP.013 Memory allocation failed in function *function_name*

説明: 記憶域の割り振りができませんでした。

XTP.014

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.014 *network ID*

長構文: XTP.014 *network ID*

説明: XTP の総称デバッグ・メッセージ

XTP.015

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.015 call req from rmt dte *dteaddr*, on peer *ipaddr*, to local dte *dteaddr* failed

長構文: XTP.015 Call request from DTE *dteaddr*, configured on peer *ipaddr*, to local DTE *dteaddr* failed

説明: X.25 コール・リクエストが失敗しました。

XTP.017

レベル: U-INFO

短構文: XTP.017 xtp init successful

長構文: XTP.017 XTP forwarder initialization on the router is successful

説明: XTP 転送機能が正常に初期化されました。

XTP.019

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.019 multiple dtes configured on dce interface *interface*

長構文: XTP.019 More than one DTE has been configured on DCE interface *interface*

説明: 装置タイプ DCE のインターフェース上で、複数の DTE が構成されています。

XTP.020

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.020 internal ip addr not set

長構文: XTP.020 The internal IP address has not been set in IP config

説明: ルーターの内部 IP アドレスが設定されていません。

処置: IP 構成で内部 IP アドレスを設定してください。

XTP.021

レベル: U-INFO

短構文: XTP.021 net dwn, nt *network ID*

長構文: XTP.021 net down for net *network ID*

説明: このメッセージは、ネットワークがダウンした場合に生成されます。

XTP.022

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.022 pvc req for unconfigured local dte or lcn *dteaddr*

長構文: XTP.022 A PVC is configured for a unconfigured local DTE or lcn *dteaddr*

説明: ローカル DTE または LCN を構成します。

XTP.023

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.023 excess pvcs configured

長構文: XTP.023 The number of PVCs configured exceeds the limit

説明: 定義されている限界以上の数の PVC が構成されています。

XTP.024

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.024 rcv on null tcb

長構文: XTP.024 Receive posted on null tcb

説明: ヌル TCB 上に受信が通知されました。

XTP.025

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.025 null iob recvd on tcp

長構文: XTP.025 The iob received on TCP is null

説明: ヌル IOB が TCP を介して受信されました。

XTP.026

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.026 tcp post rcv failed

長構文: XTP.026 The receive posted by TCP failed

説明: データを入手するために TCP によって通知された受信が失敗しました。

XTP.027

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.027 xtp_tcp hdr rcvd from peer *ipaddr*, has invalid msg size *msg_size*

長構文: XTP.027 xtp_tcp header received from peer *ipaddr*, has an invalid message size *msg_size*.

説明: xtp_tcp ヘッダー内のメッセージのサイズが無効です。

XTP.028

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.028 null apphnd in tcbp, TCP cnn to peer *ipaddr* is down

長構文: XTP.028 null apphnd in tcbp, TCP cnn to peer *ipaddr* is down.

説明: TCP 制御ブロック内の回線 ID がヌルです。ただし、TCP 回線に関するデータはあります。アプリケーション・ハンドルが TCBP 内で NULL です。対応する同位ルーターへの TCP 接続が、そこからのデータの到着直後にダウンしたという事実によるものと思われます。このメッセージの直前に XTP.56 メッセージがログに記録された場合は、これは通常発生する事象です。

XTP.029

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.029 tcp sess to peer *ipaddr* is reset

長構文: XTP.029 The TCP session to peer *ipaddr* is being reset

説明: TCP セッションがリセットされています。

XTP.030

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.030 tcp send to peer *ipaddr* failed

長構文: XTP.030 TCP send to peer *ipaddr* failed

説明: データを送信するための TCP コールが失敗しました。

XTP.031

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.031 x25 api reg failed on int *interface*

長構文: XTP.031 Registration with the X.25 service failed on interface *interface*

説明: X.25 サービスに登録するための X.25 API コールが失敗しました。

XTP.032

レベル: U-INFO

短構文: XTP.032 xtp listening on tcp port *port*

長構文: XTP.032 TCP component of XTP did a passive open on tcp port *port*

説明: XTP TCP モジュールが、受動オープンを正常に行いました。

XTP.033

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.033 xtp passive open failed on tcp port *port*

長構文: XTP.033 TCP component of XTP did a passive open on port *port* which failed

説明: XTP TCP モジュールが、受動オープンに失敗しました。

XTP.034

レベル: U-INFO

短構文: XTP.034 xtp active open from *ipaddr*

長構文: XTP.034 TCP component of XTP did a active open from *ipaddr*

説明: XTP TCP モジュールが、能動オープンを正常に行いました。

XTP.035

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.035 tcp active open from *ipaddr* failed

長構文: XTP.035 TCP component of XTP did a failed active open from *ipaddr*

説明: XTP TCP モジュールが、能動オープンに失敗しました。

XTP.036

レベル: U-INFO

短構文: XTP.036 tcp cnn from unconfigured peer *ipaddr* not accepted

長構文: XTP.036 TCP connection from unconfigured peer *ipaddr* not accepted

説明: 受信した接続要求の送信元のルーターが、ピア・ルーターとして構成されていません。

XTP.037

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.037 rtr with greater IP addr *ipaddr* - an error

長構文: XTP.037 Some how an router with greater IP address does an active open, against the design. src *ipaddr*

説明: 大きい方の IP アドレスからの能動オープンが、小さい方の IP アドレスで受信されました。これはエラーです。

XTP.038

レベル: U-INFO

短構文: XTP.038 closing prev tcp cnn to peer *ipaddr*

長構文: XTP.038 Closing previously opened TCP connection to *ipaddr*

説明: 以前にオープンされた TCP 接続がクローズされています。

XTP.039

レベル: U-INFO

短構文: XTP.039 tcp cnn estab from *ipaddr*

長構文: XTP.039 TCP connection established between *ipaddr*

説明: ピア・ルーターの間で TCP 接続が確立されています。

XTP.041

レベル: U-INFO

短構文: XTP.041 tcp msg *msg_type*, sent to router *ipaddr*, which has *unss* messages queued

長構文: XTP.041 TCP packet containing message *msg_type*, is sent to router *ipaddr*, which has *unss* messages queued.

説明: TCP メッセージが送信されています。単なるログ。

XTP.042

レベル: U-INFO

短構文: XTP.042 tcp msg *Network ID*

長構文: XTP.042 TCP packet containing message *Network ID*

説明: TCP メッセージが受信されました。単なるログ。

XTP.043

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.043 tcp cnn to *Network ID*

長構文: XTP.043 TCP connection to *Network ID* has reached limit.

説明: 1 つの TCP 接続が複数の SVC を処理しているときに、SVC を通じたデータの到着が速過ぎる場合、通信量が多過ぎるために TCP 接続はトラフィックを処理できません。

XTP.044

レベル: U-INFO

短構文: XTP.044 peer *ipaddr* closed tcp cnn

長構文: XTP.044 Remote host *ipaddr* has closed the TCP connection.

説明: 接続がクローズされました。整理を行います。

XTP.045

レベル: U-INFO

短構文: XTP.045 appln handle in tcbp retn from tcp NULL

長構文: XTP.045 In a TCP upcall we found that application handle for a TCP connection is NULL

説明: これは、それほど大きなエラーにはなりません。

XTP.046

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.046 invalid message size *msg_size* requested for transport on TCP

長構文: XTP.046 The message size *msg_size* requested by X.25 for transport on TCP is invalid.

説明: X.25 でのメッセージ・サイズを検査してください。

XTP.047

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.047 request to send on a non-established TCP connection

長構文: XTP.047 You got a request to forward either x25 call req, x25 data on a non-established TCP connection.

説明: XTP または X.25 での構成が誤っている可能性があります。

XTP.048

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.048 invalid tcp cnn, src and dst same - *ipaddr*

長構文: XTP.048 Peer IP address same as the local IP address - *ipaddr*.

説明: XTP での IP アドレスの構成を検査してください。

XTP.050

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.050 pvc with lcn *lcn* not configured in x25

長構文: XTP.050 PVC with LCN *lcn* is configured in XTP but not in X.25

説明: PVC を X.25 でも定義してください。

XTP.051

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.051 xtp init not successful on nt *network ID*

長構文: XTP.051 XTP is not successfully initialized on net *network ID*

説明: 問題のインターフェースがダウンしているか、X.25 タイプではない可能性があります。

XTP.052

レベル: U-INFO

短構文: XTP.052 call req for call *dteaddr*,--> *dteaddr*, cannot be fwd to peer *ipaddr*, no TCP cnn

長構文: XTP.052 An X.25 Call Request from calling DTE *dteaddr*, to called DTE *dteaddr*, cannot be forwarded to peer *ipaddr* since the TCP connection to the peer is not active.

説明: コールされた DTE への接続が、ピア・ルーターへの TCP 接続が現在非活動状態であるために、この時点ではピア・ルーターを通じて確立できません。

XTP.053

レベル: U-INFO

短構文: XTP.053 call req for call *dteaddr*,--> *dteaddr*, redrive to peer *ipaddr*

長構文: XTP.053 An X.25 Call Request from calling DTE *dteaddr*, to called DTE *dteaddr*, is being re-driven to peer router *ipaddr*.

説明: コールされた DTE への接続が、別のピア・ルーターを通じての前の試みが失敗したために、このピア・ルーターを通じて試みられています。

XTP.054

レベル: U-INFO

短構文: XTP.054 no other peer for call req redrive for call *dteaddr*,--> *dteaddr*

長構文: XTP.054 There are no other available peer routers to attempt a redrive of the X.25 Call Request from calling DTE *dteaddr*, to called DTE *dteaddr*.

説明: コールされた DTE への接続を、別のピア・ルーターを通じて試みることができません。

XTP.055

レベル: U-INFO

短構文: XTP.055 call req timeout for call *dteaddr*,--> *dteaddr*, via peer *ipaddr*

長構文: XTP.055 An X.25 Call Request from calling DTE *dteaddr*, to called DTE *dteaddr*, through peer router *ipaddr* timed out.

説明: コールされた DTE への接続がピア・ルーターを通じて試みられていましたが、接続のタイムアウト値までの間に応答がありませんでした。

XTP.056

レベル: U-INFO

短構文: XTP.056 tcp cnn to peer *ipaddr* has closed

長構文: XTP.056 The TCP connection to remote host *ipaddr* has closed.

説明: リモート・ホストへの TCP 接続がクローズされました。

XTP.057

レベル: U-INFO

短構文: XTP.057 tcp cnn to peer *ipaddr* closed - no keepalives

長構文: XTP.057 The TCP connection to remote host *ipaddr* has been closed due to a lack of received Keepalive messages.

説明: リモート・ホストからの X.25 トランスポート・キープアライブ・メッセージをこのルーターが現在受信していないため、リモート・ホストへの TCP 接続がクローズされました。

XTP.058

レベル: U-INFO

短構文: XTP.058 unsupported tcp msg *Network ID*, message dropped

長構文: XTP.058 An unsupported TCP packet containing message *Network ID*, clear sent

説明: サポートされない TCP メッセージを受信しました。このルーターと TCP メッセージを送信したルーターの間に互換性がありません。

XTP.059

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.059 xtp forcing tcp cnn to *Network ID*

長構文: XTP.059 XTP connection to *Network ID*, has reached limit.

説明: 1 つの XTP 接続が複数の SVC を伝送しているので、X.25 が送信できる速度より速くデータが到着する場合、XTP は TCP/IP 接続をフロー制御する必要があります。

XTP.060

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.060 XTP exiting flow control on tcp cnn to *Network ID*

長構文: XTP.060 XTP connection to *Network ID*.

説明: 1 つの XTP 接続が複数の SVC を伝送しているので、X.25 が送信できる速度より速くデータが到着する場合、XTP は TCP/IP 接続をフロー制御する必要がありますが、現在 XTP はデータを受信できる状態になっています。



Printed in Japan

SC88-6373-10



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12